白石消防署庁舎建替工事

設計図

令和８年７月

仙南地域広域行政事務組合消防本部

株式会社　構建築設計事務所

白石消防署庁舎建替工事
図面リスト

意　匠

A-01	建築工事特記仕様書-1	A-58	【庁舎棟】木製家具図１	A-224	【訓練棟】訓練機器リスト
A-02	建築工事特記仕様書-2	A-59	【庁舎棟】木製家具図２	A-225	【訓練棟】ホースリフター 組立図及び各部詳細図
A-03	建築工事特記仕様書-3	A-60	【庁舎棟】木製家具図３	A-226	【訓練棟】障害突破訓練用梯子 組立及び詳細図
A-04	建築工事特記仕様書-4	A-61	【庁舎棟】鋼製家具図１	A-227	【訓練棟】ロープブリッジ渡過訓練用 ネット配置図
A-05	建築工事特記仕様書-5	A-62	【庁舎棟】鋼製家具図２	A-228	【訓練棟】ロープブリッジ渡過訓練用 ネット詳細図
A-06	建築工事特記仕様書-6	A-63	【庁舎棟】鋼製家具図３	A-229	【訓練棟】障害突破訓練用ネット配置図
A-07	建築工事特記仕様書-7	A-64	【庁舎棟】鋼製家具図４	A-230	【訓練棟】障害突破訓練用ネット詳細図
A-08	建築工事特記仕様書-8	A-65	【庁舎棟】1階サインキープラン	A-231	【訓練棟】障害突破訓練用煙道詳細図
A-09	建築工事特記仕様書-9	A-66	【庁舎棟】2階サインキープラン	A-232	【訓練棟】障害突破訓練用高塀 主訓練塔金物詳細図
A-10	建築工事特記仕様書-10	A-67	【庁舎棟】サイン詳細図	A-233	【訓練棟】主訓練塔金物詳細図
A-11	工事区分表	A-68	【庁舎棟】雑詳細図１	A-234	【訓練棟】副訓練塔1金物詳細図(1)
A-12	案内図	A-69	【庁舎棟】雑詳細図２	A-235	【訓練棟】副訓練塔1金物詳細図(2)
A-13	配置図	A-70	【庁舎棟】雑詳細図３	A-236	【訓練棟】副訓練塔1金物詳細図(3)
A-14	敷地求積図	A-71	【庁舎棟】雑詳細図４	A-237	【訓練棟】副訓練塔1金物詳細図(4)
A-15	【庁舎棟】面積表・求積図１	A-72	【庁舎棟】シャワーユニット詳細図	A-238	【訓練棟】副訓練塔1金物詳細図(5)
A-16	【庁舎棟】面積表・求積図２	A-73	【庁舎棟】オーバースライディングドア詳細図	A-239	【訓練棟】副訓練塔1金物詳細図(6)
A-17	【庁舎棟】法チェック表	A-74	【庁舎棟】入退出システム図	A-240	【訓練棟】副訓練塔1金物詳細図(7)
A-18	【庁舎棟】外部仕上表・特記事項	A-75	外構図	A-241	【訓練棟】副訓練塔1山岳壁詳細図
A-19	【庁舎棟】内部仕上表	A-76	外構詳細図	A-242	【訓練棟】副訓練塔2金物詳細図(1)
A-20	【庁舎棟】ピット階平面図	A-77	L型擁壁詳細図	A-243	【訓練棟】副訓練塔2金物詳細図(2)
A-21	【庁舎棟】1階平面図	A-78	屋外階段詳細図	A-244	【訓練棟】副訓練塔2金物詳細図(3)
A-22	【庁舎棟】2階平面図	A-79	出動表示板詳細図	A-245	【訓練棟】副訓練塔2金物詳細図(4)
A-23	【庁舎棟】R階平面図	A-80	出動表示板システム系統図	A-246	【訓練棟】副訓練塔2金物詳細図(5)
A-24	【庁舎棟】立面図１	A-81	防火水槽・オイルトラップ埋設基礎詳細図	A-247	【訓練棟】副訓練塔2迷路訓練詳細図(1)
A-25	【庁舎棟】立面図２・断面図1	A-82	簡易タンク貯蔵所詳細図	A-248	【訓練棟】副訓練塔2迷路訓練詳細図(2)
A-26	【庁舎棟】断面図２	A-83	雨水排水図	A-249	【訓練棟】副訓練塔2切断訓練用SD・ 訓練用屋根詳細図
A-27	【庁舎棟】矩計図１	A-84	雨水排水詳細図1	A-250	【訓練棟】震災訓練場平面図 自動火災報知設備ｻﾝﾌﾟﾙﾎﾞｰﾄﾞ
A-28	【庁舎棟】矩計図２	A-85	雨水排水詳細図2		
A-29	【庁舎棟】矩計図３	A-86	指令機器移設品システム系統図		
A-30	【庁舎棟】階段１　詳細図	A-87	家屋調査図		
A-31	【庁舎棟】階段２　詳細図	A-88	仮設計画図		
A-32	【庁舎棟】1階平面詳細図１	A-89	現況敷地図		
A-33	【庁舎棟】1階平面詳細図２				
A-34	【庁舎棟】2階平面詳細図３				
A-35	【庁舎棟】2階平面詳細図４	A-201	【訓練棟】面積表・求積図		
A-36	【庁舎棟】展開図１	A-202	【訓練棟】仕上表		
A-37	【庁舎棟】展開図２	A-203	【訓練棟】ピット階・1階平面図		
A-38	【庁舎棟】展開図３	A-204	【訓練棟】2～4階平面図		
A-39	【庁舎棟】展開図４	A-205	【訓練棟】R階平面図		
A-40	【庁舎棟】展開図５	A-206	【訓練棟】副訓練塔立面図		
A-41	【庁舎棟】展開図６	A-207	【訓練棟】主訓練塔立面図・断面図		
A-42	【庁舎棟】展開図７	A-208	【訓練棟】副訓練塔断面図		
A-43	【庁舎棟】展開図８	A-209	【訓練棟】主訓練塔矩計図・階段詳細図		
A-44	【庁舎棟】展開図９	A-210	【訓練棟】副訓塔1矩計図		
A-45	【庁舎棟】展開図１０	A-211	【訓練棟】副訓塔2矩計図		
A-46	【庁舎棟】展開図１１	A-212	【訓練棟】副訓塔階段詳細図		
A-47	【庁舎棟】展開図１２	A-213	【訓練棟】主訓練塔平面詳細図		
A-48	【庁舎棟】1階天井伏図	A-214	【訓練棟】副訓塔1平面詳細図		
A-49	【庁舎棟】2階天井伏図	A-215	【訓練棟】副訓塔2平面詳細図		
A-50	【庁舎棟】1階建具キープラン	A-216	【訓練棟】展開図1		
A-51	【庁舎棟】2階建具キープラン	A-217	【訓練棟】展開図2		
A-52	【庁舎棟】建具表１	A-218	【訓練棟】展開図3		
A-53	【庁舎棟】建具表２	A-219	【訓練棟】展開図4		
A-54	【庁舎棟】建具表３	A-220	【訓練棟】展開図5		
A-55	【庁舎棟】建具表４	A-221	【訓練棟】建具・家具・サインキープラン		
A-56	【庁舎棟】1階家具キープラン	A-222	【訓練棟】建具表		
A-57	【庁舎棟】2階家具キープラン	A-223	【訓練棟】家具図・サイン・雑詳細図		

構　造

S-001	【庁舎棟】構造特記仕様書	S-101	【訓練棟】構造特記仕様書
S-002	【庁舎棟】鉄筋コンクリート配筋標準図(1)	S-102	【訓練棟】鉄筋コンクリート配筋標準図(1)
S-003	【庁舎棟】鉄筋コンクリート配筋標準図(2)	S-103	【訓練棟】鉄筋コンクリート配筋標準図(2)
S-004	【庁舎棟】鉄骨構造標準図(1)	S-104	【訓練棟】鉄骨構造標準図(1)
S-005	【庁舎棟】鉄骨構造標準図(2)	S-105	【訓練棟】鉄骨構造標準図(2)
S-006	【庁舎棟】F.T.Pile 構法標準図	S-106	【訓練棟】ボーリング柱状図
S-007	【庁舎棟】ボーリング柱状図(1)	S-107	【訓練棟】F.T.Pile 構法標準図
S-008	【庁舎棟】ボーリング柱状図(2)	S-108	【訓練棟】ダイヤレンNS設計・施工標準仕様書
S-009	【庁舎棟】ダイヤレンNS設計・施工標準仕様書	S-110	【訓練棟】(主訓練塔)伏図
S-010	【庁舎棟】杭伏図	S-111	【訓練棟】(主訓練塔)軸組図
S-012	【庁舎棟】基礎(ピット) 伏図	S-112	【訓練棟】(主訓練塔)基礎・地中梁リスト
S-013	【庁舎棟】1階伏図	S-113	【訓練棟】(主訓練塔)柱芯線図・柱リスト
S-014	【庁舎棟】2階伏図	S-114	【訓練棟】(主訓練塔)大梁リスト
S-015	【庁舎棟】R・PHR階伏図	S-115	【訓練棟】(主訓練塔)床版・小梁・壁リスト・雑詳細図
S-016	【庁舎棟】軸組図 (1)	S-116	【訓練棟】(主訓練塔)鉄骨詳細図
S-017	【庁舎棟】軸組図 (2)	S-117	【訓練棟】(主訓練塔)架構配筋詳細図
S-018	【庁舎棟】基礎リスト	S-118	【訓練棟】(主訓練塔)ハイベースNEO工法 設計施工標準 (1)
S-019	【庁舎棟】地中梁リスト	S-119	【訓練棟】(主訓練塔)ハイベースNEO工法 設計施工標準 (2)
S-020	【庁舎棟】柱芯線図・柱リスト	S-210	【訓練棟】(副訓練塔1)杭伏図
S-021	【庁舎棟】大梁リスト	S-211	【訓練棟】(副訓練塔1)伏図
S-022	【庁舎棟】床版・小梁・壁リスト	S-212	【訓練棟】(副訓練塔1)軸組図
S-023	【庁舎棟】雑詳細図	S-213	【訓練棟】(副訓練塔1)基礎・地中梁リスト
S-024	【庁舎棟】架構配筋詳細図	S-214	【訓練棟】(副訓練塔1)柱芯線図・柱リスト
S-025	【庁舎棟】1階梁貫通孔伏図	S-215	【訓練棟】(副訓練塔1)大梁・小梁リスト
S-026	【庁舎棟】2階梁貫通孔伏図	S-216	【訓練棟】(副訓練塔1)床版・壁リスト・雑詳細図
S-027	【庁舎棟】R階梁貫通孔伏図	S-217	【訓練棟】(副訓練塔1)架構配筋詳細図
S-028	【庁舎棟】(外構)階段・防火水槽詳細図	S-310	【訓練棟】(副訓練塔2)杭伏図
		S-311	【訓練棟】(副訓練塔2)伏図
		S-312	【訓練棟】(副訓練塔2)軸組図
		S-313	【訓練棟】(副訓練塔2)基礎・地中梁リスト
		S-314	【訓練棟】(副訓練塔2)柱芯線図・柱リスト
		S-315	【訓練棟】(副訓練塔2)大梁リスト
		S-316	【訓練棟】(副訓練塔2)床版・小梁・壁リスト
		S-317	【訓練棟】(副訓練塔2)雑詳細図
		S-318	【訓練棟】(副訓練塔2)架構配筋詳細図

電気設備

E-00	図面リスト	E-57	【訓練棟】電灯（コンセント分岐） 設備　２～４階平面図
E-01	電気設備工事特記仕様書	E-58	【訓練棟】電灯（誘導灯・誘導標識）設備 １階平面図
E-02	構内配電線路・構内通信線路図	E-59	【訓練棟】電灯（誘導灯・誘導標識）設備 ２～４階平面図
E-03	受変電設備　単線結線	E-60	【訓練棟】拡声設備　１階平面図
E-04	幹線系統図	E-61	【訓練棟】拡声設備　２～４階平面図
E-05	動力制御盤結線図（１）	E-62	（参考）防火区画図
E-06	動力制御盤結線図（２）	E-63	（参考）防火区画貫通処理工法参考図
E-07	電灯分電盤結線図（１）	E-64	（参考）建築参考断面図　庁舎棟
E-08	電灯分電盤結線図（２）	E-65	（参考）建築参考断面図　訓練棟（１）
E-09	電灯分電盤結線図（３）	E-66	（参考）建築参考断面図　訓練棟（２）
E-10	照明器具参考姿図（１）		
E-11	照明器具参考姿図（２）		
E-12	【庁舎棟】幹線・動力設備　ピット平面図		機械設備
E-13	【庁舎棟】幹線・動力設備　１階平面図	M-01	図面リスト
E-14	【庁舎棟】幹線・動力設備　２階平面図	M-02	機械設備工事特記仕様書
E-15	【庁舎棟】幹線・動力設備　Ｒ階平面図	M-03	配置図
E-16	【庁舎棟】電灯（電灯分岐）設備　１階平面図	M-04	空気調和設備　機器表（１）
E-17	【庁舎棟】電灯（電灯分岐）設備　２階平面図	M-05	空気調和設備　機器表（１）
E-18	【庁舎棟】電灯（電灯分岐）設備　Ｒ階平面図	M-06	【庁舎棟】空気調和設備　１階平面図
E-19	【庁舎棟】電灯（非常照明）設備　１階平面図	M-07	【庁舎棟】空気調和設備　２階平面図
E-20	【庁舎棟】電灯（非常照明）設備　２階平面図	M-08	【庁舎棟】空気調和設備　Ｒ階平面図
E-21	【庁舎棟】電灯（非常照明）設備　Ｒ階平面図	M-09	【庁舎棟】換気設備　１階平面図
E-22	【庁舎棟】電灯（コンセント分岐）設備　１階平面図	M-10	【庁舎棟】換気設備　２階平面図
E-23	【庁舎棟】電灯（コンセント分岐）設備　２階平面図	M-11	【庁舎棟】換気設備　中２階平面図
E-24	【庁舎棟】電灯（コンセント分岐）設備　Ｒ階平面図	M-12	【庁舎棟】換気設備　Ｒ階平面図
E-25	【庁舎棟】電灯（空調機器電源）設備　１階平面図	M-13	【庁舎棟】給排水衛生設備　機器表・器具表
E-26	【庁舎棟】電灯（空調機器電源）設備　２階平面図	M-14	給排水衛生設備　外構図
E-27	【庁舎棟】構内情報通信網・構内交換設備 系統図・端子盤表	M-15	給排水衛生設備　系統図
E-28	【庁舎棟】構内情報通信網・構内交換設備　ピット平面図	M-16	【庁舎棟】給排水衛生設備　１階平面図
E-29	【庁舎棟】構内情報通信網・構内交換設備　１階平面図	M-17	【庁舎棟】給排水衛生設備　２階平面図
E-30	【庁舎棟】構内情報通信網・構内交換設備　２階平面図	M-18	【庁舎棟】給排水衛生設備　Ｒ階平面図
E-31	【庁舎棟】誘導支援設備　機器参考姿図	M-19	【庁舎棟】給排水衛生設備　１階平面詳細図（１）
E-32	【庁舎棟】誘導支援・テレビ共同受信・入退室設備　系統図	M-20	【庁舎棟】給排水衛生設備　１階平面詳細図（２）
E-33	【庁舎棟】防災無線・移動無線設備　系統図	M-21	【庁舎棟】給排水衛生設備　２階平面詳細図（１）
E-34	【庁舎棟】誘導支援・テレビ共同受信・入退室・ 防災無線設備　１階平面図	M-22	【庁舎棟】給排水衛生設備　２階平面詳細図（２）
E-35	【庁舎棟】誘導支援・テレビ共同受信・入退室・ 防災無線設備　２階平面図	M-23	【訓練棟】空気調和・換気設備　１階平面図
E-36	【庁舎棟】誘導支援・テレビ共同受信・入退室・ 防災無線設備　Ｒ階平面図	M-24	【訓練棟】空気調和・換気設備　２～４階平面図
E-37	【庁舎棟】災害対策室（研修室）　映像・音響設備 システムブロック図・平面図・機器参考姿図（１）	M-25	【訓練棟】給排水衛生設備　１階平面図
E-38	【庁舎棟】災害対策室（研修室）　映像・音響設備 機器参考姿図（１）	M-26	【訓練棟】給排水衛生設備　２～４階平面図
E-39	【庁舎棟】拡声設備　システムブロック図・機器参考姿図		
E-40	【庁舎棟】拡声設備　系統図		
E-41	【庁舎棟】監視カメラ設備　システムブロック図・ 機器参考姿図		
E-42	【庁舎棟】監視カメラ設備　系統図		
E-43	【庁舎棟】拡声・監視カメラ設備　１階平面図		
E-44	【庁舎棟】拡声・監視カメラ設備　２階平面図		
E-45	【庁舎棟】拡声・監視カメラ設備　Ｒ階平面図		
E-46	【庁舎棟】自動火災報知　凡例・注記・系統図		
E-47	【庁舎棟】自動火災報知・誘導標識設備　１階平面図		
E-48	【庁舎棟】自動火災報知・誘導標識設備　２階平面図		
E-49	【庁舎棟】自動火災報知設備　Ｒ階平面図		
E-50	【庁舎棟】発電設備　仕様書・参考計算書・機器参考姿図		
E-51	【庁舎棟】発電設備　配管系統図・１～Ｒ階平面図		
E-52	【訓練棟】幹線・動力設備　１階平面図		
E-53	【訓練棟】幹線・動力設備　２～４階平面図		
E-54	【訓練棟】電灯（電灯分岐）設備　１階平面図		
E-55	【訓練棟】電灯（電灯分岐）設備　２～４階平面図		
E-56	【訓練棟】電灯（コンセント分岐）設備　１階平面図		

建　築　工　事　特　記　仕　様　書　【令和７年４月版】

Ⅰ　工　事　概　要

1　工事番号・名称　令和８年度　白石消防署庁舎建替工事
2　工　事　場　所　白石市大平中目字中田　地内
3　用途地域等
　都市計画区域（⊙ 内　・　外）　用途地域（ なし　　）
　防火地域等（・　防火　　・　準防火　　・　指定なし　　⊙ ２２条　）
　その他の地域・地区（
4　主　要　用　途　庁舎（消防署）
5　敷　地　面　積　7,811.92
6　工 事 の 概 要
　新築工事一式

　①消防署庁舎　RC造2階　延べ面積　1633.19㎡
　②主訓練塔　　RC造4階　延べ面積　 103.21㎡
　③副訓練塔1　 RC造3階　延べ面積　 291.55㎡
　④副訓練塔2　 RC造3階　延べ面積　 190.20㎡
　⑤次火水槽
　※外構工事を含む

7　別 途 工 事

8　そ　の　他

9　特記仕様書の範囲
　特記仕様書は、本特記仕様書のほか以下の〇印もので構成する。
　⊙ 構造特記仕様書　　・ 外構工事特記仕様書　　・ 植栽工事特記仕様書
　・ 解体工事特記仕様書　⊙ 電気設備工事特記仕様書　⊙ 機械設備工事特記仕様書
　・　　・

Ⅱ　建　築　工　事　仕　様

1．共通仕様
　図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書(令和7年版)」（以下、「標準仕様書」という。）による。ただし、標準仕様書に記載されていない事項は、「公共建築改修工事標準仕様書（令和7年版）（以下「改修標準仕様書」という。）「公共建築木造工事標準仕様書（令和4年版）」（以下「木造標準仕様書」という。）及び「建築物解体工事共通仕様書（令和4年版）」(以下「解体共通仕様書」という。）による。　なお、施工条件明示書は、特記仕様書に含める。
2．特記仕様
　1）項目は、番号に〇印のついたものを適用する。
　2）特記事項は、⊙印のついたものを適用する。⊙印のつかない場合は※印のついたものを適用する。⊙印と⊗印のついた場合は、共に適用する。
　3）特記事項に記載の（　）、＜　＞及び［　］内の表示番号は、それぞれ「標準仕様書」、「改修標準仕様書」及び「解体共通仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。

章	項　目	特　記　事　項
1 一般共通事項	①. 一般事項	⊙ 工事施工中に予期せぬ事態や疑義が生じた場合は、監督職員に報告の上，指示に従うこと。 ⊙ 受注者は、監督職員と随時打合せを行い、工程の確認・調整及び工事の円滑な進捗をはかること。 ⊙ 施工体系図を現場に掲示すること。 ・ 工事着手前及び完成時に，以下に示す調査範囲の近隣家屋等の内外の状況（地盤，擁壁，内外壁，床，建具等）を調査・記録し，報告書を監督職員に提出すること。 ※工事に伴う環境調査要領 平成28年4月（東京都建設局編集）による ※調査に先立ち調査計画書を作成し監督職員の確認を受けること 調査範囲　　※　図示
	②. 適用基準等	⊙ 建設工事執行規則(昭和39年3月宮城県規則第9号) ⊙ 宮城県建設工事元請・下請関係適正化要綱 ⊙ 建築工事標準詳細図（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　令和4年版） ⊙ 営繕工事写真撮影要領（国土交通省大臣官房官庁営繕部 令和5年版）及び工事写真撮影ガイドブック＜建築工事編及び解体工事編＞ （国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　令和5年度版） ・ 建築構造設計基準（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 令和3年版）
	3．概成工期	工事工期より　　日前　(1.2.1)
	④. 工事実績情報(CORINS)の登録	※　適用する（請負精算額が500万円以上の場合）　(1.1.4) 受注時、変更時及び工事完成時にあらかじめ監督職員の確認を受け、契約締結後及び工事完成後の10日以内に登録手続きを行い、工事カルテの受領書を、監督職員に提出すること。 ・ 適用しない
	⑤. 発生材の処理等	発生材の処理　(1.3.11) ・引渡しを要するもの（　　） ・特別管理産業廃棄物（　　） 受入れ施設名・所在地(km) ・再生資源化を図るもの 種　類 ／ 受入施設名 ／ 所在地(Km) ／ 備考 ・ セメントコンクリート塊 ／ ／ ／ ・ アスファルトコンクリート塊 ／ ／ ／ ・ 建設発生木材 ／ ／ ／ ⊙ 建設汚泥 ／ ｼﾞｬｲｱｯﾄ(株)仙台支店 仙台ｴｺﾗﾝﾄﾞ ／ 仙台市宮城野区仙台港北一丁目2-1(58.9km) ／ ・現場において再利用を図るもの（　　） ・その他の廃棄物（安定型）(　　) 受入れ施設名・所在地(km) ・その他の廃棄物（管理型）(　　) 受入れ施設名・所在地(km) 上記の処理、処分は設計積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。なお、上記によらない場合は、監督職員と協議すること。 また、処理、処分に先立ち処分場等の受入の可否を確認すること。
	⑥. 電気保安技術者	・　適用する　　※　適用しない　(1.3.3)
	⑦. 事故報告	(1.3.9) 工事の施工中に事故が発生した場合は，直ちに監督職員に通報するとともに，監督職員から指示があった場合は「事故報告書」を指示する期日までに監督職員に提出する。（宮城県HP「事故発生報告」参照）
	⑧. 建築材料等	材料の品質等　(1.4.2) 本工事に使用する材料は，設計図書に定める品質及び性能を有するものとし，その材料にJIS又はJASのマークの表示のある場合を除いて監督職員の承諾を受ける。 特定のものが特記された場合は，設計図書に規定するもの又は，これらと同等のものとする。ただし，同等のものとする場合は，監督職員の承諾を受ける。 環境への配慮　(1.4.1) 本工事に使用する材料の選定及び施工に当たっては，「県有施設のシックハウスマニュアル」に留意し，揮発性有機化合物の放散による健康への影響に配慮する。 ホルムアルデヒド仕様 使用する材料のホルムアルデヒド放散量は、次のとおりとする。 ホルムアルデヒド放散量　規制対象外　の場合の建築材料 1）ＪＩＳ及びＪＡＳのＦ☆☆☆☆品 2）建築基準法施行令第２０条の７第４項による国土交通大臣認定品 3）次の表示のあるＪＡＳ適合品 a．非ホルムアルデヒド系接着剤使用 b．接着剤等不使用 c．非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない材料使用 d．ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用 e．非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料使用
	⑨. 室内の空気中の化学物質濃度の測定	※　ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物の測定　(1.5.9) 試料採取及び測定は，厚生労働省の「室内空気中化学物質の採取方法と測定方法」の新築住宅の例に準拠するほか，拡散方式ではサンプラー製造所の定める仕様により行う。 測定対象物質　※ ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ（濃度指針値　100μg/m3 ・ 0.08ppm） ※ ｽﾁﾚﾝ（濃度指針値　220μg/m3 ・ 0.05ppm） ※ ﾄﾙｴﾝ（濃度指針値　260μg/m3 ・ 0.07ppm） ※ ｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ（濃度指針値 3,800μg/m3 ・ 0.88ppm） ※ ｷｼﾚﾝ（濃度指針値　200μg/m3 ・ 0.05ppm） 測定する室等：　室内8ヶ所+屋外1ヶ所＝計9ヶ所 1階：出勤準備室、災害対策室 2階：事務室、署長室、待機室、ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞﾙｰﾑ、仮眠室2・18 採取方法：吸引方式又は拡散方式とし，拡散方式では８時間採取する。 測定結果等報告書の提出 次の事項を記載した報告書を１部提出する。 a 測定結果 b 試料採取時の状況（気温・湿度（室外・室内），天候，風の状況，日射進入状況，測定年月日・時間，窓の開閉状況，機械換気量，工事完成時から測定日までの日数） c 試料採取方法，測定方法，使用した測定機器 測定対象物質が指針値を超える濃度で検出された場合は，引渡は受けない。 ※　室内ＶＯＣ濃度の測定結果に関する書面の当該施設への掲示については，施設管理者に依頼する。 総揮発性有機化合物の測定は「24章 総揮発性有機化合物（TVOC）測定」参照
	⑩. 特別な材料の工法	「標準仕様書」及び「改修標準仕様書」に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法とする。
	⑪. 建築基準法による風圧力等の指定	(9.4.4)(10.5.3)(13.2.3、3.3、4.3)(14.7.3)(16.13.2、14.5)(23.5.4) 適　用　工　事 ／ 建築基準法の指定 ・ 合成高分子系ルーフィングシート工法 ／ 風速(V0)　※３０　・ ・ 外壁乾式工法　・　長尺金属板葺 ／ 地表面粗度区分　・Ⅱ　⊙Ⅲ ・ 折板葺　・　粘土瓦葺 ／ 多雪地域の指定　・有　⊙無 ⊙ アルミニウム笠木 ⊙ オーバーヘッドドア ・ ガラスブロック　・　屋上緑化
	⑫. 設計G.L.	⊗ 図　示　　・　現状平均地盤高
	⑬. 技　能　士	(1.5.2) ・ 下表で技能士を適用することとした職種に、１級又は単一級技能士を配置する。 ※　下表で技能士を適用することとした職種に、１級、２級又は単一級技能士を配置する。 ※　下表で技能士を適用しないとした職種でも、技能士の配置に努めること。 工事種目 ／ 技能検定職種（技能検定作業） 仮設工事 ／ ⊙とび（とび作業） 鉄筋工事 ／ ⊙鉄筋施工（鉄筋組立作業） コンクリート工事 ／ ⊙型枠施工（型枠工事作業） ⊙コンクリート圧送施工（コンクリート圧送工事作業） 鉄骨工事 ／ ⊙鉄工（構造物鉄工作業） コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事 ／ ・ＡＬＣパネル施工（ＡＬＣパネル工事作業） 防水工事 ／ ⊙防水施工 ／ ⊙アスファルト防水工事作業 ⊙ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・合成ゴム系シート防水工事作業 ・塩化ビニル系シート防水工事作業 ⊙シーリング防水工事作業 ・改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄｰﾁ防水工事作業 ・ＦＲＰ防水工事作業 石工事 ／ ・石材施工（石張り作業） タイル工事 ／ ⊙タイル張り（タイル張り作業） 木工事 ／ ・建築大工（大工工事作業） 屋根及びとい工事 ／ ・建築板金（内外装板金作業） 金属工事 ／ ⊙内装仕上施工（鋼製下地工事作業） ⊙建築板金（内外装板金作業） ・バルコニー施工（金属バルコニー工事作業） 左官工事 ／ ⊙左官（左官作業） 建具工事 ／ ⊙サッシ施工（ビル用サッシ施工作業） ⊙ガラス施工（ガラス工事作業） ⊙自動ドア施工（自動ドア施工作業） ｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ工事 ／ ⊙カーテンウォール施工（金属製ｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ工事作業） ⊙サッシ施工（ビル用サッシ施工作業） ⊙ガラス施工（ガラス工事作業） 塗装工事 ／ ⊙塗装（建築塗装作業） 内装工事 ／ ⊙内装仕上施工 ／ ⊙プラスチック系床仕上工事作業 ⊙ボード仕上工事作業 ⊙表装（壁装作業） 排水工事 ／ ⊙配管（建築配管作業） 舗装工事 ／ ⊙路面標示施工 ／ ⊙溶融ﾍﾟｲﾝﾄﾊﾝﾄﾞﾏｰｶｰ工事作業 ・加熱ﾍﾟｲﾝﾄﾏｼﾝﾏｰｶｰ作業 植栽工事 ／ ・造園（造園工事作業）
	⑭. 完成図等	営繕工事完成引渡要領（令和7年4月1日宮城県土木部営繕課・設備課）により作成する。 ※　白焼縮小（Ａ３版）２つ折製本　　２部 ※　完成図面　JWW形式又はDXF形式のCADデータ及びPDF形式　　DVD-R等２部 ※　施設紹介パンフレット（カラーA3両面2つ折り）　1,000部
	⑮. 完成写真	※　作成する　　・　作成しない 営繕工事写真撮影要領により、完成届に添付する完成写真とは別に次のものを原本（電子媒体）とともに監督職員に提出する。 なお、原本は、DVD-R等で提出すること。 分類 ／ サイズ ／ 撮影箇所数 ／ 部数 ／ 提出様式 ※カラー・白黒 ／ ※Ｌ・２Ｌ・六切り ／ ※営繕工事写真撮影要領の完成写真程度・　箇所　枚 ／ ※１部・　部 ／ ※工事用アルバムA4版ポケット式程度・フリーアルバム（台紙寸法323×270程度）・ アルバムは、監督職員との協議により紙媒体又は電子媒体とする。
	⑯. 設備工事との取合い	施工範囲　　各工事の区分表による。 施 工 図　　設備機器の位置，取り合い等が検討できる施工図を提出して監督職員の承諾を受ける。
	⑰. 火災保険等	工事目的物及び工事材料等について，次により保険に付す。 保険の種類　　※　火災保険　　※　建設工事保険 保険期間　　※　工事着手から工事目的物引き渡しまで
	18. 住宅瑕疵担保責任	住宅瑕疵担保履行法に基づく保険の加入又は保証金の供託の義務付け ・あり（新築住宅の場合）　　・なし（新築住宅以外の場合）
2 仮設工事	①. 仮囲い	※　設ける　　・　設けない　　仮囲いの位置及び延長は図示による。 ⊙キャスターゲート（H=1.8，W= 6 ）× 2　箇所 ・シートゲート（H=　，W=　）×　　箇所
	②. 危害防止	※　シート張り　　・　金網養生
	③. 交通誘導員	⊙ 配置する（ 144日　× 1 人　＝　144 人日）　　※　配置しない
	④. 揚重機械器具	⊙ ラフテクレーン（　25ｔ吊り）×　95　日 ⊙ ラフテクレーン（　16ｔ吊り）×　11　日
	⑤. 監督職員事務所	※　設ける（請負者事務所に打合せ会議室を確保する） ・　設ける（規模　　㎡程度　請負者事務所と同棟　・可　・否） 備品（　　）
	⑥. 工事表示板	※　設置する　　・　設置しない 営繕工事における工事及びコスト表示要領（令和6年4月1日宮城県土木部営繕課・設備課制定）による。
	7．事業コスト表示板	・　設置する（５億円以上の工事が対象）　　・　設置しない 営繕工事における工事及びコスト表示要領（令和6年4月1日宮城県土木部営繕課・設備課制定）による。
	⑧. 工事用水	構内既存の施設　・　利用できる（※有償　・無償）　※　利用できない
	⑨. 工事用電力	構内既存の施設　・　利用できる（※有償　・無償）　※　利用できない
	⑩. 工事用通路	※　指定しない　　・　指定する（図示）
	⑪. 足場等	(2.2.4) 足場を設ける場合は、「手すり先行工法等に関するガイドライン（厚生労働省平成21年4月策定）」によるものとし、設置については「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」及び「働きやすい安心感のある足場に関する基準」によること。
3 土工事	①. 埋戻し及び盛土の種別	種別　・Ａ種　※Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種　(3.2.3)(表3.2.1) Ｃ種の場合　建設発生土受入数量　㎥ 発生場所
	②. 建設発生土の処理	・　構内指示の場所に敷きならす。　(3.2.5) ・　構内指示の場所にたい積する。 ⊙ 構外指示の場所に搬出する。 ㈲斎藤建材・角田市小坂字石原132(27.6km)
	3．有害物質含有調査	・　有害物質の含有を調査する。 調査範囲及び項目　※図示
4 地業工事	①. 支持地盤	(3.2.1)(4.2.4)(4.3.4)(4.3.5)(4.4.4)(4.5.5)(4.5.6) ⊙杭基礎 支持層の位置及び土質(基礎ぐいの先端の位置含む) ・図示による　　・ ・直接基礎 支持層の位置及び土質(基礎底部の位置含む) ・図示による　　・ ・地盤の載荷試験(平板載荷試験) ・行う 試験の方法、位置及び載荷荷重は図示による
	②. 既製コンクリート杭地業	(4.2.2)(4.3.1)(4.3.3)～(4.3.6)(4.3.8) 杭の種類 ・　遠心力高強度プレストレストコンクリート杭（PHC杭） ・　プレストレスト鉄筋コンクリート杭（PRC杭） ・　外殻鋼管付きコンクリート杭（SC杭） SC杭の鋼管材料　　・SKK400　　・SKK490 杭の種類、性能及び曲げ強度等による区分(種別)、寸法、継手の箇所数等 種類 ／ 種別 ／ 杭径(mm) ／ 厚さ(mm) ／ 杭長(mm) ／ 継手数 ／ セット数 ／ 長期設計支持力(kN/本) ／ 備考 試験杭 ／ 上杭・中杭・下杭 ／ ※構造図による 本　杭 ／ 上杭・中杭・下杭 杭先端部形状 ・開放型　　・半開放形　　・閉そく形 工法 ・セメントミルク工法 ・図示による ⊙特定埋込杭工法 ・H13国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力式で α＝250を採用できる工法　　・図示による ⊙上記以外の特定埋込杭工法　　・図示による 工法 ⊙プレボーリング拡大根固め工法 ・中堀り拡大根固め工法 ・ 杭の精度 水平方向の位置ずれ ・杭径の1/4かつ100mm以下　　⊙評定等の評価内容による 建込み時の杭の鉛直度 ・1/100以内　　⊙評定等の評価内容による 杭の継手の工法 ・アーク溶接継手 溶接材料 ・標準仕様書7.2.5(1)(2)による　　・ ⊙機械式継手(継手部に接続金具を用いた方式のもの) 工法 ※評定等を受けた工法 杭頭の処理等 ・処理しない ⊙処理する 処理方法(切断にともなう補強方法含む) ⊙図示による　　・
	3．鋼杭地業	(4.2.2)(4.4.3)～(4.4.6) 鋼杭の材料 ・図示による 杭の種類、寸法、継手の箇所数等 種類 ／ 杭径(mm) ／ 厚さ(mm) ／ 杭長(mm) ／ 継手数 ／ セット数 ／ 長期設計支持力(kN/本) ／ 備考 試験杭 ／ 上杭・中杭・下杭 本　杭 ／ 上杭・中杭・下杭 特定埋込杭工法 ・H13国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力式で α＝250を採用できる工法　　・図示による ・上記以外の特定埋込杭工法　　・図示による 工法 ・(　　) 杭の継手の工法 ・アーク溶接継手 形状 ・JIS A 5525による　　・ 溶接材料 ・標準仕様書7.2.5(1)(2)による　　・ ・機械式継手(継手部に接続金具を用いた方式のもの) 工法 ※評定等を受けた工法 杭頭の処理等 ・処理しない ・処理する 処理方法(切断にともなう補強方法含む) ・図示による　　・

JOBNO

白石消防署庁舎建替工事　　建築工事特記仕様書-1

DATE　SCAL (A 1) 1/ -　(A 3) 1/ -　DRAWN　CHEK　A-01

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士　第 357230 号　永野ますみ

4 地業工事

4．場所打ちコンクリート杭地業 (4.5.1)

工法
・アースドリル工法(安定液　※使用する　・使用しない)
・リバース工法
・オールケーシング工法(孔内の水張り　・行う　・行わない)
併用する工法
・場所打ち鋼管コンクリート杭工法
鋼管巻き材料
・SKK400　・SKK490　・
・拡底杭工法(安定液　・使用する　・使用しない)
・
寸法等
・図示による　・
孔壁測定 (4.5.5)
・行う
測定方法、測定箇所は図示による
・行わない
材料その他 (4.5.4)
帯筋　・図示による
鉄筋の最小かぶり厚さ　・図示による
セメントの種類
※高炉セメントB種　・
コンクリートの種別
・A種　・B種　・評定等の評価内容による
スランプ
・18cm　・21cm
コンクリートの設計基準強度　(　　)N/mm2
構造体強度補正値(S)
・3N/mm2　・評定等の評価内容による　・

⑤ 砂利地業 (4.6.2～3)

材料
砂利　※　再生クラッシャラン　・
範囲
⊙基礎下、基礎梁下、土間スラブ下、土間コンクリート下
・図示による
厚さ
※60mm　・

⑥ 捨コンクリート地業

範囲
⊙基礎下、基礎梁下、土間スラブ下　・図示による
厚さ
※50mm　・
設計基準強度
※18N/mm2　・
スランプ
※15cm又は18cm　・

⑦ 床下防湿層 (4.6.2)(4.6.5)

材料
※ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上　・
範囲
⊙建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下(ピット下を除く)
・

8．地盤改良工法

種類及び施工方法等
・図示による　・

9．置換コンクリート地業（ラップルコンクリート地業）

形状等
・図示による　・
支持地盤
・図示による　・

5 鉄筋工事

① 鉄筋 (5.2.1)

鉄筋の種類等

種類の記号	呼び径 (mm)	備考
※　SD295	D10～D16	
※　SD345	D19～D25	
※　SD390	D29	

② 溶接金網 (5.2.2)

鉄線の形状等

種類	種類の記号	形状、網目寸法、径(mm)	使用部位
⊙溶接金網	WEP	6mm x 100	押えｺﾝｸﾘｰﾄ、ｼﾝﾀﾞｰｺﾝｸﾘｰﾄ
・鉄筋格子			

③ 鉄筋の継手 (5.3.4)

鉄筋の継手の方法等

種類　種類の記号	継手の方法	呼び径 (mm)
柱、梁の主筋	※ガス圧接　・機械式継手 ・溶接継手　・重ね継手	※D19以上
耐力壁の鉄筋	※重ね継手　・	※D16以下
その他の鉄筋(　　)	・重ね継手　・	

主筋及び耐力壁の重ね継手の長さ
※図示による
継手位置
※図示による
耐力壁の重ね継手の長さ
※図示による

④ 鉄筋の定着 (5.3.4)

鉄筋の定着長さ
※図示による　⊙構造特記による

⑤ 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔（溶接金網含む） (5.3.5)

最小かぶり厚さ
※図示による　⊙構造特記による
軽量コンクリートを適用する場合
・有り(※図示による)　適用箇所(　　)
耐久性上不利な箇所がある場合(塩害等を受けるおそれのある部分等)
・有り(※図示による)　適用箇所(　　)

6．特殊な鉄筋継手 (5.5.1～5.5)

・機械式継手
適用箇所
※図示による　・
性能(H12建告第１４６３号に適合するもの)
・A級　・
機械式継手の種類(　　)
鉄筋相互のあき
※図示による　・
施工完了後の試験
※図示による　・

・溶接継手 (5.6.1～6.5)
適用箇所
※図示による　・
性能(H12建告第１４６３号に適合するもの)
・A級　・
機械式継手の種類(　　)
鉄筋相互のあき
※図示による　・
施工完了後の試験
※図示による　・

⑦ 各部配筋

各部の配筋は，図示による。図示がなければ，標準仕様書 末尾 資料の「各部配筋　参考図」による。 (5.3.7)

⑧ 柱の帯筋

※　H形　・　W－I形　・SP形　(参考図　図2.2)

⑨ 耐震壁を除く壁の開口部補強

・　A形　※　B形　(参考図　表4.3～4.4)
※構造特記による

⑩ はり貫通孔の補強

補強形式　※H３形以上　・M型　・MH型　(参考図　表7.1～7.3)

① 圧接完了後の圧接部の試験

外観試験 (5.4.10)
※　行う(全数)
抜取試験
※　超音波探傷試験　・引張試験

6 コンクリート工事

① コンクリートの種類

種　別　※　I類　・　II類　**(6.2.1)(表6.2.1)**

② 設計基準強度

※建物躯体は構造特記による

普通コンクリート (6.2.2)

Fc (N/mm2)	適用箇所
・24	・
⊙21	外構

構造体強度補正値　※標準仕様書表6.3.2による

軽量コンクリート

Fc (N/mm2)	適用箇所

構造体強度補正値　※標準仕様書表6.3.2による

③ スランプ

※建物躯体は構造特記による

基礎，基礎梁，土間スラブ　※　15cm　・　18cm (6.2.4)(表6.2.2)
柱，梁，スラブ，壁　※　18cm

④ セメントの種類 (6.3.1)

セメントの種類	適用箇所
※ 普通ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄ、高炉ｾﾒﾝﾄA種、ｼﾘｶｾﾒﾝﾄA種又はﾌﾗｲｱｯｼｭｾﾒﾝﾄA種	建物躯体（下記以外）
・ 高炉ｾﾒﾝﾄB種	基礎、地中梁
・ ﾌﾗｲｱｯｼｭｾﾒﾝﾄB種	基礎、地中梁

⑤ 骨材

アルカリシリカ反応性による区分 (6.3.1)
⊙A　・B

6．軽量コンクリート

種類 (6.10.1)(表6.10.1)
・1種　・2種

⑦ 無筋コンクリート

適用箇所 (6.14.1)
⊙標準仕様書6.14.1(4)による箇所
・標準仕様書6.14.1(4)以外の箇所
・図示による　・
設計基準強度
※18N/mm2　・
スランプ
※15cm又は18cm　・

⑧ 打継ぎの位置、ひび割れ誘発目地、打継目地

打継ぎの位置 (6.6.4)(6.8.1)(9.7.3)
※標準仕様書6.6.4(1)による　・図示による
目地寸法
※標準仕様書9.7.3(1)(ア)による　・図示による
ひび割れ誘発目地の位置・形状・寸法
⊙図示による

⑨ 打増し厚さ（打放し仕上げ部）

⊙打放し仕上げの打増し厚さ(外部に面する部分に限る) (6.8.1)
⊙20mm　・
⊙打放し仕上げの打増し厚さ(内部に面する部分に限る)
⊙10mm　・20mm　・

⑩ 型枠

せき板の材料及び厚さ (6.8.2)
⊙合板(※12mm　・　　)
・断熱材を兼用した型枠材
使用箇所　※図示による　・
・MCR工法用シート
適用箇所　※図示による　・
打増し厚さ　・20mm　・
打増し範囲　※図示による　・
スリーブの材種・規格等
⊙図示による　・

7 鉄骨工事

① 鉄骨の製作工場 (7.1.3)

※　指定性能評価機関の性能評価を受けて、国土交通大臣の認定を受けた下記のグレード以上の工場
・　S　・　H　⊙　M　・　R　・　J
・ 本物件と同等規模構造の施工実績を有し、監督職員の承諾する工場

※　施工監理技術者（※配置する　・配置しない） (7.1.4)

2．鋼材の種別 (7.2.1)(表7.2.1)

※構造図による

種類の記号	適用箇所	規格
	※図示による(　　)	※JISによる　・
	※図示による(　　)	※JISによる　・
	※図示による(　　)	※JISによる　・

3．高力ボルト

高力ボルトの種類 (7.2.2)
※　トルシア形高力ボルト
・　ＪＩＳ形高力ボルト

ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 (7.3.2)
・図示による　・
すべり試験の実施 (7.4.2)
・行う(試験方法等　・図示による)　※行わない

④ 普通ボルト

ボルト及びナットの材料 (7.2.3)
⊙標準仕様書 表7.2.3による　・
座金
⊙標準仕様書7.2.3(4)による　・
ボルトの径
⊙図示による　・
ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 (7.3.2)
⊙図示による　・

⑤ 溶融亜鉛めっき高力ボルト

溶融亜鉛めっき高力ボルトの径 (7.2.3)
⊙図示による　・
ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 (7.3.2)
⊙図示による　・
摩擦面の処理方法 (7.4.2)
⊙ブラスト処理(表面粗度50μmRz以上)
・
・
すべり試験の実施
・行う(試験方法等　・図示による)　※行わない

⑥ アンカーボルト

構造用アンカーボルト (7.2.4)
種類
・ABR400　・ABR490　・
建方用アンカーボルト
種類
⊙SS400　・
アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度
⊙標準仕様書 表7.2.3による　・
ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 (7.3.2)
⊙図示による　・

⑦ 溶接材料

溶接材料 (7.2.5)
⊙標準仕様書7.2.5(1)(2)による
・

⑧ ターンバックル

種類 (7.2.6)
建築用ターンバックルボルト
※羽子板ボルト　・
建築用ターンバックル胴
※割枠式　・

9．床構造用のデッキプレート

材質、形状及び寸法 (7.2.7)(7.7.8)

	適用箇所	材質・形状・寸法	備考
・デッキプレート単独の構法			
・デッキプレートとコンクリートとの合成スラブとする構法			
・			

開口部補強要領(補強筋の定着長さ等を含む)
・図示による　・
鉄骨部材への溶接方法
・図示による　・
耐火認定
・あり　耐火時間　・図示による　・
・なし

10．スタッド

種類等 (7.2.8)

呼び名	呼び長さ(mm)	適用箇所
・16		
・19		
・22		

⑪ 柱底均しモルタル

無収縮モルタルとする場合の材料、調合等 (7.2.9)
※標準仕様書7.2.9(2)(ア)から(エ)による　・

12．仮組

仮組を行う範囲 (7.3.10)
※図示による　・

⑬ 溶接技能者の技量付加試験

試験の要領 (7.6.3)
・図示による　・

⑭ 溶接接合

開先の形状　※図示による　・ (7.6.4)(7.6.7)
鋼製エンドタブを切断する部分
切断する箇所　・図示による　・
切断範囲　・
スカラップの形状　※図示による　・

⑮ 溶接部の試験

溶接部の外観試験 (7.6.12)
平12建告第1464号第二号に関する試験方法等
・「突合わせ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」3.5.2
受入検査による
・抜き取り検査①　※抜き取り検査②
JASS 6 付則6［鉄骨精度検査基準］の付表3「溶接」に関する試験方法等
・JASS6 10.4［受入検査］e.溶接部の外観検査(1)から(5)までによる。
ただし、完全溶込み溶接部の外観検査の抜取箇所は、超音波探傷試験の試験箇所と同一とする。外観試験の不合格箇所は、すべて標準仕様書7.6.13による補修を行い、再試験する。
完全溶込溶接部の試験は超音波探傷試験とし、下表による。

溶接の区分	AOQL(%)	検査水準	備考
工場溶接	・2.5　※4.0	※6　・	

⑯ 錆止め塗装

塗料の範囲 (7.8.2)(7.8.4)(18.3.2)
耐火被覆材の接着する面の塗装範囲
・図示による　・
耐火被覆材の接着する面以外の塗装範囲
※標準仕様書7.8.2(1)による　・図示による
塗料の種別
・下記以外の鉄鋼面は、18章[塗装工事]による
・鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブで鉄骨に溶接されたものの内側の錆止め塗料の種別
※A種　・
・耐火被覆材が接着する面の塗料の種別
・

17．耐火被覆 (7.9.2～8)

種別	材料・工法	性能(耐火時間)	適用箇所(部位・部分)
・耐火材吹付け	・乾式吹付けロックウール		
	※半乾式吹付けロックウール		
	・湿式ロックウール		
	・		
	・		
・耐火板張り	・繊維混入けい酸カルシウム板		
	・		
・耐火材巻付け	・高断熱ロックウール		
	・		
・ラス張りモルタル塗り	-		
・耐火塗料	・		

18．アンカーボルトの設置等

構造用アンカーボルトの形状及び寸法 (7.2.4)(7.10.3)(表7.10.1)
・図示による　・
構造用アンカーフレームの形状及び寸法
・図示による　・
建方用アンカーボルトの形状及び寸法
・図示による　・
建方用アンカーボルトの保持及び埋込み工法
種別　・A種　・B種
構造用アンカーボルトの形状及び寸法
厚さ　・
種別　※A種　・B種

19．軽量形鋼構造

ボルトの接合部 (7.11.2)
・普通ボルト接合　・

8 押出成型セメント板工事 コンクリートブロック・ALCパネル

1．補強コンクリートブロック造塀

ブロックの種類 (8.4.2～5)(表8.4.2～4)

断面形状及び圧縮強さによる区分	正味厚さ(mm)	モデュール呼び寸法 長さ	モデュール呼び寸法 高さ	化粧の有無	適用箇所	備考
※空洞ブロックC(16)				・無　・有		
・						

各部の背筋　※図示による　・
目地仕上げ　・押し目地仕上げ　・化粧目地仕上げ
まぐさを受ける開口部両側のブロックのモルタル又はコンクリートで充填する範囲
※図示による　・

2．コンクリートブロック帳壁及び塀

ブロックの種類 (8.3.2～4)(表8.3.1)

断面形状及び圧縮強さによる区分	正味厚さ(mm)	モデュール呼び寸法 長さ	モデュール呼び寸法 高さ	化粧の有無	(表8.3.1)以外の適用箇所	備考
※空洞ブロックC(16)				・無　・有		
・						

壁鉄筋の継手、定着及び末端部の折り曲げ形状
※図示による　・
各部の配筋
※図示による　・

3．ALCパネル (8.4.2～5)(表8.4.2～4)

区分			単位荷重(N/m²) 正荷重	単位荷重(N/m²) 負荷重	厚さ(mm)	幅及び長さ	耐火性能(時間)	構法の種別
・外壁用	・一般 ・コーナー	・平 ・意匠	・	・	・	図示による	・なし ・1	・A種 ・B種
・間仕切壁用	・一般 ・コーナー	・平 ・意匠	—	—	・	図示による	・なし ・1	・C種 ・D種 ・E種
屋根用	—	—	・	・	・	図示による	・0.5	※F種
・床用	—	—	・	—	・	図示による	・1 ・2	

パネルの相互の接合部に挿入する耐火目地材
・
パネル幅の最小限度を300mm未満とする場合
・図示による　・
目地幅　※20mm　・
外壁、間仕切壁パネルの伸縮目地への耐火目地材の充填
・適用する　・適用しない

JOBNO

白石消防署庁舎建替工事　建築工事特記仕様書-2

DATE　SCAL (A 1) 1／ -　(A 3) 1／ -　DRAWN　CHEK　A-02

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号 永野ますみ

8 押出成型セメント板工事 コンクリートブロック・ALCパネル

④ 押出成形セメント板

ECPの種類等 (8.5.2～5)(表8.5.1～2)

パネルの種類	形状	長さ(mm)	幅(mm)	工法の種別	備考
・外壁パネル	・F ・D ・T	・50・60・ ・50・60 ・60	※600 ・	・A種　・B種	
⊙間仕切壁パネル	・F ・D ・T	・50⊙60・ ・50・60 ・60	※600 ・	・A種　・B種 ⊙C種	

(注) F:フラットパネル、D:デザインパネル、T:タイルベースパネル

パネル幅の最小限度を300mm未満とする場合
　・図示による　　・
パネル相互の目地幅
　・長辺(　　)　短辺(　　)
出隅及び入隅のパネル接合目地の目地幅(mm)
　※15程度　　・
耐火構造以外の目地及び隙間の処理
　※パネルの製造所の仕様　　・

9 防水工事

① アスファルト防水

屋根保護防水 (9.2.2～5)(表9.2.3～9)
防水層の種別

種別	施工箇所	断熱材	絶縁用シート
⊙A-1	副訓練塔1・2の3階		※ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上又はフラットヤーンクロス70g/㎡程度 ・
・A-2			
・A-3			
・B-1			
・B-2			
⊙A1-1	屋根1	(種類) ※JIS A 9521に基づく押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種bA(スキン層付き) (厚さ)(mm) ・	※フラットヤーンクロス 70g/㎡程度 ・
・A1-2			
・A1-3			
・B1-1			
・B1-2			

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
　※標準仕様書表9.2.3及び表9.2.4による　　・
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
　※標準仕様書表9.2.5及び表9.2.6による　　・

平場の保護コンクリートの厚さ
　こて仕上げ　　※水下　80mm以上　　・
　床タイル張り　　※水下　60mm以上　　・
立上り部の保護工法
　・乾式保護材(品質・性能、試験方法は別表による)
　　窯業系パネルⅠ類　厚さ(　　)mm　幅(　　)mm
　・れんが押え(※JIS R 1250　・　　)
　・コンクリート押え
　・モルタル押え(屋内)

屋根露出防水
防水層の種別

種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料 種類	仕上塗料 使用量
⊙D-1	屋根3、庇1、訓練塔屋上		・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様	・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様
・D-2				
⊙D1-1	屋根2	標準仕様書9.2.2(9) (種類) ・ (厚さ)(mm) ・	・	・
・D1-2				

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
　※標準仕様書表9.2.8による　　・
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
　※標準仕様書表9.2.7及び表9.2.8による　　・
絶縁断熱工法のルーフドレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置
　※図示による　　・
絶縁工法及び絶縁断熱工法のだっき装置の種類及び設置数量
　種類
　　※アスファルトルーフィング類の製造所の指定　　・
　設置数量
　　※アスファルトルーフィング類の製造所の指定　　・(　　)個

屋内防水
防水層の種別

種別	施工箇所	種別	施工箇所
⊙E-1	救急洗浄室	・E-2	

保護層
　⊙設ける(※図示による　　・　　)
　・設けない
E-1の工程３を行う部位
　※貯水槽、浴槽等常時水に接する部位
　・
防水層の下地の立上り
　※コンクリート打放し立上り部の保護工法　標準仕様書表6.2.4のB種
　・
立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法
　※アルミニウム製　L-30×15×2.0mm程度
　・
防水層の下地のモルタル塗り
　・適用する(施工範囲　※図示による　　・　　)
　・適用しない
屋上排水溝　　※図示による　　・

2. 改質アスファルトシート防水

屋根露出防水 (9.3.2)(9.3.3)(表9.3.1～3)
防水層の種別

種別	施工箇所	断熱材	防湿用シート	仕上塗料 種類	仕上塗料 使用量	備考
・AS-T1				・改質アスファルトシートの製造所の仕様	※改質アスファルトシートの製造所の仕様	
・AS-T2						
・AS-T3						
・AS-T4						
・AS-J1						
・ASI-T1		標準仕様書(9.3.2(3)(ウ)) (種類) ・ (厚さ)(mm) ・	・設ける(改質アスファルトシートの製造所の仕様) ・設けない			
・ASI-J1						

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
　※標準仕様書表9.2.3及び表9.2.4による　　・
粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
　※標準仕様書表9.2.5及び表9.2.6による　　・
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
　※標準仕様書表9.2.5及び表9.2.6による　　・
立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法
　※アルミニウム製　L-30×15×2.0mm程度
　・
絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量
　種類
　　※アスファルトルーフィング類の製造所の指定　　・
　設置数量
　　※アスファルトルーフィング類の製造所の指定　　・(　　)個

3. 合成高分子系ルーフィングシート防水

(9.4.2～4)(表9.4.1～3)
防水層の種別

種別	施工箇所	可塑剤移行防止シートの材質	断熱性	仕上塗料 種類	仕上塗料 使用量	備考
・S-F1				※カラー・シルバー		
・S-F2						
・S-M1				※カラー・シルバー		
・S-M2						
・SI-F1			標準仕様書9.4.2(3)(エ)(b)	※カラー・シルバー		
・SI-F2						
・SI-M1			標準仕様書9.4.2(3)(エ)(a)	※カラー・シルバー		
・SI-M2		※発泡ポリエチレンシート ・				

S-F1、S-M1、S-F2、S-M2の仕様
　※非歩行仕様　　・軽歩行仕様
SI-M1及びSI-M2における防湿用フィルム
　・設置する　　・設置しない

屋内防水
防水層の種別

種別	施工箇所	保護層 平場の保護モルタル塗厚	保護層 立上り部の保護モルタル塗厚
・S-C1		・	※7mm以下 ・

合成高分子系ルーフィングシートの種類及び厚さ
　※標準仕様書表9.4.1～表9.4.2による　　・
固定金具の材質、形状及び寸法
　※厚さ0.4mm以上の防錆処理した銅板、ステンレス銅板又はそれらの銅板の両面に樹脂を積層加工したもの
　・
接着工法の場合の脱気装置の種類及び設置数量
　種類　　※ルーフィングシートの製造所の仕様
　　・
　設置数量　※ルーフィングシートの製造所の仕様
　　・(　　)個
接着工法の場合のプレキャストコンクリート部材下地の目地処理
　・行う(・図示による　　・　　)
プレキャストコンクリート部材の入隅部の増張り(種別S-F1、SI-F1の場合)
　・行う(・図示による　　・　　)
　・行わない

④ 塗膜防水

(9.5.3)(表9.5.1、2)
防水層の種別

種別	施工箇所	仕上塗料 種類	仕上塗料 使用量	保護層	備考
・X-1		※カラー・シルバー			
⊙X-2	庇、ハト小屋設備基礎	※カラー・シルバー			
・Y-1	※地下外壁防水 ・				
・Y-2	※屋内防水 ・			・適用する ・適用しない	

ウレタンゴム系塗膜防水X-1の脱気装置の種類及び設置数量
　種類　　※主材料の製造所の仕様
　　・
　設置数量　※主材料の製造所の仕様
　　・(　　)個

⑤ ケイ酸質系塗布防水

(9.6.4)(表9.6.1)
防水層の種別

種別	施工箇所	種別	施工箇所
⊙C-SUI	ピット壁・床	・C-SUP	

防水層の下地
　壁　　※コンクリート打放し仕上げ(表6.2.4 B種)
　　・
　天井部　※コンクリート打放し仕上げ(表6.2.4 B種)
　　・
下地処理(コンクリートの打継ぎ箇所の処理)
　※打継ぎ部分に対し、幅30mm程度の目地棒を用いる。目地棒の除去後、水洗い清掃し、ケイ酸質系塗布防水材の製造所の仕様により、ポリマーセメントモルタルを充填する。
　・図示による　　・

⑥ シーリング

(9.7.2)(9.7.3)(9.7.5)(表9.7.1)
下表以外は、標準仕様書表9.7.1による。
ただし、外壁タイル接着剤張り目地の場合のシーリングは11章に、カーテンウォール目地の場合のシーリングは17章による。

施工箇所	シーリング材の種類(記号)

仕上げを行わない施工箇所(・図示による　　・　　)
シーリング材の目地寸法
　※標準仕様書9.7.3(1)(ア)～(ウ)による
　・図示による　　・
接着性試験
　※簡易接着性試験　　・引張接着性試験

⑦ 防水保証

アスファルト防水、改質アスファルトシート防水及び合成高分子系ルーフィングシート防水の保証期間は、引渡し日より１０年間とし、メーカー・施工業者との連名の上、保証書を提出する。
塗膜防水及びケイ酸質系塗布防水については、メーカー・施工業者が通常定めている期間とし、保証書を作成し提出する。

10 石工事

1. 施工

石材の割付け (10.1.3)
　※図示による　　・

2. 石材等

天然石 (10.2.1、3)(表 10.2.1、2)

施工箇所	岩石の種類	形状及び寸法(mm)	厚さ(mm)	表面仕上げの種類	備考
・床石		・図示による			

ジェットバーナー仕上げのバフ仕上げの有無
　・あり　　・なし

テラゾブロック

施工箇所	種石の種類	種石の大きさ(mm)	形状による区分	仕上げ面による区分	寸法(mm)	表面仕上げの種類	備考
	※大理石 ・花こう岩	※1.5～12 ・	・平もの ・役もの	・片面 ・両面			

テラゾタイル

施工箇所	種石の種類	種石の大きさ(mm)	寸法による区分	表面仕上げの種類	備考
	※大理石 ・花こう岩	※1.5～12 ・	・300型 ・400型		

その他の材料
　取付け用モルタル
　　※専門工事業者の指定する製品
　　・
　既調合の目地モルタル
　　※専門工事業者の指定する製品
　　・
　浸透性吸水防水剤
　　※専門工事業者の指定する製品
　　・
　石裏面処理材
　　※専門工事業者の指定する製品
　　・
　裏打ち処理材
　　※専門工事業者の指定する製品
　　・
　ドレンパイプの材質
　　・樹脂ネット製パイプ　クロスメッシュ巻き　25～35φ
　　・
　金物の固定に使用する充填材料等
　　※専門工事業者の指定する製品
　　・

3. 外壁湿式工法

受金物 (10.2.2、3)(10.3.2、3)
　材質
　　※SUS304　　・
　形状及び寸法
　　・L-75×75×6(mm)の加工　長さ100mm又は150mm
　　・
アンカーの材質及び寸法
　材質
　　※SS400　　・
　寸法
　　・
あと施工アンカーの材質、寸法等
　種類　・
　材質　・
　寸法　・
ドレンパイプ
　・設ける(設置位置：図示による)
　・設けない
石裏面処理
　・適用する　　・適用しない
裏打ち処理
　・適用する　　・適用しない
下地ごしらえ
　※あと施工アンカー・横筋流し工法
　・あと施工アンカー工法
　・流し筋工法
目地
　一般目地
　　・目地モルタル　　(目地幅　・　　)
　　・既調合の目地モルタル　(目地幅　・　　)
　　※シーリング材　　(種類　※標準仕様書表9.7.1による　・　)
　　(目地幅及び深さ　・　　)
　伸縮調整目地
　　位置
　　・図示による
　　シーリング材の種類
　　※標準仕様書表9.7.1による
　　・
　　目地寸法
　　※幅・深さとも10mm以上
　　・図示による

4. 内壁空積工法

受金物 (10.2.2)(10.4.2、3)
　材質
　　※SUS304　　・
　形状及び寸法
　　・L-75×75×6(mm)の加工　長さ100mm又は150mm
　　・
あと施工アンカーの材質、寸法等
　種類　・
　材質　・
　寸法　・
石裏面処理
　・適用する　　・適用しない
裏打ち処理
　・適用する　　・適用しない
下地ごしらえ
　※あと施工アンカー・横筋流し工法
　・あと施工アンカー工法
一般目地
　・目地モルタル　　(目地幅　・　　)
　・既調合の目地モルタル　(目地幅　・　　)
　・シーリング材　　(種類　※標準仕様書表9.7.1による　・　)
　　(目地幅及び深さ　・　　)
伸縮調整目地
　位置
　　・6m程度
　　・
　シーリング材の種類
　　※標準仕様書表9.7.1による
　　・
　目地寸法
　　・

5. 外壁乾式工法

(10.2.2)(10.5.2、3)(表10.2.4)
乾式工法の方式による金物の種類、形状、寸法等
　※標準仕様書表10.2.4による
　(方式：　・スライド方式　　・ロッキング方式)
　・図示による
あと施工アンカーの材質、寸法等
　種類　・
　材質　・
　寸法　・
だぼ用の穴の位置
　※標準仕様書10.5.2(2)(ア)による
　・図示による
裏打ち処理
　・適用する　　・適用しない
シーリング材
　種類
　　※標準仕様書9.7.1による
　　・
　目地幅及び深さ
　　・

10 石工事

6．床及び階段の石張り

浸透性吸収防水材 (10.6.2、3)
（床石張り） ・適用する ・適用しない
石裏面処理
（床石張り） ・適用する ・適用しない
（階段張り） ・適用する ・適用しない
裏打ち処理
（床石張り） ・適用する ・適用しない
一般目地
・目地モルタル （目地幅 ・ ）
・既調合の目地モルタル （目地幅 ・ ）
・シーリング材 （種類 ※標準仕様書表9.7.1による ・ ）
（目地幅及び深さ ・ ）
伸縮調整目地
位置
※標準仕様書10.6.2(5)(a)による
・図示による
シーリング材の種類
※標準仕様書表9.7.1による
・
目地寸法
※幅・深さとも10mm以上
・図示による

7．笠木、甲板等の石張り

取付け工法 (10.2.2) (10.7.2)
・湿式工法
・乾式工法
特殊部位用金物
材質
※SUS304 ・
寸法等
引金物
※標準仕様書表10.2.3による
・
だぼ
※標準仕様書表10.2.3による
・
かすがい
※標準仕様書表10.2.3による
・
受金物
※標準仕様書10.2.2(1)(イ)による
・
乾式工法の方式による金物の種類、形状、寸法等
ファスナー
※標準仕様書表10.2.4に準ずる
（方式：・スライド方式 ・ロッキング方式）
・図示による
あと施工アンカーの材質、寸法
種類 ・
材質 ・
寸法 ・
石裏面処理
・適用する ・適用しない
乾式工法の場合の取付け代
※70mm程度
石材の裏面の補強用モルタル
・適用する ・適用しない
一般目地
・目地モルタル （目地幅 ・ ）
・既調合の目地モルタル （目地幅 ・ ）
・シーリング材 （種類 ※標準仕様書表9.7.1による ・ ）
（目地幅及び深さ ・ ）
伸縮調整目地
位置
※標準仕様書10.6.2(5)(a)による
・図示による
シーリング材の種類
※標準仕様書表9.7.1による
・
目地寸法
・図示による

11 タイル工事

1．伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地

位置 (11.1.3)(表11.1.1)
※標準仕様書表11.1.1による
・図示による
目地寸法
・図示による

2．見本焼き 試験施工

見本焼き (11.1.4)
・行う(施工箇所：) ※行わない
試験張り
・行う(範囲、仕様等は図示による) ※行わない

③ セメントモルタルによる タイル張り

タイルの形状、寸法等 (11.2.2、6)

施工箇所	種類	形状/寸法(mm)	吸水率による区分 Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類	うわぐすり 施ゆう	無ゆう	役物 有	無	色 標準	特注	耐凍害性 有	無	耐滑り性
ｴﾝﾄﾗﾝｽﾎﾞｰﾁ	磁器質	300×300	⊙	・	・	⊙	・	・	⊙	⊙	・	⊙	・	⊙
点字ﾀｲﾙ	磁器質	300×300	⊙	・	・	・	⊙	・	⊙	⊙	・	⊙	・	⊙
救急洗浄室ｼｬﾜｰ	磁器質	50×50	⊙	・	・	⊙	・	⊙	・	⊙	・	・	⊙	⊙
門塀	せっ器質	二丁掛	⊙	・	・	⊙	・	・	⊙	⊙	・	⊙	・	・

標準的な曲がりの役物は一体成形とする。

既調合モルタル
モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。

既調合目地材

下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の下地処理
※目荒し工法（高圧水洗処理）
・MCR工法
・
壁タイル張りの工法
内外装タイル
・密着張り
※改良圧着張り
内装タイル以外のユニットタイル
※マスク張り
・モザイクタイル張り

4．有機系接着剤によるタイル張り

タイルの形状、寸法等 (11.3.2～5)

施工箇所	種類	形状/寸法(mm)	吸水率による区分 Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類	うわぐすり 施ゆう	無ゆう	役物 有	無	色 標準	特注	耐凍害性 有	無	耐滑り性
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・

標準的な曲がりの役物は一体成形とする。

内装タイル接着剤張りの接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆
目地のシーリング材
打継ぎ目地
※ポリウレタン系シーリング材
・
ひび割れ誘発目地
※ポリウレタン系シーリング材
・
伸縮調整目地及びその他の目地
※変成シリコーン系シーリング材
・
下地調整塗材塗りを行うコンクリート素地面の下地処理
※目荒し工法（高圧水洗処理）
・MCR工法
・
外装タイルの目地詰め
・行う ・行わない

① 施工一般

材料のホルムアルデヒド放散量 (12.2.1)
※F☆☆☆☆又は標準仕様書12.2.1(1)(ｳ)(b)による
・

2．製材

(12.2.1) (12.4.1) (12.5.1) (12.6.1) (12.7.1)

・JAS 1083-5 製材-第5部に基づく下地用製材

施工箇所	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理
		※2級・	※A種 ・B種 ・	
		※2級・	※A種 ・B種 ・	

・JAS 1083-2 製材-第2部に基づく造作用製材

施工箇所	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理
見え掛り面		※上小節・	※A種 ・B種 ・	
見え掛り面以外		※小節以上・	※A種 ・B種 ・	

・JAS 1083-6 製材-第6部に基づく広葉樹製材

施工箇所	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理
		※1等・	※10%以下 ・A種 ・B種	
		※1等・	※10%以下 ・A種 ・B種	

・JAS 1083（製材）以外の製材

施工箇所	寸法(mm)	材面の品質	防虫処理	含水率
		（ ）・造作材の場合（※A種 ・B種）	・適用する ・適用しない	※A種 ・B種 ・
		（ ）造作材の場合（※A種 ・B種）	・適用する ・適用しない	※A種 ・B種 ・

③ 造作用集成材

・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材 (12.2.1)

施工箇所	品名	樹種名	寸法(mm)	見付け材面	見付け材面の品質
上り框		タモ	85×60		※1等 ・2等
					※1等 ・2等

・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材

施工箇所	品名	材種名	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面	見付け材面の品質
		化粧薄板：芯材：			※1等・2等	
		化粧薄板：芯材：			※1等・2等	

・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

施工箇所	材種名	寸法(mm)	見付け材面の品質	含水率
				※15%以下・
				※15%以下・

・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材

施工箇所	材種名	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	含水率
	化粧薄板：芯材：				※15%以下・
	化粧薄板：芯材：				※15%以下・

4．造作用単板積層材

・JAS 0701 に基づく造作用単板積層材 (12.2.1)

施工箇所	品名	寸法(mm)	表面の品質	防虫処理
				・適用する ・適用しない
				・適用する ・適用しない

・JAS 0701 以外の造作用単板積層材

施工箇所	寸法(mm)	表面の品質	含水率	防虫処理
			※14%以下・	・適用する ・適用しない
			※14%以下・	・適用する ・適用しない

・JAS 3079 に基づく直交集成板

施工箇所	品名	強度等級	種別	接着性能（使用環境）	樹種名	寸法(mm)

5．合板等

・「合板の日本農林規格」による普通合板 (12.2.1)

施工箇所	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理
	※5.5・		※1類 ・2類	広葉樹 ※2等以上 ・1等 針葉樹 ※C-D以上・	・適用する ・適用しない

・「合板の日本農林規格」による構造用合板

施工箇所	等級	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	厚さ(mm)	防虫処理	強度等級
	※2級以上・1級		※1類・特類	※C-D以上・	※12・	・適用する ・適用しない	・適用する（ ）・適用しない

・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板

施工箇所	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理
			・1類 ・特類	・適用する ・適用しない

・「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板

施工箇所	化粧板に使用する単板の樹種名	厚さ(mm)	接着の程度	防虫処理
			・1類 ・2類	・適用する ・適用しない

・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板

施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	単板の樹種名	化粧加工の方法	防虫処理
		・1類 ・2類			・適用する ・適用しない

・パーティクルボード

施工箇所	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分	厚さ(mm)
		※13タイプ・	※P又はM・		※15・

・JAS 0360 に基づく構造用パネル

施工箇所	寸法（mm）

・MDF

施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分

⑥ 接合具等

造作材の化粧面の釘打ち (12.2.2)
※隠し釘打ち
・釘頭埋め木
・つぶし頭釘打ち
・釘頭現し
諸金物
※かすがい、座金、箱金物、短冊金物
（標準仕様書表12.2.3～5に示す程度の市販品 表14.2.2のF種程度）
・ （形状： 寸法： 材質： ）

⑦ 接着剤

接着剤のホルムアルデヒドの放散量 (12.2.2、3)
※F☆☆☆☆ ・

8．防腐・防蟻処理

・防腐、防蟻処理を省略できる樹種による製材 (12.3.1、2)
適用部位：（ ）

・薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理

適用部材	保存処理性能区分
	・K2 ・K3 ・K4
	・K2 ・K3 ・K4
	・K2 ・K3 ・K4

・薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理

適用部材	処理の方法	薬剤の種類
	※薬剤の製造所の仕様による・	※JIS K 1571に適合又は同等品
	・	

・薬剤の接着材への混入による防腐、防蟻処理
適用部位（ ）
・合板等の加圧注入処理の適用
適用部位（ ）

⑨ 内部間仕切軸組及び床組み

・間仕切軸組に用いる木材の樹種名（製材を用いる場合） (12.4.1)
※杉又は松 ・
・床組みに用いる木材の樹種名（製材を用いる場合）
※杉又は松 ・

10．窓、出入口その他

・窓、出入口その他に用いる木材の樹種名（製材を用いる場合） (12.5.1)
※吊元枠、水掛りの下枠及び敷居はひのき、その他は松又は杉

11．床板張り

(12.6.1)
・縁甲板及び上がりかまちに用いる木材の樹種名（製材を用いる場合）
※ひのき ・

12．壁及び天井下地

(12.7.1)
・壁胴縁、野縁受桟、野縁及び吊木に用いる木材の樹種名（製材を用いる場合）
※杉又は松 ・

13 屋根及びとい工事

1．長尺金属板葺

(13.2.2、3)

施工箇所	板及びｺｲﾙの種類	塗膜の耐久性の種類、めっき付着量	厚さ(mm)	屋根葺形式	備考
	※JIS G 3322 の屋根用（着色　・有）	・5類（AZ150） ・	※0.4 ・0.5 ・	※心木なし瓦棒葺 ・立平葺 ・鎹掛葺 ・横葺 ・	

下葺材料
・アスファルトルーフィング 940
・改質アスファルトルーフィング下葺材
（・一般タイプ　・複層基材タイプ　・粘着層付タイプ）
横葺きの場合のけらば納め
・つかみ込み納め　・けらば包み納め
雪止め
・設置する　（形状及び施工箇所　・図示による　・　　）
・設置しない

2．折板葺

(13.2.2)(13.3.2)(表13.2.1)

施工箇所	形式	山高、山ﾋﾟｯﾁによる区分		耐力による区分	材料による区分	厚さ(mm)	軒先面戸板	耐火性能
		山高	山ﾋﾟｯﾁ					
	・重ね形 ・はぜ締め形 ・かな合形			（　　）種	※鋼板製 ・ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金板製		・有り ・無し	・30分 ・無し

材料
折板の材質の種類（※JIS G 3302の屋根用（着色　・有）　・　　）
塗膜の耐久性の種類、めっき付着量（・5類(AZ150)　・　　）
断熱材張り
・行う　（断熱材の種別：　　厚さ(mm)：　　防火性能：　　）
・行わない
耐雪性能に対応した工法の適用
・適用する　・適用しない
折板のけらば納め
※けらば包みによる方法
雪止め
・設置する　（形状及び施工箇所　・図示による　・　　）
・設置しない

3．粘土瓦葺

(13.4.2、3)

施工箇所	種類			産地	役物瓦の種類	雪止め瓦
	製法による区分	形状による区分	寸法による区分			
						・適用する ・適用しない
						・適用する ・適用しない

桟瓦の防災瓦の使用　・適用する　・適用しない
JISA5208に基づく凍害試験等
・行う　・行わない
瓦桟木
材質
※杉　・
寸法
※幅21×高さ15(mm)以上
・
棟補強用心材
材質
※杉　・
寸法
※幅40×高さ30(mm)
・
瓦緊結用釘及びねじ
種類（　　）　径（　　）　長さ（　　）
棟補強等に使用する金物等
材質
・ステンレス製
・溶融亜鉛めっき処理を行った鋼製
形状、寸法及び留付け方法
※図示による　・
工法
風圧力又は地震力に対応した瓦の緊結方法等
※図示による　・
瓦桟木の留付け工法
※図示による　・
棟の工法
・7寸丸伏せ棟又はF形用冠瓦伏せ棟
・のし積み棟
・
面戸、雀口、葺土の露出する瓦接合部に仕上げを施す場合
・モルタル　・瓦葺き用しっくい

④ とい

(13.5.2、3)(表13.5.4)

といその他の材種
・配管用鋼管
⊙硬質ポリ塩化ビニル管
・ルーフドレン
・表面処理鋼板（表面及び裏面の塗膜の種類　・　　）
⊙アルミ
とい受金物
材種
※標準仕様書表13.5.2による　（溶融亜鉛めっきを行ったもの）
・
形状
※市販品（とい径 100 以下）
・25×4.5(mm)以上（とい径 100 を超えるもの）
・
取付け間隔
※標準仕様書表13.5.2による
・
足金物
材種
※標準仕様書表13.5.2による　（溶融亜鉛めっきを行ったもの）
・
形状
※市販品　・
取付け間隔
※標準仕様書表13.5.2による
・
多雪地域
・適用する　⊙適用しない
防露材のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆　・
鋼管製といの防露巻き
※標準仕様書表13.5.4による
・
ルーフドレンの種類及び呼び

種別		呼び	施工箇所
※ろく屋根用たて形Ⅰ型	※ねじ込み式	・80　⊙100 ・125　・150	副訓練塔
⊙ろく屋根用横形Ⅰ型	※ねじ込み式	・80　⊙100 ・125　・150	庁舎屋根主・副訓練塔
⊙バルコニー中継用	・ねじ込み式	・50　・80　・100	
	⊙差し込み式	・50　・75　⊙100	庁舎庇
⊙バルコニー用	・ねじ込み式	・50　・80　・100	
	⊙差し込み式	・50　・75　⊙100	訓練塔ﾊﾞﾙｺﾆｰ

14 金属工事

① アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理

(14.2.1)(表 14.2.1)

種類	色合い等	施工箇所（成形板、笠木、建具以外）
・AB-1種		
・AB-2種	・標準色 ・特注色	
・AC-1種		
・AC-2種	・標準色 ・特注色	
・BA-1種		
・BA-2種	・標準色 ・特注色	
・BB-1種		
⊙BB-2種	⊙標準色 ・特注色	目隠しルーバー
・BC-1種		
・BC-2種	・標準色 ・特注色	
・C種	・標準色 ・特注色	

陽極酸化皮膜の着色方法
※二次電解着色
・三次電解着色

2．鉄鋼の亜鉛めっき

(14.2.2)(表 14.2.2)

表面処理方法	種別	施工箇所（手すり、タラップ以外）
・ 溶融亜鉛めっき	・A種	
	・B種	
	・C種	
・ 電気亜鉛めっき	・D種	
	・E種	
	・F種	

③ 軽量鉄骨天井下地

(14.4.2～4)(表14.4.1)

野縁等の種類
屋外
※25形　・19形
屋内
※19形　・25形
屋外の形式及び寸法
野縁受、つりボルト及びインサートの間隔　・図示による　・
周辺部の端からの間隔　・図示による　・
野縁の間隔　・図示による　・
・つりボルトの間隔が900mmを超える場合
（補強方法　※図示による　・　　）
・天井のふところが3.0mを超える場合
（補強方法　※図示による　・　　）
・天井下地材における耐震性を考慮した補強
（補強箇所　※図示による　・　　）
（補強方法　※図示による　・　　）
・屋外の軒、ピロティ等の天井における耐風圧性を考慮した補強
（補強箇所　※図示による　・　　）
（補強方法　※図示による　・　　）

④ 軽量鉄骨壁下地

(14.5.3、4)(表14.5.1)

スタッド、ランナの種類
※標準仕様書表14.5.1によるスタッドの高さによる区分に応じた種類
・図示による
・
スタッドの高さが5.0mを超える場合
※図示による　・
出入口及びこれに準ずる開口部の補強
※標準仕様書14.5.4.(5)による
・

5．金属成形板張り

(14.6.2、3)(表14.2.1)

種別	製法	形状	板幅(mm)	板厚(mm)	表面処理	
					種別	色合い等
・アルミニウム	・押出し ・ロール ・プレス ・	ｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙ形 パネル形				

取付け用下地
※標準仕様書14.4による
・図示による
伸縮調整継手
・設ける
（施工箇所　・図示による　・　　）
・設けない

⑤ アルミニウム製笠木

(14.7.2、3)(表14.2.1)(表14.7.1)

種類
⊙250形　・300形　⊙350形
表面処理
種別（　AB　）種
色合等　⊙標準色（　　）　・特注色（　　）

15 左官工事

1．モルタル塗り

(15.3.2、5)

モルタル
・現場調合材料
・既調合材料
既製目地材
・設ける
施工箇所（　　）　形状（※図示による　・　　）
・設けない
床の目地
・設ける
目地割り
※2㎡程度（最大目地間隔3m程度）
・
目地の種類
※押し目地
・
・設けない
屋外のタイル張り下地及び屋内の吹抜け部分等のタイル張りの下地モルタル塗り及び下地調整塗材塗りの接着力試験
・適用する　・適用しない

2．ラス系下地

(15.2.4)

ラス系下地
・二層下地通気構法
・単層下地通気構法
換気口部の措置　（※公共木造建築工事標準仕様書11.4.3.(2)(ｹ)　・　）
・直張りラスモルタル下地
・直張りラスシートモルタル下地
ラスの材料
種類及び記号　（　　）
単位面積当たりの質量（　　）
ラスシートの材料
ラス目による区分（※M　・　　）
山高、山ピッチ、質量及び溶接区分による区分
（・LS4(建築基準法に基づく耐力壁)　・　　）
ステープルの形状及び寸法（　　）
直張りラスシートモルタル下地で建築基準法に基づく耐力壁のラスシートの施工

3．せっこうボード その他のボード下地

(15.2.5)

せっこうボード及びせっこうラスボードの種類及び厚さ
種類（・GB-R　・GB-L　・　　）　厚さ（　　mm）
木質系セメント板の種類及び厚さ
種類（・　　）　厚さ（　　mm）

4．こまい下地

建築基準法に基づく耐力壁の指定（・あり　・なし）　(15.2.6)

5．木ずり下地

木ずり用小幅板の種類（※すぎ(心去り材)　・　　）　(15.2.7)

⑥ 仕上塗材仕上げ

(15.6.2)

内装仕上げに用いる塗材のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆
・

仕上塗材の種類
⊙薄付け仕上塗材

種類（呼び名）	仕上げの形状	工法	吸放湿性	防火材料
・外装薄塗材Si	・吹放し ・凸部処理	・吹付け	・適用する	
	・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし	・こて塗り		
・可とう形外装塗材Si	・吹放し ・凸部処理	・吹付け	・適用する	
	・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし	・こて塗り ・ローラー塗り		
⊙外装薄塗材E	・砂壁状 ⊙ゆず肌状	⊙吹付け	・適用する	
	・平たん状 ・凹凸状	・こて塗り		
	・ゆず肌状 ・さざ波状	・ローラー塗り		
	・着色骨材砂壁状	・吹付け ・こて塗り		
・可とう形外装塗材E	・砂壁状 ・ゆず肌状	・吹付け	・適用する	
	・平たん状 ・凹凸状	・こて塗り		
	・ゆず肌状 ・さざ波状	・ローラー塗り		
・防水形外装薄塗材E	・ゆず肌状 ・さざ波状	・ローラー塗り	・適用する	
	・凹凸状	・吹付け		
・外装薄塗材S	・砂壁状	・吹付け	・適用する	
・内装薄塗材C ・内装薄塗材L	・凹凸状	・吹付け	・適用する	
	・平たん状 ・凹凸状	・こて塗り		
	・ゆず肌状 ・さざ波状	・ローラー塗り		
・内装薄塗材Si ・内装薄塗材E	・砂壁状じゅらく ・ゆず肌状	・吹付け	・適用する	
	・平たん状 ・凹凸状	・こて塗り		
	・ゆず肌状 ・さざ波状	・ローラー塗り		
・内装薄塗材W	・京壁状じゅらく ・ゆず肌状	・吹付け	・適用する	
	・平たん状 ・凹凸状	・こて塗り		

・厚付け仕上塗材

種類（呼び名）	仕上げの形状	工法	吸放湿性	上塗り	防火材料
・外装厚塗材C	・吹放し ・凸部処理	・吹付け	・適用する	・適用する	・
	・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし	・こて塗り			
・外装厚塗材Si ・外装厚塗材E	・吹放し ・凸部処理	・吹付け	・適用する	・適用する	
	・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし	・こて塗り ・ローラー塗り			
・内装厚塗材C	・吹放し ・凸部処理	・吹付け	・適用する	・適用する	
	・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし	・こて塗り			
・内装厚塗材L	・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし	・こて塗り	・適用する	・適用する	
・内装厚塗材G	・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし	・こて塗り	・適用する	・適用する	
・内装厚塗材Si ・内装厚塗材E	・吹放し ・凸部処理	・吹付け	・適用する	・適用する	
	・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし	・こて塗り ・ローラー塗り			

⊙複層仕上塗材

種類（呼び名）	仕上げの形状	工法	上塗材の種類	耐候性	防火材料
・複層塗材CE ・複層塗材RE ・複層塗材Si ※複層塗材E	・凸部処理 ・凹凸状	・吹付け	樹脂 ｱｸﾘﾙｼﾘｺﾝ 外観 つやあり 溶媒 水系	⊙耐候形1種 ・耐候形2種 ・耐候形3種	
	※ゆず肌状	※ローラー塗り			
・可とう形複層塗材CE	・凸部処理 ・凹凸状	・吹付け	樹脂 外観 溶媒	・耐候形1種 ・耐候形2種 ・耐候形3種	
	・ゆず肌状	・ローラー塗り			
・防水形複層塗材CE ・防水型複層塗材RE ・防水形複層塗材E	・凸部処理 ・凹凸状	・吹付け	樹脂 外観 溶媒	・耐候形1種 ・耐候形2種 ・耐候形3種	
	・ゆず肌状	・ローラー塗り			

15 左官工事

・軽量骨材仕上塗材

種類（呼び名）	防火材料
・吹付用軽量塗材	・
・こて塗用軽量塗材	・

7．マスチック塗材塗り
種別 (15.7.2)
・A種　・B種

8．ロックウール吹付け
ロックウールのホルムアルデヒド放散量 (15.12.2、3)
※F☆☆☆☆
・
接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆
・
仕上げ吹付け厚さ
※図示による
・25mm
・

9．しっくい塗り
しっくい (15.10.2～4)
・既調合材料
色しっくい　・適用する　・適用しない
・現場調合材料
下地
・せっこうボード　・せっこうラスボード　・モルタル塗り　・木ずり
・こまい　・下塗りをせっこうプラスターとし上塗りに使用する場合
・
既調合しっくいの調合
・せっこうボード下地　※標準仕様書表15.10.1　・
・モルタル塗り下地　※標準仕様書表15.10.2　・
・せっこうラスボード下地　※製造所の仕様による　・
現場調合しっくいの調合及び各層の塗厚
・木ずり下地　※標準仕様書表15.10.3　・
・せっこうプラスター下地、こまい下地　※標準仕様書表15.10.4　・
既調合しっくいの上塗り仕上げ工法
・なで切り仕上　・パターン仕上げ

10．こまい壁塗り
のり (15.11.2～5、7、8)
・土壁用ののり
※つのまた
・ふのり
・ぎんなんそう
・粉末海藻
・
・砂壁用ののり
※ふのり
・つのまた
・こんにゃくのり
・にかわ
・合成高分子系混和剤
・
色土
・土物仕上げに用いる色土の種類（　　）
・大津仕上げに用いる色土の種類（　　）
色砂の種類
・天然砂と岩石の砕砂
・人工的に着色・製造したもの
下塗りの調合
※標準仕様書表15.11.2
・

塗厚
※標準仕様書表15.11.8による
・建築基準法に基づく耐力壁の指定がある場合（　　）
・
こまい壁の工程
※A種　・B種

こまい壁塗りの上塗りとする土物仕上げの工法の種類
・土物仕上げ工法
・水ごね土物1工法
・水ごね土物2工法
・のりさし土物工法
・のりごね土物工法
・砂壁仕上げ工法
・切返し仕上げ工法
こまい壁塗りの上塗りとする大津仕上げの工法の種類
・普通大津仕上げ工法
・大津みがき仕上げ工法
ちりじゃくり
・図示による　・

16 建具工事

① 防火戸
※建具表による (16.1.3)
・

② 見本の製作等
建具見本の製作　・行う（建具符号：　　）　※行わない (16.1.4)
建具見本製作の目的等　・
特殊な建具の仮組　・行う（建具符号：　　）　※行わない

3．防犯建物部品
・適用する（・建具表による　・　　）
※適用しない (16.1.6)

④ アルミニウム製建具
性能値等 (16.2.2、4、5) (表14.2.1) (表16.2.1、2)
耐風圧性の等級（⊙ S-5　）
（建具符号　・建具表による　・　　）
気密性の等級（⊙ A-4　）
（建具符号　・建具表による　・　　）
水密性の等級（⊙ W-5　）
（建具符号　・建具表による　・　　）
外部に面する建具の種別
・A種（建具符号　・建具表による　・　　）
⊙B種（建具符号　・建具表による　・　　）
・C種（建具符号　・建具表による　・　　）
・D種（建具符号　・建具表による　・　　）
・E種（建具符号　・建具表による　・　　）
枠の見込み寸法（※建具表による　・　　）
防音ドア・防音サッシ
遮音性の等級（　T-2　）
（建具符号：・建具表による　・　　）
断熱ドア・断熱サッシ
断熱性の等級（　　）
（建具符号 ⊙建具表による　・　　）
材料
ステンレス鋼板
※SUS304、SUS430JIL、又はSUS443JI　・
ステンレス製のくつずりの仕上げ
※HL　・
形状及び仕上げ
表面処理
外部に面する建具
種別
※BB-1　・BB-2　（標準仕様書表14.2.1）
着色
※標準色　・特注色
屋内の建具
種別
※BC-1　・BC-2　（標準仕様書表14.2.1）
着色
※標準色　・特注色
結露水の処理方法
・水貯め式　・排水式
工法
水切り板、ぜん板
※図示による
木下地の場合の内付け建具
・適用しない　・適用する

⑤ 網戸等 (16.2.3)

種類	材質	線径	網目
⊙防虫網	※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス(SUS316)製	※0.25mm以上 ・	※16～18メッシュ ・
・防鳥網	ステンレス(SUS304)線材	1.5mm	網目寸法15mm

6．樹脂製建具
性能値等 (16.2.5) (16.3.2～5) (表16.3.1～3)
耐風圧性の等級（　　）
気密性の等級　（　　）
水密性の等級　（　　）
外部に面する建具の種別
・A種（建具符号　・建具表による　・　　）
・B種（建具符号　・建具表による　・　　）
・C種（建具符号　・建具表による　・　　）
・D種（建具符号　・建具表による　・　　）
・E種（建具符号　・建具表による　・　　）
防音ドア・防音サッシ
遮音性の等級（・T-1　・T-2 ）
（建具符号　・建具表による　・　　）
断熱ドア・断熱サッシ
断熱性の等級（・H-4　・H-5　・H-6　・H-7　・H-8 ）
（建具符号　・建具表による　・　　）
外部に面する建具の日射熱取得性の等級　・
枠の見込み寸法　※建具表による　・
材料
ガラス
※複層ガラス（組合せは建具表による）
・
ステンレス製のくつずりの仕上げ
※HL　・
形状及び仕上げ
表面色　・標準色　・特注色
工法
水切り板、ぜん板　※図示による　・
木下地の場合の内付け建具　・適用しない　・適用する

⑦ 鋼製建具
性能値等 (16.2.2) (16.4.2～4) (16.4.6) (表16.4.2)
簡易気密型ドアセット
※適用する
（建具符号　・建具表による　・　　）
・適用しない
外部に面する建具の耐風圧性
耐風圧性の等級（⊙ S-6　）
（建具符号　・建具表による　・　　）
防音ドア・防音サッシ
遮音性の等級（・　　）
（建具符号　・建具表による　・　　）
断熱ドア・断熱サッシ
断熱性の等級（　　）
（建具符号　・建具表による　・　　）
材料
ステンレス鋼板
※SUS304、SUS430JIL、又はSUS443JI　・
ステンレス製のくつずりの仕上げ
※HL　・
形状及び仕上げ
鋼板類の厚さ
※標準仕様書表16.4.2による
・　使用箇所（　　）
標準型鋼製建具の形式及び寸法
※建具表による　・

⑧ 鋼製軽量建具
性能値等 (16.2.2) (16.5.2～4)(16.5.6)(表16.5.1)
簡易気密型ドアセット
※適用する
（建具符号　・建具表による　・　　）
⊙適用しない
防音ドア・防音サッシ
遮音性の等級（・　　）
（建具符号　・建具表による　・　　）
断熱ドア・断熱サッシ
断熱性の等級（　　）
（建具符号　・建具表による　・　　）

材料
鋼板
・亜鉛めっき鋼板
・ビニル被覆鋼板
・カラー鋼板
・ステンレス鋼板
ステンレス鋼板
※SUS304、SUS430JIL、又はSUS443JI
・
召合わせ、縦小口包み板の性質
※鋼板　・
ステンレス製のくつずりの仕上げ
※HL　・
形状及び仕上げ
鋼板類の厚さ（mm）
※標準仕様書表16.5.1による
・
使用箇所（　　）
標準型鋼製軽量建具の形式及び寸法
※建具表による　・

9．ステンレス製建具
性能値等 (16.2.2)(16.4.2)(16.6.2～5)
簡易気密型ドアセット
※適用する
（建具符号　・建具表による　・　　）
・適用しない
外部に面する建具の耐風圧性
耐風圧性の等級　（・　　）
（建具符号　・建具表による　・　　）
防音ドア・防音サッシ
遮音性の等級（・　　）
（建具符号　・建具表による　・　　）
断熱ドア・断熱サッシ
断熱性の等級（　）
（建具符号　・建具表による　・　　）
耐震性能
建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による。
材料
ステンレス鋼板
※SUS304、SUS430JIL、又はSUS443JI
・
ステンレス製のくつずりの仕上げ
※HL　・
形状及び仕上げ
表面仕上げ
※HL　・鏡面仕上げ
工法
ステンレス鋼板の曲げ加工
※普通曲げ
・角出し曲げ（b角（切込み後の残り板厚0.75mm、裏板補強有り））
・角出し曲げ（c角（切込み後の残り板厚1.0mm））

⑩ 木製建具
建具材の加工、組立時の含水率 (16.7.2～4)
※A種　・
建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆　・

⊙フラッシュ戸
表面材のホルムアルデヒド放散量等
※標準仕様書16.7.2(2)(イ)(a)による
表面材の合板の種類

合板の種類	規格等	備考
・普通合板	表面の樹種 板面の品質（※広葉樹1等　・　　） 接着の程度（・1類　・2類 ）	
・天然木 化粧合板	樹種名（　　） 接着の程度（・1類　・2類 ）	
⊙特殊加工 化粧合板	化粧加工の方法 ※プリント ・ポリエステル化粧合板 ⊙メラミン化粧合板 ・ 接着の程度（・1類　・2類 ）	
・MDF		

表面板の厚さ
※表16.7.6による　・
引戸の召合せかまちのいんろう付きの適用
・適用しない　・適用する
・かまち戸
かまち樹種（　　）　鏡板樹種（　　）
見込み寸法　※36mm　・建具表による　・
・ふすま
張りの種別（・Ⅰ型　・Ⅱ型）
上張り（押入等の裏側以外）
・鳥の子
※新鳥の子又はビニル紙程度
縁仕上げ
・塗り縁
・生地縁（素地）
・生地縁（ウレタンクリヤー塗装）
見込み寸法　※19.5mm　・建具表による　・
・戸ぶすま
表面板の仕上　・建具表による
見込み寸法　※30mm　・建具表による　・
・紙張り障子
見込み寸法　※30mm　・建具表による　・

枠、くつずりの材料
・建具表による　・

① 建具用金物
金物の種類及び見え掛り部の材質等 (16.8.2、3)(表16.8.1～5)
※標準仕様書表16.8.1により適用は建具表による
・
金属製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
※標準仕様書表16.8.2による
・建具表による
樹脂製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
※標準仕様書表16.8.3による
・建具表による
木製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
※標準仕様書表16.8.4による
・建具表による
木製建具に使用する戸車及びレール
※標準仕様書表16.8.5による
・建具表による
握り玉及びレバーハンドル、押板類、クレセントの取付け位置
⊙建具表による
・

② 鍵
マスターキー (16.8.4)
⊙製作する　・製作しない
鍵の製作本数
※各室3本1組（室名札付き）　・
鍵箱
※有り　・無し

③ 自動ドア開閉装置
戸の開閉方式 (16.9.2、3)
⊙建具表による　・
⊙引き戸用駆動装置
性能値
※標準仕様書表16.9.1（防錆 ⊙適用する　・適用しない）
・以下による
種類・開閉方式　（　　）
耐電圧　（　　）
温度上昇　（　　）
耐久性（サイクル）　（　　）
防錆　（　　）
電源　（　　）
・車椅子使用者用便房出入り口引き戸用駆動装置
性能値
※標準仕様書表16.9.2（防錆　・適用する　・適用しない）
・以下による
耐電圧　（　　）
温度上昇　（　　）
耐久性（サイクル）　（　　）
防錆　（　　）
電源　（　　）
⊙引き戸用検出装置
性能値
※標準仕様書表16.9.3（防錆 ⊙適用する　・適用しない）
・以下による
耐電圧　（　　）
防錆　（　　）
防滴　（　　）
電源　（　　）
引き戸用検出装置の種類　標準仕様書表16.9.4
⊙建具表による　・
タッチスイッチの種類
・無線式タッチスイッチ　・光線式タッチスイッチ
車椅子使用者用便房スイッチの種類
・大形押しボタンスイッチ　・非接触スイッチ
凍結防止措置
・行う　※行わない

④ 自閉式上吊り引戸装置
性能値等 (16.10.3)（表16.10.1）
※標準仕様書表16.10.1
・以下による
手動開き力　（　　）
手動閉じ力　（　　）
閉じ速度の調整　（　　）
制動区間　（　　）
開閉繰返し　（　　）
耐衝撃性　（　　）

16 建具工事

⑤ 重量シャッター

シャッターの種類 (16.11.2、3)
⊙管理用シャッター
・外壁用防火シャッター
⊙屋内用防火シャッター
・防煙シャッター
外壁開口部に設ける重量シャッターの耐風圧強度（ 500 ）pa
開閉方式の種類
※電動式（手動併用） ・手動式
安全装置
電動式シャッターの急降下制動装置、急降下停止装置
（設置箇所 ⊙建具表による ・ ）
電動式シャッターの障害物感知装置
（設置箇所 ⊙建具表による ・ ）
屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止装置
（設置箇所 ⊙建具表による ・ ）
管理用シャッターのシャッターケース
※設ける ・設けない
スラット及びシャッターケース用鋼板
鋼板の種類
※JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板鋼帯）
めっきの付着量
※Z12又はF12
・
ガイドレール、まぐさ、雨掛りに用いる座板及び座板のカバー、雨掛りに用いるスイッチボックス類のふたの材質
ステンレス鋼板
※SUS304、SUS430JIL、又はSUS443JI
・

⑥ 軽量シャッター

開閉方式の種類 (16.12.2～4)
※手動式
・電動式（手動併用）
耐風圧強度（ 参考値 500 ）pa
安全装置
電動シャッターの障害物感知装置
（設置箇所 ⊙建具表による ・ ）
スラットの材質の種類
※JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
めっきの付着量（※Z06又はF06 ・ ）
・JIS G 3322（塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯）
めっきの付着量（※AZ90 ・ ）
スラットの形状
・インターロッキング形
・オーバーラッピング形

つやあり

⑦ オーバーヘッドドア

(16.13.2、3)

セクション材料による区分	風圧力による強さの区分	開閉方式による区分	収納形式による区分	ガイドレールの材料
※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ⊙ファイバーグラスタイプ	・50 ・75 ⊙100 ・125	※バランス式 ・チェーン式 ・電動式	※スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バーチカル形	※溶融亜鉛めっき鋼板 ⊙ステンレス鋼板

電動式オーバーヘッドドアの障害物感知装置
（設置箇所 ※建具表による ・ ）

⑧ ガラス

(9.7)(16.14.2～4)(図16.14.1)
⊙フロート板ガラスの品種及び厚さの呼びによる種類
※建具表による
・

⊙型板ガラスの厚さによる種類
※建具表による
・

⊙網入板ガラス及び線入板ガラスの網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類
※建具表による
・

・合わせガラス
材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに合わせガラスの合計厚さ
※建具表による
・
落球衝撃はく離特性及びショットバック衝撃特性による種類
・Ⅰ類 ・Ⅱ-1類 ・Ⅱ-2類 ・Ⅲ類

⊙強化ガラス
形状による種類、材料板ガラスの種類による名称
※建具表による
・
破片の状態及びショットバック衝撃特性による種類
・Ⅰ類 ・Ⅲ類

・熱線吸収板ガラス
板ガラスによる種類、厚さによる種類
※建具表による
・
性能による種類
・1種 ・2種

⊙複層ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ
※建具表による
・
断熱性による区分
・T1 ・T2 ・T3 ⊙T4 ・T5 ・T6
日射取得性及び日射遮蔽性による区分
⊙R ・S
乾燥気体の種類
⊙空気 ・アルゴン

・熱線反射ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さによる種類
※建具表による
・
日射熱遮へい性による区分
・1種 ・2種 ・3種
耐久性による区分（日射熱遮蔽性による区分が2種の場合）
・A類 ・B類

・倍強度ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さによる種類
※建具表による
・

ガラスの留め材及び溝の大きさ (16.14.2)(9.7)

建具の種類	ガラス留め材の種別	ガラス溝の大きさ(mm)
アルミニウム製	※シーリング材 ・グレイジングチャンネル ・	※建具製造所の仕様による ・図示による ・
鋼製及び鋼製軽量	※シーリング材 ・	※建具製造所の仕様による ・図示による ・
ステンレス製	※シーリング材 ・	※建具製造所の仕様による ・図示による ・
樹脂製	・グレイジングガスケット ・	※建具製造所の仕様による ・図示による ・

(16.14.5)

呼び寸法（mm）	厚さ（mm）	色調	目地幅（mm）	伸縮調整目地位置（mm）	防火性能
・160×160	・95 ・				
・200×200	・95 ・				

壁用金属枠及び補強材
※図示による ・
力骨
材質
※ステンレス鋼(SUS304) ・
寸法
※径5.5mm ・
形状
※はしご形状複筋及び単筋 ・
化粧目地モルタルの色（・白 ・グレー）
シーリングの種類 （・SR-1 ・PS-1）
金属製化粧カバー
材質 (17.3.2～6)(表17.3.1、2)
・ステンレス製 ・アルミニウム製 ・
寸法
※図示による ・
形状
※図示による ・
木下地の場合のアンカー等の取付け間隔
・図示による ・
目地部の横力骨の納まり
※ガラスブロック製造所の仕様による
・図示による
・

19. ガラスブロック積み

17 カーテンウォール工事

① 取付け形態、性能等

取付け形態による分類 (17.1.3)
・層間方式
⊙柱・梁方式
・方立方式
・スパンドレル方式
・

性能

水密性	気密性	遮音性	断熱性	耐火性	耐温度差性(℃)
W-5	A-4	T-2	T-2	・30分 ・1時間	・80 ・70 ・60

主要部材の耐風圧性能（ガラスを除く） S-5

支点間距離(h)	耐風圧性能
4m以下	・たわみ量が±(1/150)×h かつ絶対量20mm以下であること ・
4mを超える	・

性能の確認方法及び判定方法
※性能の確認及び判定方法が確認できる資料を提出し、監督職員の承諾を受ける

② メタルカーテンウォール

金属系材料の種類 (17.2.2、3、5、6)
⊙アルミニウム材
・鋼材
・ステンレス鋼材
シーリング材の種類（目地等）
種類及び寸法等 ※図示による ・
ガラスの取付け材料
・シーリング
種類（・SR-2 ・SR-1）
・構造ガスケット
形状、寸法等 ※図示による
断熱材
種類及び範囲 ※図示による
形状及び仕上げ
製品の寸法許容差
※標準仕様書表17.2.1による
・
見え掛かり部の仕上げ
（アルミニウム材の場合）
規格等 標準仕様書16.2.3による
種別 ・ （標準仕様書表14.2.1）
着色 ・標準色 ・特注色
（鋼材及びステンレス鋼材の場合）
・
ガラス溝の寸法、形状等
※カーテンウォールの製造所の仕様
・
取付け
躯体付け金物の取付け位置の寸法許容差
鉛直方向
※±10mm ・
水平方向
※±25mm ・
カーテンウォール部材の取付け位置の寸法許容差
目地の幅
※±3mm ・
目地の心の通り
※0～2mm ・
目地両側の段差
※0～2mm ・
各階の基準墨から各部位までの距離
※±3mm ・
耐火処理
適用部位、材料等 ※図示による
ガラスの取付け材料
ガラスの取付け材料がシーリングの場合のガラスの支持方法
※4辺支持 ・

3. PCカーテンウォール

材料
コンクリート
種類（・普通コンクリート ・軽量コンクリート1種 ・ ）
品質
設計基準強度(Fc) ※30N/mm2 ・
スランプ ※12cm ・
気乾単位容積質量
・普通コンクリートの場合 2.1t/m3を超え2.5t/m3以下
・軽量コンクリートの場合 1.8t/m3～2.1t/m3
・
単位水量の最大値
※185kg/m3 ・
鉄筋
種類の記号 ※SD295 ・
補強鉄線
径(mm) ・3.2 ・4.0 ・5.0 ・6.0
網目寸法 ・
シーリング材の種類（目地等）
種類及び寸法等 ※図示による ・
ガラスの取付け材料
・構造ガスケット
形状、寸法等 ・図示による
耐火処理
適用部位、材料等 ※図示による
断熱材 種類（ ）
種類及び範囲 ※図示による
先付けの材料
・表面仕上材
・セラミックタイル
・石材
・建具枠
・ゴンドラ用ガイドレール
形状及び仕上げ
製品の見え掛り部の寸法許容差
辺長
※±3mm ・
対角線長の差
※0～5mm ・
版厚
※±2mm ・
開口部内法寸法
※±2mm ・
ねじれ、反り
※0～5mm ・
曲がり
※0～3mm ・
面の凸凹
※0～3mm ・
先付け金物の位置
※0～5mm ・
PCカーテンウォールの仕上げ
・
構造ガスケットを用いる場合のアンカー溝の寸法及び寸法許容差(mm)
※図示による ・

製作
PC版の配筋 ※図示による
取付け
躯体付け金物の取付位置の寸法許容差
鉛直方向
※±10mm ・
水平方向
※±25mm ・
カーテンウォール部材の取付け位置の寸法許容差
目地の幅
※±5mm ・
目地の心の通り
※0～3mm ・
目地両側の段差
※0～4mm ・
各階の基準墨から各部位までの距離
※±5mm ・
ガラスの取付け方法
・ガラスの取付け材が構造用ガスケットで複層ガラス等を使用する場合は排水機能の設置及びガラスの封着処理の強化を行う

18 塗装工事

① 材料

屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 (18.1.3)
※F☆☆☆☆ ・
防火材料
※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。
・以下の箇所を除き防火材料とする。
（箇所： ）

② 素地ごしらえ

(18.2.2～7)

下地面等		種別
木部	不透明塗料塗りの場合	※A種 ・B種
	透明塗料塗りの場合	※B種 ・A種
鉄鋼面（DP以外 ）		※C種 ・A種 ・B種
鉄鋼面（DPのみ）		※B種 ・A種 ・C種
亜鉛めっき鋼面		・A種 ・B種
モルタル面及びせっこうプラスター面		※B種 ・A種
コンクリート面（DP以外）及びALCパネル面		※B種 ・A種
押出成形セメント板面		※B種 ・A種
コンクリート面（DPのみ）		※A種 ・B種
せっこうボード面及びその他ボード面	目地：継目処理工法	※A種 ・B種
	目地：継目処理工法以外	※B種 ・A種

③ 錆止め塗料塗り

(18.3.2、3)

下地面	塗料の種別	錆止め塗料の種別	錆止め塗料塗りの工程
鉄鋼面	SOP	A種	見え掛り：A種 見え隠れ：B種
	DP	C種及びD種	表18.3.4
	EP-G	※B種 ・A種	見え掛り：A種 見え隠れ：B種
亜鉛めっき鋼面	SOP	※A種 ・B種	鋼製建具等：A種 上記以外：B種
	DP	B種	表18.3.6
	EP-G	C種	鋼製建具等：A種 上記以外：B種

④ 塗装

(18.4.1～18.12.2)

塗装		種別	塗料の種類
⊙合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)	木部屋外	※A種 ・B種	―
	木部屋内	※B種 ・A種	
	鉄鋼面	※B種 ・A種	
	亜鉛めっき鋼面	―	
・クリヤラッカー塗り(CL)		※B種 ・A種	―
・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD)		※B種 ・A種	―
⊙耐候性塗料塗り(DP)	鉄鋼面	―	上塗り塗料の等級（ ）級
	亜鉛めっき鋼面	―	上塗り塗料の等級（ 1 ）級
	ｺﾝｸﾘｰﾄ面 押出成形ｾﾒﾝﾄ板面	・A種 ・B種 ・C種	―
⊙つや有合成樹脂エマルションペイント塗り(EP-G)	ｺﾝｸﾘｰﾄ面 ﾓﾙﾀﾙ面 ﾌﾟﾗｽﾀｰ面 せっこうﾎﾞｰﾄﾞ面 その他ﾎﾞｰﾄﾞ面等	※B種 ・A種	―
	屋内の鉄鋼面 鉄鋼面 亜鉛めっき鋼面	※B種 ・A種	―
⊙合成樹脂エマルションペイント塗り(EP)		※B種 ・A種	―
⊙ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)		※B種 ・A種	―
・ステイン塗り		・ピグメントステイン塗り ・オイルステイン塗り(OS)	―
・木材保護塗料塗り(WP)		※B種 ・A種	―

クリヤラッカー塗りＡ種の工程2の適用
・適用しない
・適用する(着色剤：・溶剤形着色剤 ・油性染料着色剤)
ウレタン樹脂ワニス塗りの工程1の着色の適用
・適用する
・適用しない
オイルステイン塗りの工程等
・

19 内装工事

① 接着剤 (19.2.2)

ビニル床シート、ビニル床タイル、ゴム床タイル用接着剤の
ホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆ ・

施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合の接着剤の種別
・図示による ・

2．下地の工法

標準仕様書19.2.3(7)～(ｳ)以外の下地の工法 (19.2.3)
・図示による ・

③ ビニル床シート (19.2.2、3)

種類の記号	色柄	厚さ（mm）	備考
※FS(複層ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ) ・	※無地 ・マーブル柄 ・柄物	※2.0 ・	

接合部の処理
※熱溶接工法 ・

4．ビニル床タイル (19.2.2)

種類の記号	色柄	寸法（mm）	厚さ（mm）	備考
※KT（ｺﾝﾎﾟｼﾞｼｮﾝﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ） ・TT（単層ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ） ・FT（複層ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ） ・FOA（置敷きﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ） ・FOB（薄型置敷きﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ）	・無地 ・柄物	※300×300 ・450×450 ・500×500 ・	※2.0 ・2.5 ・3.0 ・	

⑤ 特殊機能床材 (19.2.2)

・帯電防止床シート
種類 （ ）
性能 （ ）
厚さ(mm)（ ）

・帯電防止床タイル
種類 （ ）
性能 （ ）
寸法(mm)（ × ）
厚さ(mm)（ ）

⊙視覚障害者用床タイル
視覚障害者誘導用ブロック等の突起の形状・寸法及びその配列は
JIS T 9251による。
種類 （ 警告用 ）
形状 （ 300角 ）

・耐動荷重性床シート
種類 （ ）
厚さ(mm)（ ）

⊙防滑性床シート
種類 （ HS ）
厚さ(mm)（ 2.5 ）

・防滑性床タイル
種類 （ ）
寸法(mm)（ × ）
厚さ(mm)（ ）

⑥ ビニル幅木

材質の種類 (19.2.2)
⊙軟質 ・硬質
高さ(mm)
※60 ・75 ・100
厚さ(mm)
※1.5以上 ・

7．ゴム床タイル

種類 (19.2.2)
・単層品 ・積層品
色柄（ ）
厚さ(mm)
・3.0 ・4.5 ・6.0 ・9.0
寸法(mm)（ × ）

⑧ カーペット敷き

・ 織じゅうたん (19.3.2、3)(表19.3.1)(表19.3.2)

織り方	パイル形状
・ウィルトンカーペット ・ダブルフェースカーペット ・アキスミンスターカーペット	・カットパイル ・ループパイル ・カット/ループパイル

色柄
※模様のない無地
・
パイル糸の種類等
※無地の織りじゅうたんの種別（・A種 ・B種 ・C種）
・
帯電性
・適用する ・適用しない
織じゅうたんの接合方法
※ヒートボンド工法
・つづり縫い
下敷き材
※反毛フェルト（JIS L 3204）の第2種2号 呼び厚さ 8mm
・

・タフテッドカーペット

パイル形状	ﾊﾟｲﾙ長さ（mm）	工法	帯電性
・カットパイル ・ループパイル ・カット、ループ併用	・5～7 ・ ・4～6 ・ ・	※全面接着工法 ・ｸﾞﾘｯﾊﾟｰ工法	・適用する ・適用しない

下敷き材(グリッパー工法の場合)
※反毛フェルト（JIS L 3204）の第2種2号 呼び厚さ 8mm
・

タフテッドカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆ ・

⊙タイルカーペット

パイルの形状	種類	施工箇所	寸法（mm）	総厚さ（mm）
※ループパイル	※第一種 ・第二種	事務室 署長室	※500×500 ・	※6.5 ※8.0
・カットパイル	・第一種 ・第二種		※500×500 ・	※6.5 ・
・カット・ループ併用	・第一種 ・第二種		※500×500 ・	※6.5 ・

タイルカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆
タイルカーペットの敷き方
平場
⊗市松敷き
⊙模様流し
・
階段部分
※模様流し
・市松敷き
・
見切り、押え金物
材質（ ）
種類（ ）
形状等
※図示による ・

⑨ 合成樹脂塗床

※仕上表による

(19.4.2、3)(表19.4.4、5)

種別	施工箇所	工法	仕上げの種類
・厚膜型塗床材 弾性ｳﾚﾀﾝ樹脂系塗床			※平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ
・厚膜型塗床材 ｴﾎﾟｷｼ樹脂系塗床		・薄膜流しのべ工法 ・厚膜流しのべ工法 ・樹脂ﾓﾙﾀﾙ工法	・平滑仕上げ ・防滑仕上げ
・薄膜型塗床材			※平滑仕上げ

塗床材のホルムルデヒド放散量
※F☆☆☆☆ ・

10．フローリング張り

(19.5.2～5)(表19.5.1～6)

フローリングのホルムアルデヒドの放散量等
※標準仕様書19.5.2(2)による
・
各工法に使用する接着剤のホルムアルデヒドの放散量
※F☆☆☆☆ ・

・単層フローリング （フローリングボード1等）
工法
・釘留め工法（・根太張り ・直張り ）
・接着工法
樹種
※なら ・

・単層フローリング （フローリングブロック1等）
樹種
・
厚さ（mm）
・
大きさ
・

・複合フローリング
工法
・釘留め工法（・根太張り ・直張り ）
・接着工法
樹種
※なら ・
種別
・A種 ・B種 ・C種

接着工法の場合の不陸緩和材
※合成樹脂発泡シート
・

・大型積層フローリング
工法
・特殊張り工法（体育館床）
樹種
・なら ・さくら ・

① 畳敷き

種別 (19.6.2)(表 19.6.1)
・A種 ・B種
※C種 ⊙D種（畳床：・KT-Ⅰ ⊙KT-Ⅱ ・KT-Ⅲ ・KT-K ・KT-N）

衝撃緩和型畳 （畳表：・C1 ・C2）

② せっこうボード、その他のボード及び合板張り

(19.7.2、3)(表 19.7.1)

MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆ ・
合板のホルムアルデヒド放散量
※標準仕様書19.7.2(3)(ｲ)の(a)～(d)のいずれか ・
接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆ ・

③ 壁紙張り

種類等	厚さ(mm)、規格等
木質系セメント板	
・木毛セメント板 ・硬質(HW)・中質(MW)・普通(NW)	※図示による ・15 ・20 ・25
・木片セメント板 ・硬質(HF) ・普通(NF)	※図示による ・12 ・15 ・18 ・21 ・30
繊維強化セメント板	
⊙けい酸カルシウム板(タイプ2) 普通ボード 0.8FK	⊗図示による ・6 ・8
火山性ガラス質複層板	
・火山性ガラス質複層板 種類 ※図示による ・	※図示による ・
繊維板	
・ﾐﾃﾞｨｱﾑﾃﾞﾝｼﾃｨﾌｧｲﾊﾞｰﾎﾞｰﾄﾞ(MDF)	※図示による ・3 ・7 ・9 ・12 ・
・ﾊｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ ・ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ（無処理） ・素地ﾊｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ ・未研磨板（RN） ・研磨板（RS） ・内装用化粧ﾊｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ（DI） ・ﾃﾝﾊﾟｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ（処理） ・素地ﾊｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ ・未研磨板（RN） ・研磨板（RS） ・外装用化粧ﾊｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ（DE）	※図示による ・2.5 ・3.5 ・5 ・7 ・
・ｲﾝｼｭﾚｰｼｮﾝﾎﾞｰﾄﾞ ・A級ｲﾝｼｭﾚｰｼｮﾝﾎﾞｰﾄﾞ（A-IB） ・天井仕上げ材 ・内装仕上げ材	※図示による ・9 ・12 ・15 ・18 ・
ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ	
・単板張りﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ ・無研磨板（VN） ・研磨板（VS）	※図示による ・10 ・12 ・15 ・18 ・
・化粧ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ ・単板ｵｰﾊﾞｰﾚｲ（DV） ・ﾌﾟﾗｽﾃｨｯｸｵｰﾊﾞｰﾚｲ（DO） ・塗装（DC）	※図示による ・10（難燃） ・12（難燃） ・
吸音材料	
⊙ﾛｯｸｳｰﾙ化粧吸音板（DR） ⊙ﾌﾗｯﾄﾀｲﾌﾟ ・凹凸ﾀｲﾌﾟ	⊙9 （不燃） ・12（不燃） ・12（不燃） ・15（不燃）
・ﾛｯｸｳｰﾙ吸音ﾎﾞｰﾄﾞ（1号）	※図示による ・25
・ｸﾞﾗｽｳｰﾙ吸音ﾎﾞｰﾄﾞ（32K）	・25（ｶﾞﾗｽｸﾛｽ包み） ・
せっこうﾎﾞｰﾄﾞ	
⊙せっこうﾎﾞｰﾄﾞ（GB-R）	※12.5（不燃）・15（不燃）・
⊙ｰｼﾞﾝｸﾞせっこうﾎﾞｰﾄﾞ（GB-S）	⊙12.5（⊙不燃 ・準不燃）
・強化せっこうﾎﾞｰﾄﾞ（GB-F）	・12.5（不燃）・15（不燃）
・せっこううﾗｽﾎﾞｰﾄﾞ（GB-L）	・9.5
・不燃積層せっこうﾎﾞｰﾄﾞ（GB-NC） ・化粧無し（下地張り用） ・化粧有り（ﾄﾗﾊﾞｰﾁﾝ模様）	・9.5（不燃）
合板類	
・普通合板 表板の樹種名： 板面品質： 防虫処理 ・行う ・行わない	※図示による ・
・天然木化粧合板 化粧板の樹種名： 防虫処理 ・行う ・行わない	※図示による ・
・特殊加工化粧合板 化粧加工の方法 ・ｵｰﾊﾞｰﾚｲ ・ﾌﾟﾘﾝﾄ ・塗装 表面性能 防虫処理 ・行う ・行わない	※図示による ・

天井のボード類(ロックウール吸音板を除く)の重ね張りを行う場合
※図示による ・
合板類の張付け
・A種 ・B種
せっこうボードの目地工法等
目地工法の種類
※仕上表による
突付け工法及び目透し工法のエッジの種類
⊙ベベルエッジ ・スクェアエッジ

ホルムアルデヒド放散量 (19.8.2、3)
※F☆☆☆☆ ・

施工箇所	壁紙の種類 強化紙	繊維	塩化ビニルチップ	プラス	無機質	その他	防火性能
仮眠室、更衣室	・	・	⊙	・	・	・	・不燃 ⊙準不燃
女子仮眠前室	・	・	⊙	・	・	・	・不燃 ⊙準不燃
女子洗濯・洗面室	・	・	⊙	・	・	・	・不燃 ⊙準不燃
事務室	・	・	⊙	・	・	・	・不燃 ⊙準不燃
署長室	⊙	・	⊙	・	・	・	⊙不燃 ・準不燃

④ 断熱材

モルタル及びプラスター面の素地ごしらえの種別
※B種 ・A種
コンクリート面の素地ごしらえの種別
※B種 ・A種
せっこうボード面の素地ごしらえの種別
※B種 ・A種

(19.9.2～4)

フェノールフォーム断熱材、保温材又は接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆ ・
開口部等補修のための張付け用の接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆ ・
・断熱材打込み工法

種類	厚さ（mm）	施工箇所
・ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材 (・)	・	
※押出法ポリスチレンフォーム断熱材（スキン層なし） (・2種bA ・3種bA ・3種bC ・3種bD)	※25	
・硬質ウレタンフォーム断熱材	・	
・フェノールフォーム断熱材	・	

⊙断熱材現場発泡工法
断熱材の種類
・A種1 ※A種1H ・
吹付け厚さ（mm）
⊙図示による
施工箇所
⊙図示による ・

20 ユニット及びその他の工事

① フリーアクセスフロア (20.2.2)

施工箇所	構法	寸法（mm）	高さ(mm)	耐震性能	所定荷重	表面仕上材
事務室 会議室 署長室	⊙置敷式 ・支柱 調整式	⊙500×500 ・	100	・1.0G ※0.6G	⊙3,000N ・5,000N ・	⊙帯電防止床ﾀｲﾙ ・ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ ・

寸法精度
※標準仕様書20.2.2(2)(オ)(a)～(c)による
・以下による
パネルの長さの寸法精度
（ ）
パネルの平面形状（角度）の寸法精度
（ ）
フリーアクセスフロアの高さの寸法精度
（ ）
帯電防止性能
・評価値（U）≧0.6以上
・評価値（U）≧1.2以上

2．可動間仕切 (20.2.3)

構造形式による種類	構成基材の種類 ｽﾀｯﾄﾞ	ﾊﾟﾈﾙ	パネル表面仕上げ	遮音性(dB/500Hz)	防火性能
・スタッド式(内蔵) ・スタッド式(露出) ・スタッドパネル式 ・パネル式			・ﾒﾗﾐﾝ樹脂焼付又は ｱｸﾘﾙ樹脂焼付 ・壁紙張り ・	・0 ・12 ・20 ・28 ※36	※不燃

パネル内に取付ける建具
・有り（※図示による ・ ）
・無し
パネル内に取り付ける建具のドアクローザー、丁番、錠前、上げ落としは、
標準仕様書16章8節の建具用金物に対応する材質とする。
表面仕上材を壁紙張りとする場合の品質、性能は標準仕様書19章による。
パネル材料のホルムアルデヒド放出量
※F☆☆☆☆ ・

3．移動間仕切 (20.2.4)

走行方向	操作方法による種類	パネル圧接装置の操作方法	総厚さ(mm)	パネル表面材 材質	仕上げ	遮音性(dB/500Hz)
・平行方向移動式 ・二方向移動式	・手動式 ・電動式 ・部分電動式	・ﾌﾟｯｼｭ式 ・ﾊﾝﾄﾞﾙ式 ・		・鋼板 ・	・焼付塗装 ・壁紙張り ・	・36未満 ※36以上

パネル表面仕上げ材の壁紙張りの品質、性能は標準仕様書19章による。
ハンガーレールの取付け下地の補強
※取付け全重量の5倍以上の荷重に対して、使用上支障のない耐力及び
変形量となるように補強する
・図示による
パネルをランナーに取り付ける部品
※ランナーに加わる重量の5倍以上の荷重に耐えられるもの
・
ハンガーレール及びランナー
※パネル重量の5倍の荷重を、パネル１枚に使用するランナー数で除した
値に対して、耐力及び変形量が使用上支障のないもの
・

20 ユニット及びその他の工事

④ トイレブース (20.2.5)

表面材の材料	脚部 種類	ドアエッジ 材質
※メラミン樹脂系化粧板（標準色） ・ポリエステル樹脂系化粧板 ・	※幅木タイプ ・	※製造所の仕様による ・アルミニウム製 ・ステンレス製

⑤ 手すり (20.2.6)

材料の種類及び仕上げ
・SUS304　表面処理　※HL程度
・鋼製　　表面処理　溶融亜鉛めっき
（※標準仕様書表14.2.2による種別（　　）種）
⊙アルミニウム 表面処理
（※標準仕様書表14.2.1による種別（　　）種）
色合い　⊙標準色（　　）　・特注色（　　）

手すりの握り部分

材種	表面仕上げ	直径(mm)	取付箇所	備考
・集成材 （材種：　　）	・クリアラッカー ・	・35程度 ・45程度 ・		
⊙ビニル製	樹脂	・35程度 ・45程度 ⊙40程度	階段1，2	

⑥ 階段滑り止め (20.2.7)

材種
※ステンレス製
・黄銅製押出型材
・アルミニウム製押出型材
・
形状
※タイヤ型(タイヤの材質：ゴム又は合成樹脂合等)
・タイヤレス型
寸法(幅)
⊙35mm程度　・40mm程度　・50mm程度
取付け工法
※接着工法
・埋込み工法

7．黒板及び
ホワイトボード (20.2.9)

・黒板
区分
※焼き付け　・
種類
※鋼製黒板
・ほうろう黒板
・
色
※緑　・
・ホワイトボード

⑧ 鏡 (20.2.10)

取付け箇所（　　）
寸法（mm）
⊙図示による　・
厚さ（mm）
※5　・

⑨ 表示 (20.2.11)

衝突防止表示
⊙設置する　（設置場所：※図示による　・　　）
形状・寸法（※30φ　⊙図示による　）
材質　（※ステンレス製　⊙図示にしょる　）
・設置しない
誘導標識、非常用進入口等の表示
※消防法に適合する市販品　・
室名札、ピクトグラフ、案内板等の形状、寸法、材質、色、書体、
印刷等の種別、取付け形式等
(案内用図記号はJIS Z 8210による)
※図示による

⑩ タラップ (20.2.12)

材質及び仕上げ
⊙SUS304（スリップ止め加工　※あり　・なし　）
・鋼製　　表面処理　溶融亜鉛めっき
（※標準仕様書表14.2.2による種別（※C種　・　種））

11．煙突ライニング (20.2.13)

適用安全使用温度
・
工法
※鋼製ユニット煙突(煙突用成形ライニング材)
・

② ブラインド (20.2.14)

形式	操作方法	操作方法の種類	ｽﾗｯﾄの種類	ｽﾗｯﾄ幅	ﾎﾞｯｸｽ・ﾚｰﾙの材種	幅・高さ取付箇所
⊙横形	⊙手動	※ギヤ式 ・ｺｰﾄﾞ式 ・操作棒式	※ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金製 ・	※25 ・	※鋼製 ・	⊙図示による ・
	・電動	―				
⊙縦形	⊙手動	※2本操作ｺｰﾄﾞ式 ・1本操作ｺｰﾄﾞ式	・ｱﾙﾐｽﾗｯﾄ ・ｸﾛｽｽﾗｯﾄ	・80 ・100	※ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金製 ・	⊙図示による ・
	・電動	―				

縦型ブラインドのスラットの材質
・アルミスラット　焼付け塗装仕上げ
・クロススラット　消防法で定める防炎性能の表示がある特殊樹脂加工

③ ロール
スクリーン (20.2.15)

操作方法	スクリーンの材種	その他の材料	幅・高さ取付箇所	品質等
・スプリング式 ⊙コード式 ⊙電動式	・ガラス繊維製 ・合成・天然繊維製 ・木製	※製造所の仕様	⊙図示による ・	・

スクリーンの仕様
消防法で定める防炎性能の表示があるもの

④ カーテン (20.2.16)

形式	開閉操作	ひだの種類	生地の種別、品質、特殊加工等	取付け箇所
⊙ﾌｯｸﾞﾙ ⊙片引き ・ﾀﾞﾌﾞﾙ ・引分け	※手引き ・ひも引き ・電動	⊙つまみひだ ・箱ひだ、片ひだ ・ﾌﾟﾚｰﾝひだ		⊙図示による ・

生地の仕様
消防法で定める防炎性能の表示があるもの
暗幕用カーテンの両端、上部及び召合せの重なり
※300mm以上
・

⑤ カーテンレール (20.2.16)

材料による区分
⊙アルミニウム及びアルミニウム合金の押出し成型材
※ステンレス製
強さによる区分
※10-90　・
仕上げ
※アルマイト　・
形状
※角形　・

⑥ ブラインド
ボックス
及びカーテン
ボックス

材種
⊙集成材（仕上げ：　　）
※アルミニウム製　押出し型材（市販品）
標準仕様書表14.2.1による種別
※BC-1種　・BC-2種
色合い
・標準色（　　）　・特注色（　　）
・鋼製（仕上げ：　　）

⑦ 天井点検口

材種	寸法	形式		外枠	内枠
※アルミニウム製 ・	※450×450 ・600×600 ・	⊙一般形	・屋内外用 ・屋内用	・額縁タイプ ※目地タイプ	・額縁タイプ ※目地タイプ
		・気密形			

⑧ 床点検口

材種	寸法	形式		備考
※アルミニウム製 ⊙ステンレス製 ・鋼製	・450×450 ※600×600 ・	※一般形 ・密閉形	⊙屋内外用 ・屋内用	⊙鍵付き

密閉形とは、ボルト、ナット等メカニカル構造にパッキンを装着したものとする。

⑨ 耐震スリット

※構造図による

方向	幅(mm)	タイプ	耐火性能	防水性能	備考
・垂直	・25 ・	・完全（全貫通型） ・	・耐火型 ・非耐火型	・有り ・無し	
・水平	・25 ・				

目地

目地	内壁	外壁
目地材	・シーリング材(見え掛かり部のみ) ・	・シーリング材(見え掛かり部のみ) ・シーリング材（内外とも）
目地寸法（mm）	・スリット幅×深さ10 ・	・スリット幅×深さ10 ・

目地材の材質は標準仕様書表9.7.1による

⑩ 止水板

形式
・差込式　⊙据置式　・壁張り式
施工箇所
⊙図示による　・

21．くつふきマット

材種	受け枠	備考
※塩化ビニル又はゴム製 ・硬質アルミニウム合金製 ・ステンレス鋼（SUS304)製 ・	※ステンレス鋼（SUS304） ・硬質アルミニウム合金 ・	

② 流し台ユニット

※図示による

材種	寸法（mm） W	D	H	備考
・流し台	・1200 ・1500 ・1800	・550 ・600 ・650	・800 ・850	市販品 トラップ付き 天板ステンレス製
・コンロ台	・600	・550 ・600 ・650	・620 ・670	市販品 バックガード有り 天板ステンレス製
・つり戸棚	・1200 ・900	・450	・500 ・700	市販品
・水切り	・1200 ・900 ・600	―	―	市販品 ステンレス製 ※1段式　・

形状
※図示による　・

23．旗竿

材種	形式	高さ(m)	操作方法	固定方法	備考
※アルミニウム合金製 ・	※テーパー式 ・同一断面式	7m	※ハンドル式 ・ロープ式	・埋込式 ⊙ベース式 ・バンド式	

24．旗竿受金物

材種
※ステンレス製（SUS 304）
・

25．車止めさく

形式		材種	柱径、肉厚(mm)	高さ(mm)
・上下式鎖内蔵式	・標準品 ・スプリング式	・ステンレス製 ・	・	・
・				

26．フェンス

フェンスの種類
・ビニル被覆エキスパンドフェンス
⊙樹脂塗装メッシュフェンス
・鋼管フェンス
・アルミフェンス
高さ
⊙図示による　・

27．プレキャスト
コンクリート

コンクリートの設計基準強度 (20.3.3、4)
※水セメント比55%以下、単位セメント量の最小値300kg/m2を
満足する調合強度
・図示による
配筋
※配筋を定めた計算書を監督職員に提出する
・図示による
取付け方法
※図示による　・

28．間知石及び
コンクリート
間知ブロック
積み

(20.4.2、3)

	材種	種類	質量区分	備考
・間知石	・花こう岩 ・凝灰岩	―	―	
・コンクリート 間知ブロック	―		・A ・B	

積み方
※谷積み　・布積み
目塗り
・図示による
伸縮調整目地
材種
・図示による　・
厚さ
・図示による　・

29．鋼製書架及び
物品棚

種類	規格等	JISによる種類
⊙鋼製書架 ⊙鋼製物品棚	JIS S 1039 の規格による	・1種　・2種　・3種 ・4種　・5種　・6種

30．屋内掲示板

枠の材質
※アルミニウム製
表面の材質
※塩ビ発泡シート張り
・

31．洗面カウンター

※図示による

材種
・メラミン樹脂化粧板張り（心材：集成材）
・人工大理石
奥行き(mm)
・約450　・約600

32．防煙垂れ壁

⊙固定式

材質	厚さ(mm)	高さ(mm)	備考
※ 網入り磨き板ガラス ・ 線入り磨き板ガラス	※6.8 ・	※500 ・	アルミ製枠付き

・可動式

種類	材質	高さ(mm)	備考
・垂直降下式 （巻取り型）	※不燃布 （不燃認定品）	※500 ・800 ・	ガイドレール ※固定式（壁埋込型） ・可動式（天井収納型）
・回転降下式	鋼板製又はアルミ製	※500 ・800 ・	表面仕上げ ※天井材張り

降下機構
煙感知器連動及び手動開放装置（埋込型）

33．屋外掲示板

照明器具
・有り　・無し
施錠
・有り　・無し
製造所
・

34．収納家具

合板類、MDF 及びパーティクルボードのホルムアルデヒドの放散量
※F☆☆☆☆　・
材質、形状、寸法
※図示による　・

21 排水工事

① 屋外雨水排水

材料 (21.2.1、2)(表 21.2.1、2)

材種	種類・記号	形状	呼び径	備考
⊙遠心力鉄筋 コンクリート管	外圧管（1種）	・B形管 ・	⊙図示による ・	
⊙硬質ポリ塩化 ビニル管	・RS-VU		・図示による ・	
	⊙VP		⊙図示による ・	
	・VU		・図示による ・	

基床の厚さ及び種類
⊙図示による　・
硬質ポリ塩化ビニル管の継手に用いる材料
※接着剤　・
側塊の形状及び寸法
・図示による　・
排水桝の種類
⊙図示による　・
砂地業に用いる材料
・シルト　⊙山砂　・川砂　・砕砂
砂利地業に用いる材料
⊙再生クラッシャラン
・切込砂利又は切込砕石
⊙現場打ちの場合のコンクリート材料
設計基準強度(N/mm2)
※18　・
スランプ(cm)
※15又は18　・
⊙現場打ちの場合の鉄筋
種類の記号
※SD295　・
・排水枡が現場打ちの場合の足掛け金物
※標準仕様書21.2.2(6)(オ)
材質
・ステンレス製
・鋼製
・合成樹脂被覆加工されたもの
凍上抑制層に用いる材料
・
（砂を用いる場合の粒度試験）
・行う　・行わない

② 鋳鉄製ふた (21.2.1)

名称	種類	適用荷重	鍵	備考
鋳鉄製マン ホールふた	・水封形 ・簡易密閉形（ﾊﾞｯｷﾝ式） ⊙密閉形（ﾃｰﾊﾟ・ﾊﾞｯｷﾝ式） ・中ふた付き密閉形 （ﾃｰﾊﾟ・ﾊﾞｯｷﾝ式） ・	・T-2用 ・T-6用 ⊙T-25用	⊙有り ・無し	左記以外の品質等は（公社）空気調和衛生工学会SHASE-S209による。

③ グレーチング (21.2.1)

材質	形式	用途	適用荷重	ﾒｲﾝﾊﾞｰﾋﾟｯﾁ
※鋼製	⊙受枠付き、 ボルト固定 ・	⊙溝ふた （横断用） ⊙溝ふた （側溝用） ⊙桝ふた ⊙U字溝用	・歩行用	・細目 ・
			・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ⊙T-25用	⊙普通目 ・細目
⊙ｽﾃﾝﾚｽ製	⊙受枠付き、 ボルト固定 ・	・溝ふた （横断用） ⊙溝ふた （側溝用） ・桝ふた ・U字溝用	⊙歩行用	⊙細目ノンスリップ
			・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用	・

④ 街きょ、縁石
及び側溝

街きょ、縁石、側溝 (21.3.1、2)(表21.3.1)

種類	形状・寸法
⊙縁石	⊙図示による　・
・L形側溝	・図示による　・
⊙I形側溝	⊙図示による　・
⊙J形側溝ふた	⊙図示による　・
・	・図示による　・

砂地業に用いる材料
・シルト　⊙山砂　・川砂　・砕砂
砂利地業に用いる材料
※再生クラッシャラン　・切込砂利又は切込砕石
砂利地業の厚さ（mm）
※100　・図示による

21 排水工事

・現場打ちの場合のコンクリート材料
設計基準強度（N/mm2）
※18
スランプ（cm）
※15又は18
・現場打ちの場合の鉄筋
種類の記号
※SD295
凍上抑制層に用いる材料
・
（砂を用いる場合の粒度試験）
・行う　・行わない

⑤ 埋戻し土

※B種　・　(21.2.1)

22 舗装工事

① 路床

路床の材料　(22.2.2、3、5)(表22.2.1)

種別	材料	厚さ(mm)
・盛土	・A種　※B種　・C種　・D種 ・建設汚泥から再生した処理土	・図示による ・
⊙凍上抑制層	※再生クラッシャラン ・クラッシャラン ・切込み砂利 ・砂（標準仕様書21.2.2による）	⊙図示による ・
・フィルター層	標準仕様書22.2.3.(3)による	・図示による ・

（凍上抑制層に用いる材料に砂を用いる場合の粒度試験 ）
・行う
※行わない
・路床安定処理
安定処理の方法
・置き換え工法
・安定処理工法
路床安定化処理用添加材料
種類
※普通ポルトランドセメント
・高炉セメントB種
・フライアッシュセメントB種
・生石灰（・特号　・1号）
・消石灰（・特号　・1号）
添加量
・　kg/m3（CBR　・3以上　・　）
・ジオテキスタイル
単位面積質量
・60g/㎡以上　・
厚さ(mm)
・0.5～1.0　・
引張強さ
・98N/5cm（10kgf/5cm）以上　・
透水係数
・1.5×10^{-1}cm/sec以上　・

試験
路床土の支持力比（CBR）試験
・行う　※行わない
路床締固め度の試験
※行う　・行わない
現場CBR試験
⊙行う　・行わない

② 路盤　(22.3.2、3)(表 22.3.1)

路盤の厚さ
⊙図示による　・
路盤材料（標準仕様書表22.3.1による種別）
・クラッシャラン
・粒度調整砕石
※再生クラッシャラン
・再生粒度調整砕石
・クラッシャラン鉄鋼スラグ
・粒度調整鉄鋼スラグ
・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ

③ アスファルト舗装

アスファルト舗装の構成及び厚さ　(22.4.2～6)(表 22.4.4)
※図示による　・
材料
アスファルト
⊙再生アスファルト
（標準仕様書表22.4.1による種類：・60～80　・80～100）
・ストレートアスファルト
骨材
・道路用砕石
・アスファルトコンクリート再生骨材
加熱アスファルト混合物等の種類
⊙密粒度アスファルト混合物(13)
・細粒度アスファルト混合物(13)
・密粒度アスファルト混合物(13F)
舗装の平たん性
※通行の支障となる水たまりを生じない程度
・
試験
アスファルト混合物等の抽出試験
・行う
※行わない

④ コンクリート舗装

コンクリート舗装の構成及び厚さ　(22.5.2～4、6)(表22.5.1、3)

舗装の種類	部位	構成	厚さ(mm)
コンクリート舗装	車路及び駐車場	⊙図示による	⊙図示による　・
	歩行者用通路	・図示による	※70

材料
コンクリート
※普通コンクリート、標準仕様書表22.5.1による
・以下による
コンクリートの種類　（　）
設計基準強度（N/mm2）　（　）
所定のスランプ（cm）　（※8　・　）
粗骨材の最大寸法（mm）　（　）
早強ポルトランドセメント
・使用する　※使用しない
注入目地材料
※低弾性タイプ
・高弾性タイプ
目地
※標準仕様書表22.5.3及び図22.5.1による
・以下による
種類　・
間隔　・（　）m程度ごと
構造　・図示による
舗装の平たん性
※通行の支障となる水たまりを生じない程度
・

5．カラー舗装

・加熱系カラー舗装　(22.6.2～4)
構成・厚さ
・図示による　・
加熱系混合物の結合材
※アスファルト混合物
・石油樹脂系混合物　顔料の添加量（　%）
添加材
着色骨材（　）
自然石　（　）
・常温系カラー舗装
工法
・ニート工法（配合その他：　）
・塗布工法　（配合その他：　）
着色部の下部
・アスファルト舗装
・コンクリート舗装
・
舗装の平たん性
※通行の支障となる水たまりを生じない程度
・

6．透水性アスファルト舗装

舗装の構成　(22.7.2、3、6)
・図示による　・
材料
骨材
・道路用砕石
・アスファルトコンクリート再生骨材
（標準仕様書表22.4.1による種類：・60～80　・80～100）
舗装の平たん性
※著しい不陸がないもの
試験
開粒度アスファルト混合物等の抽出試験
・行う
※行わない

7．ブロック系舗装

・コンクリート平板舗装　(22.8.2、3)

種類	寸法(mm)	厚さ(mm)	目地材	備考
・普通平板(N) ・透水平板(P) ・保水性平板(M)	・300角 ・	※60 ・	※砂 ・ﾓﾙﾀﾙ	表面加工 ・研ぎ出し ・洗い出し ・たたき出し

クッション材
※砂　・空練りモルタル
仕上り面の平たん性
※歩行に支障となる段差がないものとし、コンクリート平板間の段差は3mm以内とする。
・

・インターロッキングブロック舗装

種類	部位	形状寸法	厚さ(mm)	曲げ強度(N/mm2)	備考
※普通ブロック(N) ・透水性ブロック(P) ・保水性ブロック(M)	車路	・図示による ・	※80 ・	※5.0 ・	表面加工 ・
※普通ブロック(N) ・透水性ブロック(P) ・保水性ブロック(M)	歩行者用通路	・図示による ・	※60 ・	※3.0 ・	

クッション材
※砂　・空練りモルタル
仕上り面の平たん性
※歩行に支障となる段差がないものとし、ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸ間の段差は3mm以内とする。
・

・舗石舗装

種類	形状・寸法(mm)	厚さ(mm)	張り方	基層	基層の厚さ(mm)
・花こう岩 ・	・割石 ・図示による ・	・	・	・ｺﾝｸﾘｰﾄ版	※70 ・
				・ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物	※70 ・

クッション材
※砂　・空練りモルタル
仕上り面の平たん性
※歩行に支障となる段差がないものとし、舗石間の段差は3mm以内とする。
・

・ジオテキスタイル
単位面積質量
・60g/㎡以上　・
厚さ(mm)
・0.5～1.0　・
引張強さ
・98N/5cm(10kgf/5cm)以上　・
透水係数
・1.5×10^{-1}cm/sec以上　・

8．砂利敷き

種別　(22.9.2)
※A種（施工範囲：　・図示による　※通路　・　）
※B種（施工範囲：　・図示による　※建物周囲その他　・　）

23 植栽及び屋上緑化工事

1．植栽地の確認等

土壌の水素イオン濃度指数（pH）試験　(23.1.3)
・行う　・行わない
電気伝導度（EC）の試験
・行う　・行わない

2．植栽基盤の整備

樹木の植栽基盤の整備　(23.2.2、4)
・適用する　・適用しない

植栽	工法	有効土層の厚さ(mm)	整備範囲	土壌改良材
・樹木	※A種 ・B種 ・C種 ・D種	樹高12m以上 （※100　・120　・150） 樹高7m以上～12m未満 （※80　・100） 樹高3m以上～7m未満 （※60　・80） 樹高3m未満 （※50　・60）	・葉張り部分 ・植栽部分 ・図示による ・	・適用する ・適用しない
※芝、地被類	※B種 ・	※20 ・	・植栽部分 ・図示による ・	・適用する ・適用しない

植栽基盤の排水設備
・設ける（※図示による　・　）
・設けない

3．植込み用土

※現場発生土の良質土　(23.2.3)
・客土

4．土壌改良材

種類及び指定量等　(23.2.3)
・バーク堆肥
施工箇所
※植栽範囲　・図示による
使用量
植栽基盤面積1㎡あたり（・50L　・　）
・汚泥発酵肥料（下水汚泥コンポスト）
施工箇所
※植栽範囲　・図示による
使用量
植栽基盤面積1㎡あたり（・10L　・　）

5．樹木

樹種、寸法、株立数等　(23.3.2)
※図示による

6．支柱

支柱材　(23.3.2、3)
※丸太（間伐材）　・真竹
防腐処理方法
※加圧式防腐処理丸太材
形式
・図示による　・

7．幹巻き用材料

材料　(23.3.2)
※幹巻き用テープ　・わら及びこも

8．芝

種類　(23.4.2、3)
※コウライシバ　・ノシバ
芝張りの工法
平地
※目地張り　・べた張り
法面
※べた張り法面　・目地張り

9．吹付けは種

(23.4.2)

種子の種類	発芽率	種子の量（g/㎡）	備考
※洋芝類（採取後2年以内） ・	※発芽率80%以上 ・		

10．地被類

(23.4.2)

樹種	コンテナ径	単位面積当たりのコンテナ数	芽立数
・	・	・	・

11．新植、芝等の枯補償、移植樹木の枯損処置

(23.3.4、6) (23.4.7)(23.5.5)
新植樹木（芝張り、吹付けは種及び地被類を含む）の枯補償の期間
※引渡しの日から1年　・無し　・
移植樹木の枯損処置を行う期間
※引渡しの日から1年　・無し　・

12．屋上緑化

植栽基盤及び材料　(23.5.2～4)
・屋上緑化システム
土壌層の厚さ
・図示による　・
排水層
・軽量骨材（層の厚さ：　）
・板状成形品
植込み用土
※改良土
・人工軽量土
樹木、芝及び地被類の樹種又は種類、寸法、株立数等
※図示による　・
見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等
※図示による
支柱
・設置する
・設置しない
形式
・図示による

かん水装置
・設置する
・設置しない
種類
・図示による
・

24 総揮発性有機化合物（ＴＶＯＣ）測定

1．一般事項

試料採取および測定は，厚生労働省の「室内空気中化学物質の採取方法と測定方法」（以下「厚労省の測定方法」という。）の新築住宅の例に準拠して行う。

2．測定対象化学物質

測定対象化学物質は，下記４ 1)，2)の区分に従い，表の①から⑭の１４物質及びＴＶＯＣ又は表の①から⑨の９物質及びＴＶＯＣとする。

3．測定方法

1） クロマトグラム上で「n-ヘキサン」から「n-ヘキサデカン」までの部分に検出される物質のピーク値を「トルエン」に換算した値をＴＶＯＣ濃度とする。
2） トルエン換算で 2.0μg/m３ 未満のピークは測定の対象としない。
3） 上位１０ピークについて物質を特定して濃度の測定を行う。

表　測定対象化学物質及び室内濃度指針値

化学物質名	室内濃度指針値		
①ホルムアルデヒド	100　μg/m３	0.08	ppm
②トルエン	260　μg/m３	0.07	ppm
③キシレン	200　μg/m３	0.05	ppm
④エチルベンゼン	3,800　μg/m３	0.88	ppm
⑤スチレン	220　μg/m３	0.05	ppm
⑥パラジクロロベンゼン	240　μg/m３	0.04	ppm
⑦テトラデカン	330　μg/m３	0.04	ppm
⑧アセトアルデヒド	48　μg/m３	0.03	ppm
⑨ノナナール	(暫定)41　μg/m３	0.007	ppm
⑩フタル酸ジ-n-ブチル	17　μg/m３	0.0015	ppm
⑪フタル酸ジ-2-エチルヘキシル	100　μg/m３	0.0063	ppm
⑫クロルピリホス	1　μg/m３	0.00007	ppm
⑬ダイアジノン	0.29　μg/m３	0.00002	ppm
⑭フェノブカルブ	33　μg/m３	0.0038	ppm
⑮総揮発性有機化合物（ＴＶＯＣ）	400　μg/m３	（暫定目標値）	

4．測定する室

1） １４物質及びＴＶＯＣ濃度を測定する室等
・　室名：

2） ９物質及びＴＶＯＣ濃度を測定する室
・　室名：

・　屋外(周囲の建物から離れた場所１か所)

5．測定結果等報告書の提出

次の事項を記載した報告書を２部提出する。
1） 測定結果（アセトアルデヒドについては，試料採取時の気温が20℃に満たない場合には，「厚労省の測定方法」に定める計算式で20℃，湿度50%に，ホルムアルデヒドについては25℃，湿度50%に補正した濃度を報告すること。）
2） 試料採取時の状況（気温・湿度(屋外，室内)，天候、風の状況、日射進入状況，採取年月日・時間，窓の開閉状況，機械換気量，工事完成から試料採取までの日数）
3） 試料採取方法，測定方法，使用した測定機器
4） ＴＶＯＣ濃度の算出に使用したクロマトグラムの写し

6．その他

表の化学物質①から⑤のうち，いずれかの物質の濃度が室内濃度指針値を超える場合は，工事目的物の引渡しを受けない。
ＴＶＯＣの測定の結果，暫定目標値を超える場合は，発生原因の究明及び汚染物質の発生を低減するための対策について，協議を行うこと。

各工事の区分表

工事項目	建築	電気	衛生	空調	昇降	外構		備考
構造躯体の貫通スリーブ及び箱入れ	○	○	○	○	○			各工事に必要なｽﾘｰﾌﾞは各々の工事とする（予備は建築工事）
同上貫通の開口補強	○							
同上スリーブ及び箱入れの穴埋め補修	○	○	○	○	○			
工場製作間仕切及び同左の天井,床,各種設備器具の穴開け,取付枠及び補強								
天井付各種設備器具の穴開け,取付枠及び補強･補修	※	○	○	○				※下地補強のみ建築
設備関係雑室のシンダーコンクリート	○							
屋上、屋外及び屋内設置機器及び水槽類の基礎	○							
同上　仕上（防水）	○							
同上　用架台及びアンカーボルト箱入れ,埋込み		○	○	○				
自動ドア・防火扉（シャッター含む）	○	※						※煙感からの信号、１次配線
台所用ﾚﾝｼﾞﾌｰﾄﾞﾌｧﾝ及び浴室天井扇及び取付調整			○					ﾕﾆｯﾄバス除く
同上ダクト接続				○				
同上電源用配管,配線及び接続		○						
ユニットバス(ﾕﾆｯﾄｼｬﾜｰ含む以下同じ)墨出し及び据付工事	○							
浴槽及び据付	○							浴槽パン共建築工事
ユニットバス内シャワー水栓及び取付	○							
同上廻りシーリング打ち	○							
同上への配線及び配管接続		○	○					※１次側のみ
キッチンキャビネット及び据付工事	○							
同上への配管接続			○					
吊戸棚、水切棚及び取付（バックガード共）	○							
同上への照明用電源配線及び接続		○						
洗面台及び据付			○					
洗面台カウンター表面板仕上げ（製作物のみ）	○							
同上配管接続			○					
同上への照明用及びヒーター用電源配線及び接続		○						
洗濯パン			○					
設備機器用スリーブ,給気用スリーブ及び取付			○	○				
ダクト用ベントキャップ及び取付				○				
床、壁、天井点検口（下地補強共）	○							設備盤用扉は各設備工事
換気扇及び取付枠への取付,配線		※		○				※配線は電気
換気扇取付枠及び躯体への取付				○				
床暖房工事	※1	※2	※2					※１仕上げは建築　※２電気又は空調は電気式・温水式区分による
非常用照明及び誘導灯		○						
消火器			○					
同上表示及び収納箱	○							
各種配管,ダクトの両掛り躯体貫通部のｼｰﾘﾝｸﾞ打ち		○	○	○				
エレベーター各階出入口躯体穴開け・吊りフック	○							
エレベーター出入口三方枠・扉上部幕板					○			
三方枠廻りのノロ詰め					○			
エレベーター機械室床,穴開け復旧工事	○							
資材搬入口の仮設並びに復旧工事	○							
機器類取付後の出入口廻り(壁･床･枠等)仕上工事	○							
竪樋・ドレン・受け樋	○							
竪樋から第一桝までの接続	○							
同上第一桝以降の排水設備（桝・側溝等）						○		
マンホール、ハンドホール等の化粧蓋及びタラップ	※1	○	○					※1タラップは建築工事（躯体に設置する場合）
ＴＶアンテナ、アンカーボルト取付工事		○						
屋上点検口、各種タラップ工事	○	※	※	※				※図面特記により電気、衛生又は空調
ゴミ集積所工事（屋外）		※				○		※照明器具の設置及び配線
自転車置場（屋外）						○		
同上照明器具及び接続		○						
プロパンボンベ庫	○	※	※					
同上配管工事			○					
便所の目皿・手摺り	○							便器一体の手摺り除く
便所のペーパーホルダー			○					
手洗い乾燥機			○					
浄化槽・受水槽・オイルタンク躯体	※		○					※特殊基礎は建築工事
屋外駐車場,歩道工事						○		
雨水排水側溝設置工事						○		
同上排水管接続			○					

工事項目	建築	電気	衛生	空調	昇降	外構		備考

	工事項目	建築	電気	衛生	空調	昇降	外構			別途	備考
1	・仮設用の上下水道・ガス・電気等の加入金.	○	○	○	○	○	○				
2	・仮設用の上下水道・ガス・電気等に要する費	○	○	○	○	○	○				
3	1、２以外の工事及び調整等に要する上下水電気等に要する費用	○	○	○	○	○	○				
4	上下水道・ガス・電気等の加入金, 負担金			○							

JOBNO

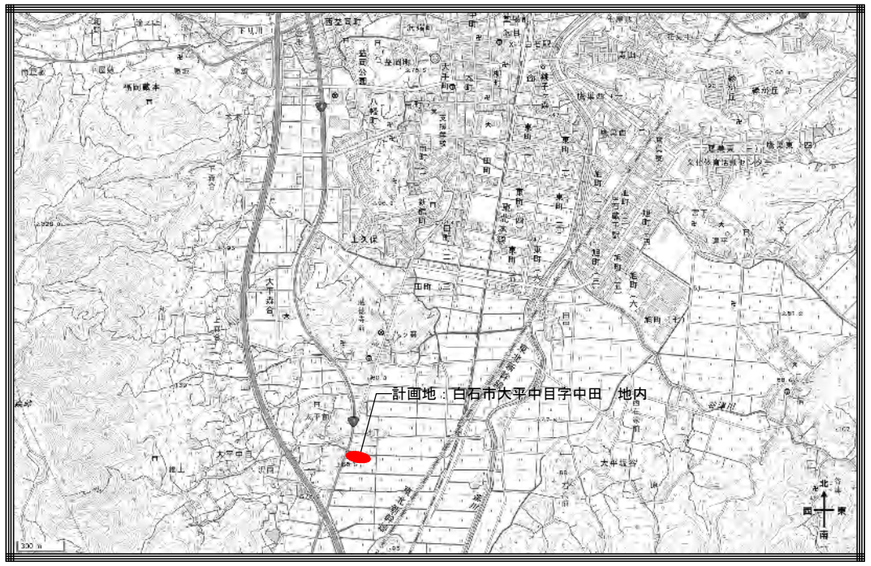
白石消防署庁舎建替工事　　各工事の区分表　A-11

DATE　SCAL (A 1) 1/ -　(A 3) 1/ -　DRAWN　CHEK

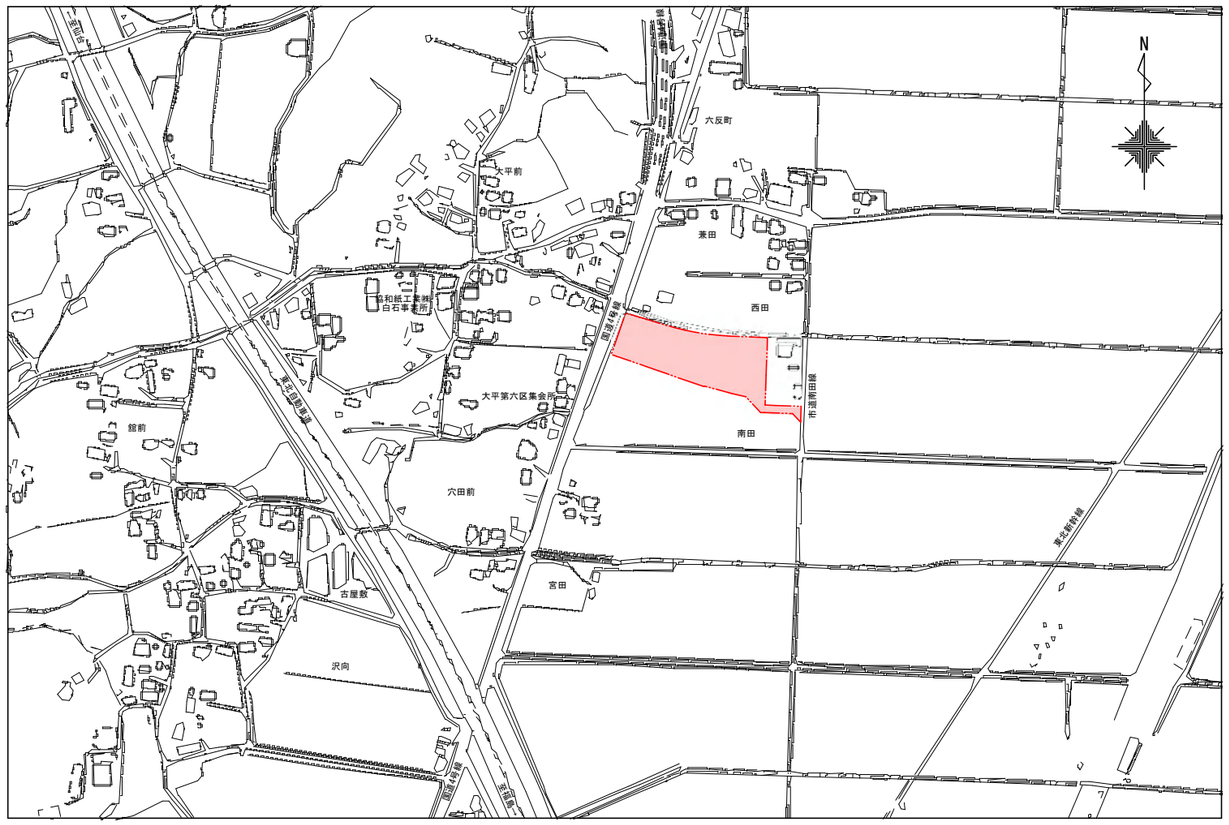
株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士　第 357230 号　永野ますみ

■設計概要

一般事項	工事名称	白石消防署庁舎建替工事		建築種別	新築		
	建築場所	宮城県白石市大平中目字中田　地内		施設用途	消防署施設		
	地域指定	用途指定	非線引き都市計画区域（都市計画区域内無指定）	その他指定	ー		
		建蔽率／容積率	70%　／　200%	耐火種別	庁舎棟：耐火建築物　　訓練塔：その他		
		防火指定	法22条地域	敷地面積	7,811.92　㎡		
建物概要		主要構造	鉄筋コンクリート造（庁舎・主訓練塔・副訓練塔１・副訓練塔２）				
		階数	庁舎棟　　：2階+PH階	最高高さ	庁舎棟　　：14,000m	軒高	庁舎棟　　：10,050m
			主訓練塔　：4階		主訓練塔　：14,700m		主訓練塔　：14,000m
			副訓練塔１：3階		副訓練塔１：11,200m		副訓練塔１：10,500m
			副訓練塔２：3階		副訓練塔２：11,850m		副訓練塔２：10,500m
		建築面積	庁舎棟　　：886.61　㎡	延べ床面積	庁舎棟　　：1,633.19　㎡		
			主訓練塔　：　47.99　㎡		主訓練塔　：　103.21　㎡		
			副訓練塔１：128.85　㎡		副訓練塔１：　291.55　㎡		
			副訓練塔２：　85.25　㎡		副訓練塔２：　190.20　㎡		
			屋外給油所：　4.26　㎡				
			合計　1,152.96　㎡		合計　2,218.15　㎡		
			建蔽率：1,152.96㎡／7,811.92㎡＝0.147589･･･14.75%≦70%		容積率：1,806.71㎡／7,811.92㎡＝0.231276･･･23.12%≦200%		
					自動車車庫：411.44㎡		



案内図



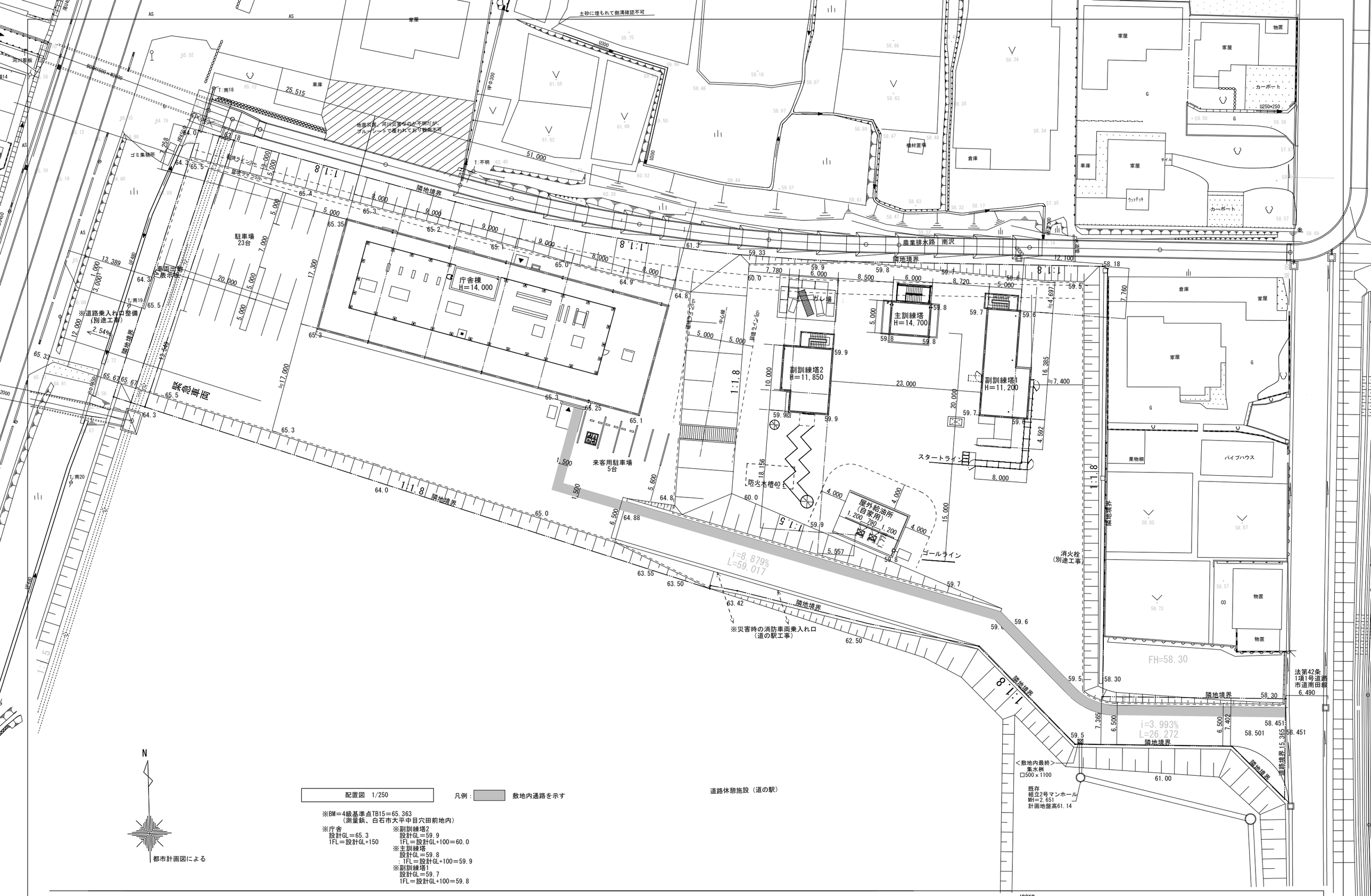
付近見取り図　1/3000

JOBNO

白石消防署庁舎建替工事　　案内図　A-12

DATE　SCAL (A 1) 1／－　(A 3) 1／－　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士　第 357230 号　永野ますみ



配置図　1/250

凡例：　敷地内通路を示す

※BM＝4級基準点TB15＝65.363
（測量鋲、白石市大平中目穴田前地内）

※庁舎
設計GL＝65.3
1FL＝設計GL+150

※副訓練塔2
設計GL＝59.9
1FL＝設計GL+100＝60.0

※主訓練塔
設計GL＝59.8
：1FL＝設計GL+100＝59.9

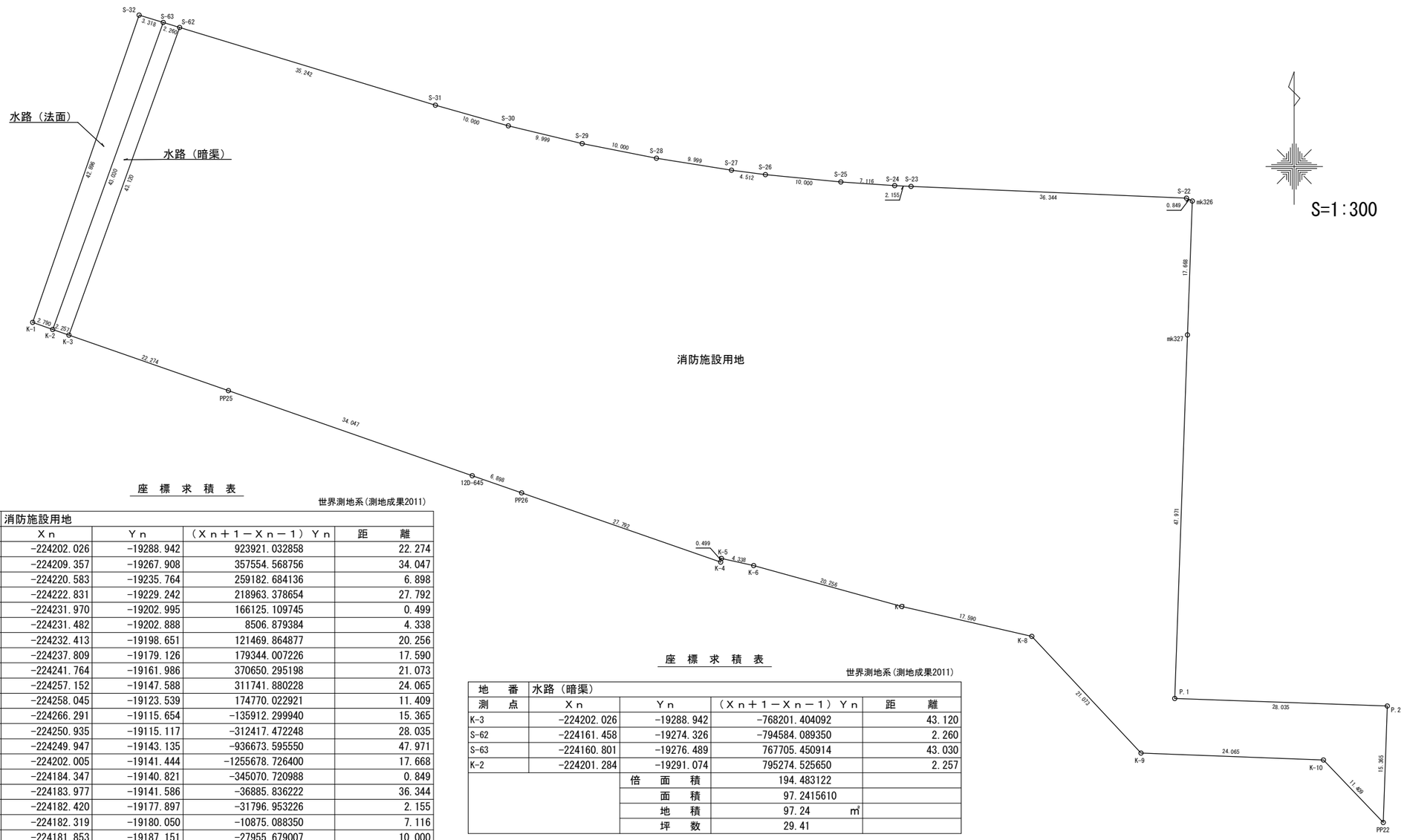
※副訓練塔1
設計GL＝59.7
1FL＝設計GL+100＝59.8

JOBNO

白石消防署庁舎建替工事　　配置図　A-13

DATE　SCAL (A 1) 1／250 (A 3) 1／500　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士　第 357230 号　永野ますみ



座　標　求　積　表

世界測地系(測地成果2011)

地　番	消防施設用地			
測　点	Ｘｎ	Ｙｎ	（Ｘｎ＋１－Ｘｎ－１）Ｙｎ	距　離
K-3	-224202.026	-19288.942	923921.032858	22.274
PP25	-224209.357	-19267.908	357554.568756	34.047
12D-645	-224220.583	-19235.764	259182.684136	6.898
PP26	-224222.831	-19229.242	218963.378654	27.792
K-4	-224231.970	-19202.995	166125.109745	0.499
K-5	-224231.482	-19202.888	8506.879384	4.338
K-6	-224232.413	-19198.651	121469.864877	20.256
K-7	-224237.809	-19179.126	179344.007226	17.590
K-8	-224241.764	-19161.986	370650.295198	21.073
K-9	-224257.152	-19147.588	311741.880228	24.065
K-10	-224258.045	-19123.539	174770.022921	11.409
PP22	-224266.291	-19115.654	-135912.299940	15.365
P.2	-224250.935	-19115.117	-312417.472248	28.035
P.1	-224249.947	-19143.135	-936673.595550	47.971
mk327	-224202.005	-19141.444	-1255678.726400	17.668
mk326	-224184.347	-19140.821	-345070.720988	0.849
S-22	-224183.977	-19141.586	-36885.836222	36.344
S-23	-224182.420	-19177.897	-31796.953226	2.155
S-24	-224182.319	-19180.050	-10875.088350	7.116
S-25	-224181.853	-19187.151	-27955.679007	10.000
S-26	-224180.862	-19197.102	-30081.858834	4.512
S-27	-224180.286	-19201.578	-41052.973764	9.999
S-28	-224178.724	-19211.455	-67489.841415	10.000
S-29	-224176.773	-19221.263	-82420.775744	9.999
S-30	-224174.436	-19230.986	-97270.327188	10.000
S-31	-224171.715	-19240.609	-249704.623602	35.242
S-62	-224161.458	-19274.326	584224.095386	43.120
		倍　面　積	15167.046891	
		面　積	7583.5234455	
		地　積	7583.52　㎡	
		坪　数	2294.01	

座　標　求　積　表

世界測地系(測地成果2011)

地　番	水路（暗渠）			
測　点	Ｘｎ	Ｙｎ	（Ｘｎ＋１－Ｘｎ－１）Ｙｎ	距　離
K-3	-224202.026	-19288.942	-768201.404092	43.120
S-62	-224161.458	-19274.326	-794584.089350	2.260
S-63	-224160.801	-19276.489	767705.450914	43.030
K-2	-224201.284	-19291.074	795274.525650	2.257
		倍　面　積	194.483122	
		面　積	97.2415610	
		地　積	97.24　㎡	
		坪　数	29.41	

地　番	水路（法面）			
測　点	Ｘｎ	Ｙｎ	（Ｘｎ＋１－Ｘｎ－１）Ｙｎ	距　離
K-2	-224201.284	-19291.074	-763251.342810	43.030
S-63	-224160.801	-19276.489	-799010.469050	3.318
S-32	-224159.834	-19279.664	762799.906160	42.896
K-1	-224200.366	-19293.709	799724.238050	2.790
		倍　面　積	262.332350	
		面　積	131.1661750	
		地　積	131.16　㎡	
		坪　数	39.67	

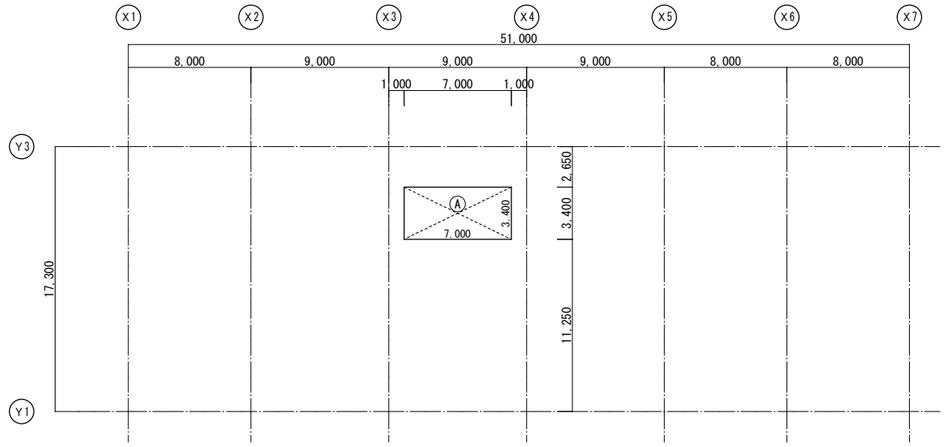
総　　計　　7811.9311815

JOBNO

白石消防署庁舎建替工事　　敷地求積図　A-14

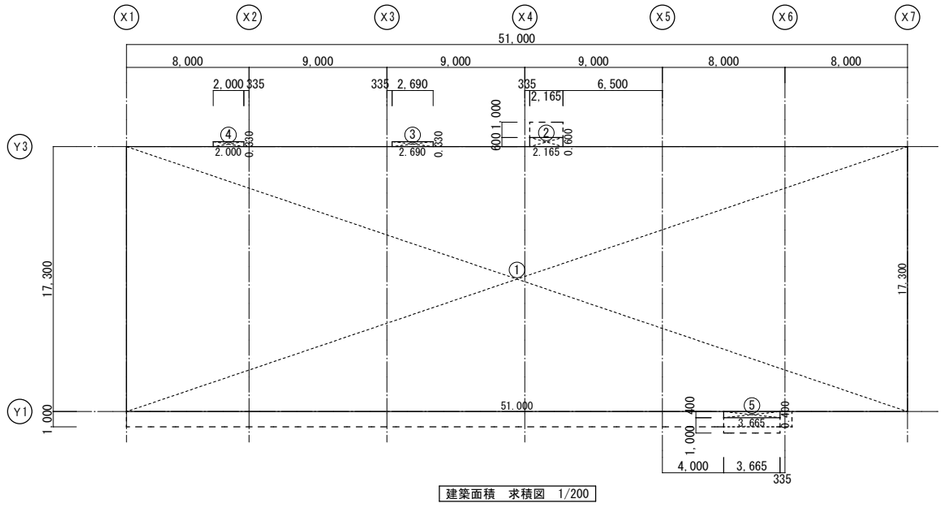
DATE　SCAL (A 1) 1／300 (A 3) 1／600　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士　第 357230 号　永野ますみ



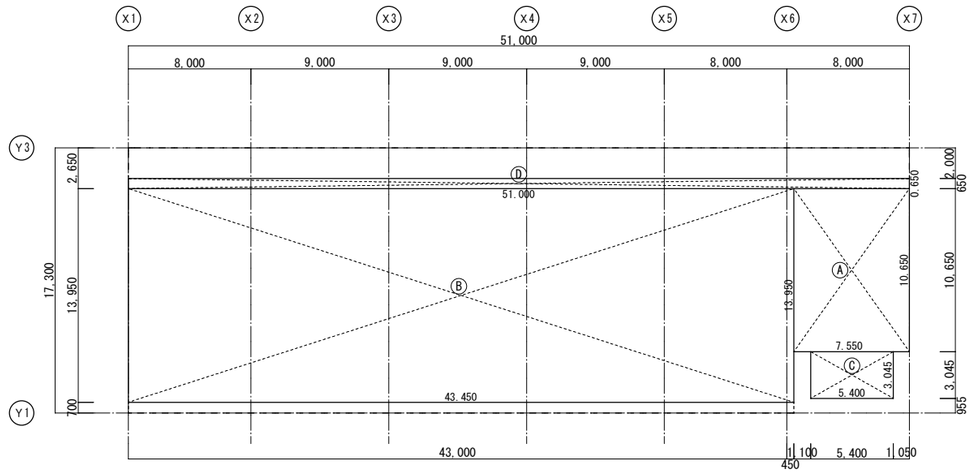
PH階　求積図　1/200

PH階床面積表		
記号	計算式(m)	面積(㎡)
A	7.000 × 3.400	23.800
合計面積		23.800



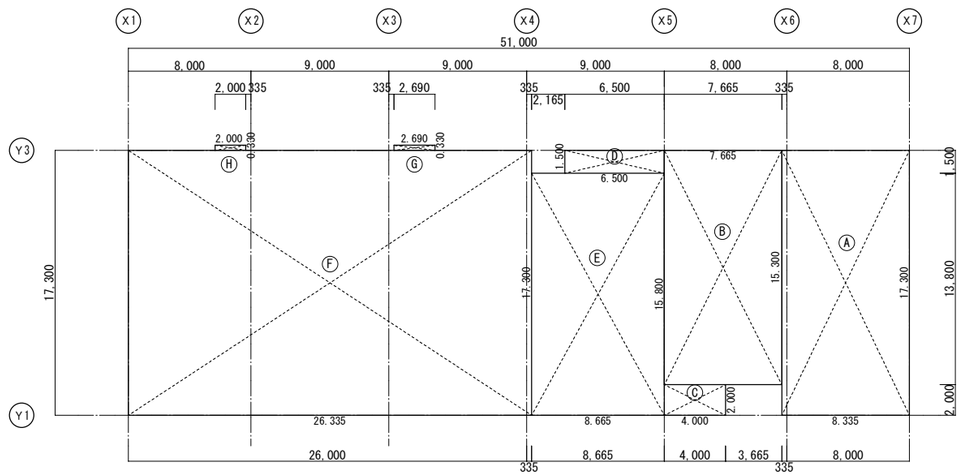
建築面積　求積図　1/200

建築面積表		
記号	計算式(m)	面積(㎡)
1	51.000 × 17.300	882.300
2	2.165 × 0.600	1.299
3	2.690 × 0.330	0.888
4	2.000 × 0.330	0.660
5	3.665 × 0.400	1.466
計		886.61~~2~~
改め		886.61



2階　求積図　1/200

2階床面積表		
記号	計算式(m)	面積(㎡)
A	7.550 × 10.650	80.408
B	43.450 × 13.950	606.128
C	5.400 × 3.045	16.443
D	51.000 × 0.650	33.150
計		736.12~~9~~
改め		736.12

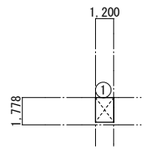


1階　求積図　1/200

1階床面積表		
記号	計算式(m)	面積(㎡)
A	8.335 × 17.300	144.196
B	7.665 × 15.300	117.275
C	4.000 × 2.000	8.000
D	6.500 × 1.500	9.750
E	8.665 × 15.800	136.907
F	26.335 × 17.300	455.596
G	2.690 × 0.330	0.888
H	2.000 × 0.330	0.660
計		873.27~~2~~
改め		873.27

■建物面積表

	面積(㎡)
R階床面積	23.80
2階床面積	736.12
1階床面積	873.27
計	1,633.19
延床面積	1,633.19 ㎡
建築面積	886.61 ㎡



求積図　1/200

■屋外給油所面積表

面積表		
記号	計算式(m)	面積(㎡)
1	1.200 × 1.778	2.1336
計		2.13

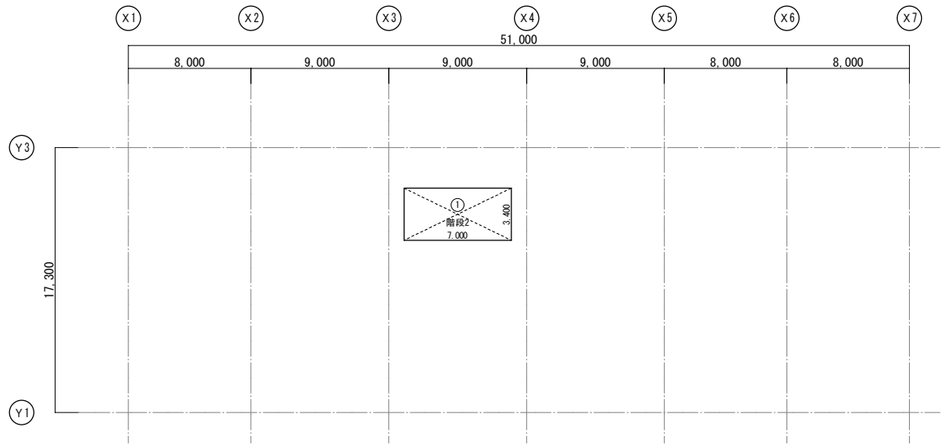
	面積(㎡)
屋外給油所1	2.13
屋外給油所2	2.13
計	4.26
建築面積	4.26 ㎡

JOBNO

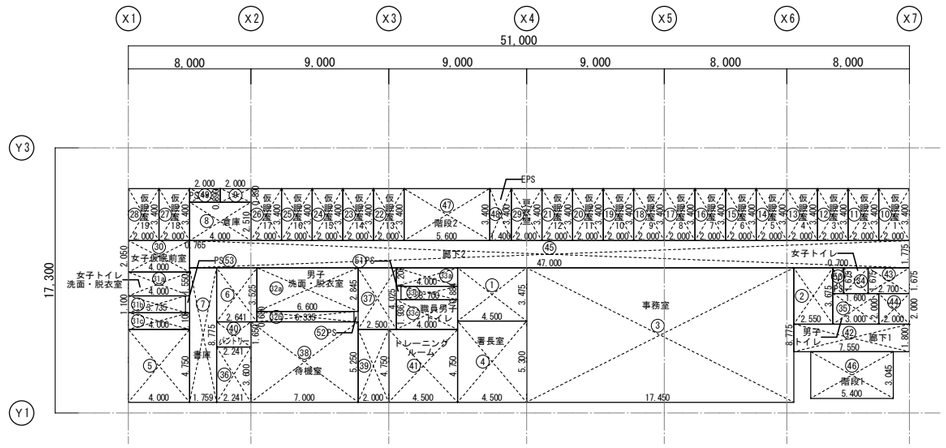
白石消防署庁舎建替工事　【庁舎棟】面積表・求積図 1.　A-15

DATE　SCAL (A 1) 1／200 (A 3) 1／400　DRAWN　CHEK

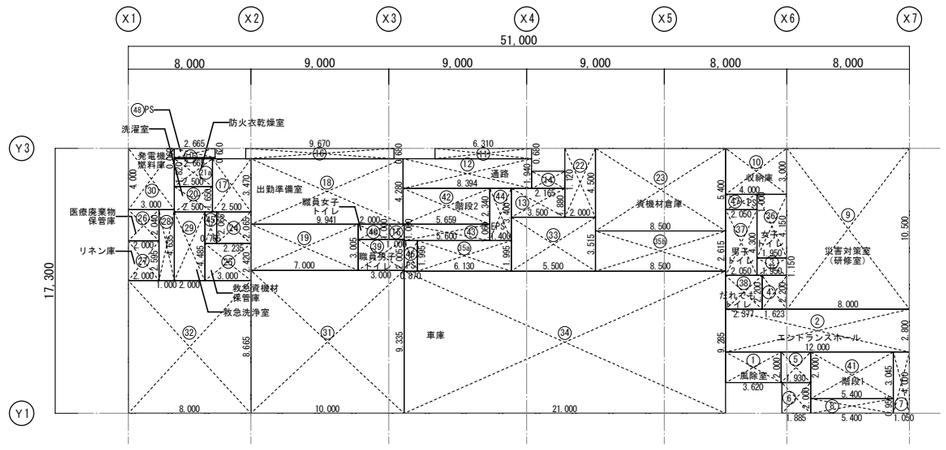
株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号 永野ますみ



PH階　室別求積図　1/200



2階　室別求積図　1/200



1階　室別求積図　1/200

■1階　各室床面積

室名	記号	計算式(m)	面積(㎡)	各室面積(㎡)
風除室	1	3.620 × 2.000	7.240	7.240
エントランスホール	2	12.000 × 2.800	33.600	56.401
	3	1.950 × 1.150	2.243	
	4	1.623 × 2.200	3.571	
	5	1.930 × 2.000	3.860	
	6	1.885 × 2.000	3.770	
	7	1.050 × 4.000	4.200	
	8	5.400 × 0.955	5.157	
災害対策室（研修室）	9	8.000 × 10.500	84.000	84.000
収納庫	10	4.000 × 3.000	12.000	12.000
通路	11	6.310 × 0.680	4.291	29.580
	12	8.394 × 1.940	16.284	
	13	3.500 × 1.880	6.580	
	14	2.165 × 1.120	2.425	
出動準備室	15	1.000 × 1.000	1.000	79.833
	16	9.670 × 0.680	6.576	
	17	2.500 × 3.470	8.675	
	18	9.941 × 4.280	42.547	
	19	7.000 × 3.005	21.035	
洗濯室	20	2.500 × 1.650	4.125	4.125
防火衣乾燥室	21a	2.500 × 1.820	4.550	4.710
	21b	2.665 × 0.060	0.160	
資機材倉庫	22	2.000 × 4.500	9.000	54.900
	23	8.500 × 5.400	45.600	
救急資機材保管庫	24	2.235 × 2.065	4.615	11.875
	25	3.000 × 2.420	7.260	
医療廃棄物保管庫	26	2.000 × 2.040	4.080	4.080
リネン庫	27	2.000 × 2.595	5.190	5.190
救急洗浄室	28	1.000 × 4.635	4.635	13.605
	29	2.000 × 4.485	8.970	
発電機燃料庫	30	3.000 × 4.000	12.000	12.000
車庫	31	10.000 × 9.335	93.350	411.445
	32	8.000 × 8.665	69.320	
	33	5.500 × 3.515	19.333	
	34	21.000 × 9.285	194.985	
	35a	6.130 × 1.995	12.229	
	35b	8.500 × 2.615	22.228	
女子トイレ	36	1.950 × 4.150	8.093	8.093
男子トイレ	37	2.050 × 4.300	8.815	8.815
だれでもトイレ	38	2.377 × 2.200	5.229	5.229
職員男子トイレ	39	3.000 × 2.005	6.015	6.015
職員女子トイレ	40	2.000 × 1.000	2.000	2.000
階段1	41	5.400 × 3.045	16.443	16.443
階段2	42	5.659 × 2.340	13.242	19.178
	43	5.600 × 1.060	5.936	
EPS	44	1.400 × 3.400	4.760	4.760
PS	45	0.765 × 2.065	1.580	7.018
	46	0.870 × 1.995	1.736	
	47	2.050 × 1.000	2.050	
	48	2.665 × 0.620	1.652	

■PH階　各室床面積

室名	記号	計算式(m)	面積(㎡)	各室面積(㎡)
階段2	1	7.000 × 3.400	23.800	23.800

■2階　各室床面積

室名	記号	計算式(m)	面積(㎡)	面積(㎡)
事務室	1	4.500 × 3.475	15.638	178.133
	2	2.550 × 3.675	9.371	
	3	17.450 × 8.775	153.124	
署長室	4	4.500 × 5.300	23.850	23.850
書庫	5	4.000 × 4.750	19.000	43.745
	6	2.641 × 3.525	9.310	
	7	1.759 × 8.775	15.435	
倉庫	8	4.000 × 2.510	10.040	11.820
	9	2.000 × 0.890	1.780	
仮眠室1	10	2.000 × 3.400	6.800	6.800
仮眠室2	11	2.000 × 3.400	6.800	6.800
仮眠室3	12	2.000 × 3.400	6.800	6.800
仮眠室4	13	2.000 × 3.400	6.800	6.800
仮眠室5	14	2.000 × 3.400	6.800	6.800
仮眠室6	15	2.000 × 3.400	6.800	6.800
仮眠室7	16	2.000 × 3.400	6.800	6.800
仮眠室8	17	2.000 × 3.400	6.800	6.800
仮眠室9	18	2.000 × 3.400	6.800	6.800
仮眠室10	19	2.000 × 3.400	6.800	6.800
仮眠室11	20	2.000 × 3.400	6.800	6.800
仮眠室12	21	2.000 × 3.400	6.800	6.800
仮眠室13	22	2.000 × 3.400	6.800	6.800
仮眠室14	23	2.000 × 3.400	6.800	6.800
仮眠室15	24	2.000 × 3.400	6.800	6.800
仮眠室16	25	2.000 × 3.400	6.800	6.800
仮眠室17	26	2.000 × 3.400	6.800	6.800
仮眠室18	27	2.000 × 3.400	6.800	6.800
仮眠室19	28	2.000 × 3.400	6.800	6.800
更衣室	29	2.000 × 3.400	6.800	6.800
女子仮眠前室	30	4.000 × 2.050	8.200	8.200
女子トイレ洗面・脱衣室	31a	4.000 × 1.550	6.200	14.709
	31b	3.735 × 1.100	4.109	
	31c	4.000 × 1.100	4.400	
男子洗面・脱衣室	32a	6.600 × 2.845	18.777	23.085
	32b	6.335 × 0.680	4.308	
職員男子トイレ	33a	4.000 × 1.205	4.820	15.835
	33b	3.700 × 0.884	3.271	
	33c	4.000 × 1.936	7.744	
女子トイレ	34	1.600 × 1.675	2.680	2.680
男子トイレ	35	3.000 × 2.000	6.000	6.000
待機室	36	2.241 × 3.600	8.068	64.381
	37	2.500 × 4.025	10.063	
	38	7.000 × 5.250	36.750	
	39	2.000 × 4.750	9.500	
ﾊﾟﾝﾄﾘｰ	40	2.241 × 1.650	3.698	3.698
トレーニングルーム	41	4.500 × 4.750	21.375	21.375
廊下1	42	7.550 × 1.800	13.590	22.113
	43	2.700 × 1.675	4.523	
	44	2.000 × 2.000	4.000	
廊下2	45	47.000 × 1.775	83.425	83.425
階段1	46	5.400 × 3.045	16.443	16.443
階段2	47	5.600 × 3.400	19.040	19.040
EPS	48	1.400 × 3.400	4.760	4.760
PS	49	2.000 × 0.890	1.780	3.689
	50	0.700 × 1.675	1.173	
	51	0.300 × 0.884	0.265	
	52	0.265 × 0.680	0.180	
	53	0.265 × 1.100	0.291	

JOBNO

白石消防署庁舎建替工事

【庁舎様】面積表・求積図２　A-16

DATE　SCAL (A 1) 1／200 (A 3) 1／400　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士　第 357230 号　永野ますみ

採光・排煙・換気チェック表

室名	居室	非居室	室面積 B	室面積 D	室面積 B*D	室面積 ΣA	用途	窓データ 記号	窓データ B	窓データ H	窓データ HT	窓データ N	採光 B	採光 H	採光 採光補正	採光 A1	採光 N*A1	採光 ΣA1	採光 β	採光 β×A	採光 Judge	排煙 CH	排煙 B/2	排煙 H	排煙 角度	排煙 A2	排煙 N*A2	排煙 ΣA2	排煙 β	排煙 β×A	排煙 Judge	換気 B/2	換気 H	換気 A3	換気 N*A3	換気 ΣA3	換気 β	換気 β×A	換気 Judge
【1階】																																							
エントランスホール		○	12.000	2.800	33.600	56.40										※非居室のため適用除外								※告示1436号三ーへー(2)により免除										※非居室のため適用除外					
			1.950	1.150	2.243																																		
			1.623	2.200	3.571																																		
			1.930	2.000	3.860																																		
			1.885	2.000	3.770																																		
			1.050	4.000	4.200																																		
			5.400	0.955	5.157																																		
災害対策室(研修室)	○		8.000	10.500	84.000	84.00	採光上の無窓居室検討	AW6	0.83	1.68	2.68	4	0.83	1.68	3.00	4.18	16.73	16.73	1/20	4.20	OK	2.70	0.83	0.78	45	0.65	2.59	2.59	1/50	1.68	OK	0.83	1.68	1.39	5.58	5.58	1/20	4.20	OK
								縦にりだし窓 開放可能角度45°以上																															
収納庫		○	4.000	3.000	12.000	12.00										※非居室のため適用除外								※告示1436号三ーへー(2)により免除										※非居室のため適用除外					
通用口・通路		○	6.310	0.680	4.291	29.58		AW7	3.10	0.50	2.68	1				※非居室のため適用除外						2.70	3.10	0.50	45	1.55	1.55	1.55	1/50	0.59	OK				※非居室のため適用除外				
			8.394	1.940	16.284			突き出し窓 開放可能角度45°以上																															
			3.500	1.880	6.580																																		
			2.165	1.120	2.425																																		
出勤準備室		○	1.000	1.000	1.000	79.83										※非居室のため適用除外								※告示1436号三ーへー(2)により免除										※非居室のため適用除外					
			9.670	0.680	6.576																																		
			2.500	3.470	8.675																																		
			9.941	4.280	42.547																																		
			7.000	3.005	21.035																																		
洗濯室		○	2.500	1.650	4.125	4.13										※非居室のため適用除外								※告示1436号三ーへー(2)により免除										※非居室のため適用除外					
防火衣乾燥室		○	2.500	1.820	4.550	5.40										※非居室のため適用除外								※告示1436号三ーへー(2)により免除										※非居室のため適用除外					
			2.665	0.320	0.853																																		
資機材倉庫		○	2.000	4.500	9.000	77.13										※非居室のため適用除外								※告示1436号三ーへー(1)により免除										※非居室のため適用除外					
			8.500	8.015	68.128																																		
救急資機材保管庫		○	2.235	2.065	4.615	11.88										※非居室のため適用除外								※告示1436号三ーへー(1)により免除										※非居室のため適用除外					
			3.000	2.420	7.260																																		
医療廃棄物保管庫		○	2.000	2.040	4.080	4.08										※非居室のため適用除外								※告示1436号三ーへー(2)により免除										※非居室のため適用除外					
リネン庫		○	2.000	2.595	5.190	5.19										※非居室のため適用除外								※告示1436号三ーへー(2)により免除										※非居室のため適用除外					
救急洗浄室		○	1.000	4.635	4.635	13.61										※非居室のため適用除外								※告示1436号三ーへー(1)により免除										※非居室のため適用除外					
			2.000	4.485	8.970																																		
発電機燃料室		○	3.000	4.000	12.000	12.00										※非居室のため適用除外								※告示1436号三ーへー(2)により免除										※非居室のため適用除外					
車庫		○	10.000	9.335	93.350	389.22										※非居室のため適用除外								※告示1436号三ーホにより免除										※非居室のため適用除外					
			8.000	8.665	69.320																																		
			5.500	3.515	19.333																																		
			21.000	9.285	194.985																																		
			6.130	1.995	12.229																																		
【2階】																																							
事務室	○		4.500	3.475	15.638	178.13		AW3C	1.62	1.90	3.00	4	1.62	1.90	3.00	9.25	36.98	36.98	—	—	—	3.00	0.81	0.80	90	0.65	2.60	2.60	—	—	—	0.81	1.90	1.54	6.16	6.16	—	—	—
			2.550	3.675	9.371			AW3B	1.87	1.90	3.00	4	1.87	1.90	3.00	10.67	42.68	42.68	—	—	—	3.00	0.94	0.80	90	0.75	3.00	3.00	—	—	—	0.94	1.90	1.78	7.11	7.11	—	—	—
			17.450	8.775	153.124		採光上の無窓居室検討									計		79.66	1/20	8.91	OK				計			5.59	1/50	3.56	OK				計		13.28	1/20	8.91	OK
署長室	○		4.500	5.300	23.850	23.85	採光上の無窓居室検討	AW3B	1.87	1.90	3.00	2	1.87	1.90	3.00	10.67	21.34	21.34	1/20	1.19	OK	2.70	0.94	0.50	90	0.47	0.94	0.94	1/50	0.48	OK	0.94	1.90	1.78	3.56	3.56	1/20	1.19	OK
書庫		○	4.000	4.750	19.000	43.74		AW3A	1.54	1.90	3.00	3				※非居室のため適用除外						3.00	0.77	0.80	90	0.61	1.84	1.84	1/50	0.87	OK	0.77	1.90	1.46	4.38	4.38	1/20	2.19	OK
			2.641	3.525	9.310																																		
			1.759	8.775	15.435																																		
倉庫		○	4.000	2.510	10.040	11.82		AW4	0.80	1.30	2.20	1				※非居室のため適用除外						2.70	0.80	0.30	45	0.24	0.24	0.24	1/50	0.24	OK	0.80	1.30	1.04	1.04	1.04	1/20	0.59	OK
			2.000	0.890	1.780			縦にりだし窓 開放可能角度45°以上																															
仮眠室1～19	○		2.000	3.400	6.800	6.80	採光上の無窓居室検討	AW4	0.80	1.30	2.20	1	0.80	1.30	3.00	3.12	3.12	3.12	1/20	0.34	OK	2.70	0.80	0.30	45	0.24	0.24	0.24	1/50	0.14	OK	0.80	1.30	1.04	1.04	1.04	1/20	0.34	OK
								縦にりだし窓 開放可能角度45°																															
更衣室	○		2.000	3.400	6.800	6.80	採光上の無窓居室検討	AW4	0.80	1.30	2.20	1	0.80	1.30	3.00	3.12	3.12	3.12	1/20	0.34	OK	2.70	0.80	0.30	45	0.24	0.24	0.24	1/50	0.14	OK	0.80	1.30	1.04	1.04	1.04	1/20	0.34	OK
								縦にりだし窓 開放可能角度45°以上																															
女子仮眠前室	○		4.000	2.050	8.200	8.20										※非居室のため適用除外								※告示1436号三ーへー(2)により免除										※非居室のため適用除外					
待機室	○		2.241	3.600	8.068	64.38		AW3A	1.54	1.90	3.00	1	1.54	1.90	3.00	8.76	8.76	8.76	—	—	—	3.00	0.77	0.80	90	0.61	0.61	0.61	—	—	—	0.77	1.90	1.46	1.46	1.46	—	—	—
			2.500	4.025	10.063			AW3B	1.87	1.90	3.00	4	1.87	1.90	3.00	10.67	42.68	42.68	—	—	—	3.00	0.94	0.80	90	0.75	3.00	3.00	—	—	—	0.94	1.90	1.78	7.11	7.11	—	—	—
			7.000	5.250	36.750		採光上の無窓居室検討									計		51.44	1/20	3.22	OK				計			3.61	1/50	1.29	OK				計		8.57	1/20	3.22	OK
			2.000	4.750	9.500																																		
パントリー		○	2.241	1.650	3.698	3.70										※非居室のため適用除外								※告示1436号三ーへー(2)により免除										※非居室のため適用除外					
トレーニングルーム	○		4.500	4.750	21.375	21.38	採光上の無窓居室検討	AW3B	1.87	1.90	3.00	2	1.87	1.90	3.00	10.67	21.34	21.34	1/20	1.07	OK	2.70	0.94	0.50	90	0.47	0.94	0.94	1/50	0.43	OK	0.94	1.90	1.78	3.56	3.56	1/20	1.07	OK
廊下1		○	7.550	1.800	13.590	22.11		AW1	0.90	0.90	3.00	3				※非居室のため適用除外						2.70	0.90	0.50	90	0.45	1.35	1.35	1/50	0.44	OK	0.90	0.90	0.81	2.43	2.43	1/20	1.11	OK
			2.700	1.675	4.523			外倒し窓 開放可能角度45°以上																															
			2.000	2.000	4.000																																		
廊下2		○	47.000	1.775	83.425	83.43		AW5	1.49	1.55	2.70	1				※非居室のため適用除外								※告示1436号三ーへー(2)により免除										※非居室のため適用除外					

普通階・無窓階算定書

防火対象物名称　白石消防署 庁舎

2026年 4月 2日

株式会社 構 建築設計事務所
算定者 永野ますみ

(1 階)

床面積(A)	基準開口面積(A/30)	有効開口部面積合計	算定結果	※消防機関判定
873.27 ㎡	29.11 ㎡	35.23 ㎡	(普)・無	普 ・ 無

開口部位置	建具記号	開口部種別	床からの高さ(m)	幅(m) × 高さ(m) × 所在数	開口部面積小計(㎡)	備考
南	AD-2	親子開き	0	1.15 × 2.00 × 1	2.30	
南	AD-1	引き分け	0	1.40 × 2.00 × 1	2.80	
東	AW-6	たてすべり	0.995	0.65 × 1.68 × 4	4.37	
南	OS-1	オーバースライダー	0	6.36 × 4.05 × 1	25.76	水圧開放装置
	合計				35.23	

(2 階)

床面積(A)	基準開口面積(A/30)	有効開口部面積合計	算定結果	※消防機関判定
736.13 ㎡	24.54 ㎡	51.52 ㎡	(普)・無	普 ・ 無

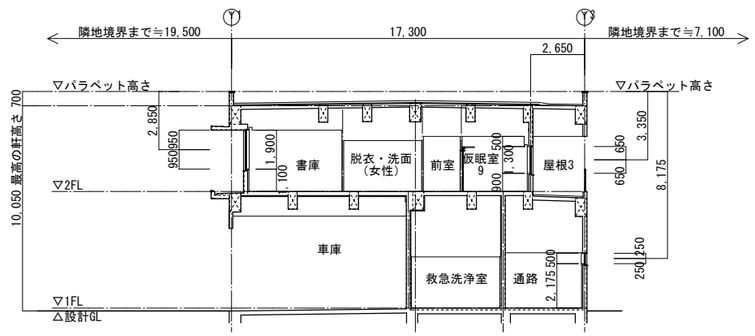
開口部位置	建具記号	開口部種別	床からの高さ(m)	幅(m) × 高さ(m) × 所在数	開口部面積小計(㎡)	備考
南	AW-3A	片引き	1.1	0.65 × 1.90 × 4	4.94	
南	AW-3B	片引き	1.1	0.80 × 1.90 × 12	18.24	
南	AW-3C	片引き	1.1	0.70 × 1.90 × 4	5.32	
北	AW-4	たてすべり	0.9	0.75 × 1.30 × 21	20.48	
北	AD-3	片開き	0	0.70 × 2.20 × 1	1.54	
東	AW-5	片引き	1.15	0.65 × 1.55 × 1	1.01	
	合計				51.52	

備考
1. 算定は階ごと(往来できない場合はその部分ごと)にすること。
2. 算定書には、配置図、建具配置図及び建具表を添付し算定した開口部を朱色で表示すること。

(15) 項　消防署：収容人員算定

		収容人員
従業者		36
研修室	84㎡÷3	28
合計		64

収容人員合計　64 人



採光補正係数算定用断面図　1/150

【採光補正係数について】商業系地域（D/H）×10-1.0=3より
1階：(7.1/8.175)×10-1.0=7.685･･･
2階：(7.1/3.350)×10-1.0=20.194･･･
(19.5/2.850)×10-1.0=67.421･･･　∴採光補正係数3

JOBNO

白石消防署庁舎建替工事　【庁舎棟】法チェック表　A-17

DATE　SCAL (A 1) 1/ —　(A 3) 1/ —　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号 永野ますみ

（庁舎棟）外部仕上表

部　位		仕　上
屋根	屋根1	コンクリート金ゴテ押え+A種押出法ポリスチレンフォーム　３種ｂＡｔ50 +アスファルト防水（AI-1）+押えｺﾝｸﾘｰﾄｔ80金ゴテ（溶接金網6φ100） 伸縮目地タテヨコ@3000程度、成形材t25
	屋根2 （階段室）	コンクリート金ゴテ押え+A種押出法ポリスチレンフォーム　３種ｂＡｔ50+アスファルト防水（DI-1）
	屋根3 （2階北側）	コンクリート金ゴテ押え+アスファルト防水常温複合工法(レイヤオール工法PLS-2)　(A-1同等) +押えｺﾝｸﾘｰﾄｔ80金ゴテ（溶接金網6φ100）伸縮目地タテヨコ@3000程度、成形材t25)
	庇1	コンクリート金ゴテ押え+アスファルト防水常温複合工法(レイヤオール工法SL-2)　(D-1同等)
	その他　庇	コンクリート金ゴテ押え+塗膜防水（X-2）
	ハト小屋 設備基礎	コンクリート金ゴテ押え+塗膜防水（X-2）

部　位		仕　上
外壁	外壁1	コンクリート打放し仕上B種+複層塗材E
	外壁2	コンクリート打放し仕上A種+超耐久・水性ふっ素樹脂塗装
	外壁3	コンクリート打放し仕上B種+ふっ素樹脂系サンドセラミック調装飾仕上塗材（化粧目地入）+ 低汚染型水性クリヤートップ　仕上パターン（ヘアーライン/トラバーチン）
軒天	軒天1	ケイカル板ｔ8（目透し）+外装薄塗材E
	軒天2	コンクリート打放し仕上B種+外装薄塗材E　誘発目地
	軒天3	コンクリート打放し仕上A種+超耐久・水性ふっ素樹脂塗装

部　位		仕　上
その他	ルーフドレン	屋上：鋳鉄製既製品　縦型　φ100　　バルコニー：鋳鉄製既製品　中継　φ100 屋上：鋳鉄製既製品　横引きφ100　　庇　　：鋳鉄製既製品　横引きφ100
	竪樋	アルミ製丸型114φ（バンドレス）
	笠木	アルミ製既製品
	目隠しルーバー	アルミ製既製品
	定礎	黒御影石　W600ｘH400ｘD25(堀込文字)
床	ポーチ床	磁器質タイル300角
	通用口床	コンクリート金ゴテ

共通事項：断熱

部　位	断熱材	熱伝導率 [W/(m・K)]	厚み [mm]	熱橋部	断熱材	熱伝導率 [W/(m・K)]	厚み [mm]	補強長さ
屋根	A種押出法ポリスチレンフォーム　３種ｂＡ	0.028	50	屋上 設備基礎下	吹付硬質ウレタンフォーム断熱材　Ａ種１Ｈ	0.026	20	—
外壁	吹付硬質ウレタンフォーム断熱材　Ａ種１Ｈ	0.026	40	ピット地中梁 外周部	A種押出法ポリスチレンフォーム　３種ｂＡ	0.028	20	L＝300
2階スラブ下 ﾊﾞﾙｺﾆｰ・燃料庫 車庫・資機材倉庫	A種押出法ポリスチレンフォーム　３種ｂＡ打込み	0.028	50					
1階スラブ下 土間スラブ下	A種押出法ポリスチレンフォーム　３種ｂＡ打込み	0.028	50					
トイレ、仮眠室、洗面室、署長室、事務室、会議室の間仕切り壁		グラスウール24kg/m3　t50充填						
トイレ、仮眠室、洗面室、署長室の天井		グラスウール24kg/m3　t100						

略記号・認定番号

壁 天井	GB-R	石膏ボード　t12.5	NM-8619（不燃）	壁 天井	ー	ビニルクロス	QM-0814（準不燃）	塗装	AEP EP	合成樹脂エマルションペイント塗	NM-8585（不燃）
	GB-R	石膏ボード　t9.5	QM-9828（準不燃）		ー	ビニルクロス	NM-3991（不燃）		EP-G	つや有り合成樹脂エマルションペイント塗	NM-8585（不燃）
	GB-S	耐水石膏ボード　t12.5	NM-9639（不燃）		不燃化粧仕上材壁紙		不燃：NM-3958-2 （石膏ボードｔ12.5下地）		DP	耐候性塗料塗り	
	GB-D	化粧石膏ボード　t9.5	QM-0524（準不燃）		超耐久水性ｱｸﾘﾙｼﾘｺﾝ樹脂塗装		NM-5961（不燃）		SOP	合成樹脂調合ペイント塗	
	DR	ﾛｯｸｳｰﾙ吸音板　t9.0	NM-8599（不燃）		内部： サンドセラミック調装飾仕上塗材		NM-8572（不燃）		WUC	水系ウレタン木部用クリア塗料塗り	
	ー	ケイ酸カルシウム板　t6～	NM-9029（不燃）		マグネットボード		NM-4798（不燃）				
	LGS	軽量鉄骨			バスパネル		QM-0515-1（準不燃）				
	RC	鉄筋コンクリート									

特記事項

止水材	地中及び1階スラブのコンクリート打継部には止水材を設置する事。
ピット	床・壁を浸透性塗布防水とする。
地中スリーブ	土中における各スリーブは鋼管ツメ付スリーブを使用し、スリーブ周囲は鉛コーキング材 にてシールを施す。
コンクリート 打増し	外部コンクリート打放し部は20mm、内部コンクリート打放し・金ゴテ仕上げ部は10mm
床組み木材	床組み下地の木材には防腐処理を行う。
床貼物	接地階の張物用接着剤はエポキシ系とし長尺塩ビシートは溶接工法とする。
床見切	床仕上げの異なる部分の見切りには、SUS　FB-6ｘ30を使用する。
壁目地	下地違いの同一面の壁には振動吸収目地を入れること。塩ビ見切り（クロス巻込み）設置とする。
ｺｰﾅｰﾋﾞｰﾄ	塗装及び壁貼り仕上げの柱・壁の出隅には床から壁までｺｰﾅｰﾋﾞｰﾄを施す。
天井下地	天井下地は特記なき限り軽量鉄骨下地とし、天井ふところが1500mm以上の場合吊りボルト 振れ止め補強を行う。
天井廻り縁	特記なき限り、塩ビ製、天井見切り型とする。天井仕上専用の廻り縁があればメーカー仕様とする。
造作家具廻り	造付け家具の壁と床の仕上げは施工しない。
サイン	サイン・室名札は見本品を提出の上、監理者の承認を得ること。取付位置は監理者の指示による。
設備取合い	盤スペース・消火器ボックスの位置は設備工事打合せの上施工の事。
タテ樋	特記なき限り白ガス管とし、グラスウール(32kg)　ｔ25防露巻。 内部に露出する場合は防露巻の上に綿布OPとする。
金物	使用するステンレスは、全てSUS304とする。
サッシ額縁	特記なき限り、アルミ製押出型材、電解色
サッシ額縁	集成材ｔ25+EP-G

シックハウス関連

使用建築材（天井裏・床下・壁内含む）及び接着剤は全てＦ☆☆☆☆以上とする。
クロルピリホス、アスベストの使用は無し。
造作家具材は全てＦ☆☆☆☆以上とする。

内外装仕上：参考仕様

外壁2：超耐久・ 水性ふっ素樹脂塗装	上塗り：ふっ素樹脂系カラークリヤー(エスケー化研　セラミクリートＦ工法同等品)	物干しバー(固定)	天井着脱式ポールH=600x2本、物干竿1本L=1500 （TOSOランドリーバーLB-1　同等品）
外壁3	(エスケー化研　サンドエレガンテＦ同等品)	物干しバー(仮眠室)	天井面付L＝1200、昇降式（Nasta AirBarNRP023 同等品）
磁器質タイル床	300ｘ300ｘｔ9(名古屋モザイク　マトリックスフロア、リクシル　ベスパ同等品)	付長押	H65（DAIKENハンガー長押 同等品）
シャワー床タイル	50角(リクシル　ブレイン50同等品)	姿見フィルムミラー	ポリエステルフィルム、アルミフレーム、厚さ21.5mm
外壁タイル	二丁掛(名古屋モザイク　リクシル　フェイブ同等品)	懸垂バー	SUS304HL、34φ、壁付+ナローグリップ付き （有限会社セイコーステンレス同等品）
タイルカーペットＡ	500ｘ500ｘｔ6.5(サンゲツ　ウジェーヌ同等品) 500ｘ500ｘｔ6.5(東リ　GA-100同等品)	ゴミストッカー	800L　アルミ既製品　目隠しタイプ （三協アルミ　ダスティンGボックススリム同等品）
置敷きビニル床タイル	500ｘ500ｘｔ5(サンゲツ　同等品) 500ｘ500ｘｔ5(東リ　ルースレイ50NW-EX同等品)	郵便受け	ステンレス既製品（Nasta　MB805SS-PK-00同等品）
ビニル床シートＡ	ｔ2.0　重歩行(サンゲツ　ストロング同等品) ｔ2.0　耐動荷重(東リ　ノンワックスリュームNW同等品)	目隠しルーバー	OP-S120（ABC商会　オトブルーフ同等品）
ビニル床シートＢ	ｔ2.0　抗菌、抗ウィルス、衝撃吸収(サンゲツ　ナーシングフロア・V同等品) ｔ2.0　抗菌、抗ウィルス、衝撃吸収(東リ　ホスビリュームNW同等品)	消火器	消火器：ABC10 型 は設備工事とする。 ボックス：警報ベル付き全埋込型SUS製　(UFB-1S-2204-HLN同等品) ボックス：警報ベル付きｽﾃﾝﾚｽ床置き型　(UFB-3S-2760-HLN同等品)
ビニル床シートＣ	ｔ2.0　防滑性、抗菌、抗ウィルス、消臭(サンゲツ　消臭ﾚｽﾄﾘｭｰﾑ同等品) ｔ2.0　防滑性、抗菌、抗ウィルス、消臭(東リ　消臭NSトワレNW同等品)		
ビニル床シートＤ	ｔ2.0　抗菌(サンゲツ　エスリュームプレーン同等品) ｔ2.0　抗菌(東リ　フロアリュームプレーンNW同等品)		
ビニル床シートＥ	ｔ2.5　防滑性(サンゲツ　ノンスキッド同等品) ｔ2.5　防滑性(東リ　NSシートNS800同等品)		
ビニル床シートＦ	ｔ4.5　抗菌、衝撃吸収(サンゲツ　メディウォーク同等品) ｔ4.5　抗菌、衝撃吸収(東リ　アリーナフィット同等品)		
合金骨材配合 強靭床仕上材	平滑仕上、硬化コンクリート塗付け工法　厚さ約5mm （ABC商会　ラガーハードS　フロアーブライトシーラー仕上　同等品）		
無機系速硬耐久性 仕上材	平滑仕上、硬化コンクリート塗付け工法　厚さ約5mm （ABC商会　ラガーハードSL　タイトカラー仕上　同等品）		
厚膜型ｴﾎﾟｷｼ樹脂系 塗床材	平滑仕上（ABC商会　ケミクリートE　同等品）		
厚膜型ｴﾎﾟｷｼ樹脂系 塗床材（抗菌・防滑）	防滑仕上、抗菌性（ABC商会　ケミクリートE-MR　同等品）		
薄膜型水性ｱｸﾘﾙ樹脂系 防塵塗料	平滑仕上（ABC商会　カラートップA　同等品）		
OAフロア	H100　3000N/㎡		
メラミン化粧板ｔ3.0	不燃：NM2183（AICA　セラール同等品）		
不燃化粧仕上材壁紙	不燃：NM-3958-2(石膏ボードｔ12.5下地)（東リ　リアルデコ同等品）		
ホワイトボード壁	ナノホワイトボード（青井黒板製作所同等品）		
ﾏｸﾞﾈｯﾄﾎﾞｰﾄﾞ	チヨダMAG+ボード（チヨダウーテ同等品） タイガーFeボード（吉野石膏同等品）		

JOBNO

白石消防署庁舎建替工事　【庁舎棟】外部仕上表・特記事項　A-18

DATE　SCAL (A 1) 1／－　(A 3) 1／－　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士　第 357230 号　永野ますみ

（庁舎棟）　内部仕上表

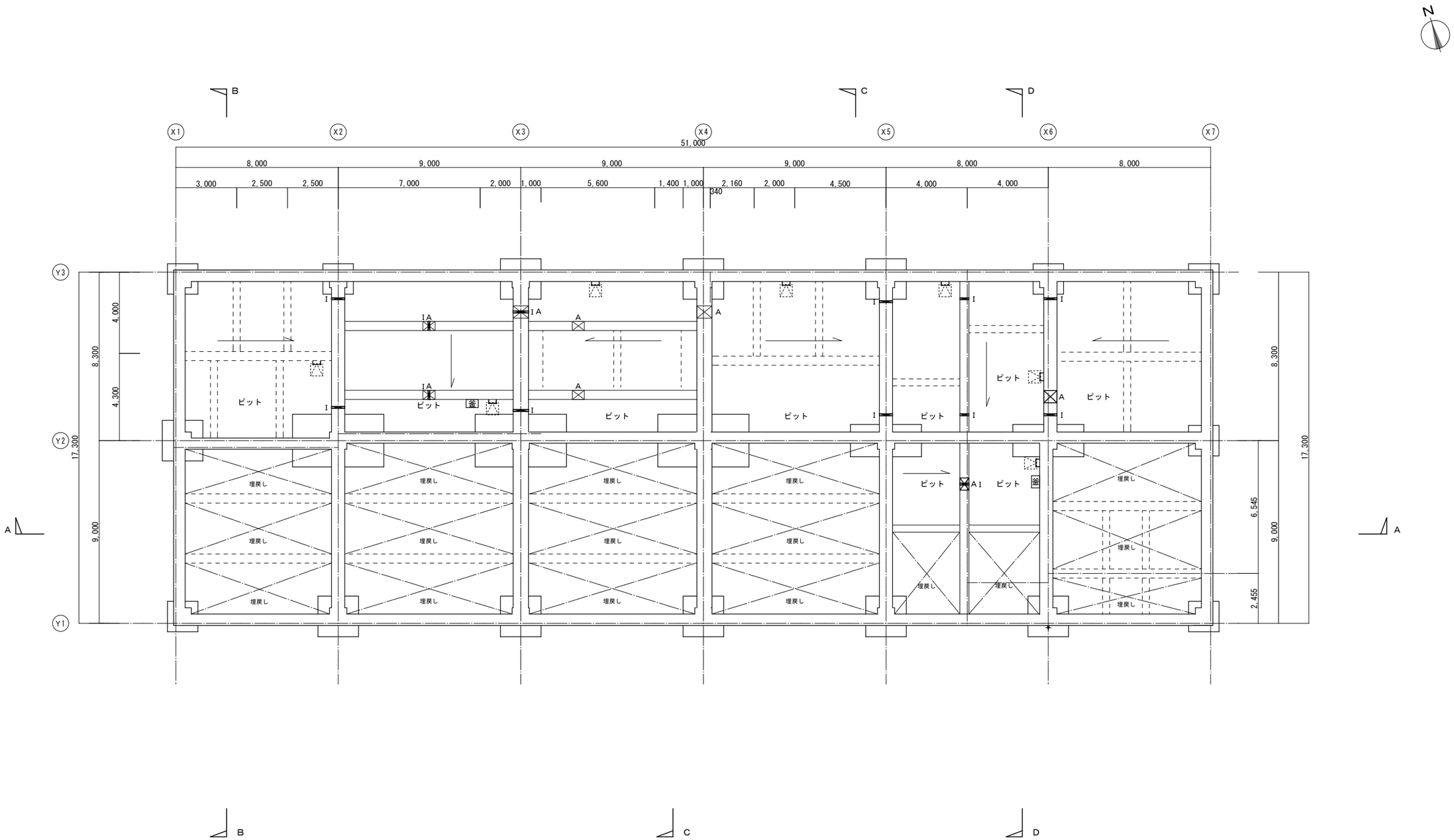
	室　名	仕上高 SLﾚﾍﾞﾙ	床 下　地	床 仕　上	巾木	巾木 高さ	壁 下　地	壁 仕　上	天井 下　地	天井 仕　上	天井 廻り縁	天井 天井高	ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ & BOX	ｶｰﾃﾝ & BOX	室名サイン	
1階	風除室	±0 -50	コンクリート金ゴテ押え	磁器質タイル300角	SUS巾木	60	GL又はLGS　+GB-R t 12.5	サンドセラミック調装 飾仕上塗材　仕上パターン （ヘアーライン/トラバーチン）	LGS	ケイカル板 t 6（突付）+EP-G	塩ビ製	2,200				防護柵、郵便受け、誘導ブロック
	エントランスホール	±0 -10	↑	ビニル床シートA	↑	↑	GL又はLGS　+GB-R t 12.5 一部ﾏｸﾞﾈｯﾄﾎﾞｰﾄﾞ t 12.9	EP	LGS+GB-R t 9.5	DR t 9.0	↑	3,000 4,500	○			
	災害対策室 （研修室）	±0 -10	↑	↑	ビニル巾木	↑	外壁側：GL又はLGS　+GB-R t 12.5 間仕切り：LGS+GB-R t 12.5 （グラスウール充填）	ビニルクロス 一部ホワイトボード壁	↑	↑	↑	2,700	○		○	
	収納庫	±0 -10	↑	ビニル床シートD	↑	↑	GL又はLGS　+GB-R t 12.5	ビニルクロス	LGS	GB-D t 9.5	↑	2,700			○	
	通用口・通路	±0 -10	↑	無機系速硬耐久性仕上材	床材立上げ	100	↑	AEP	↑	↑	↑	2,700				下足入れ
	出動準備室	±0 -10	↑	↑	↑	↑	GL又はLGS　+GB-S t 12.5	ケイカル板 t 6+AEP 一部ホワイトボード壁	↑	↑	↑	2,700			○	防火衣ロッカー
	洗濯室	±0 -10	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	ケイカル板 t 6（突付）+EP-G	↑	2,700			○	洗濯パン、ライニング
	防火衣乾燥室	±0 -10	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	2,700			○	物干しパイプ、鋼製棚、壁点検口
	資機材倉庫	±0 -10		↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	2,700			○	鋼製棚
	救急資機材保管庫	±0 -10	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	2,500			○	鋼製棚
	医療廃棄物保管庫	±0 -10	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	2,500			○	
	リネン庫	±0 -10	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	2,500			○	木製棚
	救急洗浄室	±0 -10	↑	厚膜型ｴﾎﾟｷｼ樹脂系塗床材 （抗菌・防滑）	床材立上げ	↑	LGS　+耐水合板 t 12	バスパネル t 9	↑	バスパネル t 9	アルミ製	2,500			○	排水グレーチング、シャワー、シャワーカーテン、ライニング、 ステンレス流し、作業台、棚、汚物流し
	油脂庫	±0 -10	↑	厚膜型ｴﾎﾟｷｼ樹脂系塗床材	―	―	コンクリート打放し補修B種	超耐久・水性ｱｸﾘﾙｼﾘｺﾝ樹脂塗装	コンクリート 打放し補修	現し	―	直天井			○	防油堤
	発電機燃料室	±0 -10	↑	↑	―	―	コンクリート打放し補修B種	↑	↑	↑	―	直天井			○	防油堤、設備基礎
	車庫	±0～-150 -10～-160	↑（ｺﾝｸﾘｰﾄｶｯﾀｰ目地切t=10@3,000以内）	合金骨材配合強靭床仕上材	床材立上げ	100	コンクリート打放し補修A種	↑	LGS	ケイカル板 t 8（突付）+EP-G	塩ビ製	4,500 ～ 4,650				SUS製流し台、コーナーガード
	男子トイレ（1） 女子トイレ（1）	±0 -10	コンクリート金ゴテ押え	ビニル床シートC	↑	↑	LGS+GB-S t 12.5（グラスウール充填）	メラミン化粧板 t 3	LGS（グラスウール充填）	GB-D t 9.5	↑	2,500			○	トイレブース、ライニング
	だれでもトイレ	±0 -10	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	2,500			○	
	職員男子トイレ（1） 職員女子トイレ（1）	±0 -10	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	2,400			○	トイレブース、ライニング
2階	事務室	±0 -100	OAフロアH＝100	置敷きビニル床タイル	ビニル巾木	60	LGS+GB-R t 12.5	ビニルクロス	LGS+GB-R t 9.5	DR t 9.0	塩ビ製	3,000	○		○	棚
	会議室	±0 -100	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	2,700				
	署長室	±0 -100	↑	↑	↑	↑	LGS+GB-R t 12.5（グラスウール充填）	不燃化粧仕上材壁紙	LGS+GB-R t 9.5 （グラスウール充填）	↑	↑	2,700	○		○	棚
	書庫	±0 -10	コンクリート金ゴテ押え	ビニル床シートD	↑	↑	LGS+GB-R t 12.5	ビニルクロス	LGS	GB-D t 9.5	↑	3,000	○		○	移動棚
	倉庫	±0 -10	コンクリート金ゴテ押え	↑	↑	↑	↑	↑	LGS	↑	↑	2,700			○	鋼製棚
	仮眠室1～19	±0 -10	↑	タイルカーペットA	↑	↑	↑	↑	LGS+GB-R t 9.5 （グラスウール充填）	ビニルクロス	↑	2,700		○	○	ペット、ロッカー、上部棚、ハンガー長押、物干しバー
	更衣室	±0 -10	↑	ビニル床シートB	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	2,700		○	○	ロッカー
	女子仮眠前室	±0 -10	↑	↑	↑	↑	↑	↑	LGS	GB-D t 9.5	↑	2,700			○	
	女子洗濯・洗面室	±0 -10	↑	↑	床材立上げ	100	LGS+GB-S t 12.5（グラスウール充填）	メラミン化粧板 t 3	LGS（グラスウール充填）	↑	↑	2,500			○	物干しバー、シャワーブース、洗面台、洗濯パン、洗面用収納棚、ライニング
	男子洗濯・洗面室	±0 -10	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	2,500			○	物干しバー、シャワーブース、洗面台、洗濯パン、洗面用収納棚、ライニング
	職員男子トイレ（2）	±0 -10	↑	ビニル床シートC	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	2,500			○	トイレブース、ライニング
	男子トイレ（2） 女子トイレ（2）	±0 -10	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	2,500			○	トイレブース、ライニング
	待機室	±0 -10	↑	ビニル床シートB	↑	↑	LGS+GB-S t 12.5	ビニルクロス 一部キッチンパネル貼り	↑	↑	↑	3,000	○		○	システムキッチン、手洗い、ロッカー、パントリー
	小上り	+400 -10	木製床組み	化学薄畳敷きt30	畳寄せ	―	↑	ビニルクロス	↑	↑	↑	2,600				床下収納
	トレーニングルーム	±0 -10	コンクリート金ゴテ押え	ビニル床シートF	ビニル巾木	60	LGS+GB-R t 12.5	AEP	LGS	↑	↑	2,700	○		○	懸垂バー、姿見フィルムミラーW800H1500
	廊下1	±0 -10	↑	ビニル床シートA	↑	↑	↑	↑	LGS+GB-R t 9.5	DR t 9.0	↑	3,000	○			
	廊下2	±0 -10	↑	↑	↑	↑	↑	↑	LGS	GB-D t 9.5	↑	2,700	○			
共通	階段1	±0 -10	↑	↑	―	―	LGS　+GB-R t 12.5 コンクリート打放し補修	↑	LGS+GB-R t 9.5	DR t 9.0	↑	―				手すり、点字タイル
	階段2	±0 -10	↑	ビニル床シートE	ビニル巾木	60	GL又はLGS　+GB-R t 12.5	↑	LGS	GB-D t 9.5	↑	―				手すり、回転ポール
	PS・MB	±0 -10	↑	―	―	―	LGS	現し	コンクリート 打放し補修	現し	―	直天			○	
	ピット		↑	透湿性塗布防水	―	―	コンクリート打放し補修	外周部：透湿性塗布防水	コンクリート 打放し補修	↑	―	直天				

JOBNO

白石消防署庁舎建替工事　【庁舎棟】内部仕上表　A-19

DATE　SCAL (A 1) 1/ -　(A 3) 1/ -　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士　第 357230 号　永野ますみ



ピット階平面図　1/200

凡例

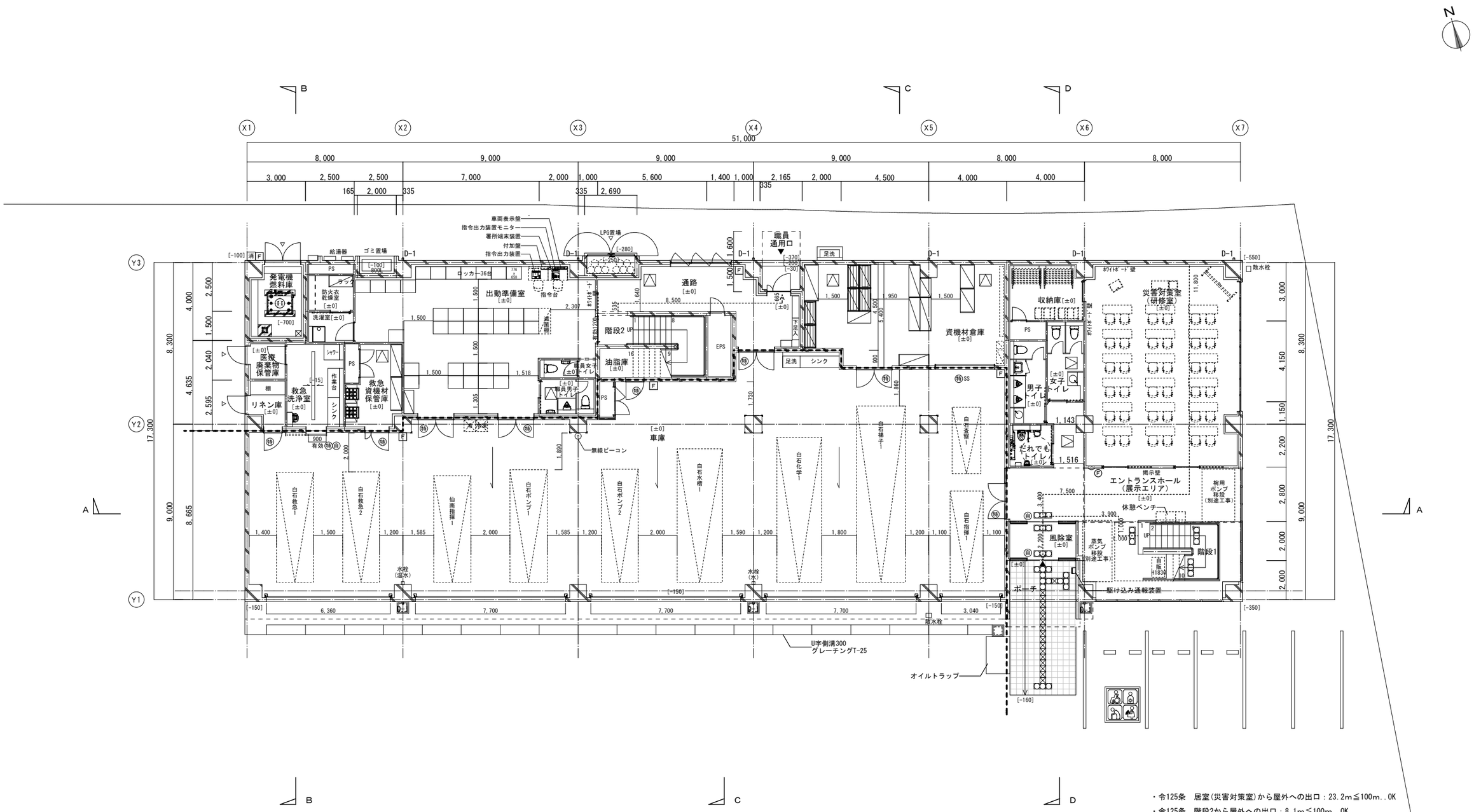
A	：人通口600φ
I	：連水管VP100φ半割
釜	：釜場400 x 600 x H500
	上部点検口600角カギ付（下部SUS製タラップ付）

JOBNO

白石消防署庁舎建替工事　【庁舎棟】ピット階平面図　A-20

DATE　SCAL (A 1) 1／100 (A 3) 1／200　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士　第 357230 号　永野ますみ



・令125条　居室(災害対策室)から屋外への出口：23.2m≦100m..OK

・令125条　階段2から屋外への出口：8.1m≦100m..OK

1階平面図　1/100

凡例

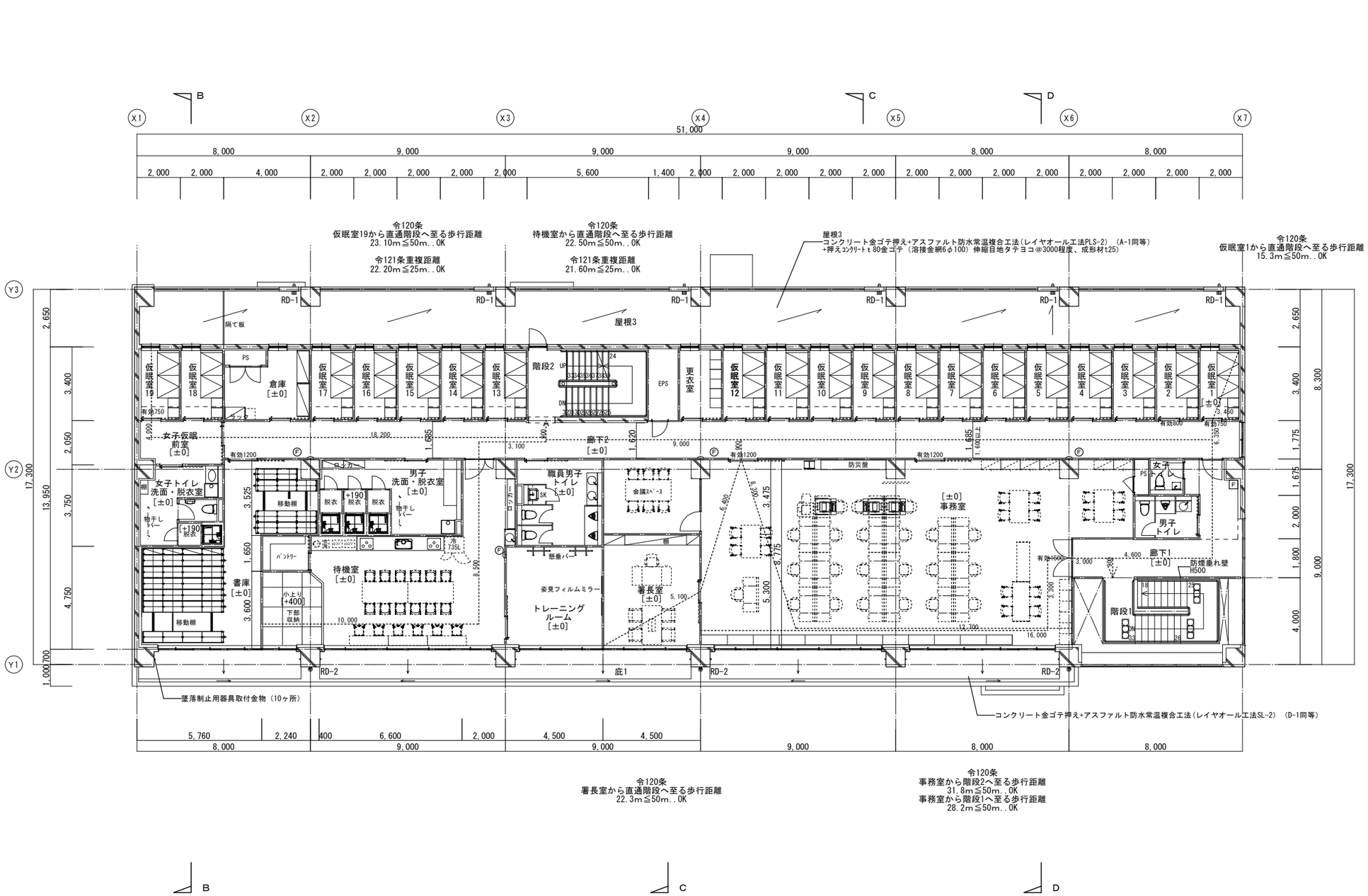
[±0]	FLからの床面高さ　1FL＝設計GL+150	自	自動ドアを示す
Ⓕ	粉末消火器10号（設備工事） ﾎﾞｯｸｽ：ステンレス埋込型（建築工事）	特	特定防火設備を示す
F	粉末消火器10号（設備工事） ﾎﾞｯｸｽ：ステンレス床置き/壁掛け型（建築工事）	D-1	竪樋（アルミ製100Φバンドレス）
消	粉末消火器50号（設備工事）ステンレスBOX床置き	▽	床点検口600角カギ付（下部SUS製タラップ付）
		----	異種用途区画

JOBNO

白石消防署庁舎建替工事　【庁舎棟】1階平面図　A-21

DATE　SCAL (A 1) 1／100 (A 3) 1／200　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号　永野ますみ



2階平面図 1/100

凡例

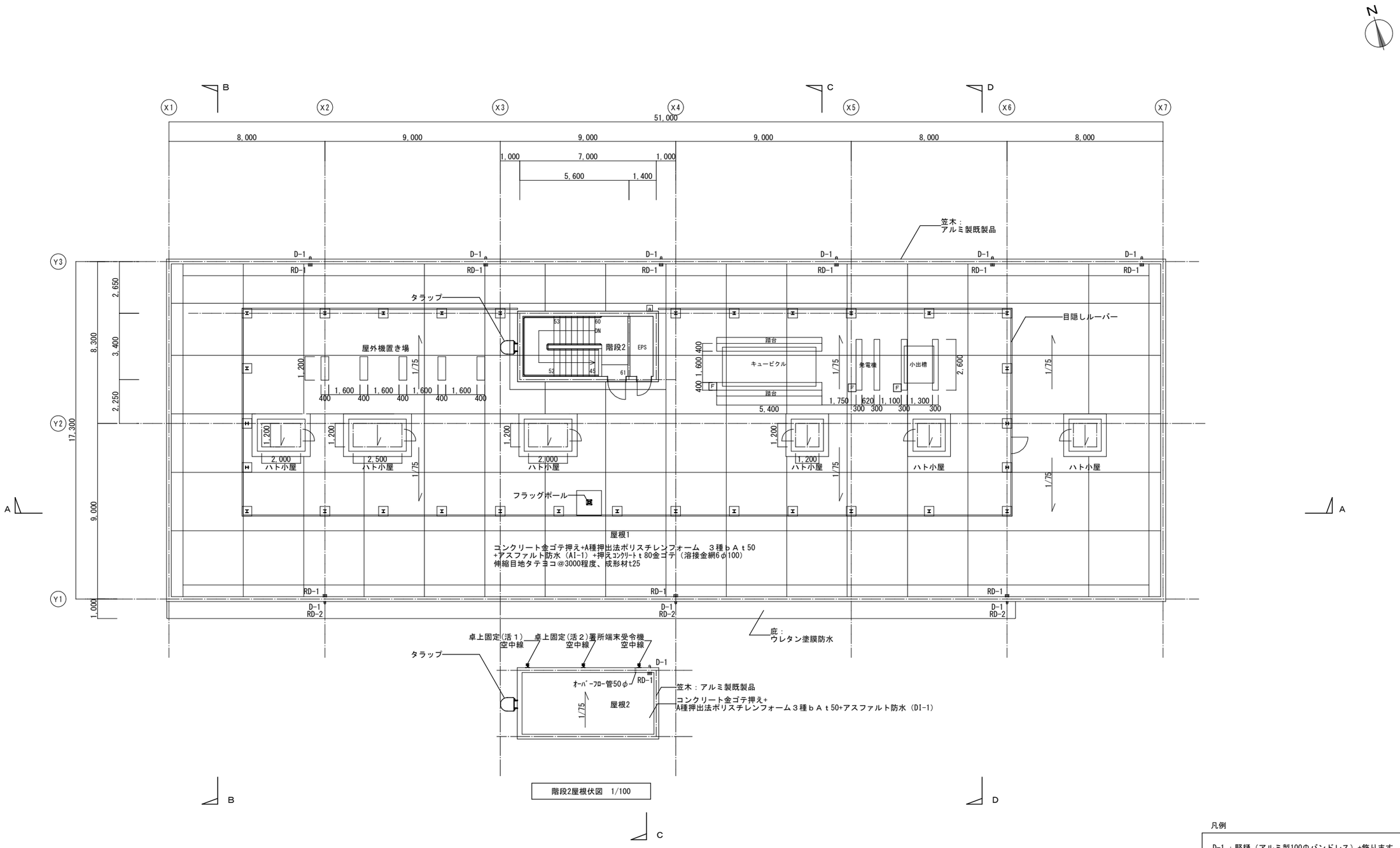
[±0] FLからの床面高さ	D-1 : 竪樋 (アルミ製100φバンドレス)
Ⓕ 粉末消火器10号 (設備工事)	RD-1 : 横引きドレイン 100φ
ﾎﾞｯｸｽ : ステンレス埋込型 (建築工事)	RD-2 : 中継ドレイン 100φ
F 粉末消火器10号 (設備工事)	RD-3 : たて型ドレイン 100φ
ﾎﾞｯｸｽ : ステンレス床置き型 (建築工事)	

JOBNO

白石消防署庁舎建替工事 【庁舎様】2階平面図 A-22

DATE SCAL (A 1) 1／100 (A 3) 1／200 DRAWN CHEK

株式会社 構 建築設計事務所 一級建築士 第 357230 号 永野ますみ



階段2屋根伏図　1/100

R階平面図　1/100

凡例

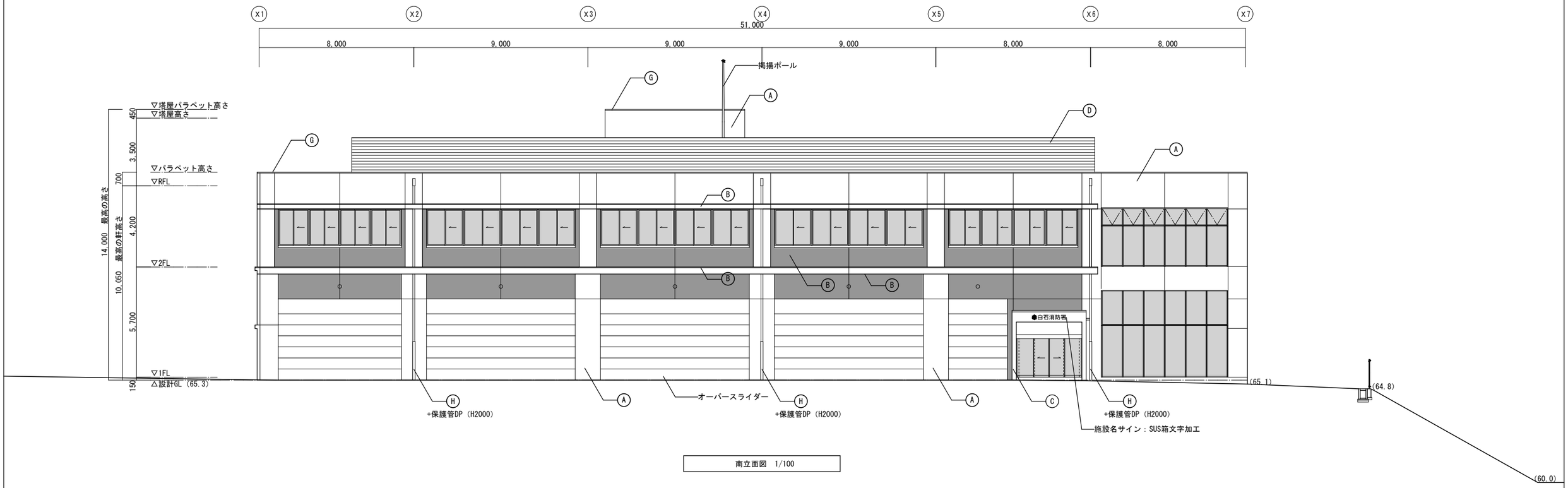
D-1：竪樋（アルミ製100Φバンドレス）+飾ります
RD-1：横引きドレイン　100φ
RD-2：中継ドレイン　100φ
RD-3：たて型ドレイン　100φ
F　粉末消火器10号（設備工事）
　　ステンレス床置き型（建築工事）

JOBNO

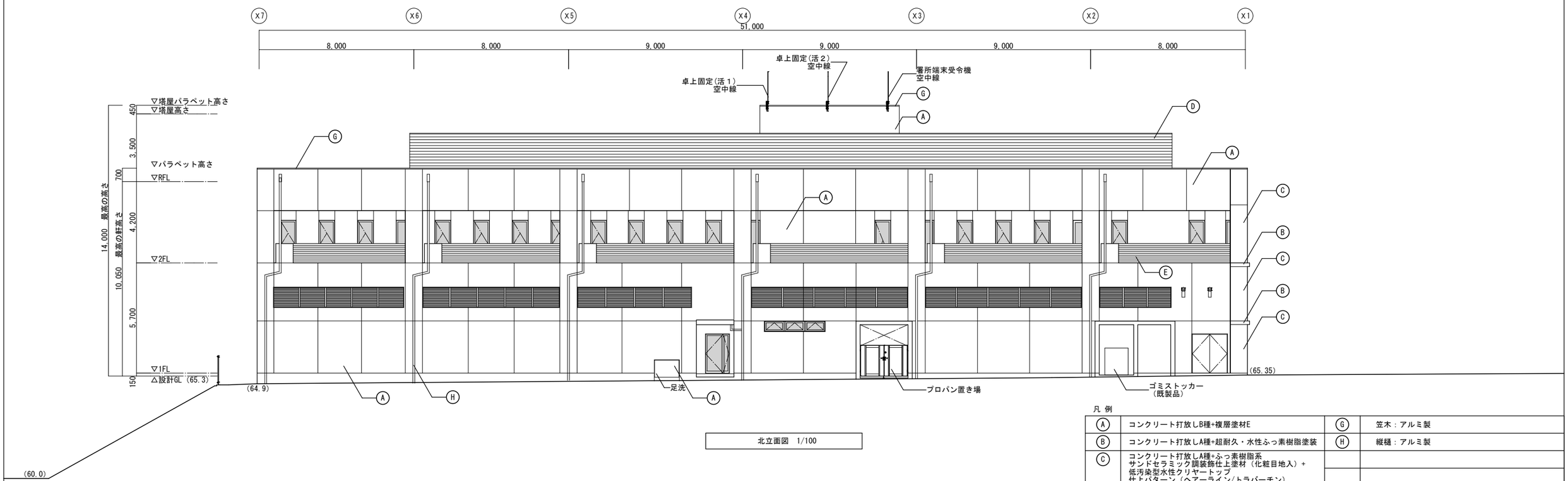
白石消防署庁舎建替工事　【庁舎棟】R階平面図　A-23

DATE　SCAL (A 1) 1／100 (A 3) 1／200　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士　第 357230 号　永野ますみ



南立面図　1/100



北立面図　1/100

凡 例

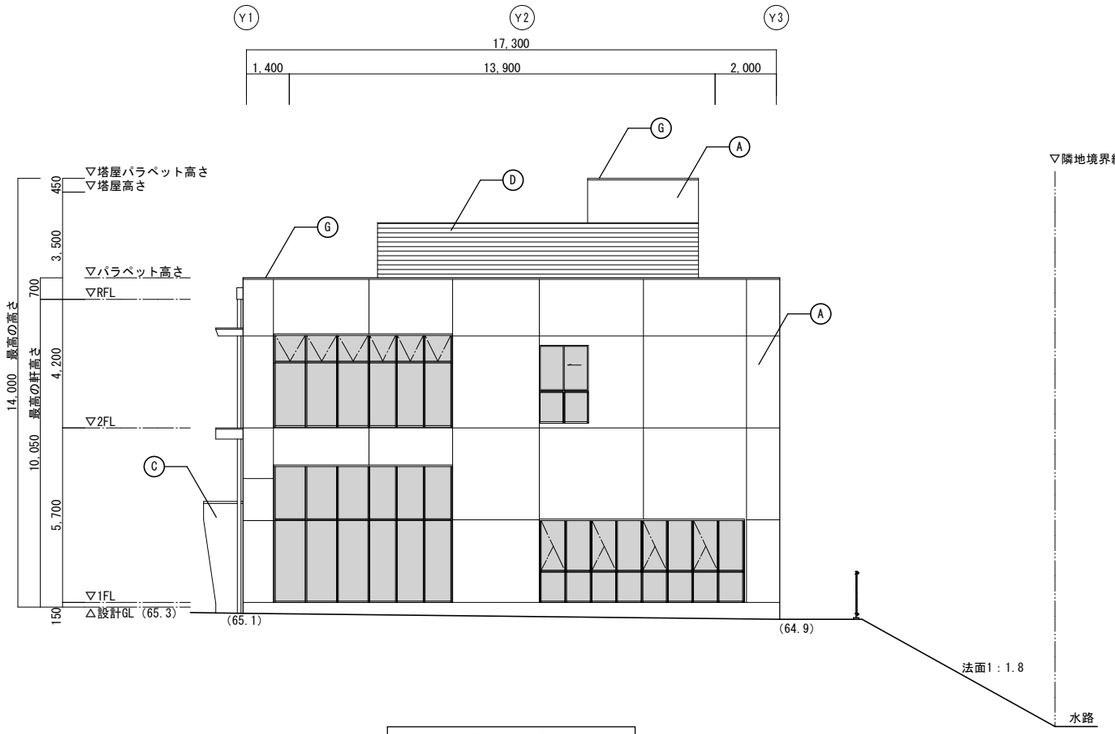
A	コンクリート打放しB種+複層塗材E	G	笠木：アルミ製
B	コンクリート打放しA種+超耐久・水性ふっ素樹脂塗装	H	縦樋：アルミ製
C	コンクリート打放しA種+ふっ素樹脂系 サンドセラミック調装飾仕上塗材（化粧目地入）+ 低汚染型水性クリヤートップ 仕上パターン（ヘアーライン/トラバーチン）		
D	目隠しルーバー：アルミ製		
E	アルミ製手すり		※誘発目地@3,000

JOBNO

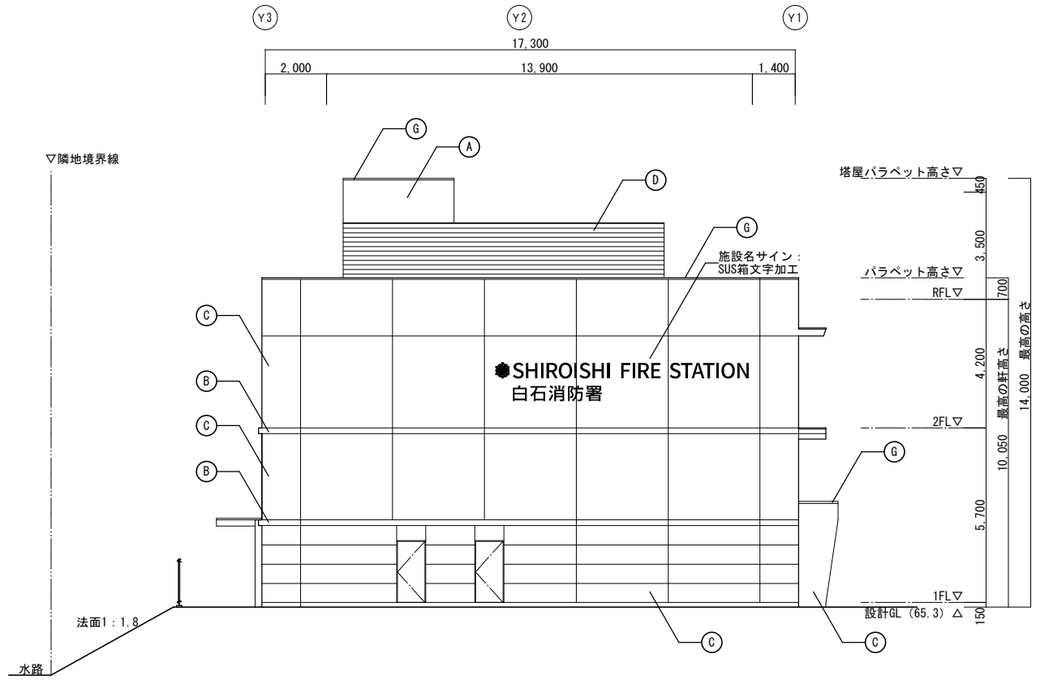
白石消防署庁舎建替工事　【庁舎棟】立面図1　A-24

DATE　SCAL (A 1) 1／100 (A 3) 1／200　DRAWN　CHEK

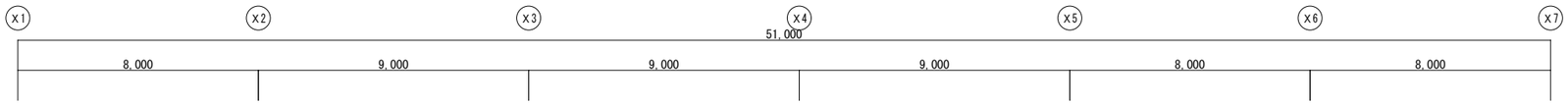
株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士　第 357230 号　永野ますみ



東立面図　1/100

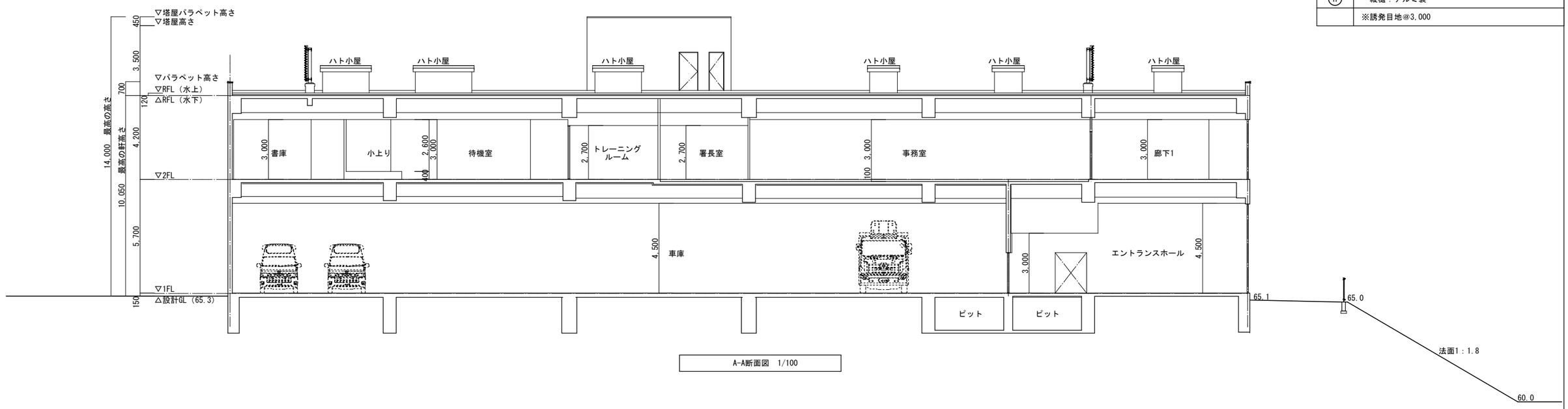


西立面図　1/100



凡 例

A	コンクリート打放しB種+複層塗材E
B	コンクリート打放しA種+超耐久・水性ふっ素樹脂塗装
C	コンクリート打放しA種+ふっ素樹脂系 サンドセラミック調装飾仕上塗材（化粧目地入）+ 低汚染型水性クリヤートップ 仕上パターン（ヘアーライン/トラバーチン）
D	目隠しルーバー：アルミ製
E	アルミ製手すり
G	笠木：アルミ製
H	縦樋：アルミ製
	※誘発目地@3,000



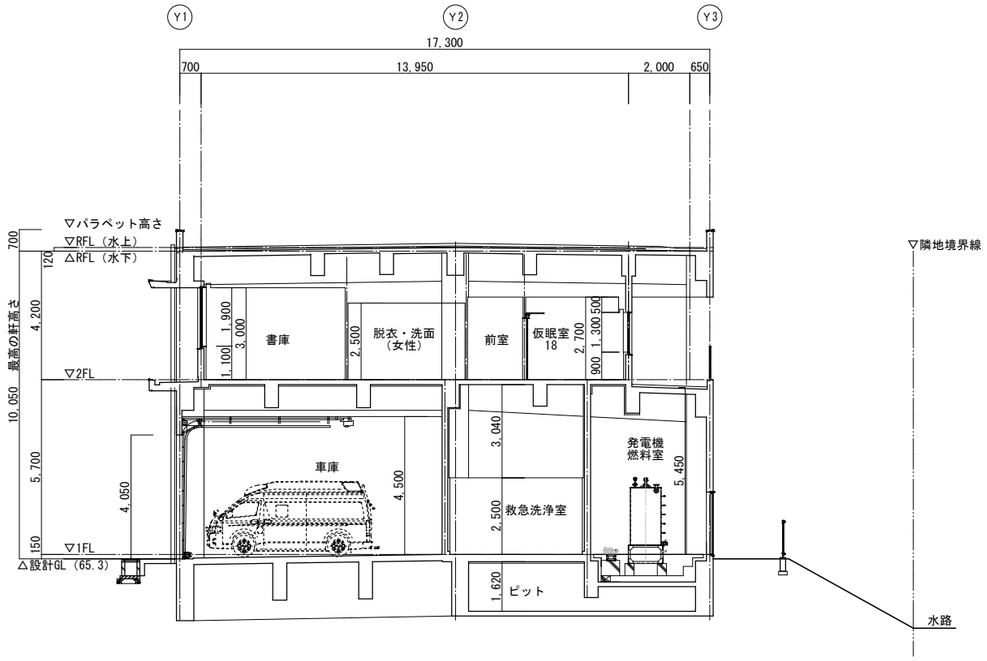
A-A断面図　1/100

JOBNO

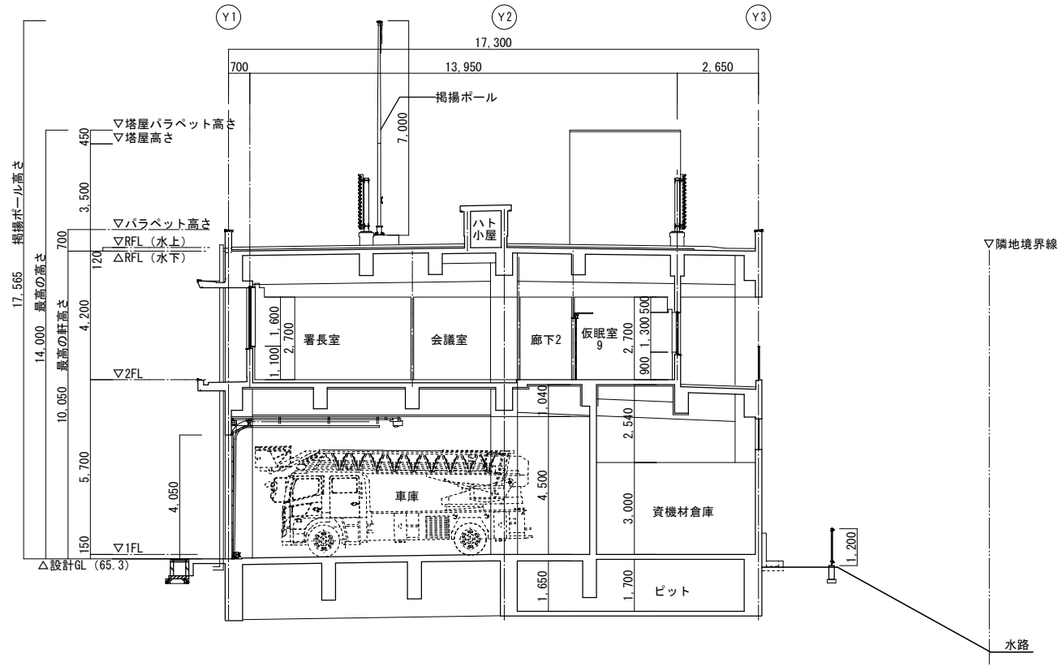
白石消防署庁舎建替工事　【庁舎棟】立面図2・断面図1　A-25

DATE　SCAL (A 1) 1／100 (A 3) 1／200　DRAWN　CHEK

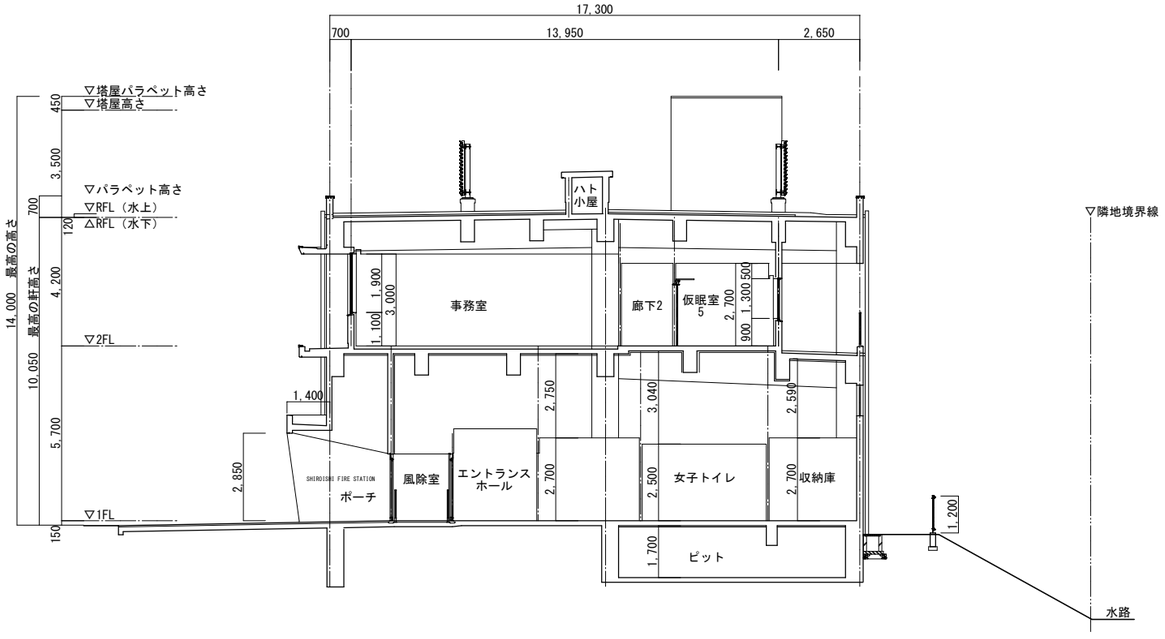
株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士　第 357230 号　永野ますみ



B-B断面図　1/100



C-C断面図　1/100



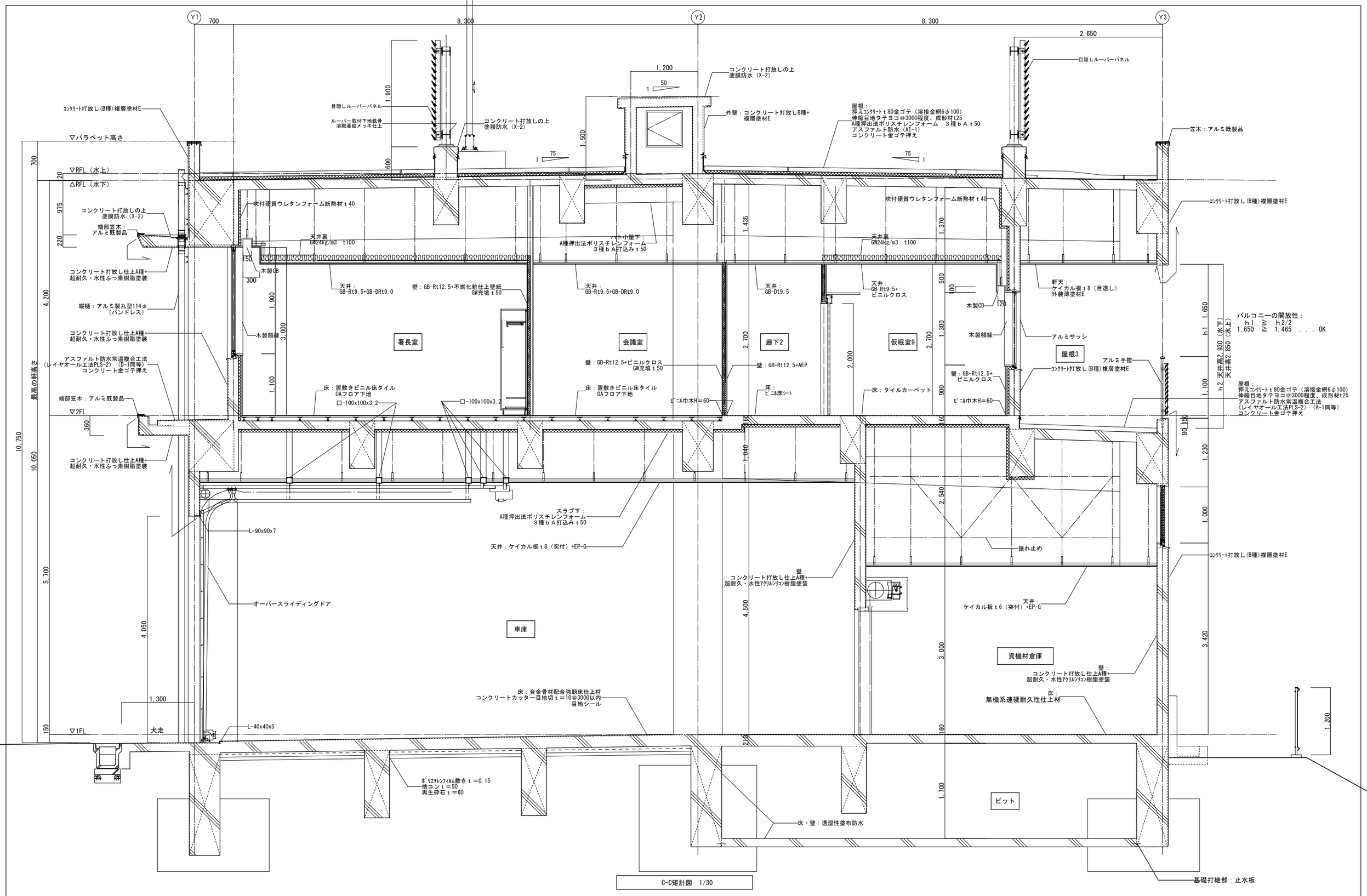
D-D断面図　1/100

JOBNO

白石消防署庁舎建替工事　【庁舎棟】断面図2　A-26

DATE　SCAL (A 1) 1／100 (A 3) 1／200　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号 永野ますみ



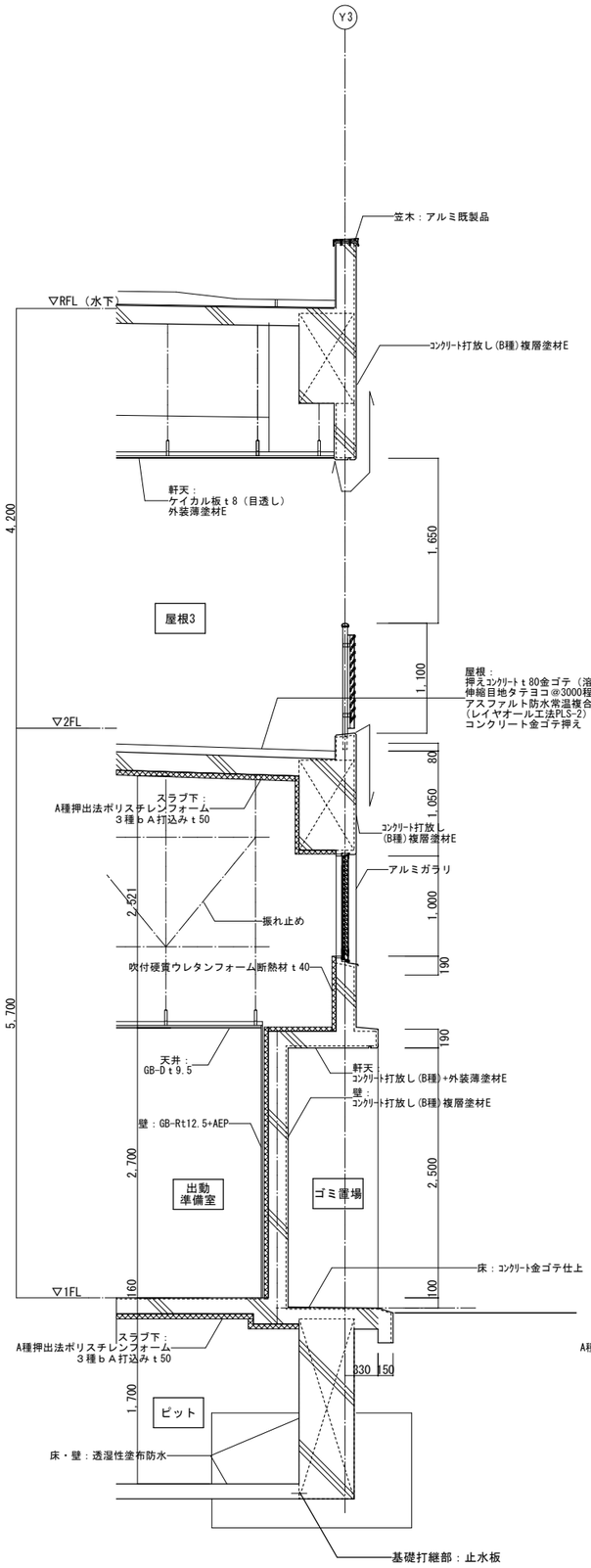
C-C矩計図　1/30

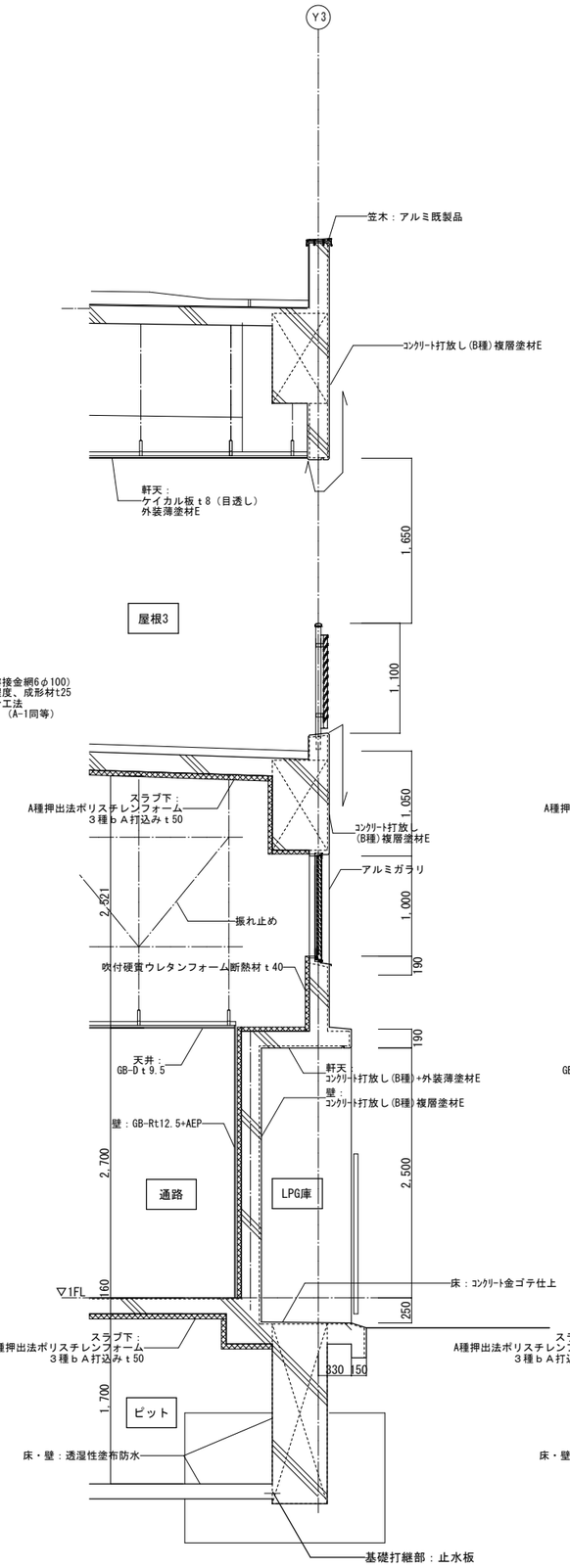
JOBNO

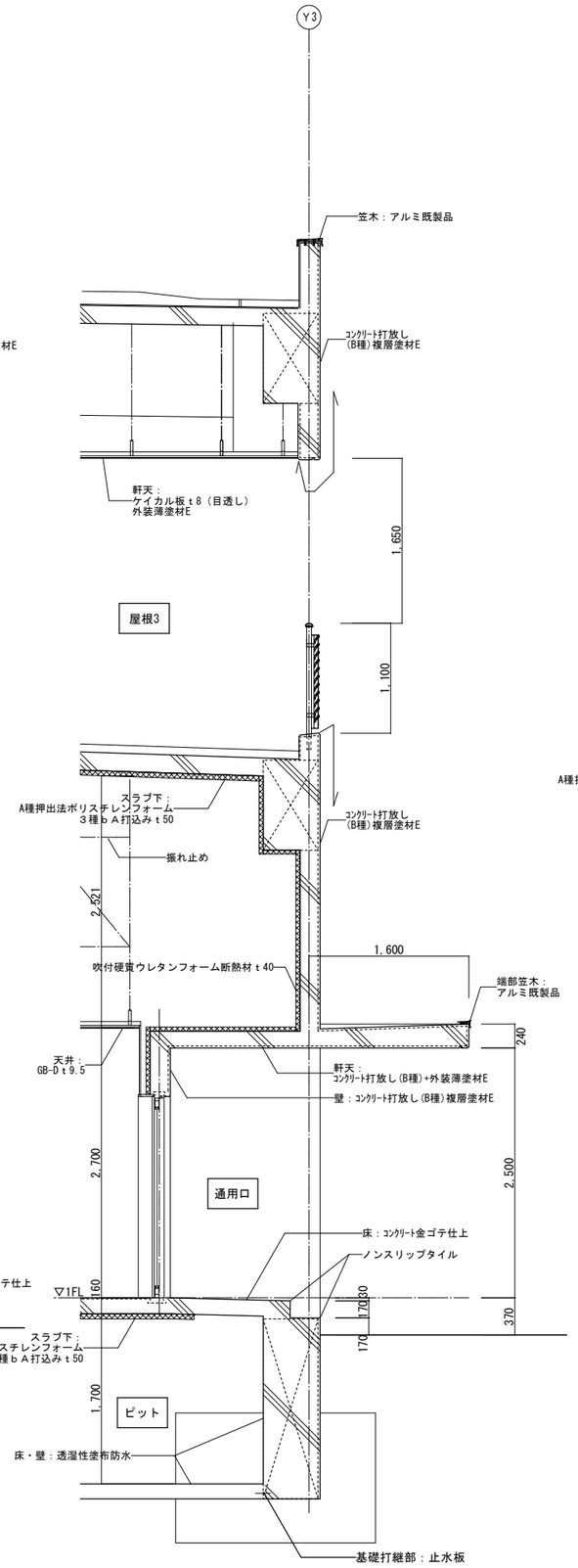
白石消防署庁舎建替工事　【庁舎棟】矩計図1　A-27

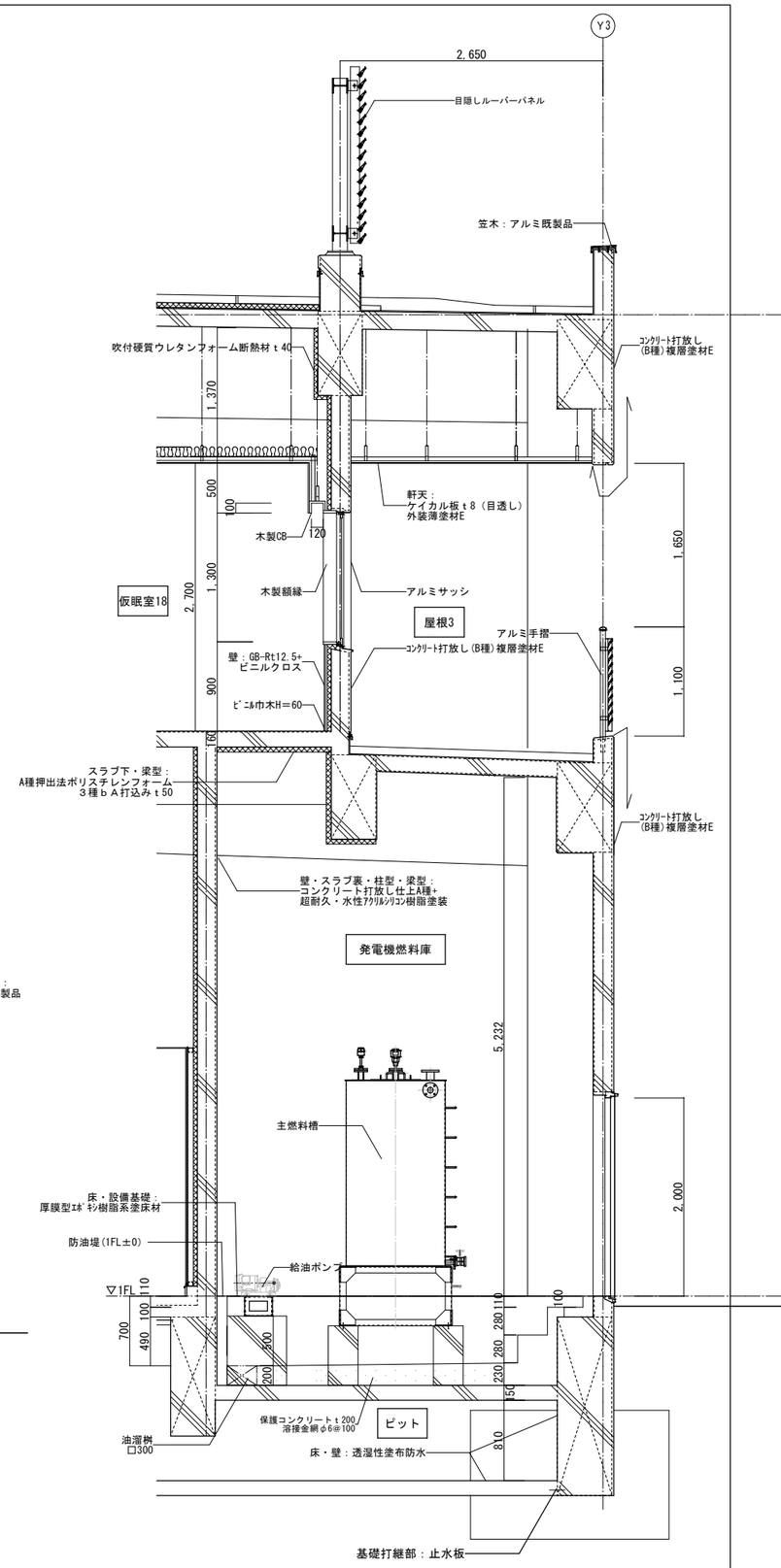
DATE　SCAL (A 1) 1／30 (A 3) 1／60　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士　第 357230 号　永野ますみ







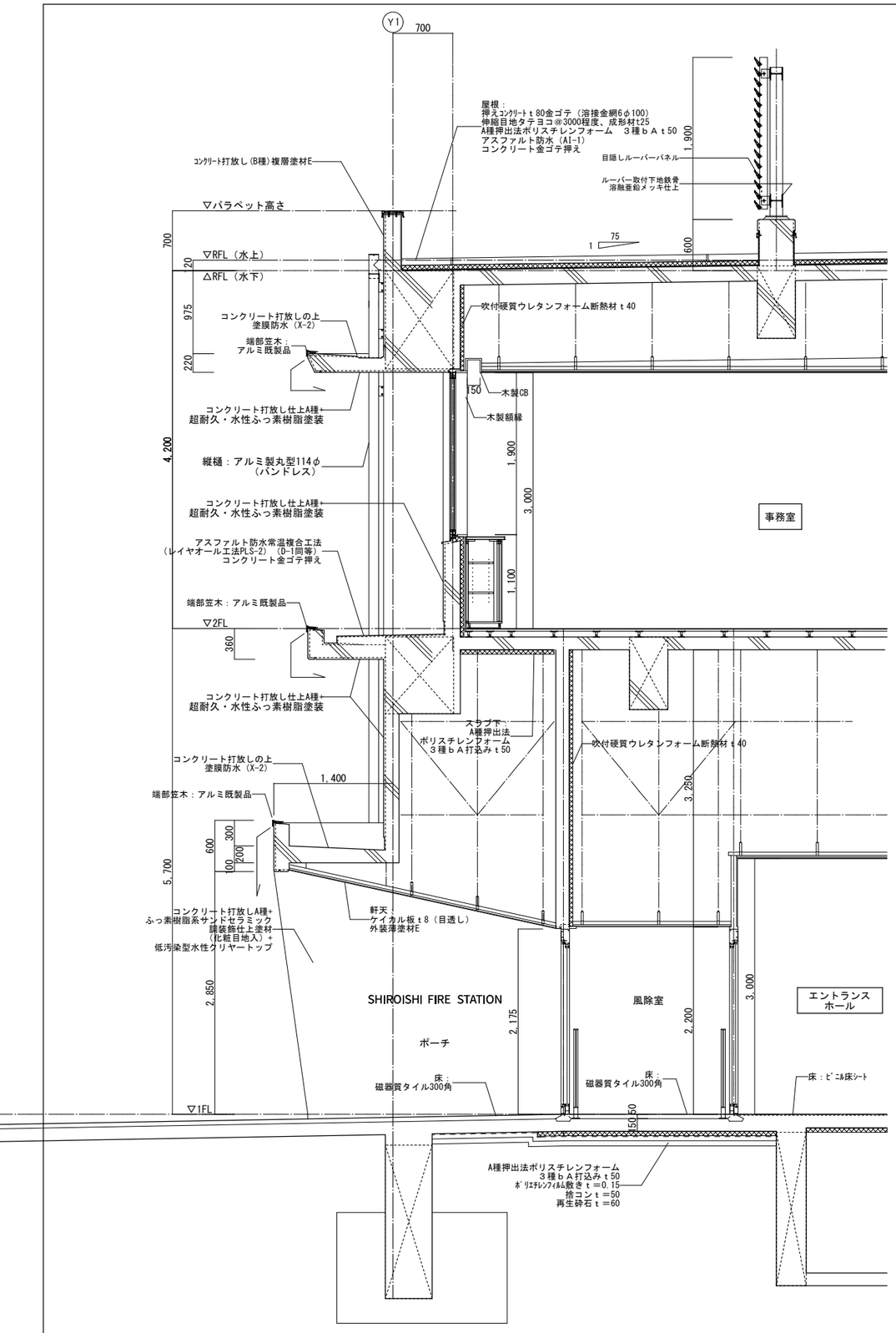


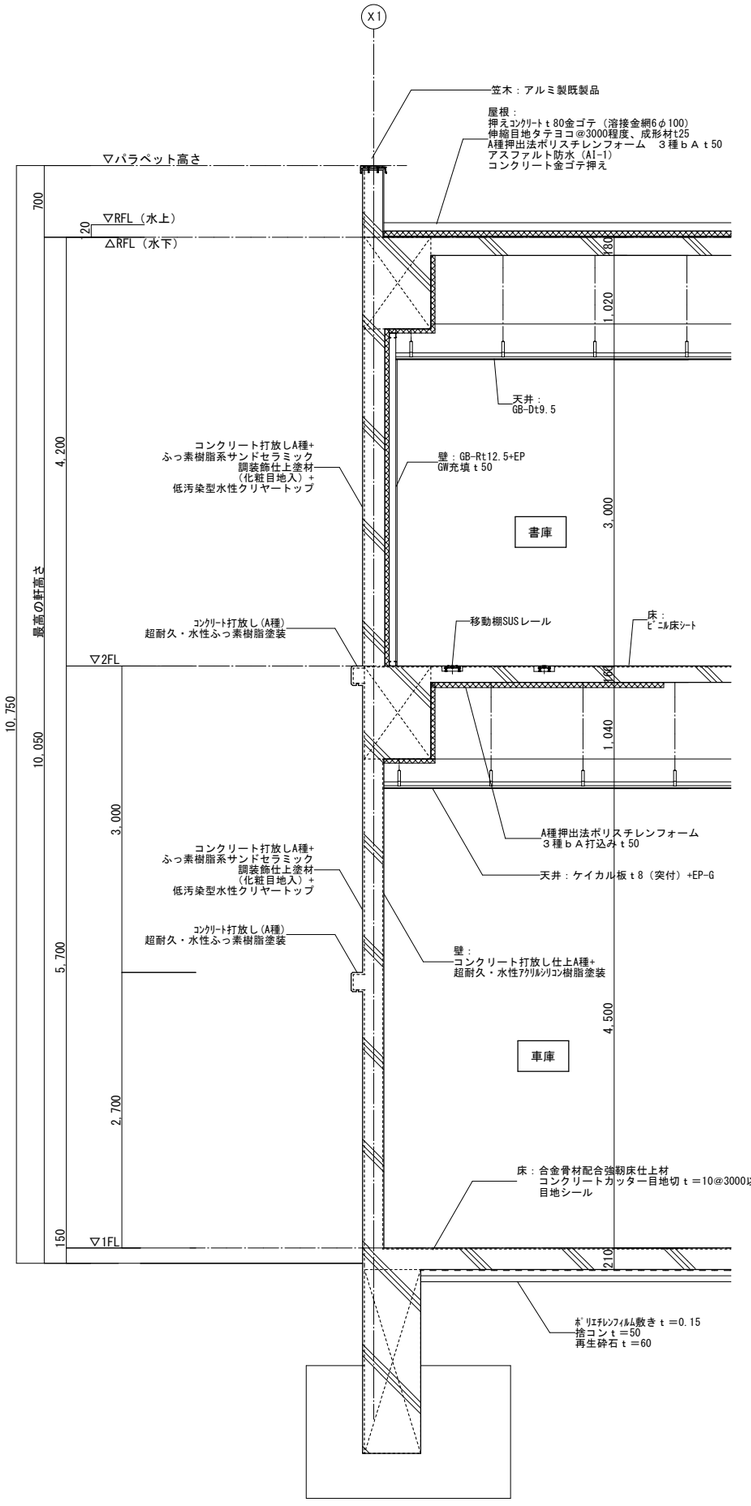
JOBNO

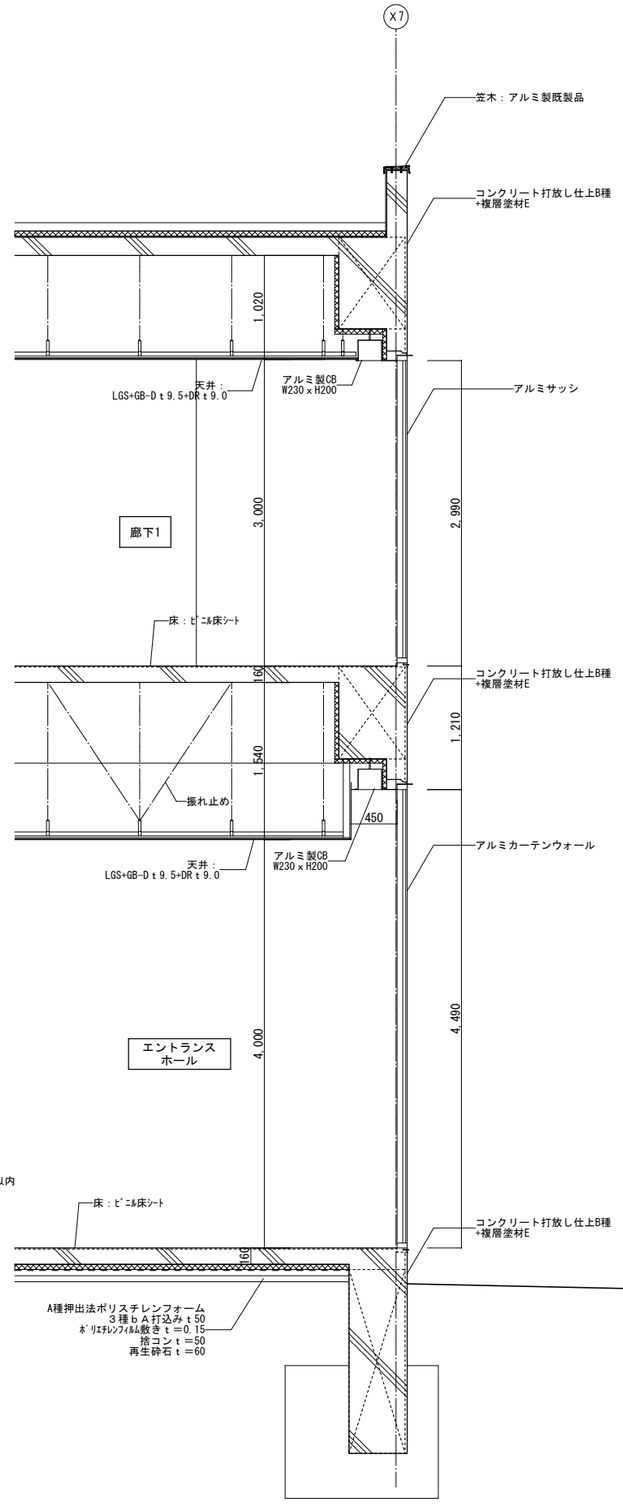
白石消防署庁舎建替工事　【庁舎棟】矩計図2　A-28

DATE　SCAL (A 1) 1／30 (A 3) 1／60　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号 永野ますみ





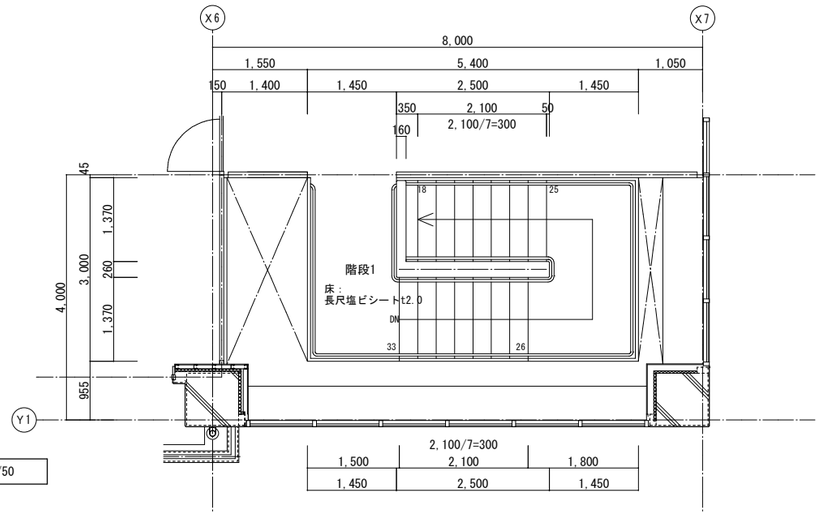


JOBNO

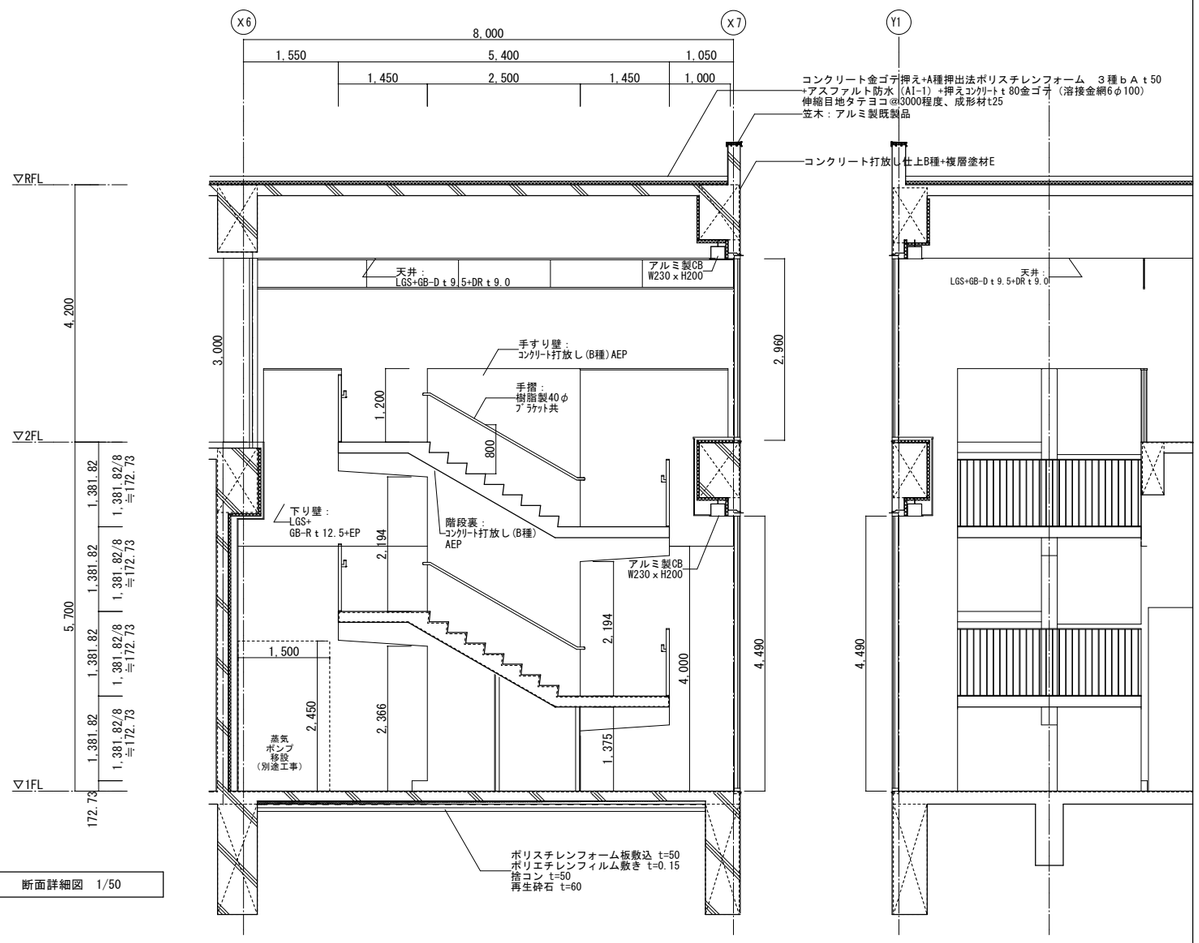
白石消防署庁舎建替工事　【庁舎棟】矩計図3　A-29

DATE	SCAL (A 1) 1／30 (A 3) 1／60	DRAWN	CHEK

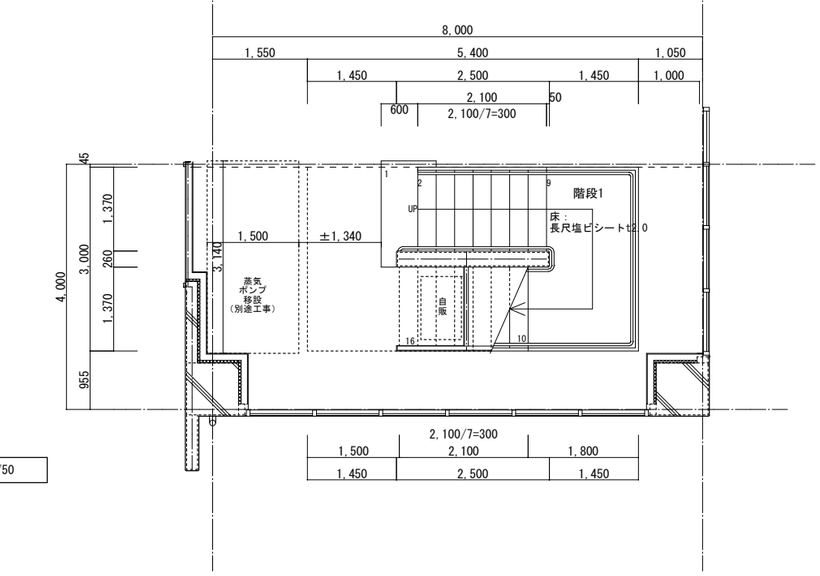
株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士　第.357230 号　永野ますみ



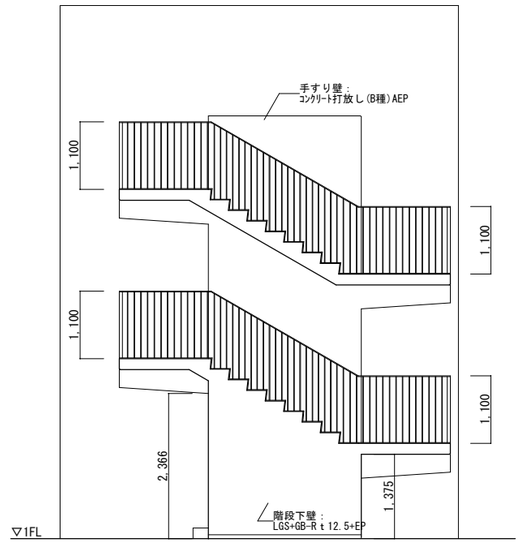
2階平面詳細図　1/50



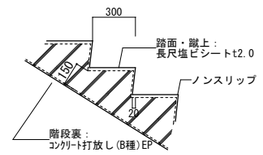
断面詳細図　1/50



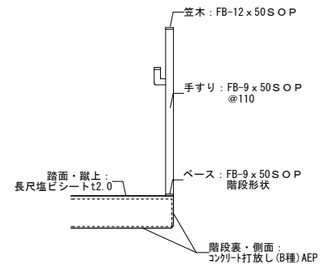
1階平面詳細図　1/50



手すり詳細図　1/50



部分詳細図　1/20



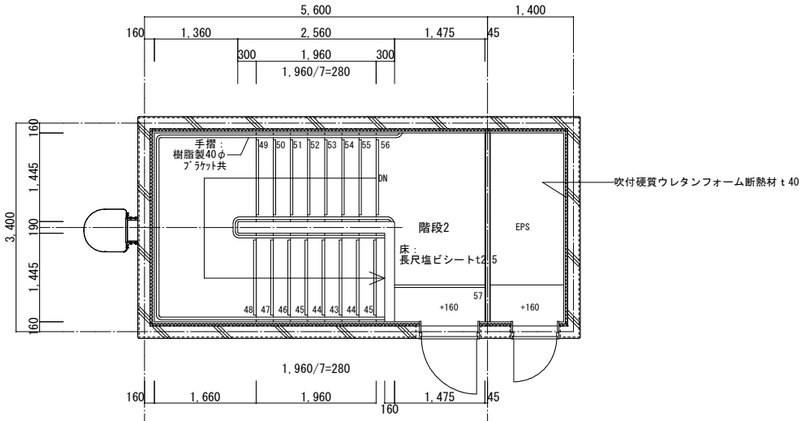
手すり詳細図　1/20

JOBNO

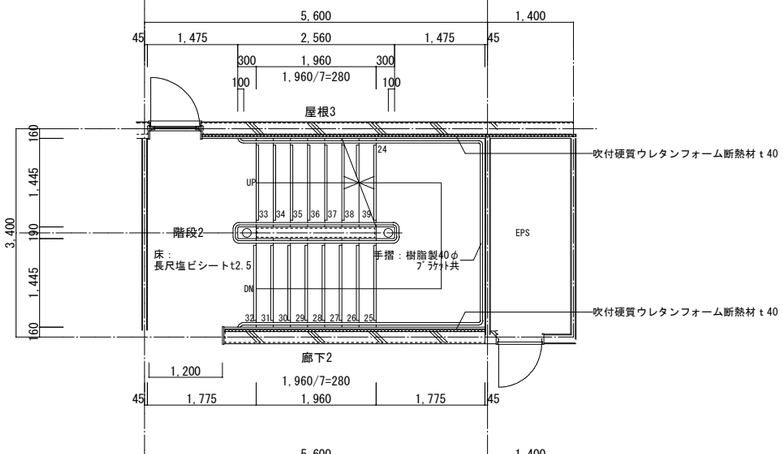
白石消防署庁舎建替工事　【庁舎棟】階段1詳細図　A-30

DATE　SCAL (A 1) 1／50 (A 3) 1／100　DRAWN　CHEK

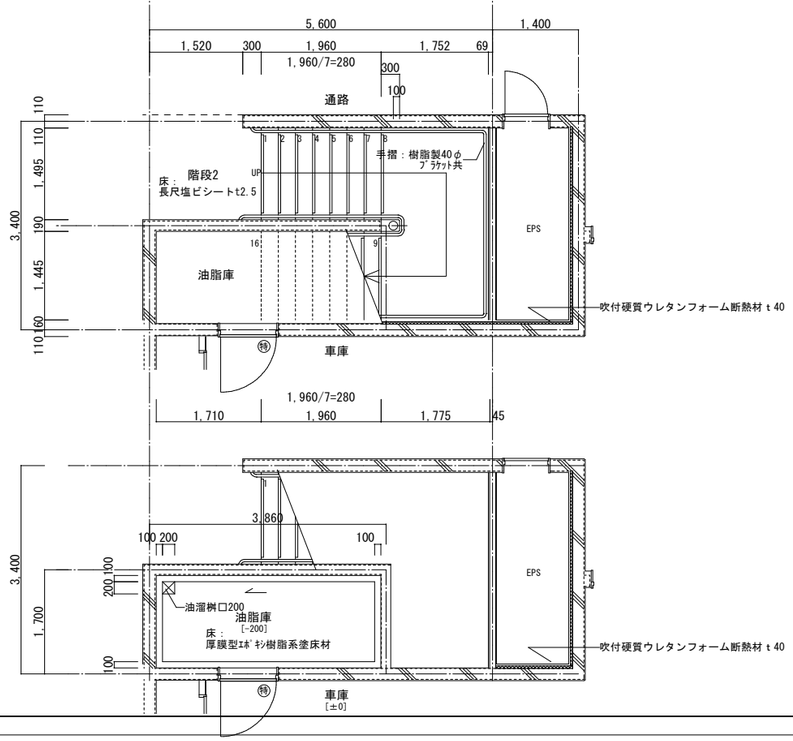
株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号 永野ますみ



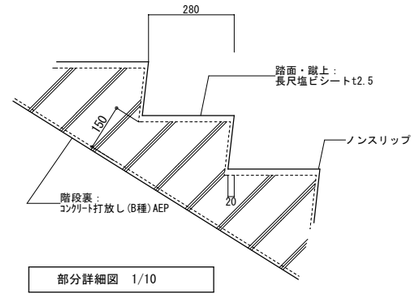
R階平面詳細図　1/50



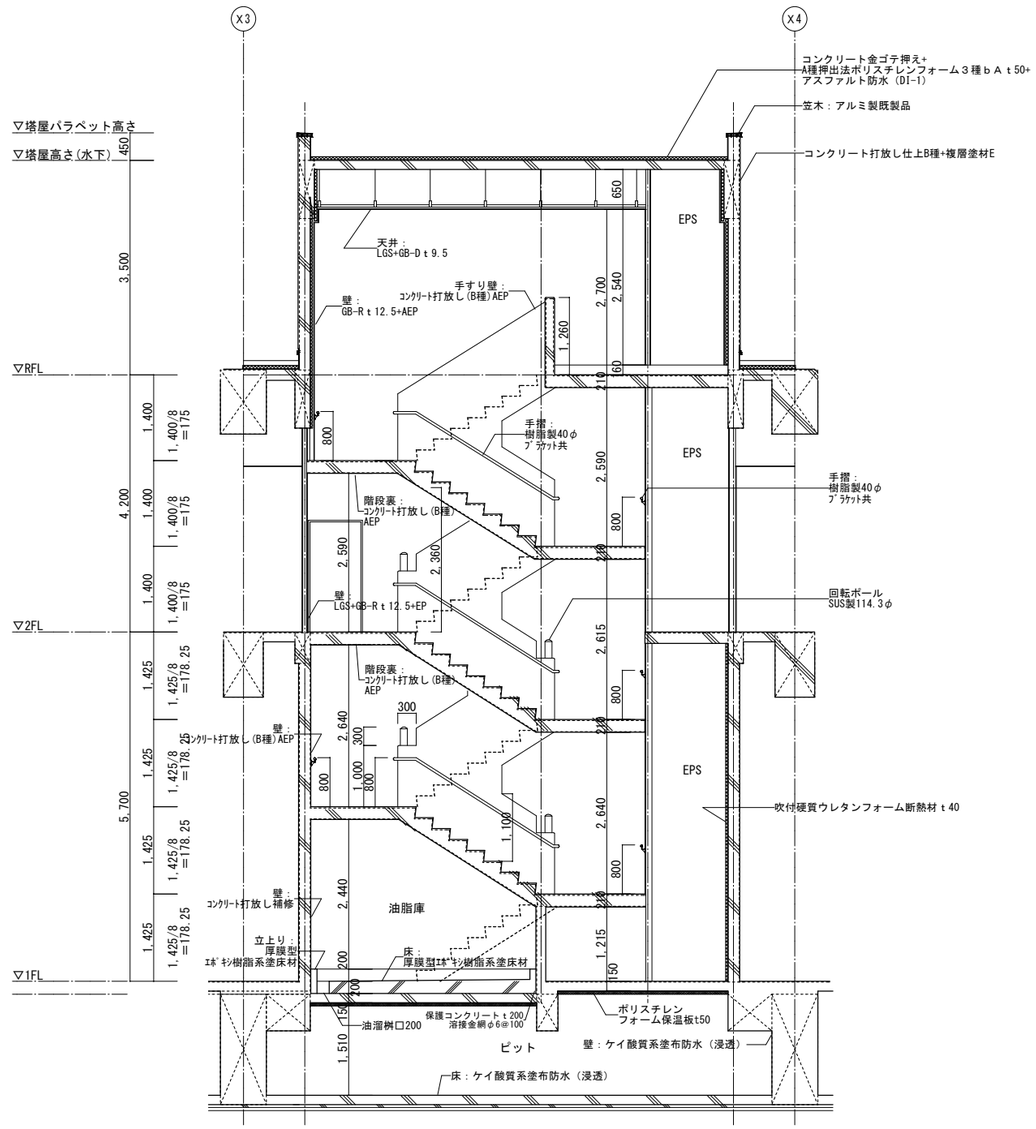
2階平面詳細図　1/50



1階平面詳細図　1/50



部分詳細図　1/10



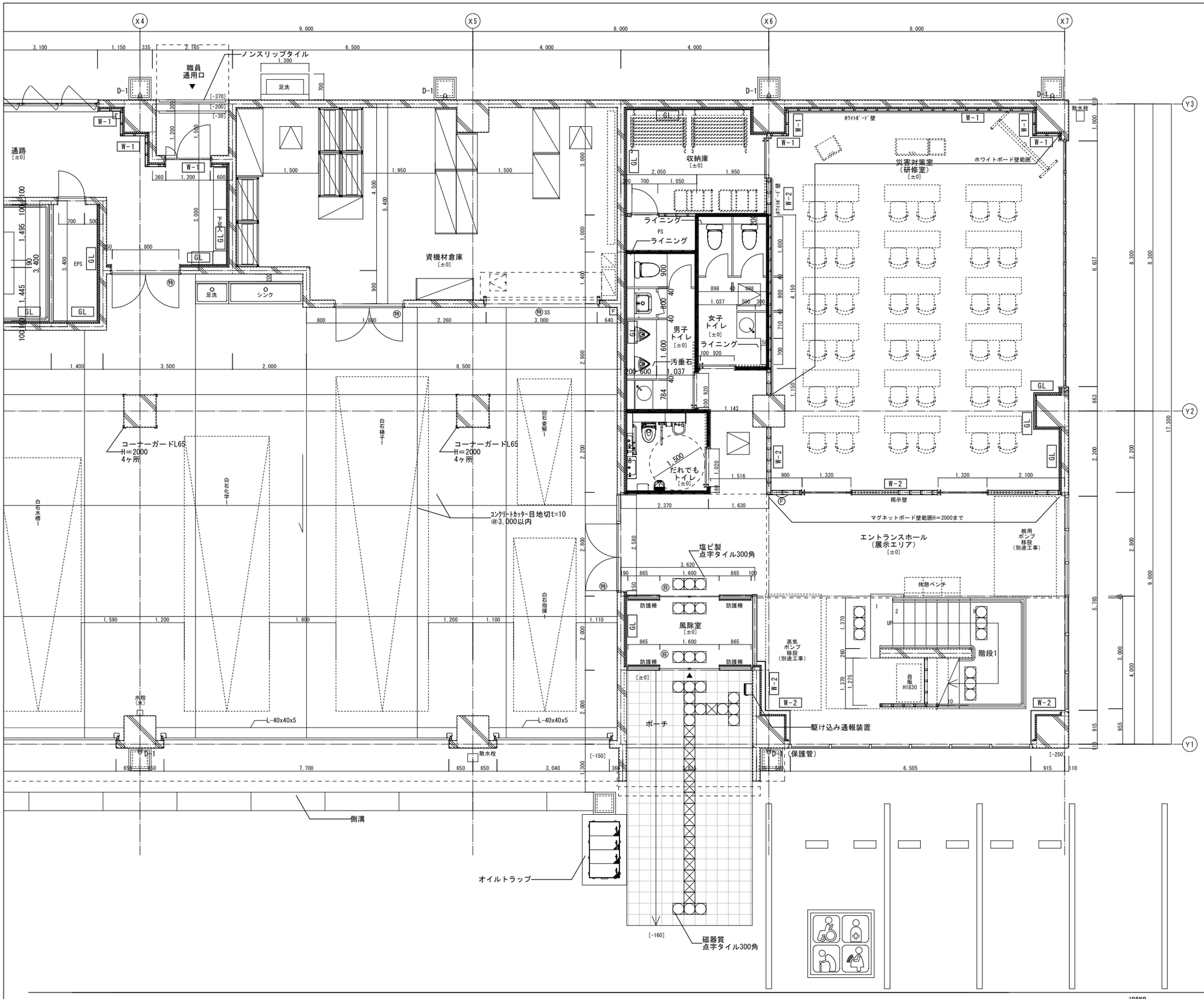
断面詳細図　1/50

JOBNO

白石消防署庁舎建替工事　【庁舎様】階段2詳細図　A-31

DATE　SCAL (A 1) 1／50 (A 3) 1／100　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士　第 357230 号　永野ますみ



凡例

※特記なき限り壁下地はLGS-65を使用

GL	：壁下地GL工法
W-1	：壁下地LGS-50
W-2	：壁下地LGS-100
Ⓕ	：消火器BOXステンレス埋込型
F	：消火器BOXステンレス床置型
自	：自動ドアを示す
特	：特定防火設備を示す
D-1	：竪樋（アルミ製100Φバンドレス）

[±0]　FLからの床面高さ　　1FL＝設計GL+150

展開方向

JOBNO

白石消防署庁舎建替工事　【庁舎棟】1階平面詳細図1　A-32

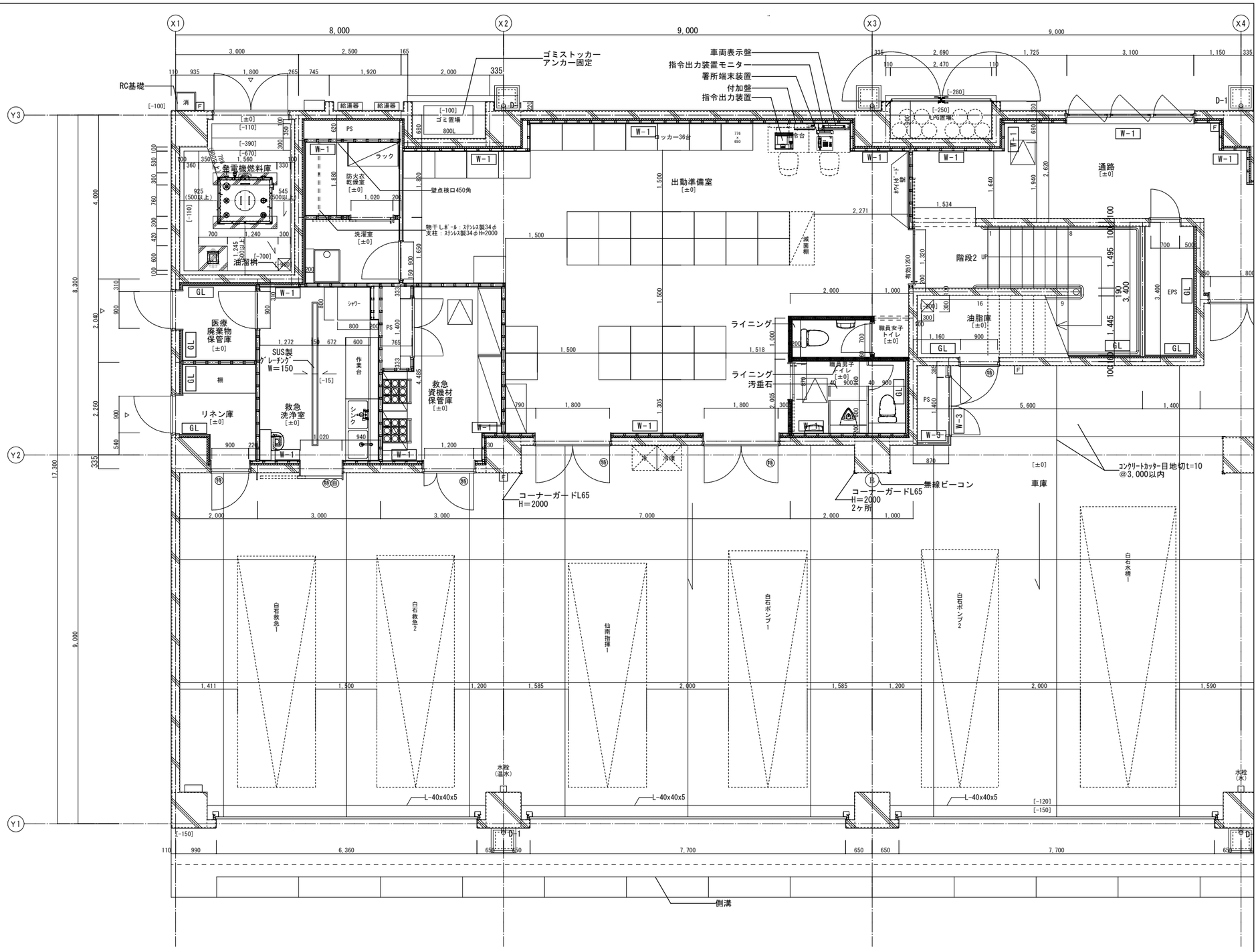
DATE　SCAL (A 1) 1／50 (A 3) 1／100　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号 永野ますみ

凡例

※特記なき限り壁下地はLGS-65を使用

GL	：壁下地GL工法
W-1	：壁下地LGS-50
W-2	：壁下地LGS-100
W-3	：RC150腰壁(H900) +押出成形板ｔ60（スラブまで）
Ⓕ	：消火器BOXステンレス埋込型（消火器10号；設備工事）
F	：消火器BOXステンレス床置型（消火器10号；設備工事）
消	：消火器BOXステンレス床置型（消火器50号；設備工事）
Ⓑ	：自動ドアを示す
特	：特定防火設備を示す
D-1	：竪樋（アルミ製100Φバンドレス）
[±0]	FLからの床面高さ　　1FL＝設計GL+150

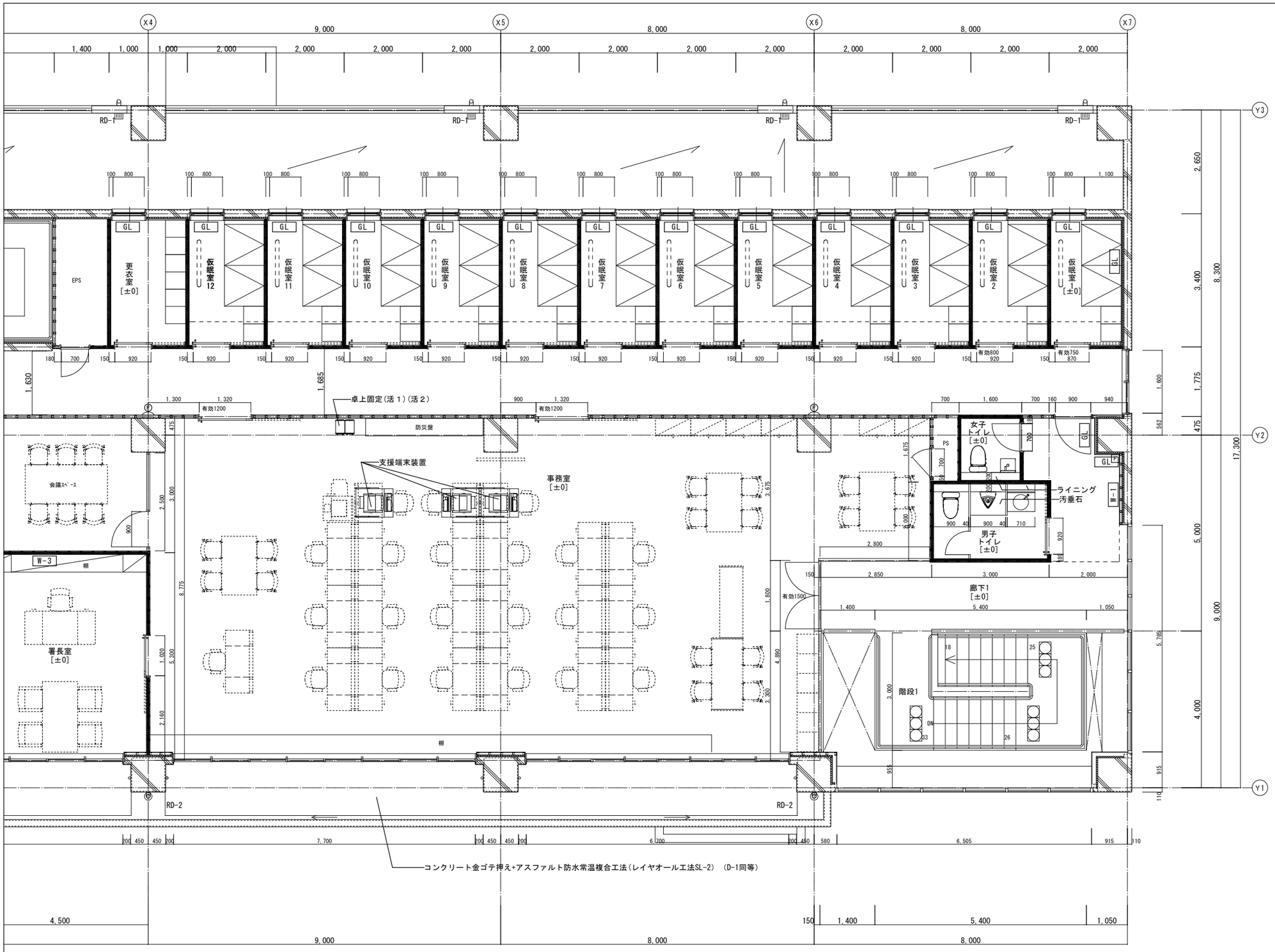


JOBNO

白石消防署庁舎建替工事　【庁舎棟】1階平面詳細図2　A-33

DATE　SCAL (A 1) 1／50 (A 3) 1／100　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号　永野ますみ



凡例

※特記なき限り壁下地はLGS-65を使用

GL	：壁下地GL工法
W-1	：壁下地LGS-50
W-2	：壁下地LGS-100
Ⓕ	：消火器BOXステンレス埋込型
F	：消火器BOXステンレス床置型
自	：自動ドアを示す
特	：特定防火設備を示す
D-1	：竪樋（アルミ製100Φバンドレス）

[±0]　2FLからの床面高さ

JOBNO

白石消防署庁舎建替工事

【庁舎棟】2階平面詳細図1

A-34

DATE　SCAL (A 1) 1／50 (A 3) 1／100　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所

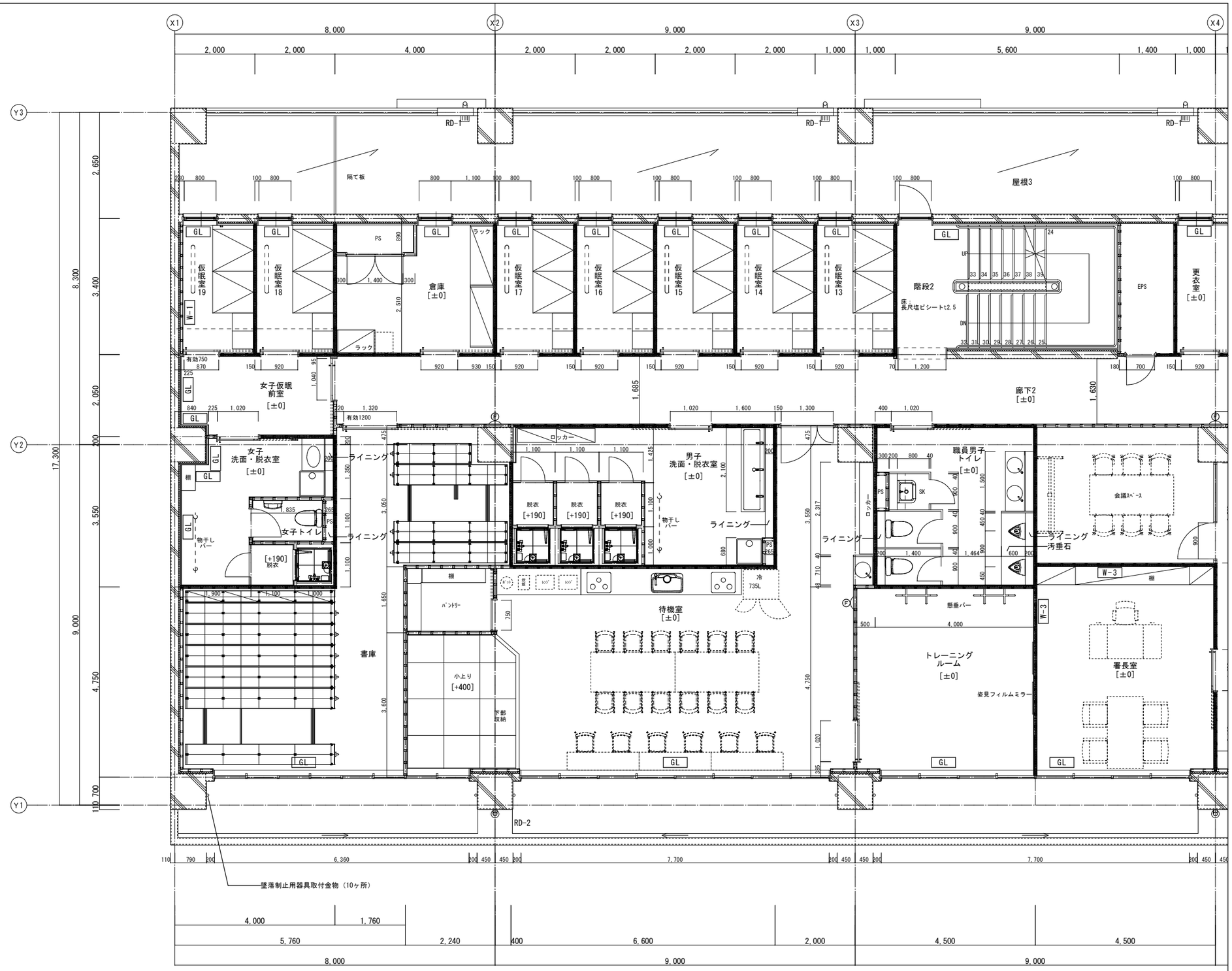
一級建築士 第 357230 号 永野ますみ

凡例

※特記なき限り壁下地はLGS-65を使用

GL	：壁下地GL工法
W-1	：壁下地LGS-50
W-2	：壁下地LGS-100
W-3	：壁下地LGS-90　石膏ボード片面スラブまで
Ⓕ	：消火器BOXステンレス埋込型
F	：消火器BOXステンレス床置型
自	：自動ドアを示す
特	：特定防火設備を示す
D-1	：竪樋（アルミ製100Φバンドレス）

[±0]　2FLからの床面高さ



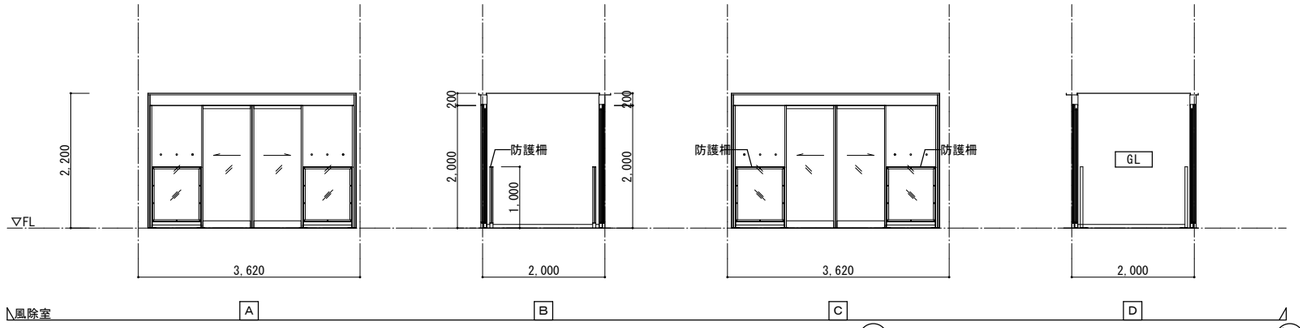
JOBNO

白石消防署庁舎建替工事　【庁舎棟】1階平面詳細図2　A-35

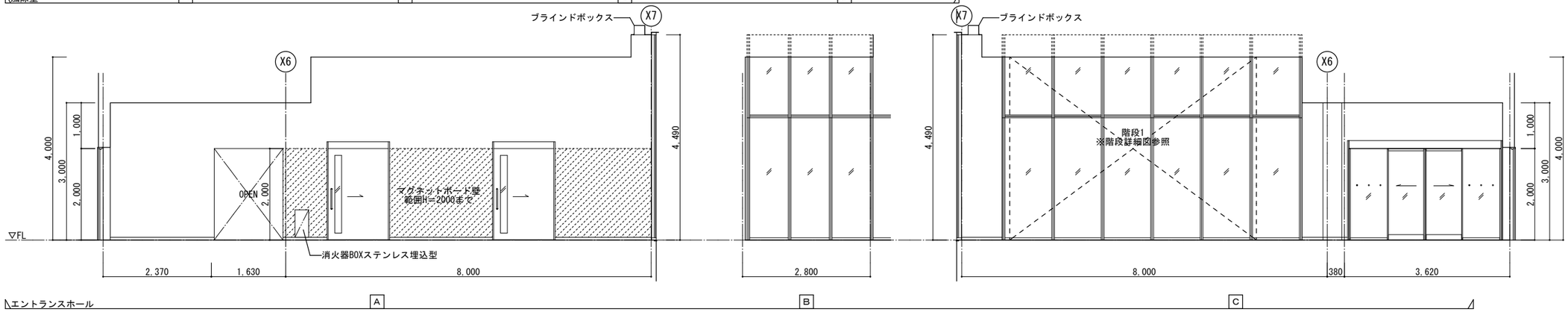
DATE　SCAL (A 1) 1／50 (A 3) 1／100　DRAWN　CHEK

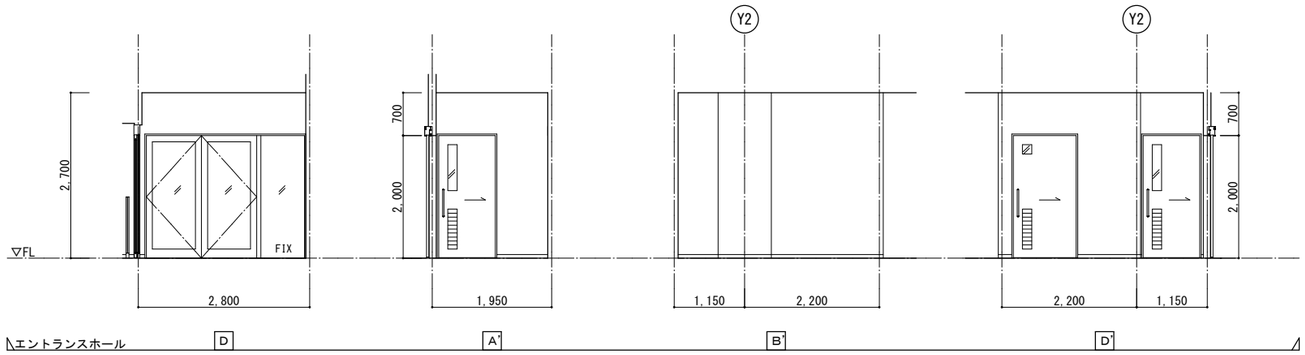
株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士　第 357230 号　永野ますみ

	1階　風除室
床	磁器質タイル300角
巾木	SUS巾木（H60）
壁	GL又はLGS　+GB-R t 12.5 サンドセラミック調装 飾仕上塗材
天井	LGS ケイカル板 t 6（突付）+EP-G
廻縁	塩ビ製

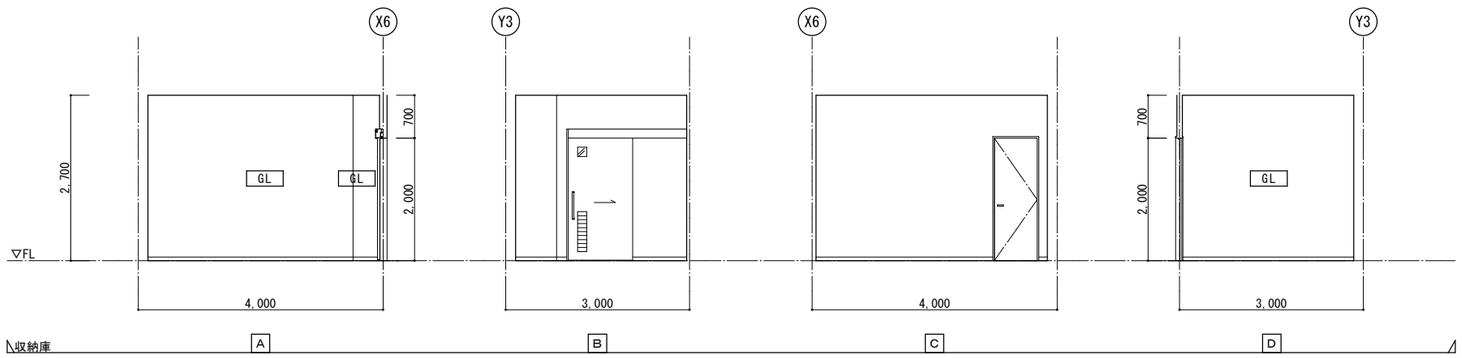


	1階　エントランスホール
床	ビニル床シートA
巾木	SUS巾木（H60）
壁	GL又はLGS　+GB-R t 12.5 一部ﾏｸﾞﾈｯﾄﾎﾞｰﾄﾞ t 12.9 AEP
天井	LGS+GB-R t 9.5 DR t 9.0
廻縁	塩ビ製





	1階　収納庫
床	ビニル床シートD
巾木	ビニル巾木（H60）
壁	GL又はLGS　+GB-R t 12.5 ビニルクロス
天井	LGS GB-D t 9.5
廻縁	塩ビ製



凡例　※特記なき限り壁下地はLGS-65を使用

GL	：壁下地GL工法
W-1	：壁下地LGS-50
W-2	：壁下地LGS-100

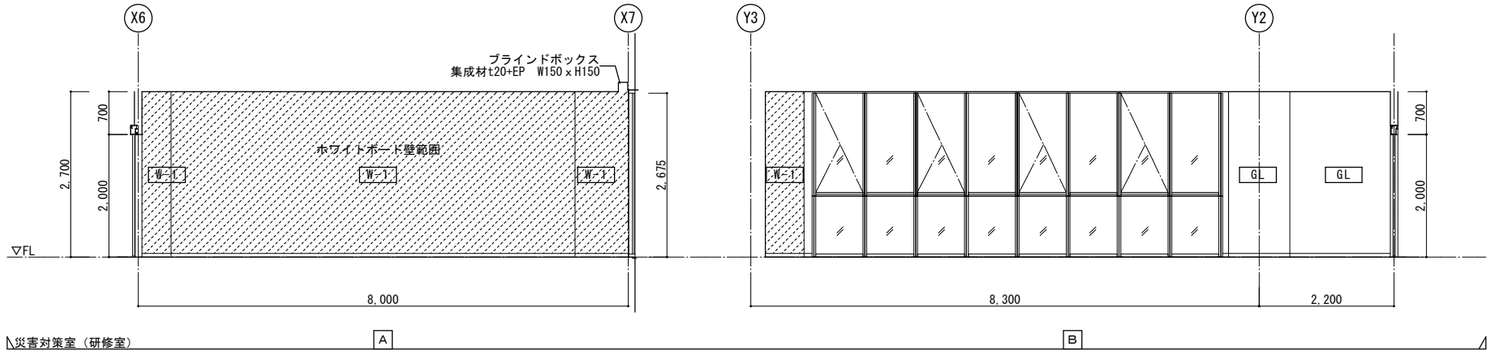
JOBNO

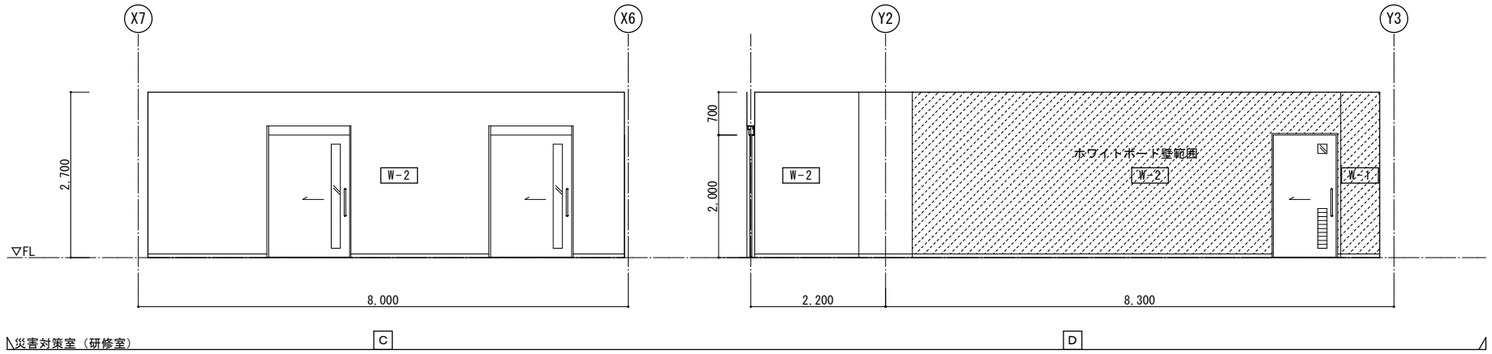
白石消防署庁舎建替工事　【庁舎棟】展開図1　A-36

DATE　SCAL (A 1) 1／50 (A 3) 1／100　DRAWN　CHEK

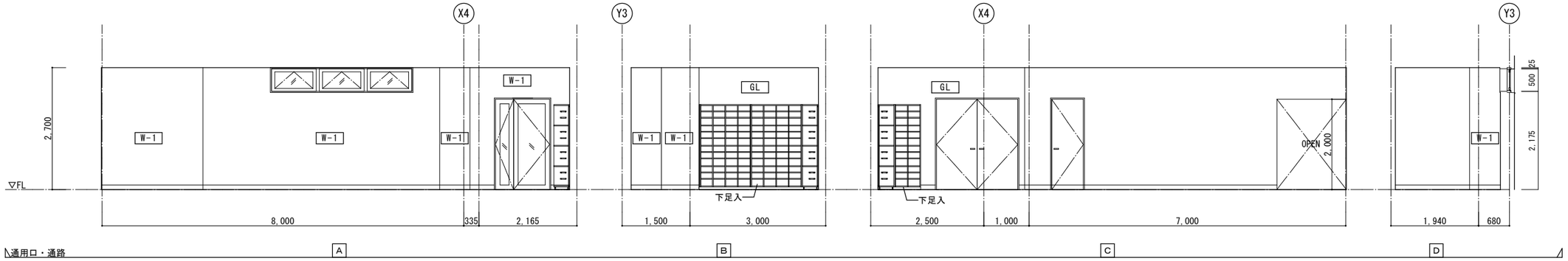
株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号　永野ますみ

	1階　災害対策室（研修室）
床	ビニル床シートA
巾木	ビニル巾木（H60）
壁	外壁側：GL又はLGS　+GB-R t 12.5 間仕切り：LGS+GB-R t 12.5(ｸﾞﾗｽｳｰﾙ充填) ビニルクロス 一部ホワイトボード壁
天井	LGS+GB-R t 9.5 DR t 9.0
廻縁	塩ビ製

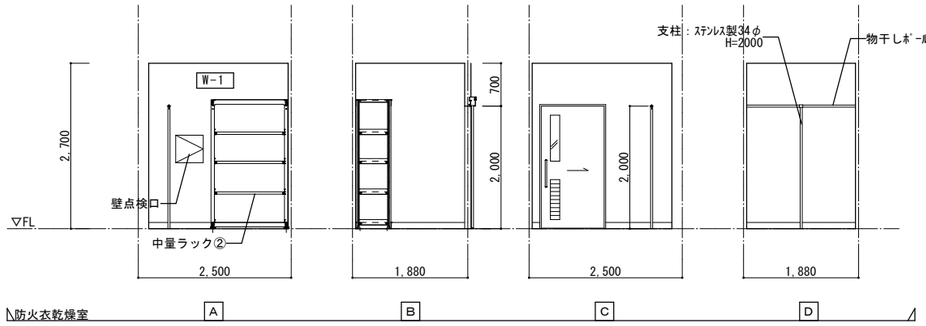




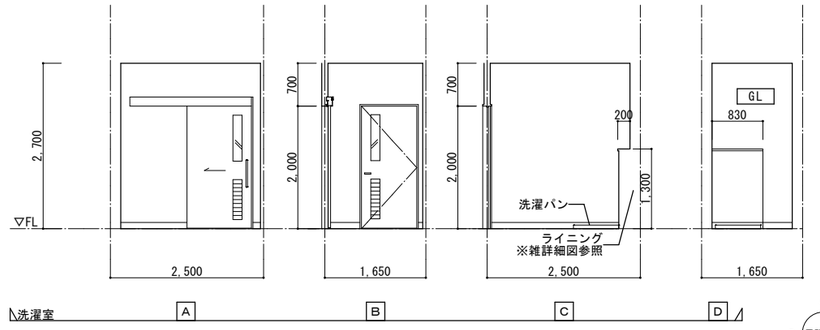
	1階　通用口・通路
床	無機系速硬耐久性仕上材
巾木	床材立上げ（H100）
壁	GL又はLGS　+GB-R t 12.5 AEP
天井	LGS GB-D t 9.5
廻縁	塩ビ製



	1階　防火衣乾燥室
床	無機系速硬耐久性仕上材
巾木	床材立上げ（H100）
壁	GL又はLGS　+GB-S t 12.5 ケイカル板 t 6+AEP
天井	LGS ケイカル板 t 6（突付）+EP-G
廻縁	塩ビ製



	1階　洗濯室
床	鉱物骨材配合散布型美装床仕上材
巾木	床材立上げ（H100）
壁	GL又はLGS　+GB-S t 12.5 ケイカル板 t 6+EP
天井	LGS ケイカル板 t 6（突付）+EP-G
廻縁	塩ビ製



凡例　※特記なき限り壁下地はLGS-65を使用

GL　：壁下地GL工法

W-1　：壁下地LGS-50

W-2　：壁下地LGS-100

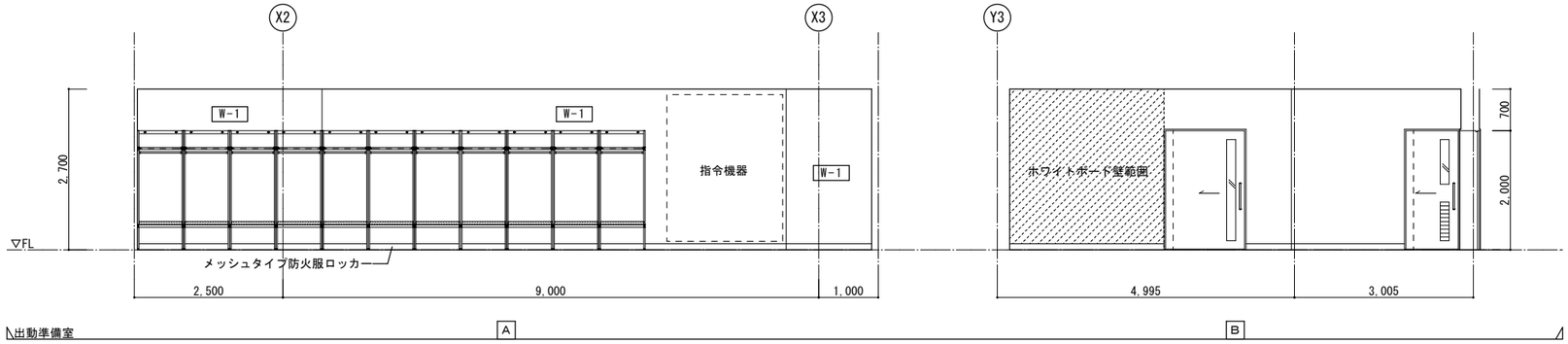
JOBNO

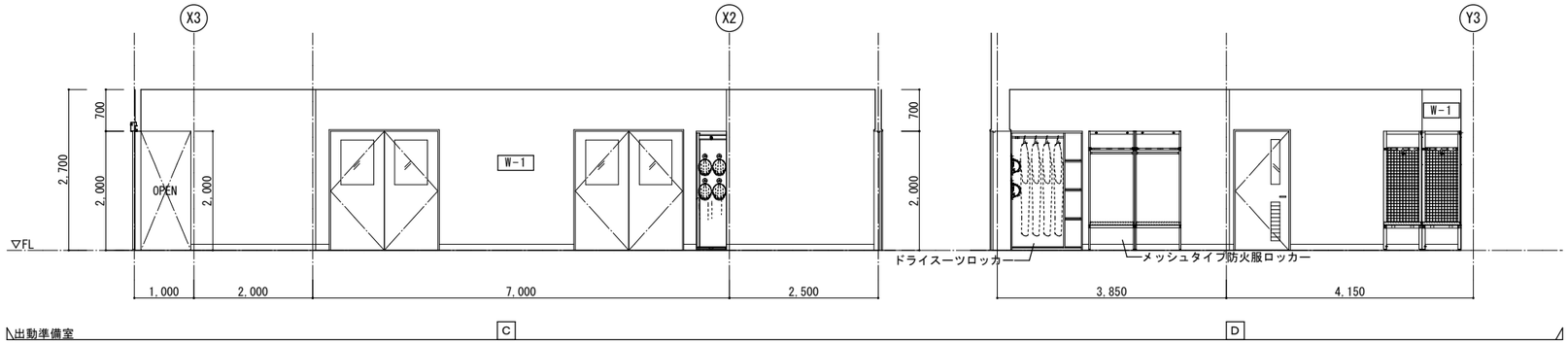
白石消防署庁舎建替工事　【庁舎棟】展開図２　A-37

DATE　SCAL (A 1) 1／50 (A 3) 1／100　DRAWN　CHEK

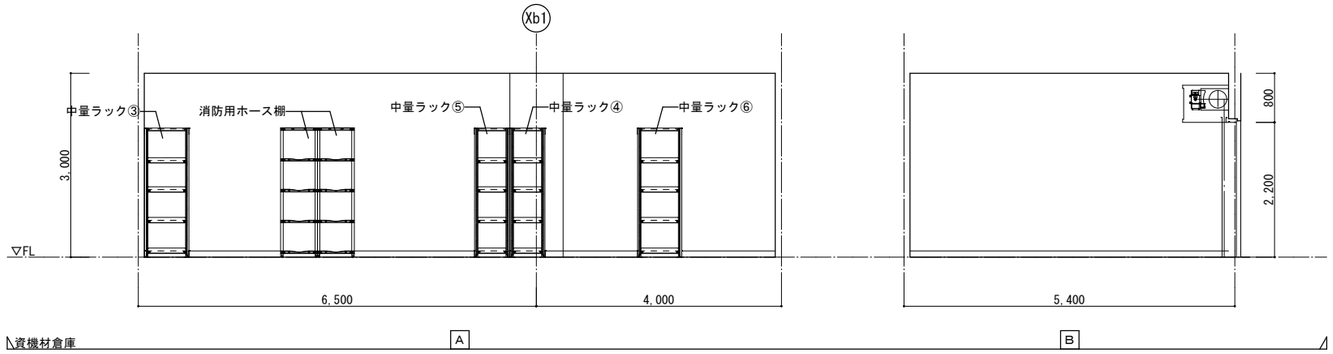
株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士　第 357230 号　永野ますみ

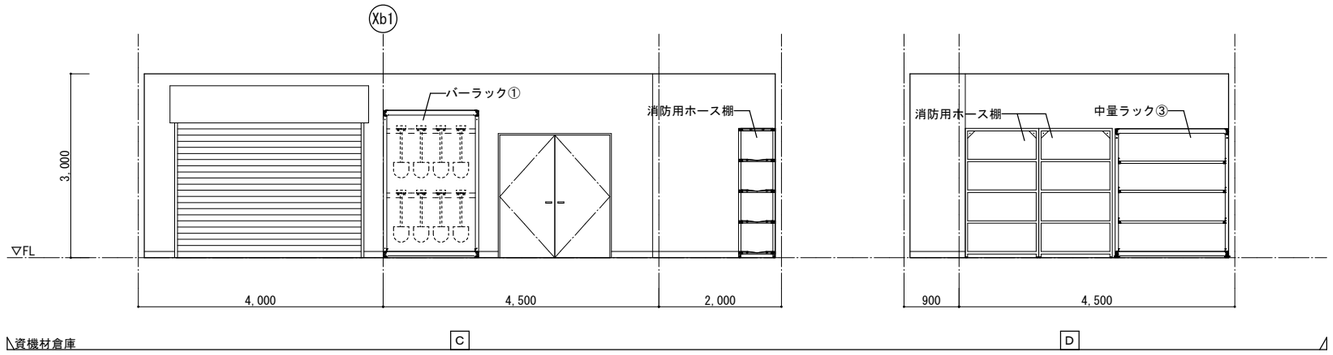
	1階　出動準備室
床	無機系速硬耐久性仕上材
巾木	床材立上げ（H100）
壁	GL又はLGS　+GB-S t 12.5 ケイカル板 t 6+AEP
天井	LGS GB-D t 9.5
廻縁	塩ビ製





	1階　資機材倉庫
床	無機系速硬耐久性仕上材
巾木	床材立上げ（H100）
壁	GL又はLGS　+GB-S t 12.5 ケイカル板 t 6+AEP
天井	LGS ケイカル板 t 6（突付）+EP-G
廻縁	塩ビ製





凡例　※特記なき限り壁下地はLGS-65を使用

GL　：壁下地GL工法

W-1　：壁下地LGS-50

W-2　：壁下地LGS-100

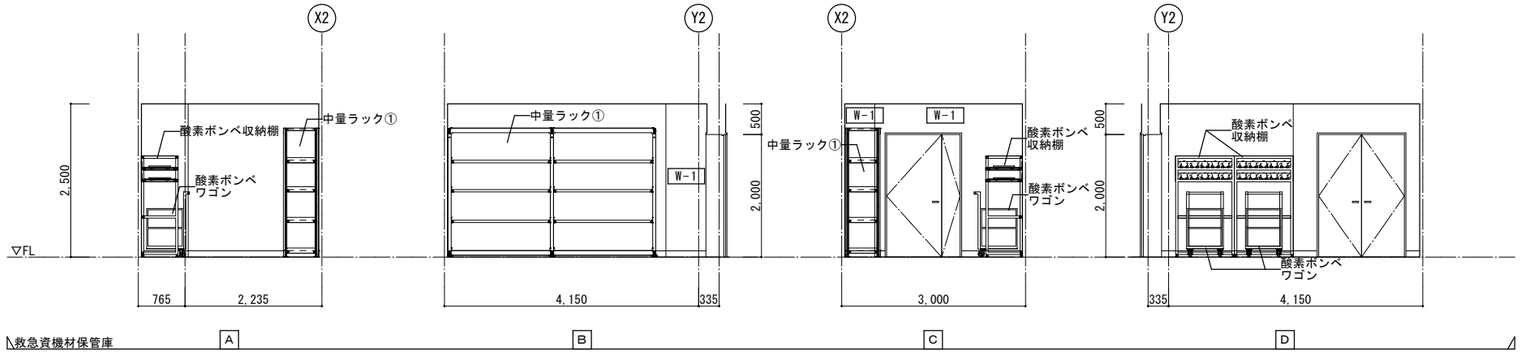
JOBNO

白石消防署庁舎建替工事　【庁舎棟】展開図３　A-38

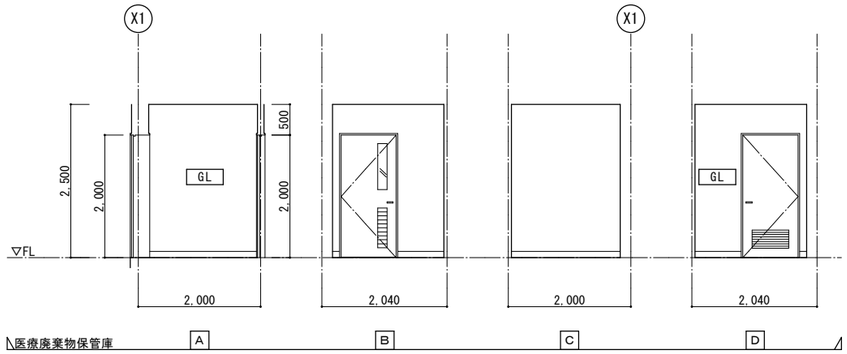
DATE　SCAL (A 1) 1／50 (A 3) 1／100　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士　第 357230 号　永野ますみ

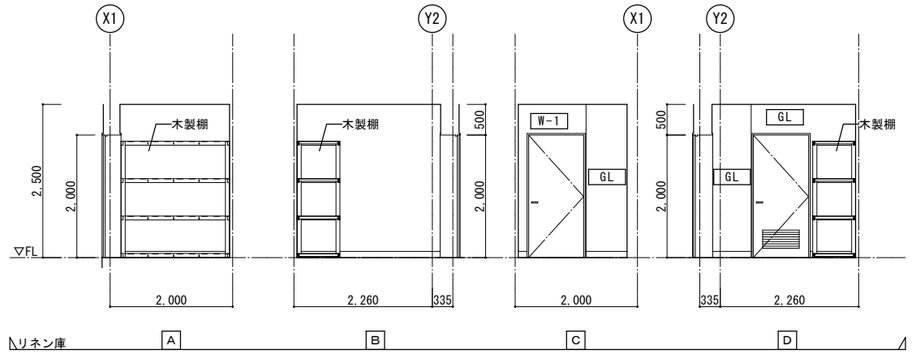
	1階　救急資機材保管庫
床	無機系速硬耐久性仕上材
巾木	床材立上げ（H100）
壁	GL又はLGS　+GB-S t 12.5 ケイカル板 t 6+AEP
天井	LGS ケイカル板 t 6（突付）+EP-G
廻縁	塩ビ製



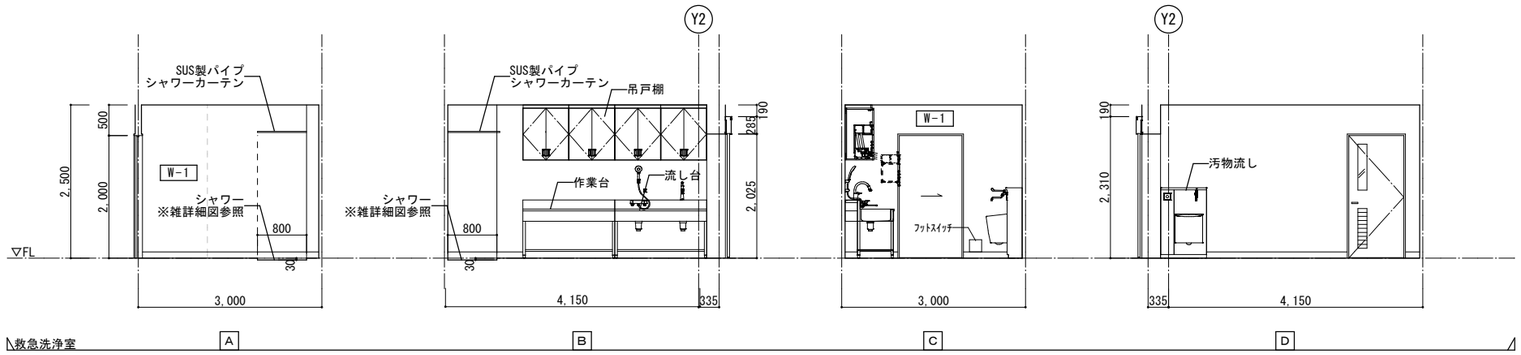
	1階　医療廃棄物保管庫
床	無機系速硬耐久性仕上材
巾木	床材立上げ（H100）
壁	GL又はLGS　+GB-S t 12.5 ケイカル板 t 6+AEP
天井	LGS ケイカル板 t 6（突付）+EP-G
廻縁	塩ビ製



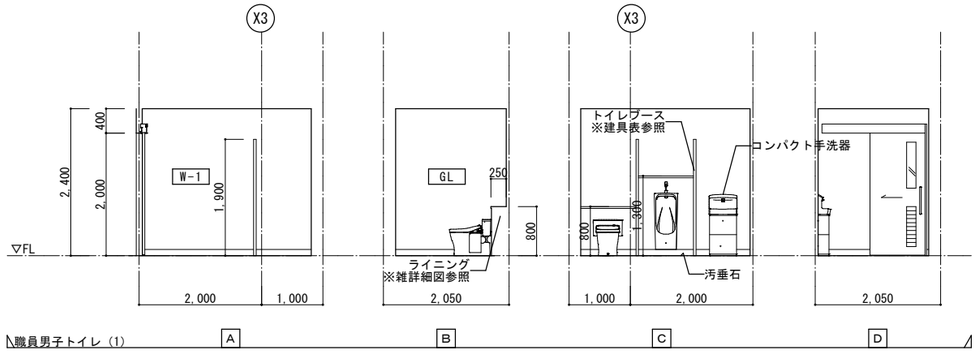
	1階　リネン庫
床	鉱物骨材配合散布型美装床仕上材
巾木	床材立上げ（H100）
壁	GL又はLGS　+GB-S t 12.5 ケイカル板 t 6+EP
天井	LGS ケイカル板 t 6（突付）+EP-G
廻縁	塩ビ製



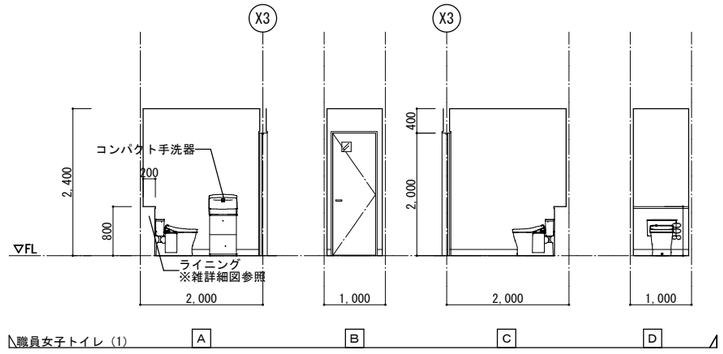
	1階　救急洗浄室
床	厚膜型ｴﾎﾟｷｼ樹脂系塗床材 （抗菌・防滑）
巾木	床材立上げ（H100）
壁	LGS　+耐水合板 t 12 バスパネル t 9
天井	LGS バスパネル t 9
廻縁	アルミ製



	1階　職員男子トイレ（1）
床	ビニル床シートC
巾木	床材立上げ（H100）
壁	LGS+GB-S t 12.5（グラスウール充填） メラミン化粧板 t 3
天井	LGS（グラスウール充填） GB-D t 9.5
廻縁	塩ビ製



	1階　職員女子トイレ（1）
床	ビニル床シートC
巾木	床材立上げ（H100）
壁	LGS+GB-S t 12.5（グラスウール充填） メラミン化粧板 t 3
天井	LGS（グラスウール充填） GB-D t 9.5
廻縁	塩ビ製



凡例　※特記なき限り壁下地はLGS-65を使用

GL　：壁下地GL工法

W-1　：壁下地LGS-50

W-2　：壁下地LGS-100

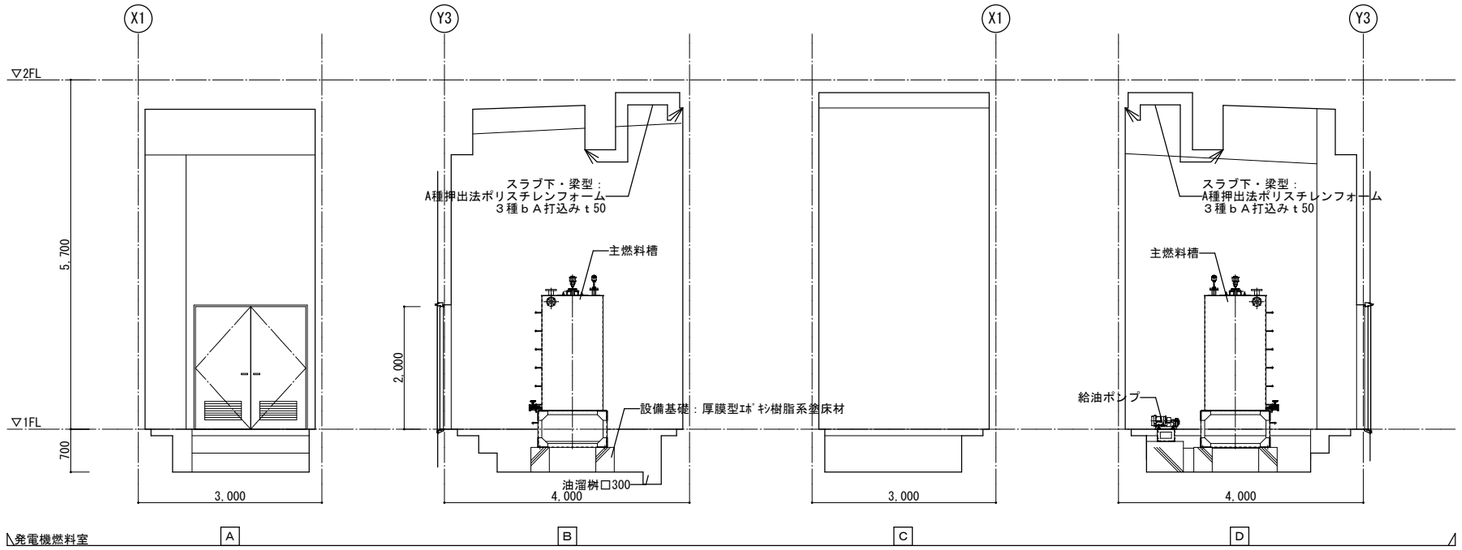
JOBNO

白石消防署庁舎建替工事　【庁舎棟】展開図４　A-39

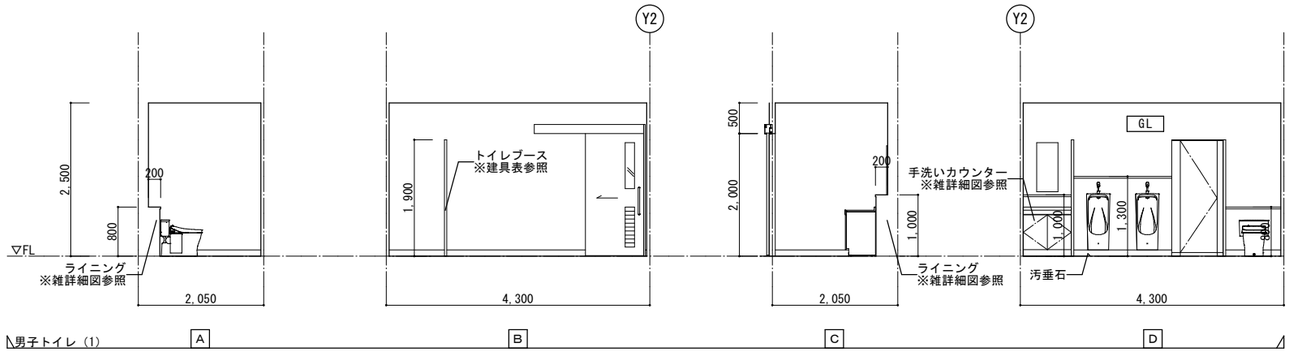
DATE　SCAL (A 1) 1／50 (A 3) 1／100　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士　第 357230 号　永野ますみ

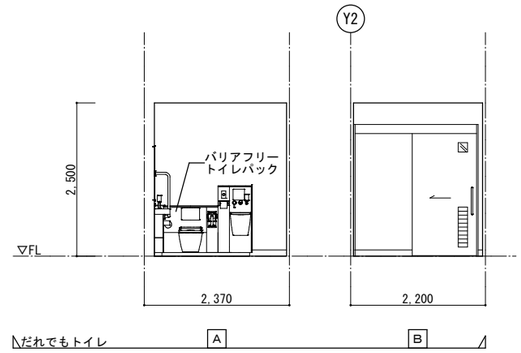
	1階　発電機燃料室
床	厚膜型ｴﾎﾟｷｼ樹脂系塗床材
巾木	床材立上げ（H500）
壁	コンクリート打放し補修B種 超耐久・水性ｱｸﾘﾙｼﾘｺﾝ樹脂塗装
天井	コンクリート打放し補修 スラブ現し
廻縁	ー



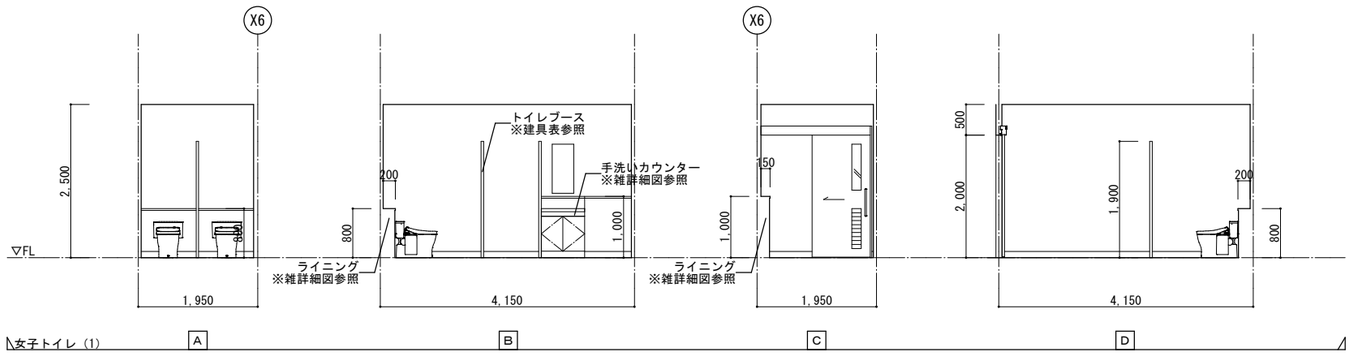
	1階　男子トイレ（1）
床	ビニル床シートＣ
巾木	床材立上げ（H100）
壁	LGS+GB-Ｓｔ12.5（グラスウール充填） メラミン化粧板ｔ3
天井	LGS（グラスウール充填） GB-Ｄｔ9.5
廻縁	塩ビ製

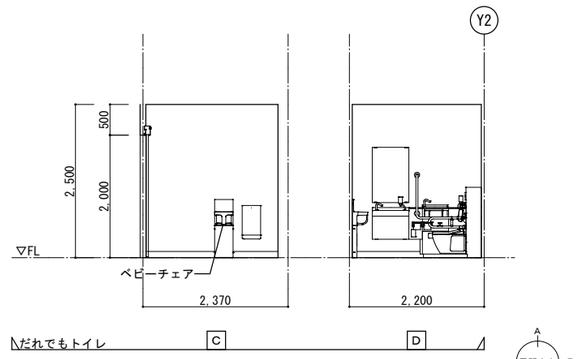


	1階　だれでもトイレ
床	ビニル床シートＣ
巾木	床材立上げ（H100）
壁	LGS+GB-Ｓｔ12.5（グラスウール充填） メラミン化粧板ｔ3
天井	LGS（グラスウール充填） GB-Ｄｔ9.5
廻縁	塩ビ製



	1階　女子トイレ（1）
床	ビニル床シートＣ
巾木	床材立上げ（H100）
壁	LGS+GB-Ｓｔ12.5（グラスウール充填） メラミン化粧板ｔ3
天井	LGS（グラスウール充填） GB-Ｄｔ9.5
廻縁	塩ビ製





凡例　※特記なき限り壁下地はLGS-65を使用

GL	：壁下地GL工法
W-1	：壁下地LGS-50
W-2	：壁下地LGS-100

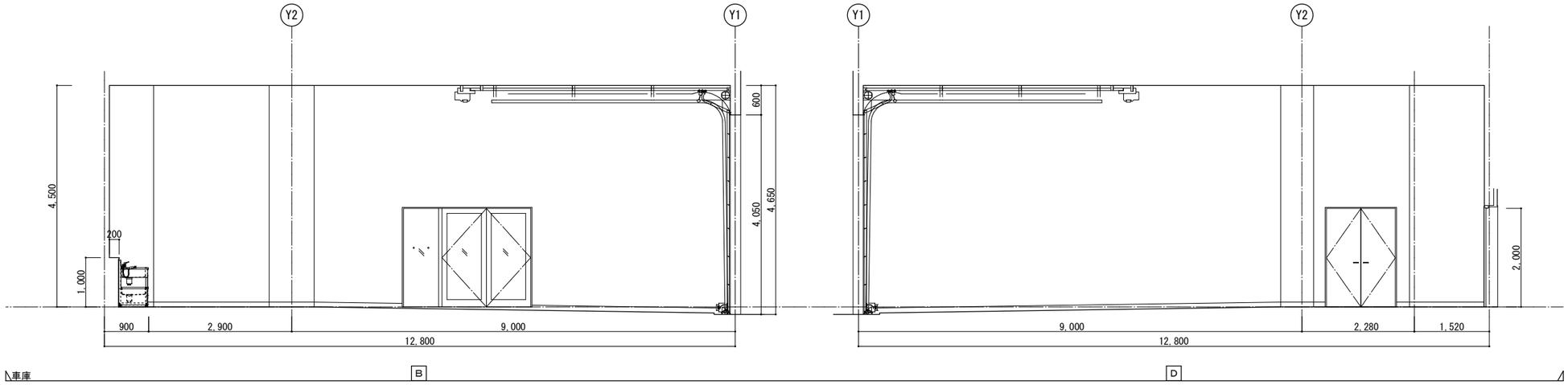
JOBNO

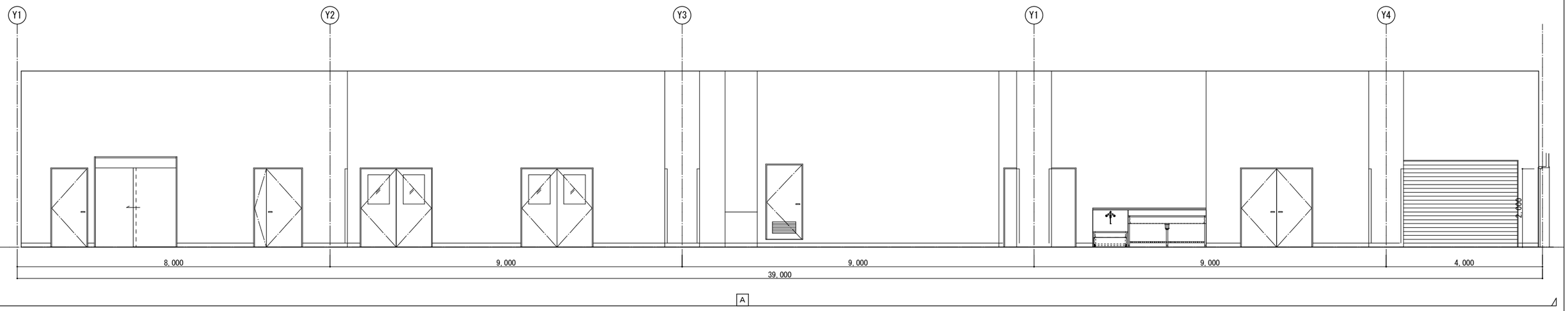
白石消防署庁舎建替工事　【庁舎棟】展開図５　A-40

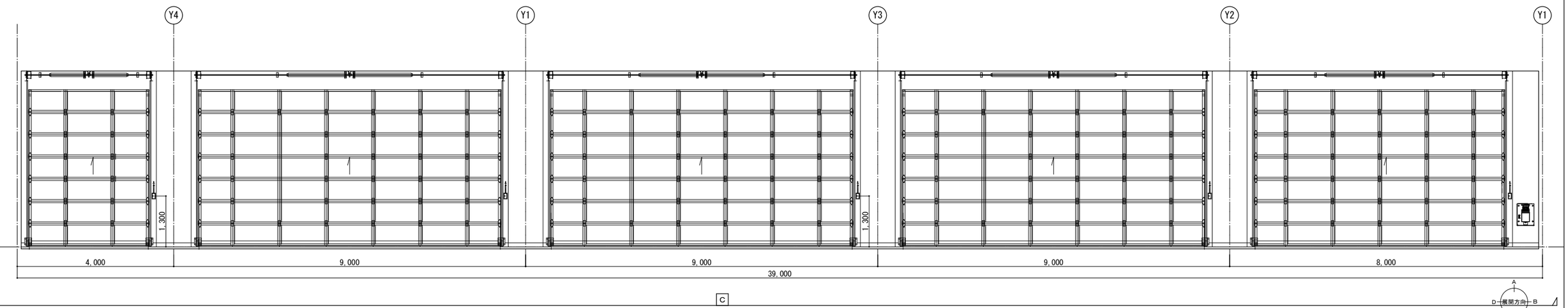
DATE　SCAL (A 1) 1／50 (A 3) 1／100　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士　第 357230 号　永野ますみ

	1階　　車庫
床	合金骨材配合強靭床仕上材
巾木	床材立上げ（H100）
壁	コンクリート打放し仕上A種 超耐久・水性ｱｸﾘﾙｼﾘｺﾝ樹脂塗装
天井	LGS ケイカル板ｔ6（突付）+EP-G
廻縁	塩ビ製







凡例　※特記なき限り壁下地はLGS-65を使用

GL	：壁下地GL工法
W-1	：壁下地LGS-50
W-2	：壁下地LGS-100

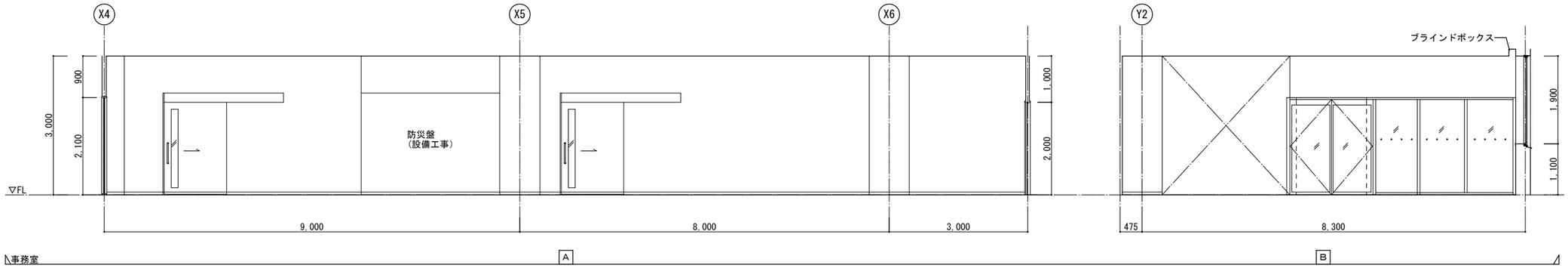
JOBNO

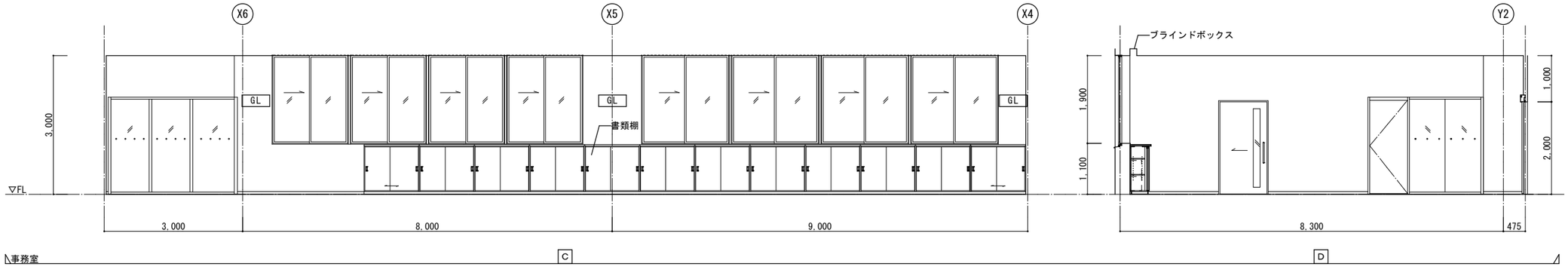
白石消防署庁舎建替工事　【庁舎棟】展開図6　A-41

DATE　SCAL (A 1) 1／50 (A 3) 1／100　DRAWN　CHEK

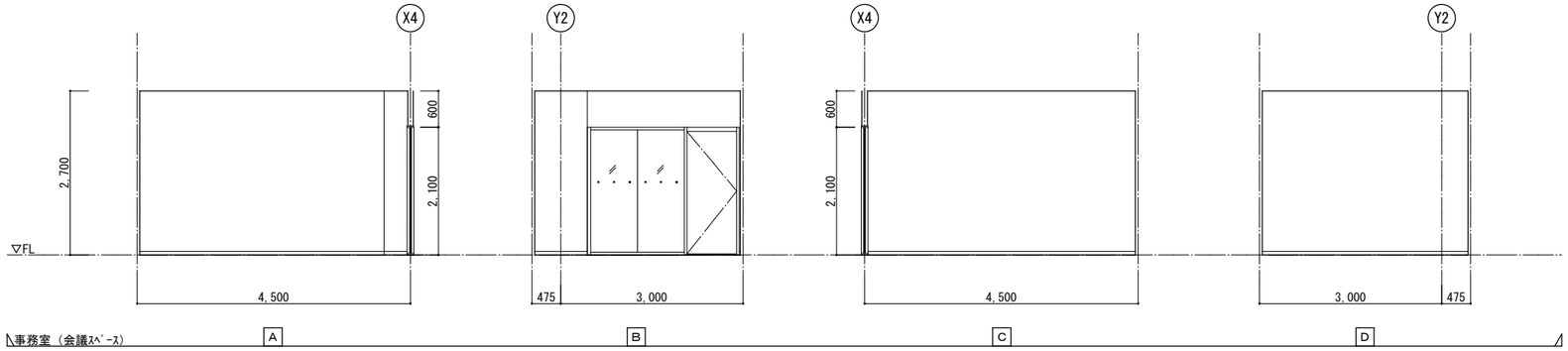
株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士　第 357230 号　永野ますみ

	２階　　事務室
床	置敷きビニル床タイル
巾木	ビニル巾木（H60）
壁	LGS+GB-R t 12.5 ビニルクロス
天井	LGS+GB-R t 9.5 DR t 9.0
廻縁	塩ビ製

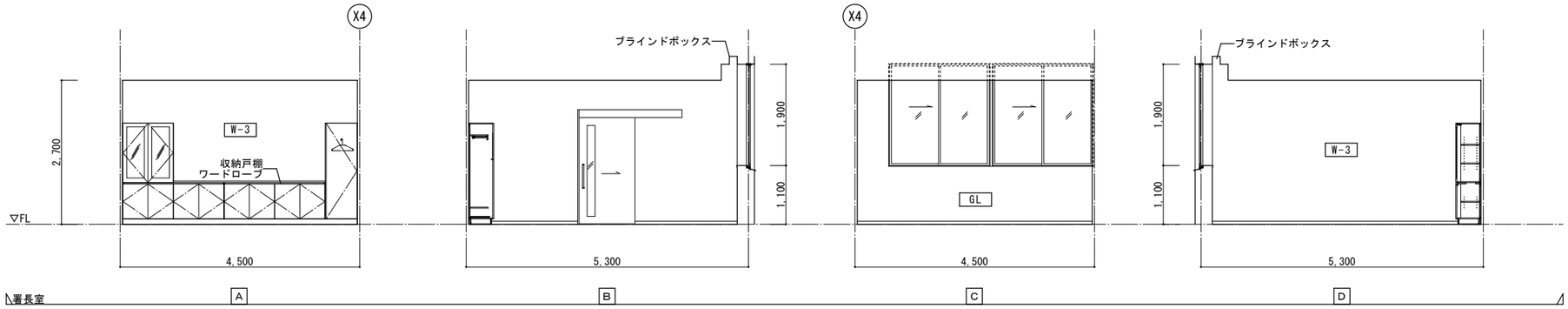




	２階　　事務室（会議ｽﾍﾟｰｽ）
床	置敷きビニル床タイル
巾木	ビニル巾木（H60）
壁	LGS+GB-R t 12.5 ビニルクロス
天井	LGS+GB-R t 9.5 DR t 9.0
廻縁	塩ビ製



	２階　　署長室
床	置敷きビニル床タイル
巾木	ビニル巾木（H60）
壁	LGS+GB-R t 12.5（グラスウール充填） 布クロス 一部メラミン化粧不燃板
天井	LGS+GB-R t 9.5（グラスウール充填） DR t 9.0
廻縁	塩ビ製



凡例　※特記なき限り壁下地はLGS-65を使用

GL　：壁下地GL工法

W-1　：壁下地LGS-50

W-2　：壁下地LGS-100

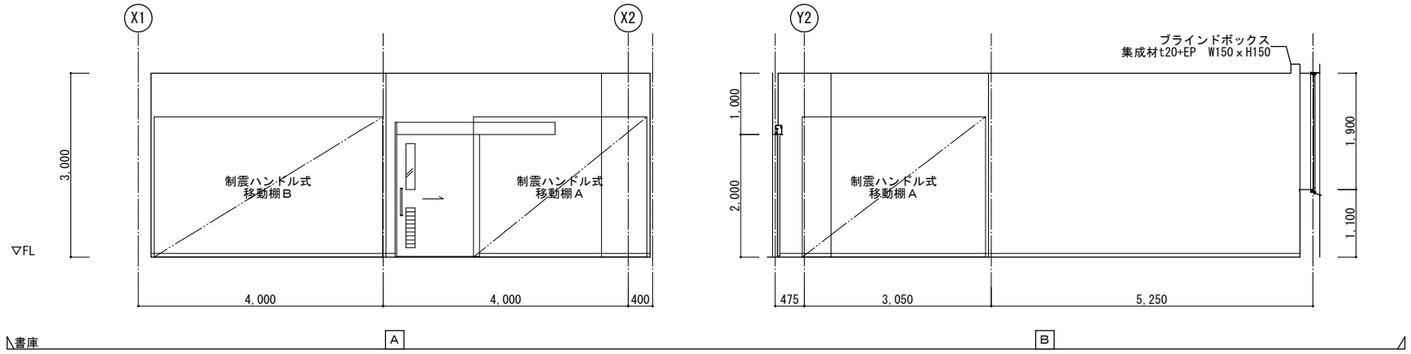
JOBNO

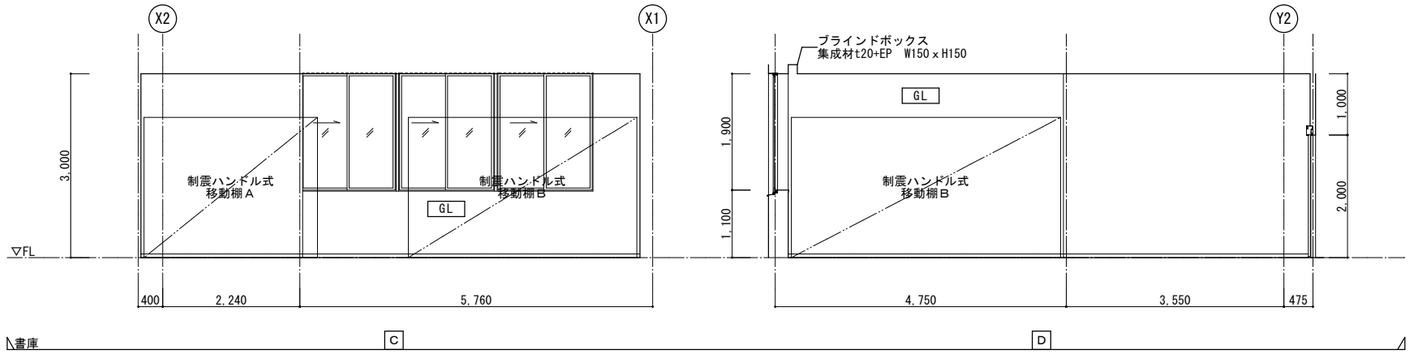
白石消防署庁舎建替工事　【庁舎棟】展開図７　A-42

DATE　SCAL (A 1) 1／50 (A 3) 1／100　DRAWN　CHEK

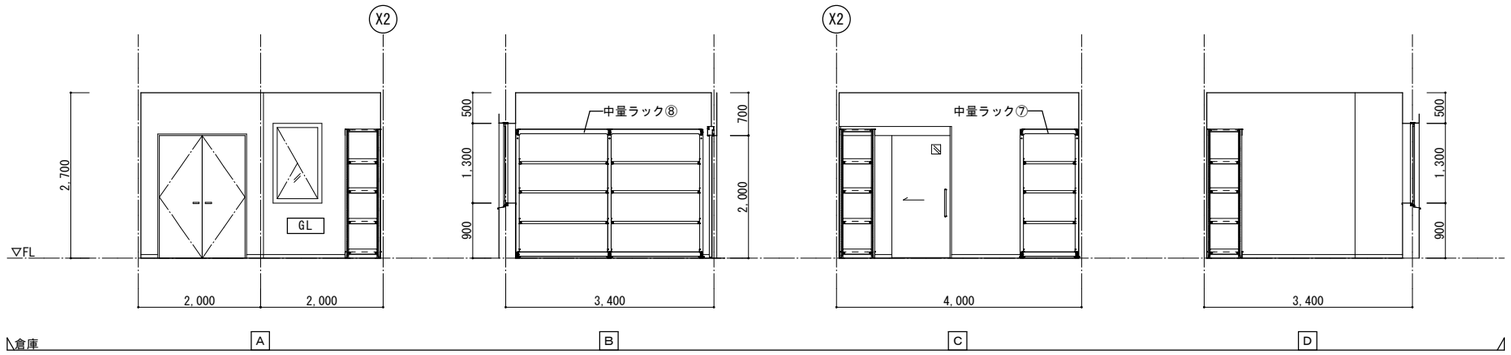
株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号　永野ますみ

	２階　　書庫
床	ビニル床シートＤ
巾木	ビニル巾木（H60）
壁	GB-Rt12.5 ビニルクロス
天井	LGS GB-Dt9.5
廻縁	塩ビ製

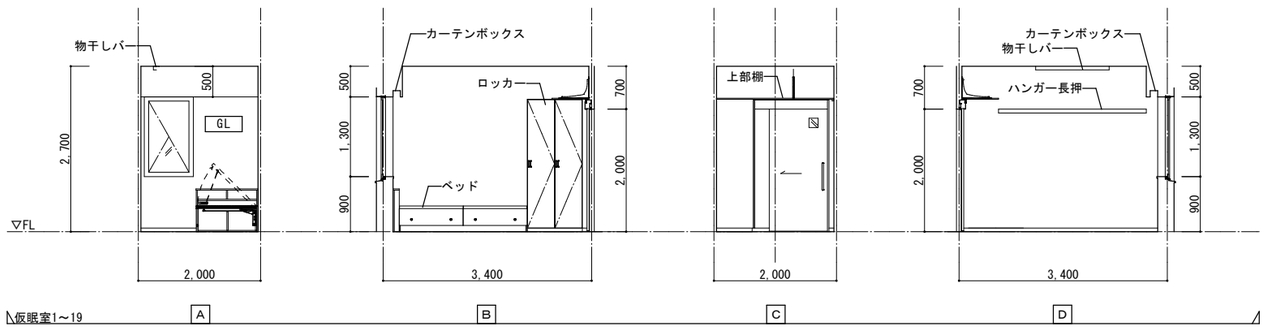




	２階　　倉庫
床	ビニル床シートＤ
巾木	ビニル巾木（H60）
壁	GB-Rt12.5 ビニルクロス
天井	LGS GB-Dt9.5
廻縁	塩ビ製



	２階　　仮眠室1～19
床	タイルカーペットＡ
巾木	ビニル巾木（H60）
壁	LGS+GB-Ｒｔ12.5（グラスウール充填） ビニルクロス
天井	LGS+GB-Ｒｔ9.5（グラスウール充填） ビニルクロス
廻縁	塩ビ製



凡例　※特記なき限り壁下地はLGS-65を使用

GL　：壁下地GL工法

W-1　：壁下地LGS-50

W-2　：壁下地LGS-100

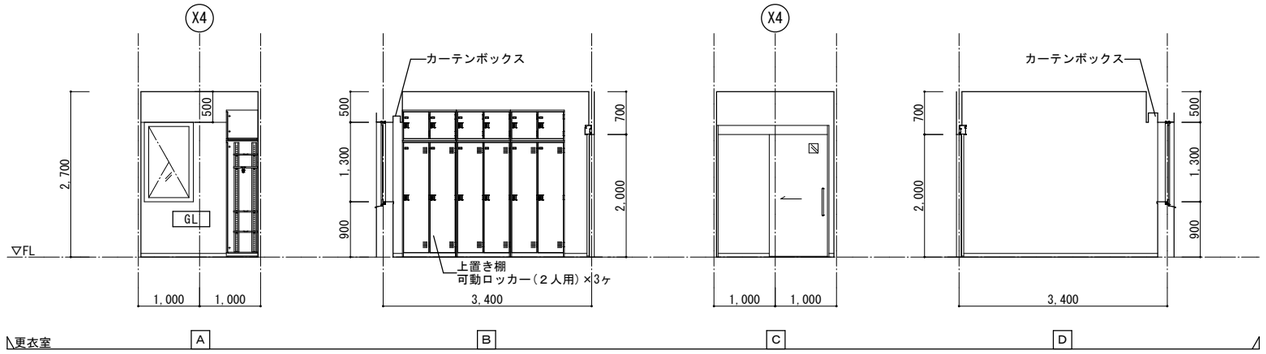
JOBNO

白石消防署庁舎建替工事　【庁舎棟】展開図８　A-43

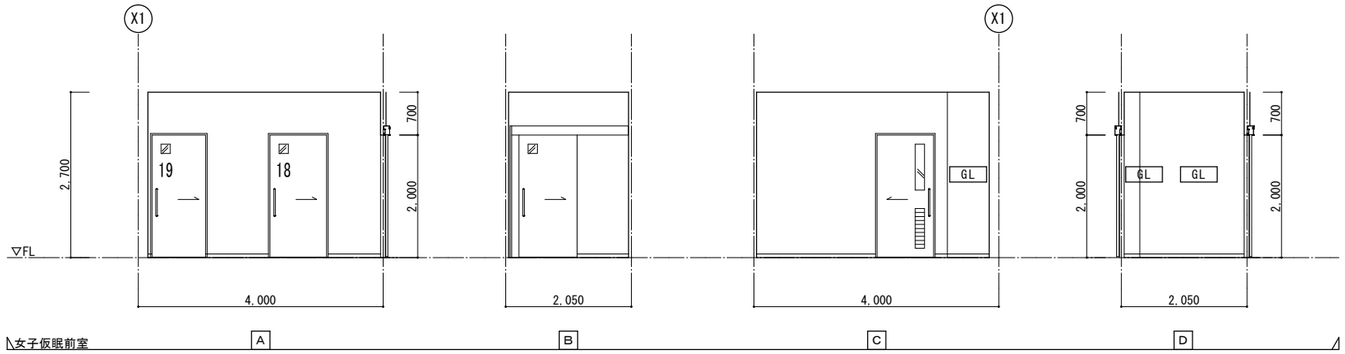
DATE　SCAL (A 1) 1／50 (A 3) 1／100　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士　第 357230 号　永野ますみ

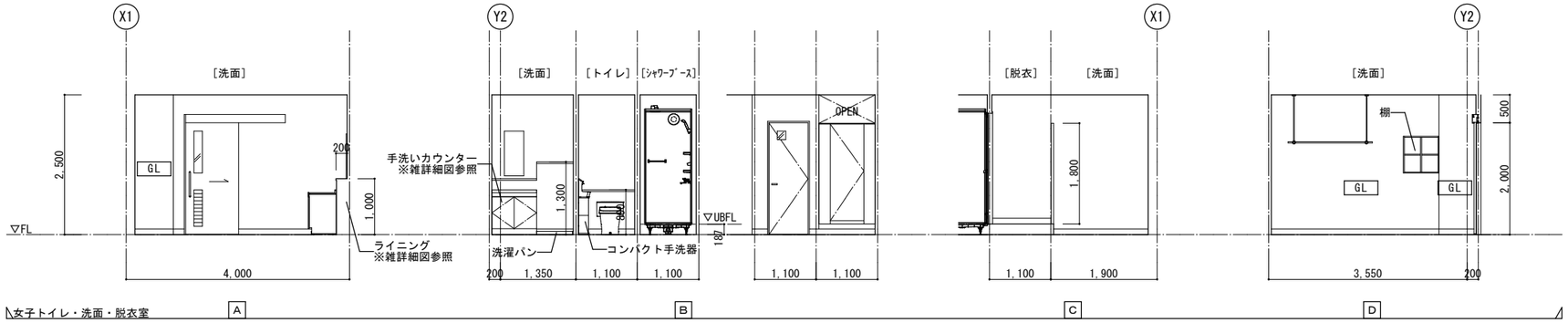
	２階　　更衣室
床	ビニル床シートＢ
巾木	ビニル巾木（H60）
壁	LGS+GB-R t 12.5（グラスウール充填） ビニルクロス
天井	LGS+GB-R t 9.5（グラスウール充填） ビニルクロス
廻縁	塩ビ製



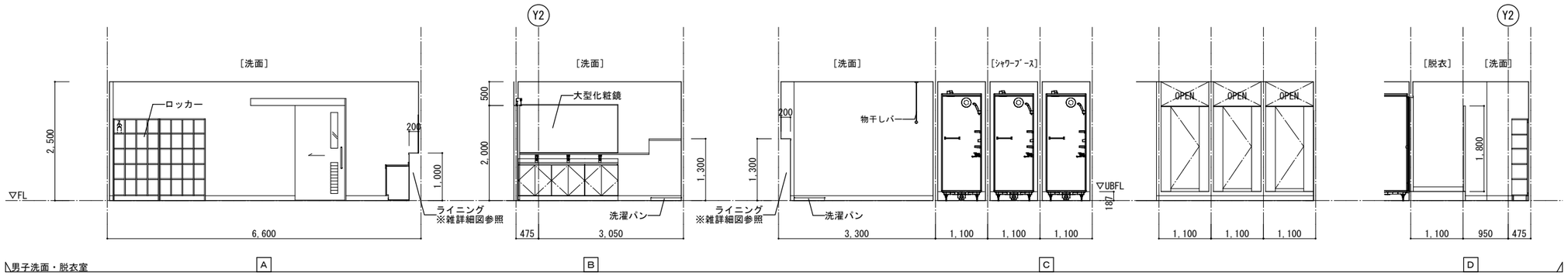
	２階　　女子仮眠前室
床	ビニル床シートＢ
巾木	ビニル巾木（H60）
壁	LGS+GB-R t 12.5（グラスウール充填） ビニルクロス
天井	LGS GB-D t 9.5
廻縁	塩ビ製



	２階　女子トイレ・洗面・脱衣室
床	ビニル床シートＢ
巾木	床材立上げ（H100）
壁	LGS+GB-S t 12.5（グラスウール充填） メラミン化粧板 t 3
天井	LGS（グラスウール充填） GB-D t 9.5
廻縁	塩ビ製



	２階　　男子洗面・脱衣室
床	ビニル床シートＢ
巾木	床材立上げ（H100）
壁	LGS+GB-S t 12.5（グラスウール充填） メラミン化粧板 t 3
天井	LGS（グラスウール充填） GB-D t 9.5
廻縁	塩ビ製



凡例　※特記なき限り壁下地はLGS-65を使用

GL　：壁下地GL工法

W-1　：壁下地LGS-50

W-2　：壁下地LGS-100

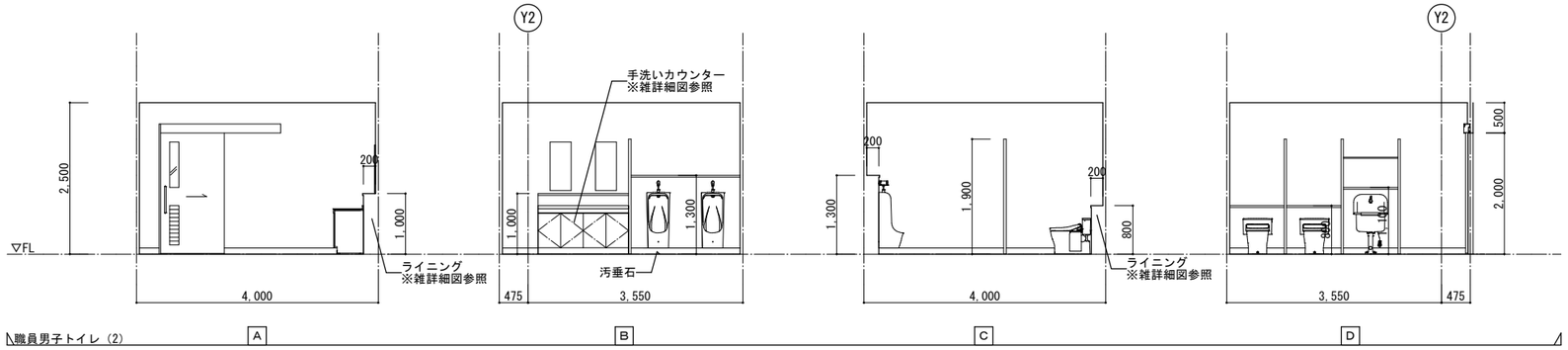
JOBNO

白石消防署庁舎建替工事　【庁舎棟】展開図９　A-44

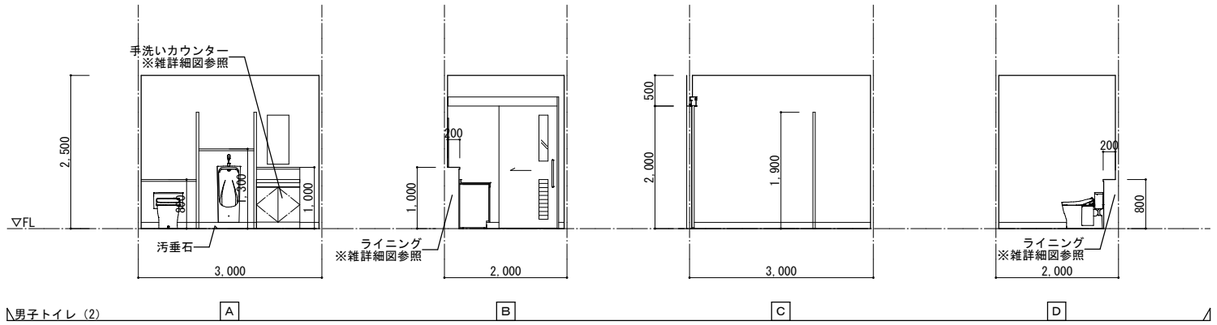
DATE　SCAL (A 1) 1／50 (A 3) 1／100　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士　第 357230 号　永野ますみ

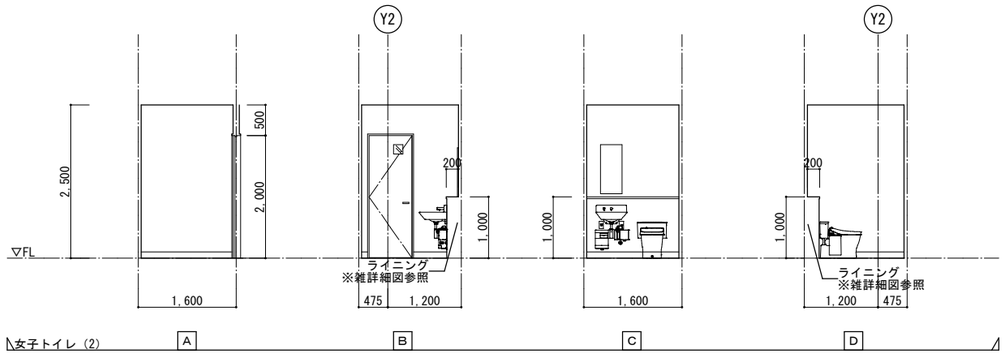
	２階　　職員男子トイレ（2）
床	ビニル床シートＣ
巾木	床材立上げ（H100）
壁	LGS+GB-S t 12.5（グラスウール充填） メラミン化粧板 t 3
天井	LGS（グラスウール充填） GB-D t 9.5
廻縁	塩ビ製



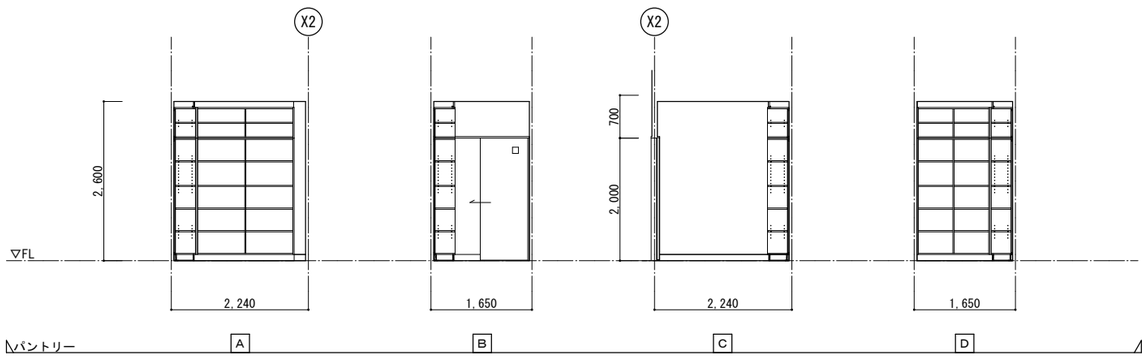
	２階　　男子トイレ（2）
床	ビニル床シートＣ
巾木	床材立上げ（H100）
壁	LGS+GB-S t 12.5（グラスウール充填） メラミン化粧板 t 3
天井	LGS（グラスウール充填） GB-D t 9.5
廻縁	塩ビ製



	２階　女子トイレ（2）
床	ビニル床シートＢ
巾木	床材立上げ（H100）
壁	LGS+GB-S t 12.5（グラスウール充填） メラミン化粧板 t 3
天井	LGS（グラスウール充填） GB-D t 9.5
廻縁	塩ビ製



	２階　　パントリー
床	ビニル床シートＢ
巾木	床材立上げ（H100）
壁	LGS+GB-S t 12.5 ビニルクロス
天井	LGS（グラスウール充填） GB-D t 9.5
廻縁	塩ビ製



凡例　※特記なき限り壁下地はLGS-65を使用

- GL　：壁下地GL工法
- W-1　：壁下地LGS-50
- W-2　：壁下地LGS-100

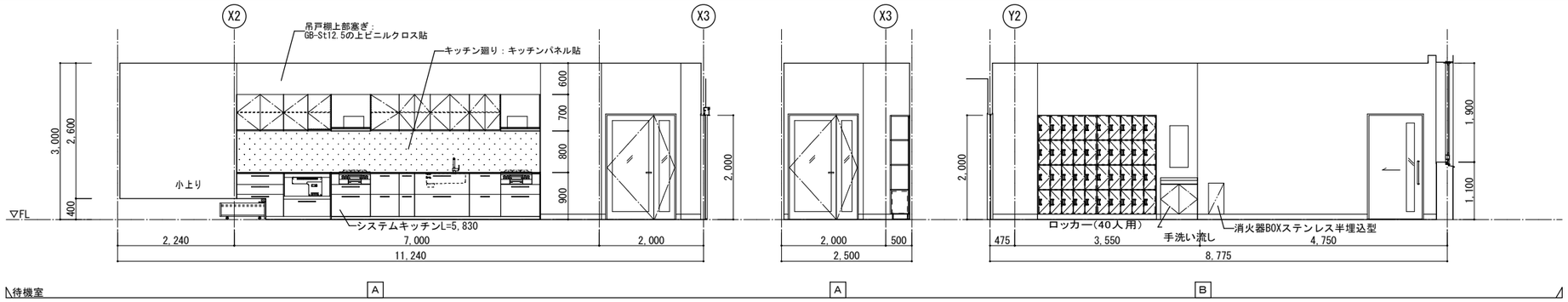
JOBNO

白石消防署庁舎建替工事　【庁舎棟】展開図１０　A-45

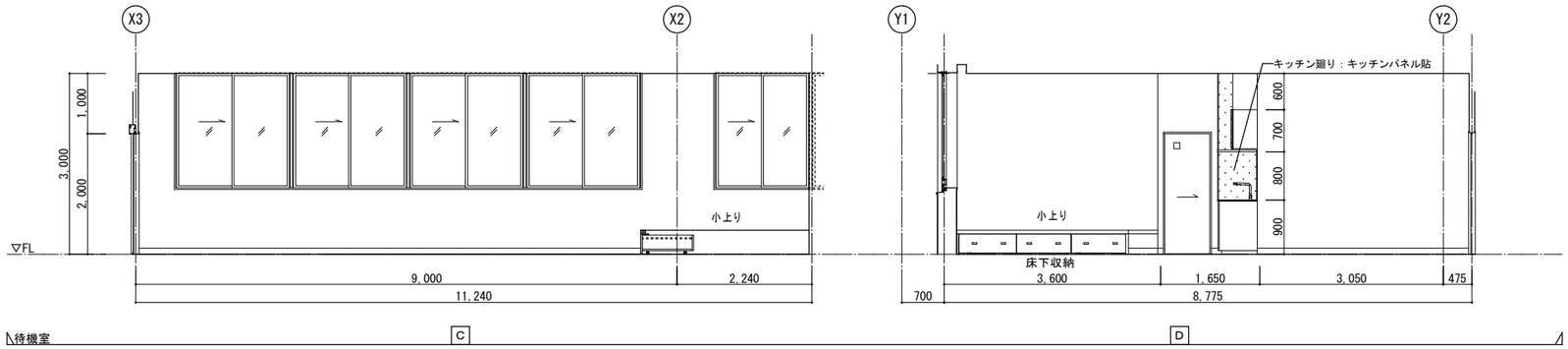
DATE　SCAL (A 1) 1／50 (A 3) 1／100　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号　永野ますみ

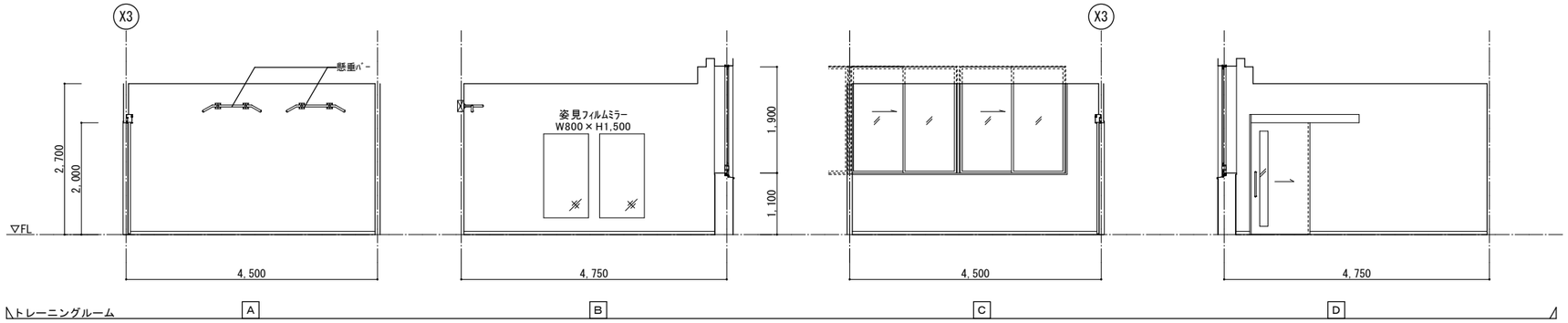
	２階　　待機室
床	ビニル床シートＢ
巾木	床材立上げ（H100）
壁	LGS　+GB-S t 12.5 ビニルクロス 一部キッチンパネル貼り
天井	LGS（グラスウール充填） GB-D t 9.5
廻縁	塩ビ製



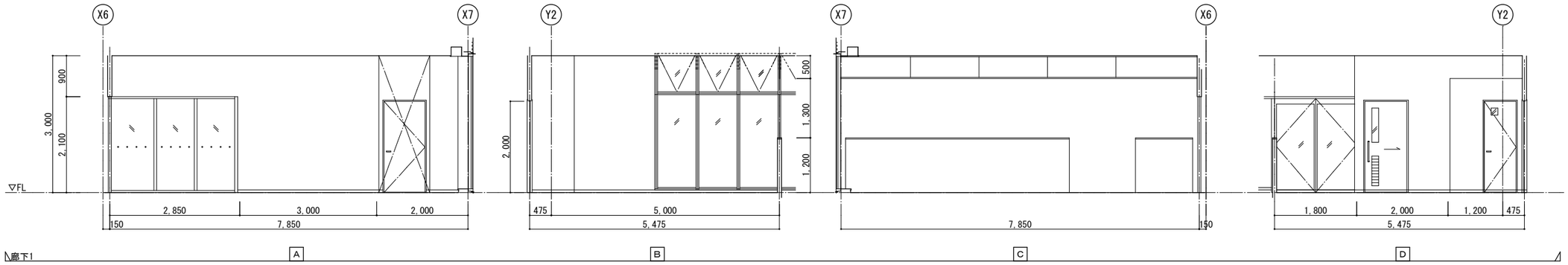
	２階　　待機室　小上り
床	木製床組　+化学薄畳敷きt30
巾木	畳寄せ
壁	LGS　+GB-S t 12.5 ビニルクロス
天井	LGS（グラスウール充填） GB-D t 9.5
廻縁	塩ビ製



	２階　　トレーニングルーム
床	ビニル床シートＦ
巾木	ビニル巾木（H60）
壁	LGS　+GB-R t 12.5 AEP
天井	LGS GB-D t 9.5
廻縁	塩ビ製



	２階　　廊下1
床	ビニル床シートＡ
巾木	ビニル巾木（H60）
壁	LGS　+GB-R t 12.5 AEP
天井	LGS GB-R t 9.5　+DR t 9.0
廻縁	塩ビ製



凡例　※特記なき限り壁下地はLGS-65を使用

GL　：壁下地GL工法

W-1　：壁下地LGS-50

W-2　：壁下地LGS-100

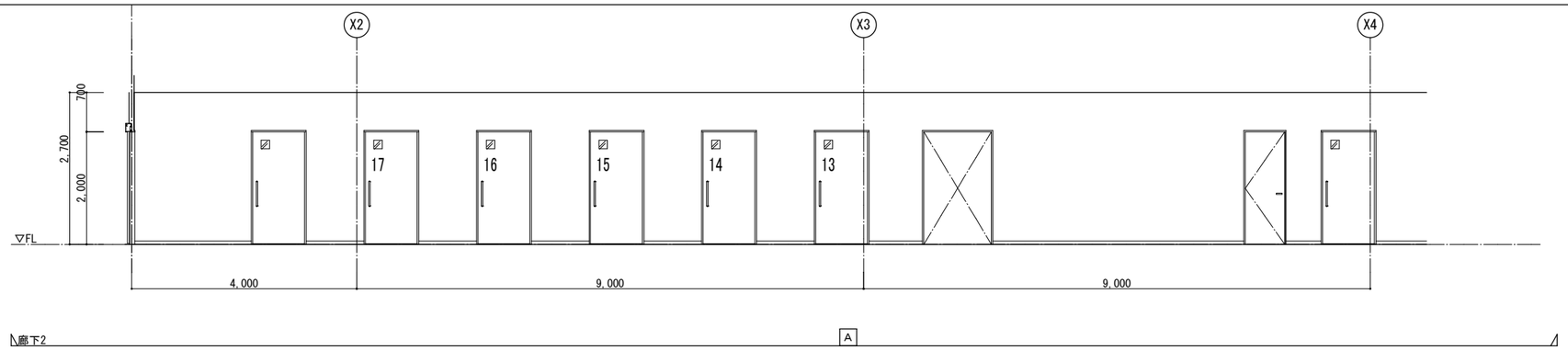
JOBNO

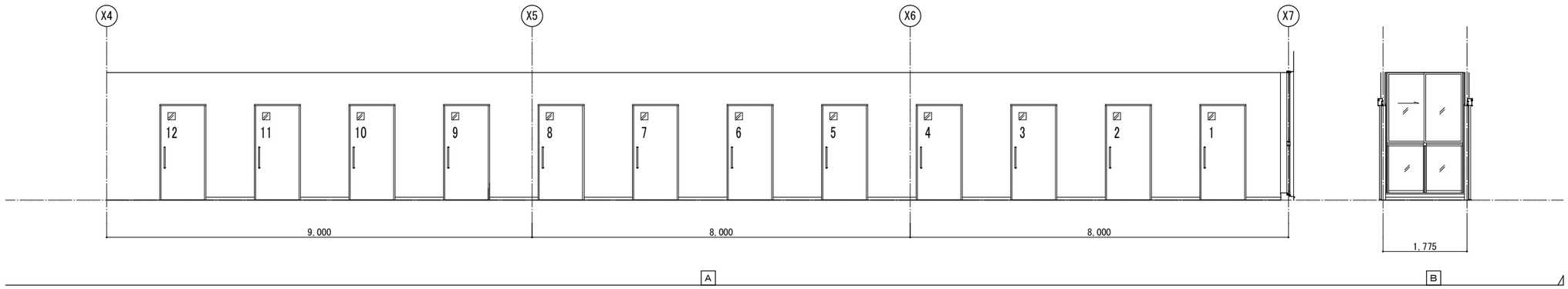
白石消防署庁舎建替工事　【庁舎棟】展開図１１　A-46

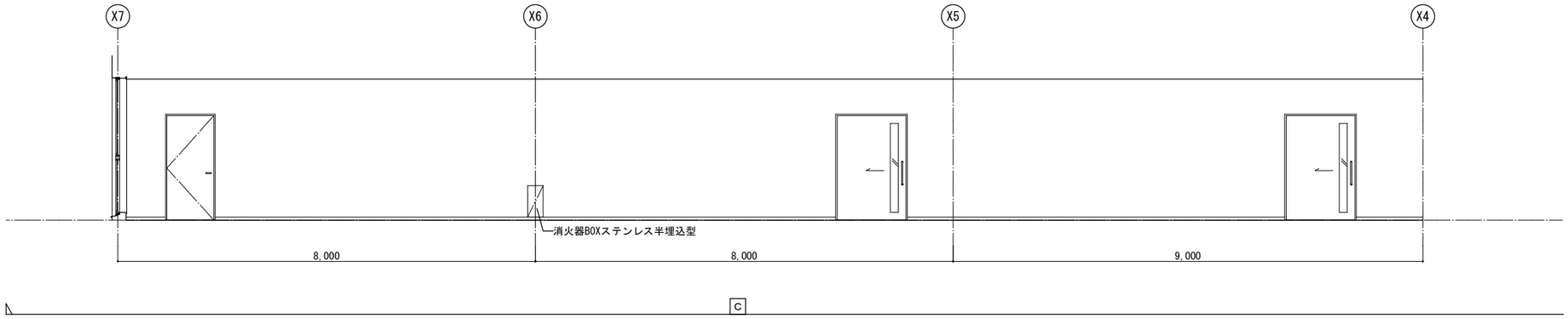
DATE　SCAL (A 1) 1／50 (A 3) 1／100　DRAWN　CHEK

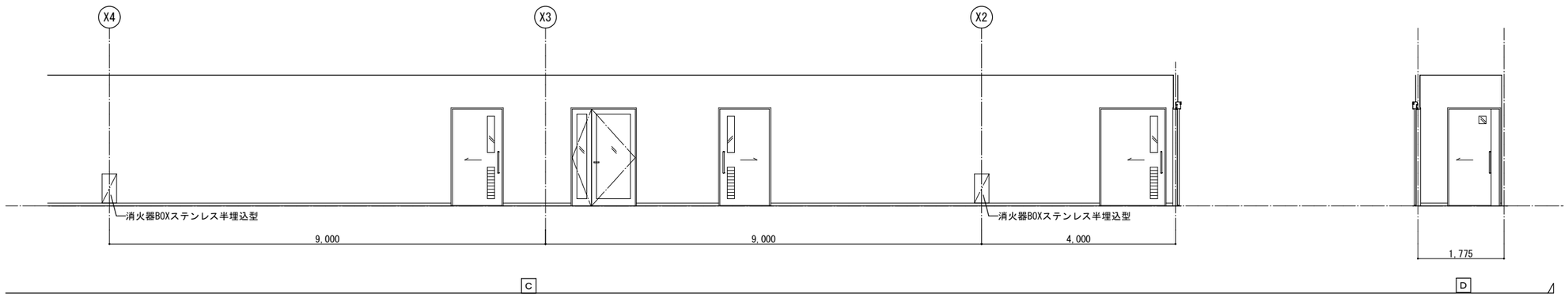
株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士　第 357230 号　永野ますみ

	２階　廊下2
床	ビニル床シートＡ
巾木	ビニル巾木（H60）
壁	LGS　+GB-R t 12.5 AEP
天井	LGS GB-D t 9.5
廻縁	塩ビ製







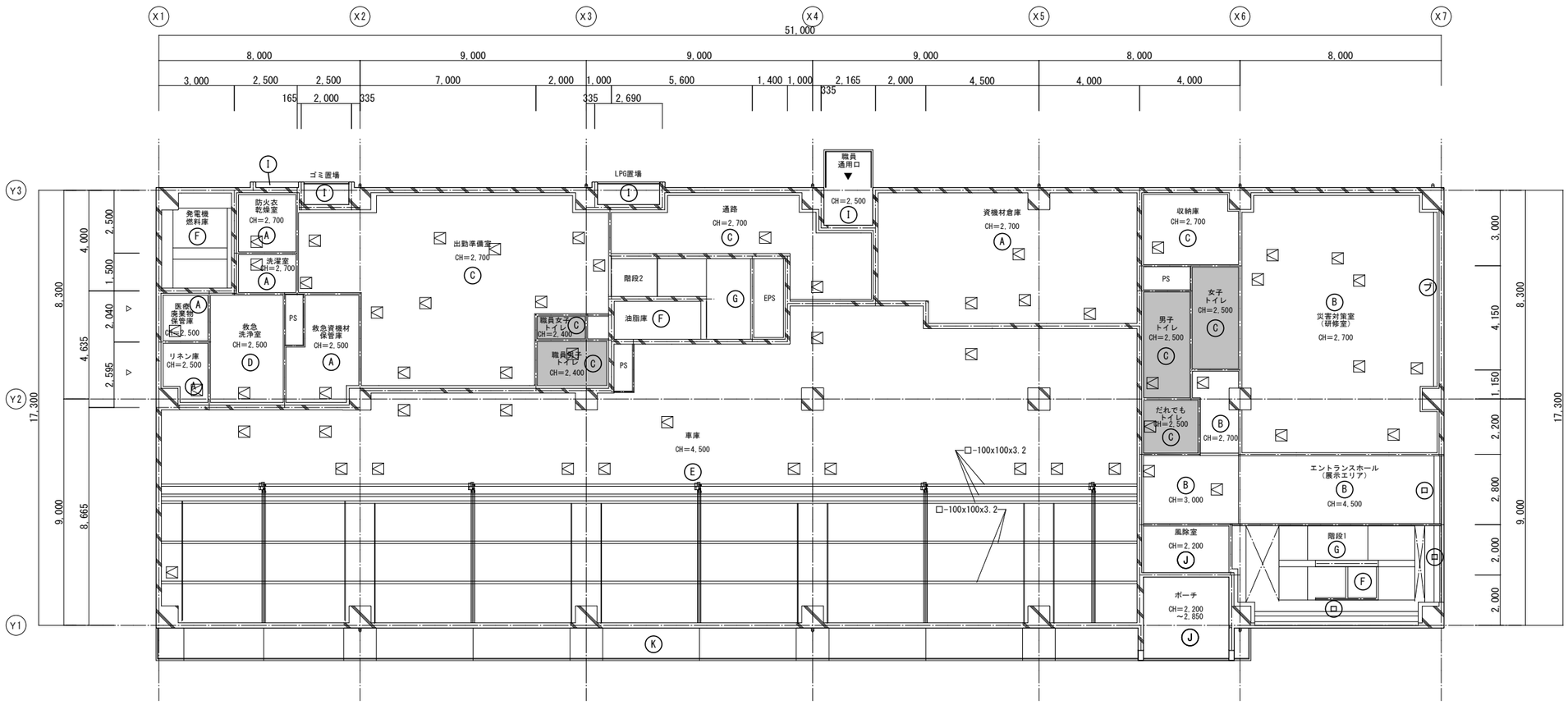


JOBNO

白石消防署庁舎建替工事　【庁舎棟】展開図１２　A-47

DATE　SCAL (A 1) 1／50 (A 3) 1／100　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号 永野ますみ



1階天井伏図　1/100

設備・点検口開口補強

開口サイズ	1階
1250 x 150	12
900 x 900	7
400 x 400	32
150φ	36
点検口450□	55

凡 例

※PS・EPSの天井高さは直天とする。
※CH＝00　天井高さを示す

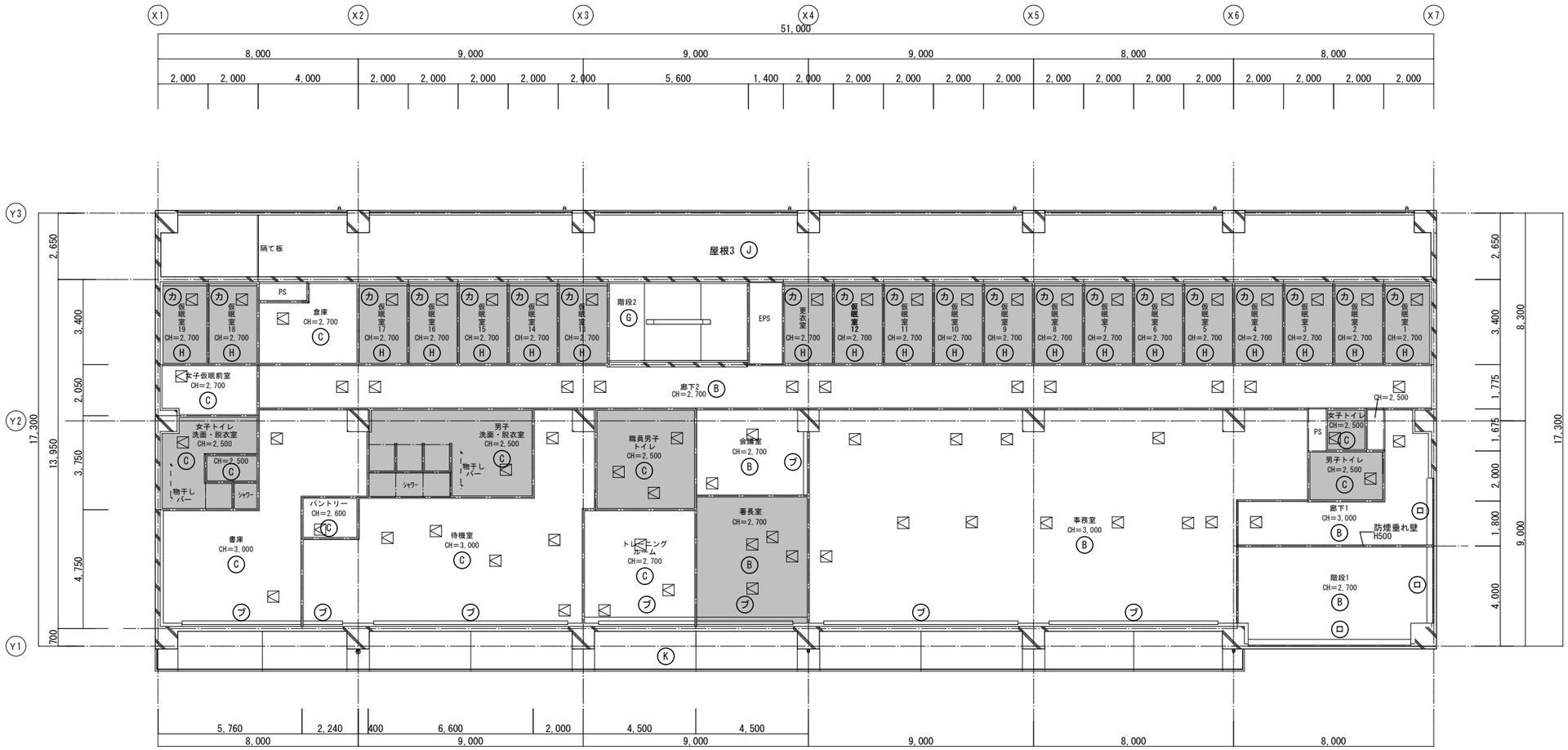
A	ケイカル板ｔ6+EP-G	I	コンクリート打放し仕上B種+外装薄塗材E　誘発目地
B	GB-Rt9.5+DRｔ9.0	J	ケイカル板ｔ8（目透し）+外装薄塗材E
C	GB-Dt9.5	K	コンクリート打放し仕上A種+ 超耐久・水性ふっ素樹脂塗装
D	バスパネルｔ9		天井裏グラスウールｔ100敷き込み範囲
E	ケイカル板ｔ8+EP-G	△	天井点検口　450角
F	コンクリート打放補修	カ	カーテンボックス　集成材t20+EP-G　W120ｘH100
G	コンクリート打放補修+EP-G	ブ	ブラインドボックス　集成材t20+EP-G　W150ｘH150
H	GB-Rt9.5+ビニルクロス	ロ	電動ロールスクリーンボックス　アルミ製　W230ｘH200

JOBNO

白石消防署庁舎建替工事　【庁舎様】1階天井伏図　A-48

DATE　SCAL (A 1) 1／100　(A 3) 1／200　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士　第 357230 号　永野ますみ



2階平面図　1/100

設備・点検口開口補強

開口サイズ	2階
1250 x 150	18
900 x 900	7
400 x 400	44
150φ	41
600 x 600	8
点検口450□	71

凡 例

※PS・EPSの天井高さは直天とする。
※FH=00　天井高さを示す

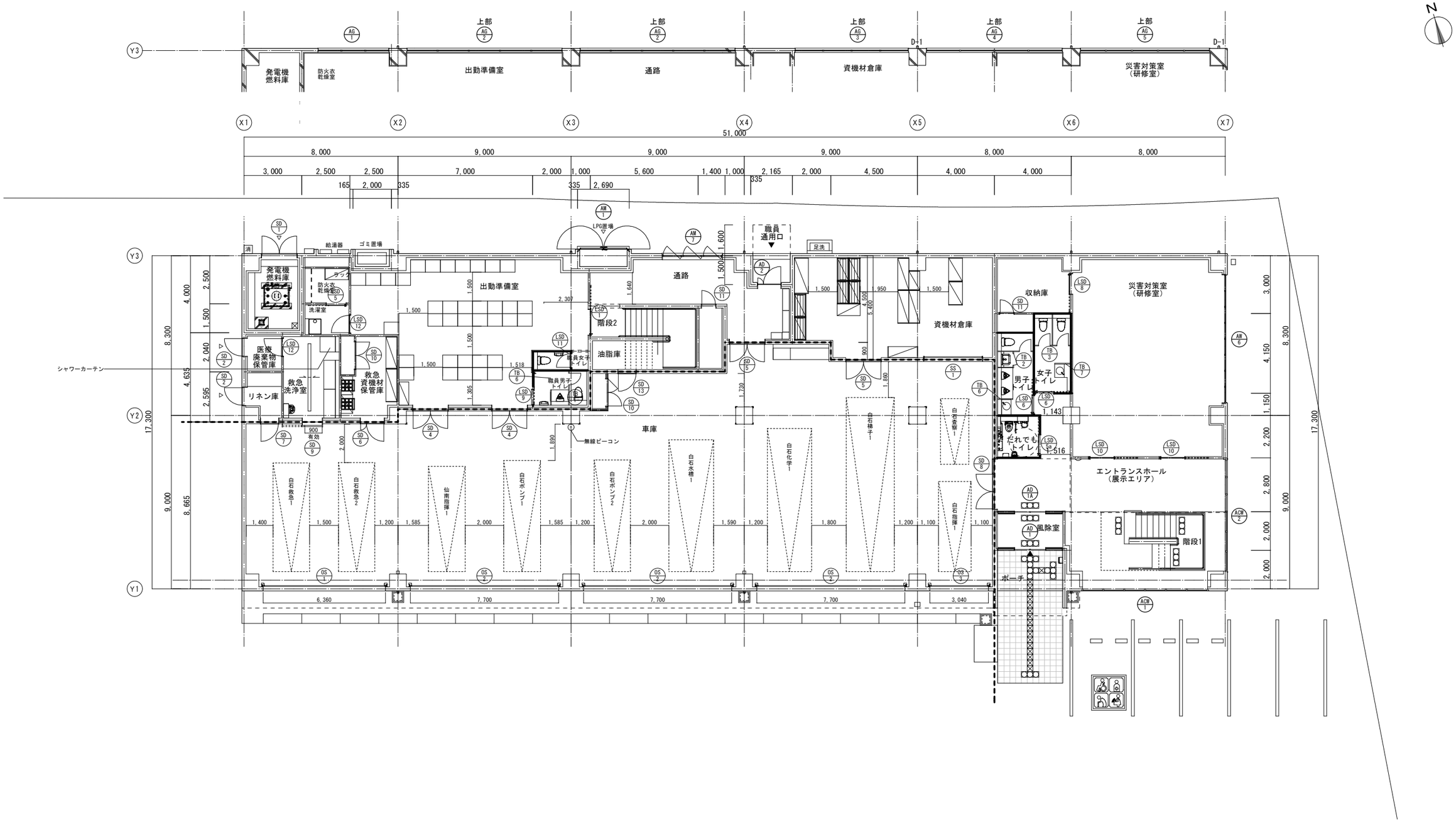
A	ケイカル板ｔ6+EP-G	I	コンクリート打放し仕上B種+外装薄塗材E　誘発目地
B	GB-Rt9.5+DRｔ9.0	J	ケイカル板ｔ8（目透し）+外装薄塗材E
C	GB-Dt9.5	K	コンクリート打放し仕上A種+ 超耐久・水性ふっ素樹脂塗装
D	バスパネルｔ9		天井裏グラスウールｔ100敷き込み範囲
E	ケイカル板ｔ8+EP-G	△	天井点検口　450角
F	コンクリート打放補修	カ	カーテンボックス　集成材t20+EP-G　W120ｘH100
G	コンクリート打放補修+EP-G	ブ	ブラインドボックス　集成材t20+EP-G　W150ｘH150
H	GB-Rt9.5+ビニルクロス	ロ	電動ロールスクリーンボックス　アルミ製　W230ｘH200

JOBNO

白石消防署庁舎建替工事　【庁舎棟】2階天井伏図　A-49

DATE　SCAL (A 1) 1／100 (A 3) 1／200　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士　第 357230 号　永野ますみ



1階建具キープラン　1/100

- - -　異種用途区画

1階ロールスクリーン・ブラインド・カーテン

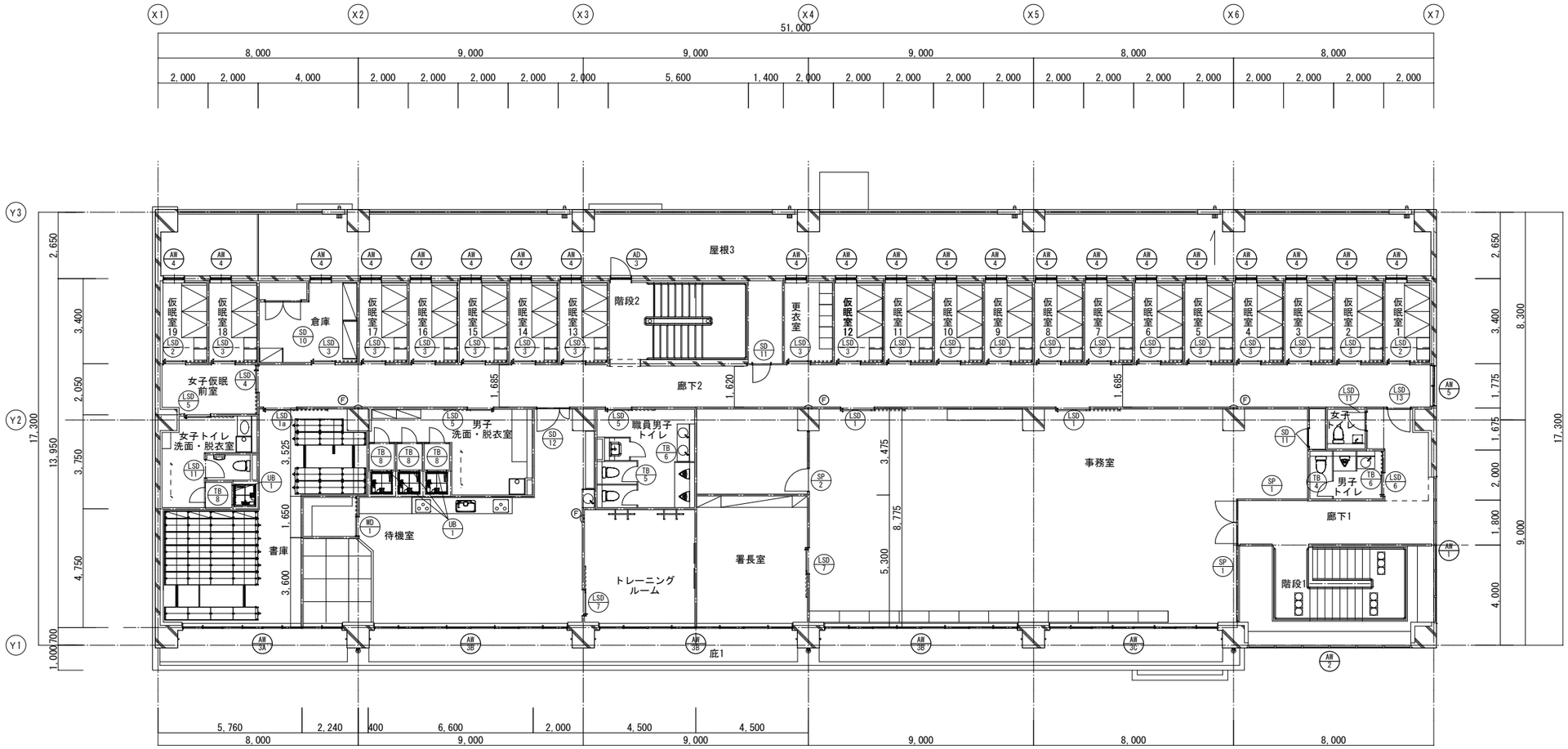
建具符号	数	室名	開口寸法 WxH	操作方法	（参考）品番
AW6	1	研修室	6640x2675	バトンタイプ 2分割	バーチカルブラインド トーソー　デュアルツイン ルノ プレーン　防炎　同等品
ACW1	1	ｴﾝﾄﾗﾝｽﾎｰﾙ/階段	5785x4690	電動 2分割/3分割	ロールスクリーン トーソー　フォルテAT65-E コンプレ05　防炎　同等品
ACW2	1	階段	6505x4690		
－	1	救急洗浄室	1600x2000	手動	カーテン・カーテンリング共 サンゲツ　イーリー 防炎　防カビ加工　同等品

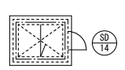
JOBNO

白石消防署庁舎建替工事　【庁舎様】1階建具キープラン → A-50

DATE　SCAL (A 1) 1／100 (A 3) 1／200　DRAWN　CHEK

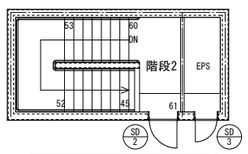
株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士　第 357230 号　永野ますみ





6ヶ所

R階ハト小屋　1/200



R階平面図　1/200

2階建具キープラン　1/100

2階ロールスクリーン・ブラインド・カーテン

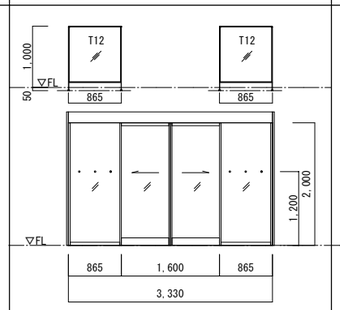
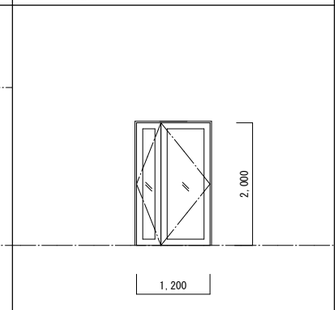
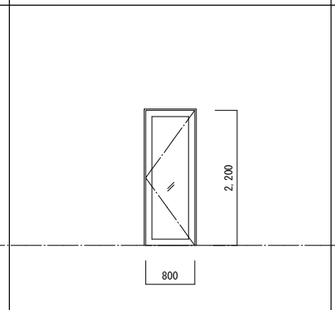
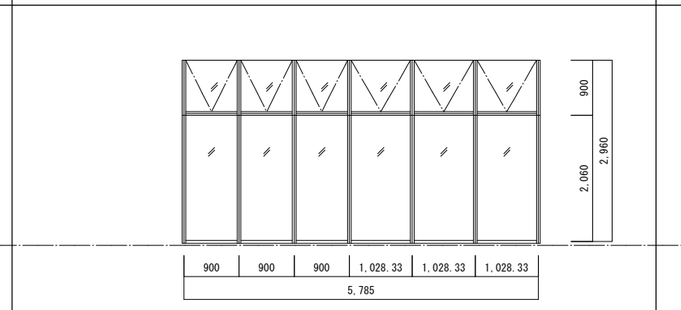
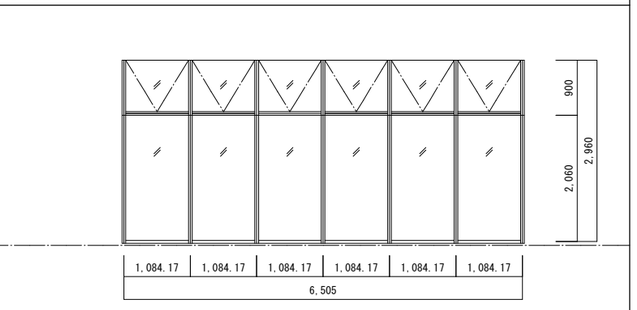
建具符号	数	室名	開口寸法 WxH	操作方法	（参考）品番
AW4	19	仮眠室1～19	800x1300	手動	カーテン　ふさ掛け共 サンゲツ　コントラクト ジャマイカⅡ　防炎　同等品
	1	更衣室	800x1300		
AW3A	1	書庫	4700x1900	ポール式	ブラインド トーソー　ベネアル25　防炎　同等品
AW3A	1	待機室小上り	1540x1900		
AW3B	1	待機室	7700x1900		
AW3B	1	ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞﾙｰﾑ	3800x1900		
AW3B	1	署長室	3800x1900		
AW3B	1	事務室	7700x1900		
AW3C	1	事務室	6700x1900		
SP2	1	会議室	2500x2100	手動	ロールスクリーン トーソー　ルノブレーン　防炎　同等品
AW1	1	廊下1/階段	5785x2960	電動 2分割/3分割	ロールスクリーン トーソー　フォルテAT65-E コンプレ05　防炎　同等品
AW2	1	階段	6505x2960		

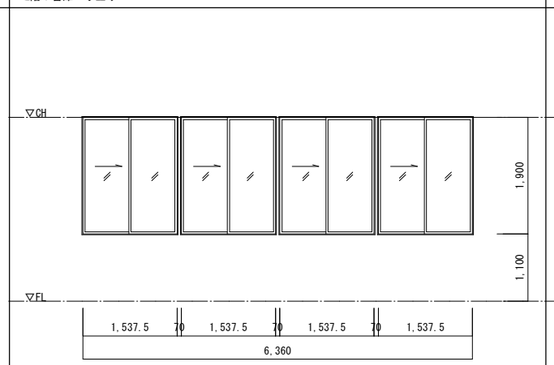
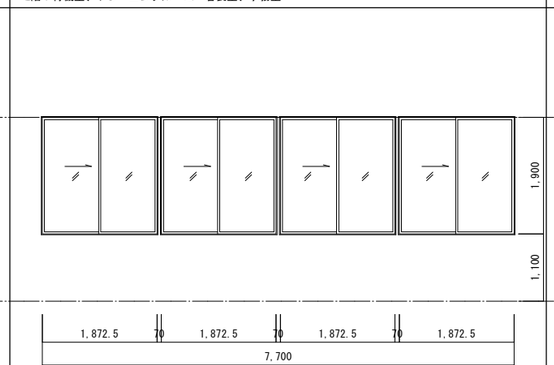
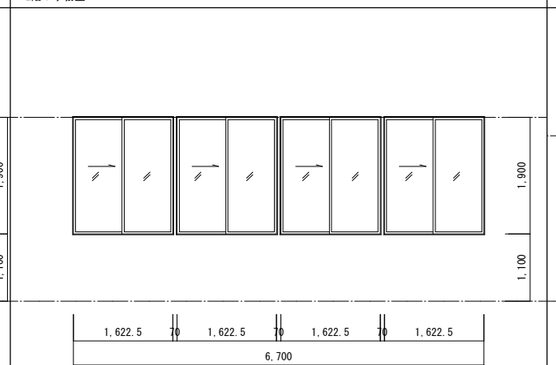
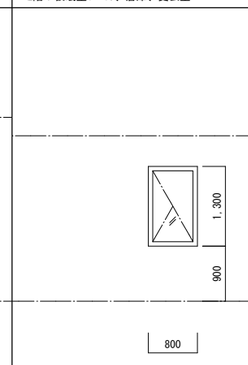
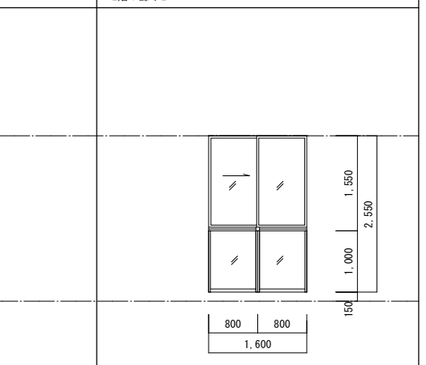
JOBNO

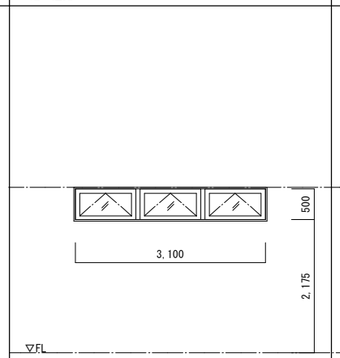
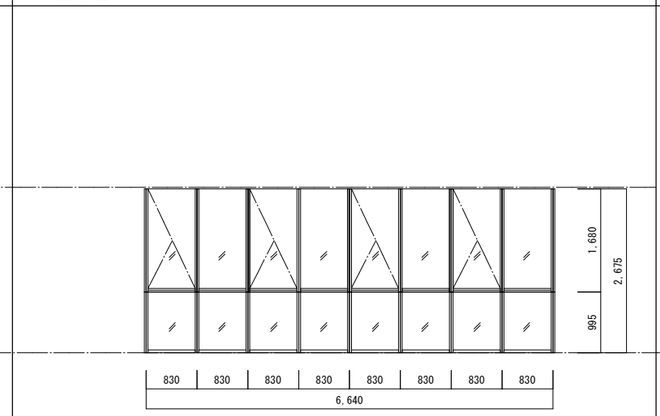
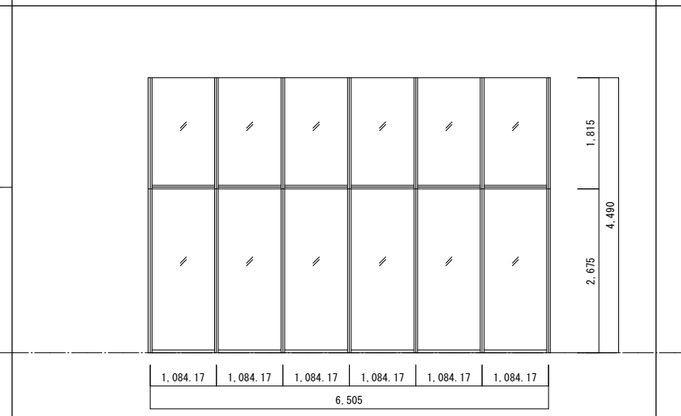
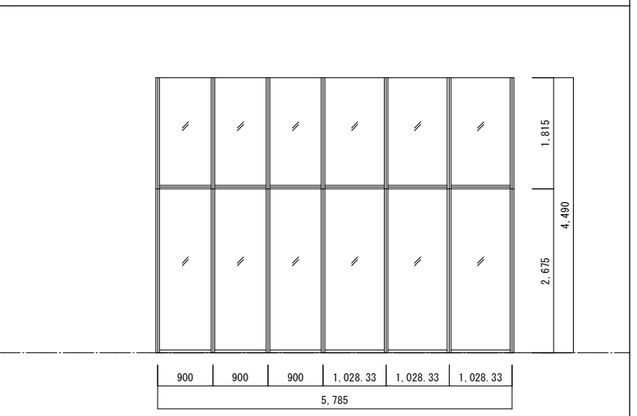
白石消防署庁舎建替工事　【庁舎棟】2階建具キープラン　A-51

DATE　SCAL (A 1) 1／100 (A 3) 1／200　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士　第 357230 号　永野ますみ

符号	個数	AD 1 / AD 1a	AD 2	AD 3	AW 1	AW 2
		2	1	1	1	1
取付場所		1階：風除室	1階：職員通用口	2階：階段2	2階：階段1	2階：階段1
姿図						
種別 見込(建具・枠)		アルミ製引き分け自動ドア 100	アルミ製親子開きドア 70	アルミ製片引きドア 70	アルミ製外倒し窓+FIX 100	アルミ製外倒し窓+FIX 100
仕上（建具・枠）		アルミ電解二次着色	アルミ電解二次着色	アルミ電解二次着色	アルミ電解二次着色	アルミ電解二次着色
ガラス		T8	T8	FL6+A12+LowE6 （日射取得型）	FL6+A12+LowE6 （日射遮蔽型）	FL6+A12+LowE6 （日射遮蔽型）
金物		シリンダー錠 自動ドア装置一式、付属金物一式	レバーハンドル、シリンダー錠、フランス落とし、戸当り ドアチェック、額縁（出幅135）、付属金物一式	レバーハンドル、シリンダー錠、戸当り ドアチェック、額縁（出幅135）、付属金物一式	付属金物一式 オペレーター、ブラインドボックス	付属金物一式 オペレーター、ブラインドボックス
備考		衝突防止マーク、防護柵（埋込み）、停電時自動解錠	電気錠		※LIXIL E-SHAPE CW、YKKAP SYSTEMA31、三協アルミ ARM-S、不二サッシ ComfortN 同等品	※LIXIL E-SHAPE CW、YKKAP SYSTEMA31、三協アルミ ARM-S、不二サッシ ComfortN 同等品

符号	個数	AW 3A	AW 3B	AW 3C	AW 4	AW 5
		1	3	1	21	1
取付場所		2階：書庫～小上り	2階：待機室、トレーニングルーム～署長室、事務室	2階：事務室	2階：仮眠室1～19、倉庫、更衣室	2階：廊下2
姿図						
種別 見込(建具・枠)		4連アルミ樹脂複合製片引き窓（外動） 100	4連アルミ樹脂複合製片引き窓（外動） 100	4連アルミ樹脂複合製片引き窓（外動） 100	アルミ樹脂複合製たてすべり出し窓 100	アルミ製片引き窓（外動）+FIX 70
仕上（建具・枠）		アルミ電解二次着色	アルミ電解二次着色	アルミ電解二次着色	アルミ電解二次着色	アルミ電解二次着色
ガラス		FL6+A12+LowE6 （日射取得型）	FL6+A12+LowE6 （日射取得型）	FL6+A12+LowE6 （日射取得型）	PW6.8+A12+LowE6 （日射取得型）	FL6+A12+LowE6 （日射遮蔽型）
金物		アングル、水切、付属金物一式 アコーディオン網戸	アングル、水切、付属金物一式 アコーディオン網戸	アングル、水切、付属金物一式 アコーディオン網戸	アングル、水切、付属金物一式 アコーディオン網戸	アングル、水切、付属金物一式 アコーディオン網戸
備考		ブラインドボックス、木製額縁	ブラインドボックス、木製額縁	ブラインドボックス、木製額縁	カーテンボックス、木製額縁	木製額縁

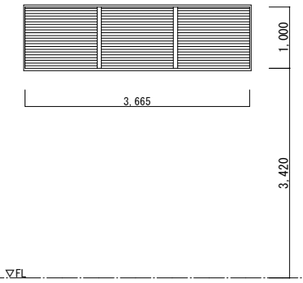
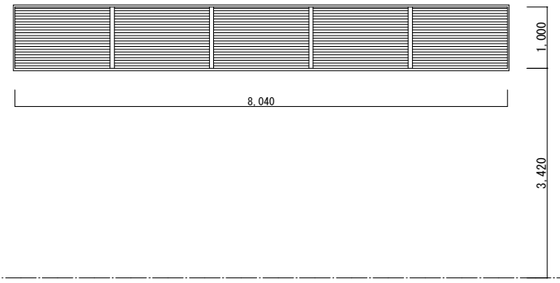
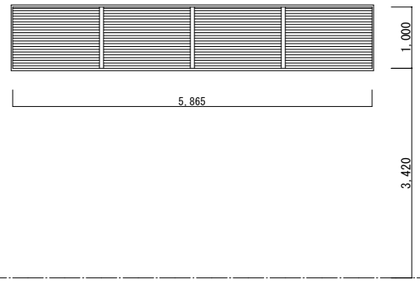
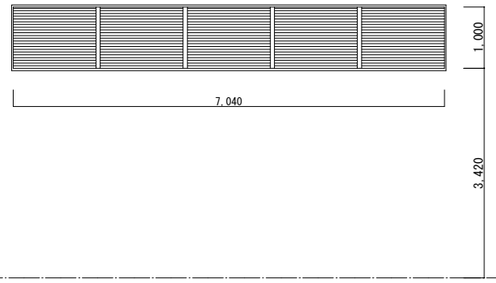
符号	個数	AW 7	AW 6	ACW 1	ACW 2
		1	1	1	1
取付場所		1階：通路	1階：災害対策室	1階：エントランスホール	1階：エントランスホール
姿図					
種別 見込(建具・枠)		突出し窓 70	アルミ製たてすべり出し窓+FIX 70	アルミ製カーテンウォール 100	アルミ製カーテンウォール 100
仕上（建具・枠）		アルミ電解二次着色	アルミ電解二次着色	アルミ電解二次着色	アルミ電解二次着色
ガラス		FL6+A12+LowE6 （日射取得型）	FL6+A12+LowE6 （日射遮蔽型）	FL6+A12+LowE6 （日射遮蔽型）	FL6+A12+LowE6 （日射遮蔽型）
金物		アングル、水切、オペレーター（埋込）、付属金物一式 額縁（出幅170）、固定網戸	アングル、水切、付属金物一式、アコーディオン網戸 ブラインドボックス、木製額縁	アングル、水切、付属金物一式 ブラインドボックス	アングル、水切、付属金物一式 ブラインドボックス
備考			※LIXIL E-SHAPE CW、YKKAP SYSTEMA31、三協アルミ ARM-S、不二サッシ ComfortN 同等品	※LIXIL E-SHAPE CW、YKKAP SYSTEMA31、三協アルミ ARM-S、不二サッシ ComfortN 同等品	※LIXIL E-SHAPE CW、YKKAP SYSTEMA31、三協アルミ ARM-S、不二サッシ ComfortN 同等品

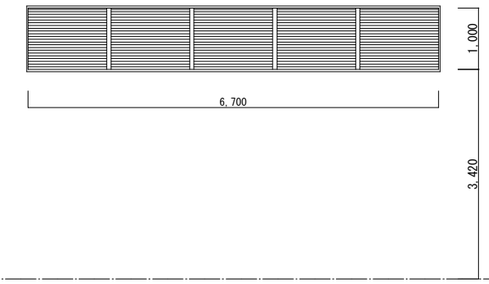
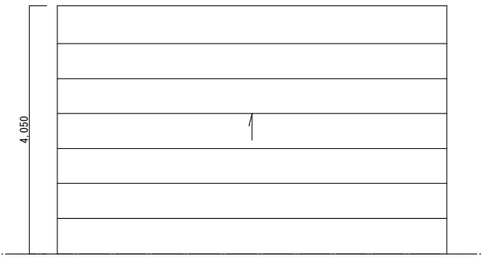
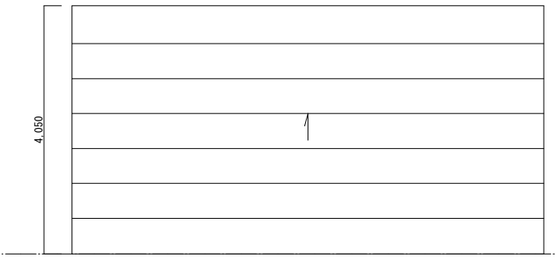
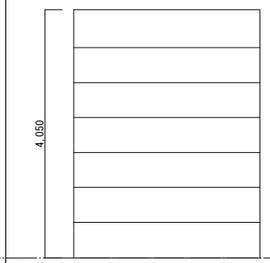
JOBNO

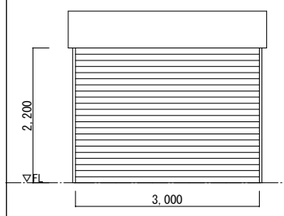
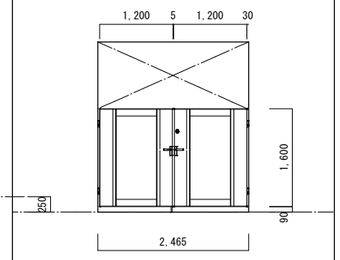
白石消防署庁舎建替工事　【庁舎棟】建具表1　A-52

DATE　SCAL (A 1) 1／50 (A 3) 1／100　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号 永野ますみ

符号	個数	AG 1	1	AG 2	2	AG 3	1	AG 4	1
取付場所		1階：防火衣乾燥室		1階：出勤準備室、通路		1階：資機材倉庫		1階：資機材倉庫	
姿　図									
種別	見込(建具・枠)	アルミ製ガラリ		アルミ製ガラリ		アルミ製ガラリ		アルミ製ガラリ	
仕　上	(建具・枠)	アルミ		アルミ		アルミ		アルミ	
ガラス		–		–		–		–	
金　物		付属金物一式 ステンレス防鳥網（内部）		付属金物一式 ステンレス防鳥網（内部）		付属金物一式 ステンレス防鳥網（内部）		付属金物一式 ステンレス防鳥網（内部）	
備　考		開口率35%以上		開口率35%以上		開口率35%以上		開口率35%以上	

符号	個数	AG 5	1	OS 1	1	OS 2	3	OS 3	
取付場所		1階：災害対策室		1階：車庫		1階：車庫		1階：車庫	
姿　図									
種別	見込(建具・枠)	アルミ製ガラリ		オーバースライディングドア	–	オーバースライディングドア	–	オーバースライディングドア	–
仕　上	(建具・枠)	アルミ		FRP製		FRP製		FRP製	
ガラス		–		–		–		–	
金　物		付属金物一式 ステンレス防鳥網（内部）		トロリー式開閉装置、急降下防止装置、ステンレス製レール リモコン、水圧開放装置		トロリー式開閉装置、急降下防止装置、ステンレス製レール リモコン		トロリー式開閉装置、急降下防止装置、ステンレス製レール リモコン	
備　考		開口率35%以上		スタンダード型		スタンダード型		スタンダード型	

符号	個数	SS 1 特定防火設備（常閉）　告示1369号 告示2564号	1	AW 1	1
取付場所		1階：資機材倉庫		LPG置場	
姿　図					
種別	見込(建具・枠)	電動重量シャッター	140	アルミ製両開きドア	33
仕　上	(建具・枠)	塗装溶融亜鉛めっき鋼板 t1.6		アルミ電解二次着色	
ガラス		ー		–	
金　物		ガイドレール、ステンレス座板、シャッターケース 三方枠		落し棒、ｼﾘﾝﾀﾞｰ本締錠、レバーハンドル 付属金物一式	
備　考					

（特記なき限り下記による）

・シリンダー本締り錠はディンプルピンシリンダーとする
・すべての室の出入口建具は鍵付とする
・特記なき限り、木製額縁の塗装仕上げは壁仕上げの塗装に準ずる
・引戸には指詰め防止対策を行うこと
・建具寸法は、内法寸法を示す。
・オペレーターは隠蔽型ワンタッチ式とし、位置は床面より800mm以上1500mm以下とする。
・衝突防止マークは、40φカッティングシート貼りとする。

（ガラス凡例）

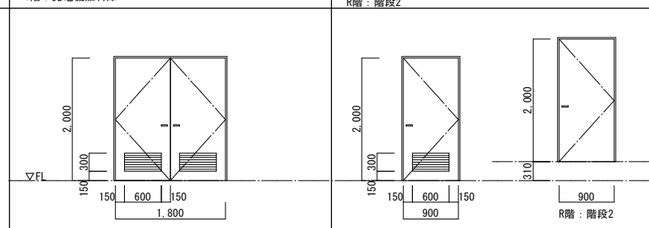
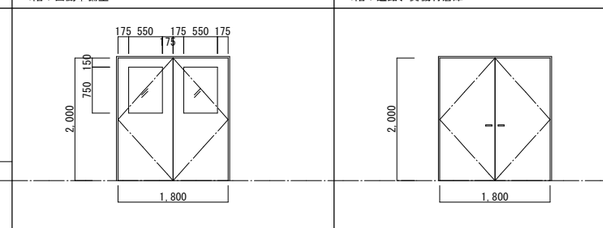
Low-E：LowEガラス
A：中空層
FL：フロート板ガラス
T：強化ガラス
F：型板ガラス
PG：網入磨板ガラス
PW：網入型板ガラス

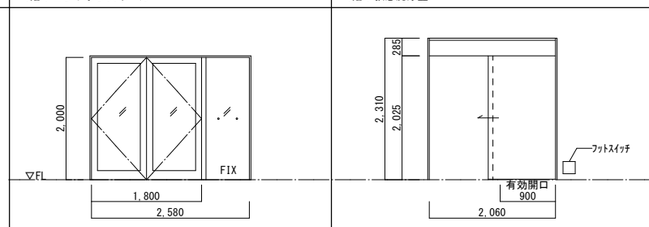
JOBNO

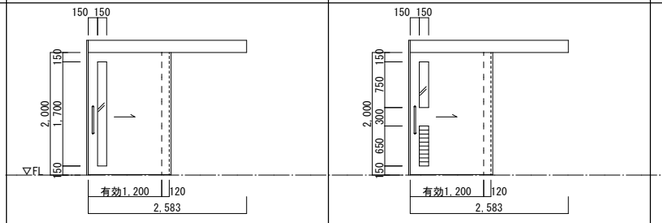
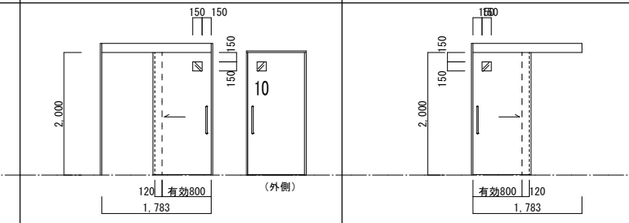
白石消防署庁舎建替工事　【庁舎棟】建具表2　A-53

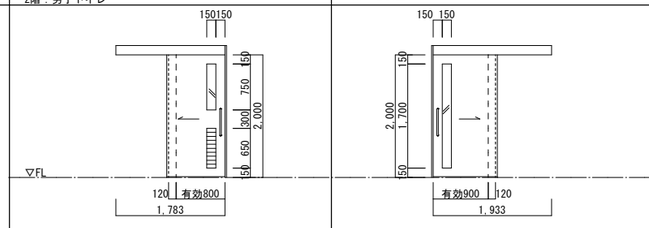
DATE　SCAL (A 1) 1／50 (A 3) 1／100　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号 永野ますみ

符号	個数	SD 1 特定防火設備（常閉） 告示1369号 告示2564号	1	SD 2	3	SD 3	1	SD 4 特定防火設備（常閉） 告示1369号 告示2564号	2	SD 5 特定防火設備（常閉） 告示1369号 告示2564号	2	SD 6 特定防火設備（常閉） 告示1369号 告示2564号	1	SD 7 特定防火設備（常閉） 告示1369号 告示2564号	1
取付場所		1階：発電機燃料庫		1階：医療廃棄物保管庫、リネン庫 R階：階段2		R階：EPS		1階：出勤準備室		1階：通路、資機材倉庫		1階：救急資機材保管庫		1階：リネン庫	
姿図															
種別	見込(扉・枠)	鋼製両開きフラッシュドア（SAT）	40/240	鋼製片開きフラッシュドア（SAT）	40/300	鋼製片開きフラッシュドア（SAT）	40/230	鋼製両開きフラッシュドア	45/320	鋼製両開きフラッシュドア	40/280・100	鋼製親子開きフラッシュドア	40/320	鋼製片開きフラッシュドア	40/320
仕上（扉・枠）		DP		DP		DP		アクリル樹脂焼付塗装/SOP		アクリル樹脂焼付塗装/SOP		アクリル樹脂焼付塗装/SOP		アクリル樹脂焼付塗装/SOP	
ガラス		—		—		—		耐熱強化ガラス t 8		—		—		—	
金物		レバーハンドル、シリンダー錠、戸当り、ドアチェック 水切り、フランス落し、付属金物一式		レバーハンドル、シリンダー錠、戸当り、ドアチェック 水切り、付属金物一式		レバーハンドル、シリンダー錠、戸当り、ドアチェック 水切り、付属金物一式		パニックハンドル、シリンダー錠、戸当り、順位開閉装置 ドアチェック(ストッパー無)、フランス落し、付属金物一式		レバーハンドル、シリンダー錠、戸当り、順位開閉装置 ドアチェック(ストッパー無)、フランス落し、付属金物一式		レバーハンドル、シリンダー錠、戸当り、順位開閉装置 ドアチェック(ストッパー無)、フランス落し、付属金物一式		レバーハンドル、シリンダー錠、戸当り ドアチェック（ストッパー無）、付属金物一式	
備考		スチールガラリ		スチールガラリ(医療廃棄物保管庫、リネン庫)											

符号	個数	SD 8 特定防火設備（常閉） EA-0500、CAS-1173 EA-0492	1	SD 9 特定防火設備（常閉） 告示1369号 告示2564号	1	SD 10	3	SD 11	4	SD 12	1	SD 13 特定防火設備（常閉） 告示1369号 告示2564号	1	SD 14	6
取付場所		1階：エントランスホール		1階：救急洗浄室		1・2階：PS		1・2階：PS、EPS		2階：待機室		1階：油脂庫		R階：ハト小屋	
姿図															
種別	見込(扉・枠)	FIX付き鋼製両開きドア	45/280	鋼製片引き自動ドア	40/320	鋼製両開きフラッシュドア	40/100	鋼製片開き片面フラッシュドア	40/100	鋼製親子開きドア	40/300	鋼製片開きフラッシュドア	40/100	鋼製片面片開きフラッシュドア	40/70
仕上（扉・枠）		アクリル樹脂焼付塗装/SOP		アクリル樹脂焼付塗装/SOP		アクリル樹脂焼付塗装/SOP		アクリル樹脂焼付塗装/SOP		アクリル樹脂焼付塗装/SOP		アクリル樹脂焼付塗装/SOP		アクリル樹脂焼付塗装/DP	
ガラス		耐熱強化ガラス t 8		—		—		—		T5		—		—	
金物		レバーハンドル、シリンダー錠、戸当り、順位開閉装置 ドアチェック(ストッパー無)、フランス落し、付属金物一式		引手、シリンダー錠 自動ドア装置一式、付属金物一式		ケースハンドル、シリンダー錠 ドアチェック、フランス落し、付属金物一式		ケースハンドル、シリンダー錠 ドアチェック、付属金物一式		レバーハンドル、シリンダー錠、戸当り ドアチェック、フランス落し、付属金物一式		レバーハンドル、シリンダー錠、戸当り ドアチェック（ストッパー無）、付属金物一式		ケースハンドル、シリンダー錠 付属金物一式	
備考		衝突防止マーク										スチールガラリ			

符号	個数	LSD 1	3	LSD 1a	1	LSD 2	2	LSD 3	19	LSD 4	1	LSD 5	4	LSD 5a	1
取付場所		1階：階段2　2階：事務室		2階：書庫		2階：仮眠室1、19		2階：仮眠室2～18、更衣室、倉庫		2階：女子仮眠室前室		1階：洗濯室 2階：男子洗面脱衣室、職員男子トイレ、女子洗面脱衣室		1階：だれでもトイレ	
姿図															
種別	見込(扉・枠)	軽量鋼製片引きドア	36/160	軽量鋼製片引きドア	36/160	軽量鋼製片引きドア	36/160	軽量鋼製片引きドア	36/160	軽量鋼製片引きドア	36/160	軽量鋼製片引きドア	36/160	軽量鋼製片引きドア	36/160
仕上（扉・枠）		アクリル樹脂焼付塗装/SOP		アクリル樹脂焼付塗装/SOP		アクリル樹脂焼付塗装/SOP		アクリル樹脂焼付塗装/SOP		アクリル樹脂焼付塗装/SOP		アクリル樹脂焼付塗装/SOP		アクリル樹脂焼付塗装/SOP	
ガラス		T5		T5		F4		F4		F4		F4		F4	
金物		SUS製引棒（HL）、シリンダー錠、ハンガーレール 付属金物一式		SUS製引棒、シリンダー錠、ハンガーレール 付属金物一式		SUS製引棒、シリンダー錠、ハンガーレール 付属金物一式		SUS製引棒、シリンダー錠、ハンガーレール 付属金物一式		SUS製引棒、ハンガーレール 付属金物一式		SUS製引棒、シリンダー錠、ハンガーレール 付属金物一式		SUS製引棒、表示錠、ハンガーレール 付属金物一式	
備考		スチール小窓		スチール小窓・ガラリ		内側サムターンなし　スチール小窓		内側サムターンなし　スチール小窓		電気錠　スチール小窓		スチール小窓・ガラリ　内側サムターンなし		スチール小窓・ガラリ	

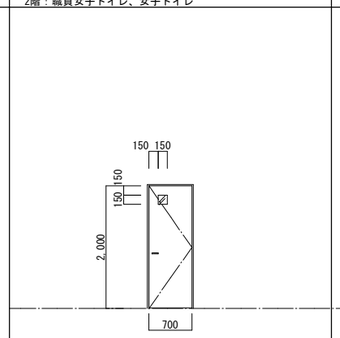
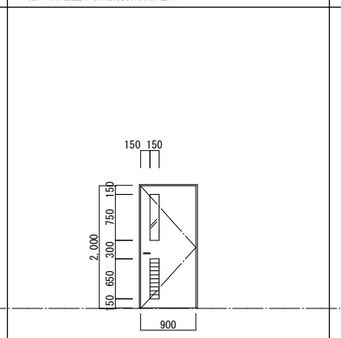
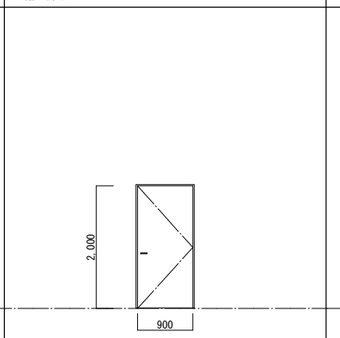
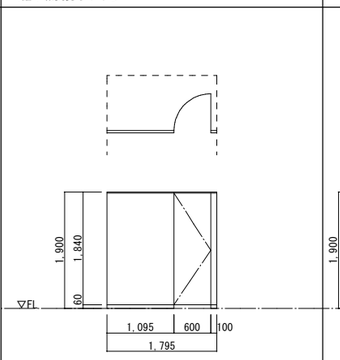
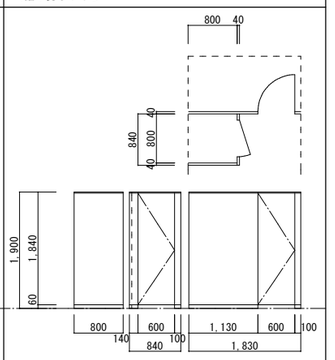
符号	個数	LSD 6	3	LSD 7	2	LSD 8	1	LSD 9	1	LSD 10	2				
取付場所		1階：男子トイレ、女子トイレ 2階：男子トイレ		2階：署長室、トレーニングルーム		1階：収納庫		1階：職員男子トイレ		1階：災害対策室					
姿図															
		軽量鋼製片引きドア	36/160	軽量鋼製片引きドア	36/160	軽量鋼製片引きドア	36/160	軽量鋼製片引きドア	36/160	軽量鋼製引込みドア	36/160				
		アクリル樹脂焼付塗装/SOP		アクリル樹脂焼付塗装/SOP		アクリル樹脂焼付塗装/SOP		アクリル樹脂焼付塗装/SOP		アクリル樹脂焼付塗装/SOP					
		F4		T5		F4		F4		T5					
		SUS製引棒、シリンダー錠、ハンガーレール 付属金物一式		SUS製引棒、シリンダー錠、ハンガーレール 付属金物一式		SUS製引棒、シリンダー錠、ハンガーレール 付属金物一式		SUS製引棒、シリンダー錠、ハンガーレール 付属金物一式		SUS製引棒、シリンダー錠、ハンガーレール 付属金物一式					
		スチール小窓・ガラリ　内側サムターンなし		スチール小窓		スチール小窓・ガラリ　内側サムターンなし		スチール小窓・ガラリ　内側サムターンなし		スチール小窓					

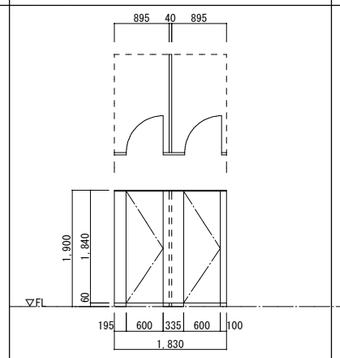
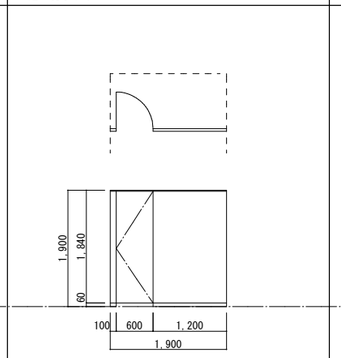
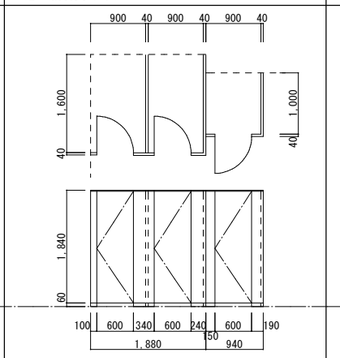
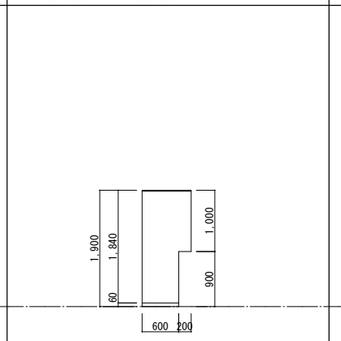
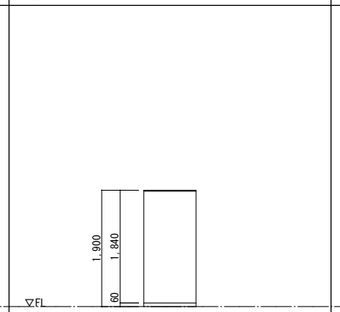
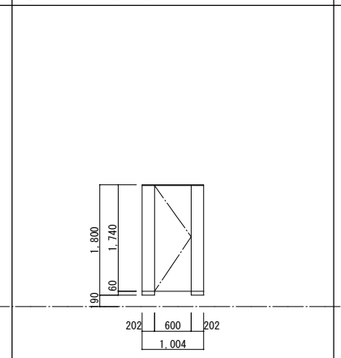
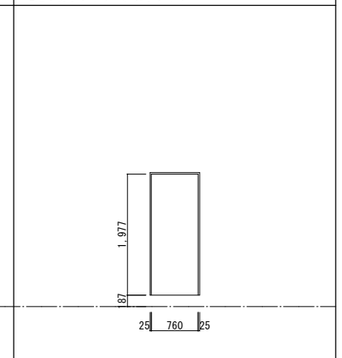
JOBNO

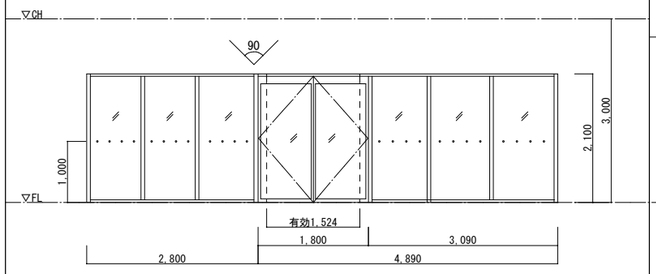
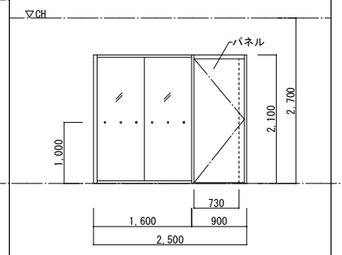
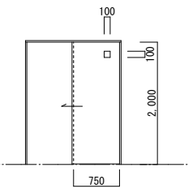
白石消防署庁舎建替工事　【庁舎棟】建具表3　A-54

DATE　SCAL (A 1) 1／50 (A 3) 1／100　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号 永野ますみ

符号	個数	LSD 11	LSD 12	LSD 13			TB 1	TB 2
		3	2	1			1	1
取付場所		1階：職員女子トイレ 2階：職員女子トイレ、女子トイレ	1階：洗濯室、医療廃棄物保管庫	2階：廊下1			1階：職員男子トイレ	1階：男子トイレ
姿　図								
種別	見込(扉・枠)	軽量鋼製片開きフラッシュドア 36/300	軽量鋼製片開きフラッシュドア 40/300	軽量鋼製片開きフラッシュドア 40/300			トイレブース 40	トイレブース 40
仕　上	(扉・枠)	アクリル樹脂焼付塗装/SOP	アクリル樹脂焼付塗装/SOP	アクリル樹脂焼付塗装/SOP			メラミン化粧板	メラミン化粧板
ガラス		F4	T5	―			―	―
金　物		レバーハンドル、表示錠、戸当り ドアチェック、付属金物一式	レバーハンドル、シリンダー錠、戸当り ドアチェック、付属金物一式	レバーハンドル、シリンダー錠、戸当り ドアチェック、付属金物一式			アルミ製枠・頭ツナギ、SUS製巾木、ｸﾞﾚﾋﾞﾃｨｴﾝｼﾞ、戸当り、 付属金物一式	アルミ製枠・頭ツナギ、SUS製巾木、ｸﾞﾚﾋﾞﾃｨｴﾝｼﾞ、戸当り、 付属金物一式
備　考		スチール小窓	スチールガラリ	電気錠　　サムターンなし			非常時解錠外開き装置（表示付）	非常時解錠外開き装置（表示付）

符号	個数	TB 3	TB 4	TB 5	TB 6	TB 7	TB 8	UB 1
		1	1	1	4	1	4	4
取付場所		1階：女子トイレ	2階：男子トイレ	2階：職員男子トイレ	1・2階：男子トイレ、職員男子トイレ	1階：女子トイレ	2階：男子脱衣、女子脱衣	2階：男子シャワー、女子シャワー
姿　図								
種別	見込(扉・枠)	トイレブース 40	トイレブース 40	トイレブース 40	トイレブース 40	トイレブース 40	トイレブース 40	樹脂開口枠（3方） /70
仕　上	(扉・枠)	メラミン化粧板	メラミン化粧板	メラミン化粧板	メラミン化粧板	メラミン化粧板	メラミン化粧板	樹脂
ガラス		―	―	―	―	―	―	―
金　物		アルミ製枠・頭ツナギ、SUS製巾木、ｸﾞﾚﾋﾞﾃｨｴﾝｼﾞ、戸当り、 付属金物一式	アルミ製枠・頭ツナギ、SUS製巾木、ｸﾞﾚﾋﾞﾃｨｴﾝｼﾞ、戸当り、 付属金物一式	アルミ製枠・頭ツナギ、SUS製巾木、ｸﾞﾚﾋﾞﾃｨｴﾝｼﾞ、戸当り、 付属金物一式	アルミ笠木、SUS製巾木	アルミ笠木、SUS製巾木	アルミ製枠・頭ツナギ、SUS製巾木、ｸﾞﾚﾋﾞﾃｨｴﾝｼﾞ、戸当り、 付属金物一式	
備　考		非常時解錠外開き装置（表示付）	非常時解錠外開き装置（表示付）	非常時解錠外開き装置（表示付）			非常時解錠外開き装置（表示付）	

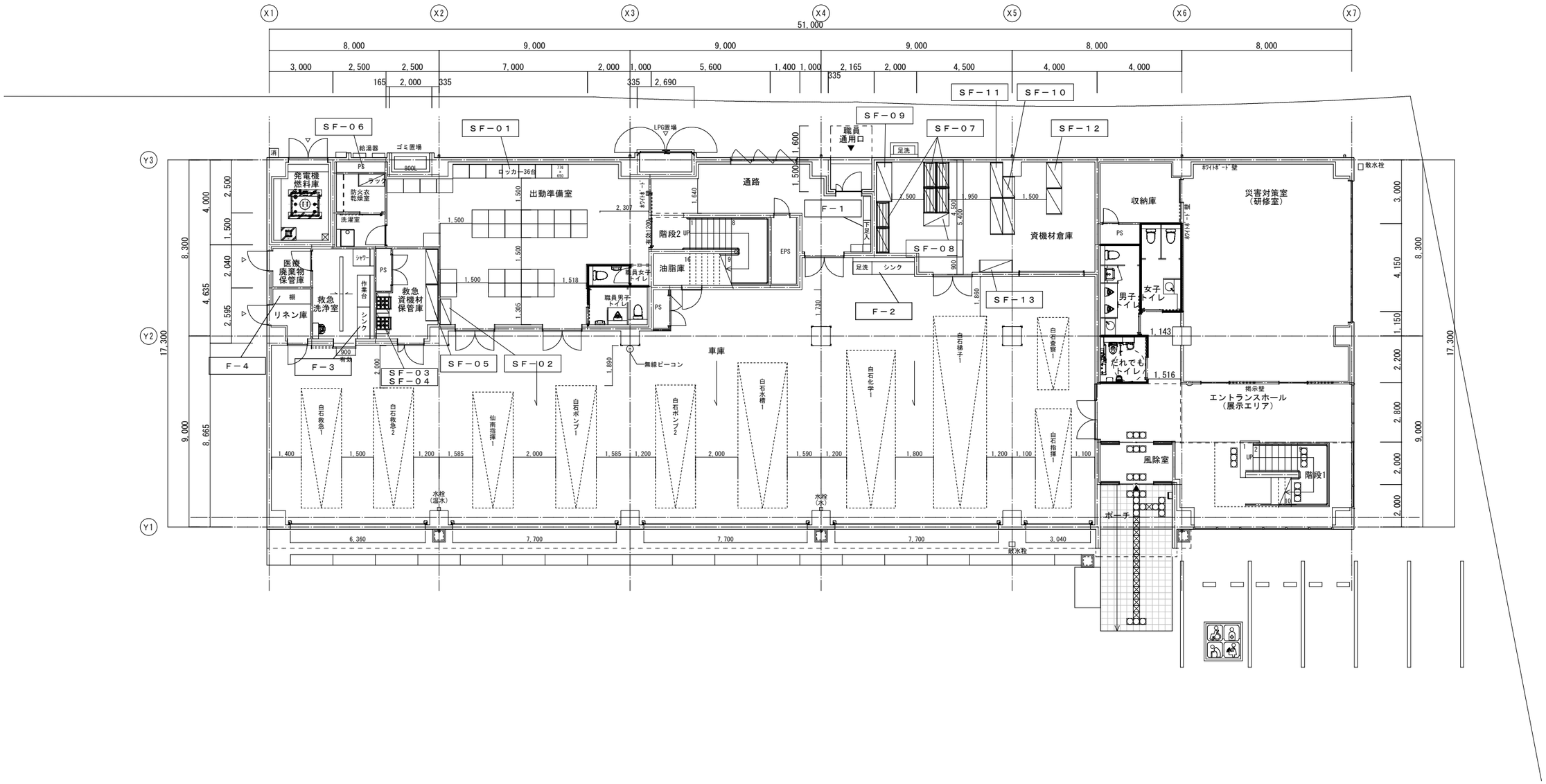
符号	個数	SP 1	SP 2		WD 1	
		1	1		1	
取付場所		2階：事務室	2階：会議室		2階：パントリー	
姿　図						（特記なき限り下記による） ・シリンダー本締り錠はディンプルピンシリンダーとする ・すべての室の出入口建具は鍵付とする ・特記なき限り、木製額縁の塗装仕上げは壁仕上げの塗装に準ずる ・引戸には指詰め防止対策を行うこと ・建具寸法は、内法寸法を示す。 ・オペレーターは隠蔽型ワンタッチ式とし、位置は床面より800mm以上1500mm以下とする。 ・衝突防止マークは、40φカッティングシート貼りとする。 （ガラス凡例） Low-E：LowEガラス A：中空層 FL：フロート板ガラス T：強化ガラス F：型板ガラス PG：網入磨板ガラス PW：網入型板ガラス
種別	見込(扉・枠)	鋼製パーティション　片開きドア付 66/70	鋼製パーティション　片開きドア付 50/70		木製片引き戸 30/160	
仕　上	(扉・枠)	樹脂焼付塗装	樹脂焼付塗装		メラミン化粧板/EP	
ガラス		強化ガラスｔ5　ダブル（ドア）、FLｔ10　ダブル（FIX）	強化ガラスｔ8（ドア）、FLｔ10　（FIX）		F4	
金　物		レバーハンドル、シリンダー錠、戸当り、 ドアチェック、付属金物一式	レバーハンドル、シリンダー錠、戸当り、 ドアチェック、付属金物一式		SUS製ﾚｰﾙ、戸車、戸当ゴム、堀込引手	
備　考		衝突防止サイン	衝突防止サイン			

JOBNO

白石消防署庁舎建替工事　　【庁舎棟】建具表4　A-55

DATE　SCAL (A 1) 1／50 (A 3) 1／100　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号　永野ますみ



1階家具キープラン　1/100

JOBNO

白石消防署庁舎建替工事

【庁舎棟】1階家具キープラン

A-56

DATE

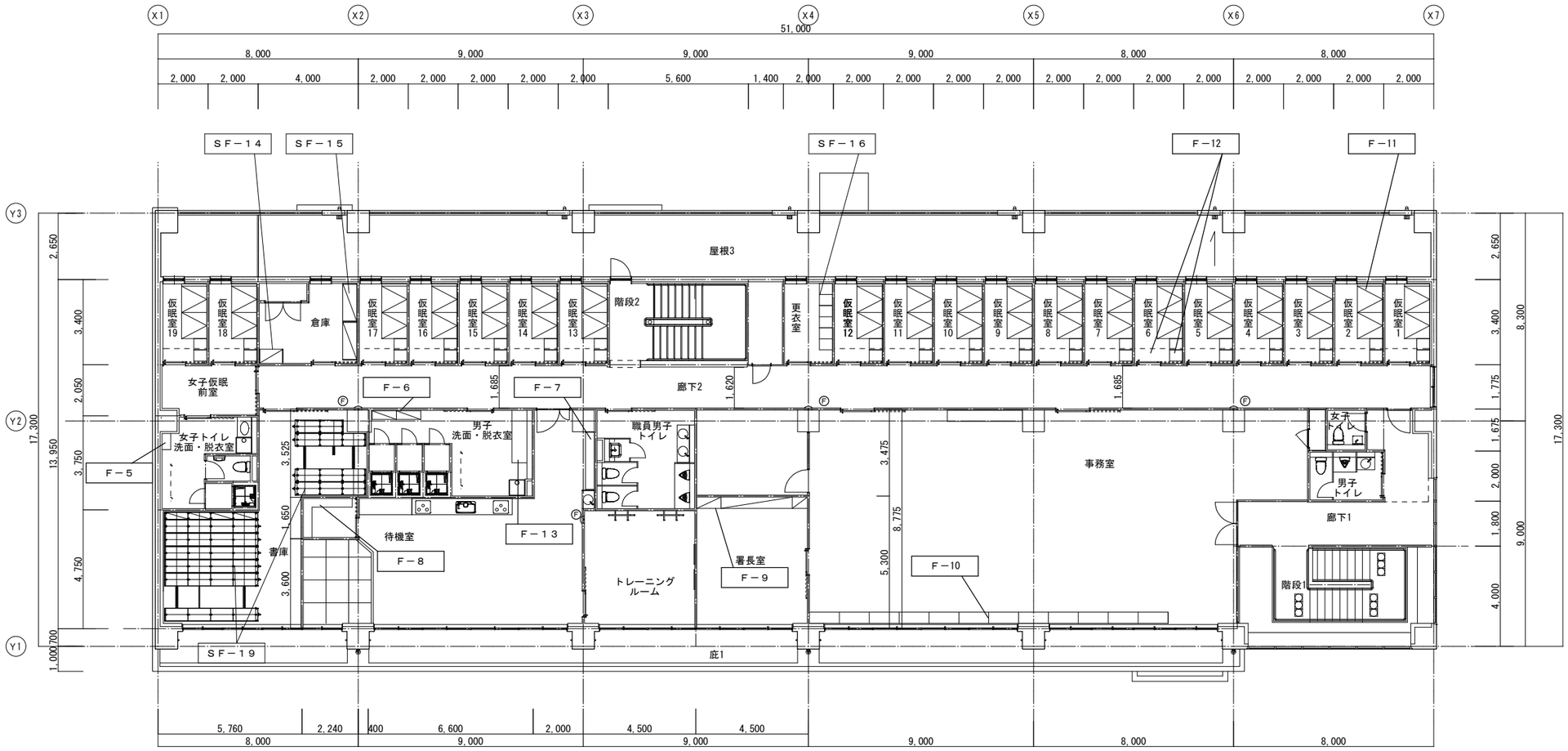
SCAL (A 1) 1／50 (A 3) 1／100

DRAWN

CHEK

株式会社 構 建築設計事務所

一級建築士　第 357230 号　永野ますみ



2階家具キープラン　1/100

JOBNO

白石消防署庁舎建替工事

【庁舎棟】2階家具キープラン

A-57

DATE　SCAL (A 1) 1／50 (A 3) 1／100　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所

一級建築士　第 357230 号　永野ますみ

家具共通仕様　「 図面中に特記なき所は下記の仕様とする。」

1 本体・棚板 室内ＶＯＣ（ ホルムアルデヒド等 ）の低減効果と抗菌機能を持った可視光増感型触媒を工業的に配合した
両面メラミン化粧パーティクルボード（ ユニボードピュアＨｉ ）厚さ２０mm、Ｆ☆☆☆☆を使用する。
上記材料は、ＪＩＳ－Ａ５９０８適合、１８タイプ（ 曲げ強さ１８Ｎ／平方ミリメートル以上 ）とし、
ＪＩＳマーク認定の国内工場での生産品、且つグリーン購入法適合品とする。

2 木口処理 躯体からの水分浸入を防ぐために、本体は背面も含めてフラットエッジ（ ＡＢＳ製樹脂をホットメルト練付 ）加工とする。
開き扉はセフティーエッジ（ ＡＢＳ製　厚さ３mm　ホットメルト練付 ）加工とする。

3 表面処理 本体・棚板・建具等は使用時の擦り傷の発生を抑制するために鉛筆硬度　９Ｈ　以上の表面材を使用する。
本体色については色見本帳（ ４５色以上 ）を提出の上決定する。

4 裏板 ポリエステル化粧合板　Ｆ☆☆☆☆　厚さ４mmを使用し、
片面フラッシュ（ ４５０mm　ピッチ以内に格子状桟組構造 ）とする。

5 本体組立て 組立ては、製作工場での木製ダボ組接合とし、接合部のノックダウン金物は使用不可とする。

6 巾木・台輪 ポリエステル化粧合板仕上げ　Ｆ☆☆☆☆（ 塗装不要 ）とする。

7 建具 板戸・戸枠は、くるいやホゾ抜け防止のため、かまち組み等は不可とし１枚物とする。
引違戸の鴨居側には耐震外れ止めスライドガイド、敷居側には上下調整戸車を使用する。
戸枠付きガラス戸は、安全性のため透明強化の刻印入り　厚さ４mmを使用し
メンテナンスが容易な樹脂成型（ ＡＢＳ製 ）の押縁で固定する。

8 把手・蝶番 樹脂成型品（ ＡＢＳ製 ）の把手・引手を使用する。
蝶番は、メンテナンスが容易なキャッチ機構付１１０゜開きゼンシスヒンジ（ ソフトクローズ機構付 ）を使用する。

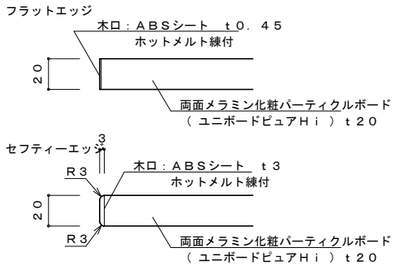
9 鴨居・敷居 メンテナンス性が容易な樹脂成型レール（ ＡＢＳ製 ）を埋め込んだ鴨居と面付けの敷居（ ＡＢＳ製 ）とする。

１０ 棚板受け 安全で外れにくいネジ込み式で、錆びにくいステンレス製ダボ　φ８－Ｍ６を使用する。
棚板は外れ止めシャクリ加工を施す。

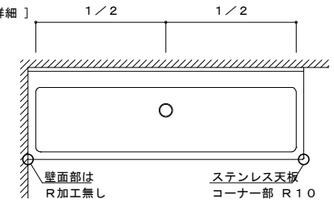
１１ 特記事項 環境配慮及び品質確保のため、取り扱いは ＩＳＯ １４００１、製作は ＩＳＯ ９００１ 取得企業とする。
製作にあたり、事前に製品の品質証明書及び材料と接着剤の安全データシートを提出し、素材・金物の承認を受ける。

１２ 施工 家具取付は、安全のため壁や床に耐震固定を施す。

［ 木口詳細 ］

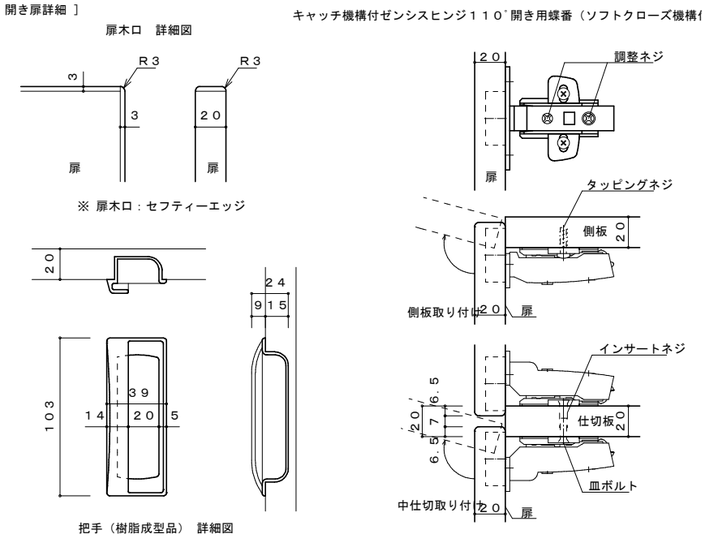


［ ステンレス納まり詳細 ］

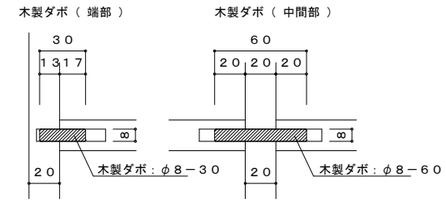


※ ステンレスシンクには結露防止処理を施す事とする。

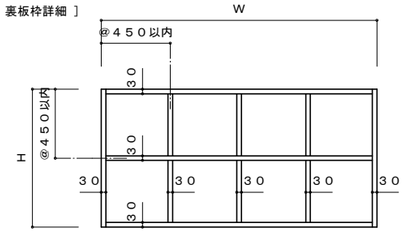
［ 開き扉詳細 ］



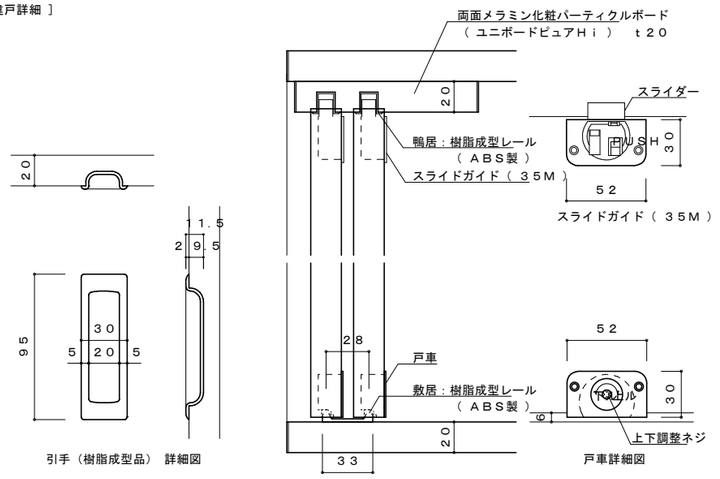
［ 接合部詳細 ］



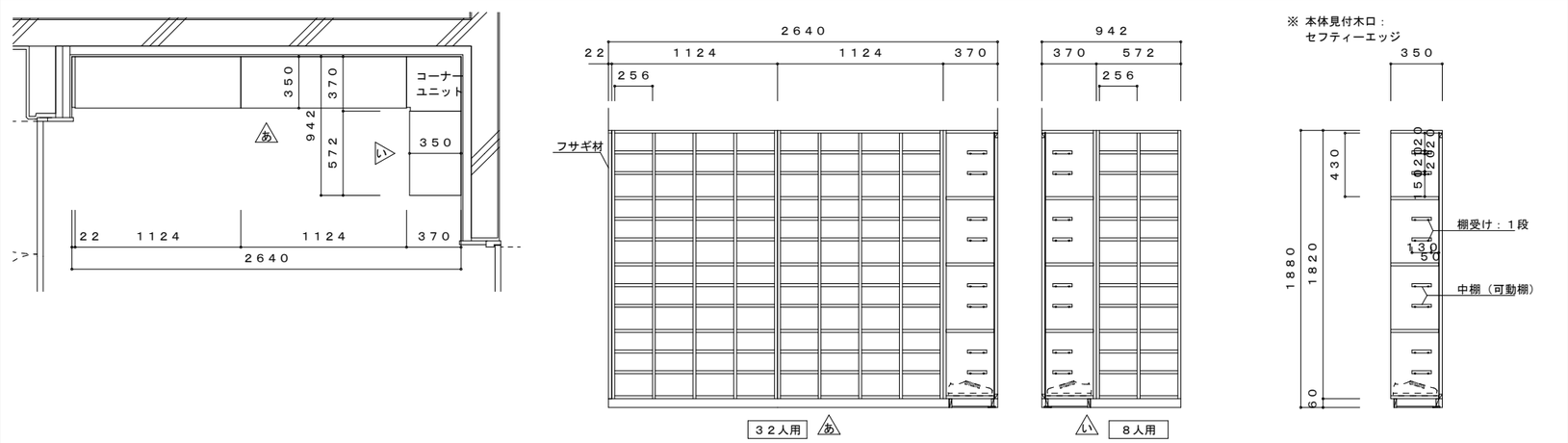
［ 裏板枠詳細 ］



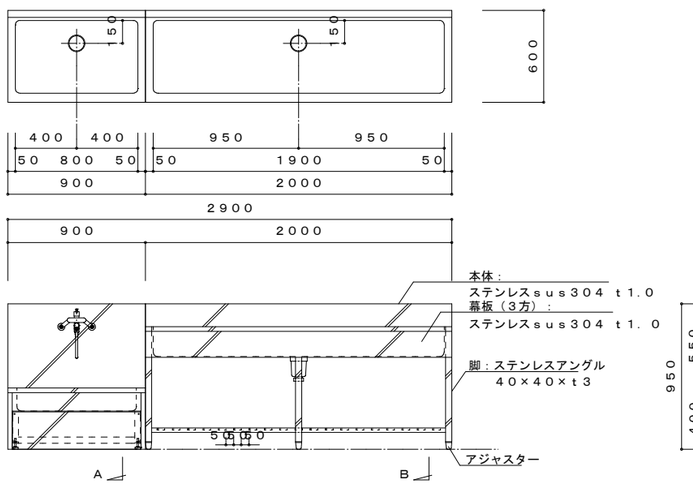
［ 引違戸詳細 ］

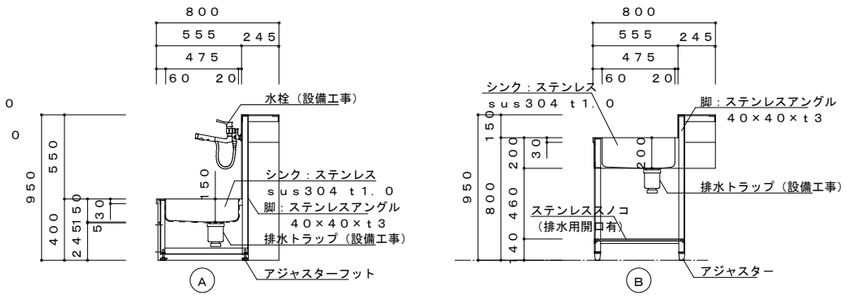


Ｆ－１	下足入	１Ｆ　職員通用口　　１ヶ所	１／２０

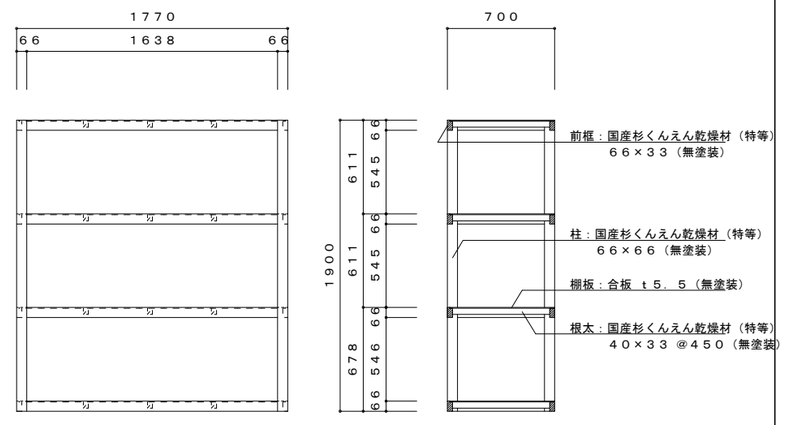


Ｆ－２	足洗・流し台	１Ｆ　車庫　　１ヶ所	１／２０





Ｆ－４	木製棚	１Ｆ　リネン庫　　１ヶ所	１／２０



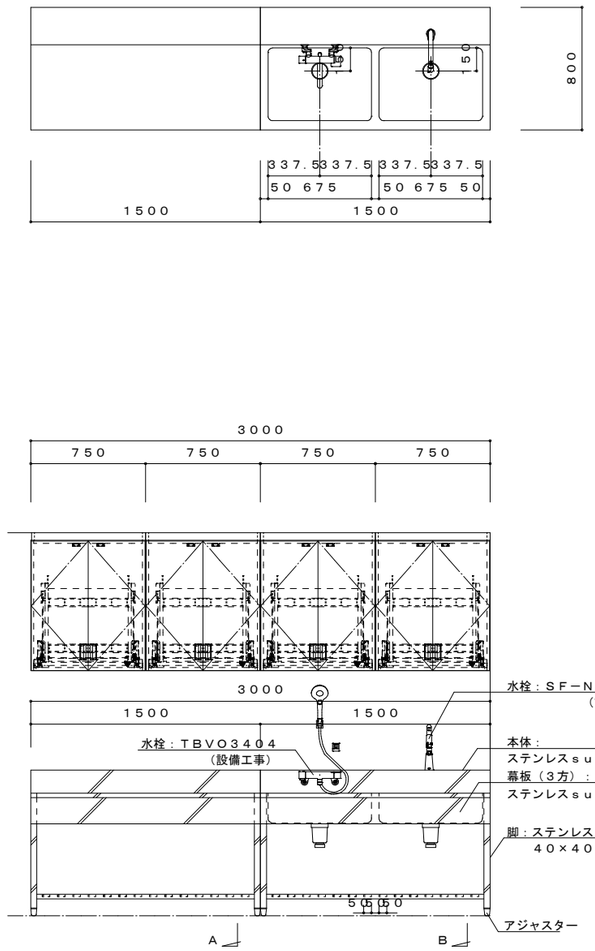
JOBNO

白石消防署庁舎建替工事　　【庁舎棟】木製家具図1　　A-58

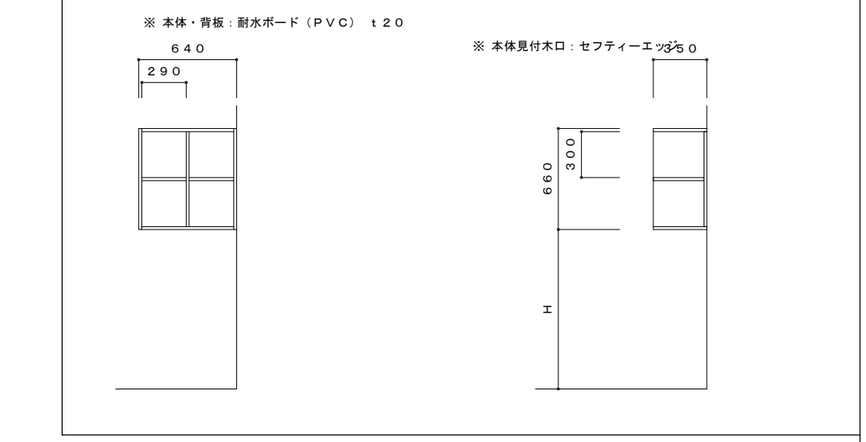
DATE　SCAL (A 1) 1／ 20 (A 3) 1／ 40　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士　第 357230 号　永野ますみ

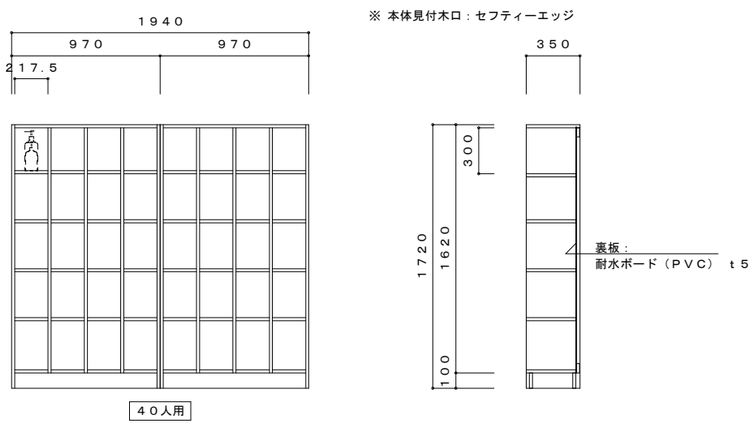
F－3	作業台・流し台・吊戸棚	１Ｆ　救急洗浄室　　１ヶ所	１／２０



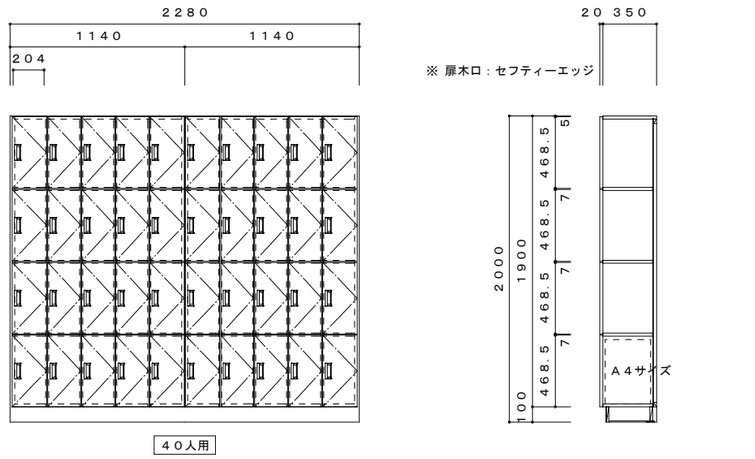
F－5	棚	２Ｆ　女子トイレ 洗面・脱衣室　　１ヶ所	１／２０



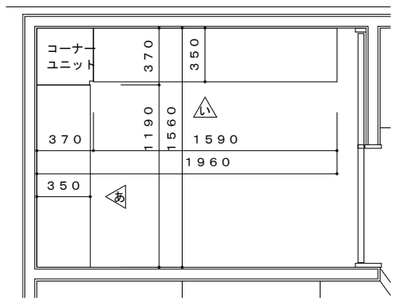
F－6	ロッカー	２Ｆ　男子　洗面・脱衣室　　１ヶ所	１／２０

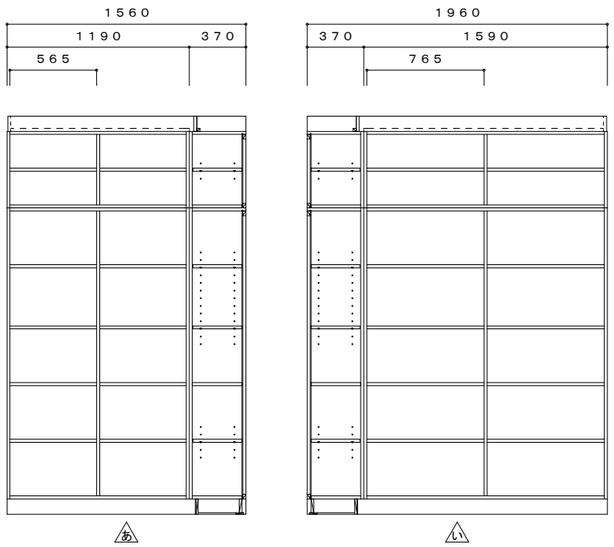


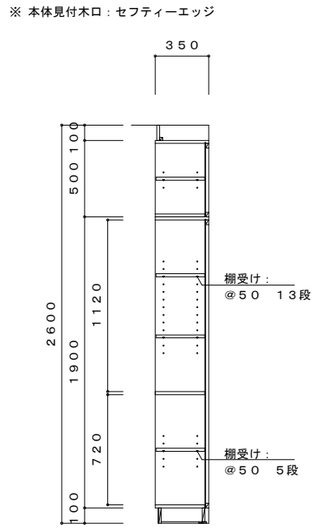
F－7	ロッカー	２Ｆ　待機室　　１ヶ所	１／２０



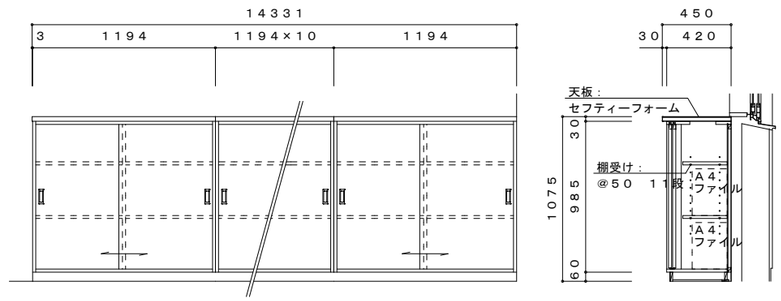
F－8	収納	２Ｆ　パントリー　　１ヶ所	１／２０







F－10	書類棚	２Ｆ　事務室　　１ヶ所	１／２０



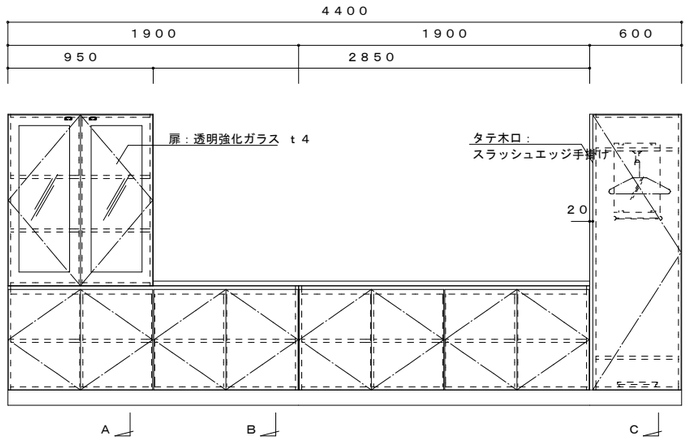
JOBNO

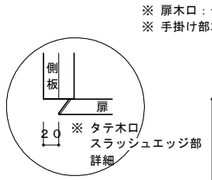
白石消防署庁舎建替工事　　【庁舎棟】木製家具図2　　A-59

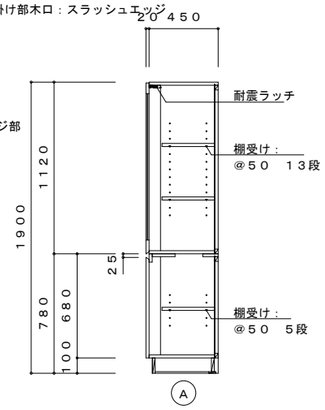
DATE　SCAL (A 1) 1／20 (A 3) 1／40　DRAWN　CHEK

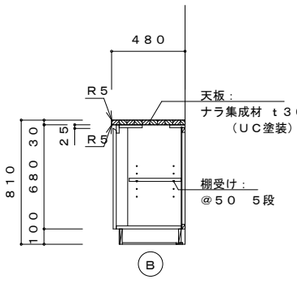
株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士　第 357230 号　永野ますみ

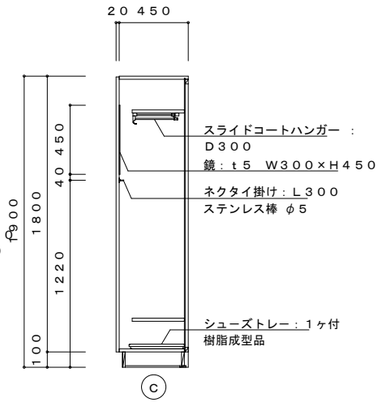
F－9	収納戸棚・ワードローブ	2F　署長室　　1ヶ所	1／20



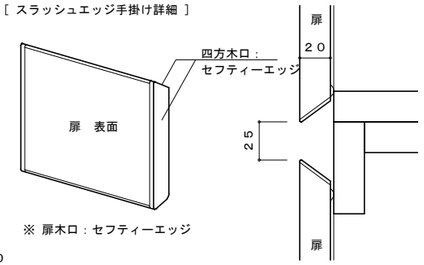




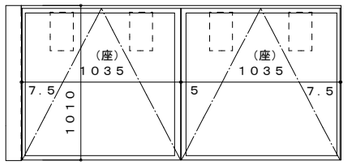


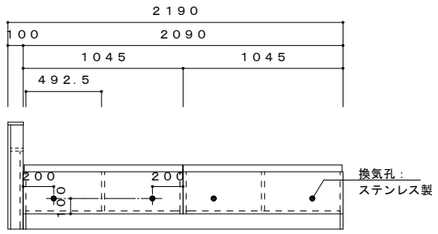


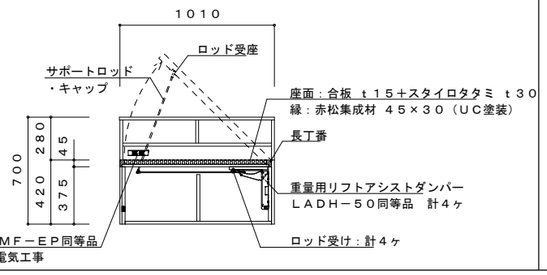
［ スラッシュエッジ手掛け詳細 ］



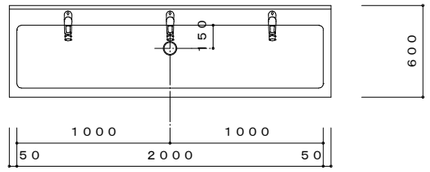
F－11	ベッド	2F　仮眠室1～19　　計19ヶ所	1／20

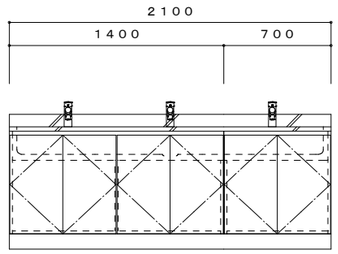


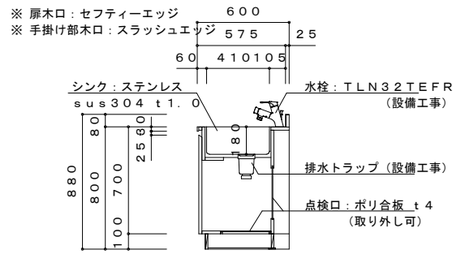




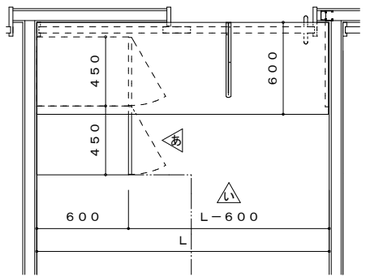
F－13	流し台	2F　男子　洗面・脱衣室　　1ヶ所	1／20

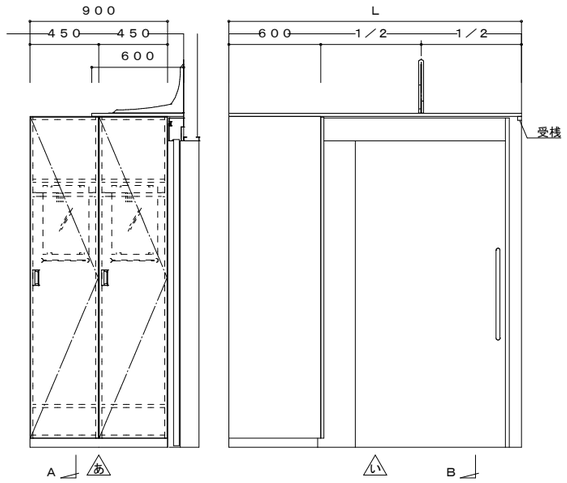


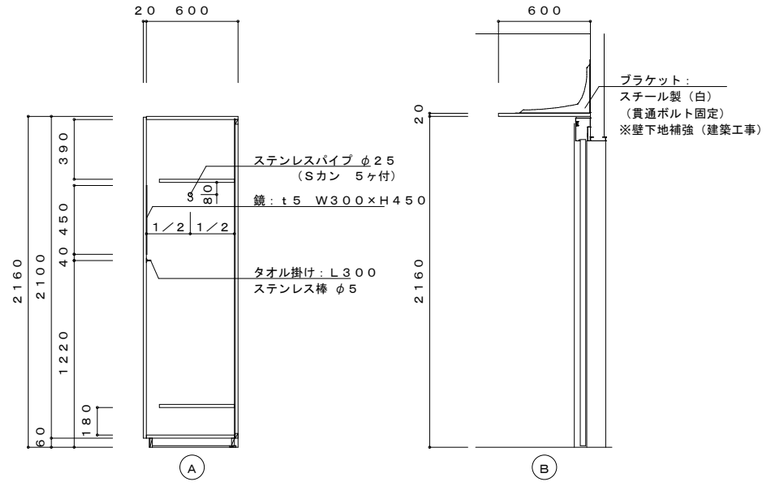




F－12	ロッカー・上部棚	2F　各仮眠室　　計19ヶ所	1／20







	部屋名	L	箇所
a	2F　仮眠室1・19	1795	2
b	2F　仮眠室2～18	1910	17

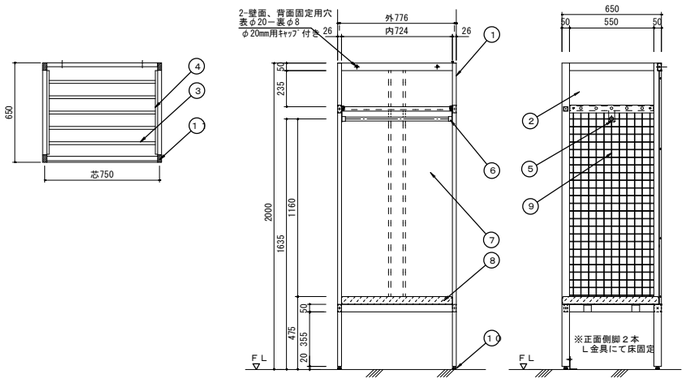
JOBNO

白石消防署庁舎建替工事　　【庁舎様】木製家具図3　A-60

DATE　SCAL (A 1) 1／20 (A 3) 1／40　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士　第 357230 号　永野ますみ

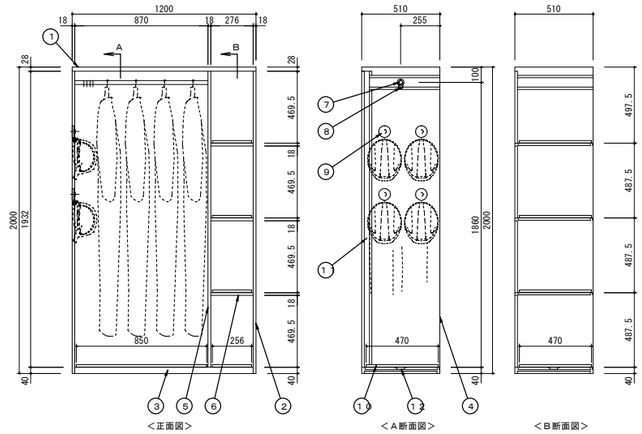
SF-01　メッシュタイプ防火服ロッカー　１階　出動準備室　36台（基本型 8台、連結型 28台）　1/20



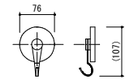
番号	部品名	数量	材質	サイズ・備考
1	側面フレーム	2	SS400・粉体焼付塗装	26 × 50 × t 1.6
2	上部側面パネル	2	SPCC・粉体焼付塗装	t0.8
3	棚用パイプ	5	ｽﾃﾝﾚｽ材巻き	φ19
4	パイプ取付部化粧カバー	2	SUS HL	t0.8
5	ハンガーパイプ	1	ｽﾃﾝﾚｽ材巻き	φ25
6	ソケット	2	ZDC・ｸﾛｰﾑﾒｯｷ	
7	背面パネル	1	SPCC・粉体焼付塗装	t0.8
8	座面	1	ﾋﾞﾆｰﾙｻﾞｰﾏｯﾄ(ｼﾝｺｰﾙ)	ﾚｯﾄﾞ or ｸﾞﾚｰ
9	仕切り用格子(側面)	2	ｽﾁｰﾙ・粉体焼付塗装	□50 × φ3.0
10	アジャスター	4	ｽﾁｰﾙ・めっき	ﾗﾝｸﾞ・MK8AD(M10)
11	キャップ	4		ｸﾞﾚｰﾄﾞ

塗装：粉体焼付塗装／ＫＣ－９０８

SF-02　ドライスーツロッカー　１階　出動準備室　1ヶ所　1/20



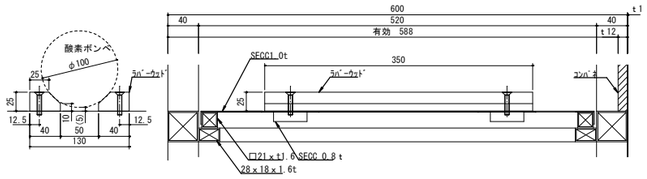
番号	部品名	1本当り数量	材質	備考
12	補強	3	SECC 0.6t	――
11	左側前補強	1	SECC 0.6t	――
10	水受け皿	5	SUS 1.0t	HL
9	マグネットフック	4	――	耐荷重：10kg
8	S管	4	丸鋼	クロームめっき
7	パイプ	1	ステンレス巻 φ25	――
6	積中仕切板	3	SECC 0.8t	――
5	縦中仕切板	1	SECC 0.8t	――
4	裏板	1	SECC 0.8t	――
3	底板	1	SECC 0.8t	――
2	側板	2	SECC 0.8t	――
1	天板	1	SECC 0.8t	――
塗装	粉体焼付塗装		塗装色	KC－908



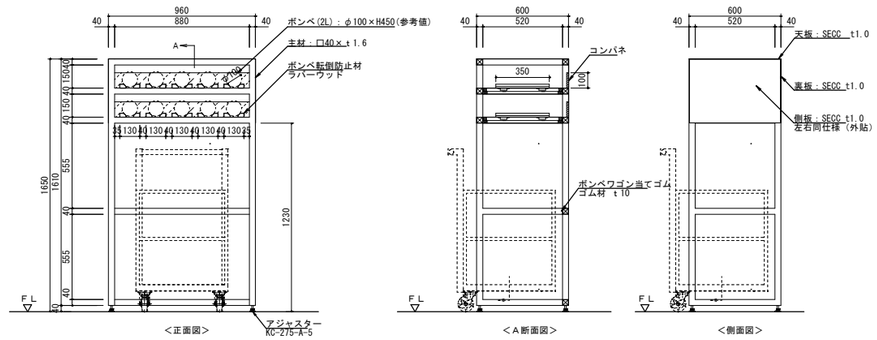
＜マグネットフック拡大図　1/5＞

SF-03　酸素ボンベ収納棚　１階　救急資機材保管庫　2台　1/20

塗装：粉体焼付塗装・ＫＣ－９０８

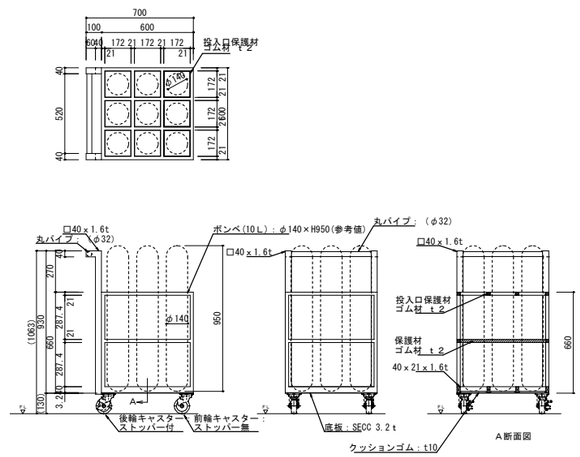


＜ボンベ転がり止詳細図　S=1/3＞　＜棚部詳細図　S=1/3＞



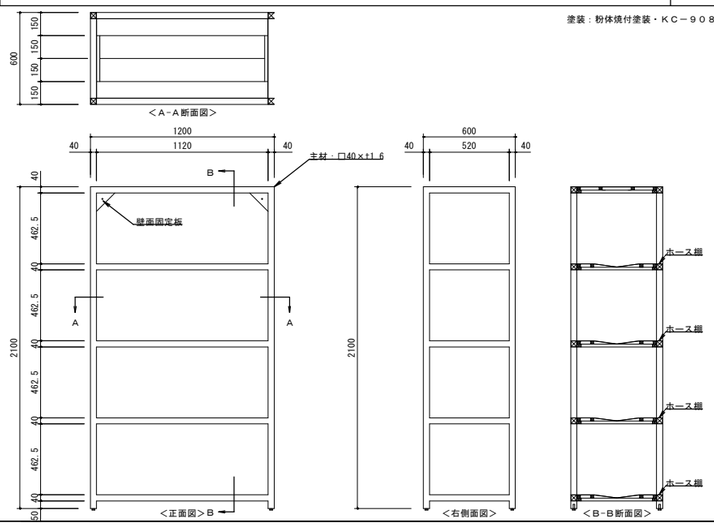
SF-04　酸素ボンベワゴン　１階　救急資機材保管庫　2台　1/20

塗装：粉体焼付塗装・ＫＣ－９０８



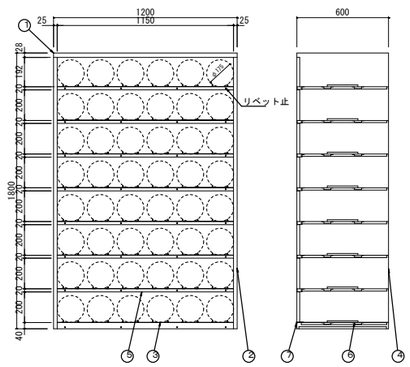
SF-07　消防用ホース棚　１階　資機材倉庫　6台　1/20

塗装：粉体焼付塗装・ＫＣ－９０８



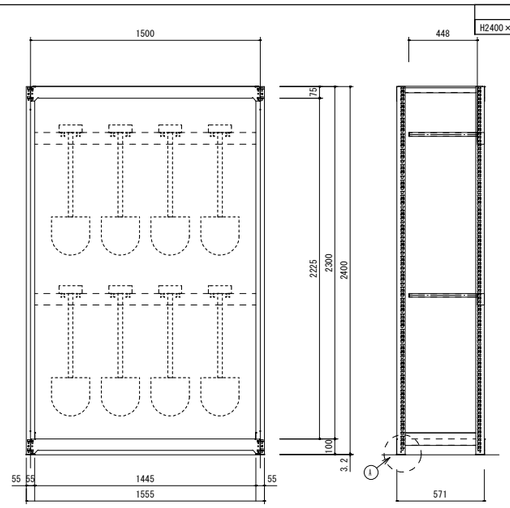
SF-08　ボンベ収納棚（８段４８本用）　１階　資機材倉庫　1ヶ所　1/20

番号	部品名	数量	材質	備考
7	カーペット押え板	8	SUS304 1.0t	リベット止
6	補強	23	SECC 0.8t	――
5	横中仕切板	7	SECC 1.0t	――
4	裏板	1	SECC 0.8t	――
3	底板	1	SECC 1.0t	――
2	側板	2	SECC 1.0t	――
1	天板	1	SECC 1.0t	――
塗装	粉体焼付塗装		塗装色	KC－908



SF-13　パーラック①　１階 資機材倉庫　1ヶ所　1/20

寸法・仕様	型式	台数
H2400×W1555×D571　天地2段	基本型	1 台



JOBNO

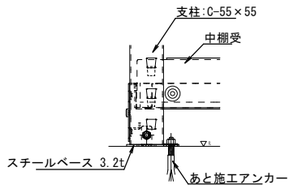
白石消防署庁舎建替工事　【庁舎棟】鋼製家具図1　A-61

DATE　SCAL (A 1) 1／20　(A 3) 1／40　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号　永野ますみ

SF-06～SF-15：中量ボルトレスラック・バーラック（共通）

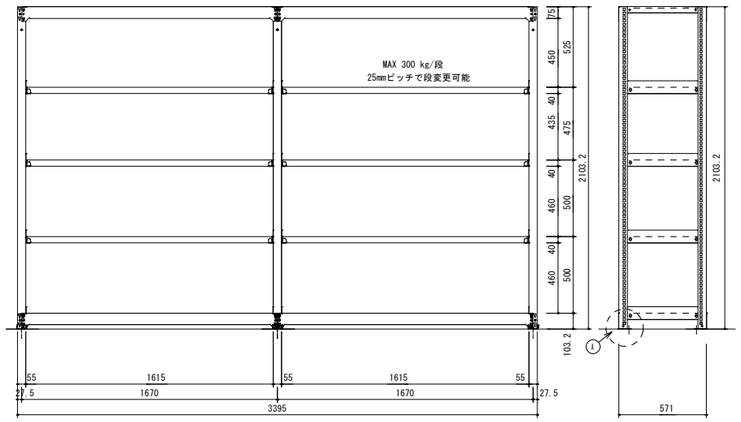
【特記事項】
塗装色　SG（ｻﾝｸﾞﾚｰ）
・耐段荷重　MAX300kg/段
・床固定



A部 床固定詳細図

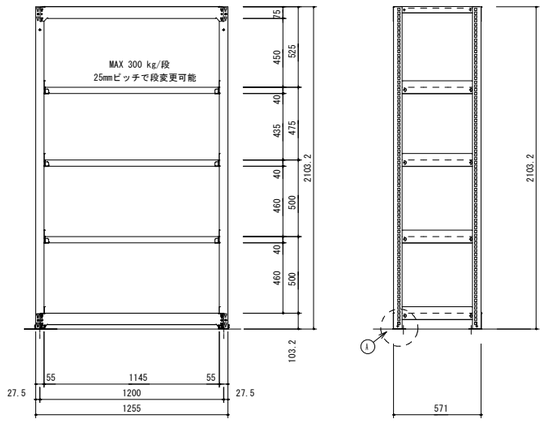
SF-05 / SF-11　中量ラック①　1階　救急資機材保管庫　1ヶ所　1/20
中量ラック⑤　1階　資機材倉庫　1ヶ所

寸法・仕様	型式	台数
H2100×W1725×D571　天地5段	基本型	1 台
H2100×W1670×D571　天地5段	連結型	1 台



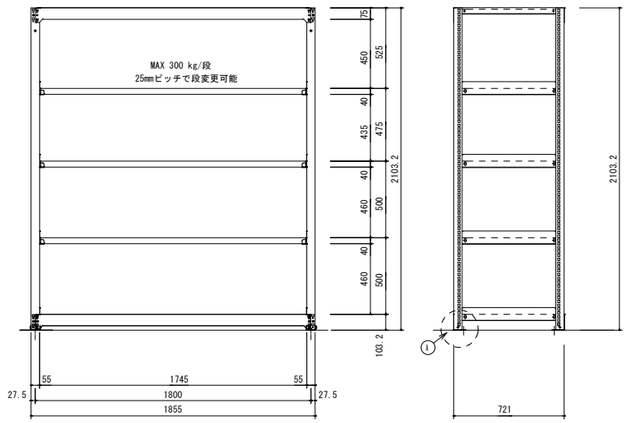
SF-06　中量ラック②　1階　防火衣乾燥室　1ヶ所　1/20

寸法・仕様	型式	台数
H2100×W1255×D571　天地5段	基本型	1 台



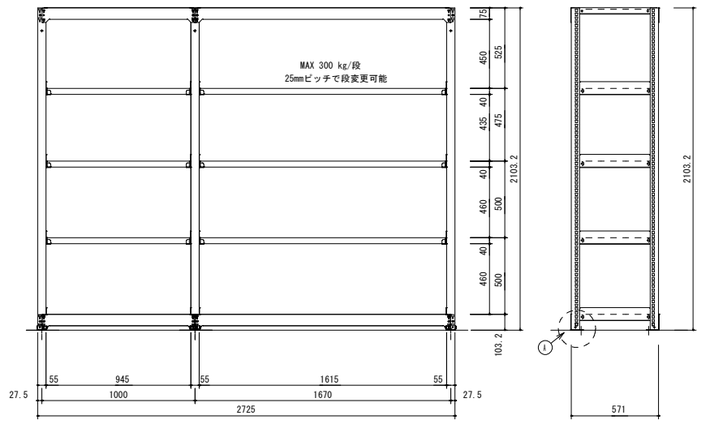
SF-09　中量ラック③　1階　資機材倉庫　1ヶ所　1/20

寸法・仕様	型式	台数
H2100×W1855×D721　天地5段	基本型	1 台



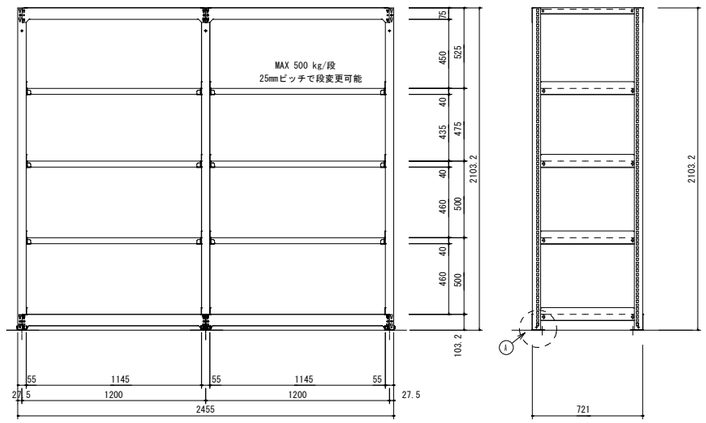
SF-10　中量ラック④　1階 資機材倉庫　1ヶ所　1/20

寸法・仕様	型式	台数
H2100×W1725×D571　天地5段	基本型	1 台
H2100×W1000×D571　天地5段	連結型	1 台



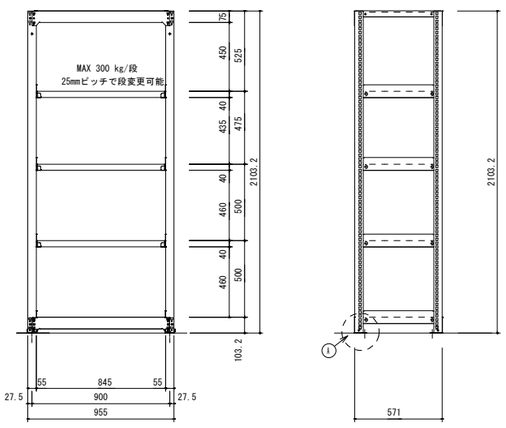
SF-12　中量ラック⑥　1階 資機材倉庫　1ヶ所　1/20

寸法・仕様	型式	台数
H2100×W1255×D721　天地5段	基本型	1 台
H2100×W1200×D721　天地5段	連結型	1 台



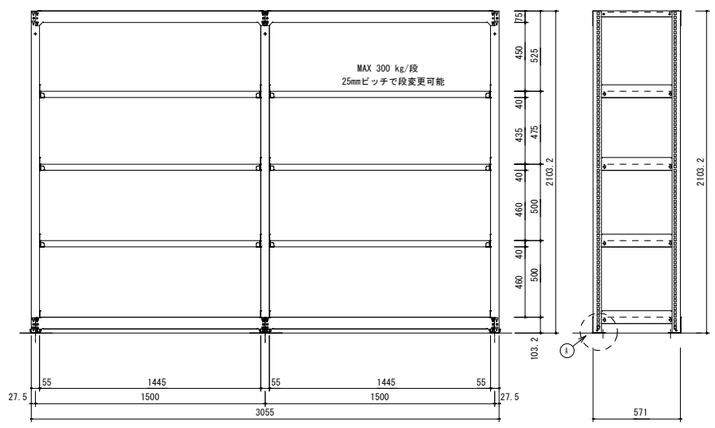
SF-14　中量ラック⑦　2階 倉庫　1ヶ所　1/20

寸法・仕様	型式	台数
H2100×W955×D571　天地5段	基本型	1 台

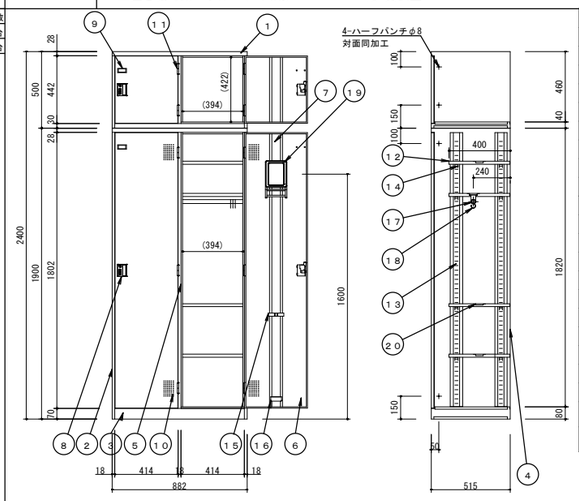


SF-15　中量ラック⑧　2階 倉庫　1ヶ所　1/20

寸法・仕様	型式	台数
H2100×W1555×D571　天地5段	基本型	1 台
H2100×W1500×D571　天地5段	連結型	1 台



SF-16　上置き棚可動ロッカー（２人用）　2階 更衣室　1ヶ所　1/20



番号	部品名	本数 取数	材質	備考
20	補強	8	SPCC 0.6t	
19	鏡	2		
18	S管	6	丸棒	めっき
17	ﾊﾟｲﾌﾟ	2	ｽﾃﾝﾚｽ巻き φ25	
16	滴受	2	合成樹脂	
15	傘受	2	合成樹脂	
14	棚受ﾌﾞﾗﾒ	32	軟鋼	ﾕﾆｸﾛめっき
13	自在棚受	8	SPCC 0.6t	
12	棚板	8	SPCC 0.8t	
11	蝶番	10	SPCC 1.6t	
10	通気孔	—		
9	名札差	4	合成樹脂	25×50
8	取手	4	合成樹脂	ﾅﾝﾊﾞｰﾛｯｸ
7	扉補強	4	SPCC 0.6t	
6	扉	4	SPCC 0.8t	
5	縦中仕切板	2	SPCC 0.8t	
4	裏板	2	SPCC 0.7t	
3	底板	2	SPCC 0.8t	
2	側板	4	SPCC 0.8t	
1	天板	2	SPCC 0.8t	

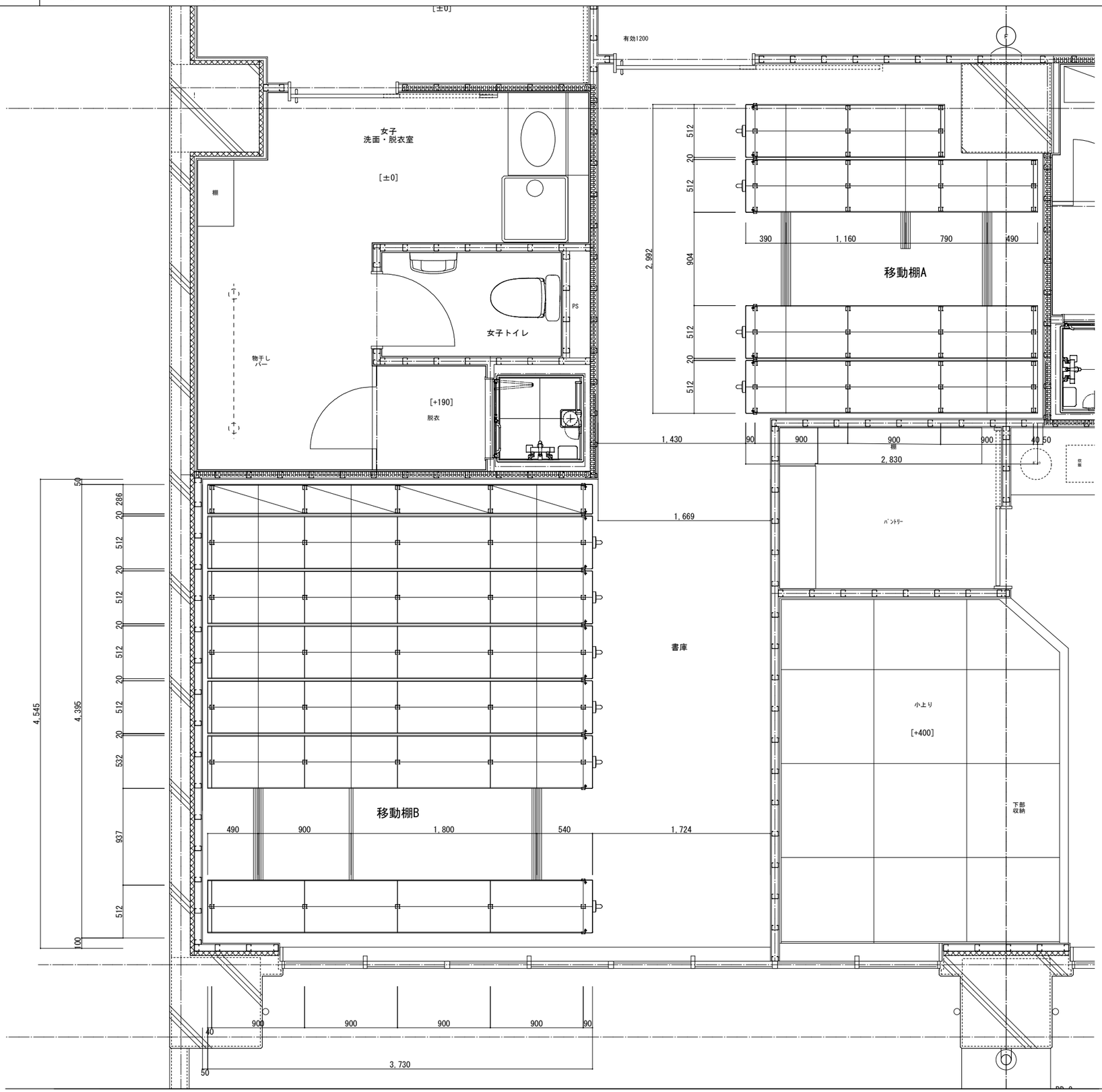
塗装	粉体焼付塗装	塗装色	本体:KC-908 扉 :KC-908
数量	3 台	製品記号	上置き:JU-2-S 本体 :JL2-1-S

JOBNO

白石消防署庁舎建替工事　【庁舎棟】鋼製家具図2　A-62

DATE　SCAL (A 1) 1／20 (A 3) 1／40　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号　永野ますみ

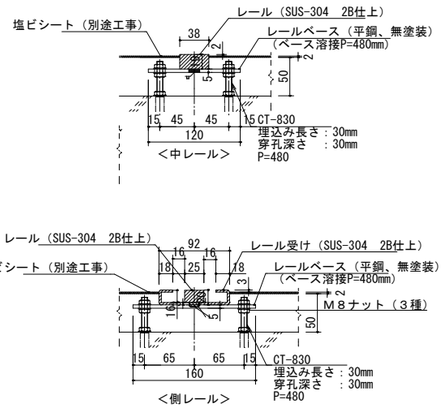


平面図 S=1／20

制震ハンドル式移動棚 仕 様

規模						
区分	種 別	型 式	棚段数	連数	台数	備 考
A	複式移動	M5S-2-470B	6	2	1	
	複式移動	M5S-2-470B	6	3	3	
B	単式固定	M5S-1-370B	6	4	1	
	複式移動	M5S-2-470B	6	4	6	

仕様		
総棚段数	444段	
収納量	0.86m×444段＝381.84fm（ファイルメーター）	
最大積載質量	棚板1段当り 最大40kg 但し複式1連当り 600kg	
駆動方式	全輪駆動方式	
操作方式	ワンウェイクラッチハンドル（自動クラッチ内蔵）	
棚板昇降ピッチ	25mm	
移動距離	100mm／ハンドル1回転	
安全対策	安全ロック（ゲートロック機構）・下部転倒防止装置 ・脱線防止（フランジ車輪）・制震ダンパー	
レール形式	埋込式レール（SUS）	
塗 色	ホワイト（F30）	
建築床への負荷荷重	積載質量	40kg／段
	自重	103kg／複式1連
	総重量	6,492kg（A）+15,259kg（B）＝21,751kg
	レール1m当りの最大質量	1,713kg
付属品	複式棚：各段背当り付（複式共用）背ブレース付（各連2本）	
	単式棚：背板付	
	中仕切板付（反操作側）	
備 考	ナンバープレート No.01～08（A）／No.01～13（B）	



SUSレール断面図 S=1／5

JOBNO

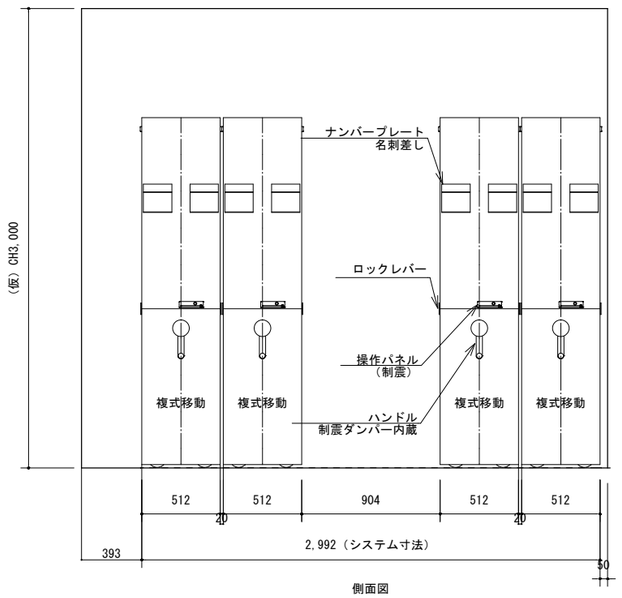
白石消防署庁舎建替工事 【庁舎棟】鋼製家具図3 A-63

DATE SCAL (A 1) 1／20 (A 3) 1／40 DRAWN CHEK

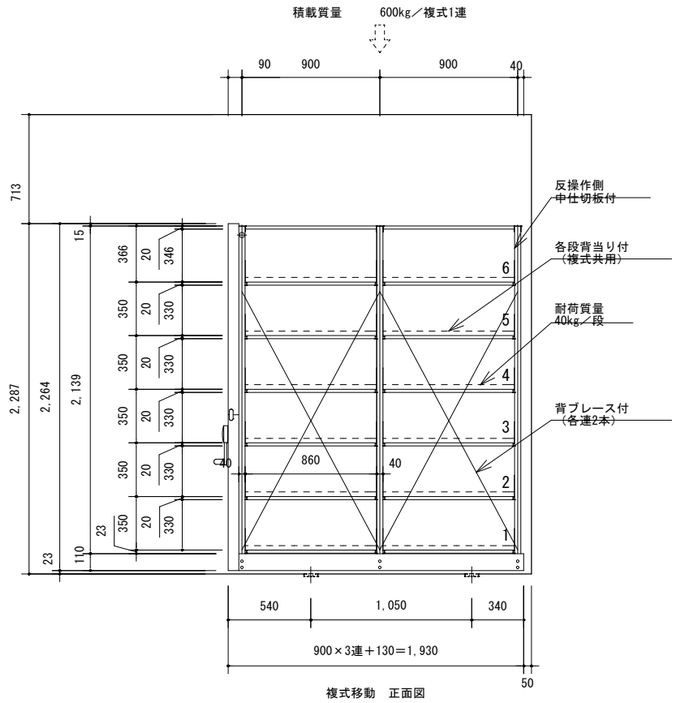
株式会社 構 建築設計事務所 一級建築士 第 357230 号 永野ますみ

2階書庫 姿図 S=1／50

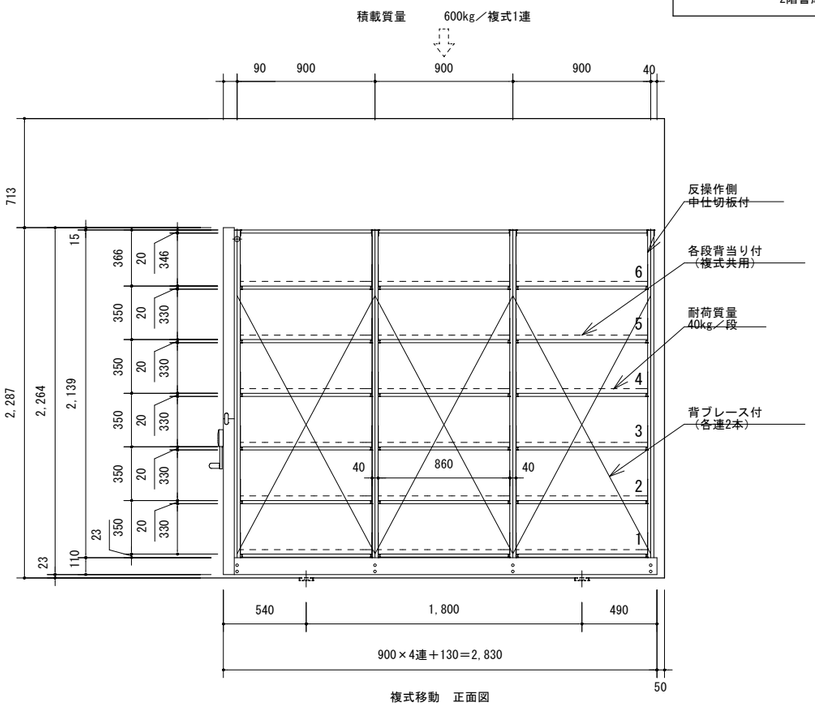
A



側面図

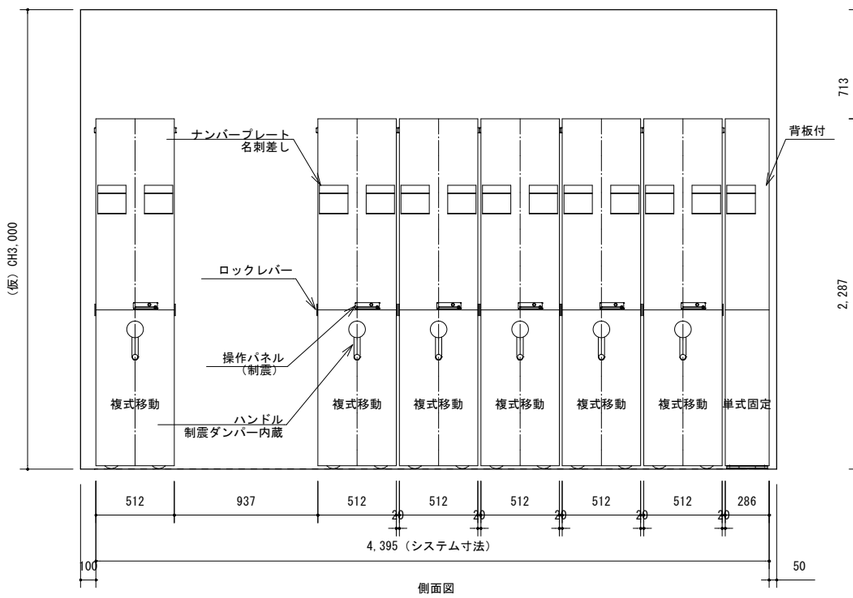


複式移動 正面図

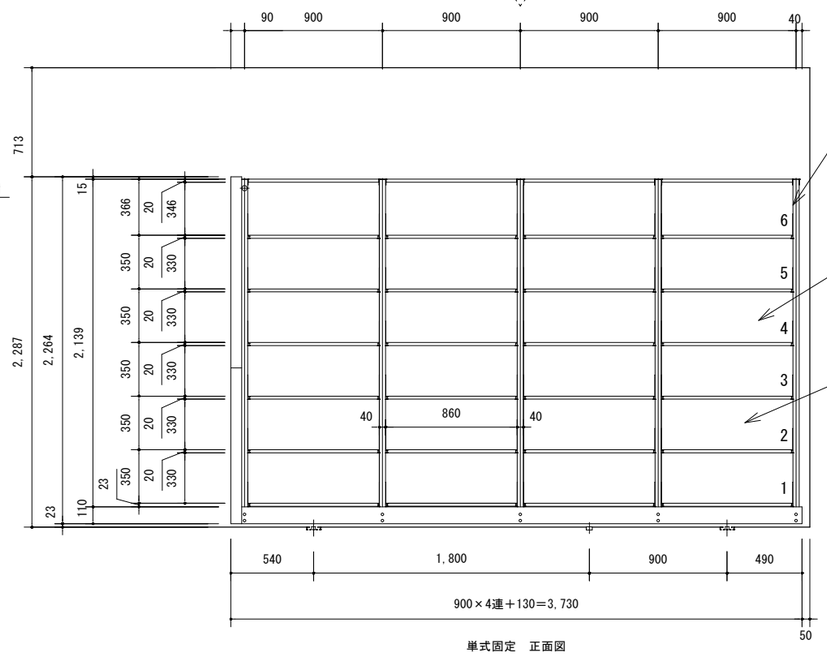


複式移動 正面図

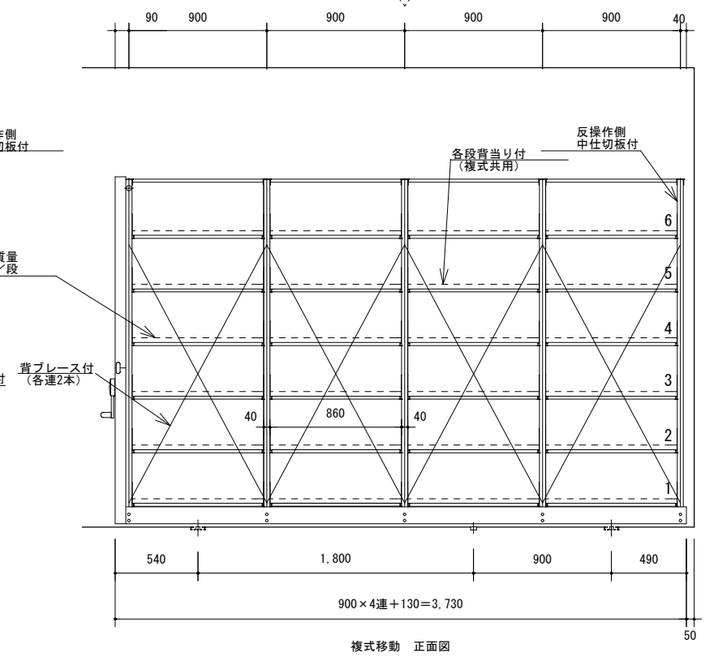
B



側面図



単式固定 正面図



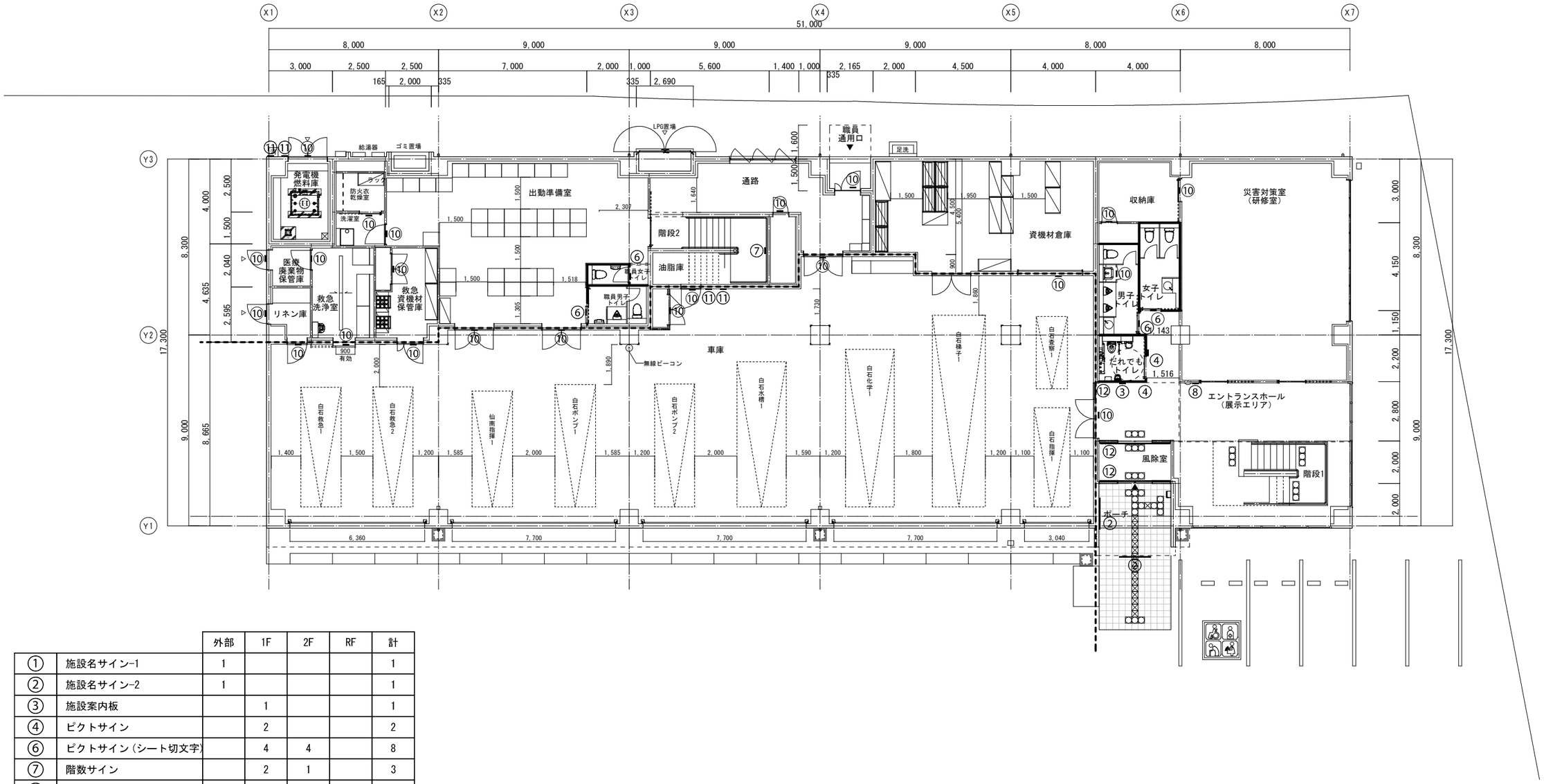
複式移動 正面図

JOBNO

白石消防署庁舎建替工事 【庁舎様】鋼製家具図4 A-64

DATE SCAL (A 1) 1／ 20 (A 3) 1／ 40 DRAWN CHEK

株式会社 構 建築設計事務所 一級建築士 第 357230 号 永野ますみ



		外部	1F	2F	RF	計
①	施設名サイン-1	1				1
②	施設名サイン-2	1				1
③	施設案内板		1			1
④	ピクトサイン		2			2
⑥	ピクトサイン（シート切文字）		4	4		8
⑦	階数サイン		2	1		3
⑧	室名サイン		1	11		12
⑨	仮眠室番号			19		19
⑩	室名サイン（シート切文字）		23	9	1	33
⑪	火気厳禁サイン	2	4			6
⑫	衝突防止サイン		4.2	5.9		10.1m分

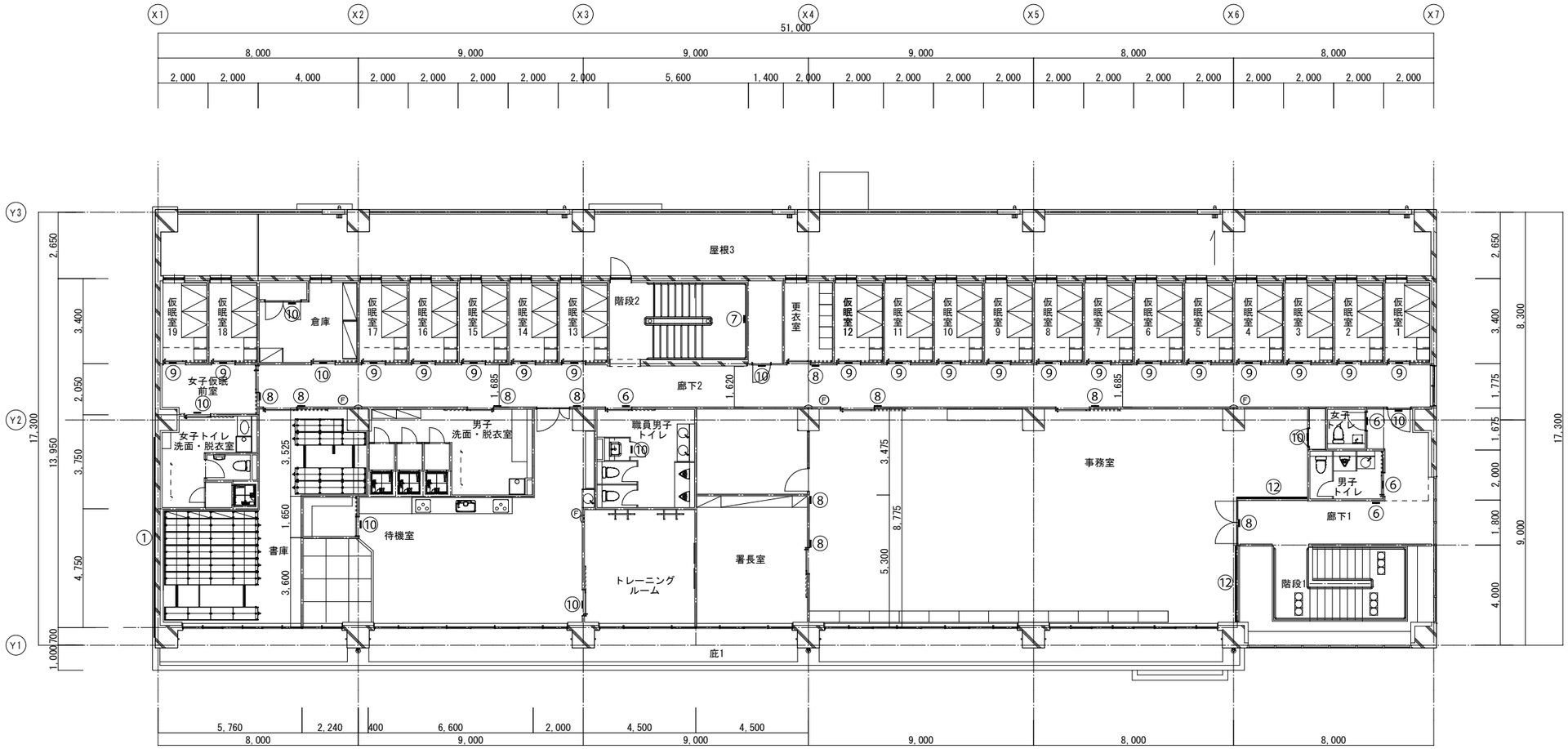
1階サインキープラン　1/100

JOBNO

白石消防署庁舎建替工事　【庁舎棟】1階サインキープラン　A-65

DATE　SCAL (A 1) 1／100 (A 3) 1／200　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士　第 357230 号　永野ますみ



		外部	1F	2F	RF	計
①	施設名サイン-1	1				1
②	施設名サイン-2	1				1
③	施設案内板		1			1
④	ピクトサイン		2			2
⑥	ピクトサイン(シート切文字)		4	4		8
⑦	階数サイン		2	1		3
⑧	室名サイン		1	11		12
⑨	仮眠室番号			19		19
⑩	室名サイン(シート切文字)		23	9	1	33
⑪	火気厳禁サイン	2	4			6
⑫	衝突防止サイン		4.2	5.9		10.1m分

2階サインキープラン　1/100

JOBNO

白石消防署庁舎建替工事　【庁舎棟】2階サインキープラン　A-66

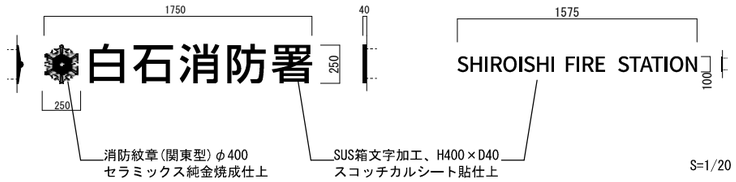
DATE　SCAL (A 1) 1／100 (A 3) 1／200　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士　第 357230 号　永野ますみ

1 施設名サイン-1 数量 1ヶ所

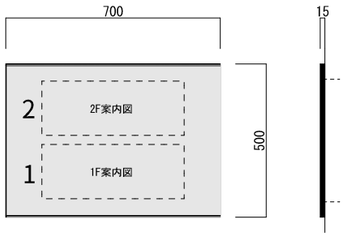
S=1/30

2 施設名サイン-2 数量 1ヶ所



S=1/20

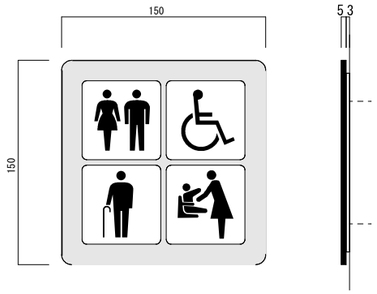
3 施設案内板 数量 1ヶ所



表示面　：アルミ押出形材、マグネット脱着式
表示方法：インクジェットシート貼
サイドフレーム：ステンレスFB HL

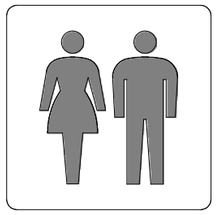
S=1/10

4 ピクトサイン 数量 2ヶ所



アクリル板t5.0
インクジェットシート貼

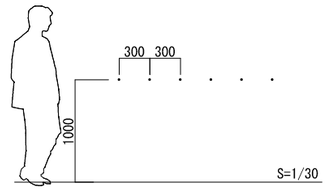
S=1/3



■平付タイプ　×1
　だれでもトイレ
■突付タイプ　×1
　1階エントランスホール

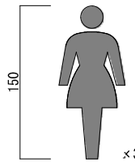
12 衝突防止サイン 数量 ≒10.1m

塩ビシート切文字貼　S=1/1

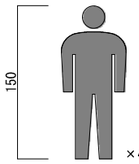


S=1/30

6 ピクトサイン　(シート切文字) 数量 8ヶ所

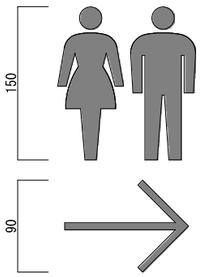


×3ヶ所



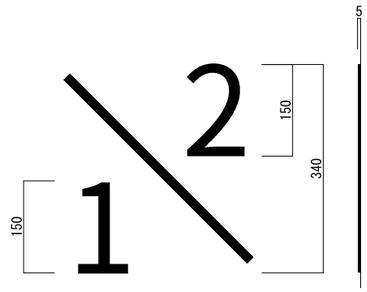
×4ヶ所

塩ビシート切文字　現場ドア直貼　S=1/3



×1ヶ所

7 階数サイン 数量 3ヶ所



アクリルt5.0切文字、塗装仕上
両面テープ+接着剤で壁面に貼付

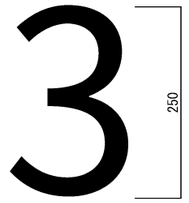
S=1/5

8 室名サイン 数量 12ヶ所

アクリル板t5.0、塩ビシート切文字貼
捨板t3.0にて取付

S=1/2

9 仮眠室番号　1～19 数量 19ヶ所



塩ビシート切文字　現場ドア直貼　S=1/4

10 室名サイン(シート切文字) 数量 33ヶ所

塩ビシート切文字　現場ドア直貼　S=1/2

<室名サイン>

50 資機材倉庫　×20ヶ所

<バックヤードサイン>

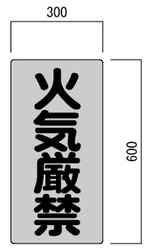
30 PS　EPS　SK　×10ヶ所

<AD2・SD8・LSD13> エントランス側/廊下1側

50 関係者以外立入禁止　×3ヶ所

11 火気厳禁サイン 数量 6ヶ所

発電機燃料庫：「屋内タンク貯蔵所」
油脂庫：「少量危険物」
屋外給油所(自家用)：「屋外タンク貯蔵所」



ﾐﾄﾞﾘ安全:危険物標識 319-06

×3ヶ所

ﾐﾄﾞﾘ安全:危険物標識 319-08 他

×3ヶ所

素材・材質：鉄板
ｻｲｽﾞ・寸法：サイズ：600×300mm
　　(直径４mm穴４スミ)
形状：明治山

S=1/10

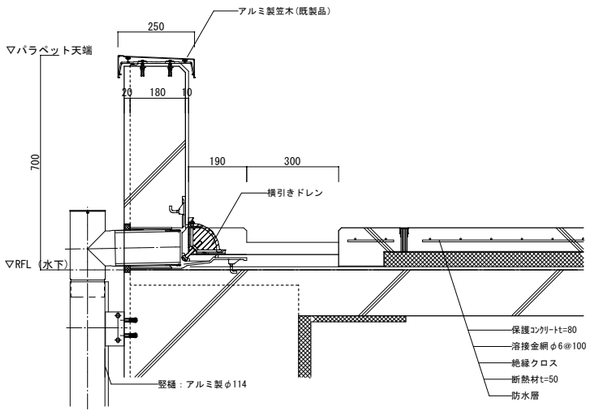
JOBNO

白石消防署庁舎建替工事　【庁舎棟】サイン詳細図　A-67

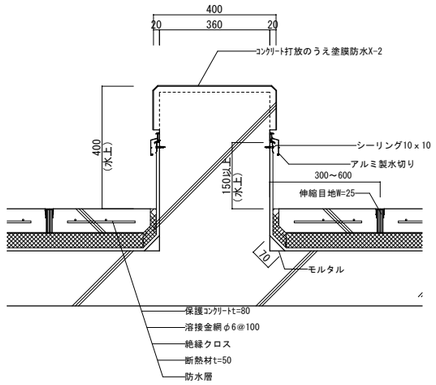
DATE　SCAL (A 1) 1/図示 (A 3) 1/ –　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号 永野ますみ

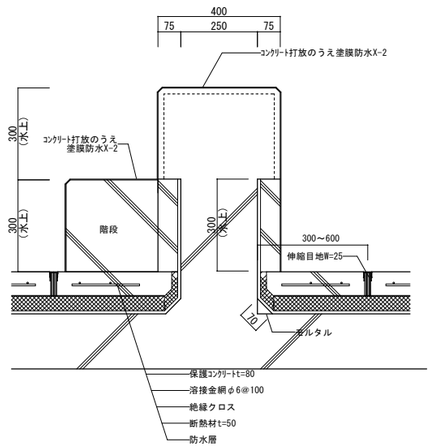
屋上ルーフドレン・とい納まり 1/10　S=1/10



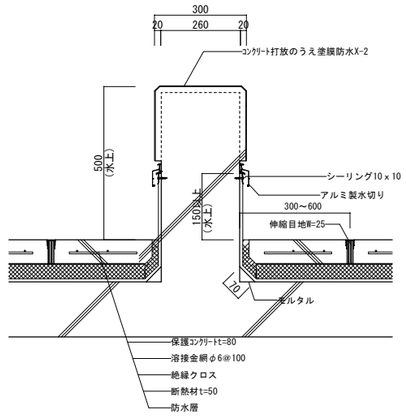
屋外機基礎　L＝1200、5か所　S=1/10



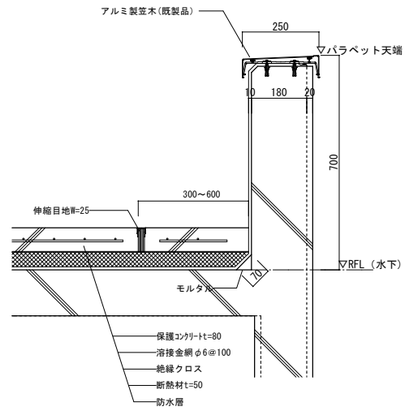
キュービクル基礎　L＝5400、２ヶ所　S=1/10



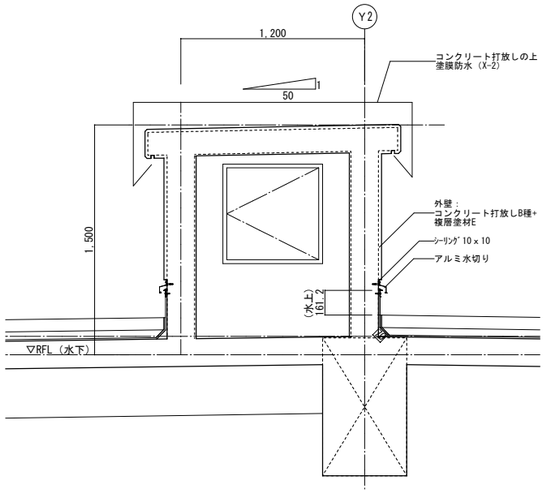
発電機基礎 小出槽基礎　L＝5400、各２ヶ所　S=1/10

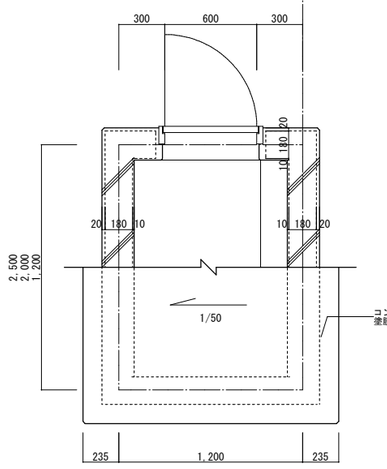


屋上パラペット・アルミ笠木　S=1/10

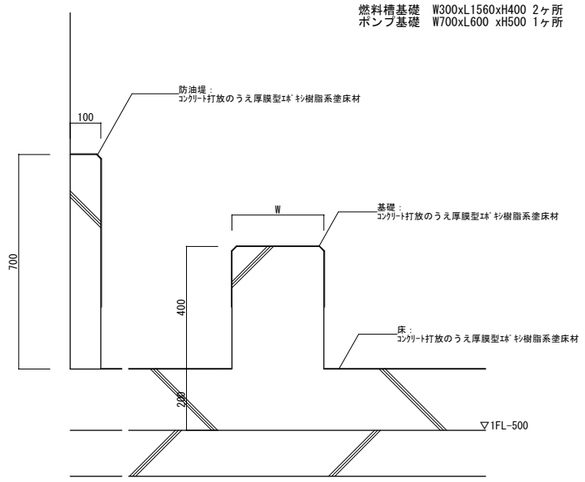


ハト小屋　S=1/20

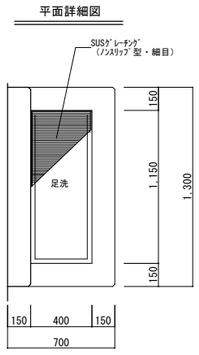


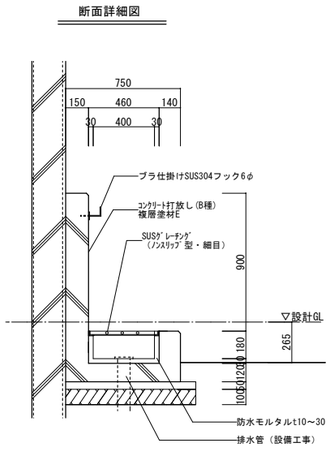


発電機燃料庫　基礎　S=1/10

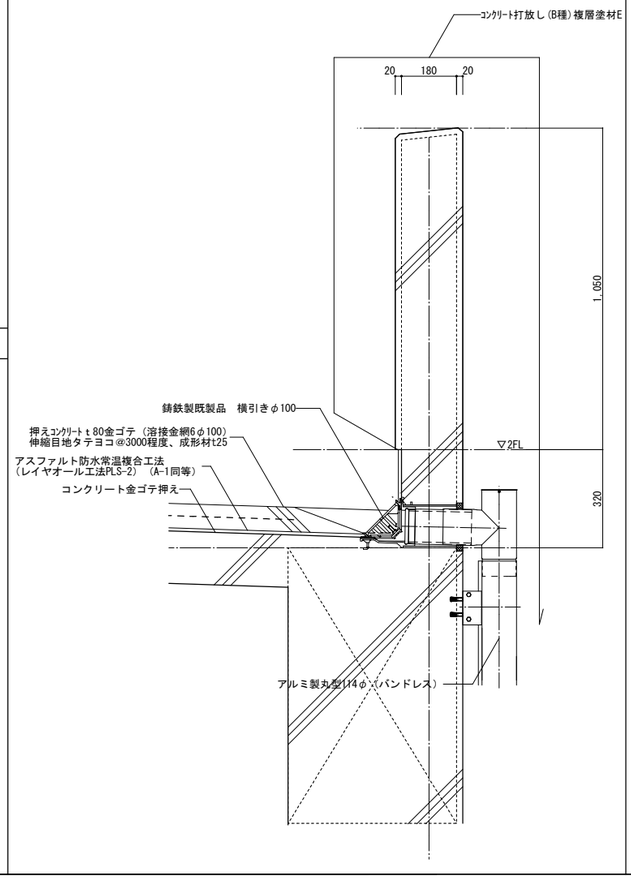


足洗場　S=1/20

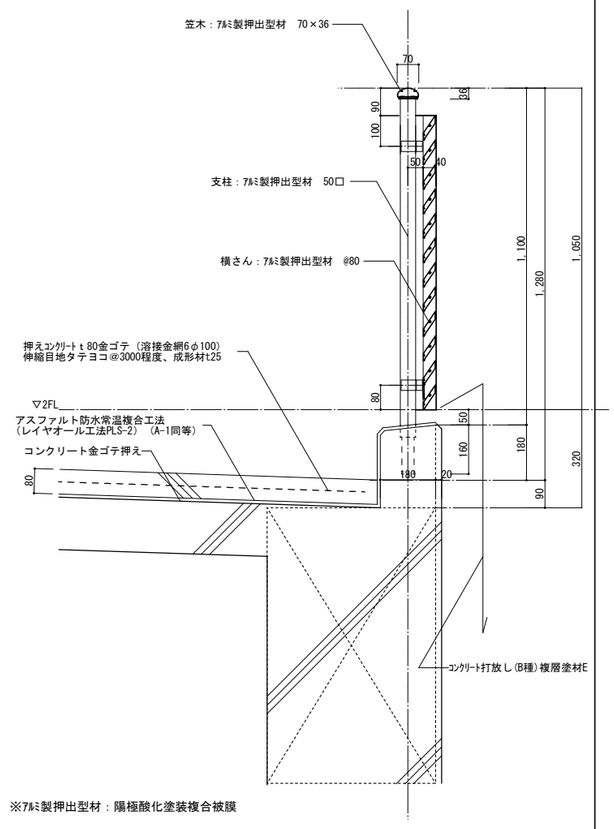




屋根3　RC手すり壁　1/10



屋根3　アルミ手すり壁　1/10



※ｱﾙﾐ製押出型材：陽極酸化塗装複合被膜

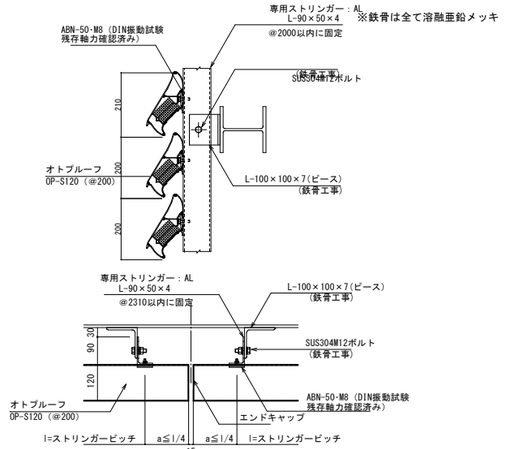
JOBNO

白石消防署庁舎建替工事　【庁舎棟】雑詳細図1　A-68

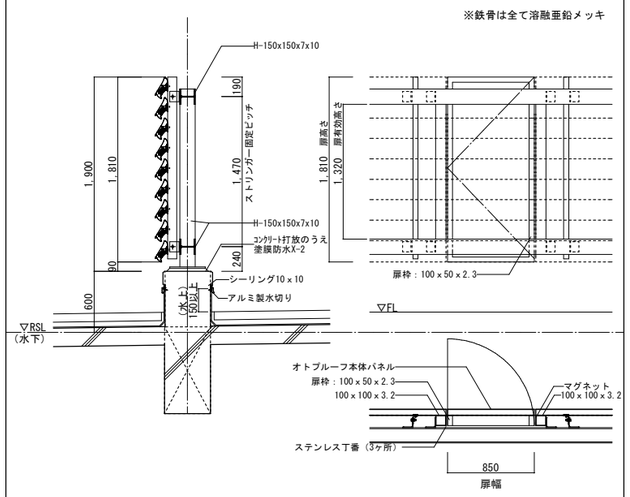
DATE　SCAL (A 1) 1/10、20 (A 3) 1/20、40　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号 永野ますみ

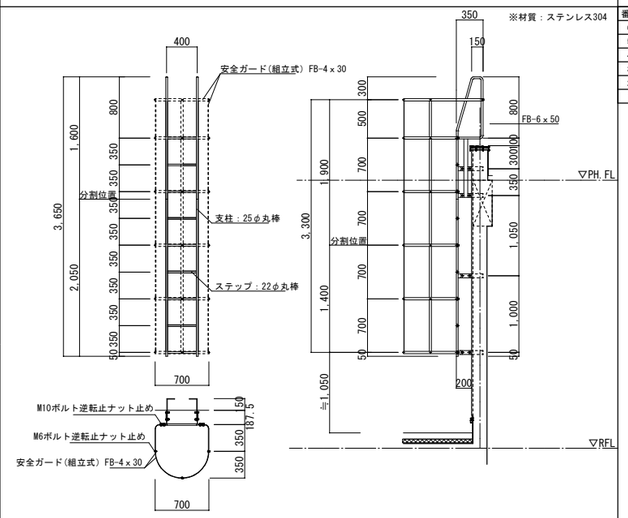
目隠しルーバー　1/10　S=1/10



目隠しルーバー下地　S=1/30



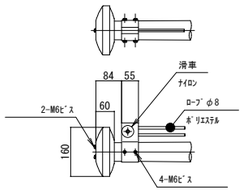
屋上タラップ　S=1/40



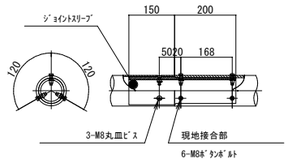
掲揚ポール

番号	品名	数量	材質	備考
6	ベース	1	アルミ合金鋳物　ＡＣ７Ａ	塗装仕上げ
5	クリート	1	アルミ合金ダイカスト　ＡＤＣ６	バフ研磨後クリアー焼付塗装
4	滑車ホルダー	1	アルミ合金　Ａ６０６３Ｓ－Ｔ５	焼付塗装
3	キャップ	1	アルミ合金／ポリプロピレン　Ａ１０５０Ｐ／ＰＰ	アルマイト処理
2	ポール（上段）	1	アルミ合金継目無管　ＹＢＺＴＤ－Ｔ８φ１００×ｔ２．３	Ｈ．Ｌ．後アルマイト処理クリアー電着塗装
1	ポール（下段）	1	アルミ合金継目無管　ＹＢＺＴＤ－Ｔ８φ１００×ｔ３．８	Ｈ．Ｌ．後アルマイト処理クリアー電着塗装

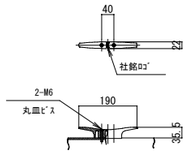
冠頭部詳細図
S＝1／10

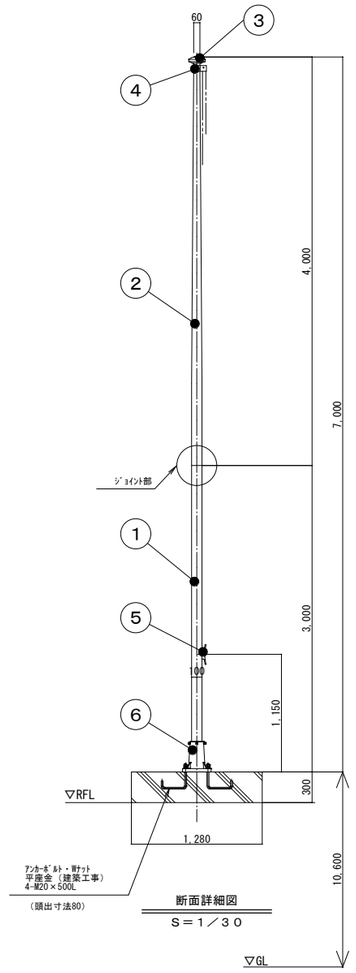


ジョイント部詳細図
S＝1／10



クリート詳細図
S＝1／10

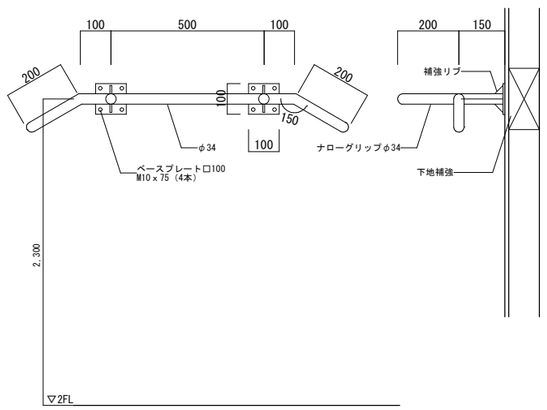




断面詳細図
S＝1／30

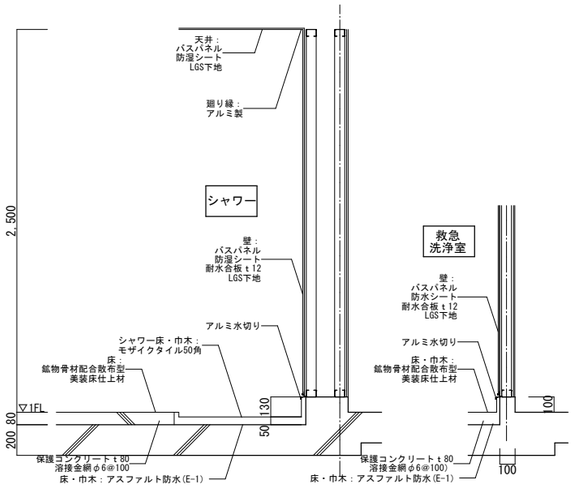
懸垂バー　S=1/10

※材質：ステンレス304HL仕上

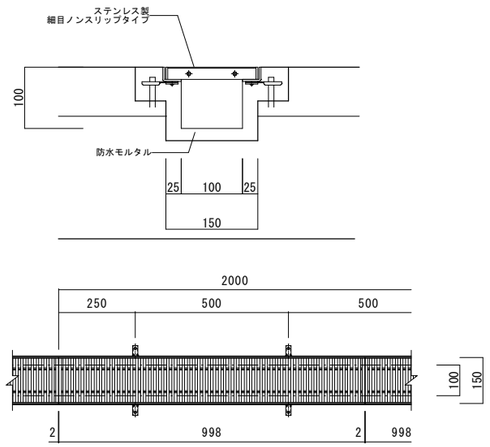


※取付位置は監督員に確認してから確定すること。

救急洗浄室シャワー　S=1/20

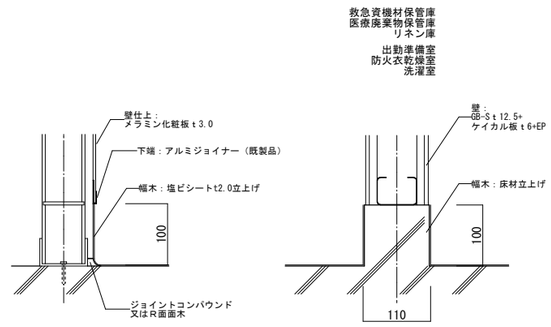


救急洗浄室グレーチング　S=1/5

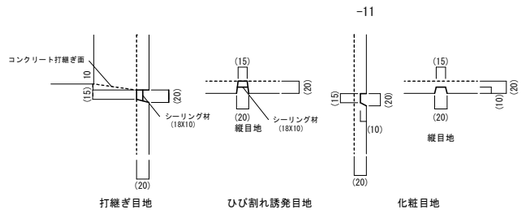


平面詳細図　Ｓ＝１：１０

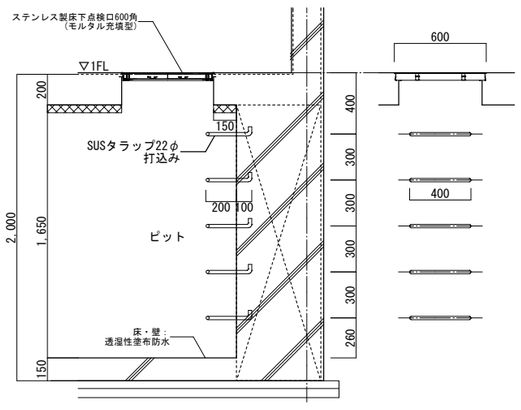
巾木　S=1/5



目地　S=1/5



配管ピット　タラップ・床下点検口　S=1/20



JOBNO

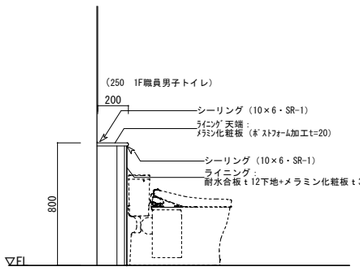
白石消防署庁舎建替工事　【庁舎棟】雑詳細図2　A-69

DATE　SCAL (A 1) 1/5,10,20　(A 3) 1/10,20,40　DRAWN　CHEK

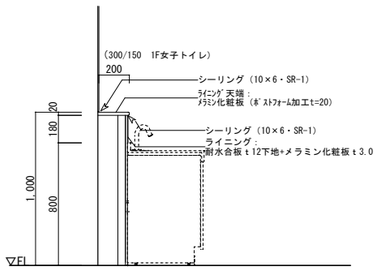
株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士　第 357230 号　永野ますみ

ライニング詳細図

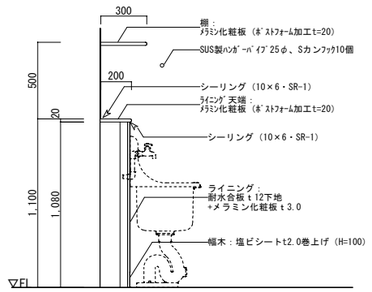
S=1/20



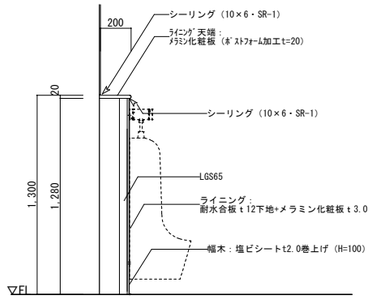
大便器



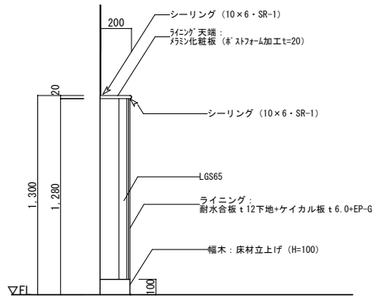
手洗い



ＳＫ



小便器
洗濯機

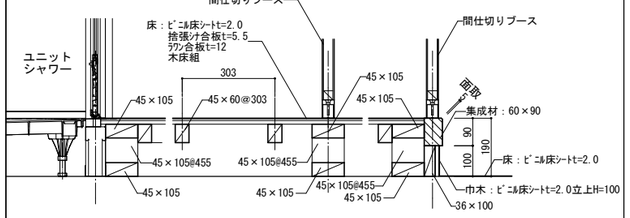


1F洗濯室

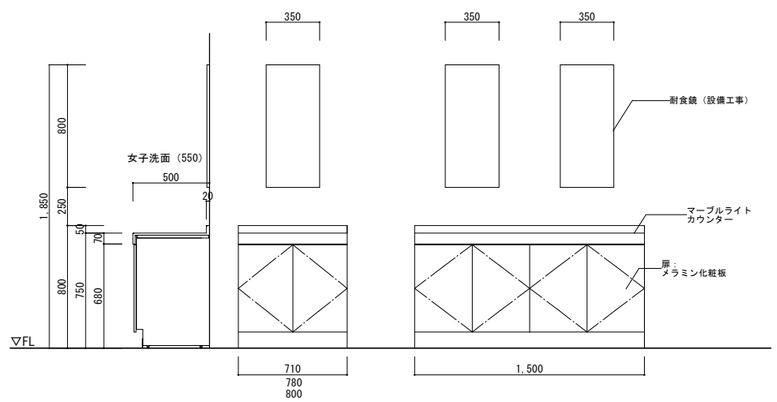
ライニングリスト

階	室名		H	L	D	箇所
1階	洗濯室	洗濯機	1300	830	200	1
	職員女子トイレ	大便器	800	900	200	1
	職員男子トイレ	小便器	1300	900	200	1
		大便器	800	900	200	1
	女子トイレ	手洗いカウンター	1000	710 700	300 150	1
		大便器	800	890	200	2
	男子トイレ	手洗いカウンター	1000	780	200	1
		小便器	1300	1600	200	1
		SK	1100	800	200	1
		大便器	800	900	250	1
2階	女子洗面脱衣	洗濯機	1300	650	200	1
		洗面カウンター	1000	800	200	1
	男子洗面脱衣	洗濯機	1300	680	200	1
		洗面カウンター	1000	2750	200	1
	職員男子トイレ	手洗いカウンター	1000	1500	200	1
		小便器	1300	1800	200	1
		SK	1100	900	200	1
		大便器	800	900	200	2
	女子トイレ	手洗いカウンター 大便器	1000	1500	200	1
	男子トイレ	手洗いカウンター	1000	710	200	1
		小便器	1300	900	200	1
		大便器	800	900	200	1

脱衣室床組図



衛生設備各室器具

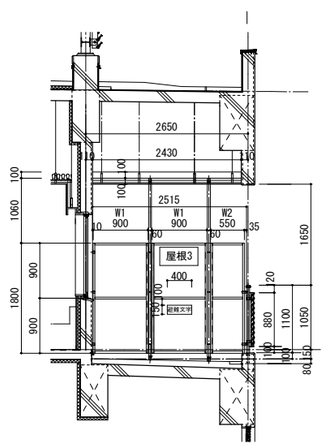


手洗いカウンター

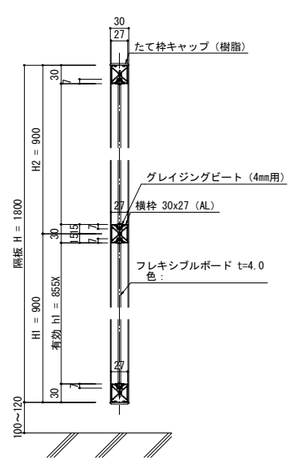
衛生設備各室器具表

名　称	参考型番 TOTO	参考型番	附　属　品	合計	1F 男子トイレ出勤準備室	1F 男子トイレ	1F 女子トイレ	1F だれでもトイレ	2F 女子トイレ洗面脱衣	2F 男子トイレ洗面脱衣	2F 待機室	2F 職員男子トイレ	2F 男子トイレ	2F 女子トイレ
カウンター	ML50L0780BPA13W		フロントパネル扉式（MFT3S0759BANB12W）	1		1								
カウンター	ML50L0710BPA13W		フロントパネル扉式（MFT3S0689BANB12W）	1			1							
カウンター	ML55L0805BPA13W		フロントパネル扉式（MFT3S0784BANB12W）	1					1					
カウンター	ML50R0710BPA13W		フロントパネル扉式（MFT3Q0729BANB12W）	1							1			
カウンター	ML50L1500CPA13W		フロントパネル扉式（MFT3S1479DDNB12W）	1								1		
カウンター	ML50H0710BPA13W		フロントパネル扉式（MFT3T0674BANB12W）	1									1	
大型化粧鏡	MMA2A2200A1000W		耐食鏡(2100×1000)	1						1				
汚垂石	AB680BR		薄型平、接着剤(AY31)	2		2								
汚垂石	AB690BR		薄型平、接着剤(AY31)	4	1							2	1	
ベビーチェア		BK-F62	Combi　ベビーキープ・スリムF62、付属品一式	1				1						

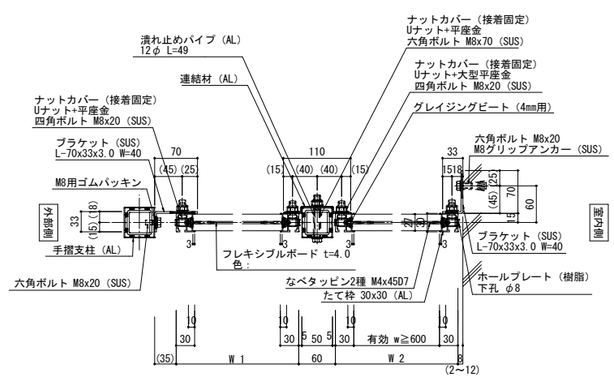
隔て板



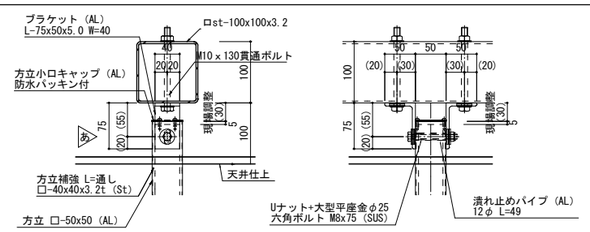
姿　図　S=1/50



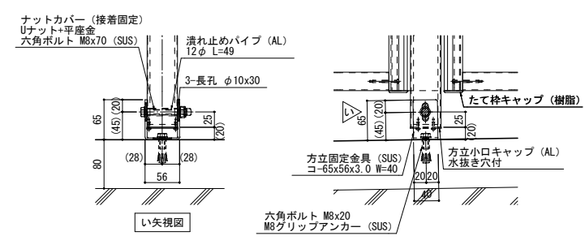
縦断面詳細図　S=1/5



横断面詳細図　S=1/5



あ矢視図



い矢視図

JOBNO

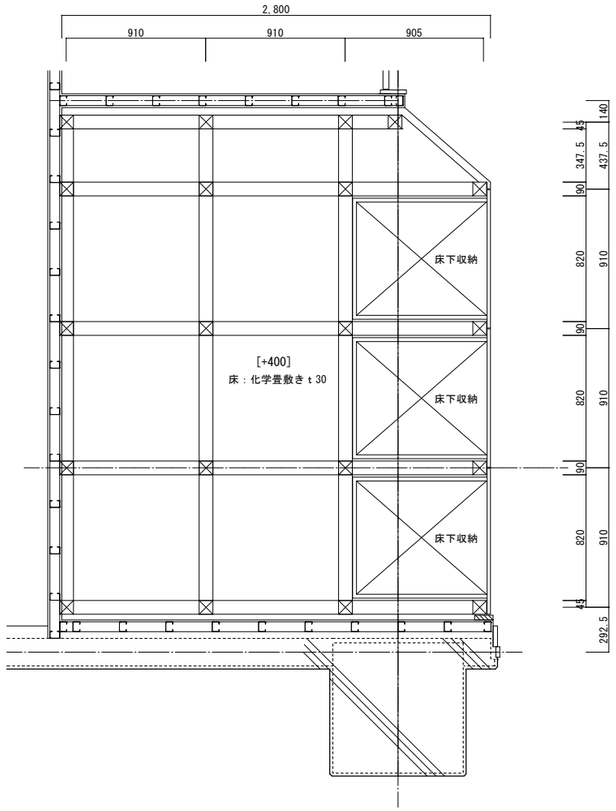
白石消防署庁舎建替工事　【庁舎棟】雑詳細図3　A-70

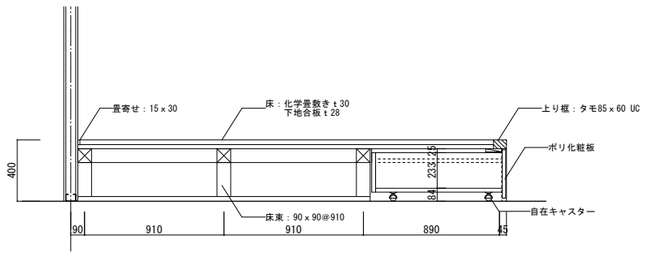
DATE　SCAL (A 1) 1/10, 20 (A 3) 1/20, 40　DRAWN　CHEK

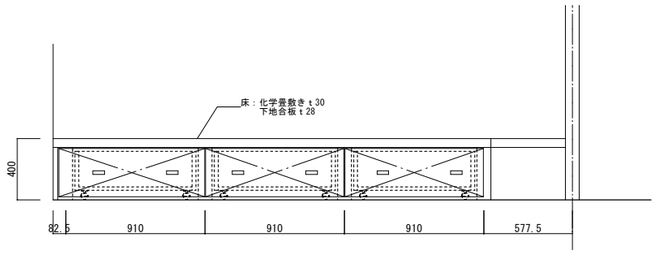
株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号　永野ますみ

小上り詳細図

S=1/20



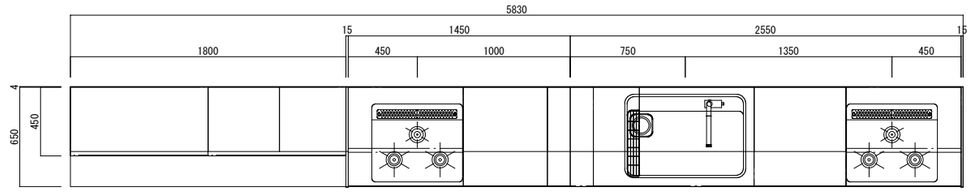




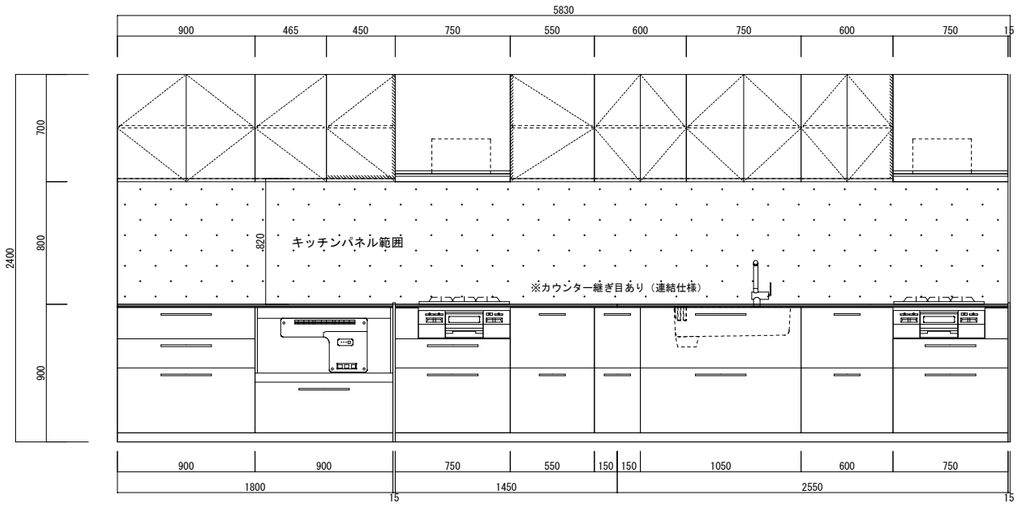
キッチン詳細図

S=1/20

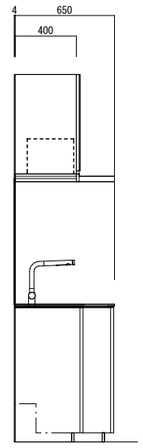
【システムキッチン仕様】
- セパレート型コンロ側カウンター：Ｄ６５０
- Ｉ型キッチンカウンター：Ｄ６５０
- キャビネット
- ガス調理機器
- レンジフード
- キッチンパネル
- 周辺用サブカウンター
- 周辺用キャビネット
- 蒸気排出ユニット
- 人大カウンター接続（つや無）



平面図



正面図



断面図

JOBNO

白石消防署庁舎建替工事

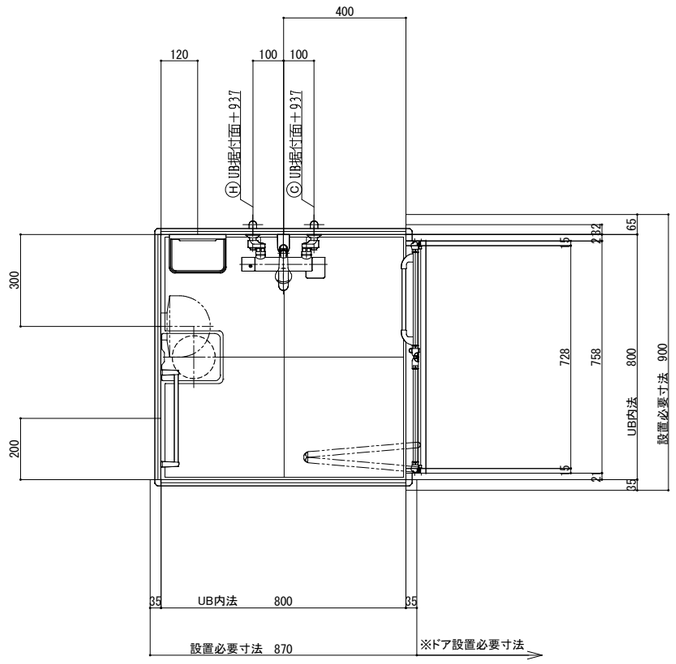
【庁舎棟】雑詳細図4

A-71

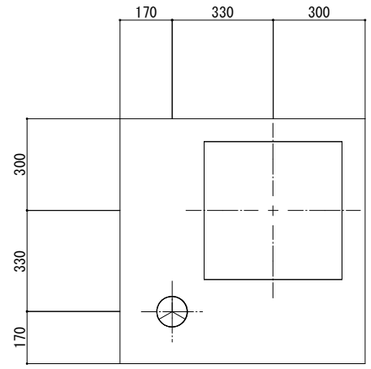
DATE　SCAL (A 1) 1／20 (A 3) 1／40　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所

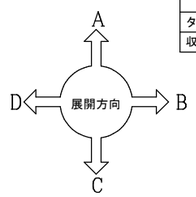
一級建築士 第 357230 号 永野ますみ



平面図 1/10



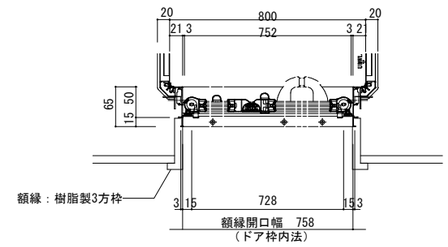
天井伏図 1/10

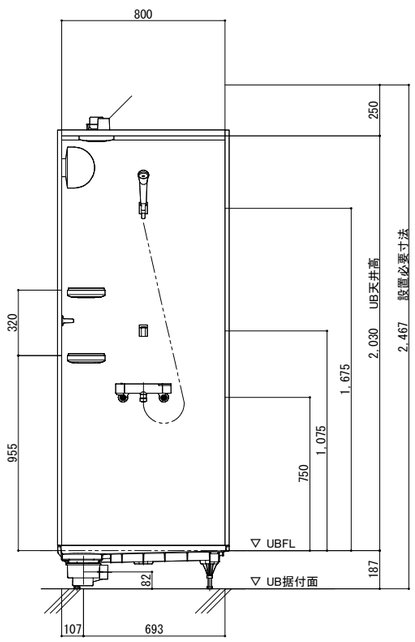


JSV0808UL		コロガシ		
名　称	仕様・寸法	色・柄	特記事項	備　考
天井パネル	化粧鋼板複合パネル（抗菌防カビ仕様・モール式） 点検口口４５０（絞り点検口・落下防止用紐付・ 石膏ボード２枚貼り）	ホワイト		
壁パネル	ＨＱパネル	ベーシスホワイト		
床パネル	ＦＲＰ　カラリ床（単色）	ホワイト（＃ＮＷ１）		HDR37
ドア枠	アルミアルマイト処理	アイボリー	（付枠用取付ネジＵＢ支給、 ネジ取付および付枠別途）	HDR37
ドアパネル	折戸（換気口開閉式）　ドア脱着機構付 面材：型板スチレン板 Ｗ＝８００（有効開口幅　６７１mm）	アイボリー　面材：半透明		HDR37
シャワー水栓	ＴＢＶ０３４３３Ｊ型　壁付サーモスタットシャワー金具 （スパウトＬ＝７０）			
シャワーヘッド	スプレーシャワー　ホース：Ｌ＝１６００	ヘッド：ホワイトグレー　ホース：シルバー		
シャワーハンガー	ＴＨ５５６Ｆ６型	ホワイト		
照明	半球形照明（ＬＥＤランプ） 消費電力９Ｗ以下　６０Ｗ相当　電球色 ＶＶＦ１．６φ×２Ｃ　Ｌ＝２．０m付		（壁穴加工なし） （以降接続別途）	
ジョイントボックス	エコノミージョイント　ＷＪ３１０７相当品		（ジョイントボックスま での配線及びジョイント ボックス内の結線別途）	
換気口	パイプファン AC100V 消費電力:3.2/3.8W (50/60HZ)		（以降接続別途）	IKK85
給水エルボ （シャワー用）	青銅鋳物製　接続口　Ｒｃ１／２		（以降接続別途）	
給湯エルボ （シャワー用）	青銅鋳物製　接続口　Ｒｃ１／２		（以降接続別途）	
排水トラップ	ＡＢＳ樹脂　封水深５０mm　接続口　ＶＰ５０受口 ヘアーキャッチャー付　高圧洗浄対応		（以降接続別途）	
タオル掛け	ステンレスパイプ　φ１３　Ｌ＝３００	ホワイト（＃ＮＷ１）		
収納棚	セパレート収納棚　Ｗ１８５　樹脂製　２個	ライトシルバー		ESE4H

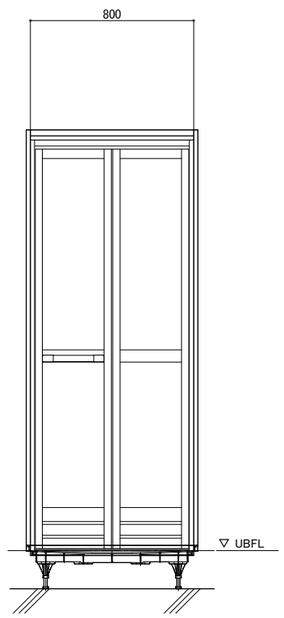
水栓・配管に使用できる水質は、水道水および飲用可能な井戸水です。それ以外（井戸水、温泉水など）は、その水質によって配管を傷め、腐食による水漏れの原因となるため、設置前に水道関連法令に定める飲料用水質基準に適合していることをご確認ください。

＊各器具の穴加工・補強は現場加工となります。

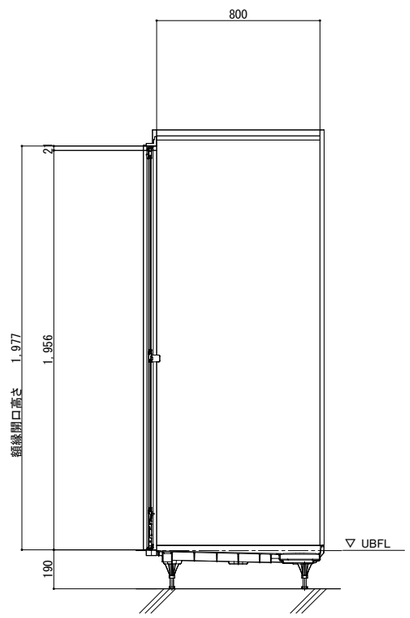




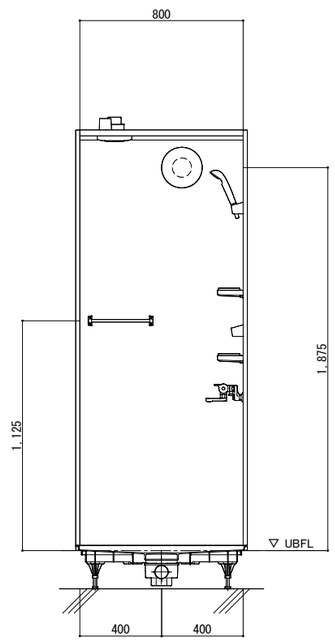
A展開 1/15



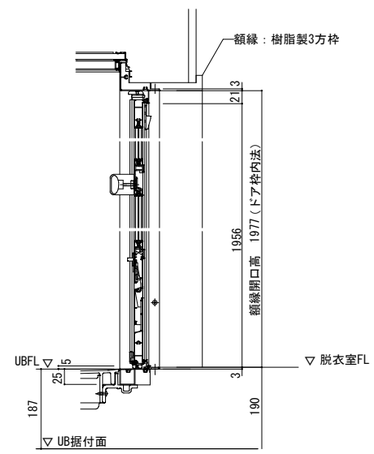
B展開 1/15



C展開 1/15



D展開 1/15



JOBNO

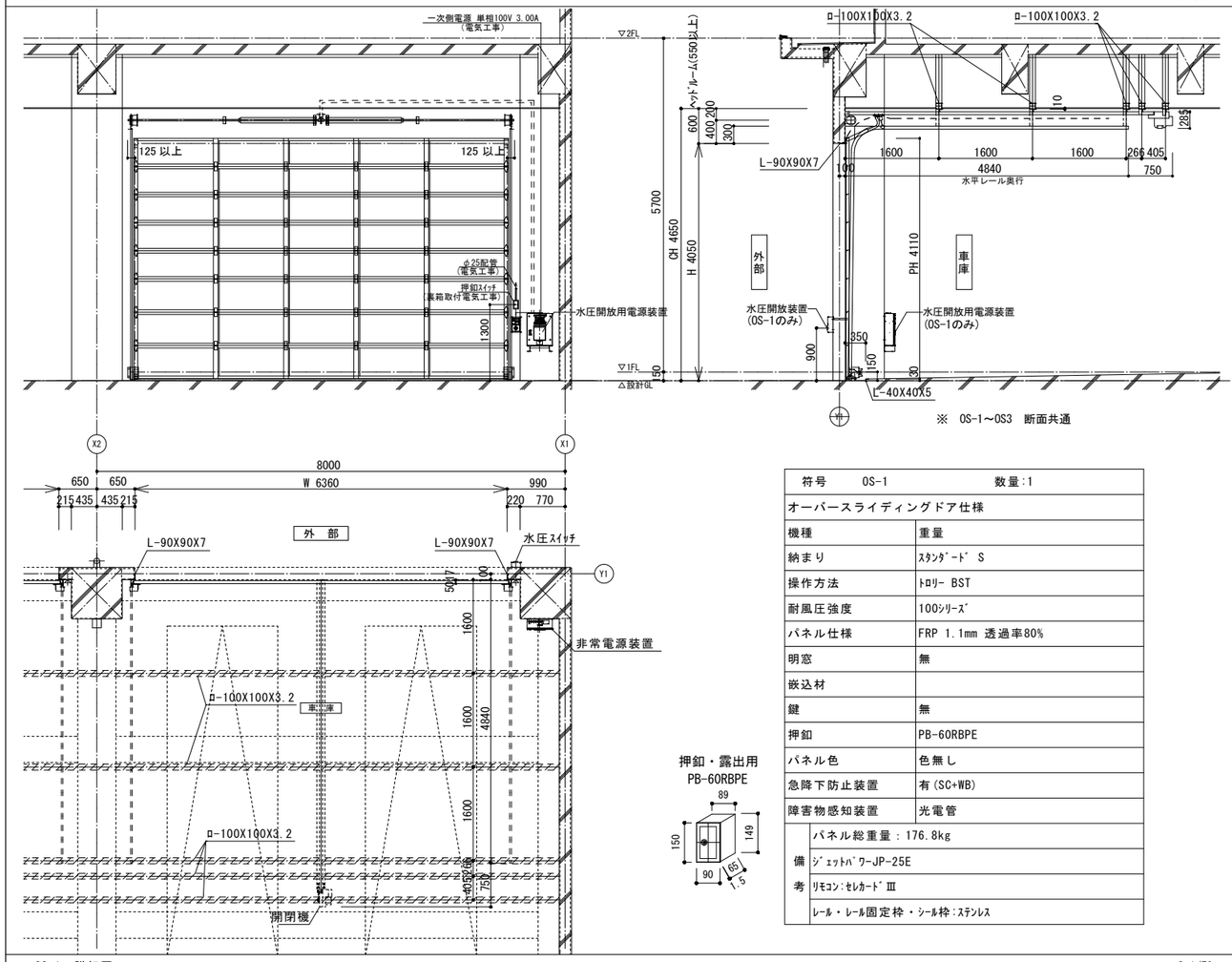
白石消防署庁舎建替工事　【庁舎棟】シャワーユニット詳細図　A-72

DATE　SCAL (A 1) 1／10、15　(A 3) 1／20、30　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士　第 357230 号　永野ますみ

OS-1 詳細図

S=1/50



※ OS-1～OS3 断面共通

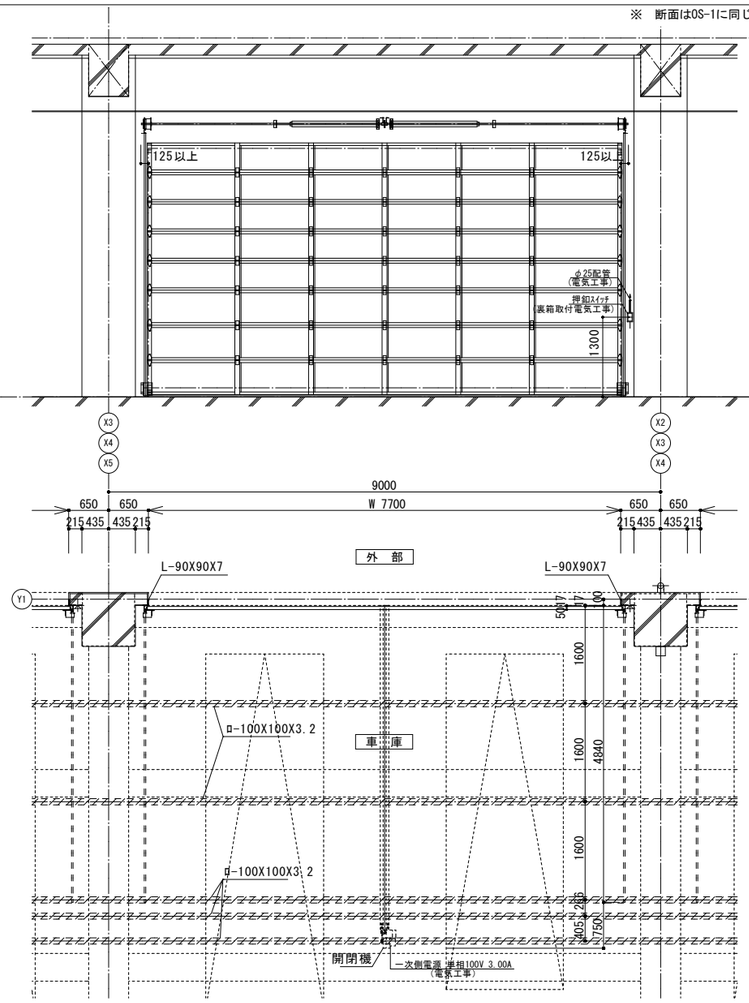
符号	OS-1	数量:1
オーバースライディングドア仕様		
機種	重量	
納まり	ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ S	
操作方法	ﾄﾛﾘｰ BST	
耐風圧強度	100ｼﾘｰｽﾞ	
パネル仕様	FRP 1.1mm 透過率80%	
明窓	無	
嵌込材		
鍵	無	
押釦	PB-60RBPE	
パネル色	色無し	
急降下防止装置	有(SC+WB)	
障害物感知装置	光電管	
備考	パネル総重量 : 176.8kg	
	ｼﾞｪｯﾄﾊﾟﾜｰJP-25E	
	ﾘﾓｺﾝ:ｾﾚｶｰﾄﾞⅢ	
	ﾚｰﾙ・ﾚｰﾙ固定枠・ｼｰﾙ枠:ｽﾃﾝﾚｽ	

押釦・露出用
PB-60RBPE

OS-2 詳細図

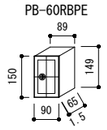
S=1/50

※ 断面はOS-1に同じ



符号	OS-2	数量:3
オーバースライディングドア仕様		
機種	重量	
納まり	ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ S	
操作方法	ﾄﾛﾘｰ BST	
耐風圧強度	100ｼﾘｰｽﾞ	
パネル仕様	FRP 1.1mm 透過率80%	
明窓	無	
嵌込材		
鍵	無	
押釦	PB-60RBPE	
パネル色	色無し	
急降下防止装置	有(SC+WB)	
障害物感知装置	光電管	
備考	パネル総重量 : 271.7kg	
	ﾘﾓｺﾝ:ｾﾚｶｰﾄﾞⅢ	
	ﾚｰﾙ・ﾚｰﾙ固定枠・ｼｰﾙ枠:ｽﾃﾝﾚｽ	

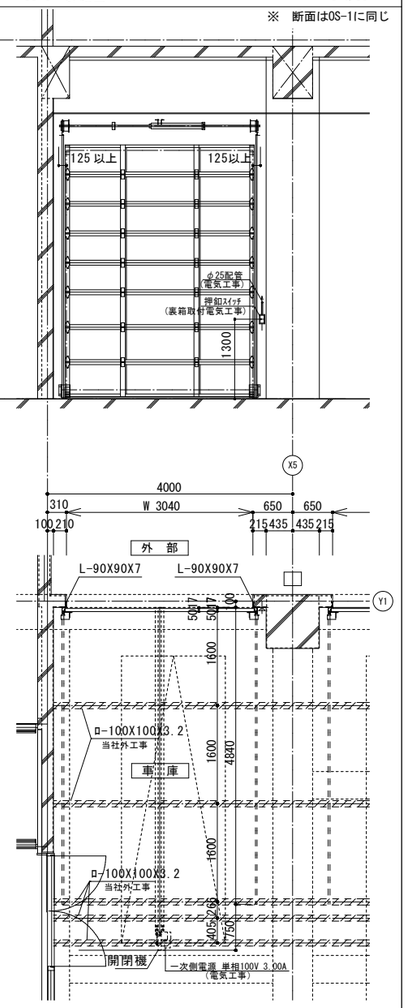
押釦・露出用
PB-60RBPE



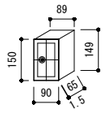
OS-3 詳細図

S=1/50

※ 断面はOS-1に同じ



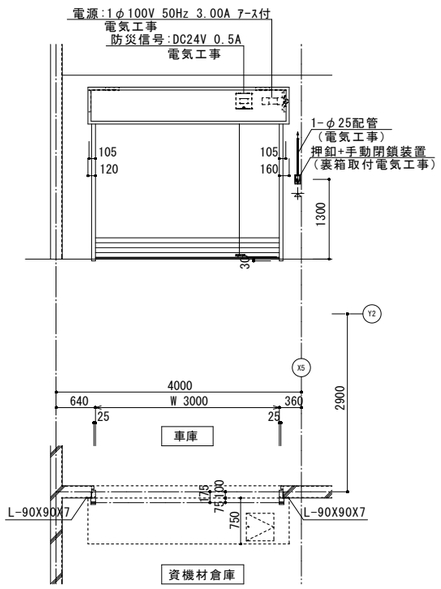
押釦・露出用
PB-60RBPE

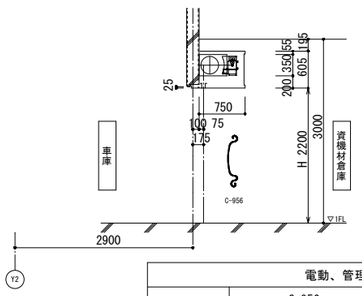


符号	OS-3	数量:1
オーバースライディングドア仕様		
機種	重量	
納まり	ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ S	
操作方法	ﾄﾛﾘｰ BST	
耐風圧強度	100ｼﾘｰｽﾞ	
パネル仕様	FRP 1.1mm 透過率80%	
明窓	無	
嵌込材		
鍵	無	
押釦	PB-60RBPE	
パネル色	色無し	
急降下防止装置	有(WB)	
障害物感知装置	光電管	
備考	パネル総重量 : 82.8kg	
	ﾘﾓｺﾝ:ｾﾚｶｰﾄﾞⅢ	
	ﾚｰﾙ・ﾚｰﾙ固定枠・ｼｰﾙ枠:ｽﾃﾝﾚｽ	

SS-1 詳細図

S=1/50





押釦・手動閉鎖装置
埋込用
EHE-1UBC-SH

電動、管理、特定防火設備					
スラット	C-956		開閉機	型 式	EGLM-30T
	St-1.6mm			手動時	ハンドル
ケース	ストレート		連動中継器		SRB-1SH-D
シャフト	5B-3030		自動閉鎖装置		MCA-60B-LS
ブラケット	Dサイド	BRL-175-30	ハーネス		L-4
	Fサイド	BRL-175-30			-
非常時安全装置	有り		押釦・手動閉鎖装置		EHE-1UBC-SH
障害物感知装置	コードリール				-
			増設リミットSW		無し
概算重量 340kg					

JOBNO

白石消防署庁舎建替工事 【庁舎棟】オーバースライディングドア詳細図 A-73

DATE SCAL (A 1) 1/ 50 (A 3) 1/ 100 DRAWN CHEK

株式会社 構 建築設計事務所 一級建築士 第 357230 号 永野ますみ

１．システム概要

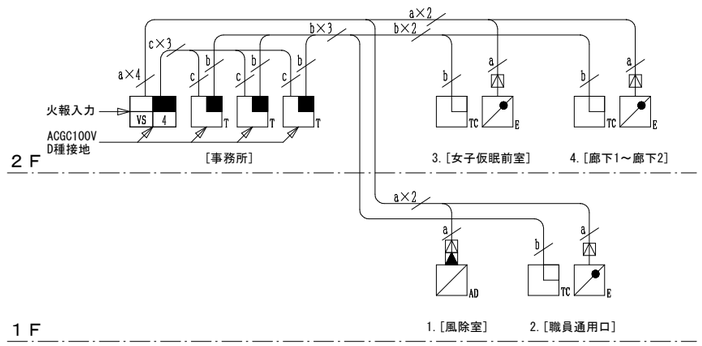
本システムは電気錠扉３箇所、オートドア制御器１箇所を対象とします。
・入館、入室制限を行う電気錠扉脇にはマジカルテンキー操作器を設置し、登録された暗証番号を入力することで電気錠を解錠します。
　オートドア制御器には無電圧a接点を出力します。
※他社との連動に関しては、別途打ち合せが必要です。

（１）2F事務室に多回線電気錠制御盤(BAN-VS4)を１台設置し、接続される電気錠扉、オートドアを集中して制御・監視・操作します。(オートドアは、監視・操作のみです)
　　多回線電気錠制御盤(BAN-VS4)は、
（１）各扉の状態(扉の開閉、施解錠、警報)を操作盤面上に表示します。
（２）盤面操作により、各扉(電気錠、オートドア)を個別に解錠/施錠/一回解錠できます。
（３）盤面操作により、制御している扉(電気錠、オートドア)を一斉に解錠/施錠できます。
（４）火報盤からの火災発報信号により、制御している扉(電気錠)を一斉に解錠します。
　　復旧は、火報入力が切れた後、操作盤面上の各回線の施錠ボタンを押すことで行います。
　　※オートドアに関しては、別途打ち合せが必要です。
（５）扉付近に設置されているマジカルテンキー操作器に正しい暗証番号を入力すると、該当扉(電気錠)が解錠し、
　　扉を開けて、閉めると施錠します。扉を開けなくても、設定時間が経過すると自動的に施錠します。(Aモード)
（６）オートドアに関しては、「電気錠扉の施錠/解錠」を「オートドア制御器に対する接点出力のOFF/ON」と読み替えます。
　　オートドア制御器に対する接点出力ONの時、信号(無電圧接点信号 瞬時ﾒｰｸ(DC30V 0.3A以内))を出力します。
※LTEによる無線通信機能を内蔵しており、自動でソフトウェアのアップデートが可能です。
　LTEによる無線通信ができない場所に設置する場合は、弊社ホームページよりアップデートファイルをダウンロードし、アップデートしてください。

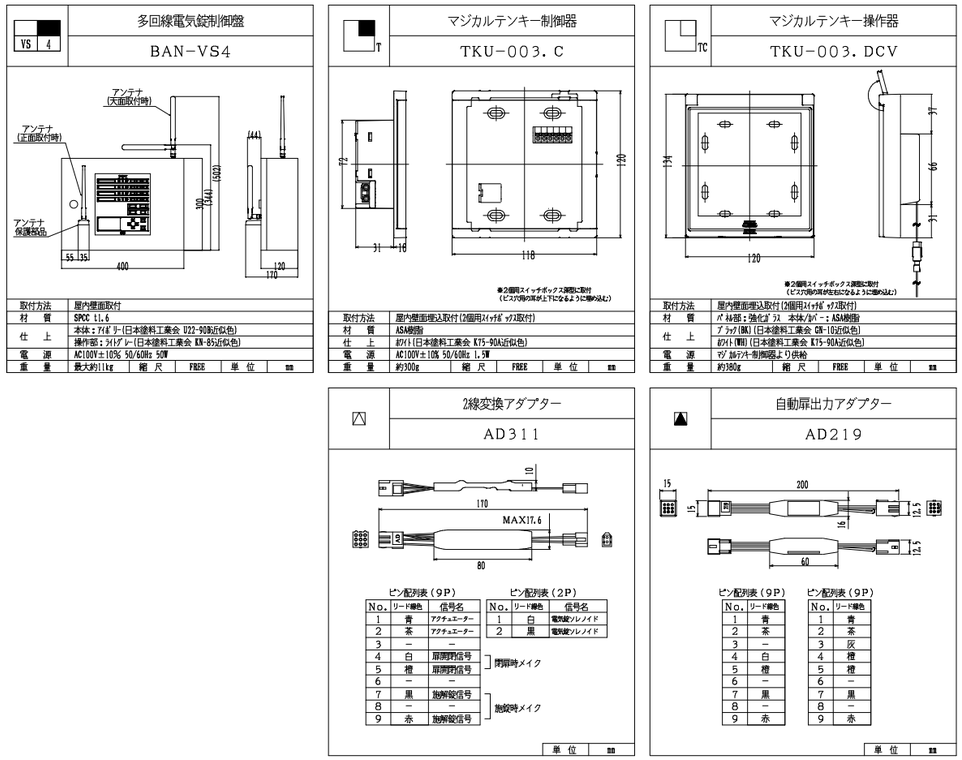
（２）2F事務室にマジカルテンキー制御器(TKU-003.C)を３台設置します。
　　マジカルテンキー制御器(TKU-003.C)は、
（１）２～１２桁９種類の暗証番号が設定できます。
（２）テンキー操作器からの入力データを照合し、照合一致結果を外部機器へ信号(無電圧a接点 DC24V 0.1A以内)出力します。
（３）停電時には作動しませんが、登録された暗証番号が消えることはありません。

（３）テンキーによる入館、入室制限をする扉脇には、マジカルテンキー操作器(TKU-003.DCV)を設置します。
　　マジカルテンキー操作器(TKU-003.DCV)は、
（１）２～１２桁の正しい暗証番号を入力することで、テンキー制御器へ入力データを送ります。
（２）暗証番号入力時に、毎回テンキー表示位置が移動するため、特定の場所に指紋がついたり、摩耗することを防ぎます。
（３）数字配列は電話機数字配列またはランダムで表示されます。
（４）間違った暗証番号を５回連続して入力すると電子音の警報が約１０秒間鳴動します。
　　そして以後、３分間は暗証番号の入力操作ができなくなります。
（５）テンキーのLED輝度、ブザー音を調整することができます。
（６）機からテンキー表示が見えにくいのぞき見防止機能を備えています。
　　※のぞき見防止機能の効果は周囲の明るさや操作表示機のLEDの輝度設定により変化します。

２．システム系統図



３．外観図



凡 例

- VS 4　多回線電気錠制御盤 BAN-VS4
- T　ﾏｼﾞｶﾙﾃﾝｷｰ制御器 TKU-003.C
- TC　ﾏｼﾞｶﾙﾃﾝｷｰ操作器 TKU-003.DCV
- 2線変換ｱﾀﾞﾌﾟﾀｰ AD311
- 自動扉出力ｱﾀﾞﾌﾟﾀｰ AD219
- E　電気錠 錠種未定
- AD　ｵｰﾄﾄﾞｱ制御器（美和ロック責任範囲外）
- a　(F)CPEV-S 1.2-2P 配線距離は表１参照
- b　(F)CPEV-S 0.9-2P 配線距離は表２参照
- c　(F)CPEV 0.9-2P 配線距離は100mまで

配線は予備線を含む。
配管・配線・電源は別途工事。

表１

配線距離
適用：BAN-VS4, BAN-VS8, BAN-VS12B, BAN-VS16B
　　BAN-VS20B, BAN-VS24B, BAN-VS28B, BAN-VS32B

線径 ＼ 電気ｽﾄﾗｲｸ電気錠	電気錠～制御盤間 (m)				
	ASE	AL4M ALN AFG	ALA ANS ALG50 AUS	AMS, AUT/R(A), AEPT ALGT/R50, APPT/R(A) APBT/R, EM2L600 EL-101, AST/R, AD219	ASZ
DENｺｰﾄﾞ9C (断面積 0.3 mm2)	10	20	30	40	60
0.65 mm	20	25	50	60	75
0.9 mm	40	40	80	120	120
1.2 mm	60	60	120	180	180
1.6 mm相当	100	100	190	300	300
2.0 mm相当	160	160	300	480	480

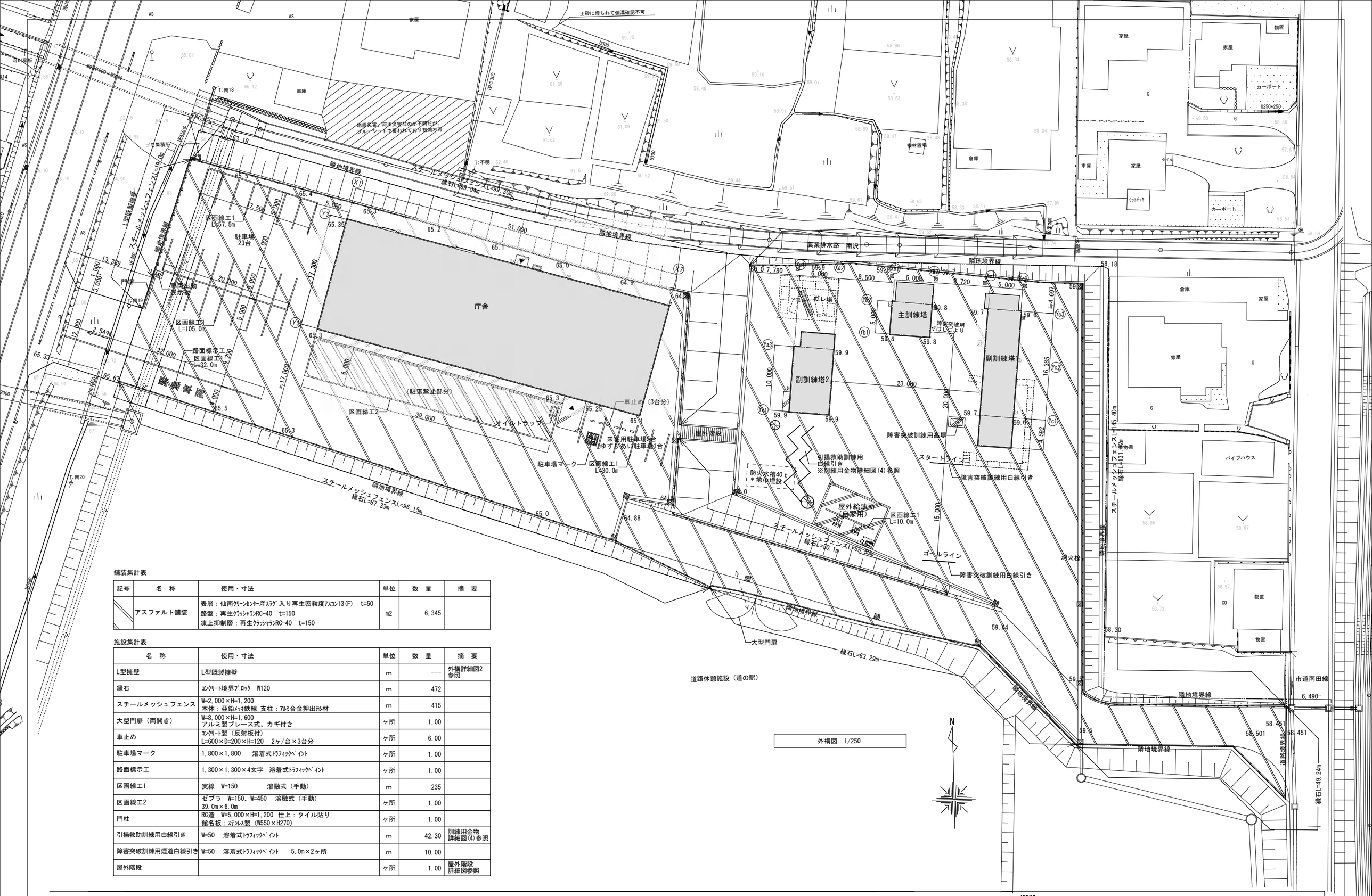
表２

配線距離
適用:TKU-003.C, BAN-OP.TK2, BAN-D.TKU2
　～TKU-003.D(DCV)

操作器～制御器	
線径 (mm)	距離 (m)
0.65 AWG22相当	50
0.9 AWG19相当	100
1.2 AWG16相当(*)	180

＊旧操作器と組み合わせる場合100mまで。

JOBNO
白石消防署庁舎建替工事　【庁舎棟】入退出システム図
DATE　SCAL (A 1) 1／－　(A 3) 1／－　DRAWN　CHEK　A-74
株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号　永野ますみ



舗装集計表

記号	名　称	使用・寸法	単位	数　量	摘　要
	アスファルト舗装	表層：仙南ｸﾘｰﾝｾﾝﾀｰ産ｽﾗｸﾞ入り再生密粒度ｱｽｺﾝ13(F)　t=50 路盤：再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝRC-40　t=150 凍上抑制層：再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝRC-40　t=150	m2	6,345	

施設集計表

名　称	使用・寸法	単位	数　量	摘　要
L型擁壁	L型既製擁壁	m	---	外構詳細図2参照
縁石	ｺﾝｸﾘｰﾄ境界ﾌﾞﾛｯｸ　W120	m	472	
スチールメッシュフェンス	W=2,000×H=1,200 本体：亜鉛ﾒｯｷ鉄線 支柱：ｱﾙﾐ合金押出形材	m	415	
大型門扉（両開き）	W=8,000×H=1,600 アルミ製ブレース式、カギ付き	ヶ所	1.00	
車止め	ｺﾝｸﾘｰﾄ製（反射板付） L=600×D=200×H=120　2ヶ/台×3台分	ヶ所	6.00	
駐車場マーク	1,800×1,800　溶着式ﾄﾗﾌｨｯｸﾍﾟｲﾝﾄ	ヶ所	1.00	
路面標示工	1,300×1,300×4文字　溶着式ﾄﾗﾌｨｯｸﾍﾟｲﾝﾄ	ヶ所	1.00	
区画線工1	実線　W=150　溶融式（手動）	m	235	
区画線工2	ゼブラ　W=150、W=450　溶融式（手動） 39.0m×6.0m	ヶ所	1.00	
門柱	RC造　W=5,000×H=1,200　仕上：タイル貼り 館名板：ｽﾃﾝﾚｽ製（W550×H270）	ヶ所	1.00	
引揚救助訓練用白線引き	W=50　溶着式ﾄﾗﾌｨｯｸﾍﾟｲﾝﾄ	m	42.30	訓練用金物詳細図(4)参照
障害突破訓練用煙道白線引き	W=50　溶着式ﾄﾗﾌｨｯｸﾍﾟｲﾝﾄ　5.0m×2ヶ所	m	10.00	
屋外階段		ヶ所	1.00	屋外階段詳細図参照

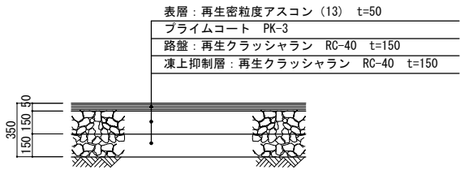
JOBNO

白石消防署庁舎建替工事　外構図　A-75

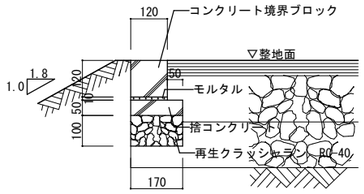
DATE　SCAL (A 1) 1／250 (A 3) 1／500　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号　永野ますみ

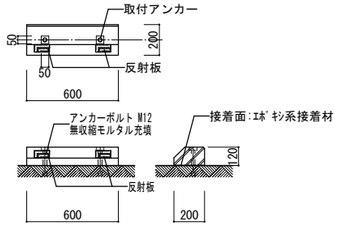
アスファルト舗装　S=1/20



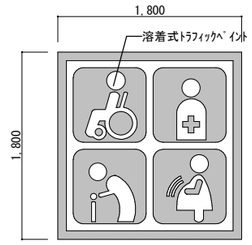
縁石　S=1/10



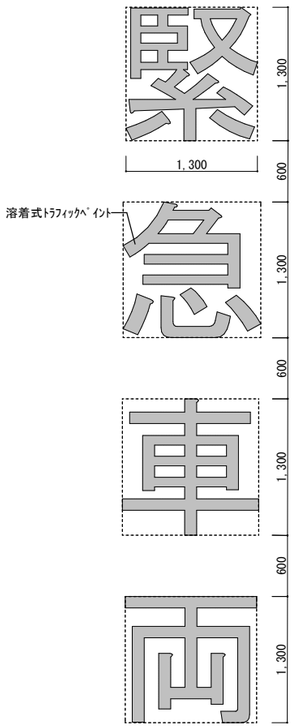
車止め　S=1/20



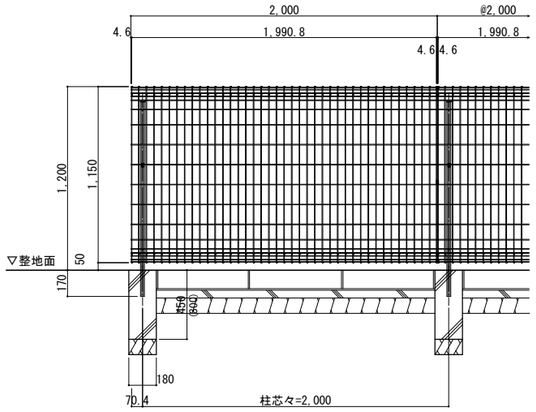
駐車場マーク　S=1/30

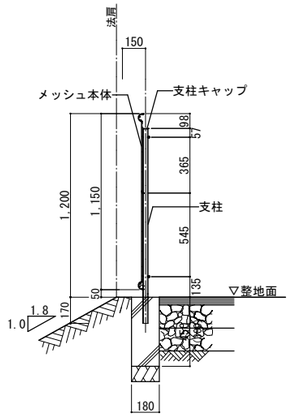


路面標示工　S=1/30

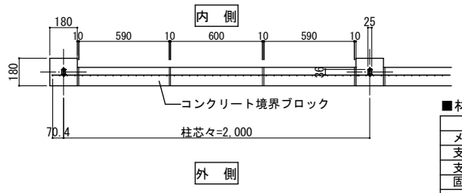


スチールメッシュフェンス　S=1/20、1/5

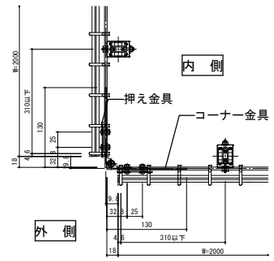




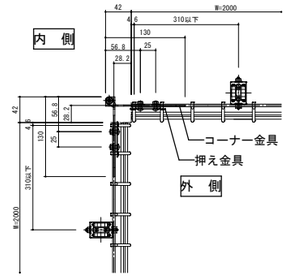
（　）は　西側擁壁に面する基礎寸法



■コーナー部詳細図



【出隅　S=1/5】

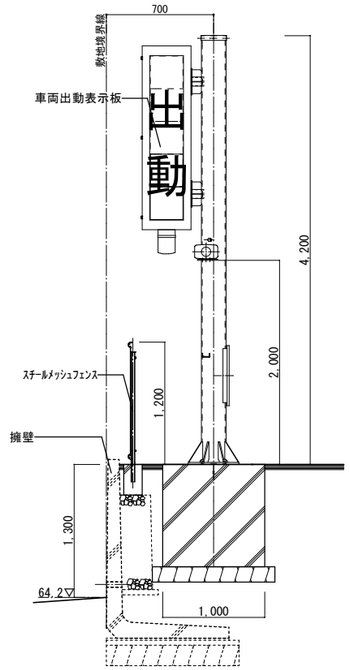


【入隅　S=1/5】

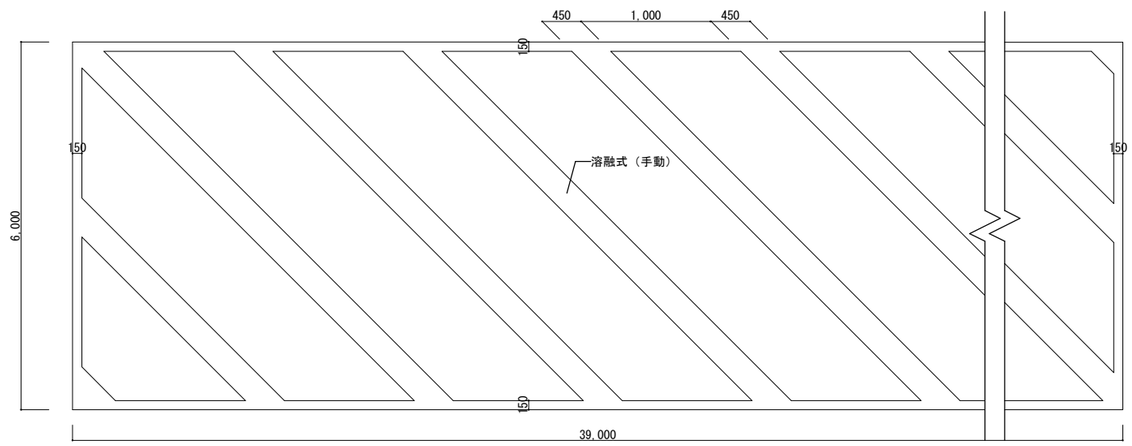
■材質仕様書

名　称	材　質
メッシュ本体	亜鉛めっき鉄線
支柱	アルミニウム合金押出形材
支柱キャップ	樹脂
固定金具	ステンレス
コーナー金具	溶融亜鉛めっき鋼板
押え金具	溶融亜鉛めっき鋼板
ボルト等	ステンレス

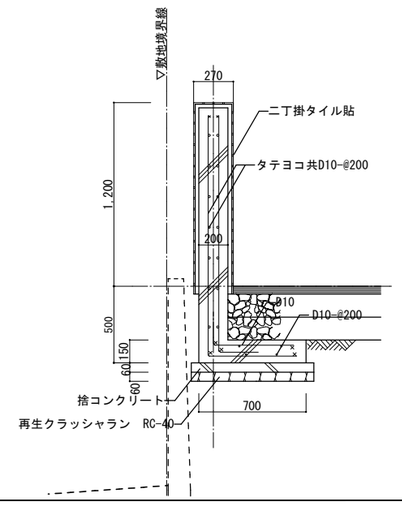
出動表示板　S=1/30

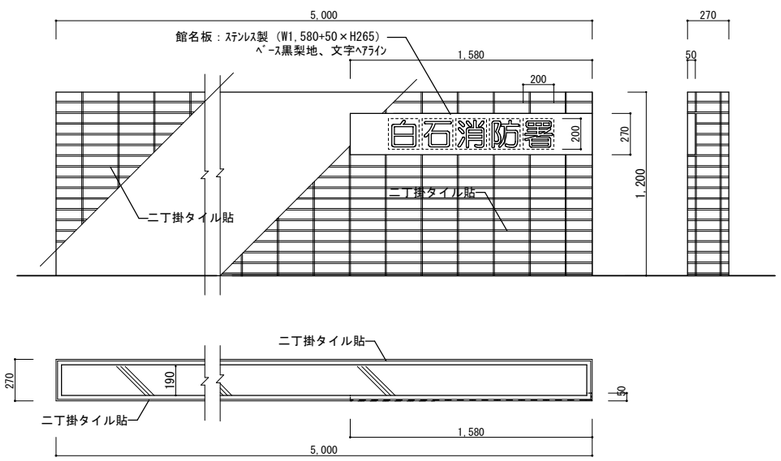


区画線工2　S=1/50



門塀　S=1/20





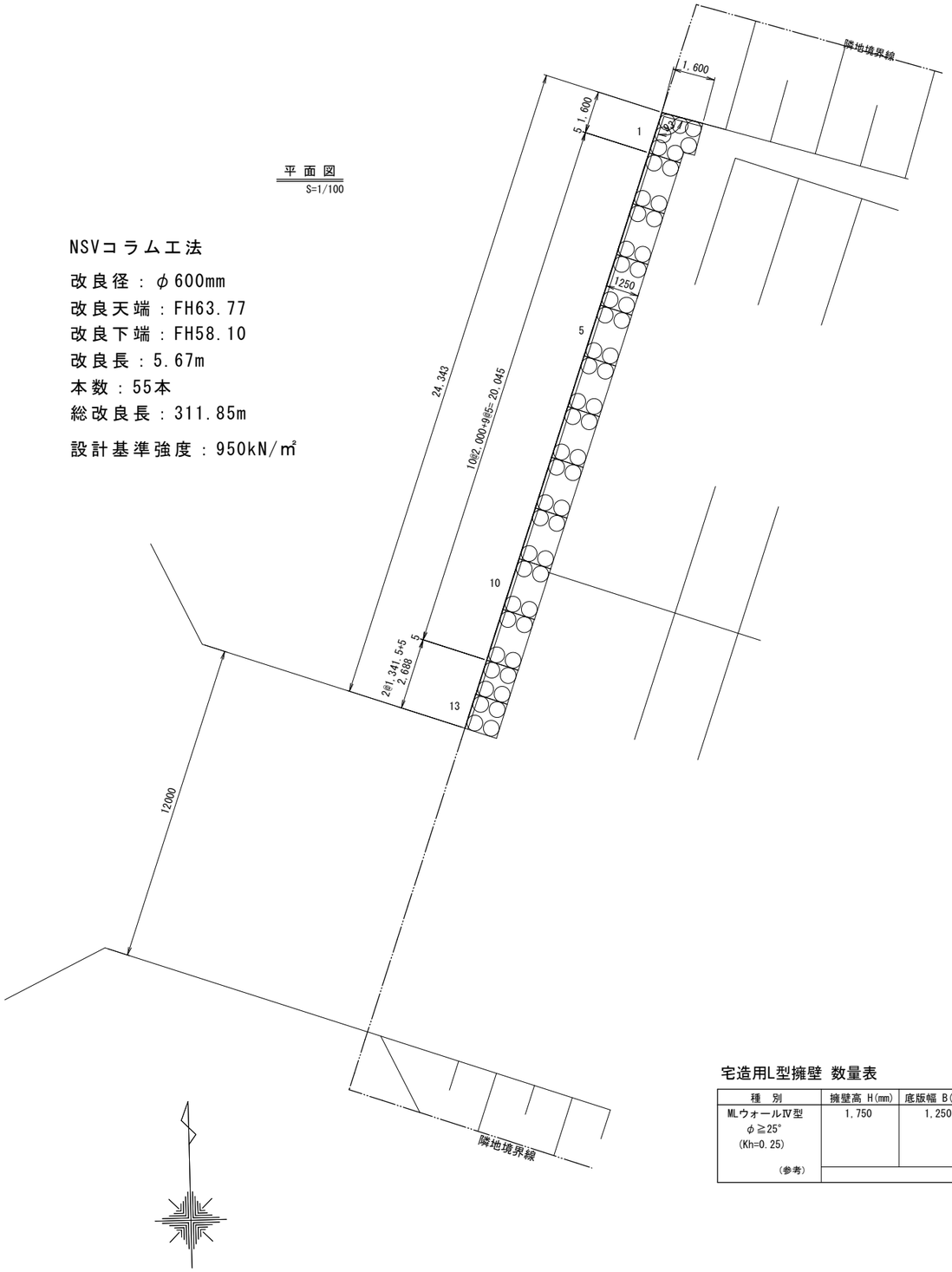
JOBNO

白石消防署庁舎建替工事　外構詳細図　A-76

DATE　SCAL (A 1) 1/5,10,20,30,50 (A 3) 1/10,20,40,60,400　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士　第 357230 号　永野ますみ

平面図
S=1/100

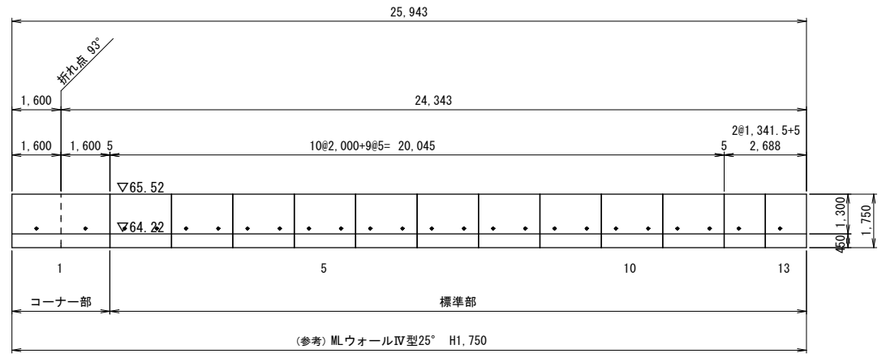


NSVコラム工法

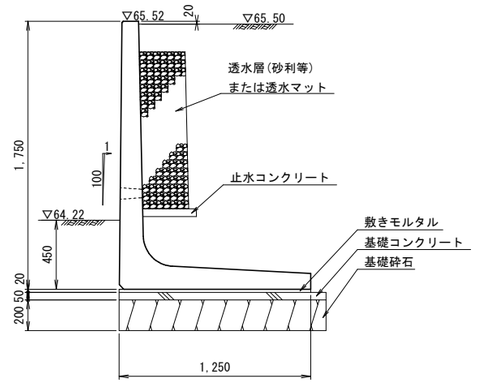
改良径：φ600mm
改良天端：FH63.77
改良下端：FH58.10
改良長：5.67m
本数：55本
総改良長：311.85m

設計基準強度：950kN/㎡

展開図
S=1/100



断面図
S=1/20



宅造用L型擁壁 数量表

種　別	擁壁高 H(mm)	底版幅 B(mm)	製品長 L(mm)	本数	参考質量(kg)	割付No.	備　考
MLウォールⅣ型 φ≧25° (Kh=0.25)	1,750	1,250	2,000	10	1,880	No.2～11	水抜穴高=625(標準)
			1,342	2	1,261	No.12,13	水抜穴高=625(標準)
			1,600+1,600	1	2,777	No.1	水抜穴高=625(標準) 93° コーナー
(参考)			合計	13			

JOBNO

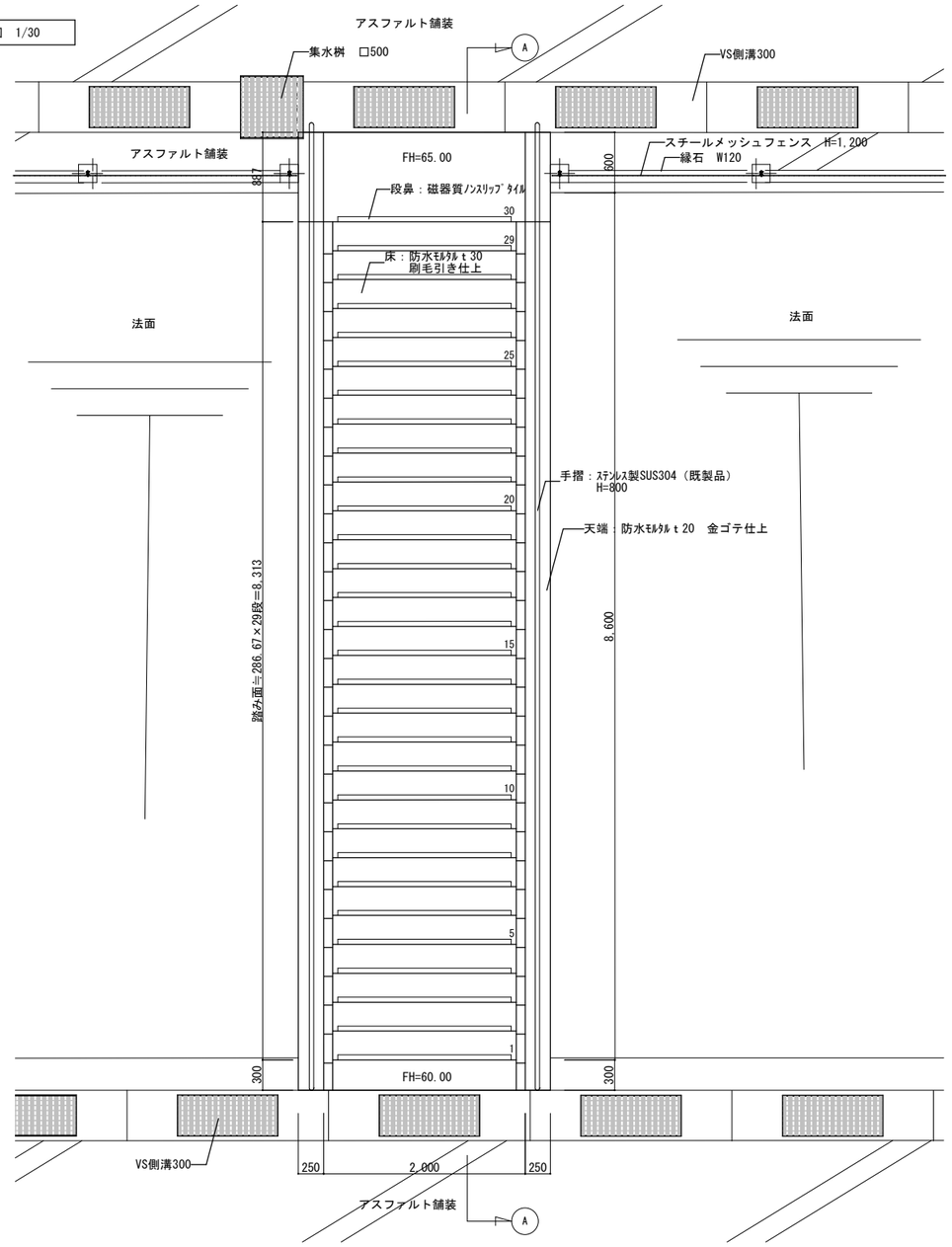
白石消防署庁舎建替工事　　L型擁壁詳細図　A-77

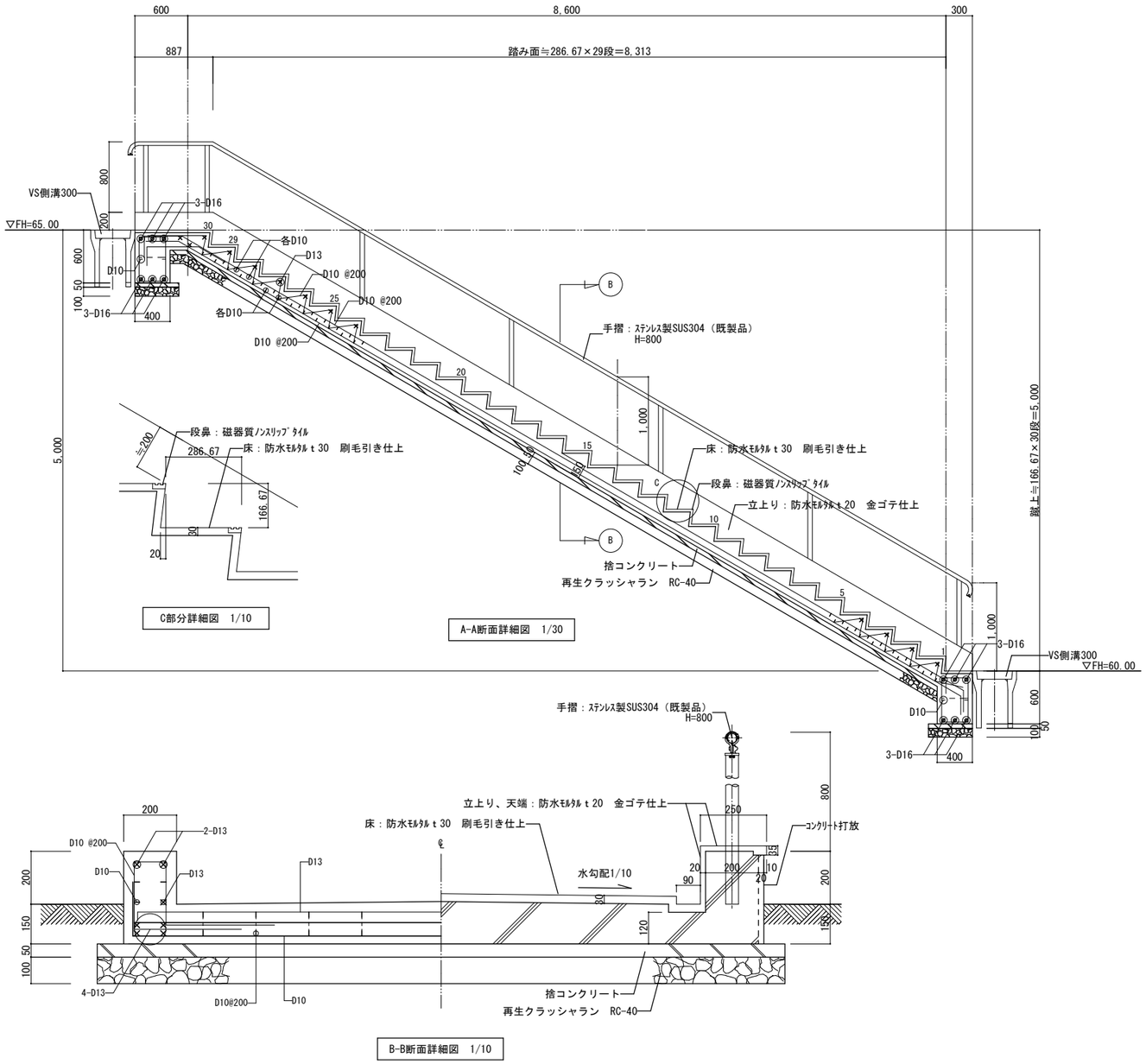
DATE　SCAL (A 1) 1/20, 100 (A 3) 1/40, 200　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号　永野ますみ

屋外階段詳細図　　S=1/10、30

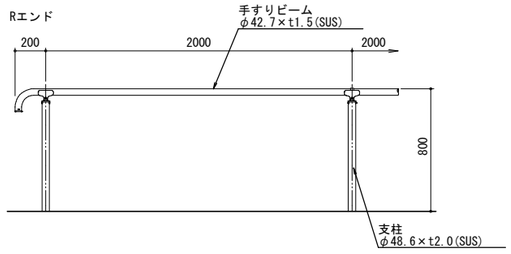
平面図　1/30



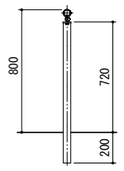


B-B断面詳細図　1/10

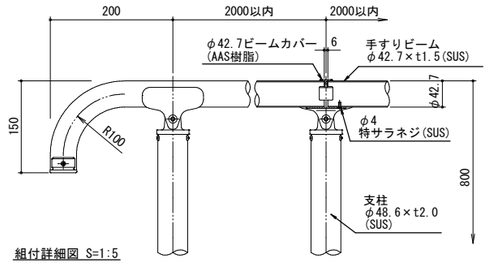
手摺詳細図　　S=1/5、20



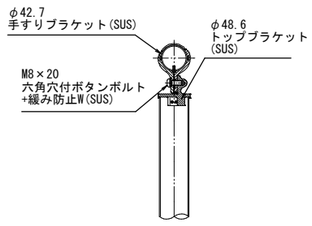
正面図 S=1:20



側面図 S=1:20



組付詳細図 S=1:5



部材	サイズ	材質	表面処理
支柱	φ48.6×t2.0	ステンレス SUS304	バフ研磨 #400
手すりビーム	φ42.7×t1.5		
ブラケット類	-	ステンレス鋳物 SCS13	電解研磨
Sエンドキャップ	-	アルミ合金鋳物 AC4C	焼付塗装（シルバー）
ビームカバー	-	AAS樹脂	

JOBNO

白石消防署庁舎建替工事　　屋外階段詳細図　A-78

DATE　SCAL (A 1) 1/5,10,20,30 (A 3) 1/10,20,40,60　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士　第 357230 号　永野ますみ

【表示例】

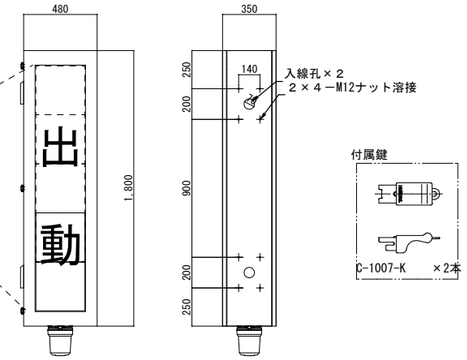
【1】 【2】 【3】

火災予防運動実施中

みんなで火災をなくそう

9月9日 救急の日 救急医療週間 実施

※表示は下から上へのスクロール

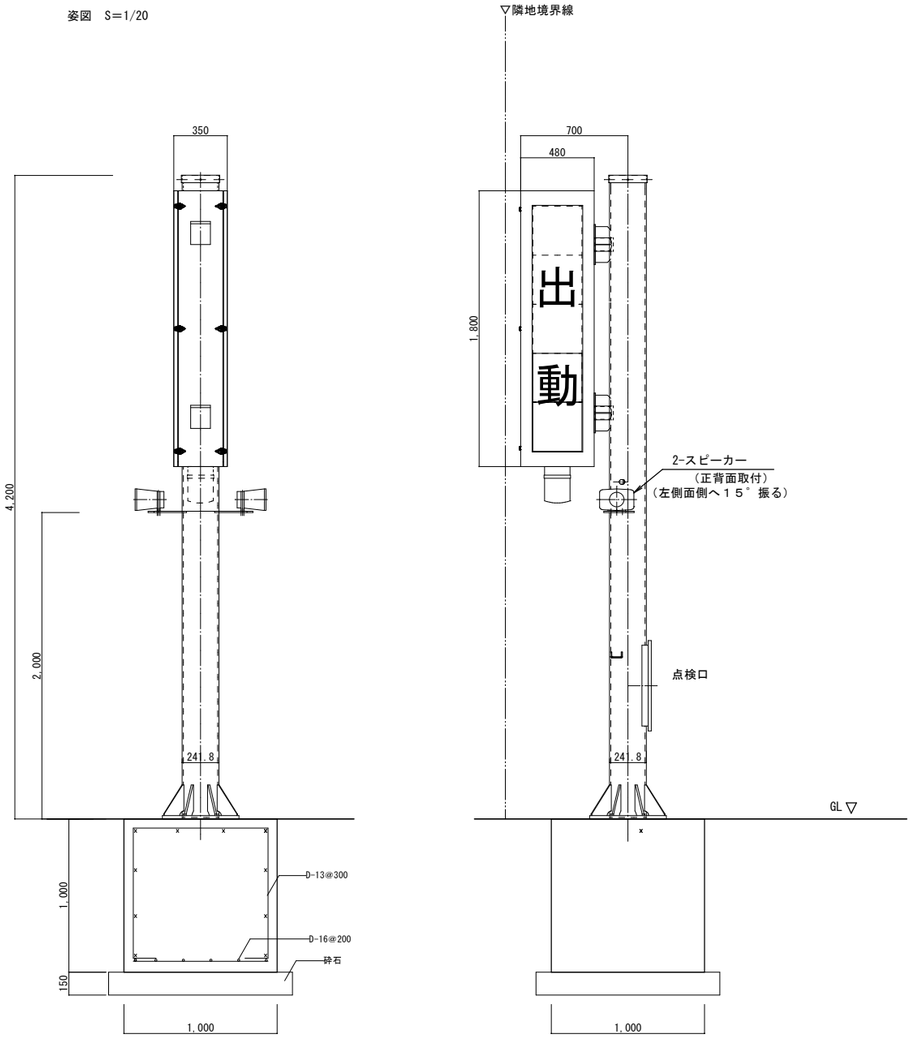


付属鍵

仕 様

形 状：	屋外防雨型
材 質：	鋼板製
塗 装：	2.5Y 9/1 クリーム（半艶）
表示部：両面表示	
表示部：16×１６ドット320角 2色混合発光表示LEDユニット	
表示色：	赤・緑・ダイダイ による3色表示
	無反射アクリル板付き
質 量：	約120ｋｇ以下
使用電源：AC100V ５０／６０Hz	
消費電力：300VA以下（接続機器を除く）	

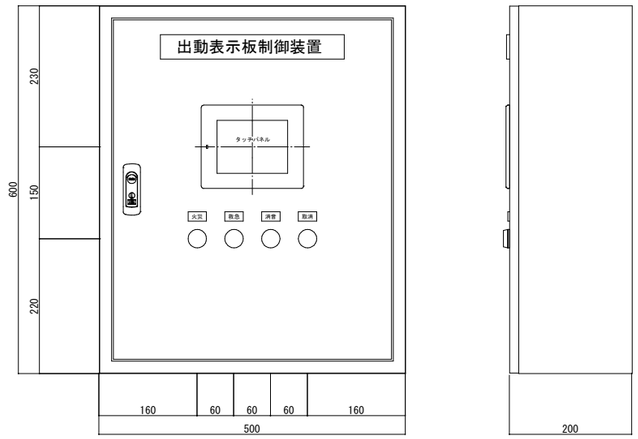
姿図 S＝1/20



鋼管柱仕様：

１）鋼管はＳＴＫ４００，鋼材，鋼板はＳＳ４００材を使用する
2）本体は，溶融亜鉛鍍金（HDZ－55）仕上げとする

出動表示制御装置 S＝1/5



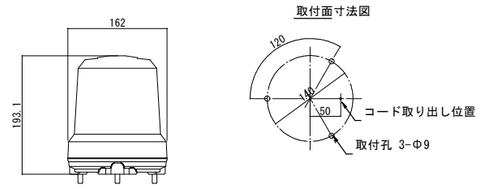
名称板：1.名称 「出動表示板制御装置」
2.書体 裏掘り 丸ゴシック
3.書体色 黒
4.材質 アクリル
5.寸法 W=300 H=40

仕 様

形 状：	屋内壁付型
材 質：	鋼板製 ｔ１．６
塗装色：	2.5Y9/1 クリーム ５分艶
電 源：	ＡＣ１００Ｖ±１０％ ５０／６０Ｈｚ
	タッチパネル内臓（標語6パターンを切り替え）
消費電力：	100VA以下
質 量：	約35Kg以下
台 数：	１台

※取り付け方法別途打ち合わせ

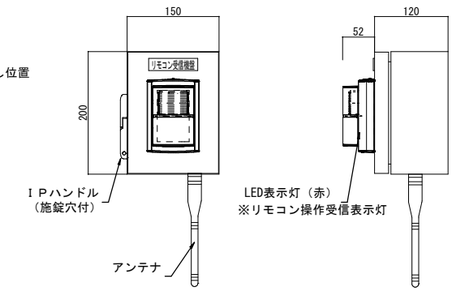
LED回転灯 S＝1/5



仕 様

形 状	：屋外防雨型
材 質	：ケース：ABS グローブ：PC樹脂製
閃 光 数	：105±16回／分
定 格 入 力	AC100V/11W
光 度	：赤色：1500cd以上
質 量	：1.1Kｇ
台 数	：1台

リモコン受信機盤 S＝1/5

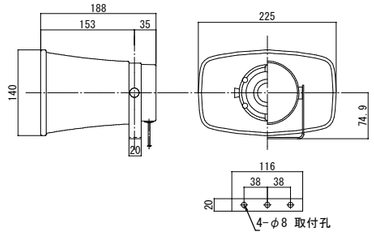


仕 様

形 状	屋外防雨型
材 質	鋼板製 ｔ1.6
塗 装	2.5Y9/1 クリーム ５分艶
質 量	5.0Kｇ
台 数	台

※取り付け方法別途打ち合わせ

スピーカー S＝1/5



仕 様

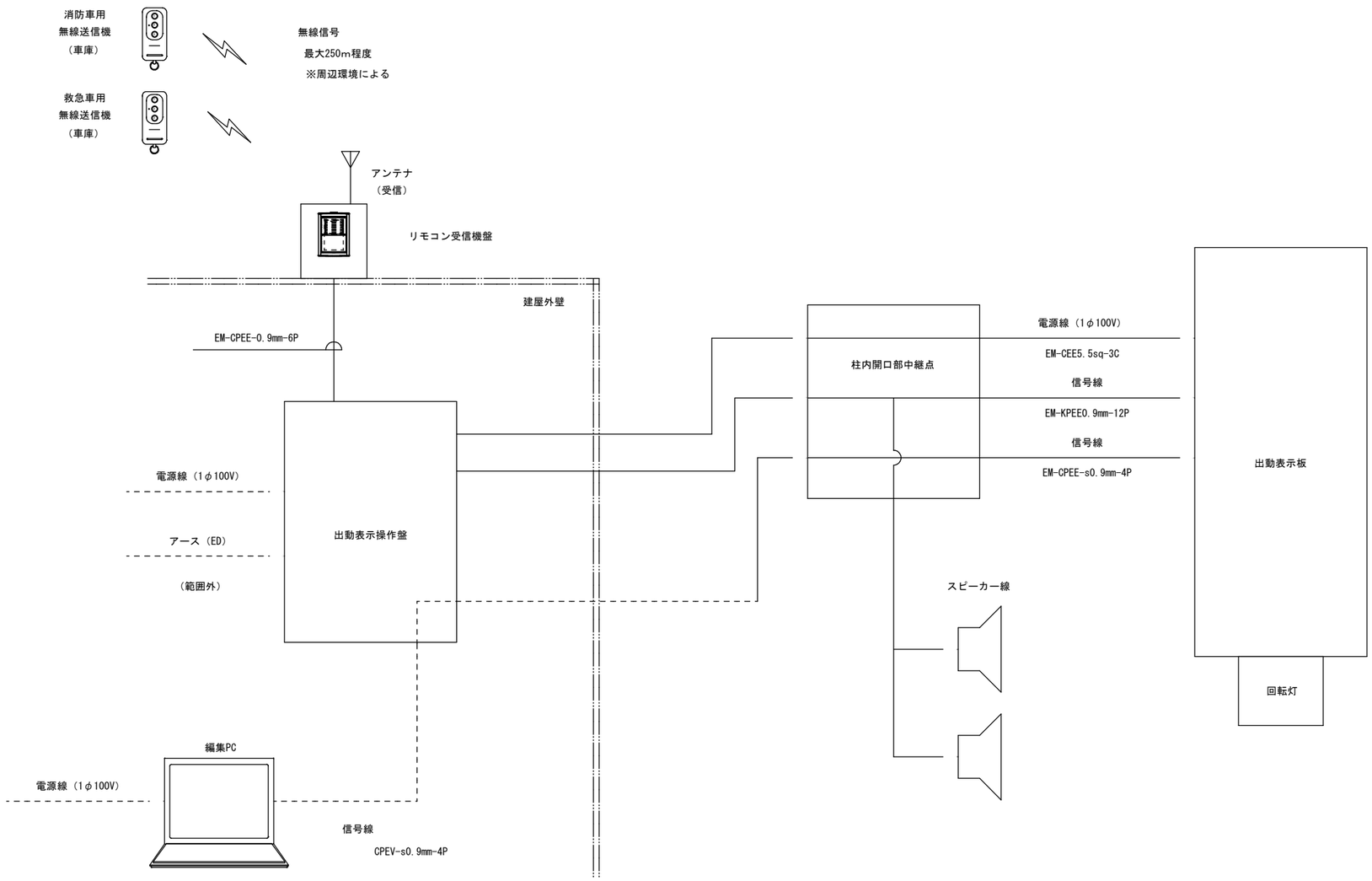
形 状	：屋外防雨型
材 質	：ASA樹脂製
塗 装 色	：マンセルN7 グレー近似色
定 格 入 力	10W ／ 8Ω
音圧レベル：106dB	
質 量	：900ｇ
台 数	：2台

JOBNO

白石消防署庁舎建替工事 出動表示板詳細図 A-79

DATE SCAL (A 1) 1／5、20 (A 3) 1／10、40 DRAWN CHEK

株式会社 構 建築設計事務所 一級建築士 第 357230 号 永野ますみ



JOBNO

白石消防署庁舎建替工事

出動表示板システム系統図

A-80

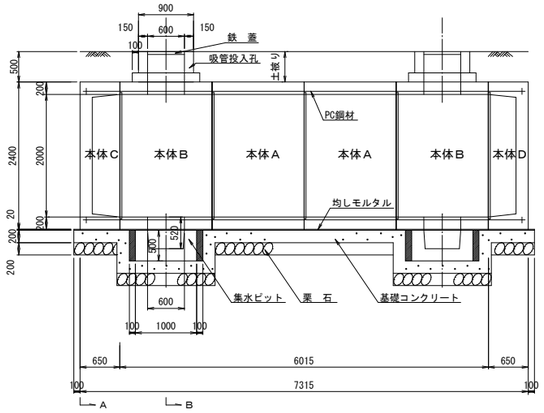
DATE　SCAL (A 1) 1／ —　(A 3) 1／ —　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所

一級建築士 第 357230 号 永野ますみ

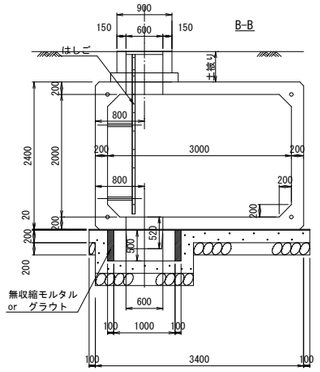
防火水槽　1/50

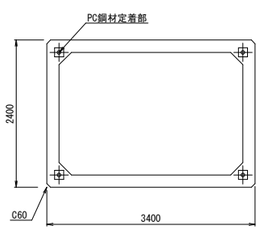
側面図
S=1/50



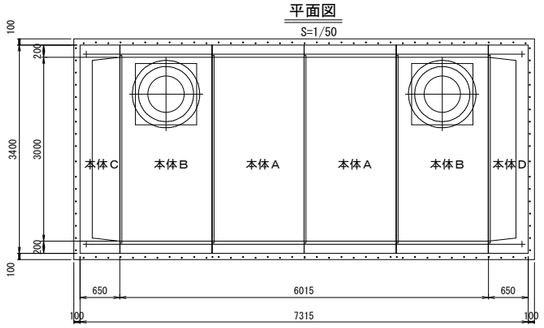
断面図
S=1/50

規格製品図

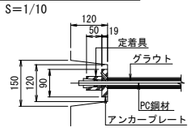




平面図
S=1/50



PC鋼材定着部詳細図
S=1/10

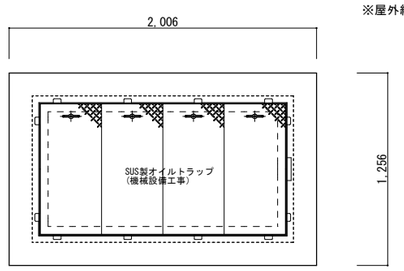


（一財）日本消防設備安全センター
認定番号　耐-00033-2号

種　　別	二次製品等耐震性貯水槽
適用区分	車道用　T-25
容　　量	V＝40m3
土被り	0.35～1.1m
型式記号	M1-40-Ⅲ型

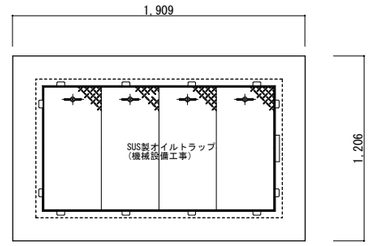
オイルトラップ埋設基礎　1/20

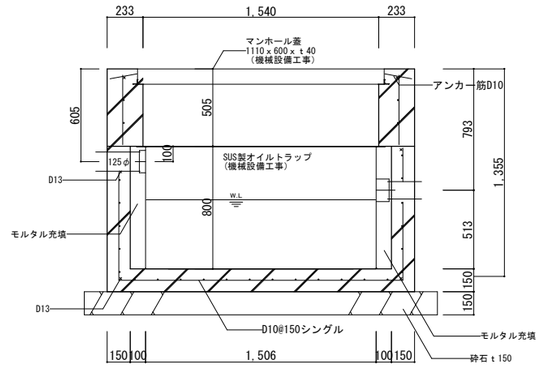
※屋外給油所



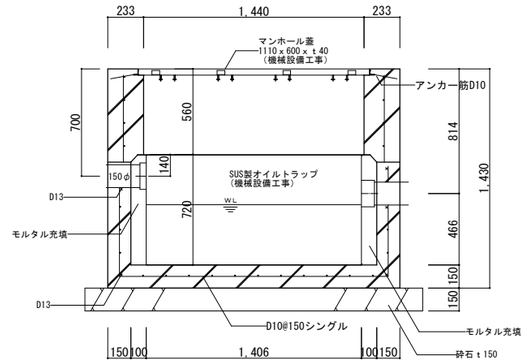
平面図　1/20

※庁舎棟車庫





断面図　1/20



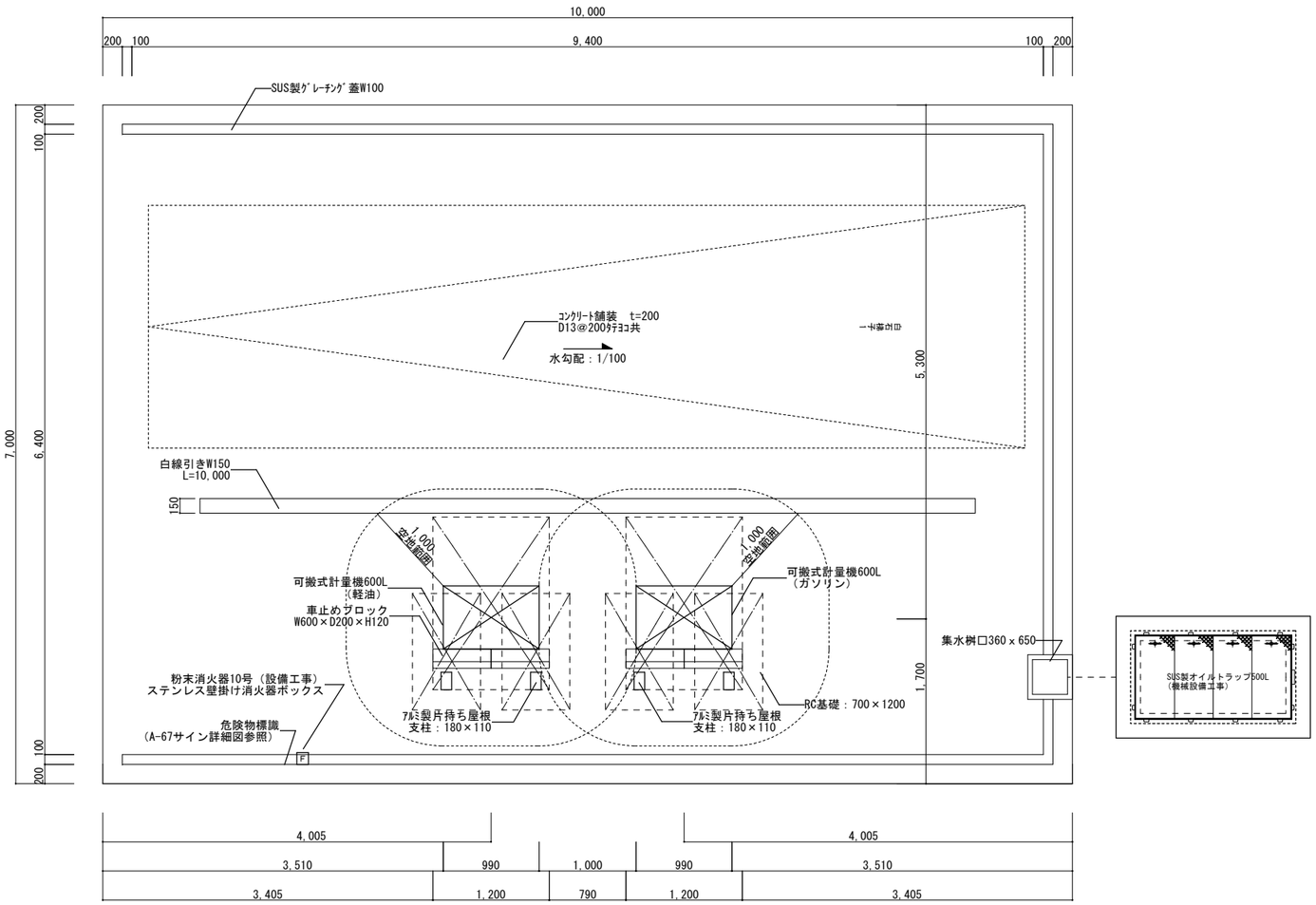
断面図　1/20

JOBNO

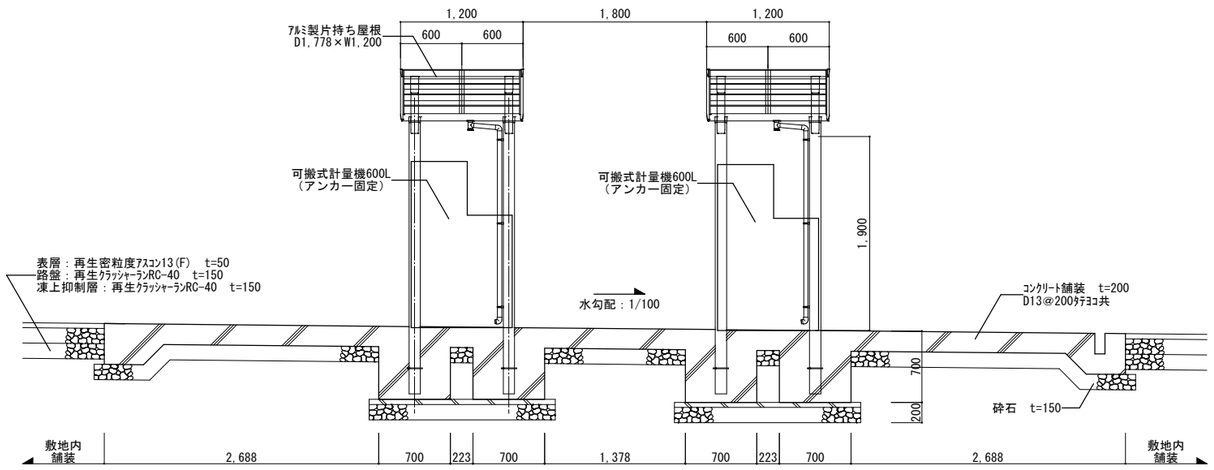
白石消防署庁舎建替工事　　防火水槽・オイルトラップ詳細図　A-81

DATE　SCAL (A 1) 1/20、50 (A 3) 1/40、100　DRAWN　CHEK

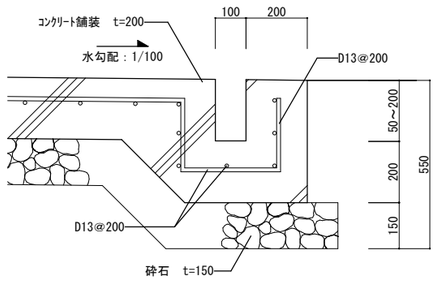
株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士　第 357230 号　永野ますみ



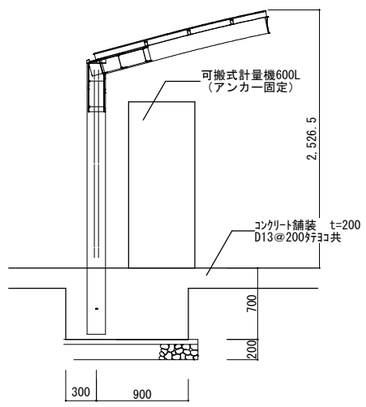
給油所平面図 1/30



給油所立面図 1/30



舗装断面詳細図 1/10



防火塀断面図 1/30

仕様表（SPECIFICATIONS）- 型式: AC01T　参考型番

項目分類	詳細項目	仕様内容
外形	タンク容量	容量 597L
吐出	吐出量	標準吐出 45 L/min （※使用最大流量 50 L/min）
ポンプ	型式	ギヤポンプ
	吸込側ストレーナ	ろ過精度 110 メッシュ
	吐出側フィルタ	ろ過精度 200 メッシュ
流量計	型式	4 ピストン式
	計量精度	（検定公差）
関係モータ	モータ	AC200V 三相 300W 安全増防爆構造、
	スイッチ箱	過電流保護装置付
指示器	表示面	片面表示
	表示方式	7 セグメント式液晶（バックライト付）
	演算計数方式	電子式（リモコンで表示器に表示）
ノズル	ノズル	G 型(レバー)、FL 型(レバー) [オプション] FF 型(フィンガー)
ホース	ホース	黒カラーホース（安全継手付）
その他	電装部品	「労働安全衛生法の防爆検定規則」に基づく防爆検定合格品を使用
	POS 接続	S/C 方式（SS-LAN）
	付属品	ドラム缶等からの吸込用ホース 3m
環境条件	電源条件	電圧変動：、周波数変動：
	環境条件	気温：　湿度：

アルミ片持ち屋根

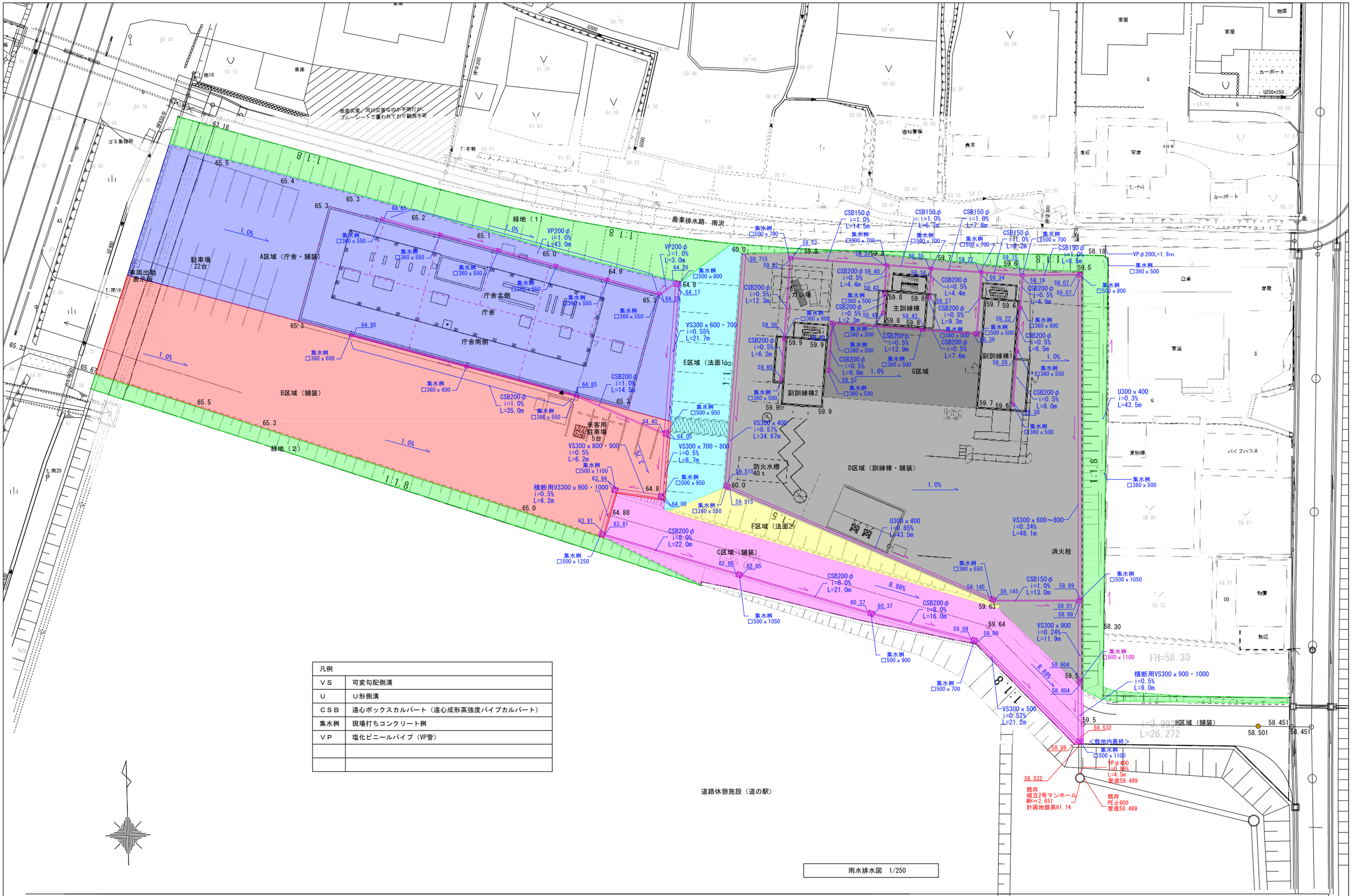
窓　番		ＣＰ－１	数量	２	備　考
シリーズ		カーポート　カムフィエースＺ			国土交通省告示 第４０８・４０９・４１０・７５０号対応商品
色仕上	本　体	規格色			耐積雪荷重：1500Ｎ／㎡（積雪量 75cm、単位荷重 20Ｎ／㎡／cm）
		規格色			基準風速：Ｖｏ＝38m／s（地表面粗度区分Ⅲ）
	屋根パネル（材質）	アルミニウム板　ｔ＝１．０（国土交通大臣認定番号：ＮＭ－８５９７）			基本タイプ

JOBNO

白石消防署庁舎建替工事　簡易タンク貯蔵所詳細図　A-82

DATE　SCAL (A 1) 1/10, 30 (A 3) 1/20, 60　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号　永野ますみ



凡例	
ＶＳ	可変勾配側溝
Ｕ	Ｕ形側溝
ＣＳＢ	遠心ボックスカルバート（遠心成形高強度パイプカルバート）
集水桝	現場打ちコンクリート桝
ＶＰ	塩化ビニールパイプ（VP管）

雨水排水図　1/250

JOBNO

白石消防署庁舎建替工事

雨水排水図

DATE　SCAL (A 1) 1／250 (A 3) 1／500　DRAWN　CHEK

A-83

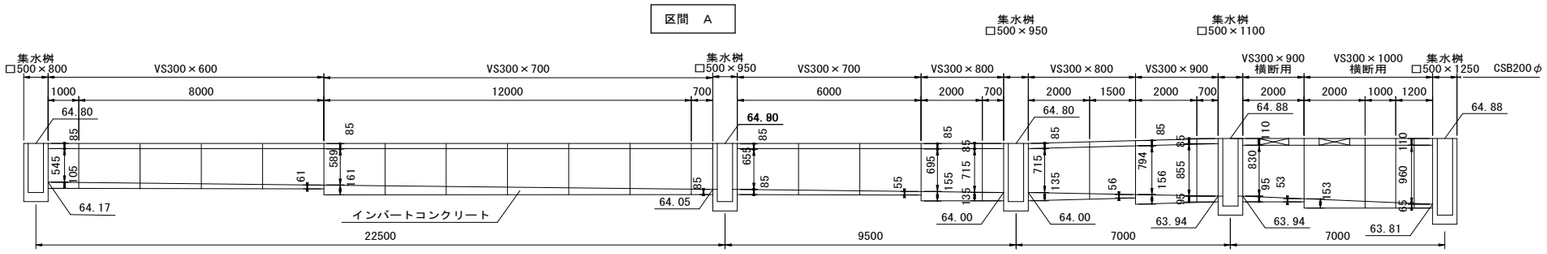
株式会社 構 建築設計事務所

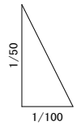
一級建築士　第 357230 号　永野ますみ

ＶＳ：可変勾配側溝 縦断図（接続集水桝も記載）

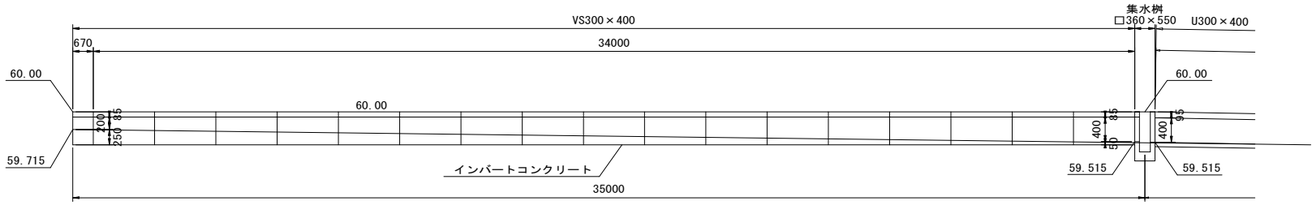
S=1/200

区間　A

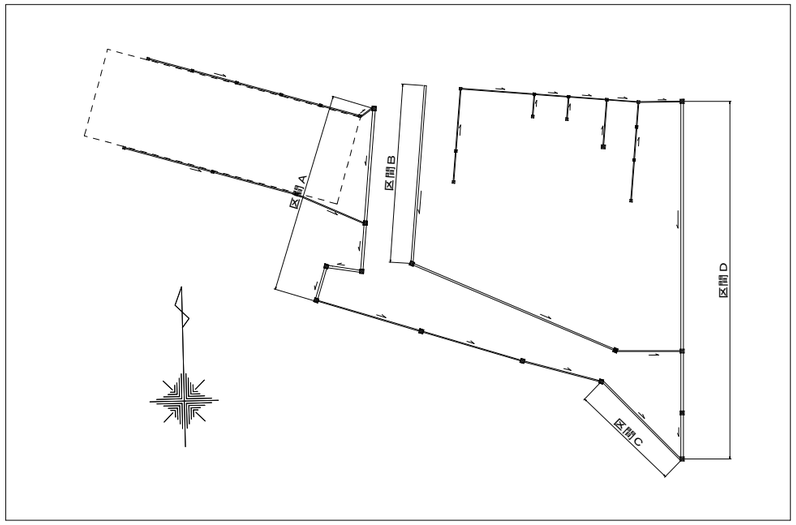




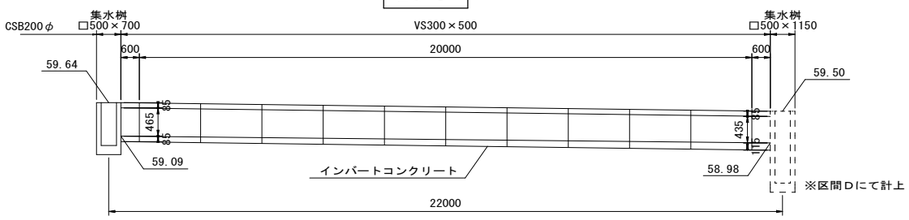
区間　B



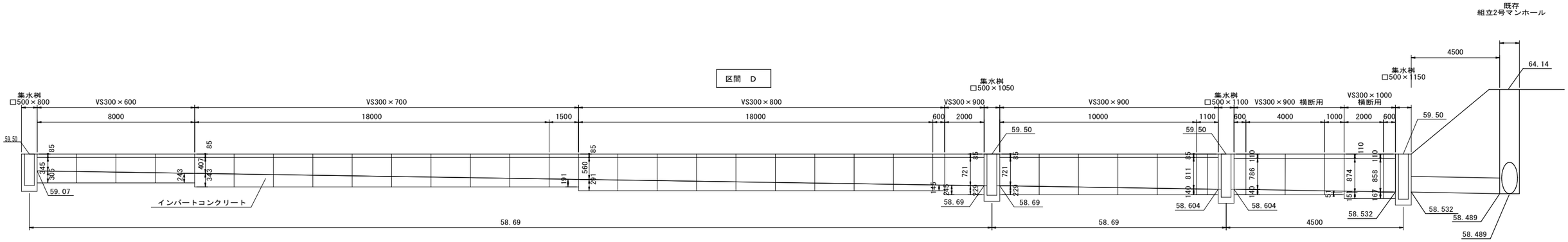
位置図



区間　C



区間　D



JOBNO

白石消防署庁舎建替工事

雨水排水_詳細図（１）

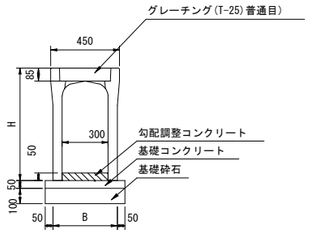
A-84

DATE　SCAL (A 1) 1／200 (A 3) 1／400　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所

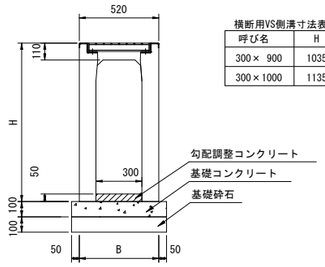
一級建築士　第 357230 号　永野ますみ

ＶＳ：可変勾配側溝　S=1/20



VS側溝寸法表

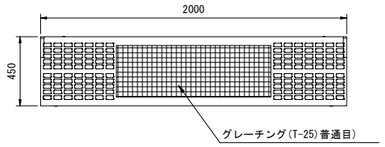
呼び名	H	B
300×400	535	400
300×500	635	400
300×600	735	420
300×700	835	420
300×800	935	440
300×900	1035	440



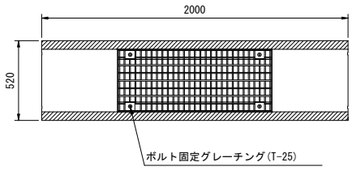
横断用VS側溝寸法表

呼び名	H	B
300× 900	1035	520
300×1000	1135	520

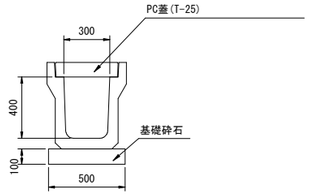
平面図



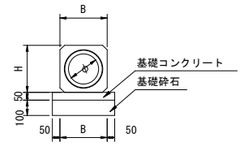
平面図



Ｕ：Ｕ形側溝　S=1/20

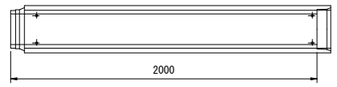


ＣＳＢ：遠心ボックスカルバート　S=1/20

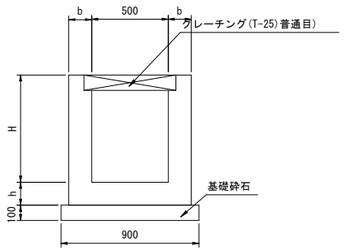


CSB寸法表

呼び名	H	B
φ150 Ⅰ形	254	254
φ200 Ⅰ形	308	308

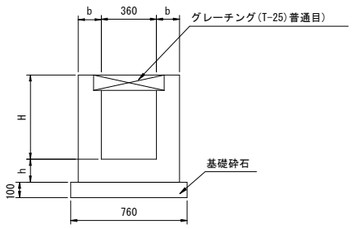


集水桝　S=1/20



集水桝寸法表

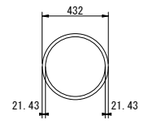
呼び名	b	h
□500× 500	150	150
□500× 700	150	150
□500× 800	150	150
□500× 900	150	150
□500× 950	150	150
□500×1050	150	150
□500×1100	150	150
□500×1150	150	150
□500×1250	150	150



集水桝寸法表

呼び名	b	h
□360× 500	150	150
□360× 550	150	150
□360× 600	150	150
□360× 650	150	150

ＶＰ：塩化ビニールパイプ（VP管）　S=1/20



共通事項

特記なき限り、下記による。(その他は、構内舗装・排水設計基準及び参考資料（H31年度版）による)

1：グレーチングは、(T-25)普通目・枠付き・亜鉛メッキ製))とする。

2.：勾配調整コンクリートは、Fc＝18N/mm²・S=15とする。

3.：基礎コンクリートは、Fc＝18N/mm²・S=15とする。

4：基礎砕石は、再生クラッシャーランとする。

5：VPは、砂基礎とする。

6：インバートコンクリート・インバートは、勾配調整コンクリートを示す。

雨水排水路工
数量計算

名称・仕様	規格		1	2	3	4	5	単位	合計	備考
自由勾配側溝 T-25ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 ※延長は側外側寸法間	B300×H400	図面	区間B1							
		延長	34.67					m	34.67	
		インバート平均厚※	100					mm	100	平均値
	B300×H500	図面	区間C							
		延長	21.20					m	21.20	
		インバート平均厚※	100					mm	100	平均値
	B300×H600	図面	区間A1	区間D1						
		延長	9.00	8.00				m	17.00	
		インバート平均厚※	83	79				mm	81	平均値
	B300×H700	図面	区間A1	区間A2	区間D1					
		延長	12.70	6.00	19.50			m	38.20	
		インバート平均厚※	123	70	103			mm	104	平均値
	B300×H800	図面	区間A2	区間A3	区間D1					
		延長	2.70	3.50	18.60			m	24.80	
		インバート平均厚※	145	96	105			mm	108	平均値
	B300×H900	図面	区間A3	区間D1	区間D2					
		延長	2.70	2.00	11.10			m	15.80	
		インバート平均厚※	145	151	105			mm	118	平均値
自由勾配側溝 横断用 鋼板巻き T-25並目Gr付 ※延長は側外側寸法間	B300×H900	図面	区間A4	区間D						
		延長	2.00	5.60				m	7.60	
		インバート平均厚※	74	68				mm	70	平均値
	B300×H1000	図面	区間A	区間D						
		延長	4.20	2.60				m	6.80	
		インバート平均厚※	109	143				mm	122	平均値
U型側溝	B300×H400	図面	C2							
		延長	42.84					m	42.84	
CSB Ⅰ形 ※延長は側内側寸法間	φ150									
		延長	5.84	11.87	1.94	3.97	3.97			
		延長	8.80	7.64	6.14	4.47	12.57			
		延長	6.24	12.54	7.17			m	93.16	
	φ200									
		延長	14.00	6.20	7.10	5.70	8.00			
		延長	34.28	14.07	21.50	20.5	15.5	m	146.85	
VP管 ※延長は側内側寸法間	φ200	延長	43.84					m	43.84	
PCa集水桝 T-25並目Gr付	□360×H500	個数	8					基	8	
	□360×H550	個数	8					基	8	
	□360×H600	個数	4					基	4	
	□360×H650	個数	2					基	2	
PCa集水桝 T-25並目Gr付	□500×H500	個数	1					基	1	
	□500×H700	個数	6					基	6	
	□500×H800	個数	2					基	2	
	□500×H900	個数	1					基	1	
	□600×H950	個数	2					基	2	
	□500×H1050	個数	2					基	2	
	□800×H1100	個数	2					基	2	
	□600×H1150	個数	1					基	1	
	□500×H1250	個数						基	1	
VP管 ※延長は側内側寸法間	φ400	延長	4.70					m	4.70	

法尻 雨水排水路工

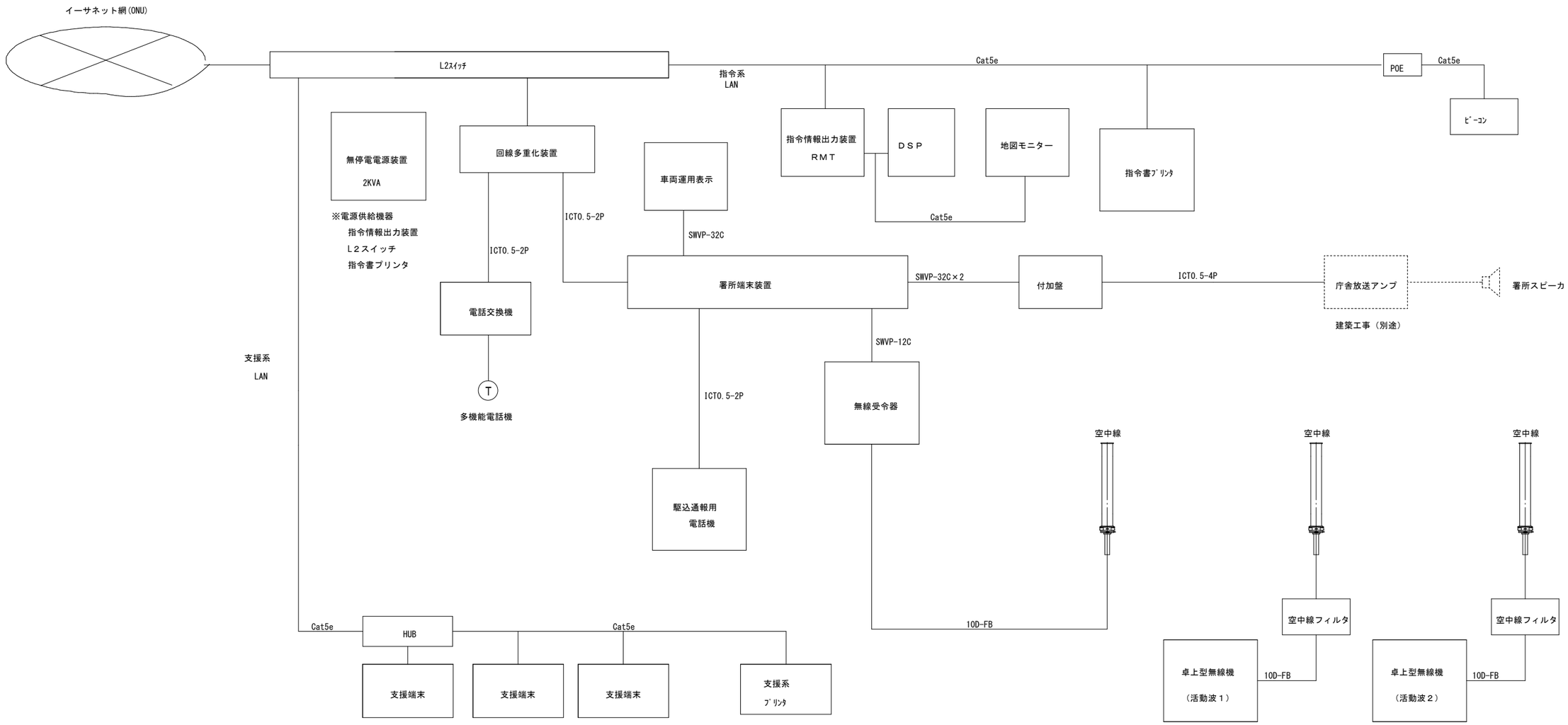
U型側溝	B300×H400	延長	62					m	62	
PCa集水桝 並目Gr付	□360×H500	個数	2					基	2	
VP管	φ200	延長	1.9					m	1.9	

JOBNO

白石消防署庁舎建替工事　雨水排水_詳細図（２）　A-85

DATE　SCAL (A 1) 1/ (A 3) 1/　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号 永野ますみ

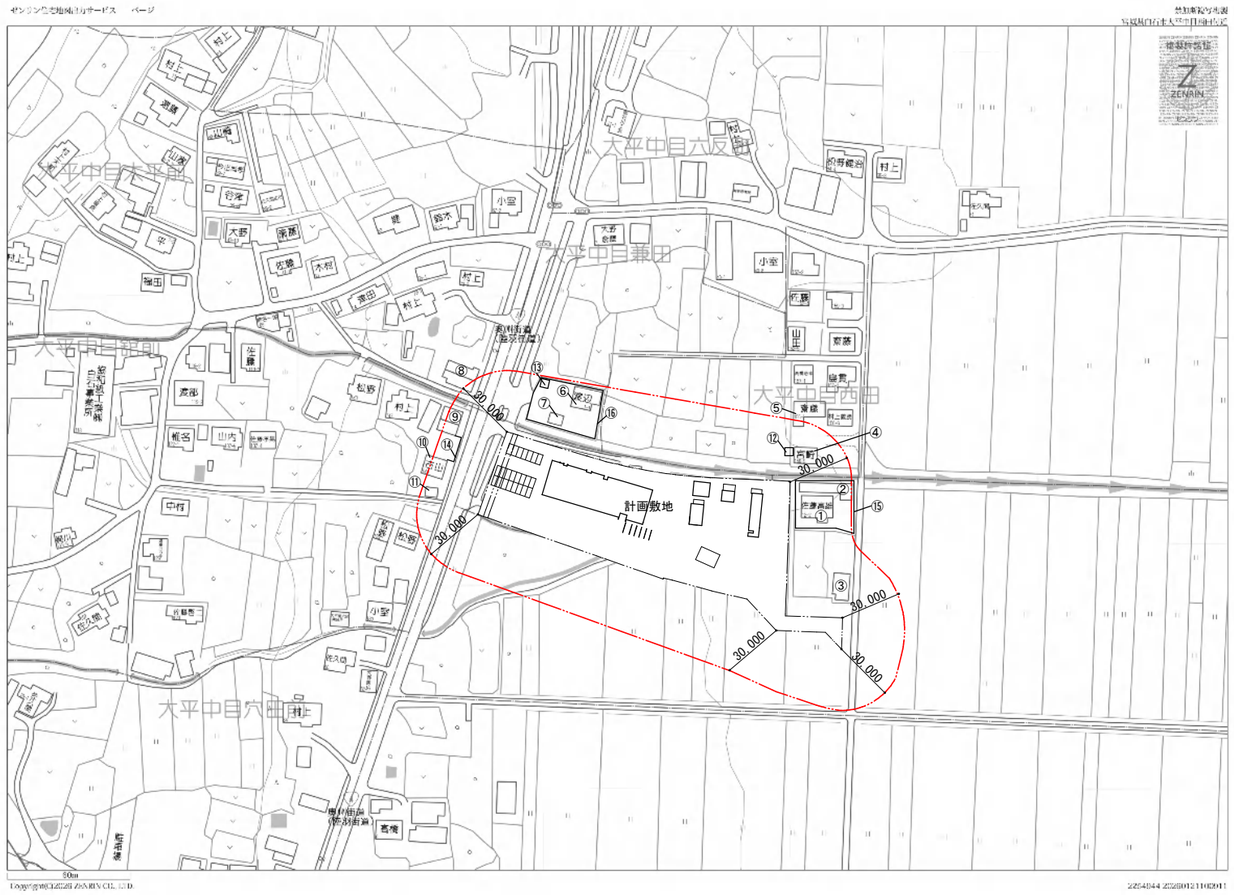


JOBNO

白石消防署庁舎建替工事　　指令機器移設品システム系統図　　A-86

DATE　SCAL (A 1) 1／ —　(A 3) 1／ —　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号 永野ますみ



■家屋調査概算面積

	概算面積（㎡）
①	木造建物A　130-200㎡未満
②	木造建物C　130-200㎡未満
③	木造建物C　70-130㎡未満
④	木造建物A　130-200㎡未満
⑤	木造建物A　200-300㎡未満
⑥	木造建物A　130-200㎡未満
⑦	木造建物C　70-130㎡未満
⑧	木造建物C　130-200㎡未満
⑨	木造建物C　70-130㎡未満
⑩	木造建物A　70-130㎡未満
⑪	木造建物C　70㎡未満
⑫	木造建物C　70㎡未満
⑬	木造建物C　70㎡未満
⑭	工作物　100㎡未満
⑮	工作物　300-630㎡未満
⑯	工作物　630-1300㎡未満

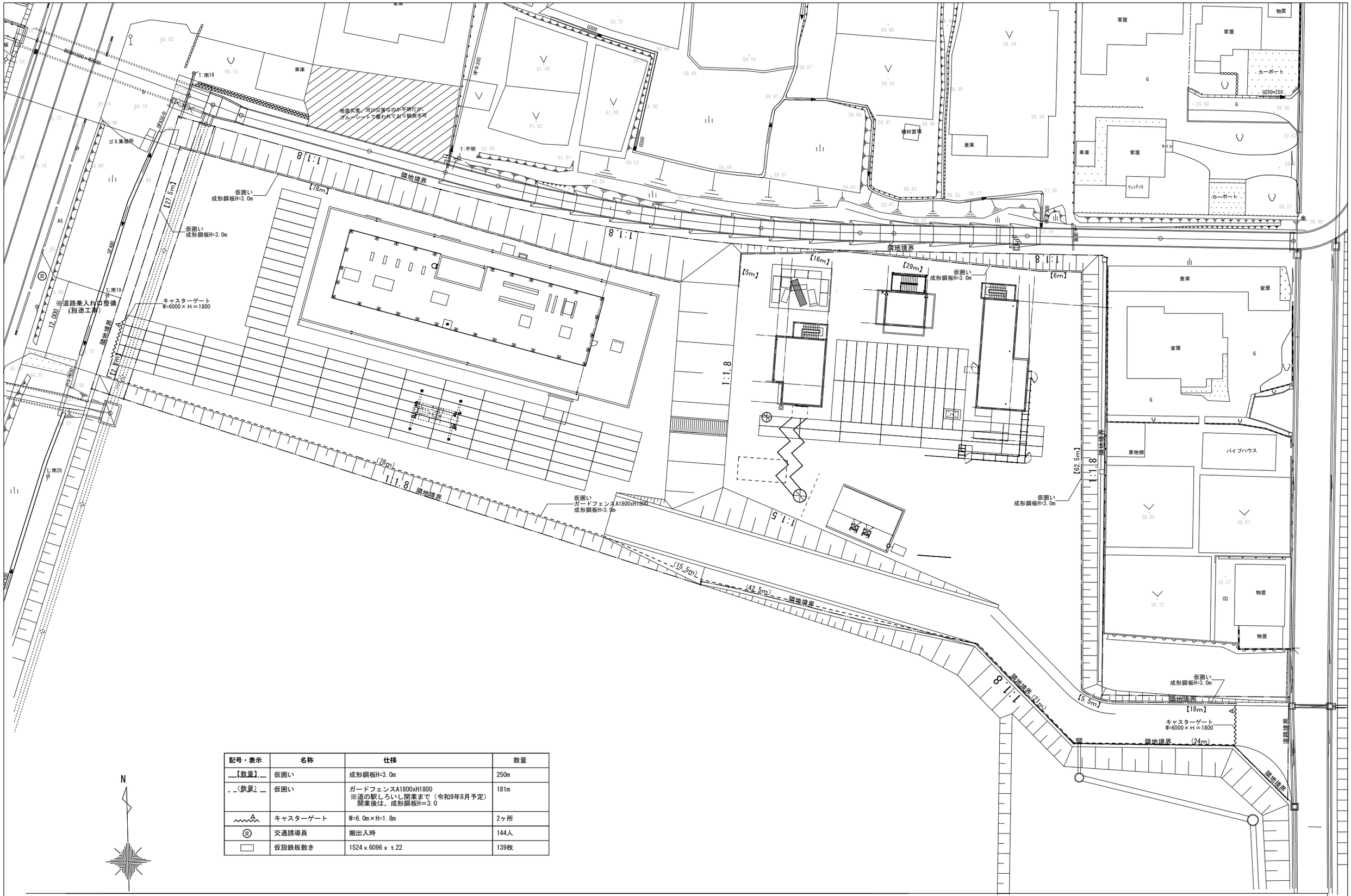
家屋調査図

JOBNO

白石消防署庁舎建替工事　　家屋調査図　A-87

DATE　SCAL (A 1) 1／1500　(A 3) 1／2000　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号　永野ますみ



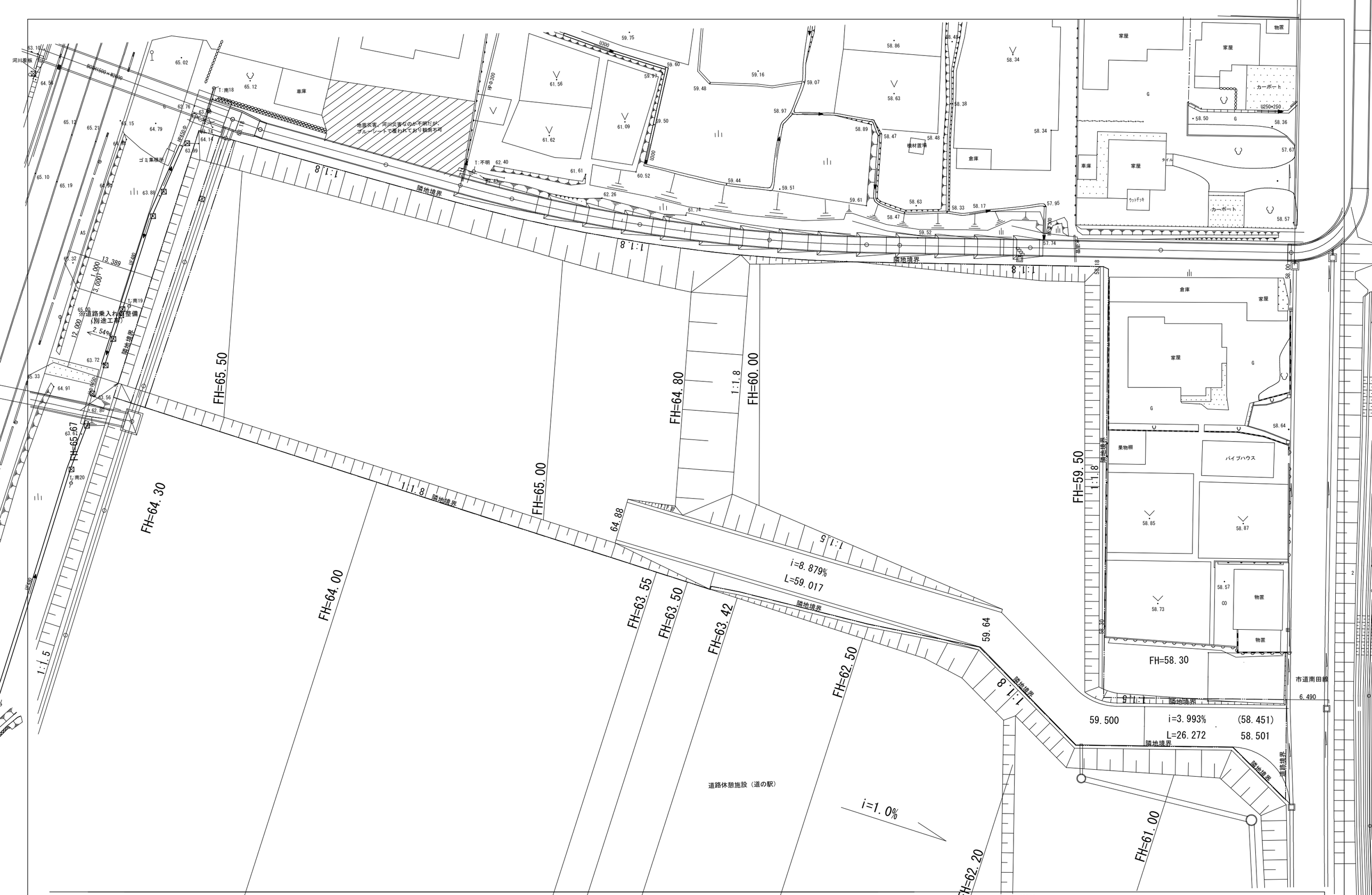
記号・表示	名称	仕様	数量
【数量】	仮囲い	成形鋼板H=3.0m	250m
（数量）	仮囲い	ガードフェンスA1800xH1800 ※道の駅しろいし開業まで（令和9年8月予定） 開業後は、成形鋼板H=3.0	181m
	キャスターゲート	W=6.0m×H=1.8m	2ヶ所
交	交通誘導員	搬出入時	144人
	仮設鉄板敷き	1524×6096×t22	139枚

JOBNO

白石消防署庁舎建替工事　　仮設計画図　A-88

DATE　SCAL (A 1) 1／250 (A 3) 1／500　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号　永野ますみ



JOBNO

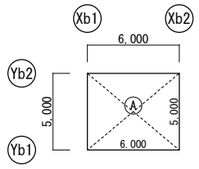
白石消防署庁舎建替工事　　現況図　A-89

DATE　SCAL (A 1) 1/ 250 (A 3) 1/ 500　DRAWN　CHEK

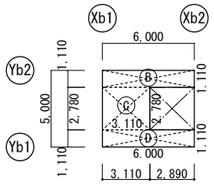
株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号 永野ますみ

主訓練棟　建築面積計算表		
記号	計算式(m)	面積(㎡)
1	6.000 × 5.000	30.0000
2	0.965 × 0.250	0.2412
3	0.250 × 5.000	1.2500
4	0.250 × 5.000	1.2500
5	5.000 × 2.750	13.7500
6	6.000 × 0.250	1.5000
計		47.99
建築面積		47.99

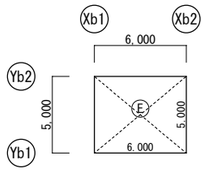
主訓練棟　床面積計算表		
記号	計算式(m)	面積(㎡)
A	6.000 × 5.000	30.0000
1階床面積合計		30.0000
B	6.000 × 1.110	6.6600
C	3.110× 2.780	8.6458
D	6.000 × 1.110	6.6600
2階床面積合計		21.9658
E	6.000 × 5.000	30.0000
3階床面積合計		30.0000
F	6.000 × 1.250	7.5000
G	6.000× 1.250	7.5000
H	1.250× 2.500	3.1250
I	1.250× 2.500	3.1250
4階床面積合計		21.2500
計		103.21



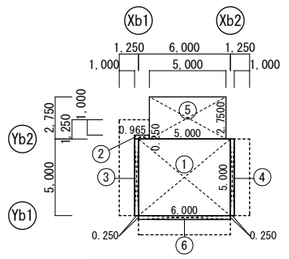
主訓練塔　1階求積図



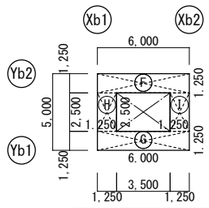
主訓練塔　2階求積図



主訓練塔　3階求積図



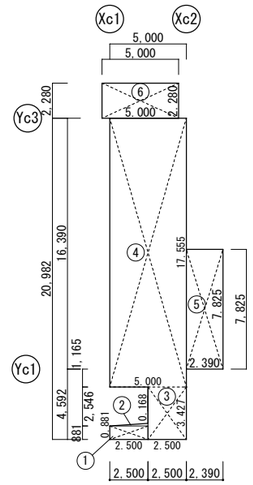
主訓練塔　建築面積求積図



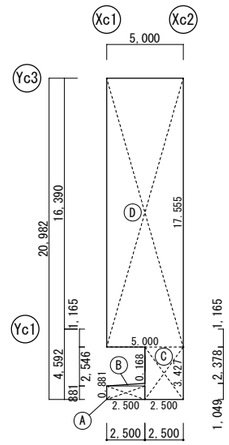
主訓練塔　4階求積図

副訓練棟1　建築面積計算表		
記号	計算式(m)	面積(㎡)
1	2.500 × 0.168 ÷ 2	0.2100
2	2.500 × 0.881	2.2025
3	2.500 × 3.427	8.5675
4	5.000 × 17.555	87.7750
5	2.390 × 7.825	18.7018
6	5.000 × 2.280	11.4000
計		128.8568
建築面積		128.85

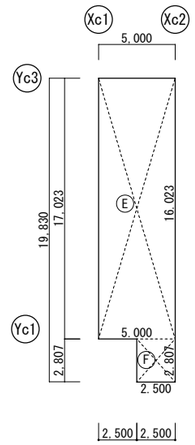
副訓練棟1　床面積計算表		
記号	計算式(m)	面積(㎡)
A	2.500 × 0.168 ÷ 2	0.2100
B	2.500 × 0.881	2.2025
C	2.500 × 3.427	8.5675
D	5.000 × 17.555	87.7750
1階床面積合計		98.7550
E	5.000 × 17.023	85.1150
F	2.500 × 2.817	7.0425
2階床面積合計		92.1575
G	5.000× 16.390	81.9500
H	2.390 × 7.825	18.7018
3階床面積合計		100.6518
計		291.55



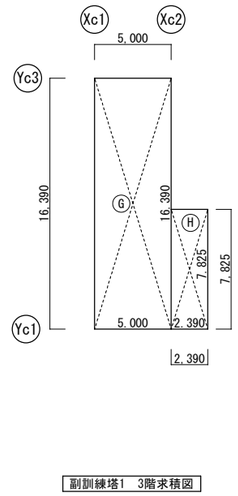
副訓練塔1　建築面積求積図



副訓練塔1　1階求積図



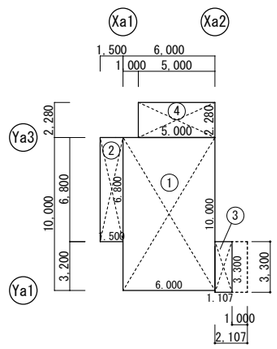
副訓練塔1　2階求積図



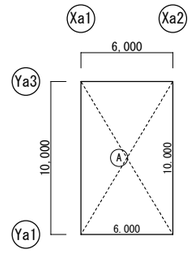
副訓練塔1　3階求積図

副訓練棟2　建築面積計算表		
記号	計算式(m)	面積(㎡)
1	6.000 × 10.000	60.0000
2	1.500 × 6.800	10.2000
3	1.107 × 3.300	3.6531
4	5.000 × 2.280	11.4000
計		85.2531
建築面積		85.25

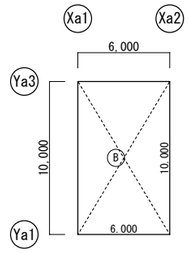
副訓練棟2　床面積計算表		
記号	計算式(m)	面積(㎡)
A	6.0000 × 10.0000	60.0000
1階床面積合計		60.0000
B	6.0000 × 10.0000	60.0000
2階床面積合計		60.0000
C	6.0000 × 10.0000	60.0000
D	1.5000 × 6.8000	10.2000
3階床面積合計		70.2000
計		190.20



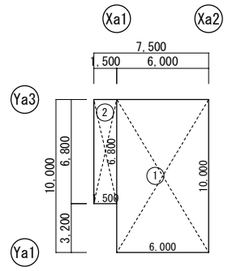
副訓練塔2　建築面積求積図



副訓練塔2　1階求積図



副訓練塔2　2階求積図



副訓練塔2　3階求積図

訓練塔　合計建築面積	
建物名	面積(㎡)
主訓練棟	47.99
副訓練棟1	128.85
副訓練棟2	85.25
計	262.09

訓練塔　合計床面積	
建物名	面積(㎡)
主訓練棟	103.21
副訓練棟1	291.55
副訓練棟2	190.20
計	584.96

JOBNO

白石消防署庁舎建替工事　【訓練棟】求積図・面積表　A-201

DATE　SCAL (A 1) 1／200 (A 3) 1／400　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士　第 357230 号　永野ますみ

（訓練棟）外部仕上表

部　位		仕　上	部　位		仕　上	部　位		仕　上
屋根	屋根 （主訓練塔）	コンクリート金ゴテ押え+アスファルト防水（D-1）	外壁	外壁	コンクリート打放し仕上A種+超耐久・水性ふっ素樹脂塗装	その他	ルーフドレン	屋上：鋳鉄製既製品　縦型　φ100 屋上：鋳鉄製既製品　横引きφ100　　バルコニー：鋳鉄製既製品　中継　φ100
	屋根 （副訓練塔1，2）	コンクリート金ゴテ押え+アスファルト防水（D-1）		山岳救助訓練壁	特殊樹脂型枠+超耐久・水性ふっ素樹脂塗装		竪樋	カラーVP管φ100、カラーSUS製取付金物@2000
	3F床 （副訓練塔1，2）	コンクリート金ゴテ押え+アスファルト防水（A-1） +押えｺﾝｸﾘｰﾄｔ80金ゴテ（溶接金網6φ100）伸縮目地タテヨコ@3000程度、成形材t25）					笠木	アルミ製既製品
	バルコニー （主，副訓練塔1，2）	コンクリート金ゴテ押え+塗膜防水　防滑（X-2）					落下防止手すり	溶融亜鉛メッキ
	訓練用足場 （副訓練塔1，2）	コンクリート金ゴテ押え+塗膜防水　防滑（X-2）	軒天	軒天	コンクリート打放し仕上A種+超耐久・水性ふっ素樹脂塗装		屋外鉄骨階段	溶融亜鉛メッキ
	側溝	コンクリート金ゴテ押え+塗膜防水（X-2）						
	瓦屋根 （副訓練塔2）	樹脂繊維混入軽量セメント瓦、雪止め共					消防訓練設備	詳細図による

（訓練棟）　内部仕上表

		室　名	仕上高さ SLﾚﾍﾞﾙ	床 下　地	床 仕　上	巾木	巾木 高さ	壁 下　地	壁 仕　上	天井 下　地	天井 仕　上	天井 廻り縁	天井 天井高	室名サイン	
主訓練塔	1階	訓練準備室	±0 -10	コンクリート金ゴテ押え	厚膜型ｴﾎﾟｷｼ樹脂系塗床材	床同材	100	コンクリート打放仕上（A種）	超耐久・水性ｱｸﾘﾙｼﾘｺﾝ樹脂塗装	コンクリート打放仕上 （A種）	超耐久・水性ふっ素樹脂塗装	―	直天		
		ロープ訓練	±0 -10	↑	↑	↑	100	↑	↑	↑	↑	―	直天		
	2階	ロープ訓練	±0 -90	↑	―	―	100	↑	↑	↑	↑	―	直天		落下防止手摺
	3階	渡過訓練	±0～-60 -90～-150	↑	塗膜防水（防滑）	床同材	100	↑	↑	↑	↑	―	直天		グレーチング、緩降機・壁取付金具
	4階	通路	±0 -10	↑	―	―	100	↑	↑	↑	↑	―	直天		落下防止手摺、避難ハッチ
副訓練塔1	1階	タイヤ・資機材倉庫 （屋内訓練場）	±0 -10	↑	鉱物骨材配合散布型美装床仕上材	床同材	100	↑	↑	↑	↑	―	直天		棚
		救助訓練用 資機材倉庫	±0 -10	↑	↑	↑	100	↑	↑	↑	↑	―	直天		棚
	2階	安全ネット支持フロア	±0 -10	↑	塗膜防水（防滑）	↑	100	↑	↑	↑	↑	―	直天		
	3階	渡過訓練	±0～-60 -90～-150	↑	アスファルト防水（A-1） +押えｺﾝｸﾘｰﾄｔ80金ゴテ	↑	100	↑	超耐久・水性ふっ素樹脂塗装	↑	超耐久・水性ふっ素樹脂塗装	―	直天		落下防止手摺
副訓練塔2		ピット		↑	浸透性塗布防水	―	―	コンクリート打放仕上（B種）	浸透性塗布防水	コンクリート打放仕上 （B種）	―	―	直天		
	1階	住宅火災対応訓練室	±0～-60 -10～-70	↑	塗膜防水（防滑）	床同材	100	コンクリート打放仕上（A種）	超耐久・水性ｱｸﾘﾙｼﾘｺﾝ樹脂塗装	コンクリート打放仕上 （A種）	超耐久・水性ｱｸﾘﾙｼﾘｺﾝ樹脂塗装	―	直天		グレーチング
		模擬トイレ/UB	±0 -10	↑	↑	↑	100	コンクリート打放仕上（A種） 間仕切：LGS65	超耐久・水性ｱｸﾘﾙｼﾘｺﾝ樹脂塗装 間仕切：GB-Sｔ12.5+ケイカル板ｔ6+EP	LGS	ケイカル板ｔ6（突付）+EP-G	塩ビ製	2,300		UB1616、大便器
		男子トイレ	±0 -10	↑	―	―	100	コンクリート打放仕上（B種）	超耐久・水性ｱｸﾘﾙｼﾘｺﾝ樹脂塗装	↑	↑	塩ビ製	2,300	○ピクト	トイレブース、ライニング、床下点検口・タラップ
		女子トイレ	±0 -10	↑	―	―	100	↑	↑	↑	↑	塩ビ製	2,300	○ピクト	トイレブース、ライニング、床下点検口・タラップ
		屋内階段	±0 -10	↑	―	―		コンクリート打放仕上（A種）	↑	コンクリート打放仕上 （A種）	超耐久・水性ｱｸﾘﾙｼﾘｺﾝ樹脂塗装	―	直天		手摺、ノンスリップ、ステンレス折りたたみ棚受け
	2階	住宅火災対応訓練室 迷路訓練室	±0～-60 -65～-215	↑	塗膜防水（防滑）	床同材	100	↑	↑	↑	↑	―	直天		グレーチング
	3階	渡過訓練・引揚訓練	±0～-60 -90～-150	↑	アスファルト防水（A-1） +押えｺﾝｸﾘｰﾄｔ80金ゴテ	↑	100	↑	超耐久・水性ふっ素樹脂塗装	↑	超耐久・水性ふっ素樹脂塗装	―	直天		落下防止手摺
	共通	RC屋外階段	±0 -10	↑	―	―		↑	↑	↑	↑	―	直天		樹脂製手摺、ノンスリップ、階数表示

特記事項

防音	グラスウール24kg/m3　t50充填 トイレ、仮眠室、洗面室、署長室の間仕切り壁・天井 事務室、会議室の間仕切り壁
止水材	地中及び1階スラブのコンクリート打継部には止水材を設置する事。
ピット	床・壁を浸透性塗布防水とする。
地中スリーブ	土中における各スリーブは鋼管ツメ付スリーブを使用し、スリーブ周囲は鉛コーキング材 にてシールを施す。
コンクリート打増し	外部コンクリート打放し部は20mm、内部コンクリート打放し・金ゴテ仕上げ部は10mm
床組み木材	床組み下地の木材には防腐処理を行う。
床貼物	接地階の張物用接着剤はエポキシ系とし長尺塩ビシートは溶接工法とする。
床見切	床仕上げの異なる部分の見切りには、SUS　FB-6ｘ30を使用する。
壁目地	下地違いの同一面の壁には振動吸収目地を入れること。塩ビ見切り（クロス巻込み）設置とする。
ｺｰﾅｰﾋﾞｰﾄ	塗装及び壁貼り仕上げの柱・壁の出隅には床から壁までｺｰﾅｰﾋﾞｰﾄを施す。

天井下地	天井下地は特記なき限り軽量鉄骨下地とし、天井ふところが1500mm以上の場合吊りボルト 振れ止め補強を行う。
天井廻り縁	特記なき限り、塩ビ製、天井見切り型とする。天井仕上専用の廻り縁があればメーカー仕様とする。
造作家具廻り	造付け家具の壁と床の仕上げは施工しない。
サイン	サイン・室名札は見本品を提出の上、監理者の承認を得ること。取付位置は監理者の指示による。
設備取合い	盤スペース・消火器ボックスの位置は設備工事打合せの上施工の事。
金物	使用するステンレスは、全てSUS304とする。
消火器	消火器：ABC10 型 は設備工事とする。 ボックス：警報ベル付き全埋込型SUS製 は建築工事とする。（UFB-1S-2204-HLN同等品） ボックス：警報ベル付きｽﾃﾝﾚｽ床置き型　（UFB-3S-2760-HLN同等品）
サッシ額縁	特記なき限り、アルミ製押出型材、電解色

副訓練塔2模擬トイレ　設備器具表　※配管接続なし

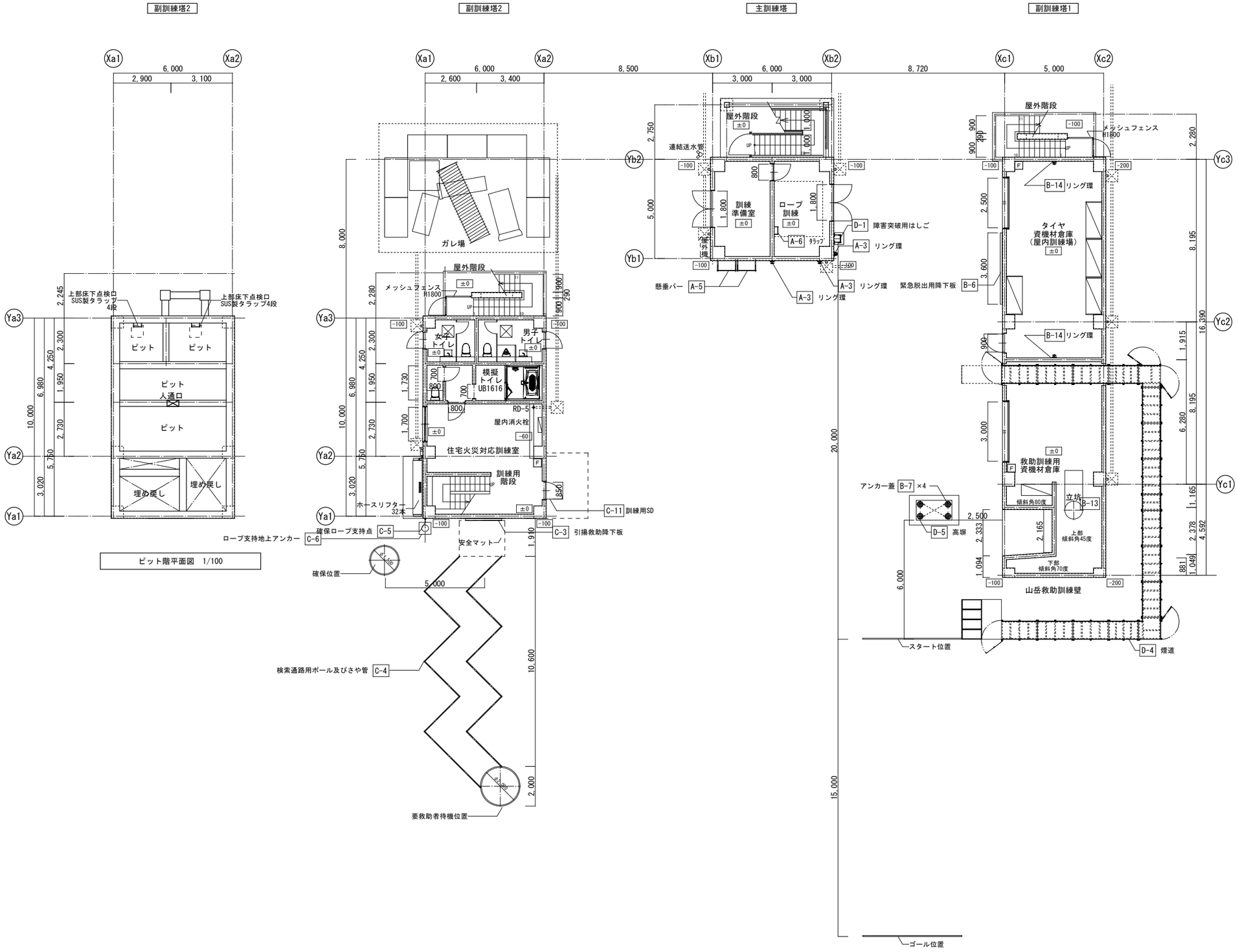
名　称	参考型番 TOTO	附　属　品	合計	1F 模擬トイレ	1F 模擬UB	
床置洋風大便器	（設備工事）		1	1		
普通便座	（設備工事）		1	1		
システムバス	1616サイズ	照明器具	1		1	

JOBNO

白石消防署庁舎建替工事　　【訓練棟】仕上表　A-202

DATE　SCAL (A 1) 1／－　(A 3) 1／－　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士　第 357230 号　永野ますみ



ピット階平面図　1/100

1階平面図　1/100

凡例

D-2 ：竪樋：カラーVP管φ100、カラーSUS製取付金物@2000
RD-1：横引きドレイン　100φ
RD-2：中継ドレイン　100φ　　RD-5：中継ドレイン　75φ
RD-3：たて型ドレイン　100φ

±0　FLからの床面高さ

※副訓練塔2
設計GL＝59.9
1FL＝設計GL+100＝60.0
※主訓練塔
設計GL＝59.8
：1FL＝設計GL+100＝59.9
※副訓練塔1
設計GL＝59.7
1FL＝設計GL+100＝59.8

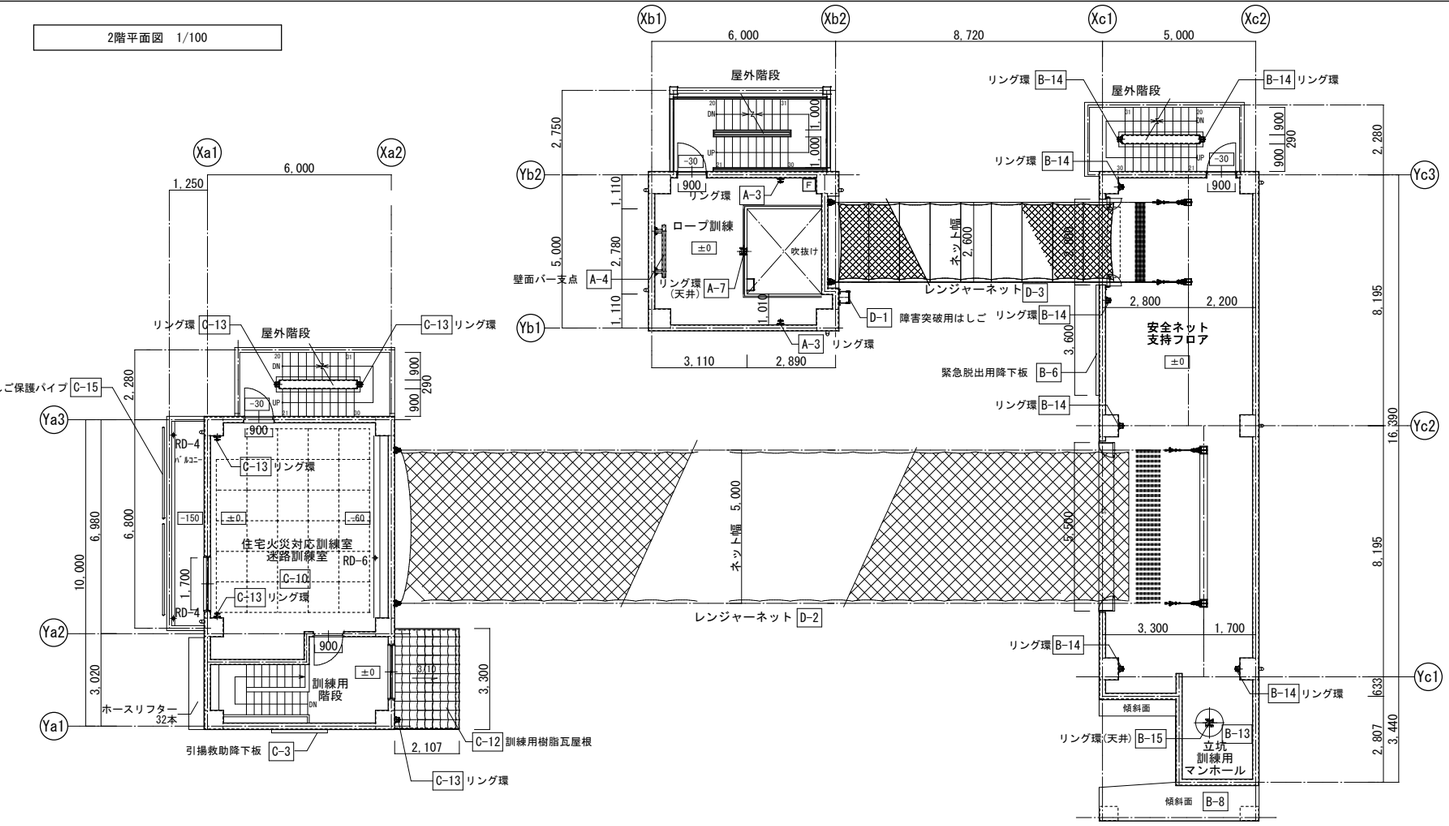
JOBNO

白石消防署庁舎建替工事　【訓練棟】ピット階・1階平面図　A-203

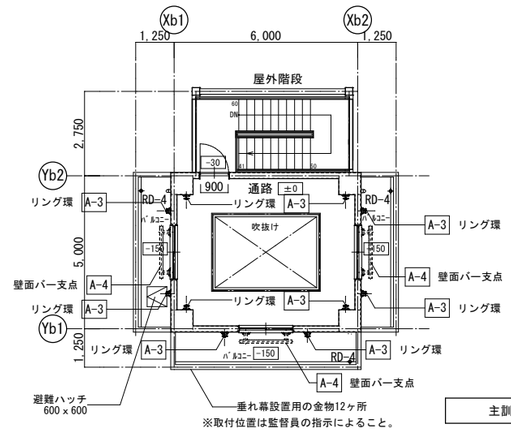
DATE　SCAL (A 1) 1／100 (A 3) 1／200　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士　第 357230 号　永野ますみ

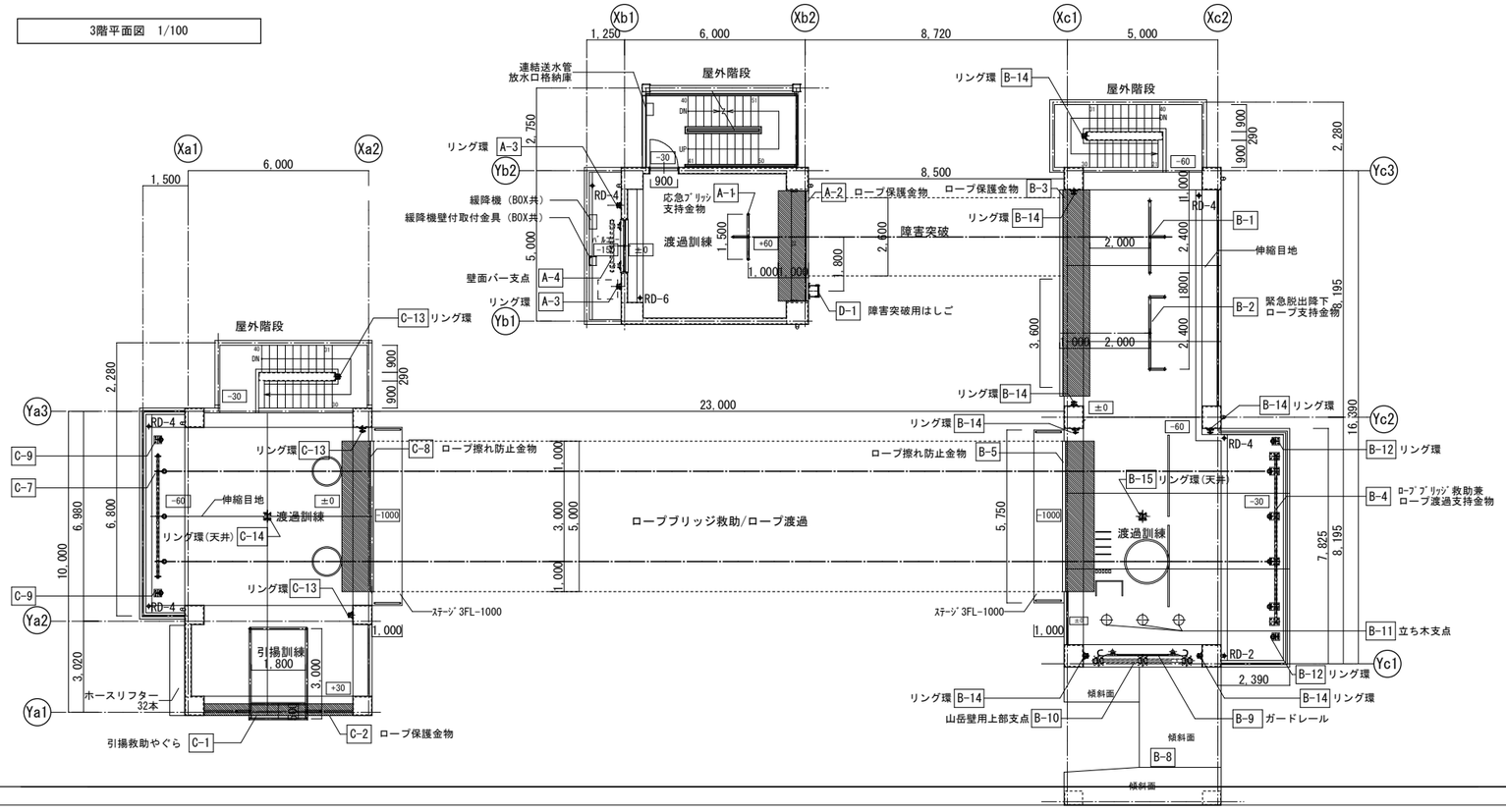
2階平面図　1/100



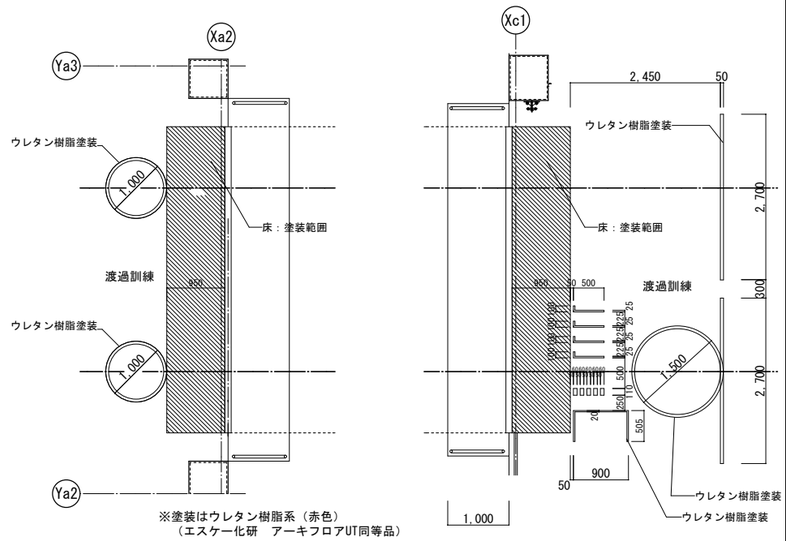
主訓練塔　4階平面図　1/100



3階平面図　1/100



3階床塗装詳細図　1/100



凡例

±0　FLからの床面高さ

D-2：竪樋：カラーVP管φ100、カラーSUS製取付金物@2000

RD-1：横引きドレイン　100φ

RD-2：中継ドレイン　100φ　　RD-5：中継ドレイン　75φ

RD-3：たて型ドレイン　100φ　　RD-6：たて型ドレイン　75φ

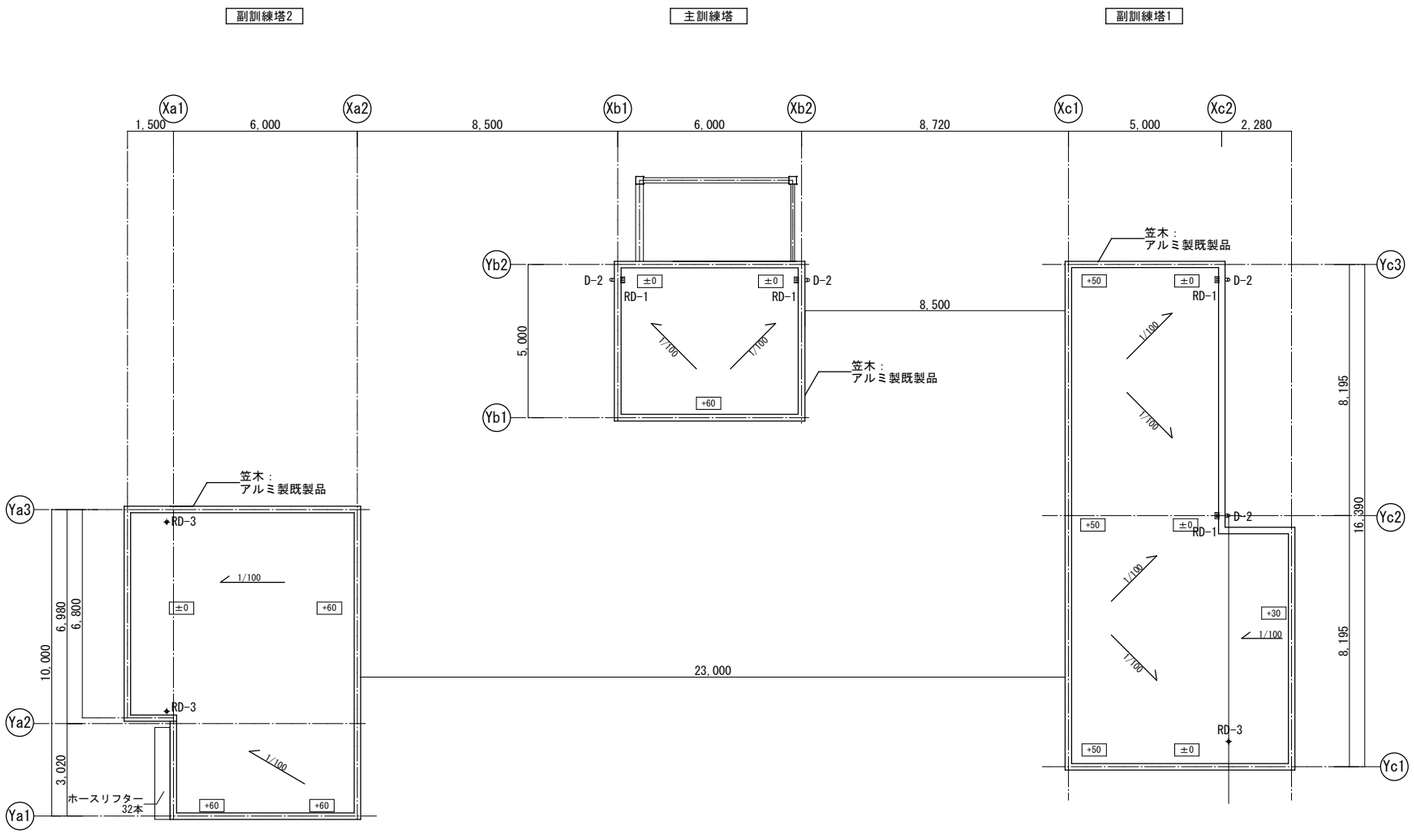
RD-4：たて型バルコニー用ドレイン　100φ

JOBNO

白石消防署庁舎建替工事　【訓練棟】2～4階平面図

DATE　SCAL (A 1) 1／100 (A 3) 1／200　DRAWN　CHEK　A-204

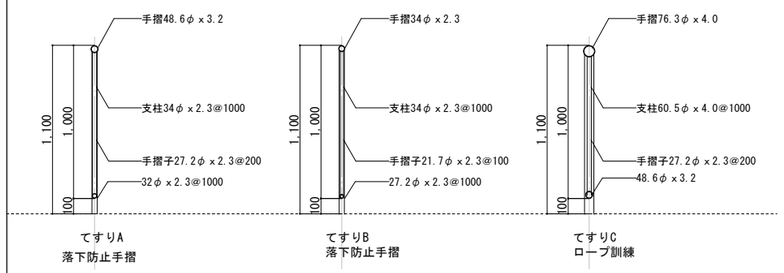
株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士　第 357230 号　永野ますみ



R階平面図　1/100

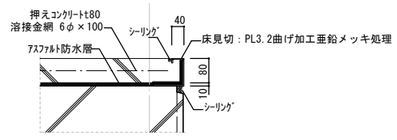
凡例

D-2 ：竪樋：カラーVP管φ100、カラーSUS製取付金物@2000
RD-1：横引きドレイン　100φ
RD-2：中継ドレイン　100φ
RD-3：たて型ドレイン　100φ



※手すりは全て、溶融亜鉛メッキ仕上

手すり詳細図　1/20



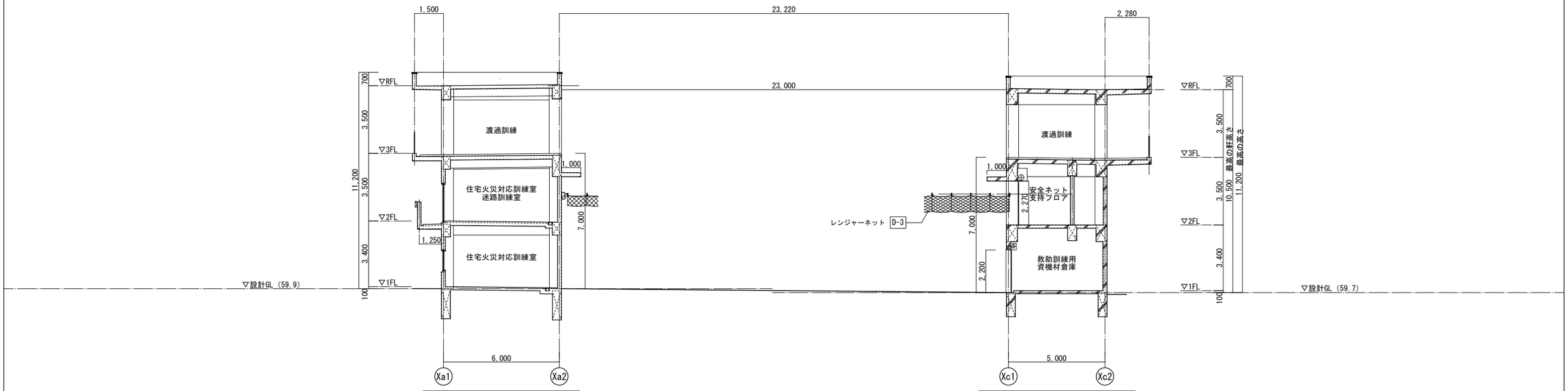
スラブ詳細図　1/10

JOBNO

白石消防署庁舎建替工事　【訓練棟】R階平面図　A-205

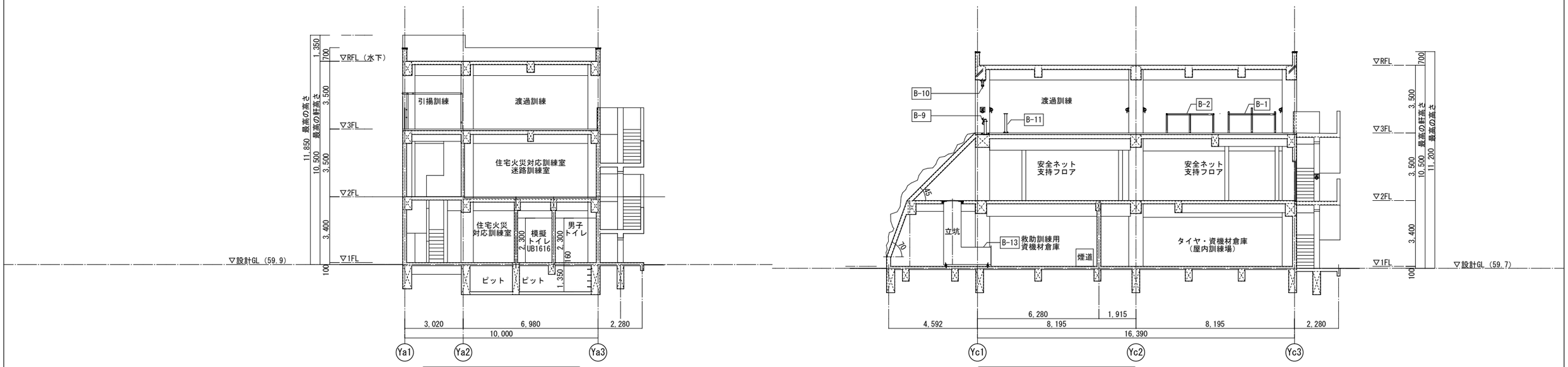
DATE　SCAL (A 1) 1／100 (A 3) 1／200　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士　第 357230 号　永野ますみ



副訓練塔2　断面図　1/100

副訓練塔1　断面図　1/100



副訓練塔2　断面図　1/100

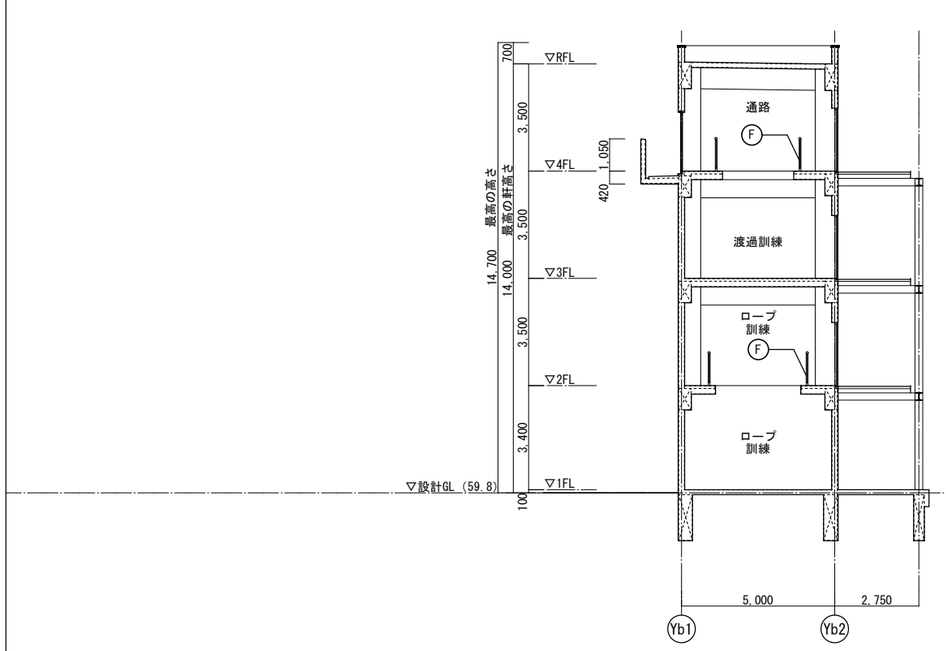
副訓練塔1　断面図　1/100

JOBNO

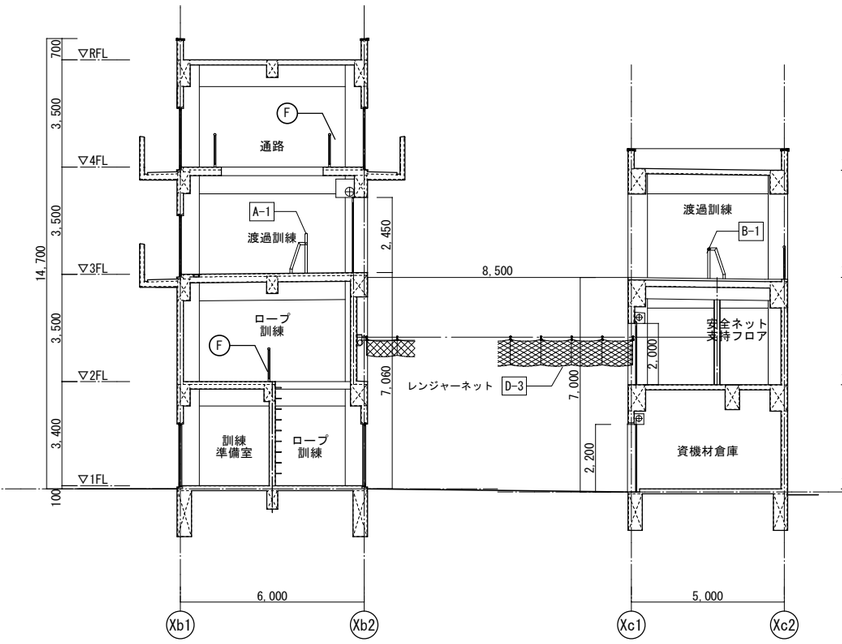
白石消防署庁舎建替工事　【訓練棟】副訓練塔断面図　A-206

DATE　SCAL (A 1) 1／100 (A 3) 1／200　DRAWN　CHEK

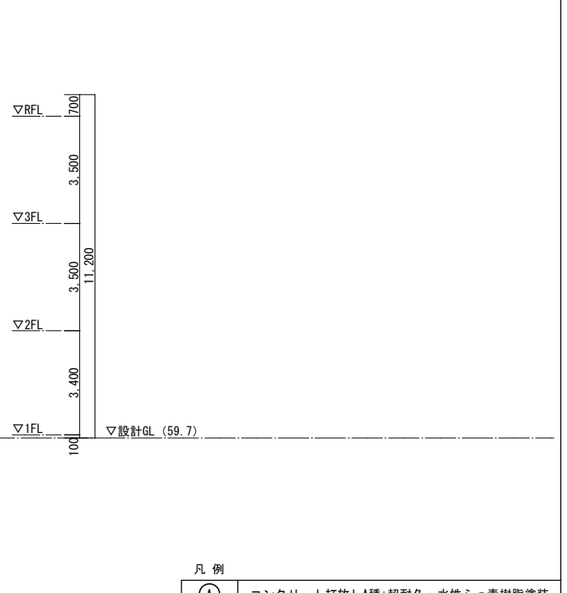
株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士　第 357230 号　永野ますみ



主訓練塔　断面図　1/100



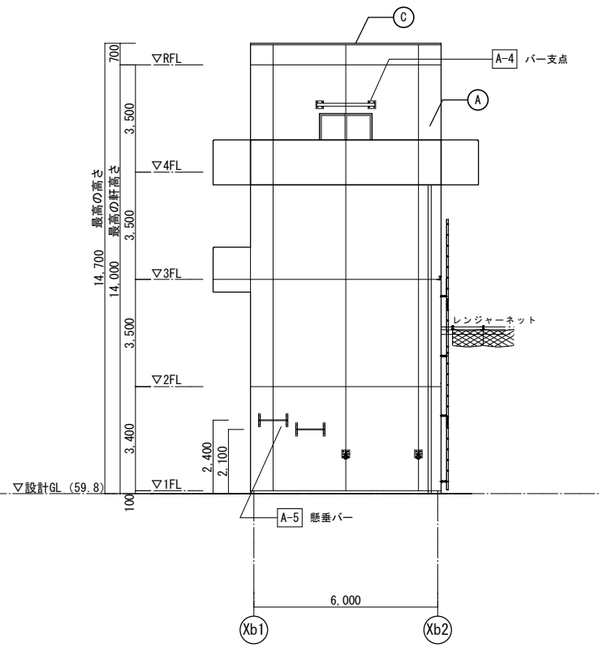
主訓練塔　断面図　1/100



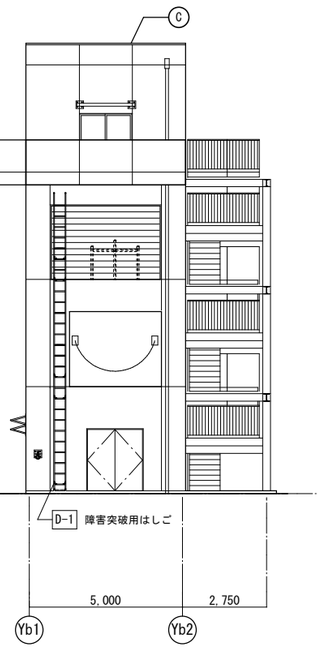
副訓練塔1　断面図　1/100

凡 例

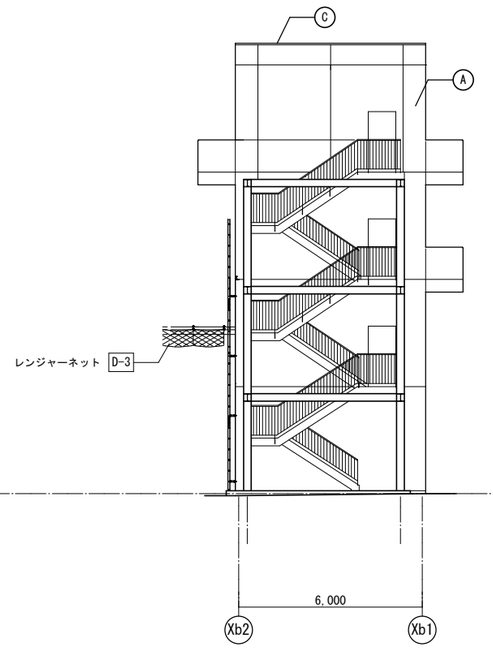
Ⓐ	コンクリート打放しA種+超耐久・水性ふっ素樹脂塗装
Ⓑ	特殊樹脂型枠+超耐久・水性ふっ素樹脂塗装
Ⓒ	笠木：アルミ製W250
Ⓓ	手すりA
Ⓔ	手すりB
Ⓕ	手すりC



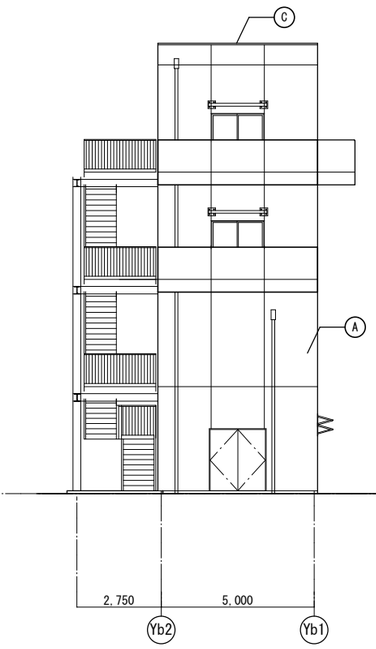
南立面



東立面



北立面



西立面

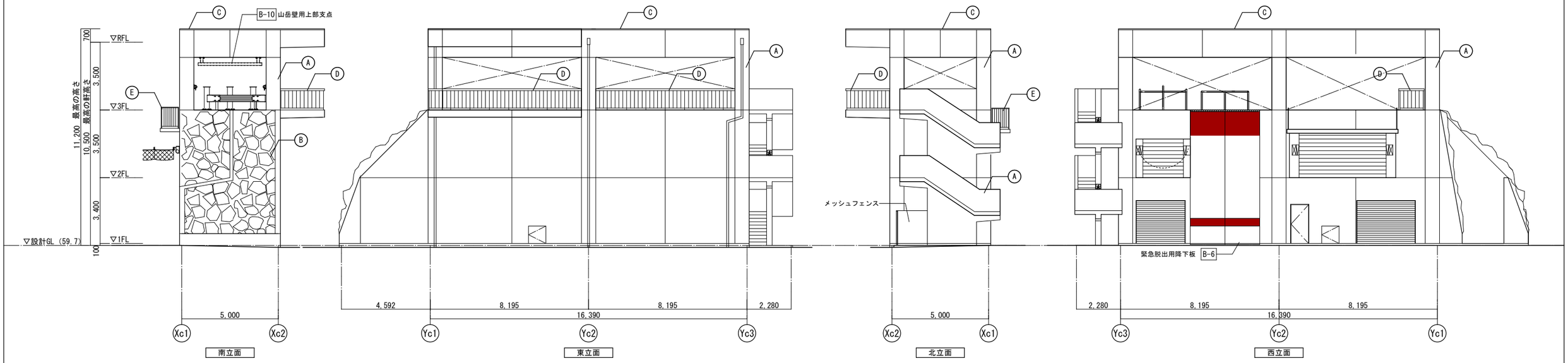
主訓練塔　立面図　1/100

JOBNO

白石消防署庁舎建替工事　【訓練棟】主訓練塔断面図・立面図　A-207

DATE　SCAL (A 1) 1／100 (A 3) 1／200　DRAWN　CHEK

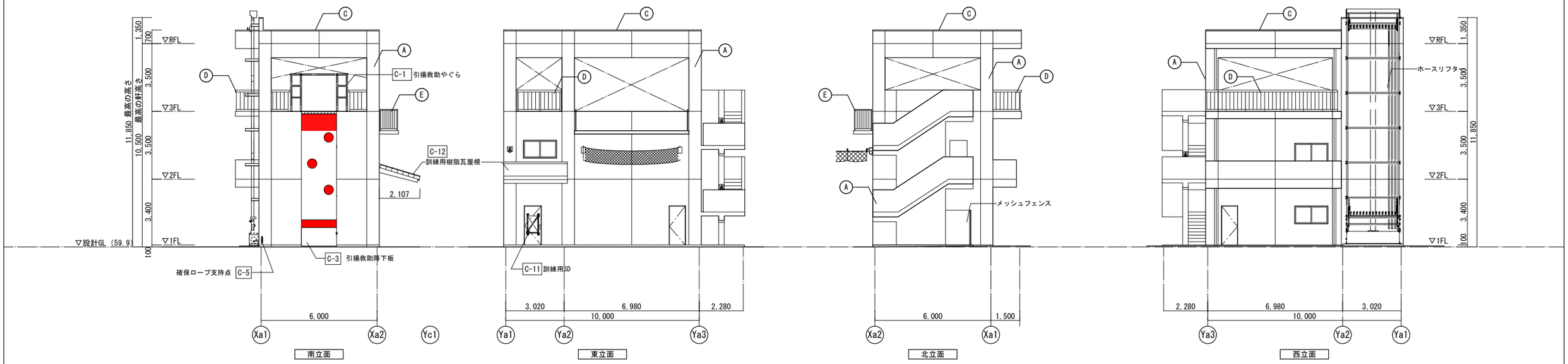
株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士　第 357230 号　永野ますみ



副訓練塔1　立面図　1/100

凡 例

A	コンクリート打放しA種+超耐久・水性ふっ素樹脂塗装
B	特殊樹脂型枠+超耐久・水性ふっ素樹脂塗装
C	笠木：アルミ製W250
D	手すりA
E	手すりB
F	手すりC



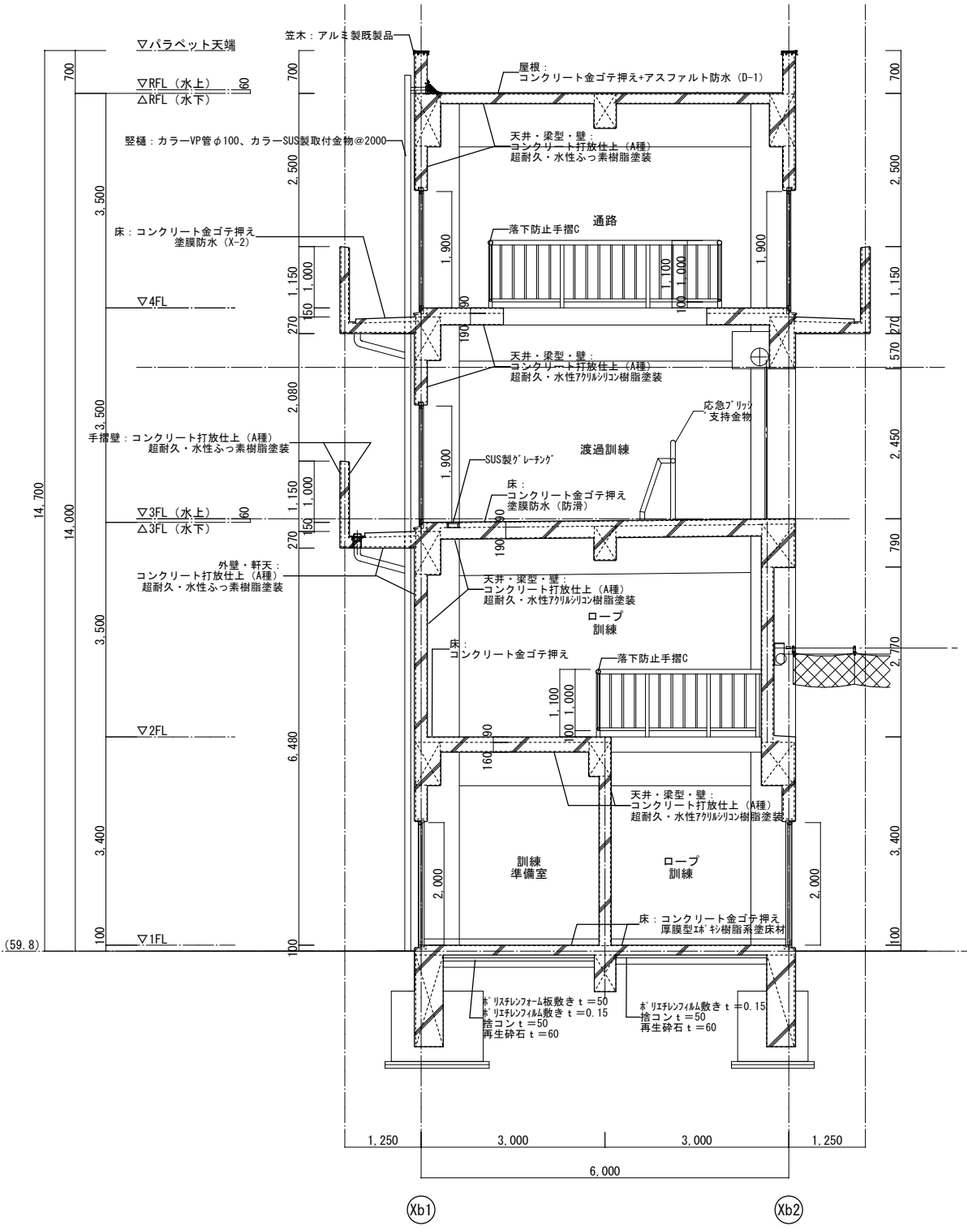
副訓練塔2　立面図　1/100

JOBNO

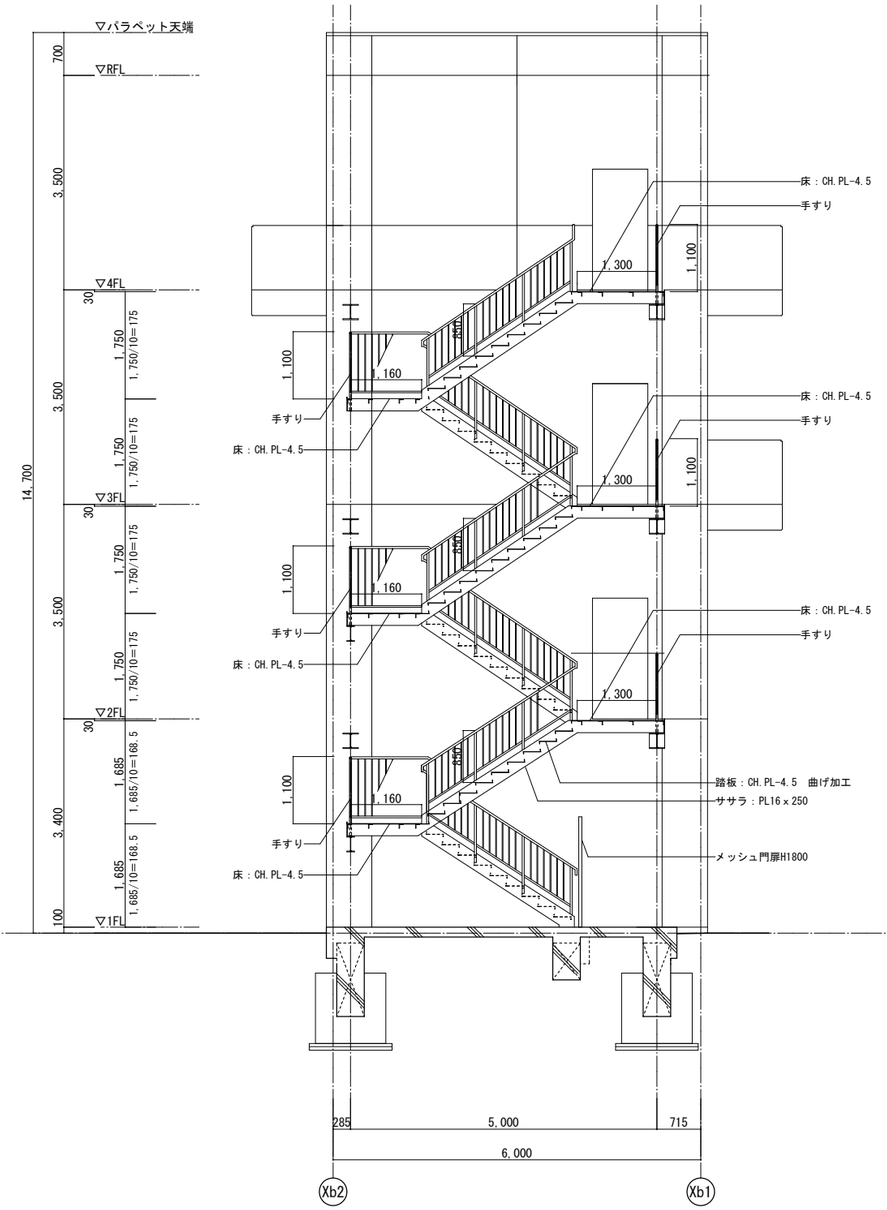
白石消防署庁舎建替工事　【訓練棟】副訓練塔立面図　A-208

DATE　SCAL (A 1) 1／100 (A 3) 1／200　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士　第 357230 号　永野ますみ



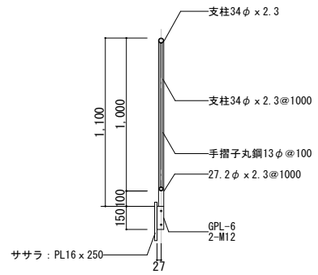
主訓練塔　矩計図　1/50



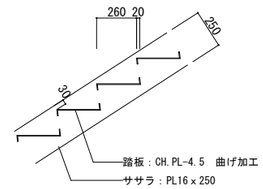
主訓練塔　階段詳細図　1/50

※鉄骨は全て溶融亜鉛メッキとする。

蹴上	175 ＜	(220)
踏面	260 ＞	(210)
幅員	1000 ＞	(750)
踊り場	1160 ＞	(750)



階段手すり詳細図　1/20



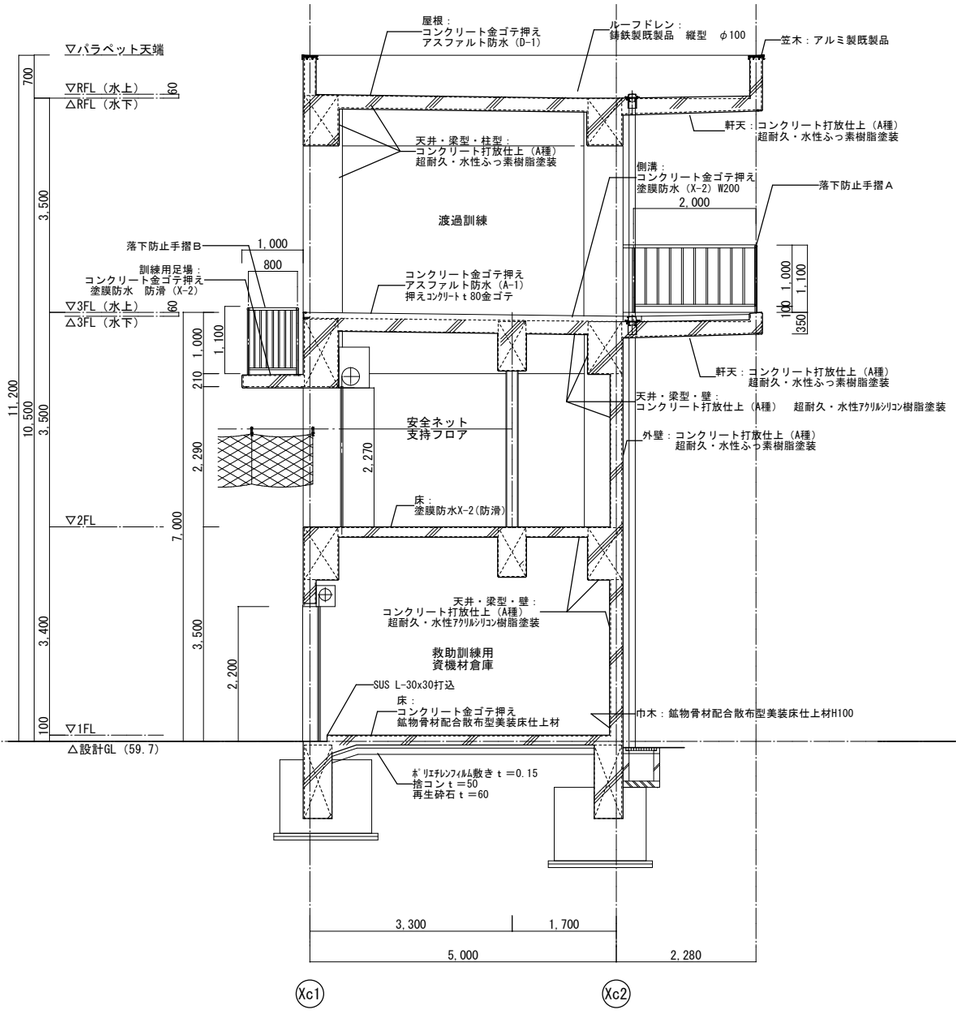
部分詳細図　1/20

JOBNO

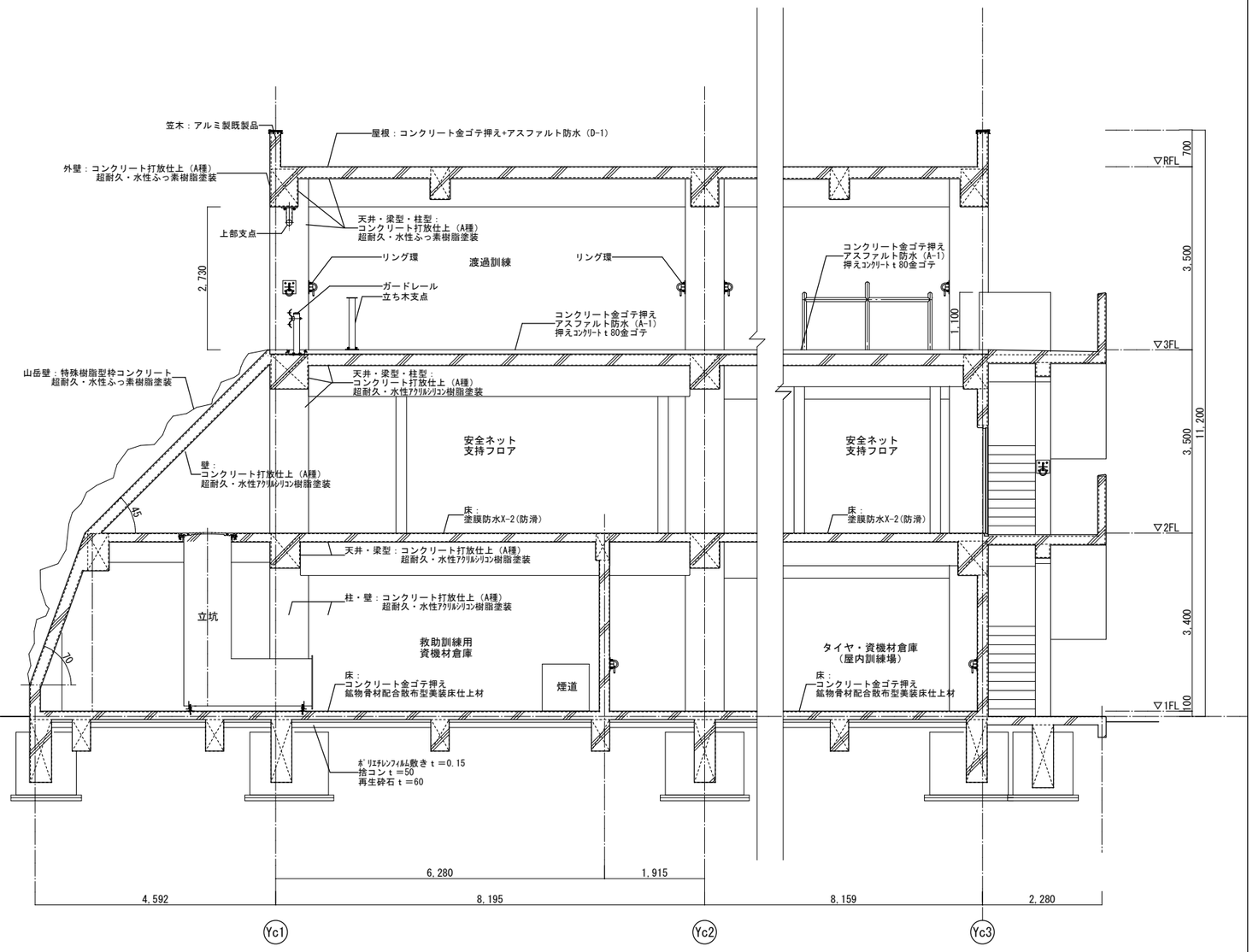
白石消防署庁舎建替工事　【訓練棟】主訓練塔矩計図・階段詳細図　A-209

DATE　SCAL (A 1) 1／50 (A 3) 1／100　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士　第 357230 号　永野ますみ



副訓練塔1　矩計図　1/50



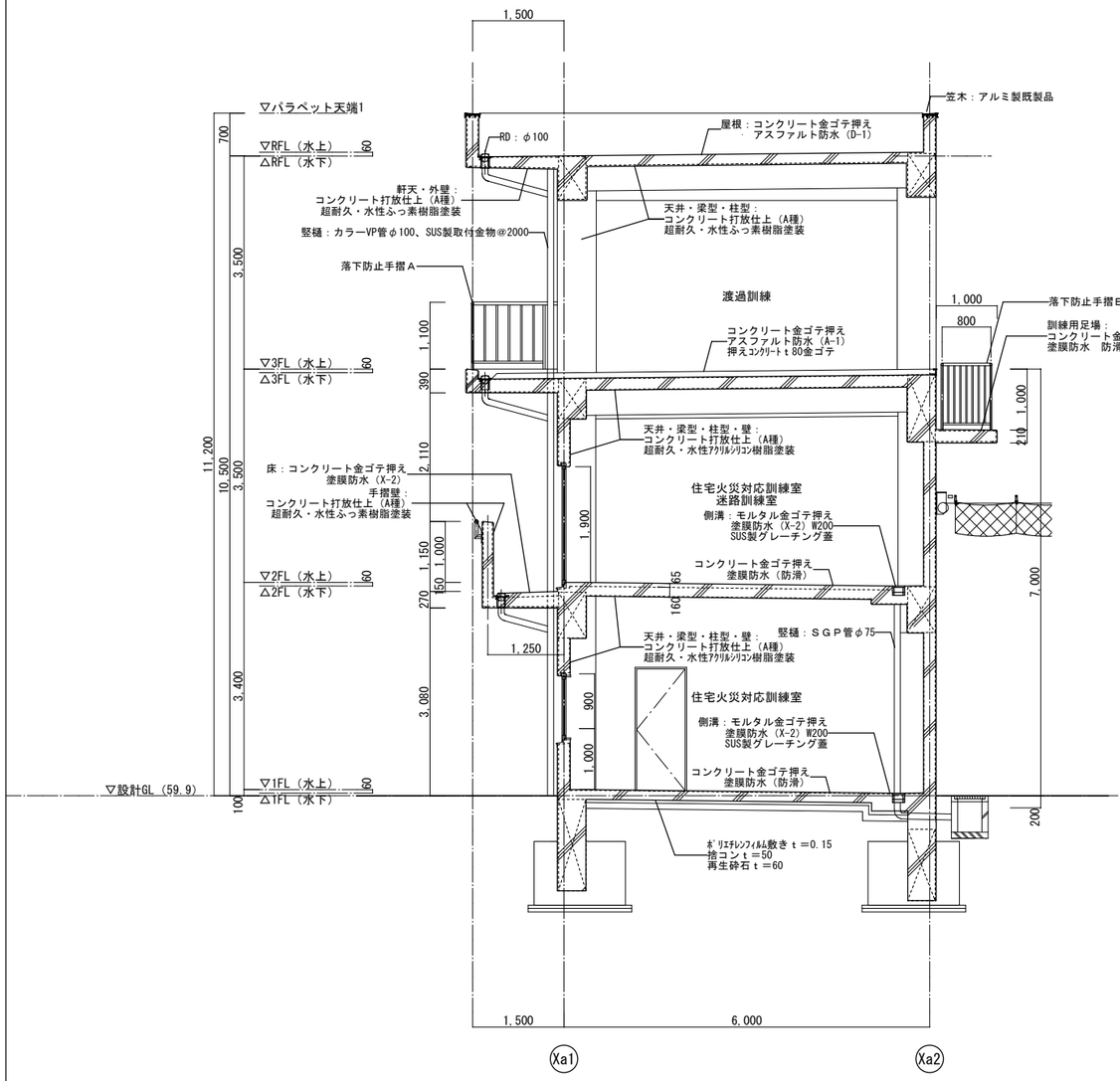
副訓練塔1　矩計図　1/50

JOBNO

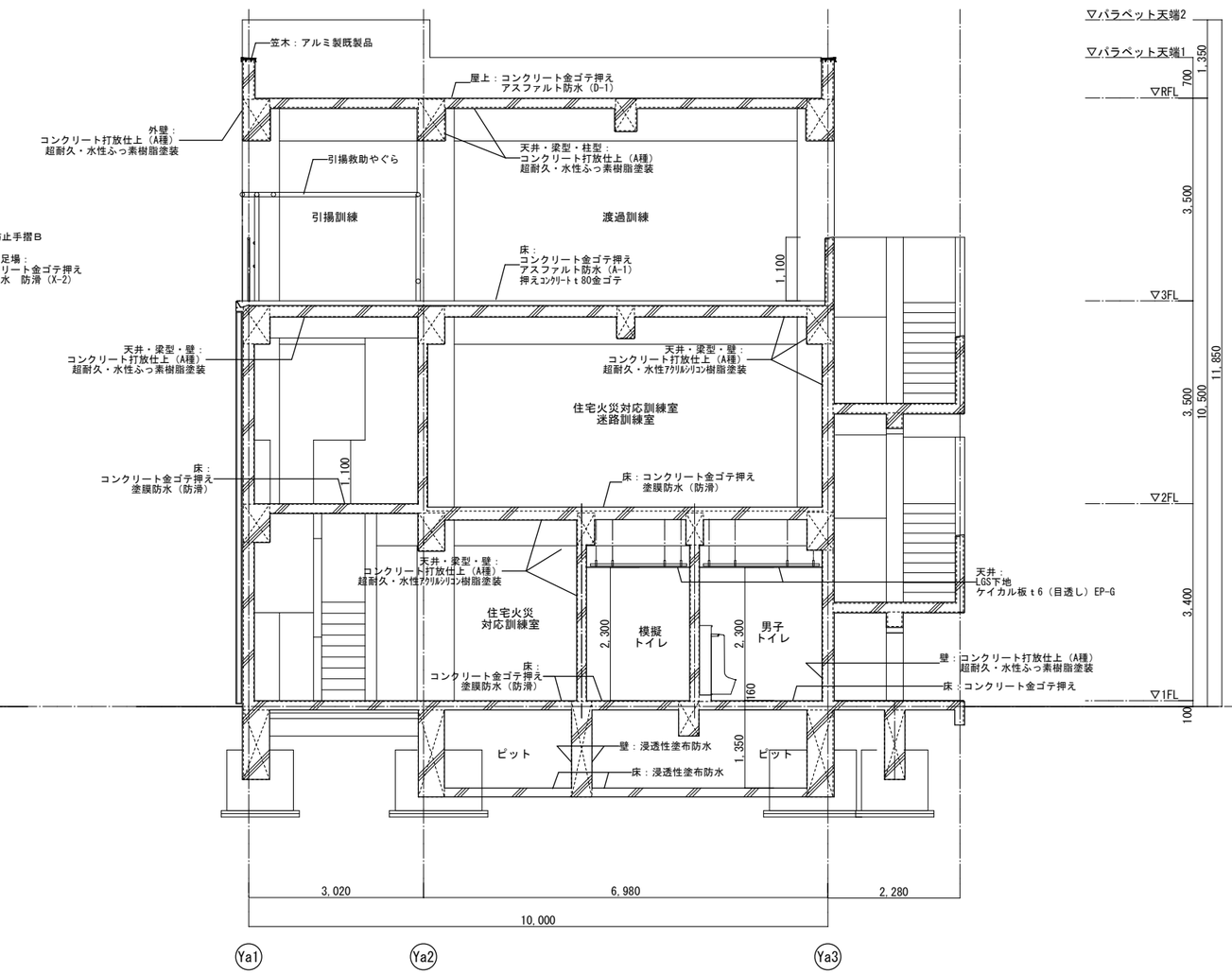
白石消防署庁舎建替工事　【訓練棟】副訓練塔1矩計図　A-210

DATE　SCAL (A 1) 1／50 (A 3) 1／100　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士　第 357230 号　永野ますみ



副訓練塔2　矩計図　1/50



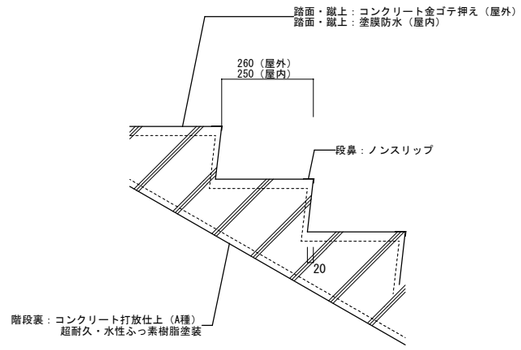
副訓練塔2　矩計図　1/50

JOBNO

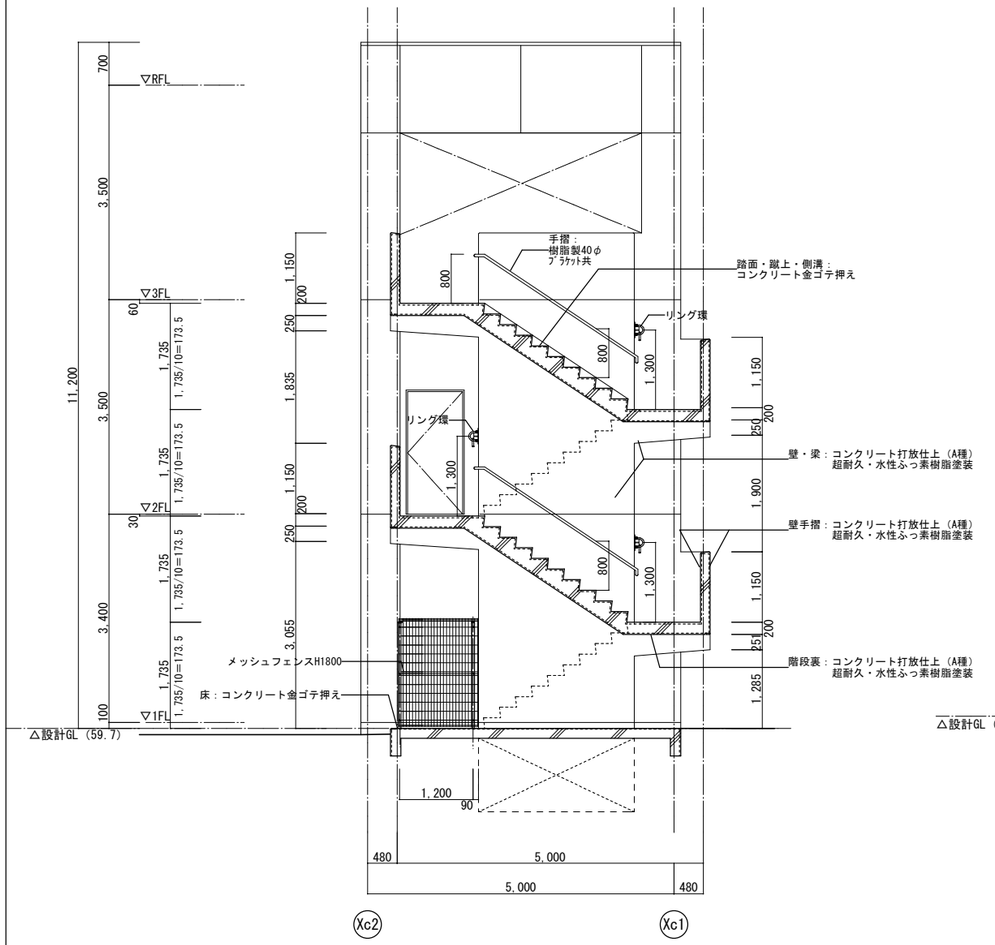
白石消防署庁舎建替工事　【訓練棟】副訓練塔2矩計図　A-211

DATE　SCAL (A 1) 1／50 (A 3) 1／100　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士　第 357230 号　永野ますみ

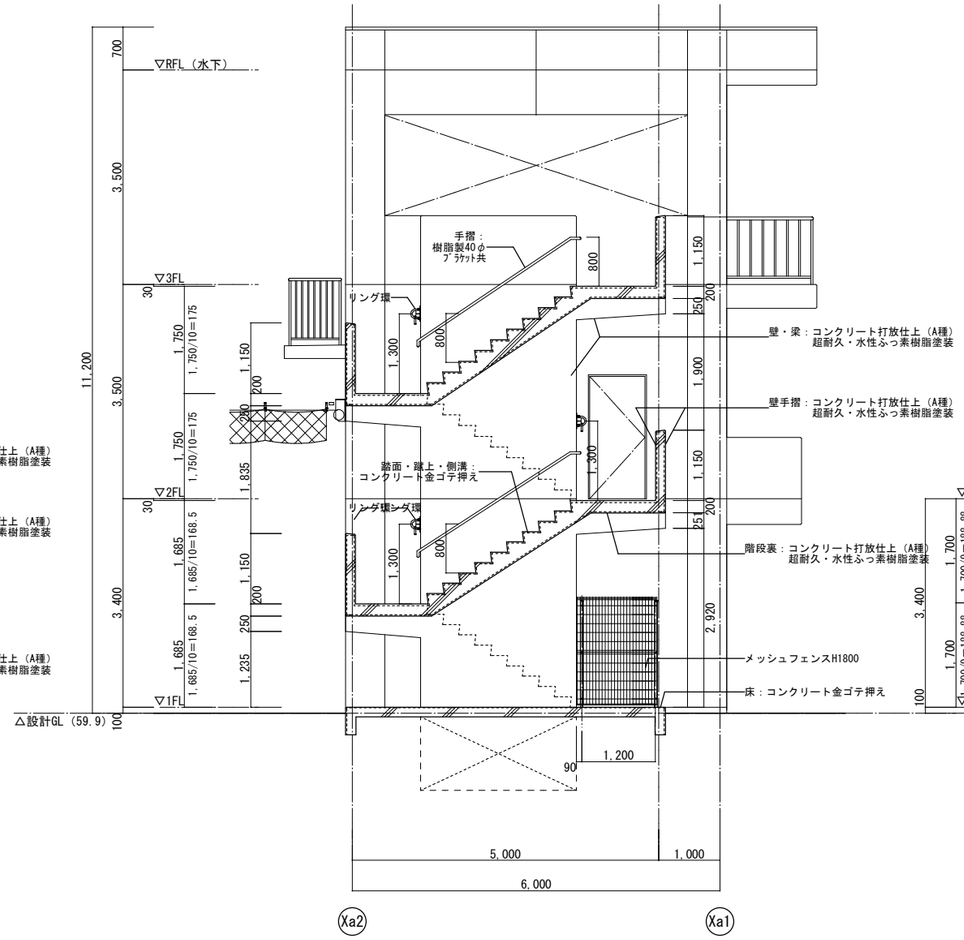


部分詳細図　1/10



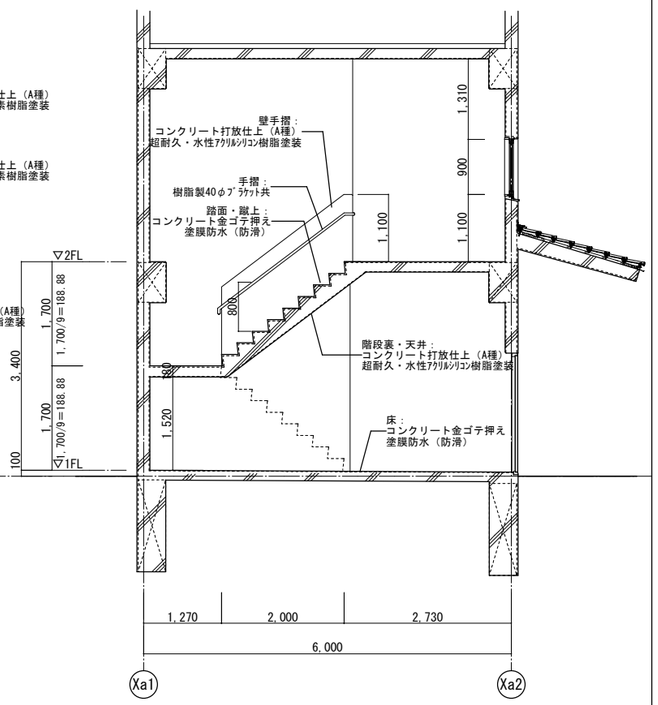
副訓練塔1　階段詳細図　1/50

蹴上	173.5 ＜ （220）
踏面	260 ＞ （210）
幅員	900 ＞ （750）
踊り場	1065 ＞ （750）



副訓練塔2　階段詳細図　1/50

蹴上	175 ＜ （220）
踏面	260 ＞ （210）
幅員	900 ＞ （750）
踊り場	1065 ＞ （750）



副訓練塔2　屋内階段詳細図　1/50

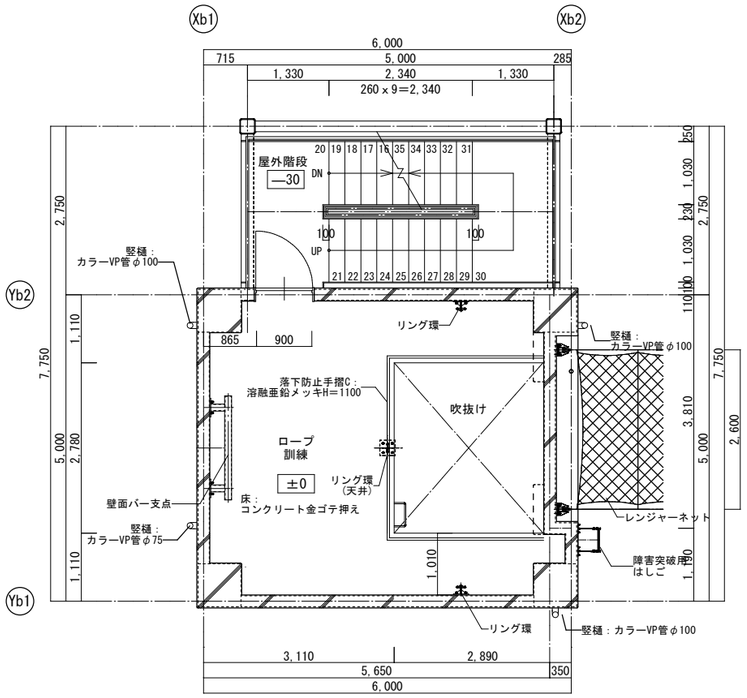
蹴上	188.88 ＜ （230）
踏面	250 ＞ （150）
幅員	750 ＞ （750）
踊り場	900 ＞ （750）

JOBNO

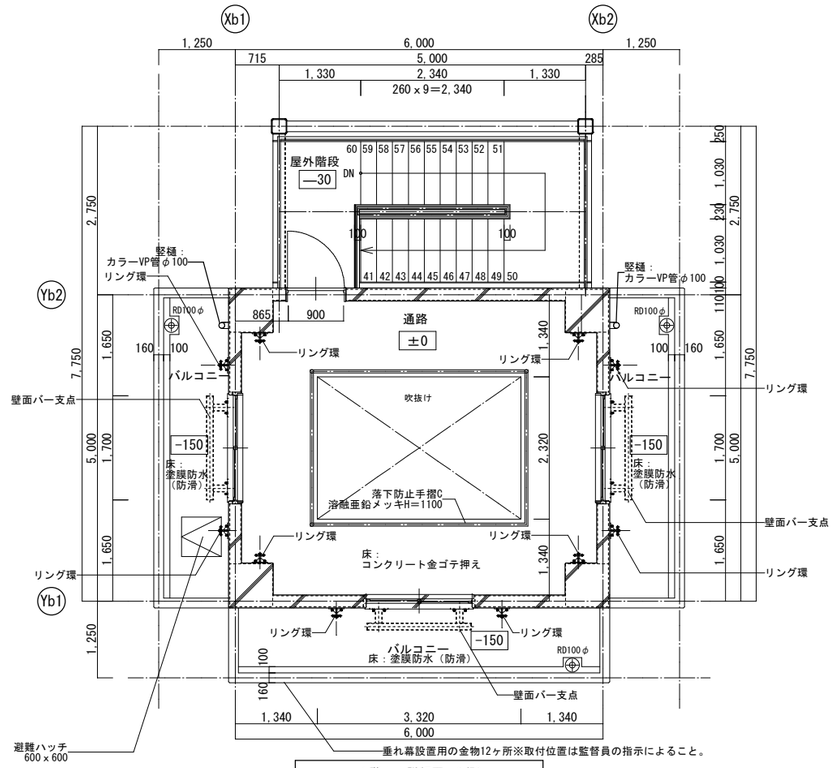
白石消防署庁舎建替工事　【訓練棟】副訓練塔階段詳細図　A-212

DATE　SCAL (A 1) 1／50 (A 3) 1／100　DRAWN　CHEK

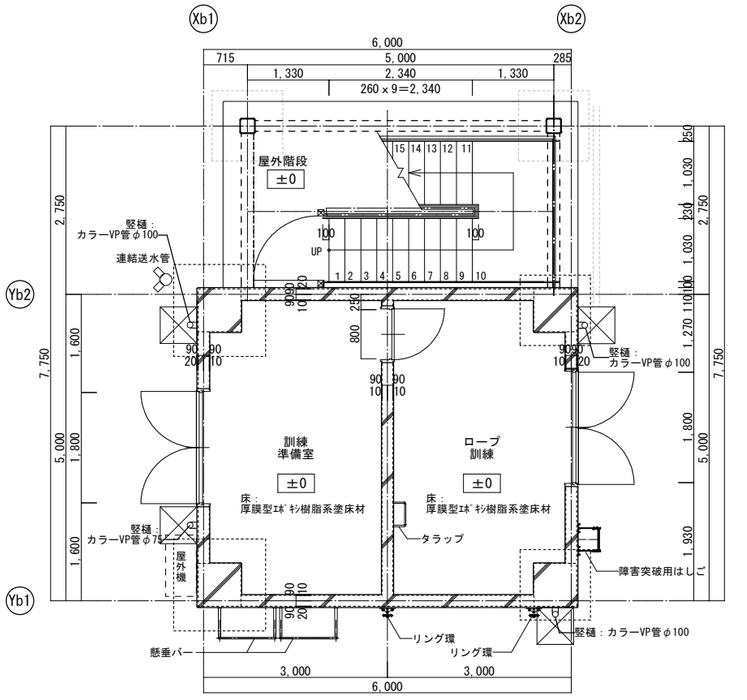
株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号 永野ますみ



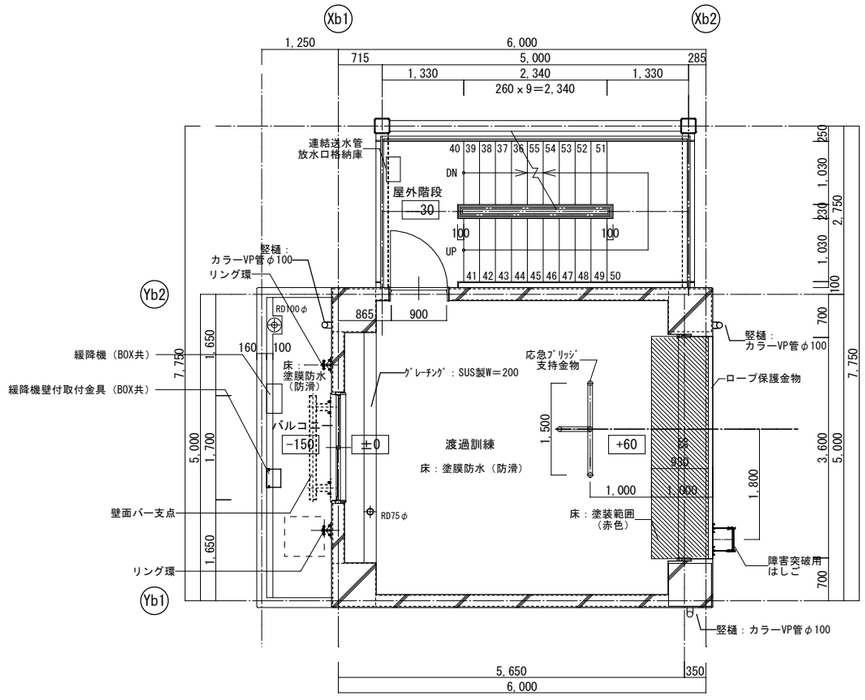
２階平面詳細図　1/50



４階平面詳細図　1/50



１階平面詳細図　1/50



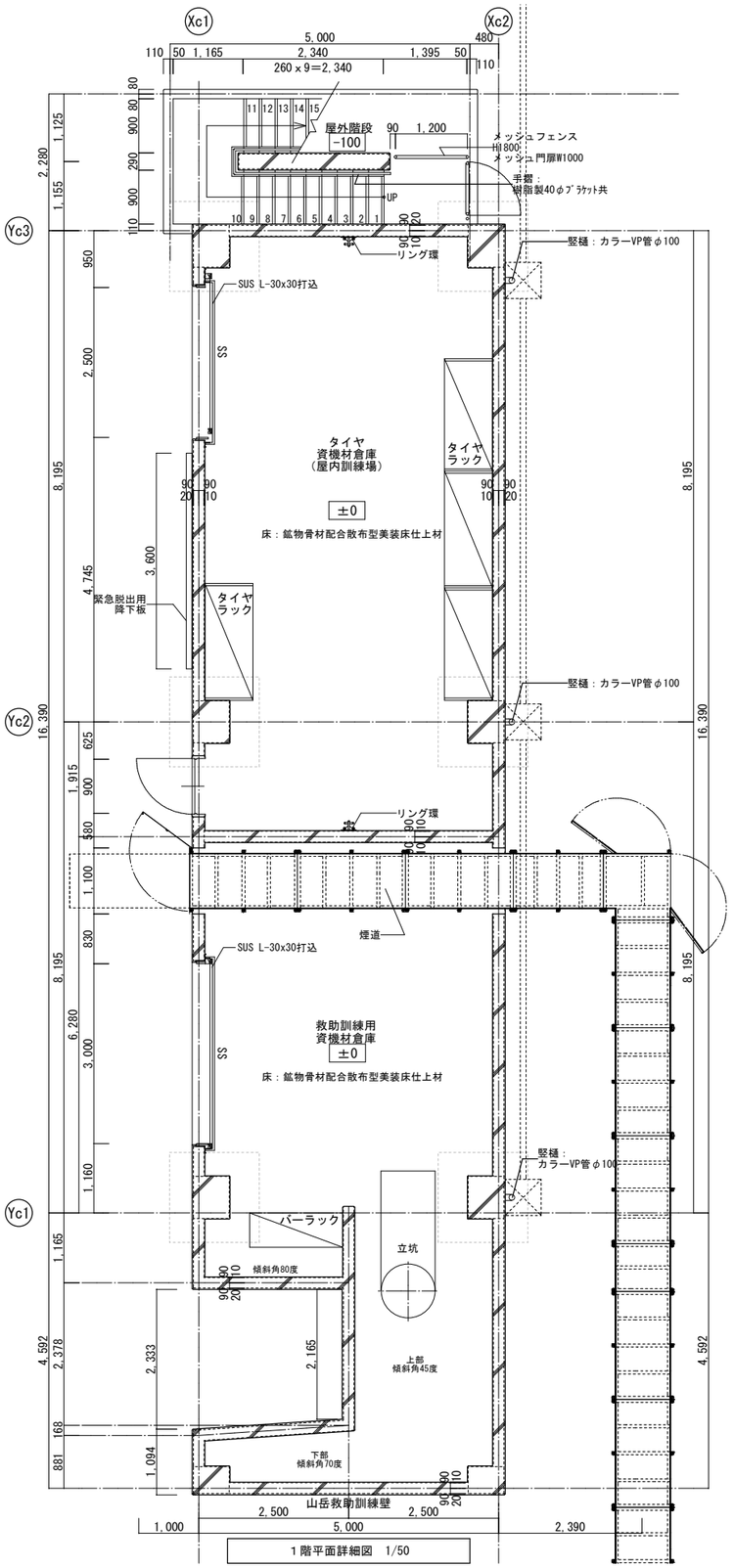
３階平面詳細図　1/50

JOBNO

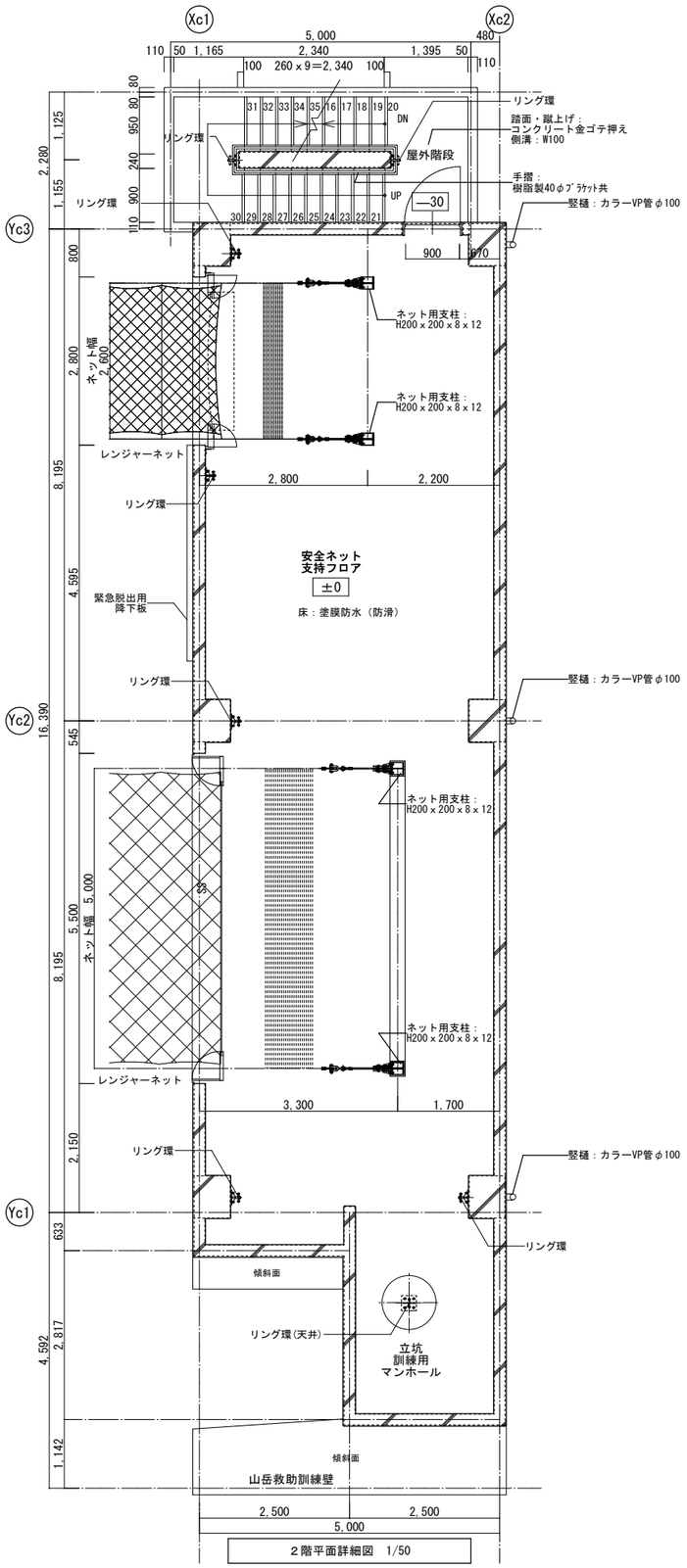
白石消防署庁舎建替工事　訓練塔　主訓練塔平面詳細図　A-213

DATE　SCAL (A 1) 1／50 (A 3) 1／100　DRAWN　CHEK

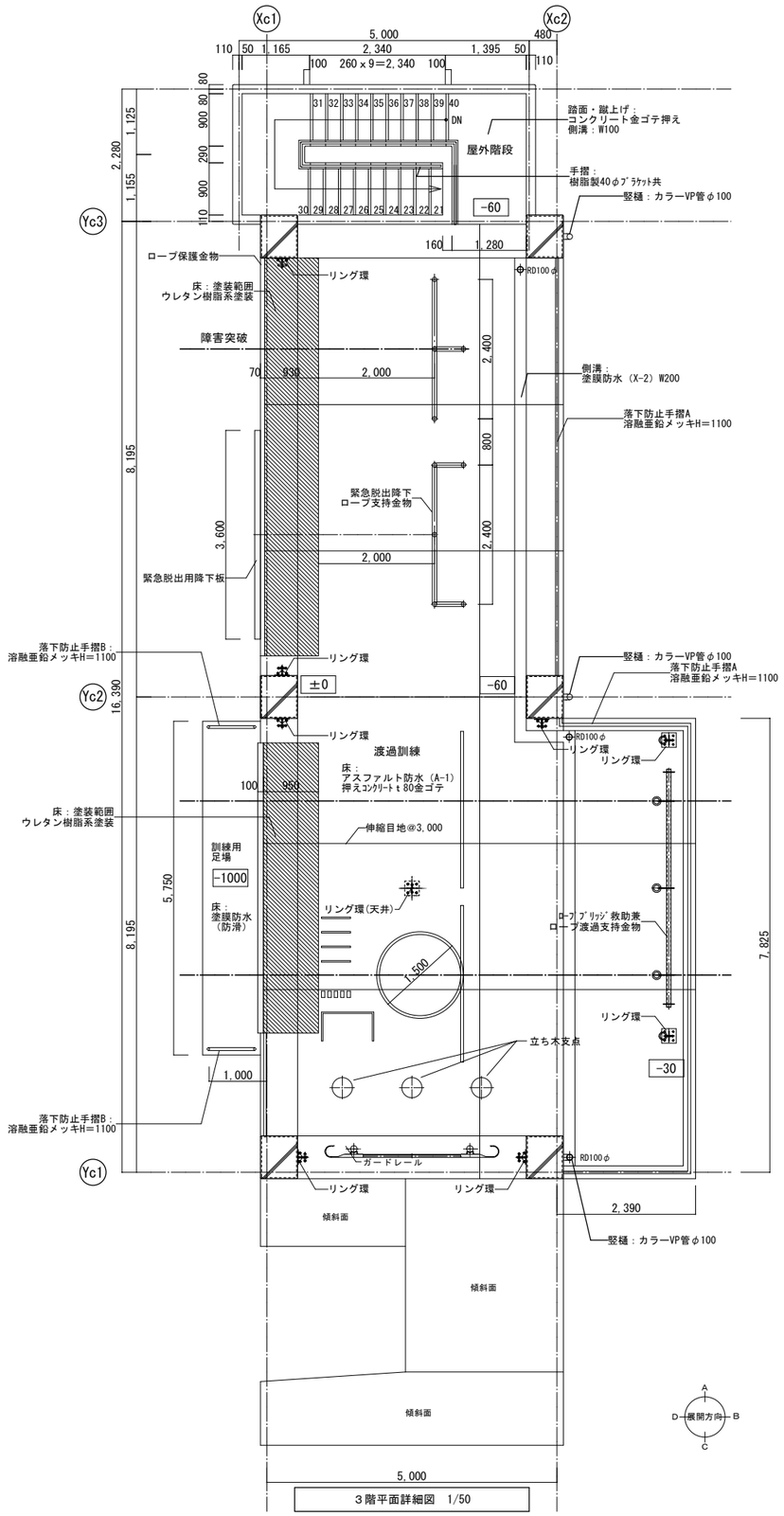
株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士　第 357230 号　永野ますみ



1階平面詳細図　1/50



2階平面詳細図　1/50



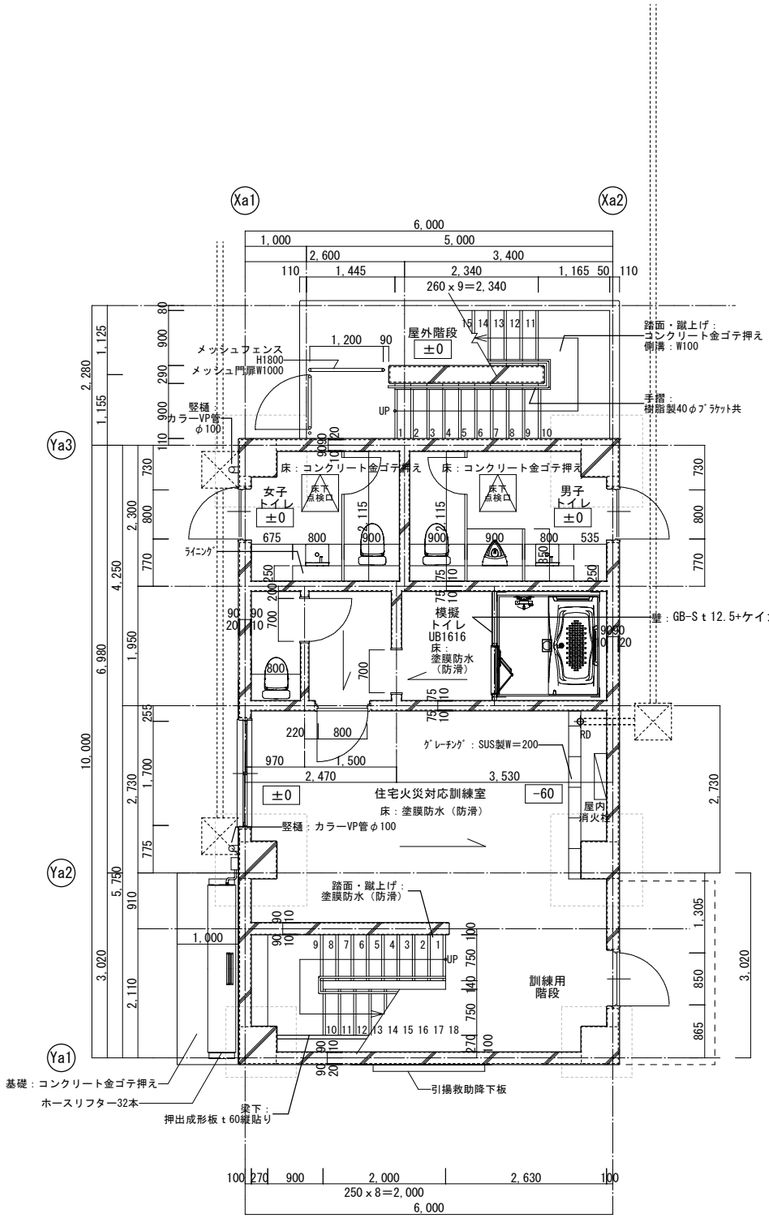
3階平面詳細図　1/50

JOBNO

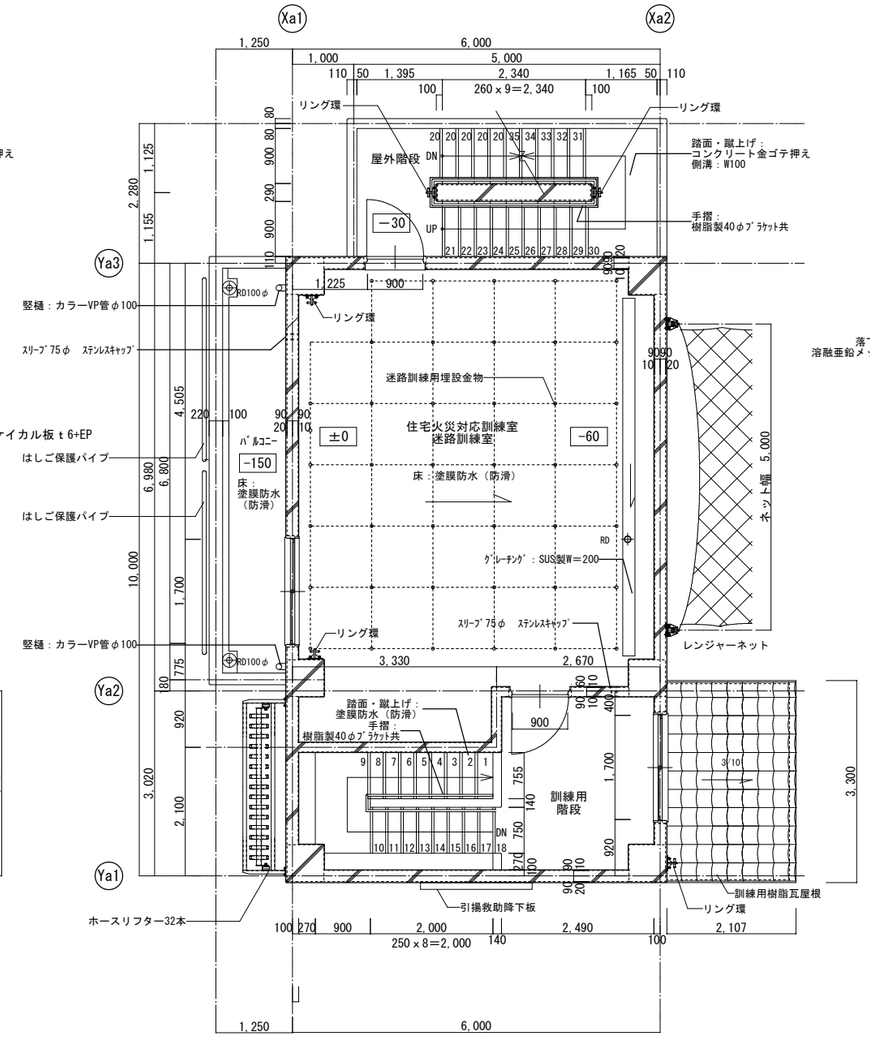
白石消防署庁舎建替工事　【訓練棟】副訓練塔1平面詳細図　A-214

DATE　SCAL (A 1) 1/ 50 (A 3) 1/ 100　DRAWN　CHEK

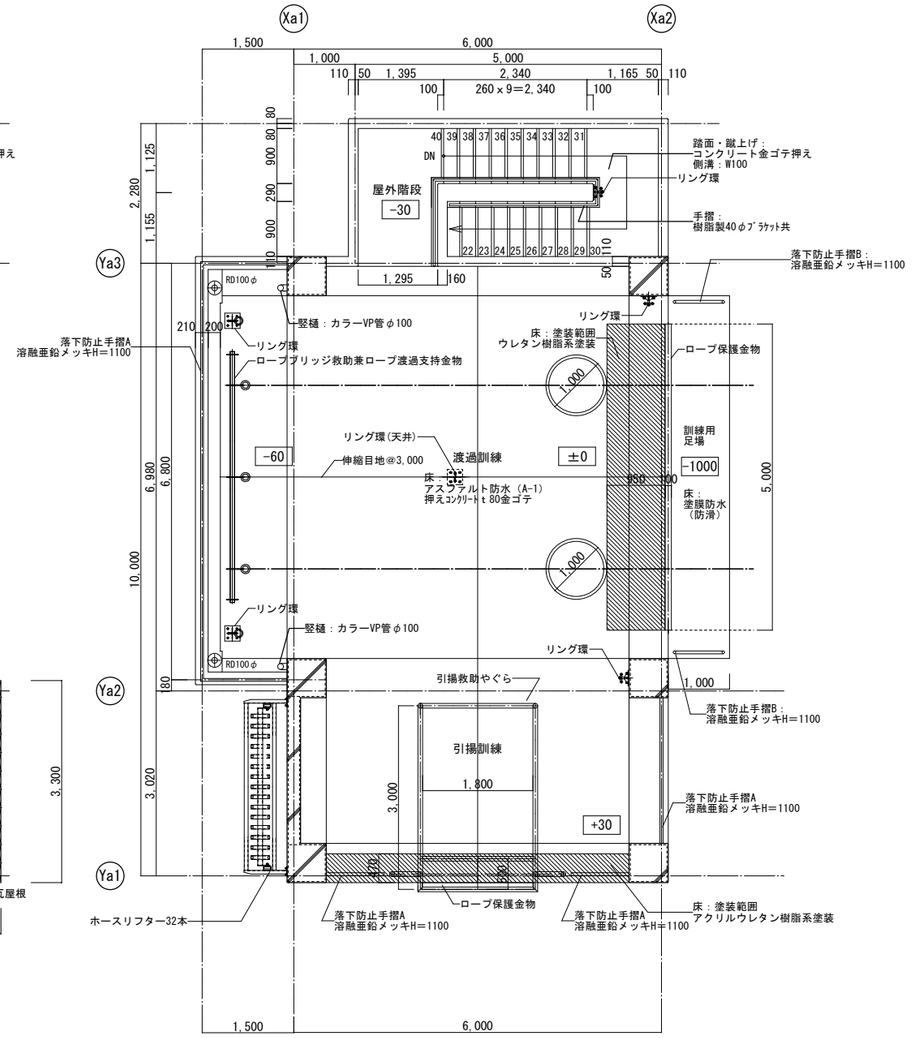
株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号 永野ますみ



1階平面詳細図　1/50



2階平面詳細図　1/50



3階平面詳細図　1/50

JOBNO

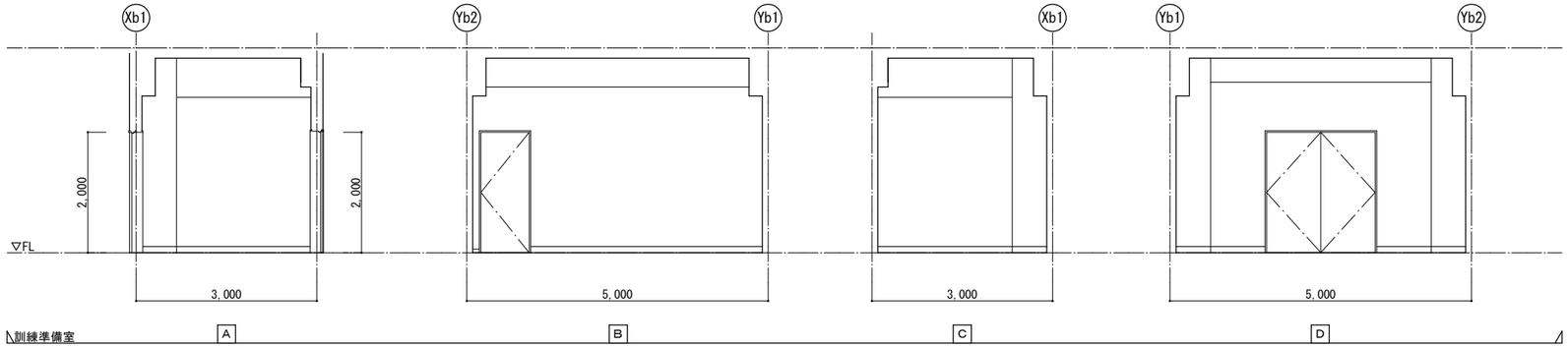
白石消防署庁舎建替工事　【訓練棟】副訓練塔2平面詳細図　A-215

DATE　SCAL (A 1) 1/50 (A 3) 1/100　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号 永野ますみ

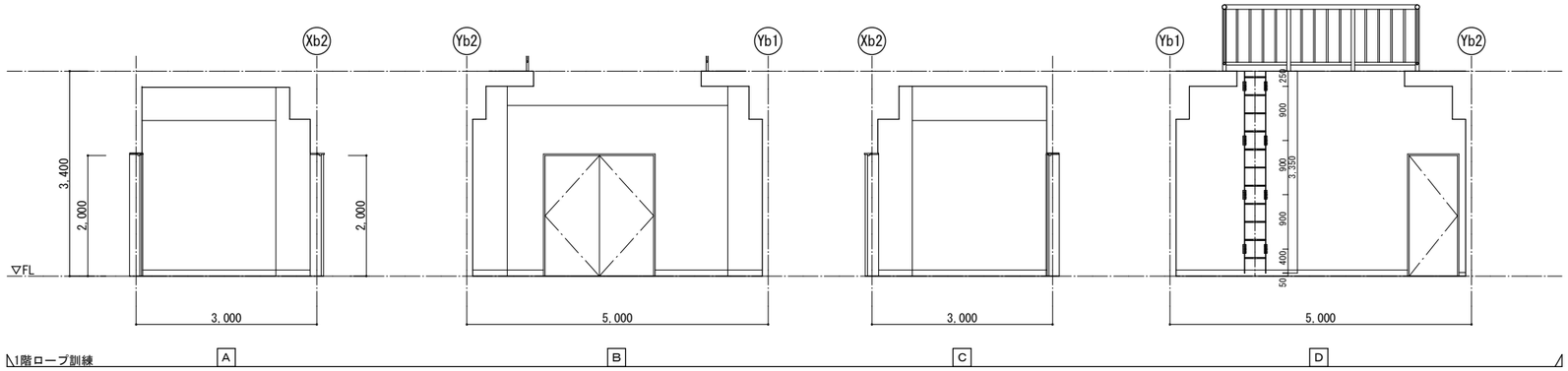
主訓練塔

	1階　訓練準備室
床	厚膜型ｴﾎﾟｷｼ樹脂系塗床材
巾木	床材立ち上げ（H100）
壁	コンクリート打放仕上（A種） 超耐久・水性ｱｸﾘﾙｼﾘｺﾝ樹脂塗装
天井	コンクリート打放仕上（A種） 超耐久・水性ｱｸﾘﾙｼﾘｺﾝ樹脂塗装



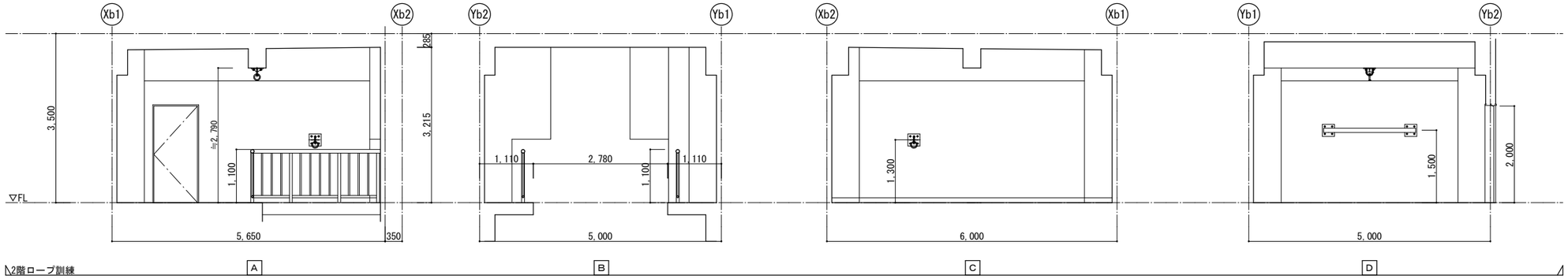
主訓練塔

	1階　ロープ訓練
床	厚膜型ｴﾎﾟｷｼ樹脂系塗床材
巾木	床材立ち上げ（H100）
壁	コンクリート打放仕上（A種） 超耐久・水性ｱｸﾘﾙｼﾘｺﾝ樹脂塗装
天井	コンクリート打放仕上（A種） 超耐久・水性ｱｸﾘﾙｼﾘｺﾝ樹脂塗装



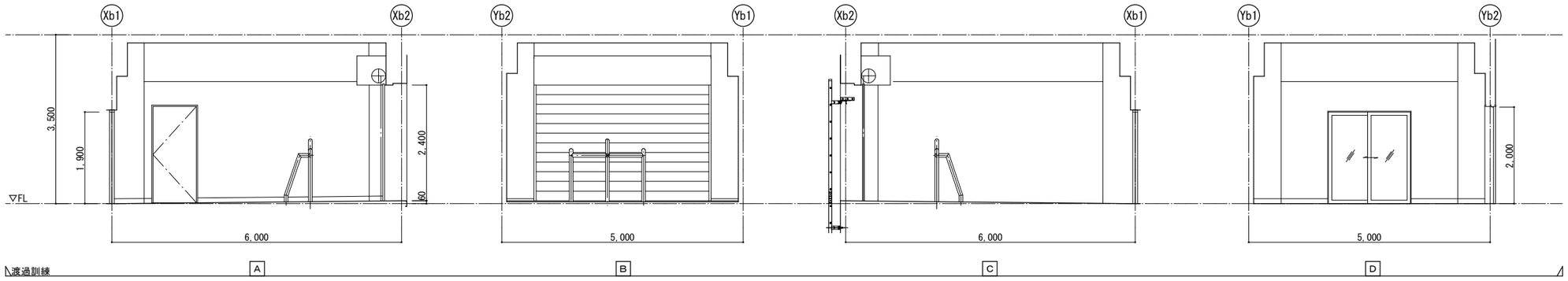
主訓練塔

	2階　ロープ訓練
床	コンクリート金ゴテ押え
巾木	―
壁	コンクリート打放仕上（A種） 超耐久・水性ｱｸﾘﾙｼﾘｺﾝ樹脂塗装
天井	コンクリート打放仕上（A種） 超耐久・水性ｱｸﾘﾙｼﾘｺﾝ樹脂塗装



主訓練塔

	3階　渡過訓練
床	塗膜防水（防滑）
巾木	床材立ち上げ（H100）
壁	コンクリート打放仕上（A種） 超耐久・水性ｱｸﾘﾙｼﾘｺﾝ樹脂塗装
天井	コンクリート打放仕上（A種） 超耐久・水性ｱｸﾘﾙｼﾘｺﾝ樹脂塗装



JOBNO

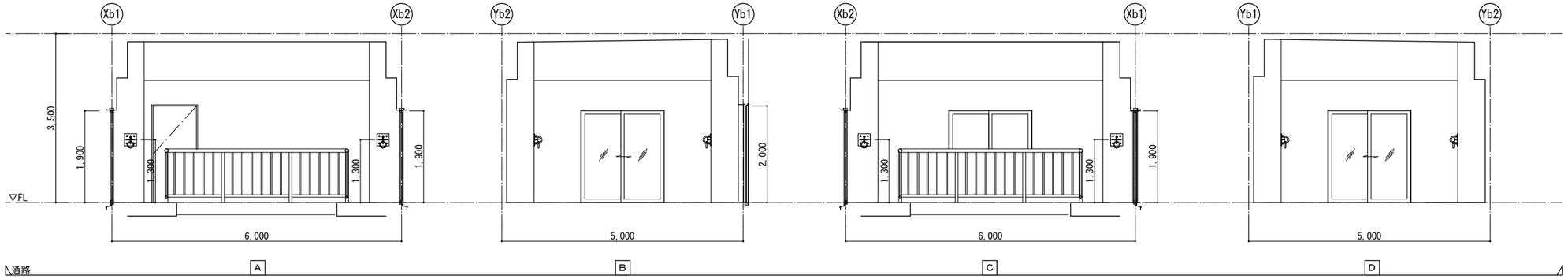
白石消防署庁舎建替工事　【訓練棟】展開図1　A-216

DATE　SCAL (A 1) 1／50 (A 3) 1／100　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号　永野ますみ

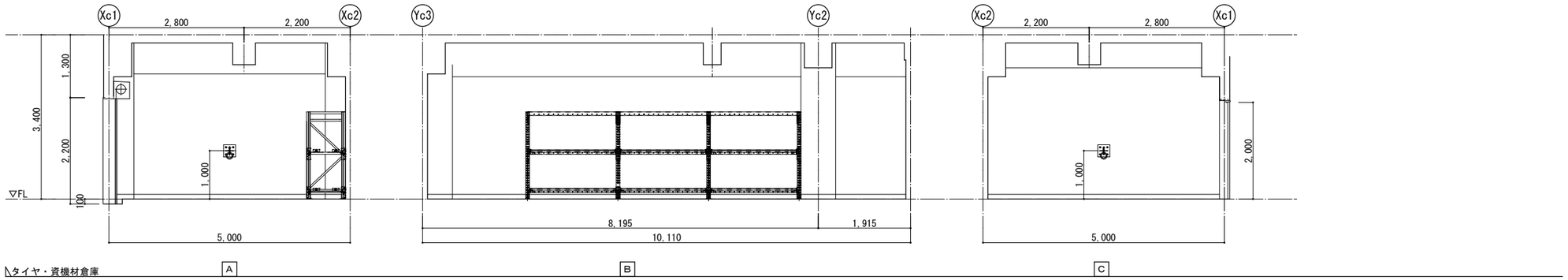
主訓練塔

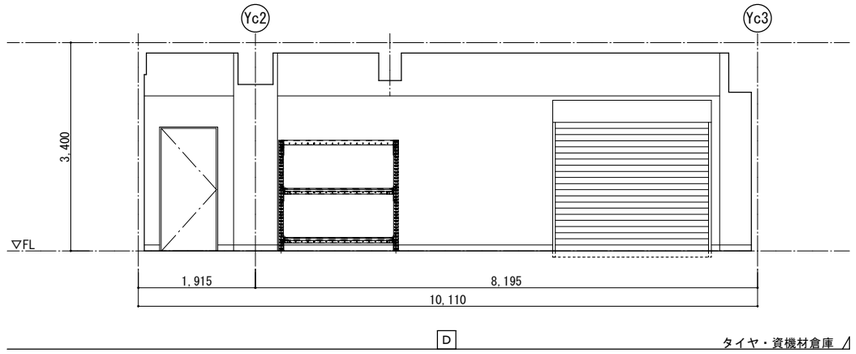
	4階　通路
床	コンクリート金ゴテ押え
巾木	ー
壁	コンクリート打放仕上（A種） 超耐久・水性ｱｸﾘﾙｼﾘｺﾝ樹脂塗装
天井	コンクリート打放仕上（A種） 超耐久・水性ｱｸﾘﾙｼﾘｺﾝ樹脂塗装

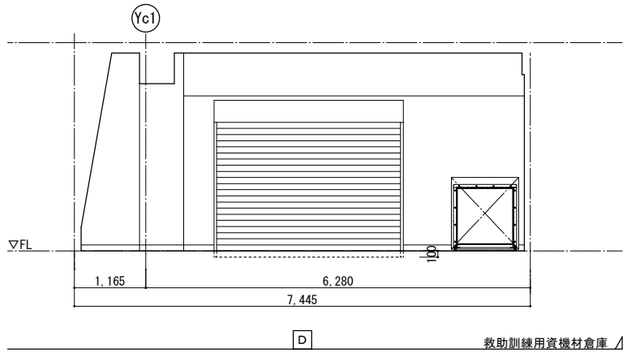


副訓練塔1

	1階　タイヤ・資機材倉庫 （屋内訓練場）
床	鉱物骨材配合散布型美装床仕上材
巾木	床材立ち上げ（H100）
壁	コンクリート打放仕上（A種） 超耐久・水性ｱｸﾘﾙｼﾘｺﾝ樹脂塗装
天井	コンクリート打放仕上（A種） 超耐久・水性ｱｸﾘﾙｼﾘｺﾝ樹脂塗装

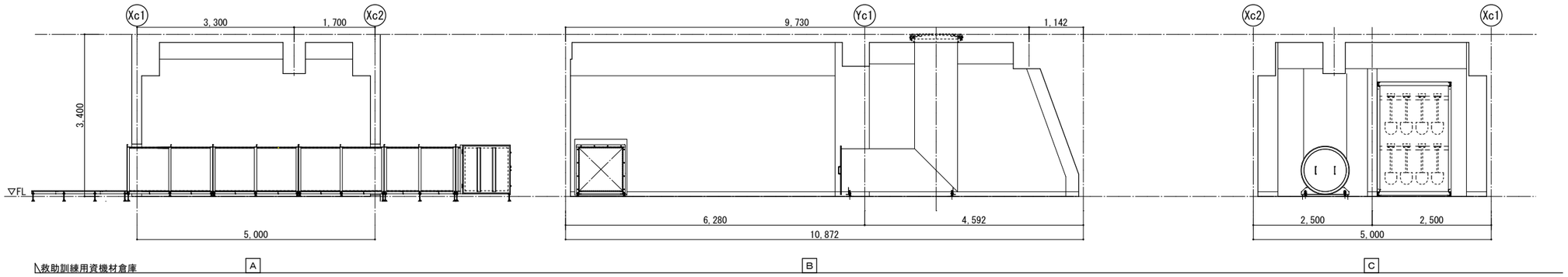






副訓練塔1

	1階　救助訓練用資機材倉庫
床	鉱物骨材配合散布型美装床仕上材
巾木	床材立ち上げ（H100）
壁	コンクリート打放仕上（A種） 超耐久・水性ｱｸﾘﾙｼﾘｺﾝ樹脂塗装
天井	コンクリート打放仕上（A種） 超耐久・水性ｱｸﾘﾙｼﾘｺﾝ樹脂塗装



JOBNO

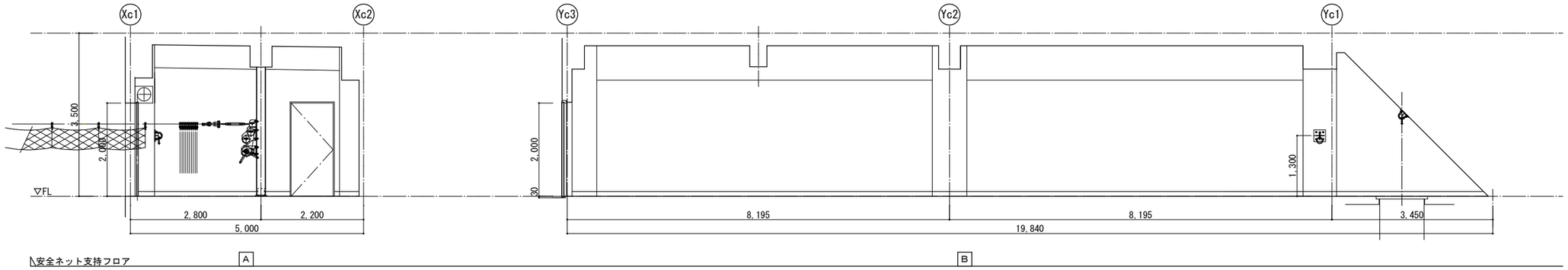
白石消防署庁舎建替工事　【訓練棟】展開図2　A-217

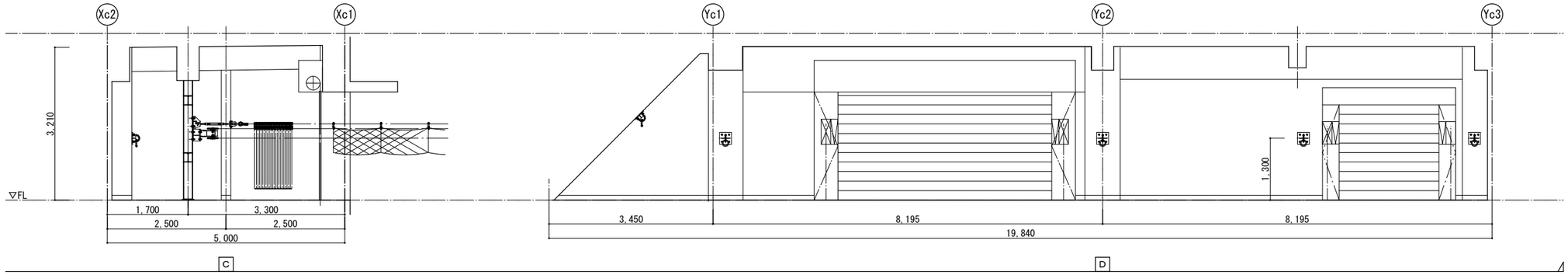
DATE　SCAL (A 1) 1／50 (A 3) 1／100　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号　永野ますみ

副訓練塔1

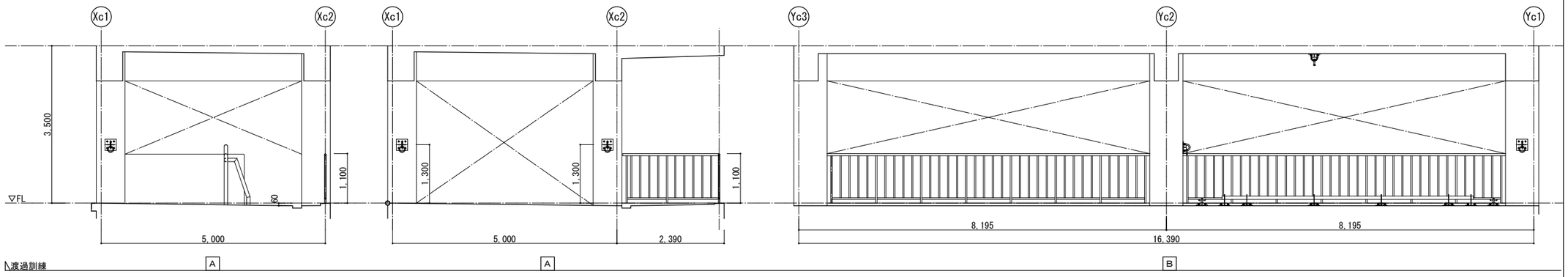
	２階　　安全ネット支持フロア
床	塗膜防水（防滑）
巾木	床材立ち上げ（H100）
壁	コンクリート打放仕上（A種） 超耐久・水性ｱｸﾘﾙｼﾘｺﾝ樹脂塗装
天井	コンクリート打放仕上（A種） 超耐久・水性ｱｸﾘﾙｼﾘｺﾝ樹脂塗装

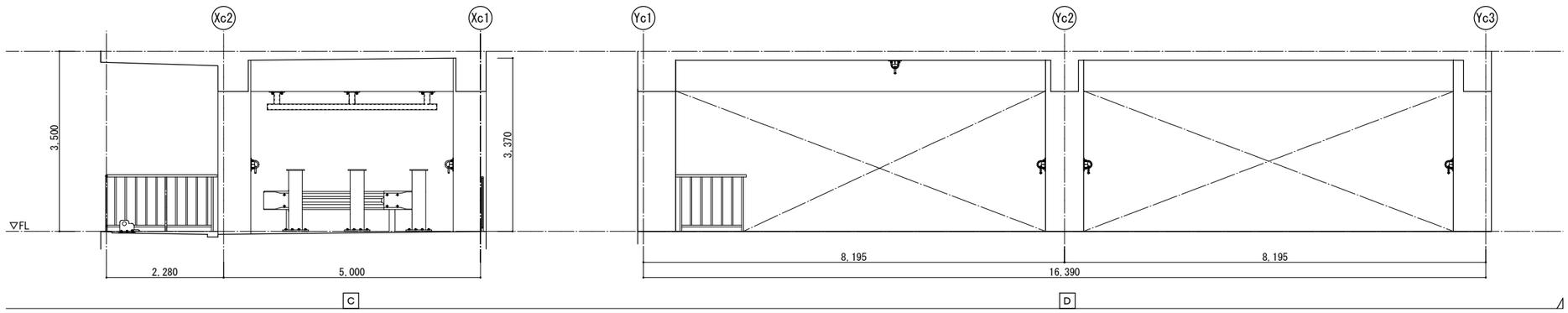




副訓練塔1

	３階　　渡過訓練
床	アスファルト防水（A-1） +押えｺﾝｸﾘｰﾄｔ80金ゴテ
巾木	―
壁	コンクリート打放仕上（A種） 超耐久・水性ふっ素樹脂塗装
天井	コンクリート打放仕上（A種） 超耐久・水性ふっ素樹脂塗装





JOBNO

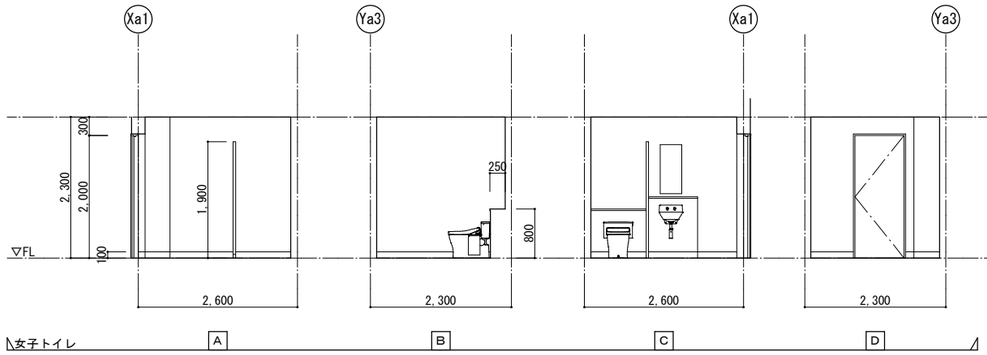
白石消防署庁舎建替工事　　【訓練棟】展開図3　A-218

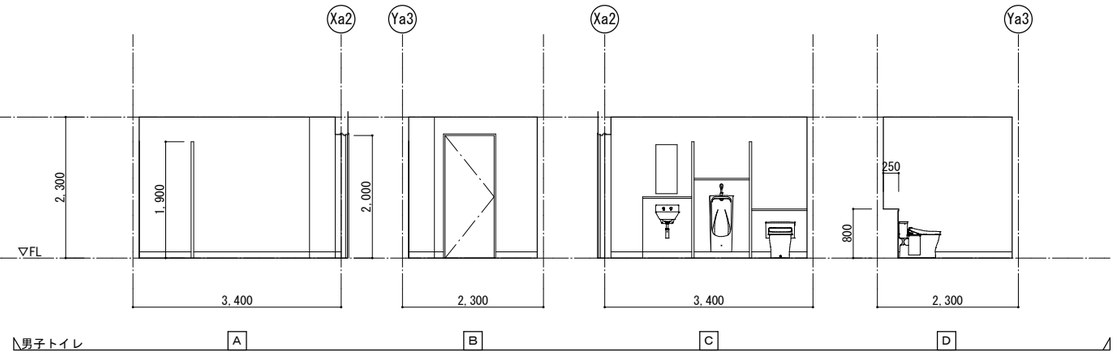
DATE　SCAL (A 1) 1／50 (A 3) 1／100　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士　第 357230 号　永野ますみ

副訓練塔2

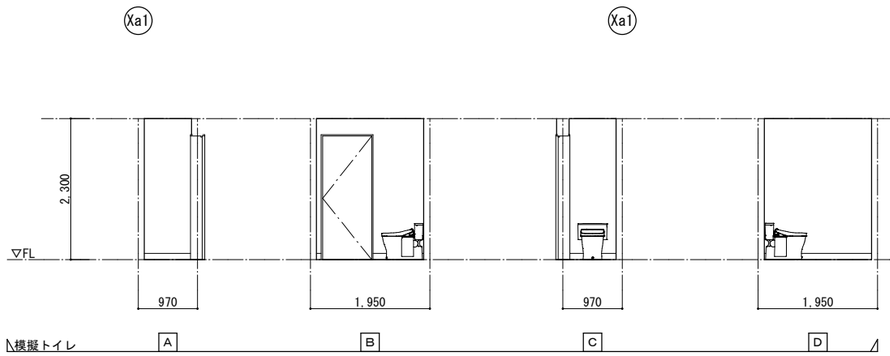
	1階　女子トイレ・男子トイレ
床	コンクリート金ゴテ押え
巾木	―
壁	コンクリート打放仕上（A種） 超耐久・水性ｱｸﾘﾙｼﾘｺﾝ樹脂塗装
天井	LGS ケイカル板ｔ6（目透し）+EP-G

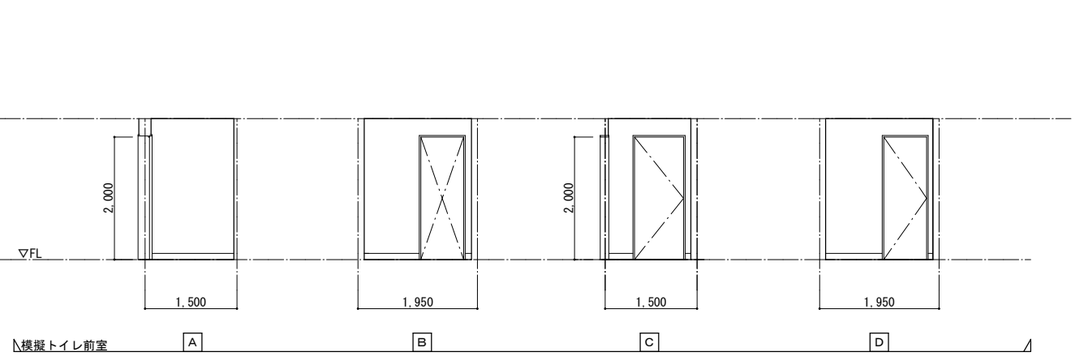




副訓練塔2

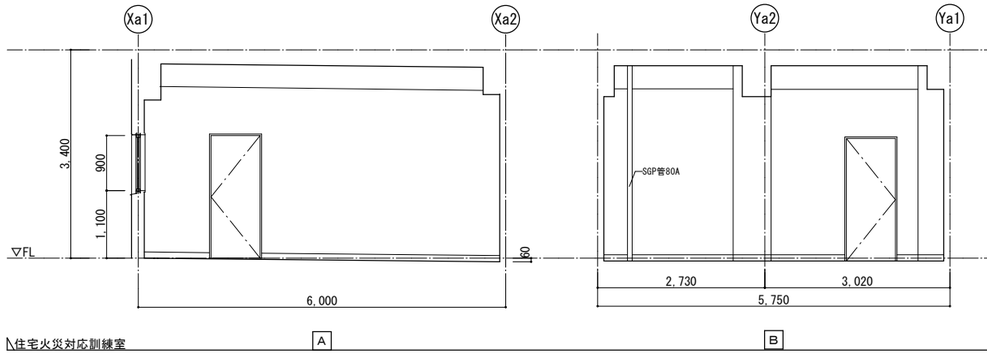
	1階　模擬トイレ・前室
床	塗膜防水（防滑）
巾木	床材立ち上げ（H100）
壁	コンクリート打放仕上（A種） 超耐久・水性ｱｸﾘﾙｼﾘｺﾝ樹脂塗装 間仕切：LGS65のうえ GB-Ｓｔ12.5+ケイカル板ｔ6+EP
天井	LGS ケイカル板ｔ6（目透し）+EP-G

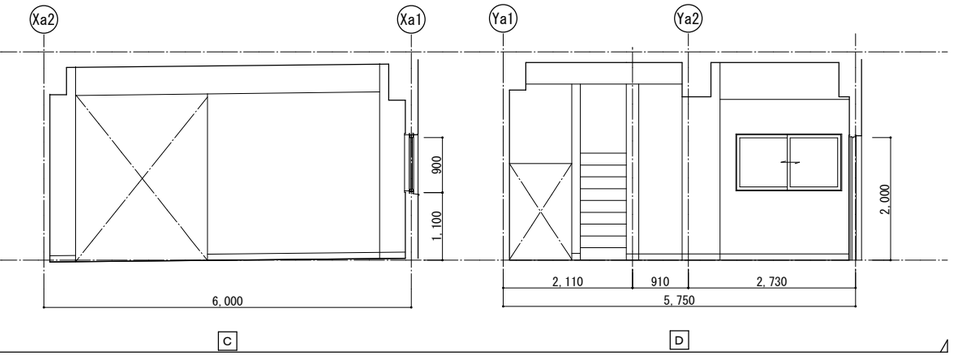




副訓練塔2

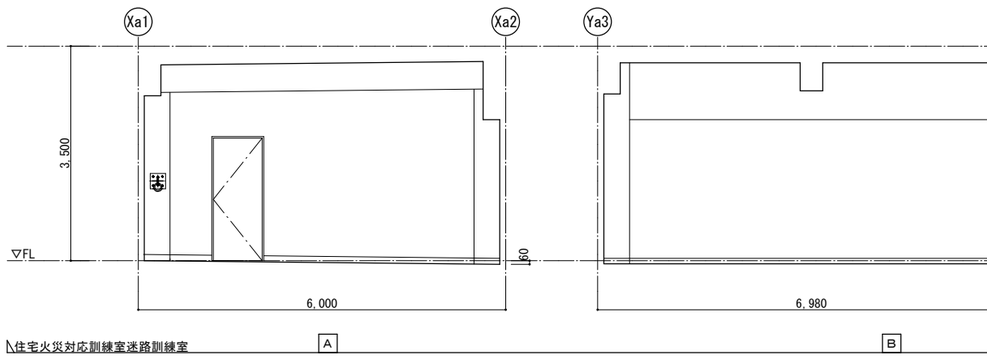
	1階　住宅火災対応訓練室
床	塗膜防水（防滑）
巾木	床材立ち上げ（H100）
壁	コンクリート打放仕上（A種） 超耐久・水性ｱｸﾘﾙｼﾘｺﾝ樹脂塗装
天井	コンクリート打放仕上（A種） 超耐久・水性ｱｸﾘﾙｼﾘｺﾝ樹脂塗装

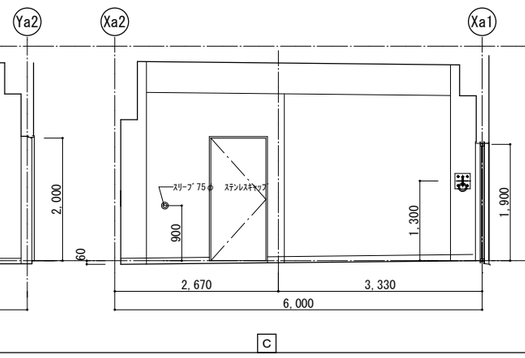


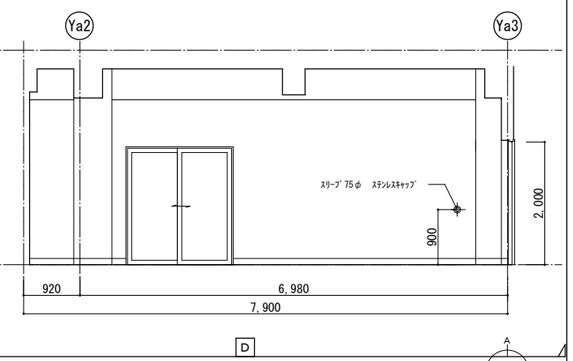


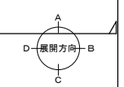
副訓練塔2

	2階　住宅火災対応訓練室 迷路訓練室
床	塗膜防水（防滑）
巾木	床材立ち上げ（H100）
壁	コンクリート打放仕上（A種） 超耐久・水性ｱｸﾘﾙｼﾘｺﾝ樹脂塗装
天井	コンクリート打放仕上（A種） 超耐久・水性ｱｸﾘﾙｼﾘｺﾝ樹脂塗装









JOBNO

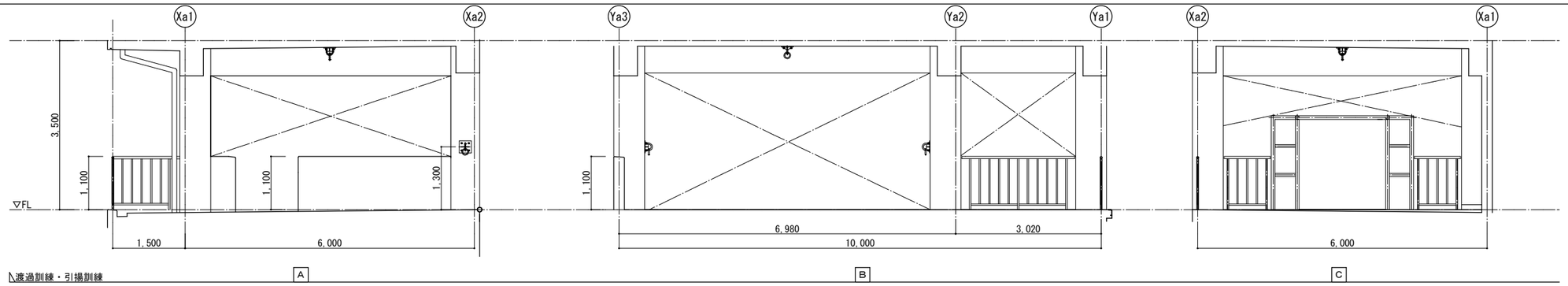
白石消防署庁舎建替工事　【訓練棟】展開図4　A-219

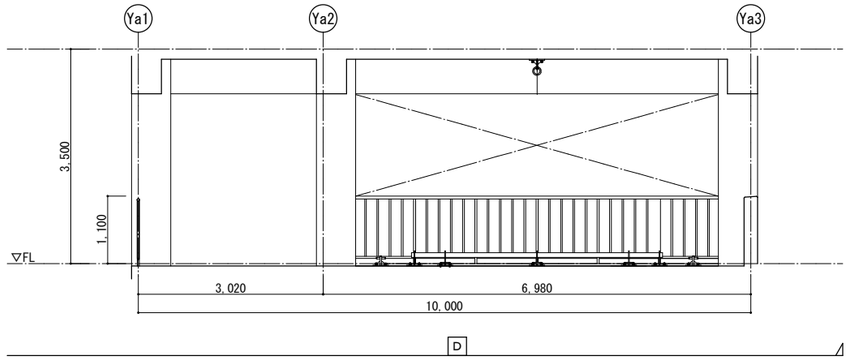
DATE　SCAL (A 1) 1／50 (A 3) 1／100　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号　永野ますみ

副訓練塔2

	３階　　渡過訓練・引揚訓練
床	アスファルト防水（A-1） +押えｺﾝｸﾘｰﾄｔ80金ゴテ
巾木	ー
壁	コンクリート打放仕上（A種） 超耐久・水性ふっ素樹脂塗装
天井	コンクリート打放仕上（A種） 超耐久・水性ふっ素樹脂塗装



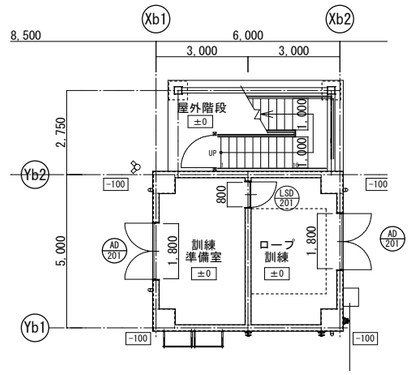


JOBNO

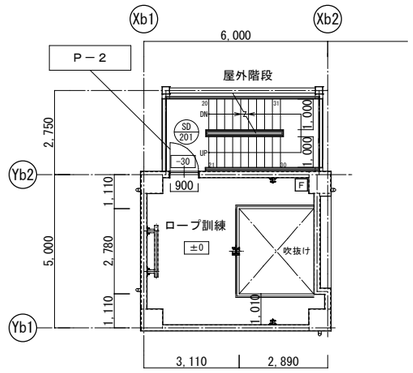
白石消防署庁舎建替工事　　【訓練棟】展開図5　　A-220

DATE　SCAL (A 1) 1／50 (A 3) 1／100　DRAWN　CHEK

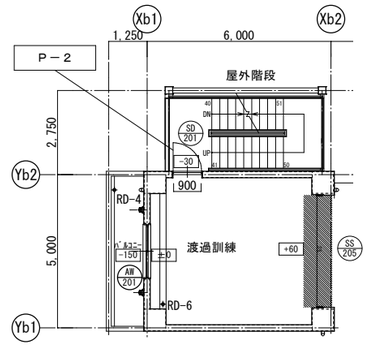
株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士　第 357230 号　永野ますみ



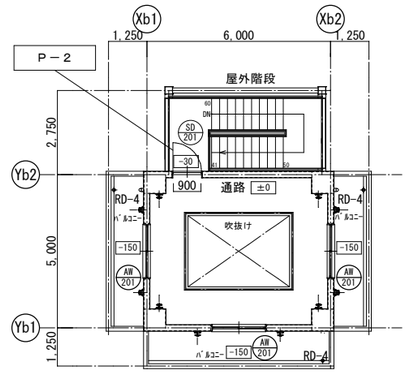
主訓練塔　1階平面図　1/100



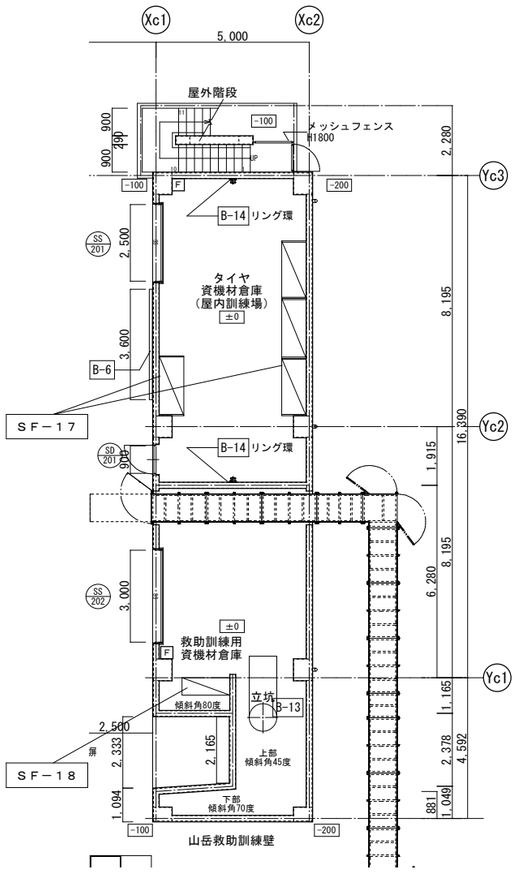
主訓練塔　2階平面図　1/100



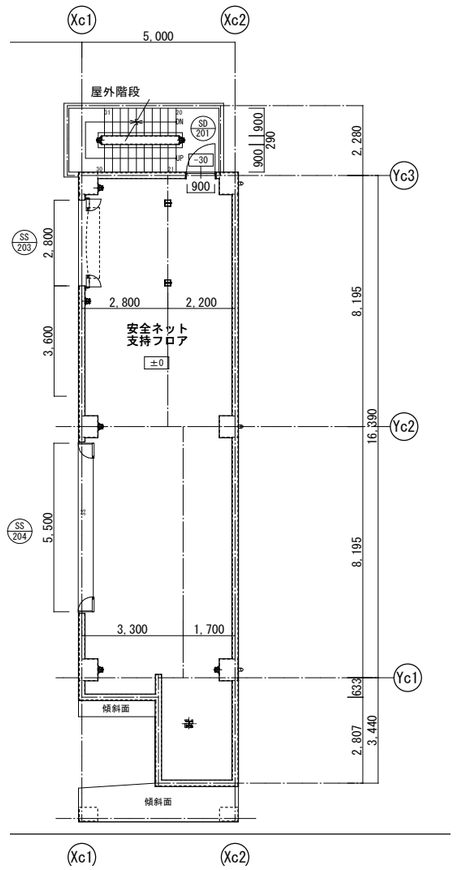
主訓練塔　3階平面図　1/100



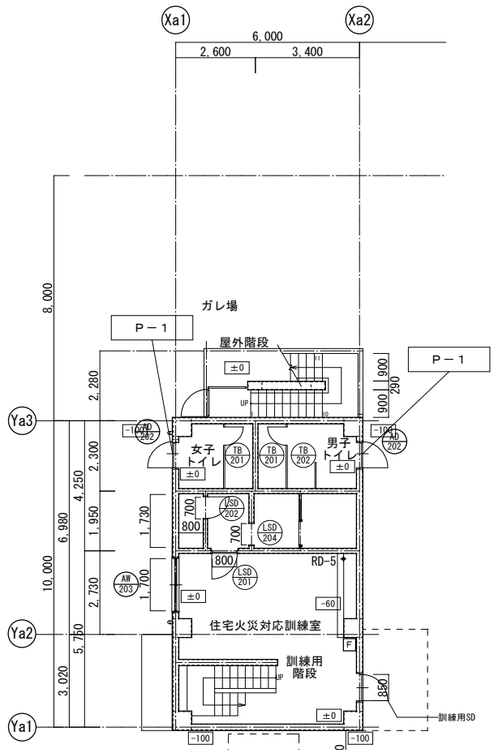
主訓練塔　4階平面図　1/100



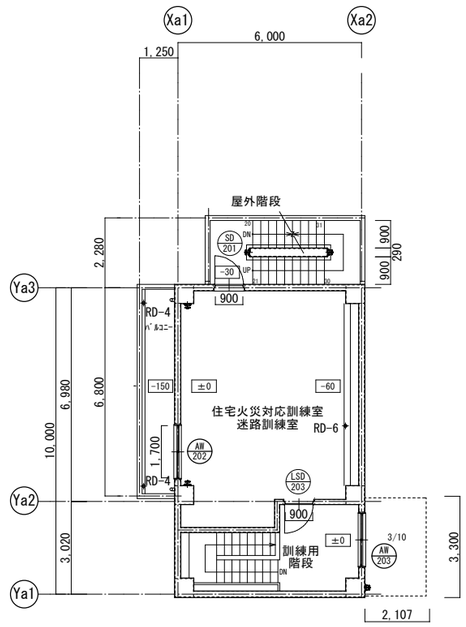
副訓練塔1　1階平面図　1/100



副訓練塔1　2階平面図　1/100



副訓練塔2　1階平面図　1/100



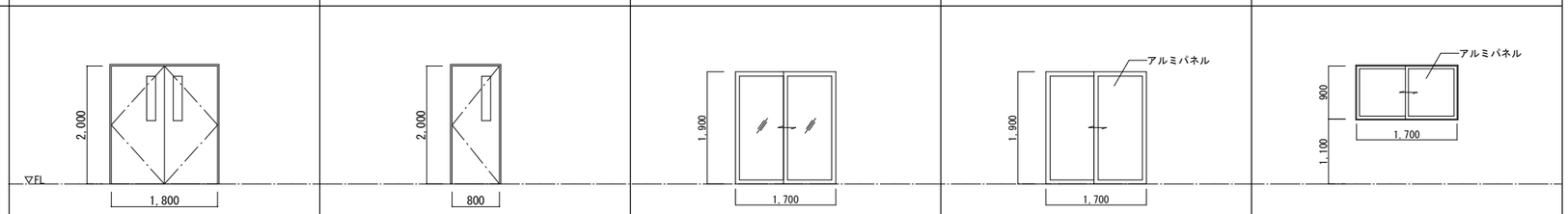
副訓練塔2　2階平面図　1/100

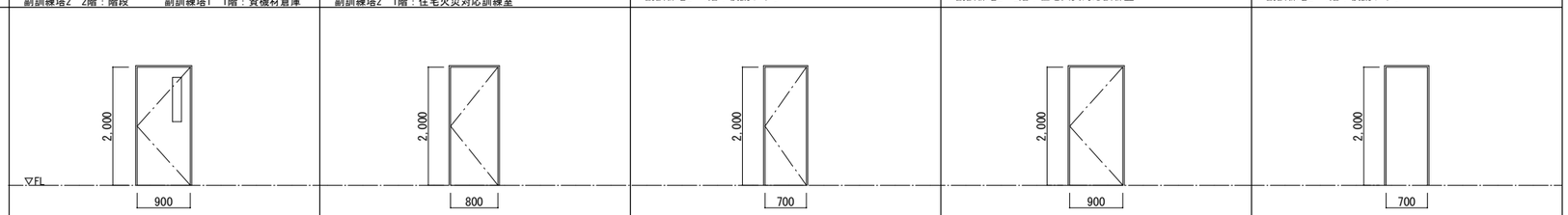
JOBNO

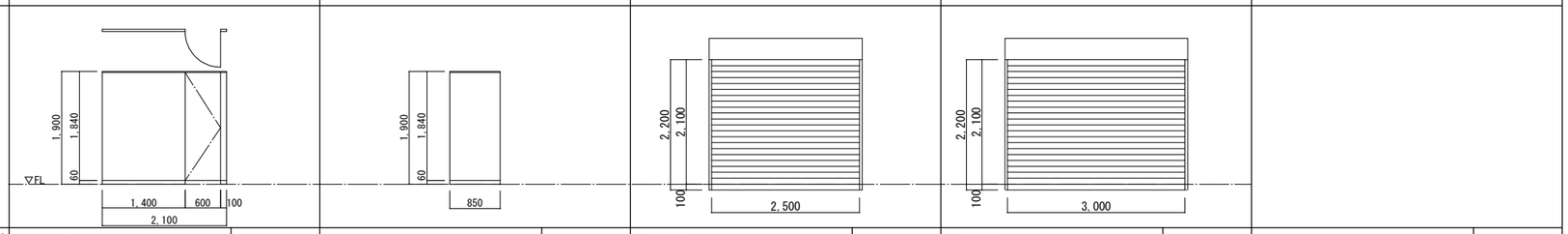
白石消防署庁舎建替工事　　建具・家具・サインキープラン　【訓練棟】

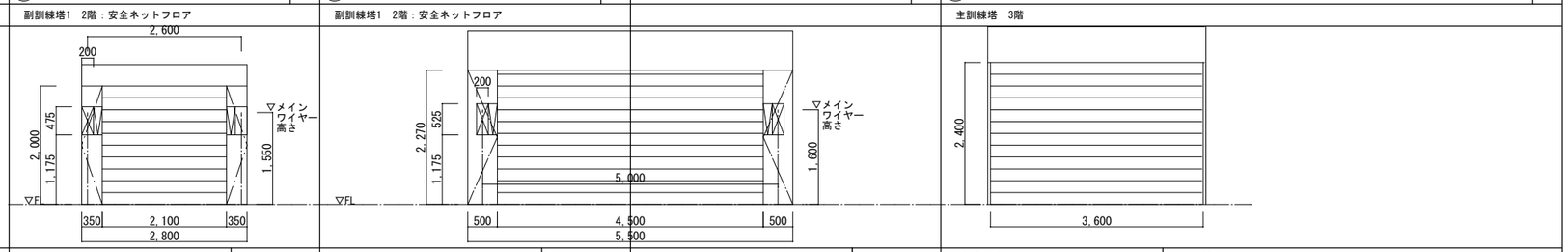
DATE　SCAL (A 1) 1／50 (A 3) 1／100　DRAWN　CHEK　A-221

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士　第 357230 号　永野ますみ

符号	個数	AD 201	2	AD 202	2	AW 201	4	AW 202	1	AW 203	2
取付場所		主訓練塔　1階：訓練準備室、ロープ訓練		副訓練塔2　1階：男子トイレ、女子トイレ		主訓練塔　3～4階：バルコニー		副訓練塔2　2階：住宅火災対応訓練室		副訓練塔2　1・2階：住宅火災対応訓練室	
姿　図											
種別	見込(建具・枠)	アルミ製両開きドア	40/120	アルミ製方開きドア	40/120	アルミ製引き違い窓	70	アルミ製引き違い窓	70	アルミ製引き違い窓	70
仕　上	(建具・枠)	アルミ電解二次着色		アルミ電解二次着色		アルミ電解二次着色		アルミ電解二次着色		アルミ電解二次着色	
ガラス		型板4		型板4		T5		アルミパネル		アルミパネル	
金　物		レバーハンドル、シリンダー錠、フランス落とし、戸当り ドアチェック、付属金物一式		レバーハンドル、シリンダー錠、フランス落とし、戸当り ドアチェック、付属金物一式		アングル、水切、付属金物一式 クレセント		アングル、水切、付属金物一式 クレセント		アングル、水切、付属金物一式 クレセント	
備　考				下枠ステンレス		額縁・前板はアルミ製		額縁・前板はアルミ製		額縁・前板はアルミ製	

符号	個数	SD 201	6	LSD 201	2	LSD 202	1	LSD 203	1	LSD 204	1
取付場所		主訓練塔　2～4階：階段　副訓練塔1　2階：階段 副訓練塔2　2階：階段　副訓練塔1　1階：資機材倉庫		主訓練塔　1階：訓練準備室 副訓練塔2　1階：住宅火災対応訓練室		副訓練塔2　1階：模擬トイレ		副訓練塔2　2階：住宅火災対応訓練室		副訓練塔2　1階：模擬トイレ	
姿　図											
種別	見込(建具・枠)	鋼製片開きフラッシュドア	40/230	片開き軽量スチールドア	40/230	片開き軽量スチールドア	40/230	片開き軽量スチールドア	40/230	スチール枠	/190
仕　上	(建具・枠)	フッ素樹脂焼付塗装		焼付塗装　枠：SOP		焼付塗装　枠：SOP		焼付塗装　枠：SOP		枠：SOP	
ガラス		型板4		―		―		―		―	
金　物		レバーハンドル、シリンダー錠、戸当り、ドアチェック 水切り、付属金物一式		レバーハンドル、シリンダー錠、戸当り、ドアチェック 水切り、付属金物一式		レバーハンドル、表示錠、戸当り、ドアチェック 水切り、付属金物一式		レバーハンドル、表示錠、戸当り、ドアチェック 水切り、付属金物一式			
備　考											

符号	個数	TB 201	2	TB 201	1	SS 201	1	SS 202	1
取付場所		副訓練塔2　1階：男子トイレ、女子トイレ		副訓練塔2　1階：男子トイレ		副訓練塔1　1階：資機材倉庫		副訓練塔1　1階：救助訓練用資機材倉庫	
姿　図									
種別	見込(建具・枠)	トイレブース	40	トイレブース	40	手動軽量シャッター	140	手動軽量シャッター	140
仕　上	(建具・枠)	メラミン化粧合板		メラミン化粧合板		塗装溶融亜鉛めっき鋼板 t 0.8		塗装溶融亜鉛めっき鋼板 t 0.8	
ガラス		-		-		―		―	
金　物		アルミ製枠・頭ツナギ、SUS製巾木、ｸﾞﾚﾋﾞﾃｨｾﾝｼﾞ、戸当り、 付属金物一式		アルミ製枠・頭ツナギ、SUS製巾木 付属金物一式		ガイドレール、ステンレス座板、シャッターケース 三方枠		ガイドレール、ステンレス座板、シャッターケース 三方枠	
備　考		非常時解錠外開き装置（表示付）							

符号	個数	SS 203	1	SS 204			1	SS 205	1
取付場所		副訓練塔1　2階：安全ネットフロア		副訓練塔1　2階：安全ネットフロア				主訓練塔　3階	
姿　図									
種別	見込(建具・枠)	可動式両袖パネル付き手動軽量シャッター	230	可動式両袖パネル付き電動重量シャッター	230			電動重量シャッター	140
仕　上	(建具・枠)	塗装溶融亜鉛めっき鋼板 t 0.8		塗装溶融亜鉛めっき鋼板 t 1.6				塗装溶融亜鉛めっき鋼板 t 1.6	
ガラス		―		―				―	
金　物		ガイドレール、ステンレス座板、シャッターケース 三方枠、方立、フランス落し		ガイドレール、ステンレス座板、シャッターケース 三方枠、方立、フランス落し				ガイドレール、ステンレス座板、シャッターケース 三方枠	
備　考				電動開閉装置				電動開閉装置	

普通階・無窓階算定書

防火対象物名称　白石消防署　主訓練塔

2026年 4月 2日

株式会社 構 建築設計事務所

算定者　永野ますみ

（ 1 階 ）

床面積(A)	基準開口面積(A/30)	有効開口部面積合計	算定結果	※消防機関判定
30.00 ㎡	1.00 ㎡	6.80 ㎡	普・無	普 ・ 無

開口部位置	建具記号	開口部種別	床からの高さ(m)	幅(m) × 高さ(m) × 所在数	開口部面積小計(㎡)	備考
東	AD-201	両開き	0	1.70 × 2.00 × 1	3.40	
南	AD-201	両開き	0	1.70 × 2.00 × 1	3.40	
	合計				6.80	

（ 2 階 ）

床面積(A)	基準開口面積(A/30)	有効開口部面積合計	算定結果	※消防機関判定
21.96 ㎡	0.73 ㎡	1.60 ㎡	普・無	普 ・ 無

開口部位置	建具記号	開口部種別	床からの高さ(m)	幅(m) × 高さ(m) × 所在数	開口部面積小計(㎡)	備考
北	SD-201	片開き	0	0.80 × 2.00 × 1	1.60	
	合計				1.60	

（ 3 階 ）

床面積(A)	基準開口面積(A/30)	有効開口部面積合計	算定結果	※消防機関判定
30.00 ㎡	1.00 ㎡	3.03 ㎡	普・無	普 ・ 無

開口部位置	建具記号	開口部種別	床からの高さ(m)	幅(m) × 高さ(m) × 所在数	開口部面積小計(㎡)	備考
西	AW-201	引違い	0	0.75 × 1.90 × 1	1.43	
北	SD-201	片開き	0	0.80 × 2.00 × 1	1.60	
	合計				3.03	

（ 4 階 ）

床面積(A)	基準開口面積(A/30)	有効開口部面積合計	算定結果	※消防機関判定
21.25 ㎡	0.71 ㎡	5.88 ㎡	普・無	普 ・ 無

開口部位置	建具記号	開口部種別	床からの高さ(m)	幅(m) × 高さ(m) × 所在数	開口部面積小計(㎡)	備考
東	AW-201	引違い	0	0.75 × 1.90 × 1	1.43	
南	AW-201	引違い	0	0.75 × 1.90 × 1	1.43	
西	AW-201	引違い	0	0.75 × 1.90 × 1	1.43	
北	AW-201	引違い	0	0.75 × 1.90 × 1	1.43	
	合計				5.88	

防火対象物名称　白石消防署　副訓練塔1

（ 1 階 ）

床面積(A)	基準開口面積(A/30)	有効開口部面積合計	算定結果	※消防機関判定
98.75 ㎡	3.29 ㎡	0 ㎡	普・無	普 ・ 無

開口部位置	建具記号	開口部種別	床からの高さ(m)	幅(m) × 高さ(m) × 所在数	開口部面積小計(㎡)	備考

（ 2 階 ）

床面積(A)	基準開口面積(A/30)	有効開口部面積合計	算定結果	※消防機関判定
92.16 ㎡	3.07 ㎡	0 ㎡	普・無	普 ・ 無

開口部位置	建具記号	開口部種別	床からの高さ(m)	幅(m) × 高さ(m) × 所在数	開口部面積小計(㎡)	備考

防火対象物名称　白石消防署　副訓練塔2

（ 1 階 ）

床面積(A)	基準開口面積(A/30)	有効開口部面積合計	算定結果	※消防機関判定
60.00 ㎡	2.00 ㎡	3.00 ㎡	普・無	普 ・ 無

開口部位置	建具記号	開口部種別	床からの高さ(m)	幅(m) × 高さ(m) × 所在数	開口部面積小計(㎡)	備考

（ 2 階 ）

床面積(A)	基準開口面積(A/30)	有効開口部面積合計	算定結果	※消防機関判定
60.00 ㎡	2.00 ㎡	0 ㎡	普・無	普 ・ 無

開口部位置	建具記号	開口部種別	床からの高さ(m)	幅(m) × 高さ(m) × 所在数	開口部面積小計(㎡)	備考

JOBNO

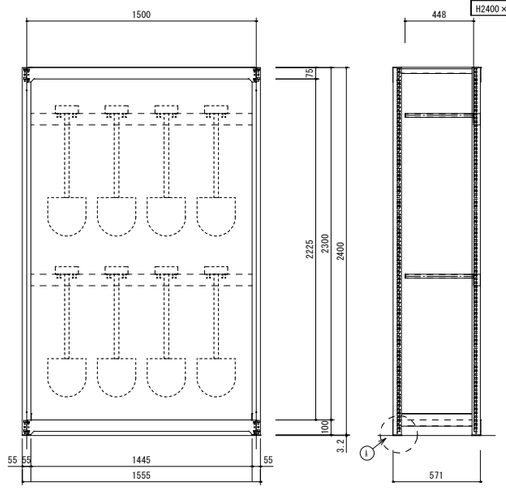
白石消防署庁舎建替工事　【訓練棟】建具表　A-222

DATE　SCAL (A 1) 1／50 (A 3) 1／100　DRAWN　CHEK

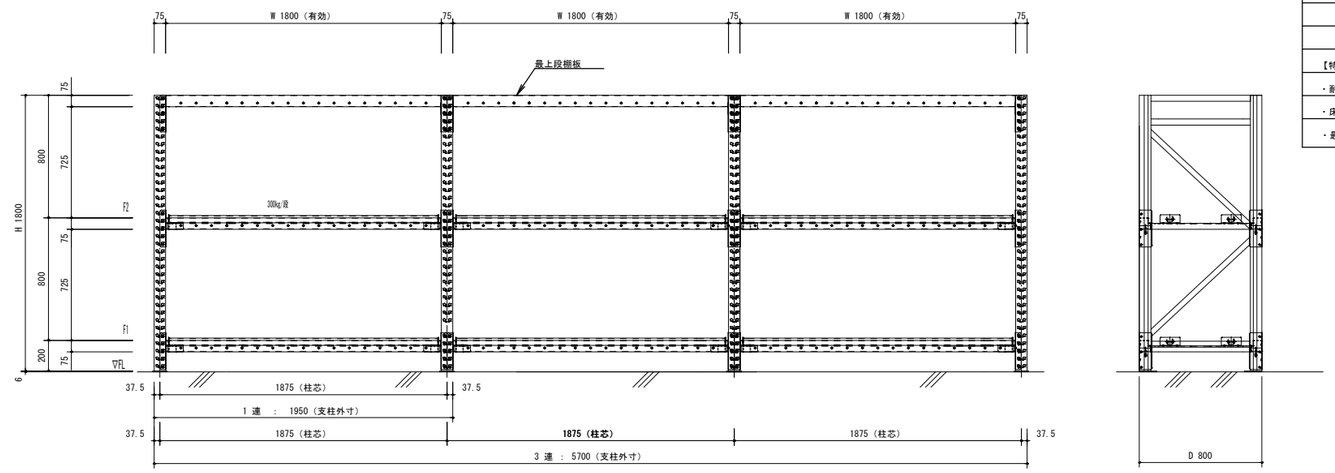
株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号 永野ますみ

SF-18　バーラック②　訓練塔１階 救助訓練用資機材倉庫　1ヶ所　1/20

寸法・仕様	型　式	台　数
H2400×W1555×D571　天地2段	基本型	1　台



SF-17　消防用タイヤラック　訓練塔１階 タイヤ資機材倉庫　1ヶ所　1/20



NO	寸法・仕様	型　式	台　数
	H2100xW1800（有効）xD800-F2	基本型	2　台
	H2100xW1800（有効）xD800-F2	連結型	2　台

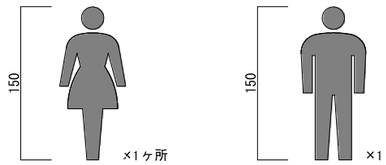
【特記事項】　塗装色　SG（ｻﾝｸﾞﾚｰ）

・耐段荷重　MAX300kg/段

・床固定

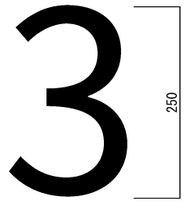
・最上段　棚板付き

P-1　ピクトサイン（塩ビシート切文字）　2ヶ所　1/3



塩ビシート切文字　現場ドア直貼

P-2　階数サイン（塩ビシート切文字）　3ヶ所　1/4

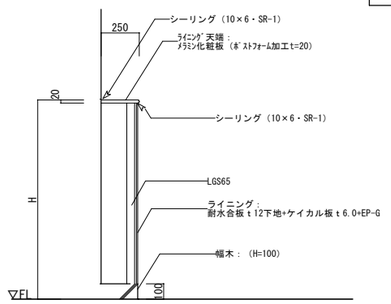


塩ビシート切文字　現場ドア直貼

ライニング詳細図　S=1/20

ライニングリスト

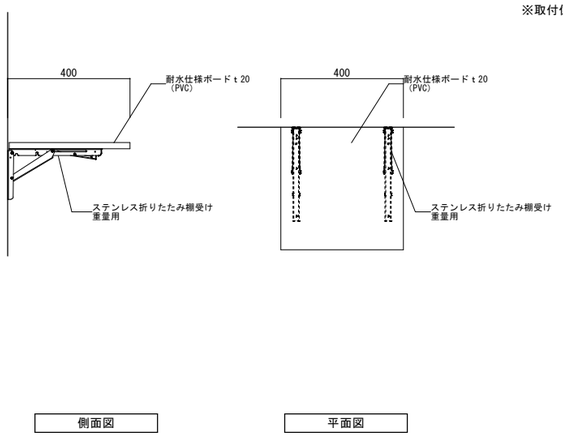
階	室名		H	L	D	箇所
1階	女子トイレ	手洗いカウンター	1000	800	250	1
		大便器	800	900	250	2
	男子トイレ	手洗いカウンター	1000	800	250	1
		小便器	1300	900	250	1
		大便器	800	900	250	1



ステンレス折りたたみ棚受け　S=1/10

2セット

※取付位置は監督員お指示による



JOBNO

白石消防署庁舎建替工事　【訓練棟】家具図・サイン・雑詳細図　A-223

DATE	SCAL (A 1) 1／ 20	DRAWN	CHEK
	(A 3) 1／ 40		

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士　第 357230 号　永野ますみ

白石消防署訓練設備リスト

記号	名称	仕様・規格	1階	2階	3階	4階	計	単位
Ａ　主訓練塔								
Ａ－１	応急ブリッジ支持金物	H1300×W1500　SUS304-HL　φ76.3×ｔ5.2 B-PL　SUS304　□250×250×ｔ16			1		1	か所
Ａ－２	ロープ保護金物	H120×W3740　SUS304-HL　ｔ5　抜け防止ﾋｹﾞ SUS304　φ9　ﾘﾌﾞ板SUS304　ｔ5			1		1	か所
Ａ－３	リング環	SUS304　φ25ＩＤφ100　ﾊﾞﾚﾙ仕上、 BPL　SUS304　250×250×ｔ12、ﾘﾌﾞ板　ｔ9.0	3	2	2	10	17	か所
Ａ－４	壁面バータイプ支点	STPG370　φ139.8×ｔ5.1　溶融亜鉛ﾒｯｷ仕上、 BPL□300×300×ｔ16		1	1	3	5	か所
Ａ－５	懸垂バー	SUS製□40ｘ40ｘ3.2、　丸鋼φ28	2				2	か所
Ａ－６	タラップ	ＳＵＳ304　φ22　W400ｘＤ200	1				1	式
Ａ－７	天井面リング環	SUS304　φ25ＩＤφ100　ﾊﾞﾚﾙ仕上、 BPL　SUS304　250×250×ｔ12、ﾘﾌﾞ板　ｔ9.0		1			1	か所
Ｂ　副訓練塔１								
Ｂ－１	応急ブリッジロープ支持金物	H1300×W2400　SUS304-HL　φ76.3×ｔ5.2、 B-PL　SUS304　□250×250×ｔ16			1		1	か所
Ｂ－２	緊急脱出降下用ロープ支持金物	H1000×W2400　SUS304-HL　φ76.3×ｔ5.2、 B-PL　SUS304　□250×250×ｔ16			1		1	か所
Ｂ－３	ロープ保護金物	H120×W7500　SUS304-HLｔ5、抜け防止ﾋｹﾞSUS304φ9、 ﾘﾌﾞ板SUS304　ｔ5、塞ぎ板　SUS304　ｔ3			1		1	か所
Ｂ－４	ロープブリッジ救助兼ロープ渡過支持金物	W5600　SUS304-HL　φ76.3×ｔ6.0 B-PL-SUS304　250×320×t12 ﾘﾝｸﾞ環　SUS304　φ25　I.D100　ﾊﾞﾚﾙ仕上げ			1		1	か所
Ｂ－５	ロープ擦れ防止金物	W5000　SUS304-HL　φ101.6×ｔ3 塞ぎ板　SUS304　ｔ3　抜け防止ﾋｹﾞ			1		1	か所
Ｂ－６	緊急脱出降下板	w3600×H3750	1				1	式
	① 降下板	ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙﾎﾞｰﾄﾞ　ｔ16.5 ｳﾚﾀﾝ樹脂塗装					1	か所
	② 鉄骨下地	75×40×5×7、100×50×5×7.5、L50×50×6、 溶融亜鉛ﾒｯｷ仕上					1	か所
Ｂ－７	高塀固定用アンカー蓋	簡易密閉型ﾏﾝﾎｰﾙφ30（MKHY-25-300（丸） ｶﾈｿｳ同等品	4				4	か所
Ｂ－８	山岳壁	傾斜角　①80度、②45度～70度 GRCﾓﾙﾀﾙ強化型ｔ10～20、ﾓﾙﾀﾙｔ20～30、 亀甲金網　0.5×10mm　二重張り、 造形配筋　D10、下地ｱﾝｸﾞﾙ　L50×50×ｔ4.0、 中詰ｺﾝｸﾘｰﾄ充填 ﾊﾝｶﾞｰ　SUS304　M12六角ﾎﾞﾙﾄ	1				1	式
Ｂ－９	脱着式ガードレール	W=3000×H=600、支柱塞ぎ蓋			1		1	か所
	① ガードレール	ｔ3.2、日鉄建材製Gr-C-2B同等品、 支柱　STPG370　φ114.3					1	か所
	② マンホール蓋	ﾏﾝﾎｰﾙ　MKHY-6-300(角)－a同等品					2	か所
Ｂ－10	山岳壁用上部支点	STPG370　φ139.8×ｔ5.1　溶融亜鉛ﾒｯｷ仕上、 BPL□300×300×ｔ16			1		1	か所
Ｂ－11	脱着式立ち木支点	H1000、SUS304　φ114.3×ｔ6、 B-PL　SUS304　250×250×ｔ16 抜け防止板　φ200×ｔ6 ﾏﾝﾎｰﾙ　MYHY-2-400(角)－同等品			3		3	か所
Ｂ－12	保護用リング環	SUS304　φ25IDφ100　ﾊﾞﾚﾙ仕上、 BPL　SUS304　250×250×ｔ12、ﾘﾌﾞ板　ｔ9.0			2		2	か所
Ｂ－13	立坑	2450+3230　950φ	1				1	か所
	① ｽﾃﾝﾚｽ製　立抗	2,450+3,230　SUS304-HL　φ950　t3 受け金物共　SUS　150×90×9　加工　2か所 ｱﾝｶｰ4か所					1	か所
	② 横坑用蓋枠受け	SUS304-HL　φ900　ｔ3					1	か所
	③ 固定ステップ	170×400　SUS304　φ19丸棒					9	か所
	④ 横坑蓋	SUS304-HL　ｔ2、ﾊﾝﾄﾞﾙ　SUS製A-1042-C15					1	か所
	⑤ FRPマンホール蓋	φ900（簡易密閉形） 福西鋳物㈱SF-MK-90HOP10型					1	か所
Ｂ－14	壁面リング環	SUS304　φ25IDφ100　ﾊﾞﾚﾙ仕上、 BPL　SUS304　250×250×ｔ12、ﾘﾌﾞ板　ｔ9.0	2	7	7		16	か所
Ｂ－15	天井面リング環	SUS304　φ25IDφ100　ﾊﾞﾚﾙ仕上、 BPL　SUS304　250×250×ｔ12、ﾘﾌﾞ板　ｔ9.0		1	1		2	か所

記号	名称	仕様・規格	1階	2階	3階	4階	計	単位
Ｃ　副訓練塔２								
Ｃ－１	引揚救助やぐら	Ｈ1800×W1800×Ｄ3000			1		1	式
	① 引揚救助やぐら	SUS304-HL　φ76.3×ｔ5.2、 BPL□250×250　SUS304					1	か所
	② 転落防止チェーン	ｽﾅｯﾌﾟﾌｯｸNB-6　SUS304　6-B　3.2m					2	か所
Ｃ－２	ロープ保護金物	H120×W1820　SUS304-HL　ｔ5 抜け防止ﾋｹﾞ　SUS304　φ9 ﾘﾌﾞ板SUS304　ｔ5、塞ぎ板　SUS304ｔ3			1		1	か所
Ｃ－３	引揚救助降下板	W1820×H6750	1				1	式
	① 降下板	ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙﾎﾞｰﾄﾞ　ｔ16.5、 ｳﾚﾀﾝ樹脂塗装（白・赤色塗装）					1	か所
	② 鉄骨下地	下地鉄骨 75×40×5×7、100×50×5×7.5、50×50×6 溶融亜鉛メッキ仕上					1	か所
Ｃ－４	検索通路用ポール・さや管	H=1450（地上高）	1				1	式
	① 検索通路用ポール	ﾎﾟﾘｶｰﾎﾞﾈｰﾄ製　φ30.2、赤色、 SUS304　φ42.7×ｔ1.5　H=350					14	か所
	② 蓋付さや管	蓋付さや管　42.7φ×L350（内径39.7φ）					14	か所
Ｃ－５	引揚救助用　確保ロープ支持金物	SUS304　φ25ﾋﾞｰﾘﾝｸﾞ、 B-PL　SUS304　70×350×ｔ12	1				1	か所
Ｃ－６	ロープ支持地上アンカー	簡易密閉型ﾏﾝﾎｰﾙφ30（MKHY-25-300（丸） ｶﾈｿｳ同等品	1				1	か所
Ｃ－７	ロープブリッジ救助兼ロープ渡過支持金物	W5600　SUS304-HL　φ76.3×ｔ6.0 B-PL-SUS304　250×320×t12 ﾘﾝｸﾞ環　SUS304　φ25　I.D100　ﾊﾞﾚﾙ仕上げ			1		1	か所
Ｃ－８	ロープ擦れ防止金物	W5000　SUS304-HL　φ101.6×ｔ3 塞ぎ板　SUS304　ｔ3 抜け防止ﾋｹﾞ　SUS304　φ10　丸棒			1		1	か所
Ｃ－９	自己確保用リング環	ＳＵＳ304　φ25ＩＤφ100　ﾊﾞﾚﾙ仕上、 BPL　SUS304　250×250×ｔ12、ﾘﾌﾞ板　ｔ9.0			2		2	か所
Ｃ－10	迷路訓練室　脱着支柱、パネル	副訓練棟２　２階		1			1	式
	① 着脱パネル	H=1820×W900×ｔ12　ﾗﾜﾝ合板黒色塗装、 支柱引掛け金物					40	枚
	② ドアパネル	H=1820×W900×ｔ12　ﾗﾜﾝ合板黒色塗装、 支柱引掛け金物、ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ					5	枚
	③ 壁つなぎＡ	SUS304素地仕上、40×20×3　M10固定					4	本
	④ 壁つなぎＢ	SUS304素地仕上、40×20×3　M10固定					10	本
	⑤ 頭つなぎ	SUS304素地仕上、40×20×3　M10固定					71	本
	⑥ 着脱支柱	SUS304　φ48.6素地					41	本
	⑦ 埋設金物	SUS304　φ56×ｔ3.0					41	本
Ｃ－11	切断訓練用ＳＤ	SD　開口850×550 切断用単管ﾊﾟｲﾌﾟ　φ48.1×ｔ2.4、 単管ﾊﾟｲﾌﾟ固定用ｸﾗﾝﾌﾟ、切断訓練用鉄板10枚、 鉄板固定材L20×6×3、固定ﾎﾞﾙﾄ4-M8　蝶ﾎﾞﾙﾄ	1				1	か所
Ｃ－12	訓練用樹脂瓦屋根	W3,300×D2,200 RC造・ﾊﾞｰﾗｲﾄﾓﾙﾀﾙ下地（7.3㎡） 樹脂瓦7（ｹｲﾐｭｰROOGA製）、ｹﾗﾗﾊﾞｶﾊﾞｰ、 水切り板金　ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板　共		1			1	式
Ｃ－13	壁面リング環	ＳＵＳ304　φ25ＩＤφ100　ﾊﾞﾚﾙ仕上、 BPL　SUS304　250×250×ｔ12、ﾘﾌﾞ板　ｔ9.0		5	3		8	か所
Ｃ－14	天井面リング環	ＳＵＳ304　φ25ＩＤφ100　ﾊﾞﾚﾙ仕上、 BPL　SUS304　250×250×ｔ12、ﾘﾌﾞ板　ｔ9.0			1		1	か所
Ｃ－15	はしご保護パイプ	SUS304-2B　φ60.5　ｔ3 4-M16　ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ 溶融亜鉛ﾒｯｷ仕上げ		2			2	か所

記号	名称	仕様・規格	1階	2階	3階	4階	計	単位
訓練塔								
Ｄ－１	障害突破訓練用梯子	W400ｘＨ9575　梯子ｱﾙﾐ合金製、	1				1	式
Ｄ－２	ロープブリッジ訓練用レンジャーネット装置	ﾈｯﾄ寸法W5000ｘＬ23000		1			1	式
Ｄ－３	障害突破訓練用レンジャーネット装置	ﾈｯﾄ寸法W2600ｘＬ9000		1			1	式
Ｄ－４	障害突破訓練用煙道	□900ｘ900-W13800　ｘD8000	1				1	式
Ｄ－５	障害突破訓練用高塀	W1800ｘＤ1000ｘＨ3000	1				1	式
震災訓練場								
	震災訓練用ガレ場	屋外　組立まで　地業なし	1				1	式
	可変側溝　縦断用　900×1100×2000	900×1100×2000	7				7	か所
	可変側溝グレーチング 900　L1.0普通目	可変側溝ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ　900　L1.0普通目	7				7	か所
	ボックスカルバート 860×860×2,000	860×860×2,000	1				1	か所
	ヒューム管　B型φ900×2430	B型φ900×2430	1				1	か所
	ヒューム管　B型φ600×2430	B型φ600×2430	1				1	か所
	蛇腹管　φ900	φ900	1				1	か所
	平板　PCコンクリート　1,000×1,000×200	平板　PCｺﾝｸﾘｰﾄ　1,000×1,000×200	1				1	か所
訓練設備								
	自動火災報知設備サンプルボード		1				1	式

JOBNO

白石消防署庁舎建替工事　【訓練棟】訓練設備リスト　A-224

DATE　SCAL (A 1) 1/　(A 3) 1/　DRAWN　CHEK

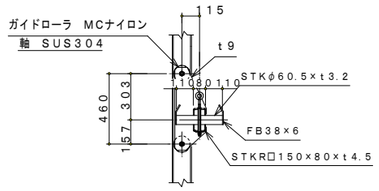
株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士　第 357230 号　永野ますみ

仕様概略

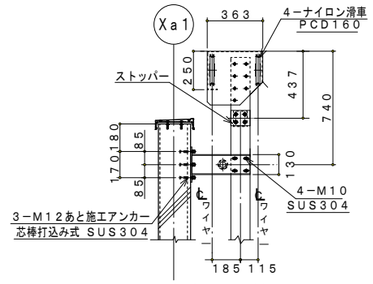
項目	仕様	各部材質及び防錆処理	
型式	ＦＨ１３０型	ガイドレール	耐蝕アルミ合金 Ａ６０６３Ｓ－Ｔ５
台数	１基	ガイドローラ	ＭＣナイロン 軸SUS304
外形寸法	２７３０Ｗ×１２１４０Ｈ	レールブラケット	ＳＳ材 溶融亜鉛メッキ
ホース収容本数	前後列各15本 計３０本	ホースハンガー	ＳＳ材 溶融亜鉛メッキ
巻上能力	６００ｋｇ(20ｋｇ×30本)	ウインチボックス	骨格SS材溶融亜鉛ﾒｯｷ、外板SUS
昇降速度	７.７ｍ／min ５０ＨＺ	同上内部機器	生地のまま
電動機	２.２ＫＷｻｲｸﾛ減速機ﾌﾞﾚｰｷ付	吊りワイヤー	２－φ９ ステンレスワイヤー
電源	２００Ｖ ３相 ５０ＨＺ	ボルト類	ｵｰﾙｱﾝｶｰ共 全てSUS304
操作回路電源	ＡＣ２４Ｖ		

建築工事
1）基礎工事
2）鉄骨工事
3）中間支持部工事

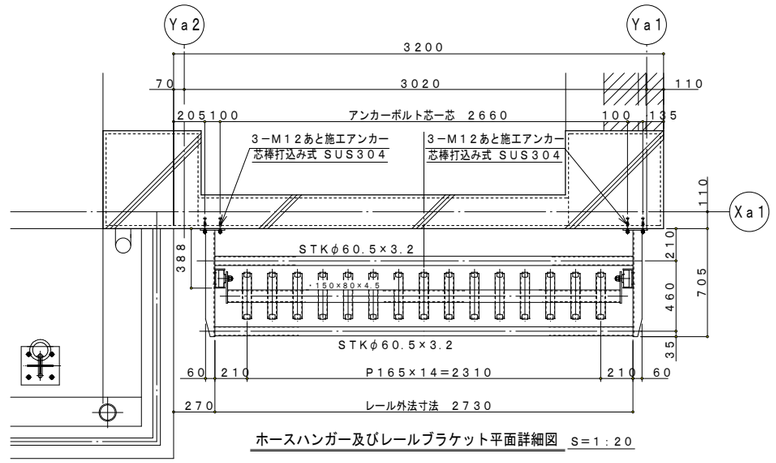
電気工事
1）1次電源工事



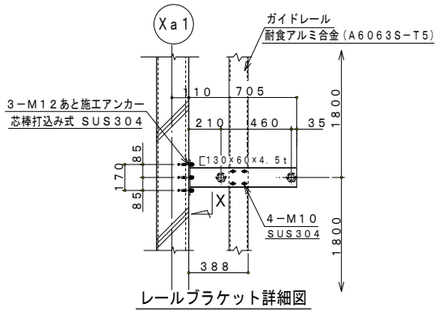
ホースハンガー詳細図
S=1:20



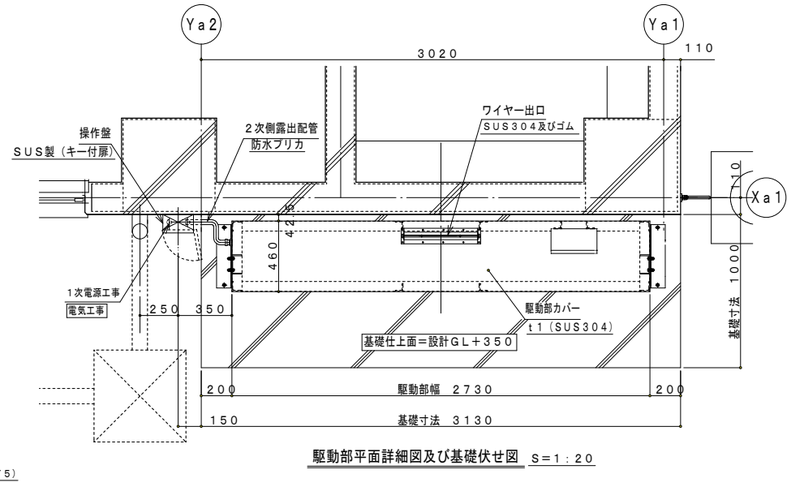
滑車ボックス詳細図
S=1:20



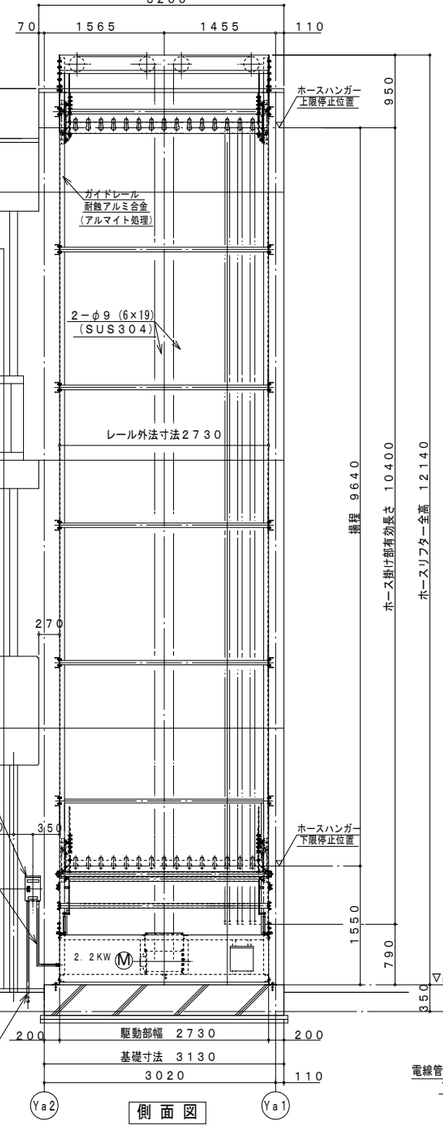
ホースハンガー及びレールブラケット平面詳細図 S=1:20



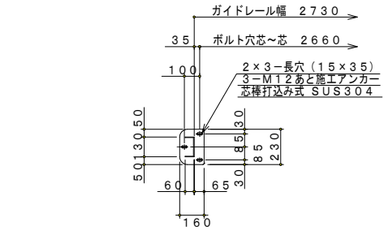
レールブラケット詳細図
S=1:20



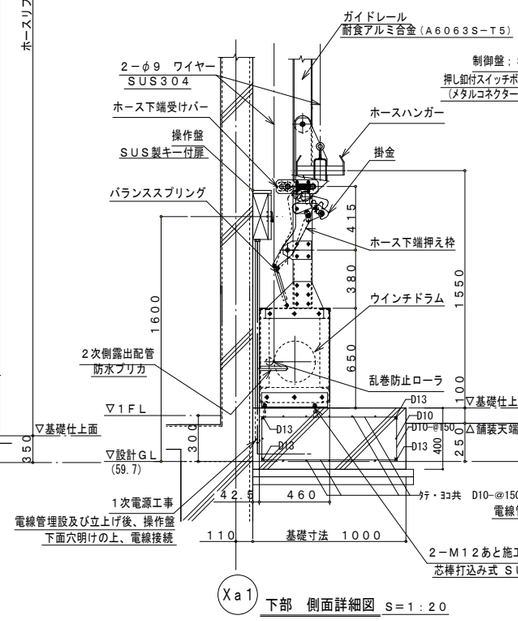
駆動部平面詳細図及び基礎伏せ図 S=1:20



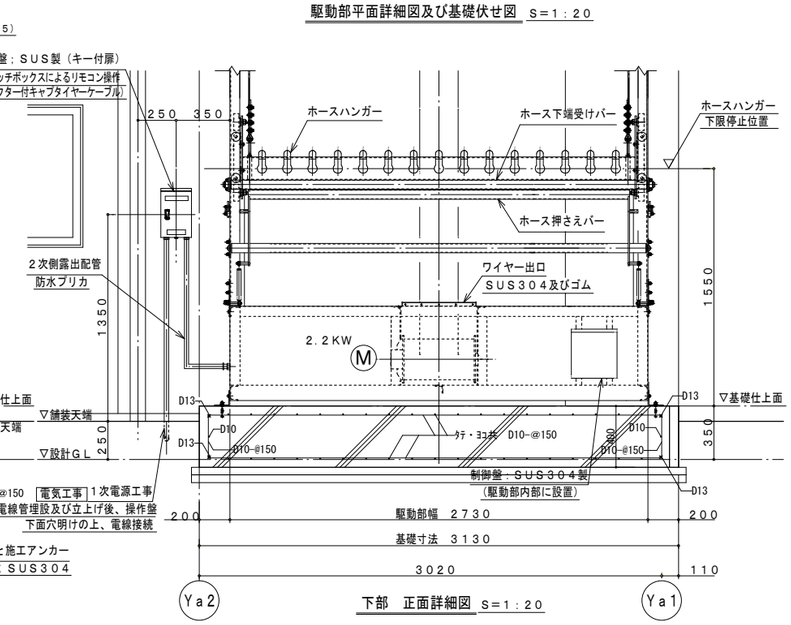
ホースリフターＦＨ１３０型 組立図 S=1:40



Ｘ－矢視図 S=1:20



下部 側面詳細図 S=1:20



下部 正面詳細図 S=1:20

JOBNO

白石消防署庁舎建替工事

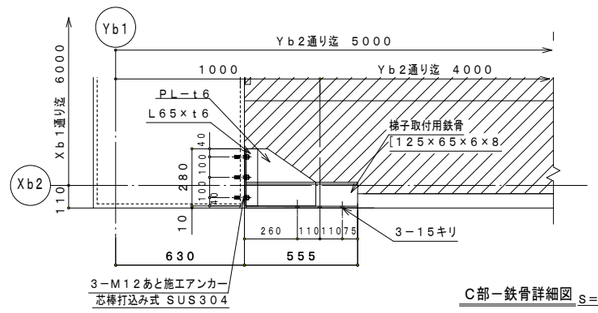
【訓練棟】ホースリフター組立図
及び各部詳細図

A-225

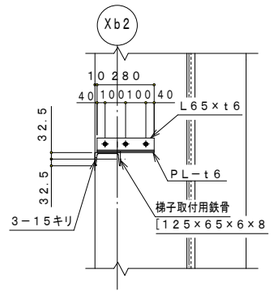
DATE SCAL (A 1) 1／20 (A 3) 1／40 DRAWN CHEK

株式会社 構 建築設計事務所

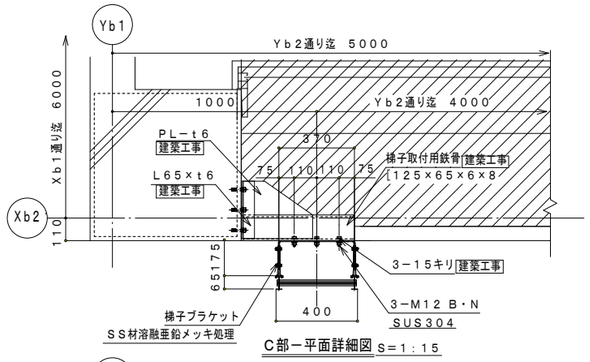
一級建築士 第 357230 号 永野ますみ



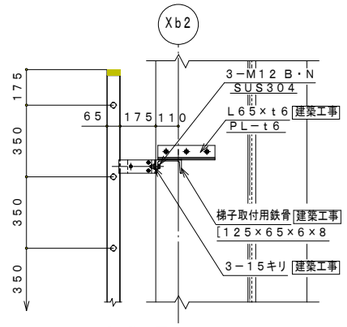
C部ー鉄骨詳細図 S=1:15



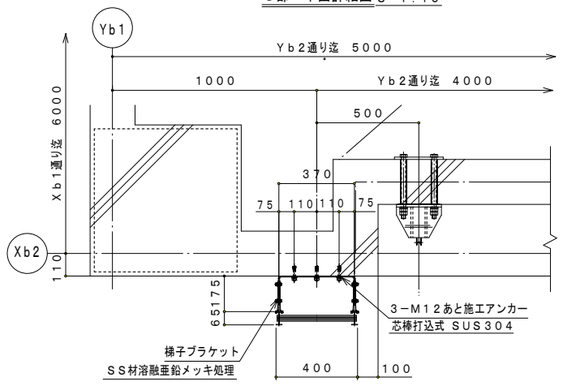
※ 建築工事 とする。



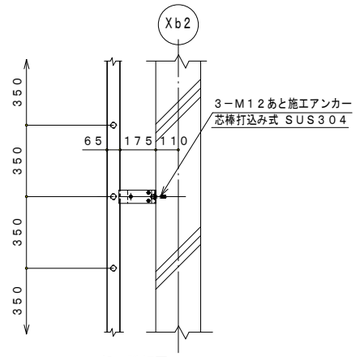
C部ー平面詳細図 S=1:15



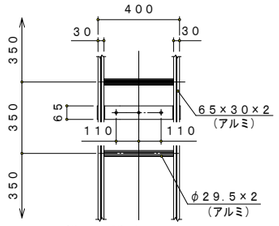
C部ー詳細図 S=1:15



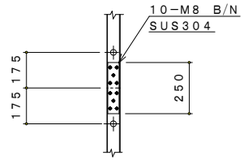
B部ー平面詳細図 S=1:15



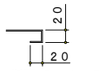
B部ー詳細図 S=1:15



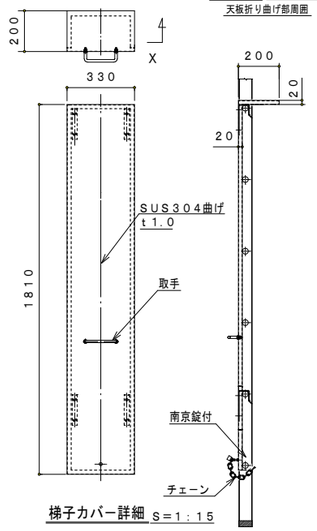
梯子詳細 S=1:15



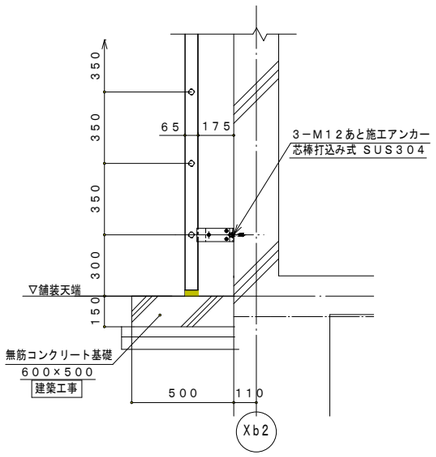
継ぎ部詳細 S=1:15



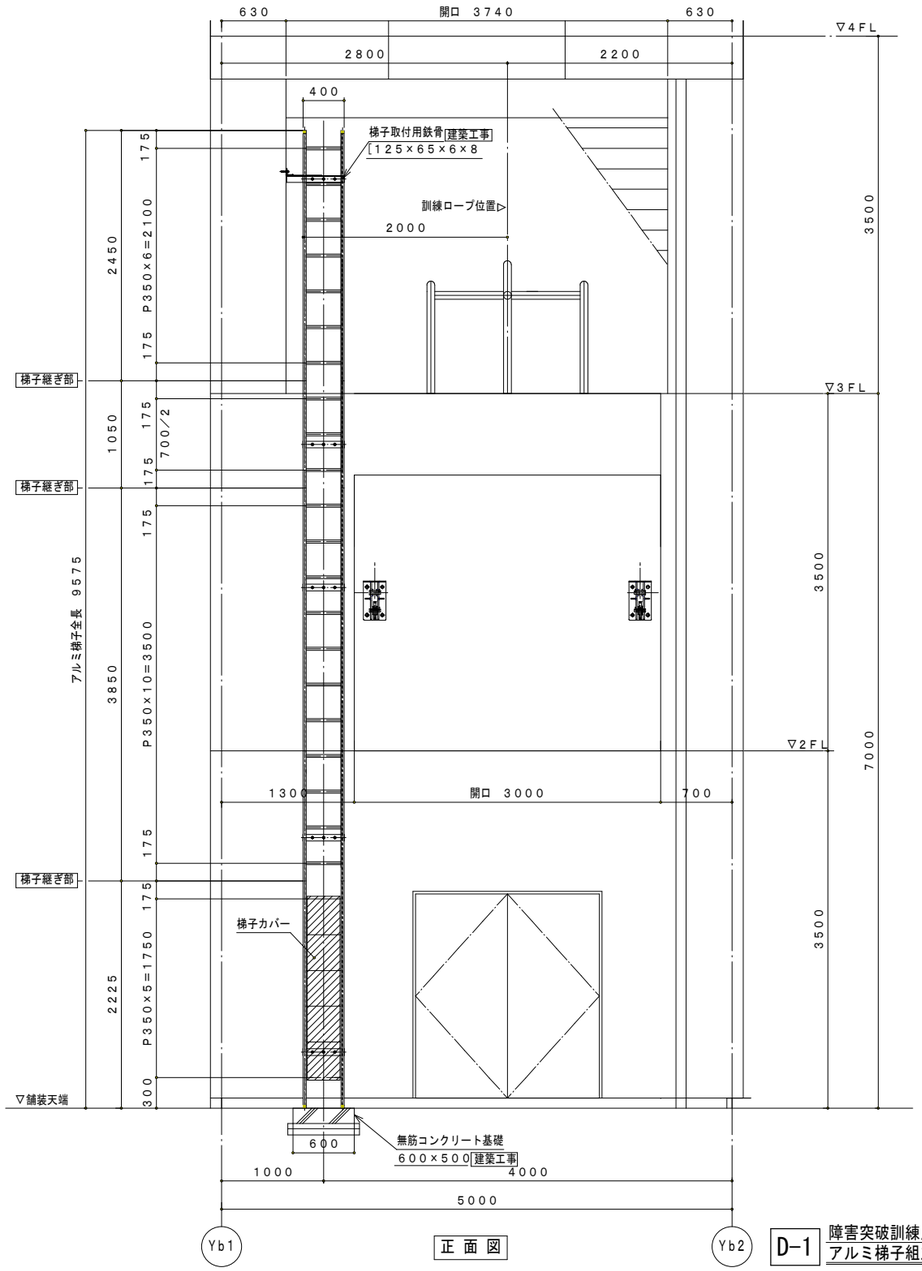
X−断面 S=1:5
天板折り曲げ部周囲



梯子カバー詳細 S=1:15

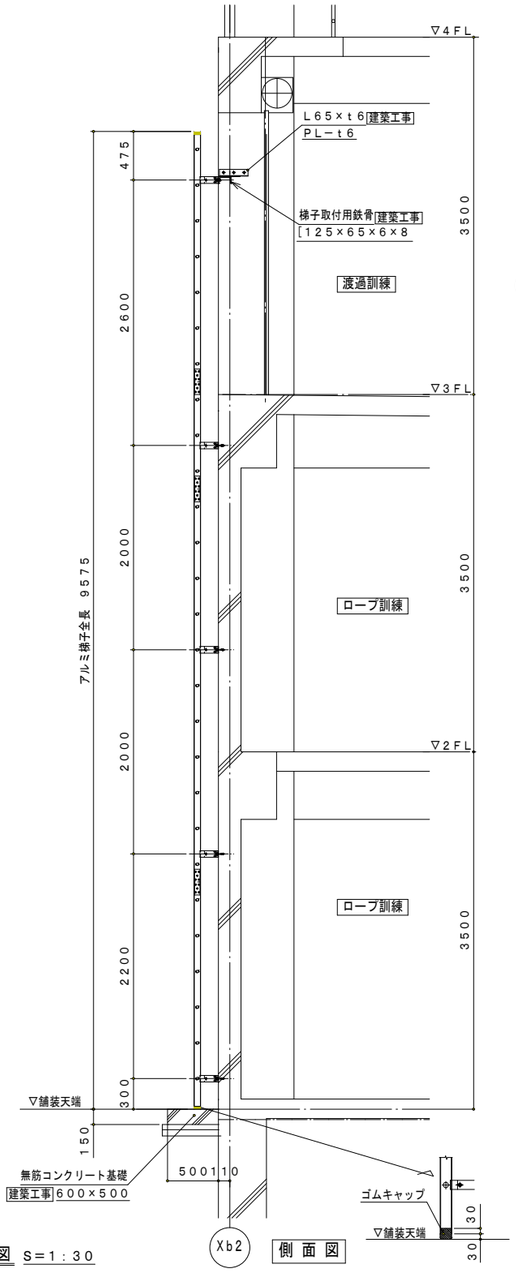


A部ー詳細図 S=1:15



正 面 図

D-1 障害突破訓練用
アルミ梯子組立図 S=1:30



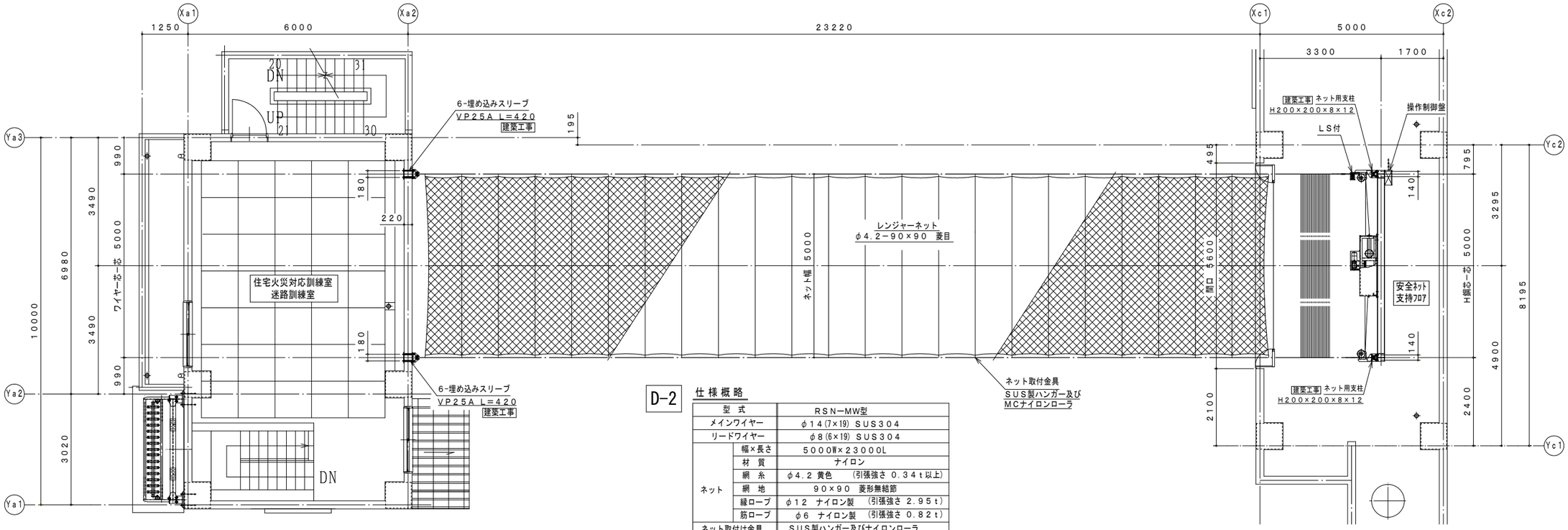
側 面 図

JOBNO

白石消防署庁舎建替工事　障害突破訓練用アルミ梯子 組立及び詳細図 【訓練棟】

DATE　SCAL (A 1) 1/15、30 (A 3) 1/30、60　DRAWN　CHEK　A-226

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号 永野ますみ



副訓練棟２ ２階平面図

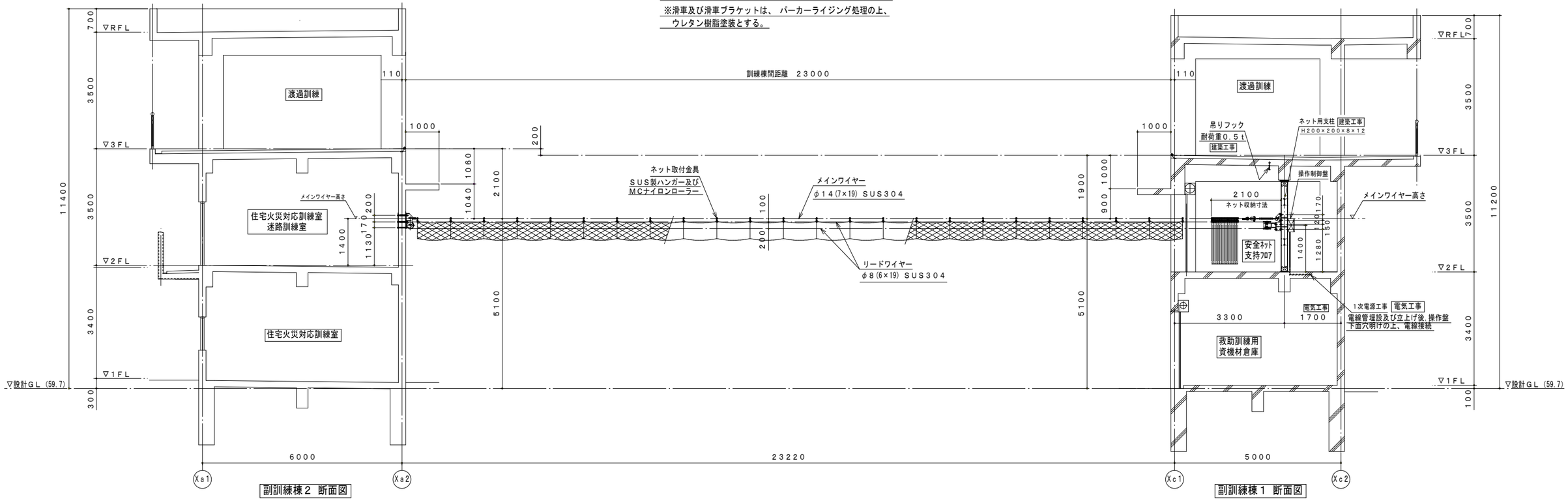
副訓練棟１ ２階平面図

D-2

仕様概略

型式		RSN−MW型
メインワイヤー		φ14(7×19) SUS304
リードワイヤー		φ8(6×19) SUS304
ネット	幅×長さ	5000W×23000L
	材質	ナイロン
	網糸	φ4.2 黄色 (引張強さ 0.34t以上)
	網地	90×90 菱形無結節
	縁ロープ	φ12 ナイロン製 (引張強さ 2.95t)
	筋ロープ	φ6 ナイロン製 (引張強さ 0.82t)
ネット取付け金具		SUS製ハンガー及びナイロンローラ
巻取速度		電動式 20m/min
電動機		0.75KW ハイポニック減速機 ブレーキ付
電源		AC200V 3相 50HZ
操作回路		AC 24V

※滑車及び滑車ブラケットは、パーカーライジング処理の上、ウレタン樹脂塗装とする。



副訓練棟２ 断面図

副訓練棟１ 断面図

JOBNO

白石消防署庁舎建替工事

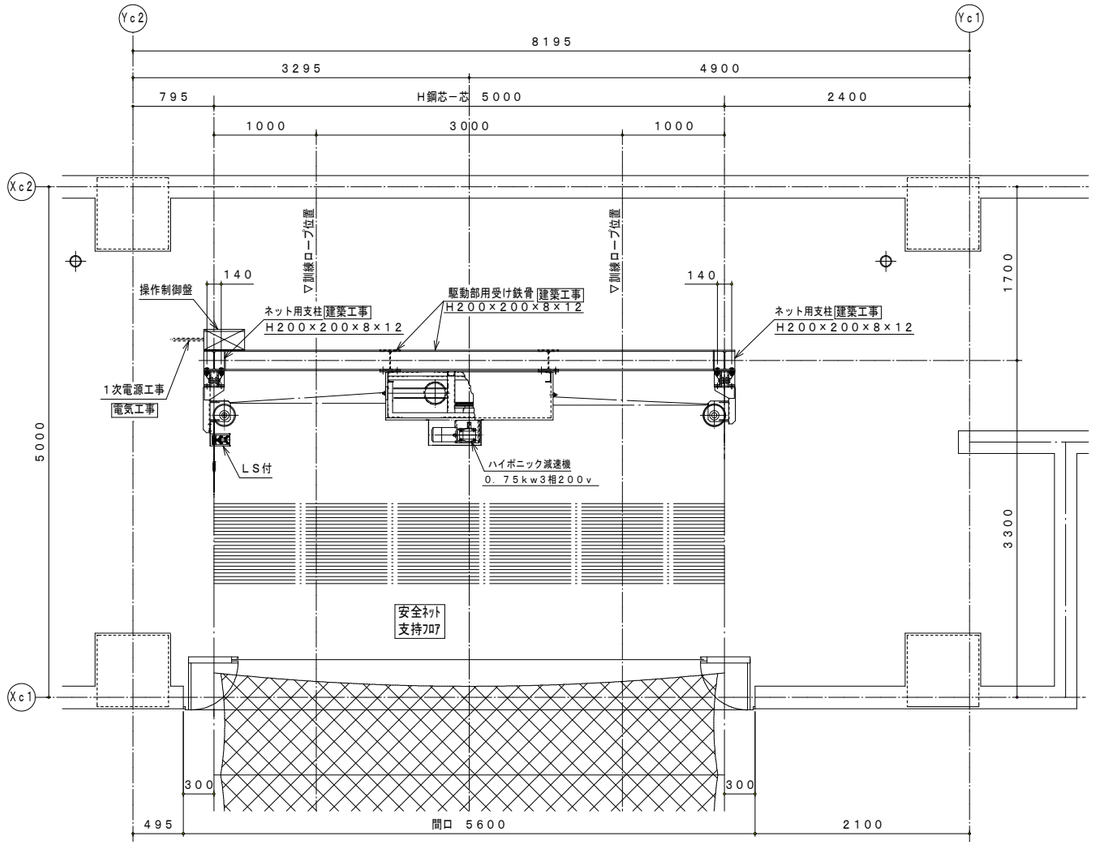
【訓練棟】ロープブリッジ渡過訓練用
レンジャーネット配置図

DATE SCAL (A 1) 1/30 (A 3) 1/60 DRAWN CHEK

A-227

株式会社 構 建築設計事務所

一級建築士 第 357230 号 永野ますみ

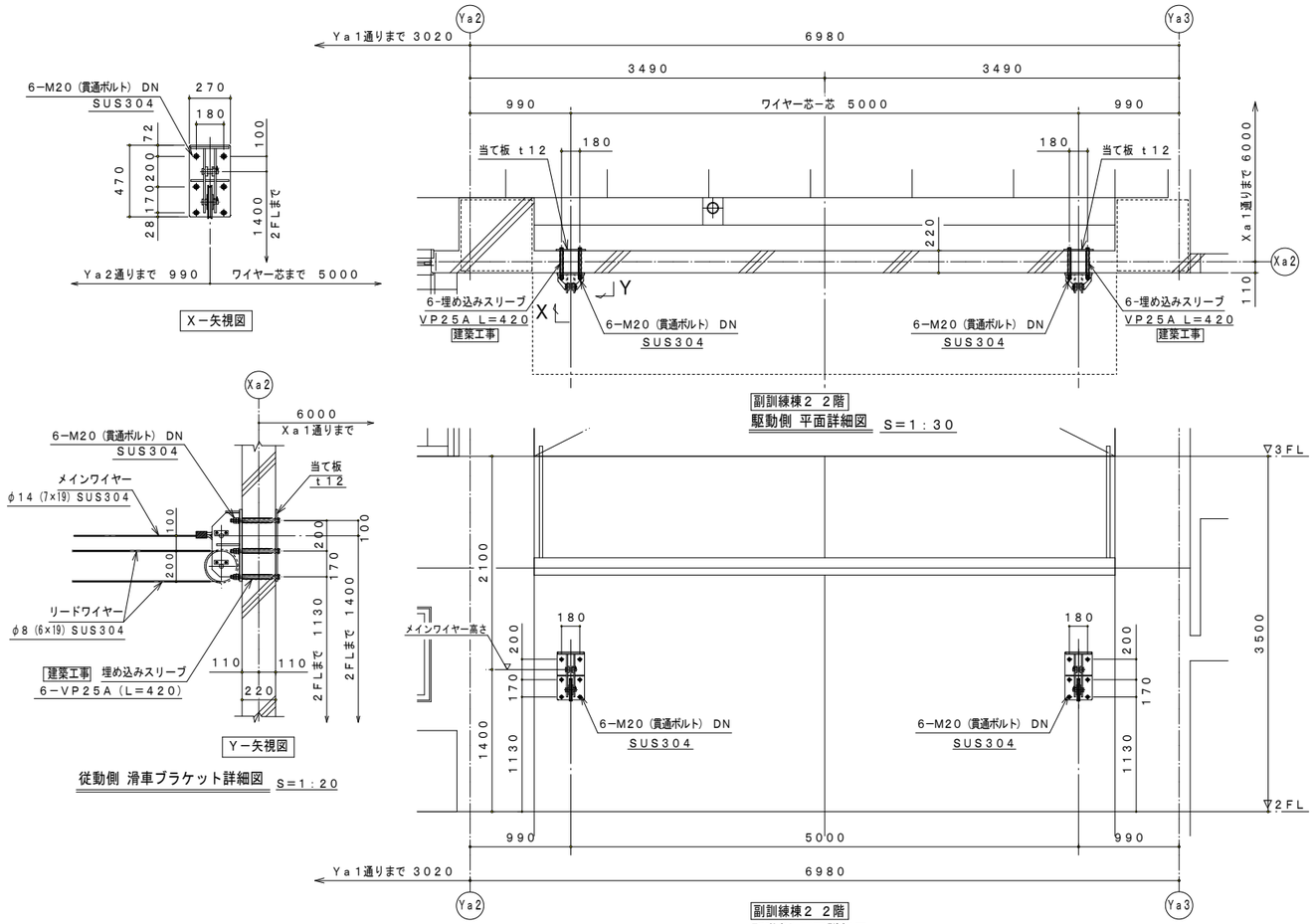


副訓練棟１ ２階
駆動側 平面詳細図 S＝1：30

X−矢視図

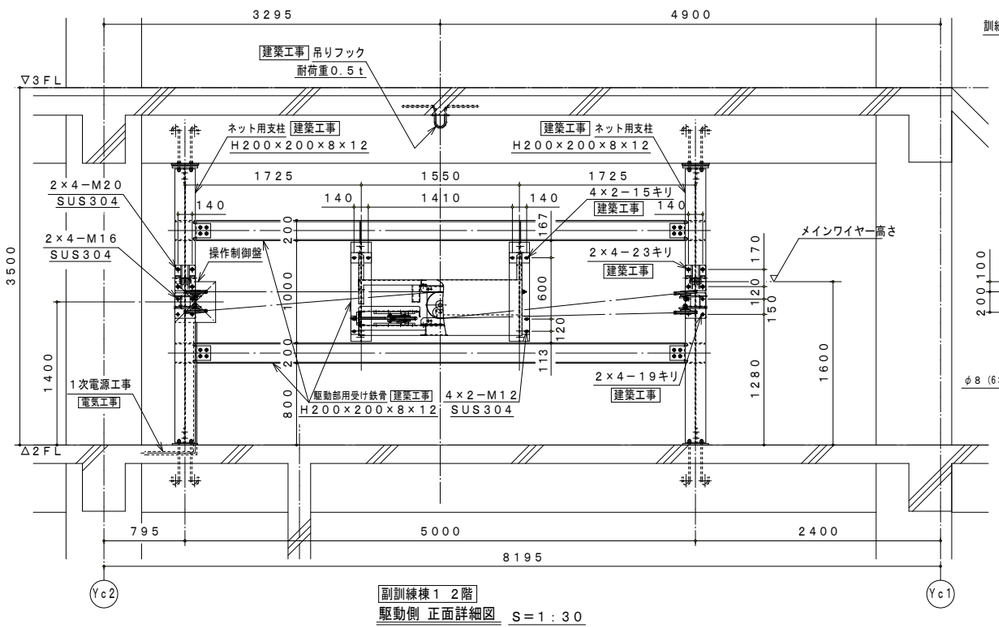
Y−矢視図

従動側 滑車ブラケット詳細図 S＝1：20

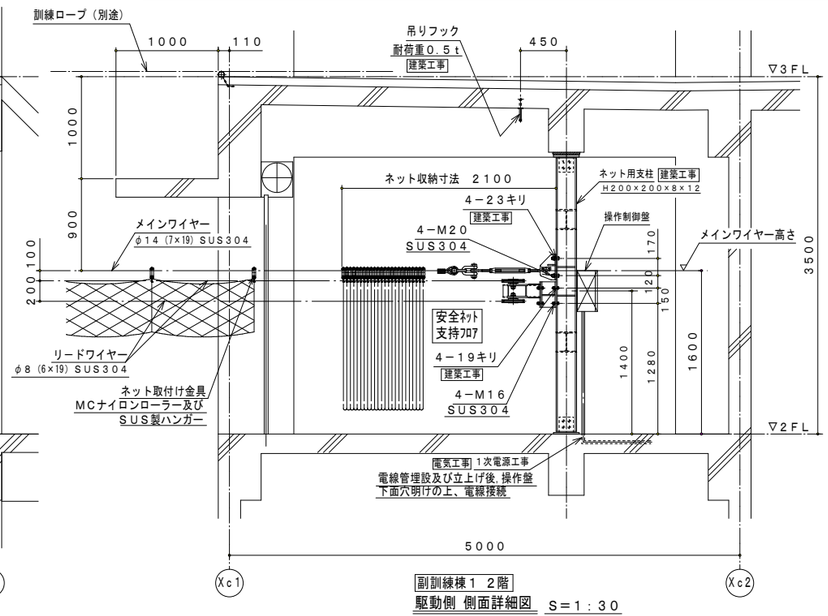


副訓練棟２ ２階
駆動側 平面詳細図 S＝1：30

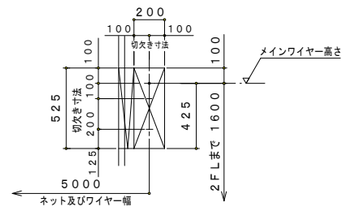
副訓練棟２ ２階
駆動側 正面詳細図 S＝1：30



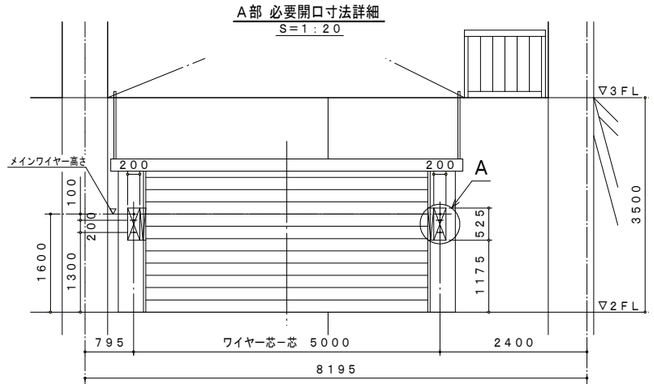
副訓練棟１ ２階
駆動側 正面詳細図 S＝1：30



副訓練棟１ ２階
駆動側 側面詳細図 S＝1：30



A部 必要開口寸法詳細
S＝1：20



ネットワイヤー廻り必要開口寸法
S＝1：50

JOBNO

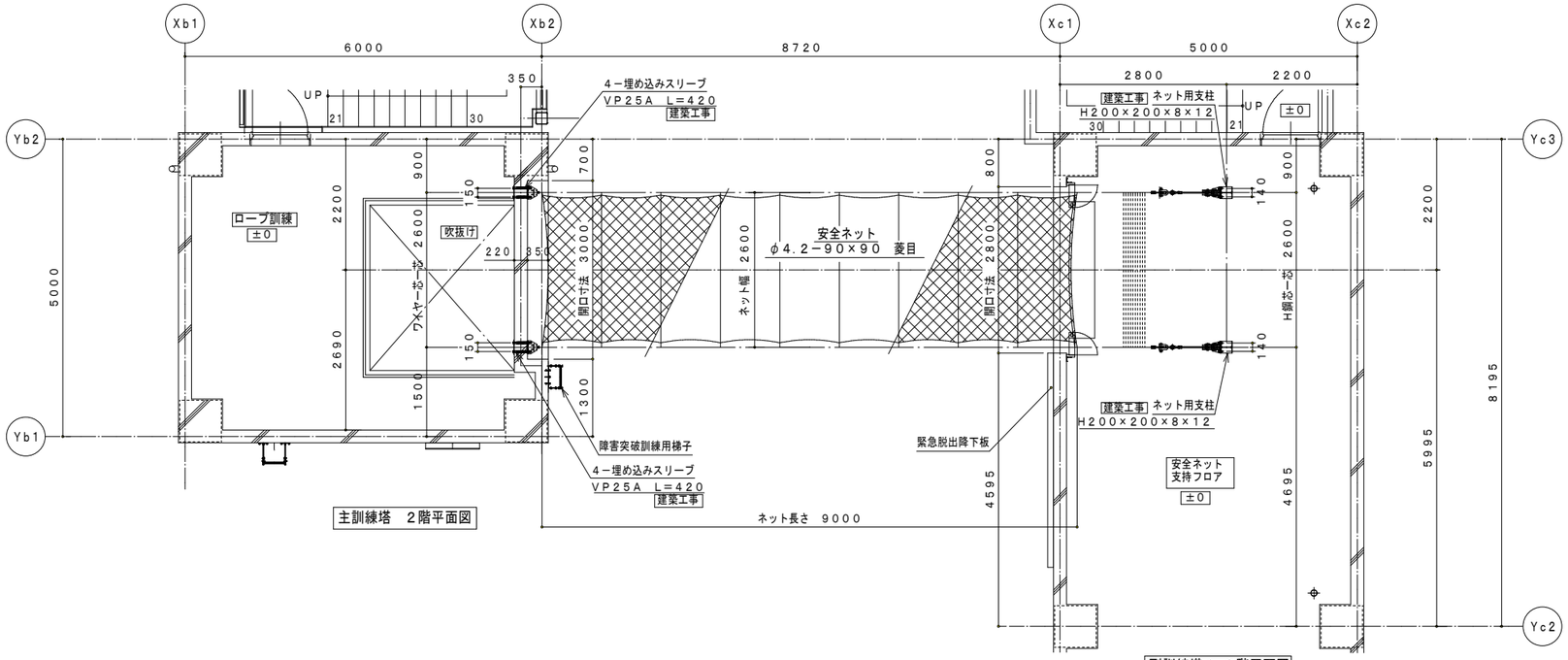
白石消防署庁舎建替工事

【訓練棟】ロープブリッジ渡過訓練用
レンジャーネット詳細図

DATE	SCAL (A 1) 1／30, 50 (A 3) 1／60, 100	DRAWN	CHEK	A-228

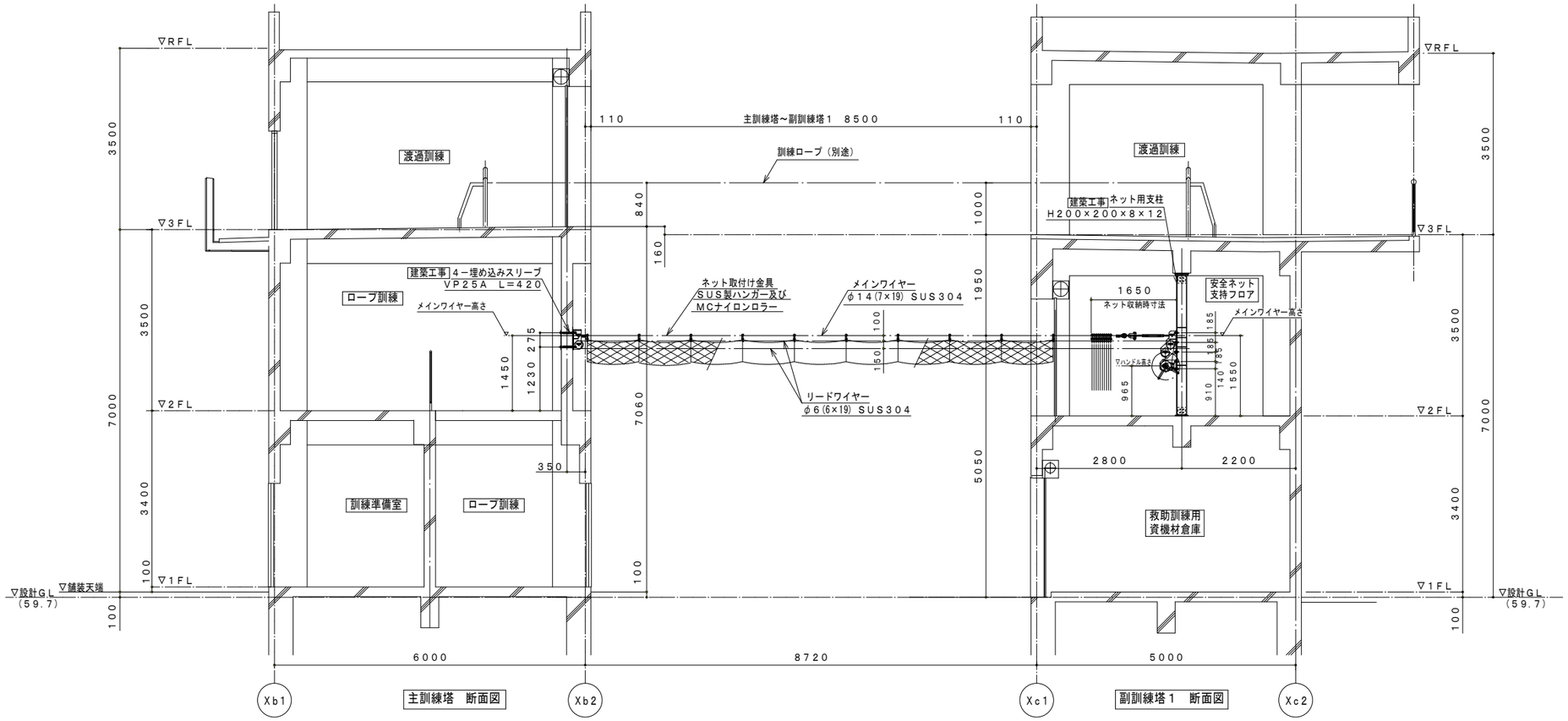
株式会社 構 建築設計事務所

一級建築士 第 357230 号 永野ますみ



主訓練塔 2階平面図

副訓練塔1 2階平面図



主訓練塔 断面図

副訓練塔1 断面図

D-3

仕様概略

型式		RSN－HⅡ型
メインワイヤー		φ14(7×19) SUS304
リードワイヤー		φ6(6×19) SUS304
	幅×長さ	2600W×9000L
ネット	材質	ナイロン
	網糸	φ4.2 黄色 (引張強さ 0.34t以上)
	網地	90×90 菱形無結節
	縁ロープ	φ12 ナイロン製 (引張強さ 2.95t)
	筋ロープ	φ6 ナイロン製 (引張強さ 0.82t)
ネット取付け金具		SUS製ハンガー及びナイロンローラ
巻取速度		手動式

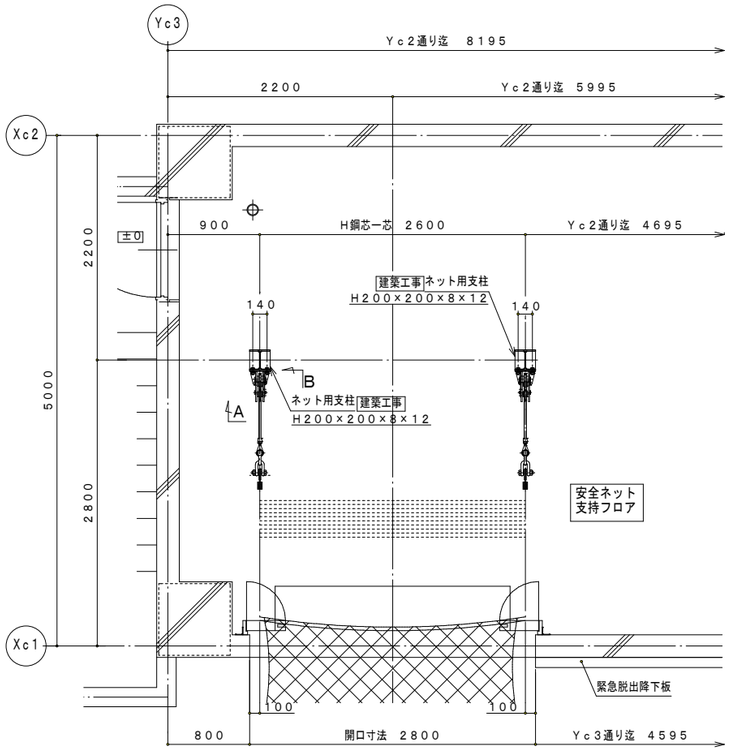
※ 滑車・ブラケット等の鉄部は、パーカーライジング処理の上、ウレタン樹脂塗装とする。

JOBNO

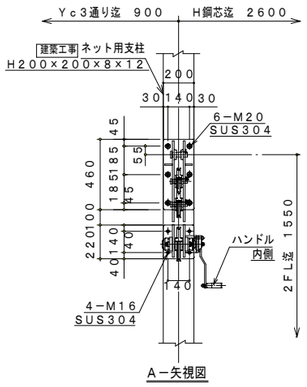
白石消防署庁舎建替工事　障害突破訓練用レンジャーネット配置図　【訓練棟】

DATE　SCAL (A 1) 1／50 (A 3) 1／100　DRAWN　CHEK　A-229

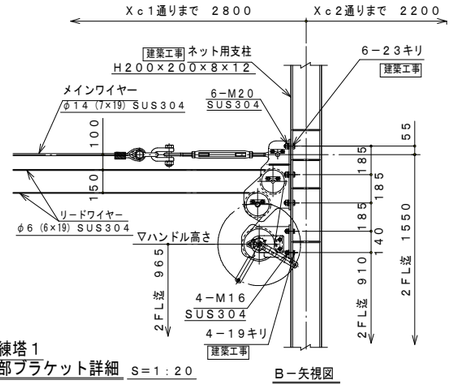
株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号 永野ますみ



副訓練塔1 2階駆動部側 平面図 S=1:30

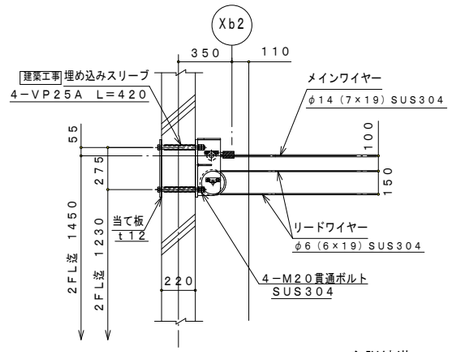


A−矢視図

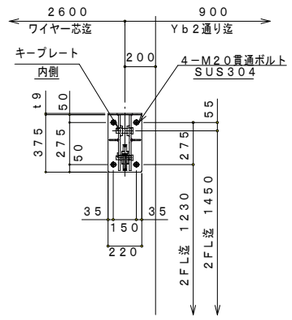


B−矢視図

副訓練塔1
駆動部ブラケット詳細 S=1:20

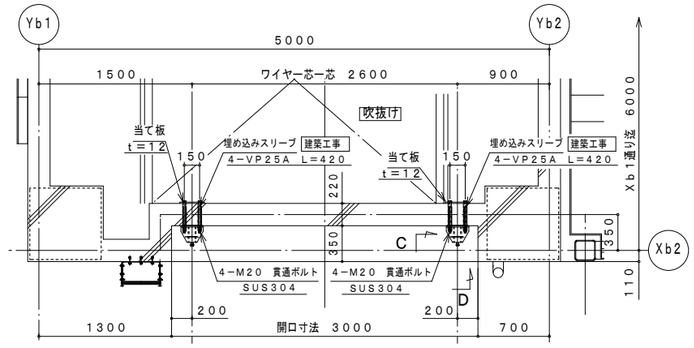


C−矢視図

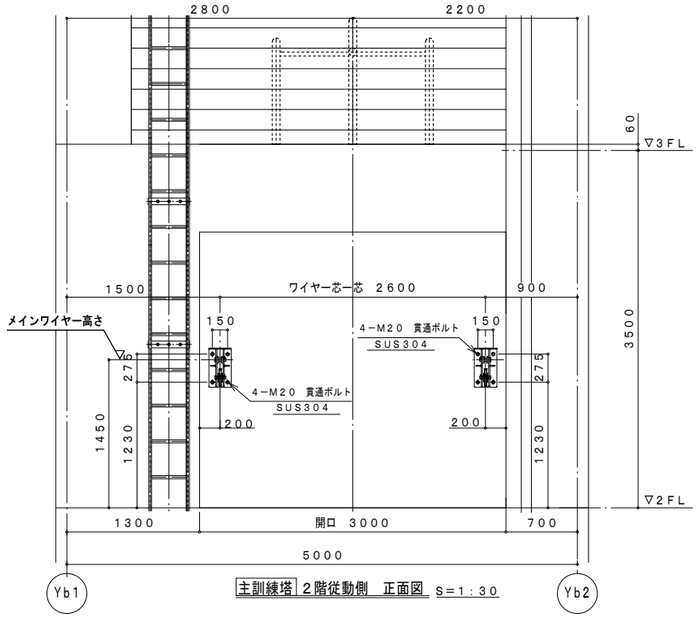


D−矢視図

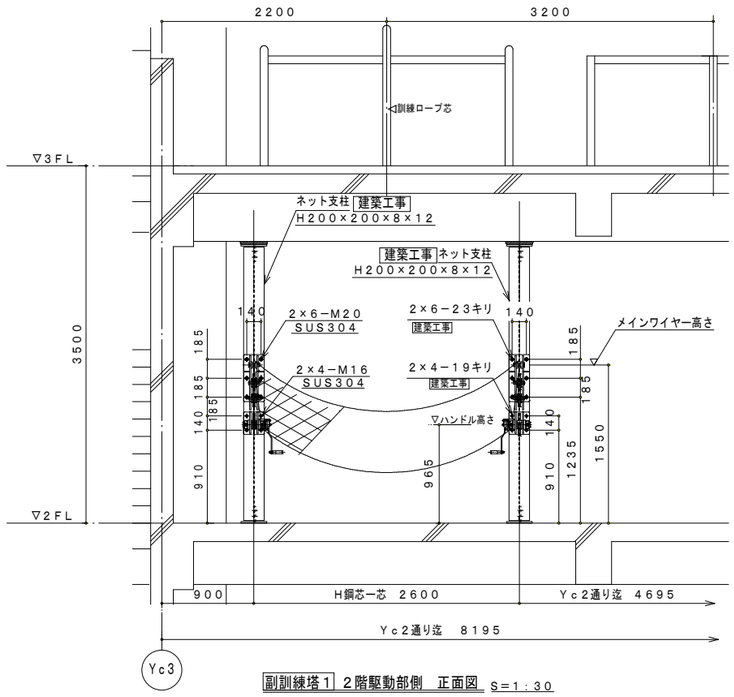
主訓練塔
滑車ブラケット詳細 S=1:20



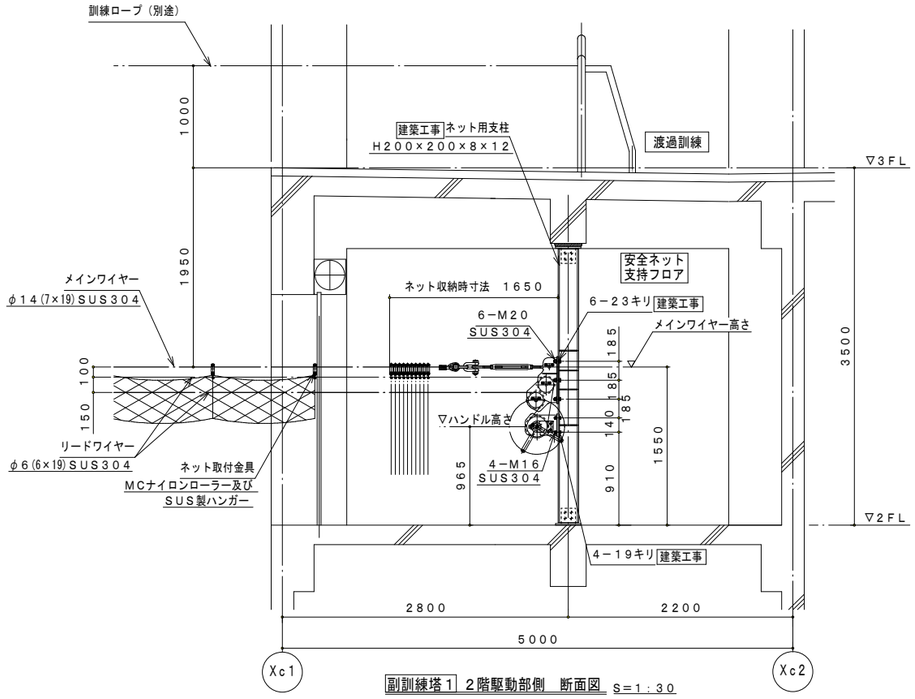
主訓練塔 2階従動側 平面図 S=1:30



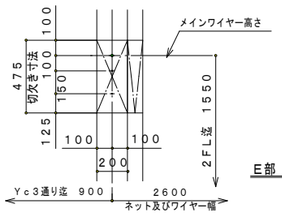
主訓練塔 2階従動側 正面図 S=1:30



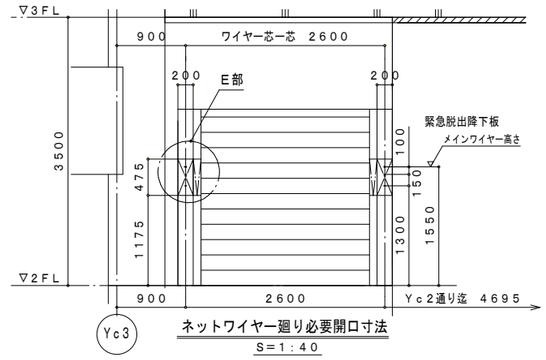
副訓練塔1 2階駆動部側 正面図 S=1:30



副訓練塔1 2階駆動部側 断面図 S=1:30



E部 必要開口寸法詳細
S=1:20



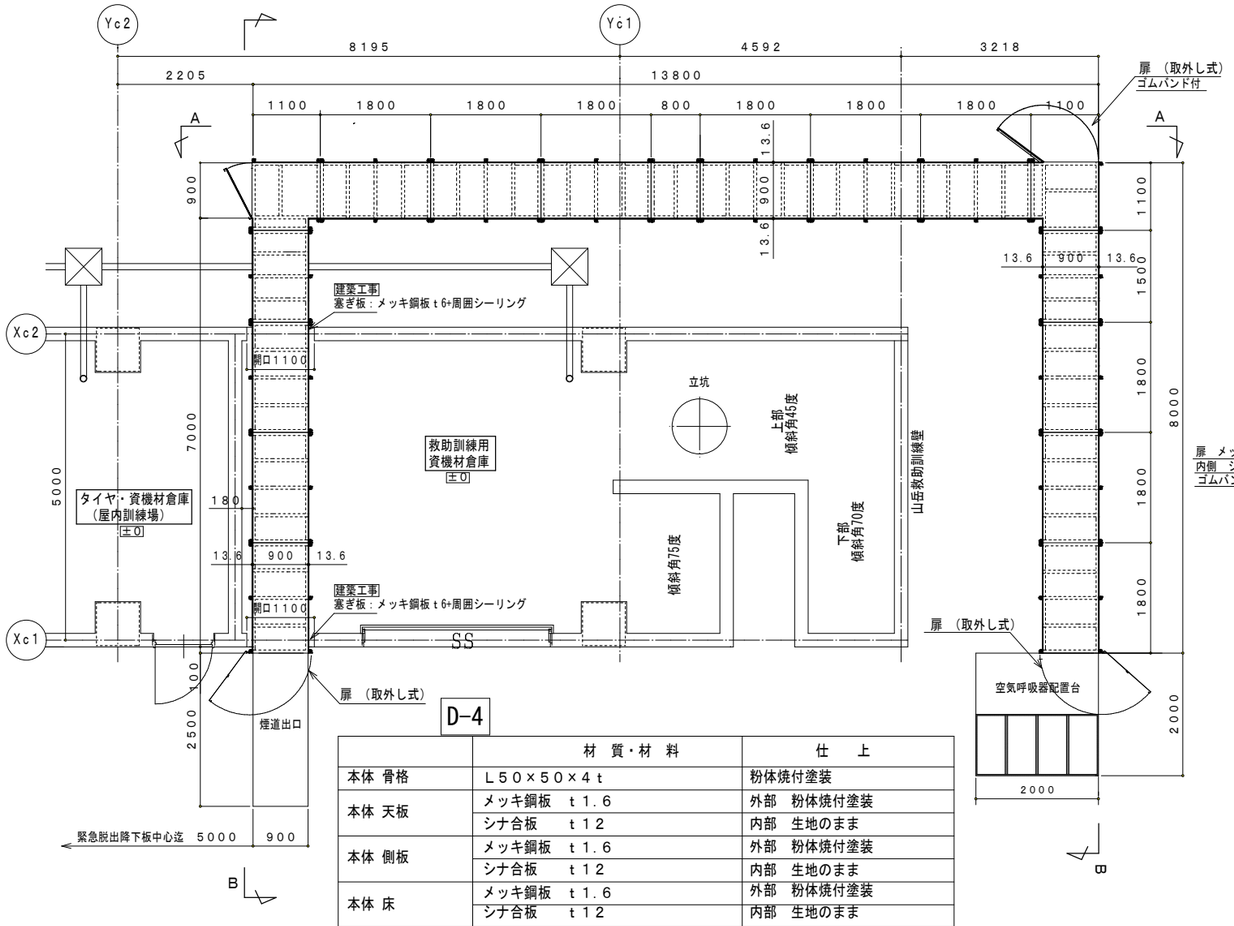
ネットワイヤー廻り必要開口寸法
S=1:40

JOBNO

白石消防署庁舎建替工事　障害突破訓練用レンジャーネット詳細図　【訓練棟】

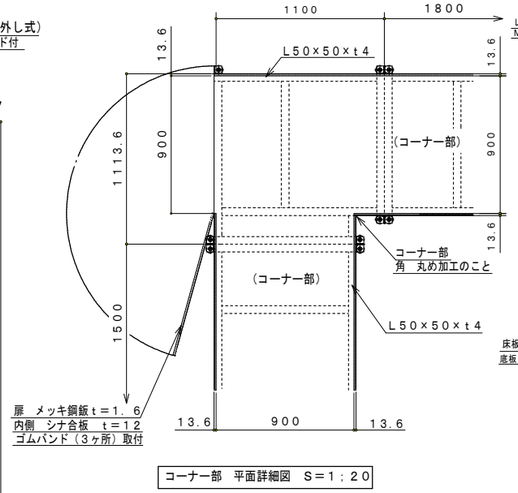
DATE　SCAL (A 1) 1/20, 30, 40 (A 3) 1/40, 60, 80　DRAWN　CHEK　A-230

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号 永野ますみ

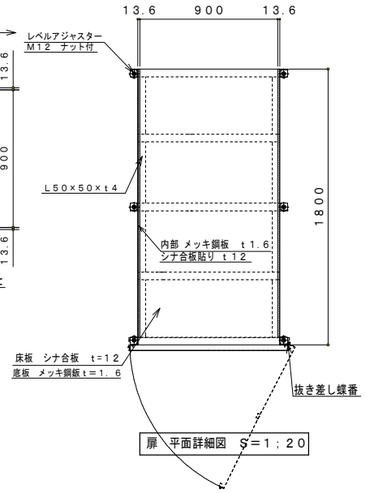


D-4

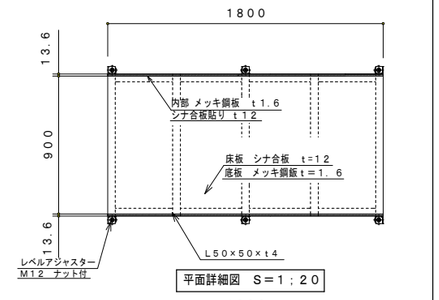
	材 質・材 料	仕 上
本体 骨格	L50×50×4t	粉体焼付塗装
本体 天板	メッキ鋼板 t1.6	外部 粉体焼付塗装
	シナ合板 t12	内部 生地のまま
本体 側板	メッキ鋼板 t1.6	外部 粉体焼付塗装
	シナ合板 t12	内部 生地のまま
本体 床	メッキ鋼板 t1.6	外部 粉体焼付塗装
	シナ合板 t12	内部 生地のまま
本体 扉	メッキ鋼板 t1.2	粉体焼付塗装
（突き当たり部 扉）	メッキ鋼板 t16 ・シナ合板 t12	外部メッキ鋼板 粉体焼付塗装 ゴムバンド（3ヶ所）付 内部シナ合板 生地のまま



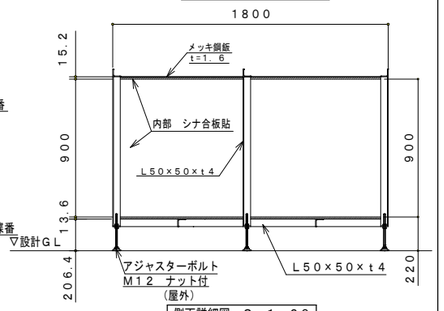
コーナー部 平面詳細図 S＝1：20



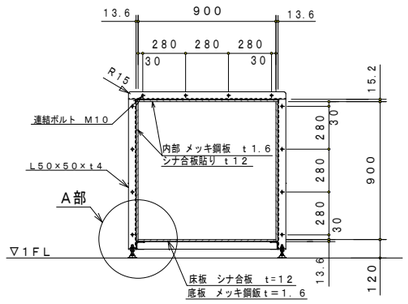
扉 平面詳細図 S＝1：20



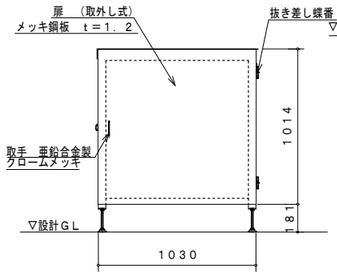
平面詳細図 S＝1：20



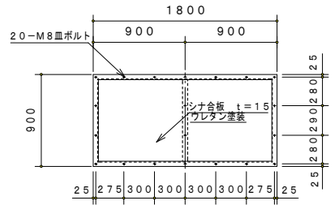
側面詳細図 S＝1：20

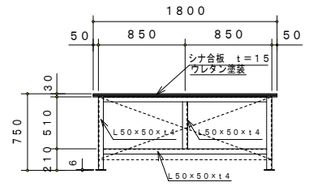


（屋内）
断面詳細図 S＝1：20



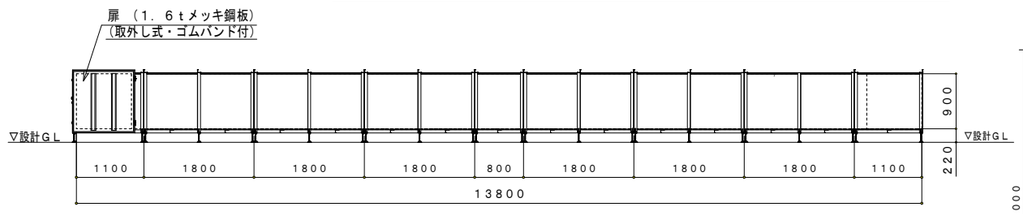
扉 正面図 S＝1：20



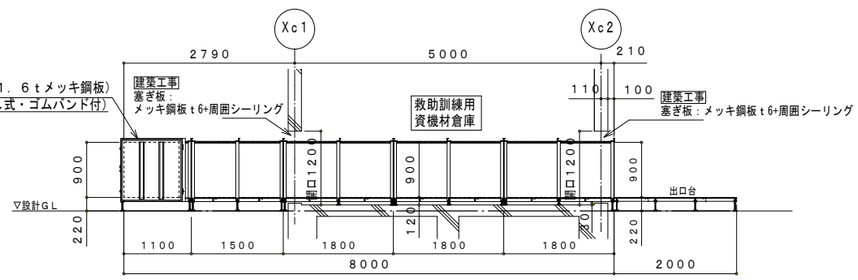


ほふく救出訓練用 長机 S＝1：30

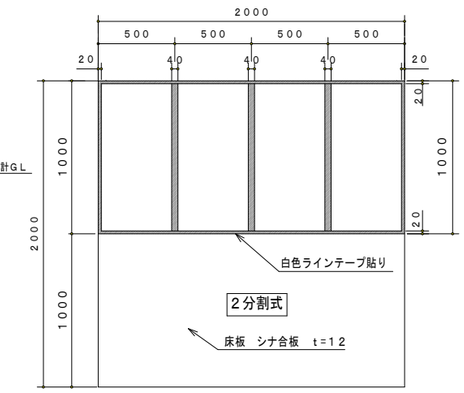
※ 鉄部は溶融亜鉛メッキとする。

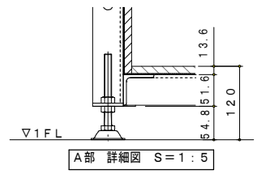


A−矢視図 S＝1：50

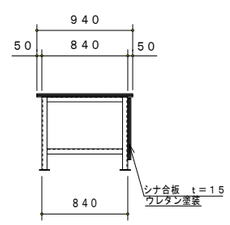


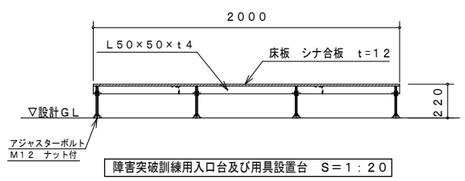
B−矢視図 S＝1：50



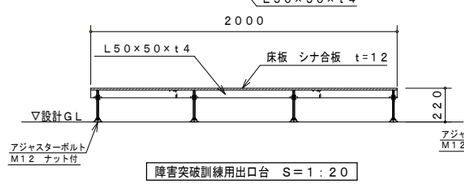


A部 詳細図 S＝1：5

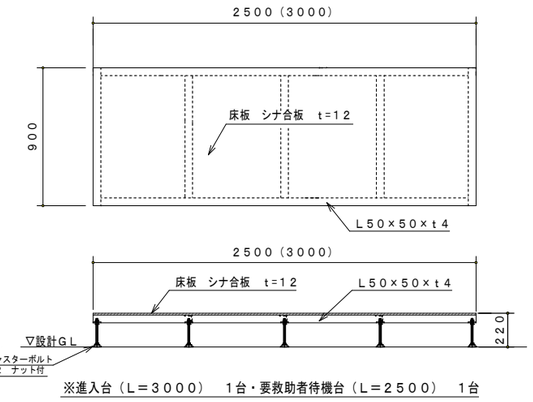




障害突破訓練用入口台及び用具設置台 S＝1：20



障害突破訓練用出口台 S＝1：20



※進入台（L＝3000） 1台・要救助者待機台（L＝2500） 1台

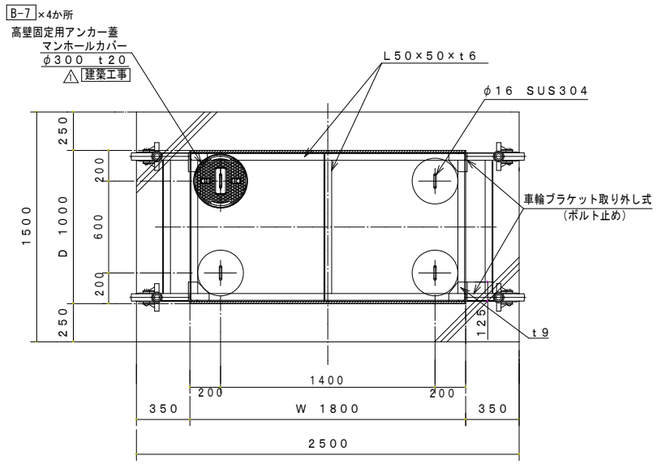
ほふく救出訓練用台 S＝1：20

JOBNO

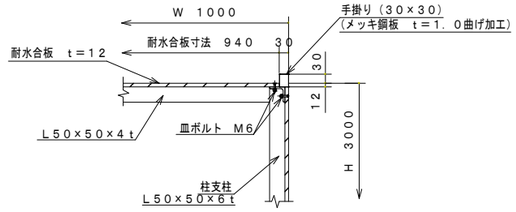
白石消防署庁舎建替工事　障害突破訓練用煙道 配置及び詳細図　【訓練棟】

DATE　SCAL (A 1) 1/20、30、50 (A 3) 1/40、60、100　DRAWN　CHEK　A-231

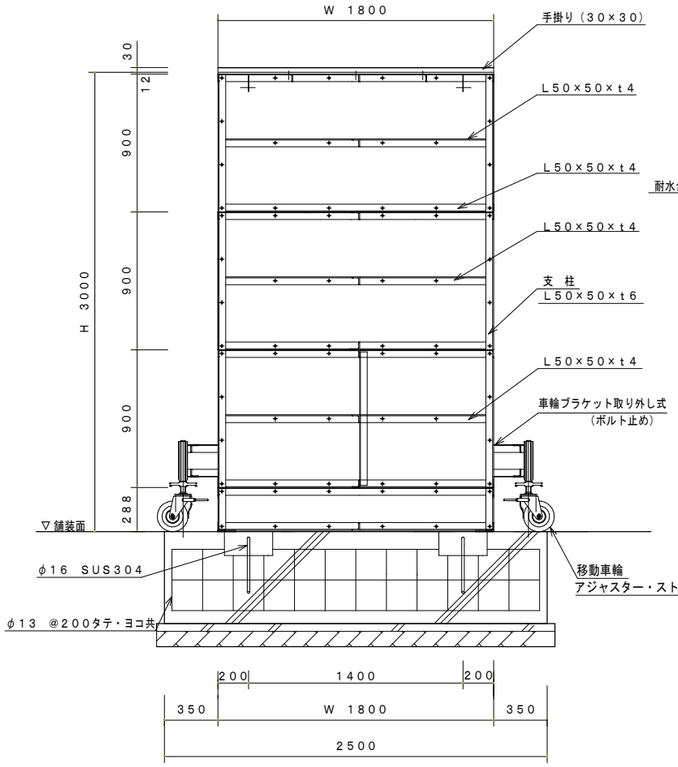
株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号 永野ますみ



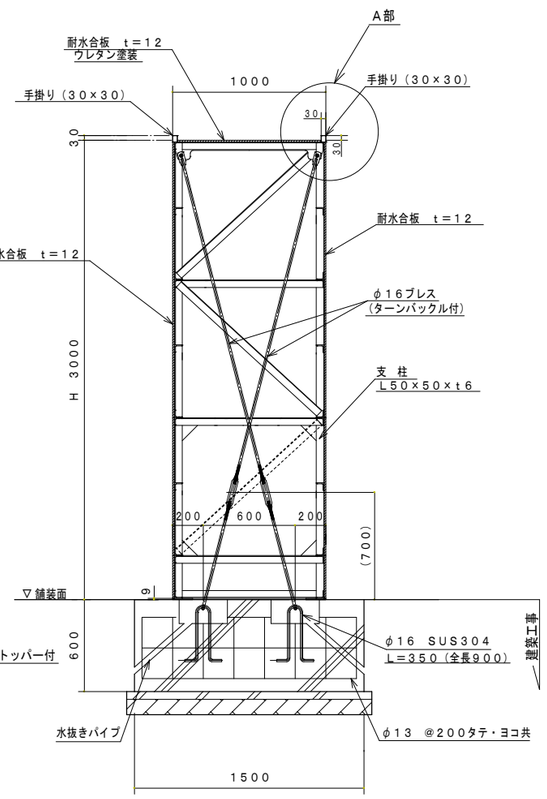
平面図 S=1:20



A部 詳細図 S=1:10



正面図 S=1:20

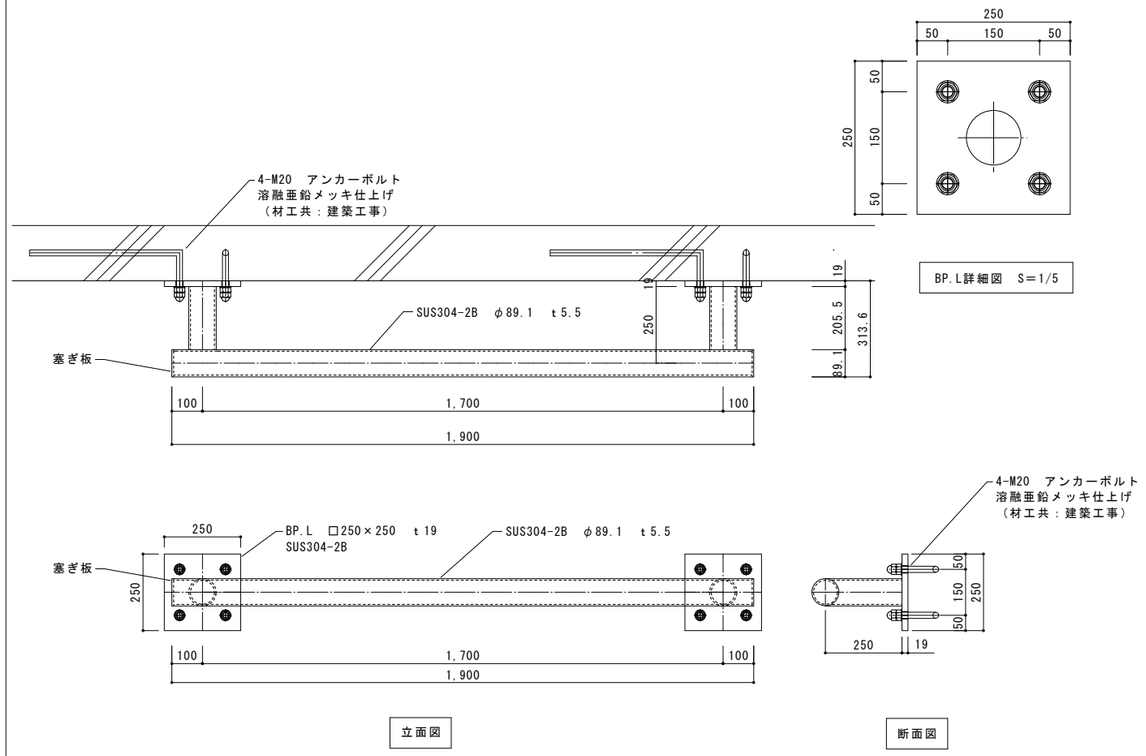


断面図 S=1:20

D-5

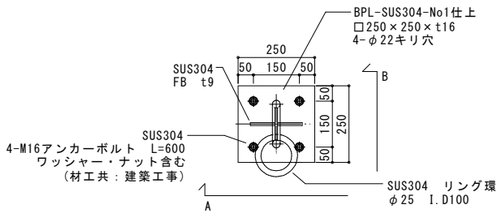
※ 耐水合板はウレタン塗装とする。
※ 鉄部は粉体焼付塗装とする。

A-4 壁面バータイプ支点 S=1/10

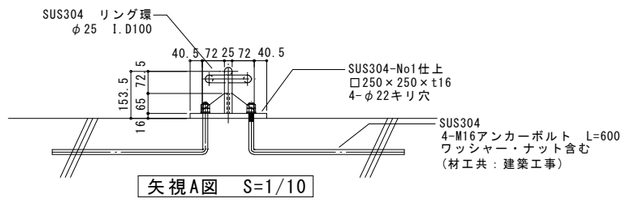


A-3 保護用リング環
A-7 天井面リング環 S=1/10

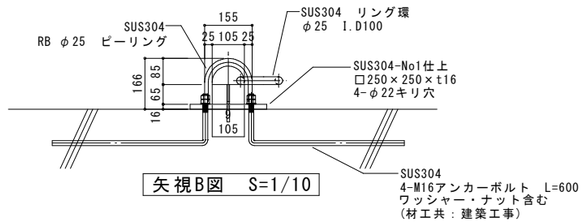
※壁面取付高さはFL+1300
床面・天井面取付位置は平面図による



平面図 S=1/10



矢視A図 S=1/10



矢視B図 S=1/10

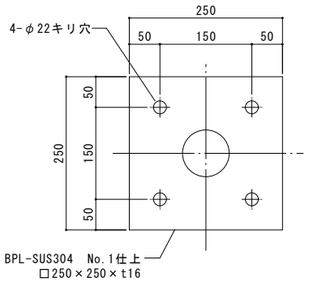
JOBNO

白石消防署庁舎建替工事　障害突破訓練用高塀・主訓練塔金物詳細図　【訓練棟】

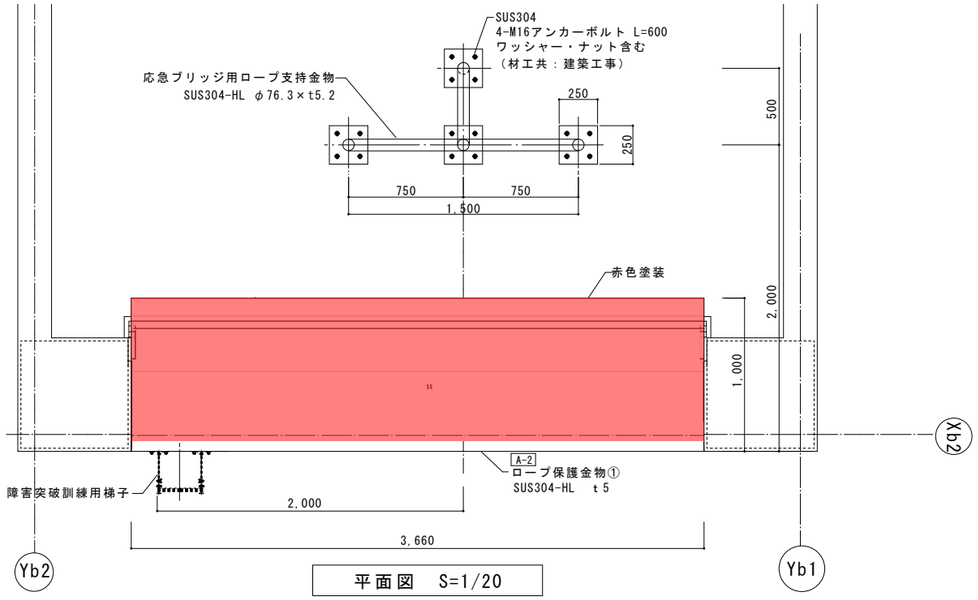
DATE	SCAL	DRAWN	CHEK	
	(A 1) 1/20 (A 3) 1/40			A-232

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号 永野ますみ

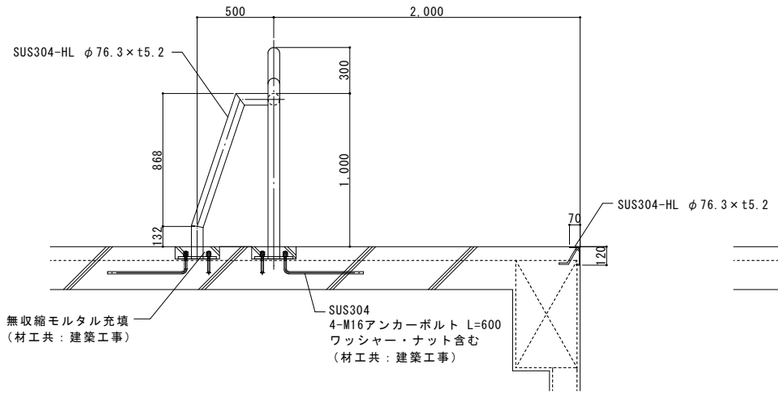
A-1　応急ブリッジ支持金物　S=1/5・1/20



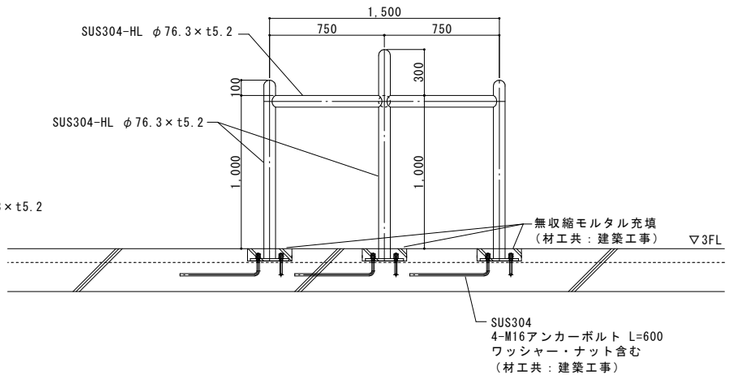
ベースプレート詳細図　S=1/5



平面図　S=1/20

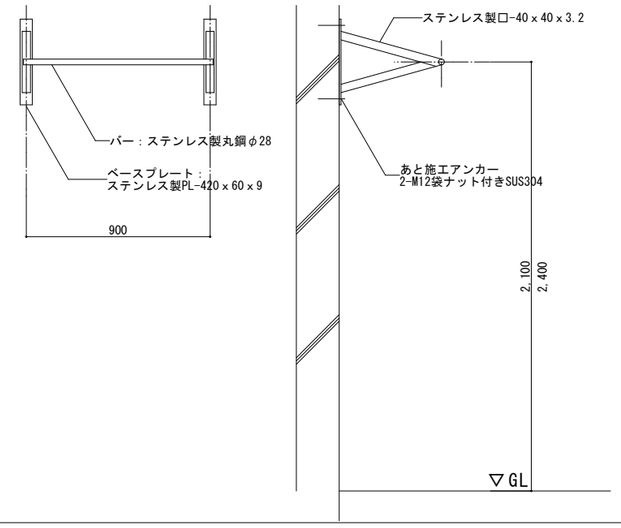


断面図　S=1/20

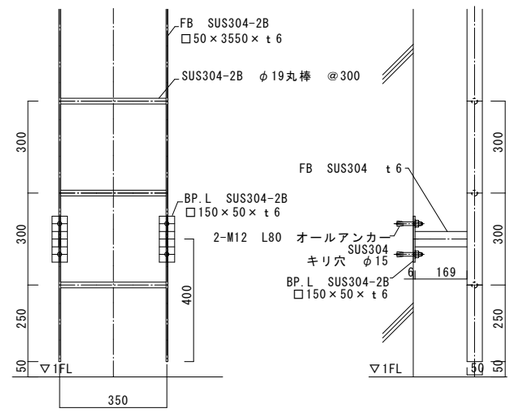


立面図　S=1/20

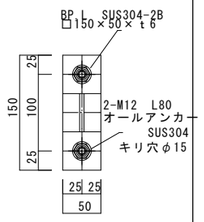
A-5　懸垂バー　S=1/15



A-6　タラップ　S=1/10・1/4

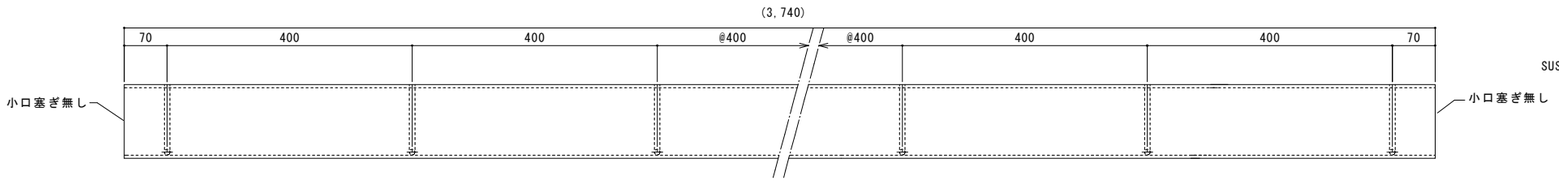


タラップ取付　詳細図　S=1/10

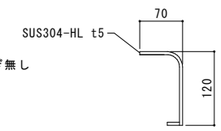


BP.L　詳細図　S=1/4

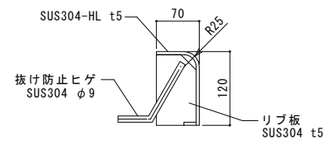
A-2　ロープ保護金物　S=1/5



ロープ保護金物①　詳細図 S=1/5



端部詳細図　S=1/5



断面図　S=1/5

※A-3　リング環はB-14に同じ
※A-4　バー支点はB-10山岳壁用支点に同じ

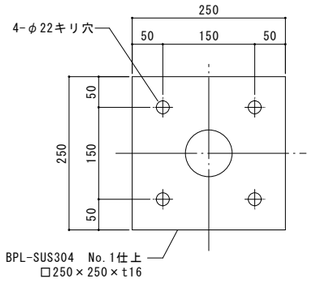
JOBNO

白石消防署庁舎建替工事　　主訓練塔　訓練用金物詳細図(5)　【訓練棟】

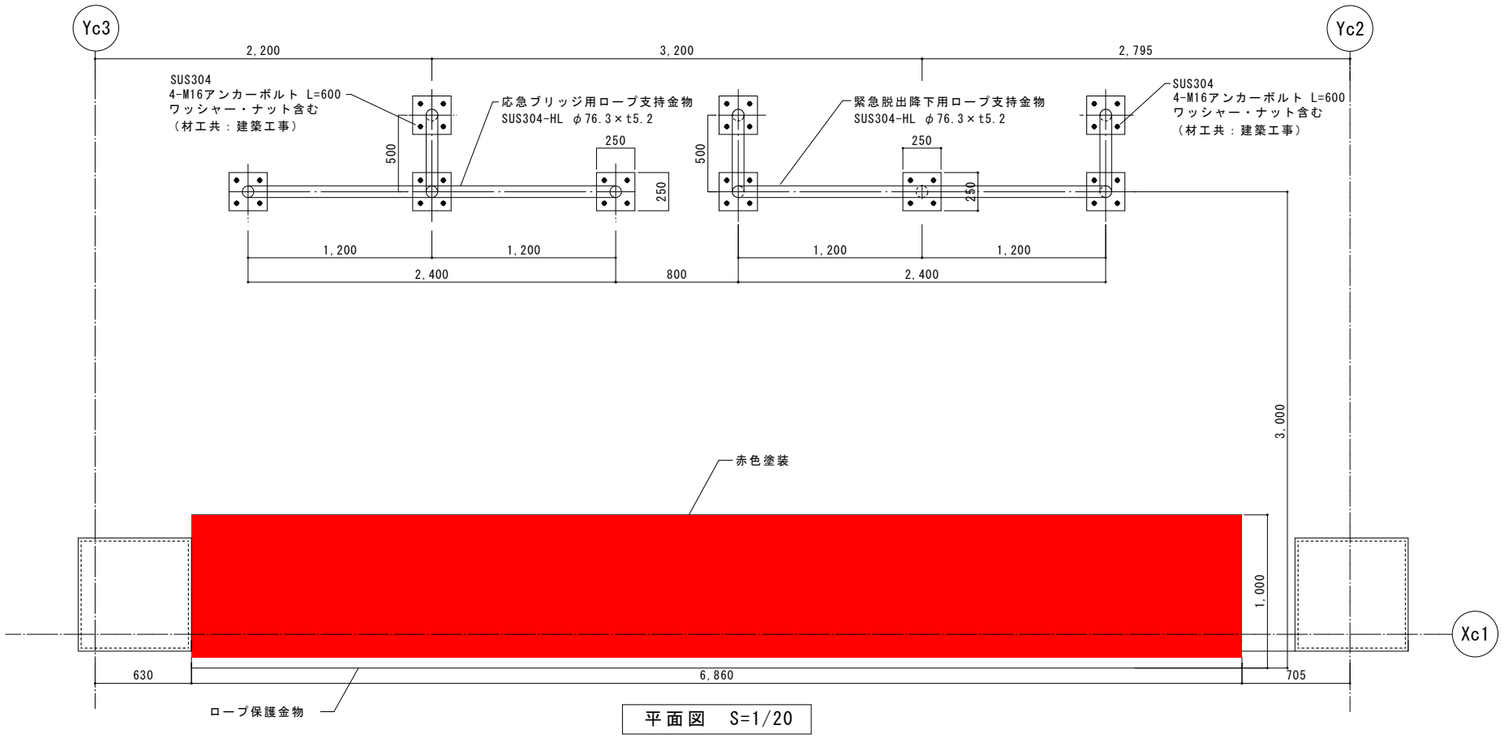
DATE　SCAL (A 1) 1／5・20 (A 3) 1／10・40　DRAWN　CHEK　A-233

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士　第 357230 号　永野ますみ

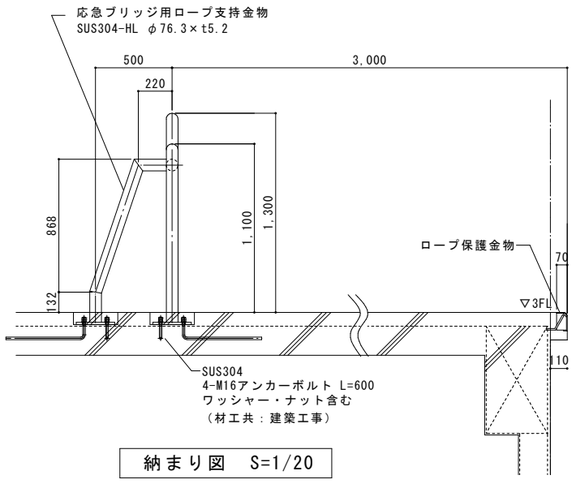
B-1　応急ブリッジロープ支持金物・　B-2　緊急脱出降下用ロープ支持金物　S=1/5・1/20



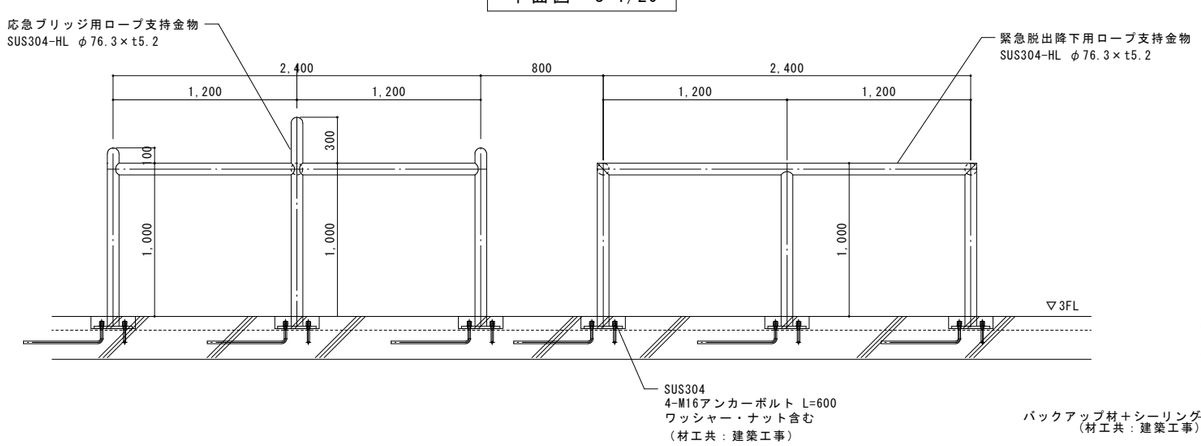
ベースプレート詳細図　S=1/5



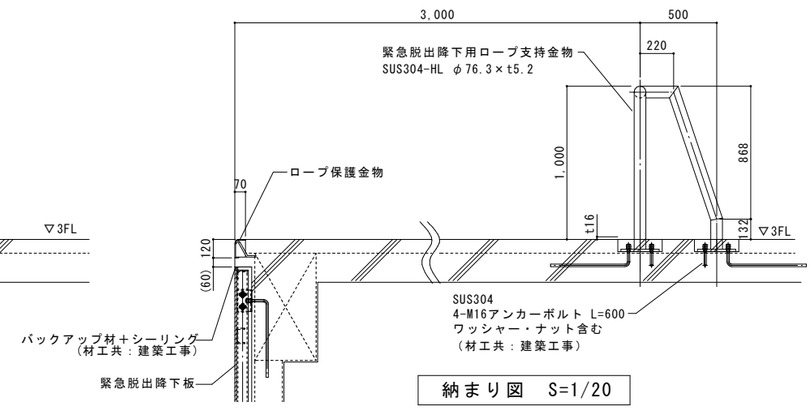
平面図　S=1/20



納まり図　S=1/20

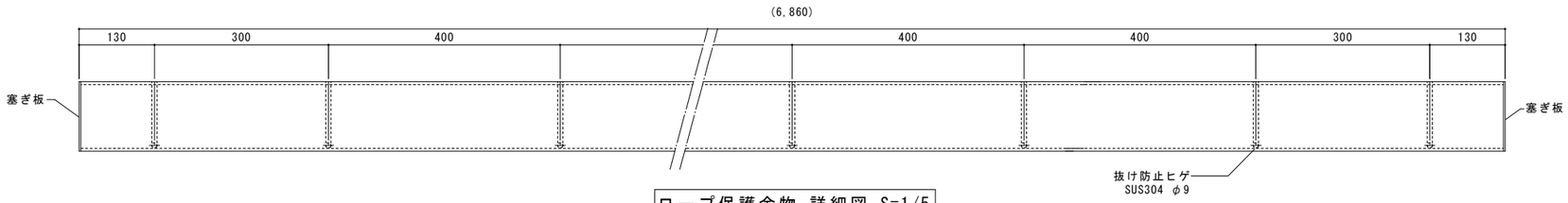


立面図　S=1/20

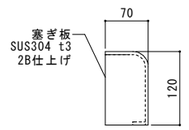


納まり図　S=1/20

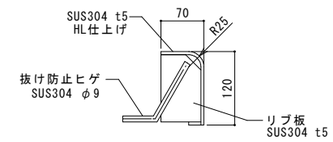
B-3　ロープ保護金物　S=1/5



ロープ保護金物　詳細図 S=1/5



端部詳細図　S=1/5



断面図　S=1/5

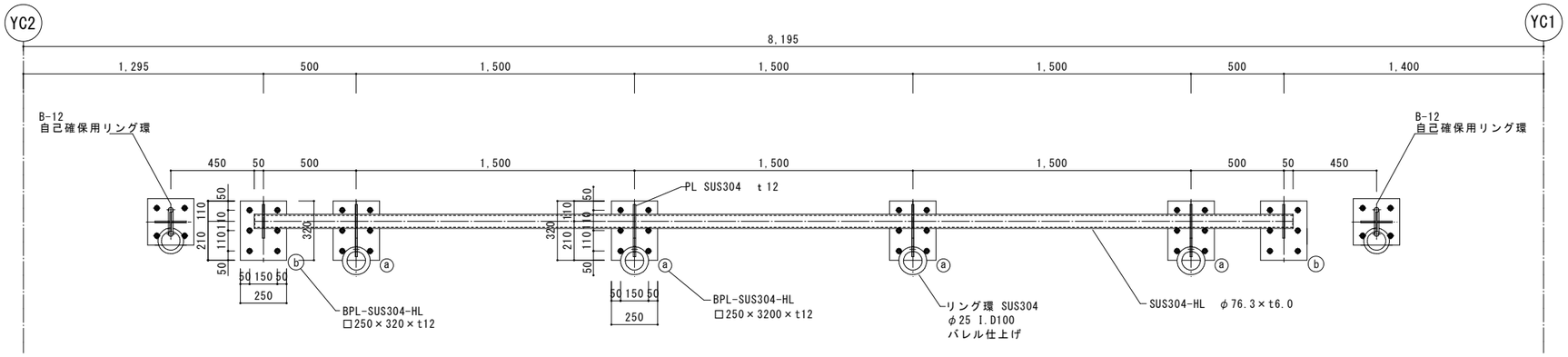
JOBNO

白石消防署庁舎建替工事　副訓練塔1　訓練用金物詳細図(1)　【訓練棟】　A-234

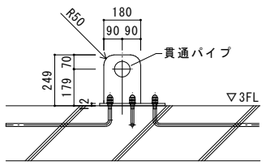
DATE　SCAL (A 1) 1／5・20 (A 3) 1／10・40　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士　第 357230 号　永野ますみ

B-4　ロープブリッジ救助兼ロープ渡過支持金物　S=1/15

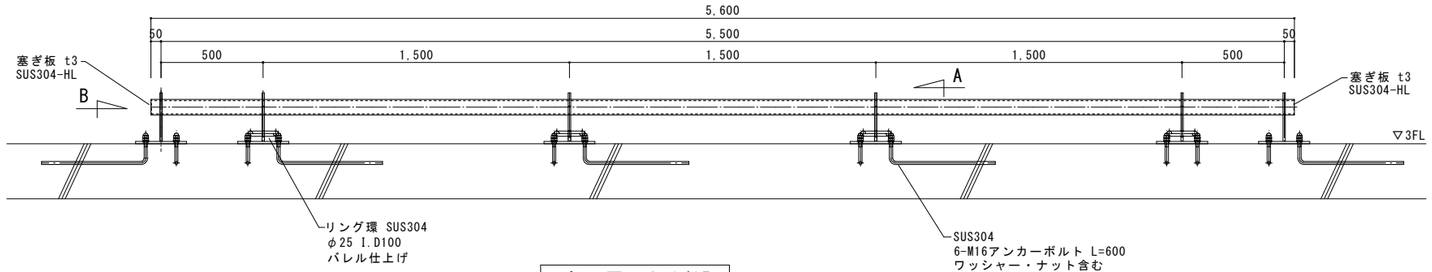


※パイプはPLに貫通とする。

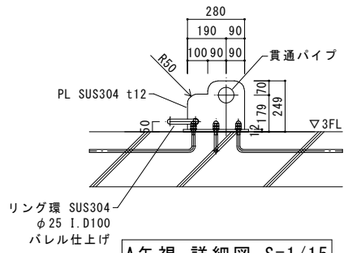


B矢視 詳細図 S=1/15

ⓑ印2ヶ所



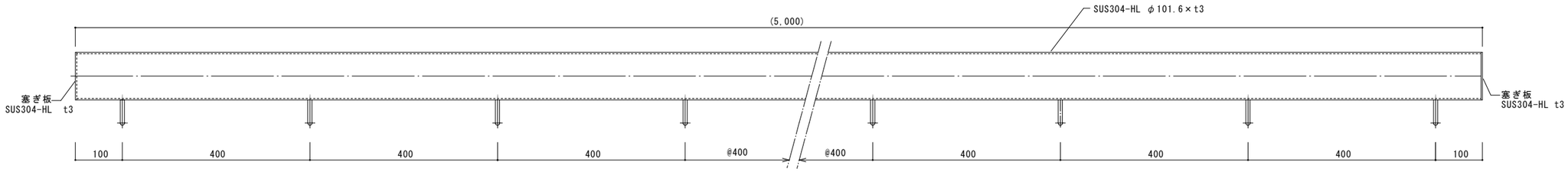
立面図　S=1/15



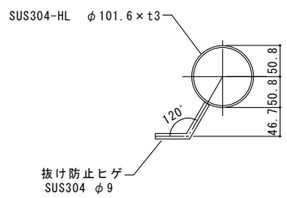
A矢視 詳細図 S=1/15

ⓐ印3ヶ所

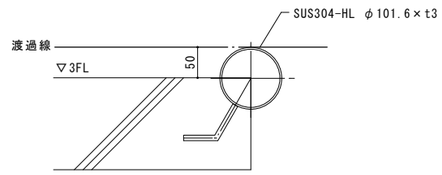
B-5　ロープ擦れ防止金物　S=1/5



立面図



断面図



取付詳細図

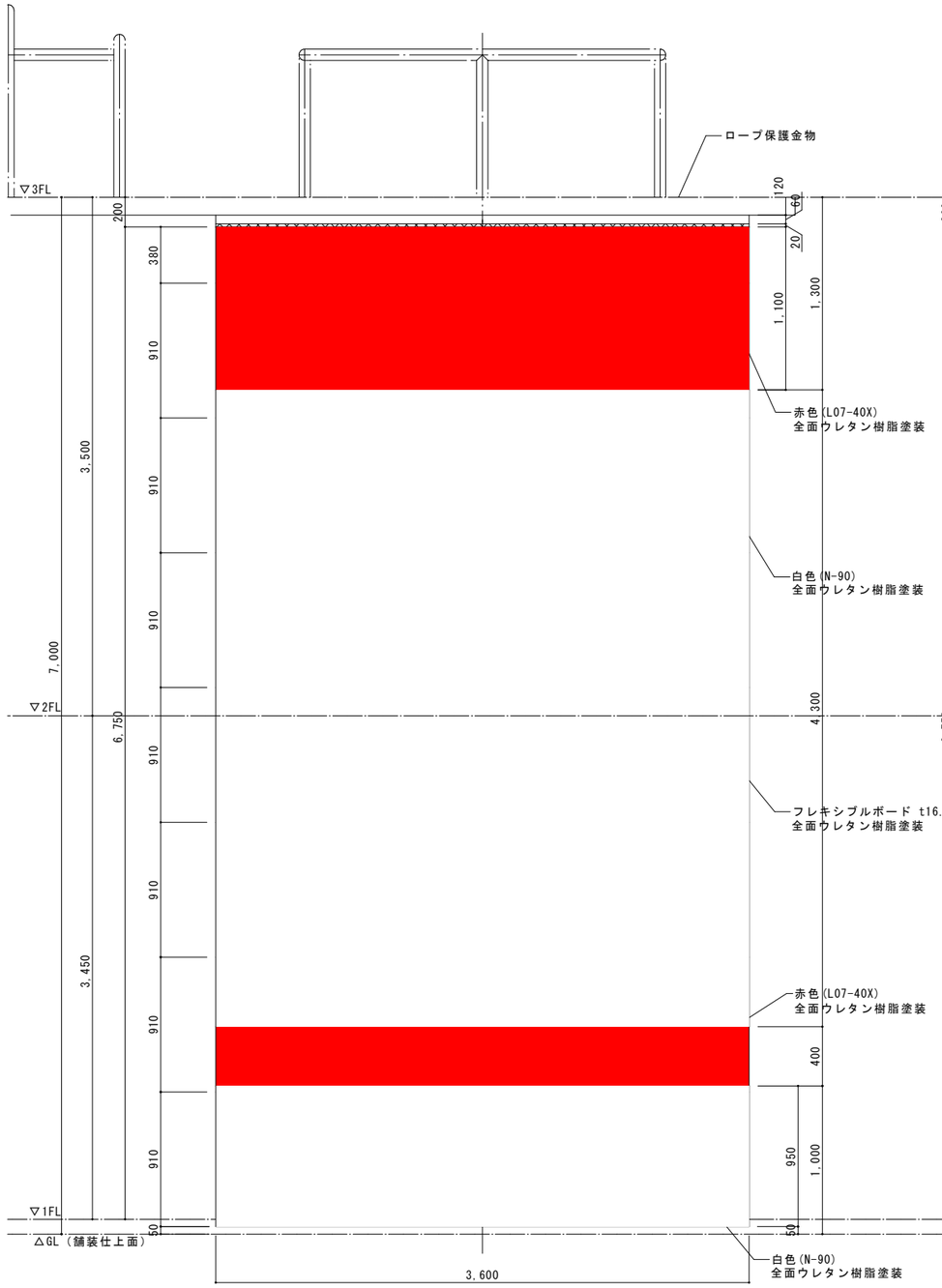
JOBNO

白石消防署庁舎建替工事　副訓練塔1　訓練用金物詳細図(2)　【訓練棟】　A-235

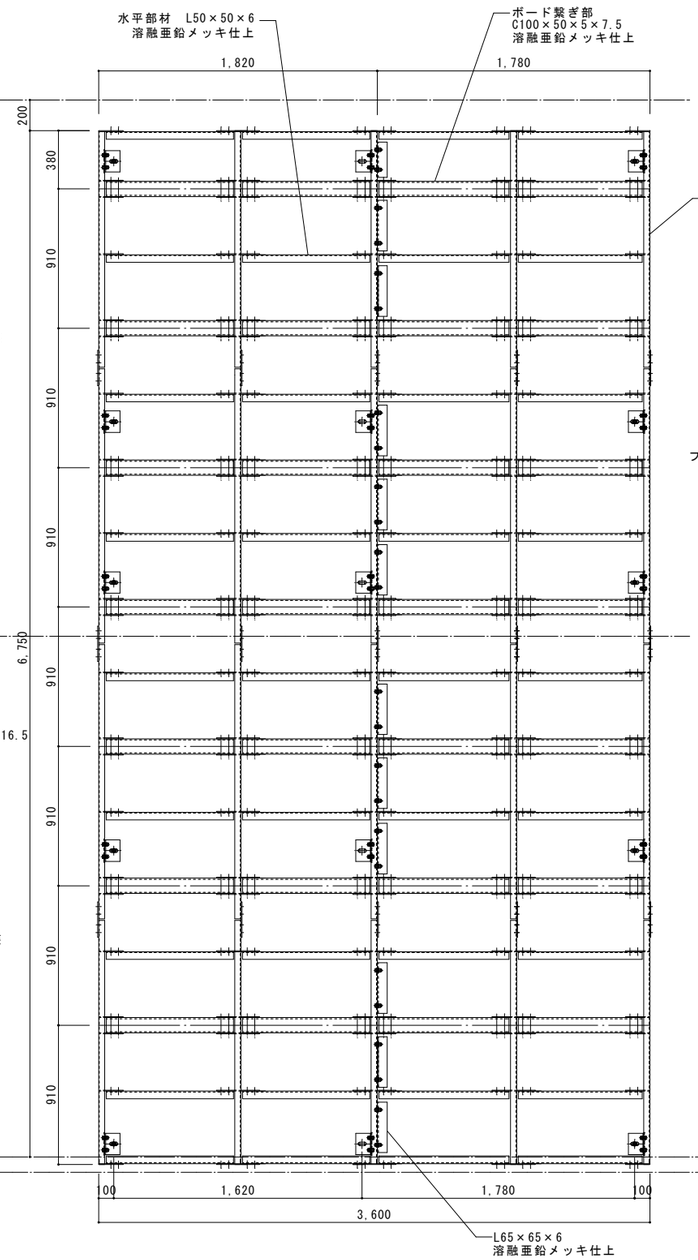
DATE　SCAL (A 1) 1／5・15 (A 3) 1／10・30　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士　第 357230 号　永野ますみ

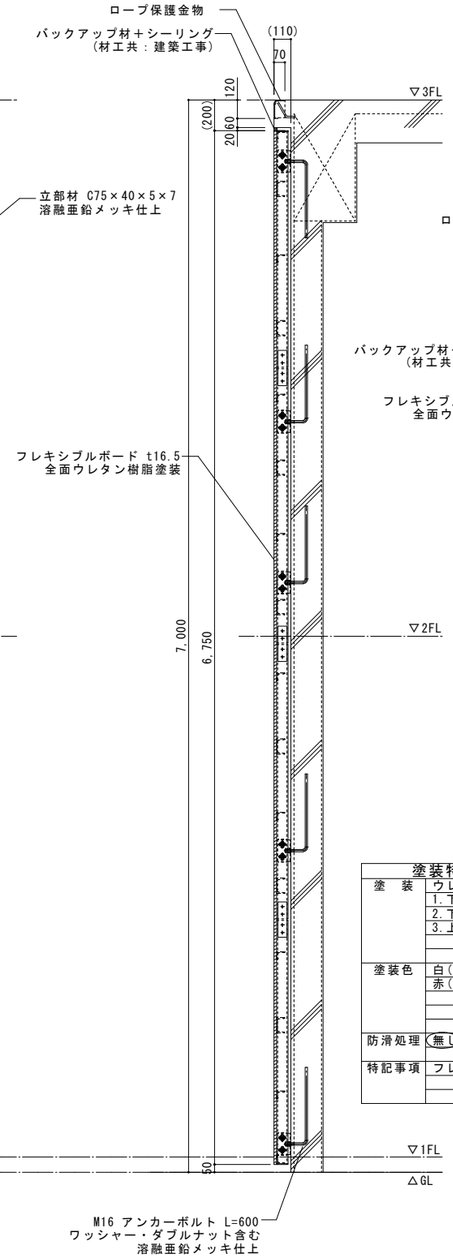
B-6　緊急脱出降下板　詳細図　S=1/10・1/20



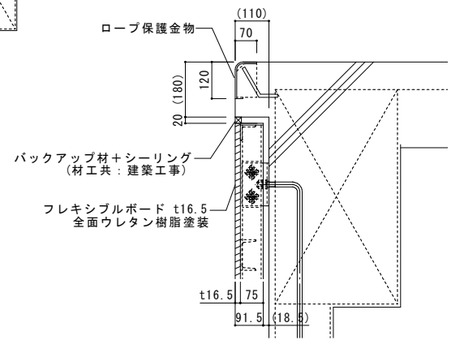
引揚救助降下板詳細図　S=1/20



下地鉄骨詳細図　S=1/20



断面図　S=1/20



スラブ取合部　S=1/10

塗装特記仕様書（ウレタン樹脂系塗床材）		
塗　装	ウレタン樹脂系塗床材：アーキフロアーＵＴ（エスケー化研）	
	1.下地処理	清掃・研磨・パテ打ち
	2.下塗り（１回）	ミラクシーラーEPOを塗布
	3.上塗り（２回）	ウレタン樹脂系塗床材を塗布
塗装色	白(N-90)	塗装範囲は図面参照
	赤(L07-40X)	塗装範囲は図面参照
防滑処理	(無し)・6号珪砂	
特記事項	フレキシブルボード貼付後に塗装を行うこと	

JOBNO

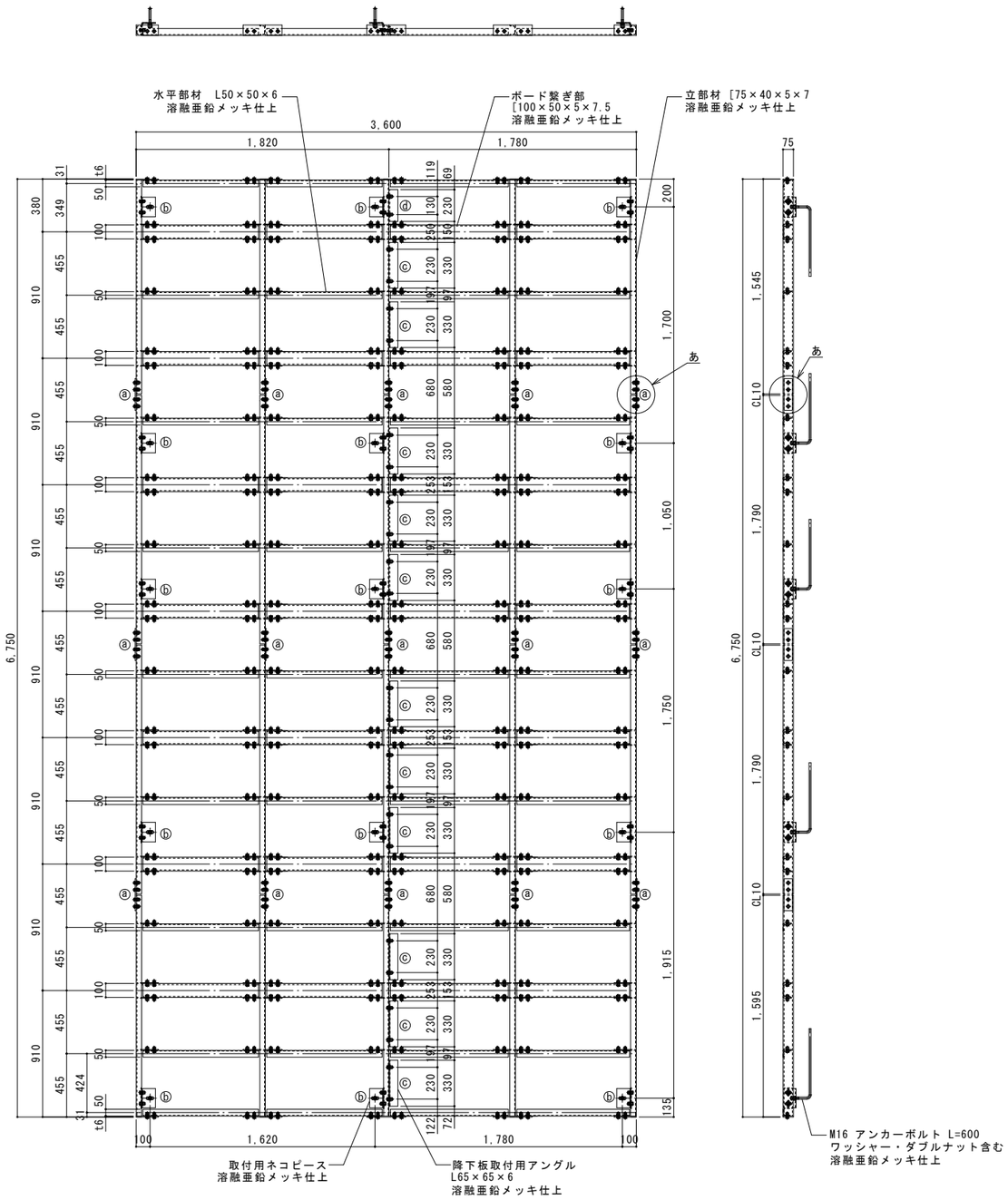
白石消防署庁舎建替工事　副訓練塔1　訓練用金物詳細図(3)　【訓練棟】　A-236

DATE　SCAL (A 1) 1／10・20 (A 3) 1／20・40　DRAWN　CHEK

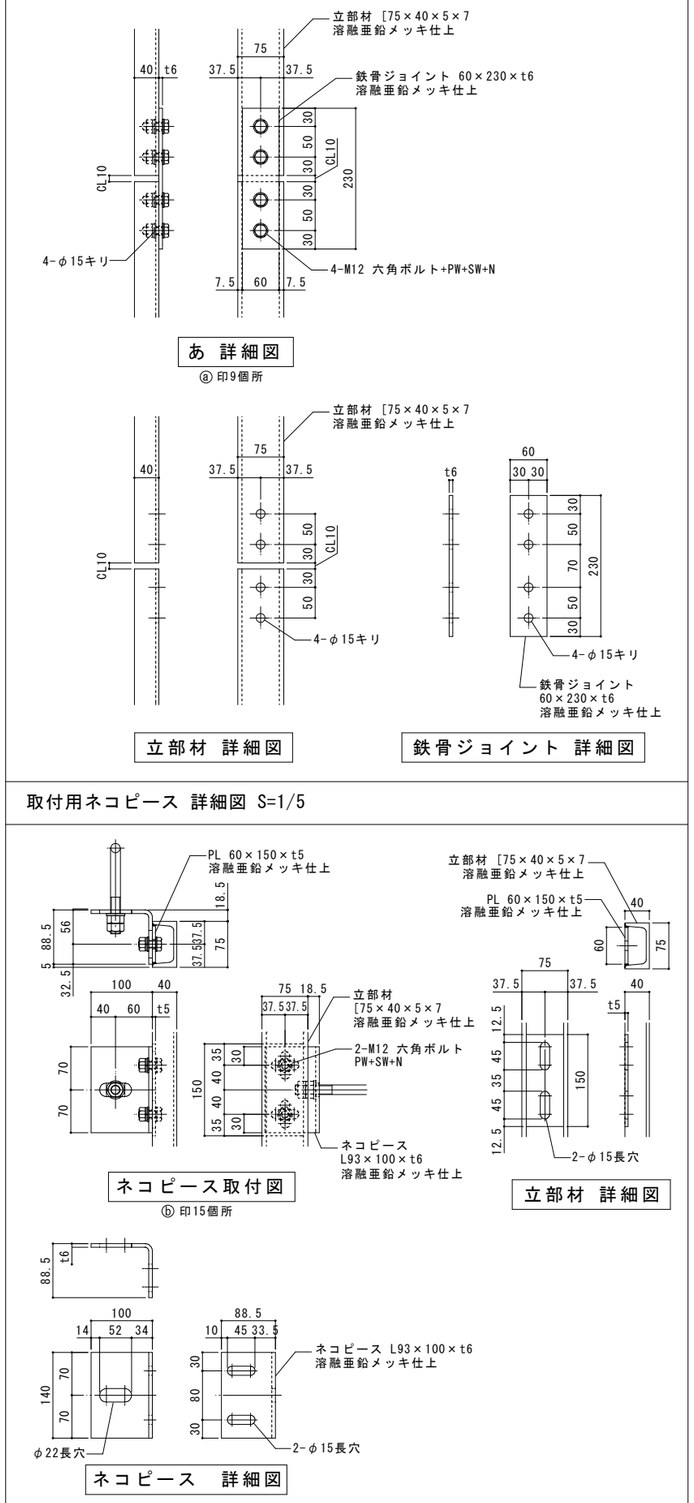
株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号　永野ますみ

B-6緊急脱出降下板下地鉄骨詳細図1

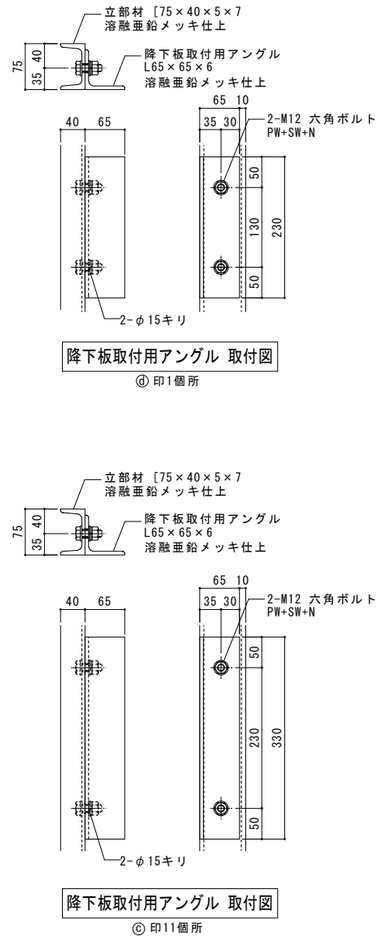
下地鉄骨組立詳細図 S=1/20（工場組立）



あ 詳細図 S=1/5（現場組立）



降下板取付用アングル 詳細図 S=1/5



JOBNO

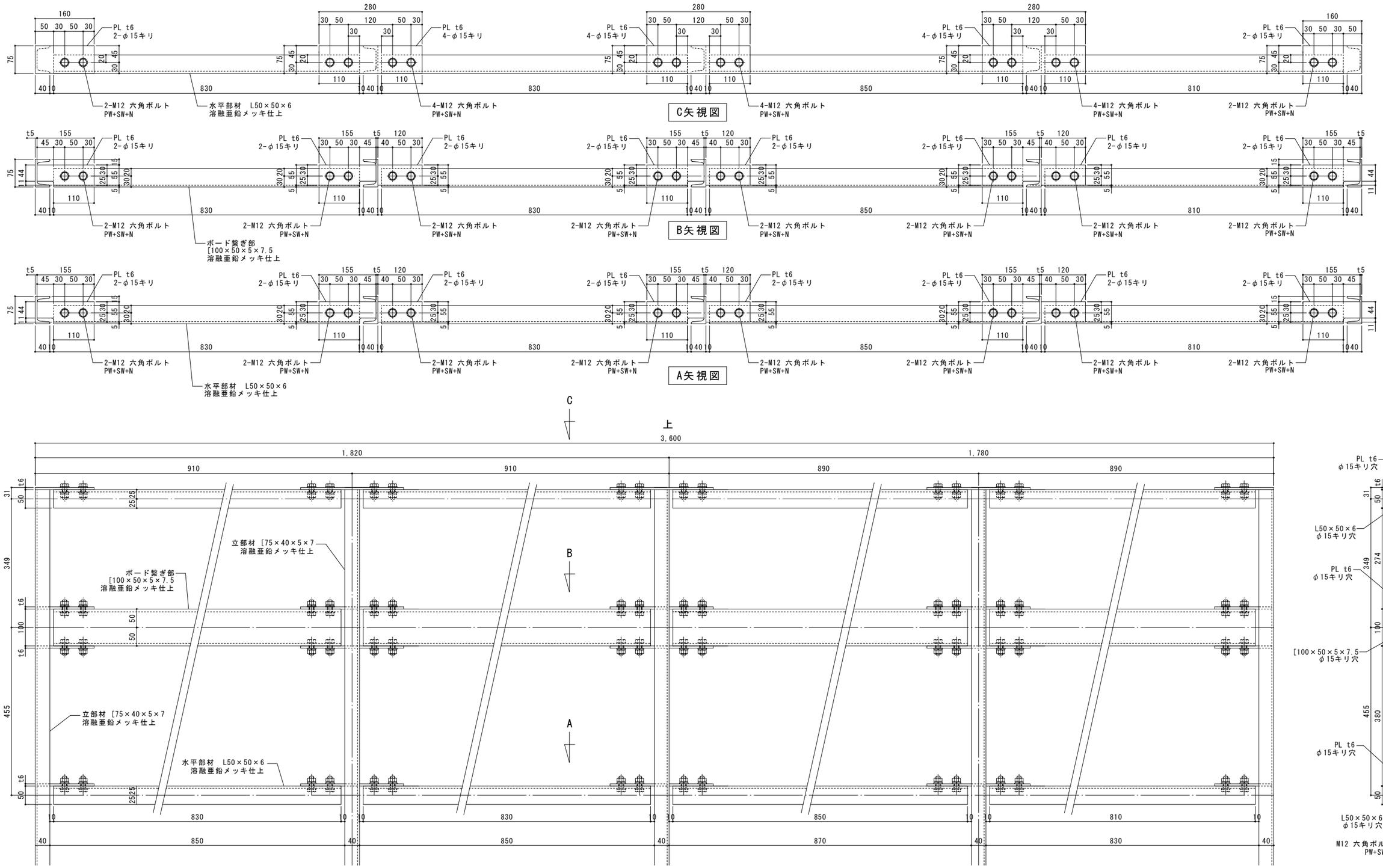
白石消防署庁舎建替工事　副訓練塔1　訓練用金物詳細図(4)　【訓練棟】

DATE　SCAL (A 1) 1/5・10・20 (A 3) 1/10・20・40　DRAWN　CHEK　A-237

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号 永野ますみ

B-6　急脱出降下板下地鉄骨詳細図2

下地鉄骨組立詳細図 S=1/5（工場組立）



下地鉄骨組立詳細図

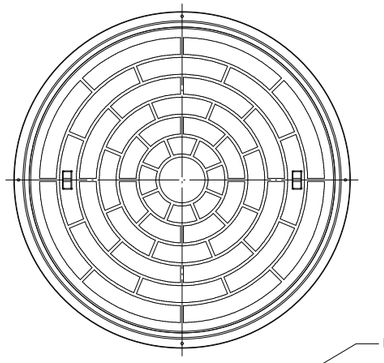
JOBNO

白石消防署庁舎建替工事　副訓練塔1　訓練用金物詳細図(5)　【訓練棟】　A-238

DATE　SCAL (A 1) 1/5 (A 3) 1/10　DRAWN　CHEK

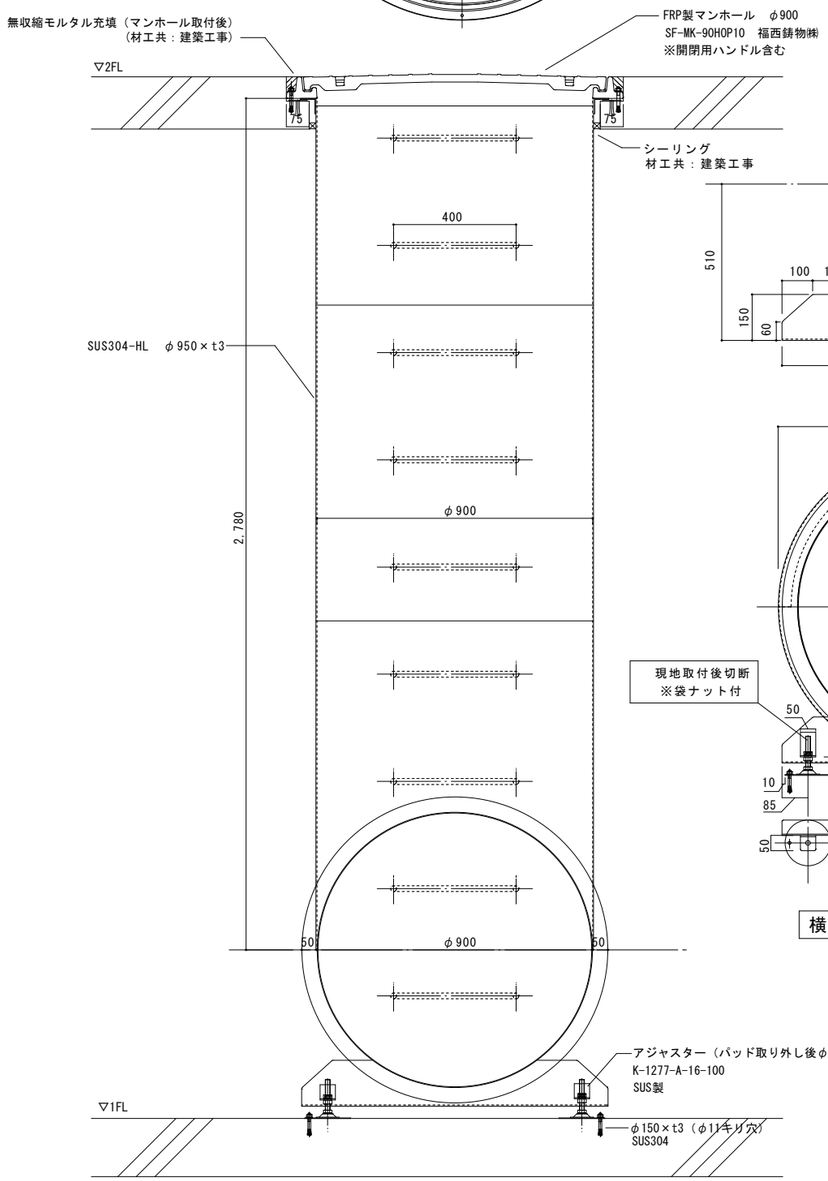
株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号 永野ますみ

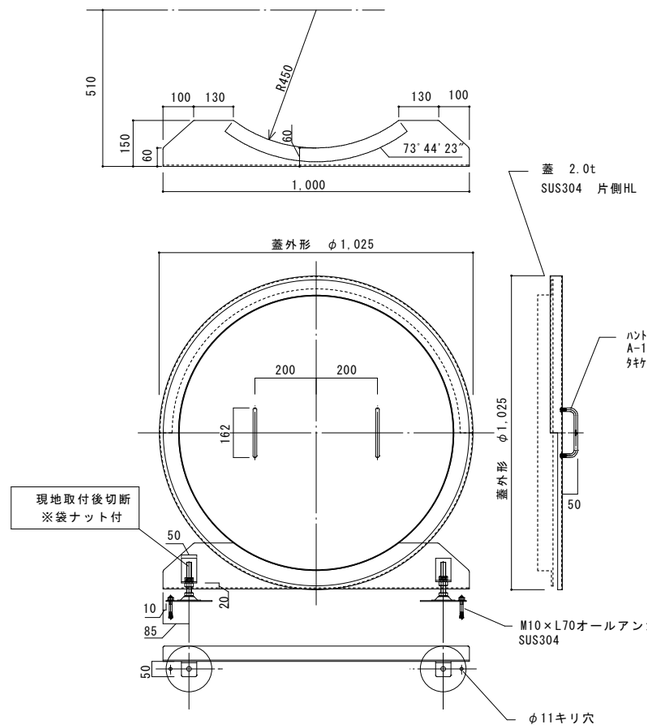
B-13　立坑　S=1/10



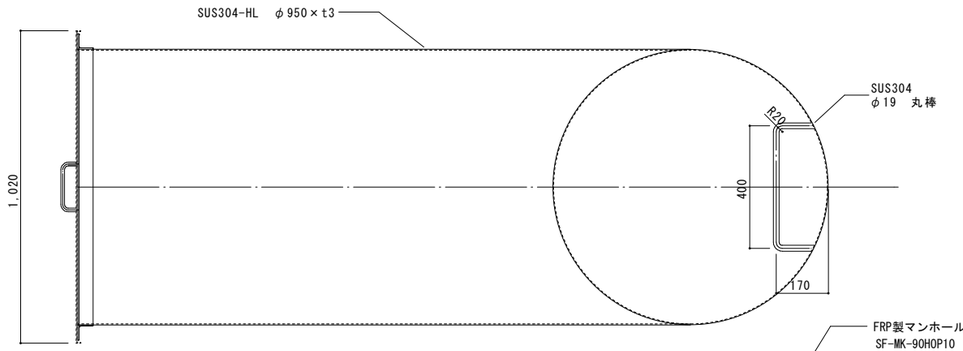
名称	マンホールFRP蓋	
仕様	簡易密閉形（簡易防水・防臭形）	
	有効内径φ900mm	
	蓋：FRP製	
	枠：FRP製	
	標準質量：51.0kg	蓋:36.0kg
		枠:15.0kg
品番	福西鋳物㈱　マンホールFRP蓋 SF－MK－90H0P10型	

マンホール蓋　詳細図

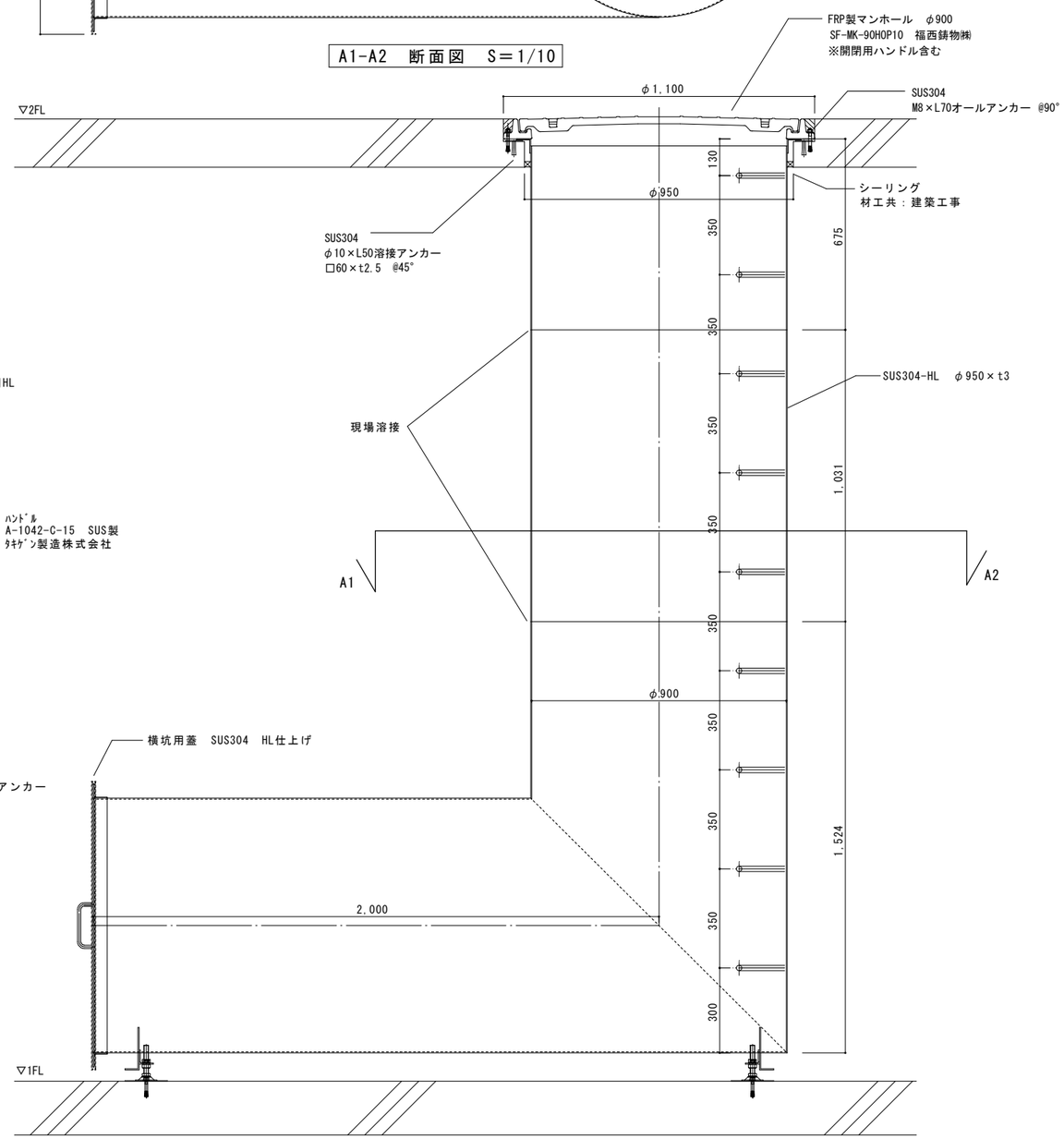




横坑用蓋詳細図　S=1/10



A1-A2　断面図　S＝1/10



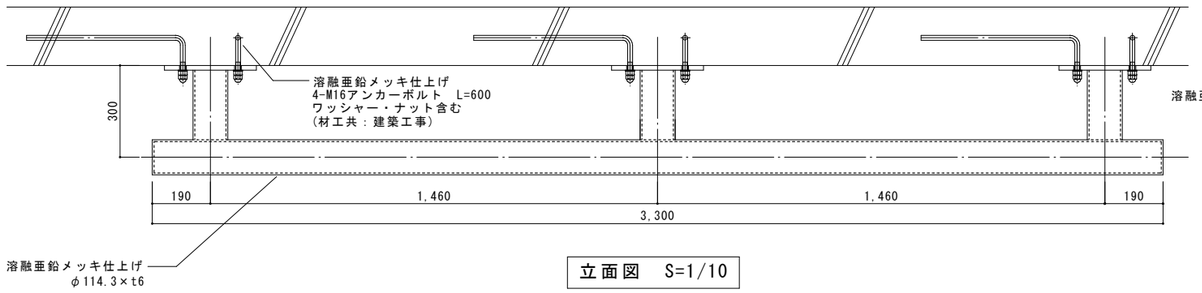
JOBNO

白石消防署庁舎建替工事　　副訓練塔1　訓練用金物詳細図(6)　【訓練棟】

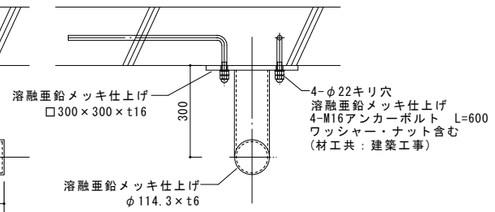
DATE　　SCAL (A 1) 1／10 (A 3) 1／20　　DRAWN　　CHEK　　A-239

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士　第 357230 号　永野ますみ

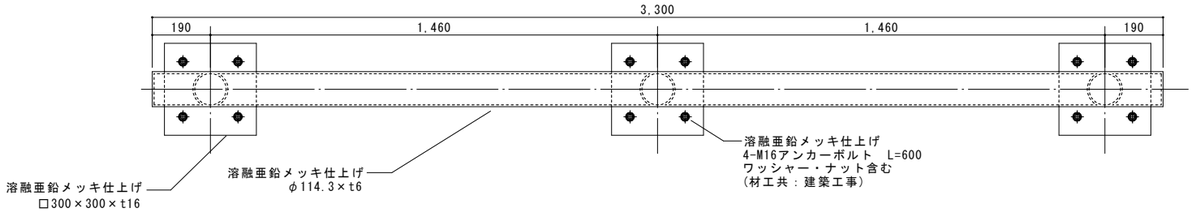
B-10　山岳壁用上部支点　S=1/10



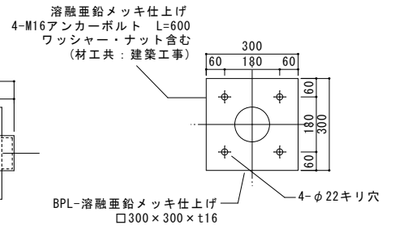
立面図　S=1/10



断面図　S=1/10



平面図　S=1/10

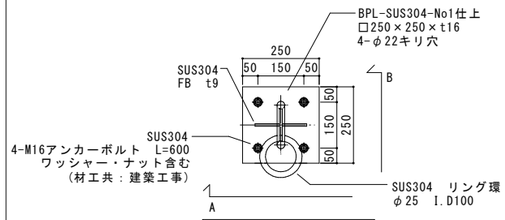


ベースプレート詳細図　S=1/10

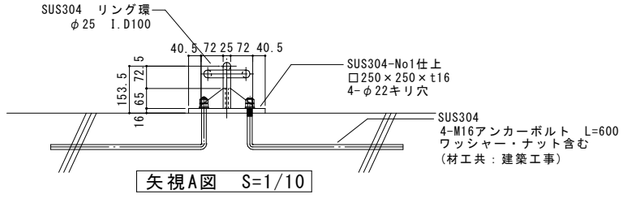
B-12　保護用リング環
B-14　壁面リング環

S=1/10

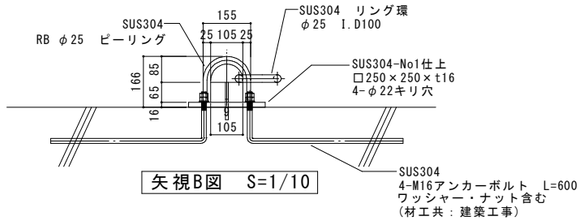
※壁面取付高さはFL+1300
床面・天井面取付位置は平面図による



平面図　S=1/10



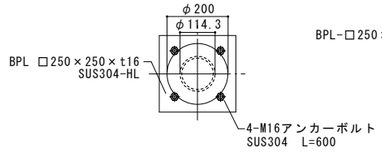
矢視A図　S=1/10



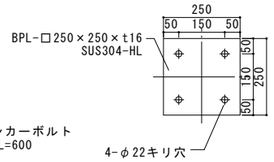
矢視B図　S=1/10

B-11　脱着式立ち木支点　S=1/10

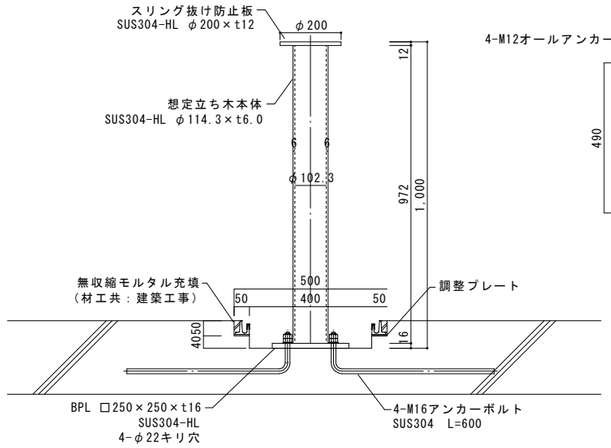
5KN



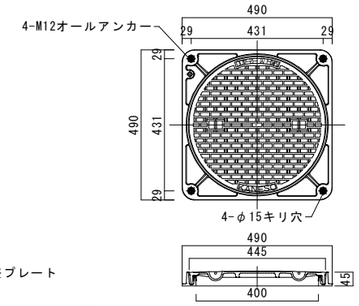
平面図　S=1/10



ベースプレート詳細図　S=1/10



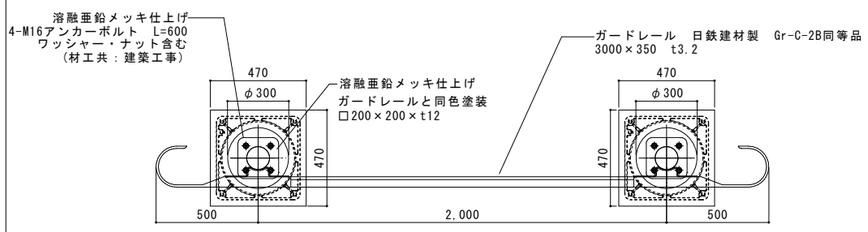
立面図　S=1/10



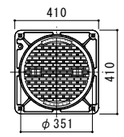
マンホール蓋詳細図　S=1/10

MKHY-2-400(角)-a同等品

B-9　脱着式ガードレール　S=1/15

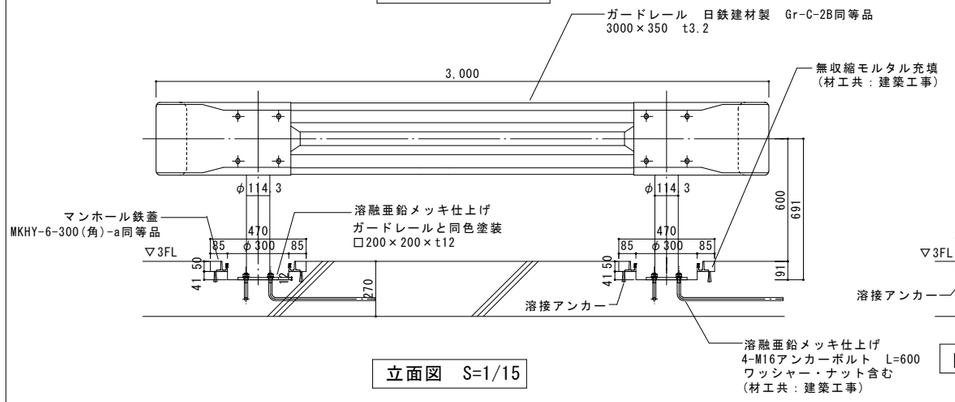


平面図　S=1/15

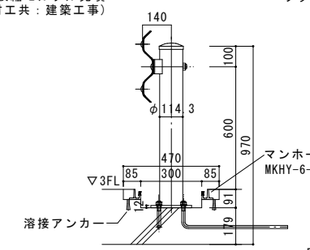


マンホール蓋詳細図　S=1/15

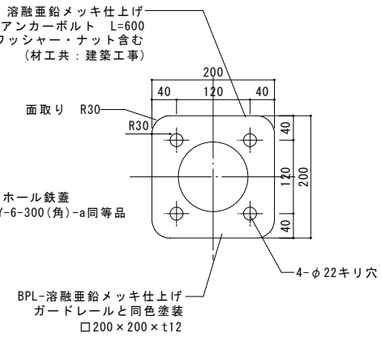
MKHY-6-300(角)-a同等品



立面図　S=1/15



断面図　S=1/15



ベースプレート詳細図　S=1/5

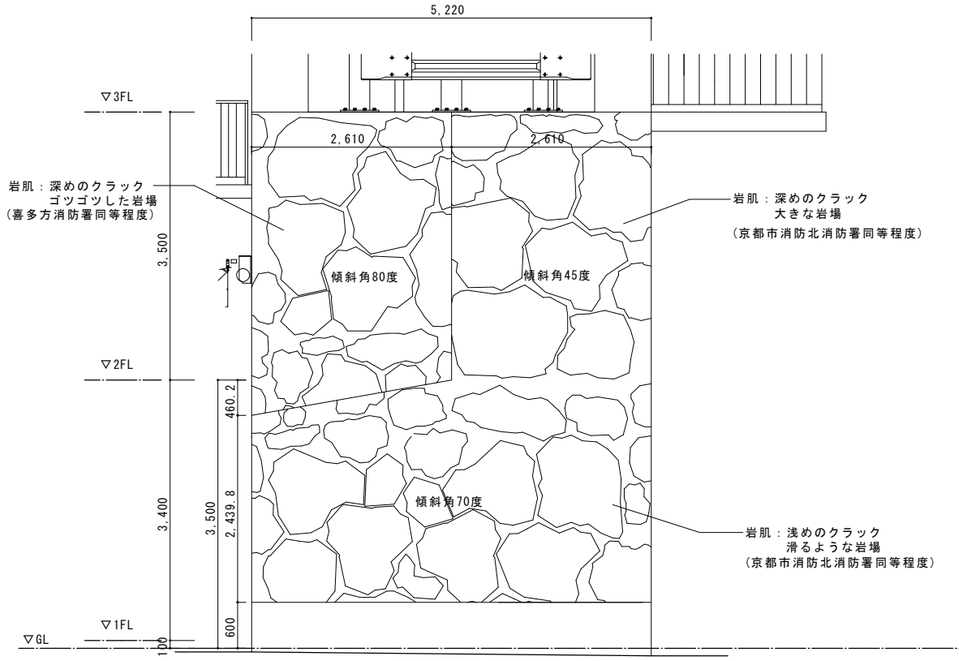
JOBNO

白石消防署庁舎建替工事　副訓練塔1　訓練用金物詳細図(7)　【訓練棟】　A-240

DATE　SCAL (A 1) 1／10・15 (A 3) 1／20・30　DRAWN　CHEK

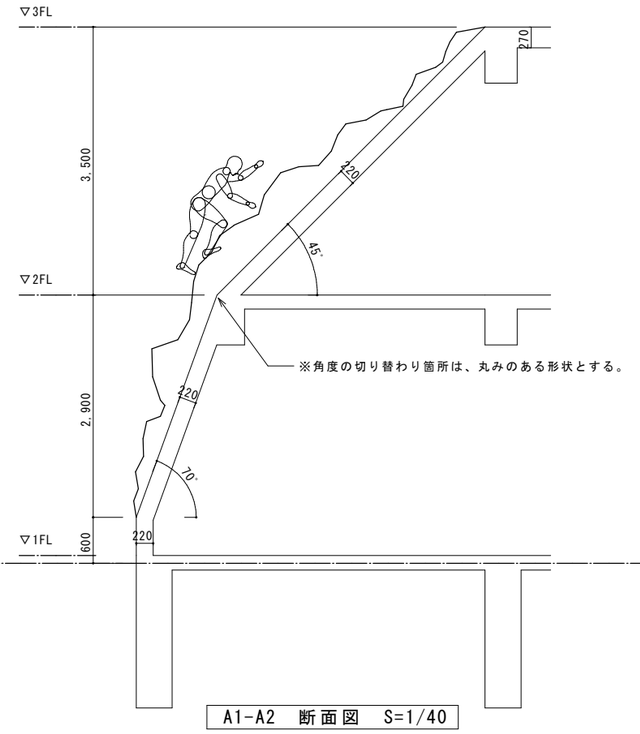
株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士　第 357230 号　永野ますみ

山岳壁　S=1/4・1/40

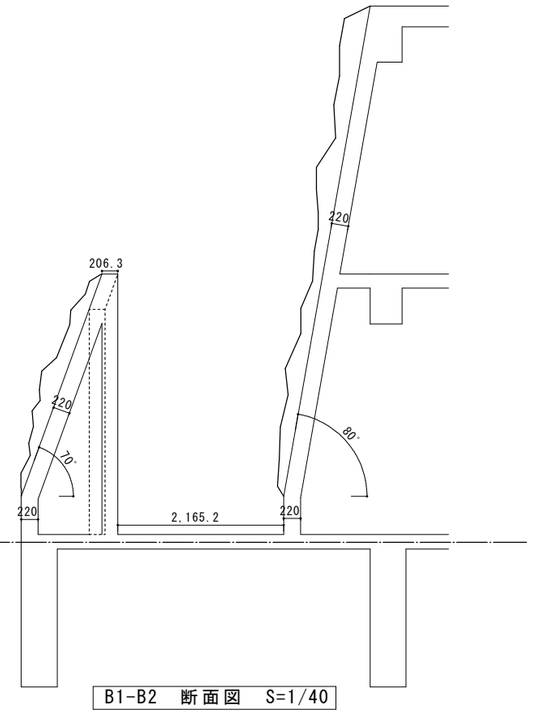


立面図　S=1/40

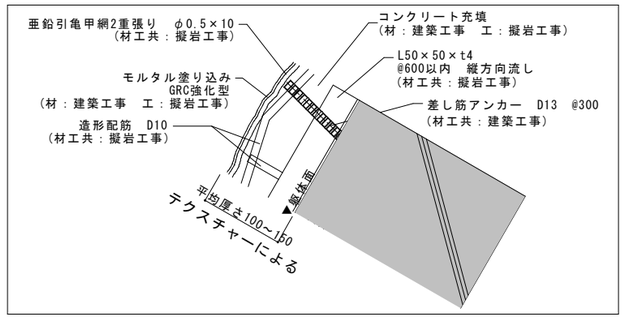
※躯体形状は、富士五湖消防を参考とする。



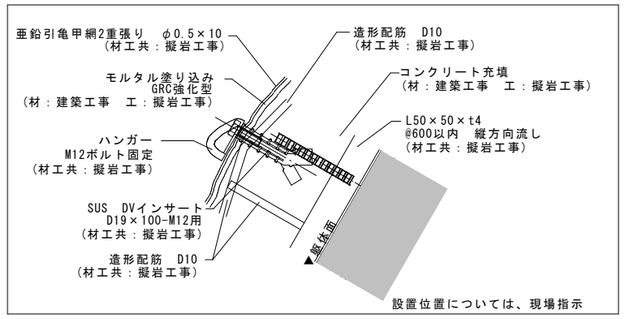
A1-A2　断面図　S=1/40



B1-B2　断面図　S=1/40



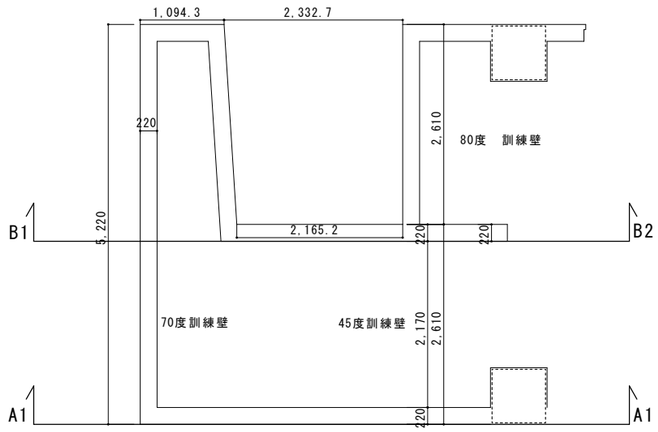
擬岩下地形状 S=1/4



自己確保用ハンガー取り付け要領 S=1/4

【参考写真】喜多方消防署→

↓【参考写真】京都市消防局北消防署



躯体平面図　S=1/40

※躯体形状は、富士五湖消防を参考とする。

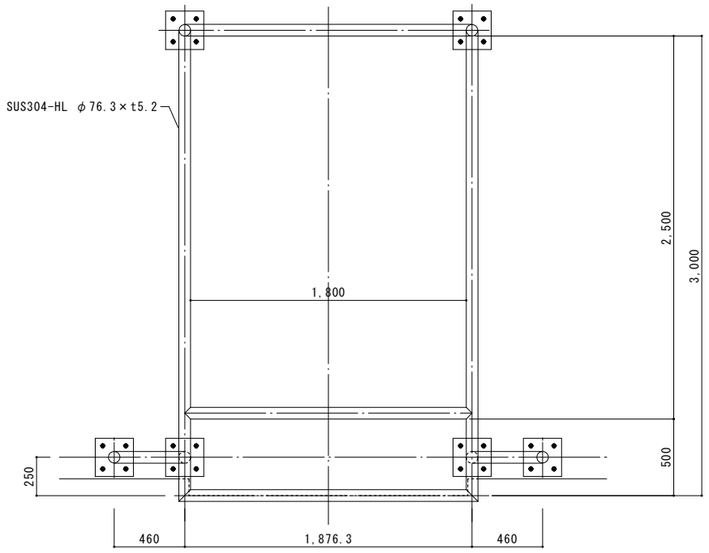
JOBNO

白石消防署庁舎建替工事　【訓練棟】副訓練塔1　山岳壁　詳細図　A-241

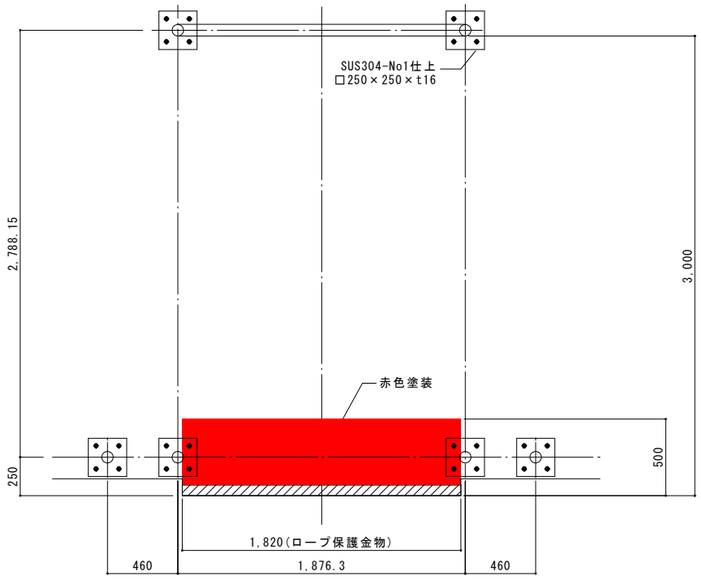
DATE　SCAL (A 1) 1／4・40 (A 3) 1／8・80　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士　第 357230 号　永野ますみ

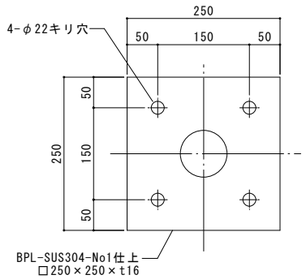
C-1　引揚救助やぐら　S=1/20



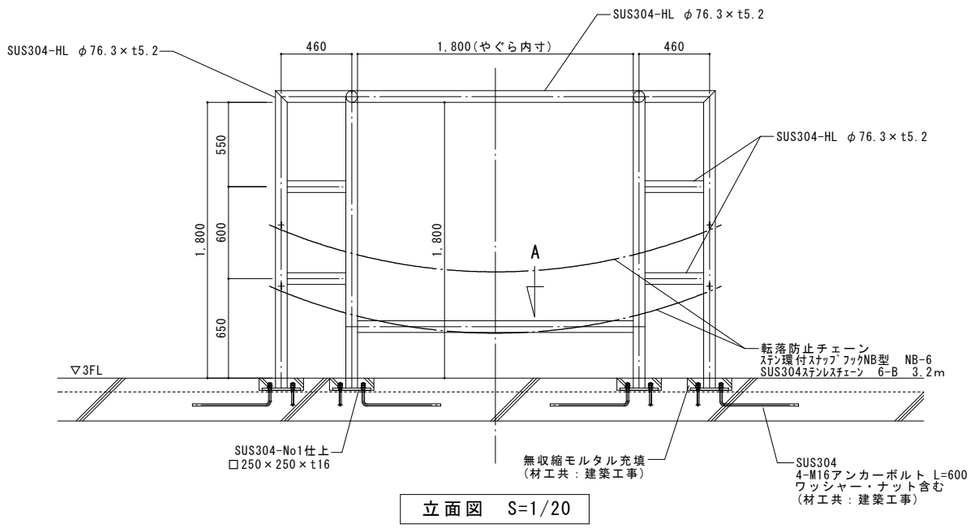
平面図　S=1/20



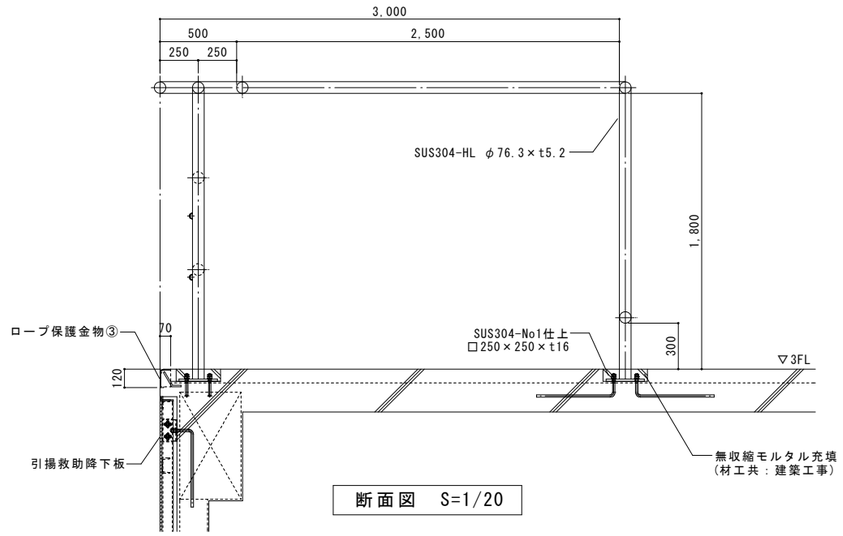
A矢視　S=1/20



ベースプレート詳細図　S=1/5

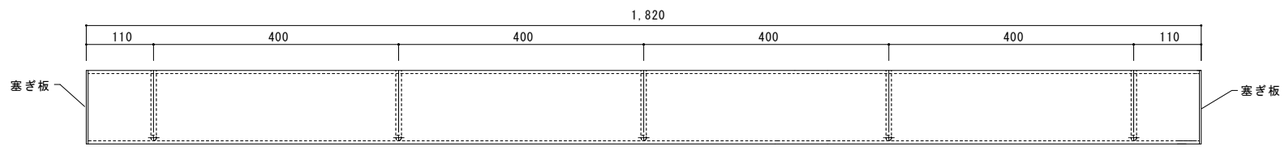


立面図　S=1/20

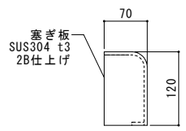


断面図　S=1/20

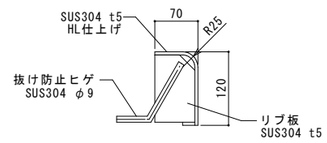
C-2　ロープ保護金物　S=1/5



ロープ保護金物 詳細図 S=1/5



端部詳細図　S=1/5



断面図　S=1/5

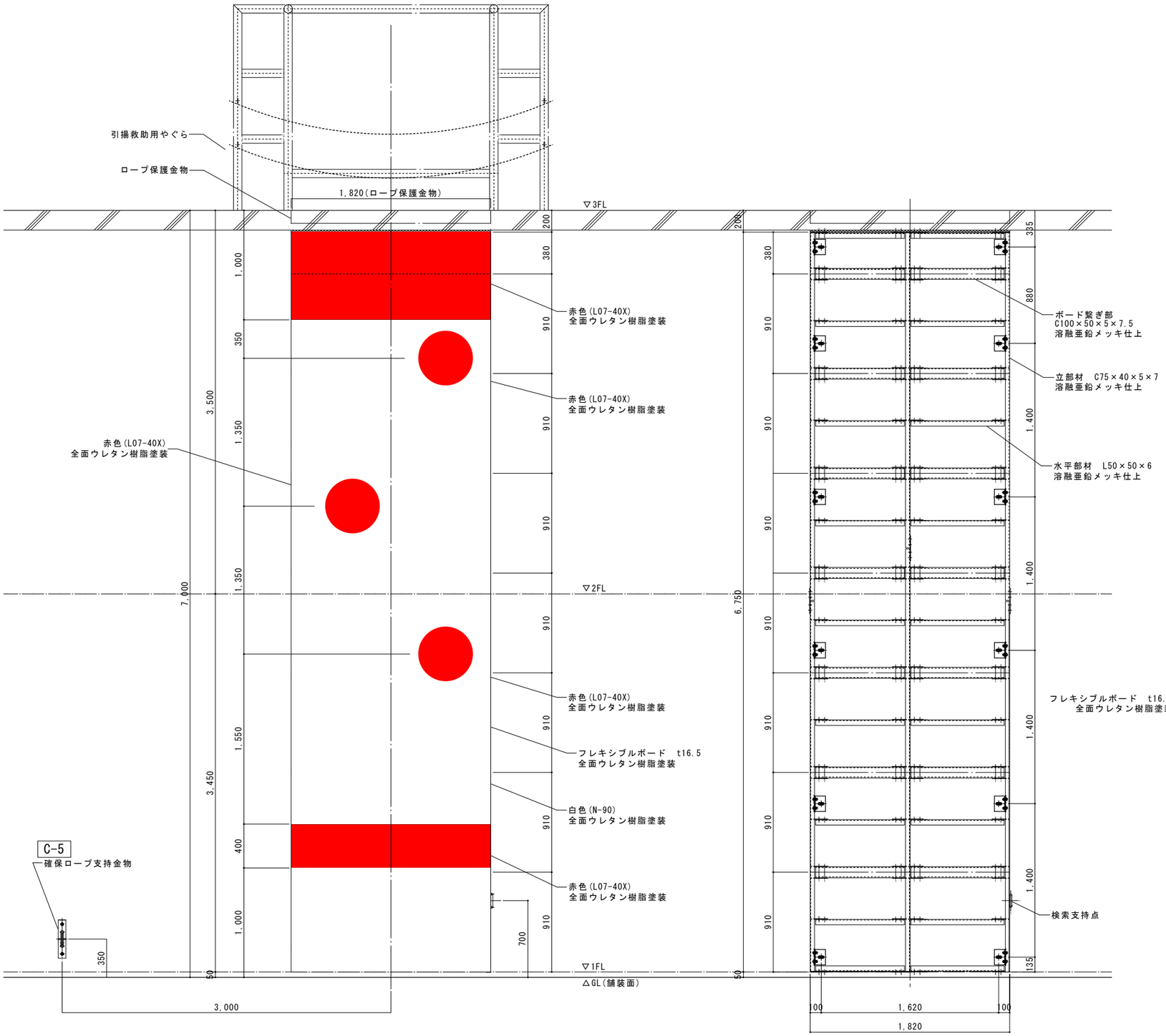
JOBNO

白石消防署庁舎建替工事　【訓練棟】副訓練塔2　訓練用金物詳細図(1)　A-242

DATE　SCAL (A 1) 1／5・20 (A 3) 1／10・40　DRAWN　CHEK

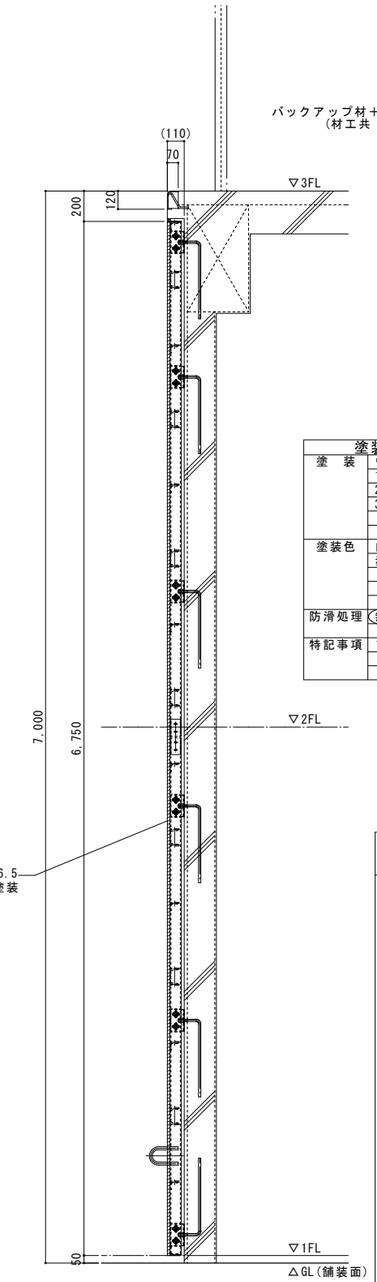
株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号　永野ますみ

C-3　引揚救助降下板　詳細図　S=1/10・1/20

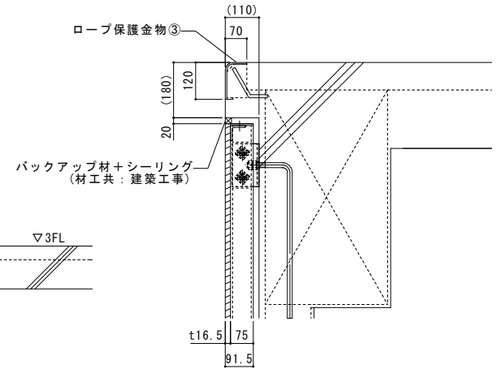


引揚救助降下板詳細図　S=1/20

下地鉄骨詳細図　S=1/20



断面図　S=1/20

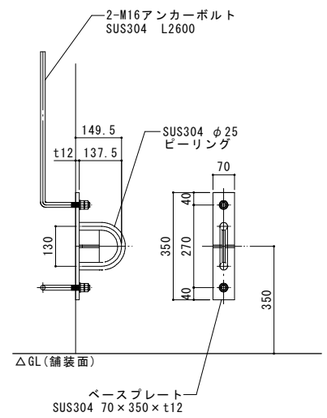


スラブ取合部　S=1/10

塗装特記仕様書（ウレタン樹脂系塗床材）		
塗　装	ウレタン樹脂系塗床材：アーキフロアーＵＴ(エスケー化研)	
	1.下地処理　　清掃・研磨・パテ打ち	
	2.下塗り（１回）　ミラクシーラーEPOを塗布	
	3.上塗り（２回）　ウレタン樹脂系塗床材を塗布	
塗装色	白(N-90)	塗装範囲は図面参照
	赤(L07-40X)	塗装範囲は図面参照
防滑処理	(無し)・6号珪砂	
特記事項	フレキシブルボード貼付後に塗装を行うこと	

C-5　確保ロープ支持金物　S=1/20

数量　訓練塔2：1



確保ロープ支持金物 詳細図 S=1/10

JOBNO

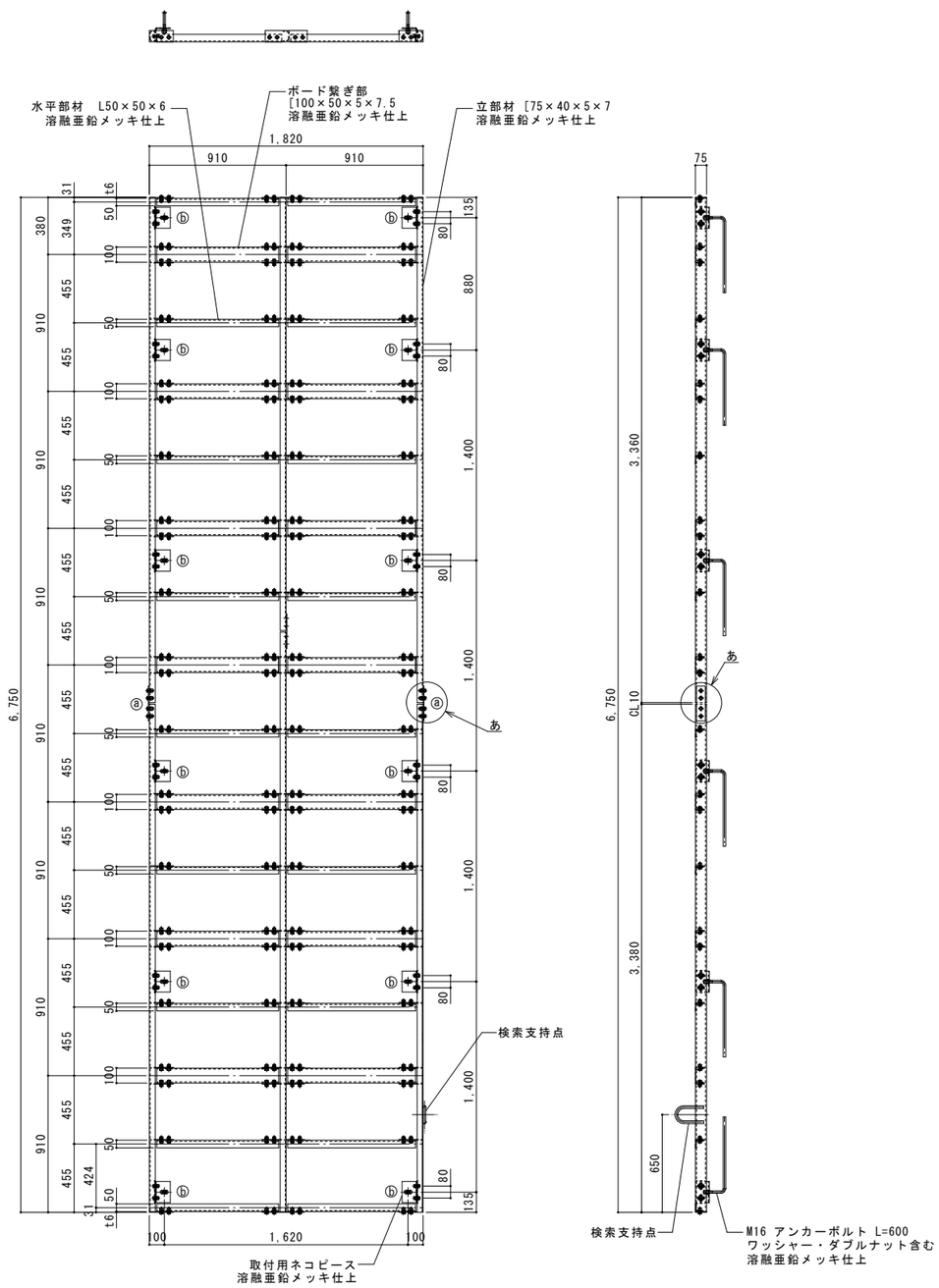
白石消防署庁舎建替工事　　副訓練塔2　訓練用金物詳細図(2)　【訓練棟】

DATE　SCAL (A 1) 1／10・20 (A 3) 1／20・40　DRAWN　CHEK　A-243

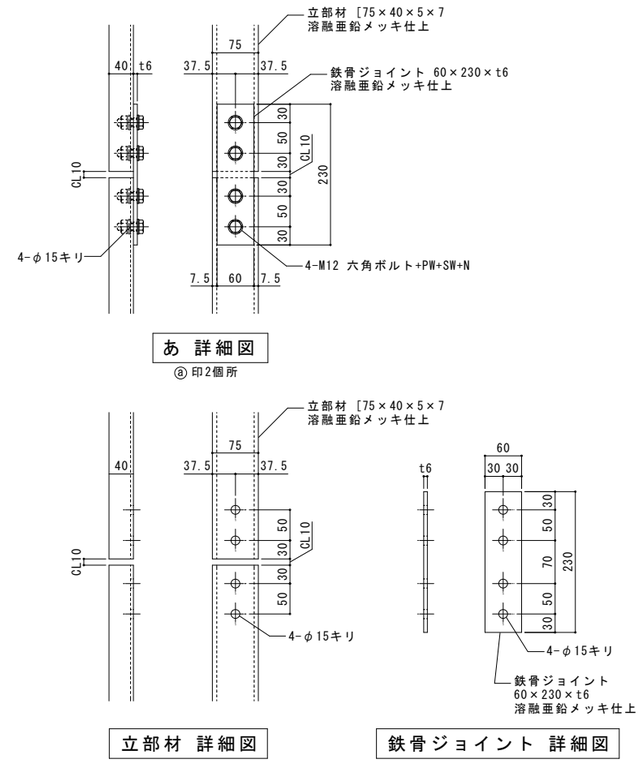
株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士　第 357230 号　永野ますみ

C-3　引揚救助降下板下地鉄骨詳細図

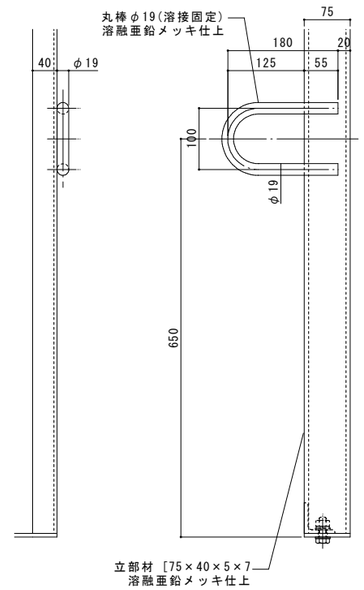
下地鉄骨組立詳細図 S=1/20（工場組立）



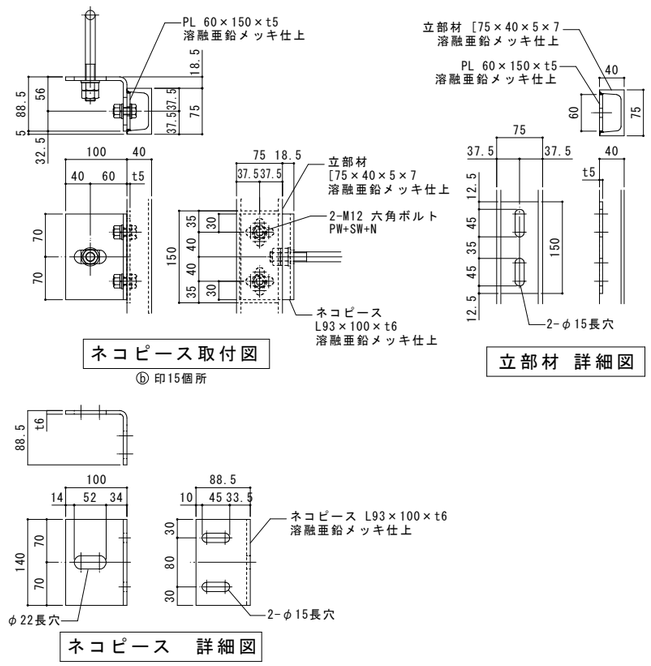
あ 詳細図 S=1/5（現場組立）



検索支持点 詳細図 S=1/5



取付用ネコピース 詳細図 S=1/5



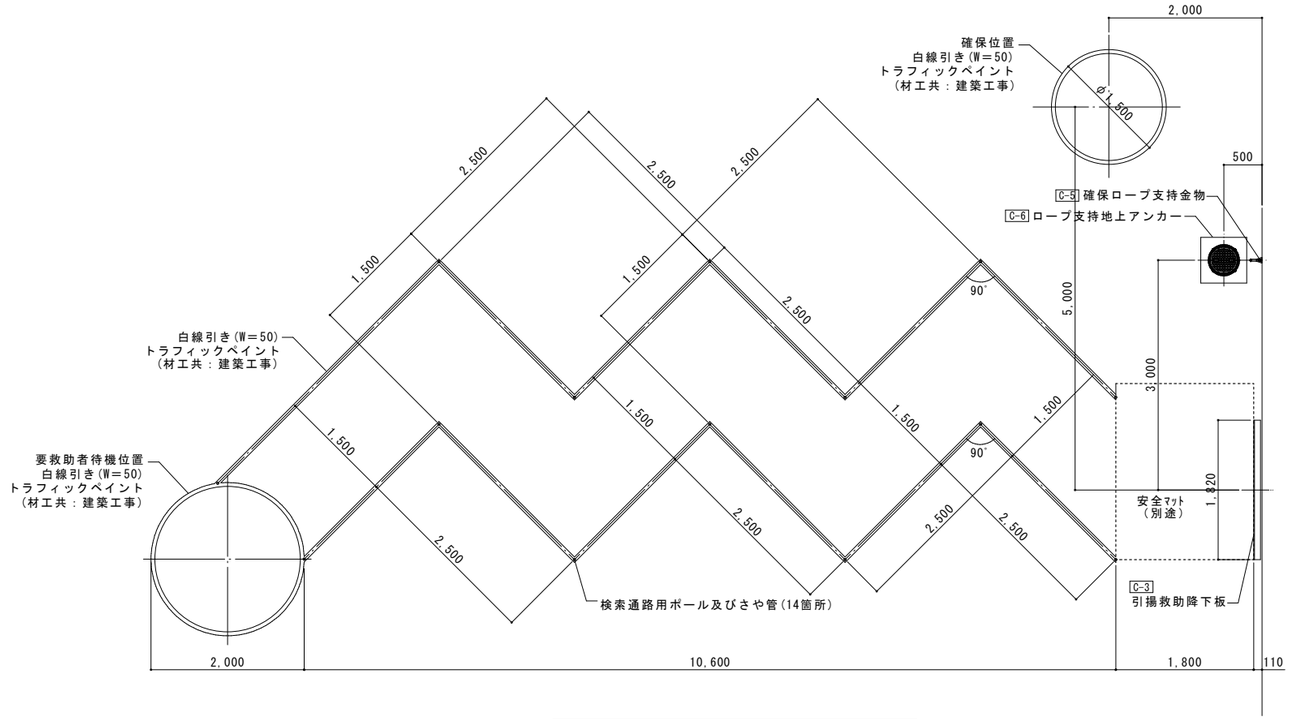
JOBNO

白石消防署庁舎建替工事　副訓練塔2　訓練用金物詳細図(3)　【訓練棟】　A-244

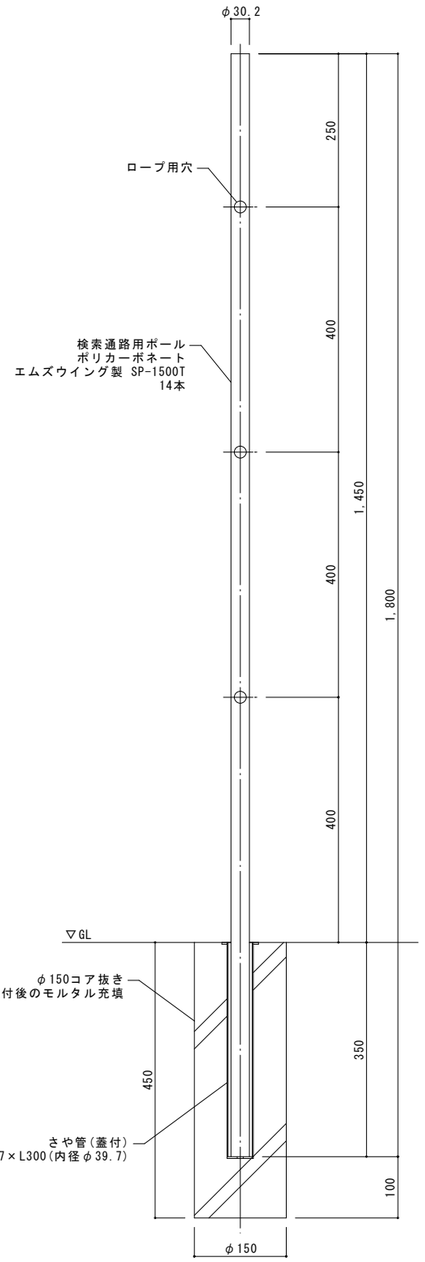
DATE　SCAL (A 1) 1/5・10・20 (A 3) 1/10・20・40　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号　永野ますみ

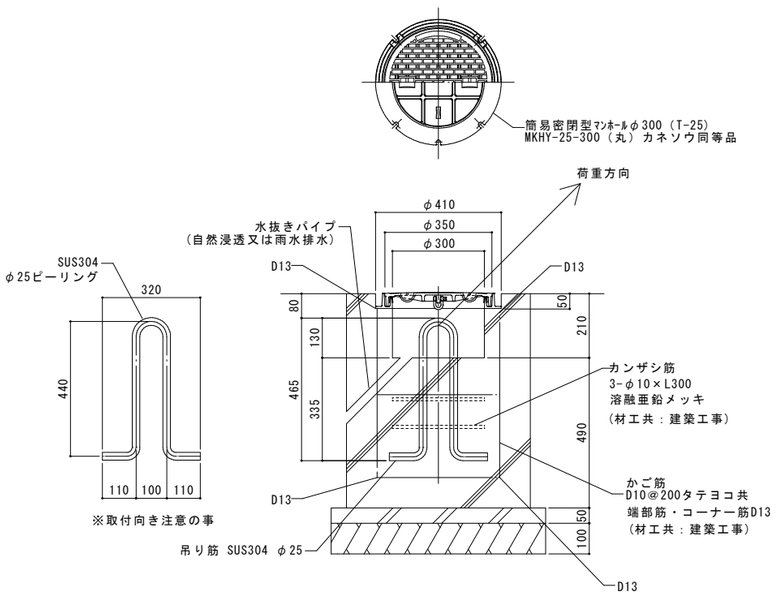
C-4　検索通路用ポール・さや管　S=1/5・1/10・1/40　　14箇所



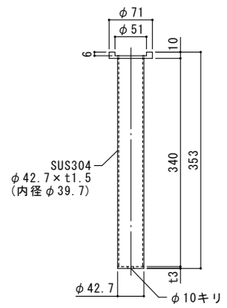
引揚救助訓練　地上配置図　S=1/40



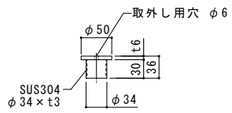
C-6　ロープ支持地上アンカー　金物詳細図　S=1/10



ロープ支持地上アンカーおよび基礎詳細図　1/10



さや管詳細図　S=1/5



落とし蓋詳細図　1/5

ポール及び金物納まり図　1/5

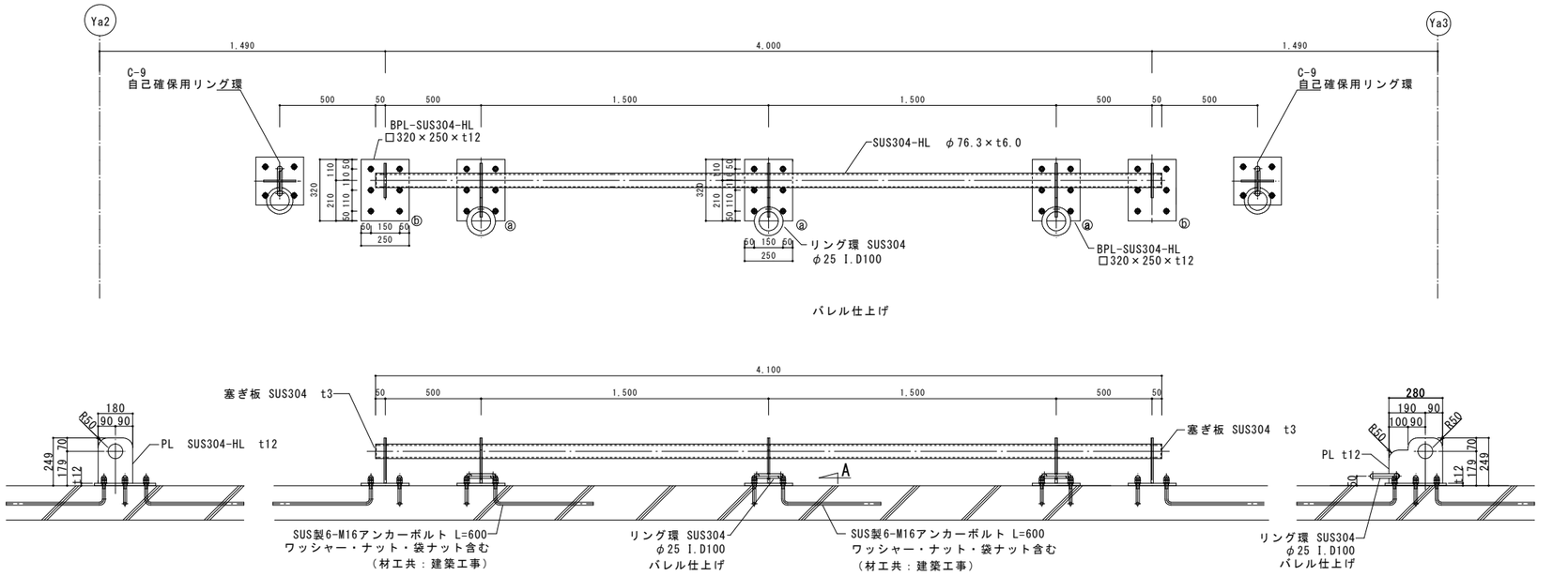
JOBNO

白石消防署庁舎建替工事　　副訓練塔2　訓練用金物詳細図(4)　【訓練棟】

DATE　SCAL (A 1) 1/5・10・40 (A 3) 1/10・20・80　DRAWN　CHEK　A-245

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号　永野ますみ

C-7　ロープブリッジ救助兼ロープ渡過支持金物　詳細図　S=1/15



B矢視 詳細図 S=1/15

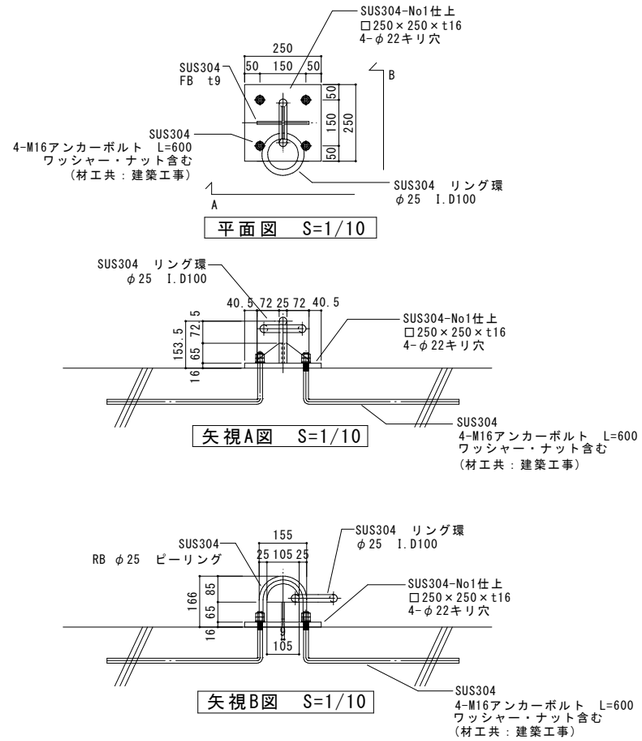
ⓑ印2ヶ所

立面図　S=1/15

A矢視 詳細図 S=1/15

ⓐ印3ヶ所

C-9　自己確保用リング環　S=1/10

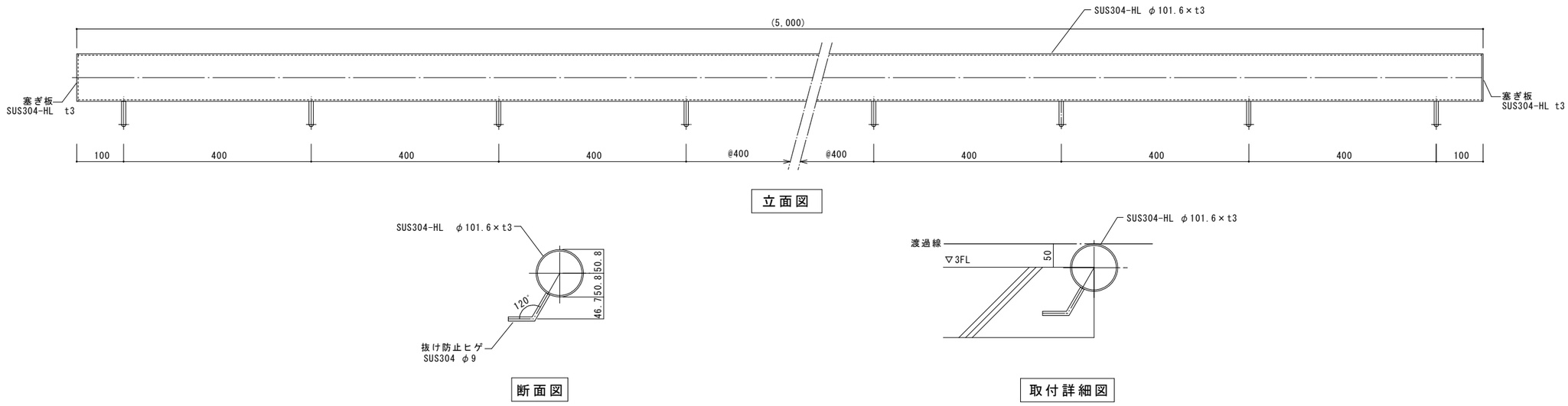


平面図　S=1/10

矢視A図　S=1/10

矢視B図　S=1/10

C-8　ロープ擦れ防止金物　詳細図　S=1/5



立面図

断面図

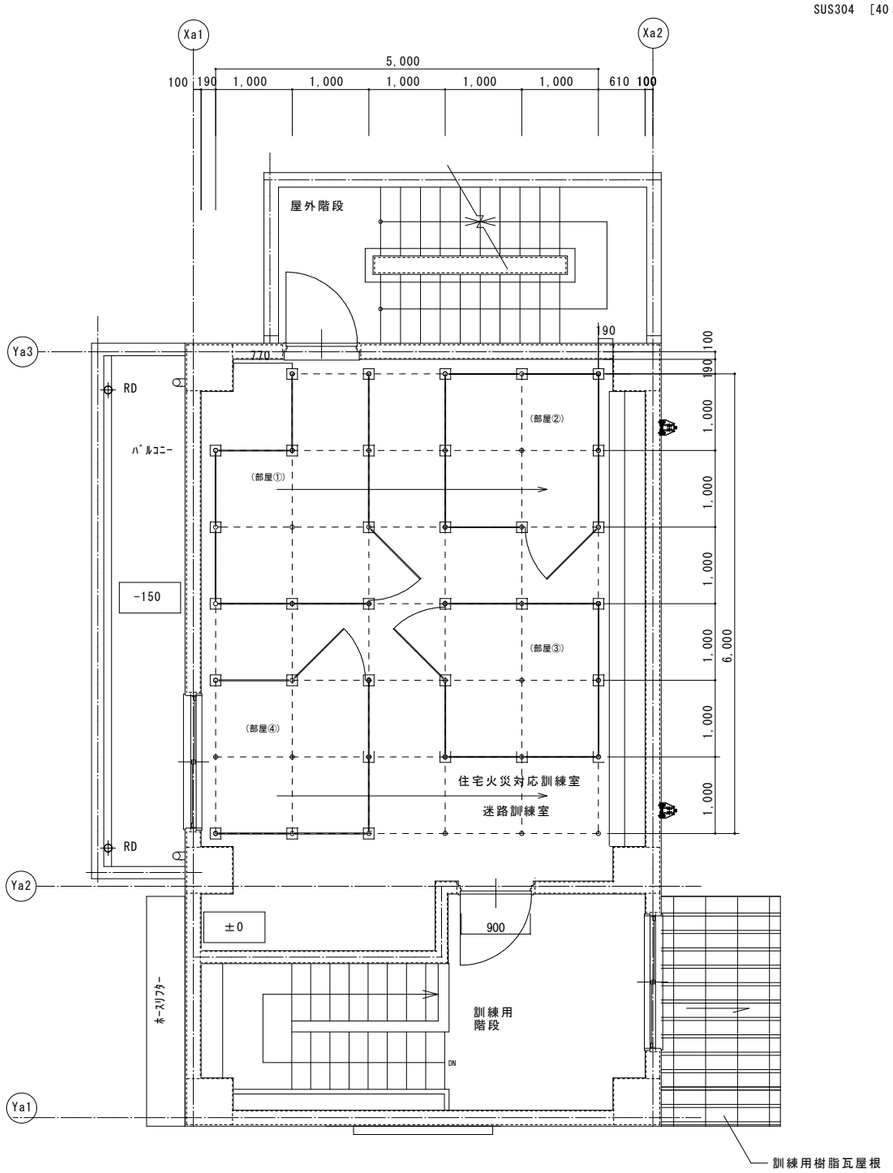
取付詳細図

JOBNO

白石消防署庁舎建替工事　副訓練塔2　訓練用金物詳細図(5)　【訓練棟】

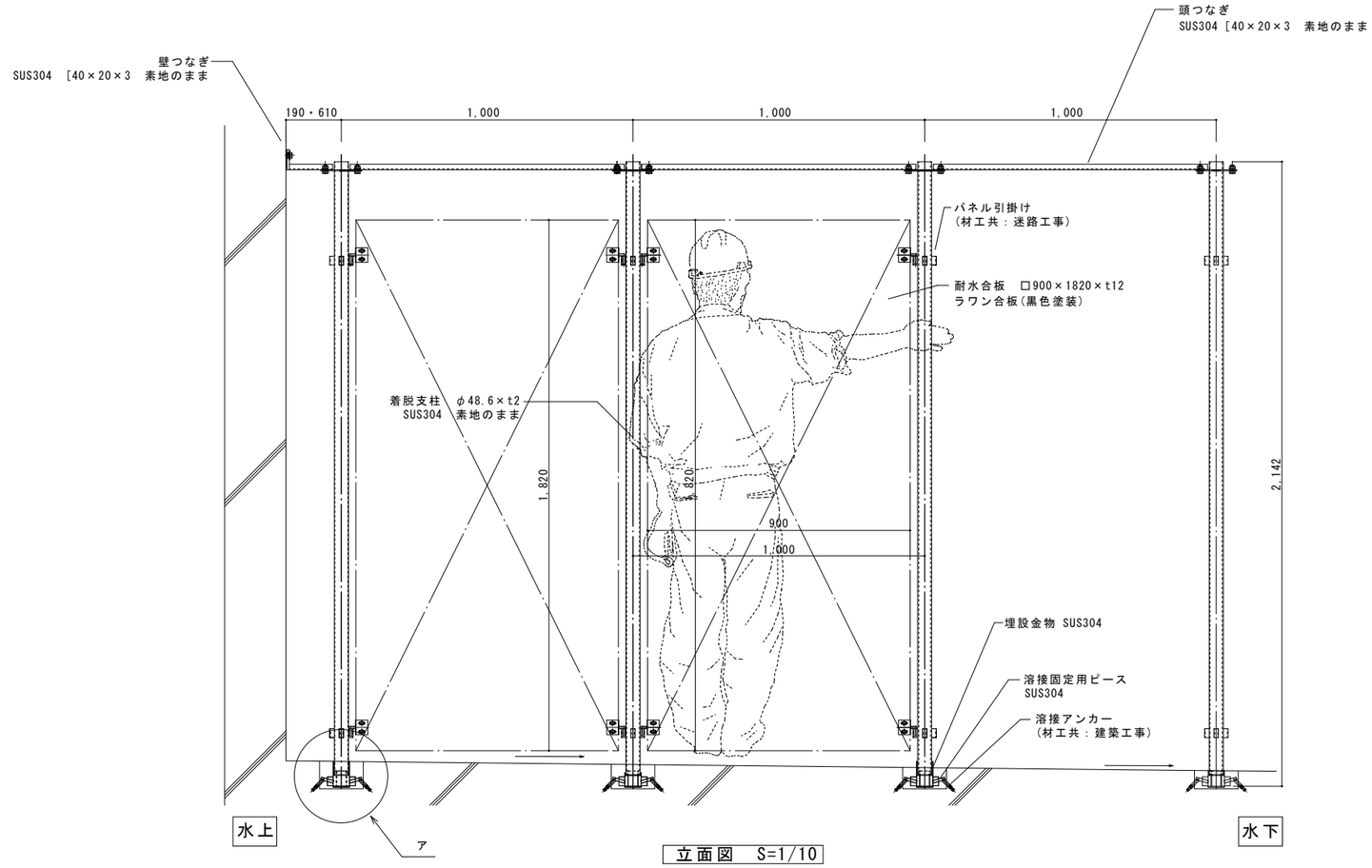
DATE　SCAL (A 1) 1／5・10 (A 3) 1／10・20　DRAWN　CHEK　A-246

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士　第 357230 号　永野ますみ

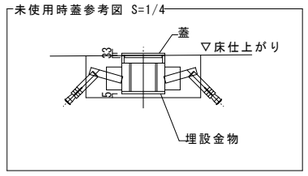


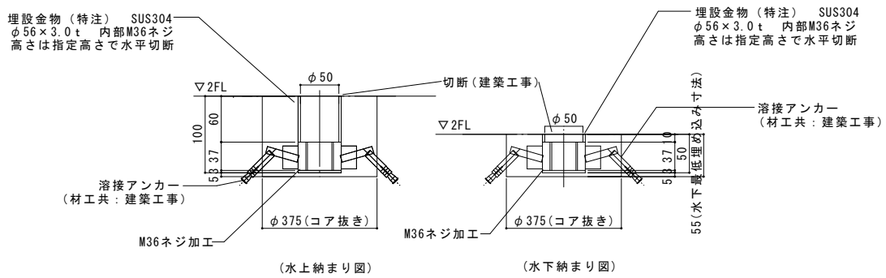
埋設金物配置図　S=1/40

※本図の場合、ﾊﾟﾈﾙ27枚・ﾄﾞｱﾊﾟﾈﾙ4枚、着脱柱33本、使用埋設金物41個



立面図　S=1/10

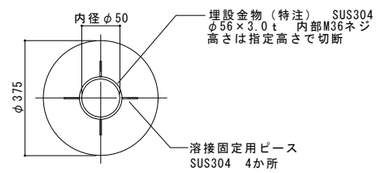




1.着脱パネル	H=1820*W900*t12　ラワン合板黒色塗装 支柱引掛け金物	40枚
2.ドアパネル	H=1820*W900*t12　ラワン合板黒色塗装 支柱引掛け金物、レバーハンドル	5枚
3.壁つなぎA	SUS304素地仕上、40*20*3　M10固定	4本
4.壁つなぎB	SUS304素地仕上、40*20*3　M10固定	10本
5.頭つなぎ	SUS304素地仕上、40*20*3　M10固定	71本
6.着脱支柱	SUS304　φ48.6素地	41本
7.埋設金物	SUS304　φ56*t3.0	41本

ア　埋設金物詳細図　S=1/4　数量：41個

※取付時は管底レベルを全て合わせる事



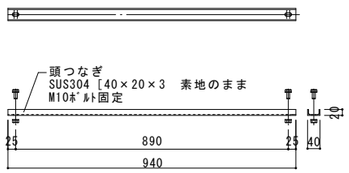
(平面図)

JOBNO

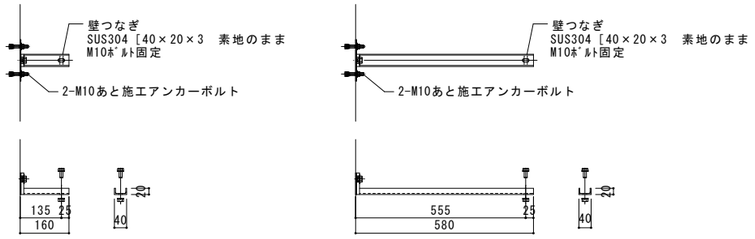
白石消防署庁舎建替工事　副訓練塔2　迷路訓練詳細図(1)　【訓練棟】

DATE　SCAL (A1) 1／4・10・40 (A3) 1／8・20・80　DRAWN　CHEK　A-247

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士　第 357230 号　永野ますみ

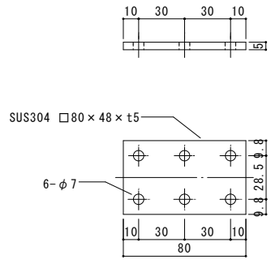


頭つなぎ詳細図　S=1/10　数量：78本

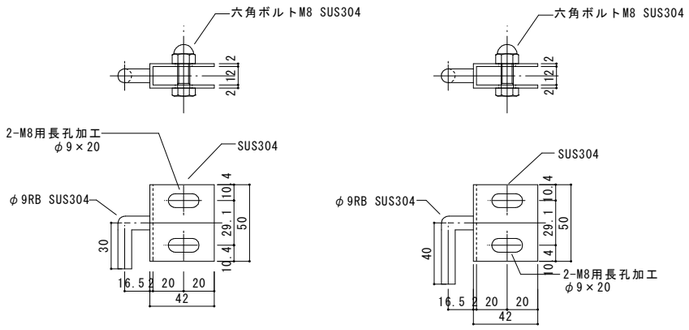


(A:190用)　(B:610用)

壁つなぎ詳細図　S=1/10　数量：(A)10本　(B)7本

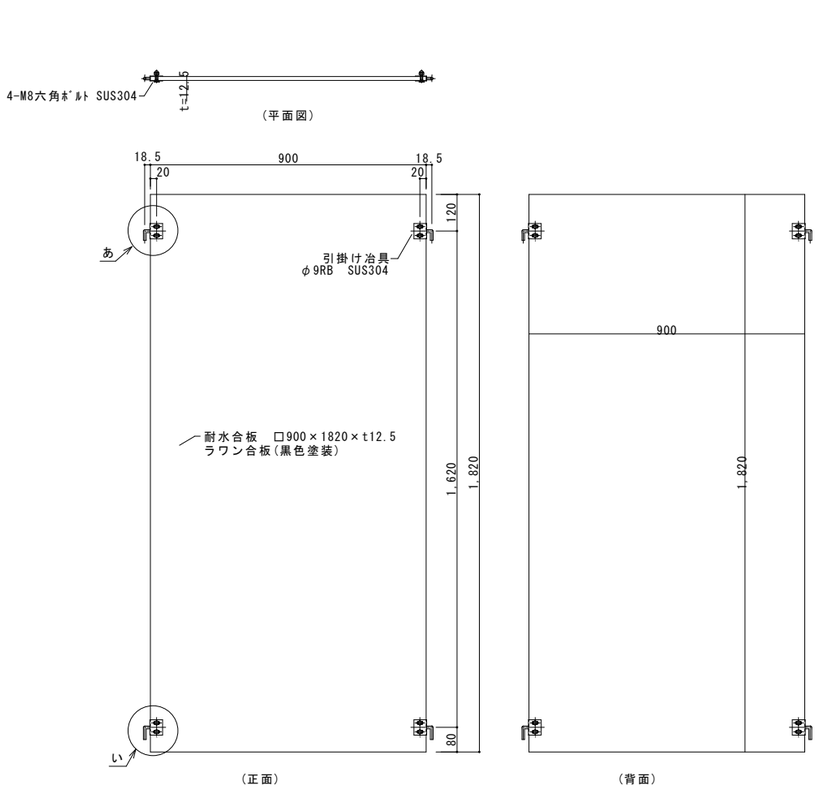


ｽﾄｯﾊﾟｰ座板詳細図　S=1/2

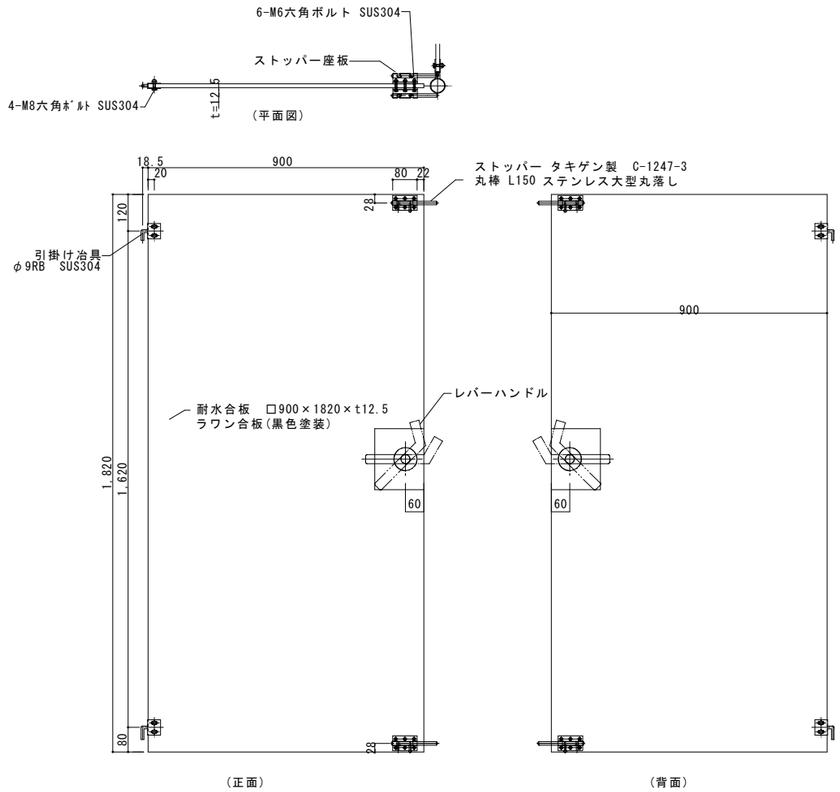


(あ　上段)　(い　下段)

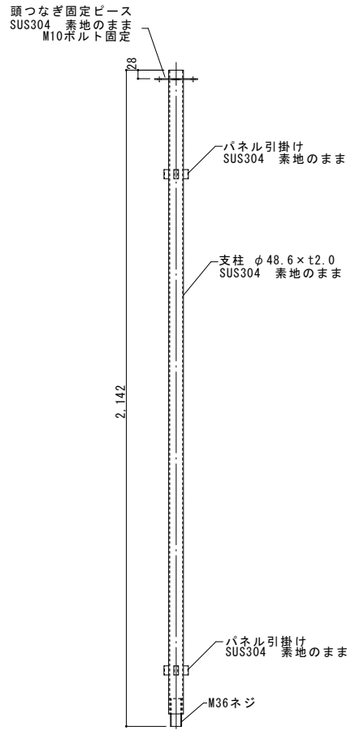
引っ掛け冶具詳細図　S=1/2



パネル詳細図　S=1/10　数量：78枚



ドアパネル詳細図　S=1/10　数量：10枚



着脱支柱詳細図　S=1/10　数量：46本

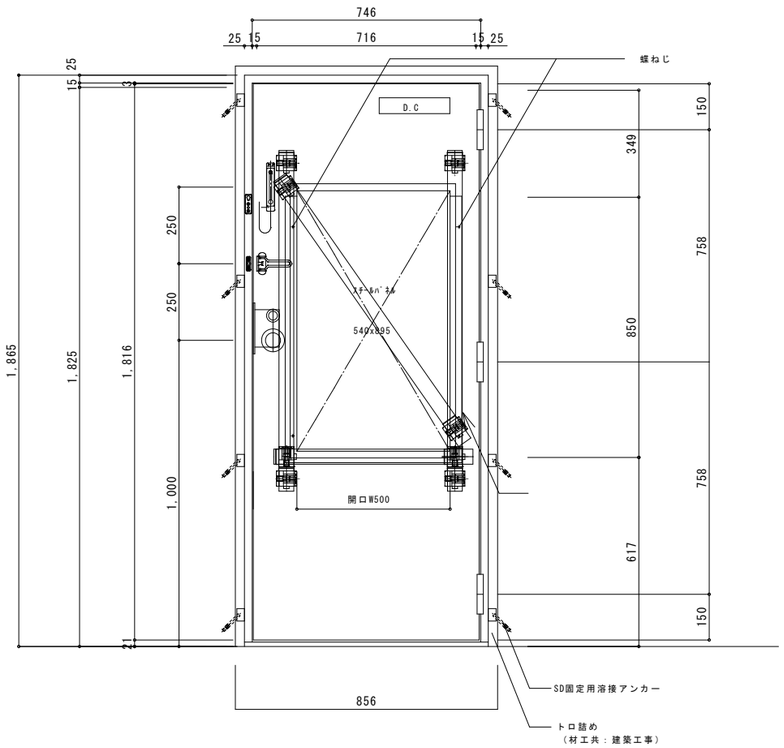
JOBNO

白石消防署庁舎建替工事　【訓練棟】副訓練塔2　迷路訓練詳細図(2)

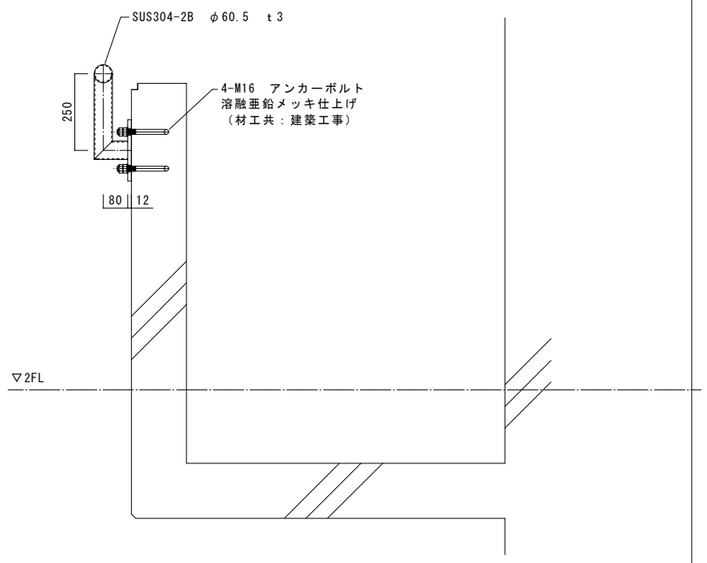
DATE　SCAL (A 1) 1／2・10 (A 3) 1／4・20　DRAWN　CHEK　A-248

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士　第 357230 号　永野ますみ

C-11　切断訓練用SD詳細図　S=1/10

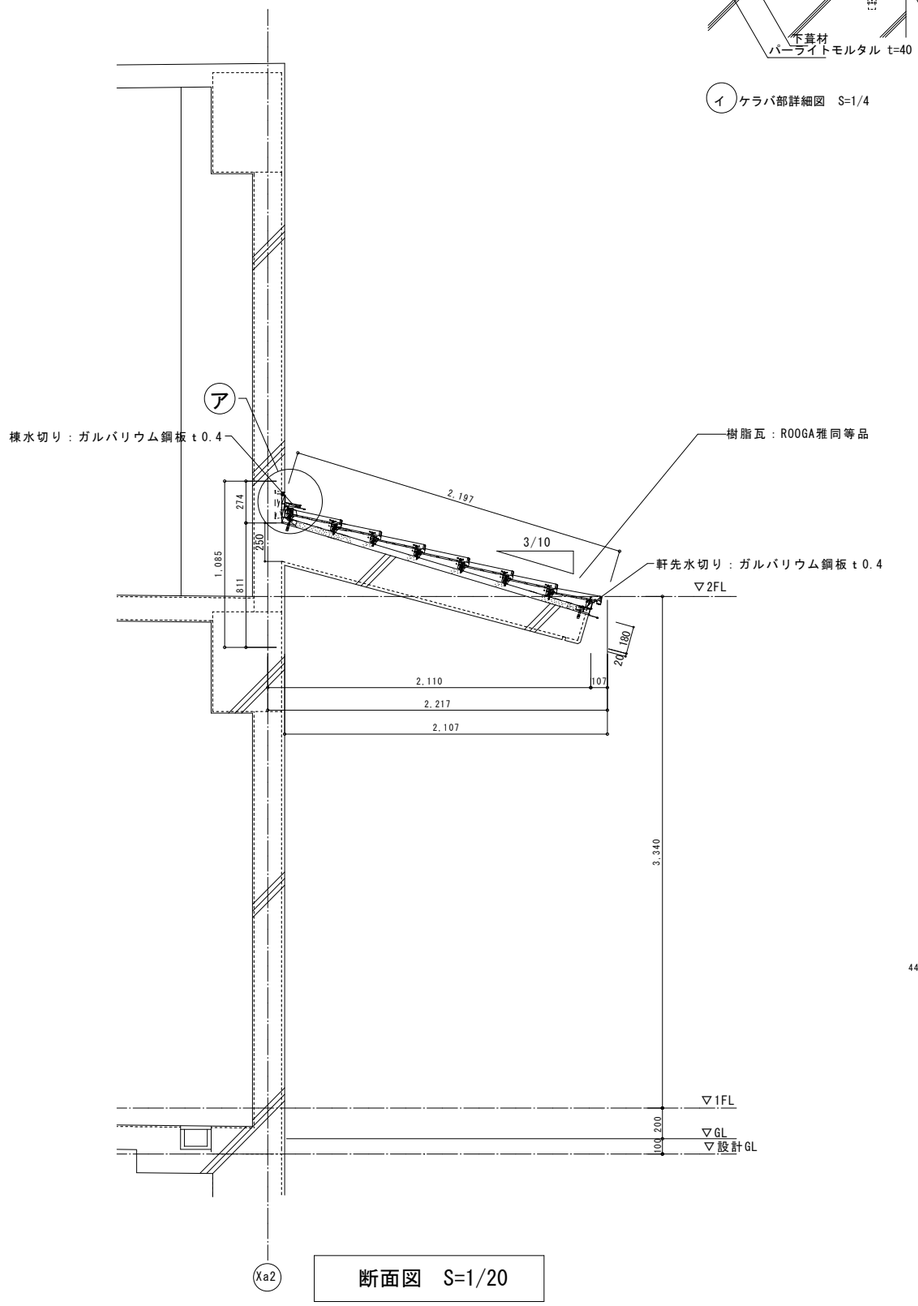


C-15　はしご保護パイプ　詳細図　S＝1/10

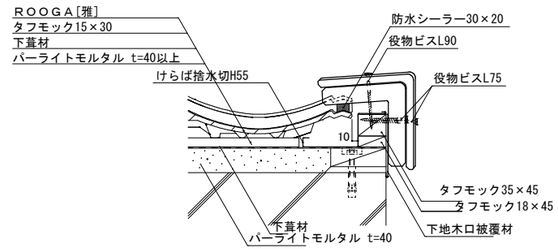


断面図

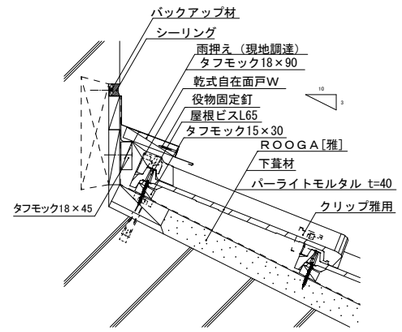
C-12　訓練用屋根詳細図　S=1/20



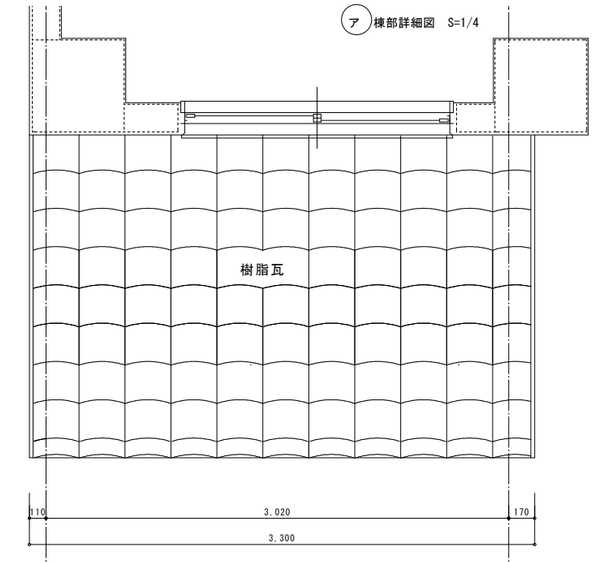
断面図　S=1/20



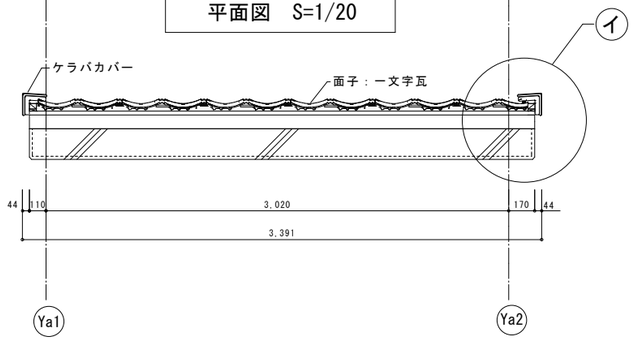
イ　ケラバ部詳細図　S=1/4



ア　棟部詳細図　S=1/4



平面図　S=1/20



軒先詳細図　S=1/20

瓦は　KMEW　樹脂瓦　ROOGA　雅同等品
両端は　ケラバカバーで仕舞う。
水下端は　面子（雅一文字）取付とする。

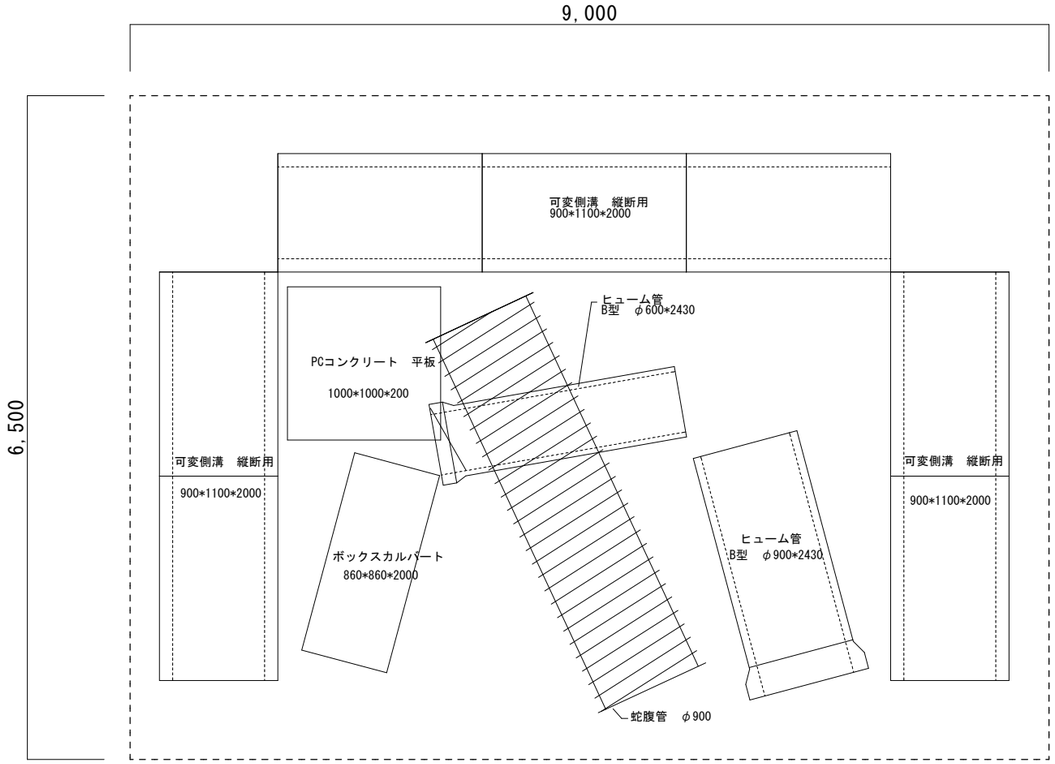
JOBNO

白石消防署庁舎建替工事　【訓練棟】副訓練塔2
切断訓練用SD・訓練用屋根詳細図　A-249

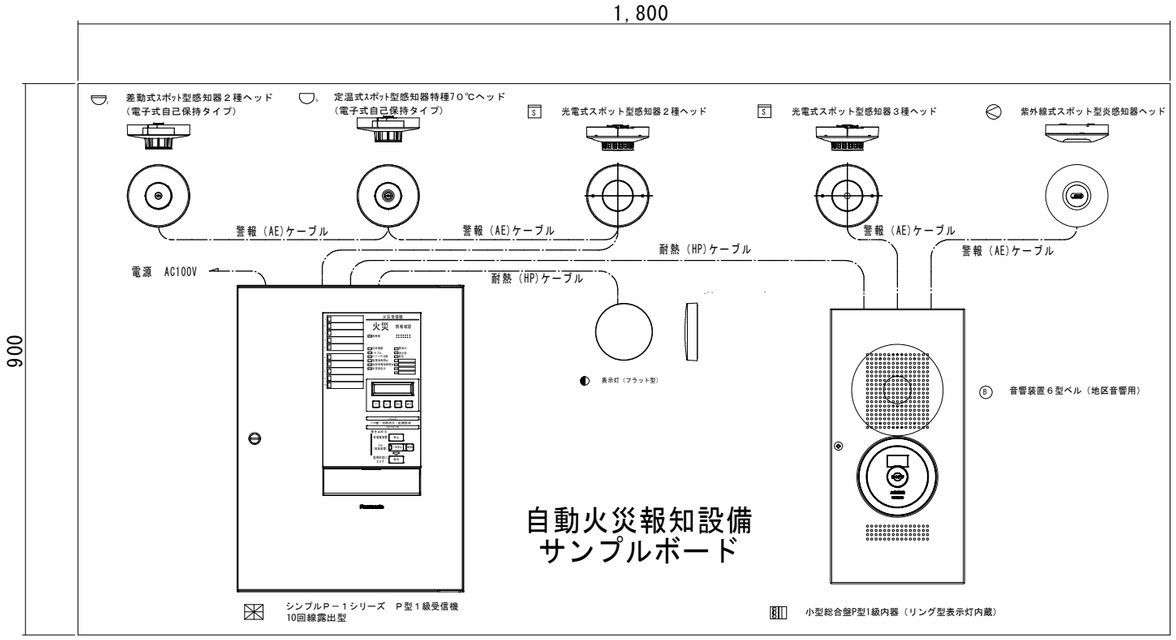
DATE　SCAL (A 1) 1/5, 10, 20　DRAWN　CHEK
(A 3) 1/10, 20, 40

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士　第 357230 号　永野ますみ

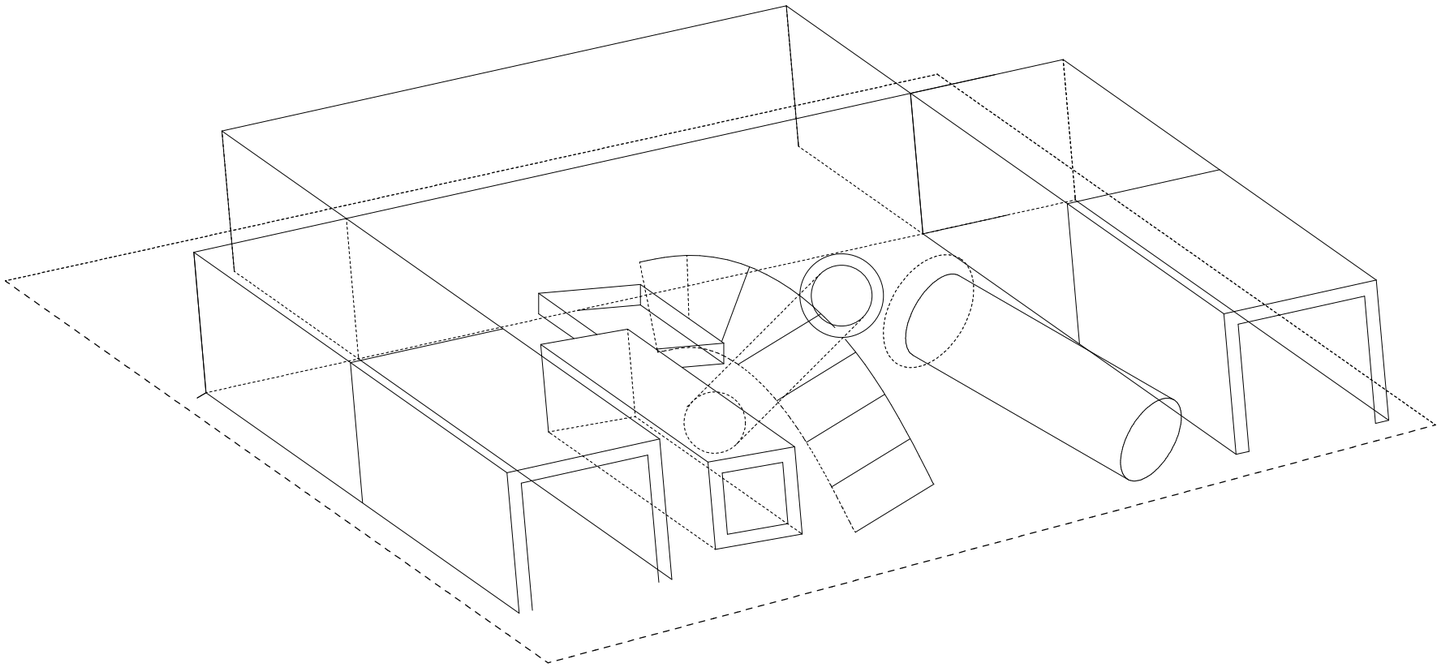
震災訓練用ガレ場　S=1/30



自動火災報知設備サンプルボード　S=1/5



化粧ボード　９００×１８００×１２ｔ(mm)



JOBNO

白石消防署庁舎建替工事

【訓練棟】震災訓練場詳細図
自動火災報知設備ｻﾝﾌﾟﾙﾎﾞｰﾄﾞ

A-250

DATE　SCAL (A 1) 1／30、5　(A 3) 1／60、10　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所

一級建築士　第 357230 号　永野ますみ

構 造 設 計 標 準 仕 様

適用は ◉ 印を記入する

1． 建築物の構造内容

（1） 工事名称 白石消防署庁舎 建替工事
建築場所 宮城県白石市大平中目字中田31番1他、字南田1番1

（2） 工事種別 □新築 □増築 □増改築 ◉改築

（3） 構造種別
□木造（W） □補強コンクリートブロック造（CB） □鉄骨造（S）
◉鉄筋コンクリート造（RC） □壁式鉄筋コンクリート造（WRC）
□鉄骨鉄筋コンクリート造（SRC） □壁式プレキャスト鉄筋コンクリート造（WPRC）
□プレキャスト鉄筋コンクリート造（PRC） □

（4） 階 数
地下 階 地上 2 階 塔屋 1 階

（5） 主要用途 消防署庁舎

（6） 屋上付属物
□広告塔 □高架水槽 kN ◉室外機 kN □
□煙 突 ◉キュービクル kN □貯湯タンク他 kN □

（7） 特別な荷重
□エレベータ 人乗（ロープ式 油圧式） □リフト kN □ホイスト kN
◉倉庫積載床用 3,900 N／m² □受水槽 kN

（8） 付帯工事
□門塀 □擁壁 □ □ □

（9） 増築計画 □有（ ） ◉無

（10） 構造計算ルート X方向ルート － 3 Y方向ルート － 3

2． 使用構造材料

（1） コンクリート

適用箇所	種類	設計規準強度 Fc＝N／mm²	品質管理強度 Fq＝N／mm²	スランプ値	備考
捨コンクリート	◉普通	□13、5 ◉18		18cm	
土間コンクリート	◉普通	□18、 ◉21	24	18cm	ﾋﾞｯﾄ
基礎、基礎梁	◉普通	□21、 □24、◉30	33	18cm	比重 23
柱、梁、床	◉普通、□ 軽量	□21、 □24、◉30	33	18cm	比重 23
	□普通、□ 軽量	□21、 □24、□27			比重 23
(鉄)無筋コンクリート	◉普通、□ 軽量	□13、5 □16、◉18		18cm	比重 23
混和剤	強度補正後でＦｃ＞３０の場合、高性能ＡＥ減水剤使用				

（2） コンクリートブロック（CB）
□A種 □B種 □C種 厚 □100、 □120、 □150、 □190、

（3） 鉄筋

	種類	径	使用箇所	継手工法
異形鉄筋	◉SD295	D10～D16	床、ST、HOOP 基礎、梁腹筋	◉重ね継手 D16以下
	◉SD345	D19～D25	柱、梁主筋他	◉ガス圧接継手 D19以上
	◉SD390	D29以上	柱、梁主筋他	
高強度せん断補強筋	◉KSS785			□特殊継手
丸 鋼	□SR235			（ ）
溶接金網(JIS G 3551)	◉	6φ、3.2φ	2階床、階段	

（4） 鉄骨

	種類	使用箇所	現場溶接	備考
鋼材	◉SS400 □SM400 ◉SN400A、B、C	大梁、小梁	□有 □無	
	□STKN400 ◉STKR400 □STK400	間柱、胴縁受	□有 □無	
	◉BCR295 □BCP235 □	柱	□有 □無	
	◉SN490B、C □SM490B、C □	ダイアフラム	□有 □無	
	◉SSC400 □	胴縁	□有 □無	

○仕様箇所の詳細については別途図示とする。

（5） ボルト
◉高力ボルト □F10T ◉F8T ◉S10T 認定品（□M12 ◉M16 ◉M20 □M22 □M24）
◉中ボルト M12 M 高力ボルトすべり係数試験 □要 □否
高力ボルト導入張力確認試験 □要 □否
◉アンカーボルト M16 L＝500 mm ナット（□シングル、◉ダブル）
L＝500 mm ナット（□シングル、◉ダブル）
□頭付スタッド φ＝19 L＝100 mm 使用箇所（□柱 □大梁 □小梁）

（6） 屋根、床、壁
□ＡＬＣ版 厚
□折 版 型式 H＝ 厚
□デッキプレート 型式 厚
□キーストンプレート 型式 厚
□特殊デッキプレート
□フラットデッキ 厚

3． 地 盤

（1） 地盤調査資料
◉有（ ◉敷地内 □近隣） ◉ボーリング調査 □平板載荷試験 ◉水平地盤反力係数の測定
◉液状化判定 □現場透水試験 ◉土質試験
□無 （調査予定 □有 □無）

（2） 地盤調査計画
□ボーリング調査 □静的貫入試験 □標準貫入試験 □水平地盤反力係数の測定
□土質試験 □物理探査 □平板載荷試験 ◉試験堀（支持層の確認）

（3） 地盤調査及び試験杭の結果により、杭長、杭種、直接基礎の深さ、形状を変更する場合もある

（4） ボーリング標準貫入値、土質構成 （基礎・杭の位置を明記すること）

図面番号 S-007,008 による

4． 地業工事

（1） 直接基礎 □ベタ基礎 □布基礎 ◉独立基礎 試験堀 □有 ◉無
載荷試験 □有 ◉無
支持層－砂礫
地盤改良（ 有 ， 無 ） 基礎底 設計GL-
改良底 設計GL-
長期許容地耐力度 基礎底で kN／m²

（2） 杭基礎 支持層－

杭種	材料	施工法	備考
□RC □PRC ◉PHC □H鋼 □鋼管 □摩擦杭 □SC	PRC（□Ⅰ種 □Ⅱ種 □Ⅲ種） PHC（◉A種 ◉B種 ◉C種） 鋼材 □SS400 □SKK400 □SKK490	□打ち込み ◉埋込み（プレボーリング拡大根固め工法） □ □	認定工法 TACP-0529 大臣認定第 号 年 月 日
□場所打ち コンクリート杭	コンクリートＦｃ＝ N／mm² スランプ 18cm セメント量 kg／m³ 鉄 筋 主筋 SD390 HOOP SD295A	□オールケーシング □拡底杭 □リバースサーキュレーション □アースドリル □ミニアース □BH □深礎 □手堀 □機械堀	拡底杭 日本建築センター認定 第 号

杭仕様 ◉施工計画書承認 ◉杭施工結果報告書
試験杭 ◉有・ □無） □打ち込み・ □載荷） 2 本以上

杭径（mm）	設計支持力（kN/本）	杭の先端の深さ（m）	本数	特記事項

5． 鉄筋コンクリート工事

（1） コンクリート
◉ コンクリートはＪＩＳ認定工場の製品とし施工に関してはＪＡＳＳ５による。
（ ※但しＦｃ１８及び土間コンクリートについては、強度の補正は温度補正のみとする）
◉ 耐久設計基準強度 Ｆｄ □短期 ◉標準 □長期 □超長期
◉ セメントは、ＪＩＳ Ｒ５２１０ の普通ポルトランドセメントを標準とする。
◉ 調合計画は、工事開始前に工事監理者の承認を得ること。
◉ 寒中、暑中、その他特殊コンクリートの適用を受ける期間に当る場合は、調合、打ち込み、養生、管理方法など必要事項について、工事監理者の承認を得ること。
◉ フレッシュコンクリートの塩化物測定は、原則として工事現場で（財）国土開発技術研究センターの技術評価を受けた測定器を用いて行い、試験結果の記録及び測定器の表示部を一回の測定ごとに撮影した写真（カラー）を保管し承認を得る。測定検査の回数は、通常の場合、１日１回以上とし、１回の検査における測定試験は、同一材料から取り分けて３回行い、その平均値を試験値とする。
◉ 構造体コンクリート現場の圧縮強度試験供試体（ＪＡＳＳ５Ｔ－６０３）は、現場水中養生、または現場封かん養生とし、採取は打ち込み工区ごと、打ち込み日ごととする。また、打込み量が１５０m³をこえる場合は１５０m³ごとまたは、その端数ごとに一回を標準とする。一回に採取する供試体は、適当な間隔をおいた３台の運搬車からその必要本数を採取する。なお、供試体の数量は、特別指示なき場合は、１回当り６本以上とし、そのうち４週用に３本を用いる。
◉ ポンプ打ちコンクリートは、打ち込む位置にできるだけ近づけて垂直に打ちコンクリートの自由落下高さは、コンクリートが分離しない範囲とする。ポンプ圧送に際しては、コンクリート圧送技士または同等以上の技能を有する者が従事すること。なお、打ち込み継続中における打継ぎ時間間隔の限度は、外気温が２５℃未満の場合は１５０分、２５℃以上の場合は１２０分以内とする。

（2） 鉄 筋
◉ 鉄筋はＪＩＳ Ｇ３１１２ の規格品を規準とする。施工はＪＡＳＳ５（１９９７）による。
□ 高強度せん断補強筋は、ＪＩＳ Ｇ ３１３７に規定されるＤ種１号適合品とする。
◉ 鉄筋の加工寸法、形状、かぶり厚さ、鉄筋の継手位置、継手の重ね長さ、定着長さは「鉄筋コンクリート構造配筋標準図（１）（２）」または「壁式鉄筋コンクリート構造配筋標準図（１）（２）」による。
◉ Ｄ１９未満は、すべて重ね継手とする。継手（Ｄ１９以上）をガス圧接とする場合は、日本鉄筋継手協会「鉄筋継手工事標準仕様書」(ガス圧接継手工事、溶接継手工事、機械式継手工事)による。
◉ ガス圧接部の抜き取り検査は、同一作業班が同一日に施工した圧接箇所ごと（２００箇所を超えるときは、２００ 箇所ごと）に１回行い、１回の試験は３０箇所以上とする。
外観検査 ◉有 □ 無、引張試験 □有 □ 無、超音波探傷試験 ◉有 □ 無
◉ 柱の帯筋（ＨＯＯＰ）の加工方法は、 ◉ Ｈ型（タガ型） □ Ｗ型（溶接型） □ Ｓ型（スパイラル型） とする。

（3） 型 枠
◉ 材料 合板厚 １２mmを標準とする。 ◉ 施工はＪＡＳＳ５による。
◉ 型枠存置期間

種類 / 部位 / セメントの種類 / 存置期間の平均気温	せき板 基礎、はり側、柱、壁	せき板 スラブ下、はり下			支柱 スラブ下		支柱 はり下	
	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント 高炉セメントA種 シリカセメントA種	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント 高炉セメントA種 シリカセメントA種	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント 高炉セメントA種 シリカセメントA種	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント 高炉セメントA種 シリカセメントA種
コンクリートの材令（日） 15℃以上	2	3	4	6	8	17	28	
5℃～15℃	3	5	6	10	12	25	28	
5℃未満	5	8	10	16	15	28	28	
コンクリートの圧縮強度	5N／mm²		設計規準強度の50%		設計規準強度の 85%		100%	

注）1 片持ばり、庇、スパン ９．０ｍ以上のはり下は、工事監理者の指示による。

注）2 大ばりの支柱の盛りかえは行わない。また、その他のはりの場合も原則として行わない。

注）3 支柱の盛りかえは、必ず直上階のコンクリート打ち後とする。

注）4 盛りかえ後の支柱頂部には、厚い受板、角材または、これに代わるものを置く。

注）5 支柱の盛りかえは、小ばりが終わってから、スラブを行う。
一時に全部の支柱を取り払って、盛りかえをしてはならない。

注）6 上表以外のセメントを使用する場合は工事監理者の指示による。

6． 鉄骨工事

（1） 鉄骨工事は指示のない限り下記による
◉ 日本建築学会「ＪＡＳＳ６」「鉄骨精度検査基準」「鉄骨工事技術指針」
□
□

（2） 工事監理者の承認を必要とするもの
◉製作工場 ◉製作要領書 ◉工作図 ◉施工計画書
◉建設省告示第１１０３号による認定工場（大臣認定 Ｍ グレード以上）
◉材料規格証明書または試験成績書
◉鋼材 ◉高力ボルト ◉特殊ボルト ◉スタッドボルト
◉社内検査表 □ □

（3） 工事監理者が行う検査項目
（◉ 印以外の項目の検査結果については、工事監理者に報告すること）
◉ 現寸検査 ◉ 組立・開先検査 ◉ 製品検査
◉ 建方検査 □ □

（4） 接合部の溶接は下記によること
◉ 日本建築学会「溶接工作規準、同解説Ⅰ、Ⅰ、Ⅱ、Ⅳ、Ⅴ、Ⅵ、Ⅶ、Ⅷ、Ⅸ」
◉ 日本建築学会「鉄骨工事技術指針・工事現場施工編」

（5） 接合部の検査
◉溶接部の検査（検査結果は後日工事監理者に報告すること）
突合せ溶接部のＵＴ検査は、ＡＯＱＬ ２．５% 第６水準とする。
検査要領及合否の判定は、日本建築学会「超音波探傷検査基準」による。
◉ 高力ボルトは「ＪＩＳ Ｂ１１８６の高力ボルト」を標準とする。摩擦面の処理は黒皮などをスプライスプレート全面でショットブラスト、グラインダー掛け等を用いて除去した後、屋外に自然放置して発生した、赤さび状態であること。ただし、ショットブラスト、グリットブラストによる処理で表面あらさが５０Ｓ以上である合は、赤さびは発生しないままでよい。
◉ 高力ボルトの締付けに使用する機器はよく調整されたものを使用し、締付けの順序は部材が十分密着するよう注意して行う。また、締付けは一次、二次締めとする。締付け後の検査は、各締付け工法別に適切な締付けが行なわれているか検査する。

（6） 防錆塗装
◉ 防錆塗装の範囲は、高力ボルト接合の摩擦面及びコンクリートで被覆される以外の部分とする。
◉ 現場における高力ボルト接合部及び接合部の素地調整は入念に行い、塗装は工場塗装と同じ錆止めペイントを使用し２回塗りとする。

（7） 耐火被覆の材料
□

7． 設備関係

◉ 特記以外の梁貫通孔は原則として設けない、設ける場合は設計者の承認を得ること。
◉ 設備機器の架台及び基礎については工事監理者の承認を得ること。
◉ 床スラブ内に設備配管等を埋込む場合はスラブ厚さの１／３以下とし管の間隔を管径の３倍以上かつ５ｃｍ以上を原則とする。
◉ 建築設備（昇降機を除く。）、建築設備の支持構造部及び緊結金物は、腐食又は腐朽のおそれがないものとすること。
□ 屋上から突出する水槽、煙突、冷却塔その他これらに類するものは、支持構造部又は建築物の構造耐力上主要な部分に、支持構造部は、建築物の構造耐力上主要な部分に、緊結すること
□ 煙突の屋上突出部の高さは、れんが造、石造、コンクリートブロック造又は無筋コンクリート造の場合は鉄製の支柱を設けたものを除き、90 cm以下とすること
□ 煙突で屋内にある部分は、鉄筋に対するコンクリートのかぶり厚さを5 cm以上とした鉄筋コンクリート造又は厚さが25 cm以上の無筋コンクリート造、れんが造、石造若しくはコンクリートブロック造とすること
◉ 建築物に設ける給水、排水その他の配管設備は、風圧、土圧及び水圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して安全上支障のない構造とすること
◉ 建築物に設ける給水、排水その他の配管設備は、建築物の部分を貫通して配管する場合においては、当該貫通部分に配管スリーブを設ける等有効な管の損傷防止のための措置を講ずること
◉ 建築物に設ける給水、排水その他の配管設備は、管の伸縮その他の変形により当該管に損傷が生ずるおそれがある場合において、伸縮継手又は可撓継手を設ける等有効な損傷防止のための措置を講ずること
◉ 建築物に設ける給水、排水その他の配管設備は、管を支持し、又は固定する場合においては、つり金物又は防振ゴムを用いる等有効な地震その他の震動及び衝撃の緩和のための措置を講ずること
□ 法第20 条第一号から第三号までの建築物に設ける屋上から突出する水槽、煙突その他これらに類するものに あっては、建設省告示第1389 号により、風圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して構造耐力上安全なものとすること
◉ 給湯設備は、風圧、土圧及び水圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して安全上支障のない構造とすること。満水時の質量が15kgを超える給湯設備については、地震に対して安全上支障のない構造として、平成12年建設省告示第1388号第5に規定する構造方法によること。
※「給湯設備」：建築物に設ける電気給湯器その他の給湯設備で、屋上水槽等のうち給湯設備に該当するものを除いたもの

8． その他

◉ 諸官庁への届出書類は遅滞なく提出すること。
◉ 各試験の供試体は公的試験機関にて試験を行い工事監理者に報告すること。
◉ 必要に応じて記録写真を撮り保管すること。
◉ 設計図書以外に参考とする仕様書
①公共建築工事標準仕様書（令和７年版）
②建築工事標準仕様書 （ＪＡＳＳ５及びＪＡＳＳ６） 「日本建築学会」

一級建築士 第185692号 細川 武
構造設計一級建築士 第5784号

JOBNO

白石消防署庁舎建替工事【庁舎棟】 構造特記仕様書 S-001

DATE R7.10.7 SCAL (A 1) 1／N.S (A 3) 1／N.S DRAWN CHEK

株式会社 構 建築設計事務所 一級建築士 第 357230 号 永野ますみ

鉄筋コンクリート構造配筋標準図（１）

１．　一般事項

（１）　構造図面に記載された事項は、本標準図に優先して適用する。

（２）　記号

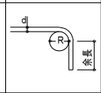
ｄ：異形棒鋼の呼び名に用いた数値　丸鋼では径　　Ｄ：部材の成　　Ｒ：直径

@：間隔　　ｒ：半径　　℄：中心線　　・　l_o　：部材間の内法距離　　h_o　：部材間の内法高さ

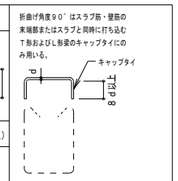
ＳＴ：あばら筋　　ＨＯＯＰ：帯筋　　Ｓ．ＨＯＯＰ：補強帯筋　　φ：直径又は丸鋼

２．　鉄筋加工、かぶり

（１）　鉄筋末端部の折曲げの形状

折曲げ角度	１８０・°	１３５・°	９０・°
図			
鉄筋の余長	４ｄ以上	６ｄ以上（※４ｄ以上）	８ｄ以上（※４ｄ以上）

折曲げ内法寸法Ｒは、ＳＲ２３５は３ｄ以上、ＳＤ２９５Ａ、ＳＤ２９５Ｂ、
ＳＤ３４５のＤ１６以下は３ｄ以上、Ｄ１９以上は、４ｄ以上
ＳＤ３９０のＤ１９以上は、５ｄ以上



（２）　鉄筋中間部の折曲げの形状　鉄筋の折曲げ角度以下９０・°以下

図	鉄筋の使用箇所による呼称	鉄筋の種類	鉄筋の径による区分	鉄筋の折り曲げ内のりの寸法　（Ｒ）
	帯　筋 あばら筋 スパイラル筋	ＳＲ２３５，ＳＤ２９５Ａ ＳＤ２９５Ｂ，ＳＤ３４５	１６φ Ｄ１６以下	３ｄ以上
			１９φ Ｄ１９以下	４ｄ以上
	上記以外の鉄筋	ＳＲ２３５，ＳＤ２９５Ａ ＳＤ２９５Ｂ，ＳＤ３４５	１６φ Ｄ１６以下	
			１９φ～２５φ Ｄ１９～Ｄ２５	６ｄ以上
			２８φ～３２φ Ｄ２９～Ｄ３８	８ｄ以上

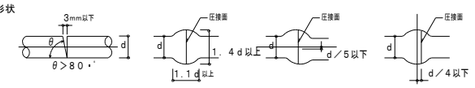
（３）　鉄筋の定着および重ね継手の長さ

鉄筋の種類	普通、軽量コンクリートの設計基準強度の範囲（Ｎ／ｍｍ²）	定着の長さ　一般　（L_2）	定着の長さ　下ば筋　（L_2）　小梁	定着の長さ　下ば筋　（L_2）　スラブ	特別の定着及び重ね継手の長さ（L_1）
ＳＤ２９５Ａ ＳＤ２９５Ｂ ＳＤ３４５	２１、２４、２７	３５ｄまたは２５ｄフックつき	２５ｄまたは１５ｄフックつき	１０ｄかつ１５ｃｍ以上	４０ｄまたは３０ｄフックつき
	３０、３３、３６	３０ｄまたは２０ｄフックつき			３５ｄまたは２５ｄフックつき
ＳＤ３９０	２１、２４、２７	４０ｄまたは３０ｄフックつき			４５ｄまたは３５ｄフックつき
	３０、３３、３６	３５ｄまたは２５ｄフックつき			４０ｄまたは３０ｄフックつき

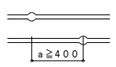
継　手

１．末端のフックは、定着および重ね継手の長さに含まない
２．継手位置は、応力の小さい位置に設けることを原則とする
３．直径の異なる鉄筋の重ね継手長さは、細い方の鉄筋の継手長さとする
４．Ｄ２９以上の異形鉄筋は、原則として、重ね継手としてはならない
５．鉄筋径の差が７ｍｍを超える場合は、圧接としてはならない

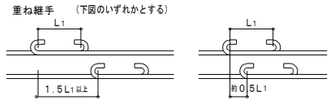
ガス圧接の形状



圧接継手

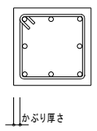


重ね継手　（下図のいずれかとする）



（４）　かぶり厚さ（単位：ｍｍ）

ひびわれ誘発目地部など鉄筋のかぶり厚さが部分的に減少する箇所についても最少かぶり厚さを確保する。

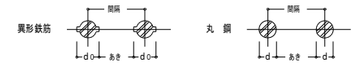


部　位			設計かぶり厚さ（ｍｍ）	最少かぶり厚さ（ｍｍ）
土に接しない部分	屋根スラブ 床スラブ 非耐力壁	屋　内	３０	２０
		屋　外	４０(1)	３０（２０）
	柱 はり 耐力壁	屋　内	４０	３０
		屋　外	５０(2)	４０(1)(30)
	擁　壁		５０(3)	４０
土に接する部分	柱・はり・床スラブ・耐力壁		５０	４０(4)
	基　礎　・　擁　壁		７０	６０(4)

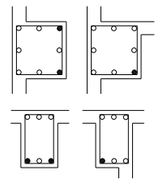
注）（１）耐久性上有効な仕上げのある場合、工事監理者の承認を受けて３０ｍｍとすることができる。
（２）耐久性上有効な仕上げのある場合、工事監理者の承認を受けて４０ｍｍとすることができる。
（３）コンクリートの品質および施工方法に応じ、工事監理者の承認を受けて４０ｍｍとすることができる。
（４）軽量コンクリートの場合は、１０ｍｍ増しの値とする。
（５）（　）内は仕上げがある場合。

（５）　鉄筋のあき

丸鋼では径、異形鉄筋では呼び名に用いた数値１．５ｄ以上
粗骨材の最大寸法の１．２５倍以上かつ２５以上



図の◎印の鉄筋の重ね継手の末端にはフックが必要



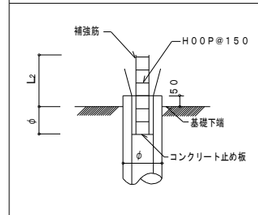
（６）　鉄筋のフック（ａ～ｆに示す鉄筋の末端部にはフックをつける。）

ａ：丸鋼　ｂ：あばら筋　ｃ：煙突の鉄筋
ｄ：柱・梁（基礎梁は除く）の出すみ部分の鉄筋（右図参照）
ｅ：単純梁の下端筋
ｆ：その他、本配筋標準に記載する箇所

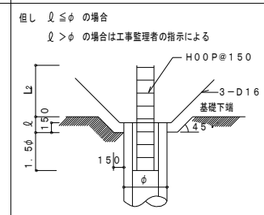
３．　杭（地震力等の水平力を考慮する必要のある場合は、別途検討すること。）

（１）　ＰＲＣ杭、又はＰＨＣ杭の全てに補強を行う　（防火水槽の杭のみ）

所定の位置に止まった場合

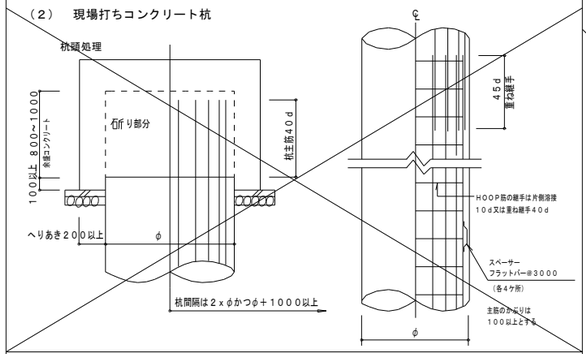


所定より低く止まった場合



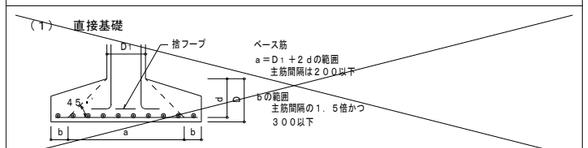
杭　径	300φ，350φ	400φ	450φ	500φ	600φ
補強筋	６−Ｄ１３	８−Ｄ１３	１０−Ｄ１３	８−Ｄ１６	１０−Ｄ１６
ＨＯＯＰ	Ｄ１０−@１５０				

（２）　現場打ちコンクリート杭

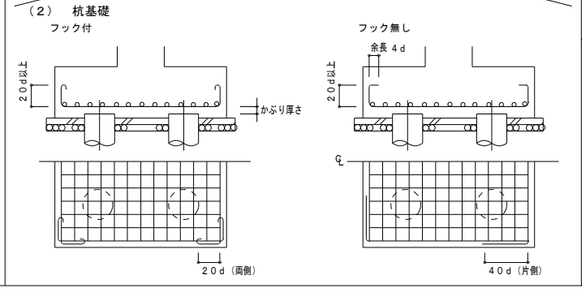


４．　基　礎

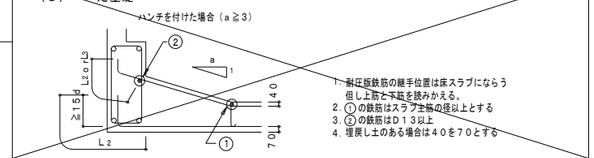
（１）　直接基礎



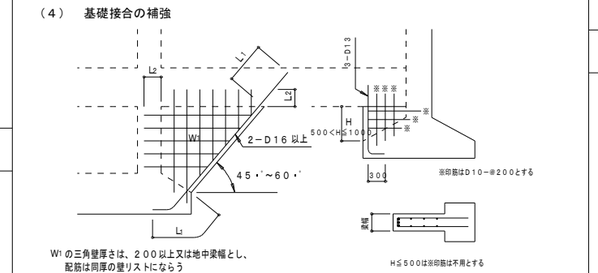
（２）　杭基礎



（３）　べた基礎



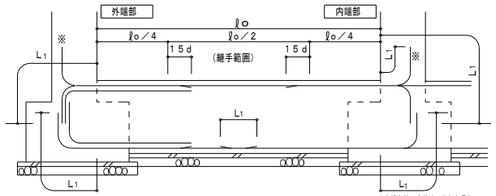
（４）　基礎接合の補強



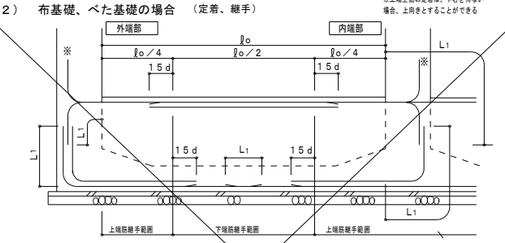
W1の三角壁厚さは、２００以上又は地中梁幅とし、
配筋は同厚の壁リストにならう

５．　地中梁

（１）　独立基礎、杭基礎の場合　（定着、継手）

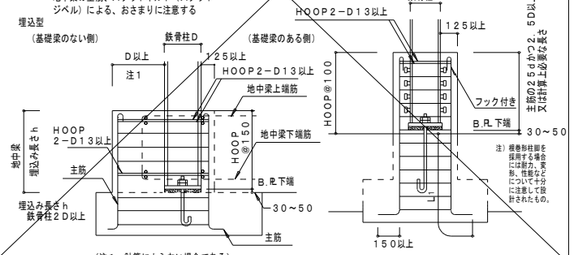


（２）　布基礎、べた基礎の場合　（定着、継手）

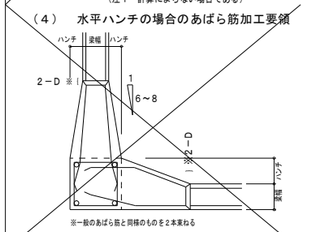


（３）　小規模鉄骨造の柱脚固定の配筋

地中梁の主筋、スタッドボルト（スタッドジベル）による、おさまりに注意する

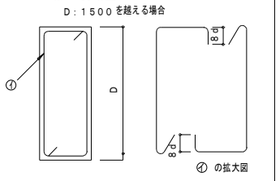


（４）　水平ハンチの場合のあばら筋加工要領

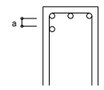


（５）　せいの高い梁のあばら筋加工要領図

Ｄ：１５００を越える場合



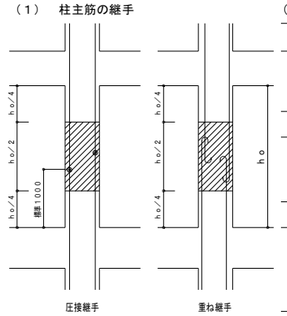
（５）　二段筋の保持



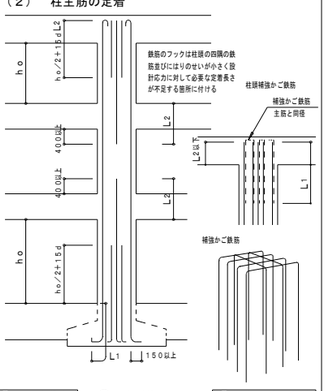
ａ＝１．５×（呼び名の数値）

６．　柱

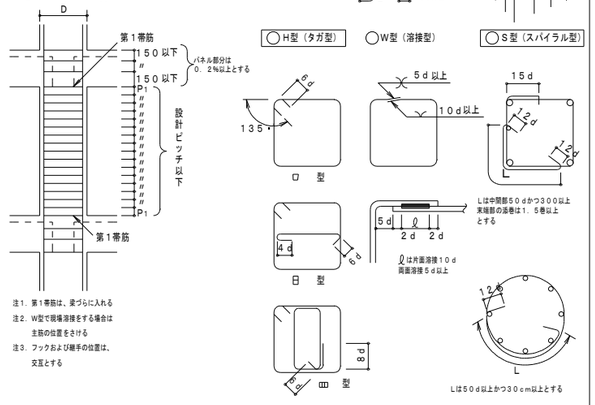
（１）　柱主筋の継手



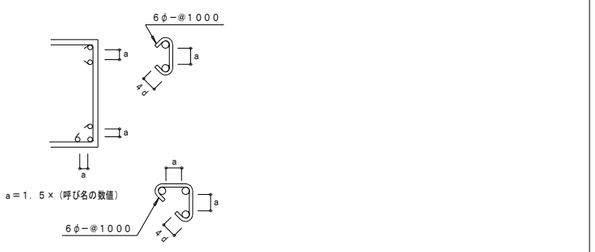
（２）　柱主筋の定着



（３）　帯　筋



（４）二段筋の保持



一級建築士　第185692号　細川 武
構造設計一級建築士　第5784号

JOBNO

白石消防署庁舎建替工事【庁舎棟】

鉄筋コンクリート配筋標準図（１）　S-002

DATE R7.10.7　SCAL (A 1) 1／N.S (A 3) 1／N.s　DRAWN　CHEK

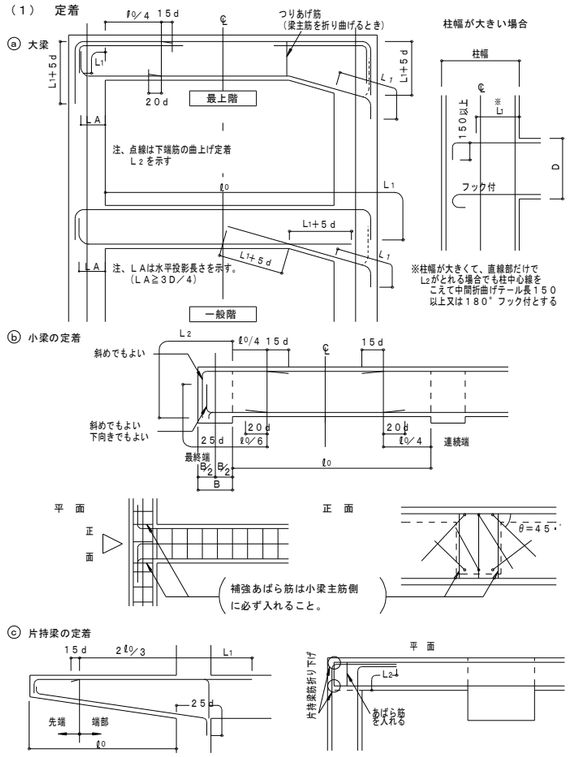
株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士　第 357230 号　永野ますみ

鉄筋コンクリート構造配筋標準図（２）

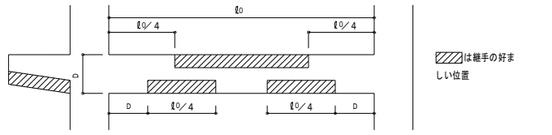
Ｌ＝ 鉄筋コンクリート構造配筋
標準図 （1）の２－（3）による。

７． 大梁、小梁、片持梁

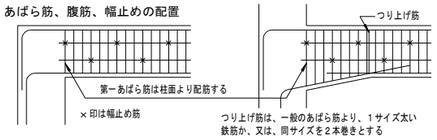
（１） 定着



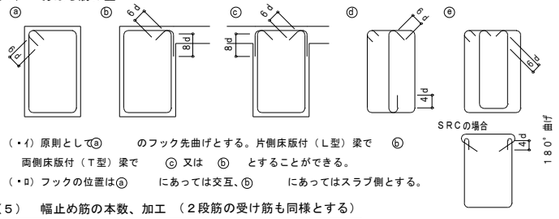
（２） 大梁主筋の継手



（３） あばら筋、腹筋、幅止めの配置



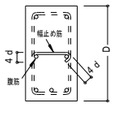
（４） あばら筋の型



（・イ）原則としてⓐ のフック先曲げとする。片側床版付（Ｌ型）梁で ⓑ
両側床版付（Ｔ型）梁で ⓒ 又は ⓑ とすることができる。
（・ロ）フックの位置はⓐ にあっては交互、ⓑ にあってはスラブ側とする。

（５） 幅止め筋の本数、加工 （２段筋の受け筋も同様とする）

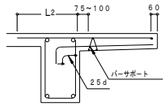
腹筋	Ｄ＜６００不要	
	６００ ≦ Ｄ ＜ ９００	２－Ｄ１０（９φ） １段
	９００ ≦ Ｄ ＜ １２００	４－Ｄ１０（９φ） ２段
	１２００ ≦ Ｄ	Ｄ１０（９φ）@３００以内
幅止め筋	Ｄ１０（９φ）@１０００以内で割り付ける	



８． 床板

（１） 定着および継手

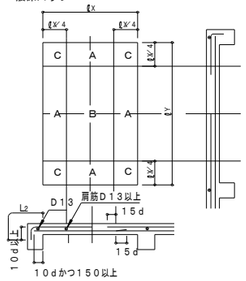
ⓐ 片持床スラブ



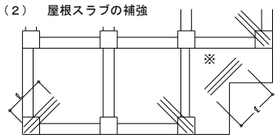
継手位置は原則として下表による。

		標準継手位置
上端筋	短 辺 方 向	Ｂ
	長 辺 方 向	Ｂ
下端筋	短辺・長辺方向	Ａ Ｃ

ⓑ 一般床スラブ



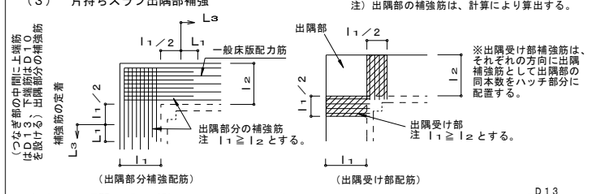
（２） 屋根スラブの補強



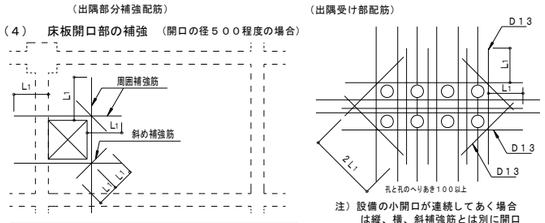
ⓐ補強筋は各３－Ｄ１３又はスラブ主筋の同一
径で ℓ＝１，５００とし、上端筋の下に配筋する
ⓑ※の個所（入隅）は各隅補強する

（３） 片持ちスラブ出隅部補強

注）出隅部の補強筋は、計算により算出する。



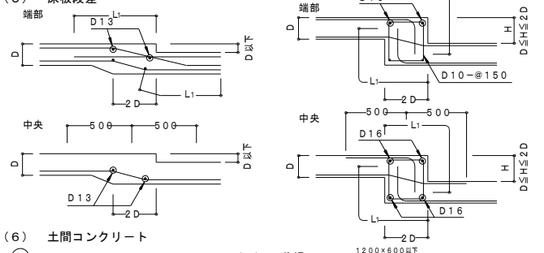
（４） 床板開口部の補強 （開口の径５００程度の場合）



注）設備の小開口が連続してあく場合
は縦、横、斜補強筋とは別に開口
によって切られる鉄筋と同じ鉄筋
を開口をさけて補強する。

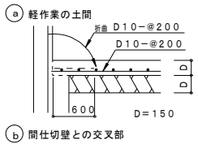
床板厚さＤ	周 囲	斜 め
Ｄ≦１５０	各２－Ｄ１３	各１－Ｄ１３
１５０＜Ｄ≦２００	各２－Ｄ１３	各２－Ｄ１３
２００＜Ｄ≦３００	各２－Ｄ１９	各２－Ｄ１６

（５） 床板段差

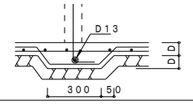


（６） 土間コンクリート

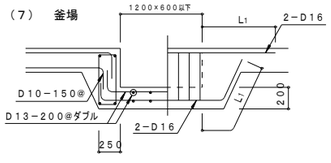
ⓐ 軽作業の土間



ⓑ 間仕切壁との交叉部



（７） 釜場



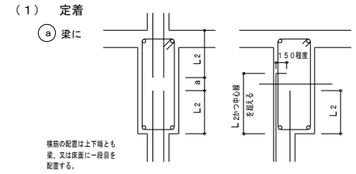
（８） 打継ぎ補強 （ダメ穴打継面について）

- 設計配筋間隔の１／２ピッチ 長さ２L１ 以上
- 無筋部分Ｄ１０－@２００ 長さ８００以上

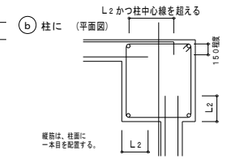
９． 壁

（１） 定着

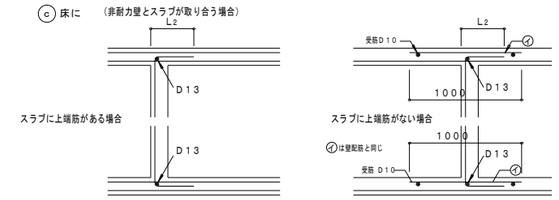
ⓐ 梁に



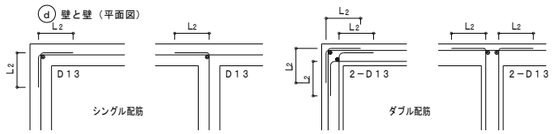
ⓑ 柱に （平面図）



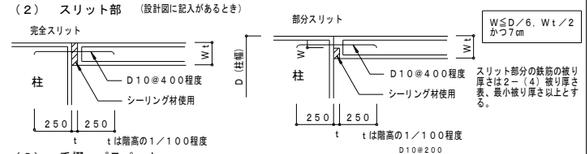
ⓒ 床に （非耐力壁とスラブが取り合う場合）



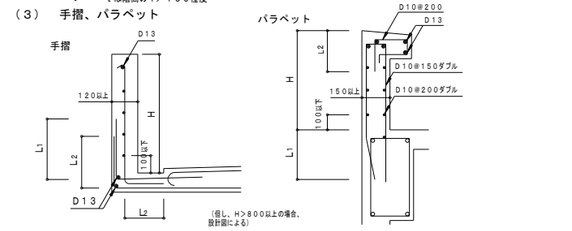
ⓓ 壁と壁（平面図）



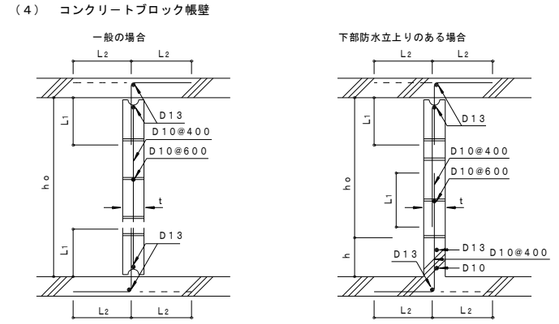
（２） スリット部 （設計図に記入があるとき）



（３） 手摺、パラペット



（４） コンクリートブロック帳壁

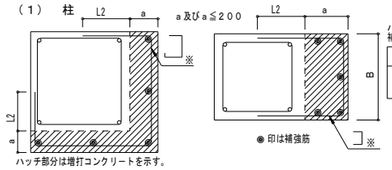


注） ｈｏ≦２５ｔかつ３５００以下とする。但し直交方向２５ｔ以内に壁、又は柱がある場合は除く
注） ｈはコンクリートブロック段数調節寸法とする。但し、２００≦ｈ≦４００
注） 継手部は必ずモルタルをてん充すること

１０． 柱、梁増打コンクリート補強

（増打するときは事前に設計者、
及び工事監理者と打合せのこと）

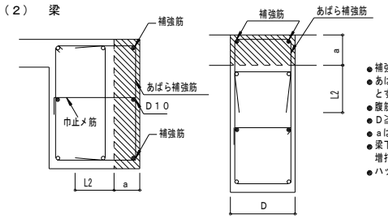
（１） 柱



ハッチ部分の面積Ａcm²
補強タテ筋

Ａ＜５００	５００≦Ａ＜１０００	１０００≦Ａ＜１５００
３－Ｄ１６	４－Ｄ１６	６－Ｄ１６

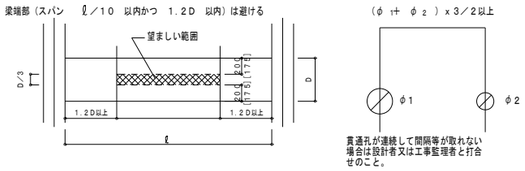
（２） 梁



- 補強筋は、Ｄ１６とする。
- あばら補強筋は、梁と同径、同ピッチとする。
- 腹筋Ｄ１０ピッチは、梁の腹筋と合せる。
- Ｄ≧４００の場合は補強筋を３本とする。
- ａは１００～２００程度。
- 梁下端増打コンクリートの場合も上端増打コンクリート補強と同様とする。
- ハッチ部分は増打コンクリートを示す。

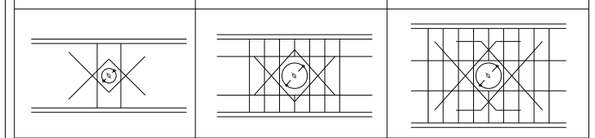
１１． 梁貫通孔補強 （既製品使用も可とする）

（１） 設置可能範囲 [ ]内数値は 梁せい700未満500以上の場合を示す。



（２） 鉄筋標準配筋 但しφ≦Ｄ／３とする

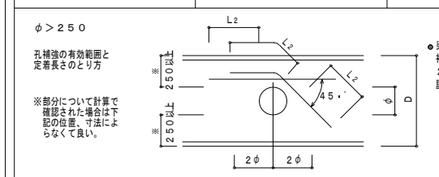
８０≦φ≦１００	１００＜φ≦１５０	１５０＜φ≦２５０
折筋 ２－（２－Ｄ１３）	折筋 ２－（２－Ｄ１３）	斜筋 ４－（２－Ｄ１３）
縦筋 ＳＴ ２－Ｄ１３	縦筋 ＳＴ ２－Ｄ１３－１００@	縦筋 ＳＴ ２－Ｄ１３－１００@
	横筋 ２－（２－Ｄ１３）	横筋 ２－（２－Ｄ１３）
		上下 縦筋 ＳＴ ２－Ｄ１３



φ＞２５０

孔補強の有効範囲と
定着長さのとり方

※部分について計算で
確認された場合は下
記の位置、寸法によ
らなくて良い。



- 梁幅が４００を超える場合は補強筋でＤ１３はＤ１６又は、２－Ｄ１３は３－Ｄ１３と、各々読みかえる

（３） 既製品 （使用するときには、設計者又は工事監理者と打合せのこと）

◉ リング型 □ パイプ型 □ 金網型 □ プレート型

（４） 図示されている貫通孔は設計段階のものであり、現場にて再度位置及び箇所を決定する。
但し、使用するときには、設計者又は工事監理者と打合せのこと。

一級建築士 第185692号
構造設計一級建築士 第5784号
細川 武

JOBNO

白石消防署庁舎建替工事【庁舎棟】

鉄筋コンクリート
配筋標準図（２）

S-003

DATE R7.10.7 SCAL (A 1) 1／ N.S (A 3) 1／ N.S DRAWN CHEK

株式会社 構 建築設計事務所
一級建築士 第 357230 号 永野ますみ

鉄 骨 構 造 標 準 図 （１）

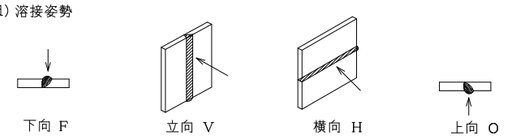
１．一般事項

（1） 材料及び検査
（a） 構造設計仕様による
（b） 適用範囲は、鋼材を用いる工事に適用し、かつ鋼材の厚さが 40mm以下のものとする
（c） 社内検査結果の検査報告書には、鉄骨の寸法、精度及びその他の結果を添付する

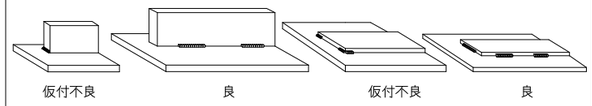
（2） 工作一般
（a） 鉄骨製作及び施工に先立って「鉄骨工事施工要領書」を提出し工事監理者の承認を得る
（b） 鋼管部材の分岐継手部の相貫切断は、鋼管自動切断機による
（c） 高張力鋼のひずみきょう正は、冷間きょう正とする

（3） 高力ボルト接合
（a） 本締めに使用するボルトと、仮締めボルトの併用はしてはならない

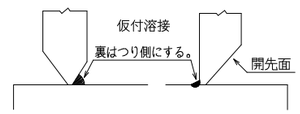
（4） 溶接接合
（a）溶 接 工 （スタッド溶接についても同様）
溶接工は施工する溶接に適応するJIS Z3801(手溶接)又はJIS Z3841(半自動溶接)の溶接技術検定試験に合格し引続き、半年以上溶接に従事している者とする
（b）溶接機器
(イ) 交流アーク溶接機 300A～500A
(ロ) アークエアーガウジング機（直流）
(ハ) サブマージアーク溶接機 1式
(ニ) 炭酸ガスアーク半自動溶接機
(ホ) 溶接電流を測定する電流計
(ヘ) 溶接棒乾燥器
（c）溶接方法
アーク手溶接（ MC ） ガスシールドアーク半自動溶接（GC ）
セルフ(ノンガス)シールドアーク半自動溶接(NGC） アークエアーガウジング(AAG）
（d）溶接姿勢



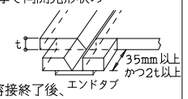
（e）仮付溶接工は、原則として本工事に従事する者が行う
(イ) 仮付位置
仮付溶接は溶接の始、終端、隅角部など強度上、工作上、問題となり易い箇所は避ける



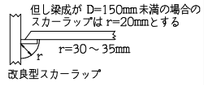
(ロ) 突合せ溶接部の仮付溶接は必ず裏はつり側に施工する



（f）溶接施工
(イ) エンドタブ
Ⅰ）突合せ溶接、部分溶込み溶接の両端部に母材と同厚で同開先形状のエンドタブを取り付ける
Ⅱ）エンドタブの材質は、母材と同質とする
Ⅲ）エンドタブの長さは、MC：35mm 以上
NGC、GC：40mm 以上とし特記のない場合は、溶接終了後、母材より10mm程度残し切断して、グラインダー仕上げとする
Ⅳ）プレス鋼板タブ、固形タブ使用については、資料を提出して設計者又は工事監理者の承認を得る
原則として、Aw検定（代替エンドタブ）合格者とする



(ロ) 裏あて金
材質は母材と同質材料とし厚さは手溶接で6mm、半自動溶接で9mm 以上とする
(ハ) ノンスカラップ工法



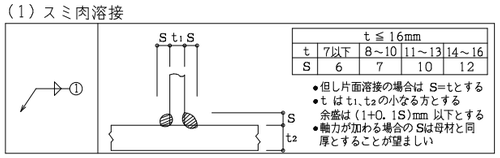
(ニ) 裏はつり
規準図の溶接においてAAGと記載のある部分は全て、溶接監理者の確認を励行し、部材に確認マークをつける
(ホ) 現場溶接の開先面には、溶接に支障のない防錆材を塗布する。又、開先部をいためない様に、養生を行う

（5） 塗装
コンクリートに埋め込まれる部分及びコンクリートとの接触面で、コンクリートと一体とする設計仕様になっている部分は、塗装をしない

２．溶接規準図

(注) f：余盛 G：ルート間隔 R：フェース S：脚長 （単位mm）

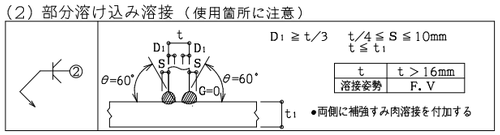
（1）スミ肉溶接



t ≦ 16mm				
t	7以下	8～10	11～13	14～16
S	6	7	10	12

●但し片面溶接の場合は S=tとする
●t は t₁、t₂の小なる方とする
余盛は（1+0.1S)mm 以下とする
●軸力が加わる場合の Sは母材と同厚とすることが望ましい

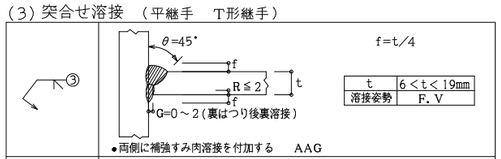
（2）部分溶け込み溶接 （使用箇所に注意）



t	t ＞16mm
溶接姿勢	F.V

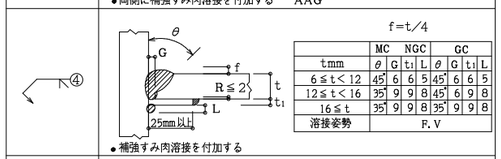
●両側に補強すみ肉溶接を付加する

（3）突合せ溶接 （平継手 T形継手）



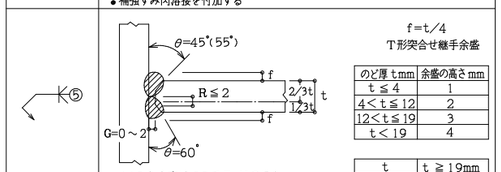
t	6＜t＜19mm
溶接姿勢	F.V

●両側に補強すみ肉溶接を付加する AAG



	MC NGC				GC			
tmm	θ	G	t₁	L	θ	G	t₁	L
6≦t＜12	45°	6	6	5	45°	6	6	5
12≦t＜16	35°	9	9	8	45°	6	9	8
16≦t	35°	9	9	8	35°	9	9	8
溶接姿勢	F.V							

●補強すみ肉溶接を付加する

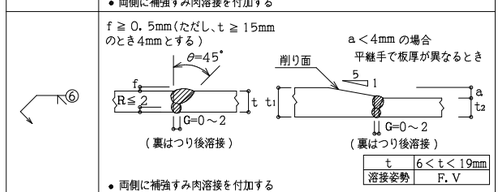


T形突合せ継手余盛

のど厚 tmm	余盛の高さ mm
t ≦ 4	1
4＜t≦12	2
12＜t≦19	3
t＜19	4

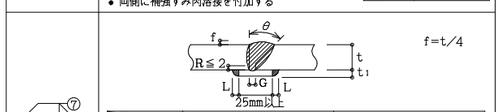
t	t ≧ 19mm
溶接姿勢	F.V

● AAG（ ）内は GCでF.Hの場合
● 両側に補強すみ肉溶接を付加する



t	6＜t＜19mm
溶接姿勢	F.V

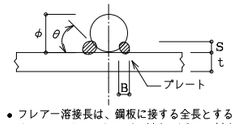
● 両側に補強すみ肉溶接を付加する



	MC NGC				GC			
tmm	θ	G	t₁	L	θ	G	t₁	L
6＜t＜12	45°	6	6	5	45°	6	6	5
12≦t≦19	35°	9	9	5	45°	6	9	5
t＜19	35°	9	9	8	35°	9	9	8
溶接姿勢	F.V							

（4）フレアー溶接

K形の場合

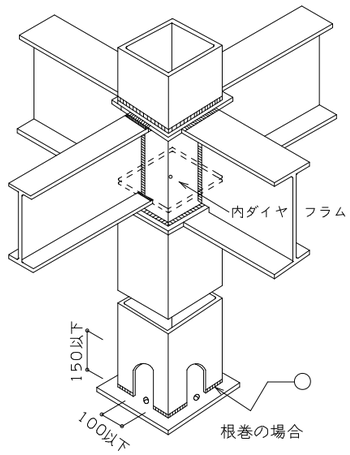


寸法(mm)		
φ	B	S
9	7	4
13	8	4.5
16	9	5
19	10	6
22	11	7
25	12	8

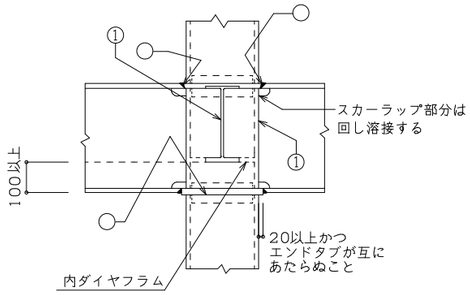
● フレアー溶接長は、鋼板に接する全長とする
● 9mm ～16mm は 1パス以上、19mm 以上は 2 パス以上とする
溶接棒角度θは 30°～40°とする

○溶接記号番号を○中に記入のこと

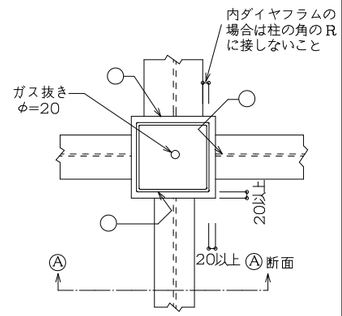
●BOX型（通しダイヤフラムの場合）



Ⓐ－Ⓐ 断面図

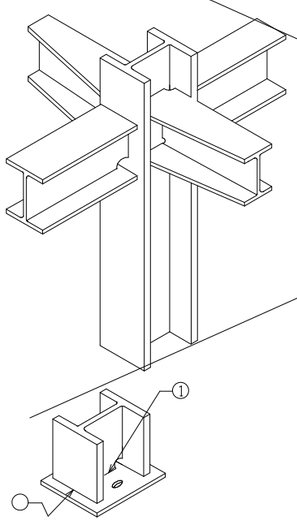


平面詳細

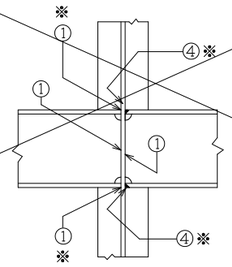


● 柱が途中で折れる場合
及梁成が異なる場合

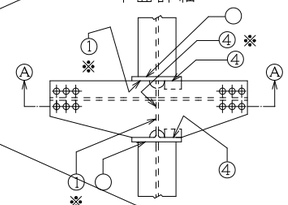
●B．H方式



Ⓐ－Ⓐ 断面図

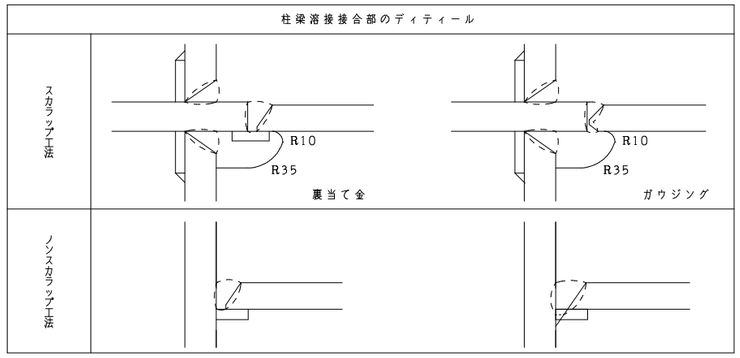


平面詳細



※ 全周すみ肉溶接又は突合せ（裏あて金付）

柱梁溶接接合部のディティール



一級建築士 第185692号 細川 武
構造設計一級建築士 第5784号

JOBNO

白石消防署庁舎建替工事【庁舎棟】 鉄骨構造標準図（１） S-004

DATE R7.10.7 SCAL (A1) 1/ N.S (A3) 1/ N.S DRAWN CHEK

株式会社 構 建築設計事務所 一級建築士 第 357230 号 永野ますみ

鉄骨構造標準図　（２）

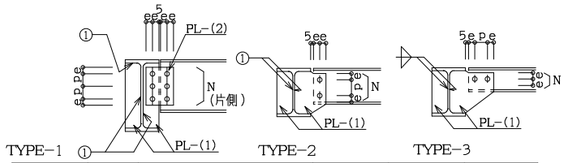
３．継手規準図、その他

（１）ボルトピッチ（P）、ボルト穴径・最小縁端距離
特記なき限り標準ピッチを使用する　(mm)

呼び	ボルト穴径	最小縁端距離（e） (1)	(2)	(3)	(2)(3)の標準	ピッチ（P） 最小	標準
M16	18.0	40	28	22	40	40	60
M20	22.0	50	34	26	40	50	60
M22	24.0	55	38	28	40	55	60
M24	26.0	60	44	32	45	60	70

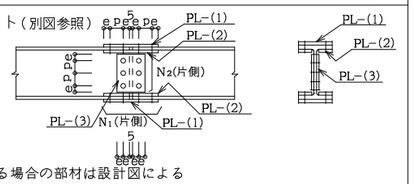
〔注〕(1)引張材の接合部で応力方向にボルトが３本以上並ばない場合の応力方向の縁端距離
(2)せん断縁・手動ガス切断縁の場合の縁端距離
(3)圧延縁・自動ガス切断縁・のこ引き縁・機械仕上縁の場合の縁端距離

（２）ピン接合梁継手リスト（別図参照）



符号	タイプ	部材	PL-(1)	PL-(2)	N-径

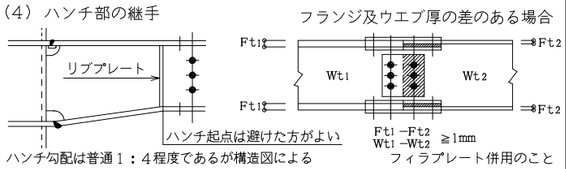
（３）剛接合継手リスト（別図参照）



注）　端部をＢＨとする場合の部材は設計図による

符号	部材	フランジ PL-(1)	PL-(2)	N1-径	ウエブ PL-(3)	N2-径

（４）ハンチ部の継手



ハンチ勾配は普通１：４程度であるが構造図による

（５）鉄筋ブレース　（JIS規格品とする・・・JISA5540～ 5542・・・1982 ）

（a）羽子板ボルト

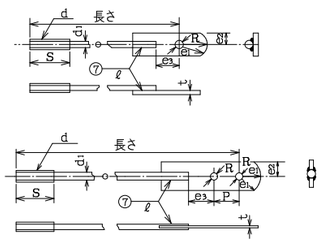
ねじの呼び（d）		M12	M14	M16	M18	M20	M22	M24
軸径 d_1	最大	10.81	12.65	14.65	16.33	18.33	20.33	21.99
	最小	10.64	12.46	14.46	16.11	18.11	20.11	21.77
調整ねじの長さ S		100	115	125	140	150	165	175
取付ボルト穴径 許容差 +0. −0.5mm R		13	17	17	21.5	21.5	23.5	21.5
はしあき（最小）(2) e_1		35	40	45	50	50	55	50
切板製	へりあき（最小）(1) e_2	22	28	28	34	34	38	38
	板厚 t	4.5	6	6	9	9	9	9
平鋼製	へりあき（最小）(1) e_2	19	25	25	32.5	32.5	37.5	37.5
	板厚 t	4.5	6	6	9	9	9	9
ボルト端から取付ボルト穴心のあき（最小） e_3		47	52	59	66	66	73	70
溶接長さ（最小） ℓ		40	50	55	60	75	85	85
取付ボルト(2)	種類	JIS B 1186　2種高力ボルト(F10T)又は JIS B 1180　中8g 10.9						
	ねじの呼び	M12	M16	M16	M20	M20	M22	M20
	本数	1	1	1	1	1	1	2

注（１）e_1、e_2 が確保されていれば形状は自由でよい
（２）羽子板とガセットプレートの接合は表に示す取付ボルトを使用し、一面せん断（支圧）接合とする

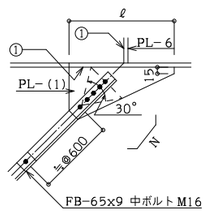
（b）形鋼ブレース

符号	部材	PL-(1)	N－径	ℓ

羽子板ボルト

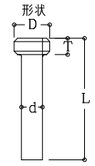


形鋼ブレース



（６）デッキプレート　（Ｓ－０８参照）
床剛性を考慮する合成床、合成梁のときは構造図参照

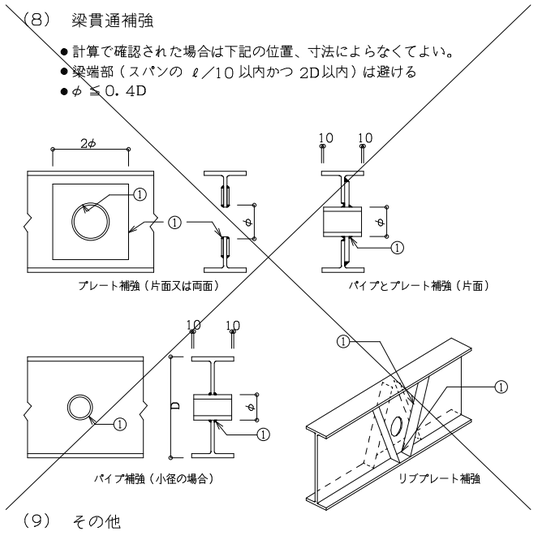
（７）頭付きスタッド（JIS1198）
スタッド材の標準形状・寸法



スタッド材 呼び名	軸径 d mm	頭径 D mm	頭高さ T mm	溶接後の長さ L mm
φ13mm	13.0 12.7	22.0 25.4	10.0 7.9	50, 80, 100, 130
φ16mm	16.0 15.8	≒29.0 31.7	10.0 7.9	80, 100, 130
φ19mm	19.0 19.0	32.0 31.7	10.0 9.5	80, 100, 130, 150
φ22mm	22.0 22.2	≒35.0 34.9	10.0 9.5	100, 130, 150

（８）梁貫通補強

- 計算で確認された場合は下記の位置、寸法によらなくてよい。
- 梁端部（スパンの ℓ／10 以内かつ 2D以内）は避ける
- φ ≦ 0.4D



（９）　その他

一級建築士　第185692号
構造設計一級建築士　第5784号
細川 武

JOBNO

白石消防署庁舎建替工事【庁舎棟】　鉄骨構造標準図（２）　S-005

DATE R7.10.7　SCAL (A 1) 1／N.S (A 3) 1／N.S　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号　永野ますみ

F.T.Pile構法 既製コンクリート杭（標準タイプ、各種既製コンクリート杭）BCJ評定-FD0141-06

■構法概要

1．本構法は、地震時の杭基礎の損傷低減を目的とした杭頭接合方法であり、既製コンクリート杭に用いる。

2．杭頭を基礎（パイルキャップ）へ50～150mmの範囲で埋め込み、埋め込み部分において杭外周部とパイルキャップの界面にテーパー状のクリアランスを設ける。

3．杭頭接合方法は、地震時に杭頭に引抜き力が作用しない箇所に適用する標準タイプと、引抜き力が作用する箇所にも適用できる引抜き対応タイプの２タイプがある。

■使用材料（適用範囲）

・杭　：　各種の既製コンクリート杭（PHC杭、SC杭、PRC杭、RC杭　等）

・杭径　：　300mm～1200mm

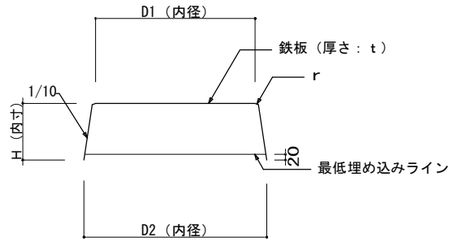
・コンクリート（基礎（パイルキャップ）部）　：　普通コンクリート　設計基準強度：18～60 N/mm

（法第37条第一号もしくは第二号に該当するコンクリート）

■施工手順

既製コンクリート杭の施工
（各種工法による）
↓
掘　　削
↓
基礎底地盤の整地
↓
杭芯・杭頭レベルの確認
↓
FTキャップの設置
（仮止めボルトによる固定）
↓
レベルコンクリートの打設
↓
仮止めボルトの撤去
↓
基礎の配筋・型枠
↓
基礎コンクリートの打設

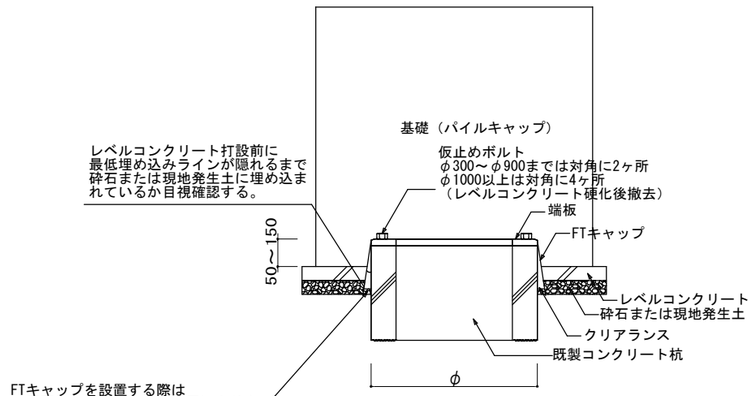
■FTキャップ（テーパー型枠）仕様



杭径：φ	鉄板厚さ：ｔ(mm)	D1(mm)	D2(mm)	H(mm)	r(mm)	W(kg)
300	1.2	301	345	201	2.0	1.8
350	1.2	351	395	201	2.0	2.3
400	1.2	401	445	201	2.0	2.7
450	1.2	451	495	201	2.0	3.2
500	1.2	501	545	201	2.0	3.8
600	1.6	601	645	201	2.0	7.2
700	1.6	701	745	201	2.0	9.0
800	2.0	801	845	201	2.0	13.8
900	2.0	901	945	201	2.0	17.4
1000	2.3	1001	1045	201	2.0	23.9
1100	3.2	1101	1145	201	2.0	38.6
1200	3.2	1201	1245	201	2.0	44.3

＊FTキャップの品質管理は製作工場で行われているため、施工時には下記の確認を行う。
・FTキャップに「FTP」の刻印があること。
・FTキャップに変形や損傷がないこと。

■杭頭部詳細図



＊図中の有効長は、ボタンヘッドの首下間の距離を表し、アンカー鋼棒の全長とは異なる。＊2

＊杭頭の基礎への埋込み深さは杭リストによる。

＊留意事項

・施工開始前に施工計画書を作成し、工事監理者の承認を得ること。
・F.T.Pile構法の施工は、FTキャップ設置前にパイルメーカーによる施工説明・指導を受けた後、実施する。
・FTPの刻印があるFTキャップ（テーパー型枠）を使用すること。
・FTキャップの受入時にはFTPの刻印と変形や損傷の有無を確認する。
・既製コンクリート杭の設置に先立ち、杭頭の端板のボルト孔に泥土が入らないように養生を行う。
・杭頭レベルの誤差が品質管理許容差を超えた場合には、工事監理者・設計者と協議のこと。
・FTキャップを設置する際は、杭周囲の砕石等のレベルが周辺よりも高くなっていないことを確認する。
・FTキャップ設置後に木槌等でFTキャップを軽打し、端板との間に小石・砂等により、浮き・隙間が生じていないか確認する。
・レベルコンクリート打設前にFTキャップの最低埋め込みラインが隠れるまで砕石または現地発生土に埋め込まれているか目視確認する。
・仮止めボルトは、レベルコンクリート硬化後に撤去する。
・FTキャップの上には原則として基礎配筋用のスペーサー等を置かないこと。
・施工完了後、施工結果を「施工チェックシート」に記録し、工事監理者に提出すること。

一級建築士　第185692号　細川 武
構造設計一級建築士　第5784号

JOBNO

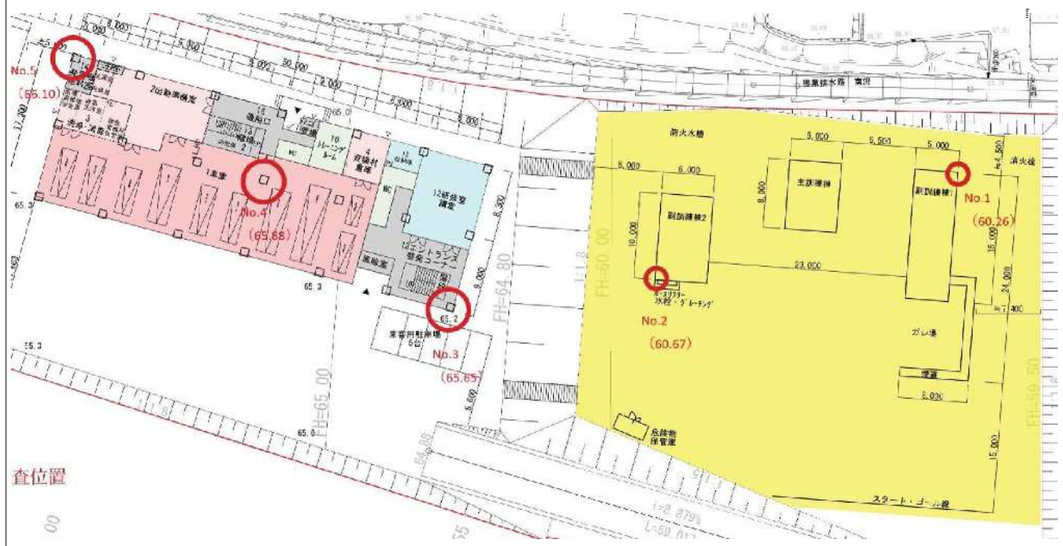
白石消防署庁舎建替工事【庁舎棟】　F.T.Pile構法 標準図　S-006

DATE R7.10.7　SCAL (A 1) 1/ N.S (A 3) 1/ N.S　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号　永野ますみ

ボーリング柱状図（１）

調査位置図



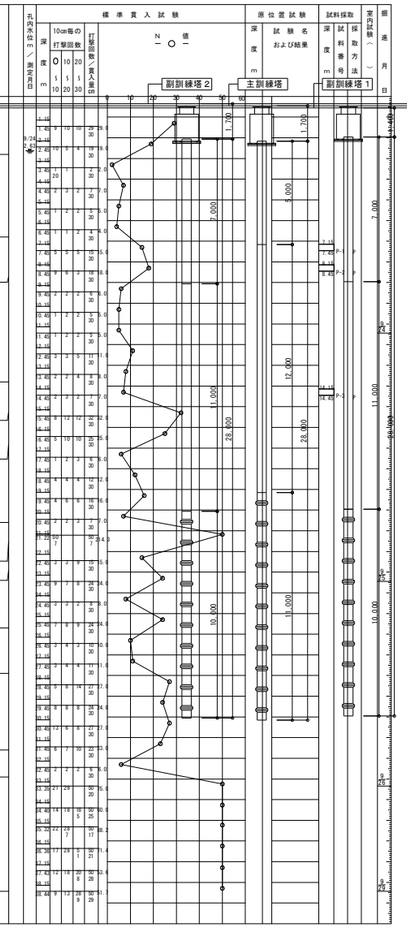
▽設計GL(TP+59.9)
▽設計GL(TP+59.8)
▽設計GL(TP+59.7)

調査名　白石消防署庁舎建替工事　　ボーリングNo.

事業・工事名

ボーリング名	No.1	調査位置	宮城県白石市大平中目字中田地内		シートNo. 北緯
発注機関	株式会社構建築設計事務所		調査期間	2025年9月24日～2025年9月29日	東経
調査業者名	セルテックエンジニアリング株式会社 電話（022-307-3103）	主任技師	現場代理人	コア 堀芝香 / 齊藤 貴	ボーリング責任者 齊藤 貴
孔口標高	TP +60.260m	角度 192° 上 / 下 0° 90°	方向 270° 西 / 90° 東 / 180° 南	地形図 / 縮尺 1/500	水平 0° / 縮尺 1/50	使用機種
総掘進長	38.44m					試錐機 カノーKR100HB / ハンマー落下用具 半自動落下
						エンジン ヤンマーTF90 / ポンプ カノーV5

標尺 m	標高 m	層厚 m	深度 m	柱図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
	59.90				盛土	暗灰			粘土混じり砂を主体とする。φ30～80mm程度の礫をやや多く混じる。含水はやや低い。
	58.50	1.40	1.40		盛土	暗灰			やや固結しているシルトである。細砂分をやや多く含む。上部は φ5～20mm程度の亜角礫を少量混じる。5.40mから砂分の含有がややすくなる。含水はやや低い。
	56.40	1.40	3.50		盛土	暗灰			粒径不均一な中～粗砂を主体とする。φ2～20mm程度の円～亜円礫を少量混じる。細砂含有は10%程度。礫質は安山岩の扁り礫が主体。含水は中位程度。
	54.40	1.40	5.50		盛土	暗灰			やや固結したシルトを主体とする。細砂分を少量含む。11.10m付近からシルト質砂を互層状に挟む。φ40mm程度の亜円礫が点在する。炭分類の有機物を微量混じる。含水は中位程度。
	52.40	1.40	7.50		シルト質砂	暗灰			粒径不均一な細～粗砂を主体とする。シルト分を多く含む。φ2～50mm程度の亜円～亜角礫を混じる。礫の含有は10%程度。
	50.40	1.40	9.50		細混じり砂	暗灰			粒径不均一な細～粗砂を主体とする。シルト分を多く含む。φ20～50mm程度の亜円～亜角礫を多く混じる。礫の含有は10%程度。
	48.40	1.40	11.50		細混じりシルト	暗灰～暗褐			やや固結したシルトを主体とする。φ1.90m付近からシルト質砂を互層状に挟む。φ20～30mm程度の亜円礫を少量混じる。
	46.40	1.40	13.50		砂礫	暗灰			マトリックスは粒径不均一な細～粗砂である。シルト分を多く含む。φ20～50mm程度の亜円～亜角礫を多く混じる。礫の含有は30%程度。
	44.40	1.40	15.50		砂質シルト	暗褐			固結したシルトを主体とする。細砂分を少量含む。含水は低い。
	42.40	1.40	17.50		細混じり砂	暗灰			粒径不均一な細～粗砂を主体とする。φ10mm程度の亜円礫を少量混じる。φ1.80～24.40mはシルト分が卓越する。含水は中位程度。
	40.40	1.40	19.50		細混じりシルト	灰～褐			やや固結したシルトを主体とする。細砂分を少量含む。φ10～40mm程度の亜円～亜角礫を少量混じる。含水は低い。
	38.40	1.40	21.50		細混じり砂	暗灰			粒径不均一な中～粗砂を主体とする。シルト分をやや多く含む。26.50mは薄状態のシルトを互層状に挟む。φ2～10mm程度の円～亜円礫を少量混じる。
	36.40	1.40	23.50		シルト質砂	暗灰			粒径不均一な細～中砂を主体とする。シルト分をやや多く含む。含水は中位程度。
	34.40	1.40	25.50		砂礫	暗灰			マトリックスは粒径不均一な細～粗砂である。シルト分をやや多く含む。φ10～50mm程度の亜円～亜角礫を多く混じる。礫の最大粒径はφ60mm程度。礫の含有は40%程度。礫質は安山岩が多い。

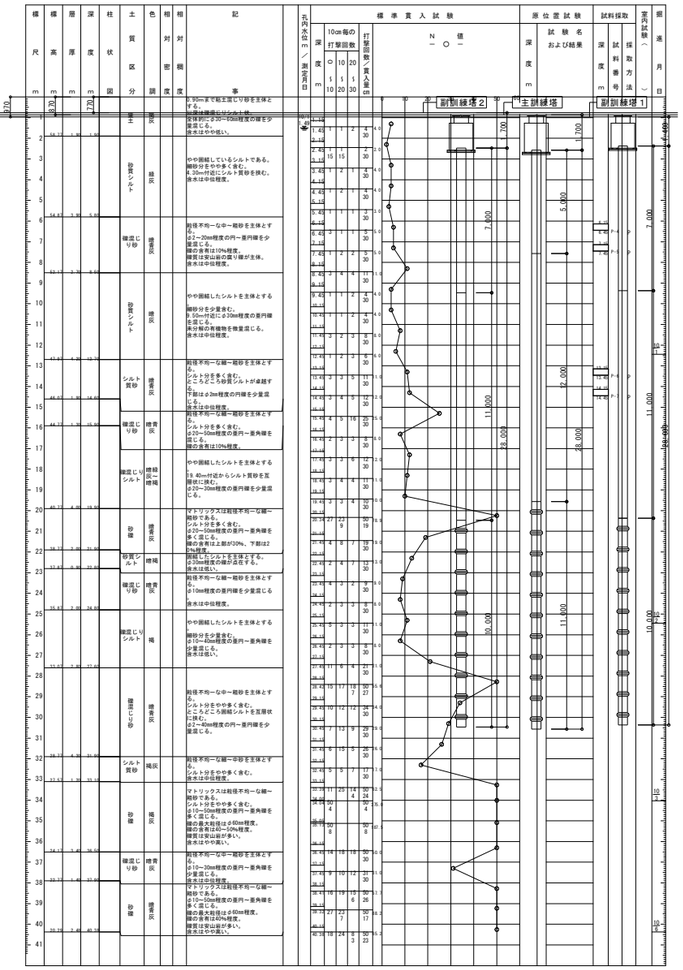


調査名　白石消防署庁舎建替工事　　ボーリングNo.

事業・工事名

ボーリング名	No.2	調査位置	宮城県白石市大平中目字中田地内		シートNo. 北緯
発注機関	株式会社構建築設計事務所		調査期間	2025年10月1日～2025年10月6日	東経
調査業者名	セルテックエンジニアリング株式会社	主任技師	現場代理人	コア 堀芝香 / 齊藤 貴	ボーリング責任者 齊藤 貴
孔口標高	TP +60.670m	角度 192° 上 / 下 0° 90°	方向 270° 西 / 90° 東 / 180° 南	地形図 / 縮尺 1/500	水平 0° / 縮尺 1/50	使用機種
総掘進長	40.38m					試錐機 カノーKR100HB / ハンマー落下用具 半自動落下
						エンジン ヤンマーTF90 / ポンプ カノーV5

標尺 m	標高 m	層厚 m	深度 m	柱図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
	60.70				盛土	暗灰			0.90mまで粗土混じり砂を主体とする。φ30mm程度までのシルト質礫を少量混じる。含水はやや低い。
	58.70	2.00	2.00		盛土	暗灰			やや固結しているシルトである。細砂分をやや多く含む。4.30m付近にシルト質砂を挟む。含水はやや低い。
	56.70	2.00	4.00		盛土	暗灰			粒径不均一な中～粗砂を主体とする。φ2～20mm程度の円～亜円礫を少量混じる。細砂含有は10%程度。礫質は安山岩の扁り礫が主体。含水は中位程度。
	54.70	2.00	6.00		盛土	暗灰			やや固結したシルトを主体とする。細砂分を少量含む。6.60m付近とφ20mm程度の亜円礫を混じる。炭分類の有機物を微量混じる。含水は中位程度。
	52.70	2.00	8.00		シルト質砂	暗灰			粒径不均一な細～粗砂を主体とする。シルト分を多く含む。ところどころ砂質シルトが卓越する。下部はφ30mm程度の円礫を少量混じる。含水は中位程度。
	50.70	2.00	10.00		細混じり砂	暗青灰			粒径不均一な細～粗砂を主体とする。シルト分を多く含む。φ10～30mm程度の亜円～亜角礫を混じる。礫の含有は10%程度。
	48.70	2.00	12.00		細混じりシルト	暗青灰～暗褐			やや固結したシルトを主体とする。3.40m付近からシルト質砂を互層状に挟む。φ20～30mm程度の亜円礫を少量混じる。
	46.70	2.00	14.00		砂礫	暗青灰			マトリックスは粒径不均一な細～粗砂である。シルト分を多く含む。φ10～30mm程度の亜円～亜角礫を多く混じる。礫の含有は20%程度。下部は礫の含有はφ30%。
	44.70	2.00	16.00		砂質シルト	暗褐			固結したシルトを主体とする。φ30mm程度の礫が点在する。含水は低い。
	42.70	2.00	18.00		細混じり砂	暗青灰			粒径不均一な細～粗砂を主体とする。φ10mm程度の亜円礫を少量混じる。含水は中位程度。
	40.70	2.00	20.00		細混じりシルト	褐			やや固結したシルトを主体とする。細砂分を少量含む。φ10～40mm程度の亜円～亜角礫を少量混じる。含水は低い。
	38.70	2.00	22.00		細混じり砂	暗青灰			粒径不均一な中～粗砂を主体とする。シルト分をやや多く含む。ところどころ砂質シルトを互層状に挟む。φ2～40mm程度の円～亜円礫を少量混じる。
	36.70	2.00	24.00		シルト質砂	暗灰			粒径不均一な細～中砂を主体とする。シルト分をやや多く含む。含水は中位程度。
	34.70	2.00	26.00		砂礫	暗灰			マトリックスは粒径不均一な細～粗砂である。シルト分をやや多く含む。φ10～50mm程度の亜円～亜角礫を多く混じる。礫の最大粒径はφ60mm程度。礫の含有は50%程度。礫質は安山岩が多い。含水はやや高い。
	32.70	2.00	28.00		細混じり砂	暗青灰			粒径不均一な中～粗砂を主体とする。φ10～30mm程度の亜円～亜角礫を少量混じる。含水は中位程度。
	30.70	2.00	30.00		砂礫	暗青灰			マトリックスは粒径不均一な細～粗砂である。シルト分をやや多く含む。φ10～50mm程度の亜円～亜角礫を多く混じる。礫の最大粒径はφ60mm程度。礫の含有は40%程度。礫質は安山岩が多い。含水はやや高い。



一級建築士　第185692号　細川 武
構造設計一級建築士　第5784号

JOBNO

白石消防署庁舎建替工事【庁舎棟】　ボーリング柱状図（１）　S-007

DATE R7.10.7　SCAL (A 1) 1/ N.S (A 3) 1/ N.S　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号　永野ますみ

ボーリング柱状図（２）

ボーリング柱状図

調査名　白石消防署庁舎建替工事

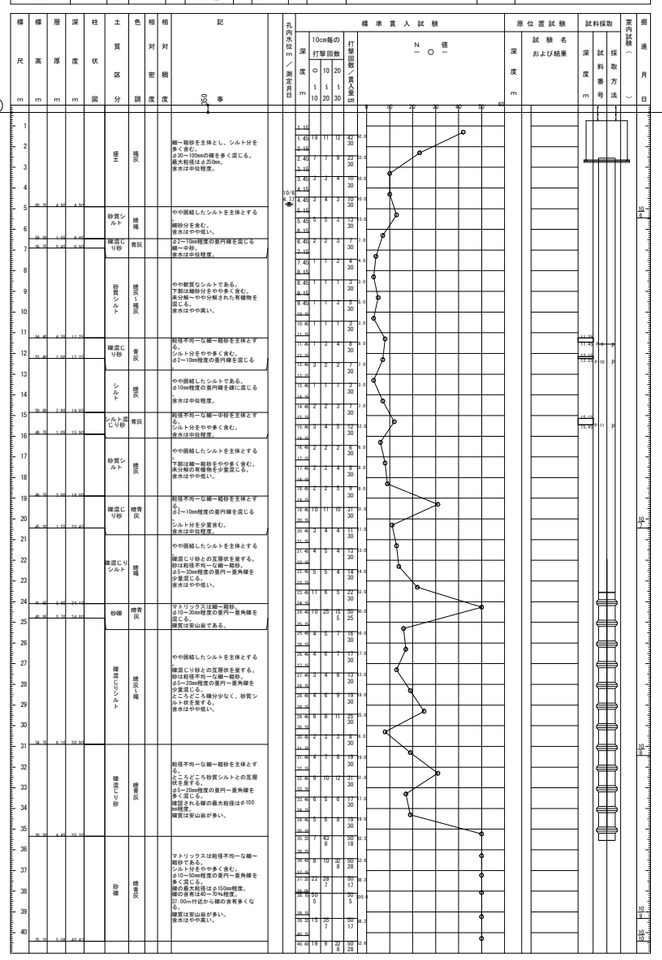
事業・工事名

ボーリングNo.

ボーリング名	No.3	調査位置	宮城県白石市大平中目字中田地内	北緯	
発注機関	株式会社横建築設計事務所		調査期間	2025年10月6日～2025年10月10日	東経
調査業者名	セルテックエンジニアリング株式会社 電話（022-307-3103）	主任技師	現場代理人	コア 鑑定者	ボーリング責任者 葉谷川 博
孔口標高	TP +65.60m	角度 180°上 0°下	方向 270°西 0°東 90°南 180°南	地形勾配 水平 0° 垂直 90°	使用機種
総掘進長	40.40m	エンジン	ヤンマーTF-V120E	試錐機	東邦D-1
		ポンプ	東邦SG-3	ハンマー落下用具	平自動落下

シート No.

庁舎棟
▽設計GL(TP+65.3)



ボーリング柱状図

調査名　白石消防署庁舎建替工事

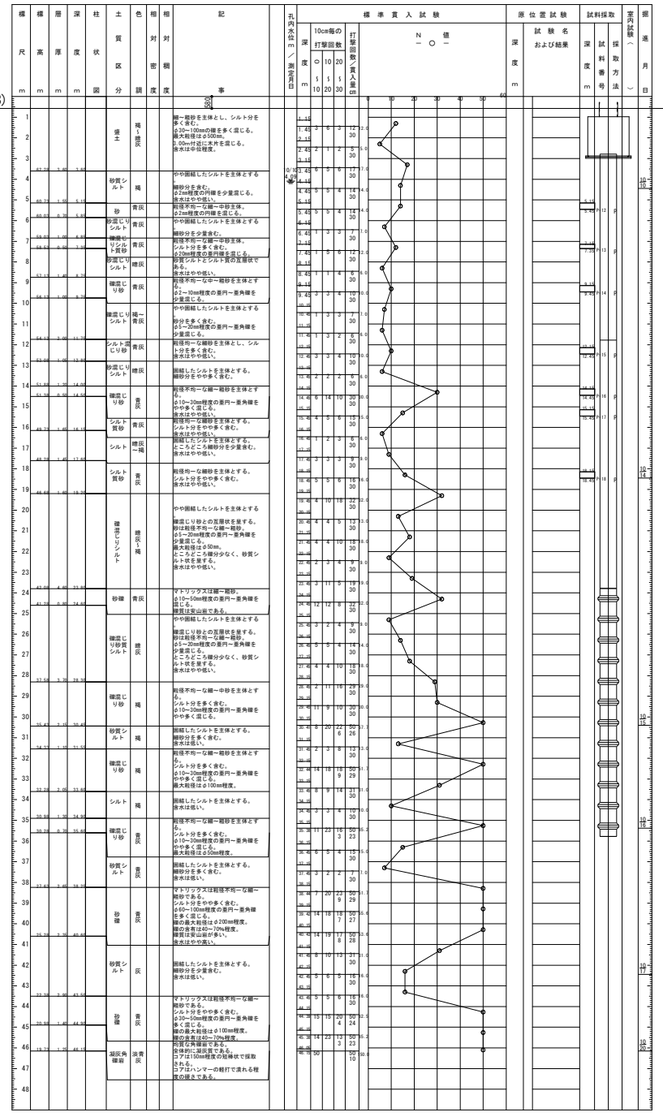
事業・工事名

ボーリングNo.

ボーリング名	No.4	調査位置	宮城県白石市大平中目字中田地内	北緯	
発注機関	株式会社横建築設計事務所		調査期間	2025年10月10日～2025年10月20日	東経
調査業者名	セルテックエンジニアリング株式会社 電話（022-307-3103）	主任技師	現場代理人	コア 鑑定者	齊藤 貴 ボーリング責任者 葉谷川 博
孔口標高	TP +65.880m	角度 180°上 0°下	方向 270°西 0°東 90°南 180°南	地形勾配 水平 0° 垂直 90°	使用機種
総掘進長	46.15m	エンジン	ヤンマーTF-V120E	試錐機	東邦D-1
		ポンプ	東邦SG-3	ハンマー落下用具	平自動落下

シート No.

庁舎棟
▽設計GL(TP+65.3)



ボーリング柱状図

調査名　白石消防署庁舎建替工事

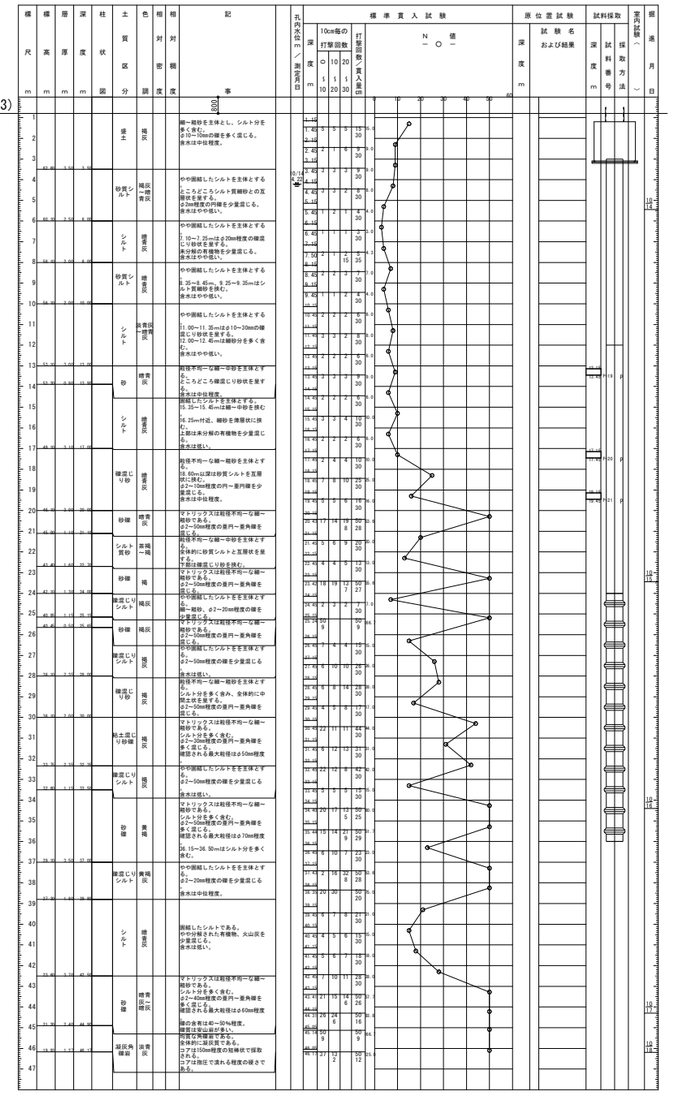
事業・工事名

ボーリングNo.

ボーリング名	No.5	調査位置	宮城県白石市大平中目字中田地内	北緯	
発注機関	株式会社横建築設計事務所		調査期間	2025年10月14日～2025年10月20日	東経
調査業者名	セルテックエンジニアリング株式会社 電話（022-307-3103）	主任技師	現場代理人	コア 鑑定者	齊藤 貴 ボーリング責任者 笥川 祐紀
孔口標高	TP +66.100m	角度 180°上 0°下	方向 270°西 0°東 90°南 180°南	地形勾配 水平 0° 垂直 90°	使用機種
総掘進長	46.17m	エンジン	ヤンマーTF-V120E	試錐機	東邦D-1
		ポンプ	東邦SG-3	ハンマー落下用具	平自動落下

シート No.

庁舎棟
▽設計GL(TP+65.3)



一級建築士　第185692号
構造設計一級建築士　第5784号　細川 武

JOBNO

白石消防署庁舎建替工事【庁舎棟】　ボーリング柱状図（２）

DATE R7.10.7　SCAL (A 1) 1／N.S (A 3) 1／N.S　DRAWN　CHEK　S-008

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号 永野ますみ

梁貫通孔補強材　ダイヤレンＮＳ設計・施工標準仕様書　BCJ評定-RC0124-09，BCJ評定-SS0056-02

コーリョー建販株式会社

2026.5.1作成

１．一般事項

（１）本仕様書は、ダイヤレンＮＳの標準仕様を定めるものであり、各設計における特記仕様は、本仕様書に優先して適用する。

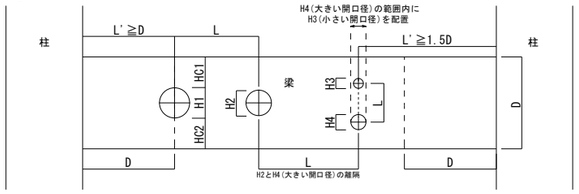
（２）本設計仕様に記載のない事項については、建築基準法・同施行令、（一財）日本建築センター及び（一社）日本建築学会の関連する諸指針や諸規準、ダイヤレンＮＳ技術マニュアル、及びダイヤレンＮＳを用いた基礎梁端部小開口の補強技術マニュアルによる。

２．使用材料・貫通孔の適用範囲

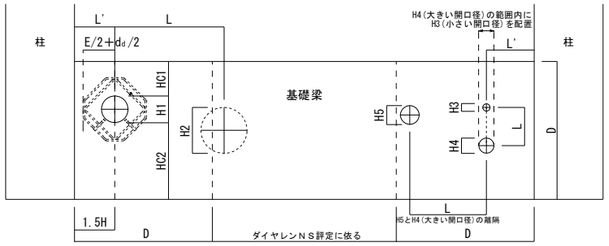
（１）各評定の適用範囲

	ダイヤレンＮＳ	ダイヤレンＮＳを用いた基礎梁端部小開口補強
評定番号	BCJ評定-RC0124-09	BCJ評定-SS0056-02
対象とする部材	鉄筋コンクリート造 及び鉄骨鉄筋コンクリート造の梁	有効な柱梁接合部に取り付く 非降伏の基礎梁及び地下階の梁※1
コンクリート	Fc＝21N/mm²～100N/mm²	
鉄筋	主筋　　：基準強度295～490N/mm²のJIS鉄筋、490を超え685N/mm²以下の大臣認定品 あばら筋　：基準強度295～490N/mm²のJIS鉄筋、490を超え1275N/mm²以下の大臣認定品 ダイヤレンＮＳ：KSS785-K（MSRB-0004）、MK785（MSRB-0067）	
梁せい（D）	－	D≧750mm
開口形状	円形または多角形とする（多角形の場合はその外接円を開口とみなす）	
開口径(外径)（H）	H≦750mm　かつ　H≦D/3	H＜350mm　かつ　H≦D/5
上下に複数開口を設ける場合の合計径（ΣH）	ΣH≦D/3	ΣH≦D/3.75
柱際から開口中心までの距離（L'）	L'≧D 上下に複数開口を設ける場合はL'≧1.5D	L'＜D　かつ　L'≧1.5H　かつ L'≧E/2+d_d/2
隣接する開口の水平及び鉛直方向中心間距離（L）	隣接する開口径の平均値の3倍以上 （隣接する開口が縦並び開口の場合、縦並び開口の一番大きい径との平均値の3倍以上とする）	
へりあき（HC1,HC2）	HC1,HC2≧製品サイズによる最小寸法（下式） (E-H)/2+d_d/2+d_w+t_c E：ダイヤレンＮＳのE寸法 d_d：ダイヤレンＮＳの鉄筋の呼び径 d_w：あばら筋の呼び径 t_c：コンクリートのかぶり厚さ(40mm以上)	HC1,HC2≧製品サイズによる最小寸法 かつ　HC1,HC2≧D/4※2 ※2 γ≧0.6 かつ pt≦1.0%を満足する場合、 ・D/4＞400mmのとき、HC≧400mm ・H≦D/10かつH＜150mmのとき、HC≧250mm γ：複筋比　pt：引張鉄筋比

【RC0124-09】



【SS0056-02】



※1 ダイヤレンＮＳを用いた基礎梁端部小開口補強［BCJ評定-SS0056-02］の対象とする部材

①及び②に適合する基礎梁を対象とする。なお、本評定[BCJ評定-SS0056-02]は基礎梁を対象としているが、構造計算上地下部分として扱う地下階の鉄筋コンクリート造及び鉄骨鉄筋コンクリート造の梁に適用することができる。

①非降伏の鉄筋コンクリート造の基礎梁

非降伏の基礎梁とは、大地震時に設計上曲げ降伏せず、かつ、せん断破壊しない基礎梁をいう。

②有効な柱梁接合部に取り付く基礎梁

- 鉄筋コンクリート造の柱梁接合部に取り付く基礎梁を対象とする。壁式鉄筋コンクリート造の場合は、壁柱と基礎梁の接合部を鉄筋コンクリート造の柱梁接合部とみなす。
- 鉄骨造建築物の基礎梁は、告示※3に従って設計された柱脚（露出形式・根巻き形式・埋込み形式）または評定等を取得した柱脚工法の基礎柱型※4に取り付くものを対象とする。
- 木造建築物の基礎梁は、鉄筋コンクリート造の柱梁接合部または基礎柱型※4に取り付くものを対象とし、小規模木造の基礎梁(木造住宅等の布基礎及びべた基礎等の基礎梁)は対象外とする。

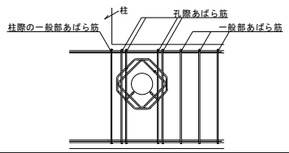
※3 平成12年建設省告示第1456号

※4 基礎柱型の配筋は、評定等を取得した工法を用いる場合はその規定に従うとともに、主筋及び帯筋が配筋されたものとする。

３．仕様規定

（１）ダイヤレンＮＳの使用枚数は、開口１箇所当たり２枚以上とする。

（２）柱際には、孔際あばら筋の他、少なくとも１組の一般部あばら筋（第一あばら筋）を配筋する。［SS0056-02］



４．開口部あばら筋の配筋要領

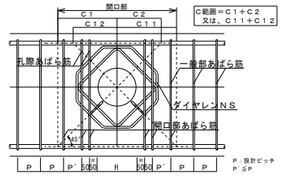
（１）開口部に配筋されるあばら筋の組数は、開口が無いとした場合に配置されるあばら筋組数以上とする。

（２）孔際あばら筋は、一般部あばら筋と同径以上かつ同鋼種とする。［SS0056-02］

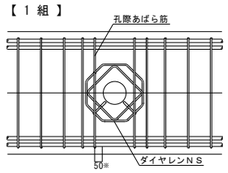
（３）孔際あばら筋の組数は、下表の標準組数以上とする。

【開口に対して片側に配置する孔際あばら筋の標準組数】

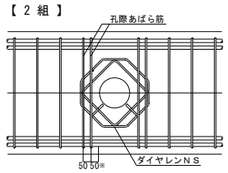
開口径	一般部あばら筋比（p_w）	
	1%未満	1%以上
H＜150	1組	2組
150≦H＜300	2組	3組
300≦H	3組	3組



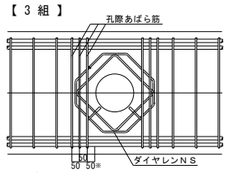
【１組】



【２組】



【３組】



※必要なかぶり厚さを確保した位置とし、標準は50mmとする。

５．開口部上下補強要領（350φ以上の場合）

（１）開口の左右に配筋する1組目の孔際あばら筋の間隔が梁せいの1/2以上または450mm以上（開口径で350mm以上）になる場合は、開口部上下補強筋と水平補強筋により主筋を拘束するための補強を行う。

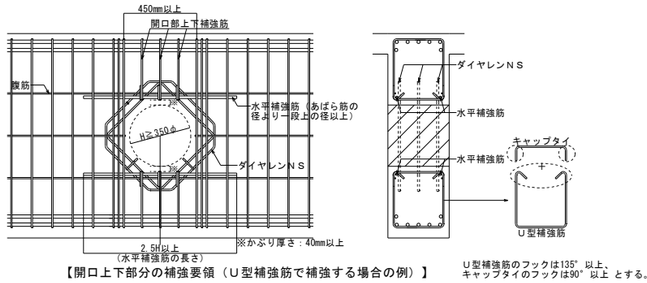
ただし、水平力による応力を負担しない梁（小梁等）の場合は梁せいの1/2は考慮しなくともよい。

（２）開口部上下補強筋は、一般部あばら筋と同径以上かつ同鋼種とし、一般部あばら筋のピッチ以下となるように配筋する。

（丸鋼及びインデントは不可）

（３）形状にはコ型・Ｕ型・Π型等があり、コ型補強筋の梁主筋側の重ね長さは「梁幅-2×かぶり厚さ」または35d以上とし、水平補強筋側（梁内側）の重ね長さは12d以上とする。ただし、梁幅が400mm未満もしくはコ型補強筋の梁主筋側重ね長さが25d（dは鉄筋の呼び径）以下の場合は、Ｕ型またはΠ型の形状で補強を行う。

（４）水平補強筋は、一般部あばら筋より1段上の径以上とし（SD295A程度）、開口径の2.5倍以上の長さとする。



【開口上下部分の補強要領（Ｕ型補強筋で補強する場合の例）】

Ｕ型補強筋のフックは135°以上、キャップタイのフックは90°以上 とする。

６．施工要領例

（１）型枠上に開口の位置と開口径等を墨出しする。

（２）補強設計上必要な孔際あばら筋と一般部あばら筋を配筋する。孔際あばら筋は、1組目は必要なかぶり厚さを確保した所定の位置に配置し、2組目以降はそれぞれ50mmピッチで配筋する。孔際あばら筋と一般部あばら筋の間隔は、設計ピッチ以下とする。

（３）孔際あばら筋を配筋するのが困難な場合は、束ね配筋にすることができる。

（束ね配筋は、2組までは束ねることができるが、3組以上は束ねてはならない。）

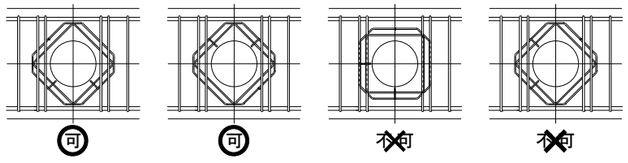
（４）ダイヤレンＮＳを左右の孔際あばら筋の間から挿入し、孔際あばら筋等に4か所以上結束する。

（５）スリーブをダイヤレンＮＳのスリーブ受け筋にセットし、針金等で固定する。

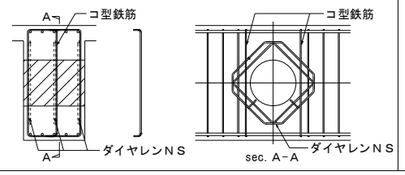
（６）開口部周囲のそれぞれの鉄筋のかぶり厚さが適正に確保されていることを確認する。

７．施工における注意事項

（１）ダイヤレンＮＳはあばら筋に対して斜め45度の傾きをもって必要な耐力が期待できるため、下図の「可」の向きになるように施工すること。



（２）補強設計によって中子筋が無い梁に対して3枚以上のダイヤレンＮＳが必要になった場合は、右図のようにコ型鉄筋等を開口の左右にそれぞれ1本以上配筋し、この鉄筋にダイヤレンＮＳを結束して固定する。



８．ダイヤレンＮＳ標準製品寸法表

（特記外単位：mm）

スリーブ径（対応径）	型	サイズ	寸法 A	B	C	D	E	F	形状	重量(kgf/枚)	Ho
100φ（H≦115）	Ⅰ	6	205	115	127	45	289	45	①	0.55	204
	Ⅱ	8	205	115	127	45	289	45	①	0.85	205
	Ⅲ	10	205	95	155	55	289	45	②	1.14	206
	Ⅳ	13	210	80	183	65	296	48	②	2.01	211
	Ⅴ	16	230	100	183	65	325	55	③	3.46	227
	Ⅴ-3R	16	230	154	237	65	455	57	⑤	6.14	292
125φ（H≦141）	Ⅰ	6	230	140	127	45	325	45	①	0.60	222
	Ⅱ	8	230	140	127	45	325	45	①	0.94	223
	Ⅲ	10	235	125	155	55	332	48	②	1.27	227
	Ⅳ	13	240	110	183	65	339	50	②	2.26	232
	Ⅴ	16	240	110	183	65	339	50	③	3.57	234
	Ⅴ-3R	16	240	164	237	65	469	49	⑤	6.31	299
150φ（H≦166）	Ⅰ	6	255	165	127	45	360	45	①	0.66	239
	Ⅱ	8	255	165	127	45	360	45	①	1.03	240
	Ⅲ	10	260	150	155	55	367	47	②	1.38	245
	Ⅳ	13	260	130	183	65	367	47	②	2.41	246
	Ⅴ	16	265	135	183	65	374	50	③	3.88	251
	Ⅴ-3R	16	265	189	237	65	504	49	⑤	6.78	316
175φ（H≦191）	Ⅰ	6	280	190	127	45	395	45	①	0.71	257
	Ⅱ	8	280	190	127	45	395	45	①	1.12	258
	Ⅲ	10	285	175	155	55	403	47	②	1.50	263
	Ⅳ	13	285	155	183	65	403	47	②	2.61	264
	Ⅴ	16	290	160	183	65	410	50	③	4.19	269
	Ⅴ-3R	16	290	214	237	65	540	49	⑤	7.25	334
200φ（H≦216）	Ⅰ	6	305	215	127	45	431	45	①	0.77	275
	Ⅱ	8	305	215	127	45	431	45	①	1.20	276
	Ⅲ	10	310	200	155	55	438	47	②	1.61	280
	Ⅳ	13	310	180	183	65	438	47	②	2.81	282
	Ⅴ	16	320	190	183	65	452	50	③	4.57	290
	Ⅴ-3R	16	320	244	237	65	582	52	⑤	7.82	355
250φ（H≦270）	Ⅰ	6	360	270	127	45	509	45	①	0.89	314
	Ⅱ	8	360	270	127	45	509	45	①	1.40	315
	Ⅲ	10	360	250	155	55	509	45	②	1.83	316
	Ⅳ	13	370	240	183	65	523	50	②	3.29	324
	Ⅴ	16	370	210	226	80	523	50	②	5.31	326
	Ⅴ-3R	16	370	276	292	80	683	50	④	9.11	406
300φ（H≦320）	Ⅰ	6	410	320	127	45	579	45	①	1.01	349
	Ⅱ	8	410	320	127	45	579	45	①	1.57	350
	Ⅲ	10	410	300	155	55	579	45	②	2.05	351
	Ⅳ	13	420	290	183	65	593	50	②	3.69	359
	Ⅴ	16	420	260	226	80	593	50	②	5.93	361
	Ⅴ-3R	16	420	326	292	80	753	50	④	10.04	441
350φ（H≦370）	Ⅰ	6	460	370	127	45	650	45	①	1.12	384
	Ⅱ	8	460	370	127	45	650	45	①	1.75	385
	Ⅲ	10	460	350	155	55	650	45	②	2.28	386
	Ⅳ	13	470	340	183	65	664	50	②	4.09	395
	Ⅴ	16	470	310	226	80	664	50	②	6.55	396
	Ⅴ-3R	16	470	376	292	80	824	50	④	10.98	476
400φ（H≦420）	Ⅰ	8	510	420	127	45	721	45	①	1.92	421
	Ⅱ	10	510	400	155	55	721	45	②	2.50	422
	Ⅲ	13	520	390	183	65	735	50	②	4.48	430
	Ⅳ	16	530	370	226	80	749	55	②	7.31	439
	Ⅳ-3R	16	530	436	292	80	909	55	④	12.11	519
450φ（H≦470）	Ⅰ	8	560	470	127	45	791	45	①	2.10	456
	Ⅱ	10	560	450	155	55	791	45	②	2.73	457
	Ⅲ	13	570	440	183	65	806	50	②	4.88	466
	Ⅳ	16	580	420	226	80	820	55	②	7.94	474
	Ⅳ-3R	16	580	486	292	80	980	55	④	13.04	554
500φ（H≦520）	Ⅱ	10	610	500	155	55	862	45	②	2.95	492
	Ⅲ	13	620	490	183	65	876	50	②	5.28	501
	Ⅳ	16	630	470	226	80	890	55	②	8.56	509
	Ⅳ-3R	16	630	536	292	80	1050	55	④	13.98	589
550φ（H≦570）	Ⅱ	10	660	550	155	55	933	45	②	3.17	528
	Ⅲ	13	670	540	183	65	947	50	②	5.68	536
	Ⅳ	16	680	520	226	80	961	55	②	9.18	545
	Ⅳ-3R	16	680	586	292	80	1121	55	④	14.92	625
600φ（H≦630）	Ⅱ	10	720	610	155	55	1018	45	②	3.44	570
	Ⅲ	13	730	600	183	65	1032	50	②	6.16	579
	Ⅳ	16	750	590	226	80	1060	60	②	10.07	594
	Ⅳ-3R	16	750	656	292	80	1220	60	④	16.24	674
650φ（H≦680）	Ⅱ	10	770	660	155	55	1088	45	②	3.67	605
	Ⅲ	13	780	650	183	65	1103	50	②	6.55	614
	Ⅳ	16	800	640	226	80	1131	60	②	10.69	630
	Ⅳ-3R	16	800	706	292	80	1291	60	④	17.17	710
700φ（H≦730）	Ⅱ	10	820	710	155	55	1159	45	②	3.89	641
	Ⅲ	13	830	700	183	65	1173	50	②	6.95	649
	Ⅳ	16	850	690	226	80	1202	60	②	11.32	665
	Ⅳ-3R	16	850	756	292	80	1362	60	④	18.11	745
750φ（H≦750）	Ⅱ	10	870	760	155	55	1230	45	②	4.11	676
	Ⅲ	13	880	750	183	65	1244	50	②	7.35	685
	Ⅳ	16	900	740	226	80	1272	60	②	11.94	700
	Ⅳ-3R	16	900	806	292	80	1432	60	④	19.05	780

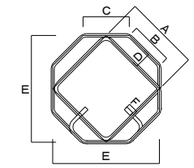
※対応径は、スリーブ面とダイヤレンＮＳ内リング筋の内側面までのかぶり厚さを40mmとした場合の開口外径

※表中Hoは、かぶり厚さ40mm、あばら筋16mmとした場合の梁上下端から開口芯までの距離

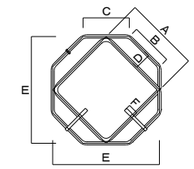
※寸法は、鉄筋の芯－芯間とする

【ダイヤレンＮＳ　標準形状】

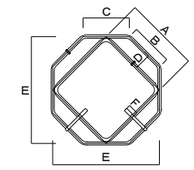
①一筆型（2重リング）



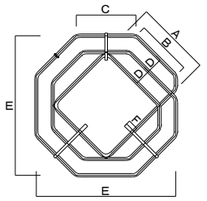
②1箇所溶接型（2重リング）



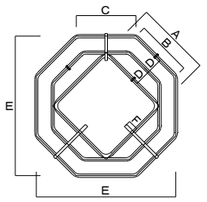
③2箇所溶接型（2重リング）



④1箇所溶接型（3重リング）



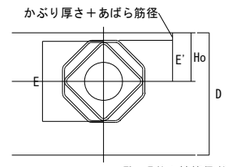
⑤3箇所溶接型（3重リング）



【へりあきの最小寸法】

ダイヤレンＮＳを使用した場合の梁上下端から開口芯までの距離（Ho）を左表に示す。

（かぶり厚さ40mm、あばら筋径を16mmと仮定した数値）



E'＝E/2＋鉄筋径/2

Ho＝かぶり厚さ＋あばら筋径＋E'

【型式の表記について】

V-3R　⇒　V（型式）-3R（リング形状※）

※リング形状は「2R（2重リング）」と「3R（3重リング）」（上記の形状①～⑤）があり、3Rの表記以外は2Rとする。

一級建築士　第185692号　構造設計一級建築士　第5784号　細川 武

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号 永野ますみ

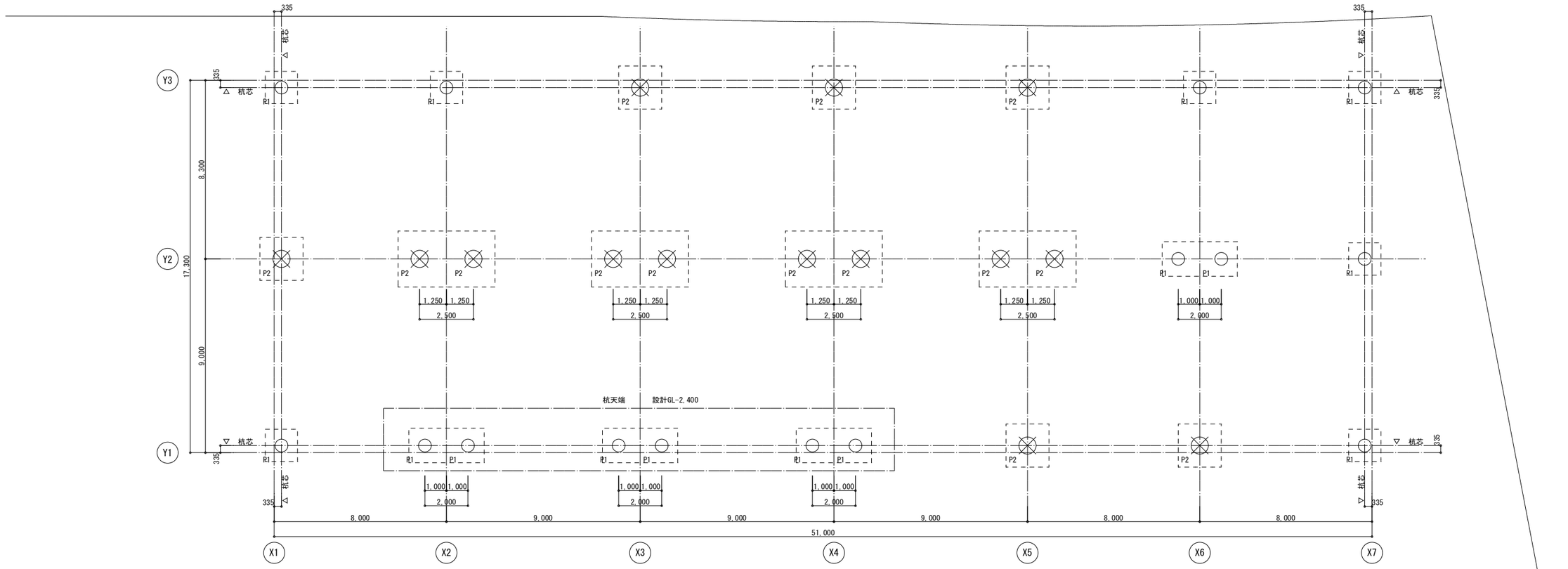
JOBNO

白石消防署庁舎建替工事【庁舎棟】

ダイヤレンNS 設計・施工標準仕様書

DATE R7.10.7　SCAL (A 1) 1/ N.S (A 3) 1/ N.S　DRAWN　CHEK

S-009



杭 伏図

S=1/100

(設計GL:FH=65.3)

特記なき限り 下記による。

1. 杭天端 設計GL-2,200

杭について（庁舎棟）			
工 法	Hyper-MEGA工法(プレボーリング拡大根固め工法)		
	TACP-0529(粘土質地盤)		
	杭頭部 F.T.Pile工法(BCJ評定-FD0141-06)		
符号	P1	P1	P2
記号	○	○	⊗
杭径	φ600,6080	φ600,6080	φ800,80100
杭種 上杭	MAS105_600-B種-W1	MAS105_600-B種-W1	MAS_800-B種
	9.0m	9.0m	9.0m
中杭	MAS_600-A種	MAS_600-A種	MAS_800-A種
	12.0m	12.0m	12.0m
下杭	MF_6080-A種	MF_6080-A種	MF_80100-A種
	12.0m	12.0m	12.0m
杭耐力(kN／本)	2,646	2,646	3,512
杭長	33.0m	33.0m	33.0m
杭本数	9 本	6 本	14 本
杭天端	設計GL-2,200	設計GL-2,400	設計GL-2,200

Y
X

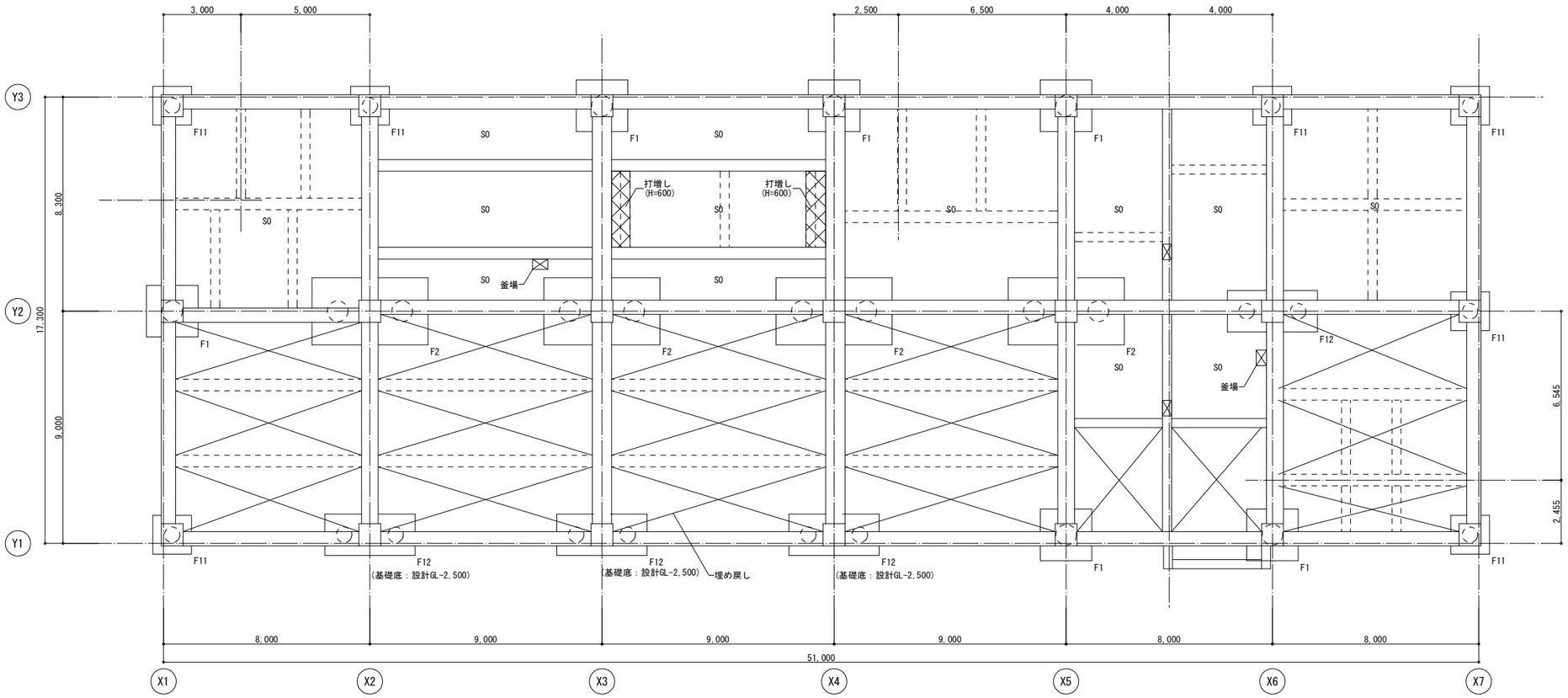
一級建築士 第185692号
構造設計一級建築士 第5784号 細川 武

JOBNO

白石消防署庁舎建替工事【庁舎棟】 杭伏図 S-010

DATE R7.10.7 SCAL (A 1) 1／100 (A 3) 1／200 DRAWN CHEK

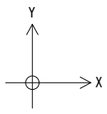
株式会社 構 建築設計事務所 一級建築士 第 357230 号 永野ますみ



基礎（ピット）伏図　S=1/100　(1FL=設計GL+150)

特記なき限り、下記による。

1. 土間天端　1FL-1,860
2. ☒ 印：釜場 400x600xH300 を示す。
3. 基礎底　1FL-2,450(＝設計GL-2,300)



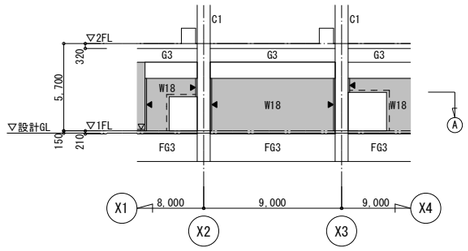
一級建築士　第185692号
構造設計一級建築士　第5784号　細川 武

JOBNO

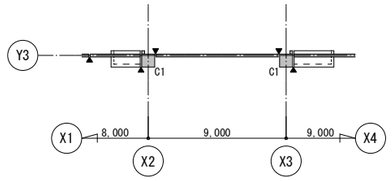
白石消防署庁舎建替工事【庁舎棟】　基礎（ピット）伏図　S-012

DATE R7.10.7　SCAL (A 1) 1／100 (A 3) 1／200　DRAWN　CHEK

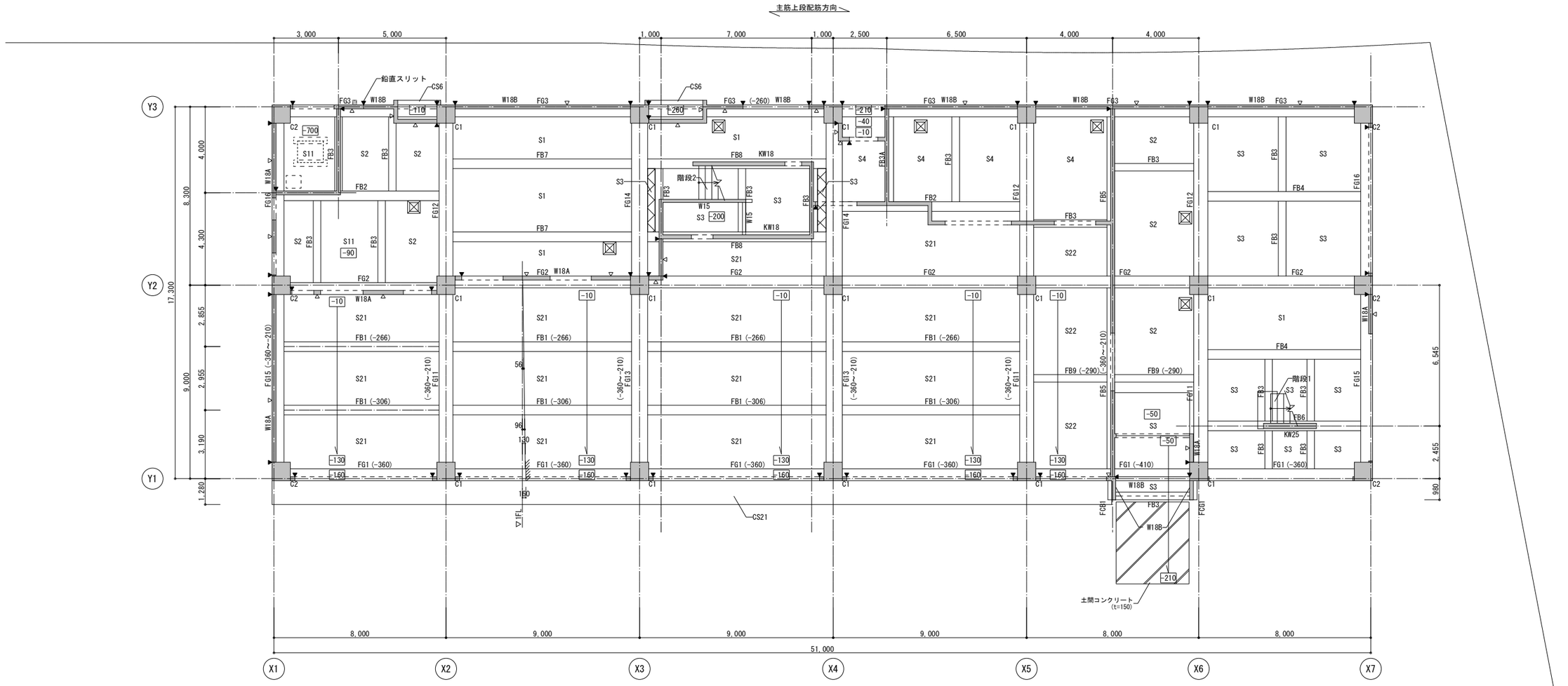
株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号　永野ますみ



Y3 通　S=1/200



Ⓐ断面　S=1/200

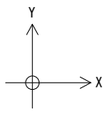


1階伏図　S=1/100

(1FL=設計GL+150)

特記なき限り、下記による。

1. 床版天端　1FL-10
2. 地中梁天端　1FL-210
3. (　)内数字は 1FLからの地中梁天端レベルを示す。
4. 数字 は 1FLからの床天端レベルを示す。
5. 壁　:　W18
6. ▨ 印は 打増しを示す。
7. ▧ 印 : 1FL-**, ▨ 印 : 1FL-***
8. ▼ 印は 鉛直スリットを示す。
9. ▽ 印は 水平スリットを示す。
10. ⊠ 印は 床開口(600x300)を示す。
11. ⊠ 印は 床下点検口(600×600)を示す。



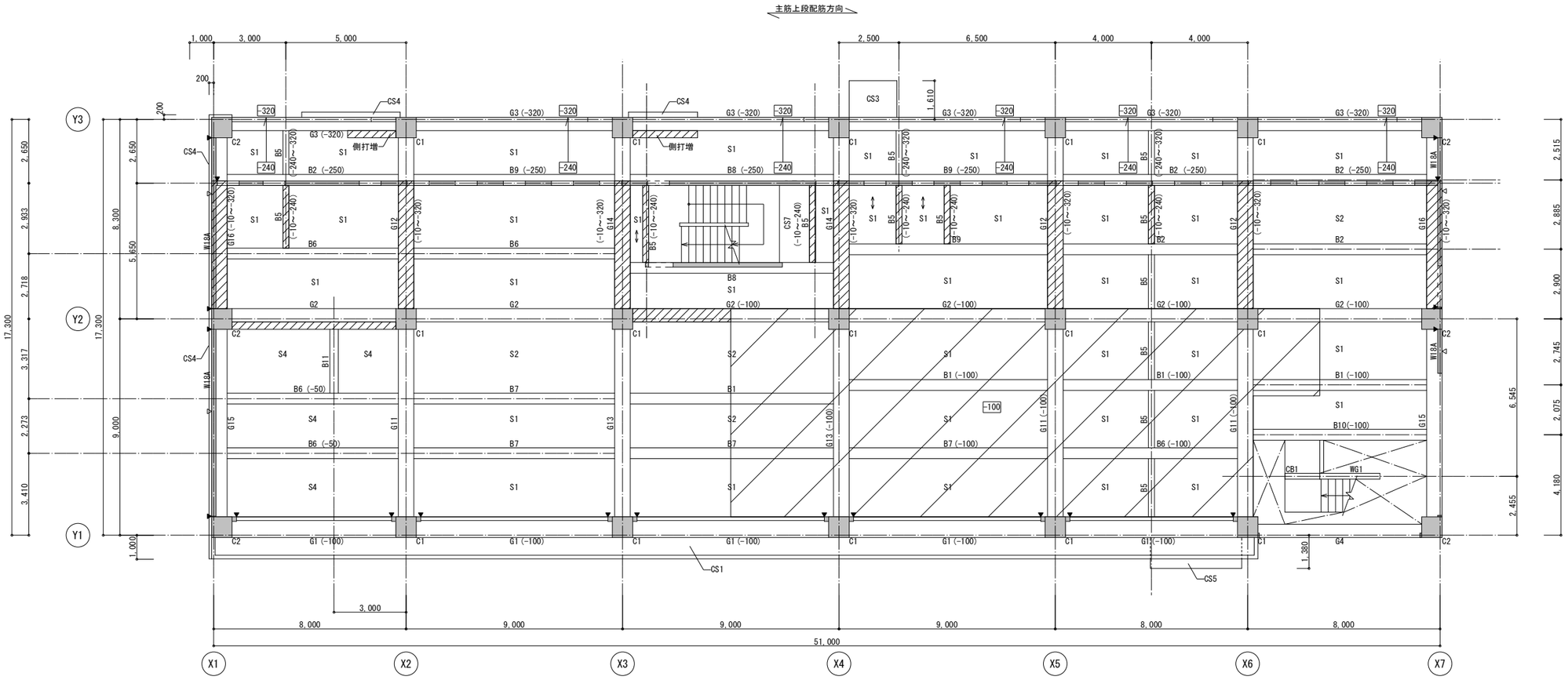
一級建築士　第185692号
構造設計一級建築士　第5784号
細川 武

JOBNO

白石消防署庁舎建替工事【庁舎棟】　1階伏図　S-013

DATE R7.10.7　SCAL (A 1) 1/100 (A 3) 1/200　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号 永野ますみ

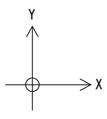


２階伏図

S=1/100

特記なき限り、下記による。

1. 床版天端　　2FL-10
2. 梁天端　　2FL-10
3. (　)内数字、2FLからの梁天端レベルを示す。
4. 数字 は 2FLからの床天端レベルを示す。
5. 壁　：　W18
6. ▨ 印は 打増しを示す。
7. ▧ 印：1FL-50
8. ▼ 印は 鉛直スリットを示す。
9. ▽ 印は 水平スリットを示す。
10. ⊠ 印は 床開口(600x300)を示す。
11. ↕ 印は スラブ配筋の主筋方向（上端配筋）を示す。



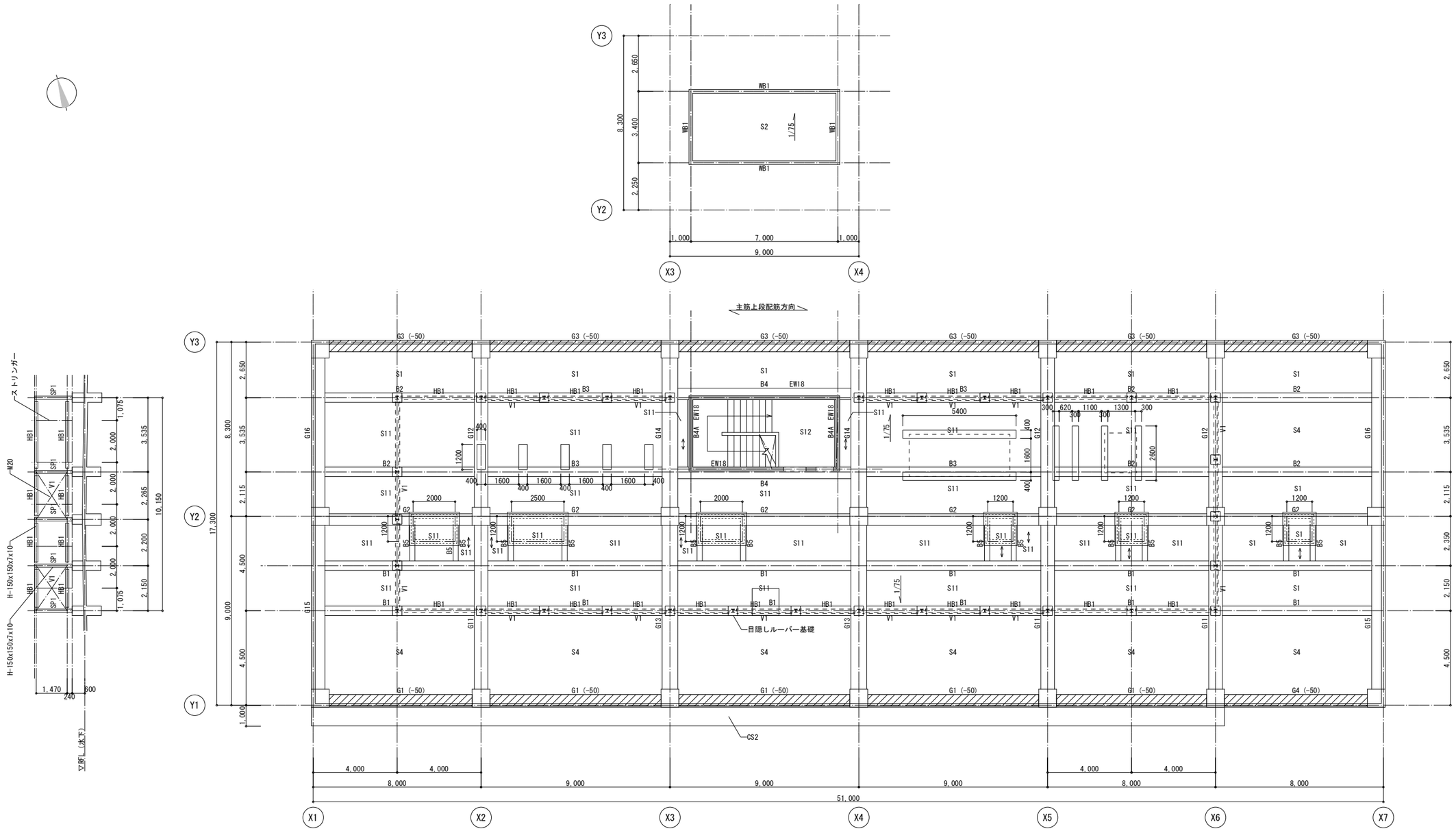
一級建築士　第185692号
構造設計一級建築士　第5784号　細川 武

JOBNO

白石消防署庁舎建替工事【庁舎棟】　2階伏図　S-014

DATE R7.10.7　SCAL (A 1) 1／100 (A 3) 1／200　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号　永野ますみ



R階伏図　S=1/100

特記なき限り　下記による。

1. 屋根水勾配は躯体でとる。
2. 数字 は RFLからの床天端レベルを示す。
3. ▨ 印は 打増しを示す。
4. （　）内数字　RFL（水下）からの梁天端レベルを示す。
5. ↕ 印は スラブ配筋の主筋方向（上端配筋）を示す。

一級建築士　第185692号
構造設計一級建築士　第5784号　細川 武

JOBNO

白石消防署庁舎建替工事【庁舎棟】　R・PHR階伏図　S-015

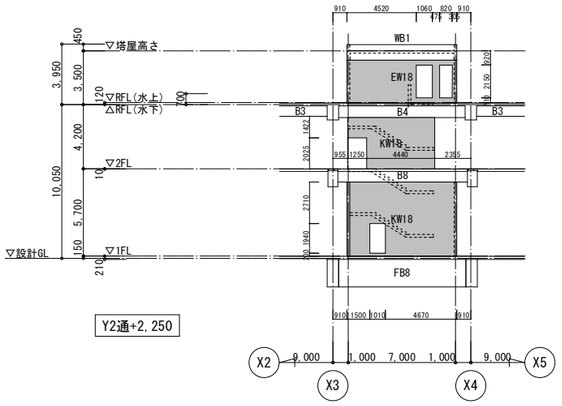
DATE R7.10.7　SCAL (A 1) 1/ 100 (A 3) 1/ 200　DRAWN　CHEK

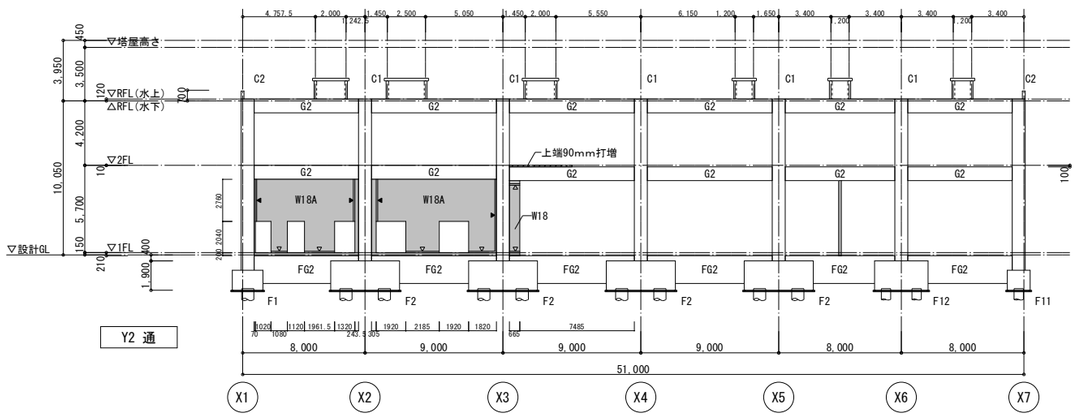
株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号　永野ますみ

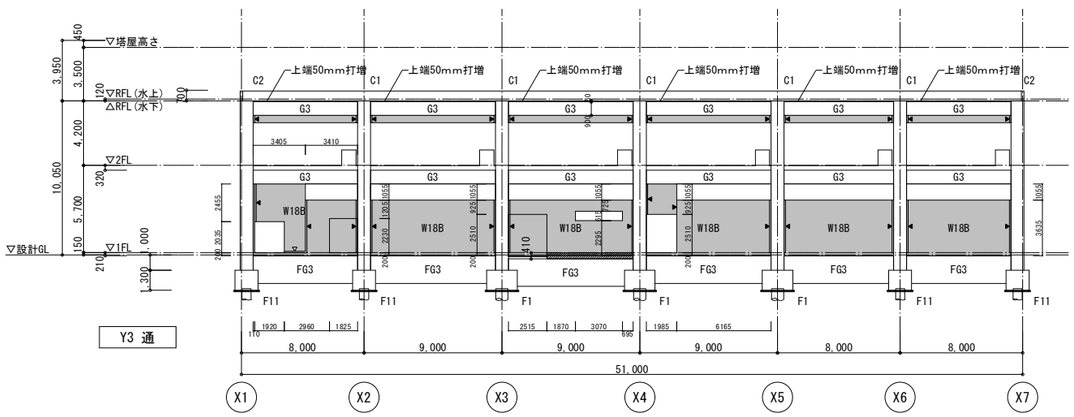
軸組図(1)　S=1/200

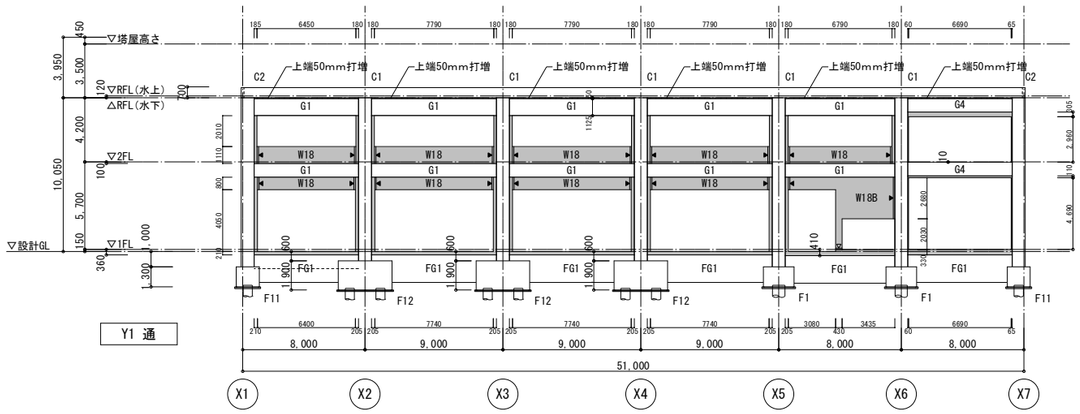
特記なき限り 下記による。

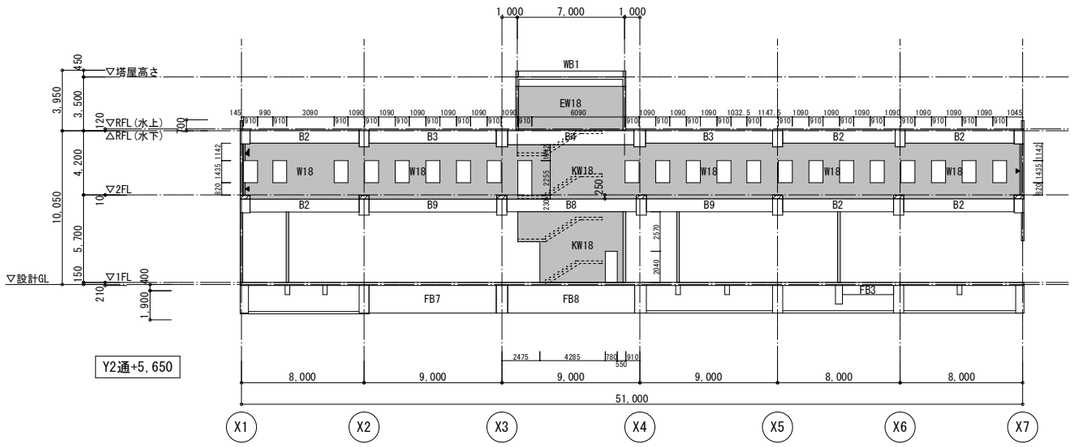
1. ▨ 印は 打増しを示す。
2. ▼ 印は 鉛直スリットを示す。
3. ▽ 印は 水平スリットを示す。











一級建築士　第185692号　細川 武
構造設計一級建築士　第5784号

JOBNO

白石消防署庁舎建替工事【庁舎棟】　軸組図(1)　S-016

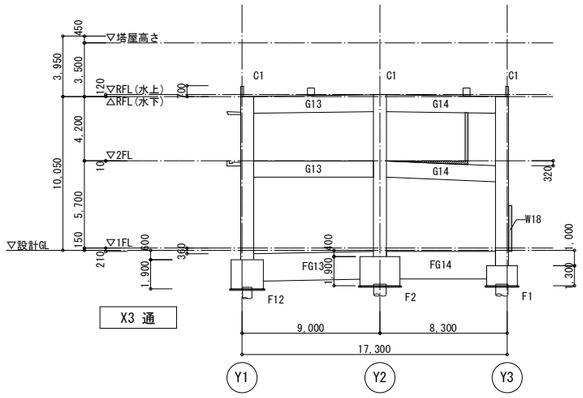
DATE R7.10.7　SCAL (A 1) 1/200 (A 3) 1/400　DRAWN　CHEK

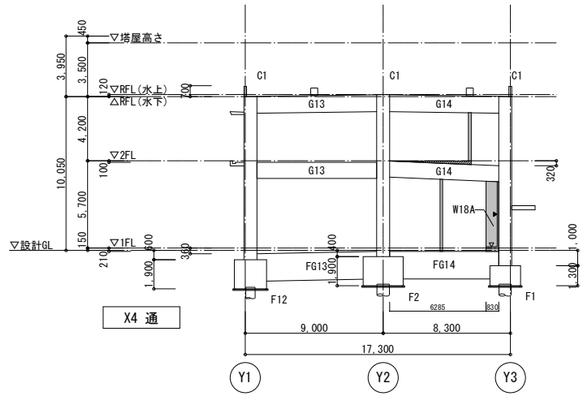
株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号　永野ますみ

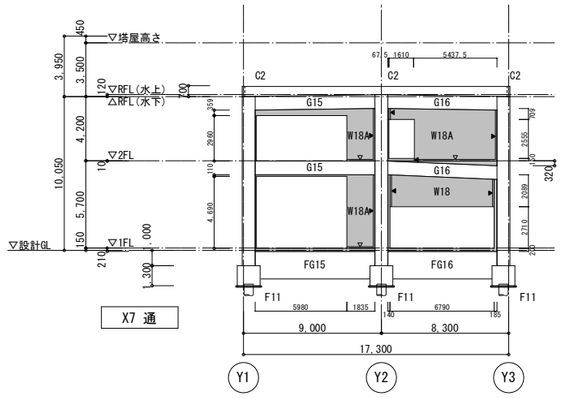
軸組図(2)　S=1/200

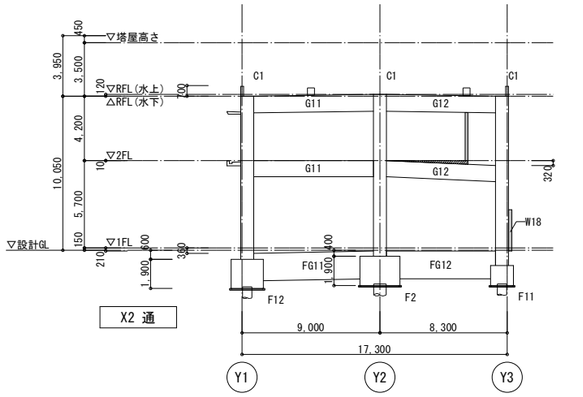
特記なき限り、下記による。

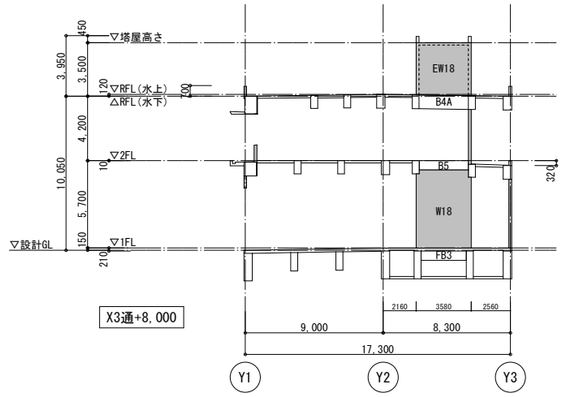
1. ▨ 印は 打増しを示す。
2. ▼ 印は 鉛直スリットを示す。
3. ▽ 印は 水平スリットを示す。

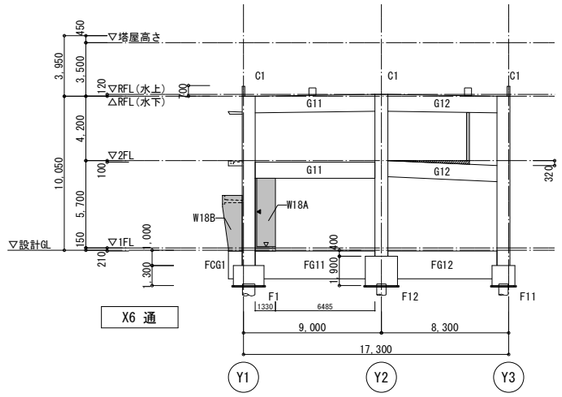


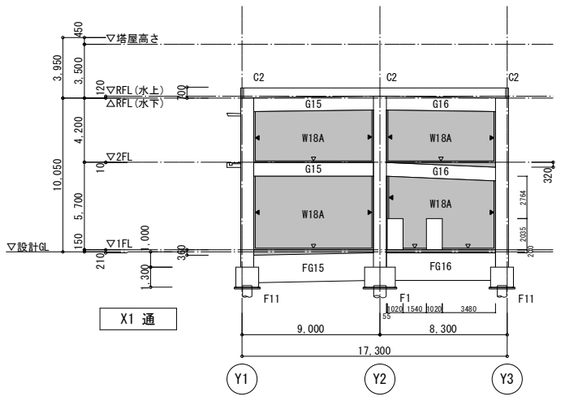


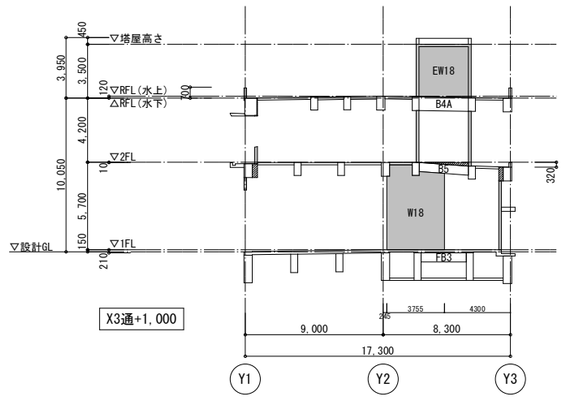


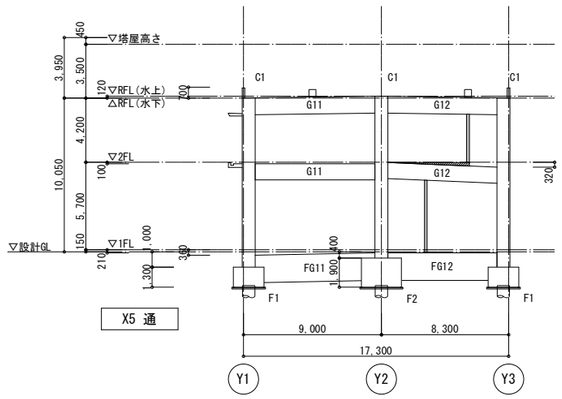












一級建築士　第185692号
構造設計一級建築士　第5784号　細川 武

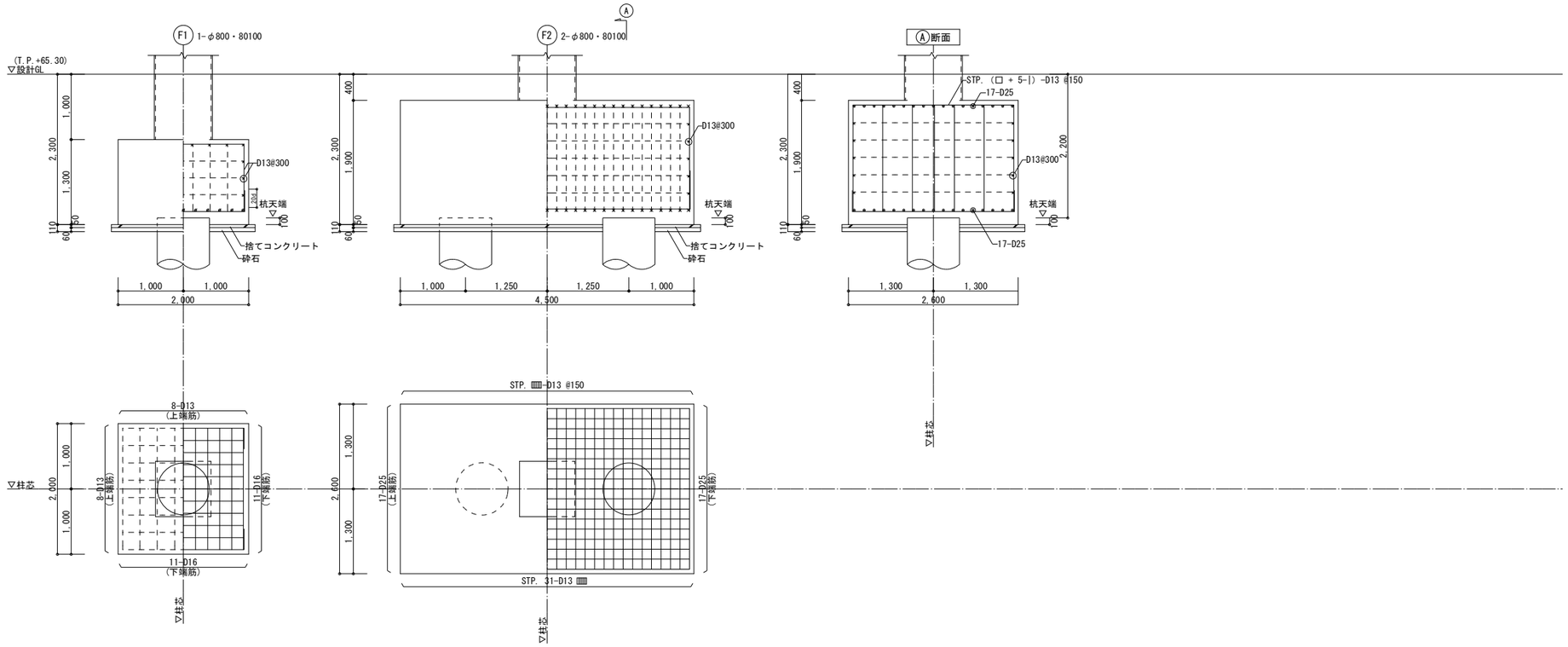
JOBNO

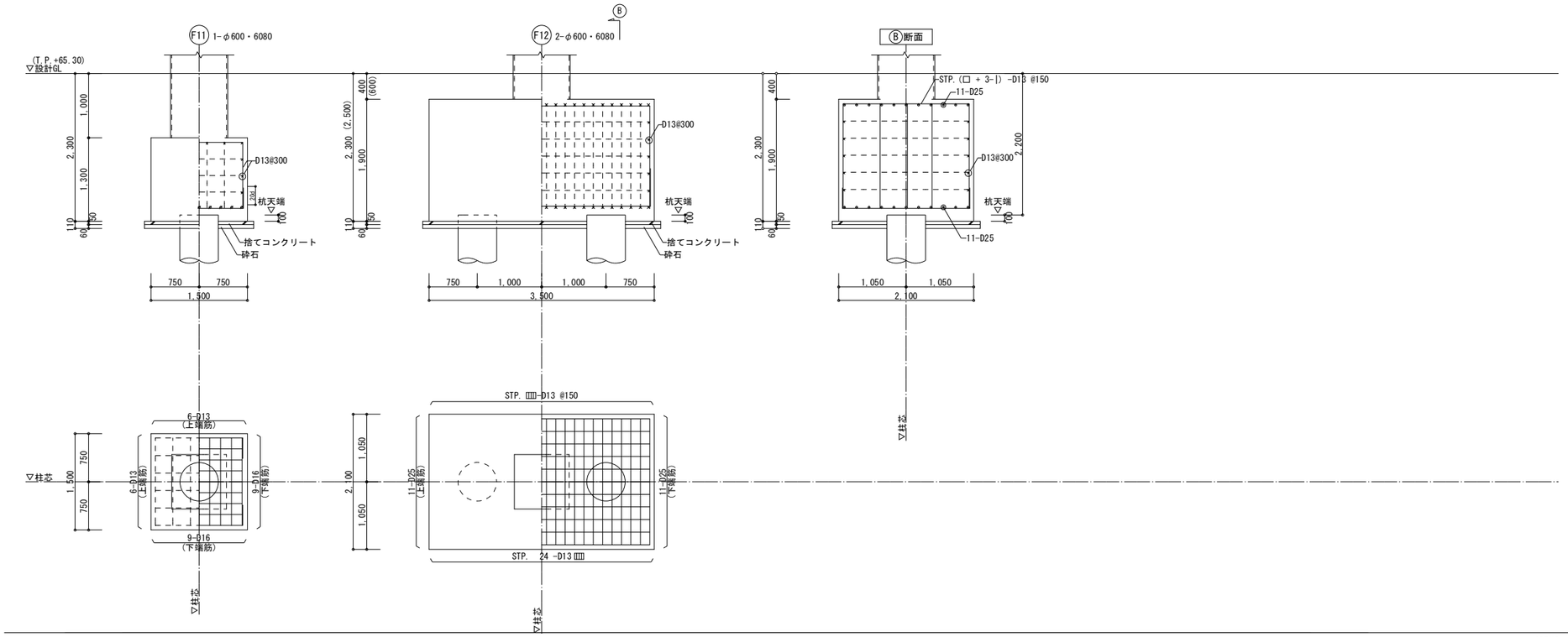
白石消防署庁舎建替工事【庁舎棟】　軸組図(2)　S-017

DATE R7.10.7　SCAL (A 1) 1/ 200 (A 3) 1/ 400　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号　永野ますみ

基礎リスト　S=1/40　　底版からの主筋の立上りは 20d 以上とする。





一級建築士　第185692号
構造設計一級建築士　第5784号　細川 武

JOBNO

白石消防署庁舎建替工事【庁舎棟】　基礎リスト　S-018

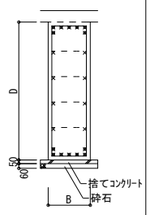
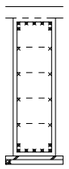
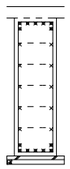
DATE R7.10.7　SCAL (A 1) 1/ 40 (A 3) 1/ 80　DRAWN　CHEK

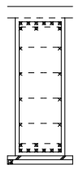
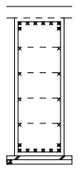
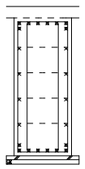
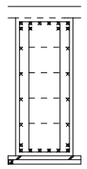
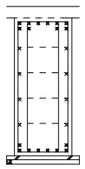
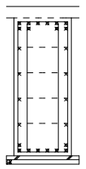
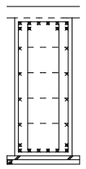
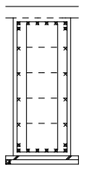
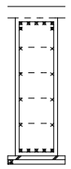
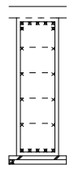
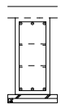
株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号 永野ますみ

地中大梁リスト　S=1/40

特記なき限り下記とする

巾止め筋　D10 ⟷ @1,000以内

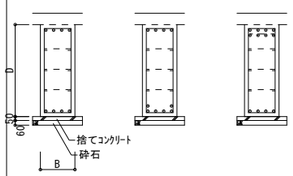
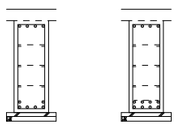
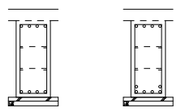
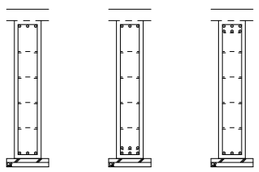
符号	FG1	FG2	FG3
位置	全　断　面	全　断　面	全　断　面
断面			
B　X　D	550 x 1,800	550 x 1,800	550 x 1,800
上　端　筋	7-D29	7-D29	7-D29
下　端　筋	7-D29	7-D29	7-D29
スターラップ	D13 □ @150	D13 □ @150	D13 □ @150
腹　　筋	8-D13	8-D13	10-D13 (定着L2)

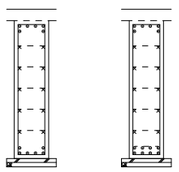
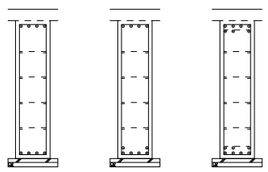
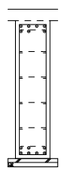
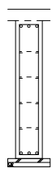
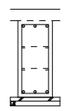
符号	FG11	FG12	FG13			FG14			FG15	FG16	FCG1
位置	全　断　面	全　断　面	Y1通 端	中　央	Y2通 端	Y2通 端	中　央	Y3通 端	全　断　面	全　断　面	全断面
断面											
B　X　D	650 x 1,800	650 x 1,800	750 x 1,800			750 x 1,800			550 x 1,800	550 x 1,800	450 x 1,000
上　端　筋	9-D29	8-D29	8-D29	10-D29	10-D29	10-D29	10-D29	8-D29	7-D29	7-D29	3-D25
下　端　筋	9-D29	8-D29	8-D29	8-D29	8-D29	8-D29	8-D29	8-D29	5-D29	5-D29	3-D25
スターラップ	D13 □ @150	D13 □ @150	D13 ▥ @150			D13 ▥ @150			D13 □ @150	D13 □ @150	D13 □ @200
腹　　筋	8-D13	8-D13	8-D13			8-D13			8-D13	8-D13	4-D10

地中小梁リスト　S=1/40

特記なき限り下記とする

巾止め筋　D10 ⟷ @1,000以内

符号	FB1			FB2		FB3 (FB3A)	FB4		FB5		
位置	終　端	中　央	連続端	両端部	中　央	全断面	両端部	中　央	終　端	中　央	連続端
断面											
B　X　D	450 x 1,200			450 x 1,200		350 x 600	450 x 1,000		350 x 1,800		
上　端　筋	4-D25	4-D25	8-D25	4-D25	4-D25	3-D22	4-D22	4-D22	3-D25	3-D25	6-D25
下　端　筋	4-D25	6-D25	4-D25	6-D25	8-D25	(5)3-D22	4-D22	6-D22	3-D25	6-D25	3-D25
スターラップ	D13 □ @150			D13 □ @150		D10 □ @200(150)	D13 □ @200		D13 □ @150		
腹　　筋	6-D10			6-D10		2-D10	4-D10		8-D10		

符号	FB6		FB7			FB8	FB9	FCB1
位置	両端部	中　央	終　端	中　央	連続端	全断面	全断面	全断面
断面								
B　X　D	450 x 1,800		450 x 1,800			450 x 1,800	350 x 1,800	450 x 1,000
上　端　筋	6-D25	6-D25	4-D25	4-D25	7-D25	7-D25	3-D22	3-D25
下　端　筋	6-D25	8-D25	4-D25	6-D25	7-D25	7-D25	3-D22	3-D25
スターラップ	D13 □ @100		D13 □ @150			D13 □ @150	D10 □ @200	D13 □ @200
腹　　筋	10-D13		8-D10			8-D10	8-D10	4-D10

一級建築士　第185692号
構造設計一級建築士　第5784号　細川 武

JOBNO

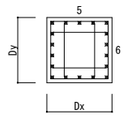
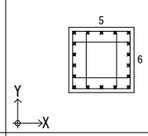
白石消防署庁舎建替工事【庁舎棟】　地中梁リスト　S-019

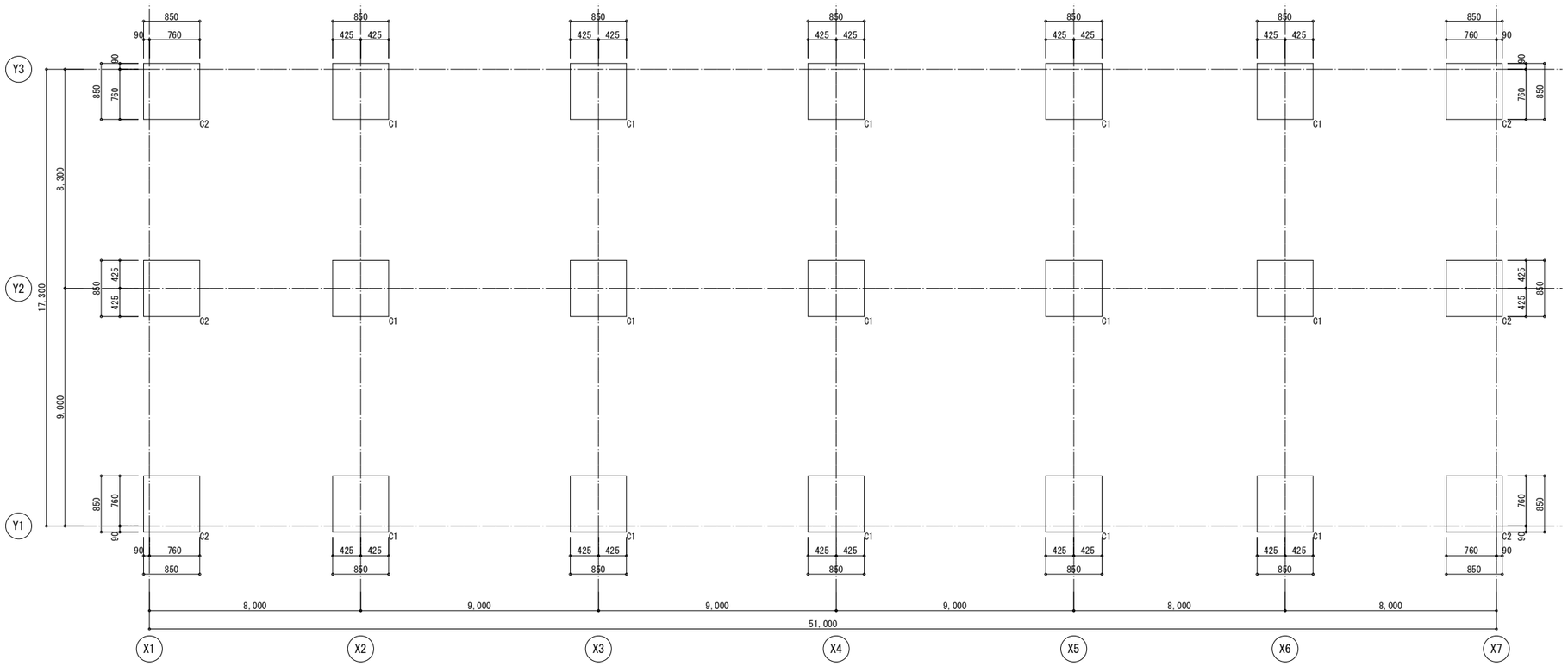
DATE R7.10.7　SCAL (A 1) 1／40 (A 3) 1／80　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号　永野ますみ

柱リスト　S=1/40

特記なき限り　フープは 仕口部を除きスパイラルフープ（又は溶接閉鎖型）とする。
仕口部フープは D13 □ @ 95 以下とする。

符号	C1	C2				
2階断面						
Dx × Dy	850 x 850	850 x 850				
主　筋	18 - D29	16 - D29				
フープ	D13 ⊞ @100	D13 ⊞ @100				
1階断面						
Dx × Dy	850 x 850	850 x 850				
主　筋	18 - D29	16 - D29				
フープ	D13 ⊞ @100	D13 ⊞ @100				



柱芯線図　S=1/100, 40

特記なき限り　下記による。

一級建築士　第185692号
構造設計一級建築士　第5784号　細川 武

JOBNO

白石消防署庁舎建替工事【庁舎棟】　柱芯線図・柱リスト　S-020

DATE R7.10.7　SCAL (A 1) 1/ 100.40 (A 3) 1/ 200.80　DRAWN　CHEK

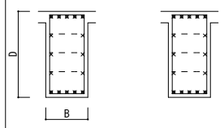
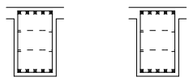
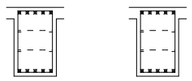
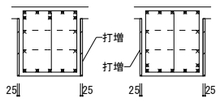
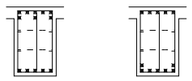
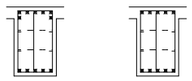
株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号　永野ますみ

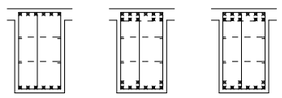
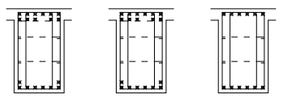
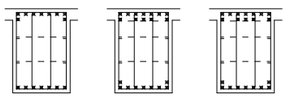
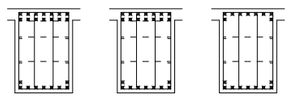
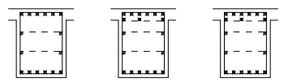
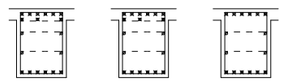
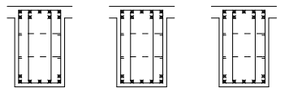
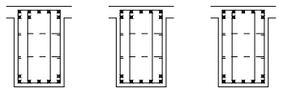
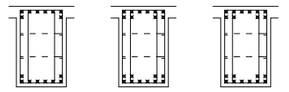
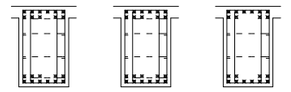
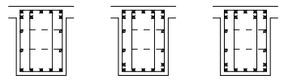
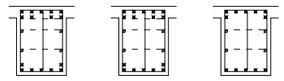
大梁リスト　S=1/40

特記なき限り下記とする

巾止め筋　D10 ↔ @1,000以内　　D10～D16：SD295　　S13：KSS785

D19～D25：SD345　　D29：SD390

符号	G1		G2		G3		G4	
位置	端部	中央	端部	中央	端部	中央	端部	中央
R階断面								
B X D	550 x 1,125		550 x 900		550 x 900		550 x 900	
上端筋	5-D29	5-D29	5-D29	5-D29	5-D29	5-D29	5-D29	5-D29
下端筋	5-D29	5-D29	5-D29	5-D29	5-D29	5-D29	5-D29	5-D29
スターラップ	D13 □ @150		D13 □ @150		D13 □ @150		D13 □ @150	
腹筋	6-D13		4-D10		4-D10		4-D10	
2階断面								
B X D	800 x 900		550 x 900		550 x 900		550 x 900	
上端筋	8-D29	5-D29	8-D29	5-D29	8-D29	5-D29	7-D29	5-D29
下端筋	5-D29	7-D29	8-D29	8-D29	5-D29	7-D29	5-D29	5-D29
スターラップ	D13 ◫ @150		D13 ◫ @150		D13 ◫ @150		D13 ◫ @150	
腹筋	4-D13		4-D10		4-D10		4-D10	

符号	G11			G12			G13			G14			G15			G16				
位置	Y1通 端	中央	Y2通 端	Y2通 端	中央	Y3通 端	Y1通 端	中央	Y2通 端	Y2通 端	中央	Y3通 端	Y1通 端	中央	Y2通 端	Y2通 端	中央	Y3通 端		
R階断面																				
B X D	650 x 1,100			650 x 1,100			750 x 1,100			750 x 1,100			650 x 900			650 x 900				
上端筋	6-D29	11-D29	11-D29	11-D29	11-D29	6-D29	9-D29	12-D29	12-D29	14-D29	14-D29	9-D29	6-D29	9-D29	9-D29	9-D29	9-D29	6-D29		
下端筋	6-D29	9-D29	9-D29	8-D29	8-D29	6-D29	7-D29	9-D29	9-D29	9-D29	9-D29	9-D29	6-D29	6-D29	6-D29	6-D29	6-D29	6-D29		
スターラップ	D13 ◫ @150			D13 ◫ @150			D13 ◫ @150			D13 ◫ @100			D13 □ @150			D13 □ @150				
腹筋	4-D10			4-D10			4-D10			4-D10			4-D16(定着L2)			4-D16(定着L2)				
2階断面																				
B X D	650 x 1,050			650 x 1,050			650 x 1,050			650 x 1,050			650 x 900			650 x 900				
上端筋	9-D29	9-D29	9-D29	8-D29	8-D29	8-D29	8-D29	10-D29	10-D29	11-D29	11-D29	10-D29	8-D29	9-D29	9-D29	9-D29	9-D29	7-D29		
下端筋	7-D29	7-D29	7-D29	7-D29	7-D29	7-D29	8-D29	10-D29	10-D29	11-D29	11-D29	10-D29	5-D29	7-D29	7-D29	7-D29	7-D29	5-D29		
スターラップ	D13 ◫ @100			D13 ◫ @100			D13 ◫ @100			D13 ◫ @100			D13 ◫ @150			D13 ◫ @150				
腹筋	4-D10			4-D10			4-D10			4-D10			4-D16(定着L2)			4-D16(定着L2)				

一級建築士　第185692号
構造設計一級建築士　第5784号　細川 武

JOBNO

白石消防署庁舎建替工事【庁舎棟】　大梁リスト　S-021

DATE R7.10.7　SCAL (A 1) 1/40 (A 3) 1/80　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号　永野ますみ

床版リスト

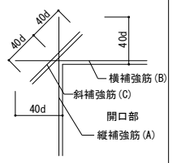
符号	版厚	位　置	短辺方向(主筋)	長辺方向(配力筋)	備　考
S1	150	上　端　筋	D10 D13 @200	D10　@200	
		下　端　筋	D10 D13 @200	D10　@200	
S2	150	上　端　筋	D10 D13 @200	D10 D13 @200	
		下　端　筋	D10 D13 @200	D10 D13 @200	
S3	150	上　端　筋	D13　@200	D13　@200	
		下　端　筋	D13　@200	D13　@200	
S4	150	上　端　筋	D13　@150	D13　@200	
		下　端　筋	D13　@150	D13　@200	
S11	180	上　端　筋	D13　@150	D13　@200	
		下　端　筋	D13　@150	D13　@200	
S12	180	上　端　筋	D10 D13 @150	D10 D13 @200	
		下　端　筋	D10 D13 @150	D10 D13 @200	
S21	200	上　端　筋	D13　@150	D13　@200	
		下　端　筋	D13　@150	D13　@200	
S22	200	上　端　筋	D13　@200	D13　@200	
		下　端　筋	D13　@200	D13　@200	
CS1	150	上　端　筋	D10 D13 @200	D10　@200	
		下　端　筋	D10　@200	D10　@200	
CS2	150	上　端　筋	D10 D13 @200	D10　@200	
		下　端　筋	D10　@200	D10　@200	
CS3	180	上　端　筋	D13　@200	D10　@200	
		下　端　筋	D10　@200	D10　@200	
CS4	150	上　端　筋	D10　@200	D10　@200	
		下　端　筋	D10　@200	D10　@200	
CS5	150	上　端　筋	D10 D13 @200	D10 D13 @200	長辺方向を主筋（上端配筋）とする。
		下　端　筋	D10　@200	D10　@200	
CS6	150	上　端　筋	D10 D13 @200	D10　@200	
		下　端　筋	D10　@200	D10　@200	
CS7	150	上　端　筋	D13　@100	D13　@200	
		下　端　筋	D10　@100	D10　@200	
CS21	200	上　端　筋	D13　@100	D10　@200	
		下　端　筋	D13　@200	D10　@200	

壁リスト　S=1/40

幅止め筋　D10 ― @1,000　（壁厚180mm以上）
階段受け壁、床版受け壁、ｽﾘｯﾄ付き壁（KW18,W18B,W18,W18A）の縦筋は外側に配筋する。（KW25は縦筋を内側とする）

符号	W18			W18A	W18B	W15	EW18	KW18	KW25
配筋	ダブル			ダブル	ダブル	シングル	ダブル	ダブル	ダブル
断面	ｽﾘｯﾄ壁高（H）とは、ｽﾘｯﾄ付きの壁の片持ち高さのことを言う。（ｽﾘｯﾄのない壁はH=0とする）								
ｽﾘｯﾄ壁高（H）	0.00≦H≦2.15	2.16<H≦2.50	2.51<H≦3.00						
壁　厚	180			180	180	150	180	180	250
縦　筋	D10 @200	D10 @150	D10 @100	D10 @100	D13 @100	D10 @150	D10 @200	D13 @100	D13 @100
横　筋	D10 @200			D10 @200	D10 @200	D10 @150	D10 @200	D10 @200	D13 @200
補強筋Ａ，Ｂ	2-D13			2-D13	2-D13	2-D13	4-D13	2-D13	2-D16
補強筋Ｃ	2-D13			2-D13	2-D13	1-D13	2-D13	2-D13	2-D13
末端部補強筋	2-D13			2-D13	2-D13	2-D13	4-D13	2-D13	6-D16

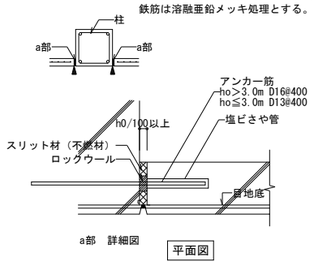
開口補強要領



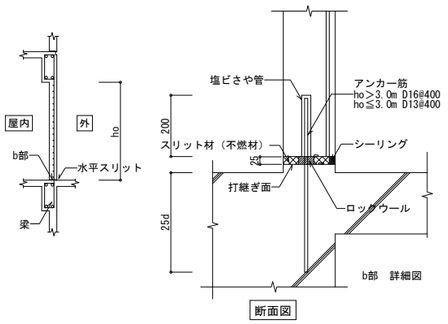
スリット

構造スリットは防火性能が第３者により確認されたもので、
耐火・遮音・防水性能を有するタイプを使用する。
（全貫通タイプ）
袖壁の長さが300mm以下の場合は、鉛直スリットを設けない。
鉄筋は溶融亜鉛メッキ処理とする。

１．垂直スリット



２．水平スリット



小梁リスト　S=1/40

特記なき限り下記とする
巾止め筋　D10 ⟷ @1,000以内

符号	B1			B2			B3			B4	B4A	B5	B6			B7			B8	B9		
位置	終　端	中　央	連続端	終　端	中　央	連続端	B4連続端	中　央	他　端	全　断　面	全　断　面	全　断　面	終　端	中　央	連続端	B6連続端	中　央	他　端	全　断　面	B8連続端	中　央	他　端
断面	D B																					
Ｂ　Ｘ　Ｄ	450 x 850			450 x 850			450 x 850			550 x 950	250 x 950	250 x 500	450 x 850			450 x 850			450 x 850	450 x 850		
上　端　筋	4-D22	4-D22	6-D22	4-D25	4-D25	6-D25	8-D25	6-D25	6-D25	9-D25	4-D19	4-D19	4-D22	4-D22	8-D22	8-D22	4-D22	6-D22	7-D25	7-D25	4-D25	6-D25
下　端　筋	4-D22	6-D22	4-D22	4-D25	6-D25	4-D25	8-D25	6-D25	4-D25	9-D25	4-D19	4-D19	4-D22	7-D22	8-D22	8-D22	6-D22	4-D22	8-D25	7-D25	6-D25	4-D25
スターラップ	D13 □ @200			D13 □ @200			D13 □ @100			D13 □ @100	D13 □ @200	D13 □ @200	D13 □ @200			D13 □ @200			D13 □ @150	D13 □ @150		
腹　筋	2-D10			2-D10			2-D10			4-D10	6-D13	2-D10	2-D10			2-D10			2-D10	2-D10		

符号	B10		B11		CB1		WG1		WB1
位置	両端部	中　央	全　断　面		先　端	基　端	全断面		全断面
断面									
Ｂ　Ｘ　Ｄ	450 x 850		350 x 600		250 x 450	250 x 550	250 x 550		200 x 600
上　端　筋	4-D22	4-D22	3-D22		4-D16	4-D16	4-D16		4-D13
下　端　筋	4-D22	7-D22	3-D22		2-D16	2-D16	2-D16		4-D13
スターラップ	D13 □ @200		D10 □ @200		D13 □ @200		D13 □ @200		D10 □ @200
腹　筋	2-D10		2-D10		2-D13		2-D13		4-D10

一級建築士　第185692号
構造設計一級建築士　第5784号　細川 武

JOBNO

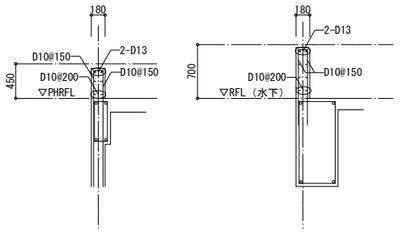
白石消防署庁舎建替工事【庁舎棟】　床版・小梁・壁リスト　S-022

DATE R7.10.7　SCAL (A 1) 1／ 40 (A 3) 1／ 80　DRAWN　CHEK

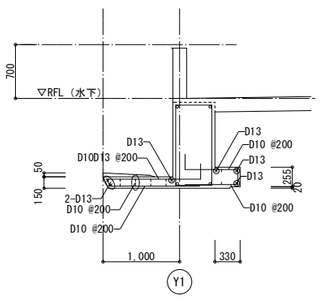
株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号　永野ますみ

雑詳細図　S=1/40

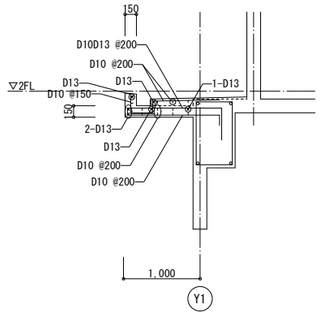
パラペット



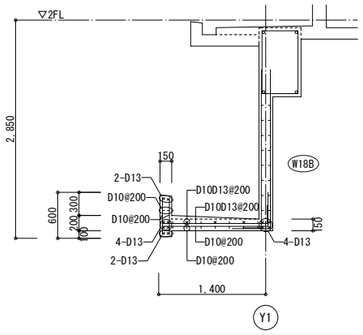
CS2（庇）



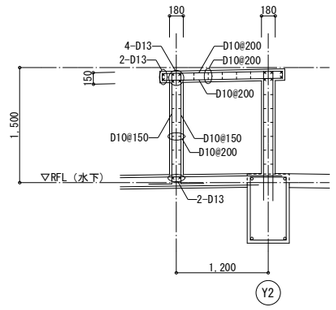
CS1（庇１）



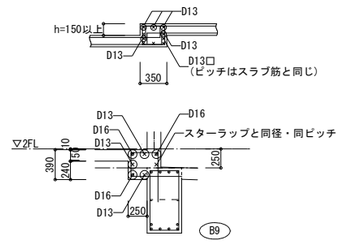
CS5（ポーチ庇）



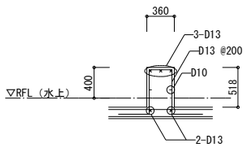
ハト小屋



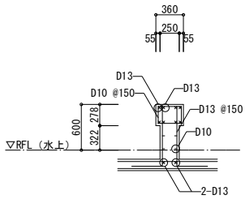
スラブ段差



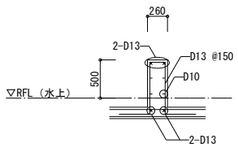
屋外機基礎



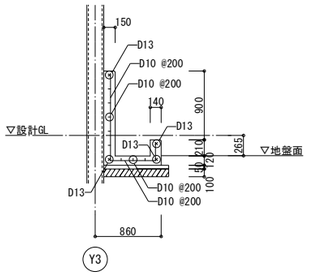
キュービクル基礎



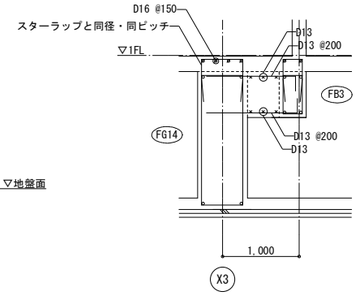
発電機・小出槽基礎



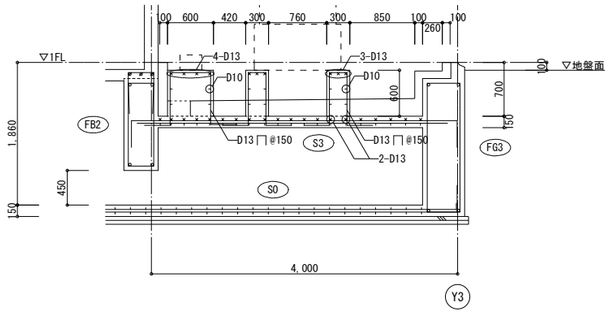
足洗い場



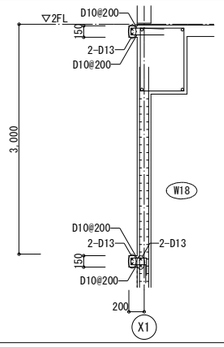
地中梁打増し



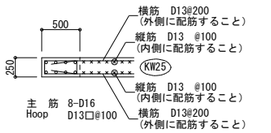
発電機燃料庫

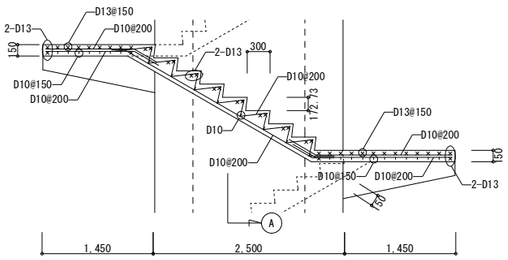


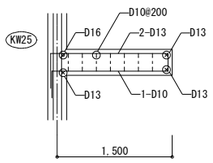
飾り



階段１

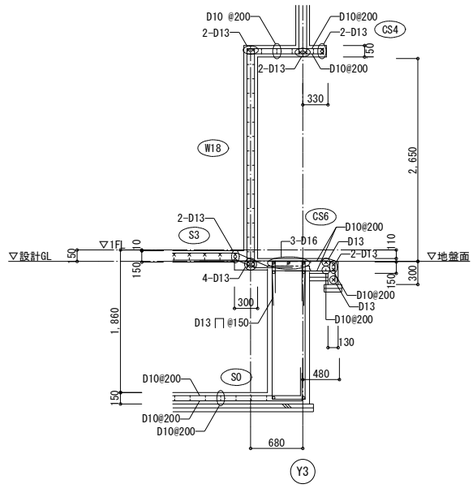




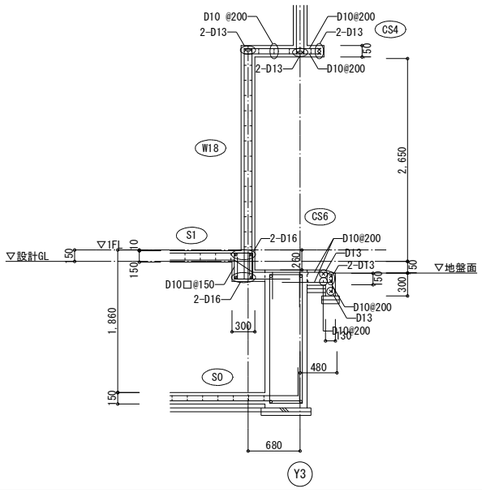


Ⓐ断面

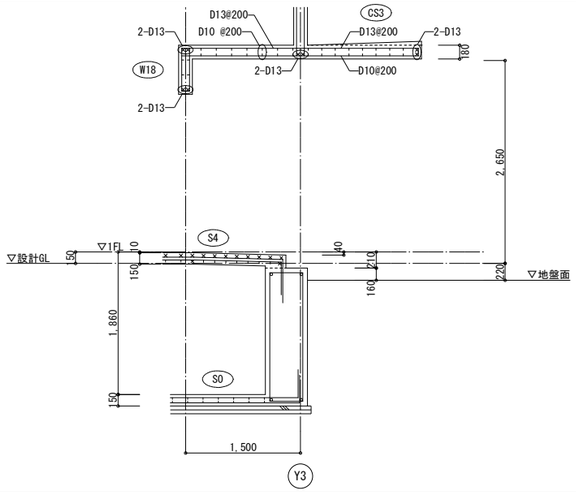
ゴミ置場



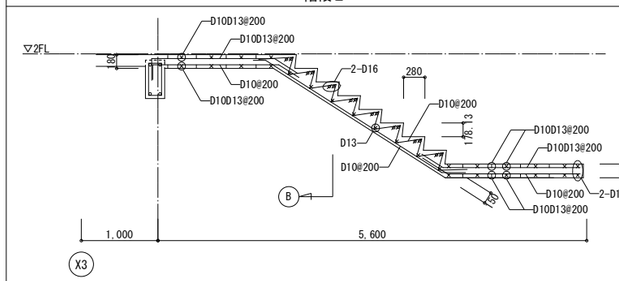
LPG庫

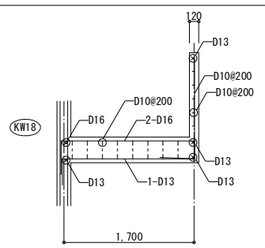


通用口



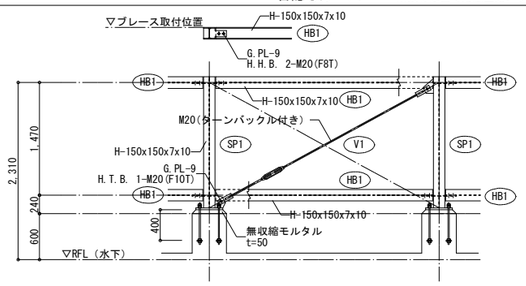
階段２



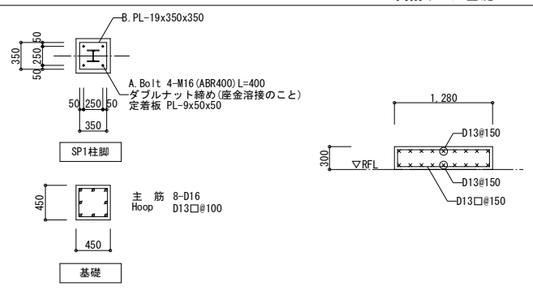


Ⓑ断面

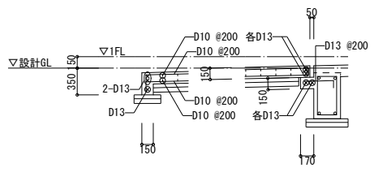
目隠しルーバー　※鉄骨は全て溶融亜鉛メッキ



掲揚ポール基礎



土間コンクリート



一級建築士　第185692号
構造設計一級建築士　第5784号　細川 武

JOBNO

白石消防署庁舎建替工事【庁舎棟】　雑詳細図　S-023

DATE R7.10.7　SCAL (A 1) 1／40 (A 3) 1／80　DRAWN　CHEK

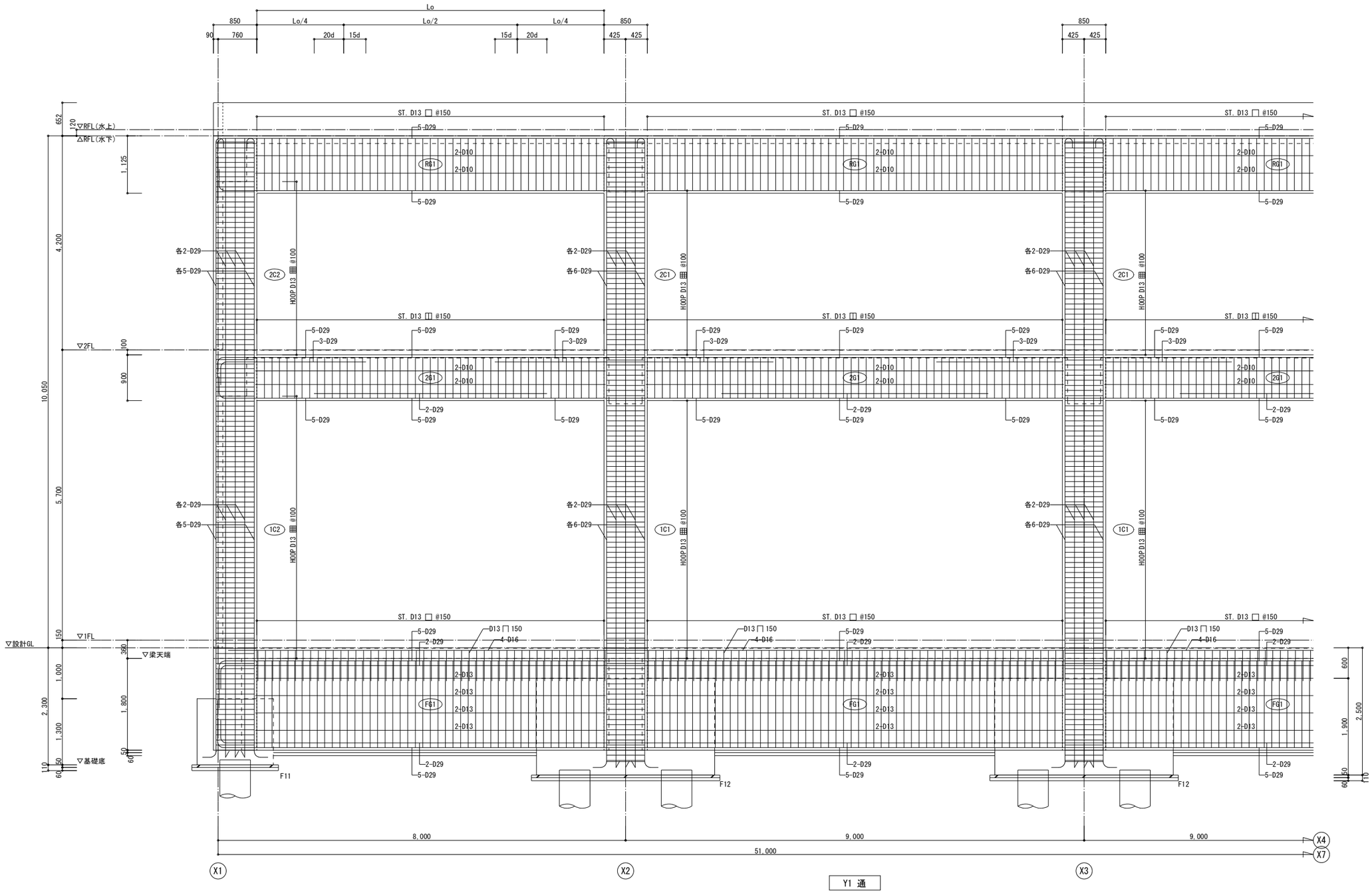
株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士　第 357230 号　永野ますみ

架構配筋詳細図　S=1/40

特記なき限り　下記による。

フープは 仕口部を除きスパイラルフープ（又は溶接閉鎖型）とする。

仕口部フープは D13 □ @95 とする。



Y1 通

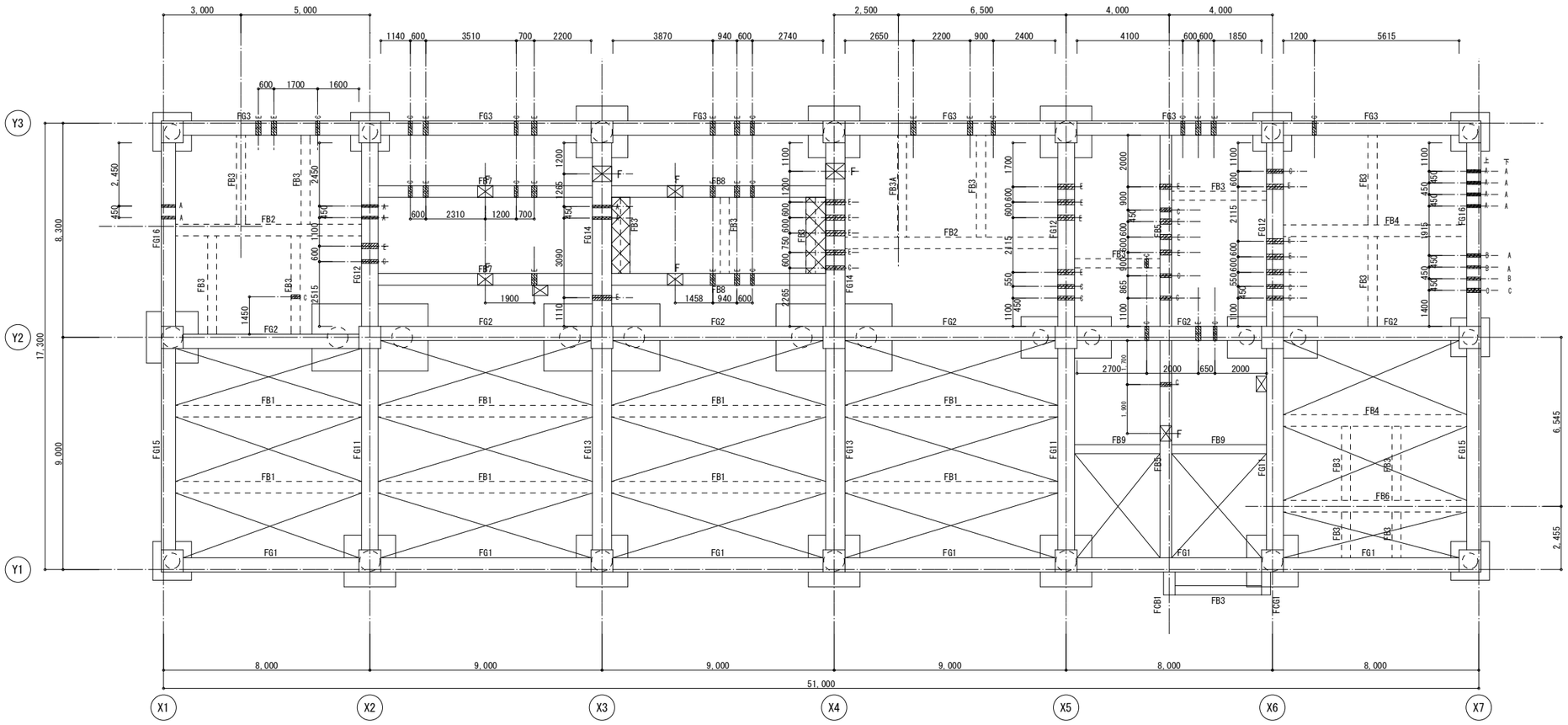
一級建築士　第185692号　細川 武
構造設計一級建築士　第5784号

JOBNO

白石消防署庁舎建替工事【庁舎棟】　架構配筋詳細図　S-024

DATE R7.10.7　SCAL (A 1) 1/40 (A 3) 1/80　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号　永野ますみ



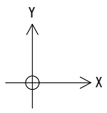
1階梁貫通孔伏図

S=1/100　(1FL=設計GL+150)

特記なき限り　下記による。

1. 土間天端　1FL-1,860
2. ⊠ 印：　釜場 300x300xH300 を示す。

梁貫通孔（設備配管用）		
記号	貫通孔径	数量(箇所)
A	100φ	16
B	125φ	3
C	150φ	28
D	175φ	0
E	200φ	36
F	600φ（人通口）	6
H		
J		



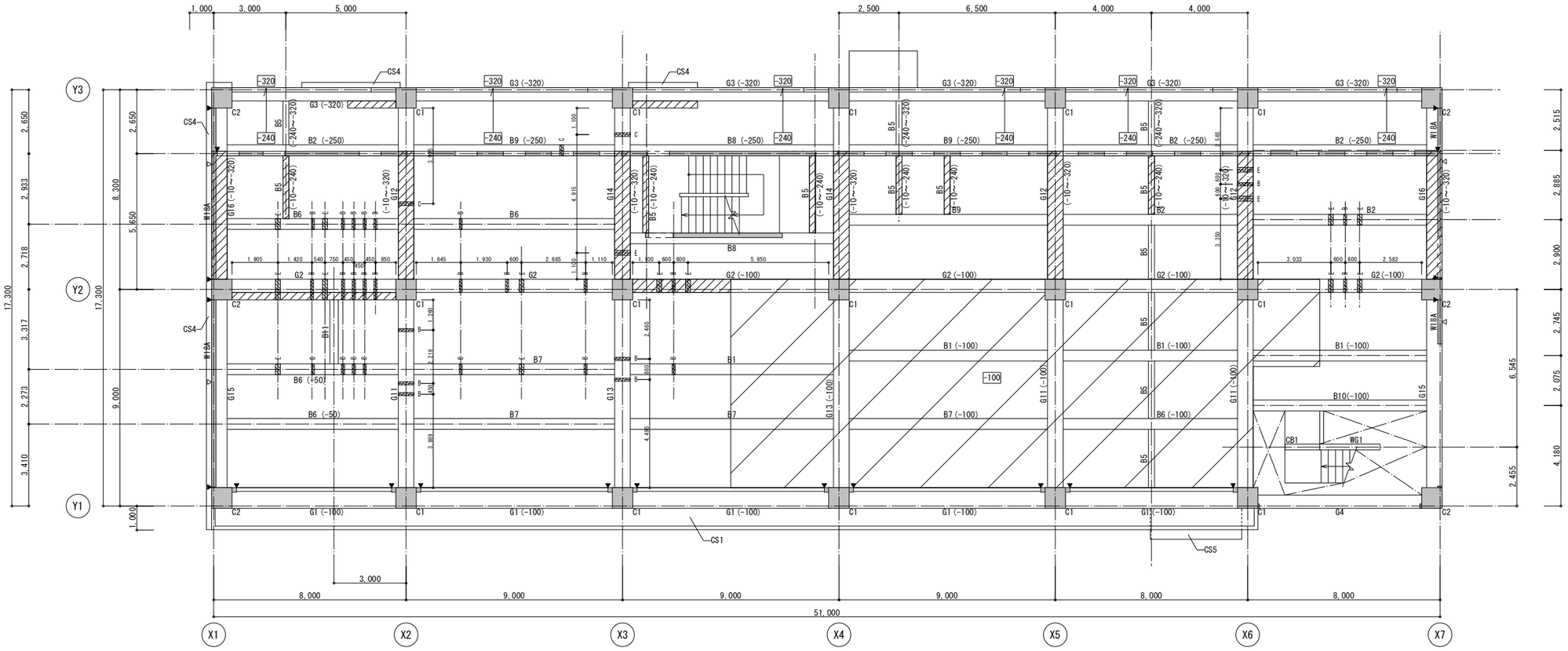
一級建築士　第185692号
構造設計一級建築士　第5784号　細川 武

JOBNO

白石消防署庁舎建替工事【庁舎棟】　1階梁貫通孔伏図　S-025

DATE R7.10.7　SCAL (A 1) 1／100 (A 3) 1／200　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号　永野ますみ



２階梁貫通孔伏図　S=1/100

特記なき限り、下記による。

1. 床版天端　2FL-10
2. 梁天端　2FL-10
3. (　)内数字、2FLからの梁天端レベルを示す。
4. 数字 は 2FLからの床天端レベルを示す。
5. 壁　：　W18
6. ▨ 印は 打増しを示す。
7. ▧ 印：1FL-50
8. ▼ 印は 鉛直スリットを示す。
9. ▽ 印は 水平スリットを示す。
10. ⊠ 印は 床開口(600x300)を示す。

梁貫通孔（設備配管用）		
記号	貫通孔径	数量(箇所)
A	100φ	0
B	125φ	31
C	150φ	3
D	175φ	0
E	200φ	15
F	600φ(人通口)	0
H		
J		

Y
X

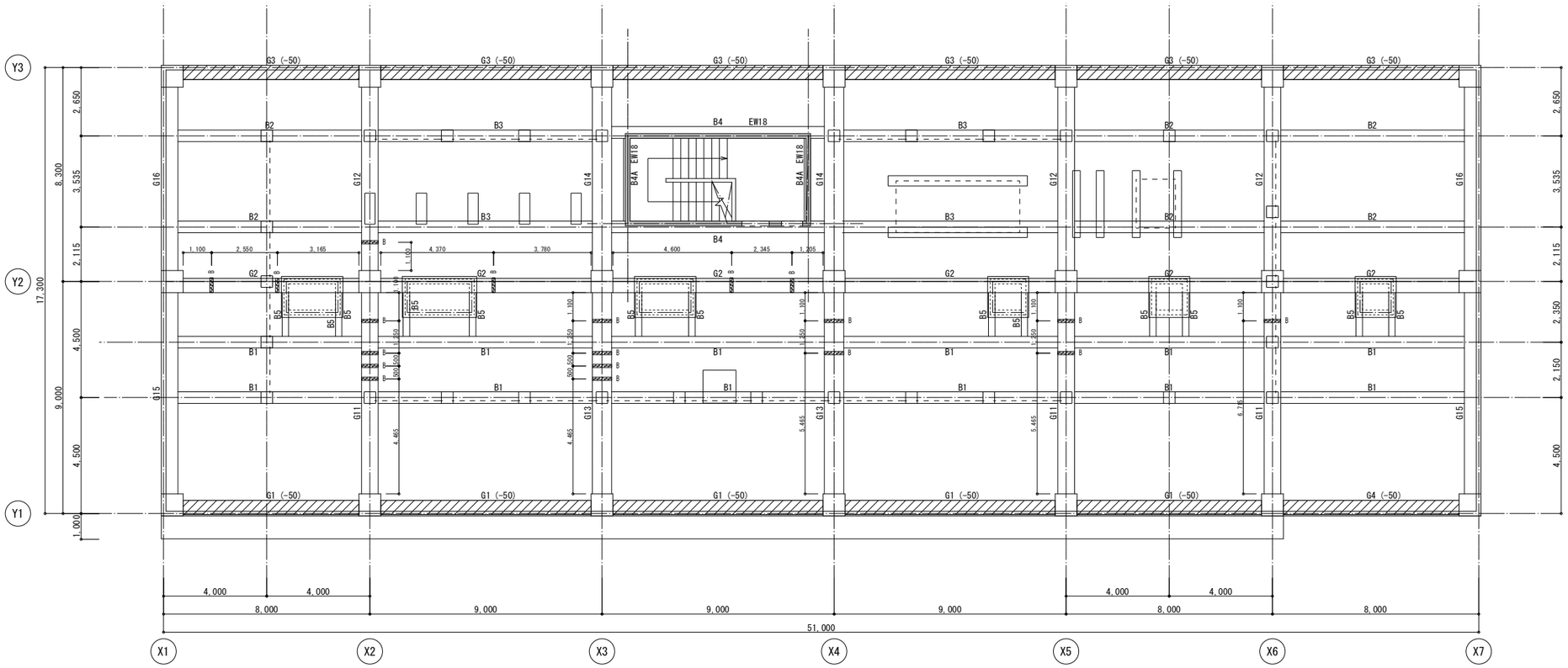
一級建築士　第185692号
構造設計一級建築士　第5784号　細川 武

JOBNO

白石消防署庁舎建替工事【庁舎棟】　2階梁貫通孔伏図　S-026

DATE R7.10.7　SCAL (A 1) 1／100 (A 3) 1／200　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号　永野ますみ



R階梁貫通孔伏図　S=1/100

特記なき限り、下記による。

1. 屋根水勾配は躯体でとる。
2. 数字 は RFLからの床天端レベルを示す。
3. ▨ 印は、打増しを示す。
4. (　)内数字　RFL（水下）からの梁天端レベルを示す。

梁貫通孔（設備配管用）		
記号	貫通孔径	数量(箇所)
A	100φ	0
B	125φ	19
C	150φ	0
D	175φ	0
E	200φ	0
F	600φ（人通口）	0
H		
J		

Y
X

一級建築士　第185692号
構造設計一級建築士　第5784号　細川 武

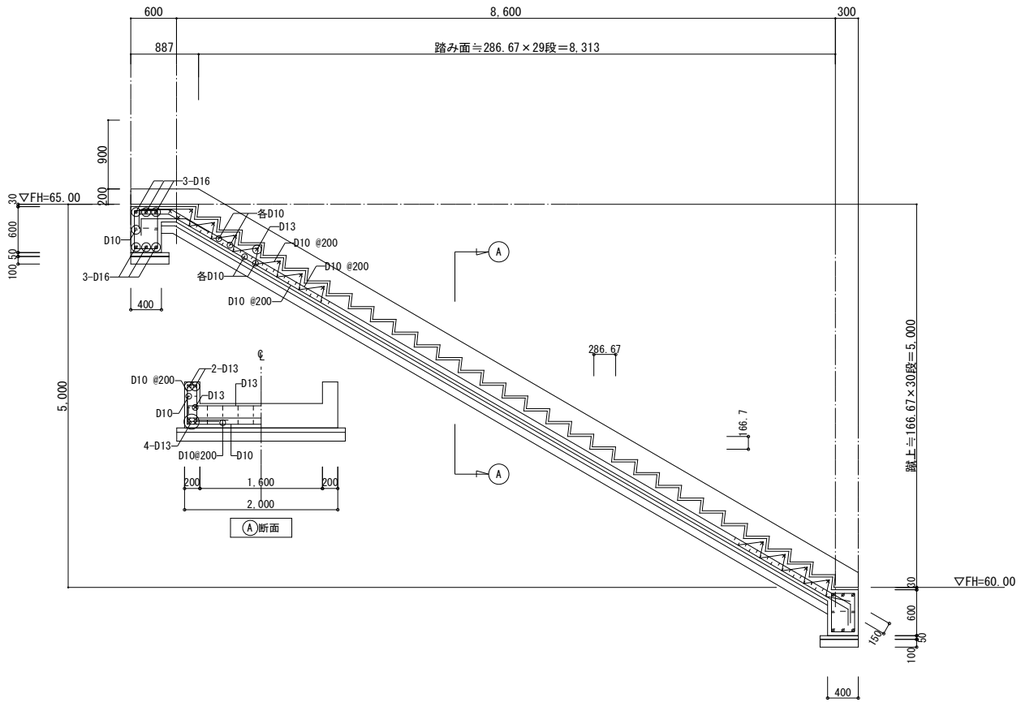
JOBNO

白石消防署庁舎建替工事【庁舎棟】　R階梁貫通孔伏図　S-027

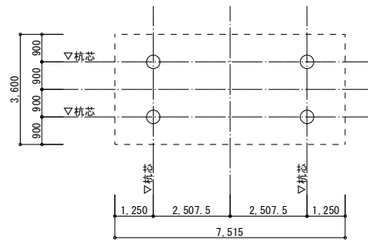
DATE R7.10.7　SCAL (A 1) 1／100 (A 3) 1／200　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号　永野ますみ

（外構）階段　S=1/40

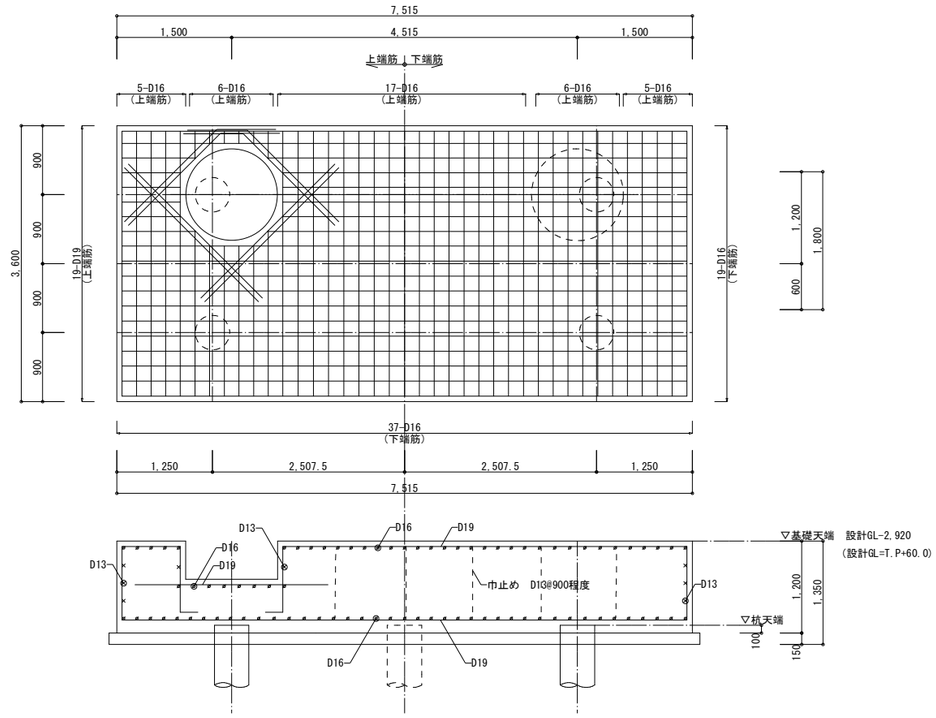


防火水槽　S=1/100,40



杭伏図　S=1/100

杭について（主訓練塔）		
工　法	Hyper-MEGA工法（プレボーリング拡大根固め工法）	
	TACP-0527（砂質地盤）　TACP-0528（礫質地盤）	
	杭頭部　在来工法	
符号		P1
記号		◯
杭径		φ450,450
杭種	上杭	MAS_450-B種
		8.0m
	中杭	MAS_450-A種
		8.0m
	下杭	MF_4560-A種
		9.0m
杭耐力(kN／本)		1,395
杭長		25.0m
杭本数		4 本
杭天端		設計GL-4,020



一級建築士　第185692号
構造設計一級建築士　第5784号
細川 武

JOBNO

白石消防署庁舎建替工事【庁舎棟】

（外構）階段・
防火水槽詳細図

S-028

DATE R7.10.7　SCAL (A 1) 1／40 (A 3) 1／80　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所

一級建築士　第 357230 号　永野ますみ

構 造 設 計 標 準 仕 様

適用は ◉ 印を記入する

1． 建築物の構造内容

（1） 工事名称 白石消防署庁舎 建替工事（訓練塔）
建築場所 宮城県白石市大平中目字中田31番1他、字南田1番1

（2） 工事種別 ◉新築 □増築 □増改築 □改築

（3） 構造種別
□木造（W） □補強コンクリートブロック造（CB） ◉鉄骨造（S）
◉鉄筋コンクリート造（RC） □壁式鉄筋コンクリート造（WRC）
□鉄骨鉄筋コンクリート造（SRC） □壁式プレキャスト鉄筋コンクリート造（WPRC）
□プレキャスト鉄筋コンクリート造（PRC） □

（4） 階 数
地下 階 地上 3 階 塔屋 0 階

（5） 主要用途 消防署庁舎（訓練施設）

（6） 屋上付属物
□広告塔 □高架水槽 kN □室外機 kN □
□煙 突 □キュービクル kN □貯湯タンク他 kN □

（7） 特別な荷重
□エレベータ 人乗（ロープ式 油圧式） □リフト kN □ホイスト kN
□倉庫積載床用 3,900 N／m² □受水槽 kN

（8） 付帯工事
□門塀 □擁壁 □ □ □

（9） 増築計画 □有（ ） ◉無

（10） 構造計算ルート X方向ルート － 1 Y方向ルート － 1

2． 使用構造材料

（1） コンクリート

適用箇所	種類	設計規準強度 Fc＝N／mm²	品質管理強度 Fq＝N／mm²	スランプ値	備考
捨コンクリート	◉普通	□13．5 ◉18		18cm	
土間コンクリート	◉普通	□18、 ◉21	24	18cm	ﾋﾞｯﾄ
基礎、基礎梁	◉普通	□21、 ◉24、□30	27	18cm	比重 23
柱、梁、床	◉普通、□ 軽量	□21、 ◉24、□30	27	18cm	比重 23
	□普通、□ 軽量	□21、 □24、□27			比重 23
(被)無筋コンクリート	◉普通、□ 軽量	□13．5、□16、◉18		18cm	比重 23
混和剤	強度補正後でＦｃ＞３０の場合、高性能ＡＥ減水剤使用				

（2） コンクリートブロック（CB）
□A種 □B種 □C種 厚 □100、 □120、 □150、 □190、

（3） 鉄筋

	種類	径	使用箇所	継手工法
異形鉄筋	◉SD295	D10～D16	床、ST、HOOP 基礎、梁腹筋	◉重ね継手 D16以下
	◉SD345	D19～D25	柱、梁主筋他	◉ガス圧接継手 D19以上
	□SD390	D29以上	柱、梁主筋他	□特殊継手
高強度せん断補強筋	□KSS785			（ ）
丸 鋼	□SR235			
溶接金網(JIS G 3551)	◉	6φ、3.2φ	2階床、階段	

（4） 鉄骨

	種類	使用箇所	現場溶接	備考
鋼 材	◉SS400 □SM400 ◉SN400A．B．C	大梁、小梁	□有 □無	
	□STKN400 ◉STKR400 □STK400	間柱、胴縁受	□有 □無	
	◉BCR295 □BCP235 □	柱	□有 □無	
	◉SN490B.C □SM490B．C □	ダイアフラム	□有 □無	
	◉SSC400 □	胴縁	□有 □無	

○仕様箇所の詳細については別途図示とする。

（5） ボルト
◉高力ボルト □F10T ◉F8T □S10T 認定品（□M12 ◉M16 ◉M20 □M22 □M24）
◉中ボルト M12 M 高力ボルトすべり係数試験 □要 □否
高力ボルト導入張力確認試験 □要 □否
◉アンカーボルト M16 L＝500 mm ナット（□シングル、◉ダブル）
L＝500 mm ナット（□シングル、◉ダブル）
□頭付スタッド φ＝19 L＝100 mm 使用箇所（□柱 □大梁 □小梁）

（6） 屋根、床、壁
□ＡＬＣ版 厚
□折 版 型式 Ｈ＝ 厚
□デッキプレート 型式 厚
□キーストンプレート 型式 厚
□特殊デッキプレート
◉フラットデッキ 厚

3． 地 盤

（1） 地盤調査資料
◉有（ ◉敷地内 □近隣） ◉ボーリング調査 □平板載荷試験 ◉水平地盤反力係数の測定
◉液状化判定 □現場透水試験 ◉土質試験
□無 （調査予定 □有 □無）

（2） 地盤調査計画
□ボーリング調査 □静的貫入試験 □標準貫入試験 □水平地盤反力係数の測定
□土質試験 □物理探査 □平板載荷試験 ◉試験堀（支持層の確認）

（3） 地盤調査及び試験杭の結果により、杭長、杭種、直接基礎の深さ、形状を変更する場合もある

（4） ボーリング標準貫入値、土質構成 （基礎・杭の位置を明記すること）

図面番号 S-106 による

4． 地業工事

（1） 直接基礎 □ベタ基礎 □布基礎 ◉独立基礎 試験堀 □有 ◉無
載荷試験 □有 ◉無
支持層－
地盤改良（ 有 ， 無 ） 基礎底 設計GL-
改良底 設計GL-
長期許容地耐力度 基礎底で kN/m²

（2） 杭基礎 支持層－砂礫又は礫混じり砂

杭種	材料	施工法	備考
□RC □PRC ◉PHC □H鋼 □鋼管 □摩擦杭 ◉SC	PRC（□Ⅰ種 □Ⅱ種 □ Ⅲ種） PHC（□A種 ◉B種 ◉ C種） 鋼材 □SS400 □ SKK400 ◉SKK490	□打ち込み ◉埋込み（プレボーリング拡大根固め工法） □ □	認定工法 TACP-0527,0528 大臣認定第 号 年 月 日
□場所打ち コンクリート杭	コンクリートFc＝ N／mm² スランプ 18cm セメント量 kg／m³ 鉄 筋 主筋 SD390 HOOP SD295A	□オールケーシング □ 拡底杭 □リバースサーキュレーション □アースドリル □ ミニアース □BH □深礎 □手堀 □機械堀	拡底杭 日本建築センター認定 第 号

杭仕様 ◉施工計画書承認 ◉杭施工結果報告書
試験杭 ◉ 有・ □無） （□ 打ち込み・ □載荷） 各種 1 本以上

杭径（mm）	設計支持力（kN/本）	杭の先端の深さ（m）	本数	特記事項
	（杭伏図参照）			

5． 鉄筋コンクリート工事

（1） コンクリート
◉ コンクリートはＪＩＳ認定工場の製品とし施工に関してはＪＡＳＳ５による。
（ ※但しＦｃ１８及び土間コンクリートについては、強度の補正は温度補正のみとする）
◉ 耐久設計基準強度 Ｆｄ □短期 ◉標準 □長期 □超長期
◉ セメントは、ＪＩＳ Ｒ５２１０ の普通ポルトランドセメントを標準とする。
◉ 調合計画は、工事開始前に工事監理者の承認を得ること。
◉ 寒中、暑中、その他特殊コンクリートの適用を受ける期間に当る場合は、調合、打ち込み、養生、管理方法など必要事項について、工事監理者の承認を得ること。
◉ フレッシュコンクリートの塩化物測定は、原則として工事現場で（財）国土開発技術研究センターの技術評価を受けた測定器を用いて行い、試験結果の記録及び測定器の表示部を一回の測定ごとに撮影した写真（カラー）を保管し承認を得る。測定検査の回数は、通常の場合、１日１回以上とし、１回の検査における測定試験は、同一材料から取り分けて３回行い、その平均値を試験値とする。
◉ 構造体コンクリート現場の圧縮強度試験供試体（ＪＡＳＳ５Ｔ－６０３）は、現場水中養生、または現場封かん養生とし、採取は打ち込み工区ごと、打ち込み日ごととする。また、打込み量が１５０m³をこえる場合は１５０m³ごとまたは、その端数ごとに一回を標準とする。一回に採取する供試体は、適当な間隔をおいた３台の運搬車からその必要本数を採取する。なお、供試体の数量は、特別指示なき場合は、１回当り６本以上とし、そのうち４週用に３本を用いる。
◉ ポンプ打ちコンクリートは、打ち込む位置にできるだけ近づけて垂直に打ちコンクリートの自由落下高さは、コンクリートが分離しない範囲とする。ポンプ圧送に際しては、コンクリート圧送技士または同等以上の技能を有する者が従事すること。なお、打ち込み継続中における打継ぎ時間間隔の限度は、外気温が２５℃未満の場合は１５０分、２５℃以上の場合は１２０分以内とする。

（2） 鉄 筋
◉ 鉄筋はＪＩＳ Ｇ３１１２ の規格品を規準とする。施工はＪＡＳＳ５（１９９７）による。
□ 高強度せん断補強筋は、ＪＩＳ Ｇ ３１３７に規定されるＤ種１号適合品とする。
◉ 鉄筋の加工寸法、形状、かぶり厚さ、鉄筋の継手位置、継手の重ね長さ、定着長さは「鉄筋コンクリート構造配筋標準図（１）（２）」または「壁式鉄筋コンクリート構造配筋標準図（１）（２）」による。
◉ Ｄ１９未満は、すべて重ね継手とする。継手（Ｄ１９以上）をガス圧接とする場合は、日本鉄筋継手協会「鉄筋継手工事標準仕様書」(ガス圧接継手工事、溶接継手工事、機械式継手工事)による。
◉ ガス圧接部の抜き取り検査は、同一作業班が同一日に施工した圧接箇所ごと（２００箇所を超えるときは、２００ 箇所ごと）に１回行い、１回の試験は３０箇所以上とする。
外観検査 ◉有 □ 無、引張試験 □ 有 □ 無、超音波探傷試験 ◉ 有 □ 無
◉ 柱の帯筋（ＨＯＯＰ）の加工方法は、 ◉ Ｈ型（タガ型） □ Ｗ型（溶接型） □ Ｓ型（スパイラル型） とする。

（3） 型 枠
◉ 材料 合板厚 １２mmを標準とする。 ◉ 施工はＪＡＳＳ５による。
◉ 型枠存置期間

種類 / 部位 / セメントの種類 / 存置期間の平均気温	せき板 基礎、はり側、柱、壁		せき板 スラブ下、はり下		支柱 スラブ下		支柱 はり下	
	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント 高炉セメントA種 シリカセメントA種	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント 高炉セメントA種 シリカセメントA種	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント 高炉セメントA種 シリカセメントA種	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント 高炉セメントA種 シリカセメントA種
コンクリートの材令（日） 15℃以上	2	3	4	6	8	17	28	
5℃～15℃	3	5	6	10	12	25	28	
5℃未満	5	8	10	16	15	28	28	
コンクリートの圧縮強度	5N／mm²		設計規準強度の50%		設計規準強度の 85%		100%	

注）1 片持ばり、庇、スパン ９．０m以上のはり下は、工事監理者の指示による。

注）2 大ばりの支柱の盛りかえは行わない。また、その他のはりの場合も原則として行わない。

注）3 支柱の盛りかえは、必ず直上階のコンクリート打ち後とする。

注）4 盛りかえ後の支柱頂部には、厚い受板、角材または、これに代わるものを置く。

注）5 支柱の盛りかえは、小ばりが終わってから、スラブを行う。
一時に全部の支柱を取り払って、盛りかえをしてはならない。

注）6 上表以外のセメントを使用する場合は工事監理者の指示による。

6． 鉄骨工事（主訓練塔）

（1） 鉄骨工事は指示のない限り下記による
◉ 日本建築学会「ＪＡＳＳ６」「鉄骨精度検査基準」「鉄骨工事技術指針」
□
□

（2） 工事監理者の承認を必要とするもの
◉製作工場 ◉製作要領書 ◉工作図 ◉施工計画書
◉建設省告示第１１０３号による認定工場（大臣認定 Ｍ グレード以上）
◉材料規格証明書または試験成績書
◉鋼材 ◉高力ボルト ◉特殊ボルト □スタッドボルト
◉社内検査表 □ □

（3） 工事監理者が行う検査項目
（◉ 印以外の項目の検査結果については、工事監理者に報告すること）
◉ 現寸検査 ◉ 組立・開先検査 ◉ 製品検査
◉ 建方検査 □ □

（4） 接合部の溶接は下記によること
◉ 日本建築学会「溶接工作規準、同解説Ⅰ、Ⅰ、Ⅱ、Ⅳ、Ⅴ、Ⅵ、Ⅶ、Ⅷ、Ⅸ」
◉ 日本建築学会「鉄骨工事技術指針・工事現場施工編」

（5） 接合部の検査
◉溶接部の検査（検査結果は後日工事監理者に報告すること）
突合せ溶接部のＵＴ検査は、ＡＯＱＬ ２．５% 第６水準とする。
検査要領及合否の判定は、日本建築学会「超音波探傷検査基準」による。
◉ 高力ボルトは「ＪＩＳ Ｂ１１８６の高力ボルト」を標準とする。摩擦面の処理は黒皮などをスプライスプレート全面でショットブラスト、グラインダー掛け等を用いて除去した後、屋外に自然放置して発生した、赤さび状態であること。ただし、ショットブラスト、グリットブラストによる処理で表面あらさが５０Ｓ以上である合は、赤さびは発生しないままでよい。
◉ 高力ボルトの締付けに使用する機器はよく調整されたものを使用し、締付けの順序は部材が十分密着するよう注意して行う。また、締付けは一次、二次締めとする。
締付け後の検査は、各締付け工法別に適切な締付けが行なわれているか検査する。

（6） 防錆塗装
◉ 防錆塗装の範囲は、高力ボルト接合の摩擦面及びコンクリートで被覆される以外の部分とする。
◉ 現場における高力ボルト接合部及び接合部の素地調整は入念に行い、塗装は工場塗装と同じ錆止めペイントを使用し２回塗りとする。

（7） 耐火被覆の材料
□

7． 設備関係

◉ 特記以外の梁貫通孔は原則として設けない、設ける場合は設計者の承認を得ること。
◉ 設備機器の架台及び基礎については工事監理者の承認を得ること。
◉ 床スラブ内に設備配管等を埋込む場合はスラブ厚さの１／３以下とし管の間隔を管径の３倍以上かつ５ｃｍ以上を原則とする。
◉ 建築設備（昇降機を除く。）、建築設備の支持構造部及び緊結金物は、腐食又は腐朽のおそれがないものとすること。
□ 屋上から突出する水槽、煙突、冷却塔その他これらに類するものは、支持構造部又は建築物の構造耐力上主要な部分に、支持構造部は、建築物の構造耐力上主要な部分に、緊結すること
□ 煙突の屋上突出部の高さは、れんが造、石造、コンクリートブロック造又は無筋コンクリート造の場合は鉄製の支枠を設けたものを除き、90 cm以下とすること
□ 煙突で屋内にある部分は、鉄筋に対するコンクリートのかぶり厚さを5 cm以上とした鉄筋コンクリート造又は厚さが25 cm以上の無筋コンクリート造、れんが造、石造若しくはコンクリートブロック造とすること
◉ 建築物に設ける給水、排水その他の配管設備は、風圧、土圧及び水圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して安全上支障のない構造とすること
◉ 建築物に設ける給水、排水その他の配管設備は、建築物の部分を貫通して配管する場合においては、当該貫通部分に配管スリーブを設ける等有効な管の損傷防止のための措置を講ずること
◉ 建築物に設ける給水、排水その他の配管設備は、管の伸縮その他の変形により当該管に損傷が生ずるおそれがある場合において、伸縮継手又は可撓継手を設ける等有効な損傷防止のための措置を講ずること
◉ 建築物に設ける給水、排水その他の配管設備は、管を支持し、又は固定する場合においては、つり金物又は防振ゴムを用いる等有効な地震その他の震動及び衝撃の緩和のための措置を講ずること
□ 法第20 条第一号から第三号までの建築物に設ける屋上から突出する水槽、煙突その他これらに類するものに あっては、建設省告示第1389 号により、風圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して構造耐力上安全なものとすること
□ 給湯設備は、風圧、土圧及び水圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して安全と支障のない構造とすること。満水時の質量が15kgを超える給湯設備については、地震に対して安全と支障のない構造として、平成12年建設省告示第1388号第5に規定する構造方法によること。
※「給湯設備」：建築物に設ける電気給湯器その他の給湯設備で、屋上水槽等のうち給湯設備に該当するものを除いたもの

8． その他

◉ 諸官庁への届出書類は遅滞なく提出すること。
◉ 各試験の供試体は公的試験機関にて試験を行い工事監理者に報告すること。
◉ 必要に応じて記録写真を撮り保管すること。
◉ 設計図書以外に参考とする仕様書
①公共建築工事標準仕様書（令和７年版）
②建築工事標準仕様書 （ＪＡＳＳ５及びＪＡＳＳ６） 「日本建築学会」

一級建築士 第185692号 細川 武

JOBNO
白石消防署庁舎建替工事【訓練棟】 構造特記仕様書 S-101
DATE R7.10.7 SCAL (A 1) 1／N.S (A 3) 1／N.S DRAWN CHEK
株式会社 構 建築設計事務所 一級建築士 第 357230 号 永野ますみ

鉄筋コンクリート構造配筋標準図（１）

１．　一般事項

（１）　構造図面に記載された事項は、本標準図に優先して適用する。

（２）　記号

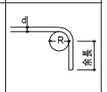
ｄ：異形棒鋼の呼び名に用いた数値　丸鋼では径　　Ｄ：部材の成　　Ｒ：直径

@：間隔　　ｒ：半径　　℄：中心線　　・　l_n　：部材間の内法距離　　h_n　：部材間の内法高さ

ＳＴ：あばら筋　　ＨＯＯＰ：帯筋　　Ｓ．ＨＯＯＰ：補強帯筋　　φ：直径又は丸鋼

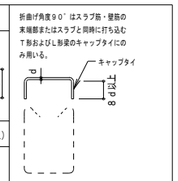
２．　鉄筋加工、かぶり

（１）　鉄筋末端部の折曲げの形状

折曲げ角度	１８０・°	１３５・°	９０・°
図			
鉄筋の余長	４ｄ以上	６ｄ以上（※４ｄ以上）	８ｄ以上（※４ｄ以上）

折曲げ内法寸法Ｒは、ＳＲ２３５は３ｄ以上、ＳＤ２９５Ａ、ＳＤ２９５Ｂ、
ＳＤ３４５のＤ１６以下は３ｄ以上、Ｄ１９以上は、４ｄ以上
ＳＤ３９０のＤ１９以上は、５ｄ以上

折曲げ角度９０°はスラブ筋・壁筋の
末端部またはスラブと同時に打ち込む
下筋および壁筋のキャップタイにのみ用いる。



※片持スラブ上端筋の先端

（２）　鉄筋中間部の折曲げの形状　鉄筋の折曲げ角度以下９０・°以下

図	鉄筋の使用箇所による呼称	鉄筋の種類	鉄筋の径による区分	鉄筋の折り曲げ内のりの寸法　（Ｒ）
	帯　筋 あばら筋 スパイラル筋	ＳＲ２３５，ＳＤ２９５Ａ ＳＤ２９５Ｂ，ＳＤ３４５	１６φ Ｄ１６　以下	３ｄ以上
			１９φ Ｄ１９　以下	４ｄ以上
	上記以外の鉄筋	ＳＲ２３５，ＳＤ２９５Ａ ＳＤ２９５Ｂ，ＳＤ３４５	１６φ Ｄ１６　以下	
			１９φ～２５φ Ｄ１９～Ｄ２５	６ｄ以上
			２８φ～３２φ Ｄ２９～Ｄ３８	８ｄ以上

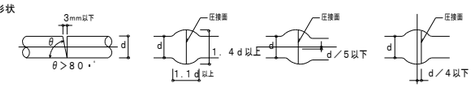
（３）　鉄筋の定着および重ね継手の長さ

鉄筋の種類	普通、軽量コンクリートの設計基準強度の範囲（Ｎ／ｍｍ²）	定着の長さ　一般　（L_2）	定着の長さ　下ば筋　（L_2）　小梁	定着の長さ　下ば筋　（L_2）　スラブ	特別の定着及び重ね継手の長さ（L_3）
ＳＤ２９５Ａ ＳＤ２９５Ｂ ＳＤ３４５	２１、２４、２７	３５ｄまたは ２５ｄフックつき	２５ｄまたは １５ｄフックつき	１０ｄかつ １５ｃｍ以上	４０ｄまたは ３０ｄフックつき
	３０、３３、３６	３０ｄまたは ２０ｄフックつき			３５ｄまたは ２５ｄフックつき
ＳＤ３９０	２１、２４、２７	４０ｄまたは ３０ｄフックつき			４５ｄまたは ３５ｄフックつき
	３０、３３、３６	３５ｄまたは ２５ｄフックつき			４０ｄまたは ３０ｄフックつき

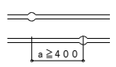
継　手

１．末端のフックは、定着および重ね継手の長さに含まない
２．継手位置は、応力の小さい位置に設けることを原則とする
３．直径の異なる鉄筋の重ね継手長さは、細い方の鉄筋の継手長さとする
４．Ｄ２９以上の異形鉄筋は、原則として、重ね継手としてはならない
５．鉄筋径の差が７ｍｍを超える場合は、圧接としてはならない

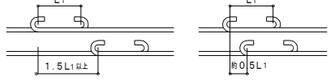
ガス圧接の形状



圧接継手

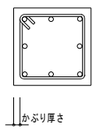


重ね継手　（下図のいずれかとする）



（４）　かぶり厚さ（単位：ｍｍ）

ひびわれ誘発目地部など鉄筋のかぶり厚さが部分的に減少する箇所についても最少かぶり厚さを確保する。

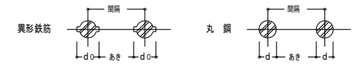


部　位			設計かぶり厚さ（ｍｍ）	最少かぶり厚さ（ｍｍ）
土に接しない部分	屋根スラブ 床スラブ 非耐力壁	屋　内	３０	２０
		屋　外	４０(1)	３０（２０）
	柱 はり 耐力壁	屋　内	４０	３０
		屋　外	５０(2)	４０(1)(30)
	擁　壁		５０(3)	４０
土に接する部分	柱・はり・床スラブ・耐力壁		５０	４０(4)
	基　礎　・　擁　壁		７０	６０(4)

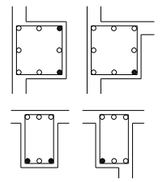
注）（１）耐久性上有効な仕上げのある場合、工事監理者の承認を受けて３０ｍｍとすることができる。
（２）耐久性上有効な仕上げのある場合、工事監理者の承認を受けて４０ｍｍとすることができる。
（３）コンクリートの品質および施工方法に応じ、工事監理者の承認を受けて４０ｍｍとすることができる。
（４）軽量コンクリートの場合は、１０ｍｍ増しの値とする。
（５）（　）内は仕上げがある場合。

（５）　鉄筋のあき

丸鋼では径、異形鉄筋では呼び名に用いた数値１．５ｄ以上
粗骨材の最大寸法の１．２５倍以上かつ２５以上



図の@印の鉄筋の重ね継手の末端にはフックが必要



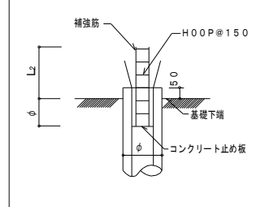
（６）　鉄筋のフック（ａ～ｆに示す鉄筋の末端部にはフックをつける。）

ａ：丸鋼　ｂ：あばら筋　ｃ：煙突の鉄筋
ｄ：柱・梁（基礎梁は除く）の出すみ部分の鉄筋（右図参照）
ｅ：単純梁の下端筋
ｆ：その他、本配筋標準に記載する箇所

３．　杭（地震力等の水平力を考慮する必要のある場合は、別途検討すること。）

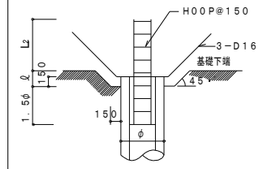
（１）　ＰＲＣ杭、又はＰＨＣ杭の全てに補強を行う

所定の位置に止まった場合



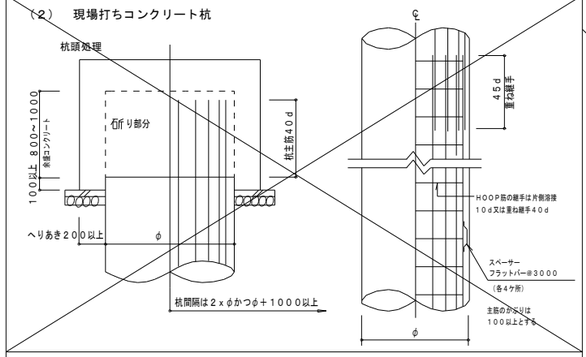
所定より低く止まった場合

但し　$l \leq \phi$　の場合
　　$l > \phi$　の場合は工事監理者の指示による



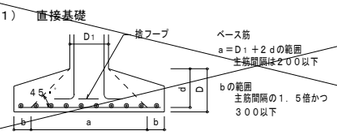
杭　径	300φ，350φ	400φ	450φ	500φ	600φ
補強筋	６−Ｄ１３	８−Ｄ１３	１０−Ｄ１３	８−Ｄ１６	１０−Ｄ１６
ＨＯＯＰ	Ｄ１０−@１５０				

（２）　現場打ちコンクリート杭



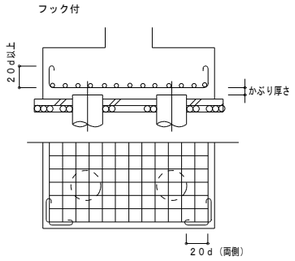
４．　基　礎

（１）　直接基礎

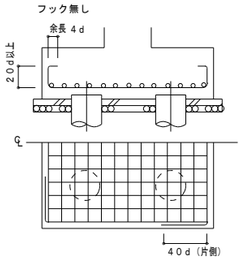


（２）　杭基礎

フック付

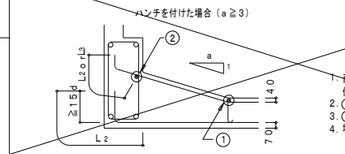


フック無し



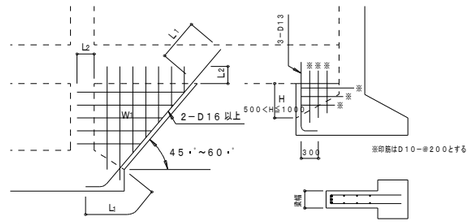
（３）　べた基礎

ハンチを付けた場合（ａ≧３）



１．耐圧版鉄筋の継手位置は床スラブにならう
　但し上筋と下筋を読みかえる。
２．①の鉄筋はスラブ主筋の径以上とする
３．②の鉄筋はＤ１３以上
４．埋戻し土のある場合は４０を７０とする

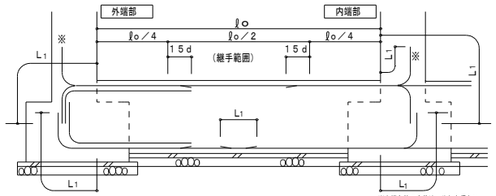
（４）　基礎接合の補強



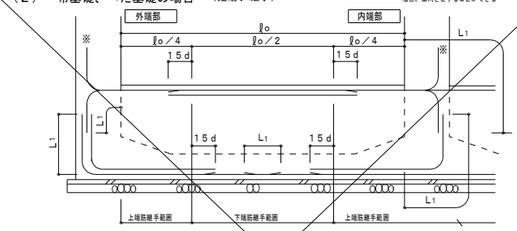
W1の三角壁厚さは、２００以上又は地中梁幅とし、
配筋は同厚の壁リストにならう

５．　地中梁

（１）　独立基礎、杭基礎の場合　（定着、継手）

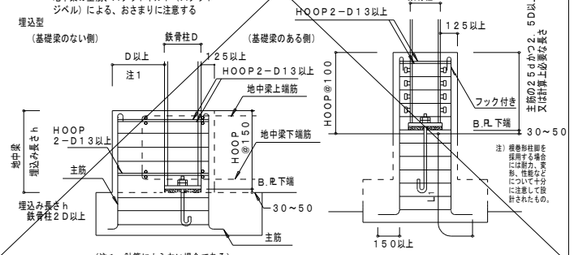


（２）　布基礎、べた基礎の場合　（定着、継手）



（３）　小規模鉄骨造の柱脚固定の配筋

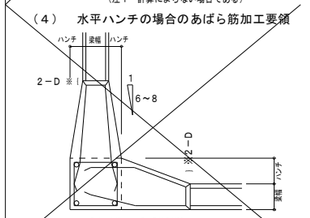
地中梁の主筋、スタッドボルト（スタッドジベル）による、おさまりに注意する



（注１　計算によらない場合である）

ベース下の施工を慎重にする

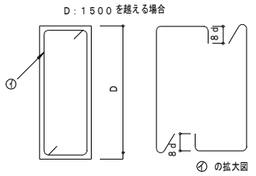
（４）　水平ハンチの場合のあばら筋加工要領



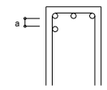
※一段のあばら筋と同様のものを２本束ねる

（５）　せいの高い梁のあばら筋加工要領図

Ｄ：１５００を越える場合



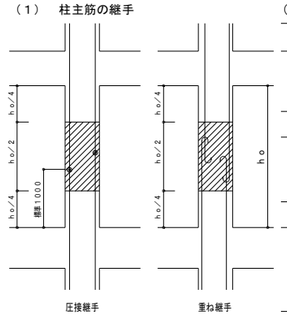
（５）　二段筋の保持



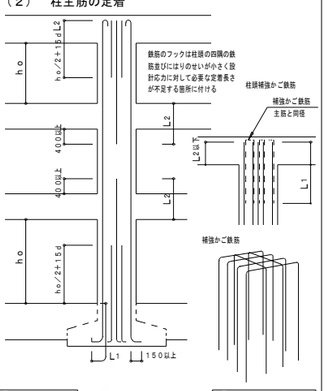
ａ＝１．５×（呼び名の数値）

６．　柱

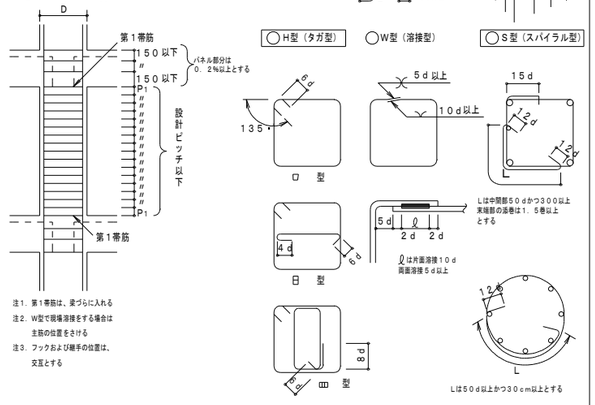
（１）　柱主筋の継手



（２）　柱主筋の定着

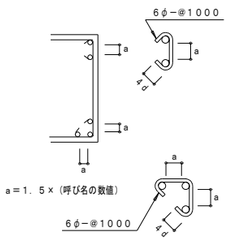


（３）　帯　筋



注１．第１帯筋は、変づらに入れる
注２．Ｗ型で現場溶接をする場合は
　　主筋の位置をさける
注３．フックおよび継手の位置は、
　　交互とする

（４）二段筋の保持



一級建築士　第185692号　細川 武

JOBNO

白石消防署庁舎建替工事【訓練棟】

鉄筋コンクリート
配筋標準図（１）

S-102

DATE R7.10.7　SCAL (A 1) 1／N.S (A 3) 1／N.S　DRAWN　CHEK

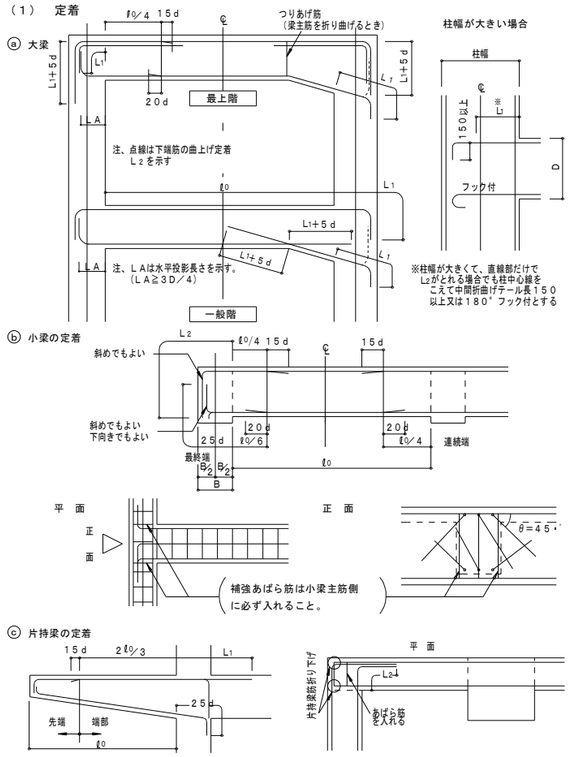
株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士　第 357230 号　永野ますみ

鉄筋コンクリート構造配筋標準図（２）

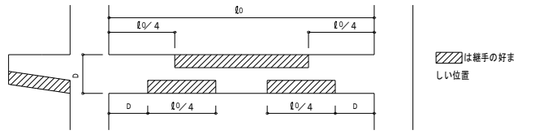
Ｌ＝ 鉄筋コンクリート構造配筋
標準図 （1）の２－（3）による。

７． 大梁、小梁、片持梁

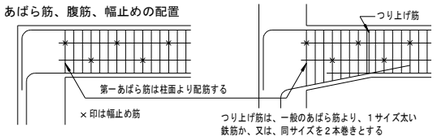
（１） 定着



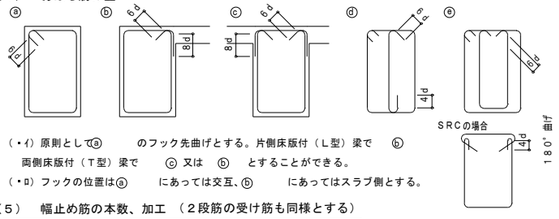
（２） 大梁主筋の継手



（３） あばら筋、腹筋、幅止めの配置



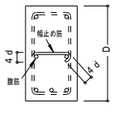
（４） あばら筋の型



（・イ）原則としてⓐ のフック先曲げとする。片側床版付（Ｌ型）梁で ⓑ
両側床版付（Ｔ型）梁で ⓒ 又は ⓑ とすることができる。
（・ロ）フックの位置はⓐ にあっては交互、ⓑ にあってはスラブ側とする。

（５） 幅止め筋の本数、加工 （２段筋の受け筋も同様とする）

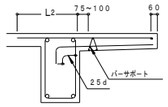
腹筋	Ｄ＜６００不要	
	６００ ≦ Ｄ ＜ ９００	２－Ｄ１０（９φ） １段
	９００ ≦ Ｄ ＜ １２００	４－Ｄ１０（９φ） ２段
	１２００ ≦ Ｄ	Ｄ１０（９φ）@３００以内
幅止め筋	Ｄ１０（９φ）@１０００以内で割り付ける	



８． 床板

（１） 定着および継手

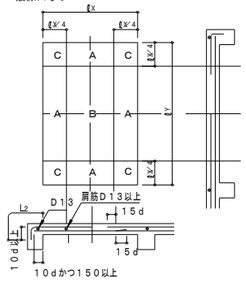
ⓐ 片持床スラブ



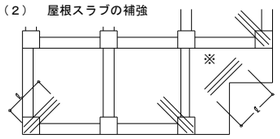
継手位置は原則として下表による。

		標準継手位置
上端筋	短 辺 方 向	Ｂ
	長 辺 方 向	Ｂ
下端筋	短辺・長辺方向	Ａ Ｃ

ⓑ 一般床スラブ



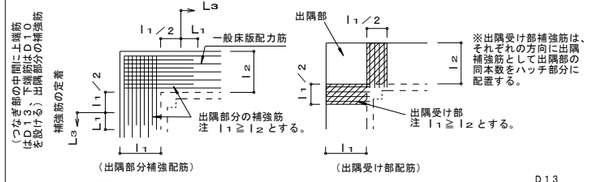
（２） 屋根スラブの補強



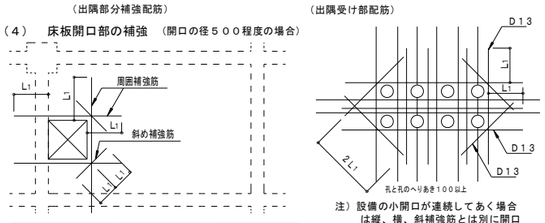
ⓐ補強筋は各３－Ｄ１３又はスラブ主筋の同一
径で ℓ＝１，５００とし、上端筋の下に配筋する
ⓑ※の個所（入隅）は各隅補強する

（３） 片持ちスラブ出隅部補強

注）出隅部の補強筋は、計算により算出する。



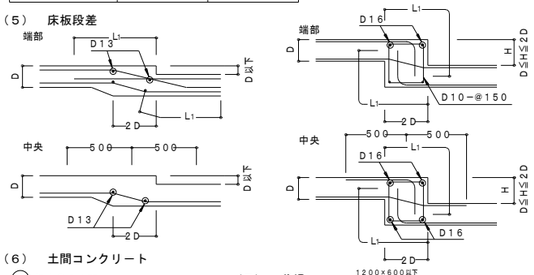
（４） 床板開口部の補強 （開口の径５００程度の場合）



注）設備の小開口が連続してあく場合
は縦、横、斜補強筋とは別に開口
によって切られる鉄筋と同じ鉄筋
を開口をさけて補強する。

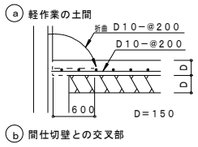
床板厚さＤ	周 囲	斜 め
Ｄ≦１５０	各２－Ｄ１３	各１－Ｄ１３
１５０＜Ｄ≦２００	各２－Ｄ１３	各２－Ｄ１３
２００＜Ｄ≦３００	各２－Ｄ１９	各２－Ｄ１６

（５） 床板段差

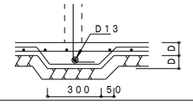


（６） 土間コンクリート

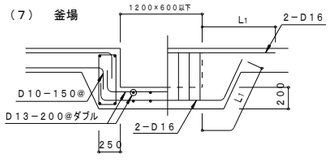
ⓐ 軽作業の土間



ⓑ 間仕切壁との交叉部



（７） 釜場



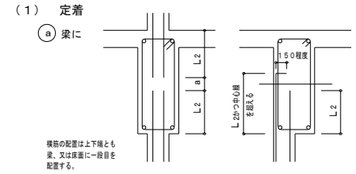
（８） 打継ぎ補強 （ダメ穴打継面について）

- 設計配筋間隔の１／２ピッチ 長さ２L１ 以上
- 無筋部分Ｄ１０－@２００ 長さ８００以上

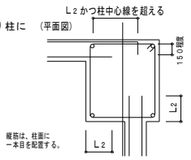
９． 壁

（１） 定着

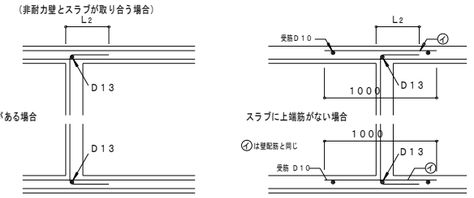
ⓐ 梁に



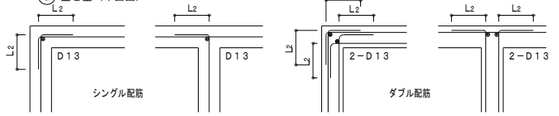
ⓑ 柱に （平面図）



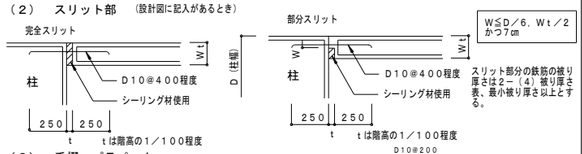
ⓒ 床に （非耐力壁とスラブが取り合う場合）



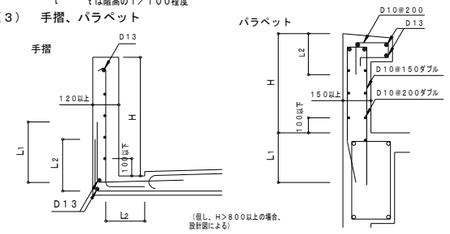
ⓓ 壁と壁（平面図）



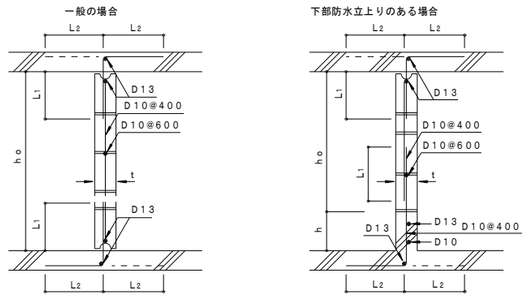
（２） スリット部 （設計図に記入があるとき）



（３） 手摺、パラペット



（４） コンクリートブロック帳壁

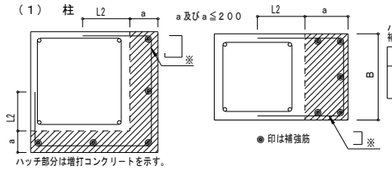


注） ｈｏ≦２５ｔかつ３５００以下とする。但し直交方向２５ｔ以内に壁、又は柱がある場合は除く
注） ｈはコンクリートブロック段数調節寸法とする。但し、２００≦ｈ≦４００
注） 継手部は必ずモルタルをてん充すること

１０． 柱、梁増打コンクリート補強

（増打するときは事前に設計者、
及び工事監理者と打合せのこと）

（１） 柱

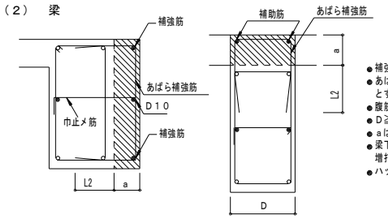


ハッチ部分の面積Ａcm²
補強タテ筋

Ａ＜５００	５００≦Ａ＜１０００	１０００≦Ａ＜１５００
３－Ｄ１６	４－Ｄ１６	６－Ｄ１６

※柱と同径、同ピッチとする。

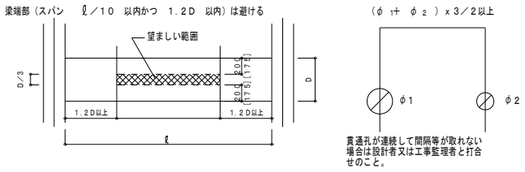
（２） 梁



- 補強筋は、Ｄ１６とする。
- あばら補強筋は、梁と同径、同ピッチとする。
- 腹筋Ｄ１０ピッチは、梁の腹筋と合せる。
- Ｄ≧４００の場合は補強筋を３本とする。
- ａは１００～２００程度。
- 梁下端増打コンクリートの場合も上端増打コンクリート補強と同様とする。
- ハッチ部分は増打コンクリートを示す。

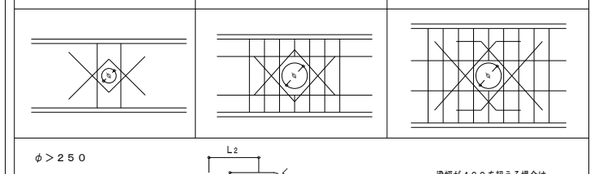
１１． 梁貫通孔補強 （既製品使用も可とする）

（１） 設置可能範囲 [ ]内数値は 梁せい700未満500以上の場合を示す。



（２） 鉄筋標準配筋 但しφ≦Ｄ／３とする

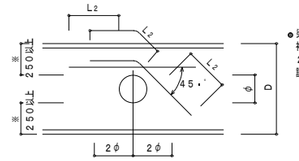
８０≦φ≦１００	１００＜φ≦１５０	１５０＜φ≦２５０
折筋 ２－（２－Ｄ１３）	折筋 ２－（２－Ｄ１３）	斜筋 ４－（２－Ｄ１３）
縦筋 ＳＴ ２－Ｄ１３	縦筋 ＳＴ ２－Ｄ１３－１００@	縦筋 ＳＴ ２－Ｄ１３－１００@
	横筋 ２－（２－Ｄ１３）	横筋 ２－（２－Ｄ１３）
		上下 縦筋 ＳＴ ２－Ｄ１３



φ＞２５０

孔補強の有効範囲と
定着長さのとり方

※部分について計算で
確認された場合は下
記の位置、寸法によ
らなくて良い。



- 梁幅が４００を超える場合は補強筋でＤ１３はＤ１６又は、２－Ｄ１３は３－Ｄ１３と、各々読みかえる

（３） 既製品 （使用するときには、設計者又は工事監理者と打合せのこと）

◉ リング型 □ パイプ型 □ 金網型 □ プレート型

（４） 図示されている貫通孔は設計段階のものであり、現場にて再度位置及び箇所を決定する。
但し、使用するときには、設計者又は工事監理者と打合せのこと。

一級建築士 第185692号 細川 武

JOBNO

白石消防署庁舎建替工事【訓練棟】

鉄筋コンクリート
配筋標準図（２）

S-103

DATE R7.10.7 SCAL (A 1) 1／N.S (A 3) 1／N.S DRAWN CHEK

株式会社 構 建築設計事務所 一級建築士 第 357230 号 永野ますみ

鉄 骨 構 造 標 準 図 （１）

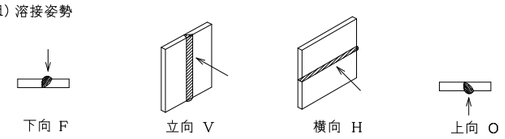
１．一般事項

（１） 材料及び検査
（ａ） 構造設計仕様による
（ｂ） 適用範囲は、鋼材を用いる工事に適用し、かつ鋼材の厚さが 40mm以下のものとする
（ｃ） 社内検査結果の検査報告書には、鉄骨の寸法、精度及びその他の結果を添付する

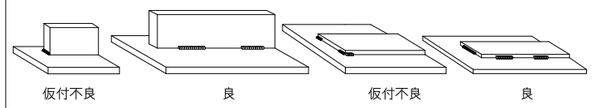
（２） 工作一般
（ａ） 鉄骨製作及び施工に先立って「鉄骨工事施工要領書」を提出し工事監理者の承認を得る
（ｂ） 鋼管部材の分岐継手部の相貫切断は、鋼管自動切断機による
（ｃ） 高張力鋼のひずみきょう正は、冷間きょう正とする

（３） 高力ボルト接合
（ａ） 本締めに使用するボルトと、仮締めボルトの併用はしてはならない

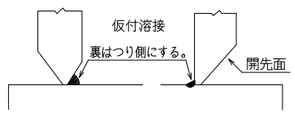
（４） 溶接接合
（ａ）溶 接 工 （スタッド溶接についても同様）
溶接工は施工する溶接に適応するＪＩＳ Ｚ3801(手溶接)又はＪＩＳ Ｚ3841(半自動溶接)の溶接技術検定試験に合格し引続き、半年以上溶接に従事している者とする
（ｂ）溶接機器
(ｲ)交流アーク溶接機 300A～500A　(ﾆ) 炭酸ガスアーク半自動溶接機
(ﾛ)アークエアーガウジング機（直流）　(ﾎ) 溶接電流を測定する電流計
(ﾊ)サブマージアーク溶接機 1式　(ﾍ) 溶接棒乾燥器
（ｃ）溶接方法
アーク手溶接（ MC ）　ガスシールドアーク半自動溶接（GC ）
セルフ(ノンガス)シールドアーク半自動溶接(NGC)　アークエアーガウジング(AAG)
（ｄ）溶接姿勢



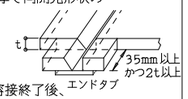
（ｅ）仮付溶接工は、原則として本工事に従事する者が行う
(ｲ) 仮付位置
仮付溶接は溶接の始、終端、隅角部など強度上、工作上、問題となり易い箇所は避ける



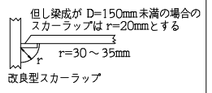
(ﾛ) 突合せ溶接部の仮付溶接は必ず裏はつり側に施工する



（ｆ）溶接施工
(ｲ) エンドタブ
Ⅰ）突合せ溶接、部分溶込み溶接の両端部に母材と同厚で同開先形状のエンドタブを取り付ける
Ⅱ）エンドタブの材質は、母材と同質とする
Ⅲ）エンドタブの長さは、MC：35mm 以上
NGC、GC：40mm 以上とし特記のない場合は、溶接終了後、母材より10mm程度残し切断して、グラインダー仕上げとする
Ⅳ）プレス鋼板タブ、固形タブ使用については、資料を提出して設計者又は工事監理者の承認を得る
原則として、Ａw検定（代替エンドタブ）合格者とする



(ﾛ) 裏あて金
材質は母材と同質材料とし厚さは手溶接で6mm、半自動溶接で9mm 以上とする
(ﾊ) ノンスカラップ工法



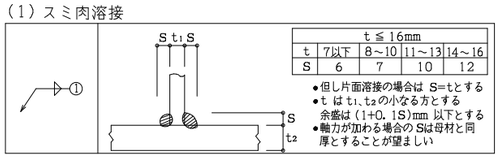
(ﾆ) 裏はつり
規準図の溶接においてAAGと記載のある部分は全て、溶接監理者の確認を励行し、部材に確認マークをつける
(ﾎ) 現場溶接の開先面には、溶接に支障のない防錆材を塗布する。又、開先部をいためない様に、養生を行う

（５） 塗装
コンクリートに埋め込まれる部分及びコンクリートとの接触面で、コンクリートと一体とする設計仕様になっている部分は、塗装をしない

２．溶接規準図

(注) f：余盛　G：ルート間隔　R：フェース　S：脚長 （単位mm）

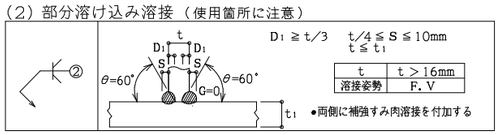
（１）スミ肉溶接



t ≦ 16mm				
t	7以下	8～10	11～13	14～16
S	6	7	10	12

●但し片面溶接の場合は S=tとする
●t は t₁、t₂の小なる方とする
余盛は（1+0.1S）mm 以下とする
●軸力が加わる場合の Sは母材と同厚とすることが望ましい

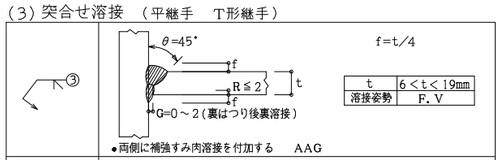
（２）部分溶け込み溶接 （使用箇所に注意）



t	t ＞ 16mm
溶接姿勢	F. V

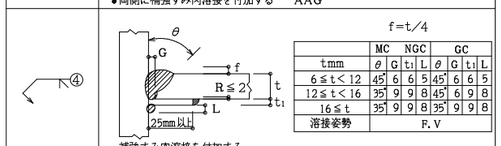
●両側に補強すみ肉溶接を付加する

（３）突合せ溶接 （平継手　T形継手）



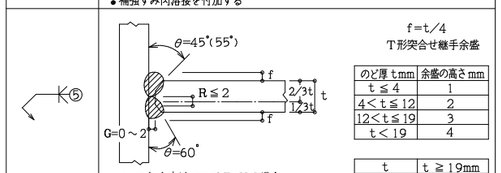
t	6 ＜t＜ 19mm
溶接姿勢	F. V

●両側に補強すみ肉溶接を付加する　AAG



	MC	NGC			GC			
tmm	θ	G	t₁	L	θ	G	t₁	L
6 ≦ t＜ 12	45°	6	6	5	45°	6	6	5
12 ≦ t＜ 16	35°	9	9	8	45°	6	9	8
16 ≦ t	35°	9	9	8	35°	9	9	8
溶接姿勢	F. V							

●補強すみ肉溶接を付加する

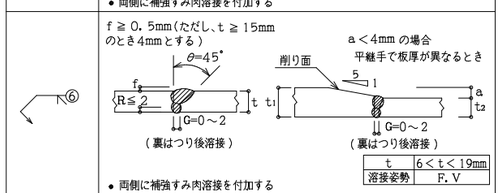


T形突合せ継手余盛

のど厚 tmm	余盛の高さ mm
t ≦ 4	1
4＜t≦12	2
12＜t≦19	3
t＜19	4

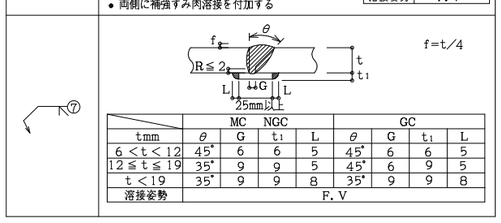
t	t ≧ 19mm
溶接姿勢	F. V

● AAG（ ）内は GC で F. H の場合
● 両側に補強すみ肉溶接を付加する



t	6＜t＜ 19mm
溶接姿勢	F. V

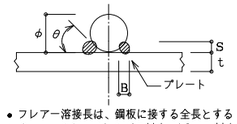
● 両側に補強すみ肉溶接を付加する



	MC	NGC			GC			
tmm	θ	G	t₁	L	θ	G	t₁	L
6 ＜t＜ 12	45°	6	6	5	45°	6	6	5
12 ≦ t ≦ 19	35°	9	9	5	45°	6	9	5
t ＜19	35°	9	9	8	35°	9	9	8
溶接姿勢	F. V							

（４）フレアー溶接

K形の場合

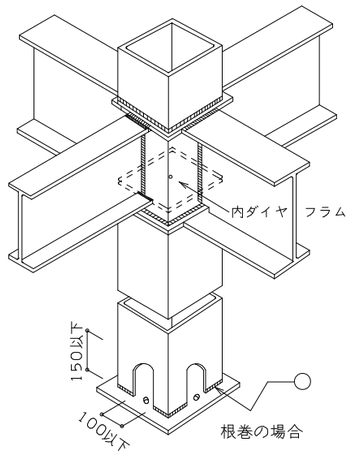


寸法(mm)		
φ	B	S
9	7	4
13	8	4.5
16	9	5
19	10	6
22	11	7
25	12	8

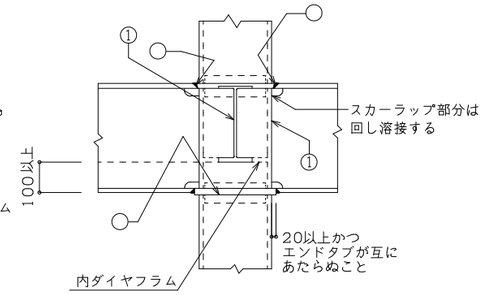
● フレアー溶接長は、鋼板に接する全長とする
● 9mm ～16mm は 1パス以上、19mm 以上は 2 パス以上とする
溶接棒角度θは 30°～40°とする

○溶接記号番号を○中に記入のこと

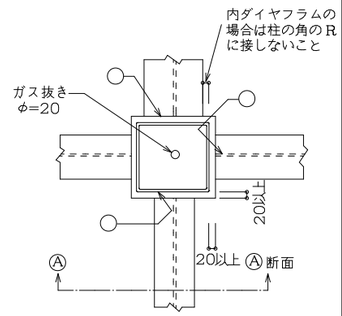
●ＢＯＸ型（通しダイヤフラムの場合）



Ⓐ－Ⓐ 断面図

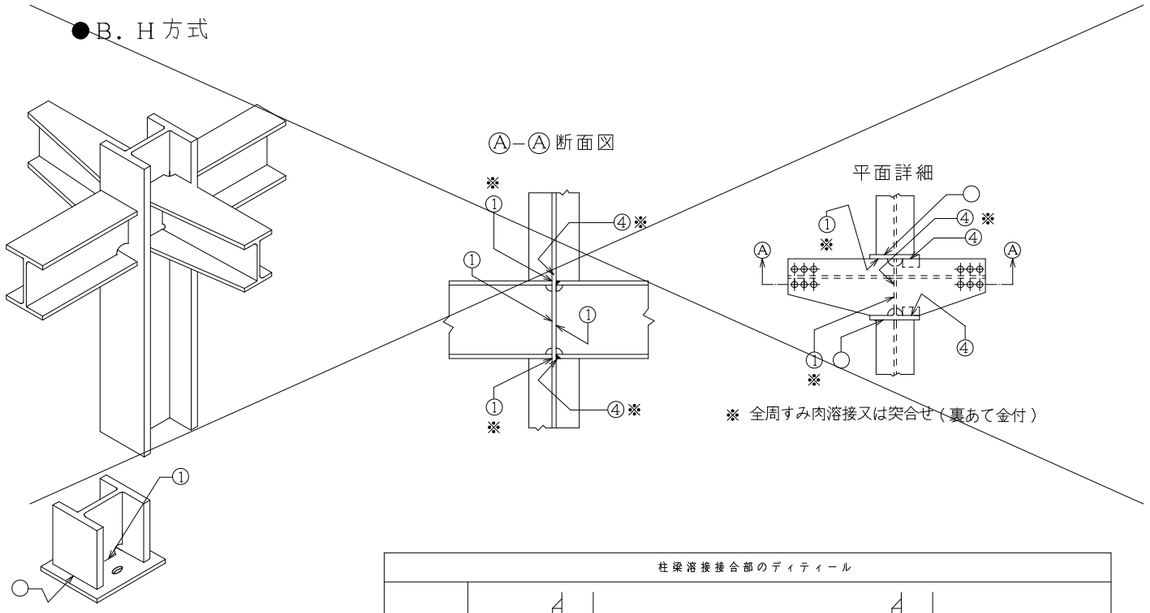


平面詳細

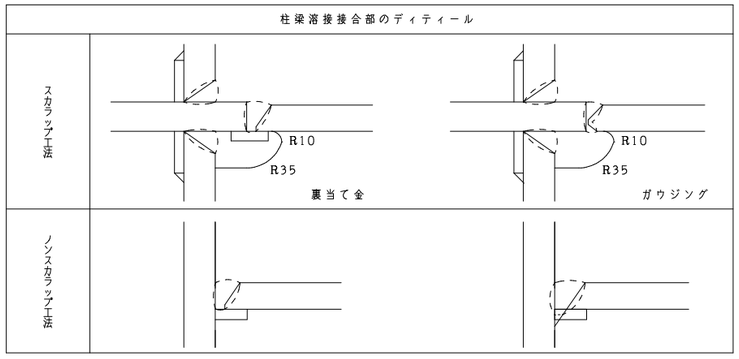


● 柱が途中で折れる場合
及梁成が異なる場合

●Ｂ．Ｈ方式



柱梁溶接接合部のディティール



一級建築士　第185692号 細川 武

JOBNO

白石消防署庁舎建替工事【訓練棟】　鉄骨構造標準図（１）　S-104

DATE R7.10.7　SCAL (A 1) 1/ N.S (A 3) 1/ N.S　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号 永野ますみ

鉄骨構造標準図　（２）

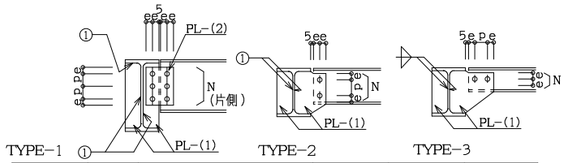
３．継手規準図、その他

（１）ボルトピッチ（P）、ボルト穴径・最小縁端距離
特記なき限り標準ピッチを使用する　(mm)

呼び	ボルト穴径	最小縁端距離（e） (1)	(2)	(3)	(2)(3)の標準	ピッチ（P） 最小	標準
M16	18.0	40	28	22	40	40	60
M20	22.0	50	34	26	40	50	60
M22	24.0	55	38	28	40	55	60
M24	26.0	60	44	32	45	60	70

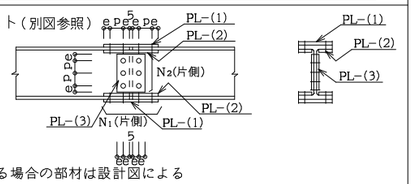
〔注〕(1)引張材の接合部で応力方向にボルトが３本以上並ばない場合の応力方向の縁端距離
(2)せん断縁・手動ガス切断縁の場合の縁端距離
(3)圧延縁・自動ガス切断縁・のこ引き縁・機械仕上縁の場合の縁端距離

（２）ピン接合梁継手リスト（別図参照）



符号	タイプ	部材	PL-(1)	PL-(2)	N-径

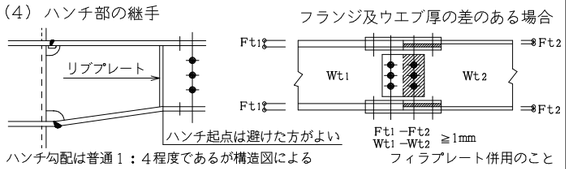
（３）剛接合継手リスト（別図参照）



注）　端部をＢＨとする場合の部材は設計図による

符号	部材	フランジ PL-(1)	PL-(2)	N1-径	ウエブ PL-(3)	N2-径

（４）ハンチ部の継手



ハンチ勾配は普通１：４程度であるが構造図による
フィラプレート併用のこと

（５）鉄筋ブレース　（JIS規格品とする・・・JISA5540～5542・・・1982）
（a）羽子板ボルト

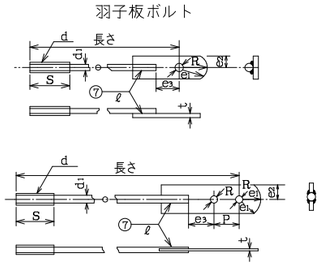
ねじの呼び（d）		M12	M14	M16	M18	M20	M22	M24
軸径 d_1	最大	10.81	12.65	14.65	16.33	18.33	20.33	21.99
	最小	10.64	12.46	14.46	16.11	18.11	20.11	21.77
調整ねじの長さ S		100	115	125	140	150	165	175
取付ボルト穴径 許容差 +0. −0.5mm R		13	17	17	21.5	21.5	23.5	21.5
はしあき（最小）(2) e_1		35	40	45	50	50	55	50
切板製	へりあき（最小）(1) e_2	22	28	28	34	34	38	38
	板厚 t	4.5	6	6	9	9	9	9
平鋼製	へりあき（最小）(1) e_2	19	25	25	32.5	32.5	37.5	37.5
	板厚 t	4.5	6	6	9	9	9	9
ボルト端から取付ボルト穴心のあき（最小） e_3		47	52	59	66	66	73	70
溶接長さ（最小） ℓ		40	50	55	60	75	85	85
取付ボルト(2)	種類	JIS B 1186　2種高力ボルト(F10T)又は JIS B 1180　中8g 10.9						
	ねじの呼び	M12	M16	M16	M20	M20	M22	M20
	本数	1	1	1	1	1	1	2

注（１）e_1、e_2 が確保されていれば形状は自由でよい
（２）羽子板とガセットプレートの接合は表に示す取付ボルトを使用し、一面せん断（支圧）接合とする

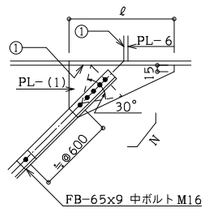
（b）形鋼ブレース

符号	部材	PL-(1)	N-径	ℓ

羽子板ボルト

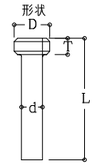


形鋼ブレース



（６）デッキプレート　（Ｓ－０８参照）
床剛性を考慮する合成床、合成梁のときは構造図参照

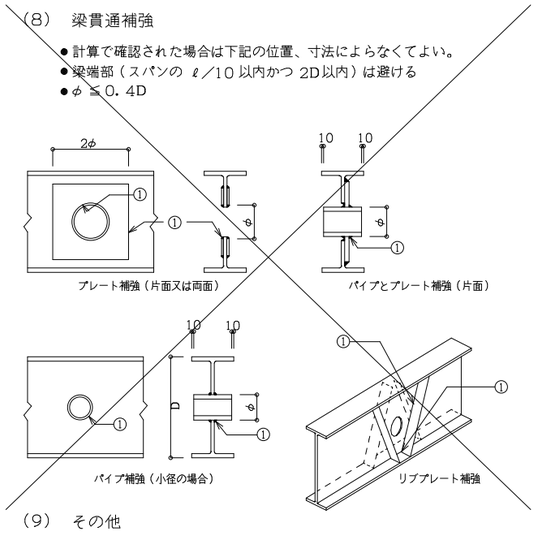
（７）頭付きスタッド（JIS1198）
スタッド材の標準形状・寸法



スタッド材 呼び名	軸径 d mm	頭径 D mm	頭高さ T mm	溶接後の長さ L mm
φ13mm	13.0 12.7	22.0 25.4	10.0 7.9	50, 80, 100, 130
φ16mm	16.0 15.8	≒29.0 31.7	10.0 7.9	80, 100, 130
φ19mm	19.0 19.0	32.0 31.7	10.0 9.5	80, 100, 130, 150
φ22mm	22.0 22.2	≒35.0 34.9	10.0 9.5	100, 130, 150

（８）梁貫通補強

- 計算で確認された場合は下記の位置、寸法によらなくてよい。
- 梁端部（スパンの ℓ／10 以内かつ 2D以内）は避ける
- φ ≦ 0.4D



（９）　その他

一級建築士　第185692号　細川 武

JOBNO

白石消防署庁舎建替工事【訓練棟】　鉄骨構造標準図（２）　S-105

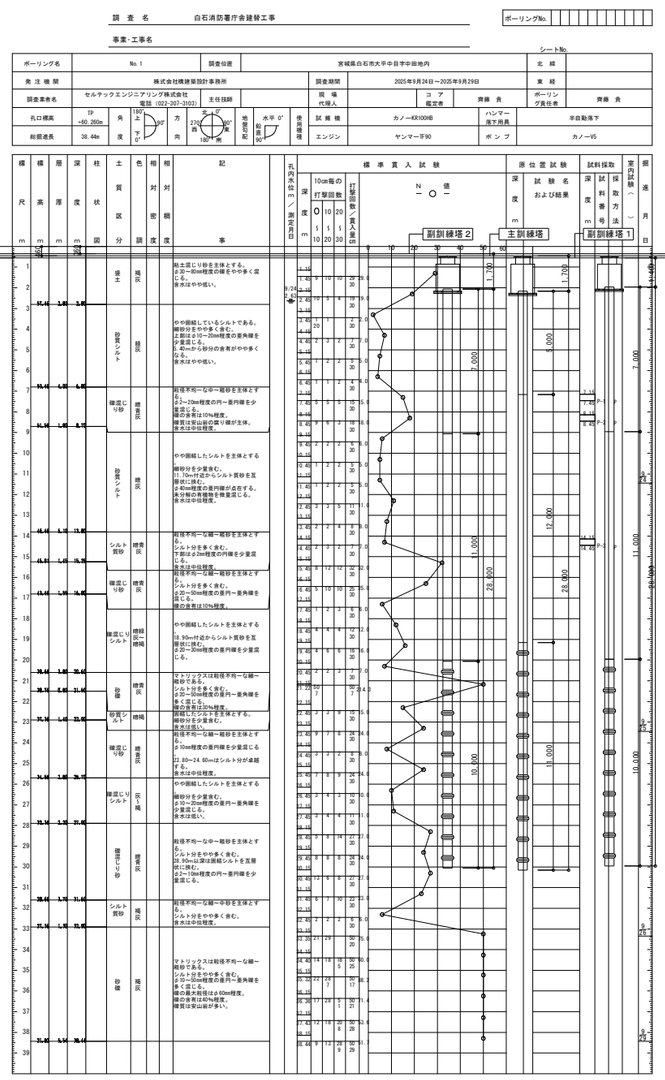
DATE R7.10.7　SCAL (A 1) 1／N.S (A 3) 1／N.S　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号　永野ますみ

ボーリング柱状図（1）

調査位置図

▽設計GL(TP+59.9)
▽設計GL(TP+59.8)
▽設計GL(TP+59.7)

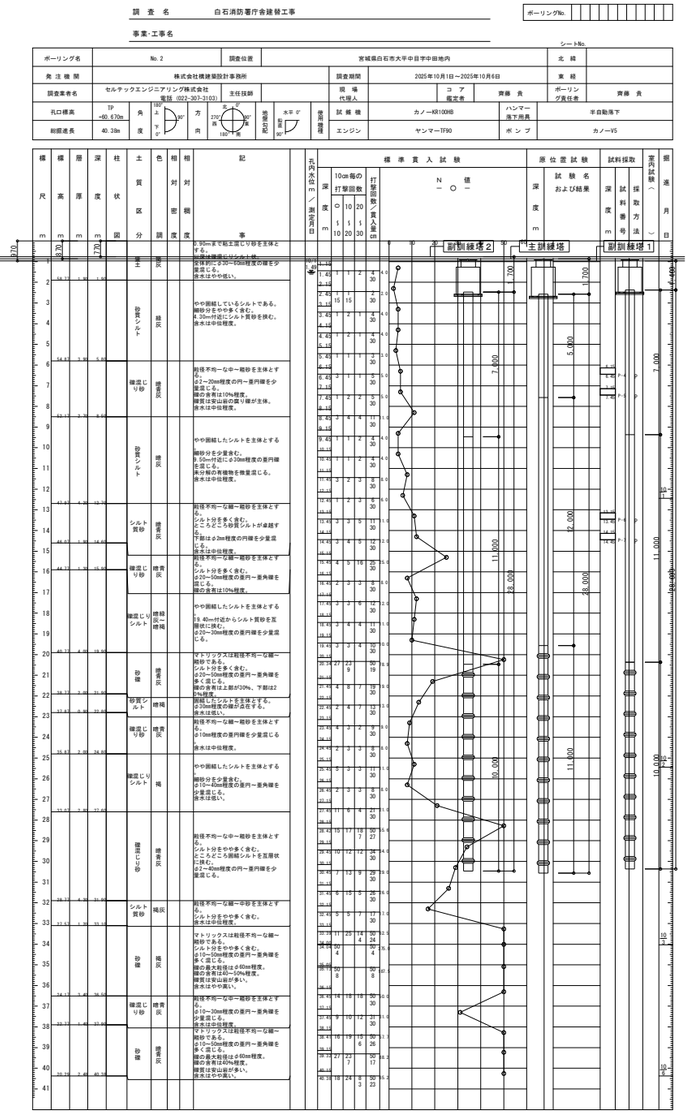


調査名　白石消防署庁舎建替工事　　ボーリングNo.

事業・工事名

ボーリング名	No. 1	調査位置	宮城県白石市大平中目字中田地内		シートNo. 北緯
発注機関	株式会社構建築設計事務所		調査期間	2025年9月24日～2025年9月29日	東経
調査業者名	セルテックエンジニアリング株式会社 電話（022-307-3103）	主任技師	現場代理人	コア 船芝香 / 齊藤 貴	ボーリング責任者 齊藤 貴
孔口標高	TP +60.260m	角度 上 90° 下 0°; 方向 270°西 90°東 180°南	地質図	縮尺 水平 0° 鉛直 90°	使用機種
総掘進長	38.44m		試錐機	カノーKR100HB	ハンマー落下用具 半自動落下
			エンジン	ヤンマーTF90	ポンプ カノーV5

標尺 m	標高 m	層厚 m	深度 m	柱図	土質区分	色調	相対密度	相対硬度	記事
1	59.26	0.70	0.70		盛土	暗灰			砕土混じり砂を主体とする。φ30～80mm程度の礫をやや多く混じる。含水はやや低い。
2									
3	56.46	1.80	2.50		粘質シルト	暗灰			やや固結しているシルトである。細砂分をやや多く含む。上部は φ10～20mm程度の亜角礫を少量混じる。8.40mから砂分の含有がややきくなる。含水はやや低い。
4									
5	54.46	1.80	4.30						
6									
7	52.46	1.80	6.10		細混じり砂	暗青灰			粒径不均一な中～粗砂を主体とする。φ2～20mm程度の円～亜円礫を少量混じる。細分含有は10%程度。礫質は安山岩の扁り礫が主体。含水は中位程度。
8									
9	50.46	1.80	8.10		粘質シルト	暗灰			やや固結したシルトを主体とする細砂分を少量含む。φ10mm付近からシルト質砂を互層状に挟む。φ40mm程度の亜円礫が点在する。炭分類の有機物を微量混じる。含水は中位程度。
10									
11	48.46	1.80	9.90						
12									
13	46.46	1.80	11.70		シルト質砂	暗青灰			粒径不均一な細～粗砂を主体とする。シルト分をやや多く含む。φ2～50mm程度の亜円～亜角礫を混じる。礫の含有は10%程度。
14									
15	44.46	1.80	13.50						
16					細混じり砂	暗青灰			粒径不均一な細～粗砂を主体とする。シルト分を多く含む。φ20～50mm程度の亜円～亜角礫を混じる。礫の含有は10%程度。
17	42.46	1.80	15.30						
18									
19	40.46	1.80	17.10		細混じりシルト	暗緑灰～暗褐			やや固結したシルトを主体とする。φ1.90m付近からシルト質砂を互層状に挟む。φ20～30mm程度の亜円礫を少量混じる。
20									
21	38.46	1.80	18.90		砂礫	暗青灰			マトリックスは粒径不均一な細～粗砂である。シルト分を多く含む。φ20～50mm程度の亜円～亜角礫を多く混じる。礫の含有は30%程度。
22									
23	36.46	1.80	20.70		砂質シルト	暗褐			固結したシルトを主体とする。細砂分を少量含む。含水は低い。
24					細混じり砂	暗青灰			粒径不均一な細～粗砂を主体とする。φ30mm程度の亜円礫を少量混じる。23.80～24.40mはシルト分が卓越する。含水は中位程度。
25	34.46	1.80	22.50						
26					細混じりシルト	灰～褐			やや固結したシルトを主体とする細砂分を少量含む。φ10～40mm程度の亜円～亜角礫を少量混じる。含水は低い。
27	32.46	1.80	24.30						
28					礫混じり砂	暗青灰			粒径不均一な中～粗砂を主体とする。シルト分をやや多く含む。26.50mは厚は薄いシルトを互層状に挟む。φ2～10mm程度の円～亜円礫を少量混じる。
29	30.46	1.80	26.10						
30									
31	28.46	1.80	27.90		シルト質砂	暗灰			粒径不均一な細～中砂を主体とする。シルト分をやや多く含む。含水は中位程度。
32	26.46	1.80	29.70						
33					砂礫	暗灰			マトリックスは粒径不均一な細～粗砂である。シルト分をやや多く含む。φ10～50mm程度の亜円～亜角礫を多く混じる。礫の最大粒径はφ60mm程度。礫の含有は40%程度。礫質は安山岩が多い。
34									
35									
36									
37									
38									
39	21.46	4.54	34.44						



調査名　白石消防署庁舎建替工事　　ボーリングNo.

事業・工事名

ボーリング名	No. 2	調査位置	宮城県白石市大平中目字中田地内		シートNo. 北緯
発注機関	株式会社構建築設計事務所		調査期間	2025年10月1日～2025年10月6日	東経
調査業者名	セルテックエンジニアリング株式会社	主任技師	現場代理人	コア 船芝香 / 齊藤 貴	ボーリング責任者 齊藤 貴
孔口標高	TP +60.670m	角度 上 90° 下 0°; 方向 270°西 90°東 180°南	地質図	縮尺 水平 0° 鉛直 90°	使用機種
総掘進長	40.38m		試錐機	カノーKR100HB	ハンマー落下用具 半自動落下
			エンジン	ヤンマーTF90	ポンプ カノーV5

標尺 m	標高 m	層厚 m	深度 m	柱図	土質区分	色調	相対密度	相対硬度	記事
1	59.70	1.00	1.00		盛土	暗灰			0.90mまで粗土混じり砂を主体とする。φ30～80mm程度の礫をやや多く混じる。含水はやや低い。
2									
3	56.47	1.80	2.80		粘質シルト	暗灰			やや固結しているシルトである。細砂分をやや多く含む。φ10～20mm程度の亜角礫を少量混じる。含水はやや低い。
4									
5	54.47	1.80	4.60						
6									
7	52.47	1.80	6.40		細混じり砂	暗青灰			粒径不均一な中～粗砂を主体とする。φ2～20mm程度の円～亜円礫を少量混じる。細分含有は10%程度。礫質は安山岩の扁り礫が主体。含水は中位程度。
8									
9	50.47	1.80	8.20		粘質シルト	暗灰			やや固結したシルトを主体とする細砂分を少量含む。φ30mm付近とφ20mm程度の亜円礫を混じる。炭分類の有機物を微量混じる。含水は中位程度。
10									
11	48.47	1.80	10.00						
12									
13	46.47	1.80	11.80		シルト質砂	暗青灰			粒径不均一な細～粗砂を主体とする。シルト分を多く含む。ところどころ砂質シルトが卓越する。下部はφ30mm程度の円礫を少量混じる。含水は中位程度。
14									
15	44.47	1.80	13.60						
16					細混じり砂	暗青灰			粒径不均一な細～粗砂を主体とする。シルト分を多く含む。φ20～50mm程度の亜円～亜角礫を混じる。礫の含有は10%程度。
17	42.47	1.80	15.40						
18									
19	40.47	1.80	17.20		細混じりシルト	暗緑灰～暗褐			やや固結したシルトを主体とする。φ1.40m付近からシルト質砂を互層状に挟む。φ20～30mm程度の亜円礫を少量混じる。
20									
21	38.47	1.80	19.00		砂礫	暗青灰			マトリックスは粒径不均一な細～粗砂である。シルト分を多く含む。φ20～50mm程度の亜円～亜角礫を多く混じる。礫の含有は40%程度。礫質は安山岩が多い。
22									
23	36.47	1.80	20.80		砂質シルト	暗褐			固結したシルトを主体とする。φ30mm程度の礫が点在する。含水は低い。
24					細混じり砂	暗青灰			粒径不均一な細～粗砂を主体とする。φ10mm程度の亜円礫を少量混じる。含水は中位程度。
25	34.47	1.80	22.60						
26					細混じりシルト	褐			やや固結したシルトを主体とする細砂分を少量含む。φ10～40mm程度の亜円～亜角礫を少量混じる。含水は低い。
27	32.47	1.80	24.40						
28					礫混じり砂	暗青灰			粒径不均一な中～粗砂を主体とする。シルト分をやや多く含む。ところどころ砂質シルトを互層状に挟む。φ2～40mm程度の円～亜円礫を少量混じる。
29	30.47	1.80	26.20						
30									
31	28.47	1.80	28.00		シルト質砂	暗灰			粒径不均一な細～中砂を主体とする。シルト分をやや多く含む。含水は中位程度。
32	26.47	1.80	29.80						
33					砂礫	暗灰			マトリックスは粒径不均一な細～粗砂である。シルト分をやや多く含む。φ10～50mm程度の亜円～亜角礫を多く混じる。礫の最大粒径はφ60mm程度。礫の含有は50%程度。礫質は安山岩が多い。含水はやや高い。
34									
35									
36									
37					細混じり砂	暗青灰			粒径不均一な中～粗砂を主体とする。φ10～30mm程度の亜円～亜角礫を少量混じる。含水は中位程度。
38									
39					砂礫	暗青灰			マトリックスは粒径不均一な細～粗砂である。シルト分を多く含む。φ10～50mm程度の亜円～亜角礫を多く混じる。礫の最大粒径はφ60mm程度。礫の含有は40%程度。礫質は安山岩が多い。含水は中位程度。
40									
41									

一級建築士　第185692号　細川 武

JOBNO

白石消防署庁舎建替工事【訓練棟】　ボーリング柱状図　S-106

DATE R7.10.7　SCAL (A 1) 1/ N.S (A 3) 1/ N.S　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号　永野ますみ

F.T.Pile構法 既製コンクリート杭（標準タイプ、各種既製コンクリート杭）BCJ評定-FD0141-06

■構法概要

1．本構法は、地震時の杭基礎の損傷低減を目的とした杭頭接合方法であり、既製コンクリート杭に用いる。

2．杭頭を基礎（パイルキャップ）へ50～150mmの範囲で埋め込み、埋め込み部分において杭外周部とパイルキャップの界面にテーパー状のクリアランスを設ける。

3．杭頭接合方法は、地震時に杭頭に引抜き力が作用しない箇所に適用する標準タイプと、引抜き力が作用する箇所にも適用できる引抜き対応タイプの２タイプがある。

■使用材料（適用範囲）

・杭　：　各種の既製コンクリート杭（PHC杭、SC杭、PRC杭、RC杭　等）

・杭径　：　300mm～1200mm

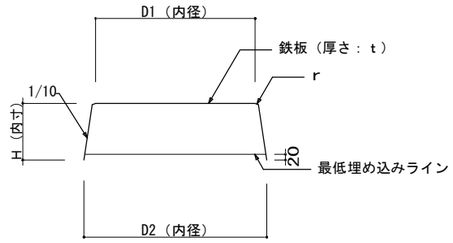
・コンクリート（基礎（パイルキャップ）部）　：　普通コンクリート　設計基準強度：18～60 N/mm

（法第37条第一号もしくは第二号に該当するコンクリート）

■施工手順

既製コンクリート杭の施工
（各種工法による）
↓
掘　　削
↓
基礎底地盤の整地
↓
杭芯・杭頭レベルの確認
↓
FTキャップの設置
（仮止めボルトによる固定）
↓
レベルコンクリートの打設
↓
仮止めボルトの撤去
↓
基礎の配筋・型枠
↓
基礎コンクリートの打設

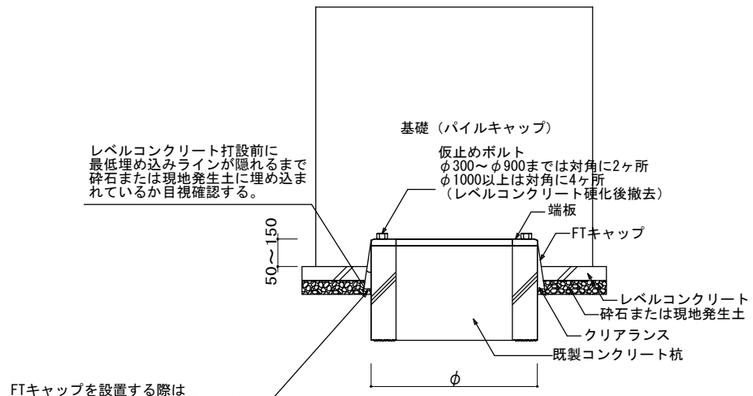
■FTキャップ（テーパー型枠）仕様



杭径：φ	鉄板厚さ：ｔ(mm)	D1(mm)	D2(mm)	H(mm)	r(mm)	W(kg)
300	1.2	301	345	201	2.0	1.8
350	1.2	351	395	201	2.0	2.3
400	1.2	401	445	201	2.0	2.7
450	1.2	451	495	201	2.0	3.2
500	1.2	501	545	201	2.0	3.8
600	1.6	601	645	201	2.0	7.2
700	1.6	701	745	201	2.0	9.0
800	2.0	801	845	201	2.0	13.8
900	2.0	901	945	201	2.0	17.4
1000	2.3	1001	1045	201	2.0	23.9
1100	3.2	1101	1145	201	2.0	38.6
1200	3.2	1201	1245	201	2.0	44.3

＊FTキャップの品質管理は製作工場で行われているため、施工時には下記の確認を行う。
・FTキャップに「FTP」の刻印があること。
・FTキャップに変形や損傷がないこと。

■杭頭部詳細図



＊図中の有効長は、ボタンヘッドの首下間の距離を表し、アンカー鋼棒の全長とは異なる。＊2

＊杭頭の基礎への埋込み深さは杭リストによる。

＊留意事項

・施工開始前に施工計画書を作成し、工事監理者の承認を得ること。
・F.T.Pile構法の施工は、FTキャップ設置前にパイルメーカーによる施工説明・指導を受けた後、実施する。
・FTPの刻印があるFTキャップ（テーパー型枠）を使用すること。
・FTキャップの受入時にはFTPの刻印と変形や損傷の有無を確認する。
・既製コンクリート杭の設置に先立ち、杭頭の端板のボルト孔に泥土が入らないように養生を行う。
・杭頭レベルの誤差が品質管理許容差を超えた場合には、工事監理者・設計者と協議のこと。
・FTキャップを設置する際は、杭周囲の砕石等のレベルが周辺よりも高くなっていないことを確認する。
・FTキャップ設置後に木槌等でFTキャップを軽打し、端板との間に小石・砂等により、浮き・隙間が生じていないか確認する。
・レベルコンクリート打設前にFTキャップの最低埋め込みラインが隠れるまで砕石または現地発生土に埋め込まれているか目視確認する。
・仮止めボルトは、レベルコンクリート硬化後に撤去する。
・FTキャップの上には原則として基礎配筋用のスペーサー等を置かないこと。
・施工完了後、施工結果を「施工チェックシート」に記録し、工事監理者に提出すること。

一級建築士　第185692号 細川 武

JOBNO

白石消防署庁舎建替工事【訓練棟】　F.T.Pile構法 標準図　S-107

DATE R7.10.7　SCAL (A 1) 1／N.S (A 3) 1／N.S　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号 永野ますみ

梁貫通孔補強材　ダイヤレンＮＳ設計・施工標準仕様書　BCJ評定-RC0124-09，BCJ評定-SS0056-02

コーリョー建販株式会社

2026.5.1作成

１．一般事項

（１）本仕様書は、ダイヤレンＮＳの標準仕様を定めるものであり、各設計における特記仕様は、本仕様書に優先して適用する。

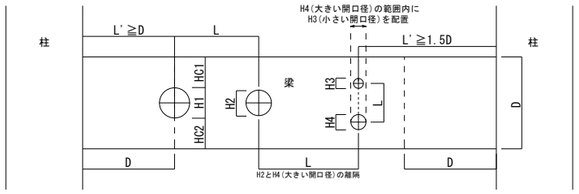
（２）本設計仕様に記載のない事項については、建築基準法・同施行令、（一財）日本建築センター及び（一社）日本建築学会の関連する諸指針や諸規準、ダイヤレンＮＳ技術マニュアル、及びダイヤレンＮＳを用いた基礎梁端部小開口の補強技術マニュアルによる。

２．使用材料・貫通孔の適用範囲

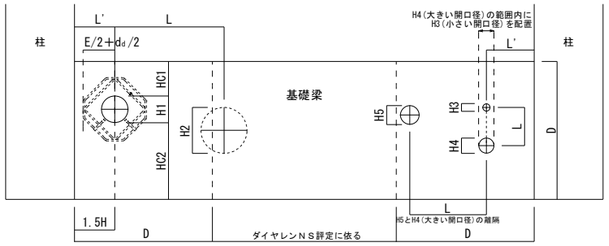
（１）各評定の適用範囲

	ダイヤレンＮＳ	ダイヤレンＮＳを用いた基礎梁端部小開口補強
評定番号	BCJ評定-RC0124-09	BCJ評定-SS0056-02
対象とする部材	鉄筋コンクリート造 及び鉄骨鉄筋コンクリート造の梁	有効な柱梁接合部に取り付く 非降伏の基礎梁及び地下階の梁※1
コンクリート	Fc＝21N/mm²～100N/mm²	
鉄筋	主筋　　：基準強度295～490N/mm²のJIS鉄筋、490を超え685N/mm²以下の大臣認定品 あばら筋　：基準強度295～490N/mm²のJIS鉄筋、490を超え1275N/mm²以下の大臣認定品 ダイヤレンＮＳ：KSS785-K（MSRB-0004）、MK785（MSRB-0067）	
梁せい（D）	－	D≧750mm
開口形状	円形または多角形とする（多角形の場合はその外接円を開口とみなす）	
開口径(外径)（H）	H≦750mm　かつ　H≦D/3	H＜350mm　かつ　H≦D/5
上下に複数開口を設ける場合の合計径（ΣH）	ΣH≦D/3	ΣH≦D/3.75
柱際から開口中心までの距離（L'）	L'≧D 上下に複数開口を設ける場合はL'≧1.5D	L'＜D　かつ　L'≧1.5H　かつ L'≧E/2+d_d/2
隣接する開口の水平及び鉛直方向中心間距離（L）	隣接する開口径の平均値の3倍以上 （隣接する開口が縦並び開口の場合、縦並び開口の一番大きい径との平均値の3倍以上とする）	
へりあき（HC1,HC2）	HC1,HC2≧製品サイズによる最小寸法（下式） (E-H)/2+d_d/2+d_w+t_c E：ダイヤレンＮＳのE寸法 d_d：ダイヤレンＮＳの鉄筋の呼び径 d_w：あばら筋の呼び径 t_c：コンクリートのかぶり厚さ(40mm以上)	HC1,HC2≧製品サイズによる最小寸法 かつ　HC1,HC2≧D/4※2 ※2 γ≧0.6 かつ pt≦1.0%を満足する場合、 ・D/4＞400mmのとき、HC≧400mm ・H≦D/10かつH＜150mmのとき、HC≧250mm γ：複筋比　pt：引張鉄筋比

【RC0124-09】



【SS0056-02】



※1 ダイヤレンＮＳを用いた基礎梁端部小開口補強［BCJ評定-SS0056-02］の対象とする部材

①及び②に適合する基礎梁を対象とする。なお、本評定[BCJ評定-SS0056-02]は基礎梁を対象としているが、構造計算上地下部分として扱う地下階の鉄筋コンクリート造及び鉄骨鉄筋コンクリート造の梁に適用することができる。

①非降伏の鉄筋コンクリート造の基礎梁

非降伏の基礎梁とは、大地震時に設計上曲げ降伏せず、かつ、せん断破壊しない基礎梁をいう。

②有効な柱梁接合部に取り付く基礎梁

- 鉄筋コンクリート造の柱梁接合部に取り付く基礎梁を対象とする。壁式鉄筋コンクリート造の場合は、壁柱と基礎梁の接合部を鉄筋コンクリート造の柱梁接合部とみなす。
- 鉄骨造建築物の基礎梁は、告示※3に従って設計された柱脚（露出形式・根巻き形式・埋込み形式）または評定等を取得した柱脚工法の基礎柱型※4に取り付くものを対象とする。
- 木造建築物の基礎梁は、鉄筋コンクリート造の柱梁接合部または基礎柱型※4に取り付くものを対象とし、小規模木造の基礎梁(木造住宅等の布基礎及びべた基礎等の基礎梁)は対象外とする。

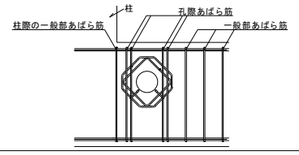
※3 平成12年建設省告示第1456号

※4 基礎柱型の配筋は、評定等を取得した工法を用いる場合はその規定に従うとともに、主筋及び帯筋が配筋されたものとする。

３．仕様規定

（１）ダイヤレンＮＳの使用枚数は、開口１箇所当たり２枚以上とする。

（２）柱際には、孔際あばら筋の他、少なくとも１組の一般部あばら筋（第一あばら筋）を配筋する。［SS0056-02］



４．開口部あばら筋の配筋要領

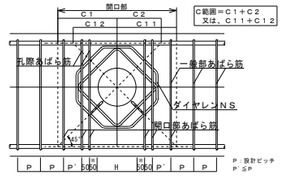
（１）開口部に配筋されるあばら筋の組数は、開口が無いとした場合に配置されるあばら筋組数以上とする。

（２）孔際あばら筋は、一般部あばら筋と同径以上かつ同鋼種とする。［SS0056-02］

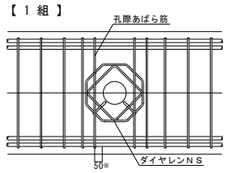
（３）孔際あばら筋の組数は、下表の標準組数以上とする。

【開口に対して片側に配置する孔際あばら筋の標準組数】

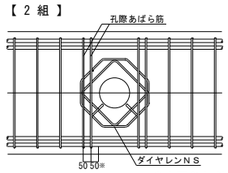
開口径	一般部あばら筋比（p_w）	
	1%未満	1%以上
H＜150	1組	2組
150≦H＜300	2組	3組
300≦H	3組	3組



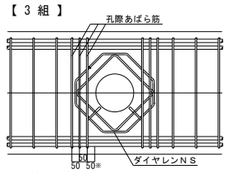
【１組】



【２組】



【３組】



※必要なかぶり厚さを確保した位置とし、標準は50mmとする。

５．開口部上下補強要領（350φ以上の場合）

（１）開口の左右に配筋する1組目の孔際あばら筋の間隔が梁せいの1/2以上または450mm以上（開口径で350mm以上）になる場合は、開口部上下補強筋と水平補強筋により主筋を拘束するための補強を行う。

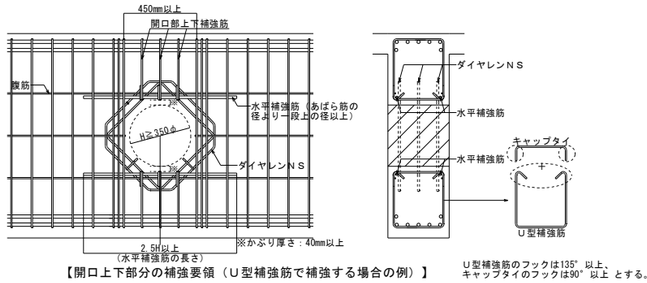
ただし、水平力による応力を負担しない梁（小梁等）の場合は梁せいの1/2は考慮しなくともよい。

（２）開口部上下補強筋は、一般部あばら筋と同径以上かつ同鋼種とし、一般部あばら筋のピッチ以下となるように配筋する。

（丸鋼及びインデントは不可）

（３）形状にはコ型・Ｕ型・Π型等があり、コ型補強筋の梁主筋側の重ね長さは「梁幅-2×かぶり厚さ」または35d以上とし、水平補強筋側（梁内側）の重ね長さは12d以上とする。ただし、梁幅が400mm未満もしくはコ型補強筋の梁主筋側重ね長さが25d（dは鉄筋の呼び径）以下の場合は、Ｕ型またはΠ型の形状で補強を行う。

（４）水平補強筋は、一般部あばら筋より1段上の径以上とし（SD295A程度）、開口径の2.5倍以上の長さとする。



【開口上下部分の補強要領（Ｕ型補強筋で補強する場合の例）】

６．施工要領例

（１）型枠上に開口の位置と開口径等を墨出しする。

（２）補強設計上必要な孔際あばら筋と一般部あばら筋を配筋する。孔際あばら筋は、1組目は必要なかぶり厚さを確保した所定の位置に配置し、2組目以降はそれぞれ50mmピッチで配筋する。孔際あばら筋と一般部あばら筋の間隔は、設計ピッチ以下とする。

（３）孔際あばら筋を配筋するのが困難な場合は、束ね配筋にすることができる。

（束ね配筋は、2組までは束ねることができるが、3組以上は束ねてはならない。）

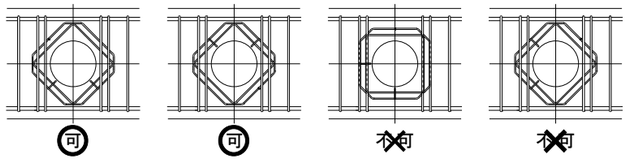
（４）ダイヤレンＮＳを左右の孔際あばら筋の間から挿入し、孔際あばら筋等に4か所以上結束する。

（５）スリーブをダイヤレンＮＳのスリーブ受け筋にセットし、針金等で固定する。

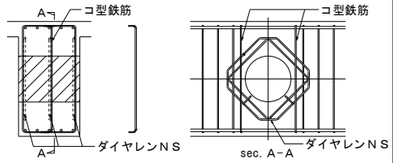
（６）開口部周囲のそれぞれの鉄筋のかぶり厚さが適正に確保されていることを確認する。

７．施工における注意事項

（１）ダイヤレンＮＳはあばら筋に対して斜め45度の傾きをもって必要な耐力が期待できるため、下図の「可」の向きになるように施工すること。



（２）補強設計によって中子筋が無い梁に対して3枚以上のダイヤレンＮＳが必要になった場合は、右図のようにコ型鉄筋等を開口の左右にそれぞれ1本以上配筋し、この鉄筋にダイヤレンＮＳを結束して固定する。



８．ダイヤレンＮＳ標準製品寸法表

（特記外単位：mm）

スリーブ径（対応径）	型	サイズ	寸法 A	B	C	D	E	F	形状	重量(kgf/枚)	Ho
100φ（H≦115）	Ⅰ	6	205	115	127	45	289	45	①	0.55	204
	Ⅱ	8	205	115	127	45	289	45	①	0.85	205
	Ⅲ	10	205	95	155	55	289	45	②	1.14	206
	Ⅳ	13	210	80	183	65	296	48	②	2.01	211
	Ⅴ	16	230	100	183	65	325	55	③	3.46	227
	Ⅴ-3R	16	230	154	237	65	455	57	⑤	6.14	292
125φ（H≦141）	Ⅰ	6	230	140	127	45	325	45	①	0.60	222
	Ⅱ	8	230	140	127	45	325	45	①	0.94	223
	Ⅲ	10	235	125	155	55	332	48	②	1.27	227
	Ⅳ	13	240	110	183	65	339	50	②	2.26	232
	Ⅴ	16	240	110	183	65	339	50	③	3.57	234
	Ⅴ-3R	16	240	164	237	65	469	49	⑤	6.31	299
150φ（H≦166）	Ⅰ	6	255	165	127	45	360	45	①	0.66	239
	Ⅱ	8	255	165	127	45	360	45	①	1.03	240
	Ⅲ	10	260	150	155	55	367	47	②	1.38	245
	Ⅳ	13	260	130	183	65	367	47	②	2.41	246
	Ⅴ	16	265	135	183	65	374	50	③	3.88	251
	Ⅴ-3R	16	265	189	237	65	504	49	⑤	6.78	316
175φ（H≦191）	Ⅰ	6	280	190	127	45	395	45	①	0.71	257
	Ⅱ	8	280	190	127	45	395	45	①	1.12	258
	Ⅲ	10	285	175	155	55	403	47	②	1.50	263
	Ⅳ	13	285	155	183	65	403	47	②	2.61	264
	Ⅴ	16	290	160	183	65	410	50	③	4.19	269
	Ⅴ-3R	16	290	214	237	65	540	49	⑤	7.25	334
200φ（H≦216）	Ⅰ	6	305	215	127	45	431	45	①	0.77	275
	Ⅱ	8	305	215	127	45	431	45	①	1.20	276
	Ⅲ	10	310	200	155	55	438	47	②	1.61	280
	Ⅳ	13	310	180	183	65	438	47	②	2.81	282
	Ⅴ	16	320	190	183	65	452	50	③	4.57	290
	Ⅴ-3R	16	320	244	237	65	582	52	⑤	7.82	355
250φ（H≦270）	Ⅰ	6	360	270	127	45	509	45	①	0.89	314
	Ⅱ	8	360	270	127	45	509	45	①	1.40	315
	Ⅲ	10	360	250	155	55	509	45	②	1.83	316
	Ⅳ	13	370	240	183	65	523	50	②	3.29	324
	Ⅴ	16	370	210	226	80	523	50	②	5.31	326
	Ⅴ-3R	16	370	276	292	80	683	50	④	9.11	406
300φ（H≦320）	Ⅰ	6	410	320	127	45	579	45	①	1.01	349
	Ⅱ	8	410	320	127	45	579	45	①	1.57	350
	Ⅲ	10	410	300	155	55	579	45	②	2.05	351
	Ⅳ	13	420	290	183	65	593	50	②	3.69	359
	Ⅴ	16	420	260	226	80	593	50	②	5.93	361
	Ⅴ-3R	16	420	326	292	80	753	50	④	10.04	441
350φ（H≦370）	Ⅰ	6	460	370	127	45	650	45	①	1.12	384
	Ⅱ	8	460	370	127	45	650	45	①	1.75	385
	Ⅲ	10	460	350	155	55	650	45	②	2.28	386
	Ⅳ	13	470	340	183	65	664	50	②	4.09	395
	Ⅴ	16	470	310	226	80	664	50	②	6.55	396
	Ⅴ-3R	16	470	376	292	80	824	50	④	10.98	476
400φ（H≦420）	Ⅰ	8	510	420	127	45	721	45	①	1.92	421
	Ⅱ	10	510	400	155	55	721	45	②	2.50	422
	Ⅲ	13	520	390	183	65	735	50	②	4.48	430
	Ⅳ	16	530	370	226	80	749	55	②	7.31	439
	Ⅳ-3R	16	530	436	292	80	909	55	④	12.11	519
450φ（H≦470）	Ⅰ	8	560	470	127	45	791	45	①	2.10	456
	Ⅱ	10	560	450	155	55	791	45	②	2.73	457
	Ⅲ	13	570	440	183	65	806	50	②	4.88	466
	Ⅳ	16	580	420	226	80	820	55	②	7.94	474
	Ⅳ-3R	16	580	486	292	80	980	55	④	13.04	554
500φ（H≦520）	Ⅱ	10	610	500	155	55	862	45	②	2.95	492
	Ⅲ	13	620	490	183	65	876	50	②	5.28	501
	Ⅳ	16	630	470	226	80	890	55	②	8.56	509
	Ⅳ-3R	16	630	536	292	80	1050	55	④	13.98	589
550φ（H≦570）	Ⅱ	10	660	550	155	55	933	45	②	3.17	528
	Ⅲ	13	670	540	183	65	947	50	②	5.68	536
	Ⅳ	16	680	520	226	80	961	55	②	9.18	545
	Ⅳ-3R	16	680	586	292	80	1121	55	④	14.92	625
600φ（H≦630）	Ⅱ	10	720	610	155	55	1018	45	②	3.44	570
	Ⅲ	13	730	600	183	65	1032	50	②	6.16	579
	Ⅳ	16	750	590	226	80	1060	60	②	10.07	594
	Ⅳ-3R	16	750	656	292	80	1220	60	④	16.24	674
650φ（H≦680）	Ⅱ	10	770	660	155	55	1088	45	②	3.67	605
	Ⅲ	13	780	650	183	65	1103	50	②	6.55	614
	Ⅳ	16	800	640	226	80	1131	60	②	10.69	630
	Ⅳ-3R	16	800	706	292	80	1291	60	④	17.17	710
700φ（H≦730）	Ⅱ	10	820	710	155	55	1159	45	②	3.89	641
	Ⅲ	13	830	700	183	65	1173	50	②	6.95	649
	Ⅳ	16	850	690	226	80	1202	60	②	11.32	665
	Ⅳ-3R	16	850	756	292	80	1362	60	④	18.11	745
750φ（H≦750）	Ⅱ	10	870	760	155	55	1230	45	②	4.11	676
	Ⅲ	13	880	750	183	65	1244	50	②	7.35	685
	Ⅳ	16	900	740	226	80	1272	60	②	11.94	700
	Ⅳ-3R	16	900	806	292	80	1432	60	④	19.05	780

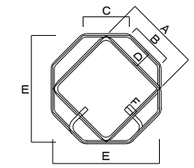
※対応径は、スリーブ面とダイヤレンＮＳ内リング筋の内側面までのかぶり厚さを40mmとした場合の開口外径

※表中Hoは、かぶり厚さ40mm、あばら筋16mmとした場合の梁上下端から開口芯までの距離

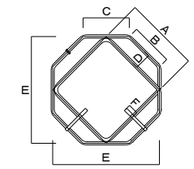
※寸法は、鉄筋の芯－芯間とする

【ダイヤレンＮＳ　標準形状】

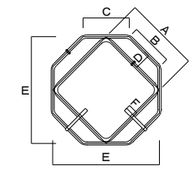
①一筆型（2重リング）



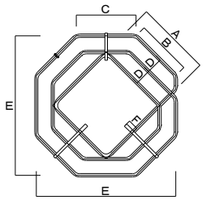
②1箇所溶接型（2重リング）



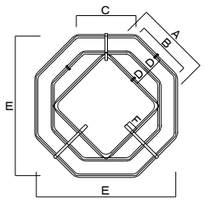
③2箇所溶接型（2重リング）



④1箇所溶接型（3重リング）



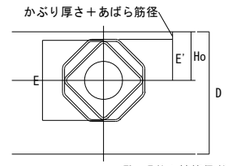
⑤3箇所溶接型（3重リング）



【へりあきの最小寸法】

ダイヤレンＮＳを使用した場合の梁上下端から開口芯までの距離（Ho）を左表に示す。

（かぶり厚さ40mm、あばら筋径を16mmと仮定した数値）



E'＝E/2＋鉄筋径/2

Ho＝かぶり厚さ＋あばら筋径＋E'

【型式の表記について】

V-3R　⇒　V（型式）-3R（リング形状※）

※リング形状は「2R（2重リング）」と「3R（3重リング）」（上記の形状①～⑤）があり、3Rの表記以外は2Rとする。

一級建築士　第185692号　細川 武

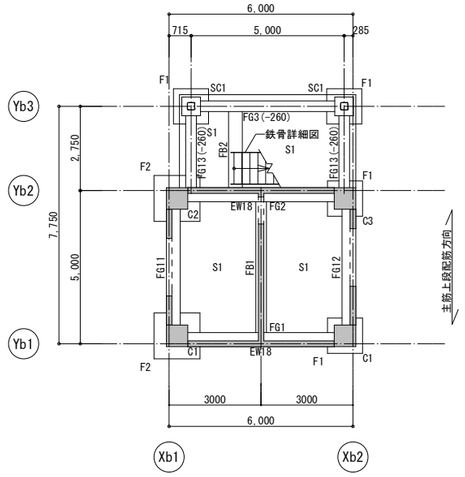
JOBNO

白石消防署庁舎建替工事【訓練棟】

ダイヤレンＮＳ 設計・施工標準仕様書　S-108

DATE R7.10.7　SCAL (A 1) 1/ N.S (A 3) 1/ N.S　DRAWN　CHEK

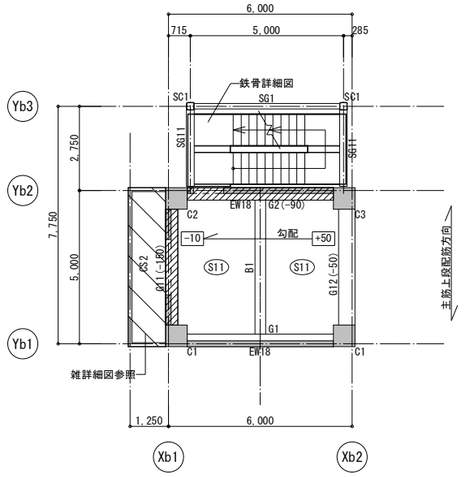
株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号 永野ますみ



1階伏図　S=1/100　(1FL=設計GL+100)

特記なき限り　下記による。

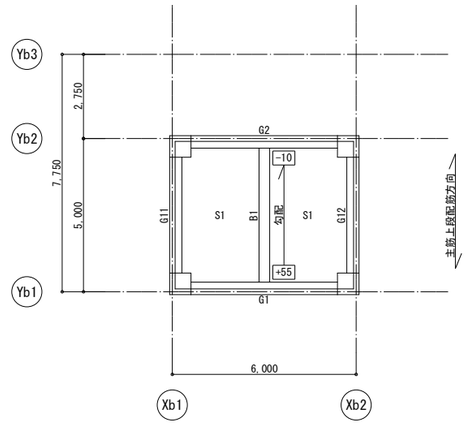
1. 床版天端　1FL-10
2. 地中梁天端　1FL-160
3. (　)内数字は 1FLからの地中梁天端レベルを示す。
4. 数字 は 1FLからの床天端レベルを示す。
5. 壁　:　W18
6. ▨ 印は 打増しを示す。



3階伏図　S=1/100　(3FL=2FL+3,500)

特記なき限り　下記による。

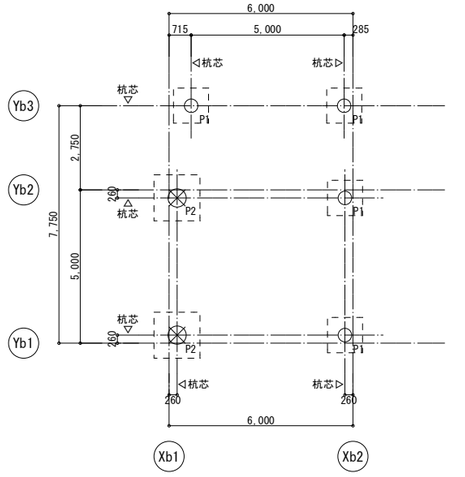
1. 床版天端　水勾配による。
2. 梁天端　床版天端±0
3. (　)内数字は 2FLからの梁天端レベルを示す。
4. 数字 は 2FLからの床天端レベルを示す。
5. 壁　:　W18
6. ▨ 印は 打増しを示す。



R階伏図　S=1/100　(RFL=4FL+3,500)

特記なき限り　下記による。

1. 屋根水勾配は躯体でとる。
2. 数字 は RFLからの床天端レベルを示す。
3. ▨ 印は 打増しを示す。

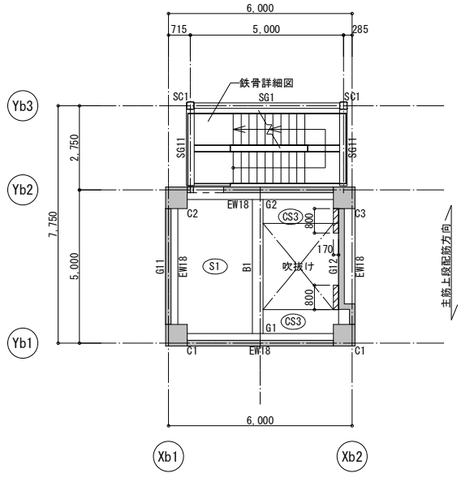


杭について（主訓練塔）		
工　法	Hyper-MEGA工法(プレボーリング拡大根固め工法)	
	TACP-0527(砂質地盤)　TACP-0528（礫質地盤）	
	杭頭部　F.T.Pile工法(BCJ評定-FD0141-06)	
符号	P1	P2
記号	○	⊗
杭径	φ450,4560	φ600,6075
杭種　上杭	105SSC_450-t6(490)	MAS_600-B種
	5.0m	7.0m
中杭	MAS_450-B種	MAS_600-A種
	12.0m	11.0m
下杭	MF_4560-A種	MF_6075-A種
	11.0m	10.0m
杭耐力(kN／本)	1,310	1,868
杭長	28.0m	28.0m
杭本数	4 本	2 本
杭天端	設計GL-1,700	設計GL-1,700

杭　伏図　S=1/100　(設計GL=TP+59.80)

特記なき限り　下記による。

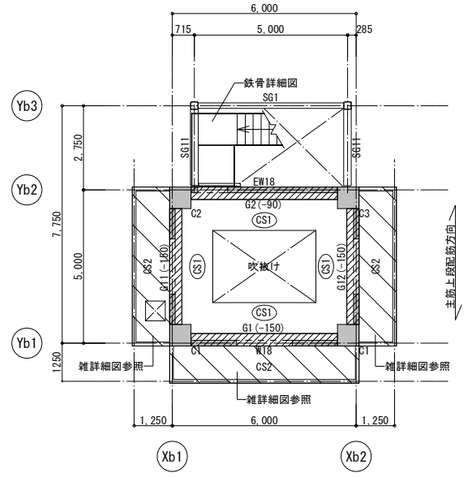
1. 杭天端　設計GL-1,600



2階伏図　S=1/100　(2FL=1FL+3,400)

特記なき限り　下記による。

1. 床版天端　2FL-90
2. 梁天端　2FL-90
3. (　)内数字は 2FLからの梁天端レベルを示す。
4. 数字 は 2FLからの床天端レベルを示す。
5. 壁　:　W18
6. ▨ 印は 打増しを示す。
7. ◯ 印床版は 上端打増し(t=90)を示す。



4階伏図　S=1/100　(4FL=3FL+3,500)

特記なき限り　下記による。

1. 床版天端　4FL-10
2. 梁天端　4FL-10
3. (　)内数字は 4FLからの梁天端レベルを示す。
4. 数字 は 4FLからの床天端レベルを示す。
5. 壁　:　W18
6. ▨ 印は 打増しを示す。

一級建築士　第185692号　細川 武

JOBNO

白石消防署庁舎建替工事【訓練棟】　（主訓練塔）伏図　S-110

DATE	SCAL	DRAWN	CHEK
R7.10.7	(A 1) 1／100　(A 3) 1／200		

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士　第 357230 号　永野ますみ

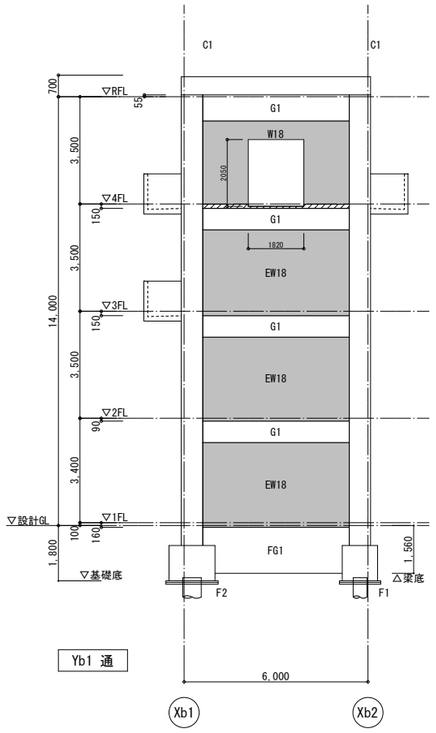
軸組図　S=1/100

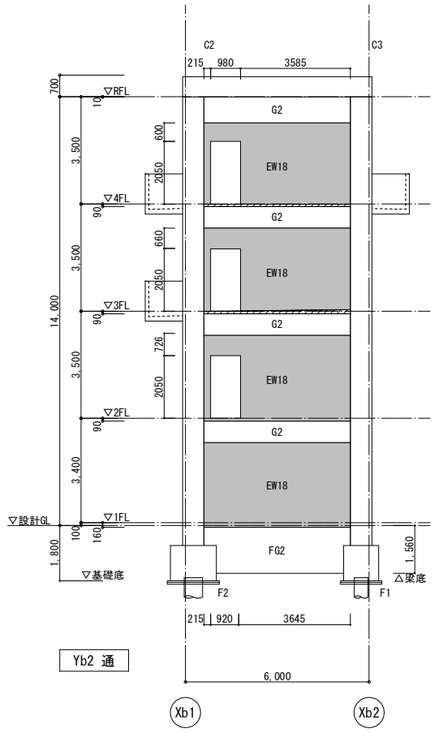
特記なき限り、下記による。

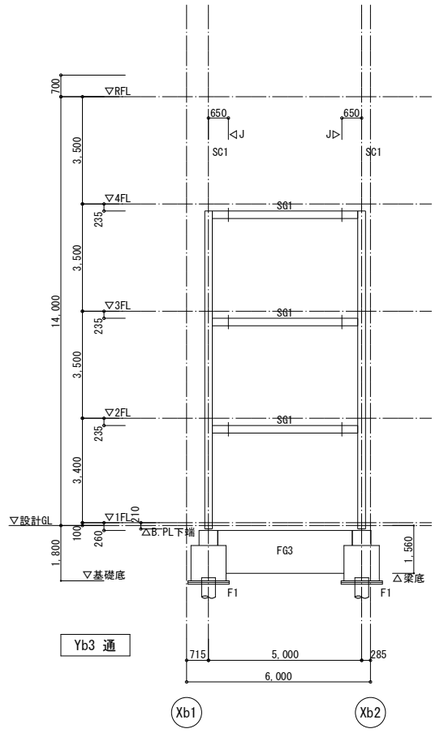
1. ▨ 印は 打増しを示す。

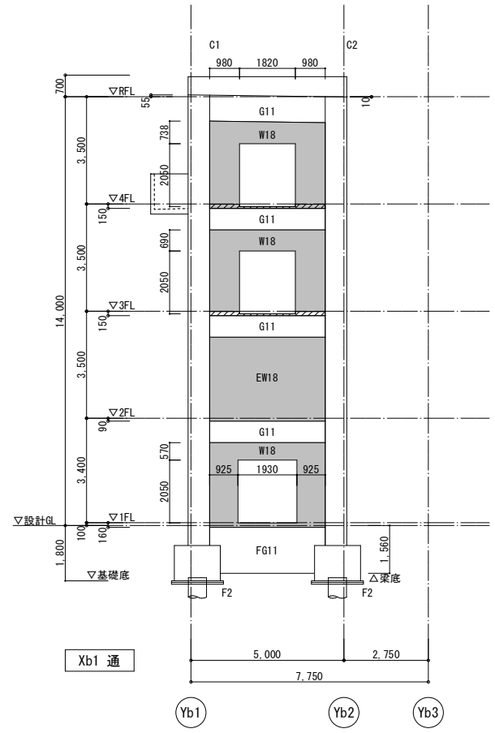
2.

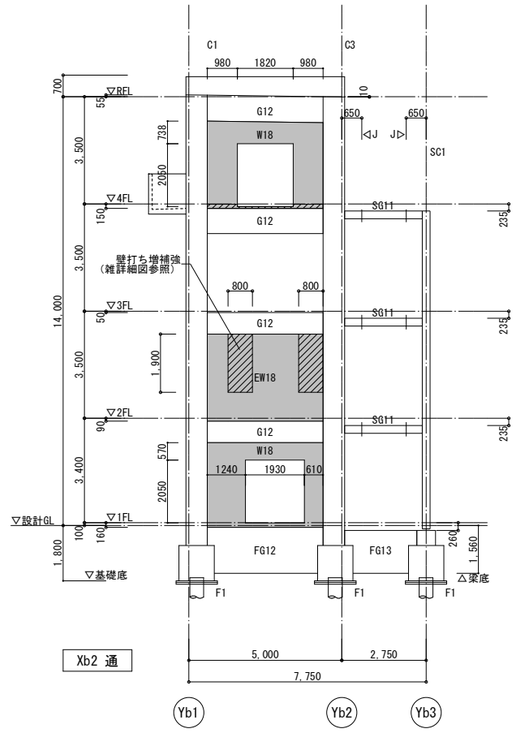
3.











一級建築士　第185692号　細川 武

JOBNO

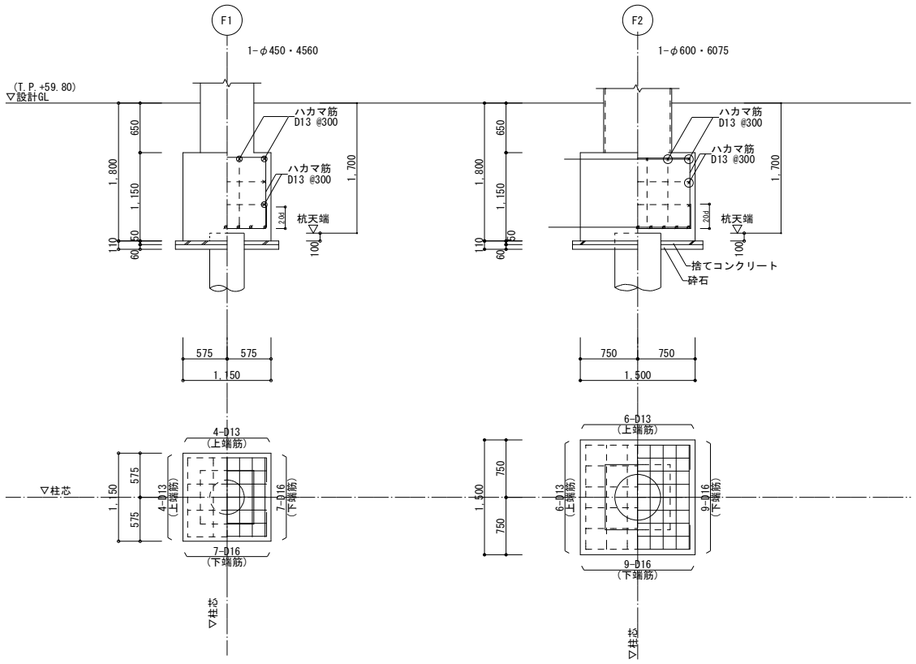
白石消防署庁舎建替工事【訓練棟】　（主訓練塔）軸組図　S-111

DATE R7.10.7　SCAL (A 1) 1／100 (A 3) 1／200　DRAWN　CHEK

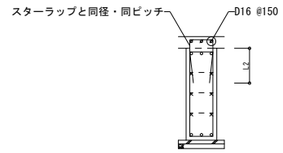
株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士　第 357230 号　永野ますみ

基礎リスト　S=1/40

底版からの主筋の立上りは 20d 以上とする。



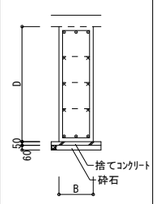
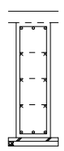
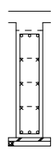
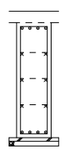
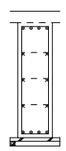
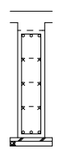
床版受け補強要領



地中梁リスト　S=1/40

特記なき限り下記とする

巾止め筋　D10 ↔ @1,000以内

符号	FG1	FG2	FG3		FG11	FG12	FG13		FB1		FB2
位置	全 断 面	全 断 面	全 断 面		全 断 面	全 断 面	全 断 面		両 端	中 央	全断面
断面											
B X D	450 x 1,500	450 x 1,500	350 x 1,400		450 x 1,500	450 x 1,500	350 x 1,400		350 x 600		450 x 600
上 端 筋	3-D25	3-D25	3-D22		4-D25	4-D25	3-D22		3-D22	3-D22	3-D16
下 端 筋	3-D25	3-D25	3-D22		4-D25	4-D25	3-D22		3-D22	5-D22	3-D16
スターラップ	D13 □ @200	D13 □ @200	D13 □ @200		D13 □ @200	D13 □ @200	D13 □ @200		D10 □ @150		D10 □ @150
腹 筋	6-D13	6-D13	6-D13		6-D13	6-D13	6-D13		2-D10		2-D10

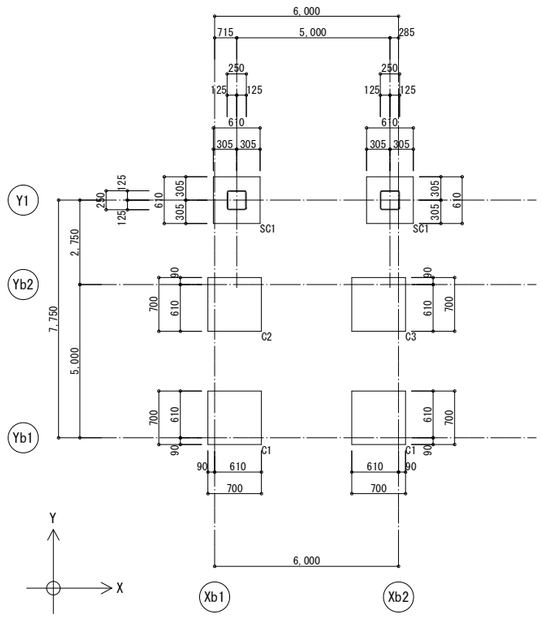
一級建築士　第185692号 細川 武

JOBNO

白石消防署庁舎建替工事【訓練棟】　（主訓練塔）基礎・地中梁リスト　S-112

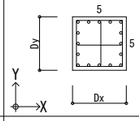
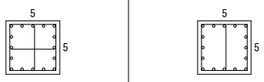
DATE R7.10.7　SCAL (A 1) 1／40 (A 3) 1／80　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号　永野ますみ

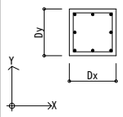


主訓練塔　柱芯線図　S=1/100,40

特記なき限り　下記による。

主訓練塔 柱リスト　S=1/40	特記なき限り　フープは 仕口部を除きスパイラルフープとする。 仕口部フープは D13 □ @100とする。		
符号	C1	C2	C3
4階断面			
Dx × Dy	700 x 700	700 x 700	700 x 700
主　筋	16 - D22	16 - D22	16 - D22
フープ	D13 ⊞ @100	D13 ⊞ @100	D13 ◫ @100
3階断面			
Dx × Dy	700 x 700	700 x 700	700 x 700
主　筋	16 - D22	16 - D22	16 - D22
フープ	D13 ◫ @100	D13 ⊞ @100	D13 ◫ @100
2階断面			
Dx × Dy	700 x 700	700 x 700	700 x 700
主　筋	16 - D22	16 - D22	16 - D22
フープ	D13 □ @100	D13 ⊟ @100	D13 □ @100
1階断面			
Dx × Dy	700 x 700	700 x 700	700 x 700
主　筋	16 - D22	16 - D22	16 - D22
フープ	D13 ◫ @100	D13 ◫ @100	D13 ◫ @100

鉄骨部材表	特記なき限り　継手は SCSS H97 による。　ボルトピッチ 60mm　はしあき 40mm　鉄骨は、全て溶融亜鉛メッキとする。 ボルト　Ｍ１２以下　中ボルト Ｍ１６以上　高力ボルト　（Ｆ８Ｔ） ダイヤフラムは、取付く材の板厚の2サイズ以上の板厚とし、材質はSN490Cとする。								
符号	部材断面	材　質	剛　ＪＯＩＮＴ				ピン　ＪＯＩＮＴ		備　考
			Ｆ　Ｌ　Ｇ		Ｗ　Ｅ　Ｂ		Ｗ　Ｅ　Ｂ		
			スプライスプレート	ＨＴＢ	スプライスプレート	ＨＴＢ	ガセットプレート	ＨＴＢ	
SG1	H - 244×175× 7× 11	SN400B	外） 9x 175x 290 内） 9x 70x 290	4-M20	9x 140x 290	4-M20			
SG11	H - 250×250× 9× 14	SN400B	外） 9x 250x 530 内） 9x 100x 530	8-M20	9x 140x 290	4-M20	9x 200x 170	4-M20	RC接合部　B.PL-25x300x350 A.Bolt 2-M20(L=700) 先端フック付き、ダブルナット締
SC1	□ - 250×250× 9	BCR295							柱脚 ハイベースNEO EB250-4-30
SB1	H - 250×125× 6 × 9	SS400	外） 12x 125x 410 内） ---	6-M16	6x 170x 290	4-M16 (p=90)	G.PL- 9	2-M20	RC接合部　B.PL-25x300x325 A.Bolt 2-M20(L=700) 先端フック付き、ダブルナット締
b1	[- 200× 80× 7.5× 11	SS400							RC接合部　A.Bolt 2-M16(L=600) 先端フック付き、ダブルナット締
ササラ	PL - 16× 250(～200)	SS400					G.PL- 12	2-M20	
踏板	CH.PL - 4.5　曲げ加工	SS400							
根太	L - 65× 65× 6 @450以内	SS400					G.PL- 6	2-M16	

礎柱リスト　S=1/40	特記なき限り下記とする	
符号	SC1	
鉄骨断面	□-250x250x9	
断面		
Dx × Dy	610 x 610	
主　筋	8 - D19	
フープ	D13 □ @100	

一級建築士　第185692号　細川 武

JOBNO

白石消防署庁舎建替工事【訓練棟】　（主訓練塔）柱芯線図・柱リスト　S-113

DATE R7.10.7　SCAL (A 1) 1／ 40.100 (A 3) 1／ 80.200　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士　第 357230 号　永野ますみ

大梁リスト　S=1/40

特記なき限り下記とする
巾止め筋　D10 ↔ @1,000以内　　D10～D16：SD295
D19～D25：SD345

符号	G1	G2		G11	G12	
位置	全断面	全断面		全断面	全断面	
R階断面						
B X D	400 x 850	400 x 850		400 x 850	400 x 850	
上端筋	3-D25	3-D25		3-D25	3-D25	
下端筋	3-D25	3-D25		3-D25	3-D25	
スターラップ	D13 □ @200	D13 □ @200		D13 □ @200	D13 □ @200	
腹筋	2-D10	2-D10		2-D10	2-D10	
4階断面						
B X D	400 x 700	400 x 700		400 x 700	400 x 820	
上端筋	3-D25	3-D25		3-D25	3-D25	
下端筋	3-D25	3-D25		3-D25	3-D25	
スターラップ	D13 □ @200	D13 □ @200		D13 □ @200	D13 □ @200	
腹筋	2-D10	2-D10		2-D10	2-D10	
3階断面						
B X D	400 x 700	400 x 700		400 x 700	530 x 700	
上端筋	3-D25	3-D25		3-D25	4-D25	
下端筋	3-D25	3-D25		3-D25	4-D25	
スターラップ	D13 □ @200	D13 □ @200		D13 □ @200	D13 □ @200	
腹筋	2-D10	2-D10		2-D10	2-D10	
2階断面						
B X D	400 x 700	400 x 700		400 x 700	530 x 700	
上端筋	3-D25	3-D25		3-D25	4-D25	
下端筋	3-D25	3-D25		3-D25	4-D25	
スターラップ	D13 □ @200	D13 □ @200		D13 □ @200	D13 □ @200	
腹筋	2-D10	2-D10		2-D10	2-D10	

一級建築士　第185692号 細川 武

JOBNO

白石消防署庁舎建替工事【訓練棟】　（主訓練塔）大梁リスト　S-114

DATE R7.10.7　SCAL (A 1) 1／40 (A 3) 1／80　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号 永野ますみ

床版リスト

符号	版厚	位　置	短辺方向(主筋)	長辺方向(配力筋)	備　考
S1	150	上　端　筋	D10 D13 @200	D10 D13 @200	
		下　端　筋	D10　@200	D10　@200	
S11	180	上　端　筋	D10 D13 @200	D10 D13 @200	
		下　端　筋	D10　@200	D10　@200	
CS1	180	上　端　筋	D13　@200	D10　@200	
		下　端　筋	D10　@200	D10　@200	
CS2	150～180	上　端　筋	D13　@100	D10　@200	
		下　端　筋	D10　@100	D10　@200	
CS3	150	上　端　筋	D13　@200	D10　@200	
		下　端　筋	D10　@200	D10　@200	

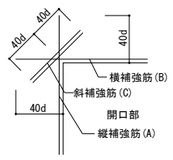
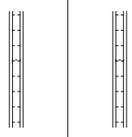
小梁リスト　S=1/40

特記なき限り下記とする
巾止め筋　D10↔　@1,000以内

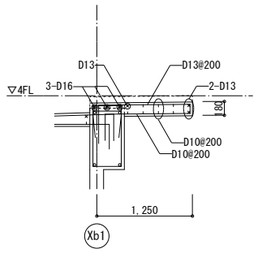
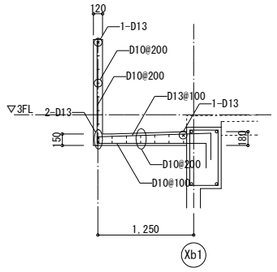
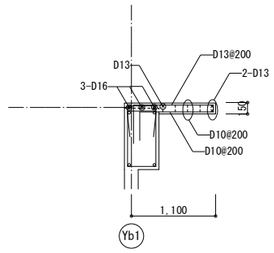
符号	B1		
位置	両　端	中　央	
断面			
B　X　D	350 x 550		
上　端　筋	3-D22	3-D22	
下　端　筋	3-D22	4-D22	
スターラップ	D10　□　@200		
腹　　筋	2-D10		

壁リスト　S=1/40

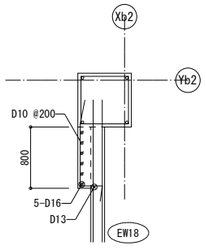
幅止め筋　D10 ― @1,000 （壁厚180mm以上）
階段受け壁（KWと表記した壁）の縦筋は外側に配筋する

符号	W18	EW18					開口補強要領
配筋	ダブル	ダブル					
断面							
壁　厚	180	180					
縦　筋	D10 @200	D10 @200					
横　筋	D10 @200	D10 @200					
補強筋A，B	2-D13	2-D13					
補強筋C	2-D13	2-D13					
末端部補強筋	2-D13	2-D13					

雑詳細図　S=1/40

CS1	CS2	CS3
		

レンジャーネット受け部壁打ち増補強



一級建築士　第185692号　細川 武

JOBNO

白石消防署庁舎建替工事【訓練棟】

（主訓練塔）床版・小梁・壁リスト、雑詳細図

S-115

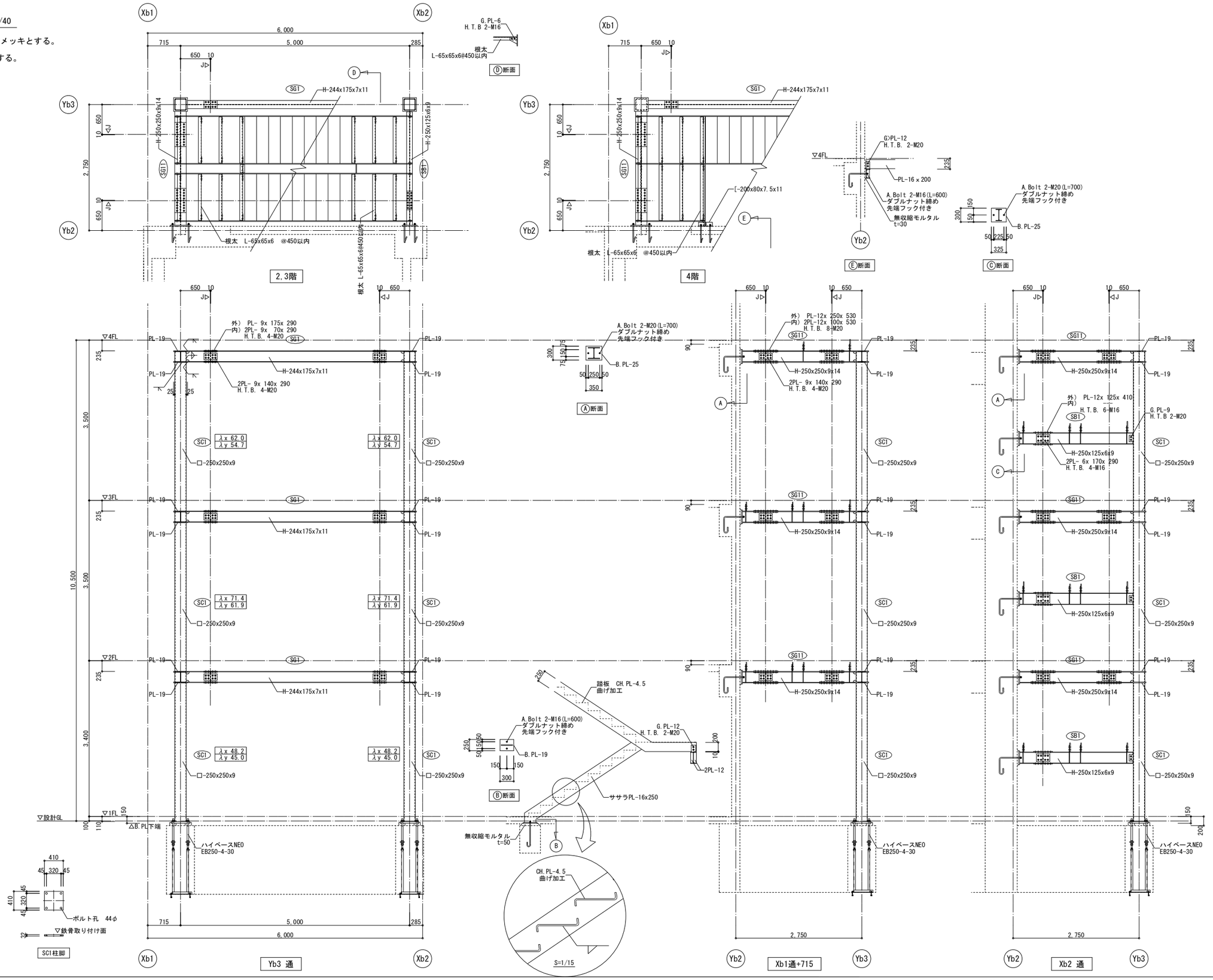
DATE R7.10.7　SCAL (A 1) 1/ 40 (A 3) 1/ 80　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士　第 357230 号　永野ますみ

鉄骨詳細図　S=1/40

鉄骨は、全て溶融亜鉛メッキとする。

高力ボルトは、F8Tとする。



一級建築士　第185692号　細川 武

JOBNO

白石消防署庁舎建替工事【訓練棟】　（主訓練塔）鉄骨詳細図　S-116

DATE R7.10.7　SCAL (A 1) 1/ 40 (A 3) 1/ 80　DRAWN　CHEK

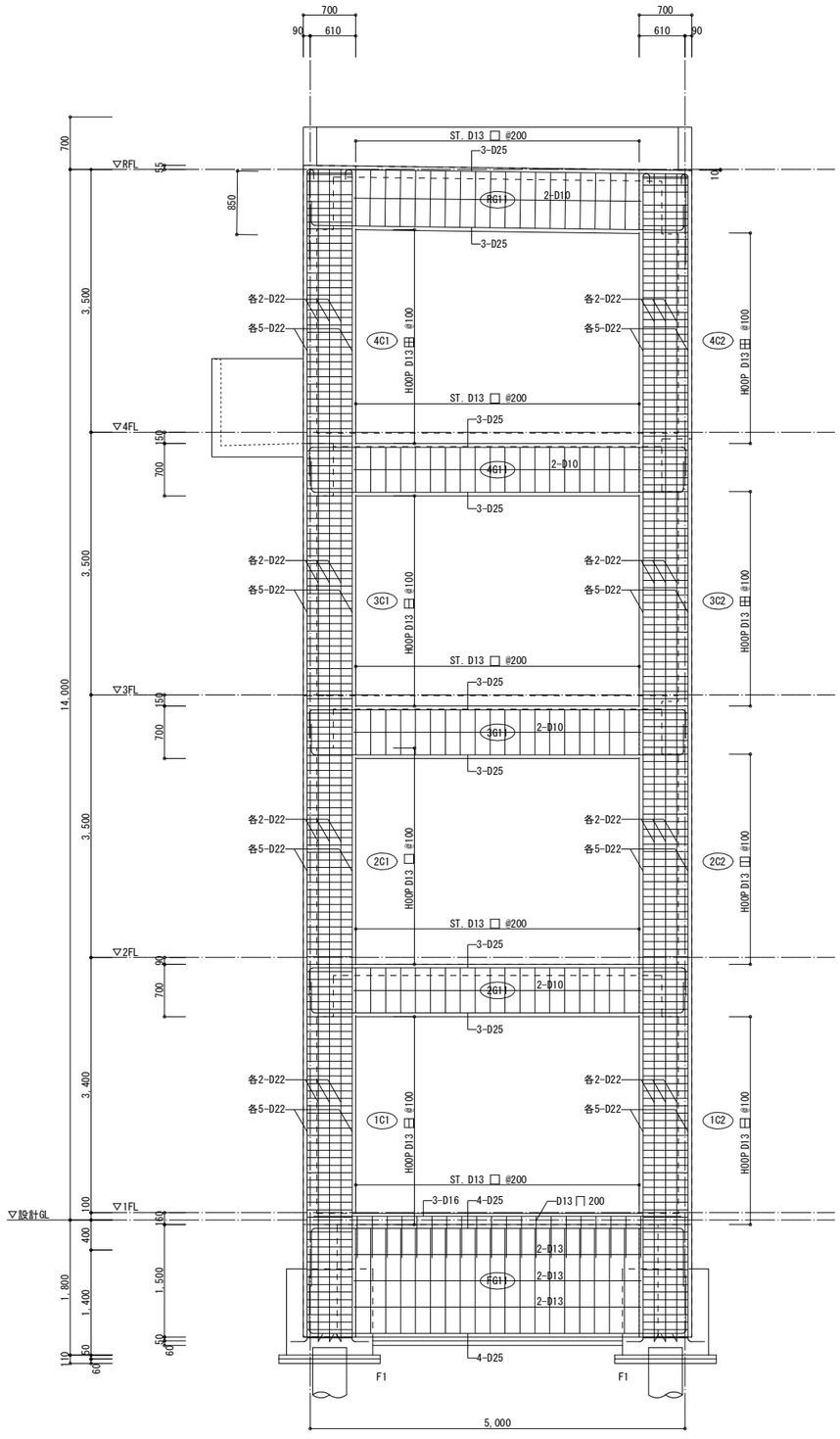
株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号 永野ますみ

架構配筋詳細図　S=1/40

特記なき限り　下記による。

フープは　仕口部を除きスパイラルフープとする。

仕口部フープは D13 □ @100 とする。



Xb1 通

一級建築士　第185692号 細川 武

JOBNO

白石消防署庁舎建替工事【訓練棟】　(主訓練塔) 架構配筋詳細図　S-117

DATE R7.10.7　SCAL (A 1) 1/40 (A 3) 1/80　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号　永野ますみ

ハイベースNEO工法設計施工標準 （ハイベースNEO工法は、S造及びＣＦＴ造に適用）

2021/8

大臣認定　MSTL-0404,0180（Gタイプ用ベースプレート）
　　MBLT-0042～0046（アンカー用ボルトセット）
BCJ評定　BCJ評定-ST0058（Gタイプ）
　　BCJ評定-ST0059（エコタイプ）

本工法の設計・施工は、鋼構造設計規準、鉄骨工事技術指針、建築工事標準仕様書 ＪＡＳＳ 6 鉄骨工事、建築工事標準仕様書・同解説 ＪＡＳＳ 5 鉄筋コンクリート工事、およびハイベースNEO工法設計ハンドブックに準拠する。

設　　計

1．材質

（1）ベースプレート・アンカーボルト・ナット・座金・定着板

エコタイプ（ＥＢ型式、ＥＭ型式、ＥＨ型式）

	ベースプレート		アンカーボルト※2	エコナット※2	ナット※2	座　金※2	定着板
規　格	JIS G3136	TMCP鋼※4	HAB（大臣認定取得材）	大臣認定取得材	JIS B1181（六角ナット）	JIS G3106	JIS G3101（一般構造用圧延鋼材）
ねじの種類	—	—	メートル並目	メートル並目	メートル並目	—	—
備　考	SN490B 板厚40mm以下	SN490相当 板厚40mm超	降伏比 70%以下	－	強度区分5	SM490A	SS400

エコタイプのベースプレート上ナットはエコナットを使用する。

Ｇタイプ（ＧＢ型式、ＧＭ型式、ＧＨ型式）

	ベースプレート※1	アンカーボルト※2	ナット※2	座　金※2	定着板
規　格	HCW490b HCW490st（大臣認定取得材）	HAB（大臣認定取得材）	JIS B1181（六角ナット）	JIS G3106	JIS G3101（一般構造用圧延鋼材）
ねじの種類	—	メートル並目※3	メートル並目※3	—	—
備　考	SN490B同等	降伏比 70%以下	強度区分5（二重ナット用） 強度区分8（一重ナット用）	SM490A	SS400

※1　国土交通大臣認定（ＭＳＴＬ-０４０４、０１８０）　※2　国土交通大臣認定（ＭＢＬＴ-００４２～００４６）
※3　Ｍ７２は細目ねじ　　※4　建築基準法第37条第二号に基づく国土交通大臣認定を取得した材料を使用

（2）ベースプレート下面のモルタル

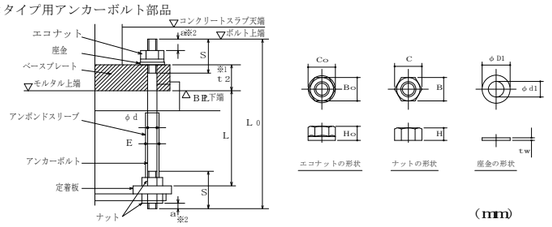
後詰めモルタル	ハイベース工法無収縮モルタルNX-2000、又はクイック3およびこれと同等以上の無収縮性モルタル※　※ センクシアが供給するものに限る
中心塗部分モルタル	○無収縮モルタルパッド用又は普通モルタル（NX-2000及びクイック3は使用不可。） ○強度はこれに接するコンクリートの強度以上

（3）基礎・基礎ばり

コンクリート	○日本建築学会「ＪＡＳＳ 5 鉄筋コンクリート工事」に適合する普通コンクリート ○設計基準強度は、Ｆｃ＝１８～３６Ｎ／ mm²
鉄　筋	ＪＩＳ Ｇ ３１１２「鉄筋コンクリート用棒鋼」に定められる、熱間圧延異形棒鋼
柱　形	へりあき量は、ベースプレート外形寸法の０．１倍以上確保しなければならない。

2．アンカーボルトのセット寸法

エコタイプ用アンカーボルト部品



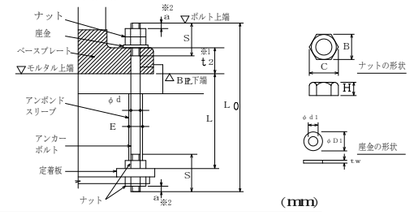
（mm）

ねじの呼び	アンカーボルト 軸径 φd	ねじピッチ P	ねじ長さ S	余長※2 a	定着長さ L	全長 LO	アンボンドスリーブ 外径 E	エコナット 高さ HO	二面幅 BO	対角距離 CO	ナット 高さ H	二面幅 B	対角距離 C	座金 厚さ tw	内径 φd1	外径 φD1
M24	24	3	95 105	10	400 480	550 645	29	22	46	53	19	36	42	6	25	56
M30	30	3.5	110 130	13	400 600	580 800	35	27	50	58	24	46	53	6	31	60
M36	36	4	130	16	480 720	690 925	41	33	55	64	29	55	64	6	37	66
M42	42	4.5	155	18	840	1080	48	38	65	75	34	65	75	9	43	78

※1　t₂ はベースプレート台座厚さを示し、ハイベースＮＥＯ型式によって変わります。
※2　ａ寸法は設置誤差を考慮した設計時の最小寸法です。
　　施工時は、ねじ山が最低３山ナットの外に出るように余長を確保してください。
※3　上段はEB型式及びEM型式のアンカーボルト４本タイプ、下段はそれ以外のエコタイプの場合の寸法です。

⚠注意
・エコタイプのアンカーボルトはシングルナットとしておりますので、
　ゆるみ止め処置としてコンクリートスラブで被覆してください。
・コンクリートによる被覆を行わない場合は、二重ナット等のゆるみ止め処置が必要です。
　その場合、せん断耐力が変わる可能性がありますのでセンクシアにご相談ください。
・アンカーボルト上部には必ずエコナットを使用してください。通常のナットでは所定の性能が発揮できません。

Ｇタイプ用アンカーボルト部品



（mm）

ねじの呼び	アンカーボルト 軸径 φd	ねじピッチ P	ねじ長さ S	余長※2 a	定着長さ L	全長 LO	アンボンドスリーブ 外径 E	ナット 高さ H	二面幅 B	対角距離 C	座金 厚さ tw	内径 φd1	外径 φD1
M24	24	3	105	10	480	645	29	19	36	42	6	25	44
M30	30	3.5	130	13	600	800	35	24	46	53	6	31	56
M36	36	4	130 150	16	720	925 955	41	29	55	64	6	37	66
M42	42	4.5	155 165	18	840	1080 1110	48	34	65	75	9	43	78
M48	48	5	175 190	22	960	1235 1270	54	38	75	87	9	50	92
M56	56	5.5	185 210	24	1120	1420 1470	62	45	85	98	9	58	105
M64	64	6	200 230	28	1280	1610 1660	70	51	95	110	12	66	115
M72	72	6	250	30	1440	1850	79	58	105	121	12	74	125

※1
t₂ はベースプレート台座厚さを示し、ハイベースＮＥＯ型式によって変わります。

※2
ａ寸法は設置誤差を考慮した設計時の最小寸法です。
施工時は、ねじ山が最低３山ナットの外に出るように余長を確保してください。

※3
上段はGB型式及びGM型式の場合、下段はGH型式の場合の寸法です。

⚠注意
・Gタイプのアンカーボルトは二重ナットを標準としていますが、一重ナットでも適用可能です。
・一重ナットとする場合は、コンクリートに埋め込む等のゆるみ止め処置が必要です。
　（一重ナットとする場合は、センクシアにご相談ください。）

ベースプレートのアンカーボルト孔径

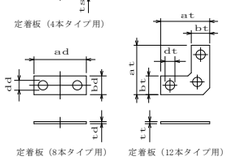
（mm）

ねじの呼び	M24	M30	M36	M42	M48	M56	M64	M72
エコタイプ孔径	38	44	50	57	－	－	－	－
Ｇタイプ孔径	－	38	45	53	61	70	79	87

定着板（エコタイプ、Gタイプ共通）

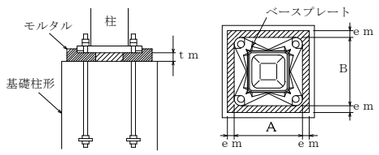
（mm）

ねじの呼び	4本タイプ用 厚さ ts	外径 Ds	内径 ds	8本タイプ用 厚さ td	長さ ad	幅 bd	内径 dd	12本タイプ用 厚さ tt	長さ at	幅 bt	内径 dt
M24	16	70	27	－	－	－	－	－	－	－	－
M30	16	90	33	9	180	65	33	－	－	－	－
M36	19	100	39	9	215	75	39	－	－	－	－
M42	22	120	45	9	240	85	45	9	225	85	45
M48	25	140	52	9	270	95	52	9	260	95	52
M56	28	160	60	9	305	110	60	9	295	110	60
M64	32	180	68	12	330	130	68	12	340	130	68
M72	－	－	－	16	380	145	76	16	375	145	76



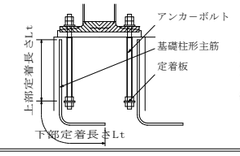
ベースプレートの形状・寸法は、ハイベースＮＥＯ工法設計ハンドブックを参照ください。

3．ベースプレート下面モルタルの標準寸法



各部名称	寸法	備考
中心塗り部分モルタルの厚さ（ｔｍ）	標準寸法　ｔｍ=50mm	許容範囲　３０≦ｔｍ≦７０mm
ベースプレート周辺のモルタル幅（ｅｍ）	ｅｍ≧３０mm	許容範囲 ｅｍ≧２５mm

4．基礎柱形主筋の定着長さ（最小値）



基礎柱形主筋の定着長さ（Lt）は、定着板上面を境にして上下とも確保する必要があります。

工場加工

1．溶接材料

被覆アーク溶接	低水素系４９０Ｎ/mm² 級高張力鋼用（JIS Z3211、旧JIS Z3212）相当以上
ガスシールドアーク溶接	軟鋼及び４９０Ｎ/mm² 級高張力鋼マグ溶接用ソリッドワイヤ（JIS Z3312）相当以上

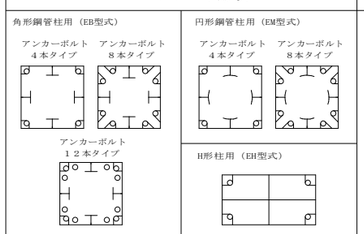
※高強度柱材を用いる場合、JASS6等の指針に従い柱とハイベースの強度ランクの高い方に適した溶接材料を使用する。

2．ベースプレートの鉄骨柱への取付け（柱端部に開先を設ける）

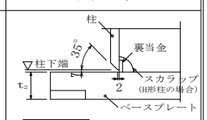
※　柱とベースプレートの溶接は完全溶込み溶接
　　開先はMC-ＴＬ-１Ｂ、ＧＣ-ＴＬ-１Ｂによる　　※開先形状は参考

エコタイプ

ベースプレート形状



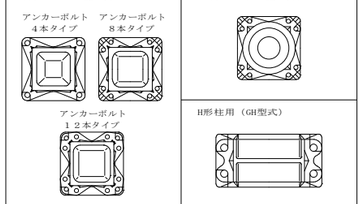
開先形状



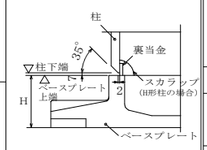
⚠注意
柱はベースプレートのフラット面に取り付けてください。
アンカーボルト孔周辺に回加工している面はベースプレート裏面であり、無収縮モルタルと接する面となります。

Ｇタイプ

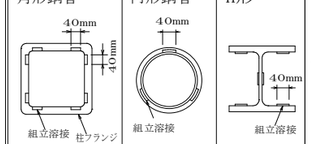
ベースプレート形状



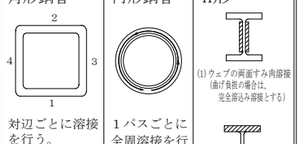
開先形状



3．組立溶接



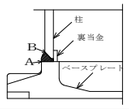
4．本溶接の手順

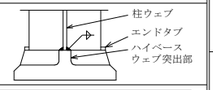


角形鋼管：対辺ごとに溶接を行う。（自動ロボット溶接の場合はこれによらない）
円形鋼管：１パスごとに全周溶接を行う。

5．溶接施工一般

予　熱	鋼材の種類、板厚により必要に応じて適切な予熱を行う。
余　盛	溶接余盛はベースプレート側A点から柱側B点へ向かってなめらかになるように施工する。 余盛高さは、柱接合突出部形状に対応し突き合わせ継手またはＴ継手余盛り高さに準拠する（Ｇタイプ）。
H形柱の溶接	エンドタブの取付とH形柱ウェブのすみ肉溶接





⚠注意　柱の溶接時にベースプレートとの組合せによってはベースプレートが溶接熱歪によって曲がることがあります。

6．検査

方　法	溶接部の検査を行う場合は、超音波探傷検査による。 探傷は柱フランジ側から行う。
不良溶接部の補正	（１）　有害な欠陥のある溶接部は削除して再溶接する。 （２）　溶接部に割れの入った場合には、割れの入った両端から５０mm以上、はつり取り再溶接する。

現　場　施　工

(#)：センクシアの担当範囲

1．捨てコンクリート打設

柱脚部の捨てコンクリートの厚さは９０mm以上とし、表面は平滑に仕上げる。

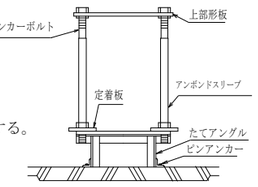
2．墨出し

3．アンカーボルト搬入（#）

4．アンカーボルト据付（#）

アンカーボルト設置

アンカーボルトの設置は自立できる形式とし、捨てコンクリートに固定する。



アンカーボルト設置例
（架台の形状は異なる場合あり）

アンカーボルト設置精度の目標値

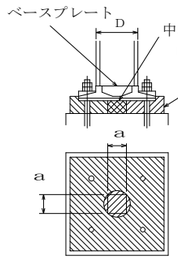
平　面	レ ベ ル
アンカーボルト e ≦３mm （形板芯にて検査）	基準高さよりの誤差eh －３mm≦eh≦10mm

5．鉄筋配筋・型枠の立込み

6．基礎コンクリート打設

基礎柱形上面の目荒らし・水洗いを行ってください。

7．中心塗り部分モルタル施工



中心塗部分モルタル
NX-2000、クイック3は使用不可。

後詰めモルタル
ハイベース工法無収縮モルタルNX-2000、又はクイック3およびこれと同等以上の無収縮性モルタル※
注入方法はヘッド圧工法による。
※ センクシアが供給するものに限る

（イ）□ ２５０以下、φ２６７．４以下、H２５０以下の場合
　　１００mm ≦ ａ ≦２００mm　かつ柱寸法 D以下
（ロ）□ ３００以上□７００以下、φ３００以上φ７１１．２以下、および H２５０以上の場合
　　１５０mm ≦ ａ ≦３００mm　かつ柱寸法 D以下
（ハ）□ ７５０～□１２００、φ７５０～φ１０１６の場合
　　３００mm ≦ ａ ≦５００mm

中心塗部分モルタル及び後詰めモルタルの養生
基礎、基礎ばりコンクリートの強度以上となるよう養生期間を確保すること。

EB, GB, EM, GM, EH型式	GH型式
８．鉄骨建方 アンカーボルト締付 アンカーボルトは隙間がないよう確実に締め付けを行う。	８．鉄骨建方
	９．モルタル注入枠設置（#） 後詰めモルタル充填（#）
９～１０．モルタル注入枠設置（#） 後詰めモルタル充填（#） アンカーボルト締付確認（#） ベースプレートと座金とナットが密着していることを確認。	１０．アンカーボルト締付（#） 予備締め マーキング ナット回転法による本締め （30°回転、許容差：$^{+10°}_{-0}$）

１１．モルタル注入枠取り外し

施工完了後、ハイベースＮＥＯ工法のチェックシートに工事記録を記載する。

⚠注意
1．アンカーボルトの設置、無収縮モルタルの充填、これらの施工は、メーカーが定めた認定業者が行うこと。（日本建築センターの評定で義務付けられています。）
2．アンカーボルト及びナットは加熱、溶接、加工は絶対に行わないでください。
3．設置後のアンカーボルトのねじ部は打ちきずやコンクリートが付着しないようにねじ部の保護養生をしてください。
4．建て入れ直し用のワイヤをアンカーボルトにとらないでください。
5．本資料以外の施工方法で行った場合、ハイベースNEOの性能が発揮できなくなります。

一級建築士　第185692号 細川 武

JOBNO
白石消防署庁舎建替工事【訓練棟】
（主訓練塔）ハイベースNEO工法設計施工標準(1)
DATE R7.10.7　SCAL (A 1) 1／40 (A 3) 1／80　DRAWN　CHEK　S-118
株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号 永野ますみ

ハイベースNEO工法　各種寸法及び基礎柱形設計例（Fc24の場合）
〈角形鋼管柱用 □150～□550〉

（ハイベースNEO工法Gタイプは、Ｓ造及びCFT造に適用）
（ハイベースNEO工法エコタイプは、Ｓ造及びCFT造に適用）

大臣認定　MSTL-0404, 0180（Gタイプ用ベースプレート）
　　MBLT-0042～0046（アンカーボルト）
BCJ評定　BCJ評定-ST0058（Gタイプ）
　　BCJ評定-ST0059（エコタイプ）

本工法の設計・施工は、鋼構造設計規準、鉄骨工事技術指針、建築工事標準仕様書ＪＡＳＳ６鉄骨工事、建築工事標準仕様書・同解説ＪＡＳＳ５鉄筋コンクリート工事、およびハイベースNEO工法設計ハンドブックに準拠する。

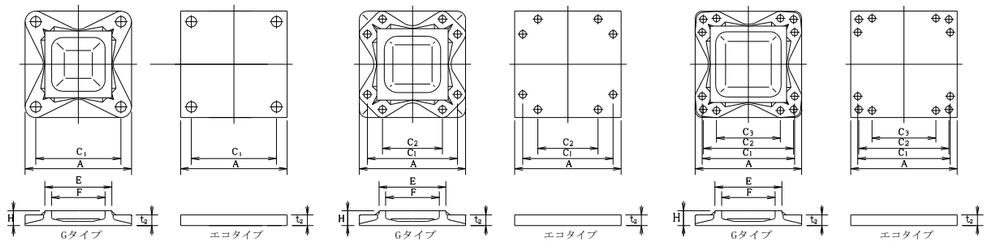
2022/10

型式表示例

エコタイプ：EB350－8－36
Gタイプ　：GB500－8－42

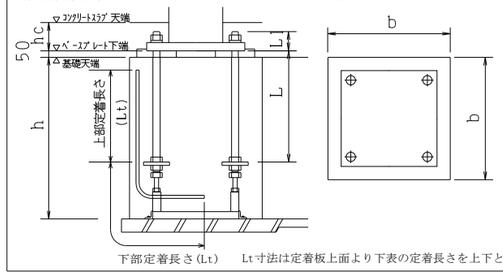
- アンカーボルト径
- アンカーボルト本数
- 柱外形寸法
- 角形鋼管柱用

ベースプレート形状



アンカーボルト４本タイプ　アンカーボルト８本タイプ　アンカーボルト１２本タイプ

L, L1, h, hc, b寸法、柱形主筋の定着長さ(Lt)



エコタイプはシングルナット仕様（コンクリートスラブに埋込）
Gタイプはダブルナット仕様(露出が標準)
注)表中のh寸法は杭がない場合です。
　杭がある場合は表中のh寸法に+100mm以上確保して下さい。
　Gタイプでコンクリートスラブに埋め込む場合、スラブ厚(hc寸法)は"L1寸法+最低40mm以上のかぶり"となる寸法を確保してください。

下部定着長さ(Lt)　Lt寸法は定着板上面より下表の定着長さを上下とも確保してください。

・ハイベースNEO工法
（角形鋼管柱用□150～□550）

採用		適用柱		ハイベースNEO型式		アンカーボルト	回転バネ定数 X10⁷kN・m/rad	寸法 (mm)								質量 (kg)			L (mm)	L1 (mm)	基礎天端～梁下コンク天端	ベースプレート下端～コンクリートスラブ天端	基礎柱形の設計例(Fc24) ＜ 側・隅柱用 ＞								基礎柱形の設計例(Fc24) ＜ 中柱用（4方向から基礎梁が取り付く場合のみを示す。)＞						
																							Ⅰゾーン			Ⅱゾーン			鉄筋の定着長さ	Ⅰゾーン			Ⅰゾーン			鉄筋の定着長さ
柱符号	数量	柱サイズ	板厚範囲	エコタイプ	Gタイプ			A	C1	C2	C3	E	F	H	t2	ベースプレート	部品	セット質量			h (mm)	hc (mm)	柱形 b (mm)	主筋量	帯筋	柱形 b (mm)	主筋量	帯筋	Lt (mm)	柱形 b (mm)	主筋量	帯筋	柱形 b (mm)	主筋量	帯筋	Lt (mm)
		□150	4.5～12	EB150-4-24		4-M24	14.0	290	210	－	－	－	－	－	25	17	14	31	400	80	550以上	120	500	8-D16	D13@150	500	16-D16	D13@150	200	500	8-D16	D13@150	500	16-D16	D13@150	200
		□175	4.5～12	EB175-4-24		4-M24	17.9	310	230	－	－	－	－	－	25	19	14	33	400	80	600以上	120	520	8-D16	D13@150	520	16-D16	D13@150	190	520	8-D16	D13@150	520	16-D16	D13@150	190
		□200	6～12	EB200-4 -24		4-M24	21.9	340	260	－	－	－	－	－	25	23	14	37	400	80	600以上	120	550	8-D16	D13@150	550	16-D16	D13@150	190	550	8-D16	D13@150	550	16-D16	D13@150	190
						4-M30	35.4	360	270						32	33	23	56	400	102	600以上	150	570	8-D19	D13@150	570	16-D19	D13@150	290	570	8-D19	D13@150	570	16-D19	D13@150	290
						4-M36	41.4	360	270						40	41	36	77	480	117	700以上	160	580	12-D19	D13@150	580	20-D19	D13@100	330	580	12-D19	D13@150	580	20-D19	D13@100	330
		□250	6～16	EB250-4 -24		4-M24	32.2	390	310	－	－	－	－	－	25	30	15	45	400	80	600以上	120	600	8-D19	D13@150	600	12-D19	D13@150	190	600	8-D19	D13@150	600	12-D19	D13@150	190
SC1	2					4-M30	51.3	410	320						32	43	23	66	400	102	600以上	150	610	8-D19	D13@150	610	16-D19	D13@150	280	610	8-D19	D13@150	610	16-D19	D13@150	280
						4-M36	59.7	410	320						40	53	36	89	480	117	700以上	160	610	12-D19	D13@150	610	20-D19	D13@100	330	610	12-D19	D13@150	610	20-D19	D13@100	330
				EB250-8-30		8-M30	51.1	450	360	190					40	64	51	115	600	110	800以上	150	640	12-D22	D13@150	640	20-D22	D13@100	430	640	12-D22	D13@150	640	20-D22	D13@100	430
		□300	6～22	EB300-4 -30		4-M30	70.1	460	370	－	－	－	－	－	32	54	24	78	400	102	600以上	150	660	8-D19	D13@150	660	16-D19	D13@150	270	660	8-D19	D13@150	660	16-D19	D13@150	270
					-36	4-M36	82.9	460	370						40	67	37	104	480	117	700以上	160	660	12-D19	D13@100	660	20-D19	D13@100	330	660	12-D19	D13@100	660	20-D19	D13@100	330
				EB300-8 -30		8-M30	69.4	500	410	240					36	71	51	122	600	106	800以上	150	700	16-D22	D13@150	700	20-D22	D13@100	410	700	16-D22	D13@150	700	20-D22	D13@100	410
					-36	8-M36	84.0	510	420	220					44	90	82	172	720	121	900以上	170	720	16-D25	D13@150	720	24-D25	D13@100	570	720	16-D25	D13@150	720	24-D25	D13@100	570
		□350	9～22	EB350-4-30		4-M30	93.1	510	420	－	－	－	－	－	32	66	24	90	400	102	600以上	150	710	8-D19	D13@100	710	16-D19	D13@100	240	710	8-D19	D13@100	710	16-D19	D13@100	240
				EB350-8 -30		8-M30	89.5	550	460	290					36	86	52	138	600	106	800以上	150	750	16-D22	D13@150	750	20-D22	D13@150	460	750	16-D22	D13@150	750	20-D22	D13@150	460
					-36	8-M36	105	560	470	270					40	99	83	182	720	117	900以上	160	770	16-D25	D13@150	770	24-D25	D13@100	540	770	16-D25	D13@150	770	24-D25	D13@100	540
					-42	8-M42	133	590	480	260					48	132	131	263	840	138	1100以上	180	790	20-D25	D13@150	790	32-D25	D13@100	710	790	20-D25	D13@150	790	32-D25	D13@100	710
			9～25		GB350-4 -42	4-M42	128	550	440	－	－	356	280	75	50	107	72	179	840	145	1100以上	－	750	12-D25	D13@150	750	16-D25	D13@150	480	750	12-D25	D13@150	750	16-D25	D13@150	480
					-48	4-M48	156	590	460					90	61	142	113	255	960	168	1200以上	－	790	12-D25	D13@150	790	20-D25	D13@150	580	790	12-D25	D13@150	790	20-D25	D13@150	580
					GB350-8 -30	8-M30	150	540	450	280				55	28	77	52	129	600	95	800以上	－	740	16-D22	D13@150	740	20-D22	D13@150	470	740	16-D22	D13@150	740	20-D22	D13@150	470
					-36	8-M36	188	560	470	270				65	36	95	83	178	720	116	900以上	－	770	16-D25	D13@150	770	24-D25	D13@100	560	770	16-D25	D13@150	770	24-D25	D13@100	560
					-42	8-M42	216	590	480	260				70	45	118	131	249	840	140	1100以上	－	790	20-D25	D13@100	800	32-D25	D16@100	610	790	20-D25	D13@100	800	32-D25	D16@100	610
		□400	9～25	EB400-8 -30		8-M30	111	600	510	340	－	－	－	－	36	102	52	154	600	106	800以上	150	800	16-D22	D13@150	800	20-D22	D13@150	450	800	12-D22	D13@150	800	20-D22	D13@150	450
					-36	8-M36	127	610	520	320					40	117	83	200	720	117	900以上	160	820	16-D25	D13@100	820	24-D25	D13@100	530	820	12-D25	D13@100	820	24-D25	D13@100	530
					-42	8-M42	175	640	530	310					48	155	131	286	840	138	1100以上	180	840	20-D25	D13@100	840	32-D25	D13@100	680	840	20-D25	D13@100	840	32-D25	D13@100	680
			9～32		GB400-4 -42	4-M42	163	600	490	－	－	408	320	75	49	129	73	202	840	144	1100以上	－	810	12-D25	D13@100	810	16-D25	D13@100	400	810	12-D25	D13@100	810	16-D25	D13@100	400
					-48	4-M48	194	640	510					85	59	165	114	279	960	166	1200以上	－	840	12-D25	D13@100	840	20-D25	D13@100	500	840	12-D25	D13@100	840	20-D25	D13@100	500
					GB400-8 -36	8-M36	234	610	520	320				60	34	110	83	193	720	114	900以上	－	820	16-D25	D13@100	820	24-D25	D13@100	540	820	16-D25	D13@100	820	24-D25	D13@100	540
					-42	8-M42	282	640	530	310				70	42	136	131	267	840	137	1100以上	－	840	20-D25	D13@100	850	32-D25	D16@100	600	840	20-D25	D13@100	850	32-D25	D16@100	600
					-48	8-M48	321	680	550	300				80	52	176	211	387	960	159	1300以上	－	880	20-D29	D13@100	890	28-D29	D16@100	790	880	20-D29	D13@100	890	28-D29	D16@100	790
		□450	9～25	EB450-8 -36		8-M36	169	660	570	370	－	－	－	－	44	150	84	234	720	121	900以上	170	870	16-D25	D13@100	870	24-D25	D13@100	520	870	16-D25	D13@100	870	24-D25	D13@100	520
					-42	8-M42	199	690	580	360					48	180	132	312	840	138	1100以上	180	890	24-D25	D13@100	890	32-D25	D13@100	670	890	20-D25	D13@100	890	32-D25	D13@100	670
			9～36		GB450-4 -42	4-M42	199	650	540	－	－	458	360	75	48	153	73	226	840	143	1100以上	－	860	12-D25	D13@100	860	16-D25	D13@100	390	860	12-D25	D13@100	860	16-D25	D13@100	390
					-48	4-M48	236	690	560					85	58	192	116	308	960	165	1200以上	－	890	12-D25	D13@100	890	20-D25	D13@100	480	890	12-D25	D13@100	890	20-D25	D13@100	480
					GB450-8 -36	8-M36	296	660	570	370				60	32	130	84	214	720	112	900以上	－	870	16-D25	D13@100	870	24-D25	D13@100	520	870	16-D25	D13@100	870	24-D25	D13@100	520
					-42	8-M42	348	690	580	360				65	40	158	132	290	840	135	1100以上	－	890	24-D25	D13@100	890	32-D25	D13@100	680	890	20-D25	D13@100	890	32-D25	D13@100	680
					-48	8-M48	413	730	600	350				75	49	196	213	409	960	156	1300以上	－	930	20-D29	D13@100	940	28-D29	D16@100	770	930	20-D29	D13@100	940	28-D29	D16@100	770
		□500	9～28	EB500-8 -36		8-M36	210	710	620	420	－	－	－	－	44	173	89	262	720	121	900以上	170	950	16-D25	D13@100	950	24-D25	D13@100	510	950	12-D25	D13@100	950	24-D25	D13@100	510
					-42	8-M42	238	740	630	410					48	207	133	340	840	138	1100以上	180	950	24-D25	D13@100	950	32-D25	D13@100	660	950	20-D25	D13@100	950	32-D25	D13@100	660
				EB500-12-42		12-M42	396	740	630	600	350				60	258	197	455	840	150	1100以上	190	950	28-D25	4-D16@100	1050	44-D25	4-D16@100	600	950	20-D25	4-D16@100	1050	44-D25	4-D16@100	600
			9～40		GB500-4 -42	4-M42	244	700	590	－	－	508	400	80	47	183	74	257	840	142	1100以上	－	910	12-D25	D13@100	910	16-D25	D13@100	390	910	12-D25	D13@100	910	16-D25	D13@100	390
					-48	4-M48	290	740	610					90	57	226	127	353	960	164	1200以上	－	950	12-D25	D13@100	950	20-D25	D13@100	470	950	12-D25	D13@100	950	20-D25	D13@100	470
					GB500-8 -36	8-M36	354	710	620	420				65	30	154	89	243	720	110	900以上	－	950	16-D25	D13@100	950	24-D25	D13@100	510	950	16-D25	D13@100	950	24-D25	D13@100	510
					-42	8-M42	421	740	630	410				70	37	181	133	314	840	132	1100以上	－	950	20-D25	D13@100	950	32-D25	D13@100	660	950	20-D25	D13@100	950	32-D25	D13@100	660
					-48	8-M48	489	780	650	400				80	46	225	215	440	960	153	1300以上	－	1000	20-D29	D13@100	1000	28-D29	D16@100	740	1000	20-D29	D13@100	1000	28-D29	D16@100	740
					-64	8-M64	659	850	690	390				105	68	346	464	810	1280	210	1600以上	－	1100	32-D29	D16@100	1150	48-D29	D16@75	1100	1100	28-D29	D16@100	1150	48-D29	D16@75	1100
					GB500-12 -48	12-M48	695	780	650	610	320			90	57	265	304	569	960	164	1300以上	－	1000	24-D29	4-D16@100	1100	40-D29	4-D16@100	760	1000	16-D29	4-D16@100	1100	40-D29	4-D16@100	760
					-56	12-M56	771	810	670	630	300			105	72	342	455	797	1120	195	1450以上	－	1050	32-D29	4-D16@100	1500	56-D29	4-D16@100	980	1050	24-D29	4-D16@100	1500	56-D29	4-D16@100	980
		□550	9～28	EB550-8-42		8-M42	317	800	690	470	－	－	－	－	48	242	133	375	840	138	1100以上	180	1000	24-D25	D13@100	1000	32-D25	D13@100	650	1000	20-D25	D13@100	1000	32-D25	D13@100	650
				EB550-12-42		12-M42	475	790	680	650	400				60	294	198	492	840	150	1100以上	190	1000	28-D25	4-D16@100	1050	44-D25	4-D16@100	600	1000	20-D25	4-D16@100	1050	44-D25	4-D16@100	600
			9～40		GB550-4 -48	4-M48	339	790	660	－	－	558	450	90	56	257	129	386	960	163	1200以上	－	1000	12-D25	D16@150	1000	20-D25	D16@150	460	1000	12-D25	D16@150	1000	20-D25	D16@150	460
					-56	4-M56	408	820	680					100	69	308	187	495	1120	192	1350以上	－	1050	16-D25	D16@150	1050	28-D25	D16@150	580	1050	16-D25	D16@150	1050	28-D25	D16@150	580
					GB550-8 -36	8-M36	419	760	670	470				65	29	180	90	270	720	109	900以上	－	1000	16-D25	D13@100	1000	24-D25	D13@100	500	1000	16-D25	D13@100	1000	24-D25	D13@100	500
					-42	8-M42	498	790	680	460				70	36	207	133	340	840	131	1100以上	－	1000	24-D25	D13@100	1000	32-D25	D13@100	650	1000	20-D25	D13@100	1000	32-D25	D13@100	650
					-48	8-M48	580	830	700	450				75	45	250	217	467	960	152	1300以上	－	1050	20-D29	D16@150	1050	28-D29	D16@150	820	1050	20-D29	D16@150	1050	28-D29	D16@150	820
					-64	8-M64	806	900	740	440				95	65	367	467	834	1280	207	1600以上	－	1150	32-D29	D16@100	1150	48-D29	D16@75	1100	1150	28-D29	D16@100	1150	48-D29	D16@75	1100
					GB550-12 -48	12-M48	817	830	700	660	370			85	55	288	306	594	960	162	1300以上	－	1050	24-D29	4-D16@100	1100	40-D29	4-D16@100	760	1050	20-D29	4-D16@100	1100	40-D29	4-D16@100	760
					-56	12-M56	923	860	720	680	350			100	69	366	458	824	1120	192	1450以上	－	1100	32-D29	4-D16@100	1500	56-D29	4-D16@100	980	1100	24-D29	4-D16@100	1500	56-D29	4-D16@100	980

鉄筋はD13, D16はSD295, D19, D22, D25はSD345, D29はSD390をご採用ください。　表中に無いサイズについても対応可能です。メーカーに問い合わせ下さい。

注 1）Ⅰ,Ⅱゾーン分けについてはハイベースNEO工法設計ハンドブックの各型式の耐力線図を参照下さい。
注 2）上記表内の<中柱用>とは、4方向から基礎梁が取り付いた状態を示します。この条件を満たさない状態については、<側・隅柱用>を御採用下さい。
注 3）表中の鉄筋量は基礎立上がりのない場合（基礎梁天端と基礎柱形天端が一致する場合）の設計例です。立上がりがある場合、独立基礎の場合は、ハイベースNEO工法設計ハンドブックに従い、日本建築学会等の規準・指針に準拠した設計を行って下さい。
注 4）<中柱用>の鉄筋量は、基礎梁内のあばら筋を□450以下はD10@250、□500以上はD13@250として算定しています。
　あばら筋断面積がこれよりも小さくなる場合は<側・隅柱用>の鉄筋量として下さい。
注 5）部品の質量はアンカーボルト部品と形板を合わせた質量です。

一級建築士　第185692号　細川 武

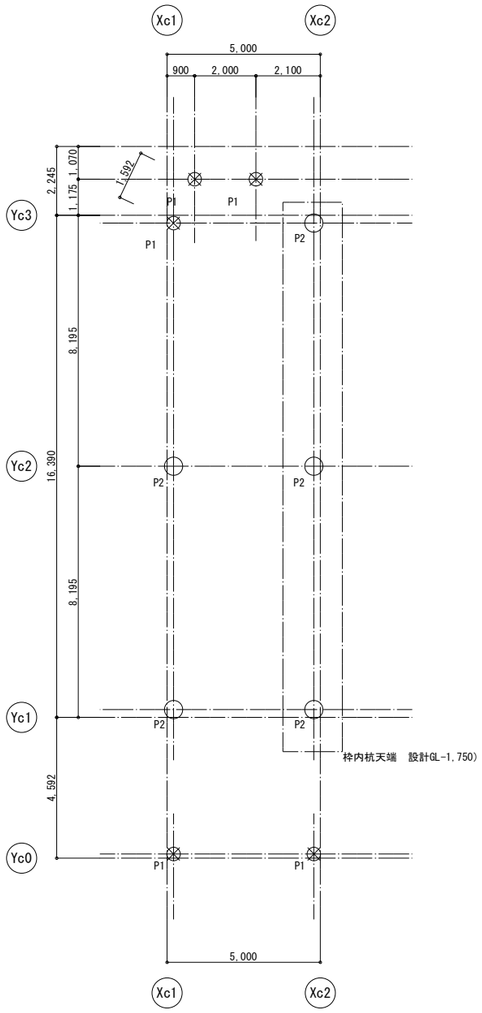
JOBNO

白石消防署庁舎建替工事【訓練棟】

（主訓練塔）ハイベースNEO工法設計施工標準(2)

DATE R7.10.7　SCAL (A 1) 1／40 (A 3) 1／80　DRAWN　CHEK　S-119

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号　永野ますみ

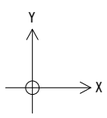


杭について（副訓練塔1）			
工　法	Hyper-MEGA工法(プレボーリング拡大根固め工法)		
	TACP-0527(砂質地盤)　TACP-0528（礫質地盤）		
	杭頭部　F.T.Pile工法(BCJ評定-FD0141-06)		
符号	P1	P2	
記号	⊗	○	
杭径	φ450・4560	φ600・6080	
杭種　上杭	123MAS_450-C種	MAS_600-B種	
	7.0m	7.0m	
中杭	MAS_450-A種	MAS_600-A種	
	11.0m	11.0m	
下杭	MF_4560-A種	MF_6080-A種	
	10.0m	10.0m	
杭耐力(kN／本)	1,317	2,083	
杭長	28.0m	28.0m	
杭本数	5 本	2 本	3 本
杭天端	設計GL-1,400	設計GL-1,400	設計GL-1,850

杭伏図　S=1/100　(設計GL=TP+59.70)

特記なき限り　下記による。

1. 杭天端　設計GL-1,400



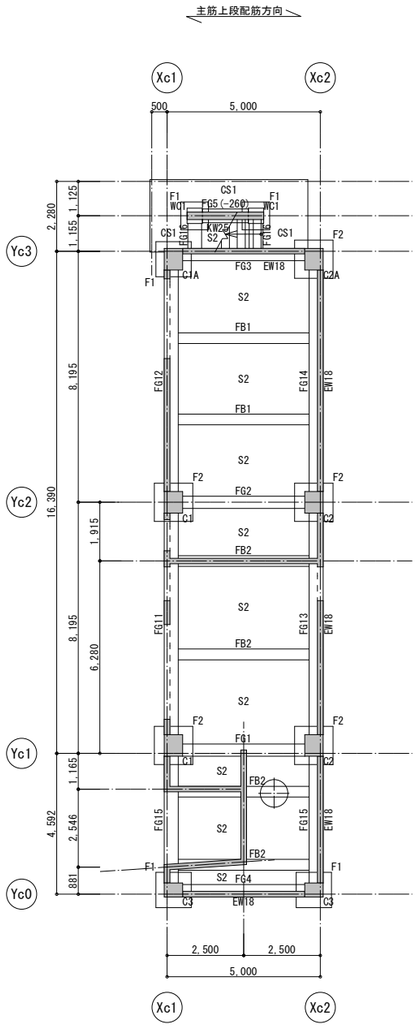
一級建築士　第185692号　細川 武

JOBNO

白石消防署庁舎建替工事【訓練棟】　（副訓練塔1）杭伏図　S-210

DATE R7.10.7　SCAL (A 1) 1／100 (A 3) 1／200　DRAWN　CHEK

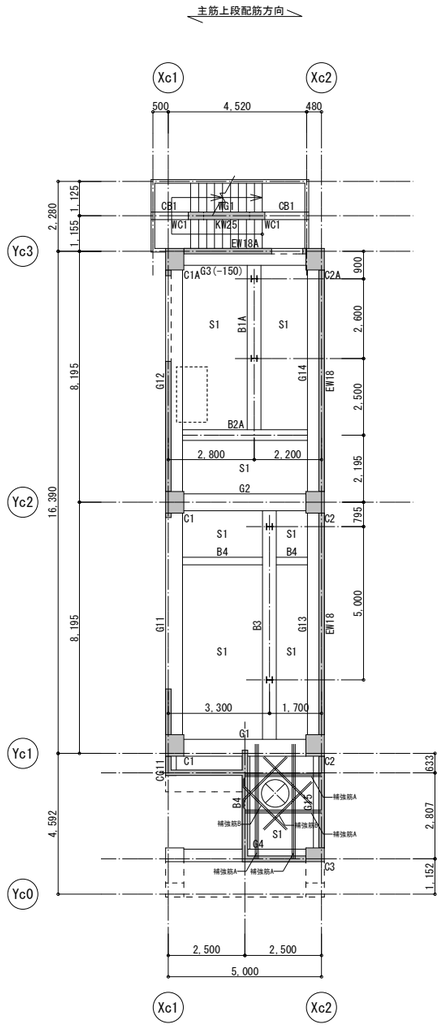
株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号　永野ますみ



1階伏図　S=1/100　(1FL=設計GL+100)

特記なき限り 下記による。

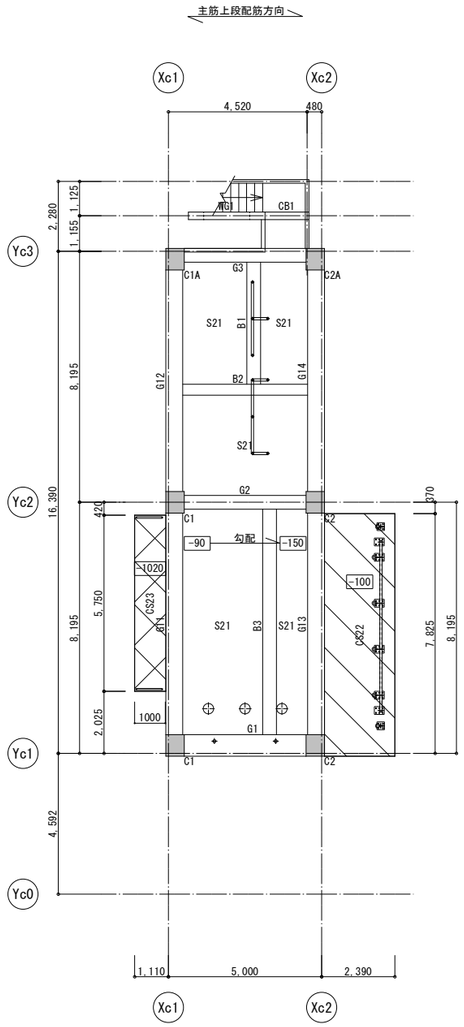
1. 床版天端　1FL-10
2. 地中梁天端　1FL-160
3. ( )内数字は 1FLからの地中梁天端レベルを示す。
4. 数字 は 1FLからの床天端レベルを示す。
5. 壁 : W18
6. ▨ 印は 打増しを示す。



2階伏図　S=1/100　(2FL=1FL+3,400)

特記なき限り 下記による。

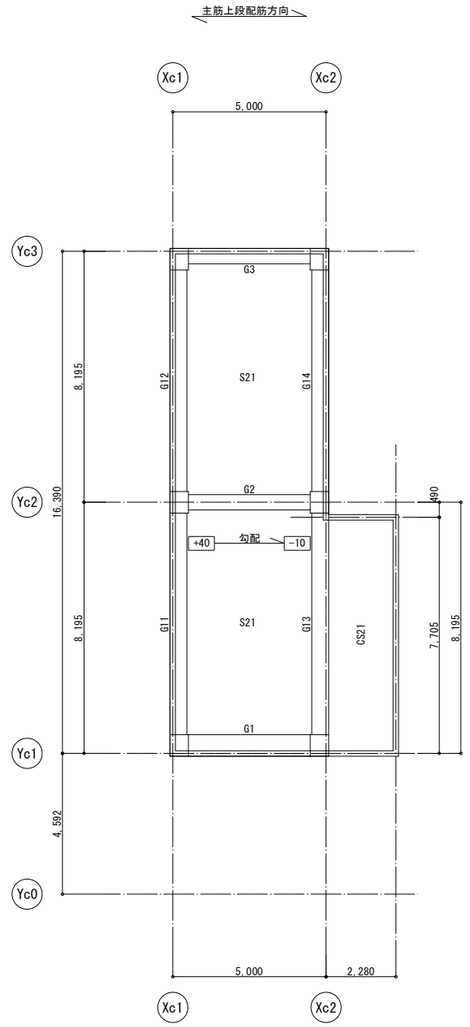
1. 床版天端　2FL-10
2. 梁天端　2FL-10
3. ( )内数字は 2FLからの梁天端レベルを示す。
4. 数字 は 2FLからの床天端レベルを示す。
5. 壁 : W18
6. ▨ 印は 打増しを示す。
7. 補強筋A : 2-(2-D13) 、補強筋B : 2-(1-D13)



3階伏図　S=1/100　(3FL=2FL+3,500)

特記なき限り 下記による。

1. 床水勾配は躯体でとる。
2. ( )内数字は 3FLからの梁天端レベルを示す。
3. 数字 は 3FLからの床天端レベルを示す。



R階伏図　S=1/100　(RFL=3FL+3,500)

特記なき限り 下記による。

1. 屋根水勾配は、躯体でとる。
2.

Y
X

一級建築士　第185692号 細川 武

JOBNO

白石消防署庁舎建替工事【訓練棟】　(副訓練塔1) 伏図　S-211

DATE R7.10.7　SCAL (A 1) 1/100 (A 3) 1/200　DRAWN　CHEK

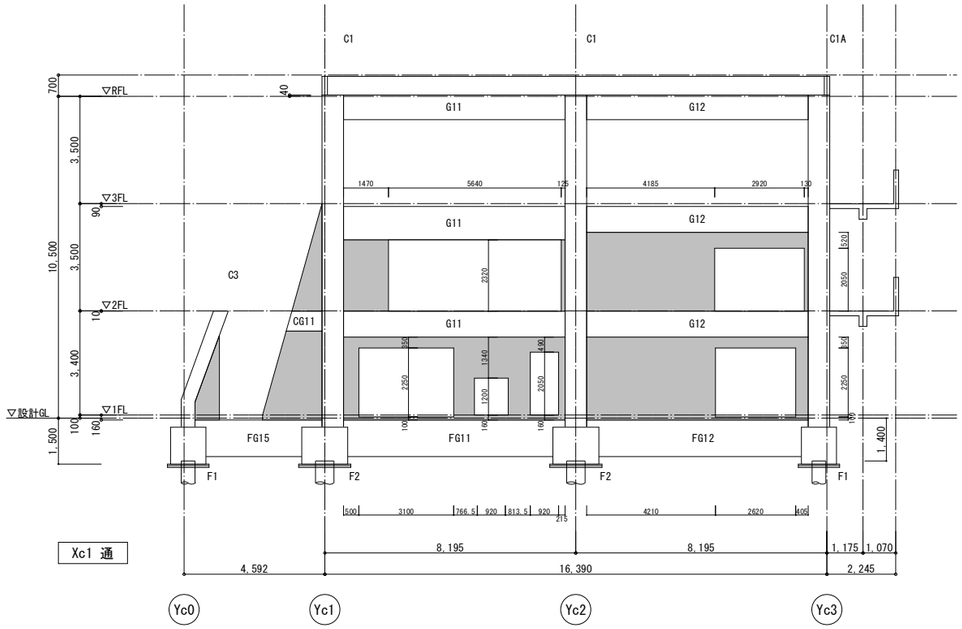
株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号　永野ますみ

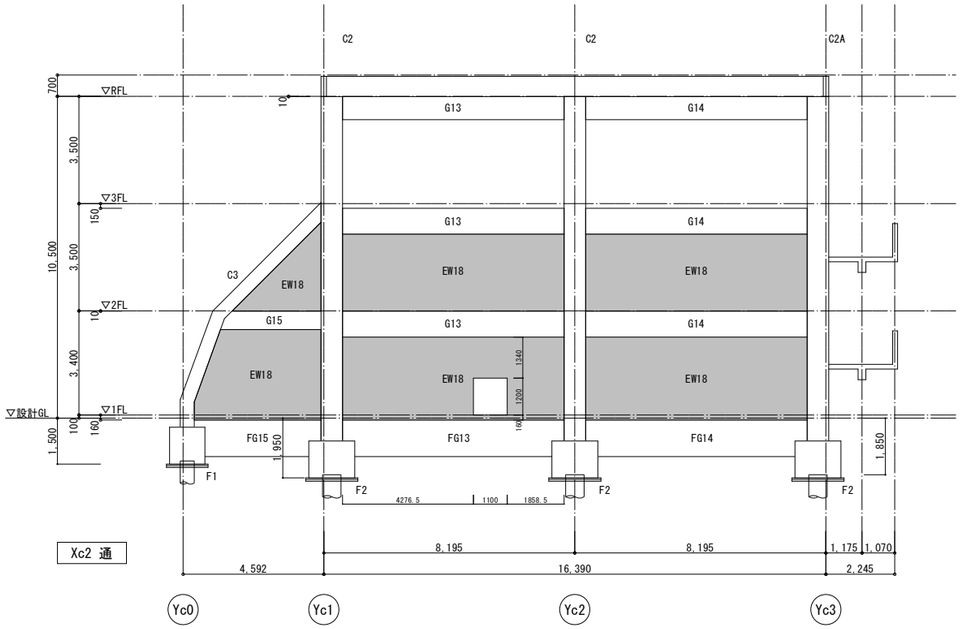
軸組図　S=1/100

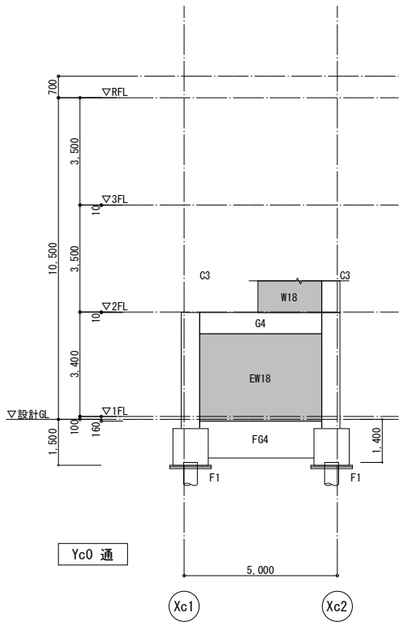
特記なき限り　下記による。

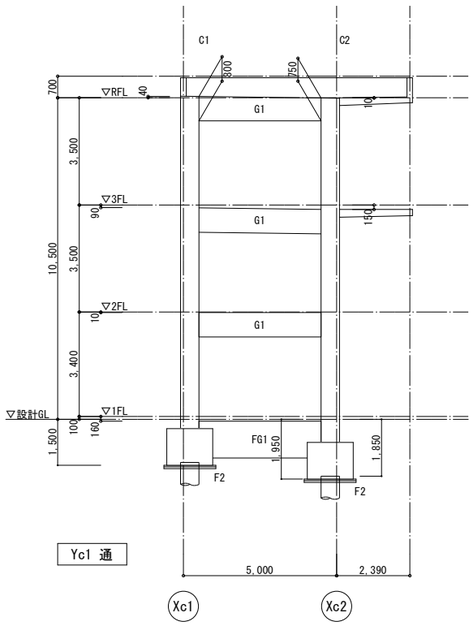
1.　壁　：　W18

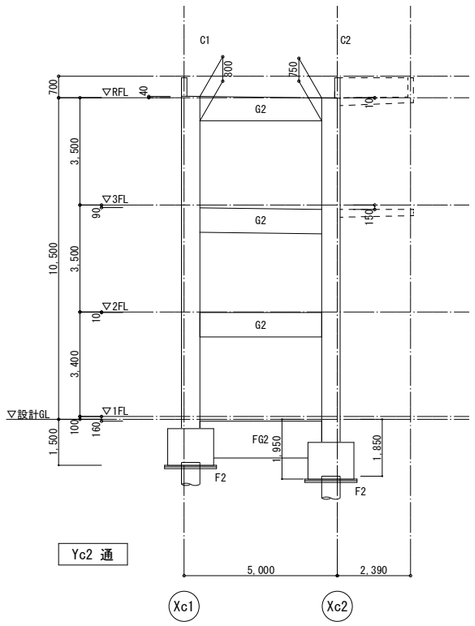
2.　▨ 印は 打増しを示す。

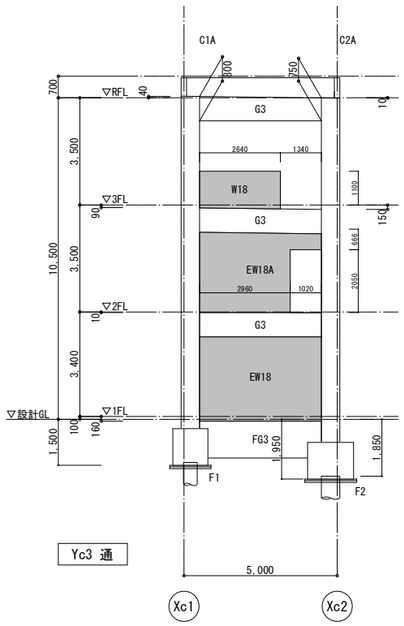


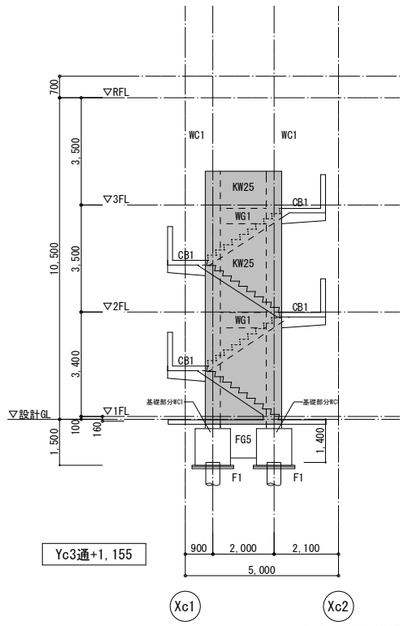












一級建築士　第185692号　細川 武

JOBNO

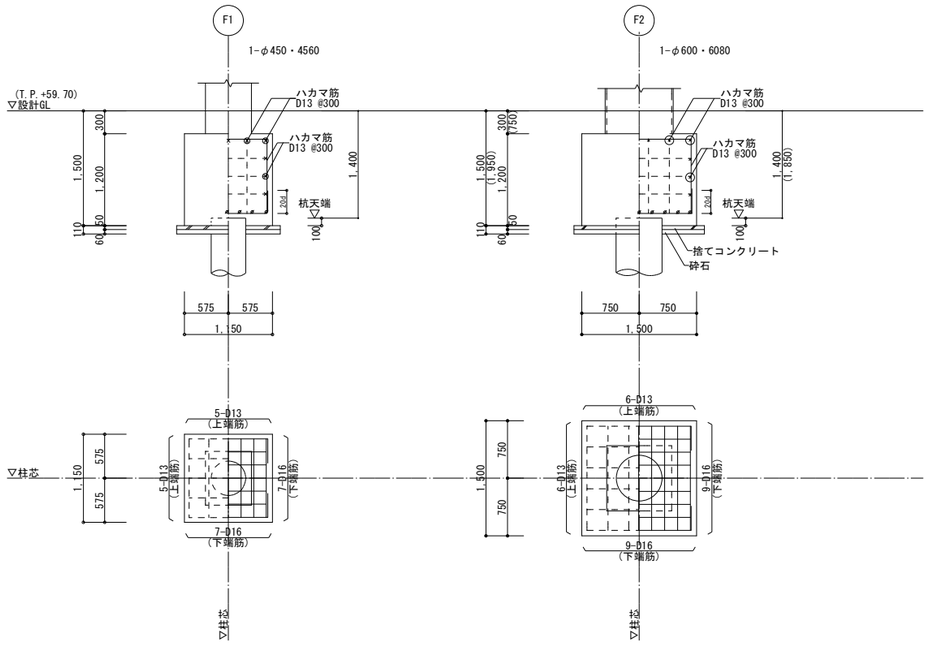
白石消防署庁舎建替工事【訓練棟】　（副訓練塔1）軸組図　S-212

DATE R7.10.7　SCAL (A 1) 1／100 (A 3) 1／200　DRAWN　CHEK

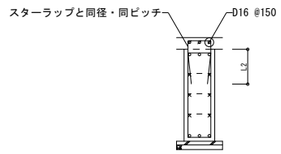
株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士　第 357230 号　永野ますみ

基礎リスト　S=1/40

底版からの主筋の立上りは 20d 以上とする。



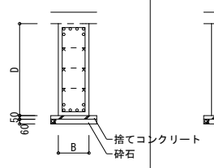
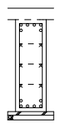
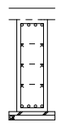
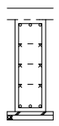
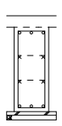
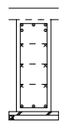
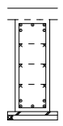
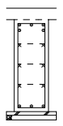
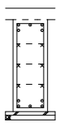
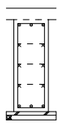
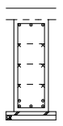
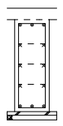
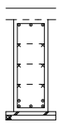
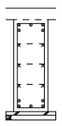
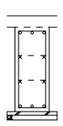
床版受け補強要領



地中梁リスト　S=1/40

特記なき限り下記とする

巾止め筋　D10 ⟷ @1,000以内

符号	FG1	FG2	FG3	FG4	FG5		FG11		FG12		FG13		FG14		FG15	FG16	
位置	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面		端部	中央	端部	中央	端部	中央	端部	中央	全断面	全断面	
断面																	
B X D	400 x 1,200	400 x 1,200	400 x 1,200	400 x 1,200	450 x 1,100		450 x 1,200		450 x 1,200		450 x 1,200		450 x 1,200		450 x 1,200	450 x 1,100	
上端筋	6-D22	6-D22	4-D22	3-D22	3-D22		5-D25	5-D25	5-D25	5-D25	3-D25	3-D25	3-D25	3-D25	5-D25	3-D22	
下端筋	6-D22	6-D22	4-D22	3-D22	3-D22		3-D25	5-D25	3-D25	5-D25	3-D25	5-D25	3-D25	5-D25	5-D25	3-D22	
スターラップ	D13 □ @200	D13 □ @200	D13 □ @200	D13 □ @200	D13 □ @200		D13 □ @200		D13 □ @200		D13 □ @200		D13 □ @200		D13 □ @200	D13 □ @200	
腹筋	6-D13	6-D13	6-D13	6-D13	4-D13		6-D13		6-D13		6-D13		6-D13		6-D13	4-D13	

符号	FB1	FB2
位置	全断面	全断面
断面		
B X D	350 x 600	350 x 600
上端筋	3-D22	3-D22
下端筋	3-D22	4-D22
スターラップ	D10 □ @200	D10 □ @150
腹筋	2-D10	2-D10

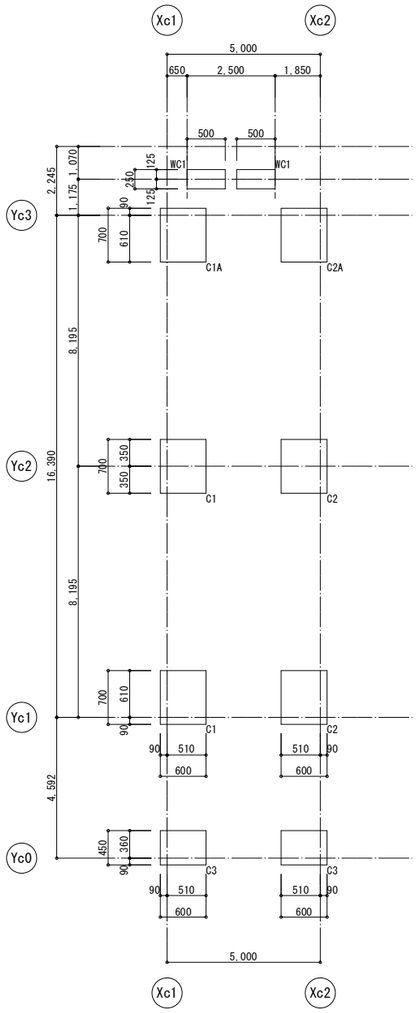
一級建築士　第185692号　細川 武

JOBNO

白石消防署庁舎建替工事【訓練棟】　（副訓練塔1）基礎・地中梁リスト　S-213

DATE R7.10.7　SCAL (A 1) 1/ 40 (A 3) 1/ 80　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号　永野ますみ

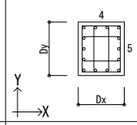


副訓練塔１　柱芯線図　S=1/100,40

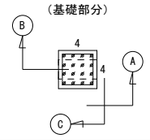
特記なき限り　下記による。

副訓練塔１ 柱リスト　S=1/40

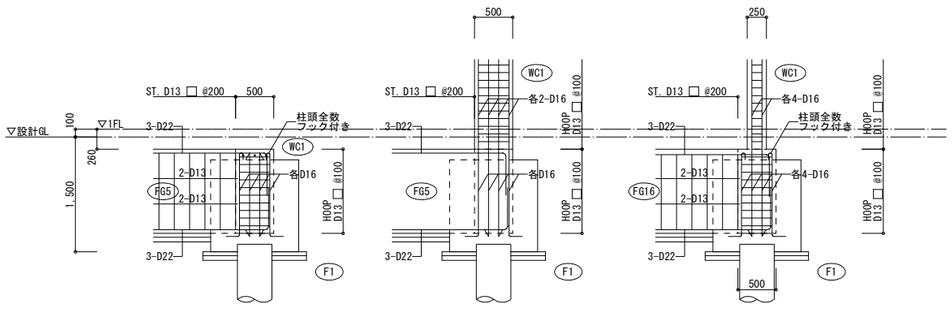
特記なき限り　フープは 仕口部を除きスパイラルフープとする。
仕口部フープは D13 □ @100とする。

符号	C1	C1A	C2	C2A	C3	WC1
3階断面						
Dx × Dy	600 x 700	600 x 700	600 x 700	600 x 700		
主筋	14 - D22	14 - D22	14 - D22	14 - D22		
フープ	D13 ⊞ @100	D13 ⊞ @100	D13 ⊞ @100	D13 ⊞ @100		
2階断面						
Dx × Dy	600 x 700	600 x 700	600 x 700	600 x 700	600 x 450	500 x 250
主筋	14 - D22	14 - D22	14 - D22	14 - D22	10 - D22	8 - D16
フープ	D13 □ @100	D13 □ @100	D13 □ @100	D13 ⊟ @100	D13 □ @100	D13 □ @100
1階断面						
Dx × Dy	600 x 700	600 x 700	600 x 700	600 x 700	600 x 450	500 x 250
主筋	14 - D22	14 - D22	14 - D22	14 - D22	10 - D22	8 - D16
フープ	D13 ⊞ @100	D13 □ @100	D13 □ @100	D13 □ @100	D13 □ @100	D13 □ @100

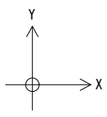
（基礎部分）



500 x 500
16 - D16
D13 □ @100



Ⓐ断面　S=1/40　　Ⓑ断面　S=1/40　　Ⓒ断面　S=1/40



一級建築士　第185692号　細川 武

JOBNO

白石消防署庁舎建替工事【訓練棟】

（副訓練塔1）
柱芯線図・柱リスト

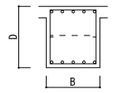
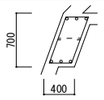
S-214

DATE R7.10.7　SCAL (A 1) 1／100 (A 3) 1／200　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号　永野ますみ

大梁リスト　S=1/40

特記なき限り下記とする
巾止め筋 ←φ10　@1,000以内
D16～D25：SD295
D19～D25：SD345

符号	G1	G2	G3	G4	G11			G12			G13			G14			G15	CG11	WG1
位置	全断面	全断面	全断面	全断面	Yc1通 端	中 央	Yc2通 端	Yc2通 端	中 央	Yc3通 端	Yc1通 端	中 央	Yc2通 端	Yc2通 端	中 央	Yc3通 端	全断面	全断面	全断面
R階断面																		
B X D	700 x 800～750	500 x 800～750	500 x 800～750		550 x 800			550 x 800			550 x 750			550 x 750					
上端筋	5-D22	4-D22	4-D22		4-D22	4-D22	6-D22	6-D22	4-D22	4-D22	5-D22	5-D22	7-D22	7-D22	5-D22	5-D22			
下端筋	5-D22	4-D22	4-D22		4-D22	6-D22	4-D22	4-D22	6-D22	4-D22	5-D22	7-D22	5-D22	5-D22	7-D22	5-D22			
スターラップ	D13 □ @150	D13 □ @200	D13 □ @200		D13 □ @200			D13 □ @200			D13 □ @100			D13 □ @200					
腹筋	2-D10	2-D10	2-D10		2-D10			2-D10			4-D16 (L2定着)			2-D10					
3階断面																		
B X D	700 x 800	450 x 800	450 x 800		550 x 1,100			550 x 850			550 x 850			550 x 850					250 x 500
上端筋	4-D25	4-D25	4-D25		5-D25	5-D25	5-D25	7-D25	7-D25	5-D25	5-D25	5-D25	5-D25	5-D25	5-D25	5-D25			4-D16
下端筋	4-D25	4-D25	4-D25		5-D25	5-D25	5-D25	7-D25	7-D25	5-D25	5-D25	5-D25	5-D25	5-D25	5-D25	5-D25			2-D16
スターラップ	D13 □ @150	D13 □ @200	D13 □ @200		D13 □ @100			D13 □ @200			D13 □ @100			D13 □ @200					D13 □ @100
腹筋	2-D10	2-D10	2-D10		6-D16 (L2定着)			2-D10			4-D16 (L2定着)			2-D10					2-D13
2階断面																			
B X D	550 x 800	550 x 800	550 x 800	400 x 700	550 x 850			550 x 850			550 x 850			550 x 850			350 x 600	350 x 600	250 x 500
上端筋	4-D25	4-D25	4-D25	3-D22	5-D25	5-D25	5-D25	7-D25	7-D25	5-D25	5-D25	5-D25	5-D25	5-D25	5-D25	5-D25	3-D25	3-D25	4-D16
下端筋	4-D25	4-D25	4-D25	3-D22	5-D25	5-D25	5-D25	7-D25	7-D25	5-D25	5-D25	5-D25	5-D25	5-D25	5-D25	5-D25	3-D25	3-D25	2-D16
スターラップ	D13 □ @200	D13 □ @200	D13 □ @200	D13 □ @200	D13 □ @200			D13 □ @200			D13 □ @200			D13 □ @200			D13 □ @200	D13 □ @200	D13 □ @100
腹筋	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10			2-D10			2-D10			2-D10			2-D10	2-D10	2-D13

小梁リスト　S=1/40

特記なき限り下記とする
巾止め筋　D10↔　@1,000以内

符号	B1	B1A		B2		B2A		B3		B4	CB1		
位置	全断面	両 端	中 央	両 端	中 央	両 端	中 央	両 端	中 央	全断面	先 端	基 端	
断面													
B X D	450 x 600	450 x 600		350 x 600		350 x 600		450 x 800		250 x 500	250 x 400	250 x 500	
上端筋	4-D19	4-D19	4-D19	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	4-D22	4-D22	2-D16	4-D16	4-D16	
下端筋	4-D19	4-D19	6-D19	4-D22	6-D22	3-D22	5-D22	6-D22	7-D22	2-D16	2-D16	2-D16	
スターラップ	D13 □ @200	D13 □ @200		D13 □ @200		D13 □ @200		D13 □ @150		D10 □ @200	D13 □ @200		
腹筋	2-D10	2-D10		2-D10		2-D10		2-D10		---	---		

一級建築士　第185692号　細川 武

JOBNO

白石消防署庁舎建替工事【訓練棟】　（副訓練塔1）大梁・小梁リスト　S-215

DATE R7.10.7　SCAL (A 1) 1／40 (A 3) 1／80　DRAWN　CHEK

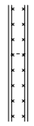
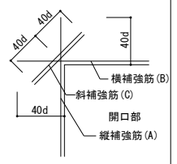
株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号　永野ますみ

床版リスト

符号	版厚	位　置	短辺方向(主筋)	長辺方向(配力筋)	備　考
S1	150	上　端　筋	D13　@200	D13　@200	
		下　端　筋	D10　@200	D10　@200	
S2	150	上　端　筋	D10 D13 @200	D10 D13 @200	
		下　端　筋	D10　@200	D10　@200	
S21	200	上　端　筋	D13　@200	D13　@200	
		下　端　筋	D13　@200	D13　@200	
CS1	150	上　端　筋	D13　@100	D13　@100	
		下　端　筋	D10　@100	D10　@100	
CS21	180～250	上　端　筋	D13　@100	D13　@200	
		下　端　筋	D13　@200	D13　@200	
CS22	180～250	上　端　筋	D13D16　@125	D13　@200	
		下　端　筋	D13　@125	D13　@200	
CS23	180	上　端　筋	D10D13　@200	D10　@200	
		下　端　筋	D10　@200	D10　@200	

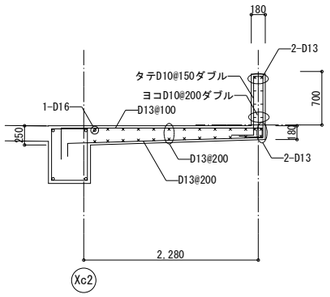
壁リスト　S=1/40

幅止め筋　D10 ― @1,000 （壁厚180mm以上）
階段受け壁（KWと表記した壁）の縦筋は外側に配筋する

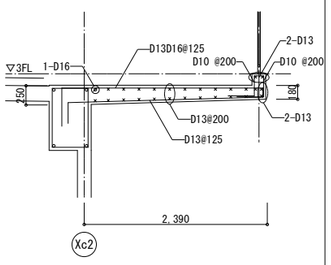
符号	W18	EW18	EW18A	KW25					開口補強要領
配筋	ダブル	ダブル	ダブル	ダブル					
断面									
壁　厚	180	180	180	250					
縦　筋	D10 @200	D10 @200	D10 @150	D13 @100					
横　筋	D10 @200	D10 @200	D10 @150	D13 @200					
補強筋Ａ，Ｂ	2-D13	2-D13	4-D13	---					
補強筋Ｃ	2-D13	2-D13	2-D13	---					
末端部補強筋	2-D13	2-D13	4-D13	---					

雑詳細図　S=1/40

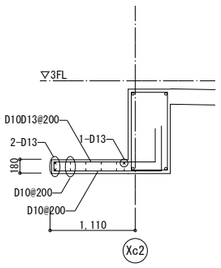
CS21



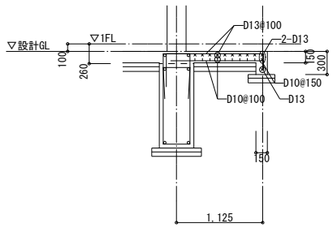
CS22



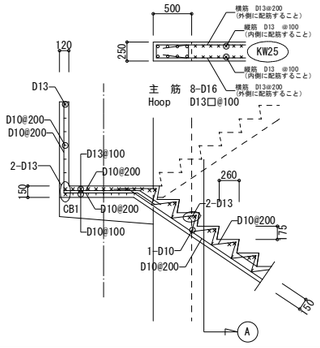
CS23

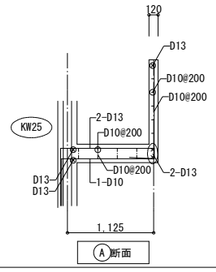


CS1



外部階段





一級建築士　第185692号　細川 武

JOBNO

白石消防署庁舎建替工事【訓練棟】　（副訓練塔1）
床版・壁リスト、雑詳細図　S-216

DATE R7.10.7　SCAL (A 1) 1／100 (A 3) 1／200　DRAWN　CHEK

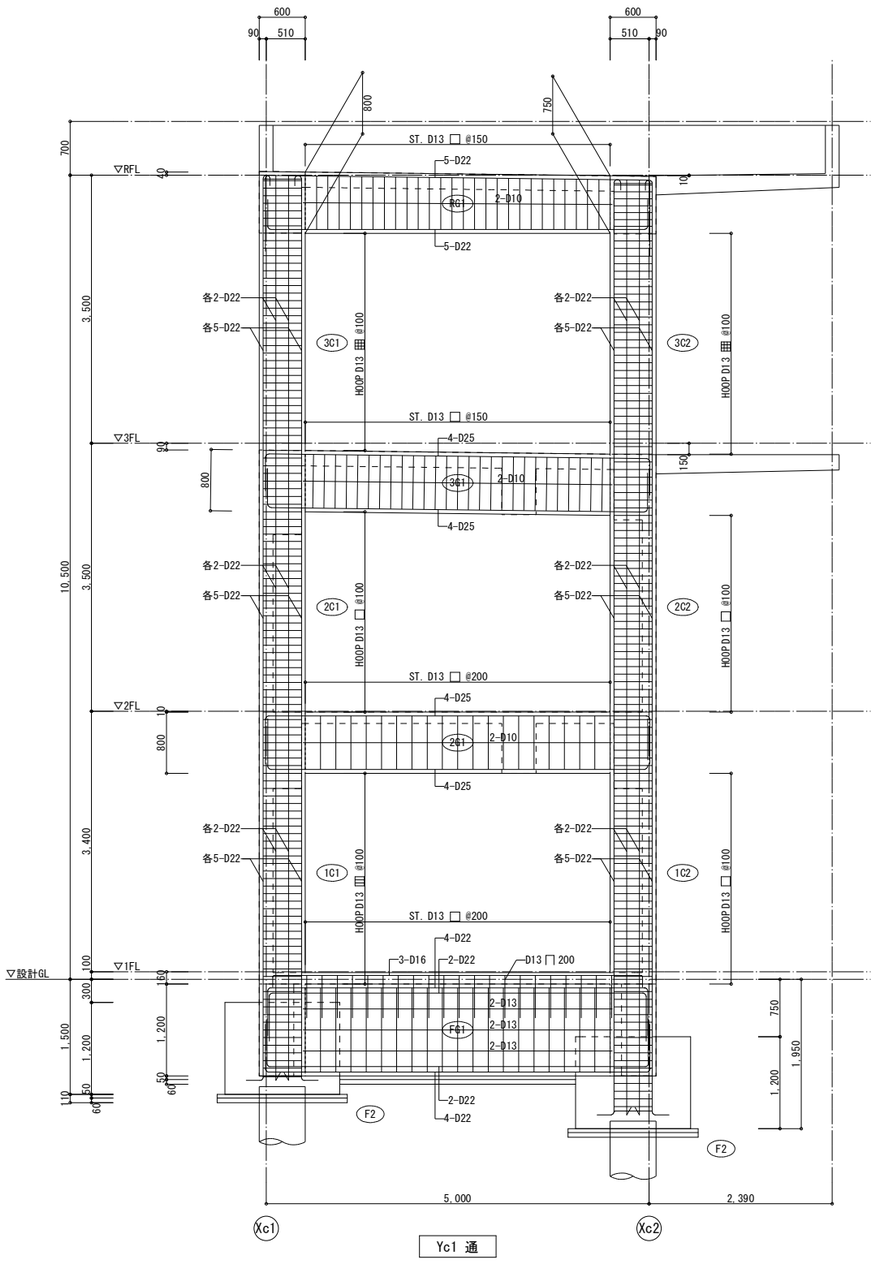
株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号　永野ますみ

架構配筋詳細図　S=1/40

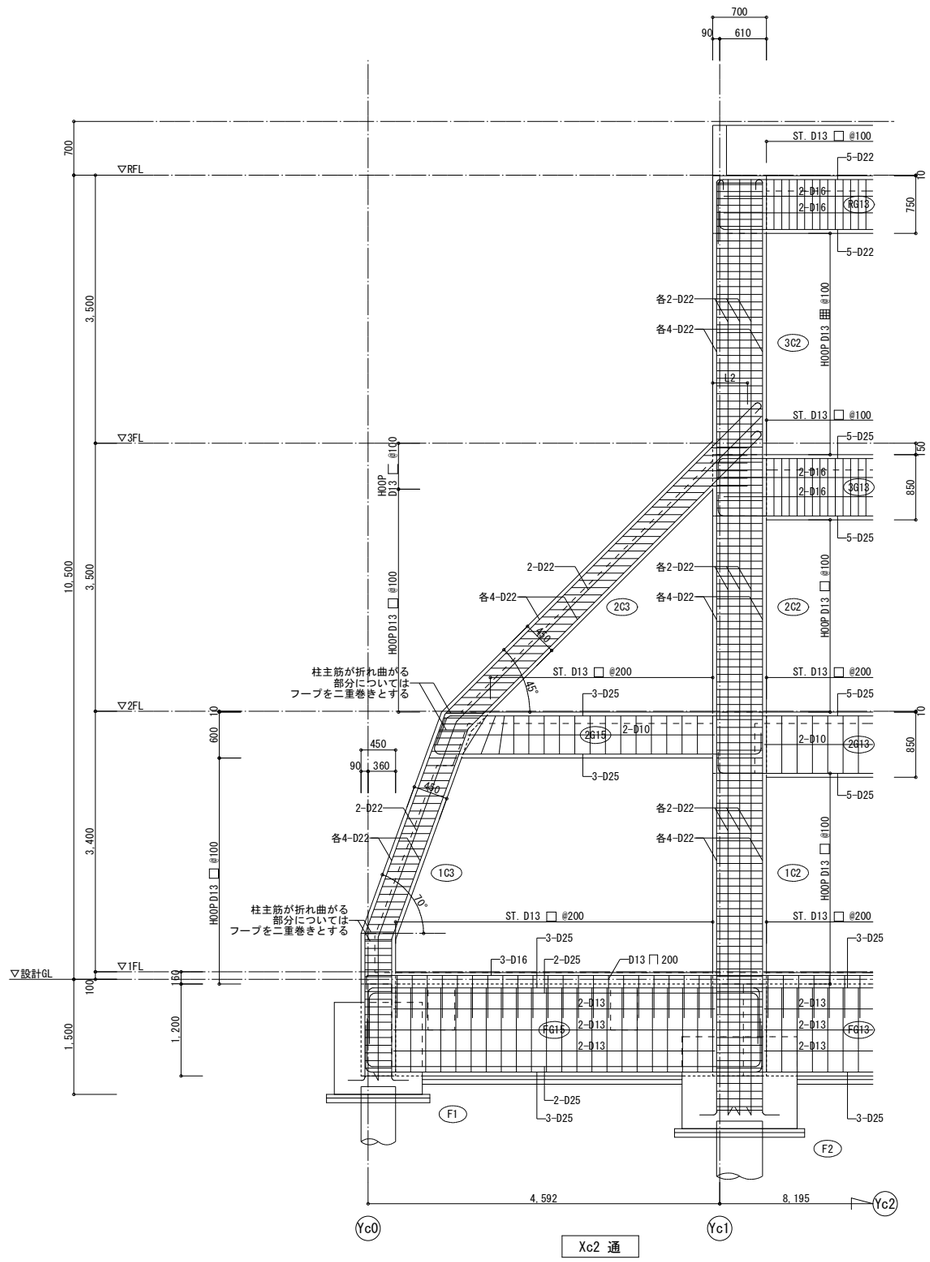
特記なき限り　下記による。

フープは 仕口部を除きスパイラルフープとする。

仕口部フープは D13 □ @100 とする。



Yc1 通



Xc2 通

一級建築士　第185692号 細川 武

JOBNO

白石消防署庁舎建替工事【訓練棟】

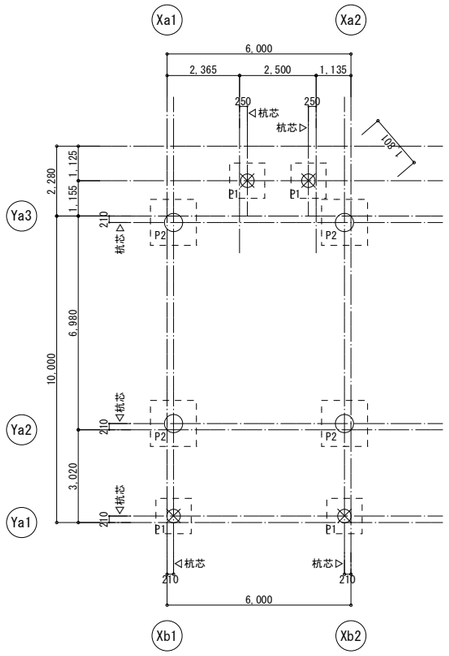
(副訓練塔1)
架構配筋詳細図

S-217

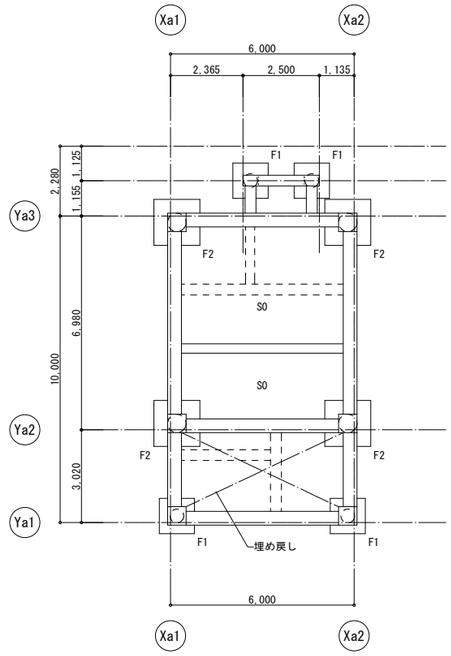
DATE	SCAL	DRAWN	CHEK
R7.10.7	(A 1) 1/ 40 (A 3) 1/ 80		

株式会社 構 建築設計事務所

一級建築士　第 357230 号　永野ますみ



杭について（副訓練塔2）		
工　法	Hyper-MEGA工法(プレボーリング拡大根固め工法)	
	TACP-0527(砂質地盤)　TACP-0528（礫質地盤）	
	杭頭部　F.T.Pile工法(BCJ評定-FD0141-06)	
符号	P1	P2
記号	⊗	○
杭径	φ450・4560	φ600・6075
杭種　上杭	105MAS_450-C種	MAS_600-B種
	7.0m	7.0m
中杭	MAS_450-A種	MAS_600-A種
	11.0m	11.0m
下杭	MF_4560-A種	MF_6075-A種
	10.0m	10.0m
杭耐力(kN／本)	1,314	1,873
杭長	28.0m	28.0m
杭本数	4 本	4 本
杭天端	設計GL-1,700	設計GL-1,700



杭伏図　S=1/100　(設計GL=TP+59.90)

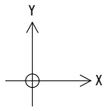
特記なき限り　下記による。

1. 杭天端　設計GL-1,500

基礎・ピット伏図　S=1/100　(設計GL=TP+59.9)

特記なき限り　下記による。

1. 基礎底は 設計GL-1,800 とする。
2. S0天端は 1FL-1,510 とする。



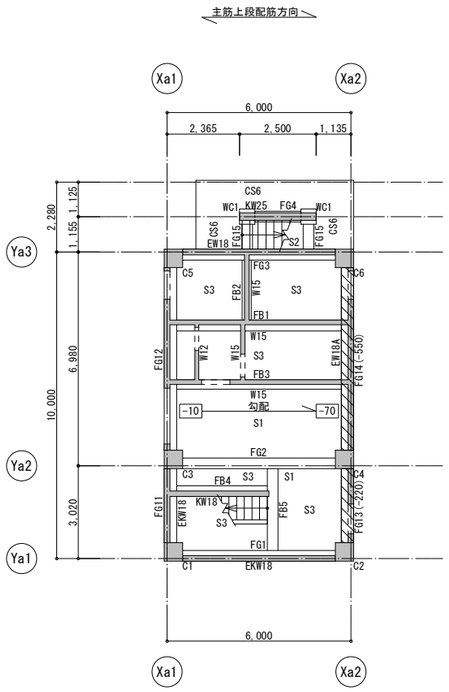
一級建築士　第185692号 細川 武

JOBNO

白石消防署庁舎建替工事【訓練棟】　（副訓練塔2）杭伏図　S-310

DATE R7.10.7　SCAL (A 1) 1／100 (A 3) 1／200　DRAWN　CHEK

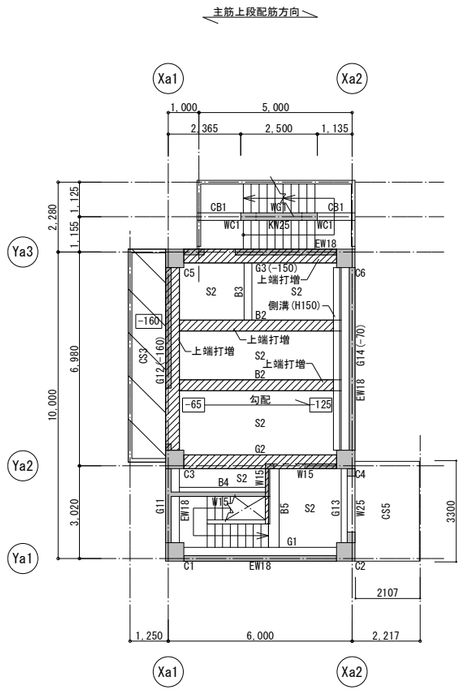
株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号　永野ますみ



1階伏図　S=1/100　(1FL=設計GL+100)

特記なき限り　下記による。

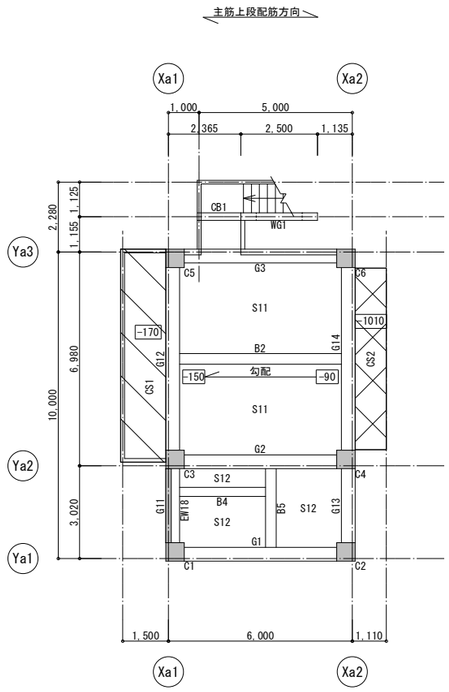
1. 床版天端　1FL-10
2. 地中梁天端　1FL-160
3. (　)内数字は 1FLからの地中梁天端レベルを示す。
4. 数字 は 1FLからの床天端レベルを示す。
5. 壁　:　W18
6. ▨ 印は 打増しを示す。



2階伏図　S=1/100　(2FL=1FL+3,400)

特記なき限り　下記による。

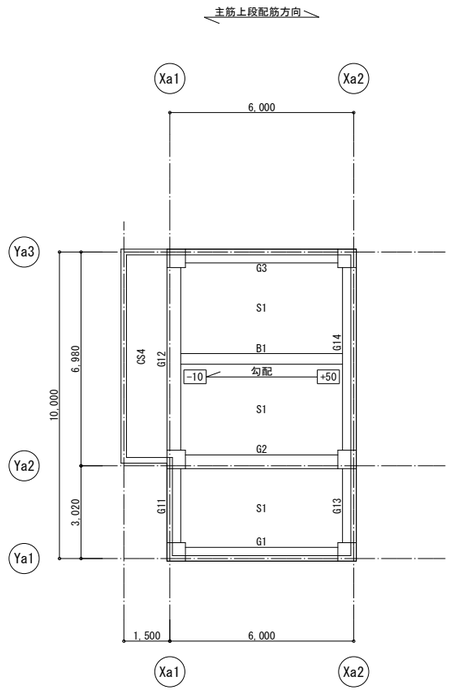
1. 床版天端　2FL-10
2. 梁天端　2FL-10
3. (　)内数字は 2FLからの梁天端レベルを示す。
4. 数字 は 2FLからの床天端レベルを示す。
5. 壁　:　W18
6. ▨ 印は 打増しを示す。



3階伏図　S=1/100　(3FL=2FL+3,500)

特記なき限り　下記による。

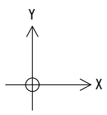
1. 床水勾配は躯体でとる。
2. (　)内数字は 3FLからの梁天端レベルを示す。
3. 数字 は 3FLからの床天端レベルを示す。
4. 壁　:　W18
5. ▨ 印は 打増しを示す。



R階伏図　S=1/100　(RFL=3FL+3,500)

特記なき限り　下記による。

1. 屋根水勾配は躯体でとる。
2. 数字 は RFLからの床天端レベルを示す。
3. ▨ 印は 打増しを示す。



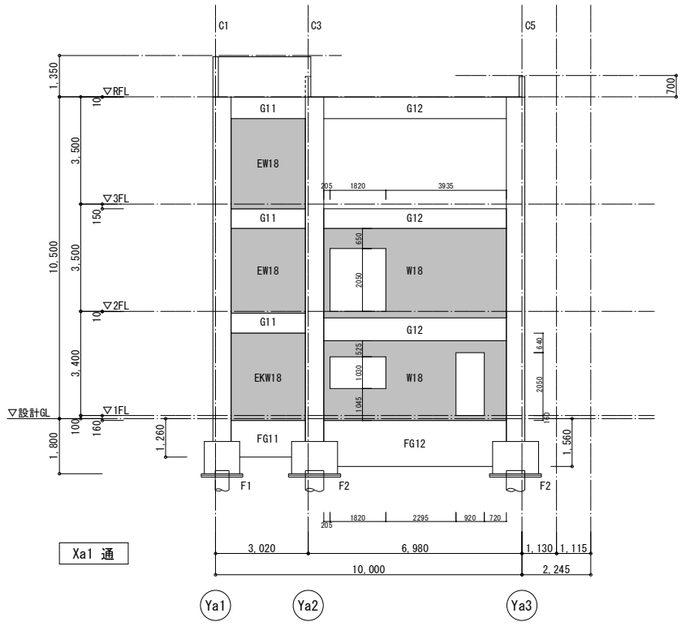
一級建築士　第185692号　細川 武

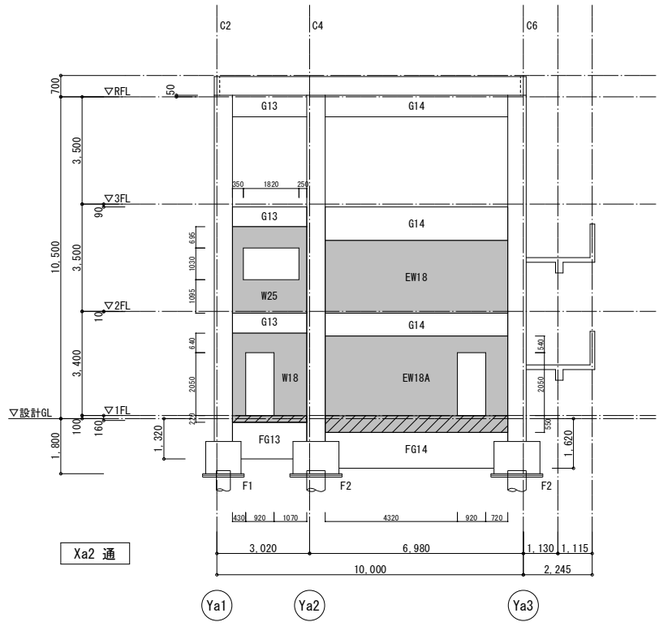
JOBNO

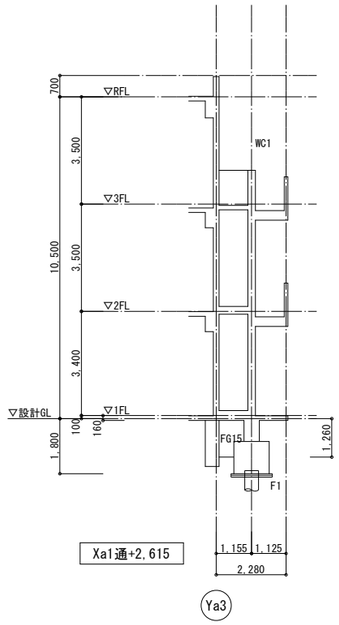
白石消防署庁舎建替工事【訓練棟】　(副訓練塔2) 伏図　S-311

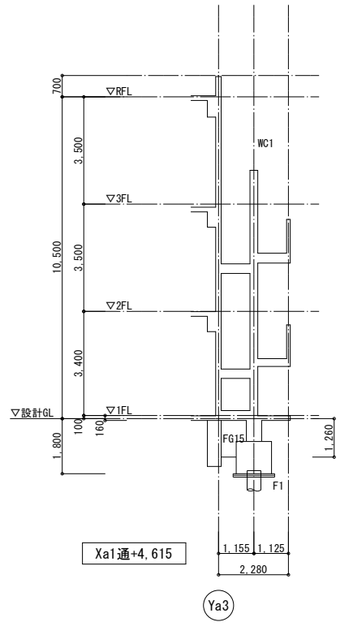
DATE R7.10.7　SCAL (A 1) 1/100 (A 3) 1/200　DRAWN　CHEK

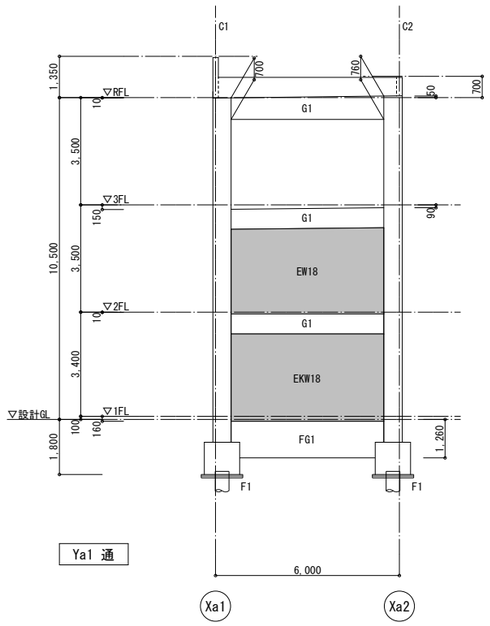
株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号　永野ますみ

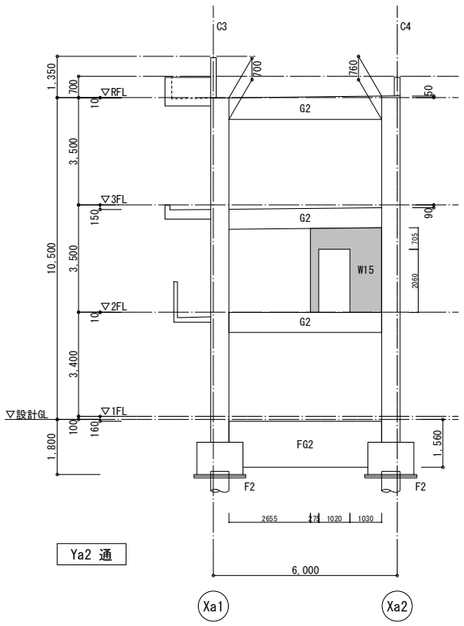


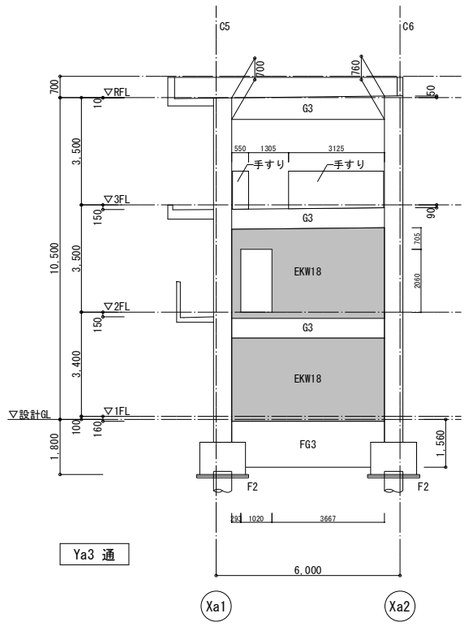


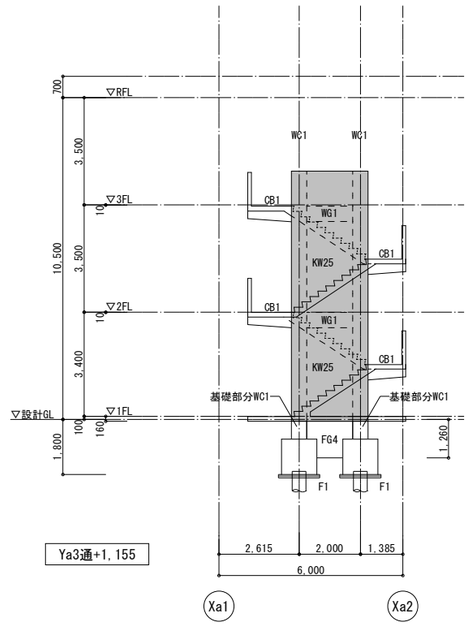












軸組図　S=1/200

特記なき限り、下記による。

1. ▨ 印は 打増しを示す。

一級建築士　第185692号　細川 武

JOBNO

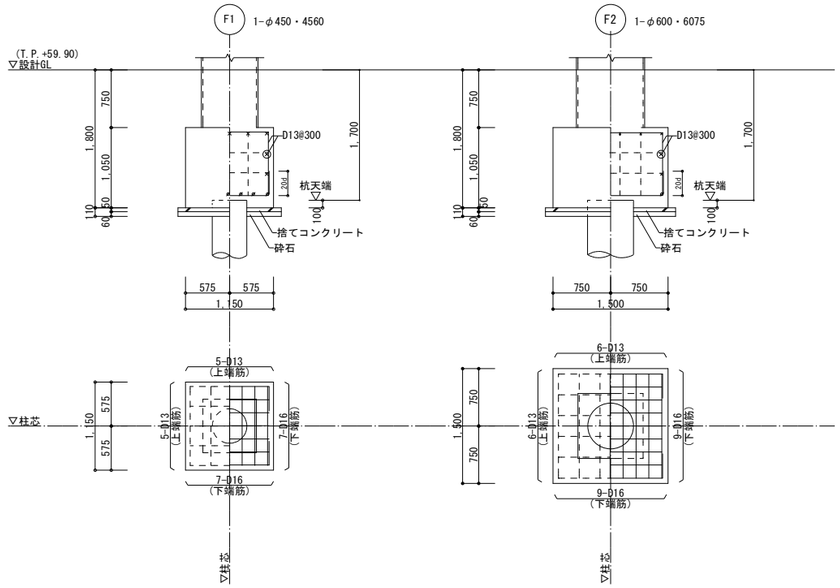
白石消防署庁舎建替工事【訓練棟】　（副訓練塔2）軸組図　S-312

DATE	SCAL	DRAWN	CHEK
R7.10.7	(A 1) 1/100 (A 3) 1/200		

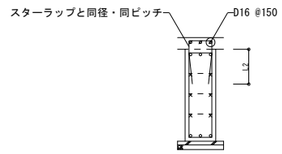
株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号　永野ますみ

基礎リスト　S=1/40

底版からの主筋の立上りは 20d 以上とする。



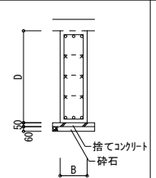
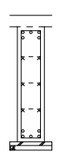
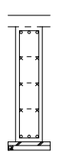
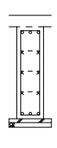
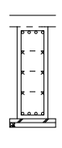
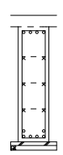
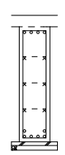
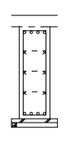
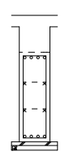
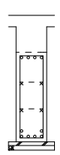
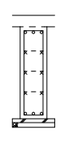
床版受け補強要領

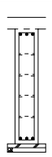


地中梁リスト　S=1/40

特記なき限り下記とする

巾止め筋　D10 ⟷ @1,000以内

符号	FG1	FG2	FG3	FG4		FG11	FG12		FG13	FG14		FG15				
位置	全断面	全断面	全断面	全断面		全断面	端部	中央	全断面	端部	中央	全断面				
断面																
B X D	350 x 1,200	350 x 1,500	350 x 1,500	350 x 1,200		400 x 1,200	400 x 1,500		400 x 1,200	400 x 1,170		350 x 1,200				
上端筋	3-D22	5-D22	3-D22	3-D22		4-D22	4-D22	4-D22	4-D22	4-D22	4-D22	3-D22				
下端筋	3-D22	5-D22	3-D22	3-D22		4-D22	6-D22	6-D22	4-D22	4-D22	6-D22	3-D22				
スターラップ	D13 □ @200	D13 □ @200	D13 □ @200	D13 □ @200		D13 □ @200	D13 □ @150		D13 □ @200	D13 □ @200		D13 □ @200				
腹筋	6-D13	6-D13	6-D13	6-D13		6-D13	6-D13		6-D13	4-D13		6-D13				

符号	FB1		FB2	FB3	FB4		FB5								
位置	両端	中央	全断面	全断面	両端	中央	全断面								
断面															
B X D	350 x 600		300 x 500	300 x 1,500	350 x 600		350 x 600								
上端筋	3-D22	3-D22	2-D16	3-D19	3-D19	3-D19	3-D22								
下端筋	4-D22	6-D22	2-D16	3-D19	3-D19	5-D19	4-D22								
スターラップ	D13 □ @200		D10 □ @200	D13 □ @200	D13 □ @200		D13 □ @200								
腹筋	2-D10		---	8-D10	2-D10		2-D10								

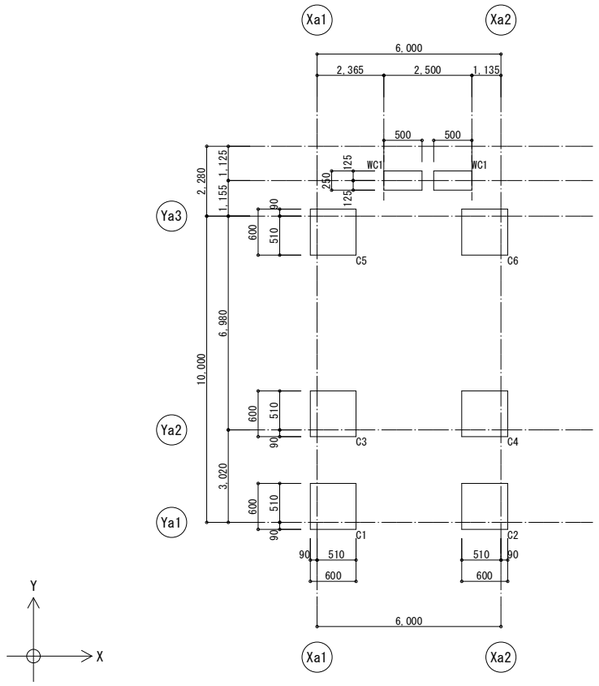
一級建築士　第185692号　細川 武

JOBNO

白石消防署庁舎建替工事【訓練棟】　（副訓練塔2）　基礎・地中梁リスト　S-313

DATE R7.10.7　SCAL (A 1) 1／40 (A 3) 1／80　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号 永野ますみ

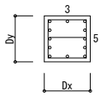
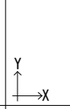
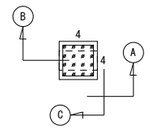


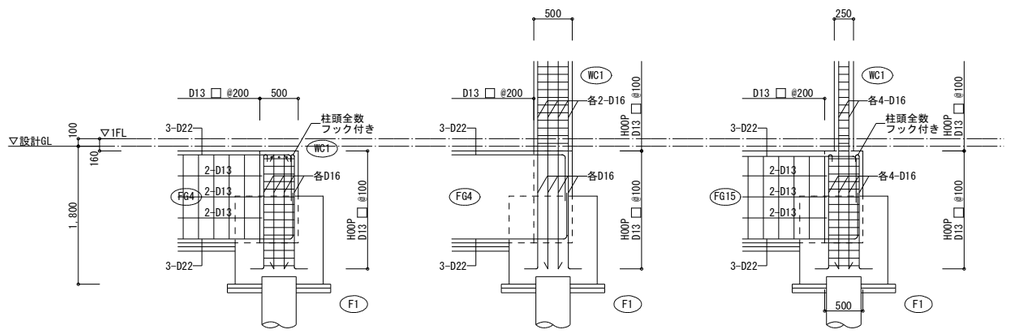
副訓練塔２　柱芯線図　S=1/100,40

特記なき限り　下記による。

副訓練塔２ 柱リスト　S=1/40

特記なき限り　フープは 仕口部を除きスパイラルフープとする。
仕口部フープは D13 □ @100とする。

符号	C1	C2	C3	C4	C5	C6	WC1
3階断面							
Dx × Dy	600 x 600	600 x 600	600 x 600	600 x 600	600 x 600	600 x 600	
主　筋	12 - D22	16 - D22	8 - D22	12 - D22	16 - D22	16 - D22	
フープ	D13 ⊟ @100	D13 ⊞ @100	D13 □ @100	D13 ⊞ @100	D13 ⊞ @100	D13 ⊞ @100	
2階断面							
Dx × Dy	600 x 600	600 x 600	600 x 600	600 x 600	600 x 600	600 x 600	500 x 250
主　筋	8 - D22	12 - D22	8 - D22	8 - D22	16 - D22	8 - D22	8 - D16
フープ	D13 □ @100	D13 □ @100	D13 □ @100	D13 □ @100	D13 ⊞ @100	D13 □ @100	D13 □ @100
1階断面							
Dx × Dy	600 x 600	600 x 600	600 x 600	600 x 600	600 x 600	600 x 600	500 x 250
主　筋	8 - D22	12 - D22	8 - D22	8 - D22	12 - D22	8 - D22	8 - D16
フープ	D13 □ @100	D13 □ @100	D13 □ @100	D13 □ @100	D13 ◫ @100	D13 □ @100	D13 □ @100
							
							500 x 500
							16 - D16
							D13 □ @100



Ⓐ断面　S=1/40　　Ⓑ断面　S=1/40　　Ⓒ断面　S=1/40

一級建築士　第185692号　細川 武

JOBNO

白石消防署庁舎建替工事【訓練棟】　（副訓練塔2）柱芯線図・柱リスト　S-314

DATE R7.10.7　SCAL (A 1) 1／100 (A 3) 1／200　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士　第 357230 号　永野ますみ

大梁リスト　S=1/40

特記なき限り下記とする

巾止め筋　D10 ▭ @1,000以内　　D10～D16：SD295

D19～D25：SD345

符号	G1	G2	G3		G11	G12			G13	G14			WG1	
位置	全断面	全断面	全断面		全断面	Ya2通 端	中　央	Ya3通 端	全断面	Ya2通 端	中　央	Ya3通 端	全断面	
R階断面														
B　X　D	450 x 700	450 x 700	450 x 700		450 x 700	450 x 700			450 x 700	450 x 700				
上　端　筋	3-D22	3-D22	3-D22		4-D22	6-D22	4-D22	4-D22	4-D22	4-D22	4-D22	4-D22		
下　端　筋	3-D22	3-D22	3-D22		4-D22	4-D22	6-D22	4-D22	4-D22	4-D22	6-D22	4-D22		
スターラップ	D13 □ @200	D13 □ @200	D13 □ @200		D13 □ @200	D13 □ @200			D13 □ @200	D13 □ @200				
腹　筋	2-D10	2-D10	2-D10		2-D10	2-D10			2-D10	2-D10				
3階断面														
B　X　D	450 x 650	450 x 650	450 x 650		450 x 650	450 x 650			450 x 650	450 x 1,100			250 x 500	
上　端　筋	3-D22	4-D22	3-D22		4-D25	6-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D16	
下　端　筋	3-D22	4-D22	3-D22		4-D25	4-D25	6-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	2-D16	
スターラップ	D13 □ @200	D13 □ @200	D13 □ @200		D13 □ @200	D13 ◫ @150			D13 □ @200	D13 □ @100			D13 □ @100	
腹　筋	2-D10	2-D10	2-D10		2-D10	2-D10			2-D10	6-D16(定着L2)			2-D13	
2階断面														
B　X　D	450 x 650	450 x 650	450 x 650		450 x 650	450 x 750			450 x 650	450 x 750			250 x 500	
上　端　筋	3-D22	4-D22	3-D22		4-D25	6-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D16	
下　端　筋	3-D22	4-D22	3-D22		4-D25	4-D25	6-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	2-D16	
スターラップ	D13 □ @200	D13 □ @200	D13 □ @200		D13 □ @200	D13 ◫ @150			D13 □ @150	D13 □ @200			D13 □ @100	
腹　筋	2-D10	2-D10	2-D10		2-D10	2-D10			2-D16（定着L2）	2-D10			2-D13	

一級建築士　第185692号　細川 武

JOBNO

白石消防署庁舎建替工事【訓練棟】　（副訓練塔2）大梁リスト　S-315

DATE R7.10.7　SCAL (A 1) 1／40 (A 3) 1／80　DRAWN　CHEK

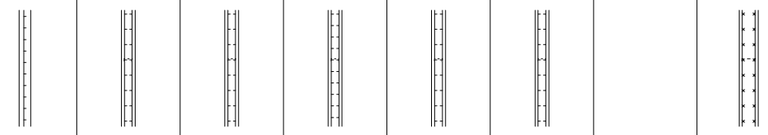
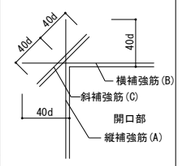
株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号　永野ますみ

床版リスト

符号	版厚	位　置	短辺方向(主筋)	長辺方向(配力筋)	備　考
S1	150	上　端　筋	D13　@200	D10 D13 @200	
		下　端　筋	D10　@200	D10　@200	
S2	150	上　端　筋	D10 D13 @200	D10 D13 @200	
		下　端　筋	D10　@200	D10　@200	
S3	150	上　端　筋	D10 D13 @200	D10 D13 @200	
		下　端　筋	D10 D13 @200	D10 D13 @200	
S11	180	上　端　筋	D13　@200	D10 D13 @200	
		下　端　筋	D13　@200	D10 D13 @200	
S12	180	上　端　筋	D10 D13 @200	D10 D13 @200	
		下　端　筋	D10 D13 @200	D10 D13 @200	
CS1	200	上　端　筋	D13　@100	D10　@200	
		下　端　筋	D10　@100	D10　@200	
CS2	180	上　端　筋	D10 D13 @150	D10　@200	
		下　端　筋	D10　@150	D10　@200	
CS3	150～180	上　端　筋	D10 D13 @100	D10　@200	
		下　端　筋	D10　@100	D10　@200	
CS4	150～180	上　端　筋	D13　@100	D10　@200	
		下　端　筋	D10　@100	D10　@200	
CS5	180～250	上　端　筋	D13　@100	D13　@200	
		下　端　筋	D13　@200	D13　@200	
CS6	150	上　端　筋	D13　@100	D13　@100	
		下　端　筋	D10　@100	D10　@100	

壁リスト　S=1/40

幅止め筋　D10 ― @1,000 （壁厚180mm以上）
階段受け壁（KWと表記した壁）の縦筋は外側に配筋する

符号	W15	W18	EW18	EW18A	KW18	EKW18		KW25	開口補強要領
配筋	シングル	ダブル	ダブル	ダブル	ダブル	ダブル		ダブル	
断面									
壁　厚	150	180	180	180	180	180		250	
縦　筋	D10 @150	D10 @200	D10 @200	D10 @150	D13 @100	D13 @100		D13 @100	
横　筋	D10 @150	D10 @200	D10 @200	D10 @150	D10 @200	D10 @200		D13 @200	
補強筋Ａ，Ｂ	2-D13	2-D13	2-D13	4-D13	2-D13	2-D13		2-D16	
補強筋Ｃ	1-D13	2-D13	2-D13	2-D13	2-D13	2-D13		2-D16	
末端部補強筋	2-D13	2-D13	2-D13	4-D13	2-D13	2-D13		2-D16	

小梁リスト　S=1/40

特記なき限り下記とする
巾止め筋　D10 ▽▽　@1,000以内

符号	B1		B2		B3	B4	B5	CB1		
位置	両　端	中　央	両　端	中　央	全断面	全断面	全断面	先　端	基　端	
断面										
Ｂ　Ｘ　Ｄ	350 x 550		350 x 600		250 x 500	300 x 550	350 x 550	250 x 400	250 x 500	
上　端　筋	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	2-D16	3-D19	3-D22	4-D16	4-D16	
下　端　筋	3-D22	5-D22	4-D22	6-D22	2-D16	3-D19	4-D22	2-D16	2-D16	
スターラップ	D10　□　@200		D13　□　@200		D10　□　@200	D10　□　@200	D13　□　@200	D13　□　@200		
腹　　筋	2-D10		2-D10		---	2-D10	2-D10	---		

一級建築士　第185692号　細川 武

JOBNO

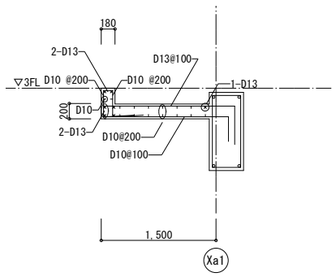
白石消防署庁舎建替工事【訓練棟】　（副訓練塔2）床版・小梁・壁リスト　S-316

DATE R7.10.7　SCAL (A 1) 1／40 (A 3) 1／80　DRAWN　CHEK

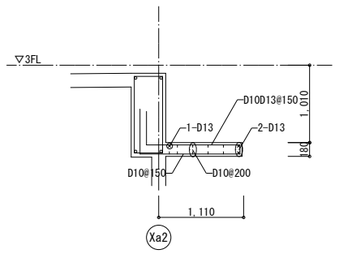
株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士　第 357230 号　永野ますみ

雑詳細図　S=1/40

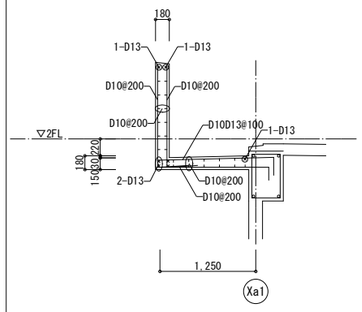
CS1



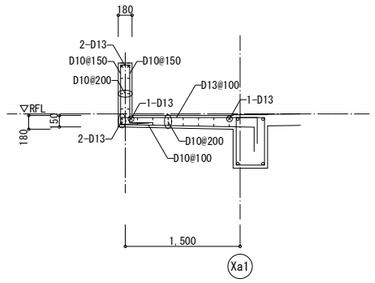
CS2



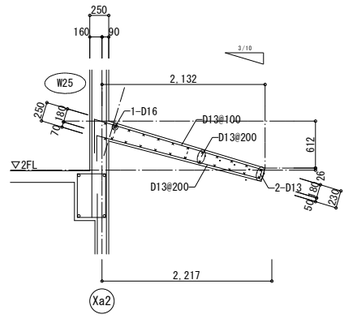
CS3



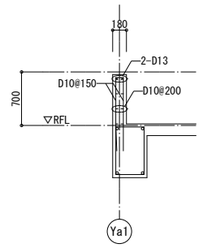
CS4



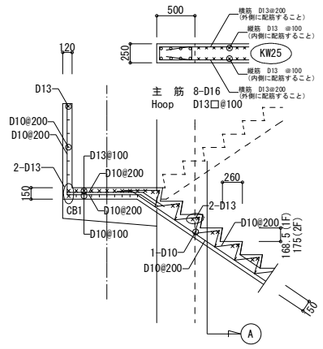
CS5

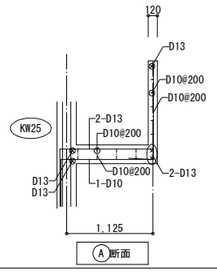


パラペット1(H=700)

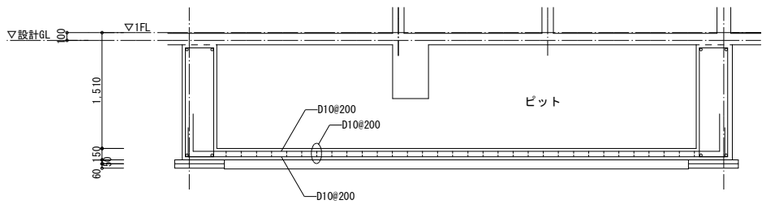


外部階段

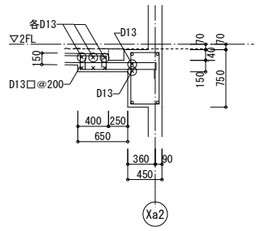




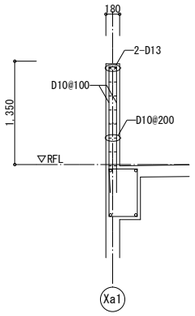
ピット



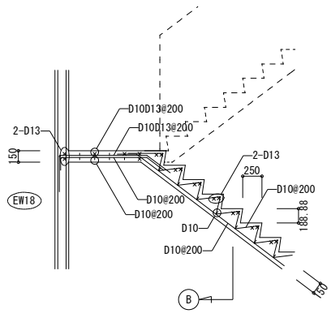
スラブ段差（定着長さはL1とする）

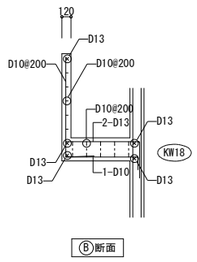


パラペット2(H=1,350)



訓練用階段





一級建築士　第185692号 細川 武

JOBNO

白石消防署庁舎建替工事【訓練棟】　(副訓練塔2)雑詳細図　S-317

DATE	SCAL	DRAWN	CHEK
R7.10.7	(A 1) 1/ 40 (A 3) 1/ 80		

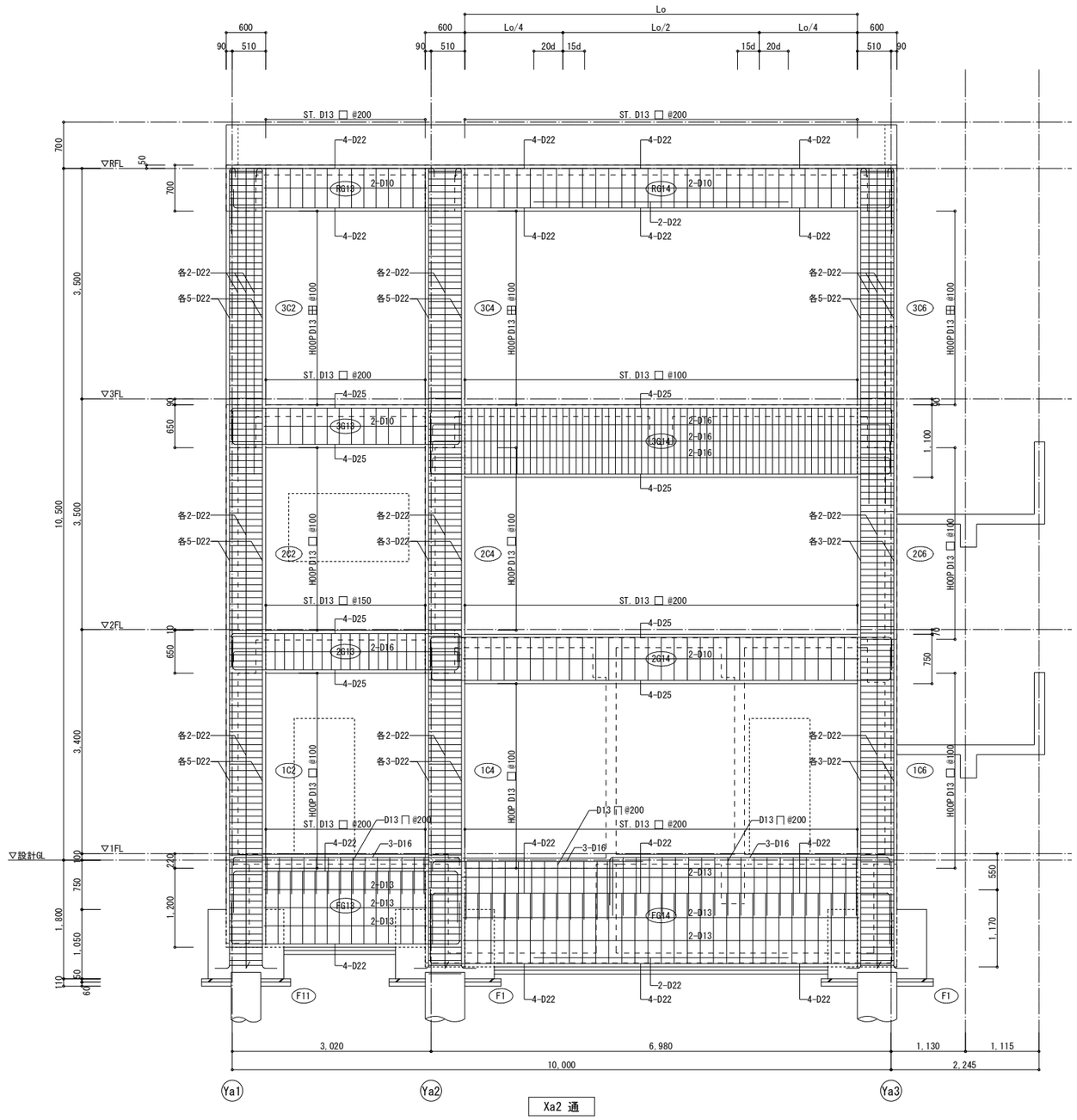
株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号 永野ますみ

架構配筋詳細図　S=1/40

特記なき限り　下記による。

フープは　仕口部を除きスパイラルフープとする。

仕口部フープは　D13 □ @100　とする。



Xa2 通

一級建築士　第185692号　細川 武

JOBNO

白石消防署庁舎建替工事【訓練棟】

(副訓練塔2)
架構配筋詳細図

S-318

DATE R7.10.7　SCAL (A 1) 1/40 (A 3) 1/80　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所

一級建築士　第 357230 号　永野ますみ

白石消防署庁舎建替工事
（電気設備）

図面リスト

図面番号	図面名称	縮尺
E － 00	表紙・図面リスト	N/S
E － 01	電気設備工事特記仕様書	N/S
E － 02	構内配電線路・構内通信線路図	1/250
E － 03	受変電設備 単線結線図	N/S
E － 04	幹線系統図	N/S
E － 05	動力制御盤結線図（１）	N/S
E － 06	動力制御盤結線図（２）	N/S
E － 07	電灯分電盤結線図（１）	N/S
E － 08	電灯分電盤結線図（２）	N/S
E － 09	電灯分電盤結線図（３）	N/S
E － 10	照明器具参考姿図（１）	N/S
E － 11	照明器具参考姿図（２）	N/S
E － 12	【庁舎棟】幹線・動力設備 ピット平面図	1/100
E － 13	【庁舎棟】幹線・動力設備 １階平面図	1/100
E － 14	【庁舎棟】幹線・動力設備 ２階平面図	1/100
E － 15	【庁舎棟】幹線・動力設備 Ｒ階平面図	1/100
E － 16	【庁舎棟】電灯（電灯分岐）設備 １階平面図	1/100
E － 17	【庁舎棟】電灯（電灯分岐）設備 ２階平面図	1/100
E － 18	【庁舎棟】電灯（電灯分岐）設備 Ｒ階平面図	1/100
E － 19	【庁舎棟】電灯（非常照明）設備 １階平面図	1/100
E － 20	【庁舎棟】電灯（非常照明）設備 ２階平面図	1/100
E － 21	【庁舎棟】電灯（非常照明）設備 Ｒ階平面図	1/100
E － 22	【庁舎棟】電灯（コンセント分岐）設備 １階平面図	1/100
E － 23	【庁舎棟】電灯（コンセント分岐）設備 ２階平面図	1/100
E － 24	【庁舎棟】電灯（コンセント分岐）設備 Ｒ階平面図	1/100
E － 25	【庁舎棟】電灯（空調機器電源）設備 １階平面図	1/100
E － 26	【庁舎棟】電灯（空調機器電源）設備 ２階平面図	1/100
E － 27	【庁舎棟】構内情報通信網・構内交換設備 系統図・端子盤表	N/S
E － 28	【庁舎棟】構内情報通信網・構内交換設備 ピット平面図	1/100
E － 29	【庁舎棟】構内情報通信網・構内交換設備 １階平面図	1/100

図面番号	図面名称	縮尺
E － 30	【庁舎棟】構内情報通信網・構内交換設備 ２階平面図	1/100
E － 31	【庁舎棟】誘導支援設備 機器参考姿図	N/S
E － 32	【庁舎棟】誘導支援・テレビ共同受信・入退室設備 系統図	N/S
E － 33	【庁舎棟】防災無線・移動無線設備 系統図	N/S
E － 34	【庁舎棟】誘導支援・テレビ共同受信・入退室・防災無線設備 １階平面図	1/100
E － 35	【庁舎棟】誘導支援・テレビ共同受信・入退室・防災無線設備 ２階平面図	1/100
E － 36	【庁舎棟】誘導支援・テレビ共同受信・入退室・防災無線設備 Ｒ階平面図	1/100
E － 37	【庁舎棟】災害対策室(研修室) 映像・音響設備 システムブロック図・平面図・機器参考姿図（１）	N/S
E － 38	【庁舎棟】災害対策室(研修室) 映像・音響設備 機器参考姿図（１）	N/S
E － 39	【庁舎棟】拡声設備 システムブロック図・機器参考姿図	N/S
E － 40	【庁舎棟】拡声設備 系統図	N/S
E － 41	【庁舎棟】監視カメラ設備 システムブロック図・機器参考姿図	N/S
E － 42	【庁舎棟】監視カメラ設備 系統図	N/S
E － 43	【庁舎棟】拡声・監視カメラ設備 １階平面図	1/100
E － 44	【庁舎棟】拡声・監視カメラ設備 ２階平面図	1/100
E － 45	【庁舎棟】拡声・監視カメラ設備 Ｒ階平面図	1/100
E － 46	【庁舎棟】自動火災報知設備 凡例・注記・系統図	N/S
E － 47	【庁舎棟】自動火災報知・誘導標識設備 １階平面図	1/100
E － 48	【庁舎棟】自動火災報知・誘導標識設備 ２階平面図	1/100
E － 49	【庁舎棟】自動火災報知設備 Ｒ階平面図	1/100
E － 50	【庁舎棟】発電設備 仕様書・参考計算書・機器参考姿図	1/30
E － 51	【庁舎棟】発電設備 配管系統図・１～Ｒ階平面図	1/100
E － 52	【訓練棟】幹線・動力設備 １階平面図	1/100
E － 53	【訓練棟】幹線・動力設備 ２～４階平面図	1/100
E － 54	【訓練棟】電灯（電灯分岐）設備 １階平面図	1/100
E － 55	【訓練棟】電灯（電灯分岐）設備 ２～４階平面図	1/100
E － 56	【訓練棟】電灯（コンセント分岐）設備 １階平面図	1/100
E － 57	【訓練棟】電灯（コンセント分岐）設備 ２～４階平面図	1/100
E － 58	【訓練棟】電灯（誘導灯・誘導標識）設備 １階平面図	1/100
E － 59	【訓練棟】電灯（誘導灯・誘導標識）設備 ２～４階平面図	1/100

図面番号	図面名称	縮尺
E － 60	【訓練棟】拡声設備 １階平面図	1/100
E － 61	【訓練棟】拡声設備 ２～４階平面図	1/100
E － 62	（参考）防火区画図	1/200
E － 63	（参考）防火区画貫通処理工法参考図	N/S
E － 64	（参考）建築参考断面図 庁舎棟	1/100
E － 65	（参考）建築参考断面図 訓練棟（１）	1/100
E － 66	（参考）建築参考断面図 訓練棟（２）	1/100

電気設備工事特記仕様書【令和７年４月版】

Ⅰ．工事概要

１．工事名　白石消防署庁舎建替工事

２．工事場所　白石市大平中目字中田地内

３．建物概要

建物名称	構造	階数	延べ面積(㎡)	建築面積(㎡)	消防法施行令別表第一による用途区分	備考
庁舎棟	RC造	2階	1,633.15	884.00	15項	
主訓練塔	RC造	4階	*.**	*.**	15項	
副訓練塔1	RC造	3階	*.**	*.**	15項	
副訓練塔2	RC造	3階	*.**	*.**	15項	

４．工事種目（○印のついたものを適用する。）

工事種目＼建物別及び屋外	庁舎棟	主訓練塔	副訓練塔1	副訓練塔2	屋外	備考
①電灯設備	新設一式	新設一式	新設一式	新設一式		
②動力設備	新設一式	新設一式	新設一式	新設一式		
・電熱設備						
・雷保護設備						
③受変電設備	新設一式					
・電力貯蔵設備						
④発電設備	新設一式					
⑤構内情報通信網設備	新設一式					※機器別途
⑥構内交換設備	新設一式					※機器別途
・情報表示設備						
⑦映像・音響設備	新設一式					
⑧拡声設備	新設一式	新設一式		新設一式		
⑨誘導支援設備	新設一式					イ)トイ、ロ)呼出、仮眠室呼出
⑩テレビ共同受信設備	新設一式					
⑪監視カメラ設備	新設一式					
・駐車場管制設備						
⑫防犯・入退室管理設備	新設一式					
⑬自動火災報知設備	新設一式					
・中央監視制御設備						
⑭構内配電線路					新設一式	外灯含む
⑮構内通信線路					新設一式	
・テレビ電波障害防除						
・その他工事	別紙仕様書による					

５．指定部分　※　なし　・　あり（工　期：令和　年　月　日）（対象部分：　　）

６．概成工期　※　なし　・　あり（工事工期より　　日前）

Ⅱ．特記仕様書

１．一般事項

（１）特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編、令和７年版）、公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編、令和７年版）、国土交通省大臣官房官庁営繕部設備・環境課監修の「公共建築設備工事標準図（電気設備工事編、令和７年版）」による。

（２）機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事特記仕様書を適用する。なお、機械設備工事の特記仕様書は（　／　）図、建築工事の特記仕様書は（　／　）図による。

２．特記事項

（１）項目は番号に○印の付いたものを適用する。

（２）特記事項は、○印のついたものを適用する。○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。

○印と◎印の付いた場合は、共に適用するものとする。

章	項目	特記事項
一般共通事項	① 適用基準等	※　建設工事執行規則（昭和３９年３月宮城県規則第９号） ※　宮城県建設工事元請・下請関係適正化要綱（最新版） ※　営繕工事写真撮影要領（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　令和５年版） 及び工事写真撮影ガイドブック<電気設備工事編>　（国土交通省大臣官房庁営繕部監修　令和５年版）
	② 機材等	※　本工事に使用する機材等は、設計図書に規定するもの、またはこれらと同等のものとする。ただし、これらと同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受けるものとする。 ※　本工事に使用する材料の選定及び施工に当たっては、「県有施設のシックハウスマニュアル」に留意し、揮発性有機化合物の放散による健康への影響に配慮する。 ※　使用する材料のホルムアルデヒド仕様は、日本産業規格及び日本農林規格のＦ☆☆☆☆規格品、壁装材料協会規格適合品または同等品、化学物質等製品安全データシート等にホルマリン不使用が明示されたものとする。
	③ 機材の品質・性能証明	本工事着手前に機器製作図を提出し、監督職員の承諾を受ける。 また、「建築材料・設備機材等品質性能評価事業」（（一社）公共建築協会）によって所要の品質・性能を有することの評価を受けた材料・機材等を使用する場合は、評価書の写しを監督職員に提出するものとする。
	④ 保険	本工事着手前に工事目的物及び工事材料等を、本工事完了後引渡し期日まで火災保険及びその他の保険に付し、写しを監督職員に提出する。
	⑤ 雇用	本工事は、公共職業安定所の紹介する者の雇い入れに努める。
	⑥ 施工計画書・施工図等	工事の着手に先立ち、工事の総合的な計画をまとめた施工計画書を作成し、監督職員に提出する。 工事の施工に先立ち、工種別施工要領書及び施工図等を作成し、監督職員の承諾を受ける。
	⑦ 手続き	工事の着手、施工及び完成において、官公署その他関係機関への必要な諸手続きは監督職員と協議の上、受注者が遅滞なく処理する。なお、当該手続きに係る費用は受注者の負担とする。
	⑧ 施工条件	別添の施工条件明示書による。
	⑨ 工事の一時中止	工事請負契約書第20条の規定により工事の一時中止の通知を受けた場合は、工事の続行に備え中止期間中における工事現場の管理計画書を提出すること。本計画書には、中止時点における工事の出来高、搬入材料及び建設機械器具等の調書、中止期間中の休刊及び工事現場の維持管理に関することを記載すること。
	⑩ 工事実績情報の登録（CORINS）	請負額が500万円以上の場合は、工事実績情報を登録する。 受注時、変更時及び完成時にあらかじめ監督職員の確認を受け、登録手続きを行い、工事カルテの受領証を、監督職員に提出のこと。
	⑪ 事故報告	施工中に事故が発生した場合は、直ちに監督職員に通報するとともに、「事故報告書」を別に指示する期日までに監督職員に提出する。
	⑫ 電気保安技術者	電気工作物に係る工事においては、電気保安技術者を置くものとする。
	⑬ 工事用電力、水、他	本工事に必要な工事用電力、水などの費用は引渡までずべて受注者の負担とする。
	⑭ 工事用仮設物	構内につくることが　※　できる　・　できない
	⑮ 監督職員事務所	※　設けない　・　設ける（　　号・・・建築工事）
	16. 足場、さん橋類	・　別契約の関係請負者が設置したものは、無償で使用できる。　・　本工事で設置する。 なお、枠組足場を設ける場合は、「手すり先行工法等に関するガイドライン」（厚生労働省平成21年4月改訂）によるものとし、二段手すり及び幅木の機能を有するものでなければならない。
	17. 工事表示板	※　設置する　設置枚数　１枚 営繕工事における工事及びコット表示要領（平成14年2月6日宮城県土木部営繕課・設備室制定）により設置する。 ・　設置しない
	18. 工事用通路	※　指定しない　・指定する（図示）
	19. 発生材の処理等	発生材の処理 ・　引渡しを要するもの　（　　） ・　特別管理産業廃棄物　（　・　ＰＣＢ使用機器　・　　） 受入施設名・所在地　： ・　現場において再利用を図るもの（　　） ・　再資源化を図るもの

種類	受入施設名	所在地（km）	備考

・　その他安定型廃棄物　（　　）
受入施設名・所在地　：
・　その他管理型廃棄物　（　　）
受入施設名・所在地　：
ＰＣＢを含有する機器等については飛散、流出がないように適切な場所に保管し、工事完了後監督職員に引き渡す。

章	項目	特記事項
	⑳ 残土処理	※　構内指示の場所に敷き均し　・　構内指示の場所に堆積　・　構外搬出
	㉑ 耐震施工	耐震施工における設備機器の固定は、「建築設備耐震設計・施工指針 2014年版」（（独）建築研究所監修）による。本工事の設計区分は：（○）特定の施設　・　一般の施設　）で地域係数は１とし、設計用標準水平震度は下表のとおりとする。なお、（　）内の数値は防震支持の機器の場合に適用する。

設置場所＼設計用標準震度	特定の施設 重要機器	特定の施設 一般機器	一般の施設 重要機器	一般の施設 一般機器
上層階、屋上及び塔屋	2.0 (2.0)	1.5 (2.0)	1.5 (2.0)	1.0 (1.5)
中層階	1.5 (1.5)	1.0 (1.5)	1.0 (1.5)	0.6 (1.0)
一階及び地下層	1.0 (1.0)	0.6 (1.0)	0.6 (1.0)	0.4 (0.6)

重要機器類
○　配電盤類　○　発電装置　・　ＵＰＳ装置　・　直流電源装置
・　交換機　○　受信機（自立型）　・　中央監視装置　○　情報通信ラック
重量が１００kg以下の軽量な機器（標準仕様書の適用を受けるものは除く）においても、耐震を考慮し、据付等を行うものとするが、前記指針の方法によらなくてもよい。

㉒ 風圧加重　※　風速６０ｍ／ｓ　・　ｍ／ｓ
・　雪保護設備受雪部　○　照明ポール・基礎　○　テレビ共同受信装置アンテナ・アンテナマスト

章	項目	特記事項
一般共通事項	㉓ 他工事との工事区分	他工事との工事区分は図面に特記なき場合、「各工事の工事区分表」による。
	㉔ 保温、結露防止	外部に面する壁、天井でＦＰ板（スタイロホーム等）打込み箇所に取付ける位置ボックスなどは、保温、結露防止処理を行う。
	㉕ 電線類	本工事では環境配慮の観点から、原則としてＥＭケーブルを使用するものとする。
	㉖ 合成樹脂製可とう管	合成樹脂製可とう管は、ＰＦ管(一重管)とし、温度による分類はタイプ−25とする。
	㉗ 二種金属製可とう管	露出箇所　○　ピンル被覆あり　・　ピンル被覆なし いんぺい箇所　・　ピンル被覆あり　○　ピンル被覆なし
	㉘ 電線本数、管路など	分電盤、制御盤、端子盤などの２次側以降の配線経路、電線太さ、電線本数、管径などは、監督職員の承諾を受け変更してもさしつかえない。
	㉙ インサート	鋼鈑製とする。なお、床版で保温板打込み部分は、断熱材用インサート（亜鉛めっき製品）を使用する。
	㉚ 呼び線	長さ１ｍ以上の通線しない電線管には、１．２ｍ以上のビニル被覆線線を通線する。
	㉛ フラッシュプレート	図面に特記なき場合、（　※　金属製（ステンレス・新金属も含む）　・　樹脂製　）とする。
	㉜ フロアプレート・ベース	※　水平高低調節付（空転防止リング付）　・　鋼合金製　○　アルミ合金製
	㉝ ハンドホール蓋	県章およびチェーン（ステンレス製）付のものとする。
	㉞ 支持金物、固定金物	屋外の機器及び配管に使用する支持金物（ボルト類）はステンレス製とし、屋外機器のアンカーボルトのナットには、ナットキャップ（樹脂製）を取り付ける。 また、振動をともなう機器の支持金物のナットは、ダブルナットとする。
	35. あと施工アンカー	施工方法　・接着系　（　※　有機系　・　接着剤　） ・　金属拡張系　（　※　本体打込式　・　　） 性能・施工確認　※　行わない　・　行う
	㊱ 接地極の種別・表示等	接地極は図面に特記なき場合、下表による。なお、Ｅｂの長さは１，５００mmとする。 ただし、Ｄ＝１０は１，０００mm、Ｗ＝３０は１，２００mmとする。 装柱機器及び屋外灯用接地極の埋設標は不要とする。

種別	記号	接地抵抗値	接地極の規格、数量
・　雷保護設備用接地	ELA	Ω以下	ＥＰ×２
・　雷保護設備用接地	ELA	Ω以下	ＥＢ(Ｄ=14又は16W=40)×　連一　組
・　共同接地	EA・ED・ELH	10Ω以下	ＥＢ(Ｄ=14又は16W=40)×３連−２組
・　共同接地	EA・ED・ED	10Ω以下	ＥＢ(Ｄ=14又は16W=40)×３連−２組
○　Ａ種	EA	10Ω以下	ＥＢ(Ｄ=14又は16W=40)×３連−２組
○　Ｂ種	EB	Ω以下	ＥＢ(Ｄ=14又は16W=40)×２
・　Ｃ種	EC	10Ω以下	ＥＢ(Ｄ=14又は16W=40)×３連−２組
○　Ｄ種	ED	100Ω以下	ＥＢ(Ｄ=14又は16W=40)×１
・			
○　構内交換機（隔極）用	Et	10Ω以下	ＥＢ(Ｄ=14又は16W=40)×３連−２組
○　本配線盤の保安装置	EAt	10Ω以下	ＥＢ(Ｄ=14又は16W=40)×１
・　電話引込口の保安器	EDt	100Ω以下	ＥＢ(Ｄ=14又は16W=40)×１
○　拡声増幅器	EDa	100Ω以下	ＥＢ(Ｄ=14又は16W=40)×１
・　防犯装置用	ES	Ω以下	ＥＢ(Ｄ=14又は16W=40)×３連　組
・			
○　測定用	Eo	――――	ＥＢ(Ｄ=10又は16W=30)×１
・　避雷器用（低圧用）	ELL	10Ω以下	ＥＢ(Ｄ=14又は16W=40)×３連−２組
○　避雷器用（高圧用）	ELH	10Ω以下	ＥＢ(Ｄ=14又は16W=40)×３連−２組
・　避雷器用（モデム用）	EMD	100Ω以下	ＥＢ(Ｄ=14又は16W=40)×１
・　構造体接地			建築構造体利用（通信用も含む）

章	項目	特記事項
一般共通事項	㊲ 総合調整	各機器の個別運転後に総合調整を行い、報告書を提出すること。 ○　受変電設備　○　発電設備　○　照明装置　・　構内交換設備　○　通信・情報設備、火災報知設備
	㊳ 塗装工事	下記部位に使用する外面めっき電線管の露出配管には塗装を施す。 ※　屋外　・　居室　・
	39. 山留め	切取り面にその筋所の土質に見合った勾配を保って掘削できる場合を除き、掘削の深さが1.5mを超える場合には、山留めを行うものとする。
	40. 舗装工事	国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の公共建築工事標準仕様書（建築工事編）２２章（舗装工事）及び建築工事監理指針（下巻）２２章（舗装工事）による。
	41. はつり	既存コンクリート床、壁などの配管貫通は、原則としてダイヤモンドカッターによる。
	42. 再使用機器	再使用する機器は、現場内で清掃、絶縁抵抗測定のうえ、取り付ける。
	43. 撤去後の補修等	機器撤去後の天井、壁及び床等の補修は、既存仕上げと同等とする。なお、施工に際し、既存設備及び施設に損傷を及ぼした場合は、原状に復旧する。
	44. アスベスト	アスベストについては、労働安全衛生法（石綿障害予防規則）・廃棄物処理法等に則り、事前調査を実施し、調査結果を整理のうえ、監督職員へ報告すること アスベスト使用状況（　　）
	45. 有害物質の取り扱い	ＰＣＢ（変圧器、コンデンサ、安定器等）、鉛・カドミウム（鉛蓄電池、小型二次電池等）、水銀、放射性物質（イオン化式感知器等）の有害物質の含有を事前前に確認し、監督職員に報告書を提出するとともに、その処理方法を監督職員と協議し、関係法令に基づき適正に取り扱うこと。
電灯設備	① 工事範囲	○　配管　○　配線　○　分電盤類　○　機器類
	② 電気方式	○　幹線　単相３線式　１００／２００Ｖ　５０Ｈｚ ○　分岐　単相３線式　１００／２００Ｖ ○　分岐　単相２線式　１００Ｖ 幹線　○　金属管配線　○　ケーブル配線
	③ 施工方法	分岐　電灯　○　合成樹脂管配線　○　金属管配線　○　ケーブル配線　・　その他（　　） コンセント　○　合成樹脂管配線　○　金属管配線　○　ケーブル配線　・　その他（　　） 屋外露出　・　合成樹脂管配線　○　金属管配線　・　ケーブル配線 ボックス　○　合成樹脂製　○　金属製
	④ 照明器具	ＬＥＤ　○　一体型　○　ダウンライト　○　その他
	⑤ 防災用照明器具	○　非常用照明器具　（　※　電池内蔵形　・　電源別置形　） ○　誘導灯　（　※　ＬＥＤ誘導灯　○　誘導標識　）
	⑥ 照度測定	照度測定は、原則、本工事範囲全て行うものとするが、これにより難い場合は監督職員との協議による。
	7．ハイテンションアウトレット	※　鋼合金製　・　アルミ製 ※　飛び出し形　・　外部固定形
	⑧ 予備配管	埋込形分電盤からの立上り予備配管は、予備の配線用遮断器が４個以下の場合は（ＰＦ２２）を１本、５個以上の場合は（ＰＦ２２）を２本以上、天井裏まで立上げる。 梁下に配管・配線スペースのない梁には、１スパンにＶＥ（３６）２本を予備スリーブとして埋込む。
動力設備	① 工事範囲	○　配管　○　配線　○　制御盤類
	② 電気方式	○　幹線　三相３線式　２００Ｖ　５０Ｈｚ ○　分岐　三相３線式　２００Ｖ
	③ 施工方法	幹線　○　金属管配線　○　ケーブル配線　・　その他 分岐　○　合成樹脂管配線　○　金属管配線　○　ケーブル配線　・　その他 屋外露出　・　合成樹脂管配線　○　金属管配線　・　ケーブル配線　・　その他 ボックス　○　合成樹脂製　○　金属製
	④ 警報盤	※　壁掛形（電源装置　※　内蔵　・　別置　）　・
	⑤ 電磁開閉器用押釦（遠方操作用）	※　埋込通用形配線器具　・
	⑥ 機器への接続	電動機などへの接続は本工事とする。
	⑦ 電動機等の接地	図示以外は金属管接地とする。
	８．進相用コンデンサ	各負荷ごとに適合するコンデンサを取り付ける。
	９．電気自動車用充電装置	・　機器類　・ ・　普通充電装置　電圧　相　Ｖ　・　屋外型　・　屋内型 ・　急速充電装置　直流電圧　Ｖ
電熱設備	１．電気方式	幹線　相　線式　Ｖ　５０Ｈｚ 分岐　相　線式　Ｖ
	２．施工場所及び面積	・　（　㎡）　・　（　㎡）

章	項目	特記事項
雷保護設備	１．工事範囲	・　受雷部　・　引下げ導線　・　接地極埋設
	２．受雷部	・　突針　・　棟上導体　・　笠木（別途）など
	３．避雷導線	・　引下げ導線　・　構造体利用
	４．接地極	※　接地極埋設　・　構造体利用（測定時期　　回数　　）
	５．測定用補助接地極	・　設置
受変電設備	① 工事範囲	○　機器類　・
	② 電気方式	○　高圧　三相３線式　６ｋＶ　５０Ｈｚ ・　低圧　三相３線式　２００Ｖ　・　低圧　単相３線式　１００Ｖ／２００Ｖ
	③ 引込ケーブル	・　ＥＭ−ＣＥＴ３８°　○　ＥＭ−ＣＥＴ６０° ・　ＥＭ−ＣＥ３８°−３Ｃ　・　ＥＭ−ＣＥ６０°−３Ｃ　・
	④ 配電盤	・　屋内形　○　屋外形（防塵処理及び結露対策を施す） ○　キュービクル式配電盤　・　高圧閉鎖配電盤　・　・
	⑤ 主遮断装置	※　限流ヒューズ及び高圧負荷開閉器（ＰＦ−Ｓ）　○　高圧交流遮断器（ＣＢ） 定格遮断電流　ｋＡ
	⑥ 高圧機器類	○　油入式　・　モールド　・ ・　手動　・　電動　・電磁
	⑦ 変圧器	○　単相変圧器　５０ｋＶＡ　○　三相変圧器　１５０ｋＶＡ （油入式：ＪＩＳ Ｃ4304-2013適合品 乾式：ＪＩＳ Ｃ4306-2013適合品）
	⑧ 進相用コンデンサ	・　低圧　○　高圧 ○　油入式　・　ガス式
	⑨ リアクトル	○　６％　・　１３％ ○　油入式　・　モールド
	⑩ 自動力率制御装置	・　メーターリレー形　○　静止形
	⑪ 測定用補助接地極	○　設置
電力貯蔵設備	１．蓄電池設備	※　非常用照明器具電源、受変電設備制御電源供用　・　受変電設備制御専用　・　非常用照明器具専用 蓄電池　・　鉛蓄電池（　・　ＨＳ　・　ＣＳ　・　ＭＳＥ　・　長寿命形ＭＳＥ　・　） ・　アルカリ蓄電池（　・ＡＨ　・ＡＭＨ　・　） ・　リチウムイオン蓄池
	２．交流無停電電源装置	用途（　　） 容量　ｋＶＡ 蓄電池　・　鉛蓄電池（　・　ＨＳ　・　ＣＳ　・　ＭＳＥ　・　長寿命形ＭＳＥ　・　） ・　アルカリ蓄電池（　・ＡＨ　・ＡＭＨ　・　） ・　リチウムイオン蓄電池
発電設備	① 工事範囲	○　機器類　・
	② 形式	・　筒易形　○　キュービクル式　・　オープン形　・ ・　屋内形　○　屋外形
	③ 発電機	電気方式　３相３線式　５０Ｈｚ　電圧　２１０Ｖ　定格出力　１００ｋＶＡ　運転時間　　時間
	④ 原動機	種類　○　ディーゼル　・　ガスタービン　・ 定格出力　１２０ｋＷ以上（　ＰＳ以上） 始動方式　※　電気式　・　空気式 冷却方式　○　ラジエータ式　・　水冷循環式
	⑤ 燃料	種類　○　軽油　・　灯油　・　Ａ重油 燃料小出槽　１９０Ｌ 主貯油槽　・　なし　○　あり（　・　別途　○　本工事：２０００Ｌ　）
	６．太陽光発電装置	太陽電池アレイ公称出力　ｋＷ パワーコンディショナ　相　線式　定格電圧　Ｖ　定格出力　ｋＷ 自立運転　・有　・無 蓄電池　・有（定格容量　ｋＷｈ）　・無
	７．系統連系	・有　・無
構内交換設備	① 工事範囲	・　交換機　・　電話機　○　配線（　・　全部　・　端子盤以降　）
	② 電話交換機	形式　・　ボタン電話装置　・　デジタルＰＢＸ　・ＩＰ−ＰＢＸ　・ＶｏＩＰサーバ 回線数　局線　／　回線　内線　／　回線
	③ 電話機への配線	電話機１台につき、下記のものを見込む。 ・　ＥＭ−ＴＩＥＦＯ．６５−２Ｃ　（　・　２０ｍ　・　） ・　ＥＭ−ＥＢＴＯ．４−２Ｐ　（　・　２０ｍ　・　） ・　ワイヤープロテクタ　（樹脂製　外形寸法約２０×８）１．５ｍ
	４．ローテンションアウトレット（亀甲形）	※　一般電話用　個（　・　納入する　・　取り付ける　） ※　鋼合金製　・　アルミ製
	５．保安器用接地	※　本工事　・　別途工事
通信・情報設備	１．工事範囲及び施工方法	工事範囲 配管 配線 機器類 / 施工方法 合成樹脂管配線 金属管配線 ケーブル配線 ○ 構内情報通信網 ・ ・ ・ ・ ・ ○ ・ 情報表示 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ○ 映像・音響 ○ ○ ○ ○ ・ ○ ○ 拡声 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 誘導支援 ○ ○ ○ ○ ・ ○ ○ テレビ共同受信 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ・ テレビ電波障害防除設備 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ○ 監視カメラ ○ ○ ○ ○ ・ ○ ・ 駐車場管制設備 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ○ 防犯・入退室管理 ○ ○ ○ ○ ・ ○ ボックス　○　合成樹脂製　○　金属製
	２．構内情報通信網設備	種類　・　１０ＢＡＳＥ−Ｔ　・　１００ＢＡＳＥ−ＴＸ　・　１０００ＢＡＳＥ−Ｔ ・　１０ＧＢＡＳＥ−ＳＲ　・
	３．情報表示設備	・　親時計　回線（　※　壁掛形　・　自立形　） （　・　電子式チャイム組込　・　プログラムタイマ組込　）
	４．映像・音響設備	○　増幅器　４００　Ｗ ○　ＶＴＲ（　・　ＤＶＤ　○　ＢＤ　・　） ○　プロジェクタ（　※　前面投射式　・　背面投射式　） ○　音響設備（　○　ＣＤ　・　オーディオレコーダー　・　・　） ○　一般放送用　・　非常放送装置 ○　増幅器　１８０　Ｗ（　※　卓上形　○　キャビネットラック形）
	５．拡声設備	○　インターホン　○　トイレ等呼出装置　・　音声誘導装置
	６．誘導支援設備	○　テレビアンテナ（　○　ＡＵ−２　・　ＣＳＢＳＡ−　・　ＣＳＡ−　） ○　地上波アンテナマスト（　※　壁面取付形　・　自立形　） ・　ＢＳアンテナマスト（　・　壁面取付形　・　自立形　） ○　電界強度測定及び受信調査（　※　全チャンネル　）
	７．テレビ共同受信設備	・　事前調査　・　機器類
	８．テレビ電波障害防除設備	・　白黒方式　※　カラー方式 ○　伝送方式（　・　アナログ　○　ネットワーク　）
	９．監視カメラ設備	・　管制盤　・　検知器（　・　光線式　・　ループコイル式　） ・　信号灯・警報灯　・　発券機　・　カーゲート　・　カードリーダー
	10．駐車場管制設備	・　接地工事（　※　本工事　・　別途　）
	11．防犯・入退室管理設備	○　配管　○　配線　○　機器類
火災報知設備	１．工事範囲	○　壁掛形　・　自立形 ・　受信機　型　級　回線（　アドレス） ○　複合盤　Ｐ型１級　１５回線（火報　１０回線、自動閉鎖　５回線、ガス漏れ　−回線） ・　副受信機　型　級　回線 ○　機器収容箱　○　専用形（　○　埋込形　○　露出形　）　・　屋内消火栓箱に組込み ○　感知器類　Ｐ型用　総数　個（　・　自動試験機能付　）
	２．火災報知装置	○　非常ベル（自動式サイレンを含む）　・　非常放送装置
	３．非常警報装置	・　連動制御器 ○　自動閉鎖装置（　・　防火戸用　・　防煙ダンパ用　○　防火シャッター用　） ○　感知器
	４．自動閉鎖装置	・　受信機　回線（　・　都市ガス用　・　液化石油ガス用） ・　単独（　・　壁掛形　・　自立形　）　・　火災受信機などとの複合盤 ○　検知器 ○　併設　・　連動 ○　定格電圧　（　○　ＡＣ１００Ｖ　・　ＤＣ２４Ｖ　） ・　ガス検知出力信号（　・　有電圧出力方式　・　無電圧接点方式　）
	５．ガス漏れ火災警報装置	・　消火器　種別・ABC-10型　数量　本 ・　消火器収納箱　仕様・屋外用　材質・SUS製　数量　面
	６．消火器類		
中央監視制御設備	１．工事範囲	・　配管　・　配線　・　機器類
	２．監視制御対象設備	・　動力設備　・　受変電設備　・　発電設備　・　火災報知設備
	３．表示操作盤	・　壁掛形　・　自立形 組込み機器　・ ・ ・
	４．監視制御装置	構成機器　・　グラフィックパネル　・内照式液晶ディスプレイ　・　操作卓 ・　監視操作装置　・　信号処理装置　・　伝送装置　・　分散処理装置 ・　中央処理装置　・　補助記憶装置　・　記録装置　・　電源装置 ・　帳票用印字装置　（　・　インクジェット式　・　写真式　）
構内配電線路	① 工事範囲	○　管路　○　配線　○　機器類
	② 電気方式	○　高圧　三相３線式　６ｋＶ　５０Ｈｚ ○　低圧　三相３線式　２００Ｖ ○　低圧　単相３線式　１００／２００Ｖ ○　低圧　単相２線式　２００Ｖ
	③ 布設方法	※　地中埋設式（　○　ＦＥＰ　・　厚鋼電線管　・　ＧＬＴ　）　・　架空線式
	④ 柱上機器	○　高圧負荷開閉器　※　一般用　・　耐重塩じん用 ※　地絡継電器付き（※　方向性　・　無方向性） ・　避雷器　※　一般用　・　耐塩用 ・　高圧カットアウト、がいしなど　※　一般用　・　耐塩用
	⑤ 高圧ケーブルの端末処理	屋外例　※　一般用　・　耐塩用 ※　処理者銘板取付（屋内外共、緑名、作業日、氏名を表示）
	⑥ その他	東北電力（株）外線工事基準（架空線編）に準ずる。
	⑦ 外灯設備	○　定格電圧　Ｖ　Ｗ
	⑧ 沈下対策	地中線路及びハンドホール等沈下が考慮される場合は、沈下対策を施す。（　　）
	⑨ 標識シート	○　高圧ケーブル　○　低圧ケーブル
	10．予備配管	屋外キュービクルから第１ハンドホールまでの予備配管（ＦＥＰ１００：１本）を設ける。 分電盤、動力盤から建物へのハンドホールまでの予備配管（ＦＥＰ８０：２本）を設ける。
構内通信線路	① 工事範囲	○　管路　・　配線
	② 用途	○　電話用　○　時計、拡声用　・　火災報知用
	③ 施工方法	※　地中埋設式（　○　ＦＥＰ　・　厚鋼電線管　・　ＧＬＴ　）　・　架空線式
	④ 標識シート	※　弱電用

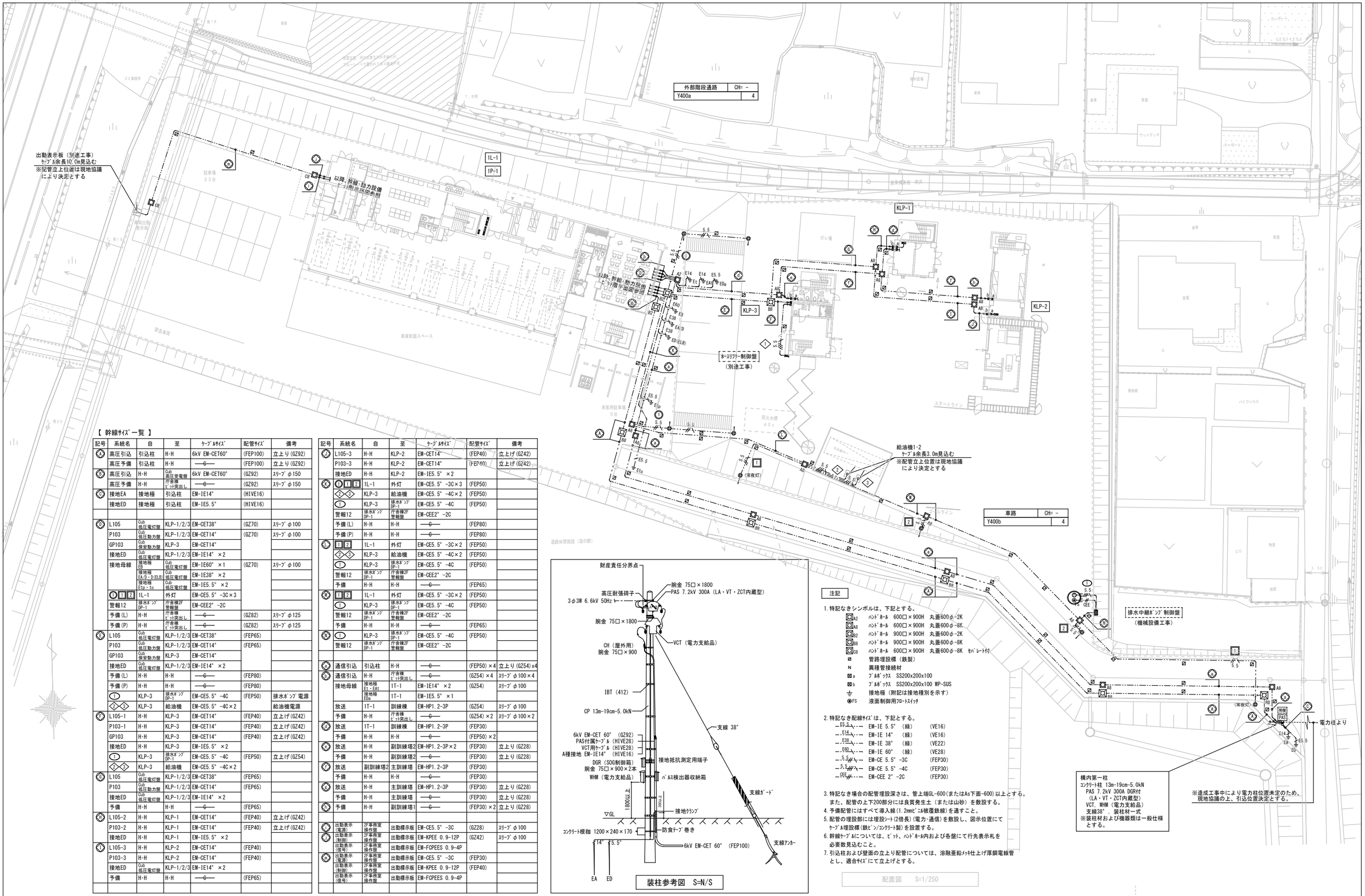
表２「機器取付高さ」　図面に特記なき場合は下表による。ただし、これによりがたい場合は監督員と協議する。

電力設備	名称	測点	取付高（mm）
電力共通	取引用計器	地上～窓中心	約　１,８００
	引込開閉器	床上～中心	１,８００~２,２００
	分電盤	床上～中心	１,５００(上端１,９００以下)
電灯	スイッチ（一　般）	床上～中心	１,３００
	〃　（和　室）	〃	１,２００
	コンセント（一　般）	〃	３００
	〃　（和　室）	〃	１５０~２００
	〃　（台　上）	台上～中心	１００
	〃　（ファン用）	床上～下端	ファン下端
	〃　（厨　房）	床上～中心	８００~１,０００
	〃　（車　庫）	〃	１,３００
	〃　（機械室）	〃	５００~１,０００
	〃　（土　間）	〃	８００~１,３００
	ブラケット（一　般）	床上～中心	２,１００~２,３００
	〃　（講　場）	〃	２,０００~２,５００
	〃　（鏡　上）	鏡上端～中心	１５０
	避難口誘導灯	床上～下端	１,５００以上
	扉下通路誘導灯	床上～上端	１,０００以下
動力	壁掛形制御盤	床上～中心	１,５００(上端２,０００以下)
	開閉器箱	〃	１,５００
	電磁開閉器用ボタン	〃	１,３００
	非常ボタン(便所用)	床上～中心	４００、９００
身障者用	壁付インターホン(親機)	〃	１,３００
	〃　（玄関子機）	〃	１,１００
	扉下表示灯(復旧ボタン付)	〃	１,３００
	身障表示ランプ	〃	１,５００
	スイッチ	〃	１,１００

通信設備	名称	測点	取付高（mm）
電話	引込線収高	地上～引込点	
	集合保安器箱	天井下～上端	２００
	端子盤(廊下、室内)	床上～下端	３００
	〃　（ＥＰＳなど）	床上～中心	１,５００
話	壁付アウトレット(一　般)	床上～中心	３００
	〃　（和　室）	〃	１５０~２００
時計	壁掛形親時計	床上～中心	１,５００(上端２,０００以下)
	子時計	〃	２,３００
拡声	壁掛形スピーカ	〃	２,３００
	壁付アッテネータ	〃	１,３００
	壁付インターホン(一　般)	床上～中心	１,３００
	〃　（身障害者）	〃	１,３００
通信設備	壁付アウトレット(一　般)	〃	３００
	〃　（和　室）	〃	１５０~２００
	表示盤	床上～中心	２,３００
警報	壁付発信機	〃	１,３００
	ベル、ブザー、チャイム	〃	２,３００
	壁付押しボタン(一　般)	床上～中心	１,３００
	〃　（身障害者玄関）	〃	９００
	受信機	床上～中心	８００~１,５００
	副受信機	〃	８００~１,５００
	機器収容箱	〃	８００~１,５００
	発信機	〃	８００~１,５００
火災報知器	壁付インターホン(親機)	床上～中心	２,１００
	ベル	〃	２,３００
	液化石油ガス用検知器	床上～上端	２５０
	都市ガス用検知器（軽質）	天井～上端	１５０
	〃　（重質）	床上～上端	２５０

表１「完成書類」　引き渡し時には下記の書類を提出する。

名称	完成書類	部数
１　完成調書	営繕工事完成引渡要領（令和７年４月１日版）	１部
２　完成図(縮小)	白焼縮小製本 Ａ３版二つ折り うち１部は設備課保管	２部
３　完成図・施工図（電子データ）	JWW又はDXF形式のCADデータ及び PDF形式	ＣＤ ２枚
４　機器完成図 ①機器別完成図 ②機材材質証明書 ③機材検査成績書 ④工場試験成績書 ⑤工場立会検査成績書 ⑥現場据付試験成績書 ⑦総合試運転成績書	Ａ４版：製本	１部
５　取扱説明書 ①保守に関する案内書 ②機器別取扱説明書 ③緊急連絡先一覧 ④各種保証書	Ａ４版：製本



【 幹線ｻｲｽﾞ一覧 】

記号	系統名	自	至	ｹｰﾌﾞﾙｻｲｽﾞ	配管ｻｲｽﾞ	備考
Ⓐ	高圧引込	引込柱	H・H	6kV EM-CET60°	(FEP100)	立上り(GZ92)
	高圧予備	引込柱	H・H	——G——	(FEP100)	立上り(GZ92)
Ⓑ	高圧引込	H・H	Cub 高圧受電盤	6kV EM-CET60°	(GZ92)	ｽﾘｰﾌﾞφ150
	高圧予備	H・H	庁舎棟 ﾋﾟｯﾄ突出し	——G——	(GZ92)	ｽﾘｰﾌﾞφ150
Ⓒ	接地EA	接地極	引込柱	EM-IE14°	(HIVE16)	
	接地ED	接地極	引込柱	EM-IE5.5°	(HIVE16)	
Ⓓ	L105	Cub 低圧電灯盤	KLP-1/2/3	EM-CET38°	(GZ70)	ｽﾘｰﾌﾞφ100
	P103	Cub 低圧動力盤	KLP-1/2/3	EM-CET14°	(GZ70)	ｽﾘｰﾌﾞφ100
	GP103	Cub 保安動力盤	KLP-3	EM-CET14°		
	接地ED	Cub 低圧電灯盤	KLP-1/2/3	EM-IE14° ×2		
	接地母線	接地極 EB	Cub 低圧電灯盤	EM-IE60° ×1	(GZ70)	ｽﾘｰﾌﾞφ100
		接地極 EA・D・D(ELB)	Cub 低圧電灯盤	EM-IE38° ×2		
		接地極 Etp・tc	Cub 低圧電灯盤	EM-IE5.5° ×2		
	① 1 2	1L-1	外灯	EM-CE5.5° -3C×3		
	警報12	排水ﾎﾟﾝﾌﾟ DP-1	庁舎棟2F 警報盤	EM-CEE2° -2C		
	予備(L)	H・H	庁舎棟 ﾋﾟｯﾄ突出し	——G——	(GZ82)	ｽﾘｰﾌﾞφ125
	予備(P)	H・H	庁舎棟 ﾋﾟｯﾄ突出し	——G——	(GZ82)	ｽﾘｰﾌﾞφ125
Ⓔ	L105	Cub 低圧電灯盤	KLP-1/2/3	EM-CET38°	(FEP65)	
	P103	Cub 低圧動力盤	KLP-1/2/3	EM-CET14°	(FEP65)	
	GP103	Cub 保安動力盤	KLP-3	EM-CET14°		
	接地ED	Cub 低圧電灯盤	KLP-1/2/3	EM-IE14° ×2		
	予備(L)	H・H	H・H	——G——	(FEP80)	
	予備(P)	H・H	H・H	——G——	(FEP80)	
	①	KLP-3	EM-CE5.5° -4C	(FEP50)	排水ﾎﾟﾝﾌﾟ電源	
	◇2 ◇3	KLP-3	給油機	EM-CE5.5° -4C×2		給油機電源
Ⓕ	L105-1	H・H	KLP-3	EM-CET14°	(FEP40)	立上げ(GZ42)
	P103-1	H・H	KLP-3	EM-CET14°	(FEP40)	立上げ(GZ42)
	GP103	H・H	KLP-3	EM-CET14°	(FEP40)	立上げ(GZ42)
	接地ED	H・H	KLP-3	EM-IE5.5° ×2		
	①	KLP-3	排水ﾎﾟﾝﾌﾟ DP-1	EM-CE5.5° -4C	(FEP50)	立上げ(GZ54)
	◇2 ◇3	KLP-3	給油機	EM-CE5.5° -4C×2		
Ⓖ	L105	Cub 低圧電灯盤	KLP-1/2/3	EM-CET38°	(FEP65)	
	P103	Cub 低圧動力盤	KLP-1/2/3	EM-CET14°	(FEP65)	
	接地ED	Cub 低圧電灯盤	KLP-1/2/3	EM-IE14° ×2		
	予備	H・H	H・H	——G——	(FEP65)	
Ⓗ	L105-2	H・H	KLP-1	EM-CET14°	(FEP40)	立上げ(GZ42)
	P103-2	H・H	KLP-1	EM-CET14°	(FEP40)	立上げ(GZ42)
	接地ED	H・H	KLP-1	EM-IE5.5° ×2		
Ⓘ	L105-3	H・H	KLP-2	EM-CET14°	(FEP40)	
	P103-3	H・H	KLP-2	EM-CET14°	(FEP40)	
	接地ED	Cub 低圧電灯盤	KLP-1/2/3	EM-IE14° ×2		
	予備	H・H	H・H	——G——	(FEP65)	

記号	系統名	自	至	ｹｰﾌﾞﾙｻｲｽﾞ	配管ｻｲｽﾞ	備考
Ⓘ	L105-3	H・H	KLP-2	EM-CET14°	(FEP40)	立上げ(GZ42)
	P103-3	H・H	KLP-2	EM-CET14°	(FEP40)	立上げ(GZ42)
	接地ED	H・H	KLP-2	EM-IE5.5° ×2		
Ⓙ	① 1 2	1L-1	外灯	EM-CE5.5° -3C×3	(FEP50)	
	◇2 ◇3	KLP-3	給油機	EM-CE5.5° -4C×2	(FEP50)	
	①	KLP-3	排水ﾎﾟﾝﾌﾟ DP-1	EM-CE5.5° -4C	(FEP50)	
	警報12	排水ﾎﾟﾝﾌﾟ DP-1	庁舎棟2F 警報盤	EM-CEE2° -2C		
	予備(L)	H・H	H・H	——G——	(FEP80)	
	予備(P)	H・H	H・H	——G——	(FEP80)	
Ⓚ	1 2	1L-1	外灯	EM-CE5.5° -3C×2	(FEP50)	
	◇2 ◇3	KLP-3	給油機	EM-CE5.5° -4C×2	(FEP50)	
	①	KLP-3	排水ﾎﾟﾝﾌﾟ DP-1	EM-CE5.5° -4C	(FEP50)	
	警報12	排水ﾎﾟﾝﾌﾟ DP-1	庁舎棟2F 警報盤	EM-CEE2° -2C		
	予備	H・H	H・H	——G——	(FEP65)	
Ⓛ	1 2	1L-1	外灯	EM-CE5.5° -3C×2	(FEP50)	
	①	KLP-3	排水ﾎﾟﾝﾌﾟ DP-1	EM-CE5.5° -4C	(FEP50)	
	警報12	排水ﾎﾟﾝﾌﾟ DP-1	庁舎棟2F 警報盤	EM-CEE2° -2C		
	予備	H・H	H・H	——G——	(FEP65)	
Ⓜ	①	KLP-3	排水ﾎﾟﾝﾌﾟ DP-1	EM-CE5.5° -4C	(FEP50)	
	警報12	排水ﾎﾟﾝﾌﾟ DP-1	庁舎棟2F 警報盤	EM-CEE2° -2C		
Ⓝ	通信引込	引込柱	H・H	——G——	(FEP50)×4	立上り(GZ54)x4
Ⓞ	通信引込	H・H	庁舎棟 ﾋﾟｯﾄ突出し	——G——	(GZ54)×4	ｽﾘｰﾌﾞφ100×4
	接地母線	接地極 Et・EAt	1T-1	EM-IE14° ×2	(GZ54)	ｽﾘｰﾌﾞφ100
		接地極 EDa	1T-1	EM-IE5.5° ×1		
	放送	1T-1	訓練棟	EM-HP1.2-3P	(GZ54)	ｽﾘｰﾌﾞφ100
	予備	H・H	庁舎棟 ﾋﾟｯﾄ突出し	——G——	(GZ54)×2	ｽﾘｰﾌﾞφ100×2
Ⓟ	放送	1T-1	訓練棟	EM-HP1.2-3P	(FEP30)	
	予備	H・H	H・H	——G——	(FEP50)×2	
Ⓠ	放送	H・H	副訓練塔2	EM-HP1.2-3P×2	(FEP30)	立上り(GZ28)
	予備	H・H	副訓練塔2	——G——	(FEP30)	立上り(GZ28)
Ⓡ	放送	副訓練塔2	主訓練塔	EM-HP1.2-3P	(FEP30)	
	予備	H・H	H・H	——G——	(FEP30)	
Ⓢ	放送	H・H	主訓練塔	EM-HP1.2-3P	(FEP30)	立上り(GZ28)
	予備	H・H	主訓練塔	——G——	(FEP30)	立上り(GZ28)
Ⓣ	予備	H・H	副訓練塔1	——G——	(FEP30)×2	立上り(GZ28)
Ⓤ	出勤表示（電源）	2F事務室 操作盤	出勤標示板	EM-CE5.5° -3C	(GZ28)	ｽﾘｰﾌﾞφ100
Ⓥ	出勤表示（制御）	2F事務室 操作盤	出勤標示板	EM-KPEE 0.9-12P	(GZ42)	ｽﾘｰﾌﾞφ100
	出勤表示（信号）	2F事務室 操作盤	出勤標示板	EM-FCPEES 0.9-4P		
Ⓦ	出勤表示（電源）	2F事務室 操作盤	出勤標示板	EM-CE5.5° -3C	(FEP30)	
	出勤表示（制御）	2F事務室 操作盤	出勤標示板	EM-KPEE 0.9-12P	(FEP40)	
	出勤表示（信号）	2F事務室 操作盤	出勤標示板	EM-FCPEES 0.9-4P		

注記

1. 特記なきシンボルは、下記とする。
   - ⊠A2 ﾊﾝﾄﾞﾎｰﾙ 600□×900H 丸蓋600φ-2K
   - ⊠A8 ﾊﾝﾄﾞﾎｰﾙ 600□×900H 丸蓋600φ-8K
   - ⊠B2 ﾊﾝﾄﾞﾎｰﾙ 900□×900H 丸蓋600φ-2K
   - ⊠B8 ﾊﾝﾄﾞﾎｰﾙ 900□×900H 丸蓋600φ-8K
   - ⊠C8 ﾊﾝﾄﾞﾎｰﾙ 600□×900H 丸蓋600φ-8K ｾﾊﾟﾚｰﾄ付
   - ⊠ 管路埋設標（鉄製）
   - N 異種管接続材
   - ⊠a ﾌﾞﾙﾎﾞｯｸｽ SS200x200x100
   - ⊠b ﾌﾞﾙﾎﾞｯｸｽ SS200x200x100 WP-SUS
   - ⏚ 接地極（附記は接地種別を示す）
   - ⊙FS 液面制御用ﾌﾛｰﾄｽｲｯﾁ
2. 特記なき配線ｻｲｽﾞは、下記とする。
   - —E5.5—— EM-IE 5.5°（緑） (VE16)
   - —E14—— EM-IE 14°（緑） (VE16)
   - —E38—— EM-IE 38°（緑） (VE22)
   - —E60—— EM-IE 60°（緑） (VE28)
   - —5.5—— EM-CE 5.5° -3C (FEP30)
   - —5.5—— EM-CE 5.5° -4C (FEP30)
   - —CEE—— EM-CEE 2° -2C (FEP30)
3. 特記なき場合の配管埋設深さは、管上端GL-600(またはAs下面-600)以上とする。
   また、配管の上下200部分には良質発生土（または山砂）を敷設する。
4. 予備配管にはすべて導入線(1.2mmﾋﾞﾆﾙ被覆鉄線)を通すこと。
5. 配管の埋設部には埋設ｼｰﾄ(2倍長)(電力・通信)を敷設し、図示位置にてｹｰﾌﾞﾙ埋設標(鉄ﾋﾟﾝ/ｺﾝｸﾘｰﾄ製)を設置する。
6. 幹線ｹｰﾌﾞﾙについては、ﾋﾟｯﾄ、ﾊﾝﾄﾞﾎｰﾙ内および各盤にて行先表示札を必要数見込むこと。
7. 引込柱および壁面の立上り配管については、溶融亜鉛ﾒｯｷ仕上げ厚鋼電線管とし、適合ｻｲｽﾞにて立上げとする。

配置図 S=1/250

JOB NO

白石消防署庁舎建替工事　　構内配電線路・構内通信線路図　E-02

DATE R8.05.29　SCAL (A 1) 1/250 (A 3) 1/500　DRAWN　CHEK

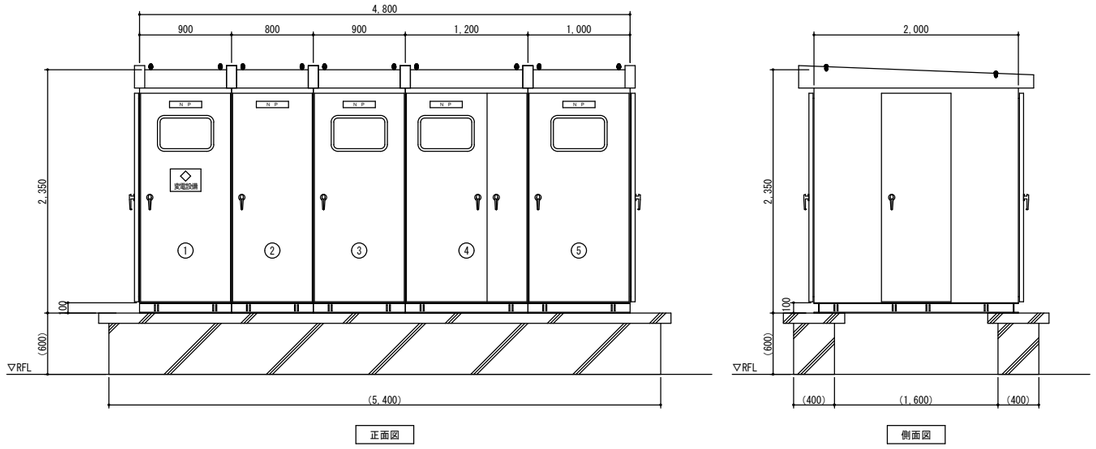
株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号 永野ますみ

＜ 凡例 ＞

記号	機器名称	記号	機器名称	記号	機器名称
PAS	気中負荷開閉器	ZCT	零相変流器	W	電力計
LA	避雷器	UVR	不足電圧継電器	A	電流計
VCT	取引用変成器	OCR	過電流継電器	V	電圧計
Wh	電力量計	TC	トリップコイル	COSφ	力率計
DGR	地絡方向継電器	ELR	漏電火災警報器	APFR	自動力率調整器
DS	断路器	THR	過負荷継電器		
VCB	真空遮断器	VT	計器用変圧器		
LBS	高圧負荷開閉器	CT	計器用変流器		
VMC	真空電磁接触器	VTT	試験用電圧端子		
Tr	変圧器	CTT	試験用電流端子	○	状態表示／監視
SR	直列リアクトル	AS	電流計切替器	△	故障・異常表示／監視
SC	高圧進相コンデンサ	VS	電圧計切替器	□	計量・計測

＜ 警報表示 ＞

表示項目	配電盤 表示ﾗﾝﾌﾟ	配電盤 ﾌﾞｻﾞｰ	警報盤 警報	警報盤 状態監視	電力監視装置	備考
過電流継電器(OCR)	○	○（一括）	○（一括）	——	——	
限流ﾋｭｰｽﾞ 溶断	○×4			——	——	
高圧電磁接触器 異常	○×2			——	——	
高圧直列ﾘｱｸﾄﾙ 異常	○×2			——	——	
高圧進相ｺﾝﾃﾞﾝｻ 異常	○×2			——	——	
変圧器 温度異常	○×3			——	——	
漏電火災警報器	○×4			——	——	
過負荷継電器(THR)	○×5			——	——	※ﾊﾟﾝｸ毎
配線用遮断器 ﾄﾘｯﾌﾟ	○×5			——	——	※ﾊﾟﾝｸ毎
電圧・電流・電力・力率・電力量計	——	——	——	——	——	

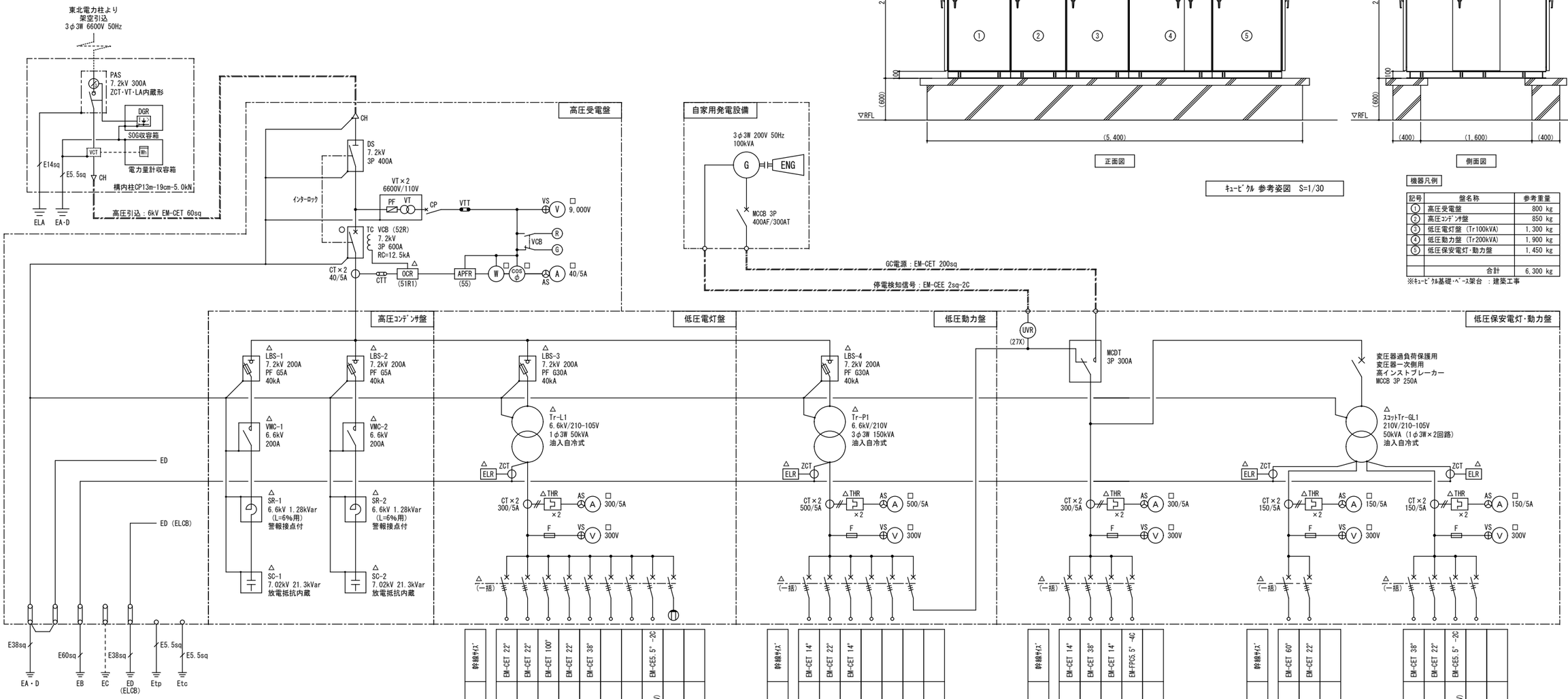


ｷｭｰﾋﾞｸﾙ 参考姿図 S=1/30

機器凡例

記号	盤名称	参考重量
①	高圧受電盤	800 kg
②	高圧ｺﾝﾃﾞﾝｻ盤	850 kg
③	低圧電灯盤 (Tr100kVA)	1,300 kg
④	低圧動力盤 (Tr200kVA)	1,900 kg
⑤	低圧保安電灯・動力盤	1,450 kg
	合計	6,300 kg

※ｷｭｰﾋﾞｸﾙ基礎・ﾍﾞｰｽ架台 ：建築工事



回路番号	負荷名称	負荷容量(kVA)	開閉器容量	幹線ｻｲｽﾞ
L101	庁舎棟 1階 IL-1	9.3	MCCB 3P 100AF/75AT	EM-CET 22°
L102	庁舎棟 1階 IL-2	9.7	MCCB 3P 100AF/75AT	EM-CET 22°
L103	庁舎棟 2階 2L-1	29.5	MCCB 3P 225AF/200AT	EM-CET 100°
L104	庁舎棟 2階 2L-2	8.4	MCCB 3P 100AF/75AT	EM-CET 22°
L105	訓練棟 KLP-1・KLP-2・KLP-3	12.3	MCCB 3P 100AF/100AT	EM-CET 38°
L106	予備	—	MCCB 3P 100AF/100AT	
L107	予備	—	MCCB 3P 50AF/50AT	
L108	庁舎棟 R階 発電機充電電源	2.0	MCCB 2P 50AF/20AT (200V)	EM-CEE 5°-2C
L109	ｷｭｰﾋﾞｸﾙ保守用ｺﾝｾﾝﾄ	1.0	ELCB 2P 50AF/20AT	
	合計 [kVA]	72.2		

低圧電灯盤

回路番号	負荷名称	負荷容量(kW)	開閉器容量	幹線ｻｲｽﾞ
P101	庁舎棟 1階 1P-1	4.4	MCCB 3P 50AF/50AT	EM-CET 14°
P102	庁舎棟 R階 2P-1	12.7	MCCB 3P 225AF/125AT	EM-CET 22°
P103	訓練棟 KLP-1・KLP-2・KLP-3	2.2	MCCB 3P 50AF/50AT	EM-CET 14°
P104	予備	—	MCCB 3P 100AF/100AT	
P105	予備	—	MCCB 3P 50AF/50AT	
P106	保安電灯・動力盤	50.0kVA 26.7kW	MCCB 3P 400AF/300AT	
	合計 [kW]	50.0kVA 46.0kW		

低圧動力盤

回路番号	負荷名称	負荷容量(kW)	開閉器容量	幹線ｻｲｽﾞ
GP101	庁舎棟 1階 1P-1	5.9	MCCB 3P 50AF/50AT	EM-CET 14°
GP102	庁舎棟 R階 2P-1	17.2	MCCB 3P 225AF/125AT	EM-CET 38°
GP103	訓練棟 KLP-3	2.8	MCCB 3P 50AF/50AT	EM-CET 14°
GP104	庁舎棟 R階 機械移送ｽﾍﾟｰｽ盤	0.5	MCCB 3P 50AF/30AT	EM-FPCS 5°-4C
	合計 [kW]	26.4		

低圧保安動力盤

回路番号	負荷名称	負荷容量(kVA)	開閉器容量	幹線ｻｲｽﾞ
GL101	庁舎棟 1階 1L-1	20.5	MCCB 3P 225AF/125AT	EM-CET 60°
GL102	庁舎棟 1階 1L-2	7.1	MCCB 3P 100AF/75AT	EM-CET 22°
	合計 [kVA]	27.6		

回路番号	負荷名称	負荷容量(kVA)	開閉器容量	幹線ｻｲｽﾞ
GL201	庁舎棟 2階 2L-1	12.9	MCCB 3P 100AF/100AT	EM-CET 38°
GL202	庁舎棟 2階 2L-2	10.7	MCCB 3P 100AF/75AT	EM-CET 22°
GL203	庁舎棟 R階 発電機補機盤	2.0	MCCB 2P 50AF/20AT (200V)	EM-CEE 5°-2C
GL204	所内電源	—	MCCB 2P 50AF/20AT	
	合計 [kVA]	25.6		

低圧保安電灯盤

＜特記事項＞

1. ｷｭｰﾋﾞｸﾙは鋼板製・屋外防雨型とし、指定色塗装仕上とする。
2. ｷｭｰﾋﾞｸﾙ換気計算書より、必要に応じて温度ｽｲｯﾁ付換気扇を設置する。
3. 各盤の前後面にFL-10W相当のLED照明器具を設置する。またその点滅は各盤の扉開閉に連動し、且つ側面点検扉の開閉の際は一括点灯とする。
4. 変圧器は「2026ﾄｯﾌﾟﾗﾝﾅｰ変圧器」準拠品（または同等以上）とする。また、変圧器はﾀﾞｲﾔﾙ温度計および防震ｺﾞﾑ付とし、防震ｺﾞﾑ用耐震ｽﾄｯﾊﾟｰを設置する。
5. ｷｭｰﾋﾞｸﾙおよび各機器の耐震は「建築設備の耐震設計・施工指針2014年版」により、移動・転倒無きよう設置する。
6. LBSは、PF溶断時欠相防止ﾄﾘｯﾌﾟ付とする。
7. 導体接続部にはｻｰﾓｺﾝﾍﾞﾙを設ける。
8. 配線用遮断器の遮断容量は、短絡電流に充分耐え得る容量を有するものを使用する。
9. 各警報は盤面にﾗﾝﾌﾟ表示（警報ﾌﾞｻﾞｰ付）するとともに、警報一括信号を外部へ出力できるものとする。
10. 警報電源は、Ni-Cd蓄電池（10分間容量）DC24V整流装置付とする。
11. 表示ﾗﾝﾌﾟにはﾗﾝﾌﾟﾁｪｯｸ回路を設ける。
12. 警報ﾌﾞｻﾞｰにはﾌﾞｻﾞｰ停止回路（30分）を設ける。
13. ﾁｪﾝｽﾙﾍﾞｰｽは溶融亜鉛ﾒｯｷ仕上げとし、ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄおよびﾅｯﾄ類はSUS製とする。
14. ｷｭｰﾋﾞｸﾙ製作図には耐震計算書、換気計算書、室内温度上昇計算書、遮断協調曲線を添付する。
15. 直列ﾘｱｸﾄﾙおよび高圧ｺﾝﾃﾞﾝｻの警報により、当該ﾊﾟﾝｸの高圧負荷開閉器(LBS)または電磁接触器(VMC)を開放する。
16. 直列ﾘｱｸﾄﾙのﾘｱｸﾀﾝｽは6%（55%許容品）とする。
17. 受変電設備の備品は下記とする。
    - LBS操作棒　1本
    - 電力ﾋｭｰｽﾞ　実装数
    - 制御用ﾋｭｰｽﾞ　実装数の20%で各種類1個以上
    - 表示用ﾗﾝﾌﾟ　実装数の20%で各種類1個以上
    - 備品収納ｹｰｽ　1ケース
18. ｷｭｰﾋﾞｸﾙ近傍に消火器を設置する。
    - 消火器（ABC式-10型）　1本
    - 屋外用収容箱　1個
19. ｷｭｰﾋﾞｸﾙ基礎・鋼材架台および保守用踏み台は建築工事とする。

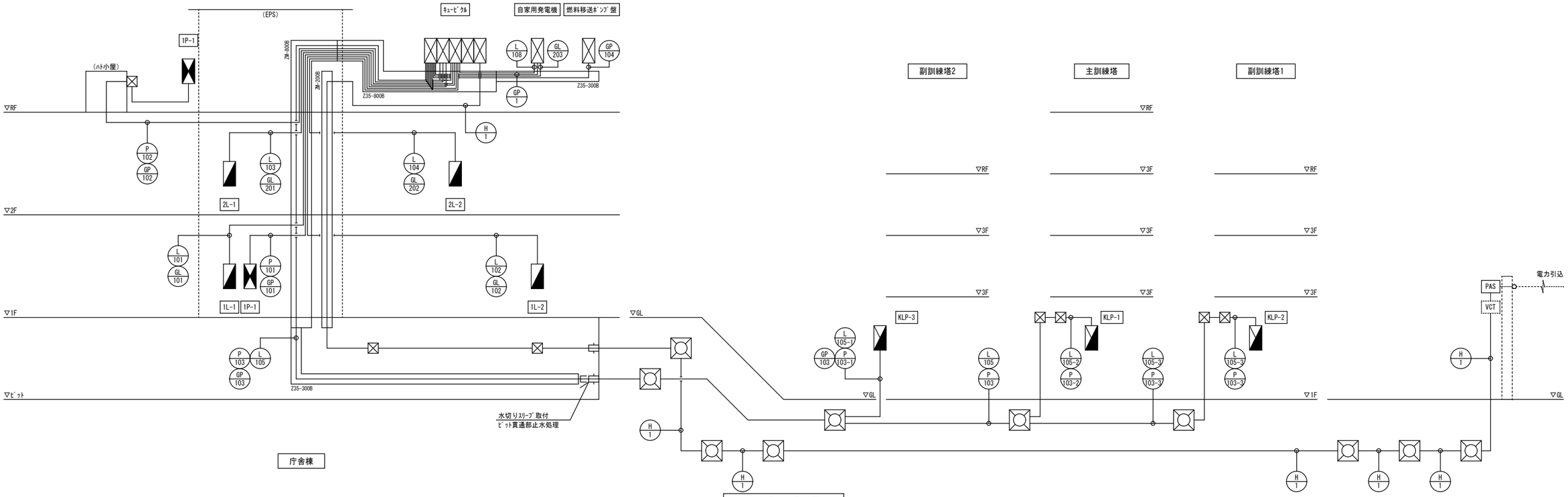
（図示寸法は参考寸法とする。）

JOB NO

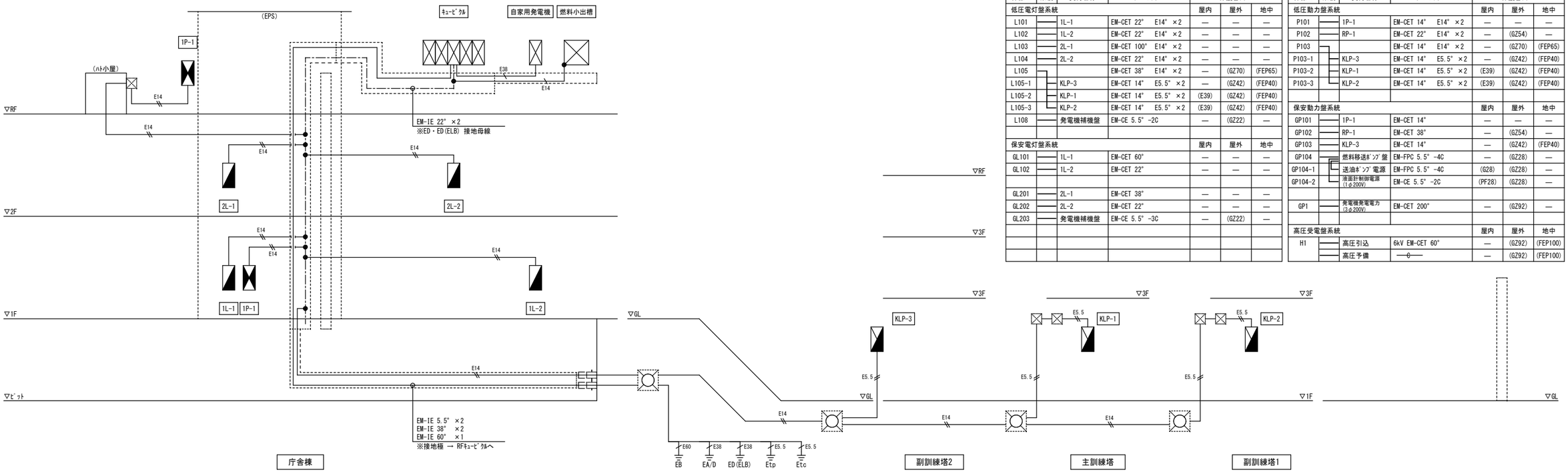
白石消防署庁舎建替工事　　受変電設備 単線結線図　E-03

DATE R8.05.29　SCAL (A 1) 1／NON (A 3) 1／NON　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号 永野ますみ



幹線設備　系統図



幹線設備　系統図（接地）

【幹線ケーブル一覧】

幹線No.	系統	負荷名称	ケーブルサイズ	保護管サイズ 屋内	保護管サイズ 屋外	保護管サイズ 地中
低圧電灯盤系統				屋内	屋外	地中
L101		1L-1	EM-CET 22° E14° ×2	—	—	—
L102		1L-2	EM-CET 22° E14° ×2	—	—	—
L103		2L-1	EM-CET 100° E14° ×2	—	—	—
L104		2L-2	EM-CET 22° E14° ×2	—	—	—
L105			EM-CET 38° E14° ×2	—	(GZ70)	(FEP65)
L105-1		KLP-3	EM-CET 14° E5.5° ×2	—	(GZ42)	(FEP40)
L105-2		KLP-1	EM-CET 14° E5.5° ×2	(E39)	(GZ42)	(FEP40)
L105-3		KLP-2	EM-CET 14° E5.5° ×2	(E39)	(GZ42)	(FEP40)
L108		発電機補機盤	EM-CE 5.5° -2C	—	(GZ22)	—
保安電灯盤系統				屋内	屋外	地中
GL101		1L-1	EM-CET 60°	—	—	—
GL102		1L-2	EM-CET 22°	—	—	—
GL201		2L-1	EM-CET 38°	—	—	—
GL202		2L-2	EM-CET 22°	—	—	—
GL203		発電機補機盤	EM-CE 5.5° -3C	—	(GZ22)	—

幹線No.	系統	負荷名称	ケーブルサイズ	保護管サイズ 屋内	保護管サイズ 屋外	保護管サイズ 地中
低圧動力盤系統				屋内	屋外	地中
P101		1P-1	EM-CET 14° E14° ×2	—	—	—
P102		RP-1	EM-CET 22° E14° ×2	—	(GZ54)	—
P103			EM-CET 14° E14° ×2	—	(GZ70)	(FEP65)
P103-1		KLP-3	EM-CET 14° E5.5° ×2	—	(GZ42)	(FEP40)
P103-2		KLP-1	EM-CET 14° E5.5° ×2	(E39)	(GZ42)	(FEP40)
P103-3		KLP-2	EM-CET 14° E5.5° ×2	(E39)	(GZ42)	(FEP40)
保安動力盤系統				屋内	屋外	地中
GP101		1P-1	EM-CET 14°	—	—	—
GP102		RP-1	EM-CET 38°	—	(GZ54)	—
GP103		KLP-3	EM-CET 14°	—	(GZ42)	(FEP40)
GP104		燃料移送ポンプ盤	EM-FPC 5.5° -4C	—	(GZ28)	—
GP104-1		送油ポンプ電源	EM-FPC 5.5° -4C	(G28)	(GZ28)	—
GP104-2		液面計制御電源 (1φ200V)	EM-CE 5.5° -2C	(PF28)	(GZ28)	—
GP1		発電機発電電力 (3φ200V)	EM-CET 200°	—	(GZ92)	—
高圧受電盤系統				屋内	屋外	地中
H1		高圧引込	6kV EM-CET 60°	—	(GZ92)	(FEP100)
		高圧予備	—o—	—	(GZ92)	(FEP100)

JOBNO

白石消防署庁舎建替工事　　幹線設備 系統図　E-04

DATE R8.05.29　SCAL (A 1) 1／NON (A 3) 1／NON　DRAWN　CHECK

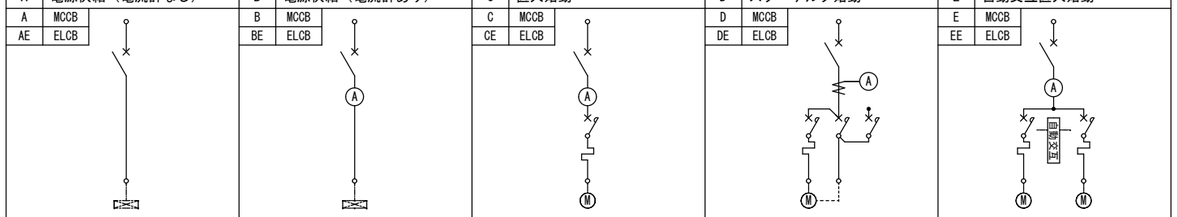
株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号　永野ますみ

動力盤名称 電気方式 幹線番号・サイズ	主開閉器・極数・容量 および盤内結線	機器 回路番号	記号	負荷名称	容量(kW)	設置階	主回路 結線記号	分岐遮断器 P／AF／AT	現場盤 操作	運転表示	異常	水位	中央監視盤・警報盤 操作	運転表示	異常	水位	ｲﾝﾀｰﾛｯｸ	連動	備考
動力盤 1P-1 (1階EPS) A1・B1・C1・D1・E--F2																			
AC 3φ3W 200V P101 EM-CET14° E14° ×2	WL F MCCB3P 50AF/50AT MCCB3P 50AF/50AT 警報接点付 SPD (ｸﾗｽⅡ) ED ED(ELB) ET(ED) ET(ELB) 計 4.40 kW	1	FE-1-2	車庫 排気ﾌｧﾝ-2	2.20	1F	C	3P 50/40	2	○	○						入/切/遠方		操作用押釦ｽｲｯﾁ×1
		2	FS-1-2	車庫 給気ﾌｧﾝ-2	2.20	1F	C	3P 50/40	3	○	○						入/切/連動	連動	
		3		予備			AE	3P 50/30											
		4		予備			AE	3P 50/30											
				操作電源	-		A	2P 30/15											
AC/GC 3φ3W 200V GP101 EM-CET14°	WL F MCCB3P 50AF/50AT MCCB3P 50AF/50AT 警報接点付 SPD (ｸﾗｽⅡ) ED ED(ELB) 計 5.90 kW 1P-1 異常 一括警報	1	FE-1-1	車庫 排気ﾌｧﾝ-1	2.20	1F	C	3P 50/40	2	○	○						入/切/遠方		操作用押釦ｽｲｯﾁ×1
		2	FS-1-1	車庫 給気ﾌｧﾝ-1	2.20	1F	C	3P 50/40	3	○	○						入/切/連動	連動	
		3		車庫 動力ｺﾝｾﾝﾄ	1.50	1F	AE	3P 50/30											
				操作電源	-		A	2P 30/15											
動力盤 RP-1 (R階) A2・B1・C1・D2・E--F2 (屋外防雨型)																			
AC 3φ3W 200V P102 EM-CET22° E14° ×2	WL F MCCB3P 225AF/125AT MCCB3P 50AF/50AT 警報接点付 SPD (ｸﾗｽⅡ) ED ED(ELB) ET(ED) ET(ELB) 計 12.72 kW	1	EHP-2	ﾊﾟｯｹｰｼﾞｴｱｺﾝ 空調室外機	11.00	RF	AE	3P 100/100											
		2	ACP-2	ﾊﾟｯｹｰｼﾞｴｱｺﾝ 空調室外機	1.66	RF	AE	3P 50/30											
		3	ACP-2-1	ﾊﾟｯｹｰｼﾞｴｱｺﾝ 空調室内機	0.06	2F	AE	3P 50/15											
		4		予備			AE	3P 50/50											
		5		予備			AE	3P 50/30											
AC/GC 3φ3W 200V GP102 EM-CET38°	WL F MCCB3P 225AF/125AT MCCB3P 50AF/50AT 警報接点付 SPD (ｸﾗｽⅡ) ED ED(ELB) 計 17.23 kW RP-1 異常 一括警報	1	EHP-1	ﾊﾟｯｹｰｼﾞｴｱｺﾝ 空調室外機	15.40	RF	AE	3P 225/125											
		2	ACP-1	ﾊﾟｯｹｰｼﾞｴｱｺﾝ 空調室外機	1.77	RF	AE	3P 50/30											
		3	ACP-1-1	ﾊﾟｯｹｰｼﾞｴｱｺﾝ 空調室内機	0.06	2F	AE	3P 50/15											

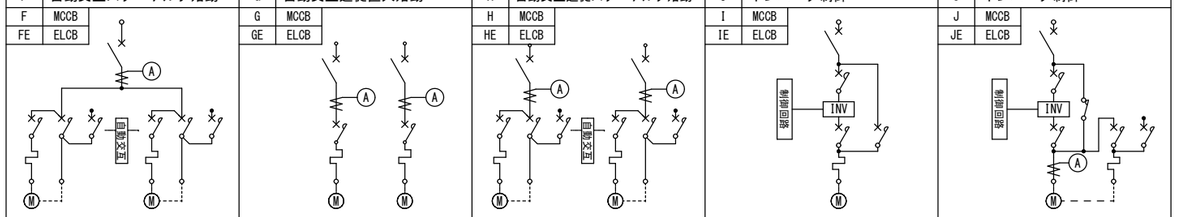
動力制御盤負荷表

結線方式・制御方式

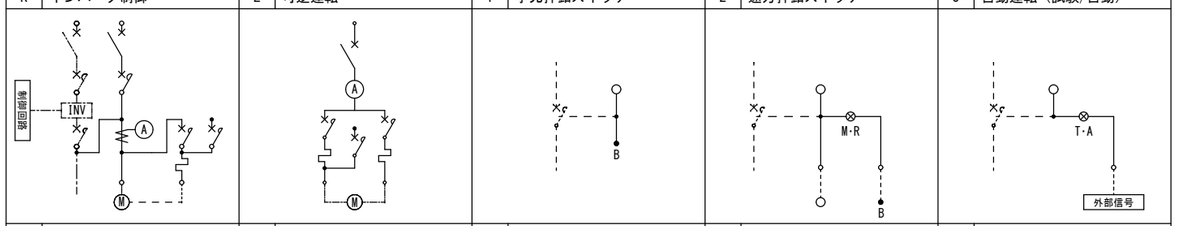
A	電源供給（電流計なし）	B	電源供給（電流計あり）	C	直入始動	D	スターデルタ始動	E	自動交互直入始動
A	MCCB	B	MCCB	C	MCCB	D	MCCB	E	MCCB
AE	ELCB	BE	ELCB	CE	ELCB	DE	ELCB	EE	ELCB



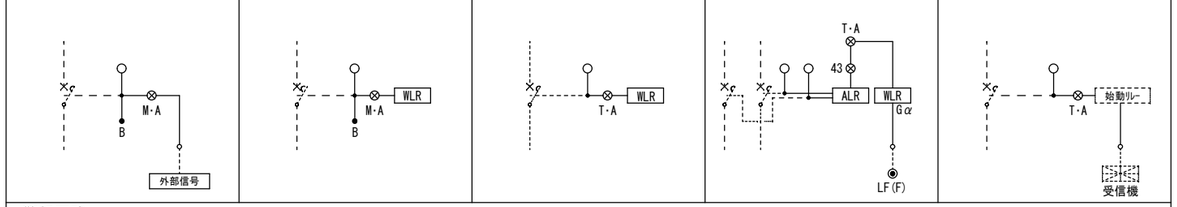
F	自動交互スターデルタ始動	G	自動交互追従直入始動	H	自動交互追従スターデルタ始動	I	インバータ制御	J	インバータ制御
F	MCCB	G	MCCB	H	MCCB	I	MCCB	J	MCCB
FE	ELCB	GE	ELCB	HE	ELCB	IE	ELCB	JE	ELCB



K	インバータ制御	L	可逆運転	1	手元押釦スイッチ	2	遠方押釦スイッチ	3	自動運転（試験/自動）

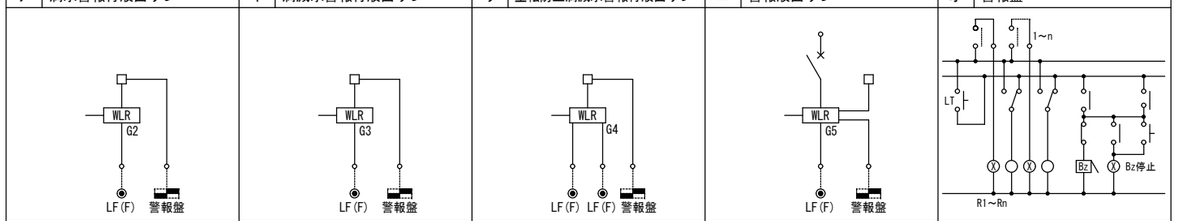


4	自動運転（手元/自動）	5	液面制御	6	液面制御	7	液面制御（自動交互）	8	火報受信機連動



警報回路

ア	満水警報付液面リレー	イ	満減水警報付液面リレー	ウ	空転防止満減水警報付液面リレー	エ	警報液面リレー	オ	警報盤



注　記

- 指定なきMCCB、ELCBの定格電流は内線規定によるものとする。
- 指定なき分岐ﾌﾞﾚｰｶｰは3Pとする。
- 制御電源回路は 200V 2P50/15A とし、結線方式は A とする。
- 電動機の過負荷保護は ｻｰﾏﾙﾘﾚｰ(2E) とし、またﾌｧﾝ･ﾎﾟﾝﾌﾟ等の場合は 過負荷･欠相･反相保護(3E) とする。
- 特記なき場合は負荷容量11kW以上を Y-Δ起動 とする。
- 盤面には幹線通電表示ﾗﾝﾌﾟを取付とし、表示灯はLEDとする。
- 電力量計（WHM）を組込む場合は、特記なき限り検定付とし盤面は検針窓付とする。
- ｲﾝﾊﾞｰﾀ始動負荷については、原則として負荷側で個別に高調波対策を行うものとする。

外部信号 ---------- ﾘﾐｯﾄｽｲｯﾁ、圧力ｽｲｯﾁ、関連制御盤等
WLR ---------- 液面継電器
ALR ---------- 自動交互ﾘﾚｰ
○ ---------- 表示ﾗﾝﾌﾟ
●B ---------- 押釦ｽｲｯﾁ
●LF(F) ---------- ﾌﾛｰﾄﾚｽｽｲｯﾁ（ﾌﾛｰﾄｽｲｯﾁ）
⊗ ---------- 切替ｽｲｯﾁ（M・R：手動／遠方　T・A：試験／自動）
□ ---------- 液面警報（高・低）

盤形式									
	筐体	A1	鋼板製自立型	A2	鋼板製壁掛型	A3	鋼板製埋込型	A4	
	構造	D1	標準	D2	防雨	D3	防湿	D4	簡易防湿
		E1	耐熱（１種）	E2	耐熱（２種）				
	塗装	F1	焼付（標準）	F2	焼付（指定）	F3	耐塩	F4	粉体

盤形式							
外扉	B1	あり	B2	なし			
内扉	C1	回転式・ﾋﾟｽ留め	C2	ｽﾗｲﾄﾞ式・ﾋﾟｽ留め	C3	封印ﾋﾟｽ付	

JOB NO

白石消防署庁舎建替工事　　動力制御盤結線図(1)　E-05

DATE R8.05.29　SCAL (A 1) 1／NON (A 3) 1／NON　DRAWN　CKD

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号 永野ますみ

動力盤名称 電気方式 幹線番号・サイズ	主開閉器・極数・容量 および盤内結線	機器					主回路 結線記号	分岐遮断器 P／AF／AT	現場盤				中央監視盤・警報盤				ｲﾝﾀｰﾛｯｸ	連動	備考
		回路番号	記号	負荷名称	容量(kW)	設置階			操作	運転表示	異常	水位	操作	運転表示	異常	水位			
電灯動力盤 KLP-1 (主訓練塔) A2・B1・C1・D3・E--F2																			
	WL																		
	F																		
AC 3φ3W 200V P103-2 EM-CET14° E5.5° ×2	MCCB3P 50AF/50AT	1	SS-205	3F渡過訓練 電動ｼｬｯﾀｰ	0.20	3F	AE	3P 50/15											
		2		予備			AE	3P 50/30											
		3		予備			AE	3P 50/15											
	ET(ED) ET(ELB)																		
	計 0.20 kW																		
	※電灯負荷併設 (電灯盤結線図参照)																		
電灯動力盤 KLP-2 (副訓練塔1) A2・B1・C1・D3・E--F2																			
	WL																		
	F																		
AC 3φ3W 200V P103-3 EM-CET14° E5.5° ×2	MCCB3P 50AF/50AT	1		ﾚﾝｼﾞﾔｰﾈｯﾄ制御盤	0.75	2F	AE	3P 50/15											
		2	SS-204	2F安全ﾈｯﾄ支持ﾌﾛｱ 電動ｼｬｯﾀｰ	0.40	2F	AE	3P 50/15											
		3		予備			AE	3P 50/30											
		4		予備			AE	3P 50/15											
	ET(ED) ET(ELB)																		
	計 1.15 kW																		
	※電灯負荷併設 (電灯盤結線図参照)																		
電灯動力盤 KLP-3 (副訓練塔2) A2・B1・C1・D2・E--F2 (屋外防雨型)																			
	WL																		
	F																		
AC 3φ3W 200V P103-1 EM-CET14° E5.5° ×2	MCCB3P 50AF/50AT	1	DP-1	排水中継ﾎﾟﾝﾌﾟ制御盤	0.4×2	外部	BE	3P 50/30											
		2		予備			AE	3P 50/30											
		3		予備			AE	3P 50/15											
	計 0.80 kW																		
	WL																		
	F																		
AC/GC 3φ3W 200V GP103 EM-CET14° E5.5° ×2	MCCB3P 50AF/50AT	1		ﾎｰｽﾘﾌﾀｰ制御盤	2.20	1F	A	3P 50/40											
		2	AC01T	簡易ﾀﾝｸ貯蔵所 給油機-1	0.30	外部	A	3P 50/15											
		3	AC01T	簡易ﾀﾝｸ貯蔵所 給油機-2	0.30	外部	A	3P 50/15											
	ET(ED) ET(ELB)																		
	計 2.80 kW																		
	※電灯負荷併設 (電灯盤結線図参照)																		

動力盤名称 電気方式 幹線番号・サイズ	主開閉器・極数・容量 および盤内結線	機器					主回路 結線記号	分岐遮断器 P／AF／AT	現場盤				中央監視盤・警報盤				ｲﾝﾀｰﾛｯｸ	連動	備考
		回路番号	記号	負荷名称	容量(kW)	設置階			操作	運転表示	異常	水位	操作	運転表示	異常	水位			

分電盤名称
電気方式
主開閉器・極数・容量
幹線番号・幹線サイズ
接地線サイズ
負荷合計容量

電灯分電盤
1L-1
(1階EPS)
A1・B1・C1・D1・E--F2

AC
1φ3W 200/100V
L101
EM-CET22°
E14° ×2

△a
MCCB3P
100AF/75AT
(中性線欠相保護付)

MCCB3P 50AF/50AT
警報接点付
SPD
△b
(ｸﾗｽⅡ)
ED
ED(ELB)

盤内T/U x1
ﾘﾓｺﾝﾘﾚｰ x4

◎ET(ED)
◎ET(ELB)

計 9,323 VA

回路番号	配線用遮断器 遮断器記号	配線用遮断器 付属回路記号	ﾘﾓｺﾝ番号	分岐回路負荷種別・容量 照明 (VA)	コンセント等 (VA)	AC・FC等 (VA)	換気扇 (VA)	その他 (VA)	OA (VA)	備考
①	RE2	K	R1	396						外灯(外部階段廻り) (ﾀｲﾏｰ制御)
②	RE2	K	R2							予備 (ﾀｲﾏｰ制御)
③	E2	A					2425			防火衣乾燥室 浴室乾燥機BK-1
④	E2	A				166				出勤準備室・救急洗浄室 空調室内機
⑤	E2	A								予備
⑥	E2	A								予備
1	E2	A		111						職員通用口・油脂庫・EPS・他 照明
2	M2	A		118			40			廃棄物保管庫・ﾘﾈﾝ庫・他 照明
3	RE2	K	R3～R4	88						外部 照明 (ﾀｲﾏｰ制御)
4	M2	A								予備
5	E2	A			400					職員通用口・通路・EPS ｺﾝｾﾝﾄ
6	M2	A			400					資機材倉庫 ｺﾝｾﾝﾄ
7	E2	A			300					車庫 ｺﾝｾﾝﾄ
8	E2	A			400					車庫 ｺﾝｾﾝﾄ
9	M2	A			400					出勤準備室 ｺﾝｾﾝﾄ
10	M2	A						1000		無線機等充電用ｺﾝｾﾝﾄ
11	E2	A			500					洗濯室・防火衣乾燥室 ｺﾝｾﾝﾄ
12	E2	A			1000					洗濯室 洗濯機用ｺﾝｾﾝﾄ
13	E2	A			730					救急洗浄室・ﾘﾈﾝ庫・他 ｺﾝｾﾝﾄ
14	E2	A					849			出勤準備室他 全熱交換器HEU-2,8
15	M2	A								予備
16	M2	A								予備
17	E2	A								予備
18	E2	A								予備
			合計	713	4,130	166	3,314	1,000	0	

分電盤名称
電気方式
主開閉器・極数・容量
幹線番号・幹線サイズ
接地線サイズ
負荷合計容量

AC/GC
1φ3W 200/100V
GL101
EM-CET60°
E14° ×2

△c
MCCB3P
225AF/125AT
(中性線欠相保護付)

MCCB3P 50AF/50AT
警報接点付
SPD
△d
(ｸﾗｽⅡ)
ED
ED(ELB)

伝送ﾕﾆｯﾄ x1
ﾘﾓｺﾝﾄﾗﾝｽ x1
盤内T/U x1
ﾘﾓｺﾝﾘﾚｰ x2
年間PGMﾀｲﾏｰﾕﾆｯﾄ x1
EEｽｲｯﾁ連動ﾕﾆｯﾄ x1

ｱﾄﾞﾚｽ設定器 x1
(ﾊﾟﾀｰﾝ･ｸﾞﾙｰﾌﾟ設定)

△a △b △c △d
1L-1 異常
一括警報

◎ET(ED)
◎ET(ELB)

計 20,472 VA

回路番号	配線用遮断器 遮断器記号	配線用遮断器 付属回路記号	ﾘﾓｺﾝ番号	分岐回路負荷種別・容量 照明 (VA)	コンセント等 (VA)	AC・FC等 (VA)	換気扇 (VA)	その他 (VA)	OA (VA)	備考
A	M2	A						210		階段2 階段通路誘導灯 赤ﾛｯｸｷｬｯﾌﾟ
B	M2	A								予備 赤ﾛｯｸｷｬｯﾌﾟ
1	RE2	K	R5	198						外灯(車路)-常夜灯 (ﾀｲﾏｰ制御)
2	RE2	K	R6	198						外灯(車路) (ﾀｲﾏｰ制御)
3	E2	A					2425			防火衣乾燥室 浴室乾燥機BK-1
4	E2	A								予備
1	M2	A		30						非常照明 赤ﾛｯｸｷｬｯﾌﾟ
2	E2	A						50		赤色灯電源装置 赤ﾛｯｸｷｬｯﾌﾟ
3	M2	A		264			118			通路・資機材倉庫 照明
4	E2	A		453			54			出勤準備室・職員用ﾄｲﾚ 照明
5	E2	A		213			124			救急洗浄室・洗濯室・他 照明
6	E2	A		660						車庫 照明 (T/Ux1)
7	E2	A		495						車庫 照明 (T/Ux1)
8	M2	A								予備
9	E2	A			300					通路・車庫足洗 ｺﾝｾﾝﾄ
10	M2	A			600					車庫 吊下ｺｰﾄﾞﾘｰﾙ用ｺﾝｾﾝﾄ(1)
11	M2	A			600					車庫 吊下ｺｰﾄﾞﾘｰﾙ用ｺﾝｾﾝﾄ(2)
12	M2	A			600					車庫 吊下ｺｰﾄﾞﾘｰﾙ用ｺﾝｾﾝﾄ(3)
13	M2	A			600					車庫 吊下ｺｰﾄﾞﾘｰﾙ用ｺﾝｾﾝﾄ(4)
14	M2	A			600					車庫 吊下ｺｰﾄﾞﾘｰﾙ用ｺﾝｾﾝﾄ(5)
15	E2	A						1000		車庫 冷凍庫用ｺﾝｾﾝﾄ
16	E2	A						1000		車庫 冷蔵庫用ｺﾝｾﾝﾄ
17	E2	A			1500					車庫 ｵｰﾊﾞｰｽﾗｲﾀﾞｰ
18	E2	A			200					救急洗浄室 自動ﾄﾞｱ
19	M2	A						200		WiFi機器収容盤(1) ｺﾝｾﾝﾄ
20	M2	A						200		WiFi機器収容盤(2) ｺﾝｾﾝﾄ
21	M2	A						1000		出勤準備室 指令台機器用ｺﾝｾﾝﾄ
22	M2	A						1000		出勤準備室 指令台UPS用ｺﾝｾﾝﾄ
23	E2	A			10			320		職員女子ﾄｲﾚ 洗浄便座・自動洗浄
24	E2	A						510		職員女子ﾄｲﾚ 電気温水器
25	E2	A			20			320		職員男子ﾄｲﾚ 洗浄便座・自動洗浄
26	E2	A						600		職員男子ﾄｲﾚ 電気温水器
27	E2	A			200					救急洗浄室 作業台ｺﾝｾﾝﾄ
28	E2	A			300					救急洗浄室 作業台ｺﾝｾﾝﾄ
29	E2	A			100	500				ｶﾞｽ給湯器・凍結防止用ｺﾝｾﾝﾄ
30	E2	A			100	500				ｶﾞｽ給湯器・凍結防止用ｺﾝｾﾝﾄ
31	E2	A			300					資機材倉庫 電動ｼｬｯﾀｰ
32	E2	A				600				車庫 水栓用凍結防止ｺﾝｾﾝﾄ
33	M2	A						500		端子盤1T-1
34	M2	A						500		監視ｶﾒﾗ設備 HUB盤
35	M2	L						200		伝送ﾕﾆｯﾄ・ﾘﾓｺﾝﾄﾗﾝｽ
36	M2	A								予備
37	M2	A								予備
38	M2	A								予備
39	E2	A								予備
40	E2	A								予備
			合計	2,511	6,030	1,600	2,721	7,610	0	

回路記号

○	AC系統 100V 電灯・ｺﾝｾﾝﾄ分岐回路
◎	AC系統 200V 電灯・ｺﾝｾﾝﾄ分岐回路
□	AC/GC系統 100V 電灯・ｺﾝｾﾝﾄ分岐回路
▣	AC/GC系統 200V 電灯・ｺﾝｾﾝﾄ分岐回路
△	DC系統 100V 分岐回路
	※回路番号がｱﾙﾌｧﾍﾞｯﾄは一次側電源回路を示す。
○R ◎R	リレー操作
○AT ◎AT	自動点滅器＋タイマーによる操作

分岐配線用遮断器記号

M1	MCCB 1P 50AF/20AT
M2	MCCB 2P 50AF/20AT
M3	MCCB 2P 50AF/30AT
M5	MCCB 2P 50AF/50AT
M7	MCCB 2P 100AF/75AT
E2	ELCB 2P 50AF/20AT
E3	ELCB 2P 50AF/30AT
E5	ELCB 2P 50AF/50AT
E7	ELCB 2P 100AF/75AT
RM2	MCCB 2P 50AF/20AT +RR2P300V 20A
RE2	ELCB 2P 50AF/20AT +RR2P300V 20A

盤形式

筐 体	A1	鋼板製自立型	A2	鋼板製壁掛型	A3	鋼板製埋込型	A4
外 扉	B1	あり	B2	なし			
内 扉	C1	回転式・ビス留め	C2	スライド式・ビス留め	C3	封印ビス付	
構 造	D1	標準	D2	防雨	D3	防湿	D4 簡易防湿
	E1	耐熱（１種）	E2	耐熱（２種）			
塗 装	F1	焼付（標準）	F2	焼付（指定色）	F3	耐塩	F4 粉体

付属回路記号

負荷回路方式	回路記号	回路図	備考
標準回路	A	(φ V A)	
BS操作回路	B	BS MC	MC：電磁接触器 BS：押釦スイッチ
遠方操作回路	C	COS 遠方操作 MC	MC：電磁接触器 COS：切替スイッチ（手元／切／遠方）
自動点滅器回路	D	COS AS MC	MC：電磁接触器 COS：切替スイッチ（手元／切／自動） AS：自動点滅器
ﾀｲﾏｰ回路（接点利用型）	E1	TM	TM：(D1)週間型24時間タイマー（２接点型・停電補償付）
	E2		TM：(D2)年間ソラータイマー（２接点型・停電補償付）
自動点滅器ﾀｲﾏｰ併用回路(MC利用型)	F1	TM COS AS MC	MC：電磁接触器 COS：切替スイッチ（手元／切／自動） AS：自動点滅器 TM：(E1)週間型24時間タイマー（２接点型・停電補償付） TM：(E2)年間ソラータイマー（２接点型・停電補償付）
	F2		
ﾀｲﾏｰ回路ﾘﾓｺﾝｽｲｯﾁ併用	G1	COS TM R MC	MC：電磁接触器 COS：切替スイッチ（手元／切／自動） R：リモコンスイッチ TM：(G1)週間型24時間タイマー（２接点型・停電補償付） TM：(G2)年間ソラータイマー（２接点型・停電補償付）
	G2		
ﾘﾓｺﾝﾌﾞﾚｰｶｰ回路	H	R R-MCCB	R-MCCB：リモコンブレーカー R：リモコンスイッチ
ﾘﾓｺﾝﾘﾚｰ回路	J1	R MC (P V A)	MC：電磁接触器 R：リモコンスイッチ
	J2	R RR RR	RR：リモコンリレー（ワンショット２線式） R：リモコンスイッチ
ﾌﾙ2線式ﾘﾓｺﾝ回路	K	RR 2P300V 20A 伝送ﾕﾆｯﾄ R	RR：リモコンリレー（フル２線式多重伝送リモコン） R：リモコンスイッチ
ﾘﾓｺﾝﾄﾗﾝｽ回路	L	RT (／24V、 VA)	RT：リモコントランス

注記

1. 点滅区分は施工前確認し、承認を得てから施工のこと。
2. 単相３線式の主遮断器は中性線欠相保護付とし、各相と中性線間毎の負荷容量が平衡するように考慮すること。
3. 非常照明および誘導灯等消防負荷の回路については、当該配線用遮断器にはその旨を赤字で明記し開放防止装置を設けること。
4. COS, BS, TM等は盤面（または内扉面）にて操作可能とすること。
5. フル２線式多重伝送リモコンを組込む場合は、パターン･グループ設定器（アドレス設定機能付）を予備品として納入すること。
6. 電力量計（WHM）を組込む場合は、特記なき限り検定付とし盤面は検針窓付とすること。

JOB NO

白石消防署庁舎建替工事
電灯分電盤結線図(1)
E-07

DATE R8.05.29 SCAL (A 1) 1／NON (A 3) 1／NON DRAWN CHEK

株式会社 構 建築設計事務所
一級建築士 第 357230 号 永野ますみ

1L-2

分電盤名称
電気方式
主開閉器・極数・容量
幹線番号・幹線サイズ
接地線サイズ
負荷合計容量

電灯分電盤
1L-2
(1階収納庫)
A1・B1・C1・D1・E・・F2
(盤上部配線ﾀﾞｸﾄ付)

AC
1φ3W 200/100V
L102
EM-CET22°
E14° ×2

MCCB3P
100AF/75AT
(中性線欠相保護付)

MCCB3P 50AF/50AT
警報接点付
SPD
(ｸﾗｽⅡ)
ED
ED(ELB)

回路番号	配線用遮断器 遮断器記号	付属回路記号	リモコン番号	分岐回路負荷種別・容量 照明 (VA)	コンセント等 (VA)	AC・FC等 (VA)	換気扇 (VA)	その他 (VA)	OA (VA)	備考
①	E2	A				1000				だれでもﾄｲﾚ ﾊﾟﾈﾙﾋｰﾀｰ
②	E2	A				1000				予備
③	E2	A				1000				予備
④	E2	A								予備
1	E2	A		117			94			ｴﾝﾄﾗﾝｽﾎｰﾙ・収納室 照明 (T/Ux1)
2	M2	A		297						災害対策室 照明 (T/Ux1)
3	M2	A								予備
4	M2	A								予備
5	E2	A			300					ｴﾝﾄﾗﾝｽﾎｰﾙ・ﾎﾞｰﾁ ｺﾝｾﾝﾄ
6	E2	A						1000		階段1 自動販売機用ｺﾝｾﾝﾄ
7	M2	A			500					ｻｰｷｭﾚｰﾀｰ(ｴｺﾉﾙﾌｨ)電源装置
8	M2	A			300					災害対策室 ｺﾝｾﾝﾄ
9	E2	A			1015					だれでもﾄｲﾚ ﾊﾝﾄﾞﾄﾞﾗｲﾔｰ
10	E2	A			1015					男子ﾄｲﾚ ﾊﾝﾄﾞﾄﾞﾗｲﾔｰ
11	E2	A			1015					女子ﾄｲﾚ ﾊﾝﾄﾞﾄﾞﾗｲﾔｰ
12	E2	A						320		女子ﾄｲﾚ 洗浄便座
13	E2	A					734			災害対策室 全熱交換器HEU-1
14	M2	A								予備
15	E2	A								予備
16	E2	A								予備
			合計	414	4,145	3,000	828	1,320	0	

◎ET(ED)
◎ET(ELB)

計 9,707 VA

AC/GC
1φ3W 200/100V
GL102
EM-CET22°
E14° ×2

MCCB3P
100AF/75AT
(中性線欠相保護付)

MCCB3P 50AF/50AT
警報接点付
SPD
(ｸﾗｽⅡ)
ED
ED(ELB)

1L-2 異常
一括警報

回路番号	配線用遮断器 遮断器記号	付属回路記号	リモコン番号	分岐回路負荷種別・容量 照明 (VA)	コンセント等 (VA)	AC・FC等 (VA)	換気扇 (VA)	その他 (VA)	OA (VA)	備考
A	M2	A						84		階段1 階段通路誘導灯 赤ﾛｯｸｷｬｯﾌﾟ
B	M2	A								予備 赤ﾛｯｸｷｬｯﾌﾟ
1	E2	A				180				災害対策室 空調室内機EHP-1-1
2	E2	A								予備
3	E2	A								予備
4	E2	A								予備
5	E2	A								予備
6	E2	A								予備
1	M2	A		25						非常照明 赤ﾛｯｸｷｬｯﾌﾟ
2	E2	A		101						ｴﾝﾄﾗﾝｽﾎｰﾙ・風除室 照明 (T/Ux1)
3	M2	A		297						災害対策室 照明 (T/Ux1)
4	E2	A		145			172			男子・女子・だれでもﾄｲﾚ 照明
5	M2	A								予備
6	M2	A								予備
7	M2	A			400				200	災害対策室 ｺﾝｾﾝﾄ
8	M2	A			500					災害対策室 ｶｯﾄﾘﾚｰ
9	M2	A			300					災害対策室 電動ｽｸﾘｰﾝ・ﾌﾞﾛﾝﾞｪｸﾀｰ
10	E2	A			1260					だれでもﾄｲﾚ 洗浄便座
11	E2	A						610		だれでもﾄｲﾚ ｵｽﾄﾒｲﾄ
12	E2	A			10			510		だれでもﾄｲﾚ 電気温水器・操作ﾘﾓｺﾝ
13	E2	A			30			320		男子ﾄｲﾚ 洗浄便座・自動洗浄
14	E2	A						600		男子ﾄｲﾚ 電気温水器
15	E2	A			10			320		女子ﾄｲﾚ 洗浄便座・自動洗浄
16	E2	A						600		女子ﾄｲﾚ 電気温水器
17	E2	A			400					風除室 自動ﾄﾞｱ
18	M2	A								予備
19	E2	A								予備
20	E2	A								予備
			合計	568	2,910	180	172	3,044	200	

◎ET(ED)
◎ET(ELB)

計 7,074 VA

2L-1

分電盤名称
電気方式
主開閉器・極数・容量
幹線番号・幹線サイズ
接地線サイズ
負荷合計容量

電灯分電盤
2L-1
(2階EPS)
A1・B1・C1・D1・E・・F2

AC
1φ3W 200/100V
L103
EM-CET100°
E14° ×2

MCCB3P
225AF/200AT
(中性線欠相保護付)

MCCB3P 50AF/50AT
警報接点付
SPD
(ｸﾗｽⅡ)
ED
ED(ELB)

盤内T/U x1
ﾘﾓｺﾝﾘﾚｰ x2

回路番号	配線用遮断器 遮断器記号	付属回路記号	リモコン番号	分岐回路負荷種別・容量 照明 (VA)	コンセント等 (VA)	AC・FC等 (VA)	換気扇 (VA)	その他 (VA)	OA (VA)	備考
①	E2	A			2000					待機室 IHﾋｰﾀｰ
②	E2	A						1000		待機室 電気温水器
③	E2	A				126				待機室 空調室内機EHP-2-2
④	E2	A								予備
⑤	E2	A								予備
⑥	E2	A								予備
1	RE2	A・K	R7～R8	260			20			廊下・更衣室・倉庫・屋上・他 照明
2	M2	A		431			20			ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞﾙｰﾑ・待機室 照明
3	E2	A		199			202			洗面・脱衣室・書庫 照明
4	M2	A								予備
5	M2	A			600					廊下・更衣室・EPS ｺﾝｾﾝﾄ
6	M2	A			500					廊下・倉庫・書庫 ｺﾝｾﾝﾄ
7	M2	A			400					仮眠室1～2 ｺﾝｾﾝﾄ
8	M2	A			400					仮眠室3～4 ｺﾝｾﾝﾄ
9	M2	A			400					仮眠室5～6 ｺﾝｾﾝﾄ
10	M2	A			400					仮眠室7～8 ｺﾝｾﾝﾄ
11	M2	A			400					仮眠室9～10 ｺﾝｾﾝﾄ
12	M2	A			400					仮眠室11～12 ｺﾝｾﾝﾄ
13	M2	A			400					仮眠室13～14 ｺﾝｾﾝﾄ
14	M2	A			400					仮眠室15～16 ｺﾝｾﾝﾄ
15	M2	A			200					仮眠室17 ｺﾝｾﾝﾄ
16	M2	A			400					仮眠室18～19 ｺﾝｾﾝﾄ
17	E2	A			410					ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞﾙｰﾑ・手洗い ｺﾝｾﾝﾄ
18	E2	A			500					待機室・ﾊﾟﾝﾄﾘｰ ｺﾝｾﾝﾄ
19	E2	A			1000					待機室 ﾎﾟｯﾄ・電子ﾚﾝｼﾞ
20	E2	A			1000					待機室 ﾎﾟｯﾄ・電子ﾚﾝｼﾞ
21	E2	A			30			320		職員男子ﾄｲﾚ 洗浄便座・自動洗浄
22	E2	A						600		職員男子ﾄｲﾚ 電気温水器
23	E2	A			1015					職員男子ﾄｲﾚ ﾊﾝﾄﾞﾄﾞﾗｲﾔｰ
24	E2	A			230					男子洗面・脱衣室 ｺﾝｾﾝﾄ・自動洗浄
25	E2	A			1000					男子洗面・脱衣室 洗濯機
26	E2	A			1015					男子洗面・脱衣室 ﾊﾝﾄﾞﾄﾞﾗｲﾔｰ
27	E2	A			300					女子ﾄｲﾚ・洗面・脱衣室 ｺﾝｾﾝﾄ
28	E2	A			1000					女子ﾄｲﾚ・洗面・脱衣室 洗濯機
29	E2	A			1015					女子ﾄｲﾚ・洗面・脱衣室 ﾊﾝﾄﾞﾄﾞﾗｲﾔｰ
30	E2	A						600		待機室 手洗い 電気温水器
31	E2	A				430				仮眠室1 ﾙｰﾑｴｱｺﾝ ACR-1
32	E2	A				430				仮眠室2 ﾙｰﾑｴｱｺﾝ ACR-1
33	E2	A				430				仮眠室3 ﾙｰﾑｴｱｺﾝ ACR-1
34	E2	A				430				仮眠室4 ﾙｰﾑｴｱｺﾝ ACR-1
35	E2	A				430				仮眠室5 ﾙｰﾑｴｱｺﾝ ACR-1
36	E2	A				430				仮眠室6 ﾙｰﾑｴｱｺﾝ ACR-1
37	E2	A				430				仮眠室7 ﾙｰﾑｴｱｺﾝ ACR-1
38	E2	A				430				仮眠室8 ﾙｰﾑｴｱｺﾝ ACR-1
39	E2	A				430				仮眠室9 ﾙｰﾑｴｱｺﾝ ACR-1
40	E2	A				430				仮眠室10 ﾙｰﾑｴｱｺﾝ ACR-1
41	E2	A				430				仮眠室11 ﾙｰﾑｴｱｺﾝ ACR-1
42	E2	A				430				仮眠室12 ﾙｰﾑｴｱｺﾝ ACR-1
43	E2	A				430				更衣室 ﾙｰﾑｴｱｺﾝ ACR-1
44	E2	A				430				仮眠室13 ﾙｰﾑｴｱｺﾝ ACR-1
45	E2	A				430				仮眠室14 ﾙｰﾑｴｱｺﾝ ACR-1
46	E2	A				430				仮眠室15 ﾙｰﾑｴｱｺﾝ ACR-1
47	E2	A				430				仮眠室16 ﾙｰﾑｴｱｺﾝ ACR-1
48	E2	A				430				仮眠室17 ﾙｰﾑｴｱｺﾝ ACR-1
49	E2	A				430				仮眠室18 ﾙｰﾑｴｱｺﾝ ACR-2
50	E2	A				430				仮眠室19 ﾙｰﾑｴｱｺﾝ ACR-2
51	E2	A				430				女子ﾄｲﾚ・洗面・脱衣室 ﾙｰﾑｴｱｺﾝ ACR-2
52	E2	A				490				男子・洗面・脱衣室 ﾙｰﾑｴｱｺﾝ ACR-3
53	E2	A					343			待機室・他 全熱交換器HEU-6～7
54	E2	A					140			仮眠室1～19・更衣室 換気扇FC-20

2L-1

分電盤名称
電気方式
主開閉器・極数・容量
幹線番号・幹線サイズ
接地線サイズ
負荷合計容量

AC/GC
1φ3W 200/100V
GL201
EM-CET38°
E14° ×2

MCCB3P
100AF/100AT
(中性線欠相保護付)

MCCB3P 50AF/50AT
警報接点付
SPD
(ｸﾗｽⅡ)
ED
ED(ELB)

ﾘﾓｺﾝﾄﾗﾝｽ x1
盤内T/U x1
ﾘﾓｺﾝﾘﾚｰ x4
増幅器 x1

2L-1 異常
一括警報

◎ET(ED)
◎ET(ELB)

計 29,496 VA

回路番号	配線用遮断器 遮断器記号	付属回路記号	リモコン番号	分岐回路負荷種別・容量 照明 (VA)	コンセント等 (VA)	AC・FC等 (VA)	換気扇 (VA)	その他 (VA)	OA (VA)	備考
55	E2	A			300					屋上・EPS ｺﾝｾﾝﾄ
56	M2	A								予備
57	M2	A								予備
58	M2	A								予備
59	E2	A								予備
60	E2	A								予備
			合計	890	15,715	9,646	725	2,520	0	
A	M2	A						500		電話交換機 PBX 赤ﾛｯｸｷｬｯﾌﾟ
B	M2	A								予備 赤ﾛｯｸｷｬｯﾌﾟ
1	E2	A			2000					待機室 IHﾋｰﾀｰ
2	E2	A								予備
3	E2	A								予備
4	E2	A								予備
1	M2	A		145						非常照明 赤ﾛｯｸｷｬｯﾌﾟ
2	M2	A		320						仮眠室1～8 照明 (T/Ux2)
3	M2	A		440						仮眠室9～19 照明 (T/Ux3)
4	RM2	K	R9～R12	150						廊下 照明
5	E2	A		392			409			職員男子ﾄｲﾚ・待機室 照明
6	E2	A		294			100			洗面・脱衣室・書庫 照明
7	M2	A								予備
8	M2	A			100					廊下 ｺﾝｾﾝﾄ
9	M2	A						500		待機室 ｺﾝｾﾝﾄ
10	E2	A			100					待機室 冷蔵庫用ｺﾝｾﾝﾄ
11	E2	A			500			50		待機室 調理台ｺﾝｾﾝﾄ・ｶﾞｽ検知器
12	E2	A			1000					待機室 ﾎﾟｯﾄ・電子ﾚﾝｼﾞ
13	E2	A			10			320		職員男子ﾄｲﾚ 洗浄便座・自動洗浄
14	E2	A						600		職員男子ﾄｲﾚ 電気温水器
15	E2	A			20			320		職員女子ﾄｲﾚ 洗浄便座・自動洗浄
16	E2	A						510		職員女子ﾄｲﾚ 電気温水器
17	E2	A						600		職員女子ﾄｲﾚ 電気温水器
18	E2	A			100	500				ｶﾞｽ給湯器・凍結防止用ｺﾝｾﾝﾄ
19	E2	A			100	500				ｶﾞｽ給湯器・凍結防止用ｺﾝｾﾝﾄ
20	E2	A			100	500				ｶﾞｽ給湯器・凍結防止用ｺﾝｾﾝﾄ
21	E2	A						500		RF 防災無線設備ｱﾝﾃﾅ
22	E2	A						500		RF 移動無線設備ｱﾝﾃﾅ
23	M2	A						500		端子盤2T-1
24	M2	L						200		増幅器・ﾘﾓｺﾝﾄﾗﾝｽ
25	M2	A								予備
26	M2	A								予備
27	E2	A								予備
28	E2	A								予備
			合計	1,741	4,030	1,500	509	5,100	0	

計 12,880 VA

JOBNO

白石消防署庁舎建替工事 ・ 電灯分電盤結線図(2) ・ E-08

DATE R8.05.29 ・ SCAL (A 1) 1／NON (A 3) 1／NON ・ DRAWN ・ CHEK ・

株式会社 構 建築設計事務所 一級建築士 第 357230 号 永野ますみ

電灯分電盤

分電盤名称
電気方式
主開閉器・極数・容量
幹線番号・幹線サイズ
接地線サイズ
負荷合計容量

2L-2
（2階事務室）
A1・B1・C1・D1・E--F2
（総合防災盤に列盤）

AC
1φ3W 200/100V
L104
EM-CET22°
E14° ×2

MCCB3P
100AF/75AT
（中性線欠相保護付）

MCCB3P 50AF/50AT
警報接点付
SPD
（ｸﾗｽⅡ）
ED
ED(ELB)

盤内T/U x1
ﾘﾓｺﾝﾘﾚｰ x3

◎ET(ED)
◎ET(ELB)

計 8,343 VA

※2L-2の扉前面に下記取付ｽﾍﾟｰｽを見込むこと。
・照明用ﾘﾓｺﾝｽｲｯﾁ(R20L) ：W300×H120
・空調用集中ﾘﾓｺﾝｽｲｯﾁ ：約W290×H200

回路番号	配線用遮断器 遮断器記号	配線用遮断器 付属回路記号	ﾘﾓｺﾝ番号	照明 (VA)	ｺﾝｾﾝﾄ等 (VA)	AC・FC等 (VA)	換気扇 (VA)	その他 (VA)	OA (VA)	備考
①	E2	A								予備
②	E2	A								予備
①	RM2	A・K	R13～R14	101						廊下1・階段1・PS・他 照明
②	RE2	K	R15	207						外部(西側) 照明 (ﾀｲﾏｰ制御)
③	M2	A								予備
④	M2	A								予備
⑤	M2	A			300					事務室 ｺﾝｾﾝﾄ
⑥	M2	A			400					署長室・会議ｽﾍﾟｰｽ ｺﾝｾﾝﾄ
⑦	M2	A							400	事務室 OAｺﾝｾﾝﾄ
⑧	M2	A							400	事務室 OAｺﾝｾﾝﾄ
⑨	M2	A							600	事務室 OAｺﾝｾﾝﾄ
⑩	M2	A			200					廊下1 ｺﾝｾﾝﾄ
⑪	E2	A			20			320		男子ﾄｲﾚ 洗浄便座・自動洗浄
⑫	E2	A						600		男子ﾄｲﾚ 電気温水器
⑬	E2	A			1015					男子ﾄｲﾚ ﾊﾝﾄﾞﾄﾞﾗｲﾔｰ
⑭	E2	A			10			320		女子ﾄｲﾚ 洗浄便座・自動洗浄
⑮	E2	A						600		女子ﾄｲﾚ 電気温水器
⑯	E2	A			1015					女子ﾄｲﾚ ﾊﾝﾄﾞﾄﾞﾗｲﾔｰ
⑰	M2	A			380					階段1 1・2F東側 ﾛｰﾙｽｸﾘｰﾝ(×4)
⑱	M2	A			570					階段1 1・2F南側 ﾛｰﾙｽｸﾘｰﾝ(×6)
⑲	M2	A					395			事務室・他 全熱交換器HEU-3～5
⑳	E2	A				490				会議ｽﾍﾟｰｽ ﾙｰﾑｴｱｺﾝ ACR-3
㉑	M2	A								予備
㉒	M2	A								予備
㉓	E2	A								予備
㉔	E2	A								予備
			合計	308	3,910	490	395	1,840	1,400	

電灯分電盤

分電盤名称
電気方式
主開閉器・極数・容量
幹線番号・幹線サイズ
接地線サイズ
負荷合計容量

AC/GC
1φ3W 200/100V
GL202
EM-CET22°
E14° ×2

MCCB3P
100AF/75AT
（中性線欠相保護付）

MCCB3P 50AF/50AT
警報接点付
SPD
（ｸﾗｽⅡ）
ED
ED(ELB)

ﾘﾓｺﾝﾄﾗﾝｽ x1
盤内T/U x2
ﾘﾓｺﾝﾘﾚｰ x7

2L-2 異常
一括警報

◎ET(ED)
◎ET(ELB)

計 10,638 VA

回路番号	配線用遮断器 遮断器記号	配線用遮断器 付属回路記号	ﾘﾓｺﾝ番号	照明 (VA)	ｺﾝｾﾝﾄ等 (VA)	AC・FC等 (VA)	換気扇 (VA)	その他 (VA)	OA (VA)	備考
A	M2	A						200		自火報受信機 赤ﾛｯｸｷｬｯﾌﾟ
B	M2	A						500		放送防災AMP 赤ﾛｯｸｷｬｯﾌﾟ
C	M2	A						100		警報盤 赤ﾛｯｸｷｬｯﾌﾟ
D	M2	A						200		電気錠制御盤 赤ﾛｯｸｷｬｯﾌﾟ
E	M2	A								予備 赤ﾛｯｸｷｬｯﾌﾟ
F	M2	A								予備 赤ﾛｯｸｷｬｯﾌﾟ
1	E2	A				270				事務室 空調室内機EHP-1-2
2	E2	A								予備
3	E2	A								予備
4	E2	A								予備
1	M2	A		40						非常照明 赤ﾛｯｸｷｬｯﾌﾟ
2	M2	A		368						署長室・会議ｽﾍﾟｰｽ 照明
3	RM2	K	R16～R19	1100						事務室 照明
4	RE2	A・K	R20～R21	139			54			廊下1・階段1・ﾄｲﾚ 照明
5	RE2	K	R22	267						外部(南側) 照明 (ﾀｲﾏｰ制御)
6	M2	A								予備
7	M2	A			300					事務室 ｺﾝｾﾝﾄ
8	M2	A			300					署長室・会議ｽﾍﾟｰｽ ｺﾝｾﾝﾄ
9	M2	A							400	署長室・会議ｽﾍﾟｰｽ OAｺﾝｾﾝﾄ
10	M2	A							600	事務室 OAｺﾝｾﾝﾄ
11	M2	A							800	事務室 OAｺﾝｾﾝﾄ
12	M2	A							1000	事務室 OAｺﾝｾﾝﾄ(複合機用)
13	M2	A						600		事務室 OAｺﾝｾﾝﾄ(支援端末装置)
14	M2	A						600		事務室 OAｺﾝｾﾝﾄ(移動無線/出動表示PC)
15	M2	A						500		出動表示操作盤
16	M2	A						300		防災無線遠隔制御装置
17	M2	A						500		監視ｶﾒﾗ設備
18	M2	A						200		仮眠室呼出設備
19	M2	A						200		ｲﾝﾀｰﾎﾝ親機・ﾄｲﾚ呼出表示機
20	M2	A						500		端子盤2T-2
21	M2	A						500		計装機器(空調集中ﾘﾓｺﾝ・液面計・他)
22	M2	L						100		ﾘﾓｺﾝﾄﾗﾝｽ
23	M2	A								予備
24	M2	A								予備
25	M2	A								予備
26	M2	A								予備
27	E2	A								予備
28	E2	A								予備
			合計	1,914	600	270	54	5,000	2,800	

電灯動力分電盤

分電盤名称
電気方式
主開閉器・極数・容量
幹線番号・幹線サイズ
接地線サイズ
負荷合計容量

KLP-1
（主訓練塔）
A2・B1・C1・D3・E--F2

AC
1φ3W 200/100V
L105-2
EM-CET14°
E5.5° ×2

MCCB3P
50AF/50AT
（中性線欠相保護付）

◎ET(ED)
◎ET(ELB)

計 4,242 VA

回路番号	配線用遮断器 遮断器記号	配線用遮断器 付属回路記号	ﾘﾓｺﾝ番号	照明 (VA)	ｺﾝｾﾝﾄ等 (VA)	AC・FC等 (VA)	換気扇 (VA)	その他 (VA)	OA (VA)	備考
Ⓐ	E2	A						10		誘導灯 赤ﾛｯｸｷｬｯﾌﾟ
①	E2	A				920				訓練準備室 ﾙｰﾑｴｱｺﾝ ACR-4
②	E2	A								予備
①	E2	A		237			68			主訓練塔 1・2階 照明・換気扇
②	E2	A		264						主訓練塔 3・4階 照明
③	E2	A		243						主訓練塔 屋外階段・外部 照明
④	E2	A			500					主訓練塔 外部 ｺﾝｾﾝﾄ
⑤	E2	A			400					主訓練塔 1階 ｺﾝｾﾝﾄ
⑥	E2	A			600					主訓練塔 2～4階 ｺﾝｾﾝﾄ
⑦	E2	A			1000					非常用ｺﾝｾﾝﾄ(訓練用)
⑧	E2	A								予備
⑨	E2	A								予備
⑩	E2	A								予備
			合計	744	2,500	920	68	10	0	

電灯動力分電盤

分電盤名称
電気方式
主開閉器・極数・容量
幹線番号・幹線サイズ
接地線サイズ
負荷合計容量

KLP-2
（副訓練塔1）
A2・B1・C1・D3・E--F2

AC
1φ3W 200/100V
L105-3
EM-CET14°
E5.5° ×2

MCCB3P
50AF/50AT
（中性線欠相保護付）

◎ET(ED)
◎ET(ELB)

計 2,598 VA

回路番号	配線用遮断器 遮断器記号	配線用遮断器 付属回路記号	ﾘﾓｺﾝ番号	照明 (VA)	ｺﾝｾﾝﾄ等 (VA)	AC・FC等 (VA)	換気扇 (VA)	その他 (VA)	OA (VA)	備考
Ⓐ	E2	A						50		誘導灯 赤ﾛｯｸｷｬｯﾌﾟ
①	E2	A		315			164			副訓練塔1 1階 照明・換気扇
②	E2	A		273						副訓練塔1 2階 照明
③	E2	A		252						副訓練塔1 3階 照明
④	E2	A		144						副訓練塔1 屋外階段・外部 照明
⑤	E2	A			500					副訓練塔1 外部 ｺﾝｾﾝﾄ
⑥	E2	A			300					副訓練塔1 1階 ｺﾝｾﾝﾄ
⑦	E2	A			300					副訓練塔1 2階 ｺﾝｾﾝﾄ
⑧	E2	A			300					副訓練塔1 3階 ｺﾝｾﾝﾄ
⑨	E2	A								予備
⑩	E2	A								予備
			合計	984	1,400	0	164	50	0	

電灯動力分電盤

KLP-3
（副訓練塔2）
A2・B1・C1・D2・E--F2
（屋外防雨型）

AC
1φ3W 200/100V
L105-1
EM-CET14°
E5.5° ×2

MCCB3P
50AF/50AT
（中性線欠相保護付）

◎ET(ED)
◎ET(ELB)

計 5,483 VA

回路番号	配線用遮断器 遮断器記号	配線用遮断器 付属回路記号	ﾘﾓｺﾝ番号	照明 (VA)	ｺﾝｾﾝﾄ等 (VA)	AC・FC等 (VA)	換気扇 (VA)	その他 (VA)	OA (VA)	備考
①	E2	A				1000				副訓練塔2 女子ﾄｲﾚ ﾊﾟﾈﾙﾋｰﾀｰ
②	E2	A				1000				副訓練塔2 男子ﾄｲﾚ ﾊﾟﾈﾙﾋｰﾀｰ
①	E2	A		322			309			副訓練塔2 1階 照明・換気扇
②	E2	A		372			209			副訓練塔2 2階 照明・換気扇
③	E2	A		168						副訓練塔2 3階 照明
④	E2	A		233						副訓練塔2 屋外階段・外部 照明
⑤	E2	A			10			320		副訓練塔2 女子ﾄｲﾚ 洗浄便座・自動洗浄
⑥	E2	A			20			320		副訓練塔2 男子ﾄｲﾚ 洗浄便座・自動洗浄
⑦	E2	A			500	200				副訓練塔2 外部 ｺﾝｾﾝﾄ
⑧	E2	A			400					副訓練塔2 2・3階 ｺﾝｾﾝﾄ
⑨	E2	L						100		訓練用消火栓BOX 赤色灯(24V)
⑩	E2	A								予備
⑪	E2	A								予備
⑫	E2	A								予備
			合計	1,095	930	2,200	518	740	0	

JOBNO

白石消防署庁舎建替工事

電灯分電盤結線図(3)

E-09

DATE R8.05.29 SCAL (A 1) 1／NON (A 3) 1／NON DRAWN CHEK

株式会社 構 建築設計事務所

一級建築士 第 357230 号 永野ますみ

照明器具参考姿図(1)

器具形状　直付型 V型(W150) 40形

器具記号	ﾗﾝﾌﾟ	電圧(V)	器具光束(lm)	消費電力(W)	備　考
A23	LEDﾗｲﾄﾊﾞｰ	100～242	2,500	16.3	
A30	LEDﾗｲﾄﾊﾞｰ	100～242	3,200	20.3	
A48	LEDﾗｲﾄﾊﾞｰ	100～242	5,200	31.9	

公共型番 A23：LSS9-4-23
公共型番 A30：LSS9-4-30
公共型番 A48：LSS9-4-48

一般型，定格出力型
本体：鋼板（白色粉体塗装）
ﾗｲﾄﾊﾞｰ：ﾎﾟﾘｶｰﾎﾞﾈｰﾄ（乳白）
光源色：昼白色（5000K）
光源寿命：40,000時間

器具形状　直付型 V型(W150) 20形

器具記号	ﾗﾝﾌﾟ	電圧(V)	器具光束(lm)	消費電力(W)	備　考
B30	LEDﾗｲﾄﾊﾞｰ	100～242	3,200	20.1	

公共型番：LSS9-2-30

一般型，定格出力型
本体：鋼板（白色粉体塗装）
ﾗｲﾄﾊﾞｰ：ﾎﾟﾘｶｰﾎﾞﾈｰﾄ（乳白）
光源色：昼白色（5000K）
光源寿命：40,000時間

器具形状　直付型 ﾄﾗﾌ 40形

器具記号	ﾗﾝﾌﾟ	電圧(V)	器具光束(lm)	消費電力(W)	備　考
C48	LEDﾗｲﾄﾊﾞｰ	100～242	5,200	31.9	

公共型番：LSS1-4-48

一般型，定格出力型
本体：鋼板（白色粉体塗装）
ﾗｲﾄﾊﾞｰ：ﾎﾟﾘｶｰﾎﾞﾈｰﾄ（乳白）
光源色：昼白色（5000K）
光源寿命：40,000時間

器具形状　直付型 ﾄﾗﾌ 20形

器具記号	ﾗﾝﾌﾟ	電圧(V)	器具光束(lm)	消費電力(W)	備　考
D15	LEDﾗｲﾄﾊﾞｰ	100～242	1,600	11.6	

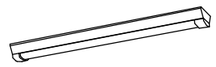
公共型番：LSS1-2-15

一般型，定格出力型
本体：鋼板（白色粉体塗装）
ﾗｲﾄﾊﾞｰ：ﾎﾟﾘｶｰﾎﾞﾈｰﾄ（乳白）
光源色：昼白色（5000K）
光源寿命：40,000時間

器具形状　直付型 V型(W150) 40形　防湿防雨型

器具記号	ﾗﾝﾌﾟ	電圧(V)	器具光束(lm)	消費電力(W)	備　考
E22w	LEDﾗｲﾄﾊﾞｰ	100～242	2,390	16.3	
E30w	LEDﾗｲﾄﾊﾞｰ	100～242	3,040	20.6	
E46w	LEDﾗｲﾄﾊﾞｰ	100～242	4,940	32.5	

公共型番 E22w：LSS9MP/RP-4-22
公共型番 E30w：LSS9MP/RP-4-30
公共型番 E46w：LSS9MP/RP-4-46

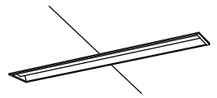


防湿防雨型，定格出力型
本体：ｽﾃﾝﾚｽ（高反射白色粉体塗装）
ﾗｲﾄﾊﾞｰ：ﾎﾟﾘｶｰﾎﾞﾈｰﾄ（乳白）
光源色：昼白色（5000K）
光源寿命：40,000時間

器具形状　埋込型 下面開放型(W150) 40形

器具記号	ﾗﾝﾌﾟ	電圧(V)	器具光束(lm)	消費電力(W)	備　考
F48	LEDﾗｲﾄﾊﾞｰ	100～242	5,040	31.9	

公共型番：LRS6-4-48



一般型，定格出力型
反射板：鋼板（高反射白色粉体塗装）
ﾗｲﾄﾊﾞｰ：ﾎﾟﾘｶｰﾎﾞﾈｰﾄ（乳白）
光源色：昼白色（5000K）
光源寿命：40,000時間
参考開口寸法：150×1235

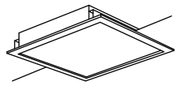
器具形状　埋込型 下面開放型(W150) 40形　ｸﾞﾚｱｾｰﾌﾞ

器具記号	ﾗﾝﾌﾟ	電圧(V)	器具光束(lm)	消費電力(W)	備　考
G48RS	LEDﾗｲﾄﾊﾞｰ	100～242	4,470	32.5	無線調光式 約5～100%連続調光
G65RS	LEDﾗｲﾄﾊﾞｰ	100～242	5,930	43.7	無線調光式 約5～100%連続調光

一般型，定格出力型
反射板：鋼板（高反射白色粉体塗装）
ﾗｲﾄﾊﾞｰ：ﾎﾟﾘｶｰﾎﾞﾈｰﾄ（乳白）
光源色：昼白色（5000K）
調光：多回路個別制御式無線調光
光源寿命：40,000時間
参考開口寸法：150×1235

器具形状　埋込型 ｽｸｴｱﾍﾞｰｽ FHP45形×3灯相当

器具記号	ﾗﾝﾌﾟ	電圧(V)	器具光束(lm)	消費電力(W)	備　考
H69	LEDﾕﾆｯﾄ	100～242	6,980	48.0	



一般型，定格出力型
本体・枠：鋼板（高反射白色粉体塗装）
ﾊﾞﾈﾙ：ｱｸﾘﾙ（乳白）
光源色：昼白色（5000K）
光源寿命：40,000時間
参考開口寸法：600×600

器具形状　直付型 ｼｰﾘﾝｸﾞﾗｲﾄ

器具記号	ﾗﾝﾌﾟ	電圧(V)	器具光束(lm)	消費電力(W)	備　考
I10	LEDﾕﾆｯﾄ	100	4,899	36.3	ﾘﾓｺﾝ送信器付

引掛ｼｰﾘﾝｸﾞ取付型
ｶﾊﾞｰ：ｱｸﾘﾙ（乳白）
調光・調色機能付（ﾘﾓｺﾝ付）
調光：約5～100%
調色：電球色(2700K)～昼光色(6500K)
光源寿命：40,000時間

器具形状　埋込型 ﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ 60形

器具記号	ﾗﾝﾌﾟ	電圧(V)	器具光束(lm)	消費電力(W)	備　考
J05	LEDﾕﾆｯﾄ	100～242	610	4.2	

公共型番：LRS1-05

一般型，拡散ﾀｲﾌﾟ
反射板：ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ（白色）
枠：鋼板（白色）
光源色：昼白色（5000K）
光源寿命：40,000時間
参考開口寸法：φ100

器具形状　埋込型 ﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ 100/150/200形

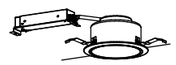
器具記号	ﾗﾝﾌﾟ	電圧(V)	器具光束(lm)	消費電力(W)	備　考
J08	LEDﾕﾆｯﾄ	100～242	1,045	7.0	
J13	LEDﾕﾆｯﾄ	100～242	1,695	11.6	
J17	LEDﾕﾆｯﾄ	100～242	2,070	15.0	

公共型番 J08：LRS1-08
公共型番 J13：LRS1-13
公共型番 J17：LRS1-17

一般型，拡散ﾀｲﾌﾟ
反射板：ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ（白色）
枠：鋼板（白色）
光源色：昼白色（5000K）
光源寿命：40,000時間
参考開口寸法：φ150

器具形状　埋込型 ﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ 250形

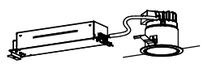
器具記号	ﾗﾝﾌﾟ	電圧(V)	器具光束(lm)	消費電力(W)	備　考
K250	LEDﾕﾆｯﾄ	100～242	2,435	18.6	



一般型，拡散ﾀｲﾌﾟ
反射板：ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ（白色）
枠：鋼板（白色）
光源色：昼白色（5000K）
光源寿命：40,000時間
参考開口寸法：φ150

器具形状　埋込型 ﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ 200形

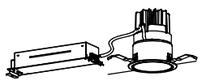
器具記号	ﾗﾝﾌﾟ	電圧(V)	器具光束(lm)	消費電力(W)	備　考
L200	LEDﾕﾆｯﾄ	100～242	1,900	21.0	無線調光式 約1～100%調光



一般型，拡散ﾀｲﾌﾟ
反射板：ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ（白色）
枠：鋼板（白色）
光源色：電球色(2700K)～昼光色(6500K)
調光：多回路個別制御式無線調光
光源寿命：40,000時間
参考開口寸法：φ100

器具形状　埋込型 ﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ 350形

器具記号	ﾗﾝﾌﾟ	電圧(V)	器具光束(lm)	消費電力(W)	備　考
L350	LEDﾕﾆｯﾄ	100～242	3,850	36.0	無線調光式 約1～100%調光



一般型，拡散ﾀｲﾌﾟ
反射板：ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ（白色）
枠：鋼板（白色）
光源色：電球色(2700K)～昼光色(6500K)
調光：多回路個別制御式無線調光
光源寿命：40,000時間
参考開口寸法：φ125

器具形状　埋込型 軒下用ﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ 100/200形　防雨型

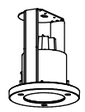
器具記号	ﾗﾝﾌﾟ	電圧(V)	器具光束(lm)	消費電力(W)	備　考
M08w	LEDﾕﾆｯﾄ	100～242	970	7.0	
M17w	LEDﾕﾆｯﾄ	100～242	1,940	15.0	

公共型番 M08w：LRS1RP-08
公共型番 M17w：LRS1RP-17

防雨型，拡散ﾀｲﾌﾟ
反射板：ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ（白色）
ﾊﾞﾈﾙ：ｱｸﾘﾙ（透明）
光源色：昼白色（5000K）
光源寿命：40,000時間
参考開口寸法：φ150

器具形状　埋込型 浴室用ﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ 200形　防湿防雨型

器具記号	ﾗﾝﾌﾟ	電圧(V)	器具光束(lm)	消費電力(W)	備　考
Q200w	LEDﾗﾝﾌﾟ	100～242	1,840	17.2	



防湿防雨型，広角ﾀｲﾌﾟ
枠：ｱﾙﾐﾀﾞｲｶｽﾄ（白色）
ﾊﾞﾈﾙ：ﾃﾌﾛﾝ膜付ｶﾞﾗｽ（透明）
光源色：昼白色（5000K）
光源寿命：40,000時間
参考開口寸法：φ150

器具形状　直付型 浴室灯 40形　防湿型

器具記号	ﾗﾝﾌﾟ	電圧(V)	器具光束(lm)	消費電力(W)	備　考
P402w	LDL40W×2	100～242	5,320	62.0	

防湿型，定格出力型
壁・天井面取付兼用
本体：ｽﾃﾝﾚｽ鋼板
ｸﾞﾛｰﾌﾞ：ｱｸﾘﾙ（乳白）
光源色：昼白色（5000K）
光源寿命：40,000時間

器具形状　直付型 ｳｫｰﾙﾗｲﾄ 40形　防湿防雨型

器具記号	ﾗﾝﾌﾟ	電圧(V)	器具光束(lm)	消費電力(W)	備　考
Q20w	LEDﾕﾆｯﾄ	100～242	2,210	19.9	

公共型番：LBF3MP/RP-4-20

防湿防雨型，定格出力型
本体：ｽﾃﾝﾚｽ鋼板
ｶﾊﾞｰ：ﾎﾟﾘｶｰﾎﾞﾈｰﾄ（乳白）
光源色：昼白色（5000K）
光源寿命：40,000時間

器具形状　直付型 ｳｫｰﾙﾗｲﾄ 20形　防湿防雨型

器具記号	ﾗﾝﾌﾟ	電圧(V)	器具光束(lm)	消費電力(W)	備　考
R13w	LEDﾕﾆｯﾄ	100～242	1,480	14.9	

公共型番：LBF3MP/RP-2-13

防湿防雨型，定格出力型
本体：ｽﾃﾝﾚｽ鋼板
ｶﾊﾞｰ：ﾎﾟﾘｶｰﾎﾞﾈｰﾄ（乳白）
光源色：昼白色（5000K）
光源寿命：40,000時間

器具形状　直付型 ｳｫｰﾙﾗｲﾄ 20形　防湿防雨型　ｾﾝｻｰ付

器具記号	ﾗﾝﾌﾟ	電圧(V)	器具光束(lm)	消費電力(W)	備　考
R13ws	LEDﾕﾆｯﾄ	100～242	1,470	14.9	

防湿防雨型，定格出力型
本体：ｽﾃﾝﾚｽ鋼板
ｶﾊﾞｰ：ﾎﾟﾘｶｰﾎﾞﾈｰﾄ（乳白）
光源色：昼白色（5000K）
光源寿命：40,000時間
明るさｾﾝｻｰ付・段調光

器具形状　直付型 ﾎﾞｰﾁﾗｲﾄ 60形　防雨型　ｾﾝｻｰ付

器具記号	ﾗﾝﾌﾟ	電圧(V)	器具光束(lm)	消費電力(W)	備　考
S60ws	LEDﾕﾆｯﾄ	100	515	7.1	

防雨型，壁面取付専用
本体：ASA樹脂（白色）
ｶﾊﾞｰ：ｱｸﾘﾙ（乳白）
光源色：電球色（2700K）
光源寿命：40,000時間
明るさｾﾝｻｰ付・段調光

器具形状　直付型 ｷｯﾁﾝﾗｲﾄ 20形

器具記号	ﾗﾝﾌﾟ	電圧(V)	器具光束(lm)	消費電力(W)	備　考
T20	LEDﾕﾆｯﾄ	100	980	12.0	

一般型，定格出力型
壁・天井直付型，拡散ﾀｲﾌﾟ
本体：亜鉛鋼板（白色）
ｶﾊﾞｰ：ｱｸﾘﾙ（乳白）
光源色：昼白色（5000K）
光源寿命：40,000時間
ﾀｯﾁﾚｽｽｲｯﾁ付

器具形状　直付型 ﾐﾗｰﾗｲﾄ 20形

器具記号	ﾗﾝﾌﾟ	電圧(V)	器具光束(lm)	消費電力(W)	備　考
U20	LEDﾕﾆｯﾄ	100	1,420	11.2	

一般型，定格出力型
壁・天井直付型，拡散ﾀｲﾌﾟ
本体：ASA樹脂（白色）
ｶﾊﾞｰ：ｱｸﾘﾙ（乳白）
光源色：昼白色（5000K）
光源寿命：40,000時間

器具形状　直付型 ﾐﾗｰﾗｲﾄ 15形

器具記号	ﾗﾝﾌﾟ	電圧(V)	器具光束(lm)	消費電力(W)	備　考
V15	LEDﾕﾆｯﾄ	100	840	9.5	

一般型，定格出力型
壁・天井直付型，拡散ﾀｲﾌﾟ
本体：亜鉛鋼板（白色）
ｶﾊﾞｰ：ｱｸﾘﾙ（乳白）
光源色：昼白色（5000K）
光源寿命：40,000時間

・照明器具の消費電力は JIS C 8105-3 の試験方法による値とする。
・照明器具の姿図･仕様は参考とし、同等のメーカー標準器具としてよい。

※機器姿図・仕様はすべて参考とする。

JOB NO

白石消防署庁舎建替工事　　照明器具参考姿図(1)　E-10

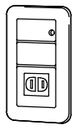
DATE R8.05.29　SCAL (A 1) 1／NON (A 3) 1／NON　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号 永野ますみ

照明器具参考姿図(2)

器具形状　壁埋込型　足元灯

器具記号	ﾗﾝﾌﾟ	電圧(V)	器具光束(lm)	消費電力(W)	備　考
XA03C	LEDﾕﾆｯﾄ	100	3	0.7	



一般型，定格出力型
ﾊﾟﾈﾙ：ABS樹脂
ｶﾊﾞｰ：ｱｸﾘﾙ（乳白）
光源色：電球色（2700K）
光源寿命：40,000時間
ｺﾝｾﾝﾄ・明るさｾﾝｻｰ付

器具形状　直付型　高温用器具 40形　防湿型

器具記号	ﾗﾝﾌﾟ	電圧(V)	器具光束(lm)	消費電力(W)	備　考
XB26Hw	LDL40W×1	100～242	2,520	20.0	

防湿型，定格出力型
本体：ｽﾃﾝﾚｽ（ｸﾘｱ塗装）
反射板：ｽﾃﾝﾚｽ（ｸﾘｱ塗装）
光源色：昼白色（5000K）
光源寿命：40,000時間
周囲温度：5℃～60℃

器具形状　直付・吊下型　耐圧防爆型器具

器具記号	ﾗﾝﾌﾟ	電圧(V)	器具光束(lm)	消費電力(W)	備　考
XC27ex	LEDﾕﾆｯﾄ	100～242	2,750	31.5	直付型
XC27exP	LEDﾕﾆｯﾄ	100～242	2,750	31.5	ﾊﾟｲﾌﾟ吊下型

防爆・防噴流・耐塵型，定格出力型
本体：ｱﾙﾐ（ｸﾞﾚｰ色）
ﾊﾟﾈﾙ：硬質ｶﾞﾗｽ（透明）
光源色：昼白色（5000K）
光源寿命：60,000時間
防爆構造：ExdeⅡB+H2T6X

器具形状　直付型　軒下用ｼｰﾘﾝｸﾞﾗｲﾄ 100形　防雨型

器具記号	ﾗﾝﾌﾟ	電圧(V)	器具光束(lm)	消費電力(W)	備　考
XD1w	LEDﾕﾆｯﾄ	100	810	8.0	

防雨型，天井面取付専用
本体：ｱﾙﾐﾀﾞｲｶｽﾄ（ﾎﾜｲﾄ）
ﾊﾟﾈﾙ：ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ（ﾎﾜｲﾄ）
光源色：電球色（2700K）
光源寿命：40,000時間

器具形状　配線ﾀﾞｸﾄ取付型 ﾍﾞｰｽﾗｲﾄ 40形（L=1200）

器具記号	ﾗﾝﾌﾟ	電圧(V)	器具光束(lm)	消費電力(W)	備　考
XE1	LEDﾕﾆｯﾄ	100	4,600	34.2	無線調光式 約1～100%調光

一般型，定格出力型
本体：ｱﾙﾐ（黒色）
ﾗｲﾄｶﾊﾞｰ：ﾎﾟﾘｶｰﾎﾞﾈｰﾄ（乳白）
光源色：電球色(2700K)～昼光色(6500K)
調光：多回路個別制御式無線調光
光源寿命：40,000時間

器具形状　配線ﾀﾞｸﾄ取付型 ｽﾎﾟｯﾄﾗｲﾄ型ﾅﾉｲｰX発生機

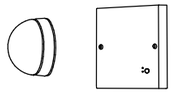
器具記号	ﾗﾝﾌﾟ	電圧(V)	器具光束(lm)	消費電力(W)	備　考
XF1	－	100	－	5.1	

100V配線ﾀﾞｸﾄ取付
首振範囲90度、水平回転範囲360度
騒音値：約45dB
落下防止ﾜｲﾔｰ付

器具形状　直付型 赤色表示灯　防雨型

器具記号	ﾗﾝﾌﾟ	電圧(V)	器具光束(lm)	消費電力(W)	備　考
XG1w	LED	100	－	2.5	

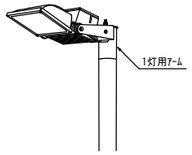
（電池内蔵形）



防雨型，壁面取付専用
電源部分離ﾀｲﾌﾟ
本体：ｱﾙﾐ（ｼﾙﾊﾞｰﾒﾀﾘｯｸ）
ｸﾞﾛｰﾌﾞ：ｶﾞﾗｽ（内面赤色塗装）
光源寿命：60,000時間

器具形状　直付型 ﾓｰﾙﾗｲﾄ（HID400形相当）　防雨型

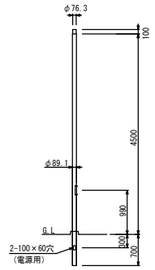
器具記号	ﾗﾝﾌﾟ	電圧(V)	器具光束(lm)	消費電力(W)	備　考
Y400a	LEDﾕﾆｯﾄ	100～242	10,700	98.3	



防雨型，固定出力型，ﾜｲﾄﾞ配光
本体：ｱﾙﾐﾀﾞｲｶﾞｽﾄ（ﾐﾃﾞｨｱﾑｸﾞﾚｰ）
ﾊﾟﾈﾙ：ﾎﾟﾘｶｰﾎﾞﾈｰﾄ（透明）
光源色：昼白色（5000K）
光源寿命：60,000時間
耐風速60m/s，落下防止ﾜｲﾔｰ付

器具形状　街路灯ポール　T4.5

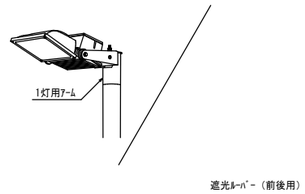
器具記号	ﾗﾝﾌﾟ	電圧(V)	器具光束(lm)	消費電力(W)	備　考
Y400a					



用途：LED街路灯用，埋込式
ｻｲｽﾞ：4.5m，φ89.1
鋼管：溶融亜鉛ﾒｯｷｰﾅﾎﾞﾘｴｽﾃﾙ
　　樹脂粉体焼付塗装
　　（ﾐﾃﾞｨｱﾑｸﾞﾚｰ）
耐風速60m/s仕様

器具形状　直付型 ﾓｰﾙﾗｲﾄ（HID400形相当）　防雨型

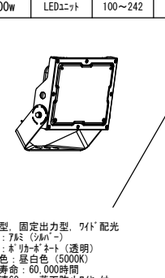
器具記号	ﾗﾝﾌﾟ	電圧(V)	器具光束(lm)	消費電力(W)	備　考
Y400b	LEDﾕﾆｯﾄ	100～242	10,700	98.3	遮光ﾙｰﾊﾞｰ付



防雨型，固定出力型，ﾜｲﾄﾞ配光
本体：ｱﾙﾐﾀﾞｲｶﾞｽﾄ（ﾐﾃﾞｨｱﾑｸﾞﾚｰ）
ﾊﾟﾈﾙ：ﾎﾟﾘｶｰﾎﾞﾈｰﾄ（透明）
光源色：昼白色（5000K）
光源寿命：60,000時間
耐風速60m/s，落下防止ﾜｲﾔｰ付

器具形状　街路灯ポール　T4.5

器具記号	ﾗﾝﾌﾟ	電圧(V)	器具光束(lm)	消費電力(W)	備　考
Y400b					



用途：LED街路灯用，埋込式
ｻｲｽﾞ：4.5m，φ89.1
鋼管：溶融亜鉛ﾒｯｷｰﾅﾎﾞﾘｴｽﾃﾙ
　　樹脂粉体焼付塗装
　　（ﾐﾃﾞｨｱﾑｸﾞﾚｰ）
耐風速60m/s仕様

器具形状　直付型 屋外用投光器（HID250/400形相当）　防雨型

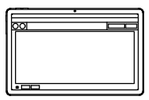
器具記号	ﾗﾝﾌﾟ	電圧(V)	器具光束(lm)	消費電力(W)	備　考
Z250w	LEDﾕﾆｯﾄ	100～242	9,000	68.2	投光器台付
Z400w	LEDﾕﾆｯﾄ	100～242	12,500	88.7	投光器台付

防雨型，固定出力型，ﾜｲﾄﾞ配光
本体：ｱﾙﾐ（ｼﾙﾊﾞｰ）
ﾊﾟﾈﾙ：ﾎﾟﾘｶｰﾎﾞﾈｰﾄ（透明）
光源色：昼白色（5000K）
光源寿命：60,000時間
耐風速60m，落下防止ﾜｲﾔｰ付

器具形状　無線照明制御ｼｽﾃﾑ用 操作器（専用ﾀﾌﾞﾚｯﾄ）

器具記号	ﾗﾝﾌﾟ	電圧(V)	器具光束(lm)	消費電力(W)	備　考

※1台納品

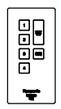


仕様：多回路個別制御式無線照明制御ｼｽﾃﾑ
機能：初期設定、ｼｰﾝ、ｽｹｼﾞｭｰﾙ、ﾘﾓｺﾝ等各種設定
ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ：10.95型ﾜｲﾄﾞ
OS：Android OS13
通信距離：水平見通し距離15m

器具形状　無線照明制御ｼｽﾃﾑ用 シーン選択ﾘﾓｺﾝ

器具記号	ﾗﾝﾌﾟ	電圧(V)	器具光束(lm)	消費電力(W)	備　考

※2台納品



本体：ABS樹脂（白色）
電源：単4電池×2本
通信距離：水平見通し距離15m
ﾘﾓｺﾝﾎﾞｯｸｽ付

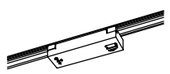
器具形状　無線照明制御ｼｽﾃﾑ用 明るさｾﾝｻｰ（中継機能付）

器具記号	ﾗﾝﾌﾟ	電圧(V)	器具光束(lm)	消費電力(W)	備　考
Ⓢ					

天井埋込型、中継機能付
ひと＋明るさ検知制御機能
本体：ASA樹脂（白色）
定格電圧：AC100V～242V
通信距離：水平見通し距離15m

器具形状　無線照明制御ｼｽﾃﾑ用 ON/OFF制御ｲﾝﾀｰﾌｪｰｽ

器具記号	ﾗﾝﾌﾟ	電圧(V)	器具光束(lm)	消費電力(W)	備　考
⊠					



配線ﾀﾞｸﾄ取付型
本体：ﾎﾟﾘｶｰﾎﾞﾈｰﾄ（白色）
定格電圧：AC100V
通信距離：水平見通し距離15m

器具形状　非常照明 天井埋込型　低天井用（JD9W相当）

器具記号	ﾗﾝﾌﾟ	電圧(V)	器具光束(lm)	消費電力(W)	備　考
a9	LED	100～242	230	1.0	

非常灯評定番号：LALE-004　（電池内蔵形）
公共型番：K1-LRS11-1

天井埋込型（φ100）
低天井・小空間用（～3m）
蓄電池：一般型（30分間）
自己点検機能付

器具取付高さ		2.1m	2.3m	2.5m	2.7m	3.0m	3.2m	3.5m
単体配置	A1	3.8	3.9	4.0	3.6	2.8	2.5	1.6
直線配置	A2	8.5	9.2	9.6	10.1	10.1	10.0	9.7
四角配置	A4	6.9	7.4	7.8	8.3	8.9	9.3	9.7

器具形状　非常照明 天井埋込型　低天井用（JD13W相当）

器具記号	ﾗﾝﾌﾟ	電圧(V)	器具光束(lm)	消費電力(W)	備　考
a13	LED	100～242	370	1.0	

非常灯評定番号：LALE-004　（電池内蔵形）
公共型番：K1-LRS11-2

天井埋込型（φ100）
低天井用（～3m）
蓄電池：一般型（30分間）
自己点検機能付

器具取付高さ		2.3m	2.5m	2.7m	3.0m	3.2m	3.5m	4.0m
単体配置	A1	4.5	4.7	4.8	4.9	4.9	4.6	3.3
直線配置	A2	10.0	10.6	11.1	11.9	12.4	12.9	12.9
四角配置	A4	7.9	8.4	8.9	9.6	10.1	10.7	11.7

器具形状　非常照明 天井埋込型　中天井用（JD30W相当）

器具記号	ﾗﾝﾌﾟ	電圧(V)	器具光束(lm)	消費電力(W)	備　考
a30	LED	100～242	1,050	1.3	

非常灯評定番号：LALE-006　（電池内蔵形）
公共型番：K1-LRS11-3

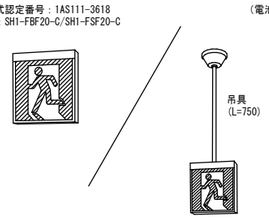
天井埋込型（φ100）
中天井用（～6m）
蓄電池：一般型（30分間）
自己点検機能付

器具取付高さ		2.7m	3.0m	3.5m	4.0m	4.5m	5.0m	6.0m
単体配置	A1	6.4	6.9	7.4	7.9	8.3	8.7	6.4
直線配置	A2	14.0	15.2	17.0	18.6	19.9	21.0	22.8
四角配置	A4	10.6	11.6	13.2	14.6	16.0	17.2	19.4

器具形状　避難口誘導灯 C級　片面・直付型

器具記号	ﾗﾝﾌﾟ	電圧(V)	器具光束(lm)	消費電力(W)	備　考
ｱC	LED	100	－	1.1	
ｱCP	LED	100	－	1.1	ﾊﾟｲﾌﾟ吊

誘導灯型式認定番号：1AS111-3618　（電池内蔵形）
公共型番：SH1-FBF20-C/SH1-FSF20-C



壁・天井直付・吊下兼用形
片面型，C級（10形）
蓄電池：一般型（20分間）
自己点検機能付

器具形状　通路誘導灯 C級　片面・直付型

器具記号	ﾗﾝﾌﾟ	電圧(V)	器具光束(lm)	消費電力(W)	備　考
ｲC	LED	100	－	1.1	

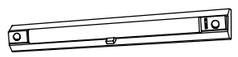
誘導灯型式認定番号：1AS111-3618　（電池内蔵形）
公共型番：ST1-FBF22-C/ST1-FSF22-C

壁・天井直付・吊下兼用形
片面型，C級（10形）
蓄電池：一般型（20分間）
自己点検機能付

器具形状　直付型 階段灯 40形　ひとｾﾝｻｰ段調光ﾀｲﾌﾟ

器具記号	ﾗﾝﾌﾟ	電圧(V)	器具光束(lm)	消費電力(W)	備　考
ｶ321	LED	100～242	3,800	28.0	

非常灯評定番号：LALE-015　（電池内蔵形）
誘導灯型式認定番号：3AE-1082
公共型番：LDS2-SK1-LBF11



壁・天井面取付兼用
本体：鋼板（白色塗装）
ｶﾊﾞｰ：ﾎﾟﾘｶｰﾎﾞﾈｰﾄ（乳白）
光源色：昼白色（5000K）
蓄電池：一般型（30分間）
自己点検機能付

器具形状　直付型 階段灯 20形　ひとｾﾝｻｰON/OFFﾀｲﾌﾟ

器具記号	ﾗﾝﾌﾟ	電圧(V)	器具光束(lm)	消費電力(W)	備　考
ｶ161	LED	100～242	1,600	13.9	

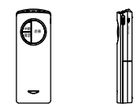
非常灯評定番号：LALE-015　（電池内蔵形）

壁・天井面取付兼用
本体：鋼板（白色塗装）
ｶﾊﾞｰ：ﾎﾟﾘｶｰﾎﾞﾈｰﾄ（乳白）
光源色：昼白色（5000K）
蓄電池：一般型（30分間）
自己点検機能付

器具形状　非常照明・誘導灯用自己点検リモコン

器具記号	ﾗﾝﾌﾟ	電圧(V)	器具光束(lm)	消費電力(W)	備　考

※1台納品



兼用型・ﾁｬﾝﾈﾙ切替式
本体：ABS樹脂（ﾗｲﾄｸﾞﾚｰ）
電池：単三乾電池×2本

・照明器具の消費電力は JIS C 8105-3 の試験方法による値とする。
・照明器具の姿図・仕様は参考とし、同等のメーカー標準器具としてよい。
・無線調光制御はメーカー標準のシステムおよび機器構成としてよい。

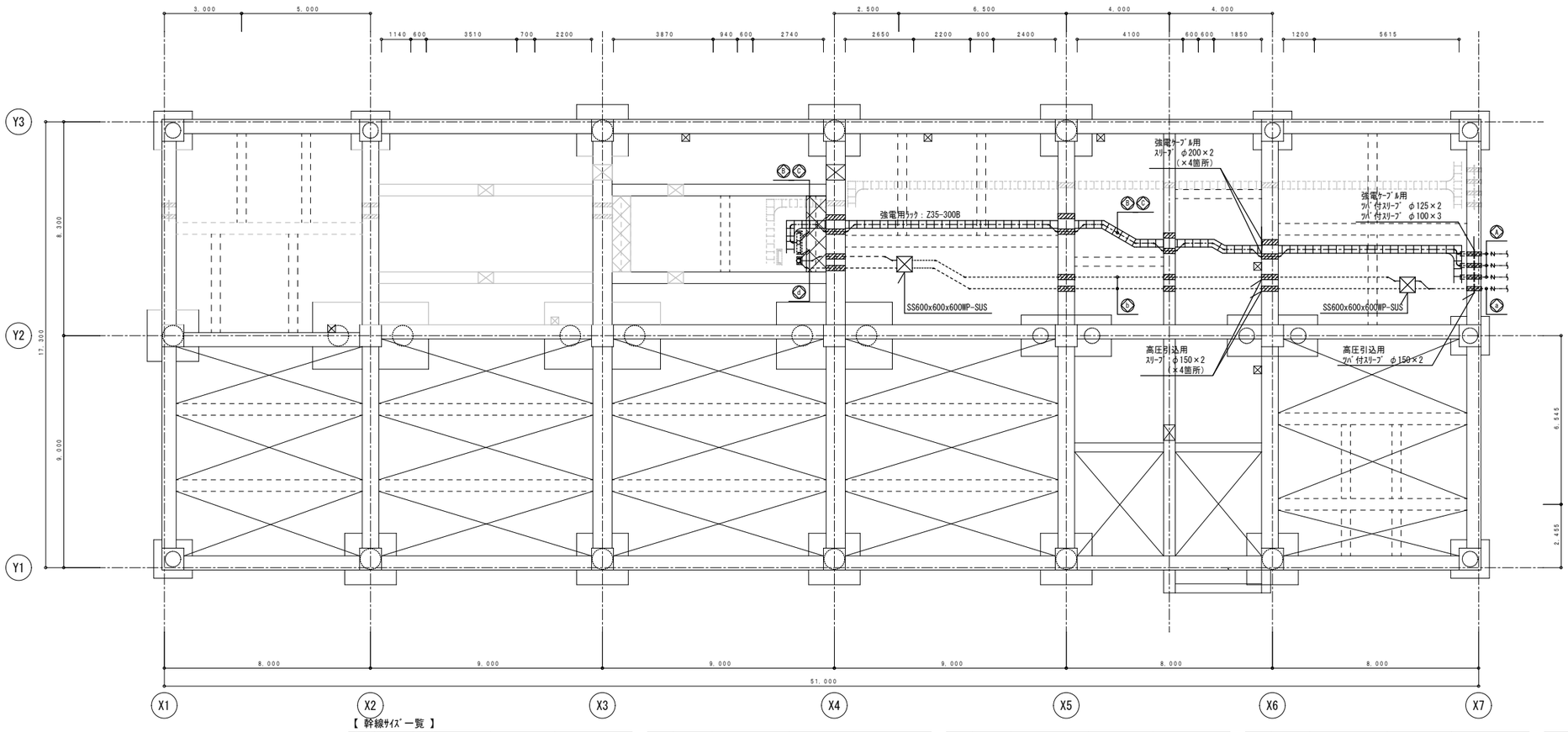
※機器姿図・仕様はすべて参考とする。

JOB NO

白石消防署庁舎建替工事　　照明器具参考姿図(2)　E-11

DATE R8.05.29　SCAL (A 1) 1／NON (A 3) 1／NON　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号 永野ますみ



【 幹線ｻｲｽﾞ一覧 】

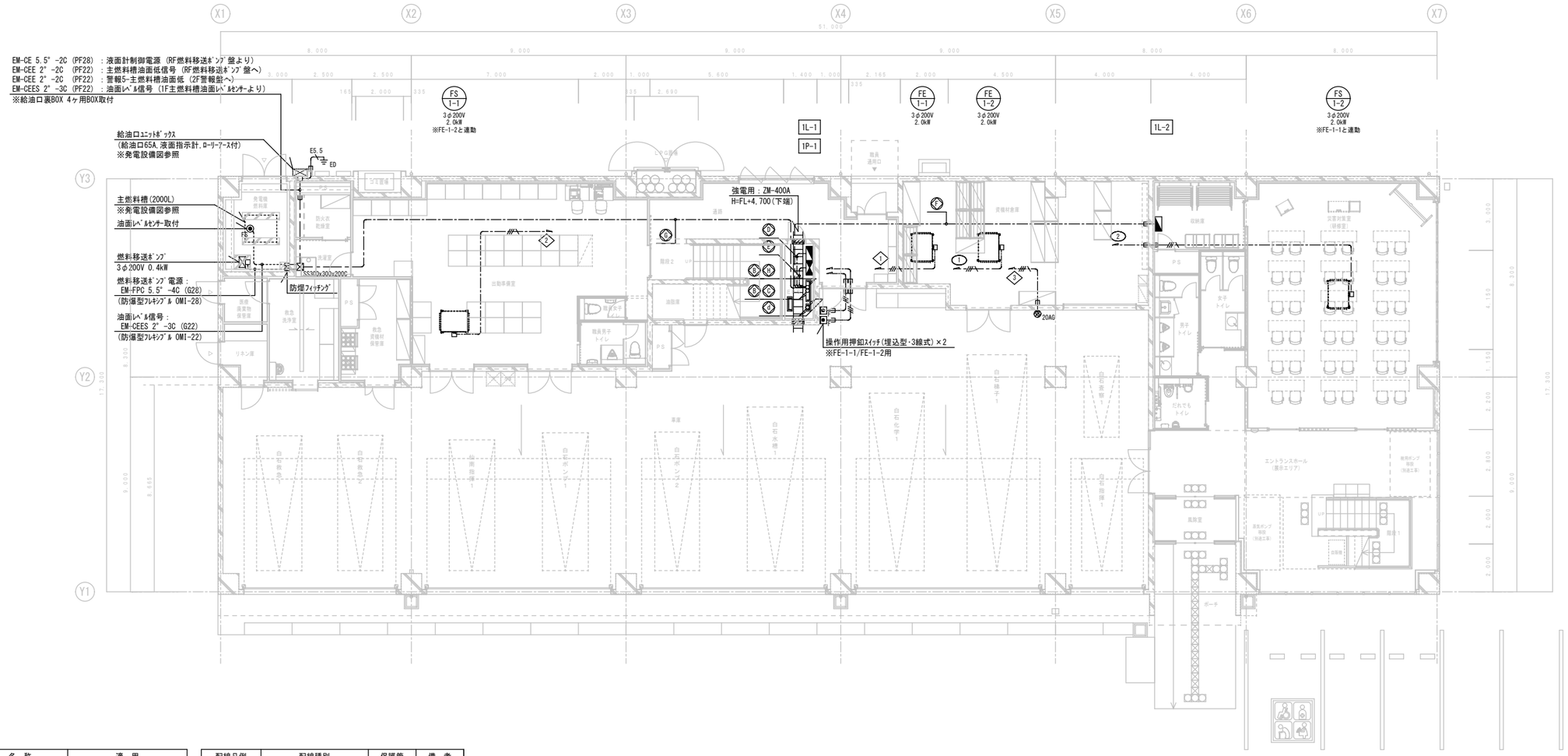
記号	幹線番号	ｹｰﾌﾞﾙｻｲｽﾞ	配管ｻｲｽﾞ	備考
Ⓐ	高圧引込	6kV EM-CET60°	(GZ92/FEP100)	ｽﾘｰﾌﾞ φ150
	高圧予備	——G——	(GZ92/FEP100)	ｽﾘｰﾌﾞ φ150
Ⓑ	高圧引込	6kV EM-CET60°	(GZ92)	※ﾋﾟｯﾄ内配管
	高圧予備	——G——	(GZ92)	※ﾋﾟｯﾄ内配管
Ⓒ	高圧引込	6kV EM-CET60°	ZM-200B	※1F～RF
	高圧予備	——G——		
Ⓓ	高圧引込	6kV EM-CET60°	(GZ92/F2-101)	※RFｺﾛｶﾞｼ配管
	高圧予備	——G——	(GZ92/F2-101)	
Ⓐ	L105	EM-CET 38°	(GZ70/FEP65)	ｽﾘｰﾌﾞ φ100
	P103	EM-CET 14°	(GZ70/FEP65)	ｽﾘｰﾌﾞ φ100
	GP103	EM-CET 14°		
	ED/ED(ELB)	EM-IE 14° ×2		
	接地極	EM-IE 60° ×1	(GZ70/FEP65)	ｽﾘｰﾌﾞ φ100
		EM-IE 38° ×2		
		EM-IE 5.5° ×2		
	外灯	EM-CE 5.5° -3C×3		1L-1 Ⓣ 1 2
	警報12	EM-CEE 2° -2C		排水ﾎﾟﾝﾌﾟDP-1 異常
	予備(L)	——G——	(GZ82/FEP80)	ｽﾘｰﾌﾞ φ125
	予備(P)	——G——	(GZ82/FEP80)	ｽﾘｰﾌﾞ φ125
Ⓑ	L105	EM-CET 38°	Z35-300B (ﾋﾟｯﾄ内) ↓ ZM-800B (EPS 1F～RF)	訓練棟 KLP-1/2/3へ
	P103	EM-CET 14°		訓練棟 KLP-1/2へ
	GP103	EM-CET 14°		訓練棟 KLP-3へ
	ED/ED(ELB)	EM-IE 14° ×2		訓練棟 KLP-1/2/3へ
	接地極	EM-IE 60° ×1		RF ｷｭｰﾋﾞｸﾙへ
		EM-IE 38° ×2		
		EM-IE 5.5° ×2		
	警報12	EM-CEE 2° -2C		2F事務室 警報盤へ
Ⓒ	外灯	EM-CE 5.5° -3C×3		1L-1 Ⓣ 1 2

記号	幹線番号	ｹｰﾌﾞﾙｻｲｽﾞ	配管ｻｲｽﾞ	備考
Ⓐ	L101	EM-CET 22° E14×2	ZM-400A (1F EPS)	Cub～1L-1
	GL201	EM-CET 60°		Cub～1L-1
	警報6	EM-CEE 2° -2C		1L-1～2F警報盤
	外灯	EM-CE 5.5° -3C×3		1L-1 Ⓣ 1 2
Ⓑ	P101	EM-CET 14° E14×2	ZM-400A (1F EPS)	Cub～1P-1
	GP101	EM-CET 14°		Cub～1P-1
	警報10	EM-CEE 2° -2C		1P-1～2F警報盤
Ⓒ	L102	EM-CET 22° E14×2	ｺﾛｶﾞｼ	Cub～1L-2
	GL102	EM-CET 22°		Cub～1L-2
	警報7	EM-CEE 2° -2C		1L-2～2F警報盤
Ⓒ	GP104-1	EM-FPC 5.5° -4C	(G28)	燃料移送ﾎﾟﾝﾌﾟ電源
	GP104-2	EM-CE 5.5° -2C	(PF28)	液面計制御電源
	油面低	EM-CEE 2° -2C	(PF22)	主燃料槽油面低信号
	警報5	EM-CEE 2° -2C	(PF22)	液面計～2F警報盤
Ⓓ	L101	EM-CET 22°	ZM-800B (EPS 1F～RF)	Cub～1L-1
	L102	EM-CET 22°		Cub～1L-2
	P101	EM-CET 14°		Cub～1P-1
	GL101	EM-CET 60°		Cub～1L-1
	GL102	EM-CET 22°		Cub～1L-2
	GP101	EM-CET 14°		Cub～1P-1
	ED/ED(ELB)	EM-IE 22° ×2		Cub～接地母線
	警報6	EM-CEE 2° -2C		1L-1～2F警報盤
	警報7	EM-CEE 2° -2C		1L-2～2F警報盤
	警報10	EM-CEE 2° -2C		1P-1～2F警報盤
	GP104-1	EM-FPC 5.5° -4C		RF燃料移送ﾎﾟﾝﾌﾟ盤 ～1F燃料庫 移送ﾎﾟﾝﾌﾟ
	GP104-2	EM-CE 5.5° -2C		RF燃料移送ﾎﾟﾝﾌﾟ盤 ～1F給油口 液面計
	油面低	EM-CEE 2° -2C		1F給油口 液面計 ～RF燃料移送ﾎﾟﾝﾌﾟ盤
	警報5	EM-CEE 2° -2C		1F給油口 液面計 ～2F警報盤

記号	幹線番号	ｹｰﾌﾞﾙｻｲｽﾞ	配管ｻｲｽﾞ	備考
Ⓐ	L103	EM-CET100° E14×2	ZM-400A (2F EPS)	Cub～2L-1
	GL201	EM-CET 38°		Cub～2L-1
Ⓑ	L104	EM-CET 22° E14×2	ｺﾛｶﾞｼ	Cub～2L-2
	GL202	EM-CET 22°		Cub～2L-2
Ⓒ	警報1	EM-CEE 2° -2C	ｺﾛｶﾞｼ	Cub～2F警報盤
	警報2･3	EM-CEE 2° -7C		発電機～2F警報盤
	警報4	EM-CEE 2° -2C		RF燃料移送ﾎﾟﾝﾌﾟ盤 ～2F警報盤
	警報5	EM-CEE 2° -2C		1F給油口 液面計 ～2F警報盤
	警報6	EM-CEE 2° -2C		1L-1～2F警報盤
	警報7	EM-CEE 2° -2C		1L-2～2F警報盤
	警報10	EM-CEE 2° -2C		1P-1～2F警報盤
	警報12	EM-CEE 2° -2C		排水中継ﾎﾟﾝﾌﾟ盤 DP-1 ～2F警報盤
Ⓒ	L101	EM-CET 22°	ZM-800B (EPS 1F～RF) ↓ Z35-800B (RF)	Cub～1L-1
	L102	EM-CET 22°		Cub～1L-2
	L103	EM-CET 100°		Cub～2L-1
	L104	EM-CET 22°		Cub～2L-2
	P101	EM-CET 14°		Cub～1P-1
	GL101	EM-CET 60°		Cub～1L-1
	GL102	EM-CET 22°		Cub～1L-2
	GL201	EM-CET 38°		Cub～2L-1
	GL202	EM-CET 22°		Cub～2L-2
	GP101	EM-CET 14°		Cub～1P-1
	ED/ED(ELB)	EM-IE 22° ×2		Cub～接地母線
	警報1	EM-CEE 2° -2C		Cub～2F警報盤
	警報2･3	EM-CEE 2° -7C		発電機～2F警報盤
	警報4	EM-CEE 2° -2C		RF燃料移送ﾎﾟﾝﾌﾟ盤 ～2F警報盤
	GP104-1	EM-FPC 5.5° -4C		RF燃料移送ﾎﾟﾝﾌﾟ盤 ～1F燃料庫 移送ﾎﾟﾝﾌﾟ
	GP104-2	EM-CE 5.5° -2C		RF燃料移送ﾎﾟﾝﾌﾟ盤 ～1F給油口 液面計
	油面低	EM-CEE 2° -2C		1F給油口 液面計 ～RF燃料移送ﾎﾟﾝﾌﾟ盤

記号	幹線番号	ｹｰﾌﾞﾙｻｲｽﾞ	配管ｻｲｽﾞ	備考
Ⓐ	P102	EM-CET 22°	ZM-800B (EPS 1F～RF) ↓ Z35-800B (RF)	Cub～RP-1
	GP102	EM-CET 38°		Cub～RP-1
Ⓑ	P102	EM-CET 22° E14×2	ｺﾛｶﾞｼ	Cub～RP-1
	GP102	EM-CET 38°		Cub～RP-1
Ⓒ	P102	EM-CET 22° E14×2	(GZ54)	Cub～RP-1
	GP102	EM-CET 38°	(GZ54)	Cub～RP-1
	ACP-1-1	EM-CE 3.5° -4C	(GZ54)	RP-1 ◇1
	ACP-2-1	EM-CE 3.5° -4C		RP-1 ◇2
	警報11	EM-CEE 2° -2C		RP-1～2F警報盤
	集中制御	EM-CEES 1.25° -2C	(GZ22)	RP-1～2F集中ﾘﾓｺﾝ
Ⓒ	GP1	EM-CET 200°	(GZ92/F2-101)	発電機～Cub
	ED	EM-IE 38°	(GZ54/F2-63)	Cub～発電機
	L108	EM-CE 5.5° -2C		Cub～発電機
	GL203	EM-CE 5.5° -2C		Cub～発電機
	停電	EM-CEE 2° -2C	(GZ42/F2-50)	Cub～発電機
	電圧確立	EM-CEE 2° -2C		発電機～Cub
	警報2･3	EM-CEE 2° -7C		発電機～2F警報盤
Ⓓ	GP104	EM-FPC 5.5° -4C	(GZ36/F2-38)	Cub ～RF燃料移送ﾎﾟﾝﾌﾟ盤
	GP104-1	EM-FPC 5.5° -4C	(GZ42/F2-50)	RF燃料移送ﾎﾟﾝﾌﾟ盤 ～1F燃料庫 移送ﾎﾟﾝﾌﾟ
	GP104-2	EM-CE 5.5° -2C		RF燃料移送ﾎﾟﾝﾌﾟ盤 ～1F給油口 液面計
	油面低	EM-CEE 2° -2C	(GZ36/F2-38)	1F給油口 液面計 ～RF燃料移送ﾎﾟﾝﾌﾟ盤
	警報4	EM-CEE 2° -2C		RF燃料移送ﾎﾟﾝﾌﾟ盤 ～2F警報盤
Ⓔ	小出し槽 油面警報	EM-CEE 2° -5C	(GZ28/F2-30)	RF燃料ﾎﾟﾝﾌﾟ盤 ～発電機
Ⓔ	小出し槽 油面警報	EM-CEE 2° -5C	(GZ28/F2-30)	RF燃料小出し槽 ～RF燃料移送ﾎﾟﾝﾌﾟ盤

記号	幹線番号	ｹｰﾌﾞﾙｻｲｽﾞ	配管ｻｲｽﾞ	備考
Ⓐ	EHP-1	EM-CE 38° -3C E14	(GZ54/F2-63)	RP-1 ◇1
Ⓑ		EM-CE 14° -3C E8	(GZ36/F2-38)	
Ⓒ	EHP-2	EM-CE 22° -3C E8	(GZ54/F2-63)	RP-1 ①1
Ⓔ	ACP-1	EM-CE 3.5° -4C	(GZ28/F2-30)	RP-1 ◇2
Ⓔ	ACP-2	EM-CE 3.5° -4C	(GZ28/F2-30)	RP-1 ②2



1階平面図　1/100

特記事項

記　号	名　称	適　用
	電灯分電盤	仕様は盤結線図参照
	動力制御盤	仕様は盤結線図参照
	警報盤	仕様は盤結線図参照
	ｹｰﾌﾞﾙﾗｯｸ	ｻｲｽﾞ・仕様は図示参照
	ｹｰﾌﾞﾙﾗｯｸ(立上部)	ｻｲｽﾞ・仕様は図示参照
	ｹｰﾌﾞﾙﾗｯｸ用ﾌｰﾄﾞﾎﾞｯｸｽ	高耐食性ﾒｯｷ鋼板製　CR=W***用
	ｹｰﾌﾞﾙﾗｯｸ支持用ﾌﾞﾛｯｸ架台	L=150/300/600　底面ｺﾞﾑｼｰﾄ貼
F	操作用押釦(埋込型)	ON/OFF釦　表示灯付　3線式
20A	動力ｺﾝｾﾝﾄ (新金ﾌﾟﾚｰﾄ)	250V 3PE20A 引掛型 ﾌﾟﾗｸﾞ共
	換気ﾌｧﾝ	機械設備工事
	空調機	機械設備工事
	位置ﾎﾞｯｸｽ	OB 中浅型
	ﾌﾟﾙﾎﾞｯｸｽ	ｻｲｽﾞ・仕様は附記参照 特記なき場合は SS200x200x100 を示す
	防火区画貫通処理	金属管工法
	防火区画貫通処理	ｹｰﾌﾞﾙﾗｯｸ 壁/床用

配線凡例	配線種別	保護管	備　考
	EM-CE 3.5" -4C	(PF22)	-
	EM-CE 3.5" -4C	(PF22)	-
CEE	EM-CEE 2" -2C	(PF22)	-
R	EM-CEES 1.25" -2C	(PF22)	-
R	EM-CEES 1.25" -2C	(GZ22)	RF露出配管

＜配線種別＞

	天井ｺﾛﾎﾞｼﾞﾗｯｸ配線		露出配管
	天井隠蔽配管		地中埋設配管配線
	床隠蔽配管		壁貫通保護

＜注記＞
・防火区画貫通部は国土交通大臣認定工法にて適切に処理する。
・壁内立上げ・立下げ、および露出部は適合電線管にて保護する。
・防火区画壁内の位置ﾎﾞｯｸｽは鉄製とし、ｱｰｽﾝﾄﾞを施す。
・図示のｹｰﾌﾞﾙﾗｯｸ取付高さは参考値とし、現地調整のうえ決定とする。

JOB NO

白石消防署庁舎建替工事　【庁舎棟】幹線・動力設備 1階平面図　E-13

DATE R8.05.29　SCAL (A 1) 1／100 (A 3) 1／200　DRAWN　CHECK

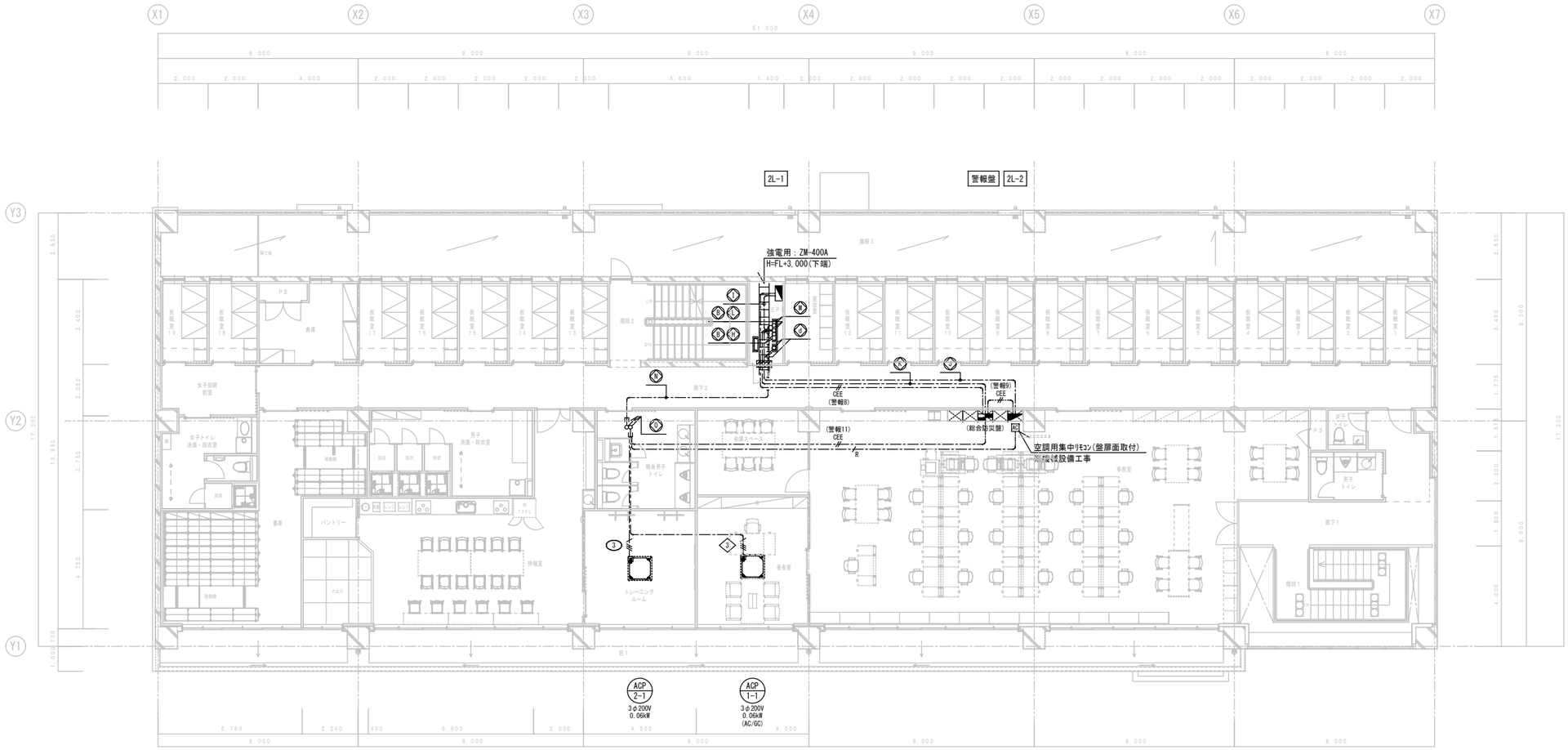
株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号 永野ますみ

警報盤（2F事務室 総合防災盤組込）　※市販品相当として可

警報盤（20L・AC100V）は以下の機能を有すること。
1）音響停止釦は自動復帰型とし、停止後も他の警報信号により再度音響を発する構造とする。
2）音響装置はON・OFFとも0～60分の可変タイマーでON・OFF可能とする。
3）電子音等は明瞭な音のものを使用する。
4）ランプ点灯および音響装置のチェックスイッチを盤の表面に設ける。
5）一括移報出力ができること。
6）停電補償用電池付とする。

警報表示内訳

番号	名　　称	番号	名　　称	番号	名　　称	番号	名　　称
1	ｷｭｰﾋﾟｸﾙ 異常	6	分電盤1L-1 異常	11	動力盤RP-1 異常	16	（予備）
2	発電設備 運転	7	分電盤1L-2 異常	12	排水中継ﾎﾟﾝﾌﾟ盤 異常	17	（予備）
3	発電設備 異常	8	分電盤2L-1 異常	13	（予備）	18	（予備）
4	燃料移送ﾎﾟﾝﾌﾟ盤 異常	9	分電盤2L-2 異常	14	（予備）	19	（予備）
5	発電機主燃料槽 油量低	10	動力盤1P-1 異常	15	（予備）	20	（予備）



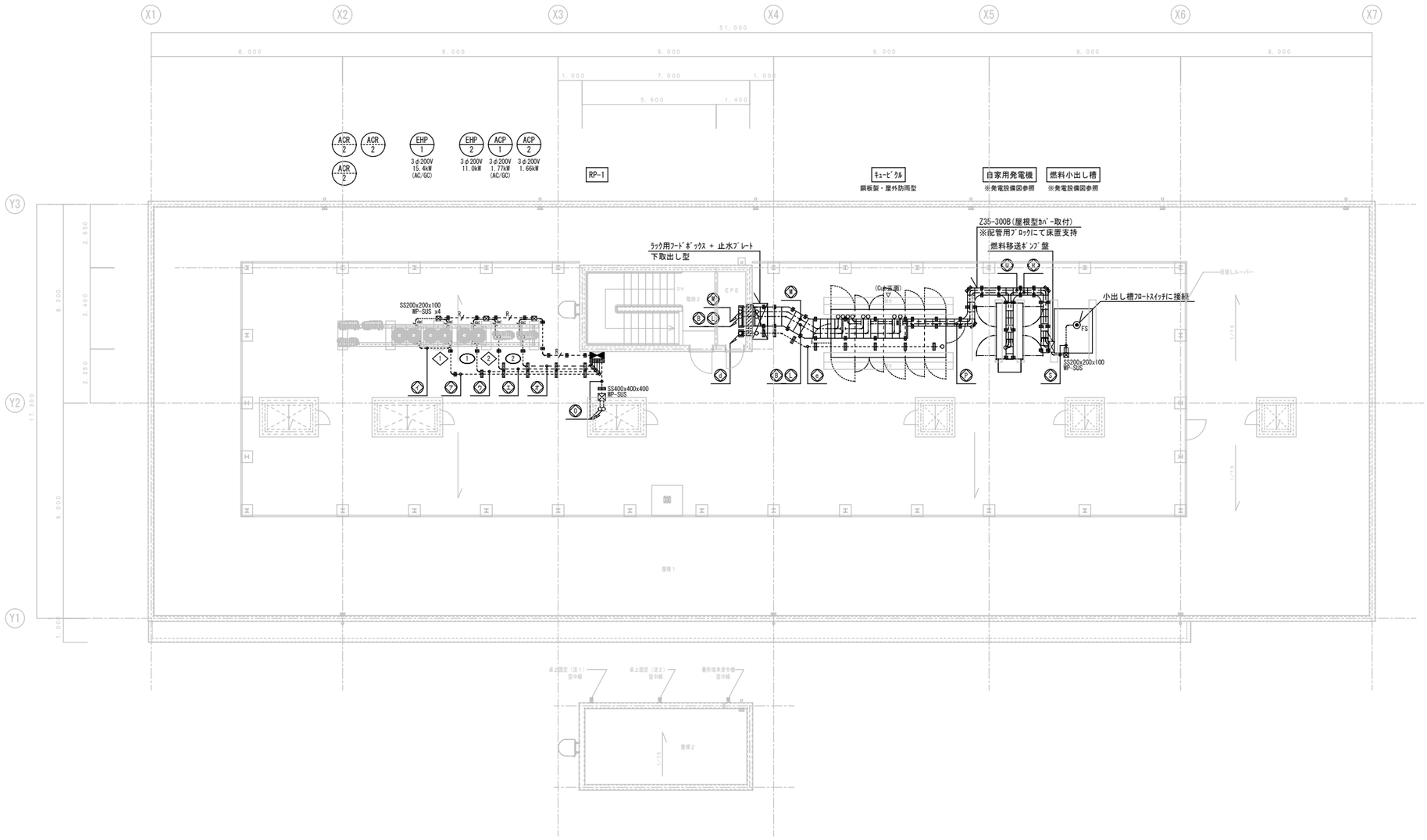
2階平面図　1/100

JOB NO

白石消防署庁舎建替工事　【庁舎棟】幹線・動力設備 2階平面図　E-14

DATE R8.05.29　SCAL (A 1) 1／100 (A 3) 1／200　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号 永野ますみ


X1
X2
X3
X4
X5
X6
X7
Y1
Y2
Y3
51,000
8,000
9,000
9,000
9,000
8,000
8,000
1,000
7,000
1,000
5,600
1,400
ACR 2
ACR 2
ACR 2
EHP 1
3φ200V
15.4kW
(AC/GC)
EHP 2
3φ200V
11.0kW
ACP 1
3φ200V
1.77kW
(AC/GC)
ACP 2
3φ200V
1.66kW
RP-1
ｷｭｰﾋﾞｸﾙ
鋼板製・屋外防雨型
自家用発電機
※発電設備図参照
燃料小出し槽
※発電設備図参照
Z35-300B(屋根型ｶﾊﾞｰ取付)
※配管用ﾌﾞﾛｯｸにて床置支持
燃料移送ﾎﾟﾝﾌﾟ盤
ﾗｯｸ用ﾌｰﾄﾞﾎﾞｯｸｽ + 止水ﾌﾟﾚｰﾄ
下取出し型
(C)平面図
小出し槽ﾌﾛｰﾄｽｲｯﾁに接続
FS
SS200x200x100
WP-SUS
SS200x200x100
WP-SUS x4
SS400x400x400
WP-SUS
EPS
DN
階段2
屋根1
屋根2
1/75
1/75
1/75

発電機燃料庫	CH=直天
XC27exP	2

医療廃棄物保管庫	CH=2700
B30	1

ﾘﾈﾝ庫	CH=2700
B30	1

防火衣乾燥室	CH=3000
XB26Hw	2

洗濯室	CH=3000
E46w	1

救急洗浄室	CH=2500
E46w	2
Y15	1

出勤準備室	CH=3000
F48	12

PS(1)	CH=直天
D15	1

救急資機材保管庫	CH=3000
A48	2

職員女子ﾄｲﾚ前室	CH=2700
J13	1

職員女子ﾄｲﾚ	CH=2700
J17	1

職員男子ﾄｲﾚ	CH=2700
J17	2
U20	1

油脂庫	CH=直天
XC27ex	1

PS(2)	CH=直天
D15	1

車庫	CH=4500
E46w	35
Q20w	1

職員通用口	CH=3000
M17w	1

通路	CH=3000
J13	8

EPS	CH=直天
C48	1

資機材倉庫	CH=3000
A30	8

災害対策室(研修室)	CH=4000
G48RS	18

収納庫	CH=3000
A30	2

PS(3)	CH=直天
D15	1

だれでもﾄｲﾚ	CH=2700
J13	2
U20	1

女子ﾄｲﾚ	CH=2700
J08	2
J17	2
U20	1

男子ﾄｲﾚ	CH=2700
J05	1
J08	3
J17	1
U20	1

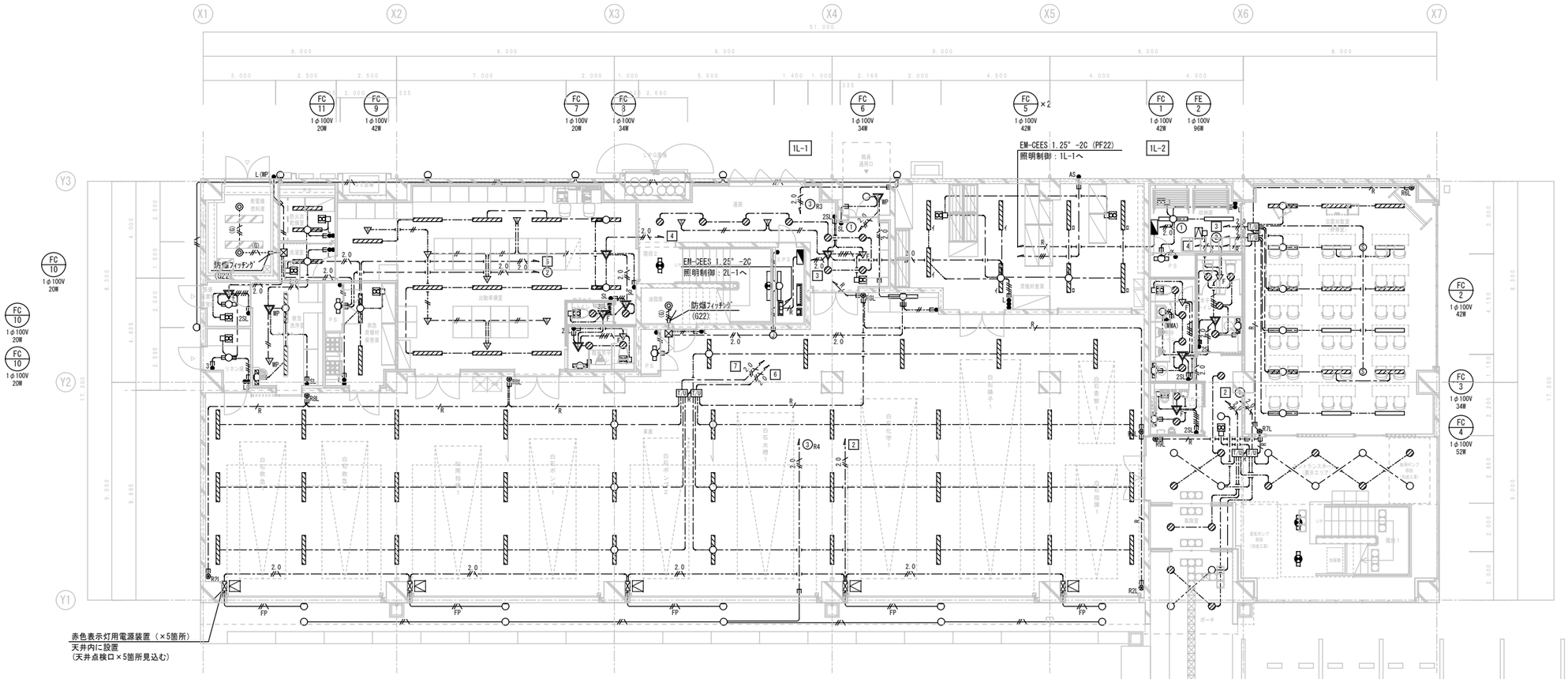
ｴﾝﾄﾗﾝｽﾎｰﾙ	CH=4000
J08	14

風除室	CH=3000
K250	2

ﾎﾟｰﾁ	CH=3000
M08w	4

外部(北・西側)	CH= -
S60ws	6

外部(車庫前)	CH= -
XD1w	5
XG1w	5



1階平面図　1/100

特記事項

記号	名称	適用
	電灯分電盤	仕様は盤結線図参照
	照明器具 ﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ	器具参考姿図参照
	照明器具 ﾍﾞｰｽﾗｲﾄ	器具参考姿図参照
	照明器具 ﾌﾞﾗｹｯﾄ	器具参考姿図参照
	照明器具 ﾌﾞﾗｹｯﾄ	器具参考姿図参照
	照明器具 ｽｸｴｱﾍﾞｰｽ	器具参考姿図参照
	照明器具 ｽﾎﾟｯﾗｲﾄ	器具参考姿図参照
	GC保安照明 ﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ	器具参考姿図参照
	GC保安照明 ﾍﾞｰｽﾗｲﾄ	器具参考姿図参照
	GC保安照明 ﾌﾞﾗｹｯﾄ	器具参考姿図参照
	GC保安照明 ﾌﾞﾗｹｯﾄ	器具参考姿図参照
	GC保安照明 ｽｸｴｱﾍﾞｰｽ	器具参考姿図参照
	GC保安照明 ｽﾎﾟｯﾗｲﾄ	器具参考姿図参照
●	埋込ｽｲｯﾁ（新金ﾌﾟﾚｰﾄ）	1P15A×1 片切
●3	埋込ｽｲｯﾁ（新金ﾌﾟﾚｰﾄ）	3W15A×1 3路
●L	埋込ｽｲｯﾁ（新金ﾌﾟﾚｰﾄ）	1PL 4A×1 通電表示型
●L(WP)	埋込ｽｲｯﾁ（防水ﾌﾟﾚｰﾄ）	1PL 4A×1 通電表示型
⊕nL	ﾌﾙ2線式ﾘﾓｺﾝｽｲｯﾁ	n=回路数
●SL	熱線ｾﾝｻｰ用操作ｽｲｯﾁ	1回路用
●2SL	熱線ｾﾝｻｰ用操作ｽｲｯﾁ	2回路用

記号	名称	適用
	熱線式人感ｾﾝｻｰ 親機	広角検知 8A LED対応
	熱線式人感ｾﾝｻｰ 親機	広角検知 8A 換気扇連動型
	熱線式人感ｾﾝｻｰ 親機	広角検知 8A 屋外用
	熱線式人感ｾﾝｻｰ 子機	広角検知
	熱線式人感ｾﾝｻｰ 子機	換気扇連動型
	熱線式人感ｾﾝｻｰ 子機	換気扇連動型 屋外用
Ⓢ	無線照明制御用中継器	※照明器具参考姿図参照
●AS	自動点滅器	電子式 AC100V
	ﾗｲﾃｨﾝｸﾞﾀﾞｸﾄ	直付型 2PE15A 125V
T/U	T/Uｲﾝﾀﾞｸﾄﾚｰﾕﾆｯﾄ	天井用 4回路用
□	防雨入線ｶﾊﾞｰ	壁付型
⊠	換気扇(壁・天井付)	機械設備工事
	換気ﾌｧﾝ(天井内)	機械設備工事
□US	ﾕﾆｯﾄｼｬﾜｰ 電源ﾎﾞｯｸｽ	建築工事
	ｹｰﾌﾞﾙﾗｯｸ(立上部)	※幹線・動力設備図参照
Ⓙ	ｼﾞｮｲﾝﾄﾎﾞｯｸｽ	0B 中浅型
□	位置ﾎﾞｯｸｽ	0B 中浅型
⊠	ﾌﾟﾙﾎﾞｯｸｽ	ｻｲｽﾞ・仕様は附記参照 特記なき場合は SS200x200x100 を示す
E-ｺ	防火区画貫通処理	金属管工法

配線凡例	配線種別	保護管	備考
—-—//—-—E—	EM-EEF 1.6-2C	(PF16)	-
—-——-—E—	EM-EEF 1.6-3C	(PF22)	-
—-—///—-—E—	EM-EEF 1.6-2C×2	(PF22)	-
—-—///—-—E—	EM-EEF 1.6-2C +3C	(PF28)	-
—-—///—-—E—	EM-EEF 1.6-3C×2	(PF28)	-
—-2.0//—-—E—	EM-EEF 2.0-3C	(PF22)	-
—-//(MMA)—E—	EM-EEF 1.6-2C	(MM-A)	露出
——//——	EM-EEF 1.6-2C	(PF16)	-
——//——	EM-EEF 1.6-3C	(PF22)	-
- -(G)//- - -	EM-EEF 1.6-3C	(G22)	露出
—-FP//—-—E—	EM-FPC 1.6-3C	(PF22)	-
—-R//—-—E—	EM-CEES 1.25° -2C	(PF22)	-
- -R// - -	EM-CEES 1.25° -2C	(PF22)	-

<配線種別>

—-——-—E—	天井ｺﾛｶﾞｼﾞﾗｯｸ配線	---------- 露出配管
————	天井隠蔽配管	—··—··— 地中埋設配管配線
— — — —	床隠蔽配管	—E—ｺ— 壁貫通保護

<注記>
- 防火区画貫通部は国土交通大臣認定工法にて適切に処理する。
- 壁内立上げ・立下げ、および露出部は適合電線管にて保護する。
- 防火区画壁内の位置ﾎﾞｯｸｽは鉄製とし、ｶﾞｿﾞﾌﾞｱｰｽを施す。
- ｽｲｯﾁは全てｶﾞｰﾑ付とし、AC系統とAC/GC系統でﾈｰﾑ台紙を色分けすること。
- 赤色灯や天井内T/Uの設置個所近傍に、天井点検口(建築工事)を設置する。

<照明人感ｾﾝｻｰ制御について>
照明の人感ｾﾝｻｰ制御を行う部屋（下記参照）には、下記のﾌﾟﾚｰﾄを必要設置数見込むこと。設置詳細位置は現地協議のうえ決定とし、両面ﾃｰﾌﾟ等で堅固に貼付する。
- ・材質：アクリル板（白地）
- ・文字：印刷文字（黒及び赤）
- ・参考文例：「このトイレの電気は、動くとつきます。しばらく動かないと電気が消えますので、もう一度体を動かしてください。」

人感ｾﾝｻｰ制御部屋と必要見込枚数

(1) 1F 男子ﾄｲﾚ	:	3枚
(2) 1F 女子ﾄｲﾚ	:	3枚
(3) 1F だれでもﾄｲﾚ	:	2枚
(4) 1F 通路	:	2枚
(5) 1F 出勤準備室	:	6枚
(6) 1F 職員男子ﾄｲﾚ	:	3枚
(7) 1F 職員女子ﾄｲﾚ	:	2枚
(8) 1F 救急洗浄室	:	3枚
(9) 1F 医療廃棄物保管庫	:	1枚
(10) 2F 男子ﾄｲﾚ	:	3枚
(11) 2F 女子ﾄｲﾚ	:	1枚
(12) 2F 職員男子ﾄｲﾚ	:	4枚
(13) 2F 職員女子ﾄｲﾚ	:	1枚
合計	:	34枚

JOB NO

白石消防署庁舎建替工事　【庁舎棟】電灯(電灯分岐)設備 1階平面図　E-16

DATE	SCAL	DRAWN	CHECK
R8.05.29	(A 1) 1／100 (A 3) 1／200		

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号 永野ますみ

女子仮眠前室	CH=2700
J17	2

女子ﾄｲﾚ･洗面･脱衣室	CH=2500
E46w	2
J17	1
0200w	1
U20	1

書庫	CH=3000
A23	9

倉庫	CH=2700
A48	1

PS(4)	CH=直天
D15	1

ﾊﾟﾝﾄﾘｰ	CH=3000
A48	1

待機室(小上り)	CH=2600
L350	2

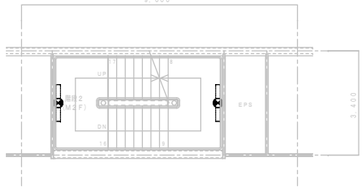
男子洗面・脱衣室	CH=2500
E46w	3
0200w	3
U20	3

待機室	CH=3000
L200	12
T20	3
V15	1
XE1	3
XF1	2

廊下2	CH=2700
J17	15

職員男子ﾄｲﾚ	CH=2500
J05	1
J17	5
U20	2

ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞﾙｰﾑ	CH=2700
H69	4



中2階 階段2平面図　1/100

EPS	CH=直天
C48	1

会議ｽﾍﾟｰｽ	CH=3000
G65RS	4

署長室	CH=2700
H69	4

更衣室	CH=2700
A48	1

事務室	CH=3000
G65RS	25

廊下1	CH=3000
J13	6

仮眠室1～19	CH=2700
I10	1
XA03C	1
	×19室

PS(5)	CH=直天
D15	1

階段1	CH=3000
K250	4

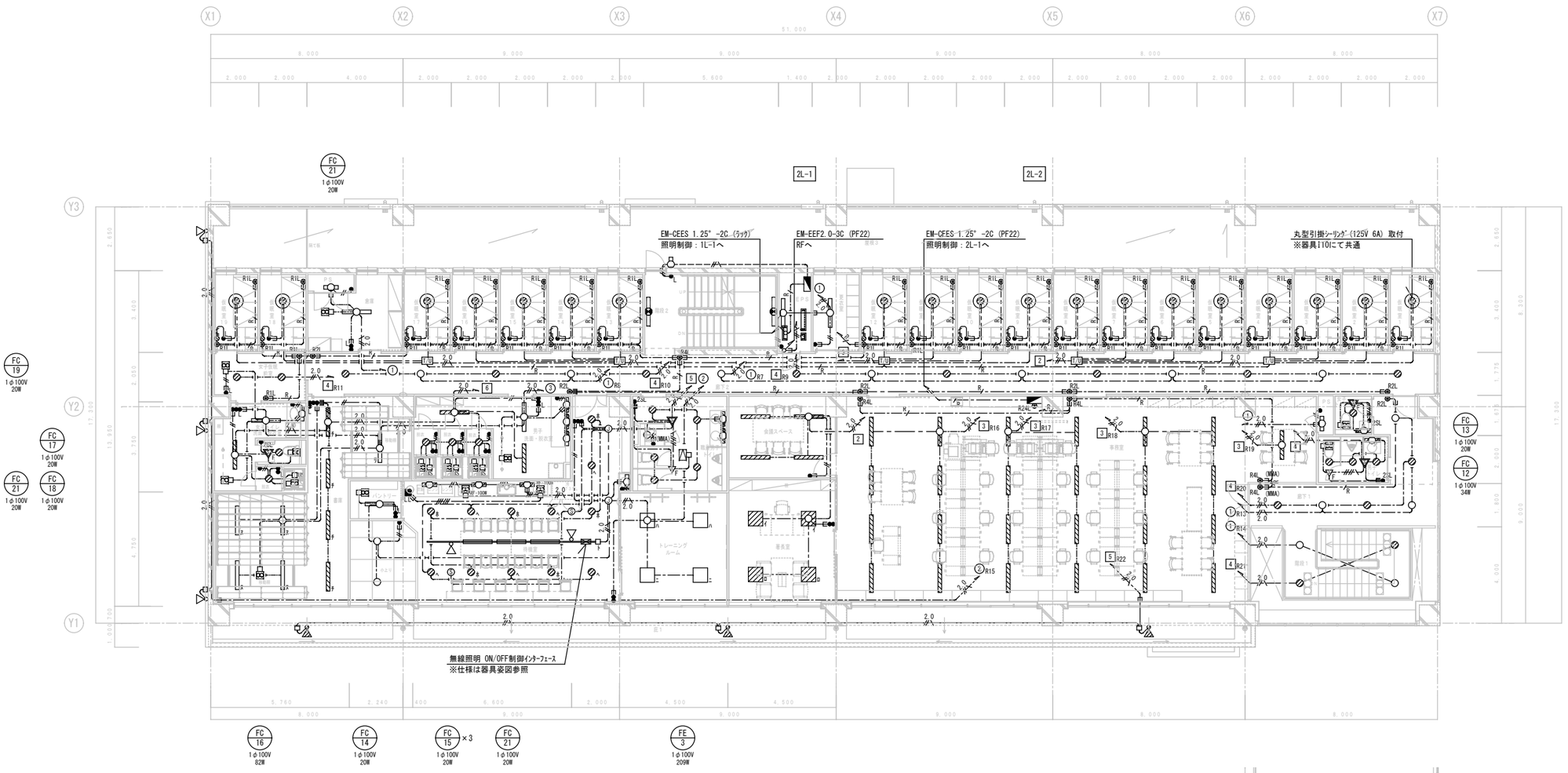
女子ﾄｲﾚ	CH=2700
J13	1
U20	1

男子ﾄｲﾚ	CH=2700
J08	2
J17	1
U20	1

屋根3(出入口)	CH= -
R13w	1

外部(西側)	CH= -
Z250w	3

外部(車庫前)	CH= -
Z400w	3



<2L-2扉面照明ﾘﾓｺﾝSW 内訳>

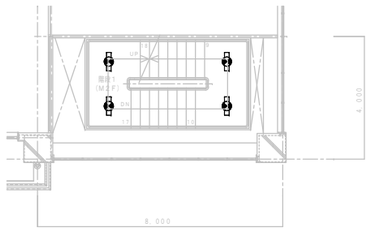
・1Fｴﾝﾄﾗﾝｽﾎｰﾙ 照明	5L
・1F風除室､ﾎﾞｰﾁ 照明	3L
・2F廊下1､階段1 照明	4L
・1F共用部一括	1L
・2F共用部一括	1L
・庁舎棟外部照明	4L
・外灯	3L
・外部照明/外灯 一括	1L
・予備(将来用)	2L
計	24L

※ﾜｲﾔﾚｽｱﾄﾞﾚｽ設定器1台納入すること。

<ﾗｲﾃｨﾝｸﾞﾀﾞｸﾄ：待機室>　×1ヶ所

ｼｮｯﾌﾟﾗｲﾝ15 2P15A 125V E付　1.5m×2本
ｼｮｯﾌﾟﾗｲﾝ15 2P15A 125V E付　2.0m×2本
ﾌｨｰﾄﾞｲﾝｷｬｯﾌﾟ(端末型)　×1ヶ
ｼﾞｮｲﾅｰ(ｽﾄﾚｰﾄ型)　×3ヶ
ｴﾝﾄﾞｷｬｯﾌﾟ　×1ヶ

2階平面図　1/100



中2階 階段1平面図　1/100

JOB NO

白石消防署庁舎建替工事　【庁舎棟】電灯(電灯分岐)設備 2階平面図　E-17

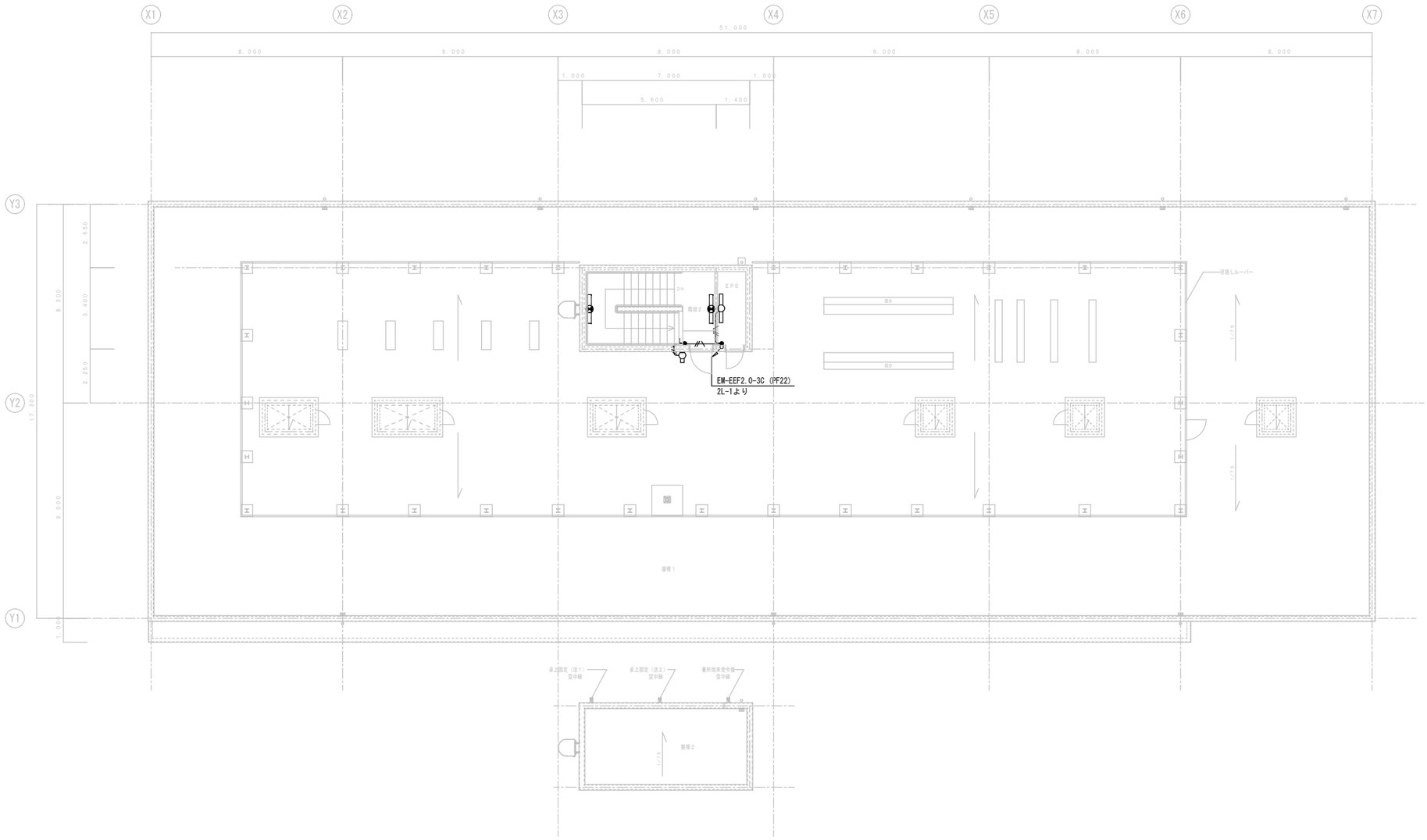
株式会社 構 建築設計事務所

DATE R8.05.29　SCAL (A 1) 1/100 (A 3) 1/200　DRAWN　CHEK

一級建築士 第 357230 号 永野ますみ

EPS	CH=直天
C48	1

屋上	CH= -
R13w	1



階段2屋根伏図　1/100

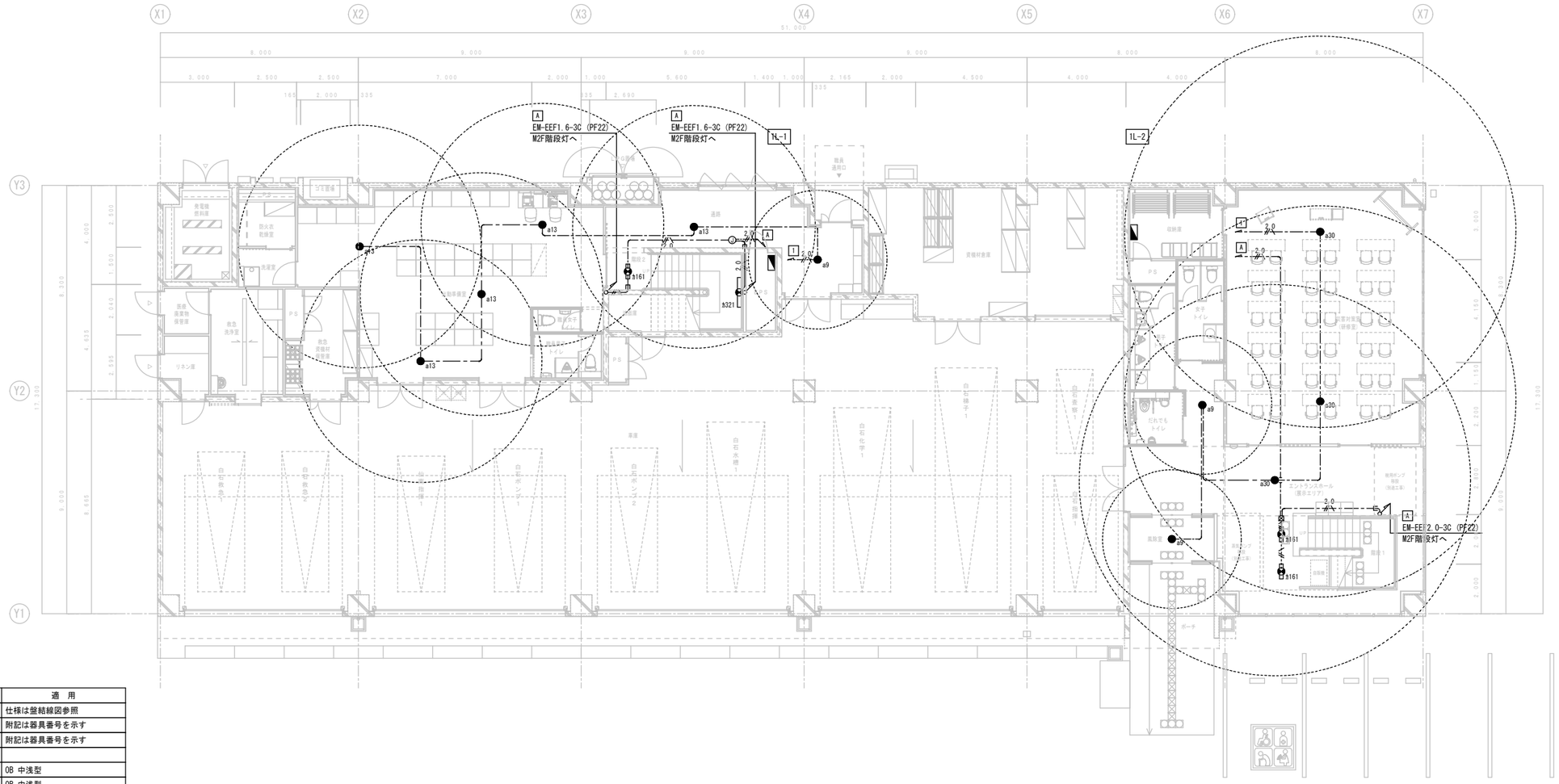
R階平面図　1/100

JOB NO

白石消防署庁舎建替工事　【庁舎棟】電灯(電灯分岐)設備 R階平面図　E-18

DATE	SCAL	DRAWN	CHEK
R8.05.29	(A 1) 1／100 (A 3) 1／200		

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号 永野ますみ



1階平面図　1/100

特記事項

記　号	名　称	適　用
	電灯分電盤	仕様は盤結線図参照
●	非常照明	附記は器具番号を示す
	階段灯	附記は器具番号を示す
ⓙ	ｼﾞｮｲﾝﾄﾎﾞｯｸｽ	OB 中浅型
□	位置ﾎﾞｯｸｽ	OB 中浅型
⊠	ﾌﾟﾙﾎﾞｯｸｽ	ｻｲｽﾞ・仕様は附記参照 特記なき場合は SS200x200x100 を示す
E-E	防火区画貫通処理	金属管工法

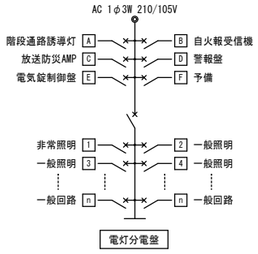
配線凡例	配線種別	保護管	備　考
——-·-E	EM-EEF 1.6-3C	(PF22)	-
—2.0/\/\—E	EM-EEF 2.0-3C	(PF22)	-
---/\/\---	EM-EEF 1.6-3C	(E25)	塗装

＜配線種別＞

——-·-E	天井ｺﾛｶﾞｼﾗ/ﾗｯｸ配線	---------	露出配管
————	天井隠蔽配管	—··—··—	地中埋設配管配線
— — — —	床隠蔽配管	—E—E—	壁貫通保護

＜注記＞
・防火区画貫通部は国土交通大臣認定工法にて適切に処理する。
・壁内立上げ･立下げ、および露出部は適合電線管にて保護する。

＜電灯分電盤参考結線図＞



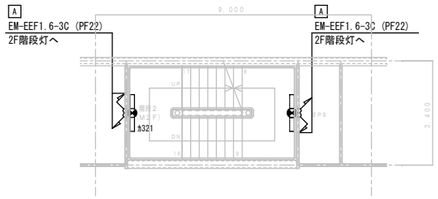
JOB NO

白石消防署庁舎建替工事　【庁舎棟】電灯(非常照明)設備 1階平面図　E-19

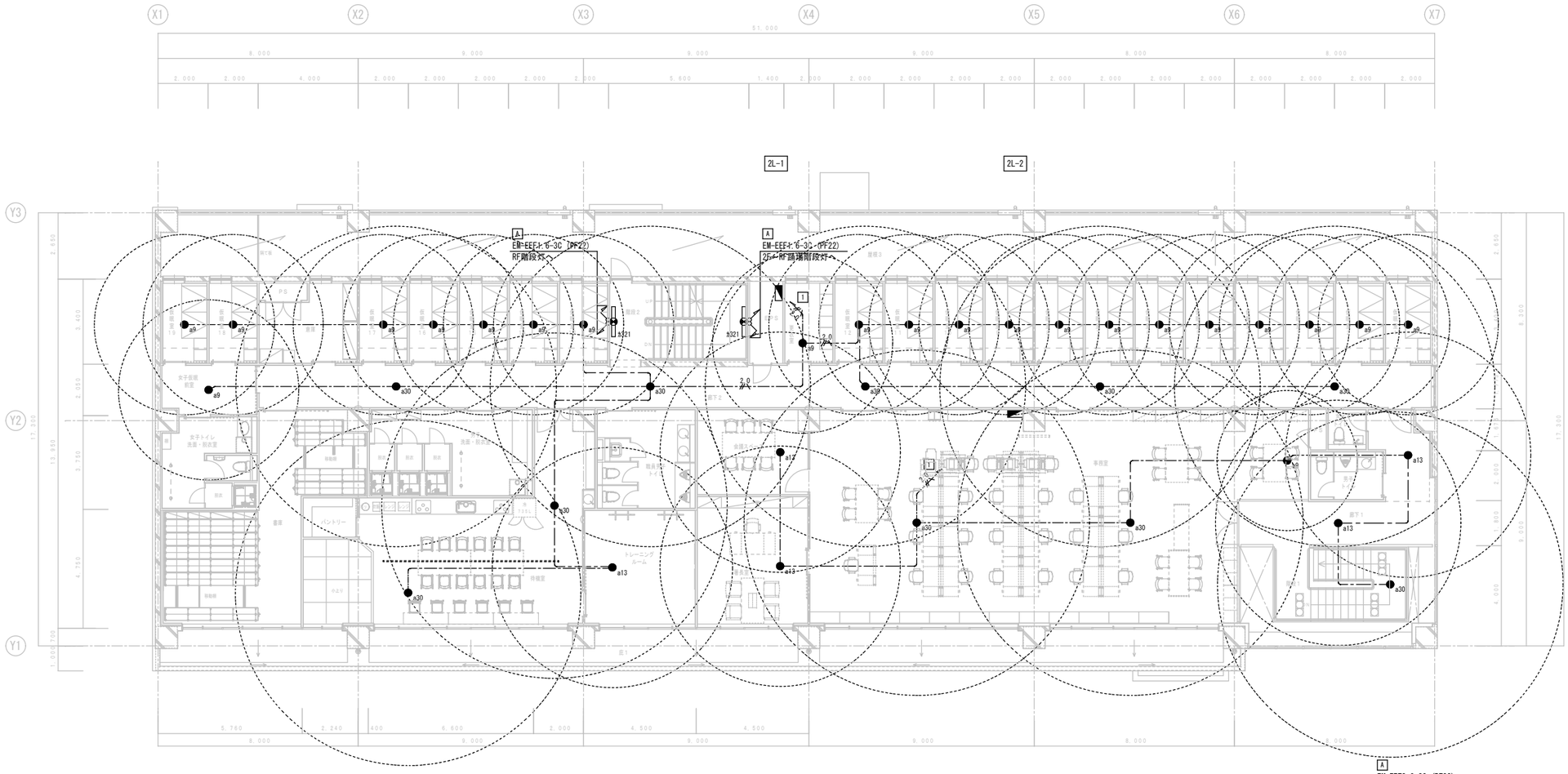
株式会社 構 建築設計事務所

DATE R8.05.29　SCAL (A 1) 1／100 (A 3) 1／200　DRAWN　CHEK

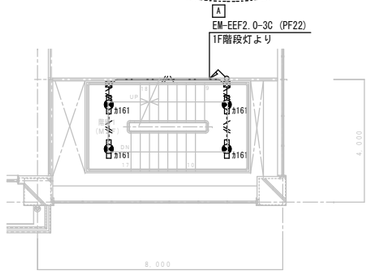
一級建築士 第 357230 号 永野ますみ



中2階 階段2平面図　1/100



2階平面図　1/100



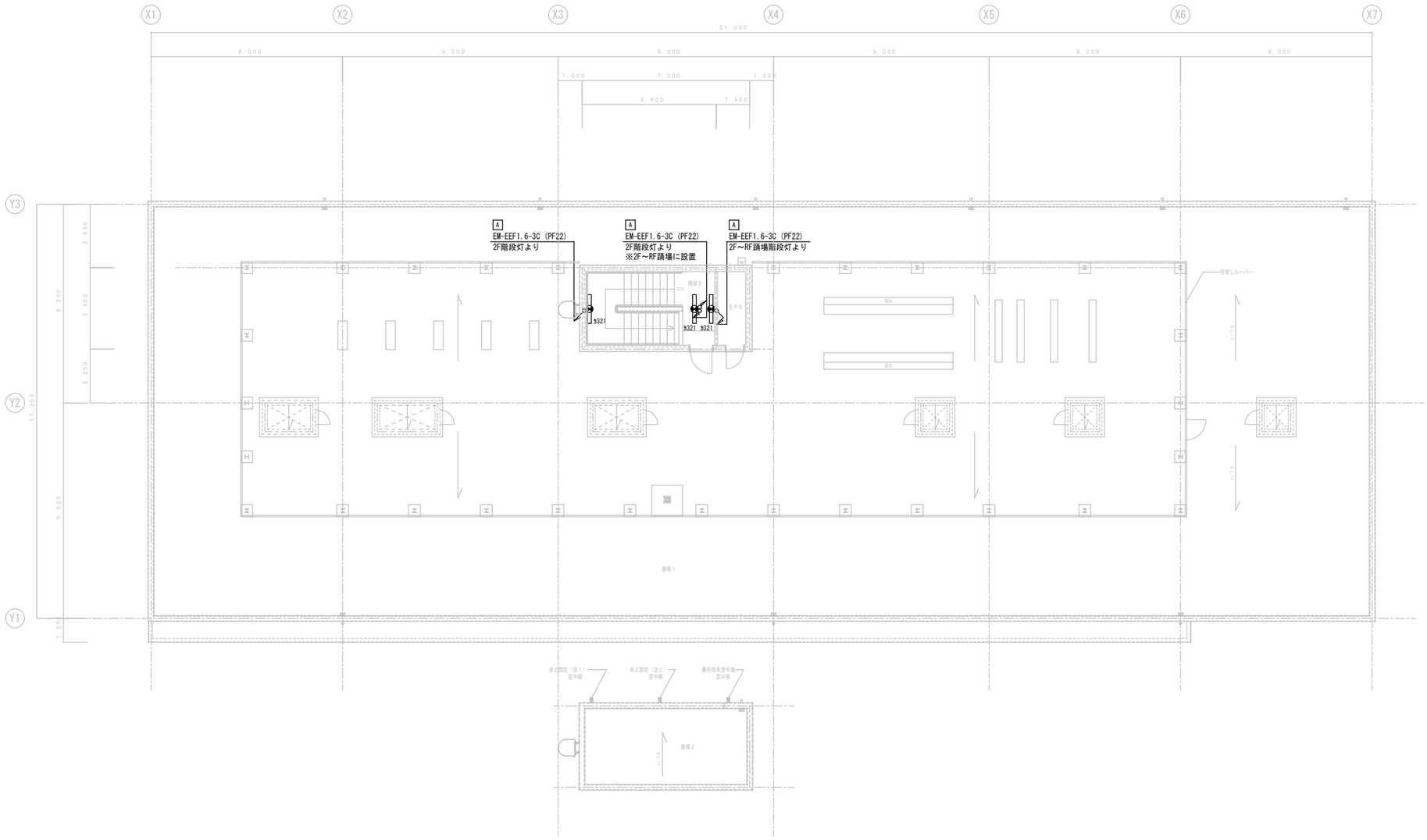
中2階 階段1平面図　1/100

JOB NO

白石消防署庁舎建替工事　【庁舎棟】電灯(非常照明)設備 2階平面図　E-20

DATE R8.05.29　SCAL (A 1) 1／100 (A 3) 1／200　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号 永野ますみ



階段2屋根伏図　1/100

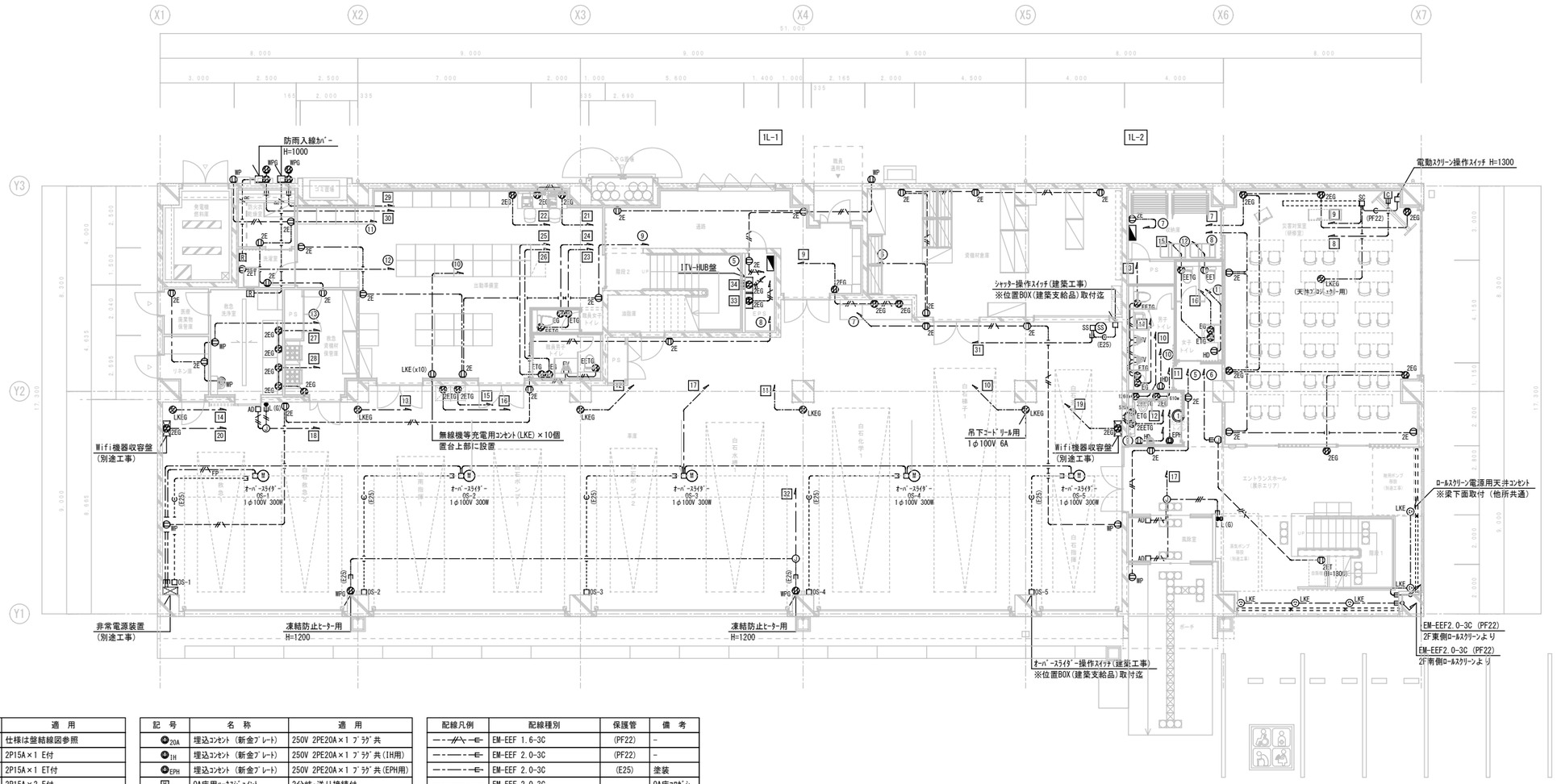
R階平面図　1/100

JOBNO

白石消防署庁舎建替工事　【庁舎棟】電灯(非常照明)設備 R階平面図　E-21

DATE	SCAL	DRAWN	CHEK
R8.05.29	(A 1) 1／100 (A 3) 1／200		

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号 永野ますみ



1階平面図　1/100

特記事項

記号	名称	適用
	電灯分電盤	仕様は盤結線図参照
E	埋込ｺﾝｾﾝﾄ（新金ﾌﾟﾚｰﾄ）	2P15A×1 E付
ET	埋込ｺﾝｾﾝﾄ（新金ﾌﾟﾚｰﾄ）	2P15A×1 ET付
2E	埋込ｺﾝｾﾝﾄ（新金ﾌﾟﾚｰﾄ）	2P15A×2 E付
2ET	埋込ｺﾝｾﾝﾄ（新金ﾌﾟﾚｰﾄ）	2P15A×2 ET付
EET	埋込ｺﾝｾﾝﾄ（新金ﾌﾟﾚｰﾄ）	2P15A×1 E･ET付
2EET	埋込ｺﾝｾﾝﾄ（新金ﾌﾟﾚｰﾄ）	2P15A×2 E･ET付
HD	埋込ｺﾝｾﾝﾄ（新金ﾌﾟﾚｰﾄ）	2P15A×1 ET付（ﾊﾝﾄﾞﾄﾞﾗｲﾔｰ用）
S+USB	埋込ｺﾝｾﾝﾄ（家具用ﾌﾟﾚｰﾄ）	2P15A×1 扉付 + USB給電ｺﾝｾﾝﾄ
WP	防水ｺﾝｾﾝﾄ	2P15A×3 ET付
LKE	天井付ｺﾝｾﾝﾄ（新金ﾌﾟﾚｰﾄ）	2P15A×2 E付 抜止型
EG	埋込ｺﾝｾﾝﾄ（新金ﾌﾟﾚｰﾄ）	2P15A×1 E付 ※GC回路
ETG	埋込ｺﾝｾﾝﾄ（新金ﾌﾟﾚｰﾄ）	2P15A×1 ET付 ※GC回路
2EG	埋込ｺﾝｾﾝﾄ（新金ﾌﾟﾚｰﾄ）	2P15A×2 E付 ※GC回路
2ETG	埋込ｺﾝｾﾝﾄ（新金ﾌﾟﾚｰﾄ）	2P15A×2 ET付 ※GC回路
EETG	埋込ｺﾝｾﾝﾄ（新金ﾌﾟﾚｰﾄ）	2P15A×1 E･ET付 ※GC回路
2EETG	埋込ｺﾝｾﾝﾄ（新金ﾌﾟﾚｰﾄ）	2P15A×2 E･ET付 ※GC回路
WPG	防水ｺﾝｾﾝﾄ	2P15A×3 ET付 ※GC回路
LKEG	天井付ｺﾝｾﾝﾄ（新金ﾌﾟﾚｰﾄ）	2P15A×2 E付 抜止型 ※GC回路
2EG	床埋込ｺﾝｾﾝﾄ	2P15A×2 E付 ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ格納型 ※GC回路

記号	名称	適用
20A	埋込ｺﾝｾﾝﾄ（新金ﾌﾟﾚｰﾄ）	250V 2PE20A×1 ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ共
1H	埋込ｺﾝｾﾝﾄ（新金ﾌﾟﾚｰﾄ）	250V 2PE20A×1 ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ共(1H用)
EPH	埋込ｺﾝｾﾝﾄ（新金ﾌﾟﾚｰﾄ）	250V 2PE20A×1 ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ共(EPH用)
2	OA床用ﾊｰﾈｽｼﾞｮｲﾝﾄ	2分岐・送り接続付
2G	OA床用ﾊｰﾈｽｼﾞｮｲﾝﾄ	2分岐・送り接続付 ※GC回路
	ﾊｰﾈｽ用OAﾀｯﾌﾟ	2P15A×4 E付 ｺｰﾄﾞ3m付
C	ｶｯﾄﾘﾚｰｺﾝｾﾝﾄ	2P15A×1 E付 通電表示付
L	埋込ｽｲｯﾁ（新金ﾌﾟﾚｰﾄ）	1PL 4A×1 通電表示型
L(G)	埋込ｽｲｯﾁ（ｶﾞｰﾄﾞﾌﾟﾚｰﾄ）	1PL 4A×1 通電表示型
AD	自動ﾄﾞｱ 電源	※電源接続迄
FV	小便器自動水栓 電源	※電源接続迄
SC	電動ｽｸﾘｰﾝ 電源	※電源接続迄
SS	ｼｬｯﾀｰ 電源	※電源接続迄
K	給湯器用ｺﾝﾄﾛｰﾗｰ	機械設備支給品取付
	ｹｰﾌﾞﾙﾗｯｸ(立上部)	※幹線・動力設備図参照
J	ｼﾞｮｲﾝﾄﾎﾞｯｸｽ	0B 中浅型
	位置ﾎﾞｯｸｽ	0B 中浅型
	ﾌﾟﾙﾎﾞｯｸｽ	ｻｲｽﾞ・仕様は附記参照 特記なき場合は SS200x200x100 を示す
	防火区画貫通処理	金属管工法

配線凡例	配線種別	保護管	備考
	EM-EEF 1.6-3C	(PF22)	-
	EM-EEF 2.0-3C	(PF22)	-
	EM-EEF 2.0-3C	(E25)	塗装
	EM-EEF 2.0-3C	-	OA床ｺﾛｶﾞｼ
	EM-IE 2.0×3	(PF16)	-
	EM-IE 2.0×3	(PF16)	-
FP	EM-FPC 1.6-3C	(E25)	塗装
AE	EM-CEES 1.25°-2C	(PF22)	-
(PF22)	導入線 1.2mm	(PF22)	-
(E25)	導入線 1.2mm	(E25)	塗装

＜配線種別＞

	天井ｺﾛｶﾞｼﾗｯｸ配線		露出配管
	天井隠蔽配管		地中埋設配管配線
	床隠蔽配管		壁貫通保護

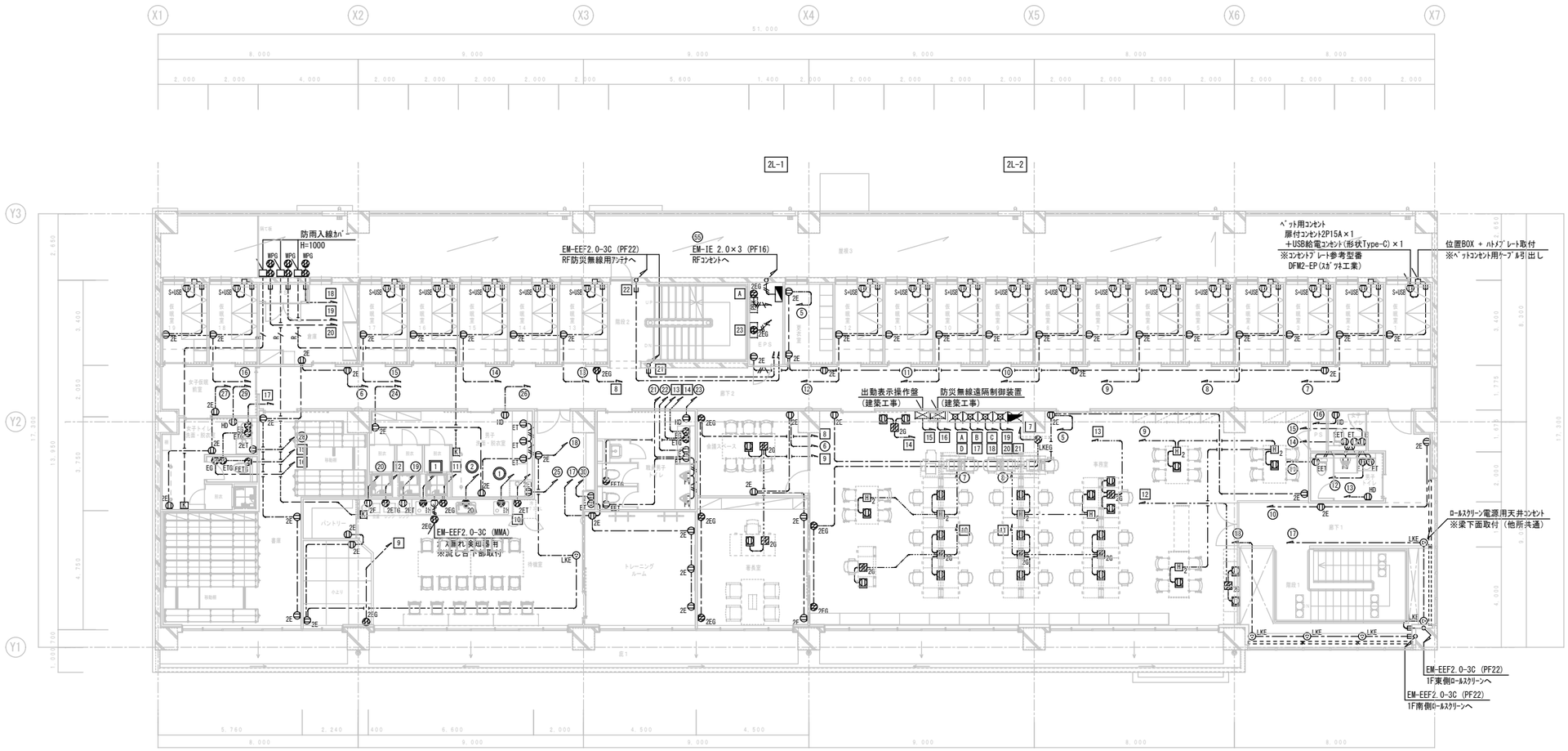
＜注記＞
・防火区画貫通部は国土交通大臣認定工法にて適切に処理する。
・壁内立上げ・立下げ、および露出部は適合電線管にて保護する。
・防火区画壁内の位置ﾎﾞｯｸｽは鉄製とし、ｷﾞﾝﾄﾞｱｰｽを施す。
・ｺﾝｾﾝﾄ本体について、AC系統とAC/GC系統で色分けすること。
・各ｺﾝｾﾝﾄに回路番号表示ｼｰﾙを貼付すること。
・OA ﾌﾛｱからのｺﾝｾﾝﾄ引出し位置については、机等什器配置に合せること。

JOB NO

白石消防署庁舎建替工事　【庁舎棟】電灯(ｺﾝｾﾝﾄ分岐)設備 1階平面図　E-22

DATE	SCAL	DRAWN	CHEK
R8.05.29	(A 1) 1／100 (A 3) 1／200		

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号 永野ますみ



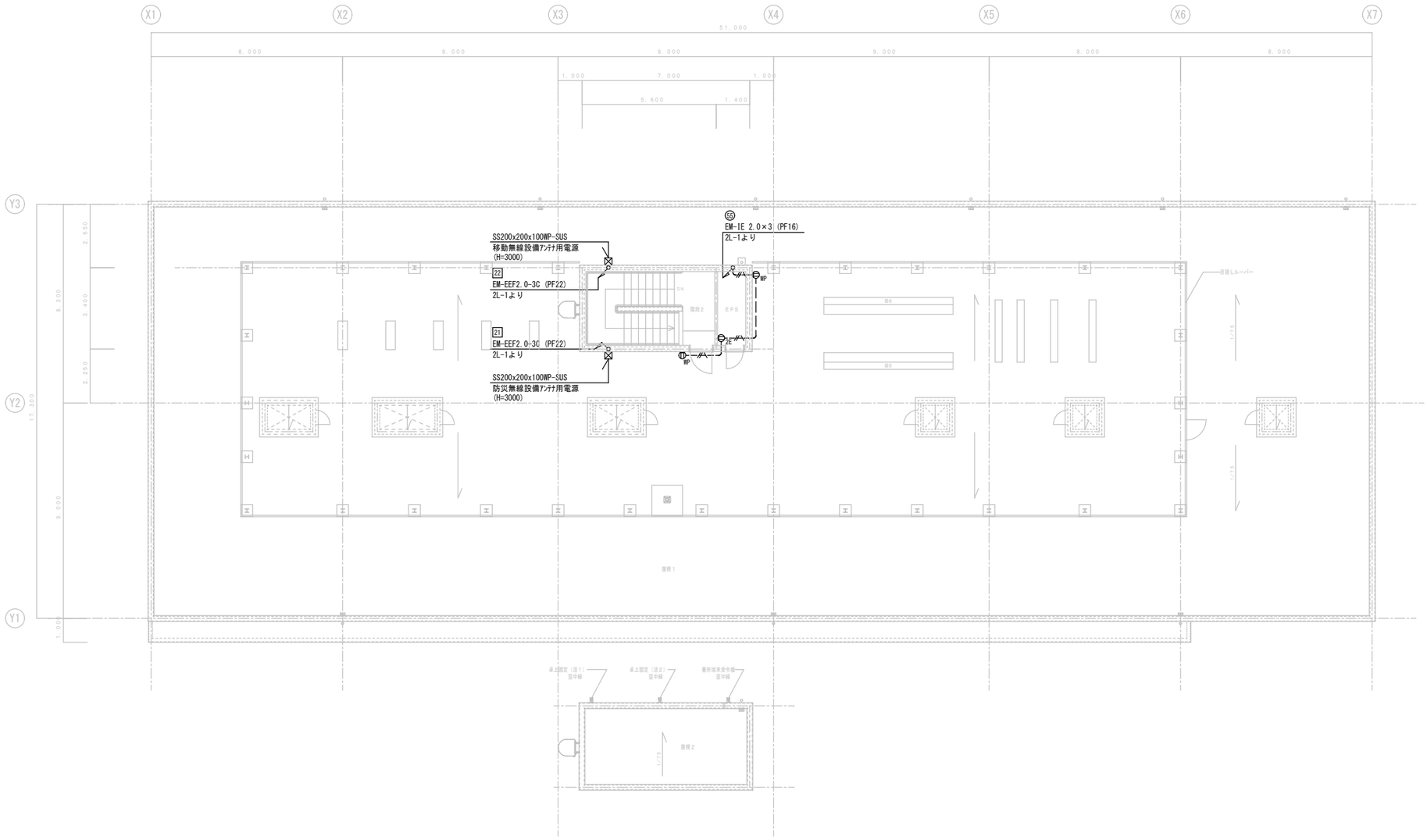
2階平面図　1/100

JOB NO

白石消防署庁舎建替工事　【庁舎棟】電灯(ｺﾝｾﾝﾄ分岐)設備 2階平面図　E-23

DATE R8.05.29　SCAL (A 1) 1／100 (A 3) 1／200　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号 永野ますみ



階段2屋根伏図　1/100

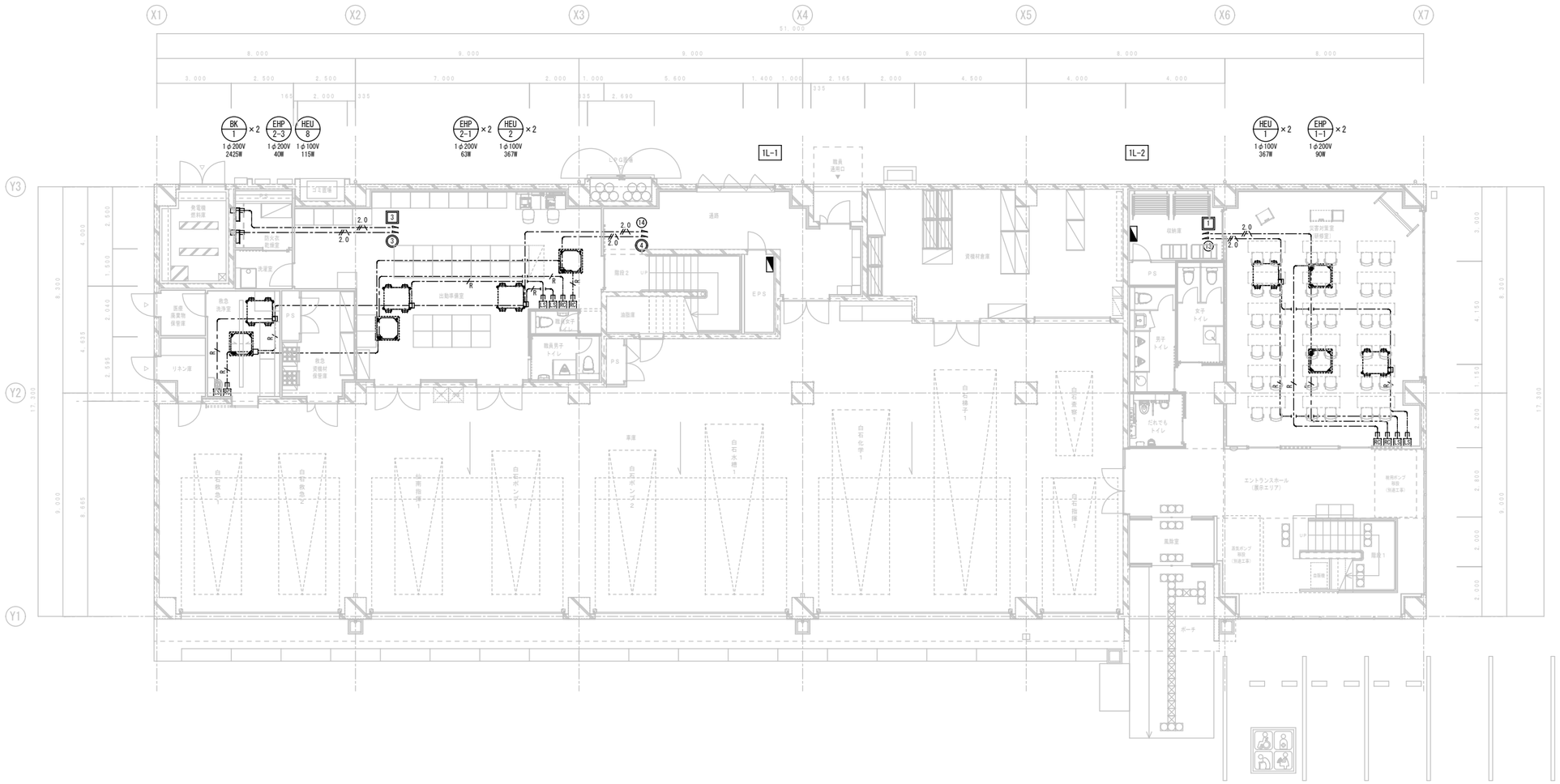
R階平面図　1/100

JOB NO

白石消防署庁舎建替工事　【庁舎棟】電灯(ｺﾝｾﾝﾄ分岐)設備 R階平面図　E-24

DATE R8.05.29　SCAL (A 1) 1／100 (A 3) 1／200　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号 永野ますみ



1階平面図　1/100

特記事項

記号	名称	適用
	電灯分電盤	仕様は盤結線図参照
	ｹｰﾌﾞﾙﾗｯｸ	ｻｲｽﾞ・仕様は図示参照
	ｹｰﾌﾞﾙﾗｯｸ(立上部)	ｻｲｽﾞ・仕様は図示参照
15/20AE	埋込ｺﾝｾﾝﾄ（新金ﾌﾟﾚｰﾄ）	125V 2P15A・20A兼用×1 E・ET付
●24H	24H換気用ｽｲｯﾁ	ｶﾊﾞｰ付入/切ｽｲｯﾁ 動作表示灯付
	全熱交換機用ｺﾝﾄﾛｰﾗｰ	機械設備支給品取付
	空調室内機用ｺﾝﾄﾛｰﾗｰ	機械設備支給品取付
	換気ﾌｧﾝ	機械設備工事
	全熱交換機	機械設備工事
	ｼﾞｮｲﾝﾄﾎﾞｯｸｽ	OB 中浅型
	位置ﾎﾞｯｸｽ	OB 中浅型
	ﾌﾟﾙﾎﾞｯｸｽ	ｻｲｽﾞ・仕様は附記参照 特記なき場合は SS200x200x100 を示す
	防火区画貫通処理	金属管工法
	防火区画貫通処理	ｹｰﾌﾞﾙﾗｯｸ 壁/床用

配線凡例	配線種別	保護管	備考
	EM-EEF 1.6-2C	(PF16)	-
	EM-EEF 1.6-3C	(PF22)	-
2.0	EM-EEF 2.0-3C	(PF22)	-
8	EM-CEES 1.25" -2C	(PF22)	-

＜配線種別＞

	天井ｺﾝｸﾘｰﾄ配線		露出配管
	天井隠蔽配管		地中埋設配管配線
	床隠蔽配管		壁貫通保護

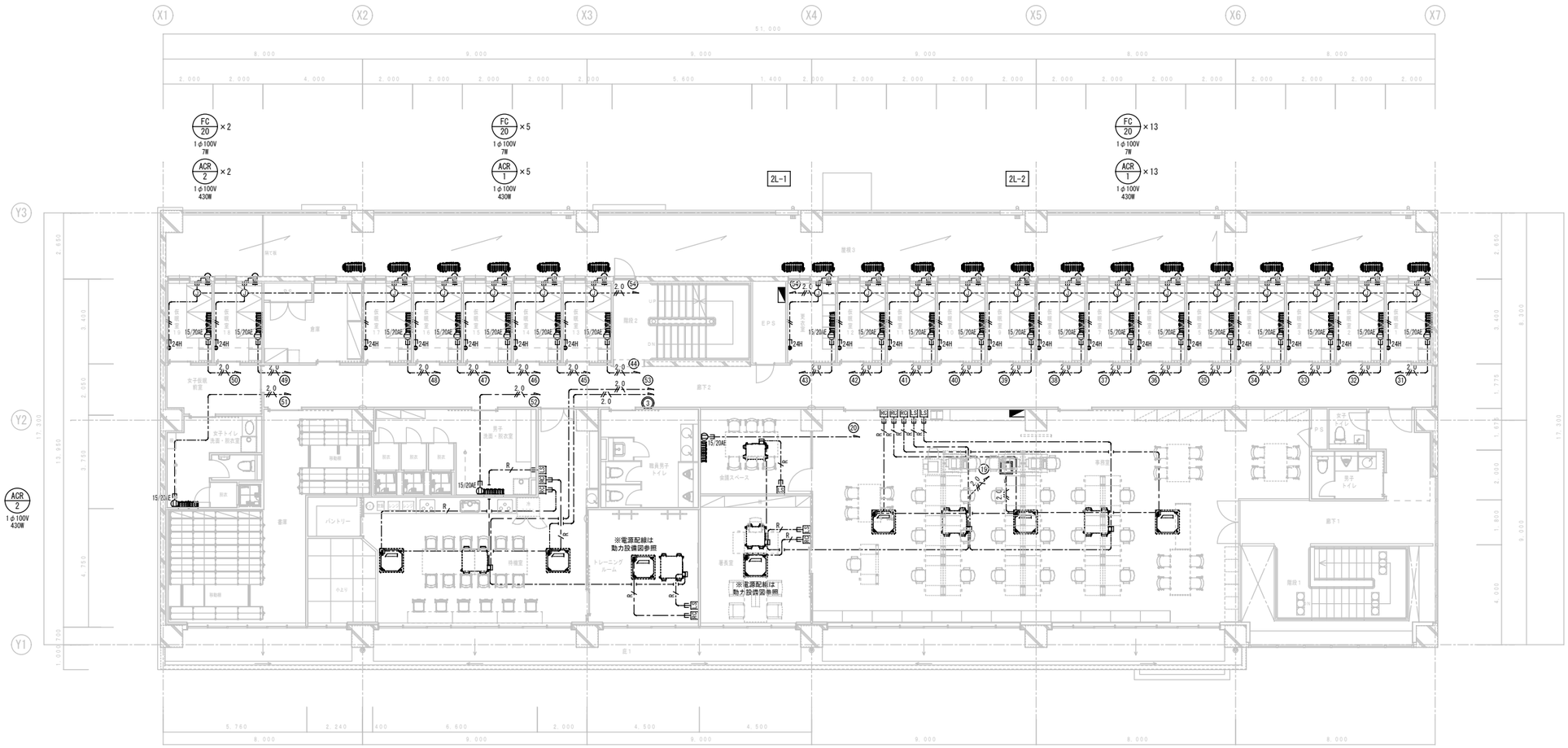
＜注記＞
・防火区画貫通部は国土交通大臣認定工法にて適切に処理する。
・壁内立上げ・立下げ、および露出部は適合電線管にて保護する。
・防火区画壁内の位置ﾎﾞｯｸｽは鉄製とし、ﾎﾞﾝﾄﾞｱｰｽを施す。

JOBNO

白石消防署庁舎建替工事　【庁舎棟】電灯(空調機器電源)設備 1階平面図　E-25

DATE	SCAL	DRAWN	CHEC
R8.05.29	(A 1) 1／100 (A 3) 1／200		

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号 永野ますみ



ACR 3 1φ100V 490W

HEU 7 1φ100V 206W

EHP 2-2 ×2 1φ200V 63W

ACP 2-1 3φ200V 57W

HEU 6 1φ100V 137W

ACR 3 1φ100V 490W

HEU 5 1φ100V 66W

HEU 4 1φ100V 115W

ACP 1-1 3φ200V 57W

EHP 1-2 ×3 1φ200V 90W

HEU 3 1φ100V 107W

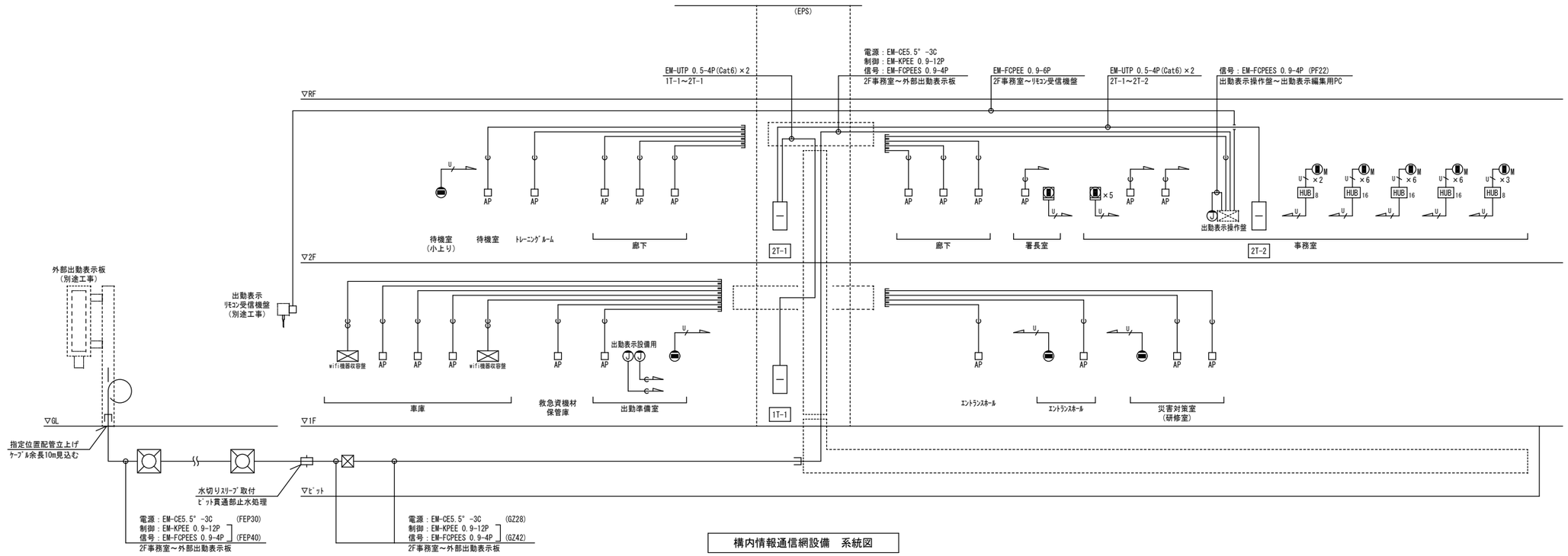
2階平面図　1/100

JOB NO

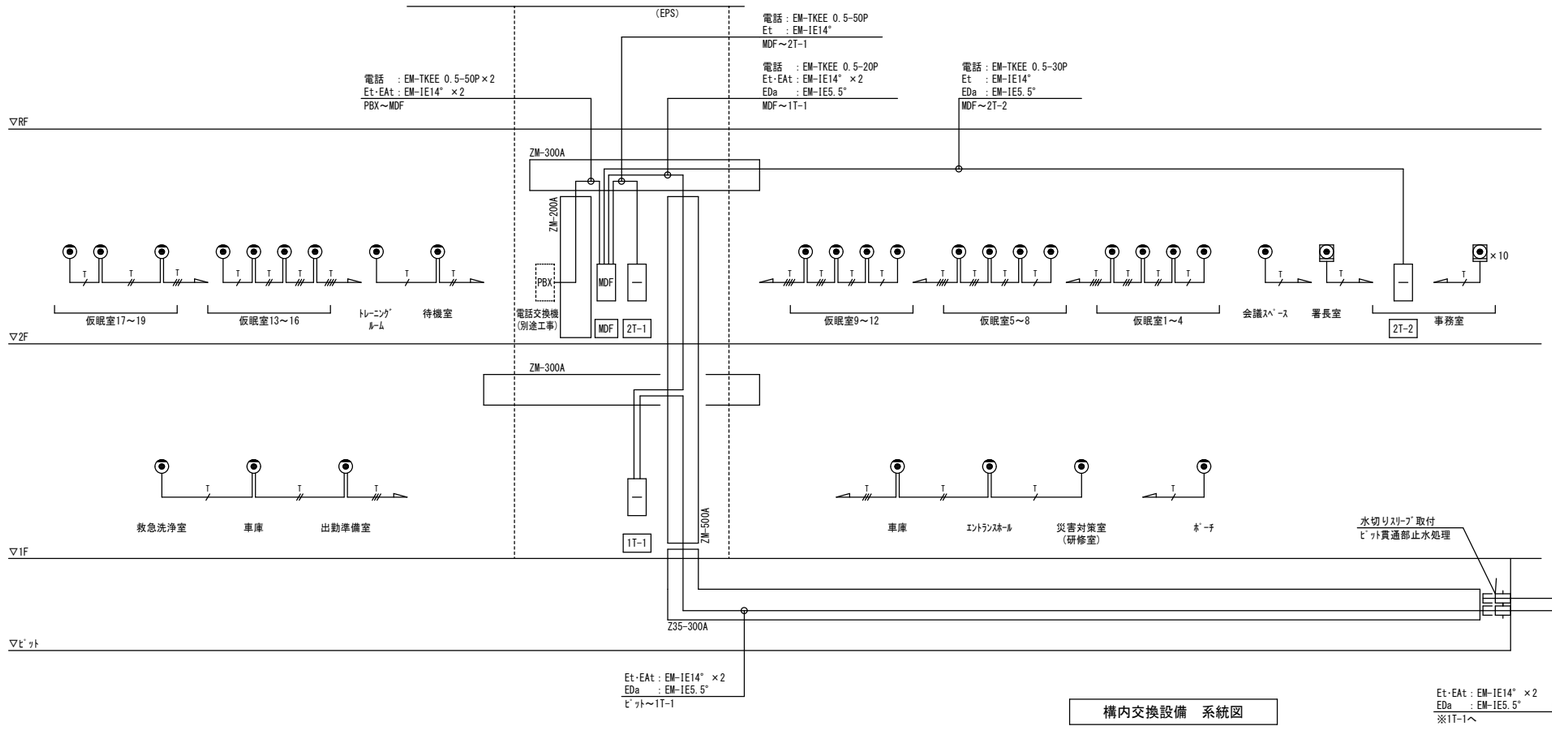
白石消防署庁舎建替工事　【庁舎棟】電灯(空調機器電源)設備 2階平面図　E-26

DATE R8.05.29　SCAL (A 1) 1／100 (A 3) 1／200　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号 永野ますみ



構内情報通信網設備　系統図



構内交換設備　系統図

〈 端子盤表 〉

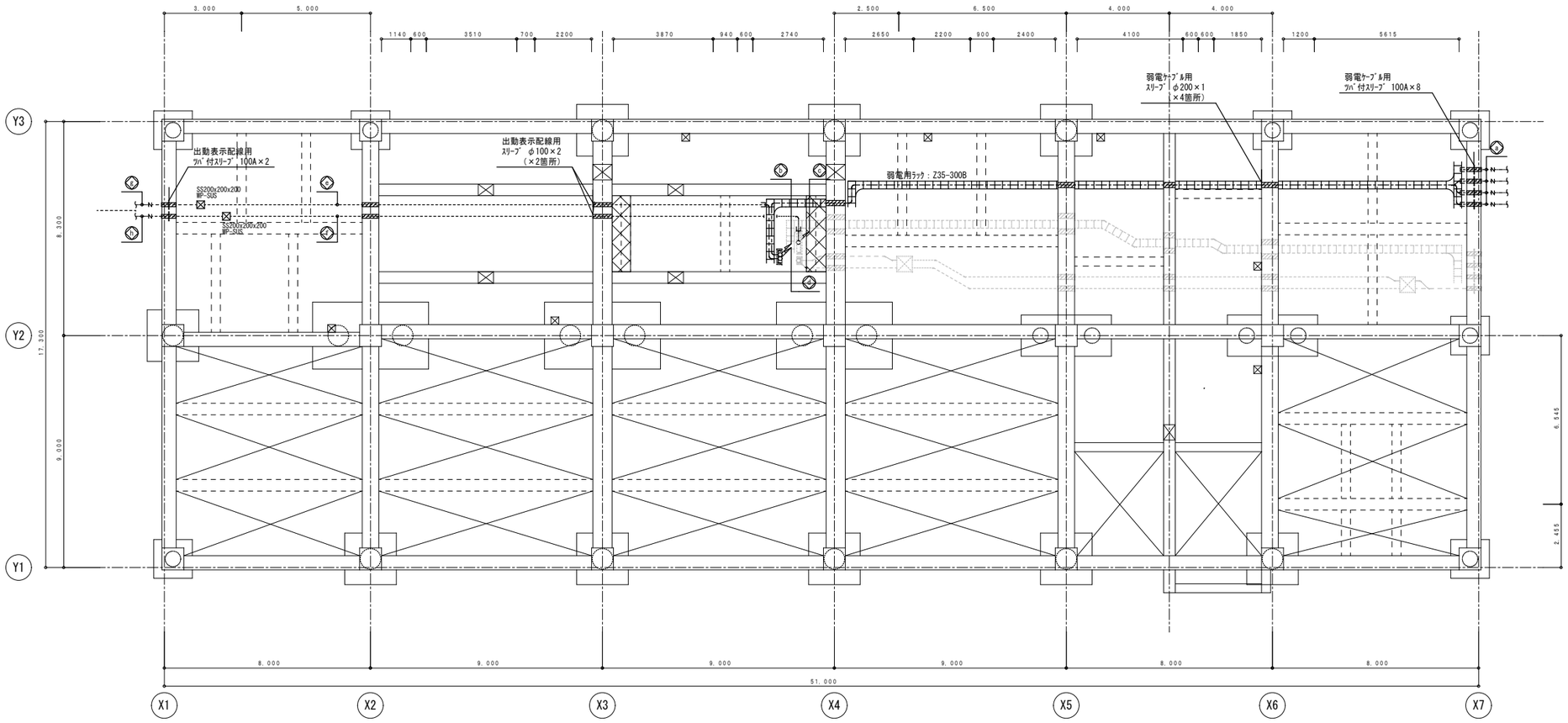
盤名称	構内交換	構内情報通信網	拡声	誘導支援	ﾃﾚﾋﾞ共同受信	入退室管理	備　考
1T-1	20P	L2ｽｲｯﾁﾝｸﾞHUB-24ﾎﾟｰﾄ (実装×1・ｽﾍﾟｰｽ×1)	20P	10P	2分配器×1	10P	・鋼板製 露出自立型 扉付 ・木基板付、換気口付 ・露出ｺﾝｾﾝﾄ2ET×1(実装) ・
2T-1	50P	L2ｽｲｯﾁﾝｸﾞHUB-24ﾎﾟｰﾄ (実装×1・ｽﾍﾟｰｽ×1) 機器ｽﾍﾟｰｽ(ONU/ﾙｰﾀｰ) (想定寸法:500×500)	20P	10P	混合器×1 増幅器×1 4分岐器×1	10P	・鋼板製 露出自立型 扉付 ・木基板付、換気口付 ・露出ｺﾝｾﾝﾄ2ET×2(実装) ・
2T-2	30P	L2ｽｲｯﾁﾝｸﾞHUB-24ﾎﾟｰﾄ (実装×1・ｽﾍﾟｰｽ×1)	——	——	増幅器×1 4分配器×1	——	・総合防災盤組込 ・木基板付、換気口付 ・露出ｺﾝｾﾝﾄ2ET×2(実装) ・
MDF	100P 保安器ｽﾍﾟｰｽ	——	——	——	——	——	・鋼板製 露出自立型 扉付 ・木基板付 ・露出ｺﾝｾﾝﾄ2ET×1(実装) ・

JOBNO

【庁舎棟】
白石消防署庁舎建替工事　構内情報通信網・構内交換設備 系統図・端子盤表　E-27

DATE R8.05.29　SCAL (A 1) 1/NON (A 3) 1/NON　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号 永野ますみ

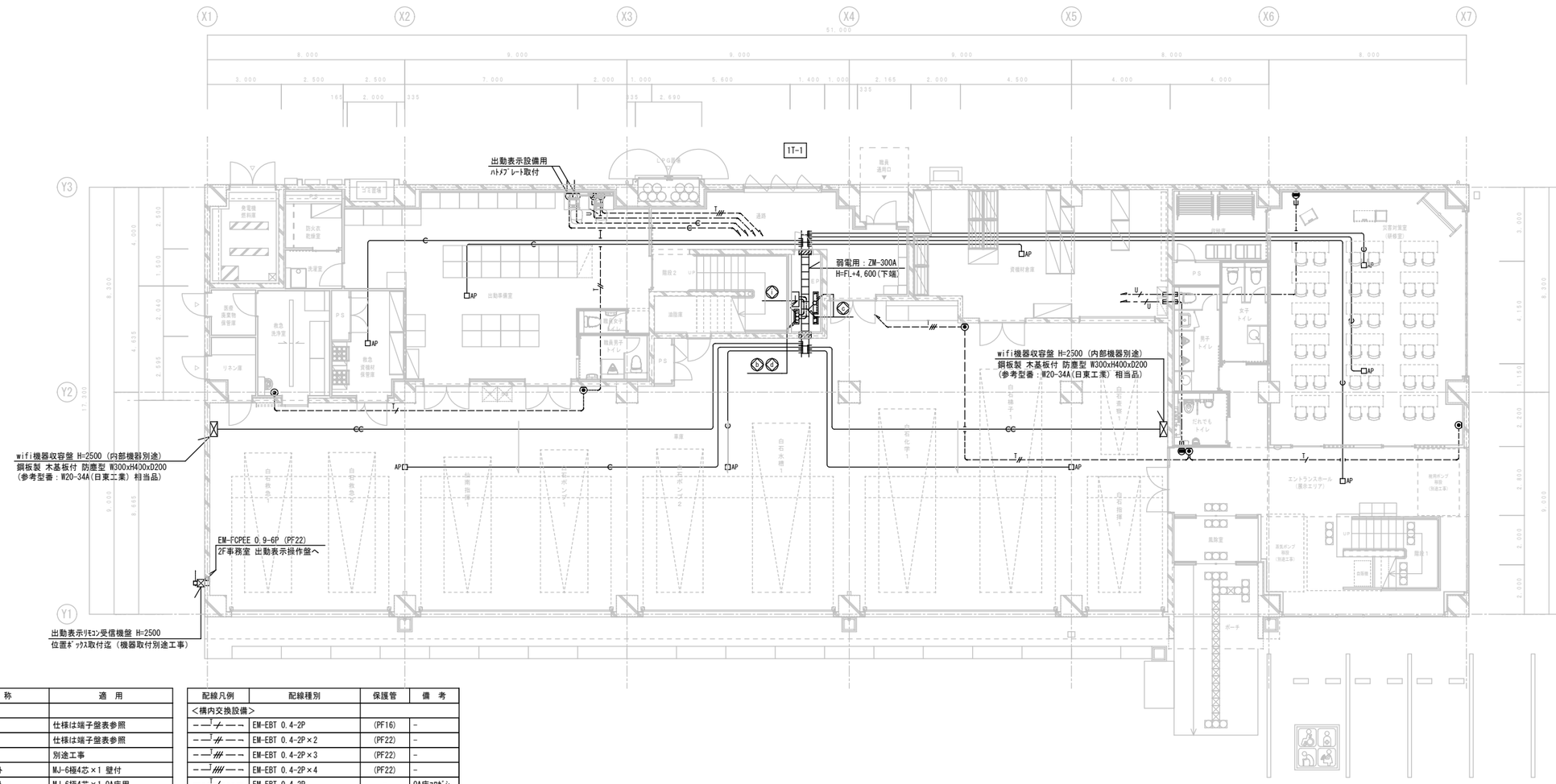


JOBNO

白石消防署庁舎建替工事　【庁舎棟】構内情報通信網・構内交換設備 ピット階平面図　E-28

DATE R8.05.29　SCAL (A 1) 1／100 (A 3) 1／200　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号 永野ますみ



1階平面図　1/100

【 幹線ｻｲｽﾞ一覧 】

記号	幹線番号	ｹｰﾌﾞﾙｻｲｽﾞ	配管ｻｲｽﾞ	備考
	通信引込	—G—	(GZ54)x4	ｽﾘｰﾌﾞφ100×4
	通信用接地	EM-IE 14° ×2	(GZ54)	ｽﾘｰﾌﾞφ100
		EM-IE 5.5°		
	放送	EM-HP 1.2-3P	(GZ54)	ｽﾘｰﾌﾞφ100
	弱電予備	—G—	(GZ54)x2	ｽﾘｰﾌﾞφ100×2
	通信用接地	EM-IE 14° ×2	ZM-500B	Et・EAt
		EM-IE 5.5°		EDa
	放送	EM-HP 1.2-3P		1T-1～訓練棟へ
	出動表示(電源)	EM-CE 5.5° -3C	ZM-800B	2F出動表示操作盤
	出動表示(制御)	EM-KPEE 0.9-12P	ZM-500B	～外部出動表示へ
	出動表示(信号)	EM-FCPEES 0.9-4P		
	出動表示(電源)	EM-CE 5.5° -3C	(GZ28)	※ﾋﾟｯﾄ内配管
	出動表示(制御)	EM-KPEE 0.9-12P	(GZ42)	※ﾋﾟｯﾄ内配管
	出動表示(信号)	EM-FCPEES 0.9-4P		
	出動表示(電源)	EM-CE 5.5° -3C	(FEP30)	ｽﾘｰﾌﾞφ100
	出動表示(制御)	EM-KPEE 0.9-12P	(FEP40)	ｽﾘｰﾌﾞφ100
	出動表示(信号)	EM-FCPEES 0.9-4P		
	通信用接地	EM-IE 14° ×2	ZM-500A (EPS 1F～RF)	1T-1～2T-1
		EM-IE 5.5°		1T-1～2T-1
	電話	EM-TKEE 0.5-20P		1T-1～MDF
	情報	EM-UTP0.5-4P(Cat6)×2		1T-1～2T-1
	出動表示(制御)	EM-KPEE 0.9-12P		2F出動表示操作盤
	出動表示(信号)	EM-FCPEES 0.9-4P		～外部出動表示へ
	出動表示(電源)	EM-CE 5.5° -3C	ｺﾛｶﾞｼ	2F出動表示操作盤
	出動表示(制御)	EM-KPEE 0.9-12P		～外部出動表示へ
	出動表示(信号)	EM-FCPEES 0.9-4P		
	通信用接地	EM-IE 14° ×2	ZM-500A (EPS 1F～RF)	Et・EAt
		EM-IE 5.5°		EDa
	電話	EM-TKEE 0.5-20P		1T-1～MDF
	情報	EM-UTP0.5-4P(Cat6)×2		1T-1～2T-1
	通信用接地	EM-IE 14°	ZM-300A (EPS 2F)	Et
	電話	EM-TKEE 0.5-50P		MDF～2T-1
	通信用接地	EM-IE 14°	(E51)	Et
		EM-IE 5.5°		EDa
	電話	EM-TKEE 0.5-30P		MDF～2T-2
	情報	EM-UTP0.5-4P(Cat6)×2		2T-1～2T-2
	通信用接地	EM-IE 14° ×2	ZM-200A (PBX用)	Et・EAt
	電話	EM-TKEE 0.5-50P×2		MDF～PBX(別途)

特記事項

記　号	名　称	適　用
<構内交換設備>		
[—]	端子盤	仕様は端子盤表参照
[MDF]	MDF盤	仕様は端子盤表参照
[PBX]	電話交換機	別途工事
◉	電話用ｱｳﾄﾚｯﾄ	MJ-6極4芯×1 壁付
◉ W	電話用ｱｳﾄﾚｯﾄ	MJ-6極4芯×1 OA床用
<構内情報通信網設備>		
⊖	情報用ｱｳﾄﾚｯﾄ	MJ-8極8芯×1 壁付
U	情報用ｱｳﾄﾚｯﾄ	MJ-8極8芯×1 OA床用
U W	情報用ｱｳﾄﾚｯﾄ	MJ-8極8芯×1 露出型(背面ﾏｸﾞﾈｯﾄ付)
□AP	将来Wi-fi用	OB中浅型+ﾌﾞﾗﾝｸﾌﾟﾚｰﾄ 天井付
HUB 8	L2ｽｲｯﾁﾝｸﾞHUB	8ﾎﾟｰﾄ
HUB 16	L2ｽｲｯﾁﾝｸﾞHUB	16ﾎﾟｰﾄ
[S]	ﾛｰﾙｽｸﾘｰﾝ用ﾘﾓｺﾝｽｲｯﾁ	※位置BOX取付迄
┬┬┬┬	ｹｰﾌﾞﾙﾗｯｸ	ｻｲｽﾞ・仕様は図示参照
└┘	ｹｰﾌﾞﾙﾗｯｸ(立上部)	ｻｲｽﾞ・仕様は図示参照
□	位置ﾎﾞｯｸｽ	OB 中浅型
⊠	ﾌﾟﾙﾎﾞｯｸｽ	ｻｲｽﾞ・仕様は附記参照 特記なき場合は SS200x200x100 を示す
E—E	防火区画貫通処理	金属管工法
▨	防火区画貫通処理	ｹｰﾌﾞﾙﾗｯｸ 壁/床用

配線凡例	配線種別	保護管	備　考
<構内交換設備>			
—┼┼—	EM-EBT 0.4-2P	(PF16)	-
—┼/—	EM-EBT 0.4-2P×2	(PF22)	-
—┼///—	EM-EBT 0.4-2P×3	(PF22)	-
—┼////—	EM-EBT 0.4-2P×4	(PF22)	-
—·┼/·——	EM-EBT 0.4-2P	-	OA床ｺﾛｶﾞｼ
<構内情報通信網設備>			
—·U/·—E—	EM-UTP 0.5-4P(Cat.6)	(PF22)	-
—·U//·—E—	EM-UTP 0.5-4P(Cat.6)×2	(PF22)	-
—·U/·——	EM-UTP 0.5-4P(Cat.6)	-	OA床ｺﾛｶﾞｼ
——C——	導入線 1.2mm	(PF22)	-
——CC——	導入線 1.2mm	(PF22)×2	-
<配線種別>			
—·—·—E—	天井ｺﾛｶﾞｼ/ﾗｯｸ配線	----------	露出配管
————	天井隠蔽配管	—··—··—	地中埋設配管配線
—— —— ——	床隠蔽配管	—E——∋—	壁貫通保護

<注記>
・防火区画貫通部は国土交通大臣認定工法にて適切に処理する。
・壁内立上げ･立下げ、および露出部は適合電線管にて保護する。
・OAﾌﾛｱからの配線立上げについては、机等什器配置に合せること。

JOBNO

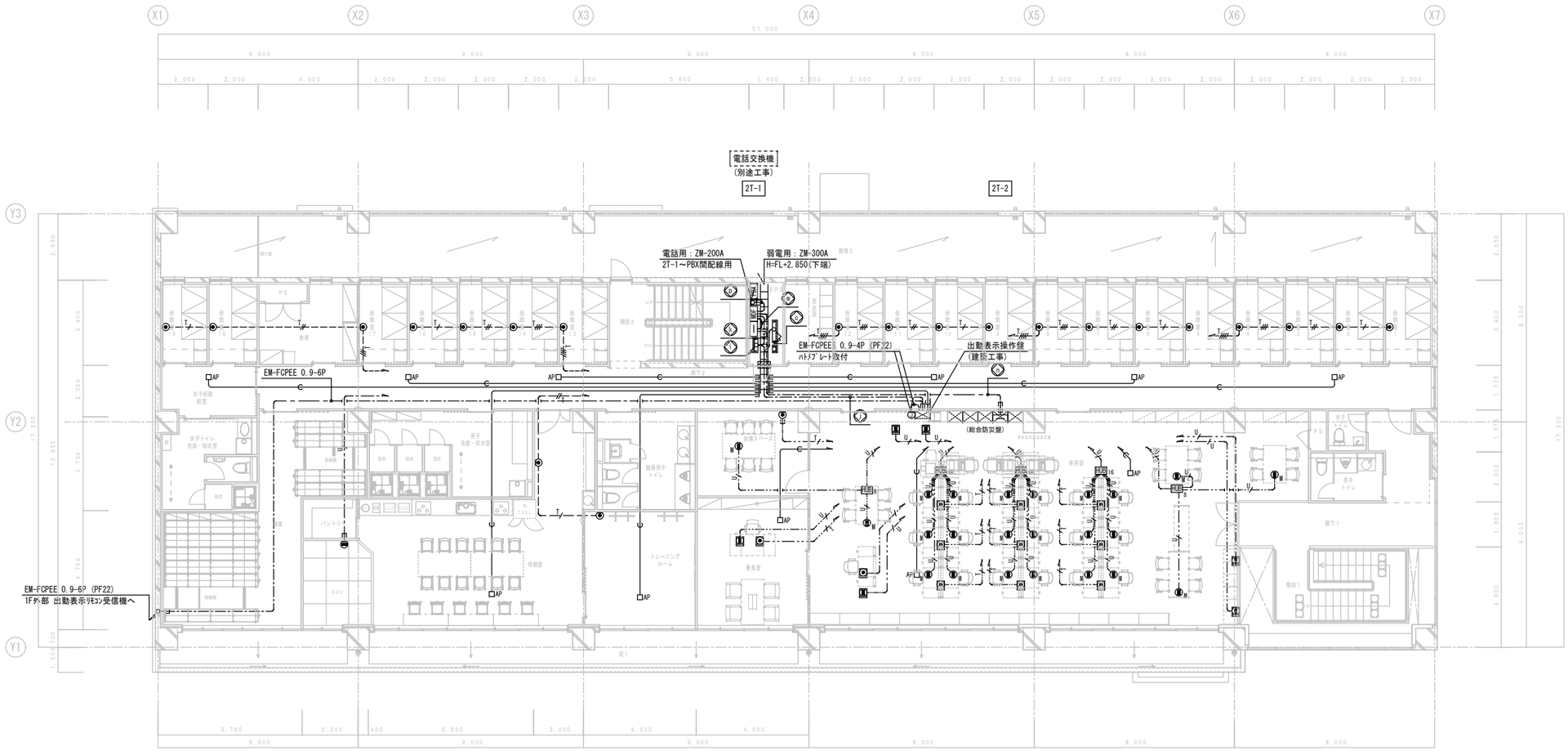
白石消防署庁舎建替工事

【庁舎棟】
構内情報通信網・構内交換設備 1階平面図

E-29

DATE R8.05.29　SCAL (A 1) 1／100 (A 3) 1／200　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号 永野ますみ



2階平面図　1/100

JOB NO

白石消防署庁舎建替工事

【庁舎棟】
構内情報通信網・構内交換設備 2階平面図

E-30

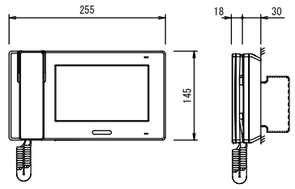
DATE R8.05.29　SCAL (A 1) 1／100 (A 3) 1／200　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所

一級建築士 第 357230 号 永野ますみ

モニター付インターホン親機

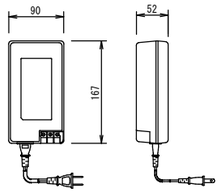
※総合防災盤組込



電源電圧	DC24V(電源アダプターより供給)
モニター	7型TFTカラー液晶
通話方式	拡声自動交互通話、受話器：電話型同時通話
録画機能	自動・手動録画、再生、保存
形状	据置・壁取付両用
	(JIS2個用または3個用スイッチボックス)
材質	難燃性樹脂

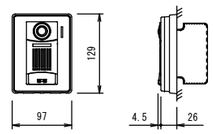
電源アダプター（インターホン親機用）

※総合防災盤組込



電源電圧	AC100V 50/60Hz
入力容量	110VA
出力電圧	DC24V
出力電流	2A
形状	据置・壁取付（専用金具）両用
材質	難燃性樹脂

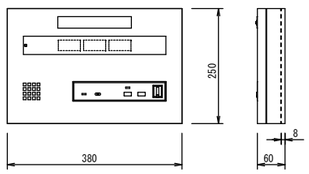
カメラ付ドアホン子機



電源電圧	モニター付親機から供給
形状	壁取付型(JIS1個用スイッチボックス)
材質	自己消火性樹脂
カメラ	1/4型カラーCMOS
通話方式	自動交互通話
備考	防塵・防まつ形(JIS C 0920 IP54 相当)

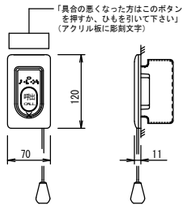
3窓用呼出表示器

※総合防災盤組込



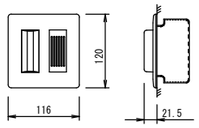
電源電圧	AC100V 50/60Hz (内部電源DC12V)
形状	壁取付形
材質	SPCC t1.2
窓数	3窓
表示方式	呼出音と表示窓点灯

呼出ボタン(引きひも付)



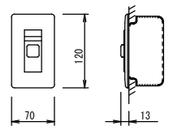
形状	壁埋込型(JIS1個用スイッチボックス)
材質	自己消火性樹脂
備考	引きひも式・押ボタン式両用
	呼出確認表示灯付、点字案内文有、防沫仕様

ブザー付廊下灯



形状	壁埋込型(JIS2個用スイッチボックス)
材質	プレート：自己消火性樹脂
	ランプカバー：ポリカーボネート
備考	ブザー付

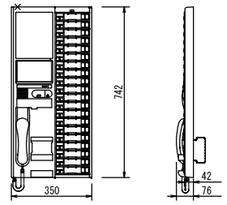
復旧ボタン



形状	壁埋込型（JIS1個用スイッチボックス）
材質	樹脂
備考	非防水形

ナースコールボード型親機(20局)

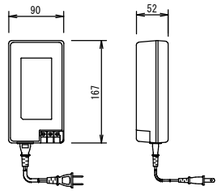
※総合防災盤組込



電源電圧	DC48V(PoE)およびDC24V(電源アダプターより供給)
形状/入線口/材質	壁取付型/JIS1個用スイッチボックス/難燃性樹脂
LCD画面	7型TFTカラー液晶タッチパネル
備考	自己診断機能付、２０局用選局ユニット×１取付
	フォールバック時の失報回避はガイダンス表示

電源アダプター（ボード型親機用）

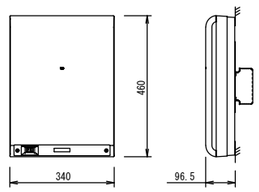
※総合防災盤組込



電源電圧	AC100V 50/60Hz
入力容量	110VA
出力電圧	DC24V
出力電流	2A
形状	据置・壁取付（専用金具）両用
材質	難燃性樹脂

制御装置

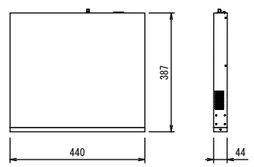
※総合防災盤組込



電源電圧	AC100V 50/60Hz
形状	壁取付型(JIS3個用スイッチボックス＋セパレーター)
材質	難燃性樹脂
通話路数	24通話路(PHS 4通話路)
親機接続台数	最大16台(ユニット単位:最大8ユニット、1ユニット4台まで)
備考	LAN出力：3系統、HM出力:2系統、環境音出力:4系統、汎用出力:5系統
	フォールバック（失報回避）機能付

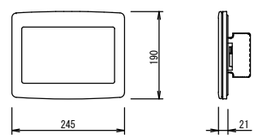
PoE対応スイッチングHUB(給電24ポート)

※総合防災盤組込



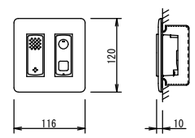
電源電圧	AC100V 50/60Hz
ポート数	28ポート(うち4ポートはＳＦＰポートと選択利用)
消費電力	最大472W
供給電力	30.0W(ポート1-24) 最大給電370W

4局用アダプター



電源電圧	PoE Class 0(IEEE802.3af準拠)より供給
形状	壁取付型(JIS3個用または4個用スイッチボックス)
材質	難燃性樹脂

子機(復旧ボタン・呼出ボタン付)



形状	壁埋込型(JIS2個用スイッチボックス)
材質	自己消火性樹脂
備考	呼出ボタン、復旧ボタン付

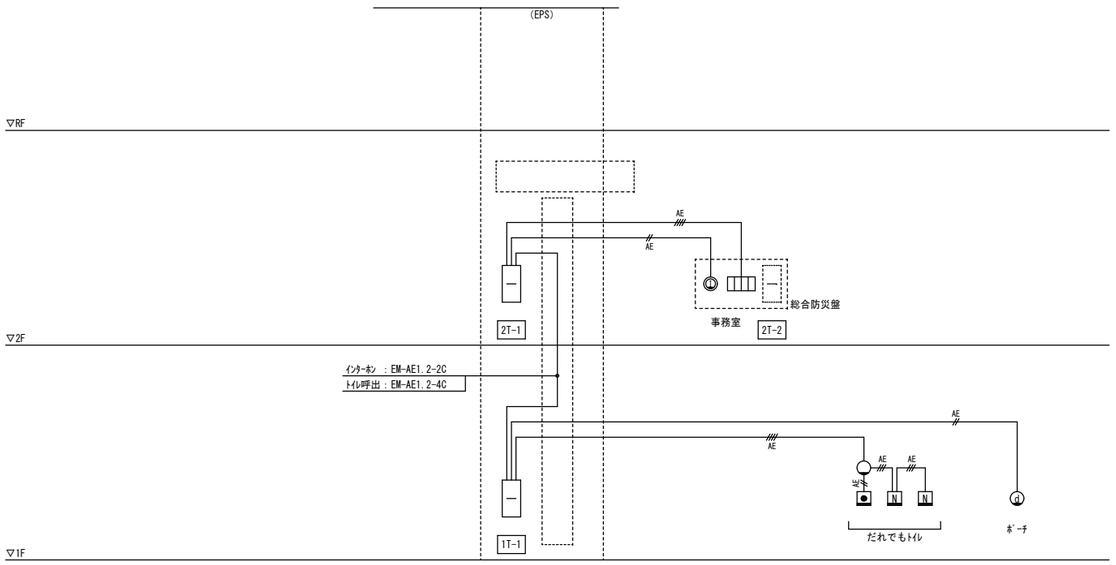
※機器姿図・仕様はすべて参考とする。

JOBNO

白石消防署庁舎建替工事　【庁舎棟】誘導支援設備 機器参考姿図　E-31

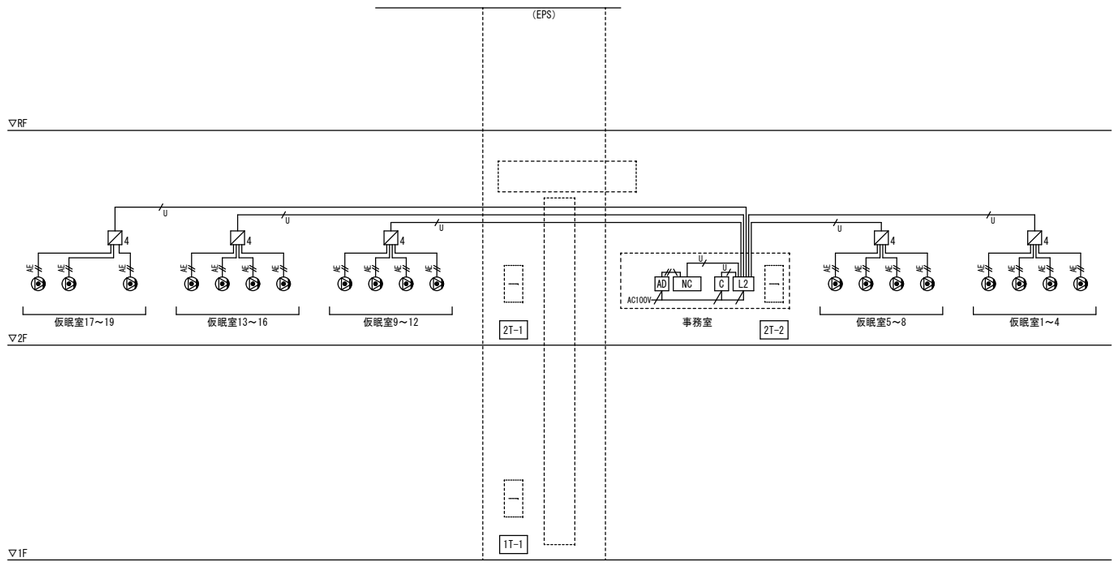
DATE R8.05.29　SCAL (A 1) 1／NON (A 3) 1／NON　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号 永野ますみ



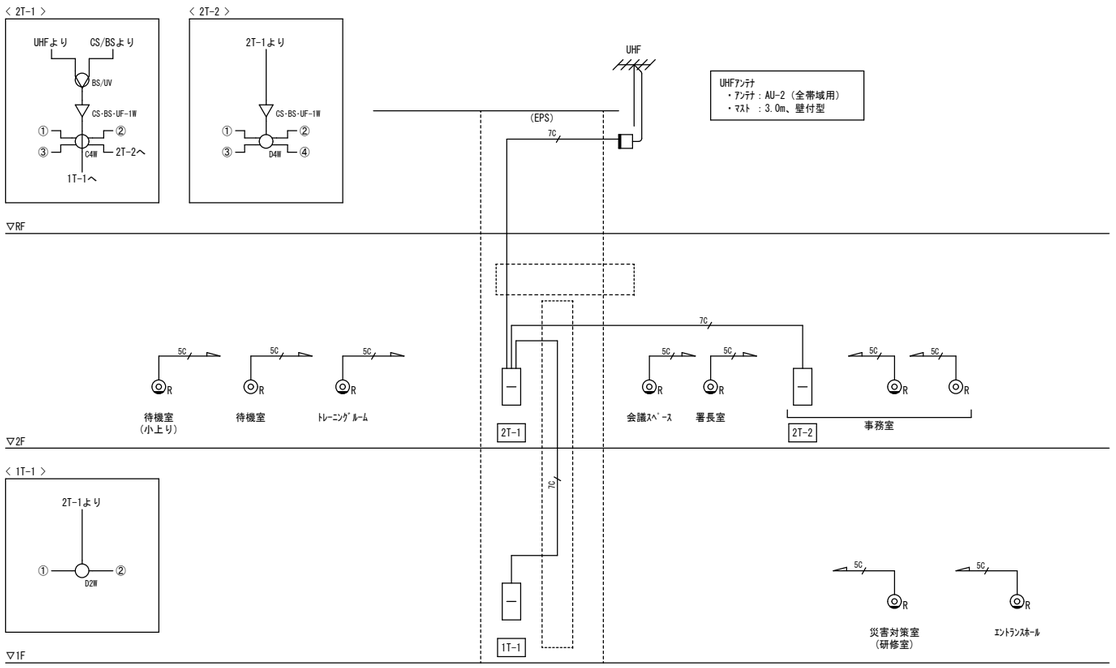
誘導支援（ｲﾝﾀｰﾎﾝ・ﾄｲﾚ呼出）設備　系統図

- ：ｲﾝﾀｰﾎﾝ親機
- ：ｶﾒﾗ付子機
- ：呼出表示機
- ：ﾌﾞｻﾞｰ付廊下灯
- ：復帰釦
- N ：呼出釦(引き紐付)
- AE ：EM-AE1.2-2C
- AE ：EM-AE1.2-3C
- AE ：EM-AE1.2-4C



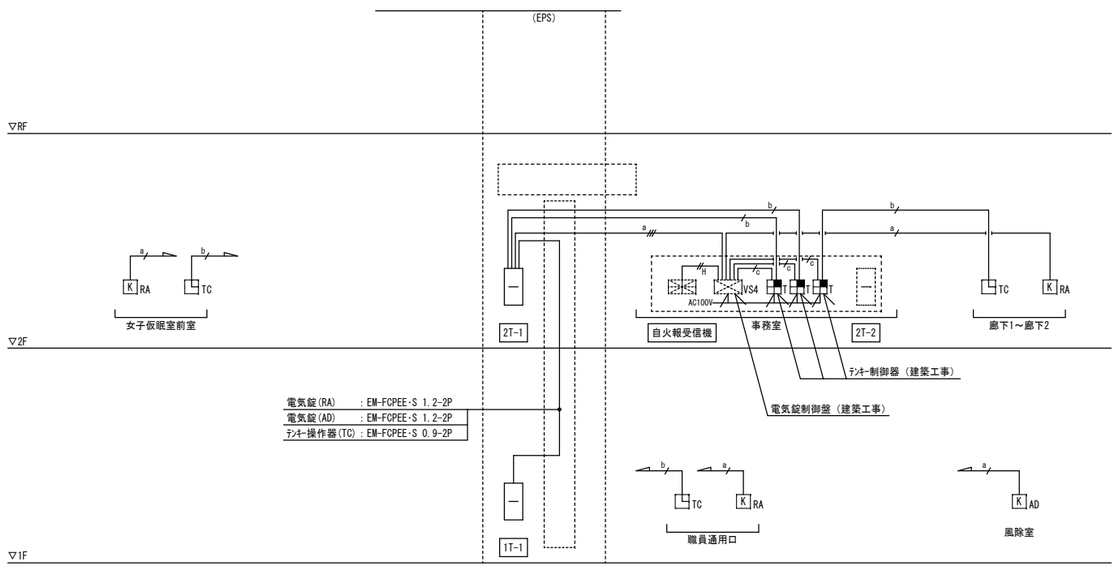
誘導支援（呼出し）設備　系統図

- NC ：ﾅｰｽｺｰﾙ親機
- AD ：電源ｱﾀﾞﾌﾟﾀｰ
- C ：ﾅｰｽｺｰﾙ制御装置
- L2 ：L2ｽｲｯﾁﾝｸﾞHUB
- 4 ：4局用ｱﾀﾞﾌﾟﾀｰ
- ：呼出子機
- AE ：EM-AE1.2-2C
- U ：EM-UTP0.5-4P(Cat6)
- ：EM-EEF2.0-3C



テレビ共同受信設備　系統図

- R ：TV直列ﾕﾆｯﾄ(端末) 壁付
- R ：TV直列ﾕﾆｯﾄ(端末) 天井付
- 5C ：EM-S-5C-FB
- 7C ：EM-S-7C-FB
- ：導入線1.2mm (PF22)



入退室管理設備　系統図

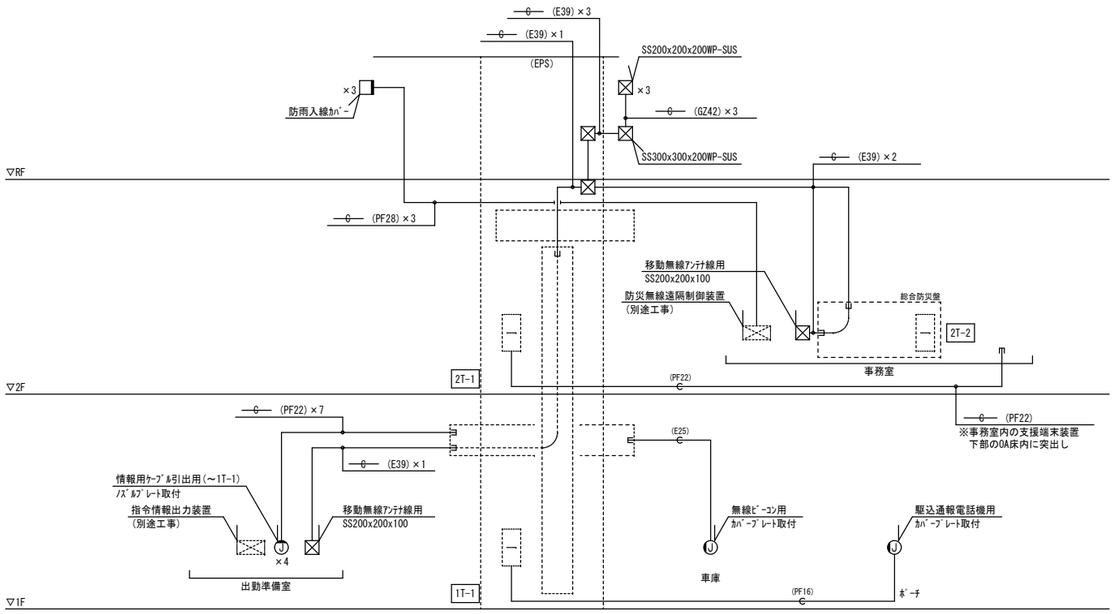
- VS4 ：電気錠制御盤(建築工事)
- T ：ﾃﾝｷｰ制御器(建築工事)
- TC ：ﾃﾝｷｰ操作器(建築工事)
- K RA ：通電時施錠型電気錠(建築工事)
- K AD ：自動ﾄﾞｱ制御器(建築工事)
- a ：EM-FCPEE-S 1.2-2P
- a ：EM-FCPEE-S 1.2-2P×3
- b ：EM-FCPEE-S 0.9-2P
- c ：EM-FCPEE 0.9-2P
- H ：EM-HP 1.2-2C

JOBNO

白石消防署庁舎建替工事　【庁舎棟】誘導支援・ﾃﾚﾋﾞ共同受信・入退室設備 系統図　E-32

DATE	SCAL		DRAWN	CHECK
R8.05.29	●	(A 1) 1／NON (A 3) 1／NON	●	●

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号　永野ますみ



：ﾌﾟﾙﾎﾞｯｸｽ

：位置ﾎﾞｯｸｽ　OB-中浅型

(PF16)：導入線1.2mm　(PF16)×1

(PF22)：導入線1.2mm　(PF22)×1

(E25)：導入線1.2mm　(E25)×1

防災無線・移動無線設備　系統図

JOBNO

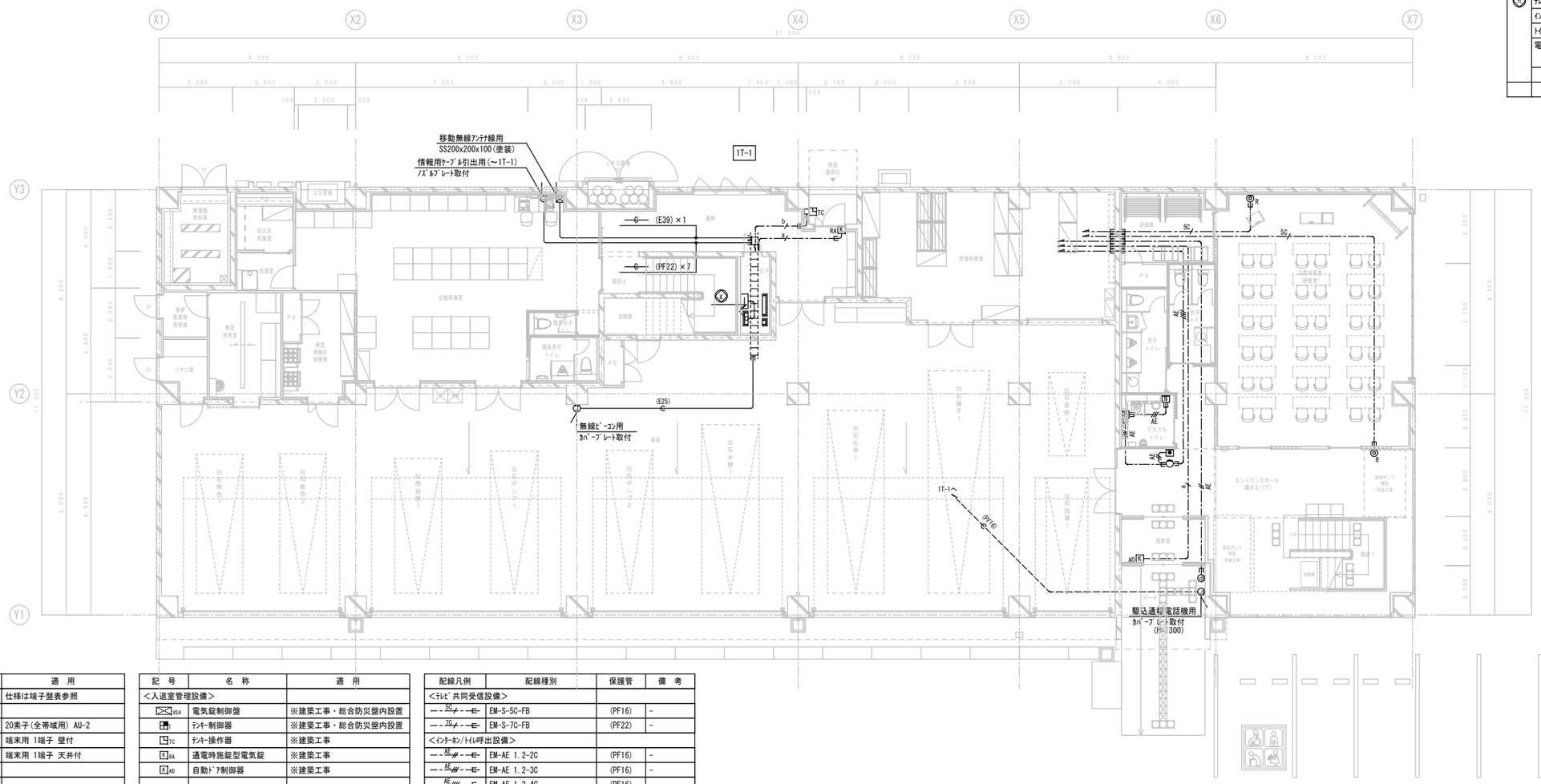
白石消防署庁舎建替工事　【庁舎棟】防災無線・移動無線設備 系統図　E-33

DATE R8.05.29　SCAL (A 1) 1／NON (A 3) 1／NON　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号 永野ますみ

【 幹線ｻｲｽﾞ一覧 】

記号	幹線番号	ｹｰﾌﾞﾙｻｲｽﾞ	配管ｻｲｽﾞ	備考
①	ﾃﾚﾋﾞ共聴	EM-S-7C-FB	(CR500W)	2T-1～1T-1
	ｲﾝﾀｰﾎﾝ	EM-AE1.2-2C		2T-1～1T-1
	ﾄｲﾚ呼出	EM-AE1.2-4C		2T-1～1T-1
	電気錠	EM-FCPEE-S 1.2-2P×2		2T-1～1T-1
		EM-FCPEE-S 0.9-2P×1		2T-1～1T-1
②	ﾃﾚﾋﾞ共聴	EM-S-7C-FB	(E31)	2T-1～2T-2
	ｲﾝﾀｰﾎﾝ	EM-AE1.2-2C		2T-1～ｲﾝﾀｰﾎﾝ親機
	ﾄｲﾚ呼出	EM-AE1.2-4C		2T-1～呼出表示機
	電気錠	EM-FCPEE-S 1.2-2P×4	(E51)	2T-1～電気錠盤
		EM-FCPEE-S 0.9-2P×3		2T-1～電気錠盤



1階平面図　1/100

特記事項

記　号	名　称	適　用
	端子盤	仕様は端子盤表参照
＜ﾃﾚﾋﾞ共同受信設備＞		
UHF	共同受信用UHFｱﾝﾃﾅ	20素子(全帯域用) AU-2
R	ﾃﾚﾋﾞ直列ﾕﾆｯﾄ	端末用 1端子 壁付
R	ﾃﾚﾋﾞ直列ﾕﾆｯﾄ	端末用 1端子 天井付
＜ｲﾝﾀｰﾎﾝ設備＞		
	ｲﾝﾀｰﾎﾝ 親機	壁掛型 ﾊﾝｽﾞﾌﾘｰ
	ｲﾝﾀｰﾎﾝ 子機	屋外壁掛型 ｶﾒﾗ付玄関子機
＜ﾄｲﾚ呼出設備＞		
	呼出表示機	壁掛型 1窓
	ﾄｲﾚ呼出釦	引紐付
	廊下表示灯	ﾌﾞｻﾞｰ付
	復旧釦	-
＜ﾅｰｽｺｰﾙ設備＞		
NC	ﾅｰｽｺｰﾙ 親機	ﾎﾞｰﾄﾞ型 20局用
PS	電源ｱﾀﾞﾌﾟﾀｰ	総合防災盤内設置
C	制御装置	総合防災盤内設置
L2	L2ｽｲｯﾁﾝｸﾞHUB	PoE給電・24ﾎﾟｰﾄ
4L	I/Oﾕﾆｯﾄ(4局用ｱﾀﾞﾌﾟﾀｰ)	壁掛型 4回線用
	呼出子機	復旧釦・呼出釦付

記　号	名　称	適　用
＜入退室管理設備＞		
VS4	電気錠制御盤	※建築工事・総合防災盤内設置
T	ﾃﾝｷｰ制御器	※建築工事・総合防災盤内設置
TC	ﾃﾝｷｰ操作器	※建築工事
RA	通電時施錠型電気錠	※建築工事
AD	自動ﾄﾞｱ制御器	※建築工事
＜防災無線/移動無線設備＞		
	防雨入線ｶﾊﾞｰ	壁付型
	ｹｰﾌﾞﾙﾗｯｸ	※構内交換設備図参照
	ｹｰﾌﾞﾙﾗｯｸ(立上部)	※構内交換設備図参照
	位置ﾎﾞｯｸｽ	OB 中浅型
	ﾌﾟﾙﾎﾞｯｸｽ	ｻｲｽﾞ･仕様は附記参照 特記なき場合は SS200x200x100 を示す
	防火区画貫通処理	金属管工法
	防火区画貫通処理	ｹｰﾌﾞﾙﾗｯｸ 壁/床用

＜注記＞
・防火区画貫通部は国土交通大臣認定工法にて適切に処理する。
・壁内立上げ･立下げ、および露出部は適合電線管にて保護する。
・RFｱﾝﾃﾅ支持ﾏｽﾄは、耐風圧計算によりｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄｻｲｽﾞ選定とする。

配線凡例	配線種別	保護管	備　考
＜ﾃﾚﾋﾞ共同受信設備＞			
5C	EM-S-5C-FB	(PF16)	-
7C	EM-S-7C-FB	(PF22)	-
＜ｲﾝﾀｰﾎﾝ/ﾄｲﾚ呼出設備＞			
AE	EM-AE 1.2-2C	(PF16)	-
AE	EM-AE 1.2-3C	(PF16)	-
AE	EM-AE 1.2-4C	(PF16)	-
＜ﾅｰｽｺｰﾙ設備＞			
AE	EM-AE 1.2-2C	(PF16)	-
U	EM-UTP 0.5-4P(Cat.6)	(PF22)	-
＜入退室管理設備＞			
H	EM-HP 1.2-2C	(PF16)	-
S	EM-FCPEE-S 1.2-2P	(PF22)	-
S	EM-FCPEE-S 0.9-2P	(PF16)	-
S	EM-FCPEE 0.9-2P	(PF16)	-
＜防災無線/移動無線設備＞			
C	導入線 1.2mm	(PF28)	-
(PF28) CCC	導入線 1.2mm	(PF28)×3	-
(E25) C	導入線 1.2mm	(E25)	天井内配管
(E39) CC	導入線 1.2mm	(E39)×2	天井内配管
＜配線種別＞			
	天井ｺﾛｶﾞｼ/ﾗｯｸ配線		露出配管
	天井隠蔽配管		地中埋設配管配線
	床隠蔽配管		壁貫通保護

JOB NO

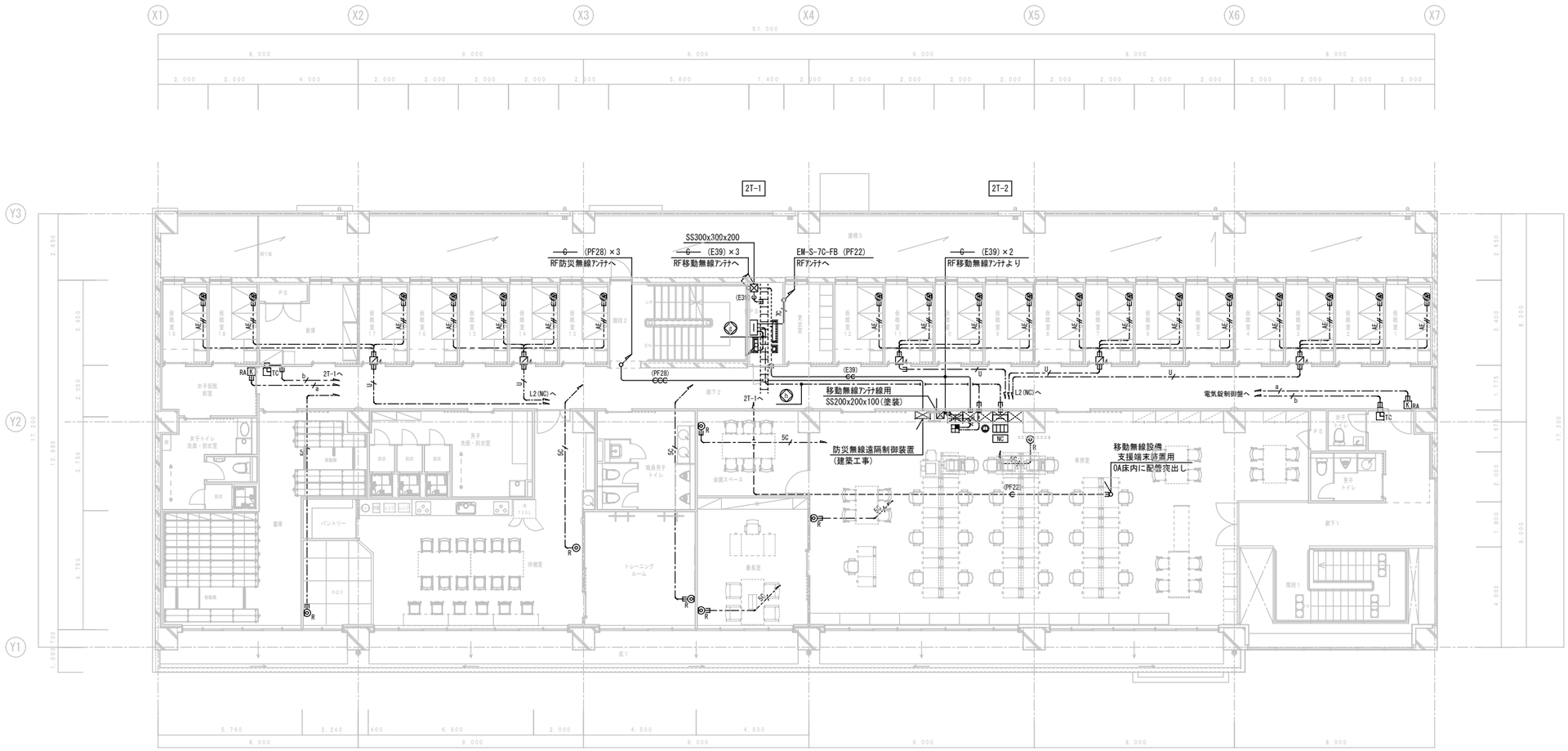
白石消防署庁舎建替工事

【庁舎棟】誘導支援・ﾃﾚﾋﾞ共同受信
・入退室・防災無線設備 1階平面図

E-34

DATE R8.05.29　SCAL (A 1) 1/100 (A 3) 1/200　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号 永野ますみ



2階平面図　1/100

JOB NO

白石消防署庁舎建替工事

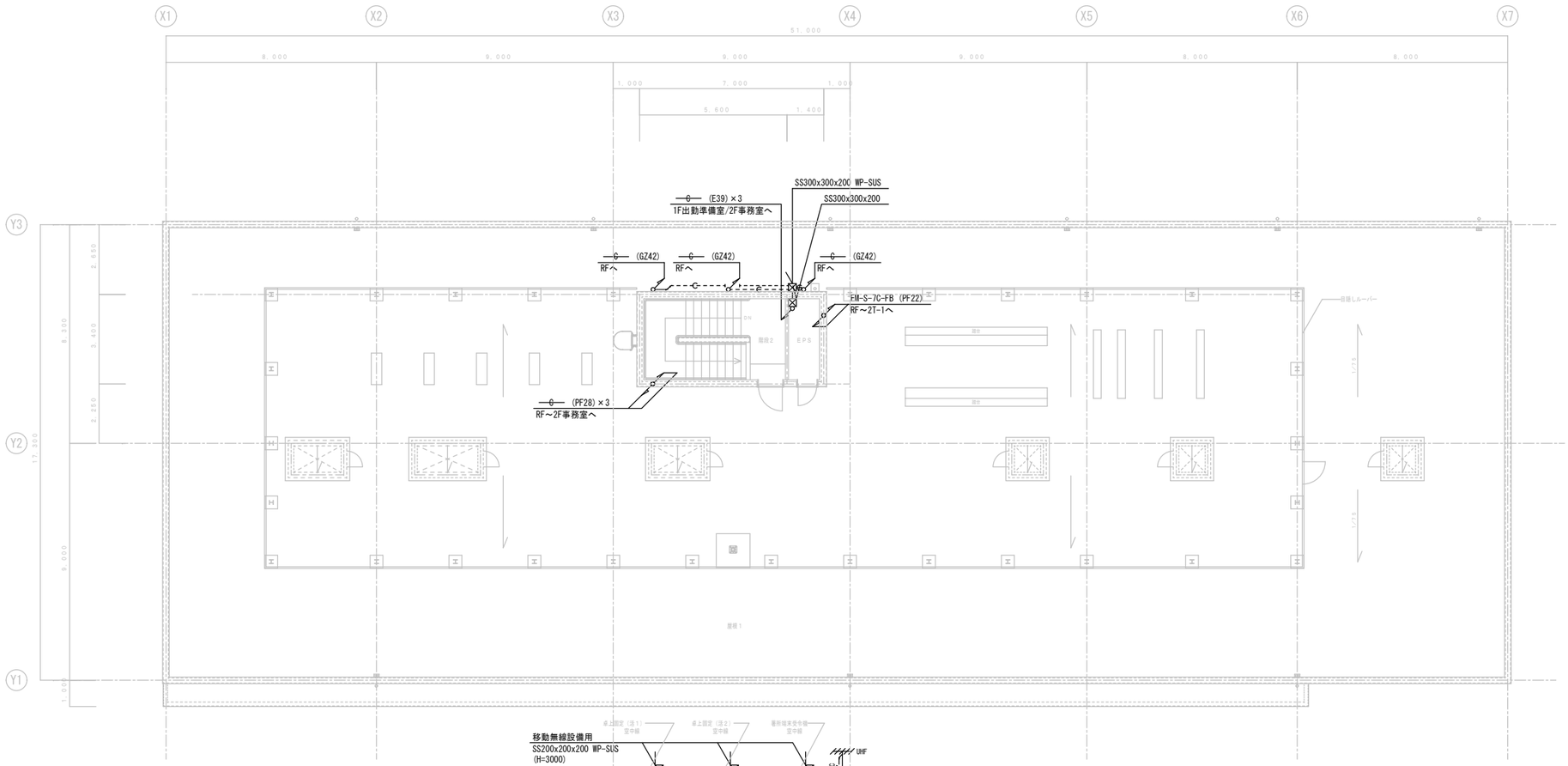
【庁舎棟】誘導支援・テレビ共同受信
・入退室・防災無線設備 2階平面図

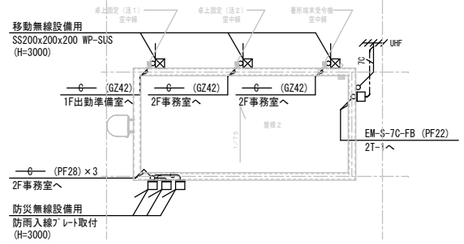
E-35

DATE	SCAL	DRAWN	CHEK
R8.05.29	(A 1) 1/100 (A 3) 1/200		

株式会社 構 建築設計事務所

一級建築士 第 357230 号 永野ますみ





階段2屋根伏図　1/100

R階平面図　1/100

JOB NO

白石消防署庁舎建替工事

【庁舎棟】誘導支援・ﾃﾚﾋﾞ共同受信
・入退室・防災無線設備 R階平面図

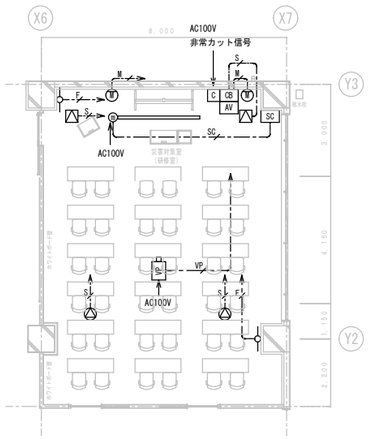
E-36

DATE R8.05.29　SCAL (A 1) 1／100 (A 3) 1／200　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所

一級建築士 第 357230 号 永野ますみ

災害対策室（研修室）映像音響設備　平面図



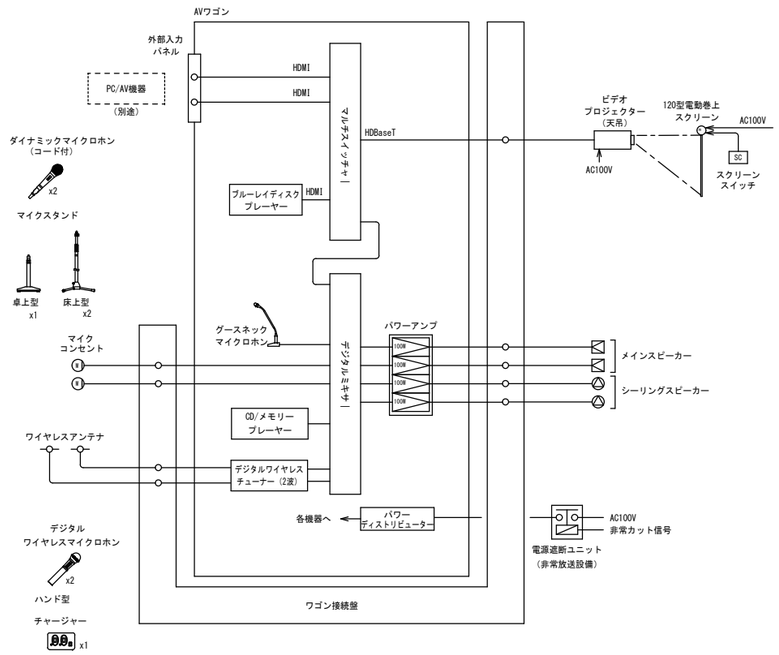
映像音響設備設備 凡例

記 号	名 称
AV	AVワゴン
CB	ワゴン接続盤
VP	ビデオプロジェクター（天吊式）
	120型電動巻上スクリーン
SC	スクリーンスイッチ
	メインスピーカー
	シーリングスピーカー
	ワイヤレスアンテナ（壁取付型）
M	マイクコンセント
C	電源遮断ユニット（非常放送設備）

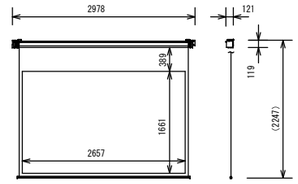
※特記無き配管配線は下記による。

S	4S6-EM	(PF16)
M	EM-MEES0.75-2C	(PF16)
SC	EM-CPEE0.65-3P	(PF22)
VP	EM-UTP0.5-4P (Cat6)	(PF16)
F	EM-S-5C-FB	(PF16)

災害対策室（研修室）映像音響設備　ブロック図

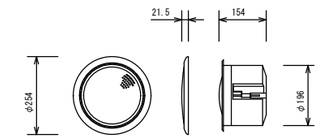


120型電動巻上スクリーン



形　式	モータードライブタイプ
スクリーンサイズ	120型（16：10）
スクリーン生地	ホワイト
電　源	AC100 V
質　量	12.2 kg以下
適合ボックス	150x150

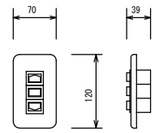
シーリングスピーカー



L級

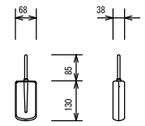
スピーカーユニット	13.5 cmフルレンジジコーン型
定格入力	3 W/5 W/15 W、40 W (RMS)
出力音圧レベル	91 dB/W (1m)
周波数特性	80 Hz～20 kHz
入力インピーダンス	3.3 kΩ/2 kΩ/670 Ω又は8 Ω
質　量	2.4 kg

SC スクリーンスイッチ



制　御	UP／STOP／DOWN
操　作	オールA接点（DC24V制御）
適合ボックス	JIS1ヶ用スイッチボックス

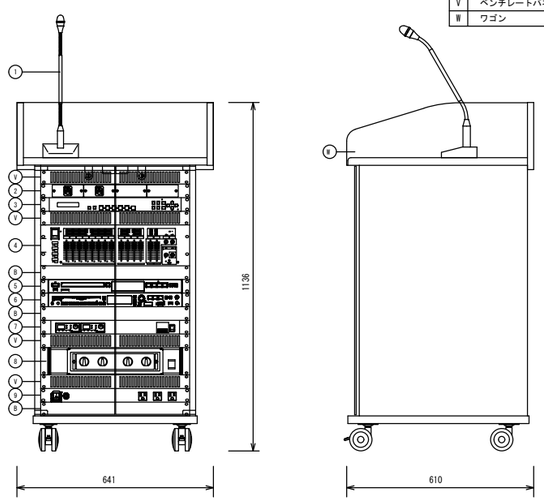
ワイヤレスアンテナ（壁取付型）



受信周波数範囲	806 MHz～810 MHz
ダイポール相対利得	10 dB（ブースターアンプ含む）
推奨同軸ケーブル	5C-FB（BS用）
防水性	IPX4準拠（JIS C 0920-2003）
アッテネーター	3段階切換（広、中、狭）
電　源	DC8 V～15 V（同軸ケーブルに重畳）、10 mA
質　量	145 g

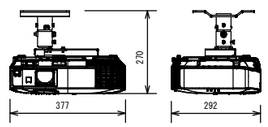
AV AVワゴン

1	グースネックマイク（スタンド共）
2	外部入力パネル
3	デジタルマルチスイッチャー
4	デジタルミキサー
5	ブルーレイプレーヤー
6	ＣＤ／メモリープレーヤー
7	デジタルワイヤレスチューナー（２波）
8	パワーアンプ
9	パワーディストリビューター
B	ブランクパネル
V	ベンチレートパネル
W	ワゴン



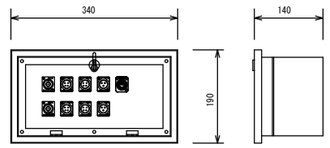
グースネックマイク	
形　式	バックエレクトレットコンデンサ型
指向特性	単一指向性
電　源	ファントム　ＤＣ１１～５２Ｖ
スタンド	静電容量スイッチ付
外部入力パネル	HDMI×2
デジタルマルチスイッチャー	
映像入力	HDMI x4、DVI-I/アナログ x1
映像出力	HDMI x1、HDBaseT x1
音声入力	デジタル：5系統、アナログ：3系統
音声出力	デジタル：1系統2分配、アナログ：1系統
外部制御	RS-232C、LAN
機　能	リップシンク、PJLink対応、EDIDエミュレート
デジタルミキサー	
入　力	モノラル x8（ファンタム電源 +48V供給可能）
	ステレオ x4、コントローラー x1
	（個別音量調整可）
出　力	ステレオ x2、モノラル x2、録音 x1
デジタルオーディオ入出力	USB Type-C x1、入力：2ch、出力：2ch
周波数特性	20 Hz～20 kHz
付加機能	マトリクス、ハウリングサプレッサー（6素子）、
	入出力イコライザー、ディレイ、コンプレッサー
パターンメモリー	16（内4パターンは前面スイッチで選択可能）
ブルーレイディスクプレーヤー	
対応メディア	BD25/50、BD-ROM、BD-R/RE、
	DVD-ROM、DVD-R/RW、DVD+R/RW、
	CD-DA、CD-R/RW、USB、SD/SDHC/SDXC
入出力端子	HDMI、デジタルオーディオ出力、
	アナログオーディオ出力、LAN、RS-232C
CD/メモリープレーヤー	
対応メディア	CD、CD-R/RW、USB、SD、SDHC
再生ファイル形式	CD-DA/MP3/WMA/WAV/AAC
Bluetooth	対応A2DPコーデック：SBC、AAC、aptX
FM/AMチューナー	FM：76～108 MHz、AM：522～1,629 kHz
デジタルワイヤレスチューナー	
受信方式	ダイバシティ・ダブルスーパーヘテロダイン
受信周波数	800 MHz帯の30波から最大2波を受信
パワーアンプ	
定格出力	100 W x4（8 Ω）、150 W x4（4 Ω）
2チャンネル出力	300 W x2（8 Ω）
周波数特性	20 Hz～20 kHz（8 Ω、1W出力時）
S/N	100 dB以上
入力インピーダンス	20 kΩ
パワーディストリビューター	15 Aサーキットブレーカー x1
ワゴン	キャスター、鍵付強化ガラス扉（270° 開閉可）
材　質	木製（EIAマウントタイプ）

VP プロジェクター（天吊式）



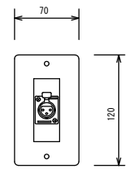
方　式	3LCD方式（3原色液晶シャッター式投映方式）
パネル画素数	1920x1200 x3
色再現性	フルカラー（10億7000万色）
投写レンズ	1.7倍　光学ズーム・手動フォーカスレンズ
	焦点距離：f=11.7～19.9 mm
光源種類	レーザーダイオード
光出力	5500ルーメン
コントラスト	15,000：1
入力端子	HDMI、HDBaseT
制御端子	RS-232C、LAN
電　源	AC100 V（50/60 Hz）、450 W
質　量	約4.7 kg（本体）

CB ワゴン接続盤



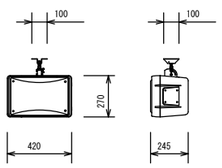
コネクター	BNC x2（ワイヤレス用）
	XLR-4-32-F77相当 x4（スピーカー用）
	XLR-3-32-F77相当 x2（マイク用）
	RJ-45 x1（Cat6対応）（映像用）
材質／構造	鋼板／扉付き
仕　上	マンセル2.5Y9／1半ツヤ近似色　焼付塗装

M マイクコンセント



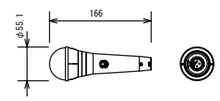
コネクター	XLR-3-31-F77相当 x1
プレート	新金属

メインスピーカー



スピーカーユニット	高音用：定指向性ホーン型
	低音用：20 cmコーン型
定格／最大入力	130W（RMS）／260W（連続プログラム）
出力音圧レベル	93 dB/W (1m)
周波数特性	65 Hz～20 kHz
指向角度	水平：70°、垂直：70°
その他	天井吊下金具付

ダイナミックマイクロホン



形　式	ダイナミック型
指向特性	カーディオイド
周波数特性	50 Hz～16,000 Hz
感　度	-55.0 dBV/Pa (2.10mV)
その他	10 mコード（XLR3-11C/12C）付

※機器姿図・仕様はすべて参考とする。

JOBNO

白石消防署庁舎建替工事

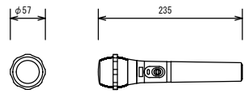
【庁舎棟】災害対策室(研修室)　映像･音響設備
ｼｽﾃﾑﾌﾞﾛｯｸ図・平面図・機器参考姿図(1)

E-37

DATE	SCAL	DRAWN	CHECK
R8.05.29	(A 1) 1／NON (A 3) 1／NON		

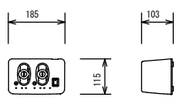
株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士　第 357230 号　永野ますみ

デジタルワイヤレスマイクロホン（ハンド型）



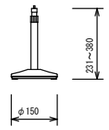
送信周波数	800 MHz帯の30波から1波選択
電波形式	G1E/G1D
マイクロホン形式	単一指向性エレクトレットコンデンサー型
空中線電力	5 mW/1 mW 切換式
電　　源	DC1.5 V（単3乾電池 x1）又は専用充電式電池
セキュリティ機能	あり
同時使用本数	10本（標準モード）、15本（多チャンネルモード）

チャージャー



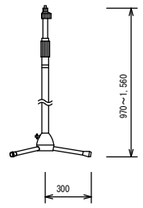
充電方式	急速充電（満充電検出式）
標準充電時間	約2時間
電　　源	DC6 V（専用ACアダプター付）
質　　量	0.8 kg
付属品	専用充電式電池 x2

卓上型マイクスタンド



マイク取付高さ	最高380 mm～最低231 mm
マイク取付ネジ	3/8-16 UNC
付属変換ネジ	5/16-18 UNC、5/8-27 UNS
ロック方式	スリーブ・ロック方式
質　　量	約1.1 kg

床上型マイクスタンド



マイク取付高さ	最高1,560 mm～最低970 mm
マイク取付ネジ	3/8-16 UNC
付属変換ネジ	5/16-18 UNC、5/8-27 UNS
ロック方式	スリーブ・ロック方式
質　　量	約2.6 kg

※機器姿図・仕様はすべて参考とする。

JOBNO

白石消防署庁舎建替工事

【庁舎棟】災害対策室(研修室)
映像･音響設備 機器参考姿図(2)

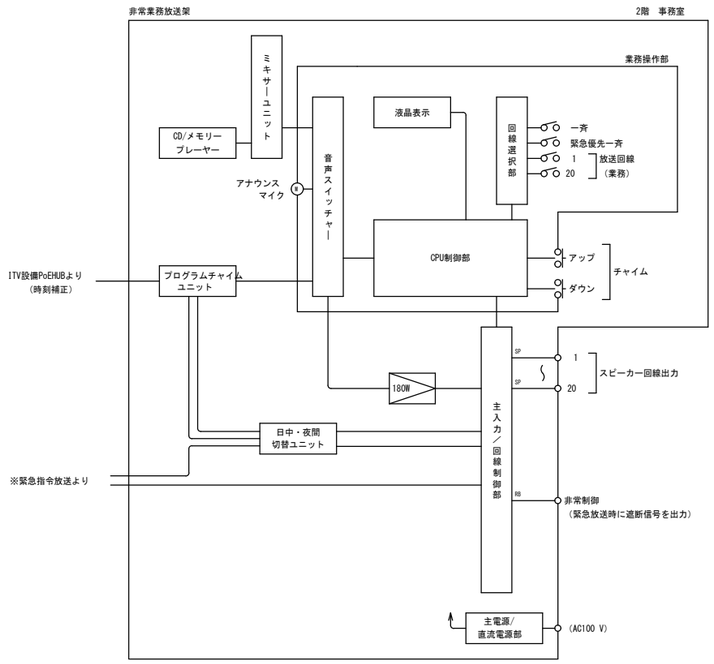
E-38

DATE	SCAL	DRAWN	CHEK
R8.05.29	(A 1) 1／NON (A 3) 1／NON		

株式会社 構 建築設計事務所

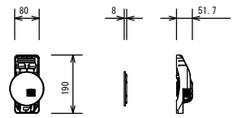
一級建築士 第 357230 号 永野ますみ

非常業務放送設備　ブロック図



※緊急指令放送は、日中と夜間で放送エリアを切り替え放送可能なこととする。

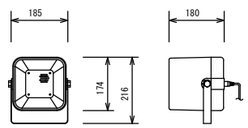
天井埋込型スピーカー（ATT無）



L級

スピーカーユニット	8 cmコーン型
定格入力	3 W/1 W
出力音圧レベル	92 dB/W（1 m）
周波数特性	150 Hz～20 kHz
入力インピーダンス	3.3 kΩ/10 kΩ
本体仕上	黒色モールド成型
パネル/フレーム	アルミパンチング/ABS樹脂

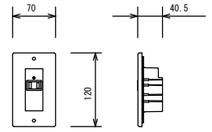
ホーンスピーカー



L級

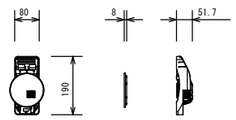
スピーカーユニット	12 cm防滴型
定格入力	6 W/3 W/1 W
出力音圧レベル	96 dB/W（1 m）
周波数特性	150 Hz～15 kHz
入力インピーダンス	1.7 kΩ/3.3 kΩ/10 kΩ
防水保護等級	IPX4準拠（JIS C 0920-2003）
使用温度範囲	-30 ℃～＋60 ℃

電源遮断ユニット



コンセント	AC100 V、50/60 Hz
電力容量	最大800 W
電流容量	最大10 A（ACアウトレット1個）
制御電源	DC24 V、10 mA（非常制御信号RB）
制御方法	RB端子0 Vで商用電源出力をOFF
表示灯（LED）	1（通常時：緑色点灯、非常時：消灯）
プレート	付

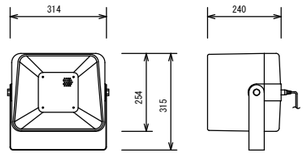
天井埋込型スピーカー（ATT付）



L級

スピーカーユニット	8 cmコーン型
定格入力	3 W/1 W
出力音圧レベル	92 dB/W（1 m）
周波数特性	150 Hz～20 kHz
入力インピーダンス	3.3 kΩ/10 kΩ
本体仕上	黒色モールド成型
パネル/フレーム	アルミパンチング/ABS樹脂
アッテネータ	4段階（大/中/小/切）

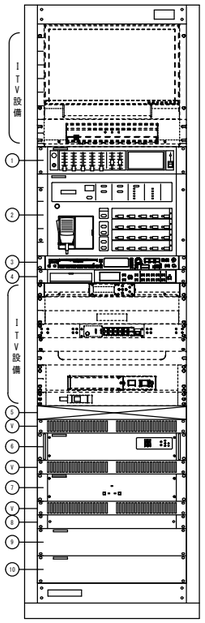
ホーンスピーカー（15W）



L級

スピーカーユニット	12 cm防滴型
定格入力	15 W/10 W/3 W
出力音圧レベル	99 dB/W（1 m）
周波数特性	150 Hz～15 kHz
入力インピーダンス	670 Ω/1 kΩ/3.3 kΩ
防水保護等級	IPX4準拠（JIS C 0920-2003）
使用温度範囲	-30 ℃～＋60 ℃

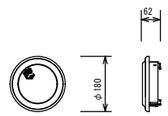
業務放送架（総合盤組込み）



1	ミキサーユニット
2	業務操作器
3	CD/メモリープレーヤー
4	プログラムチャイムユニット
5	日中・夜間切替ユニット
6	デジタルパワーアンプ
7	直流電源ユニット
8	主電源ユニット
9	主制御ユニット
10	回線制御ユニット
V	ベンチレートパネル

定格出力	180 W
出力制御部	スピーカー出力回線：00回線＋一斉
操作スイッチ	緊急優先一斉、一斉、放送復旧、チャイム
	（アップ、ダウン）、表示切替
表　　示	主電源、予備電源、緊急優先、一斉、放送中、
	作動表示灯、異常、コンピューター異常
液晶表示	16文字 x2行（放送内容、起動元、異常発生
	内容、システム設定表示）
モニタースピーカー	出力0.45 W、音量調節器、ハウリング防止回路付
内蔵チャイム	4音チャイム（アップ、ダウン）、2音、1音
動作モード	通常/システム設定/履歴確認/システム点検
ミキサー部	アナウンスマイク、報時チャイム／ページング／
	ミキサー／アナウンス／拡張／デジタル音源 x3、
	BGM、業務リモコン、マルチリモコン、音声出力
PC接続端子	D-sub 9Pin（RS-232C）
起動入力	標準：13、拡張ユニット増設時最大：73
制御出力	標準：10、拡張ユニット増設時最大：30
その他	停電起動入力、RB入力
CD/メモリープレーヤー	
対応メディア	CD、CD-R/RW、USB、SD、SDHC
再生ファイル形式	CD-DA/MP3/WMA/WAV/AAC
Bluetooth	対応A2DPコーデック：SBC、AAC、aptX
FM/AMチューナー	FM：76～108 MHz、AM：522～1,629 kHz
プログラムチャイムユニット	
スケジュール	週間／年間
搭載音源	ウェストミンスターの鐘、ラジオ体操第一他
記録メディア	本体内蔵メモリ、SDカード対応
音声入力	ライン、録音
音声出力	ライン x2、ヘッドホン
時刻補正	NTP、親時計入力、接点入力
日中・夜間切替ユニット	
機　　能	緊急指令放送時、日中と夜間で放送エリアを
	切り替え放送可能なこととする。

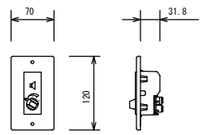
防滴型天井スピーカー



L級

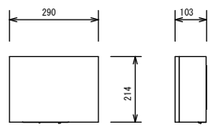
スピーカーユニット	9 cm防滴型
定格入力	3 W/1 W
出力音圧レベル	92 dB/W（1 m）
周波数特性	150 Hz～20 kHz
入力インピーダンス	3.3 kΩ/10 kΩ
防水保護等級	IPX4準拠（JIS C 0920）
材　　質	キャビネット：PP複合樹脂

アッテネータ



入力容量	6 W（0.5 W～6 W適合）
入力インピーダンス	1.7 kΩ～20 kΩ
音量調節	5段階（OFF、-18、-12、-6、0 dB）

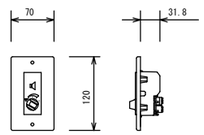
壁掛型スピーカー（ATT付）



L級

スピーカーユニット	16 cmコーン型
定格入力	6 W/3 W/1 W
出力音圧レベル	92 dB/W（1 m）
周波数特性	120 Hz～13 kHz
入力インピーダンス	1.7 kΩ/3.3 kΩ/10 kΩ
アッテネータ	4段階（大/中/小/切）
キャビネット	木製

アッテネータ（30W）



入力容量	30 W（0.5 W～30 W適合）
入力インピーダンス	330 Ω～20 kΩ
音量調節	5段階（OFF、-18、-12、-6、0 dB）

※機器姿図・仕様はすべて参考とする。

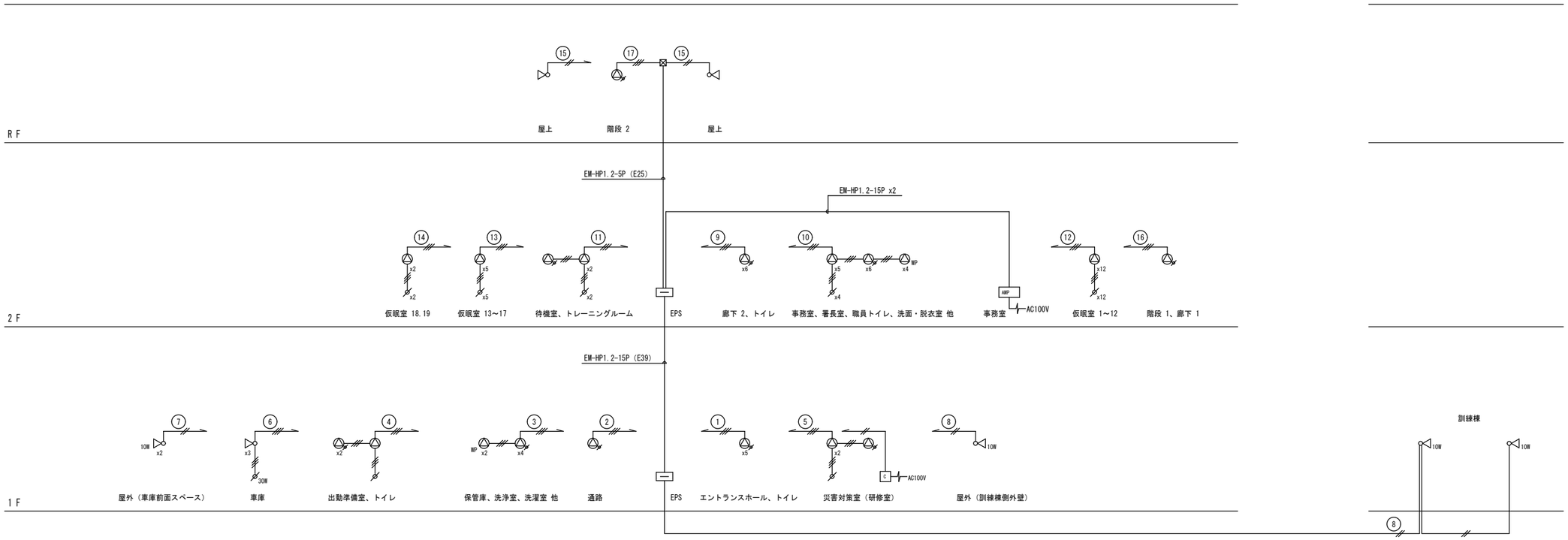
JOB NO

白石消防署庁舎建替工事

【庁舎棟】
拡声設備，ｼｽﾃﾑﾌﾞﾛｯｸ図・機器参考姿図　E-39

DATE	SCAL	DRAWN	CHEK
R8.05.29	(A 1) 1／NON (A 3) 1／NON		

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士　第 357230 号　永野ますみ



拡声設備 系統図

凡　例

記号	名称	摘要
AMP	非常業務放送架	180W 20回線+一斉 AC100V （防災盤組込）
	天井埋込型スピーカー	1W／3W ATT無
	天井埋込型スピーカー	1W／3W ATT付
WP	防滴型天井スピーカー	1W／3W
	壁掛型スピーカー	1W／3W／6W ATT付
	ホーンスピーカー	6W
10W	ホーンスピーカー	10W
	アッテネータ	0.5～6W
30W	アッテネータ	30W
C	電源遮断ユニット	AC100V
	弱電端子盤	別途設備工事
	ブルボックス	
	電　線　路	天井ケーブル配線
	電　線　路	天井埋込配管配線
	電　線　路	床埋込配管配線
	電　線　路	立ち上げ，素通し，引き下げ

注　記

○ 特記なき配管配線は、下記とする。

EM-HP 1.2-2C	保護管（PF16）
EM-HP 1.2-3C	保護管（PF16）
EM-HP 1.2-2C	（PF16）
EM-HP 1.2-3C	（PF16）

※ 本設備の配線は、ケーブル配線とし 立ち上げ 引き下げ 及び
壁・梁 貫通部分は、電線管にて保護すること。
※ ケーブルの防火区画及び防火上主要な間仕切の貫通部は、
国土交通大臣認定工法により、耐火処理を施す事とする。
※ 本工事にて使用するケーブルは、環境配慮型電線（エコケーブル）とする。

放送系統表

階	非常放送系統番号	業務放送系統番号	放送区分	1W	1W	1W	1W	6W	10W	合計	ATT	30W ATT	C CUT
1階	1	①	エントランスホール、トイレ		5					5W			
		②	通路		1					1W			
		③	保管庫、洗浄室、洗濯室 他		4	2	2			8W			
		④	出動準備室、トイレ	1	2					3W	1		
		⑤	災害対策室（研修室）	2	1					3W	1		1
		⑥	車庫					3		18W		1	
		⑦	屋外（車庫前面スペース）						2	20W			
		⑧	屋外（訓練棟）						3	30W			
2階	2	⑨	廊下 2、トイレ		6					6W			
		⑩	事務室、署長室、職員トイレ、洗面・脱衣室 他	5	6	4				15W	4		
		⑪	待機室、トレーニングルーム	2	1					3W	2		
		⑫	仮眠室 1～12	12						12W	12		
		⑬	仮眠室 13～17	5						5W	5		
		⑭	仮眠室 18.19	2						2W	2		
R階	3	⑮	屋上					2		12W			
	4	⑯	階段 1、廊下 1		1					1W			
	5	⑰	階段 2		1					1W			
		⑱	予備							W			
		⑲	予備							W			
		⑳	予備							W			
			合計	29W	28W	6W	2W	30W	50W	145W	27台	1台	1台

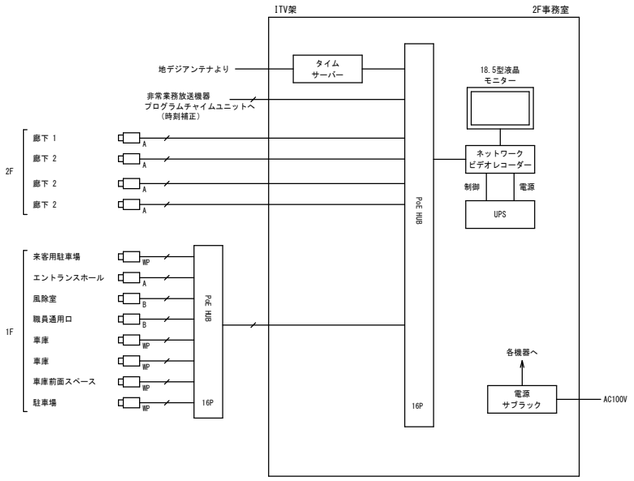
JOBNO

白石消防署庁舎建替工事　【庁舎棟】拡声設備 系統図　E-40

DATE R8.05.29　SCAL (A 1) 1／NON (A 3) 1／NON　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号 永野ますみ

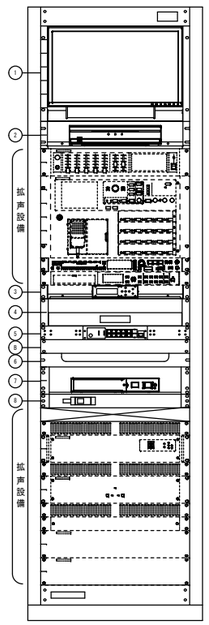
ITV設備　ブロック図



録画可能日数計算例

解像度	録画レート	録画時間	HDD容量	録画可能日数
１９２０ｘ１０８０	15 ips	24時間連続	8 TB	2週間以上

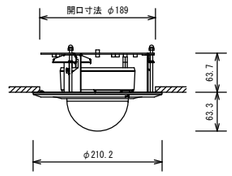
ITV架（総合盤組込）



1	18.5型液晶モニター
2	ネットワークビデオレコーダー
3	タイムサーバー
4	スライドテーブル（マウス用）
5	PoE SW
6	ケーブル引込パネル
7	UPS
8	電源サブラック
V	ベンチレートパネル
B	ブランクパネル

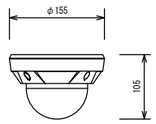
18.5型液晶モニター	
液晶パネル	18.5型、LEDバックライト
解像度	1,920x1,080
入　力	DisplayPort、HDMI、
	D-Sub15ピン（ミニ）、音声
スピーカー	2.0 W+2.0 W
ネットワークビデオレコーダー	
接続カメラ台数	最大16台
映像圧縮方式	H.265、H.264
内蔵HDD容量	4 TB x2
ネットワーク端子	Video In x8（100 Mbps）
	Ext x1（1000 Mbps）
	Client x1（1000 Mbps）
映像出力	HDMI、VGA
タイムサーバー	
入力信号	地上デジタルテレビジョン放送信号（フルセグ）
受信チャンネル	U13～U52chの内、任意の1ch（470～710 MHz）
入力時刻精度	±500 ms（ARIB規格）
対応プロトコル	NTPv3、NTPv4、SNTPv3、SNTPv4
PoE SW	
ポート	10/100/1000BASE-T：10ポート
	SFPスロット：2ポート
機能	SNMP、IGMP v2スヌーピング
給電機能	PoE（IEEE802.3at、IEEE802.3af）対応
	最大240 W（8ポート計）給電可能
UPS	
入力最大電流	7.5 A
出力定格容量	500 VA/300 W
インターフェース	RS-232C/USB/接点信号入出力
電源サブラック	20 Aサーキットブレーカー x1

A　ドーム型ネットワークカメラ（天井埋込）



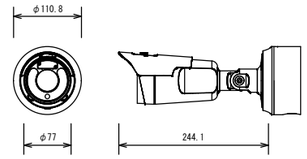
画像圧縮方式	H.265/H.264/M-JPEG
画像サイズ	1920x1080～352x240
最低被写体照度	カラー：0.1 lx、白黒：0 lx
レンズ	焦点距離：2.8 mm～12 mm
フレームレート	最高30 fps：1920x1080（WDR）
機　能	WDR、microSDカード記録、赤外線LED、
	デイナイト、プライバシーマスク
電　源	DC12 V/PoE（IEEE802.3af、Class3）

B　屋外対応ドーム型ネットワークカメラ



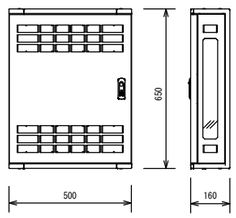
画像圧縮方式	H.265/H.264/M-JPEG
画像サイズ	1920x1080～352x240
最低被写体照度	カラー：0.1 lx、白黒：0 lx
レンズ	焦点距離：2.8 mm～12 mm
フレームレート	最高30 fps：1920x1080（WDR）
機　能	WDR、microSDカード記録、赤外線LED、
	デイナイト、プライバシーマスク
電　源	DC12 V/PoE（IEEE802.3af、Class3）
性　能	環境性能：IP67、耐衝撃性能：IK10

WP　ハウジング一体型ネットワークカメラ



画像圧縮方式	H.265/H.264/M-JPEG
画像サイズ	1920x1080～352x240
最低被写体照度	カラー：0.1 lx、白黒：0 lx
レンズ	焦点距離：2.8 mm～12 mm
フレームレート	最高30 fps：1920x1080（WDR）
機　能	WDR、microSDカード記録、赤外線LED、
	デイナイト、プライバシーマスク
電　源	DC12 V/PoE（IEEE802.3af、Class3）
性　能	環境性能：IP67、耐衝撃性能：IK10

HUB　PoE SW（16ポート、ボックス収納）



ポート	10/100/1000BASE-T：16ポート
	SFPスロット：2ポート
給電機能	PoE（IEEE802.3at、IEEE802.3af）対応
	最大247W（16ポート計）給電可能
電　源	AC100 V、最大330W
ボックス	EIA2U、ファン付

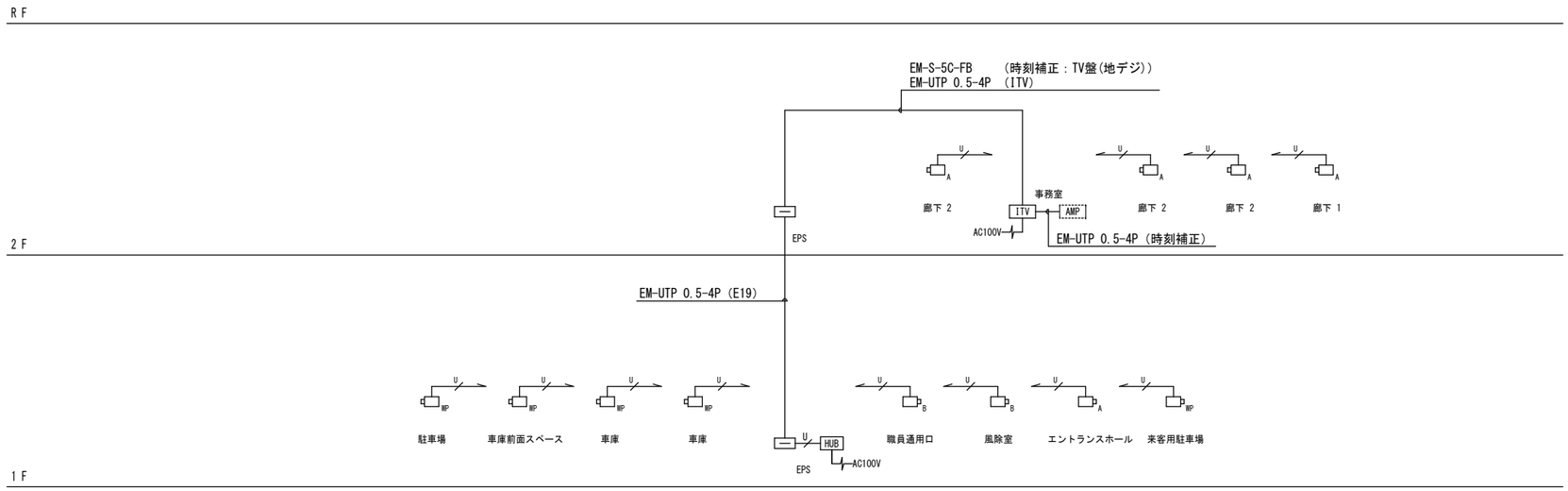
※機器姿図・仕様はすべて参考とする。

JOBNO

白石消防署庁舎建替工事　【庁舎棟】監視ｶﾒﾗ設備､ｼｽﾃﾑﾌﾞﾛｯｸ図・機器参考姿図　E-41

DATE R8.05.29　SCAL (A 1) 1／NON (A 3) 1／NON　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士　第 357230 号　永野ますみ



監視カメラ設備 系統図

凡　例

記　号	名　　称	摘　　要
ITV	ITV架	AC100V　（防災盤組込）
HUB	Poe-SW-HUB	AC100V　（16ポート、ボックス.収納）
A	ドーム型HDネットワークカメラ	
B	耐衝撃ドーム型HDネットワークカメラ	
WP	ハウジングー体型HDネットワークカメラ	
	弱電端子盤	別途設備工事
⊠	プルボックス	
	電　線　路	天井ケーブル配線
	電　線　路	天井埋込配管配線
	電　線　路	床埋込配管配線
	電　線　路	立ち上げ，素通し，引き下げ

注　　記

○ 特記なき配管配線は、下記とする。

U	EM-UTP 0.5-4P	保護管（PF16）
U	EM-UTP 0.5-4P	（PF16）

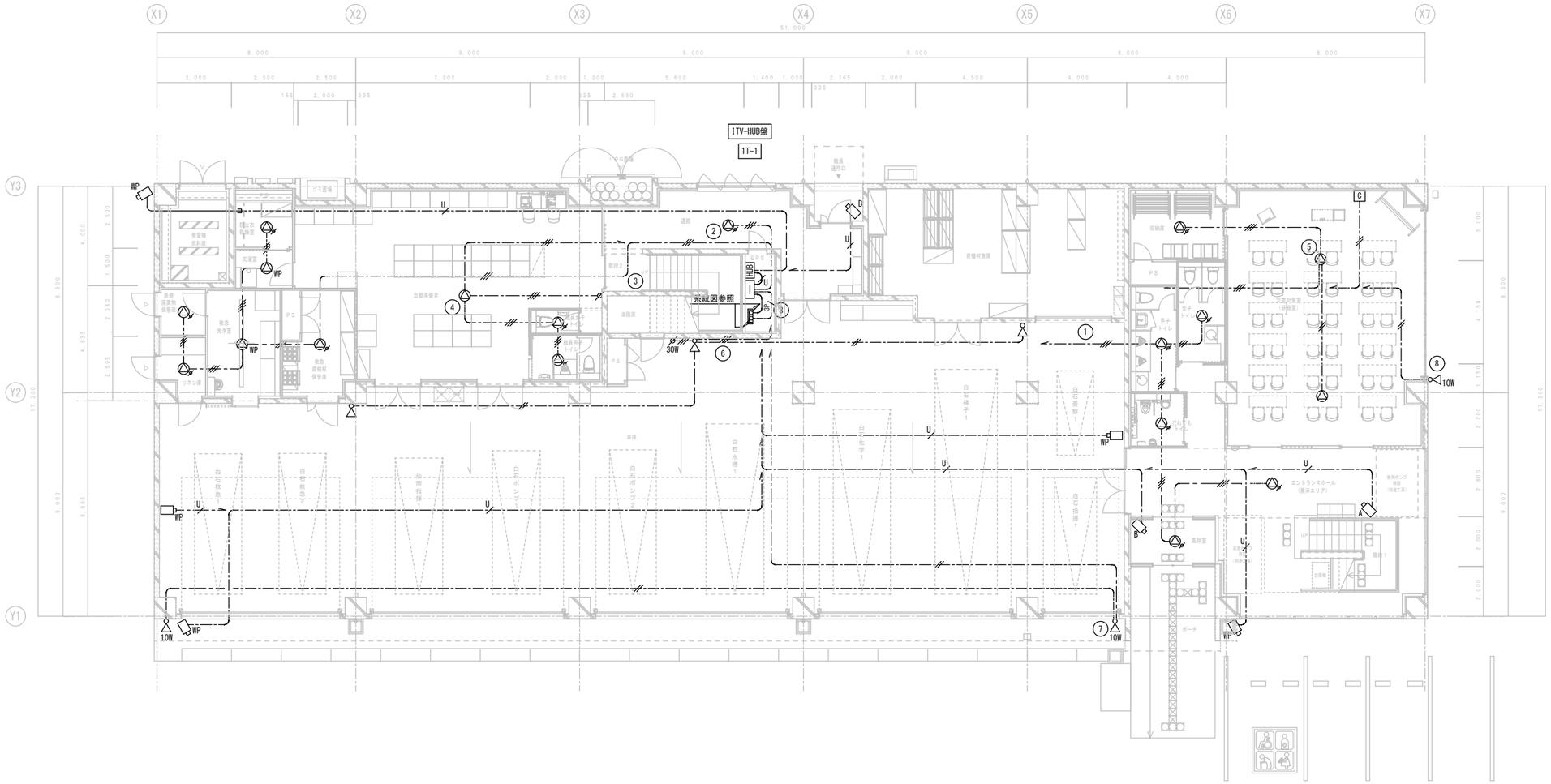
※ 本設備の配線は、ケーブル配線とし 立ち上げ 引き下げ 及び
壁・梁 貫通部分は、電線管にて保護すること。
※ ケーブルの防火区画及び防火上主要な間仕切の貫通部は、
国土交通大臣認定工法により、耐火処理を施す事とする。
※ 本工事にて使用するケーブルは、環境配慮型電線（エコケーブル）とする。

JOBNO

白石消防署庁舎建替工事　【庁舎棟】監視カメラ設備 系統図　E-42

DATE R8.05.29　SCAL (A 1) 1／NON (A 3) 1／NON　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号 永野ますみ

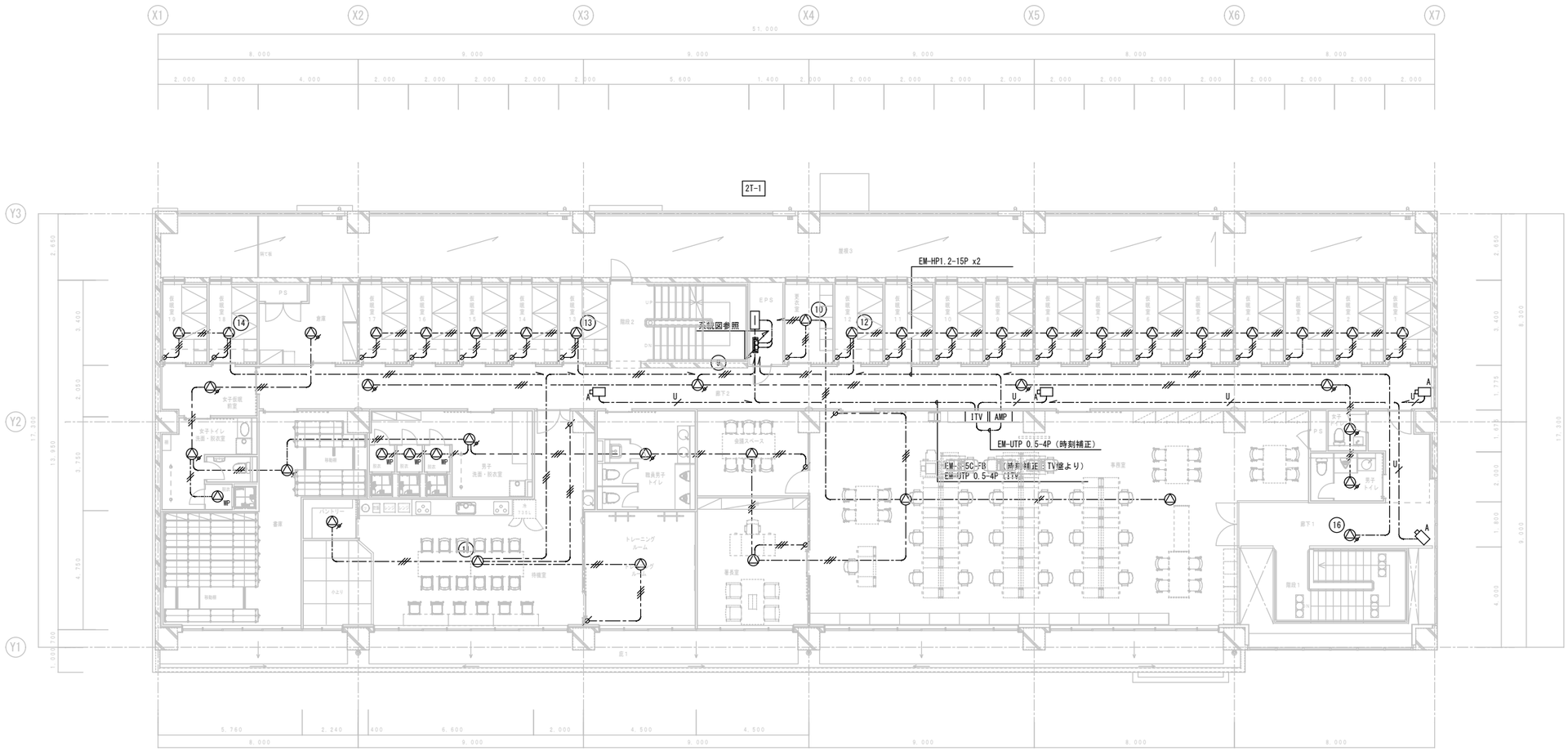


JOBNO

白石消防署庁舎建替工事　【庁舎棟】拡声・監視カメラ設備 1階平面図　E-43

DATE	SCAL	DRAWN	CHEK
R8.05.29	(A 1) 1／100 (A 3) 1／200		

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号 永野ますみ



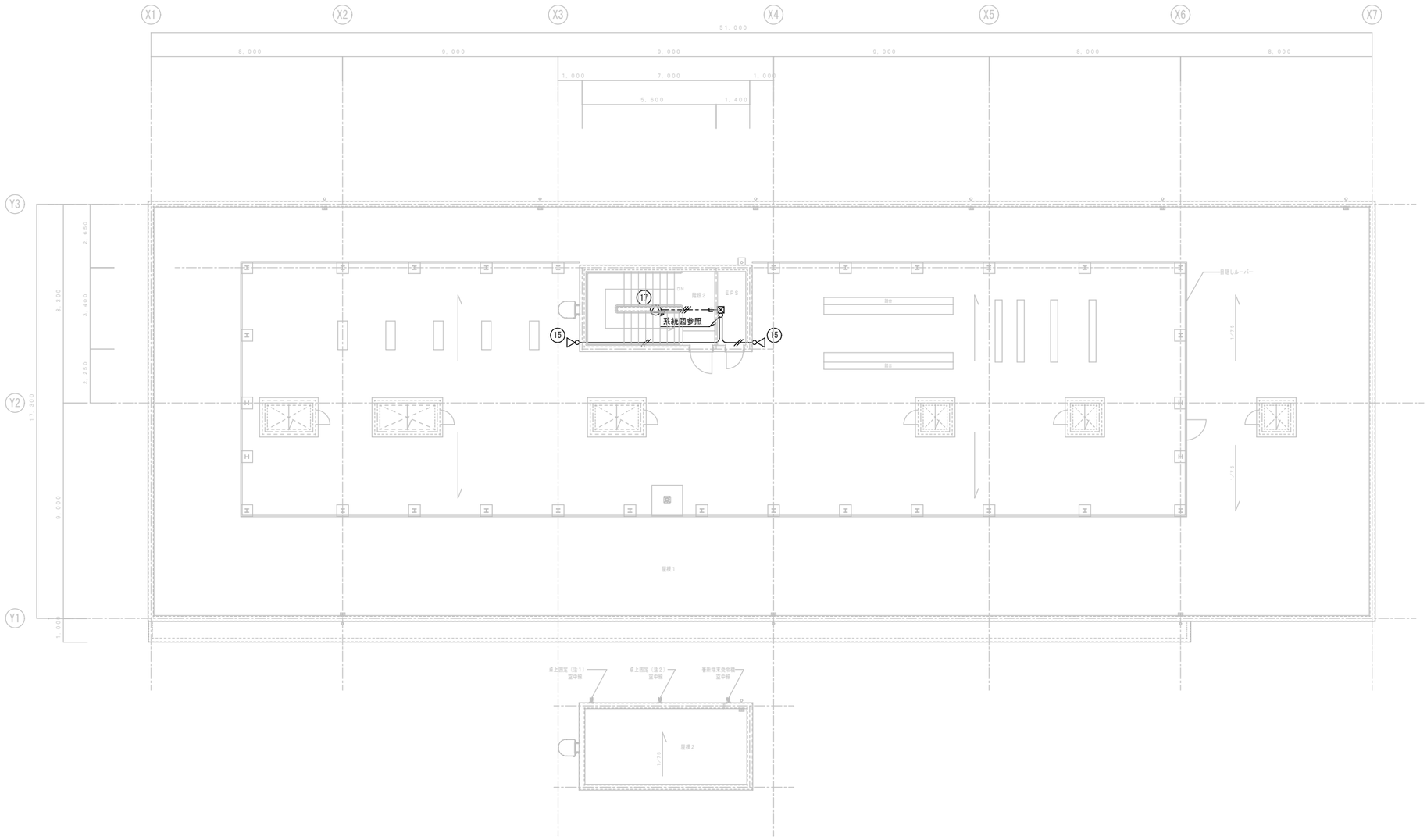
2階平面図　1/100

JOBNO

白石消防署庁舎建替工事　【庁舎棟】拡声・監視カメラ設備 2階平面図　E-44

DATE R8.05.29　SCAL (A 1) 1／100 (A 3) 1／200　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号 永野ますみ



階段2屋根伏図　1/100

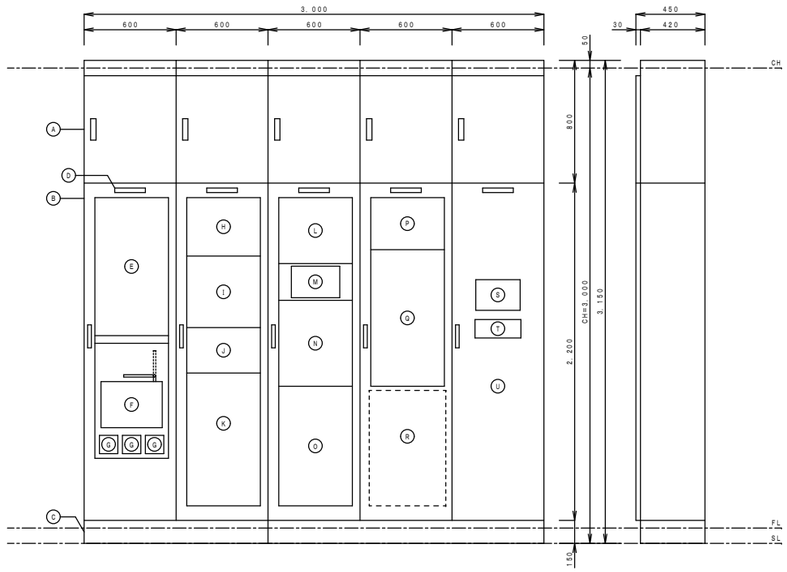
R階平面図　1/100

JOBNO

白石消防署庁舎建替工事　【庁舎棟】拡声・監視カメラ設備 R階平面図　E-45

DATE	SCAL	DRAWN	CHEK
R8.05.29	(A 1) 1／100 (A 3) 1／200		

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号 永野ますみ



総　合　防　災　盤　参　考　姿　図

総　合　防　災　盤　仕　様	
記　号	名　　称
A	配線ダクト
B	箱体
C	チャンネルベース
D	機器名板
E	Ｐ型１級複合受信機　（参考寸法：H750 x W480 x D130）
F	電気錠制御盤　（組込スペース）
G	マジカルテンキー制御器（電気錠）　（組込スペース）
H	監視カメラ用モニター
I	業務放送 操作部
J	監視カメラ機器 操作部
K	業務放送 アンプ・ユニット等
L	警報盤
M	インターホン親機
N	防災無線用機器　（組込スペース）
O	将来用スペース
P	トイレ呼出し表示装置
Q	仮眠室呼出し装置親機（ナースコールボード型 20局）
R	端子盤 ２Ｔ－２
S	集中リモコン（空調機用）　（組込スペース）
T	照明リモコンスイッチ
U	分電盤 ２Ｌ－２

凡　　例		
記　号	名　　称	備　　考
	複合防災盤	注記参照
	総合盤	Ⓟ◐Ⓑ収容　露出型
	総合盤	Ⓟ◐Ⓑ収容　埋込型
Ⓟ	発信機	Ｐ型１級
◐	表示灯	24V　LED　リング型
◐F	表示灯	24V　LED　フラット型
Ⓑ	電鈴	DC24V　150Φ
Ⓑ	電鈴	DC24V　150Φ　防雨型
	差動式スポット型感知器	２種
	定温式スポット型感知器	特種６０℃
	定温式スポット型感知器	特種６０℃　防水型
	定温式スポット型感知器	１種７０℃　防水型
80	定温式スポット型感知器	１種８０℃
EX	定温式スポット型感知器	１種６０℃　防爆型
S	光電式スポット型感知器	２種
	終端抵抗	
	定温式スポット型感知器	連動用　特種６０℃
	定温式スポット型感知器	連動用　特種６０℃　防水型
Ⓢ	光電式スポット型感知器	連動用　３種
ⒷWD	自動閉鎖装置	防火戸用　引戸式（別途）
ⒷS	自動閉鎖装置	防火シャッター用（別途）
Ⓩ	電子ブザー	DC24V　シャッター降下時鳴動
G	ガス漏れ検知器	AC100V　LPG用　コード式
	誘導標識	避難口　片面　無矢印
	誘導標識	避難口　両面　片矢印　天井金具取付
	誘導標識	通路　片面　片矢印
	警戒区域境界線	自動火災報知設備
NO	警戒区域番号	自動火災報知設備
	警戒制御番号	防排煙設備

注記

・複合防災盤仕様
　Ｐ型１級　自立箱体に壁掛型組込（参考姿図参照）
　自火報１０回線、防排煙５回線
　地図版表示式フイルムカラープリントＬＥＤ方式（３次元タイプ）
　主音響音声メッセージ、トラブル音響等音声メッセージ、補助警報５回線（窓式）
　自己診断機能付、発報/操作履歴表示機能付

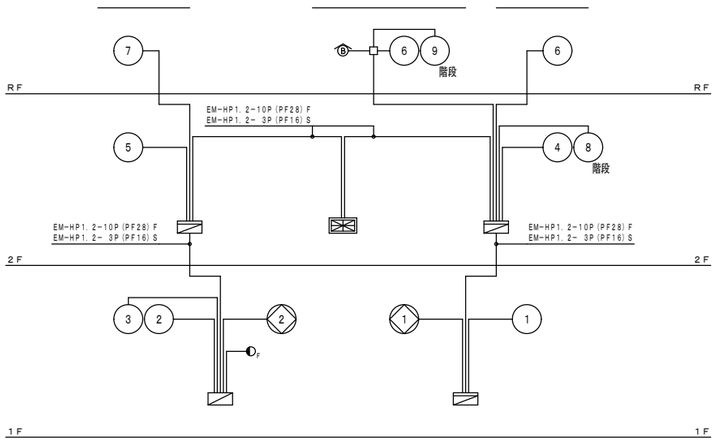
・地区音響の鳴動は一斉鳴動方式とする

・シャッター降下時鳴動用電子ブザーは天井面又は壁取付とする（１個用スイッチカバー）

・移信出力内訳
　１．電気錠火災移信

・配線凡例
　EM-AE0.9-4C　　EM-HP1.2-3C
　　EM-HP1.2-3P
　EM-AE0.9-4C(PF16)　　EM-HP1.2-2C(PF16)
　EM-AE0.9-4C(E19)　　EM-HP1.2-2C(E19)
　EM-AE0.9-4C(G16)

・▨ 防火区画等の貫通部分は耐火処理とする



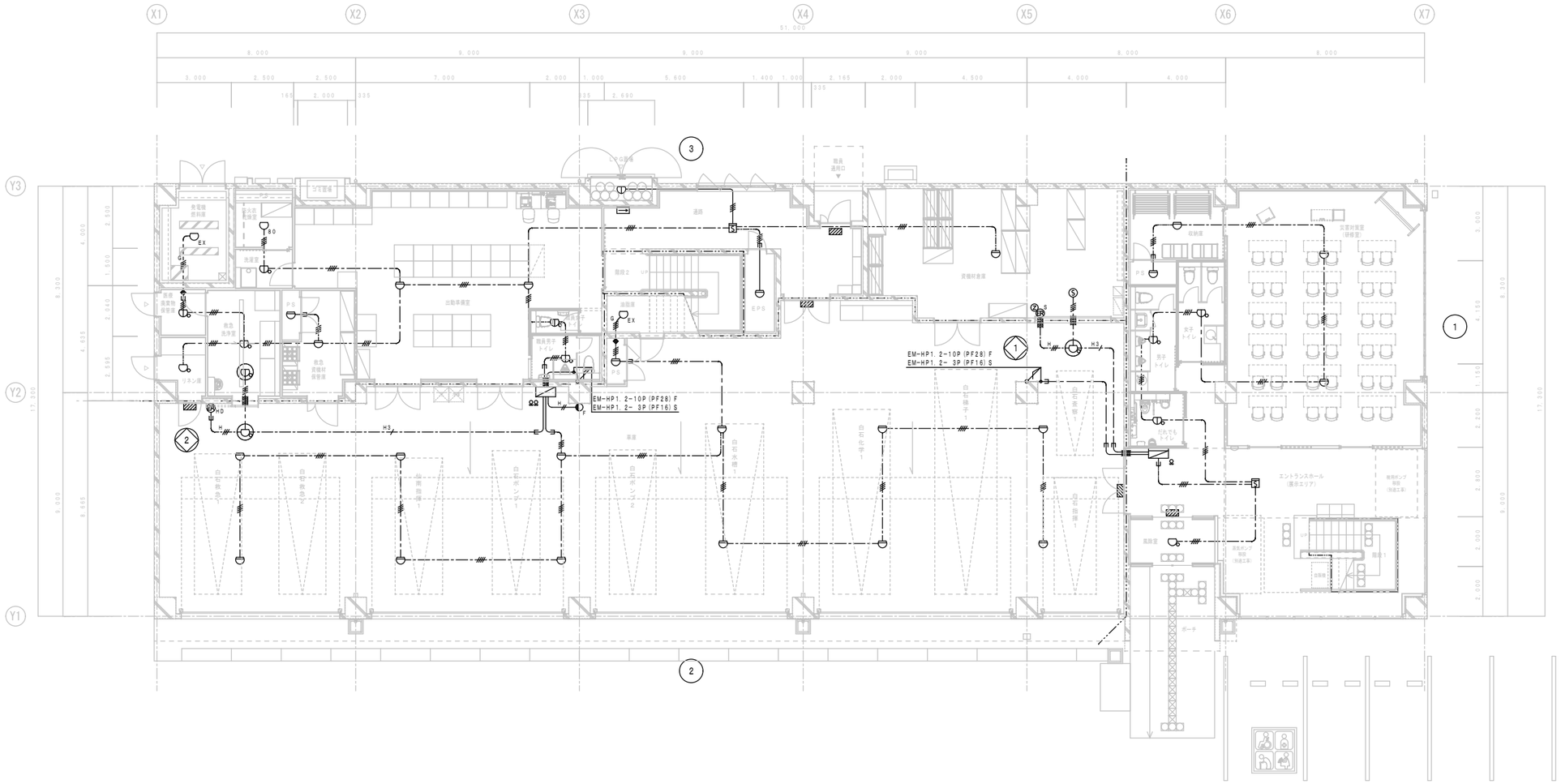
系　　統　　図

JOBNO

白石消防署庁舎建替工事　【庁舎棟】自動火災報知設備 凡例・注記・系統図　E-46

DATE R8.05.29　SCAL (A 1) 1／NON (A 3) 1／NON　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号　永野ますみ



1階平面図　1/100

JOBNO

白石消防署庁舎建替工事

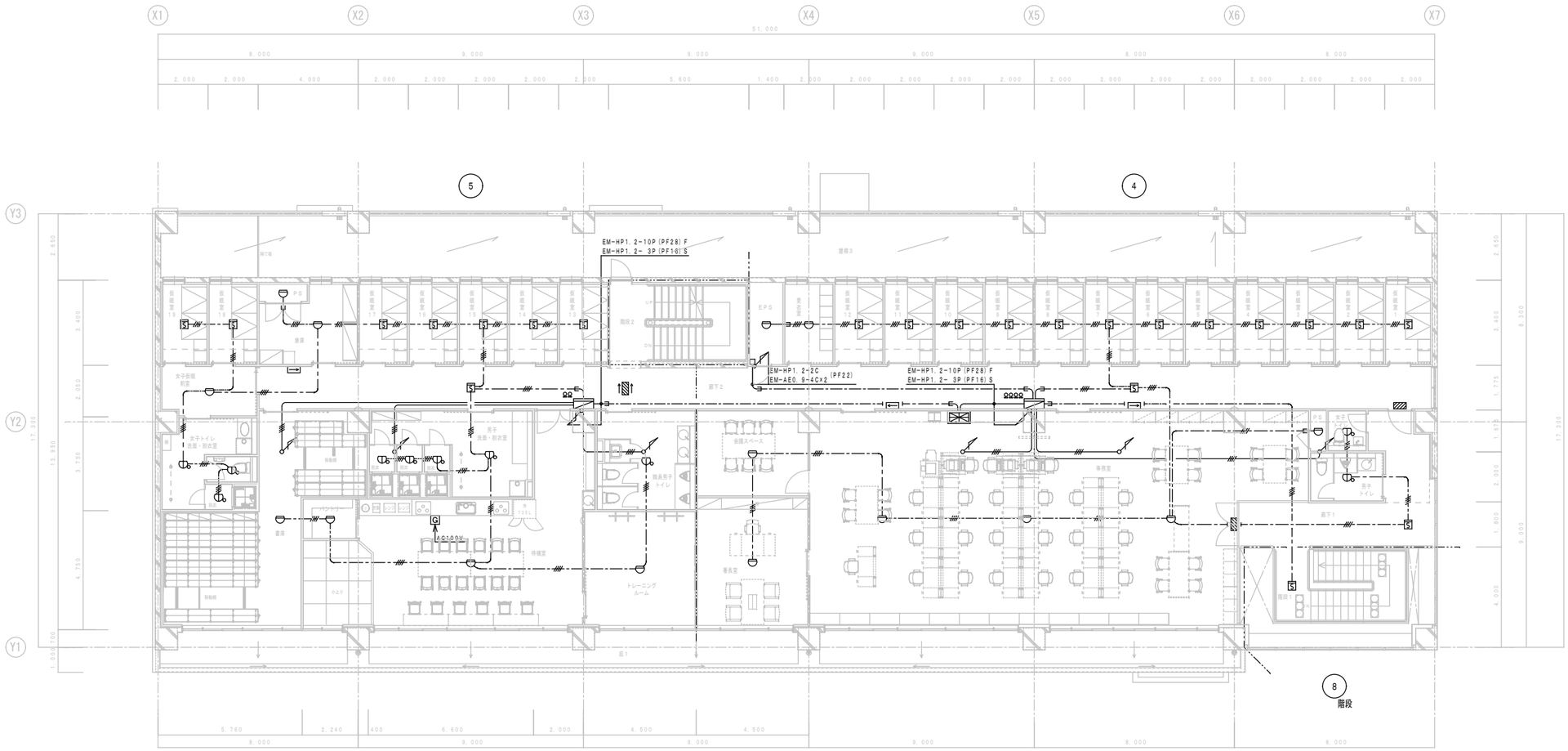
【庁舎棟】
自動火災報知・誘導標識設備 1階平面図

E-47

DATE R8.05.29　SCAL (A 1) 1／100 (A 3) 1／200　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所

一級建築士 第 357230 号 永野ますみ



2階平面図　1/100

JOBNO

白石消防署庁舎建替工事

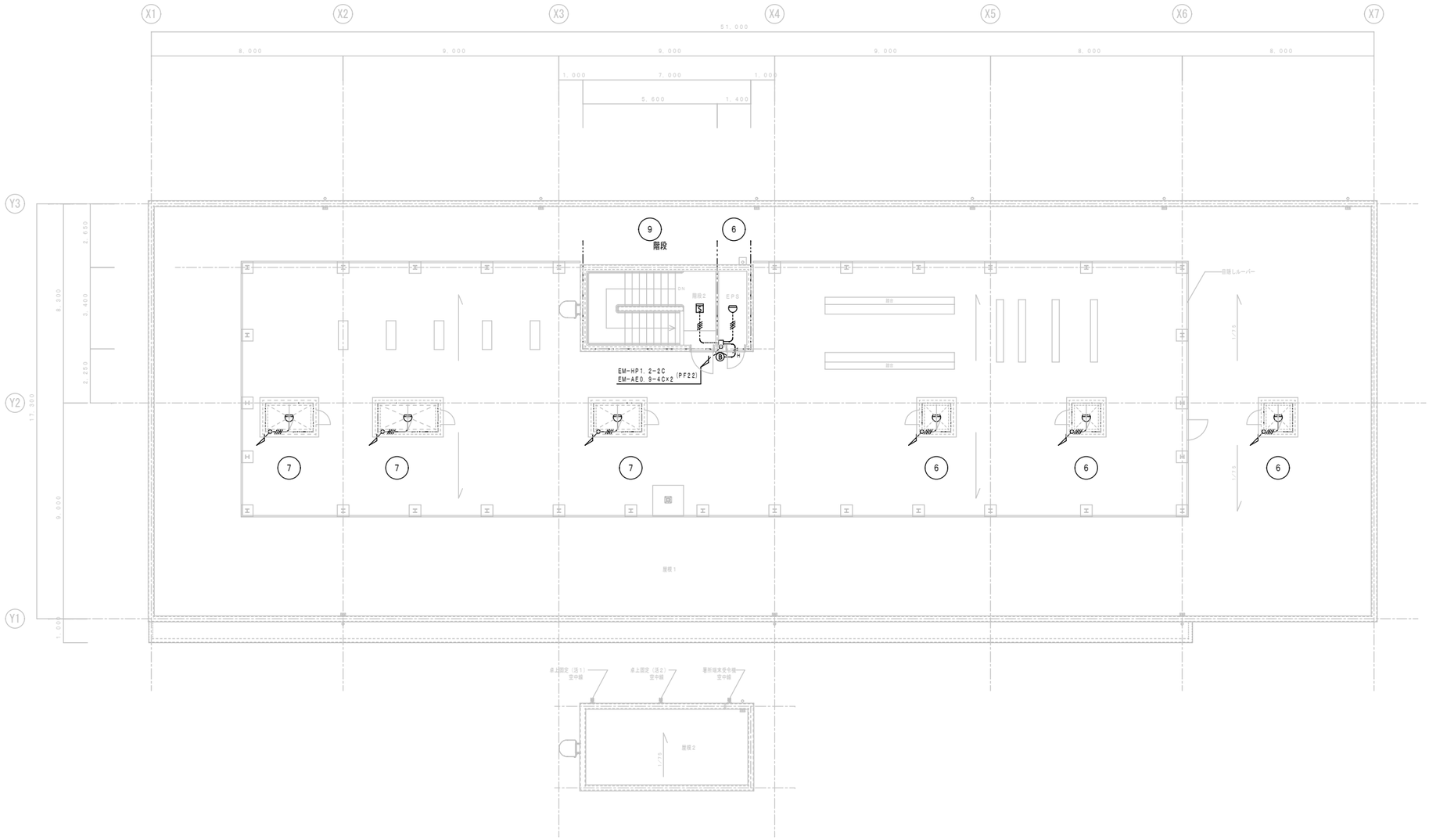
【庁舎棟】
自動火災報知・誘導標識設備 2階平面図

E-48

DATE R8.05.29　SCAL (A 1) 1／100 (A 3) 1／200　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所

一級建築士 第 357230 号 永野ますみ



階段2屋根伏図　1/100

R階平面図　1/100

JOBNO

白石消防署庁舎建替工事　【庁舎棟】自動火災報知設備 R階平面図　E-49

DATE	SCAL	DRAWN	CHEK
R8.05.29	(A 1) 1／100 (A 3) 1／200		

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号 永野ますみ

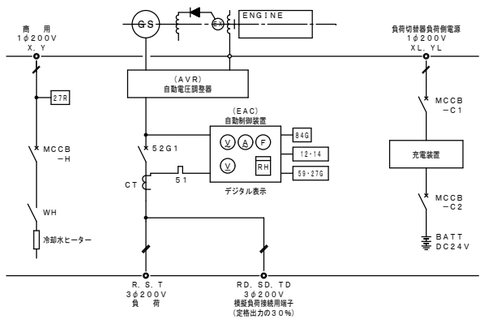
発電装置仕様

一般事項			
用途	非常用	周囲温度	−5℃～＋40℃
設置場所	屋外	相対湿度	85%以下
形状	キュービクル式	高度	海抜300m以下
騒音	85dB（A）平均	静荷重	19515N
起動時間	停電より40秒以内	最大荷重	20447N
認定	（社）日本内燃力発電設備協会認定品		
発電機		ディーゼル機関	
形式	横軸回転界磁形同期発電機	形式	直列緩置水冷4サイクル
容量	100 kVA以上	出力	120 kW以上
電圧	200 V	回転数	1500 min^{-1}
電流	289 A	燃焼室形式	直接噴射式
周波数	50 Hz	冷却方式	ラジエター冷却方式
相数	3 相	始動方式	電気式
極数	4 P	使用燃料	軽油
力率	80 %	燃料消費量	23.7 L/Hr
励磁方式	ブラシレス励磁方式		
耐熱クラス	電機子：H種 界磁：H種	主燃料槽	
保護方式	IP20（保護形）	構造	鋼板製角型
冷却方式	IC01（自由通流形）	容量	2000L
制御盤		付属品	給油口ユニットボックス
形状	搭載形		移送ポンプ
遮断器	400AF/350AT		ポンプ制御盤（油庫外板取付）
充電器			フロートSW（2接点）
充電方式	半導体式全自動充電	燃料小出槽（油庫式）	
蓄電池		構造	鋼板製角型
種類	制御弁式鉛蓄電池	容量	190L
バッテリー容量	24V 40 Ah（REH）		フロートSW（4接点）

保護警報

故障種別	機関停止	遮断器断	表示	色	警報ベル	外部支給接点
潤滑油油圧低下	○	○	○	赤	○	一括
冷却水温度上昇	○	○	○	赤	○	
加速度	○	○	○	赤	○	
始動渋滞	○	−	○	赤	○	
過電流	−	○	○	赤	○	
緊急停止	○	○	○	赤	○	
過電圧	○	○	○	赤	○	
不足電圧	○	○	○	赤	○	
周波数低下	○	○	○	赤	○	
燃料油最低油量	○	○	○	赤	○	
充電異常	−	−	○	橙	○	
燃料油油面低下	−	−	○	橙	○	

単線結線図



記号	名称	記号	名称
ENG	ディーゼルエンジン	MCCB-C1	配線用遮断器（充電器入力）
GS	交流発電機	BC	充電器
EX	交流励磁機	MCCB-C2	配線用遮断器（充電器出力）
AVR	自動電圧調整器	MCCB-G6	配線用遮断器（制御電源）
52G1	配線用遮断器（主回路）	EAC	自動制御装置
CT	計器用変流器	84G	電圧継電器（発電検出）
51	過電流継電器	12-14	速度継電器
27R	電圧継電器（停電検出）	V	交流電圧計
MCCB-H	配線用遮断器（保温回路）	A	交流電流計
23MH	スペースヒータ	F	周波数計
23	ヒーター温度スイッチ	V	直流電圧計

消防庁予防課監修　自家発電設備出力計算書　による計算結果

特性等

(1)	対象負荷機器	様式−2のとおり
(2)	発電機　特性	KG3 = 1.500 KG4 = 0.150 εd'g = 0.165 ΔE = 0.250 ηg = 0.900
(3)	原動機　特性	ε = 0.700 γ = 1.100 a = 0.175
(4)	負荷機器	ηD = 0.868 ηd = 個別入力値

自家発電設備

(1)	種類
(2)	型式番号
(3)	発電機出力 定格出力 100.0 kVA　極数 4 極 定格電圧 200 V　定格周波数 50 Hz 定格力率 0.800　定格回転速度 1,500 min^{-1}
(4)	原動機出力 原動機の種別 ディーゼル機関（長時間形） 定格出力 120.0 kW ［ 163.2 PS ］ 使用燃料 軽油　定格回転速度 1,500 min^{-1}
(5)	整合比 1.349

自家発電設備出力計算（発電機）まとめ

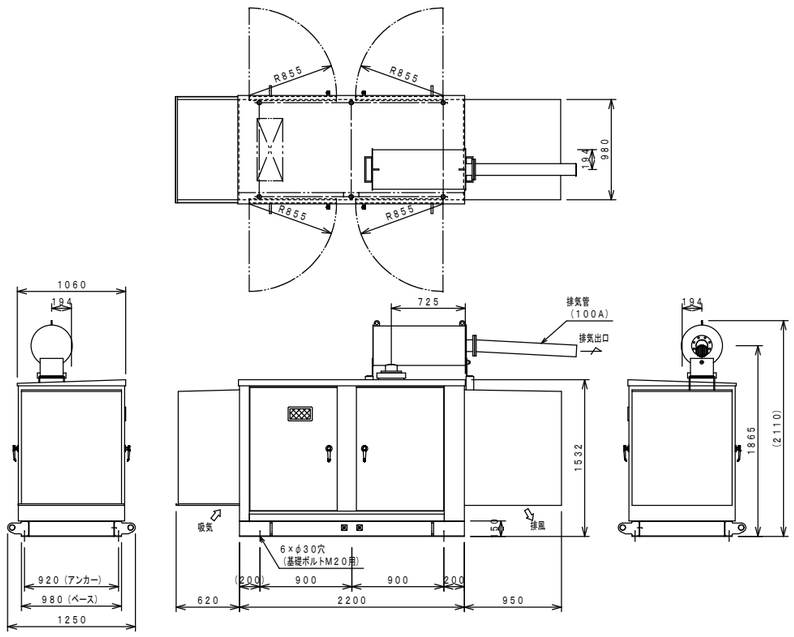
定常負荷出力係数 RG1	1.252
許容電圧降下出力係数 RG2	0.326
短時間過電流耐力出力係数 RG3	0.878
許容逆相電流出力係数 RG4	0.580
RG	1.252　RG1, RG2, RG3, RG4　のうち最大値
発電機計算出力	MR' = RG × K = 1.252 × 75.97 = 95.10 (kVA)
発電機定格出力	G = 100.0 (kVA)

負荷表

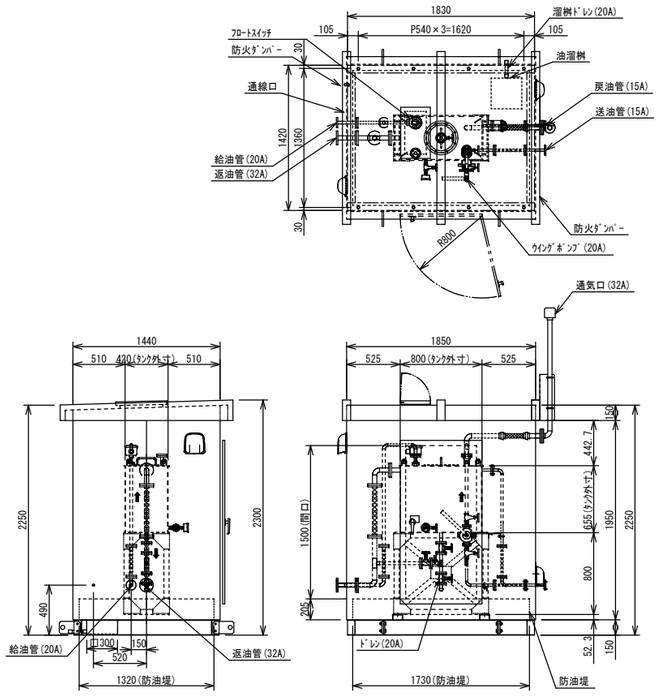
番号	グループ	負荷機器名称	消防設備	記号	台数	換算入出力 kW kVA	出力 mi (kW)	始動方式	制御方式	単相負荷 (kW) R−S	S−T	T−R	需要率 di
1	単	保安電灯用スコットトランス		P1	1	50.00	50.00			16.67	16.67	16.67	0.800
2	単	パッケージエアコン EHP-1		VFT	1	15.40	15.40			0.00	0.00	0.00	1.000
3	単	パッケージエアコン APC-1		VFT	1	1.77	1.77			0.00	0.00	0.00	1.000
4	単	送風機		MLT	1	2.20	2.20	L		0.00	0.00	0.00	1.000
5	単	排風機		MLT	1	2.20	2.20	L		0.00	0.00	0.00	1.000
6	単	ホースリフター制御盤		MLT	1	2.20	2.20	L		0.00	0.00	0.00	1.000
7	単	車庫　動力コンセント		MLT	1	1.50	1.50	L		0.00	0.00	0.00	1.000
8	単	簡易タンク貯蔵所　給油機		MLO	1	0.30	0.30	L		0.00	0.00	0.00	1.000
9	単	燃料移送ポンプ		MLO	1	0.40	0.40	L		0.00	0.00	0.00	1.000
			負荷出力合計値			K=	75.97			16.67	16.67	16.67	

自家発電設備出力計算（原動機、整合）まとめ

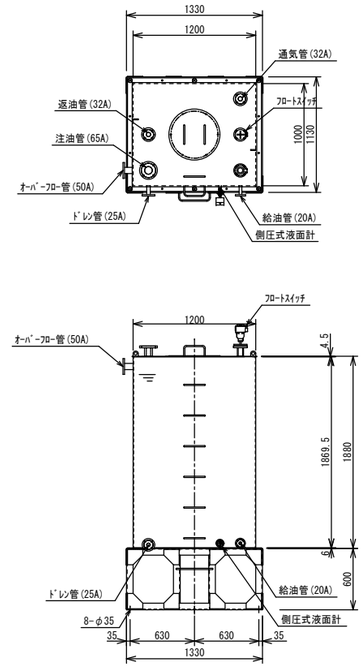
定常負荷出力係数 RE1	1.113
許容回転速度変動出力係数 RE2	1.470
許容最大出力係数 RE3	1.183
RE	1.470　RE1, RE2, RE3　のうち最大値
原動機計算出力 E'	E' = RE × K = 1.470 × 75.97 = 111.66 (kW)
整合	$MR' = \frac{E'}{G \times \cos g\theta} \times \eta g = 1.256$
原動機定格出力 E	MR' = 1.256　E* = 111.66 (kW) MR = 1.349　E = 120.0 (kW)
自家発電設備の出力	G = 100.0 (kVA)　力率 = 0.800 E = 120.0 (kW)　163.2 (PS)　ディーゼル機関（長時間形）



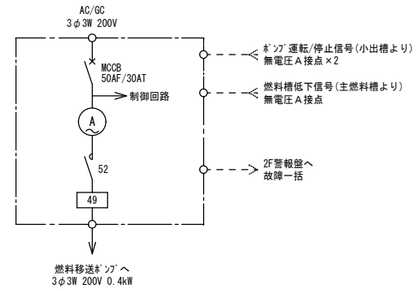
発電装置 参考姿図　S=1/30



燃料小出し槽 参考姿図　S=1/30



主燃料槽 参考姿図　S=1/30



燃料移送ポンプ盤 単線結線図

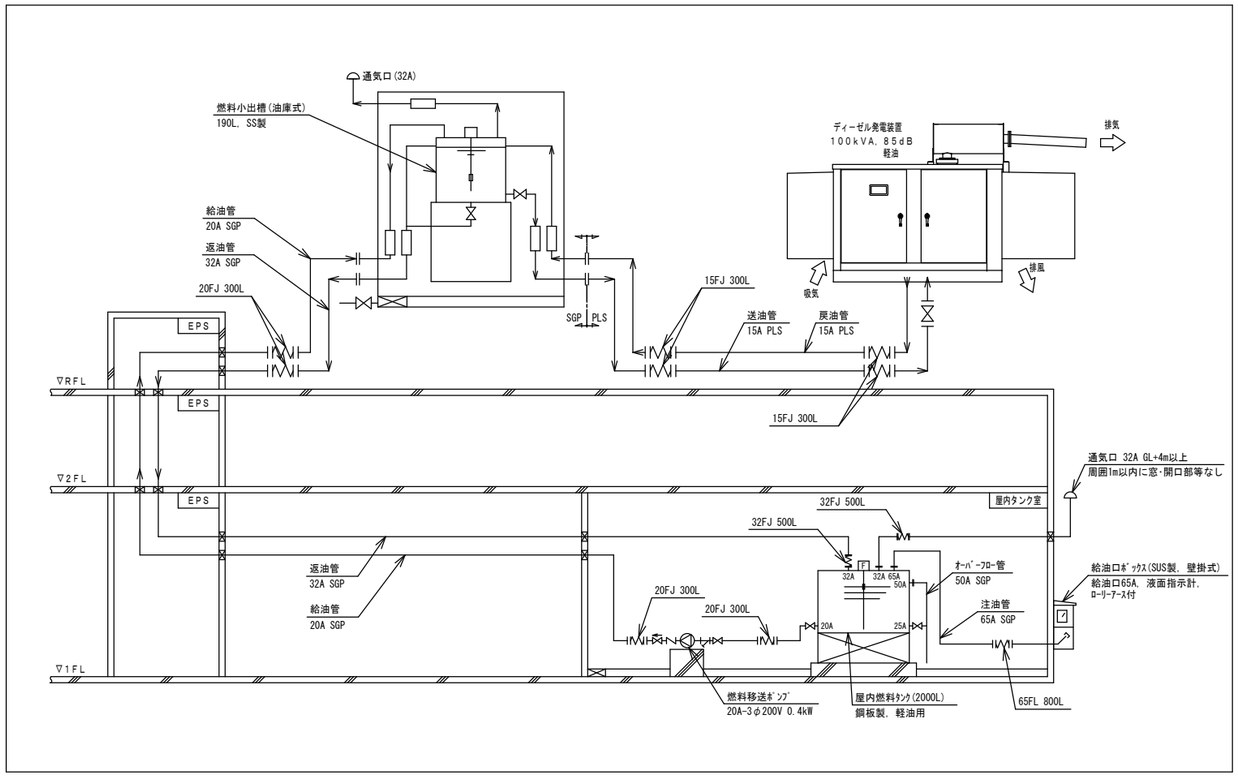
鋼板製 屋外防雨・壁掛型

JOB NO

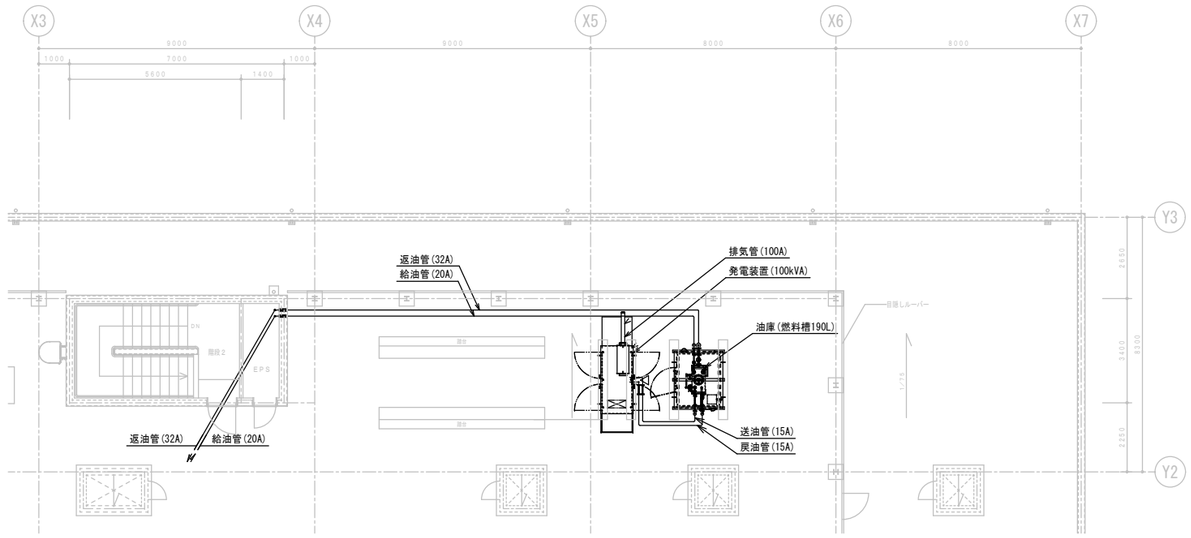
白石消防署庁舎建替工事　【庁舎棟】発電設備 仕様書・参考計算書・機器参考姿図　E-50

DATE R8.05.29　SCAL (A 1) 1／30 (A 3) 1／60　DRAWN　CHEK

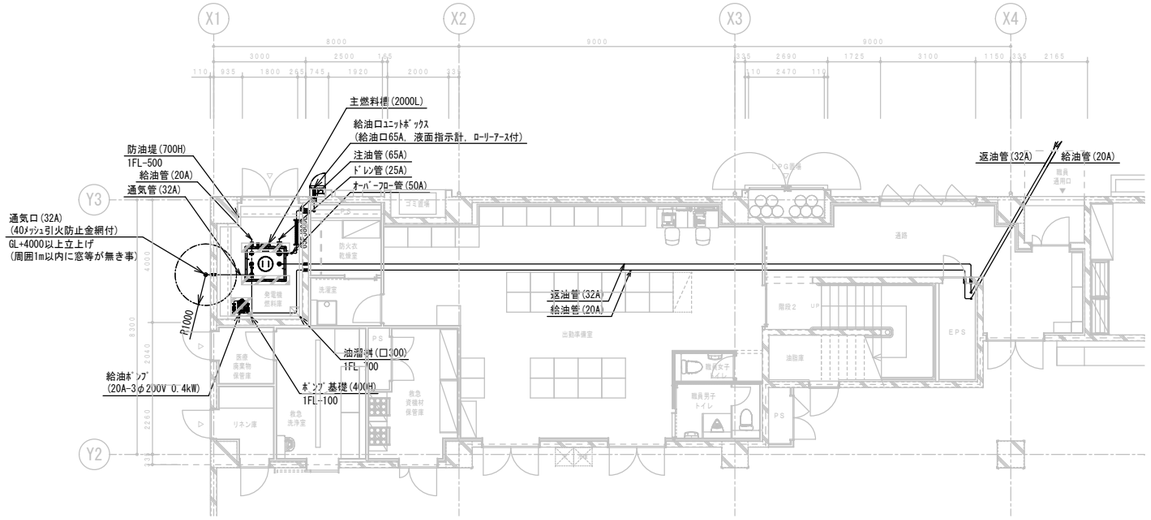
株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号 永野ますみ



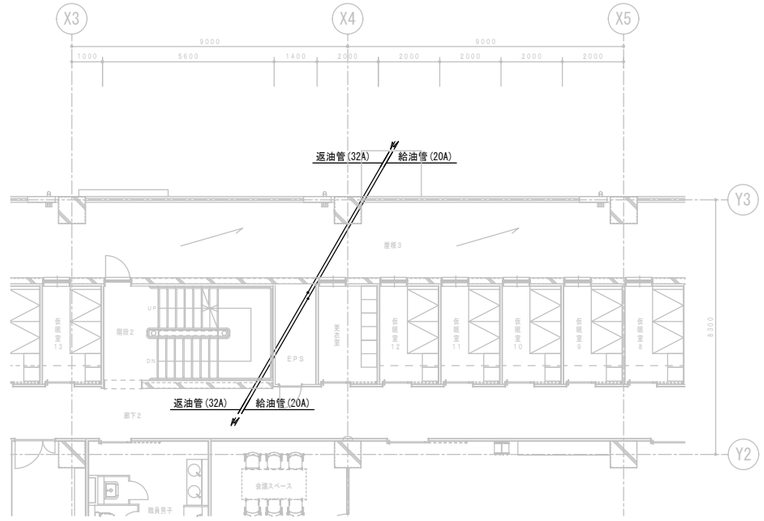
発電設備 配管系統図　S=N/S



庁舎棟 R階平面図　S=1/100



庁舎棟 1階平面図　S=1/100



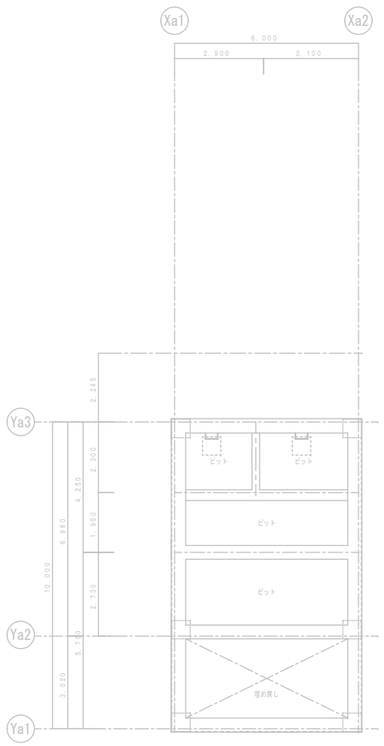
庁舎棟 2階平面図　S=1/100

JOBNO

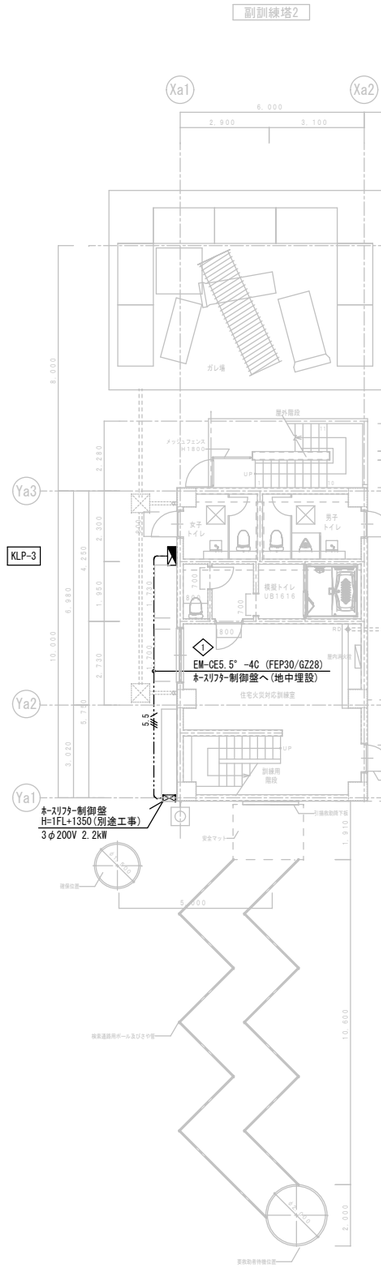
白石消防署庁舎建替工事　【庁舎棟】発電設備 配管系統図・1～R階平面図　E-51

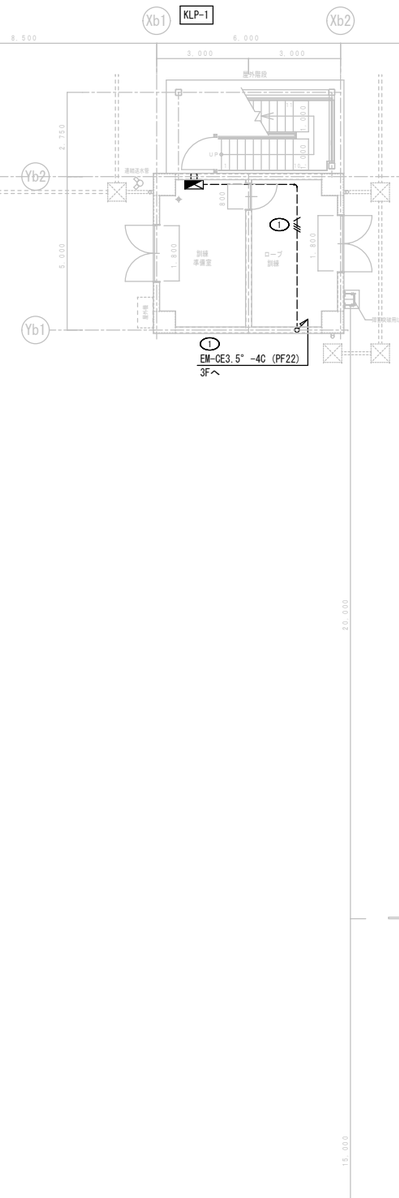
DATE	SCAL	DRAWN	CHEK
R8.05.29	(A 1) 1/100 (A 3) 1/200		

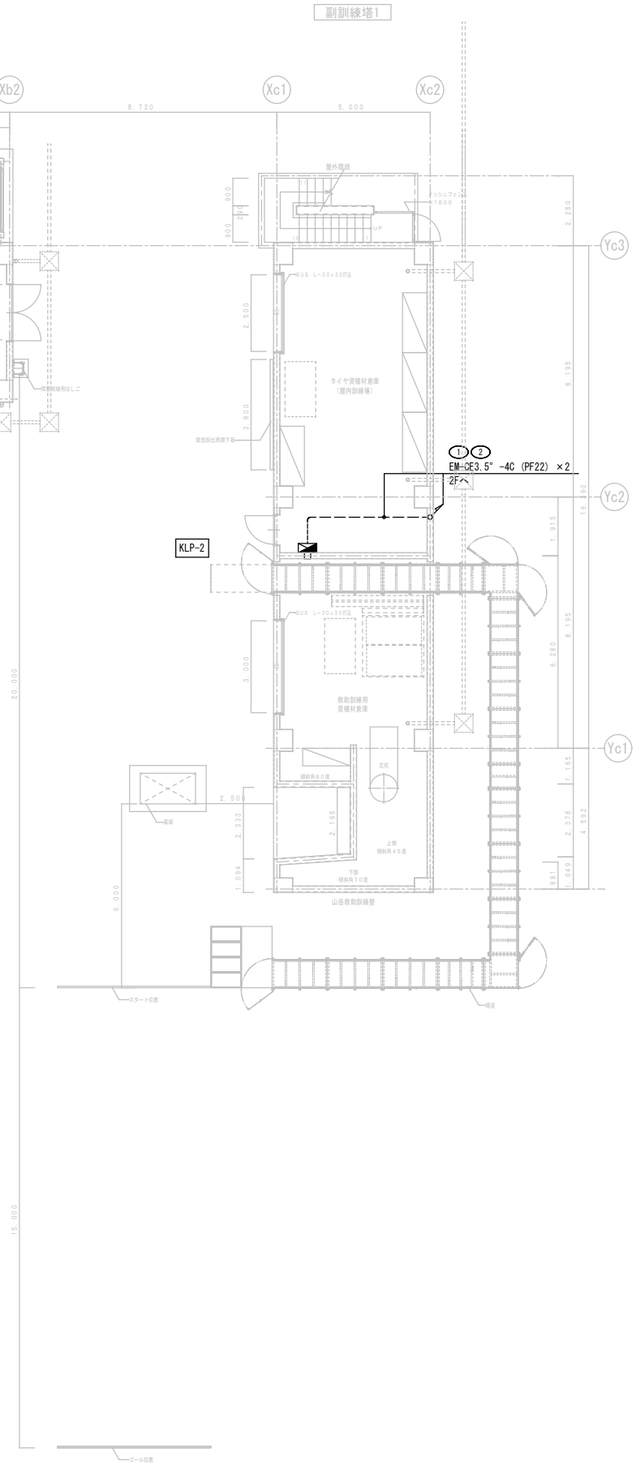
株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号　永野ますみ



ピット階平面図　S=1/100







1階平面図　S=1/100

特記事項

記　号	名　称	適　用
	電灯動力盤	仕様は盤結線図参照
	機器制御盤(別途工事)	※一次側電源接続迄
SS	電動ｼｬｯﾀｰ	※電源接続迄
□SS	ｼｬｯﾀｰ操作ｽｲｯﾁ	※位置BOX取付迄
□	位置ﾎﾞｯｸｽ	OB 中浅型
⊠	ﾌﾟﾙﾎﾞｯｸｽ	ｻｲｽﾞ・仕様は附記参照 特記なき場合は SS200x200x100MP-SUS を示す

配線凡例	配線種別	保護管	備　考
	EM-CE 3.5" -4C	(PF22)	-
	EM-CE 3.5" -4C	(GZ22)	-
	EM-CE 3.5" -4C	(GZ22)	-
	EM-CE 5.5" -4C	(FEP30/GZ28)	-

＜配線種別＞			
	天井ｺﾛﾎﾞｼﾞｬﾗｯｸ配線		露出配管
	天井隠蔽配管		地中埋設配管配線
	床隠蔽配管		壁貫通保護

＜注記＞
・防火区画貫通部は国土交通大臣認定工法にて適切に処理する。
・壁内立上げ・立下げ、および露出部は適合電線管にて保護する。

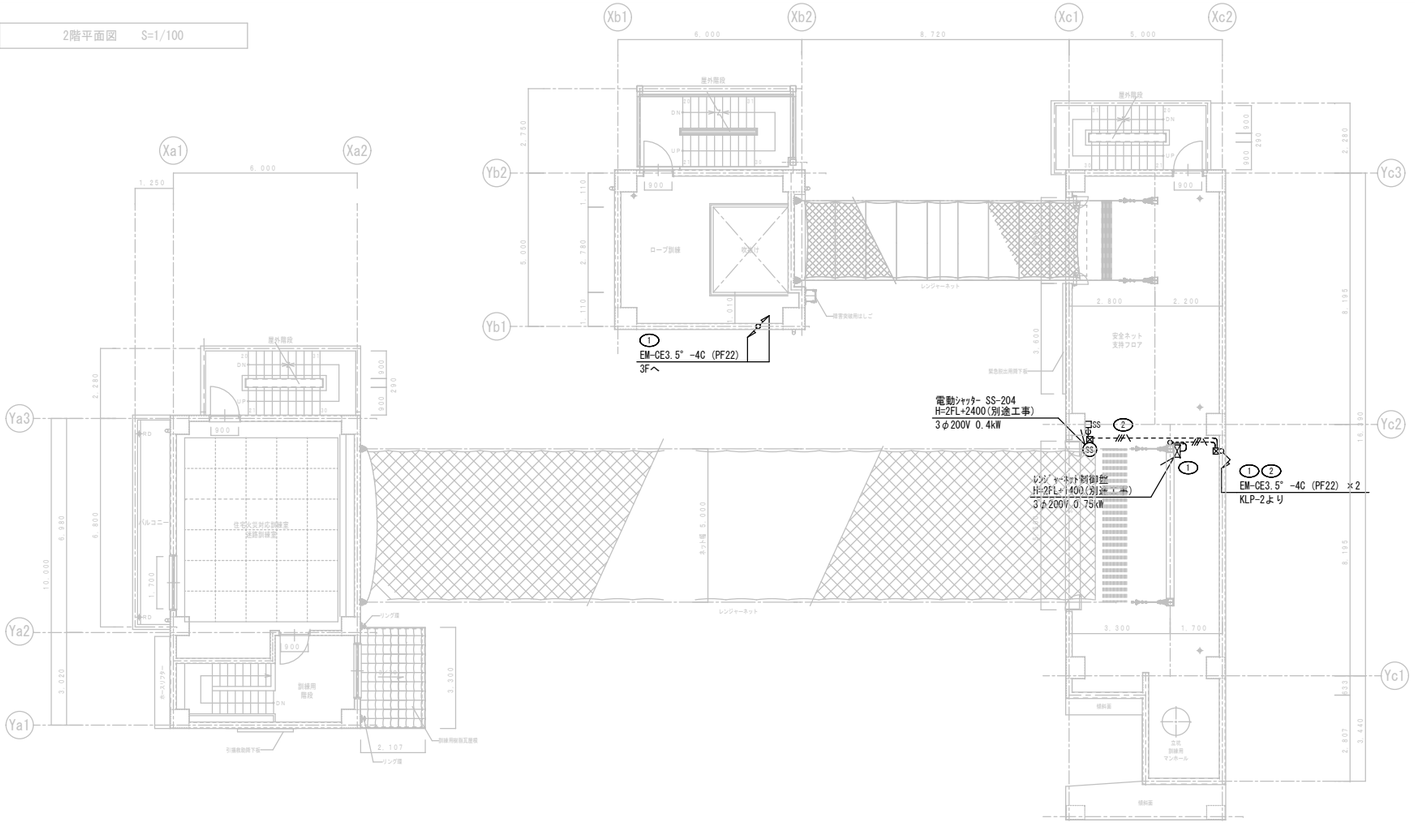
JOB NO

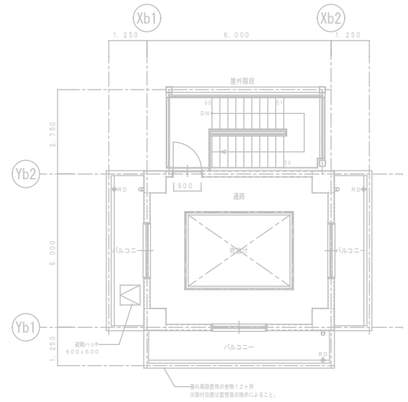
白石消防署庁舎建替工事　【訓練棟】幹線・動力設備 1階平面図　E-52

DATE	SCAL	DRAWN	CHEK
R8.05.29	(A 1) 1/100 (A 3) 1/200		

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号 永野ますみ

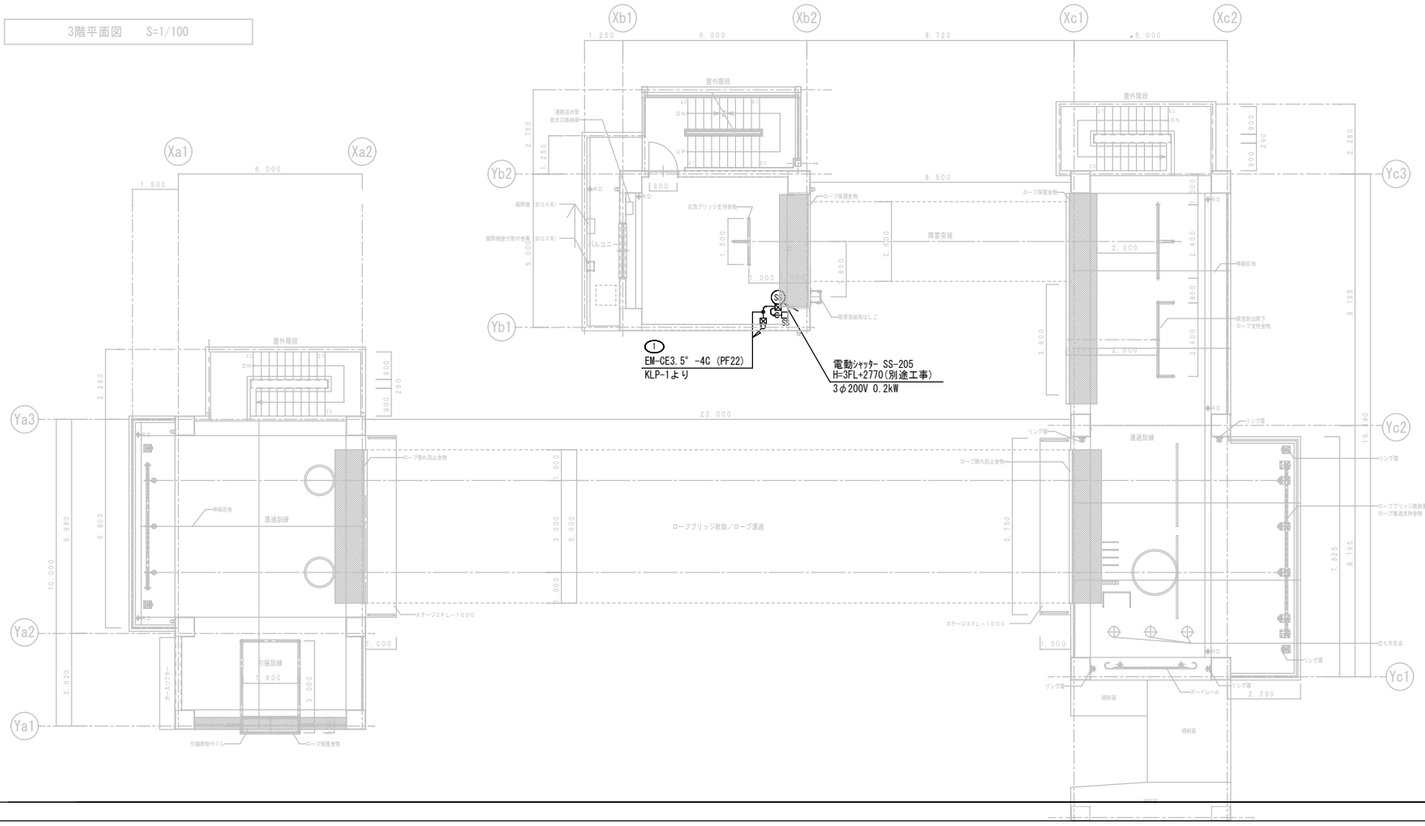
2階平面図　S=1/100





主訓練塔 4階平面図　S=1/100

3階平面図　S=1/100

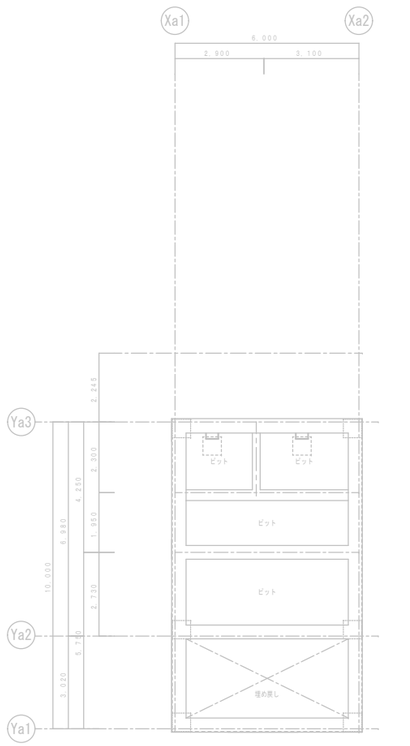


JOB NO

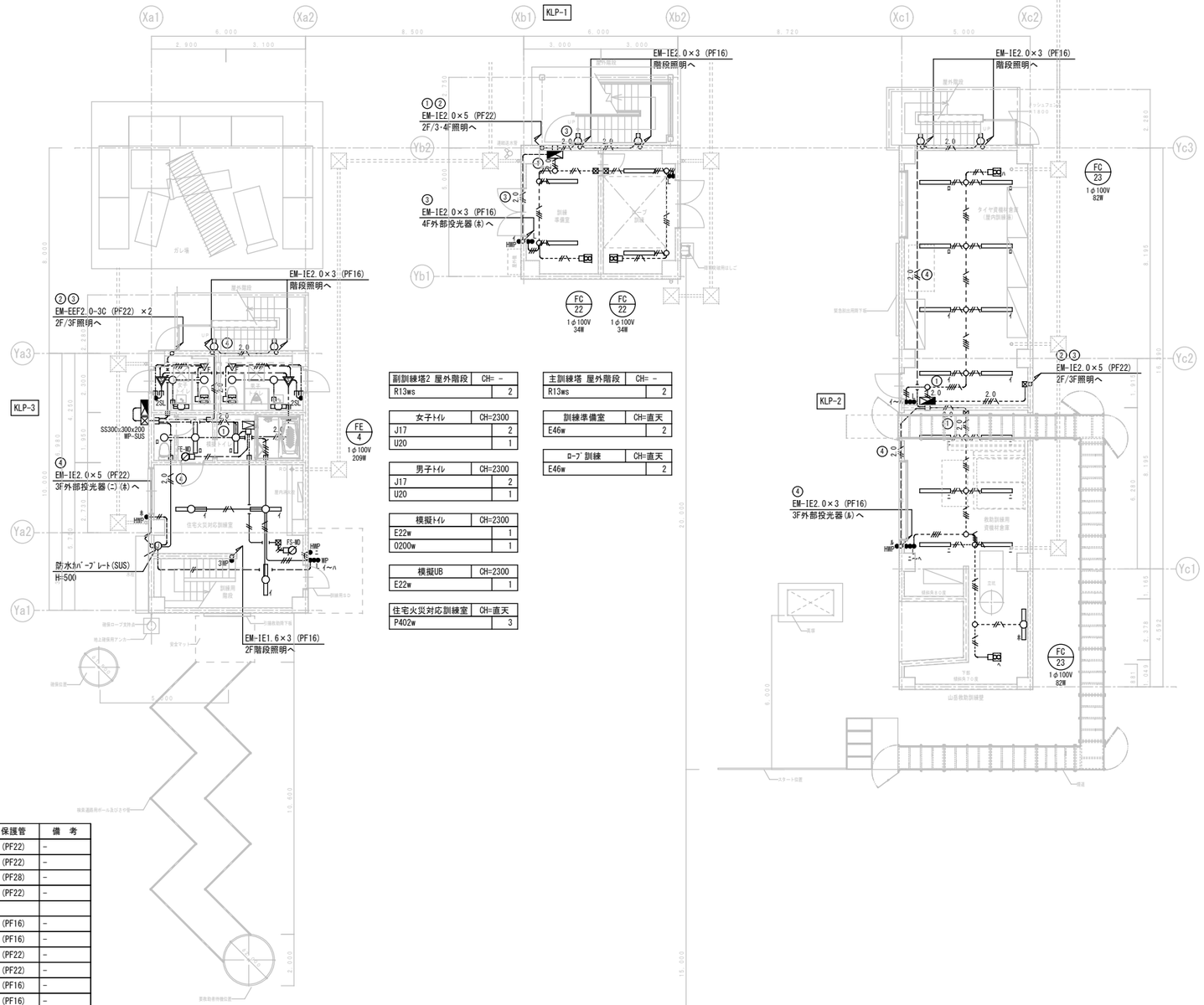
白石消防署庁舎建替工事　【訓練棟】乾線・動力設備 2～4階平面図　E-53

DATE	SCAL	DRAWN	CHEK
R8.05.29	(A 1) 1/100 (A 3) 1/200		

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号 永野ますみ



ピット階平面図　S=1/100



副訓練塔2 屋外階段	CH= -
R13ws	2

女子トイレ	CH=2300
J17	2
U20	1

男子トイレ	CH=2300
J17	2
U20	1

模擬トイレ	CH=2300
E22w	1
0200w	1

模擬UB	CH=2300
E22w	1

住宅火災対応訓練室	CH=直天
P402w	3

主訓練塔 屋外階段	CH= -
R13ws	2

訓練準備室	CH=直天
E46w	2

ﾛｰﾌﾟ訓練	CH=直天
E46w	2

副訓練塔1 屋外階段	CH= -
R13ws	2

ﾀｲﾔ資機材倉庫	CH=直天
E30w	8

救助訓練用資機材倉庫	CH=直天
E30w	7

1階平面図　S=1/100

特記事項

記号	名称	適用
	電灯動力盤	仕様は盤結線図参照
○	照明器具 ﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ	器具参考姿図参照
	照明器具 ﾍﾞｰｽﾗｲﾄ	器具参考姿図参照
○	照明器具 ﾌﾞﾗｹｯﾄ	器具参考姿図参照
	照明器具 ﾌﾞﾗｹｯﾄ	器具参考姿図参照
	照明器具 ｽﾎﾟｯﾗｲﾄ	器具参考姿図参照
●	埋込ｽｲｯﾁ (新金ﾌﾟﾚｰﾄ)	1P15A×1 片切
●3	埋込ｽｲｯﾁ (新金ﾌﾟﾚｰﾄ)	3W15A×1 3路
●L	埋込ｽｲｯﾁ (新金ﾌﾟﾚｰﾄ)	1PL 4A×1 通電表示型
●H	埋込ｽｲｯﾁ (新金ﾌﾟﾚｰﾄ)	1PH15A×1 位置表示型
●WP	埋込ｽｲｯﾁ (防水ﾌﾟﾚｰﾄ)	※WPは防水ﾌﾟﾚｰﾄ取付を示す
●2SL	熱線ｾﾝｻｰ用操作ｽｲｯﾁ	2回路用
	熱線式人感ｾﾝｻｰ 親機	広角検知 8A LED対応
	熱線式人感ｾﾝｻｰ 子機	換気扇連動型
	防雨入線ｶﾊﾞｰ	壁付型
	換気扇(天井付)	機械設備工事
○	丸型露出ﾎﾞｯｸｽ	ｻｲｽﾞ・方出は図示参照
Ⓙ	ｼﾞｮｲﾝﾄﾎﾞｯｸｽ	0B 中浅型
□	位置ﾎﾞｯｸｽ	0B 中浅型
⊠	ﾌﾟﾙﾎﾞｯｸｽ	ｻｲｽﾞ・仕様は別記参照 特記なき場合は SS200x200x100WP-SUS を示す

配線凡例	配線種別	保護管	備考
―・―・―E―	EM-EEF 1.6-3C	(PF22)	-
―・―//＼―E―	EM-EEF 1.6-2C×2	(PF22)	-
―・―//＼―E―	EM-EEF 1.6-2C +3C	(PF28)	-
―2.0//＼―E―	EM-EEF 2.0-3C	(PF22)	-
――//――	EM-IE 1.6×2	(PF16)	-
――//＼――	EM-IE 1.6×3	(PF16)	-
――///＼――	EM-IE 1.6×6	(PF22)	-
――///＼――	EM-IE 1.6×7	(PF22)	-
―2.0//＼――	EM-IE 2.0×3	(PF16)	-
―2.0//＼――	EM-IE 2.0×3	(PF16)	-
----//----	EM-IE 1.6×2	(GZ16)	-
---//＼---	EM-IE 1.6×3	(GZ16)	-
---///＼---	EM-IE 1.6×4	(GZ16)	-
---///＼---	EM-IE 1.6×5	(GZ22)	-
-2.0//＼---	EM-IE 2.0×3	(GZ16)	-
-2.0///＼---	EM-IE 2.0×5	(GZ22)	-

＜配線種別＞

―・―・―E―	天井ｺﾛｶﾞｼﾗｯｸ配線	--------	露出配管
――――	天井隠蔽配管	―・・―・・―	地中埋設配管配線
――――	床隠蔽配管	―E―ｺ――	壁貫通保護

＜注記＞
・防火区画貫通部は国土交通大臣認定工法にて適切に処理する。
・壁内立上げ・立下げ、および露出部は適合電線管にて保護する。

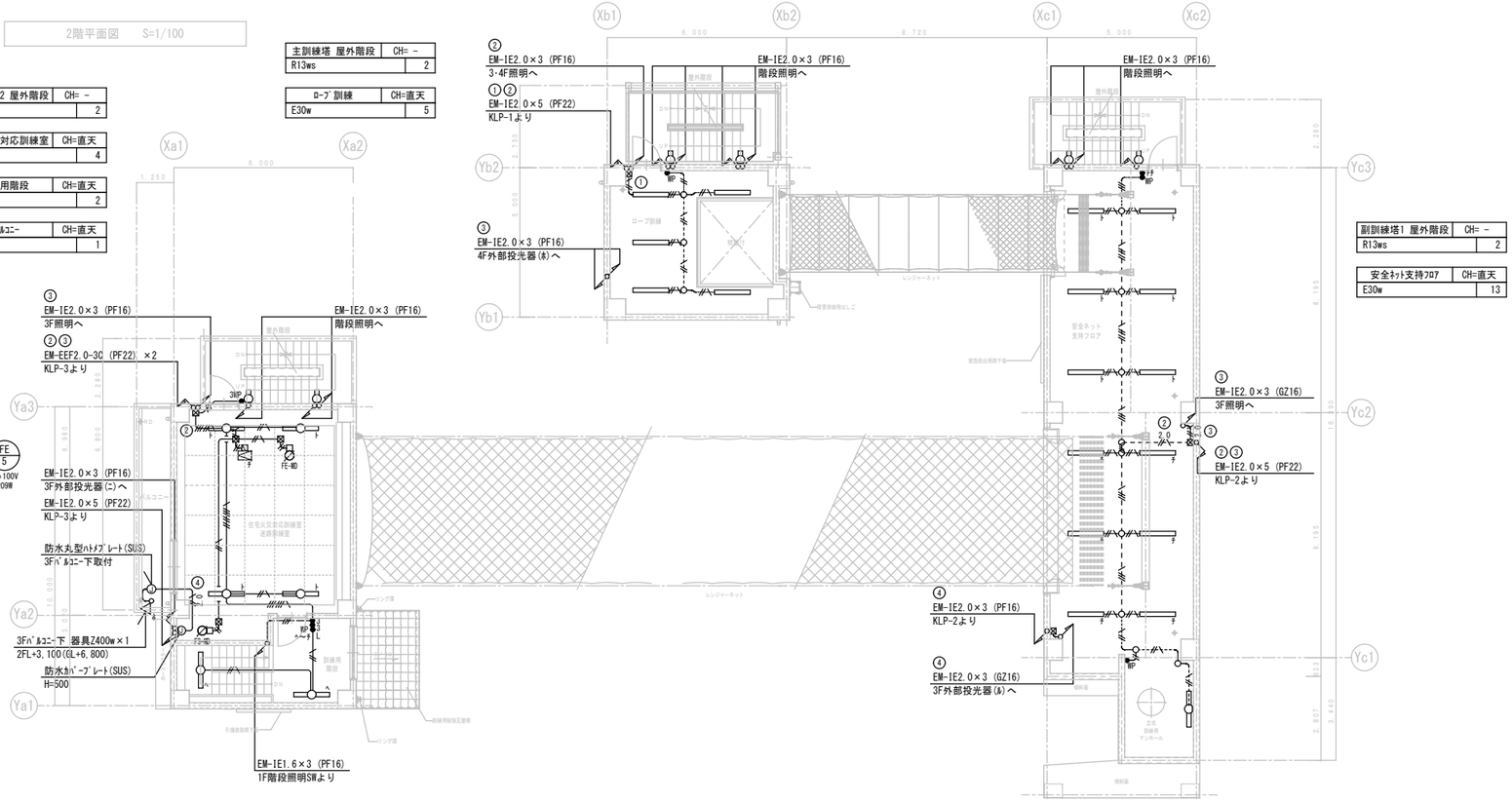
JOB NO

白石消防署庁舎建替工事　【訓練棟】電灯(電灯分岐)設備 1階平面図　E-54

DATE R8.05.29　SCAL (A 1) 1/100 (A 3) 1/200　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号 永野ますみ

2階平面図　S=1/100



主訓練塔 屋外階段	CH= -
R13ws	2

ﾛｰﾌﾟ訓練	CH=直天
E30w	5

副訓練塔2 屋外階段	CH= -
R13ws	2

住宅火災対応訓練室	CH=直天
P402w	4

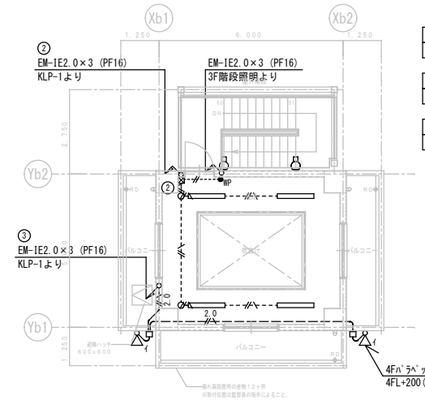
訓練用階段	CH=直天
P402w	2

ﾊﾞﾙｺﾆｰ	CH=直天
Z400w	1

副訓練塔1 屋外階段	CH= -
R13ws	2

安全ﾈｯﾄ支持ﾌﾛｱ	CH=直天
E30w	13

主訓練塔 4階平面図　S=1/100

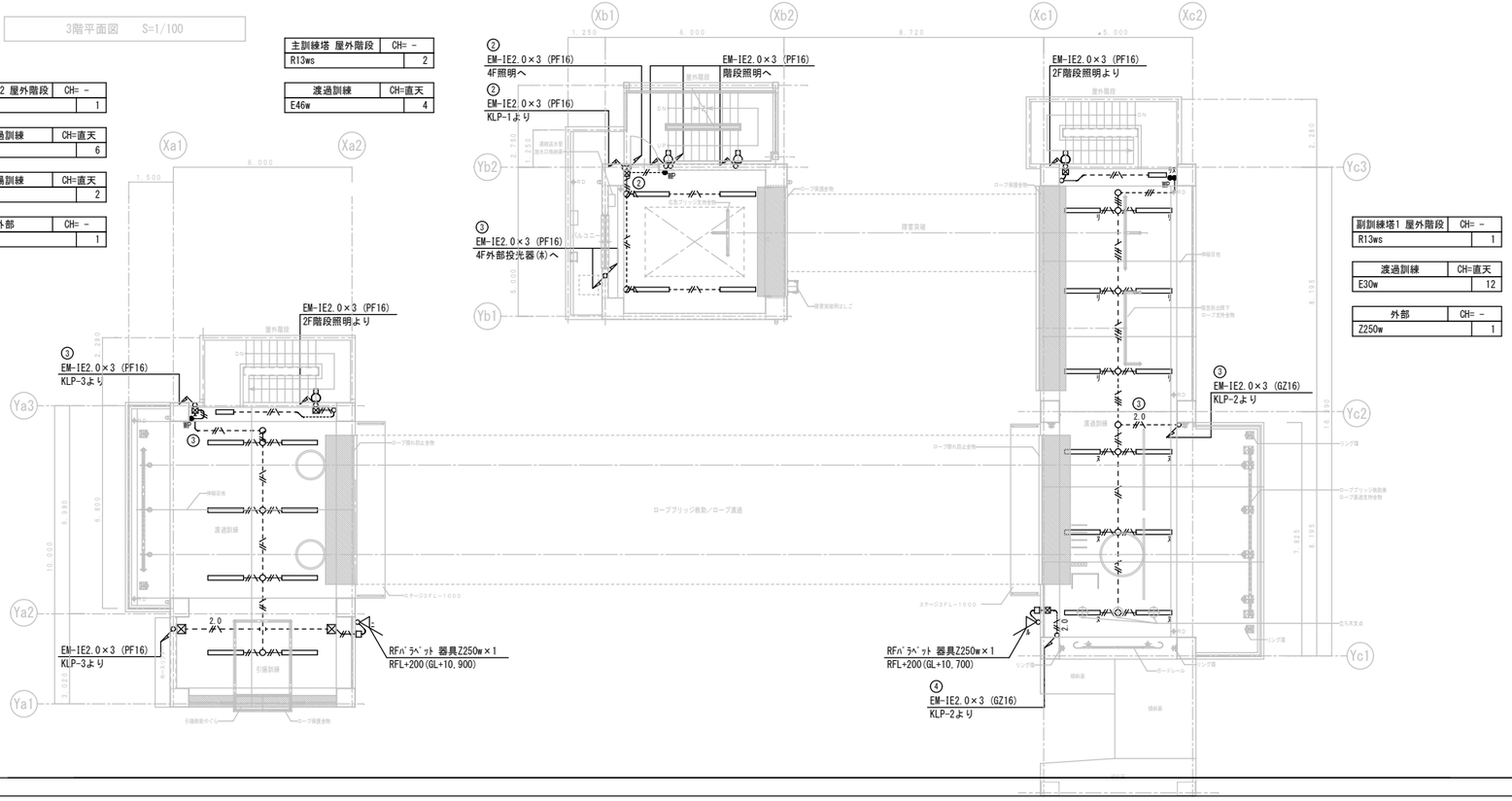


主訓練塔 屋外階段	CH= -
R13ws	1

通路	CH=直天
E46w	4

外部	CH= -
Z250w	2

3階平面図　S=1/100



主訓練塔 屋外階段	CH= -
R13ws	2

渡過訓練	CH=直天
E46w	4

副訓練塔2 屋外階段	CH= -
R13ws	1

渡過訓練	CH=直天
E30w	6

引揚訓練	CH=直天
E30w	2

外部	CH= -
Z250w	1

副訓練塔1 屋外階段	CH= -
R13ws	1

渡過訓練	CH=直天
E30w	12

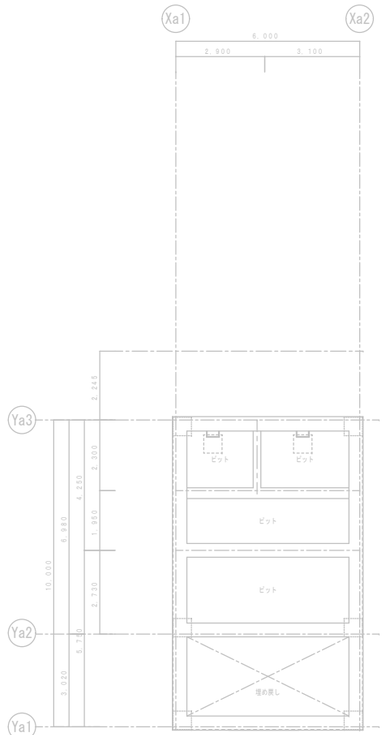
外部	CH= -
Z250w	1

JOBNO

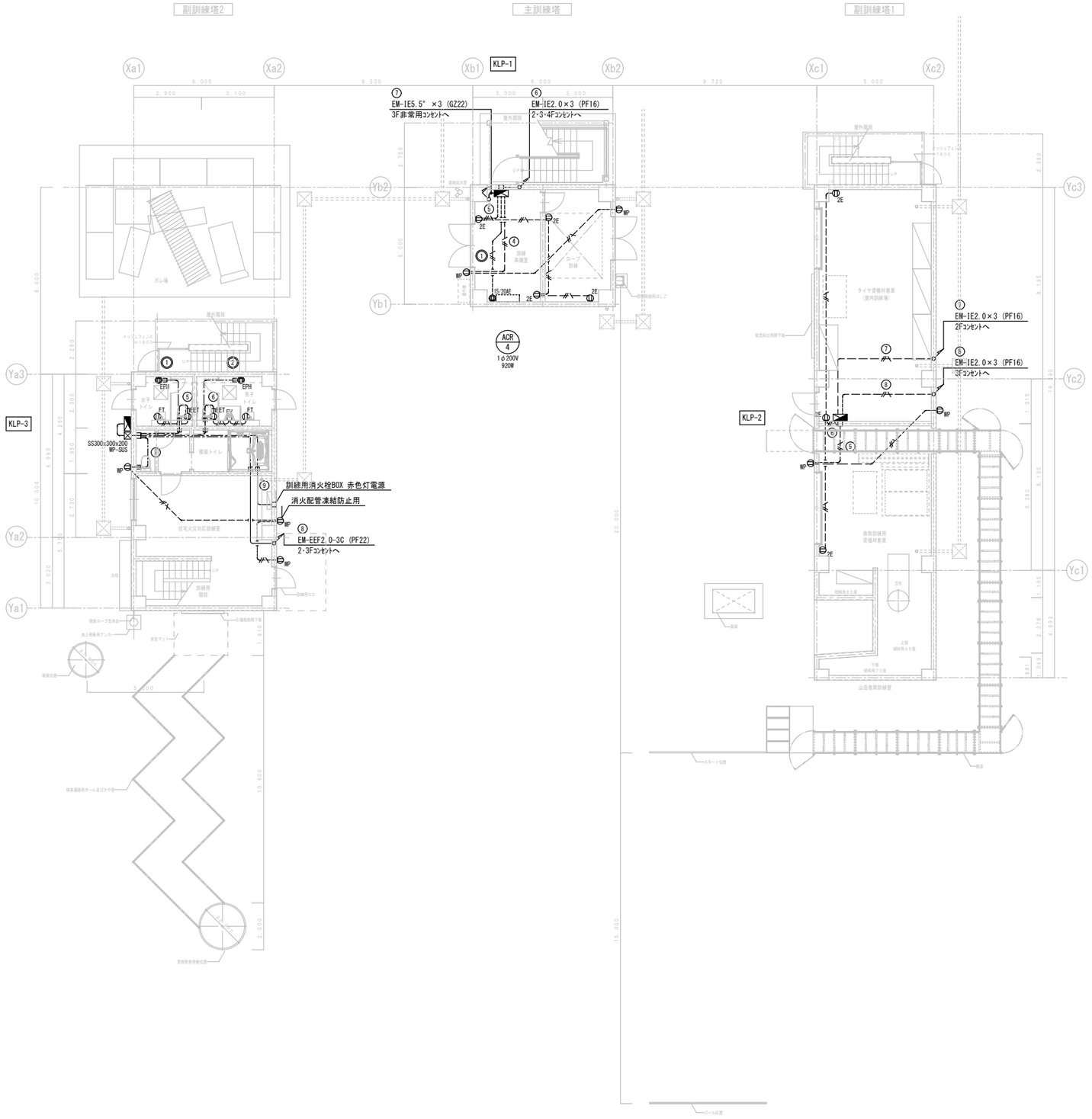
白石消防署庁舎建替工事　【訓練棟】電灯(電灯分岐)設備 2～4階平面図　E-55

DATE R8.05.29　SCAL (A 1) 1/100 (A 3) 1/200　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号 永野ますみ



ピット階平面図　S=1/100



1階平面図　S=1/100

特記事項

記　号	名　称	適　用
	電灯動力盤	仕様は盤結線図参照
ET	埋込ｺﾝｾﾝﾄ（新金ﾌﾟﾚｰﾄ）	2P15A×1 ET付
2E	埋込ｺﾝｾﾝﾄ（新金ﾌﾟﾚｰﾄ）	2P15A×2 E付
EET	埋込ｺﾝｾﾝﾄ（新金ﾌﾟﾚｰﾄ）	2P15A×1 E･ET付
WP	防水ｺﾝｾﾝﾄ	2P15A×3 ET付
EPH	埋込ｺﾝｾﾝﾄ（新金ﾌﾟﾚｰﾄ）	250V 2PE20A×1 ﾌﾟﾗｸﾞ共(EPH用)
15/20AE	埋込ｺﾝｾﾝﾄ（新金ﾌﾟﾚｰﾄ）	250V 2PE15A･20A兼用×1 ﾌﾟﾗｸﾞ共
	非常用ｺﾝｾﾝﾄ盤	鋼板製 壁掛型
FV	小便器自動水栓 電源	※電源接続迄
	丸型露出ﾎﾞｯｸｽ	ｻｲｽﾞ･方出は図示参照
	ｼﾞｮｲﾝﾄﾎﾞｯｸｽ	OB 中浅型
	位置ﾎﾞｯｸｽ	OB 中浅型
	ﾌﾟﾙﾎﾞｯｸｽ	ｻｲｽﾞ･仕様は附記参照 特記なき場合は SS200x200x100MP-SUS を示す

配線凡例	配線種別	保護管	備　考
	EM-EEF 2.0-3C	(PF22)	-
	EM-IE 2.0×3	(PF16)	-
	EM-IE 2.0×3	(PF16)	-
	EM-IE 2.0×5	(PF22)	-
	EM-IE 2.0×3	(GZ16)	-
5.5	EM-IE 5.5° ×3	(GZ22)	-

＜配線種別＞

	天井ｺﾛｶﾞｼﾗ/ﾗｯｸ配線		露出配管
	天井隠蔽配管		地中埋設配管配線
	床隠蔽配管		壁貫通保護

＜注記＞
・防火区画貫通部は国土交通大臣認定工法にて適切に処理する。
・壁内立上げ･立下げ、および露出部は適合電線管にて保護する。

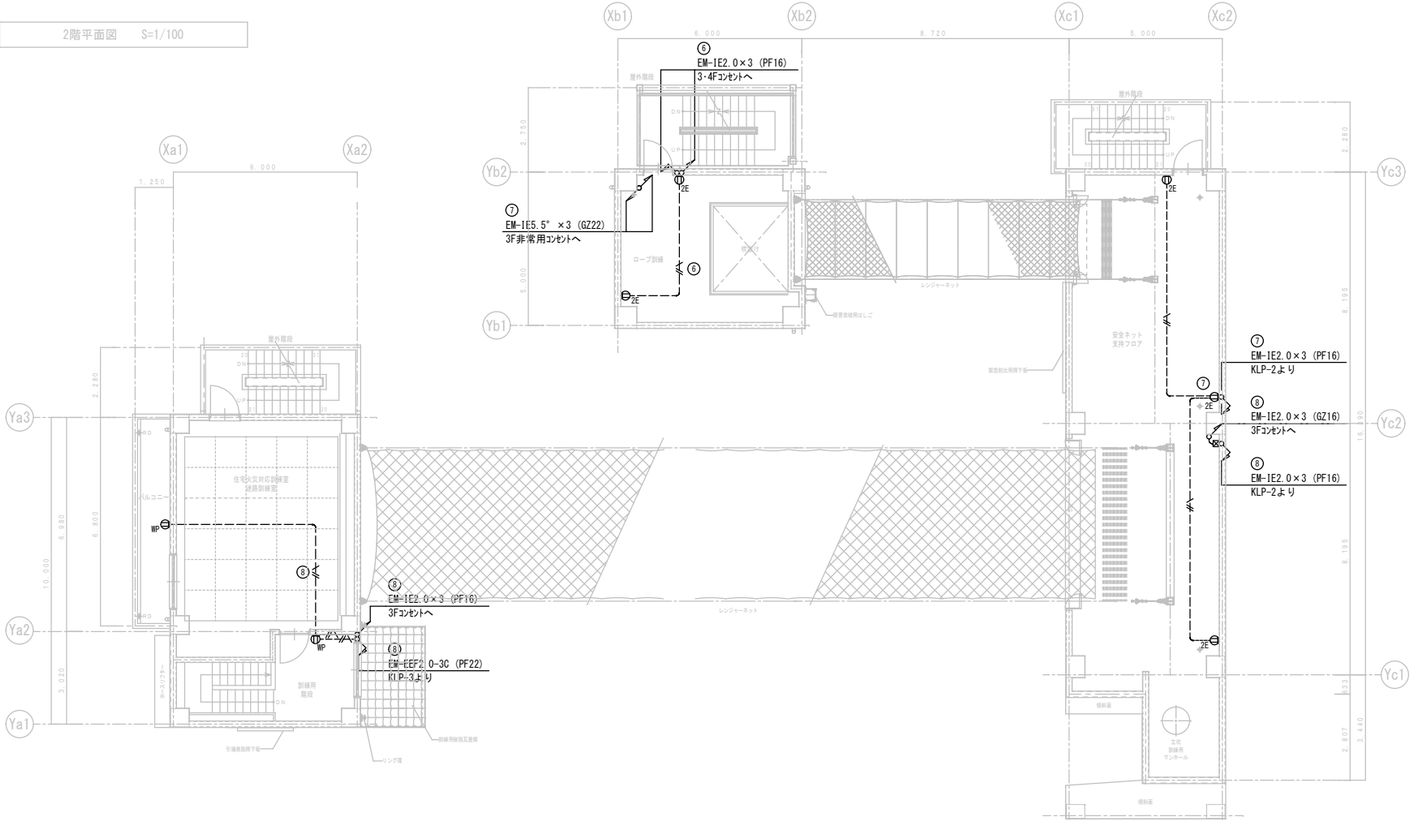
JOBNO

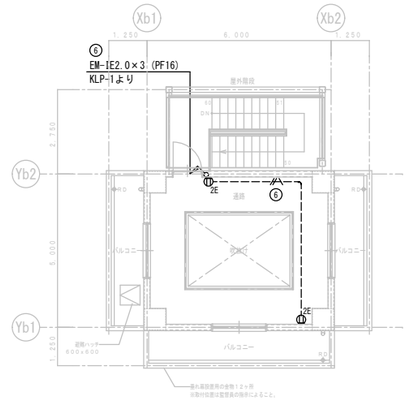
白石消防署庁舎建替工事　【訓練棟】電灯(ｺﾝｾﾝﾄ分岐)設備 1階平面図　E-56

DATE	SCAL	DRAWN	CHEK
R8.05.29	(A 1) 1／100 (A 3) 1／200		

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号 永野ますみ

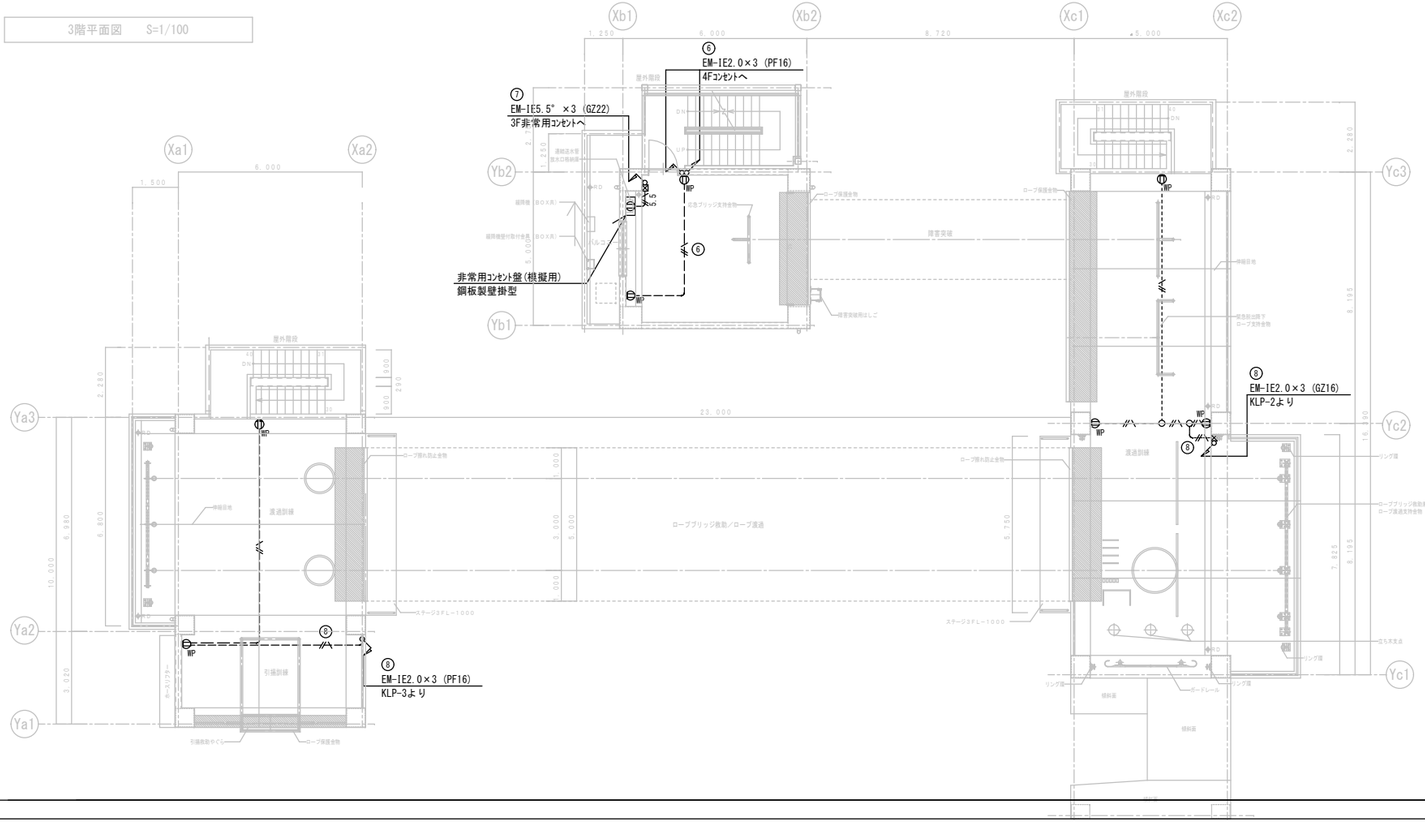
2階平面図　S=1/100





主訓練塔 4階平面図　S=1/100

3階平面図　S=1/100

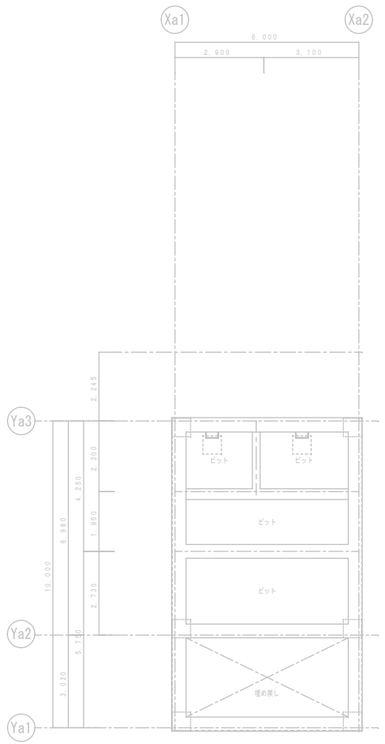


JOB NO

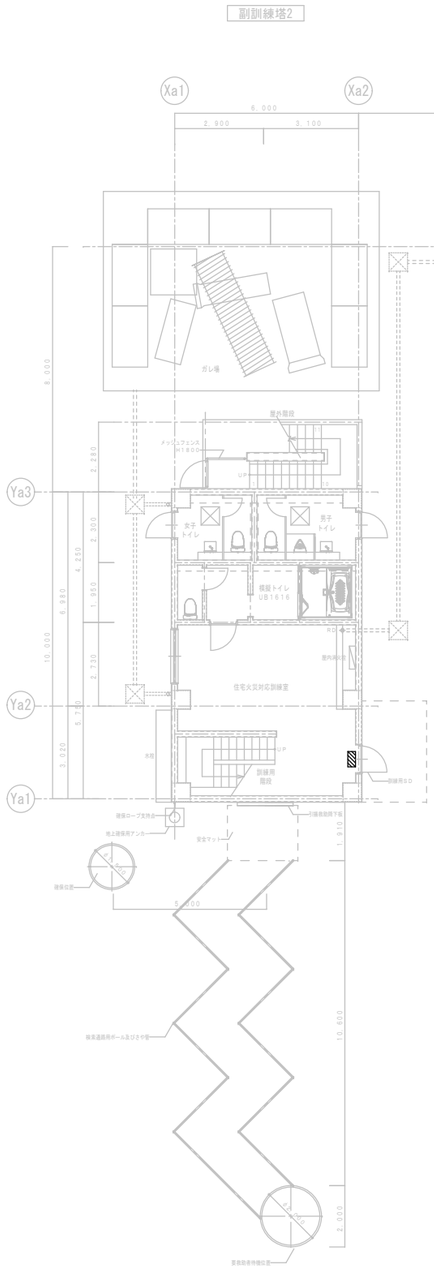
白石消防署庁舎建替工事　【訓練棟】電灯(コンセント分岐)設備 2～4階平面図　E-57

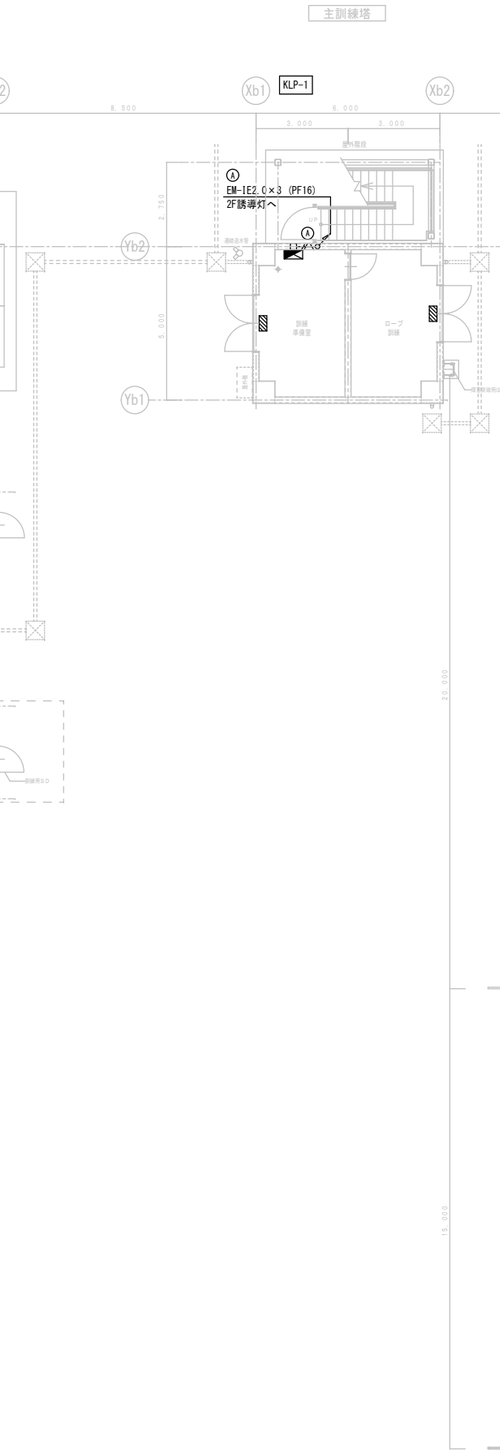
DATE	SCAL	DRAWN	CHEK
R8.05.29	(A 1) 1/100 (A 3) 1/200		

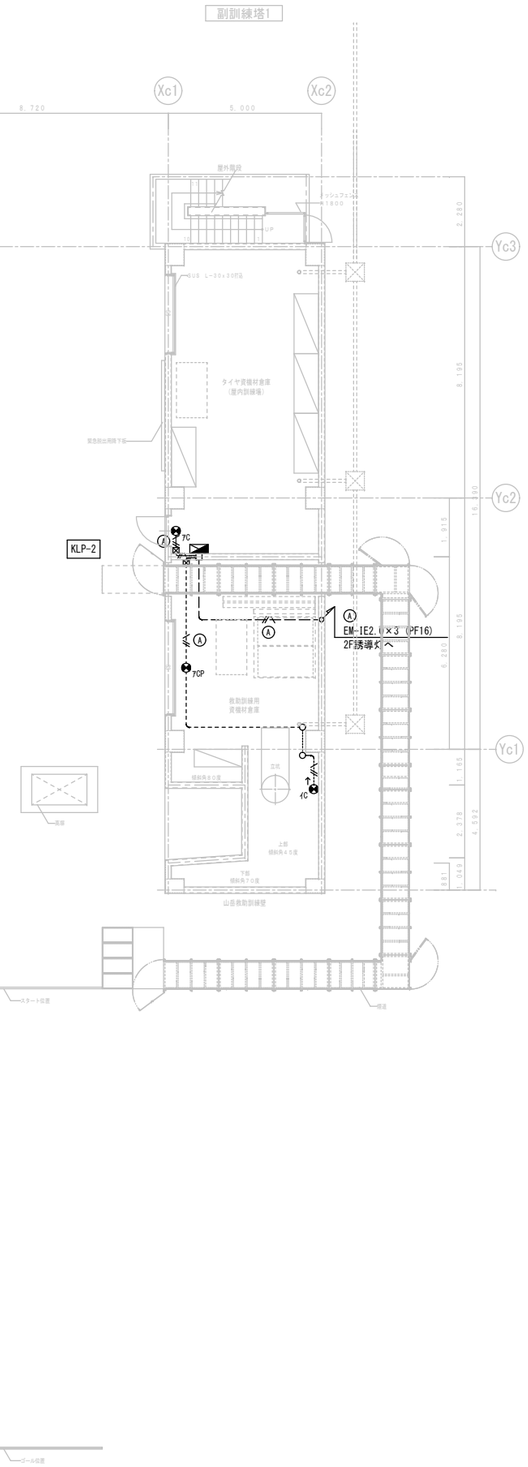
株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号 永野ますみ



ピット階平面図　S=1/100







1階平面図　S=1/100

特記事項

記　号	名　称	適　用
	電灯動力盤	仕様は盤結線図参照
	避難口誘導灯	附記は器具番号を示す
	通路誘導灯	附記は器具番号を示す
	誘導標識(避難口)	蓄光式
	誘導標識(通路)・片矢印	蓄光式・矢印は図示参照
○	丸型露出ﾎﾞｯｸｽ	ｻｲｽﾞ・方出は図示参照
□	位置ﾎﾞｯｸｽ	OB 中浅型
⊠	ﾌﾟﾙﾎﾞｯｸｽ	ｻｲｽﾞ・仕様は附記参照 特記なき場合は SS200x200x100MP-SUS を示す

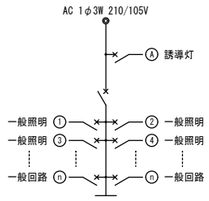
配線凡例	配線種別	保護管	備　考
——//^^——	EM-IE 2.0×3	(PF16)	-
— —//^^— —	EM-IE 2.0×3	(PF16)	-
- - -//^^- - -	EM-IE 2.0×3	(GZ16)	-

＜配線種別＞

—·—·—E—	天井ｺﾛﾀﾞｼﾞｬﾝﾗｯｸ配線	·————·	露出配管
————	天井隠蔽配管	—··—··—	地中埋設配管配線
— — — —	床隠蔽配管	—E—ｺ—	壁貫通保護

＜注記＞
・防火区画貫通部は国土交通大臣認定工法にて適切に処理する。
・壁内立上げ･立下げ、および露出部は適合電線管にて保護する。

＜電灯分電盤参考結線図＞



電灯分電盤

JOBNO

白石消防署庁舎建替工事

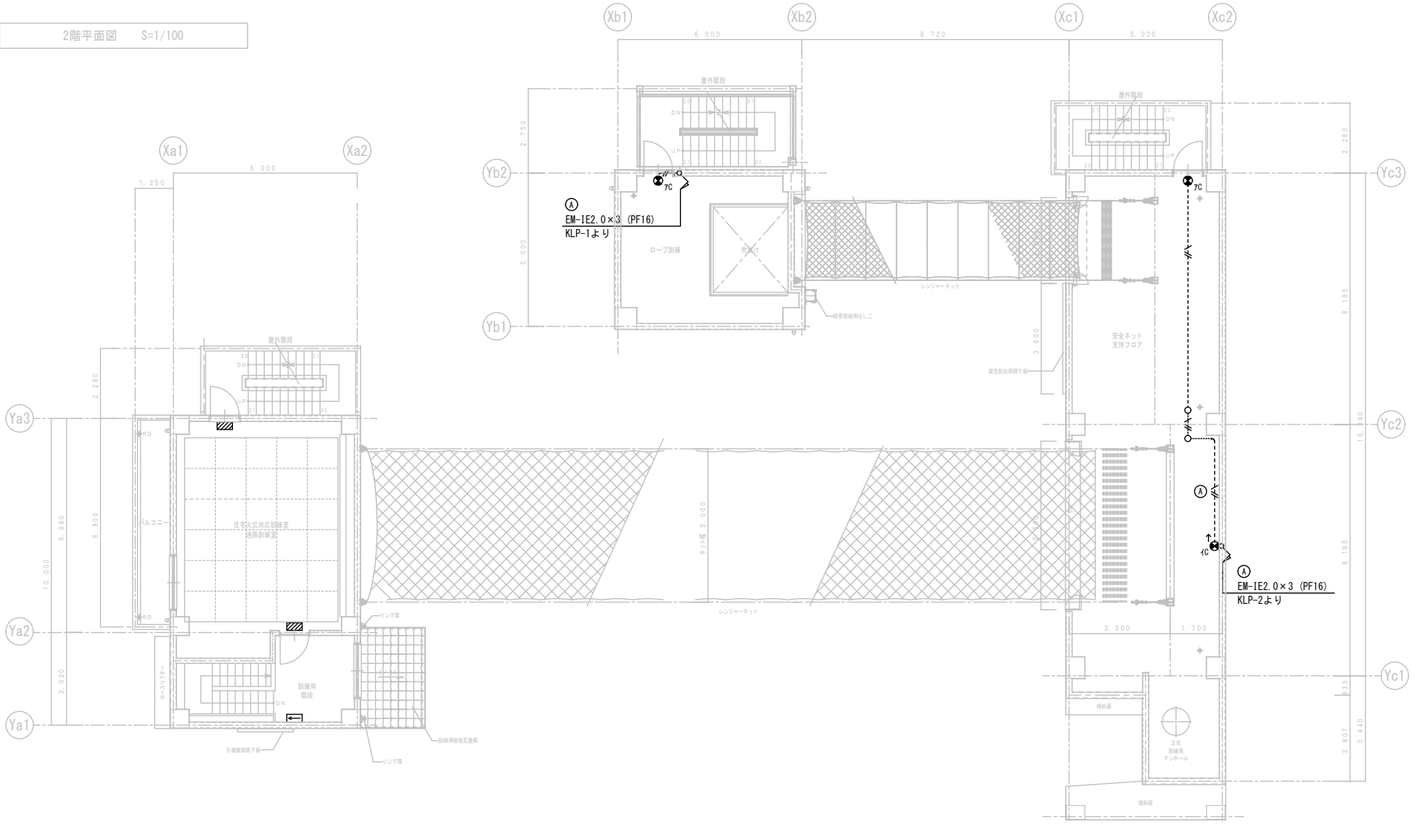
【訓練棟】
電灯(誘導灯･誘導標識)設備 1階平面図

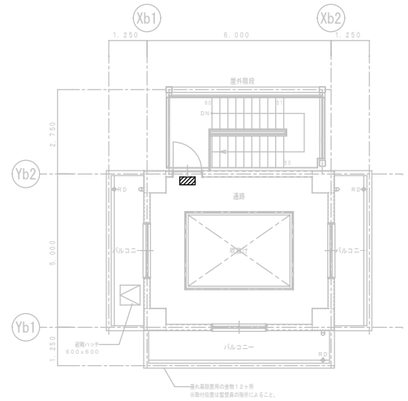
E-58

DATE	SCAL	DRAWN	CHEK
R8.05.29	(A 1) 1／100 (A 3) 1／200		

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号 永野ますみ

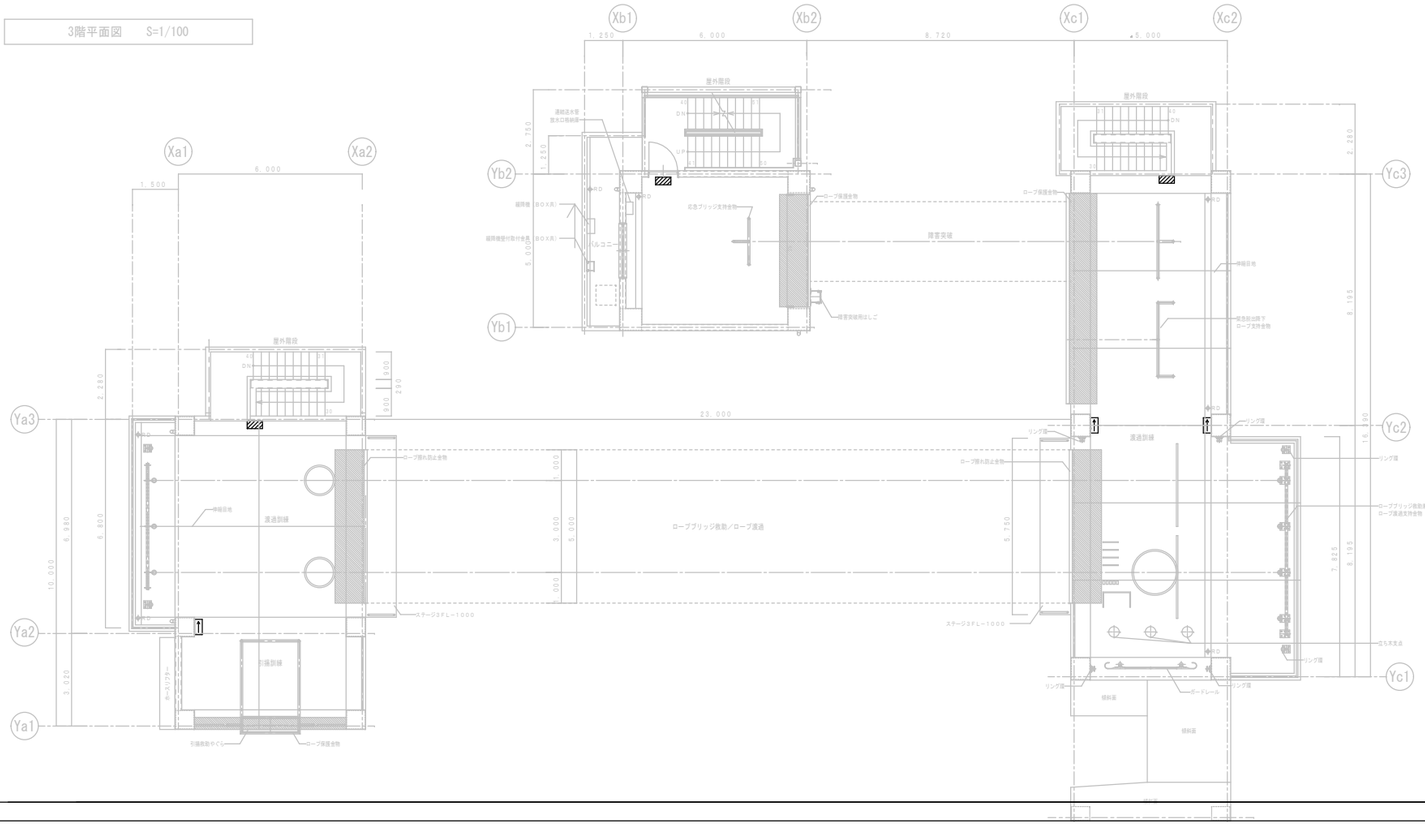
2階平面図　S=1/100





主訓練塔 4階平面図　S=1/100

3階平面図　S=1/100



JOB NO

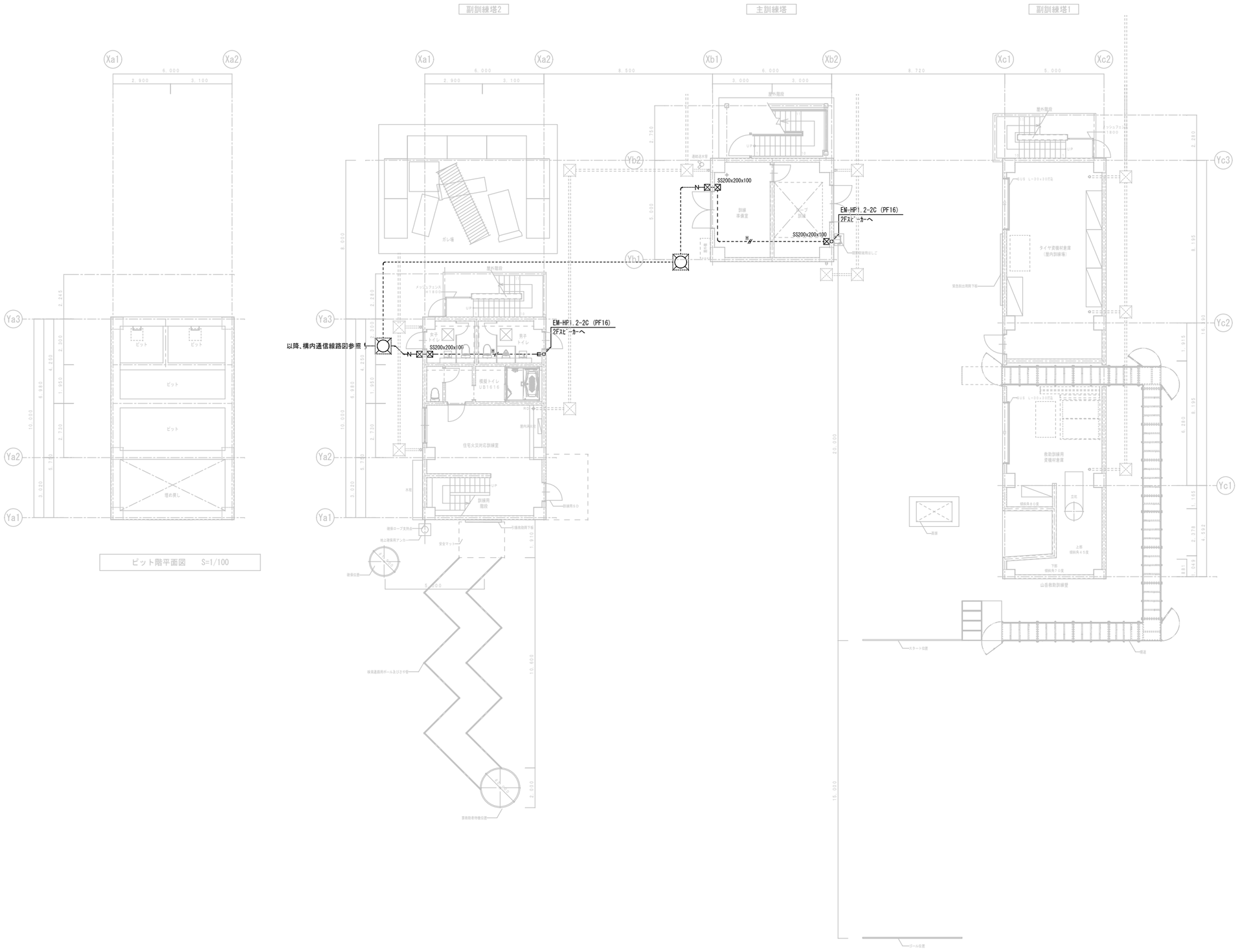
白石消防署庁舎建替工事

【訓練棟】
電灯(誘導灯・誘導標識)設備 2～4階平面図

E-59

DATE	SCAL	DRAWN	CHEK
R8.05.29	(A 1) 1／100 (A 3) 1／200		

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号 永野ますみ



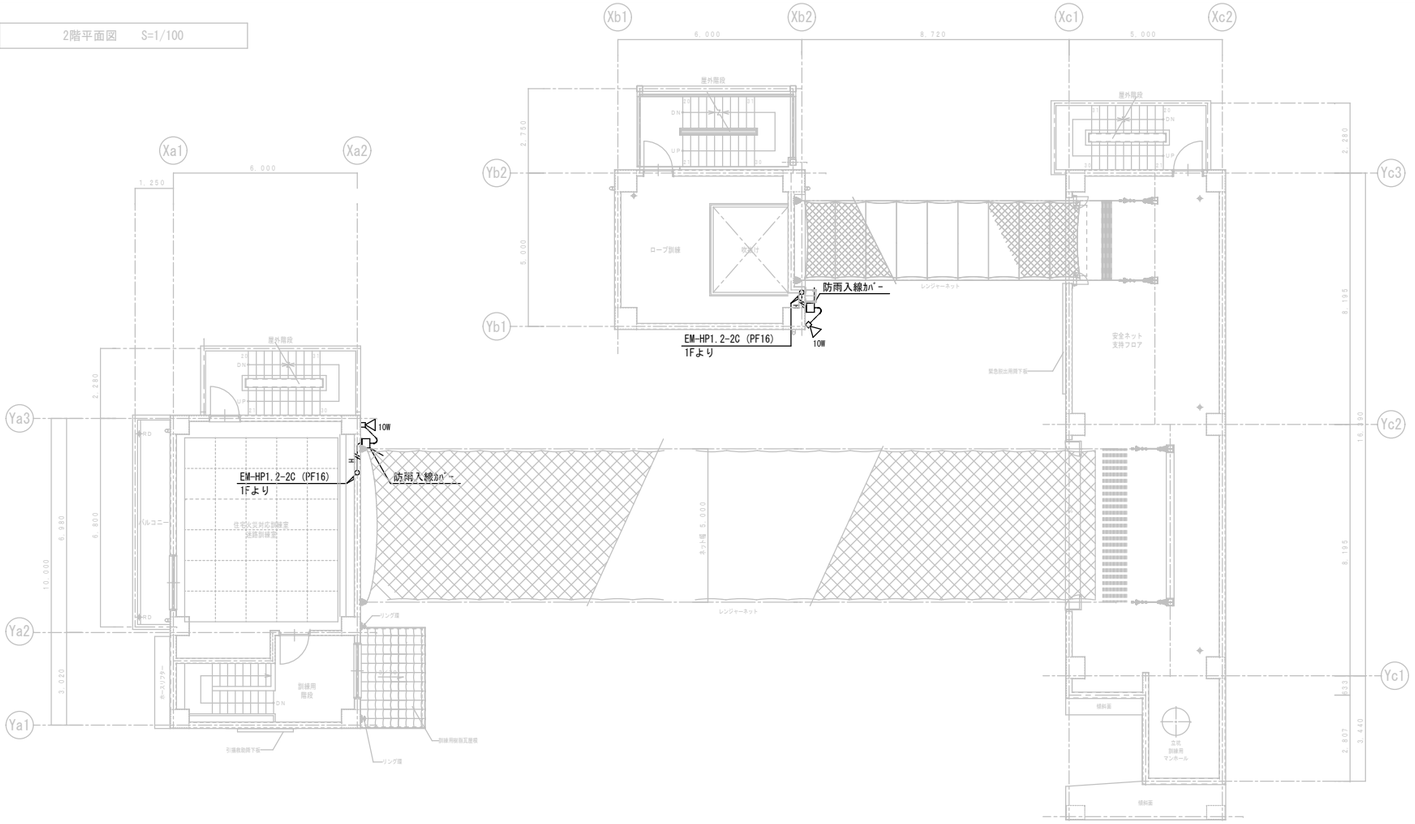
JOBNO

白石消防署庁舎建替工事　【訓練棟】拡声設備 1階平面図　E-60

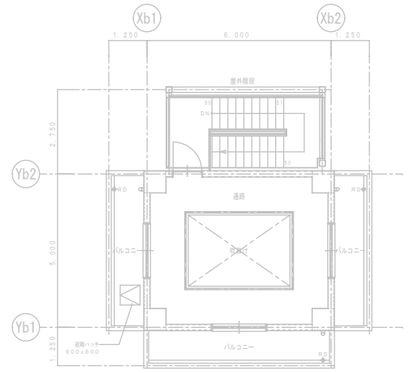
DATE R8.05.29　SCAL (A 1) 1／100 (A 3) 1／200　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号 永野ますみ

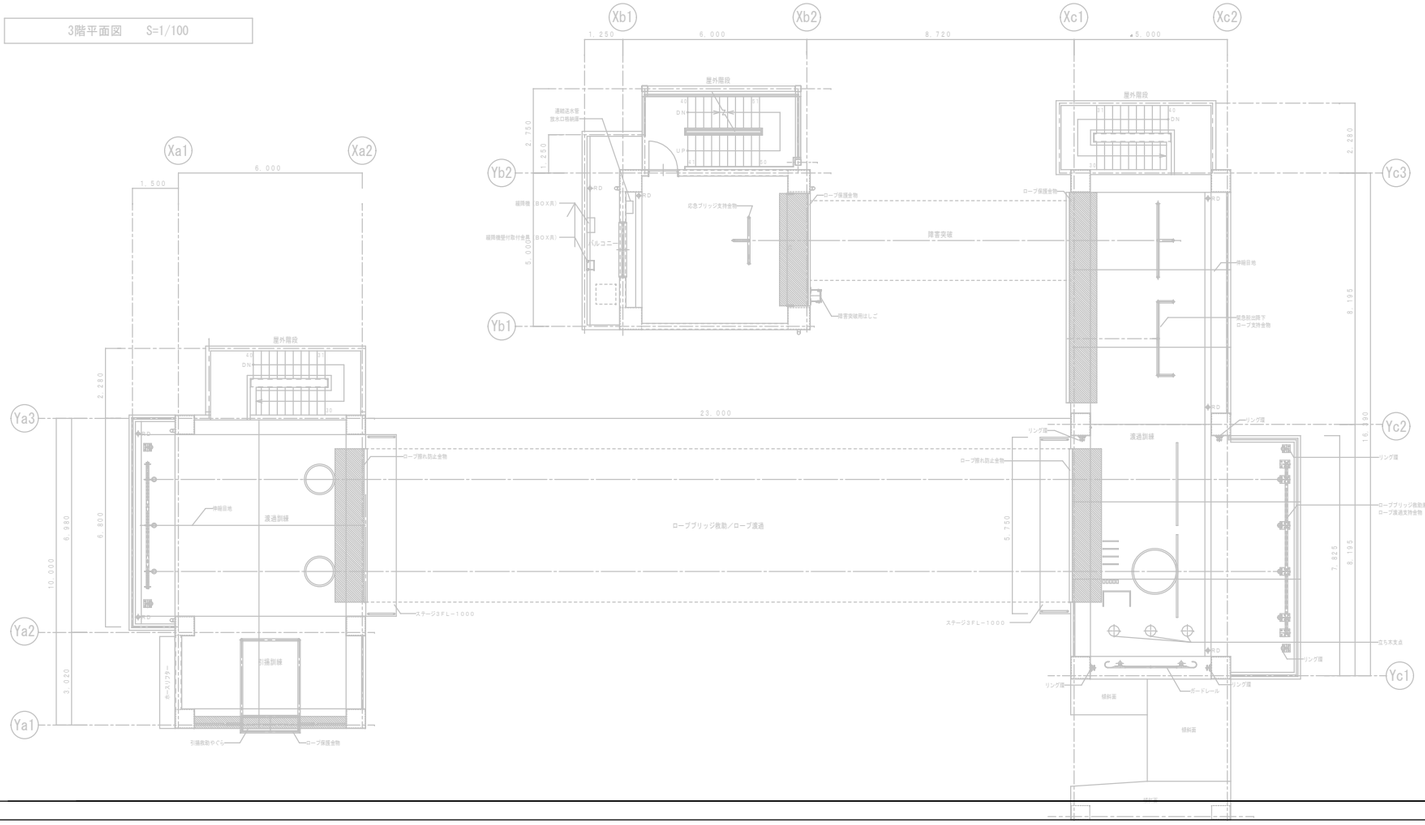
2階平面図　S=1/100



主訓練塔 4階平面図　S=1/100



3階平面図　S=1/100

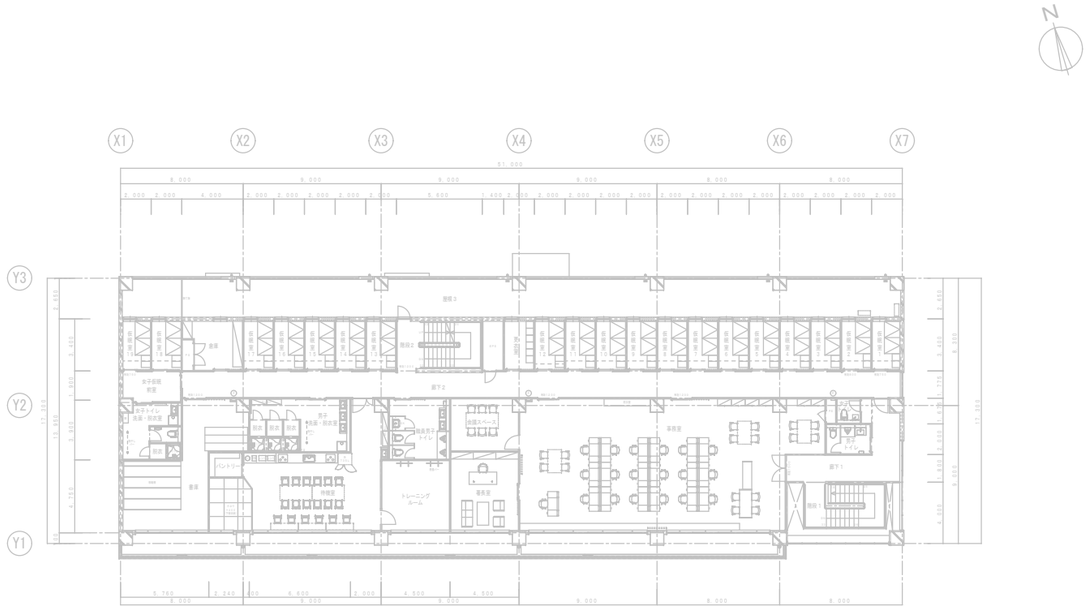


JOB NO

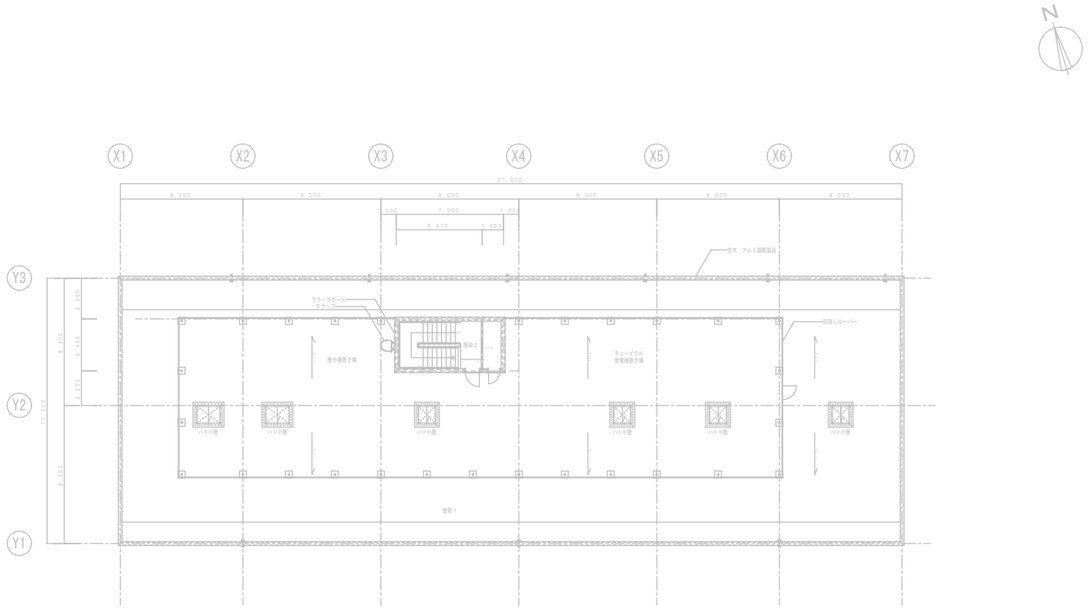
白石消防署庁舎建替工事　【訓練棟】拡声設備 2～4階平面図　E-61

DATE	SCAL	DRAWN	CHEK
R8.05.29	(A 1) 1／100 (A 3) 1／200		

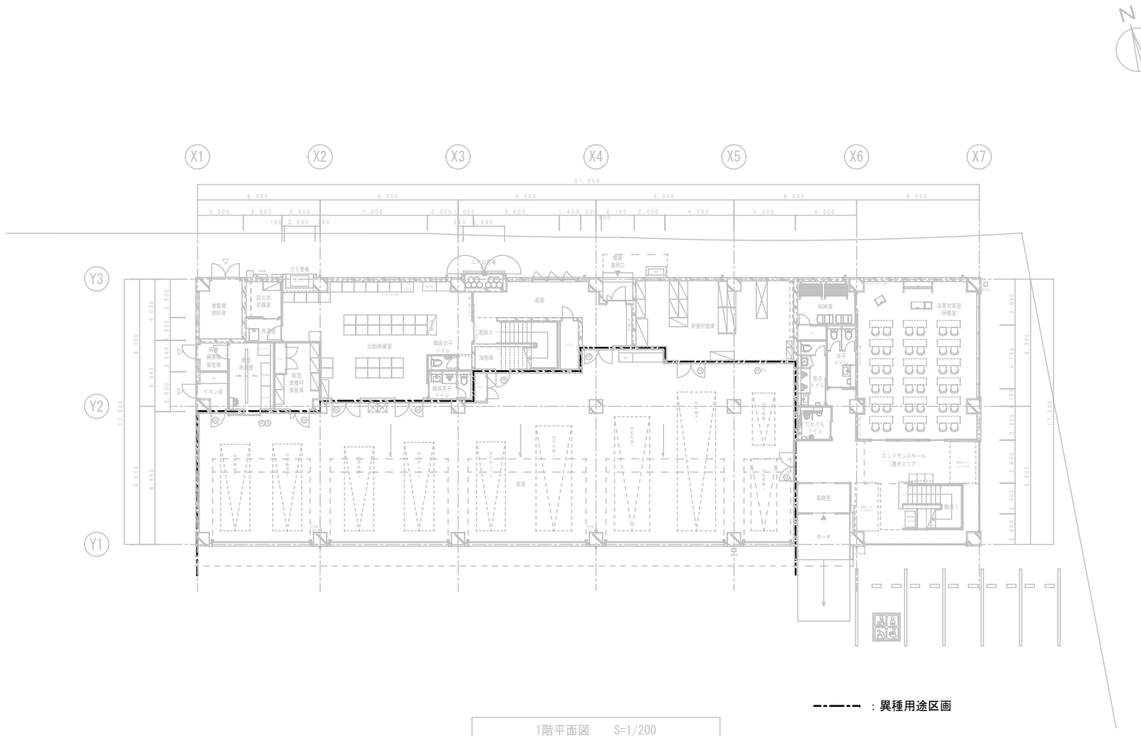
株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号 永野ますみ



2階平面図　S=1/200



R階平面図　S=1/200



1階平面図　S=1/200

-·-·-·- ：異種用途区画

JOB NO

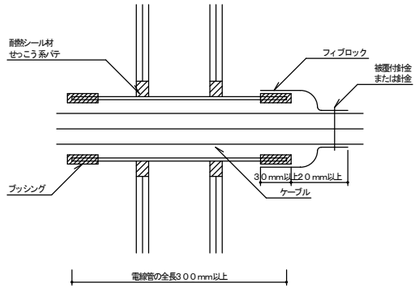
白石消防署庁舎建替工事　　（参考）防火区画図　E-62

DATE	SCAL	DRAWN	CHEK
R8.05.29	(A 1) 1/200 (A 3) 1/400		

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士　第 357230 号　永野ますみ

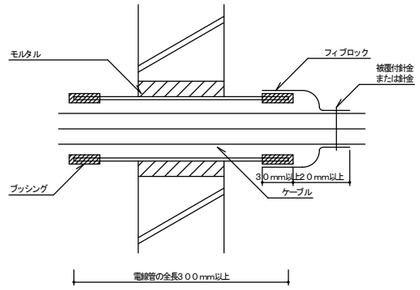
鋼製電線管用

中空壁（厚１００mm以上）の場合



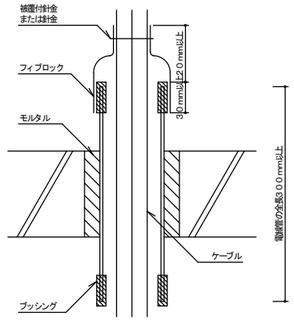
国土交通省大臣認定番号	開口面積	
ＰＳ０６０ＷＬ－０２６９（壁）	φ１７３mm以下	

ＡＬＣ・コンクリート壁（厚７０mm以上）の場合



国土交通省大臣認定番号	開口面積	
ＰＳ０６０ＷＬ－０２６９（壁）	φ１７３mm以下	

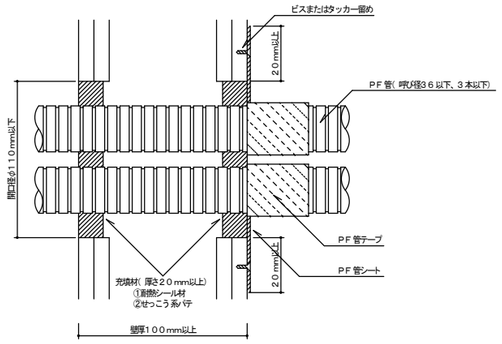
ＡＬＣ床（厚１００mm以上）コンクリート床（厚７０mm以上）の場合



国土交通省大臣認定番号	開口面積	
ＰＳ０６０ＦＬ－０２９０（床）	φ１７３mm以下	

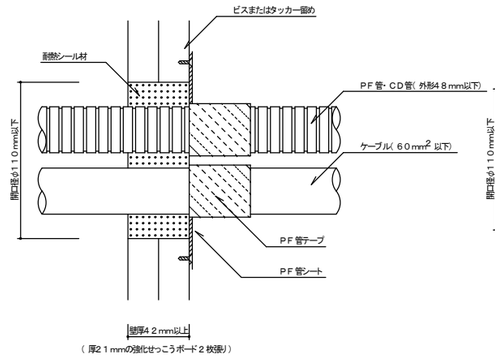
ケーブル・ＰＦ管貫通（壁用）

ＰＦ管の場合



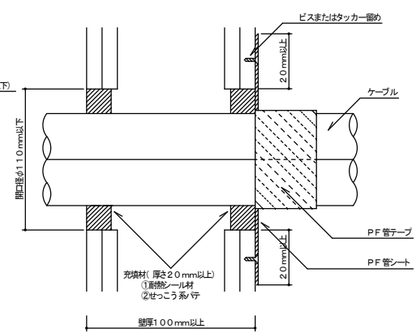
国土交通省大臣認定番号	開口面積	
ＰＳ０６０ＷＬ－０２１３（壁）	φ１１０mm以下	

強化せっこうボード片側2枚張りの間仕切り壁の場合



国土交通省大臣認定番号	開口面積	
ＰＳ０６０ＷＬ－０３５８（壁）	φ１１０mm以下	

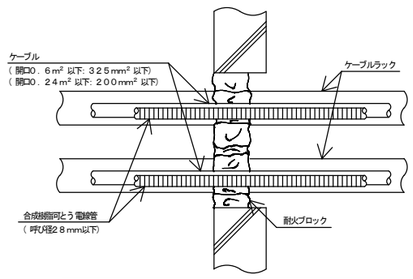
ケーブルの場合



国土交通省大臣認定番号	開口面積	
ＰＳ０６０ＷＬ－０２９７（壁）	φ１１０mm以下	

ケーブルラック貫通（壁用）

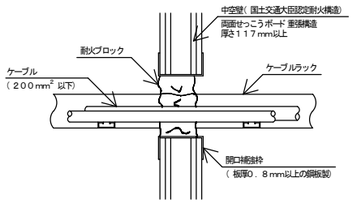
ケーブルラック貫通（コンクリート壁）



国土交通省大臣認定番号	使用箇所	開口面積	
ＰＳ０６０ＷＬ－０１４１	壁	０．６m² 以下	
ＰＳ０６０ＷＬ－００１７	壁	０．２４m² 以下	
ＰＳ０６０ＷＬ－０２３１	壁	０．６m² 以下	

※ネグロスには貫通部用化粧カバーあり

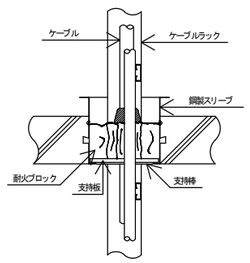
ケーブルラック貫通（中空壁）



国土交通省大臣認定番号	使用箇所	開口面積	
ＰＳ０６０ＷＬ－００６１	壁	０．２４m² 以下	

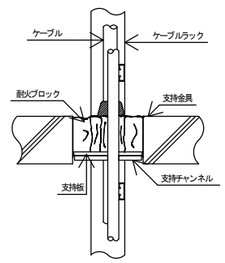
ケーブルラック貫通（床用）

鋼製スリーブあり



国土交通省大臣認定番号	使用箇所	開口面積	
ＰＳ０６０ＦＬ－００４９	床	０．６m² 以下	
ＰＳ０６０ＦＬ－０２３２	床	０．６m² 以下	

鋼製スリーブなし



国土交通省大臣認定番号	使用箇所	開口面積	
ＰＳ０６０ＦＬ－００４８	床	０．６m² 以下	
ＰＳ０６０ＦＬ－００３０	床	０．６m² 以下	

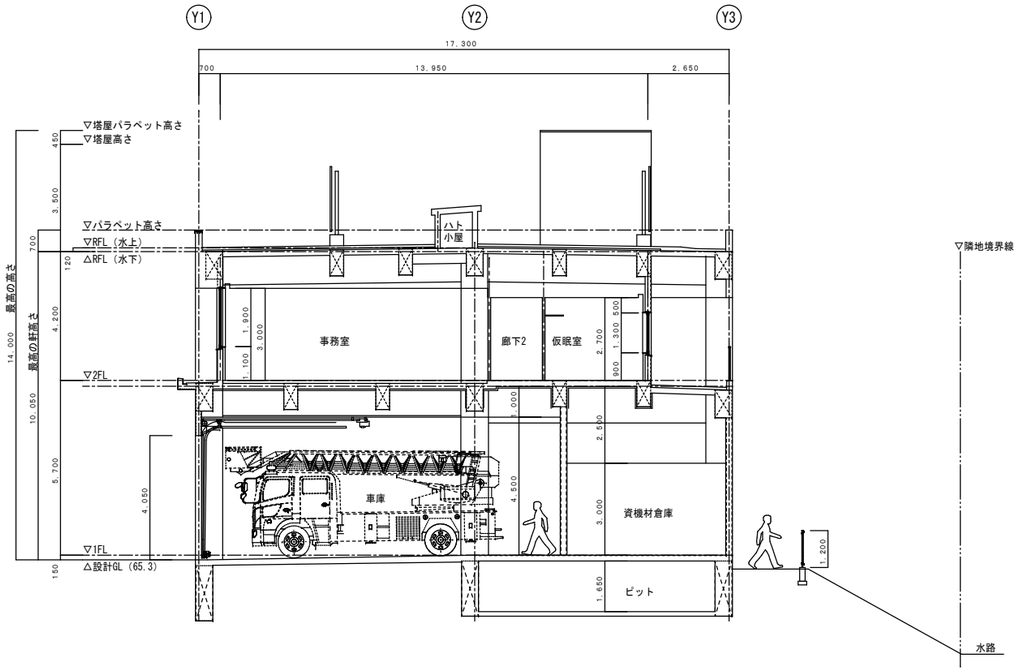
※工法・仕様・認定番号は参考とし、同等品以上とする。

JOB NO

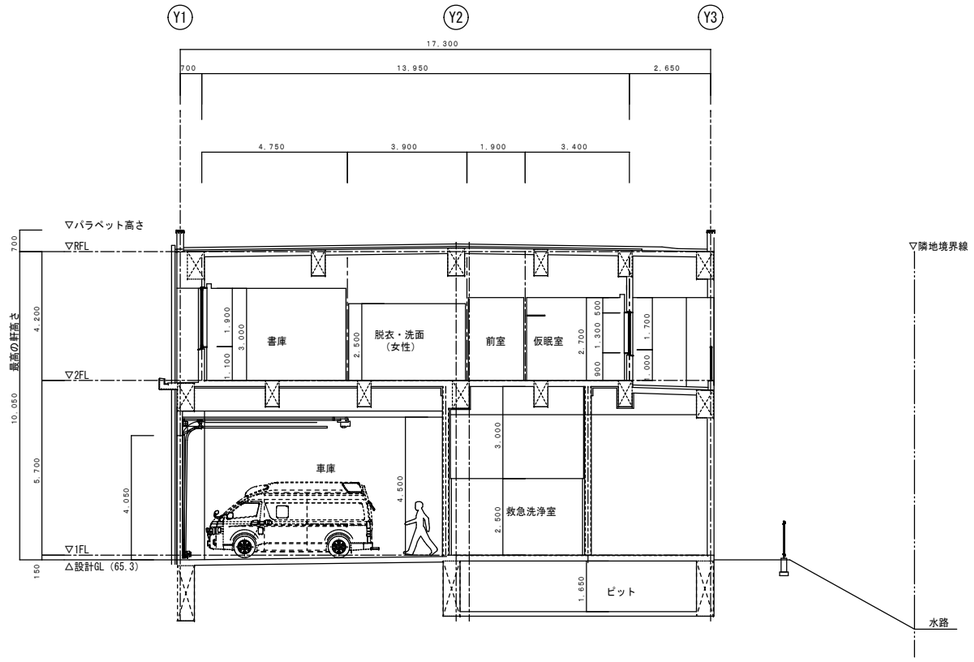
白石消防署庁舎建替工事　（参考）防火区画貫通処理工法参考図　E-63

DATE R8.05.29　SCAL (A 1) 1／NON (A 3) 1／NON　DRAWN　CHEK

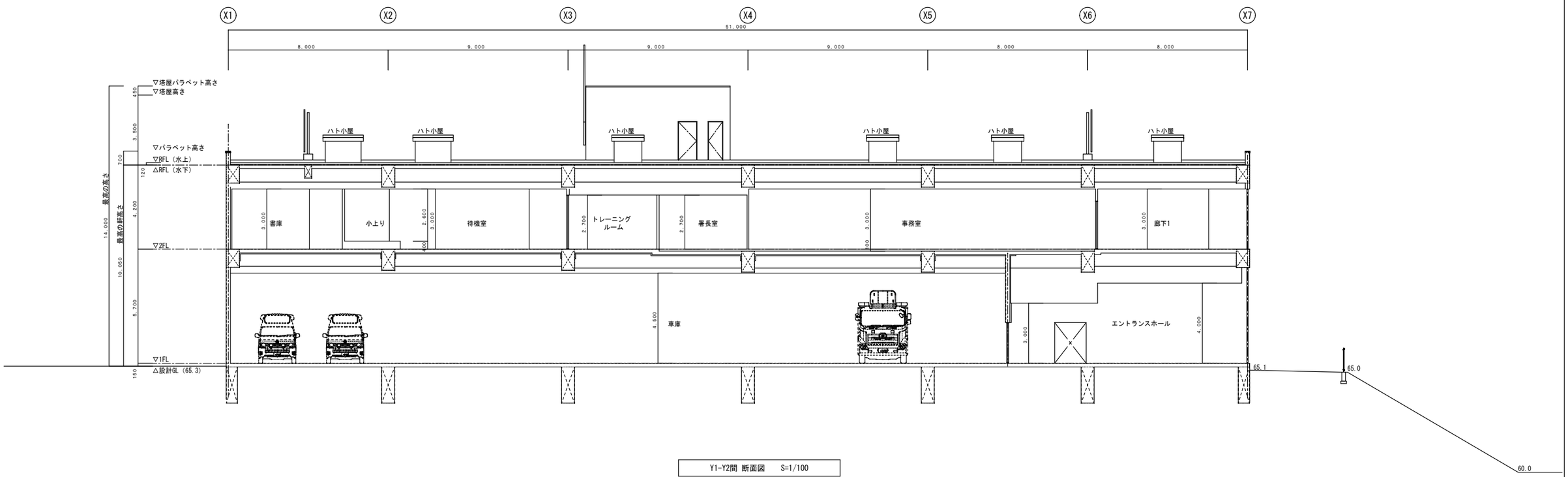
株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号 永野ますみ



X1-X2間 断面図　S=1/100



X4-X5間 断面図　S=1/100



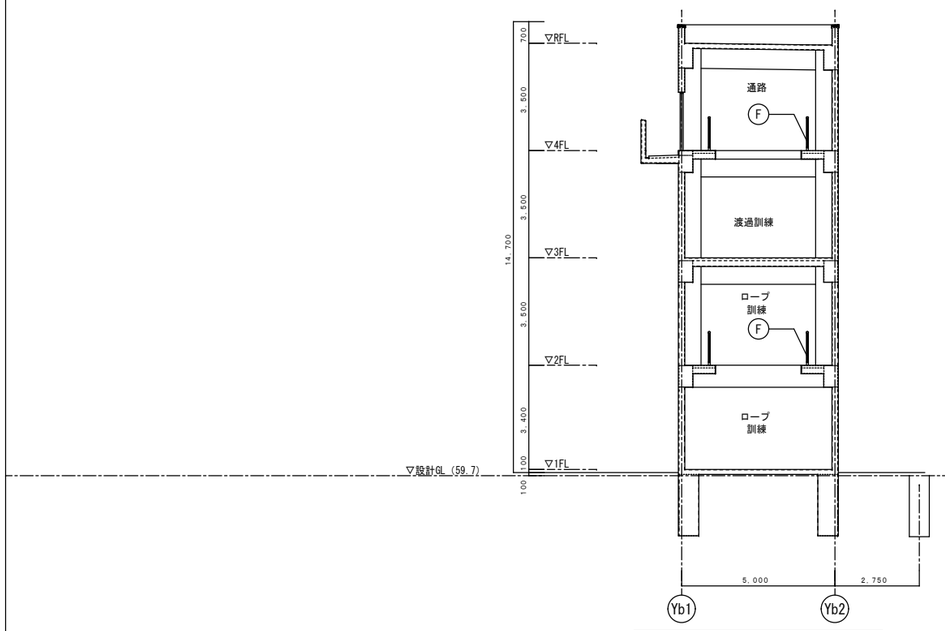
Y1-Y2間 断面図　S=1/100

JOBNO

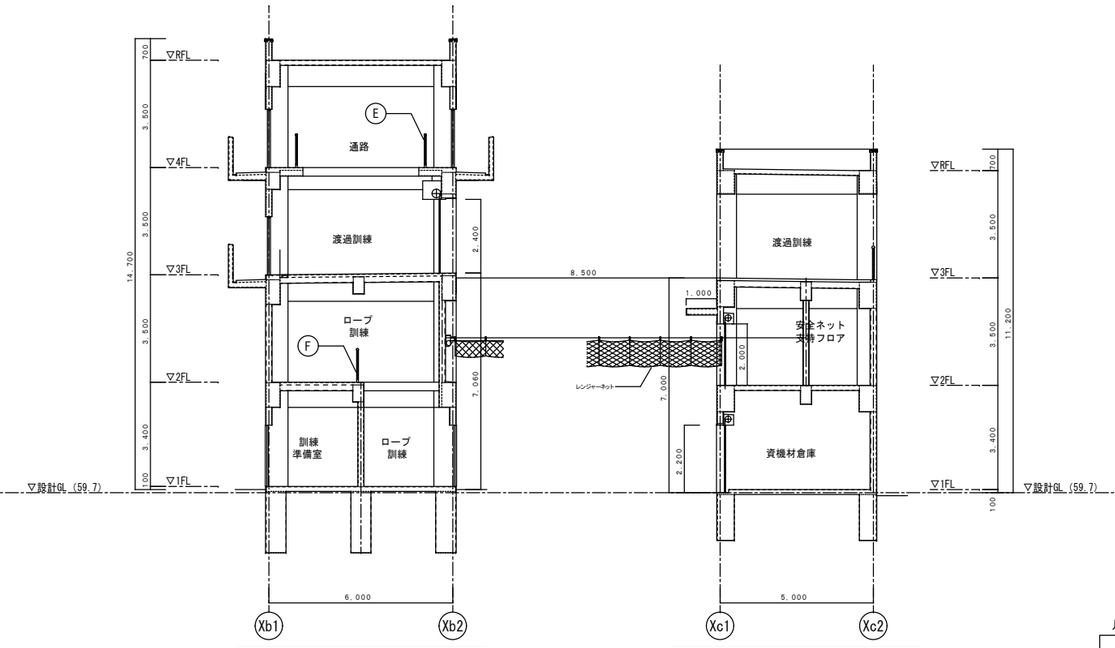
白石消防署庁舎建替工事　（参考）建築参考断面図 庁舎棟　E-64

DATE R8.05.29　SCAL (A 1) 1／100 (A 3) 1／200　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号 永野ますみ



主訓練塔　断面図　1/100

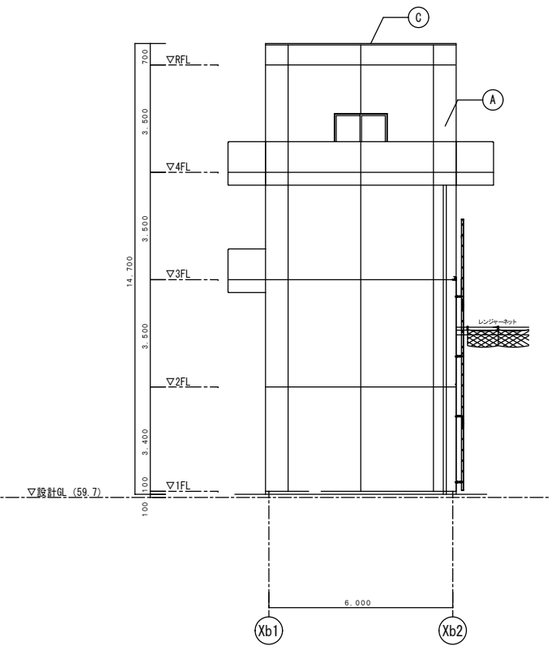


主訓練塔　断面図　1/100

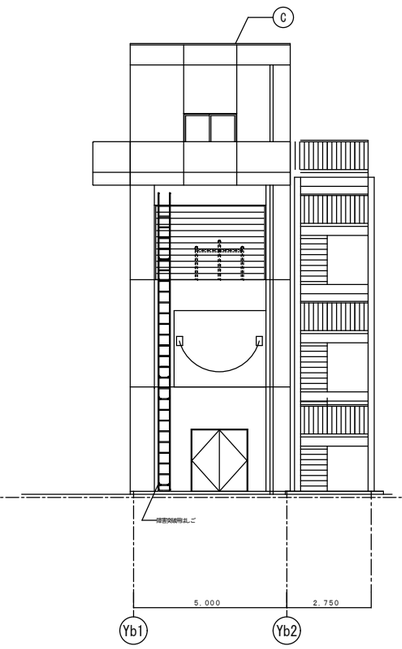
副訓練塔1　断面図　1/100

凡 例

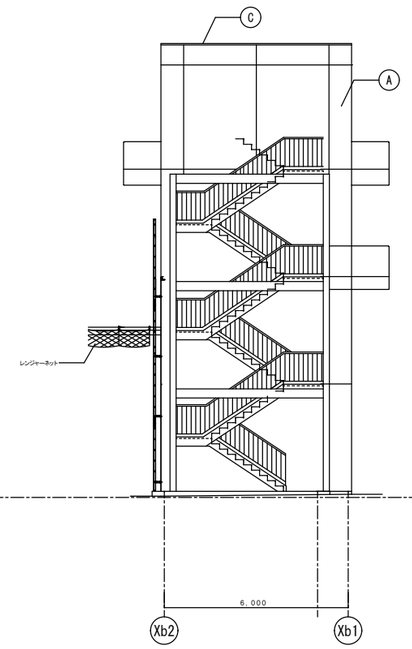
A	コンクリート打放しA種+超耐久・水性ふっ素樹脂塗装
B	特殊樹脂型枠+超耐久・水性ふっ素樹脂塗装
C	笠木：アルミ製W250
D	手すりA
E	手すりB
F	手すりC



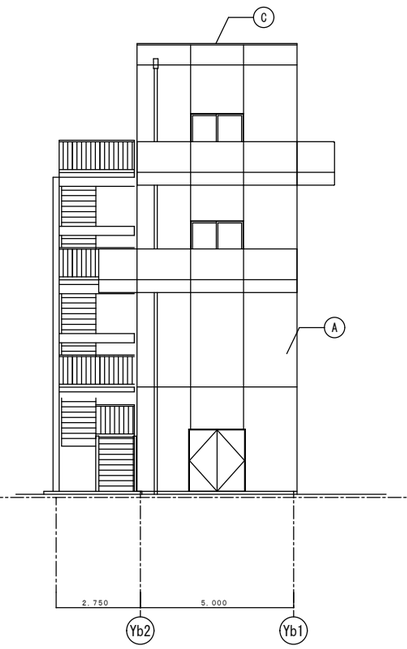
南立面



東立面



北立面



西立面

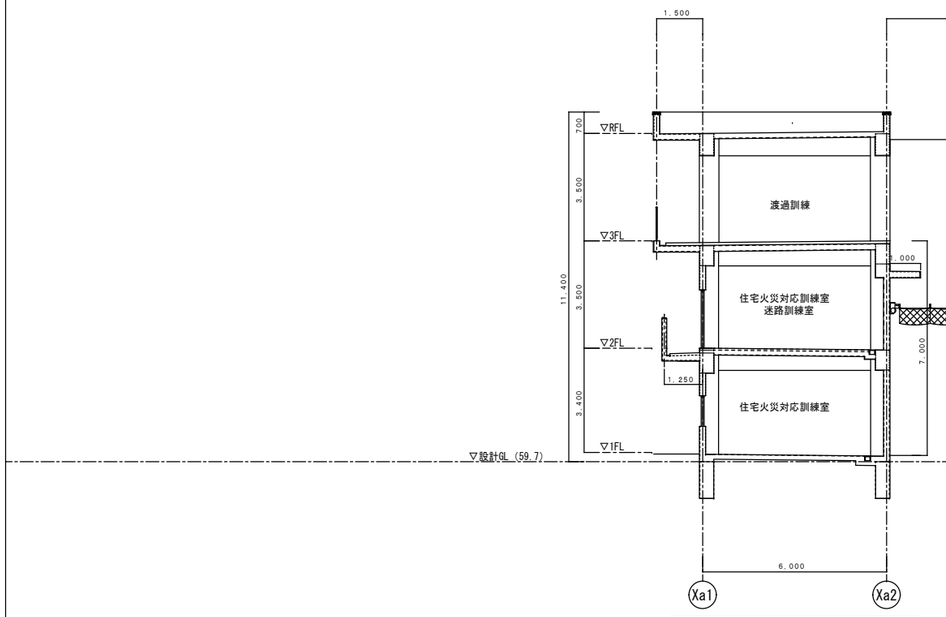
主訓練塔　立面図　1/100

JOBNO

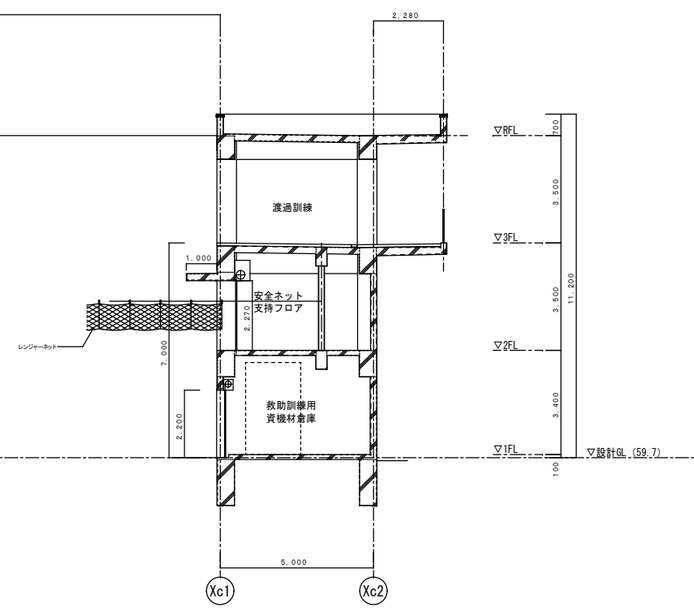
白石消防署庁舎建替工事　（参考）建築参考断面図 訓練棟(1)　E-65

DATE R8.05.29　SCAL (A 1) 1／100 (A 3) 1／200　DRAWN　CHEK

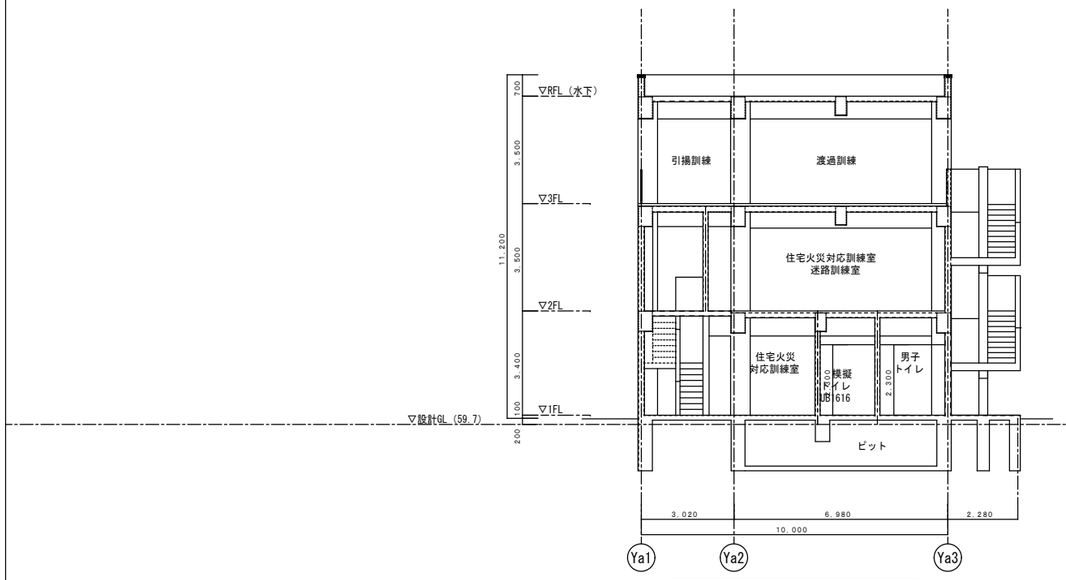
株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号 永野ますみ



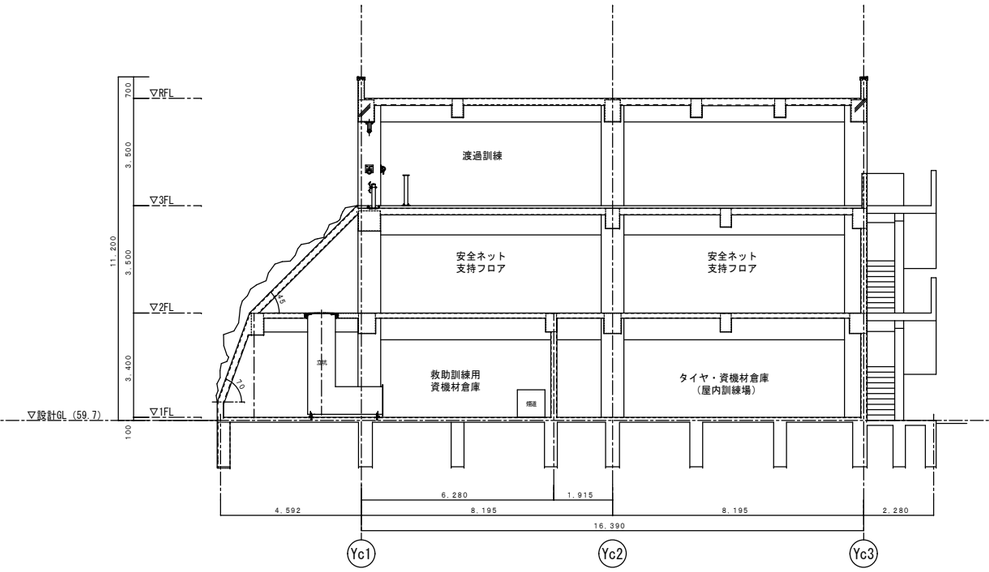
副訓練塔2　断面図　1/100



副訓練塔1　断面図　1/100



副訓練塔2　断面図　1/100



副訓練塔1　断面図　1/100

JOBNO

白石消防署庁舎建替工事　　(参考) 建築参考断面図 訓練棟(2)　E-66

DATE R8.05.29　SCAL (A 1) 1/100 (A 3) 1/200　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号 永野ますみ

白石消防署庁舎建替工事
（機械設備）

図面リスト

図面番号	図面名称	縮尺
M－01	表紙￥図面リスト	N/S
M－02	機械設備工事特記仕様書	N/S
M－03	配置図	1/250
M－04	空気調和設備　機器表（１）	N/S
M－05	空気調和設備　機器表（１）	N/S
M－06	【庁舎棟】空気調和設備　１階平面図	1/100
M－07	【庁舎棟】空気調和設備　２階平面図	1/100
M－08	【庁舎棟】空気調和設備　Ｒ階平面図	1/100
M－09	【庁舎棟】換気設備　１階平面図	1/100
M－10	【庁舎棟】換気設備　２階平面図	1/100
M－11	【庁舎棟】換気設備　中２階平面図	1/100
M－12	【庁舎棟】換気設備　Ｒ階平面図	1/100
M－13	【庁舎棟】給排水衛生設備　機器表・器具表	N/S
M－14	給排水衛生設備　外構図	1/250
M－15	給排水衛生設備　系統図￥	N/S
M－16	【庁舎棟】給排水衛生設備　１階平面図	1/100
M－17	【庁舎棟】給排水衛生設備　２階平面図	1/100
M－18	【庁舎棟】給排水衛生設備　Ｒ階平面図	1/100
M－19	【庁舎棟】給排水衛生設備　１階平面詳細図（１）	1/50
M－20	【庁舎棟】給排水衛生設備　１階平面詳細図（２）	1/50
M－21	【庁舎棟】給排水衛生設備　２階平面詳細図（１）	1/50
M－22	【庁舎棟】給排水衛生設備　２階平面詳細図（２）	1/50
M－23	【訓練棟】空気調和・換気設備　１階平面図	1/100
M－24	【訓練棟】空気調和・換気設備　２～４階平面図	1/100
M－25	【訓練棟】給排水衛生設備　１階平面図	1/100
M－26	【訓練棟】給排水衛生設備　２～４階平面図	1/100

機械設備工事特記仕様書【令和８年４月版】

Ⅰ．工事概要

１．工事名称　白石消防署庁舎建替工事

２．工事場所　白石市大平中目字中田地内

３．建物概要

建物名称	構造	階数	延床面積(㎡)	建築面積(㎡)	消防法施行令別表第一による用途区分	備考
白石消防署【庁舎棟】	RC造	2階	RC造	RC造	15項	
白石消防署【主線棟】	RC造	4階	RC造	RC造	15項	
白石消防署【訓練棟１】	RC造	2階	RC造	RC造	15項	
白石消防署【副主棟２】	RC造	2階	RC造	RC造	15項	

４．工事種目（⊙印のついたものを適用する。）

工事種目＼建設別及び屋外	庁舎棟	訓練棟					屋外
⊙空気調和設備	新設一式	新設一式					
⊙換気設備	新設一式	新設一式					
・排煙設備							
・自動制御設備							
⊙衛生器具設備	新設一式	新設一式					
⊙給水設備	新設一式	新設一式					新設一式
⊙排水設備	新設一式	新設一式					新設一式
⊙給湯設備							
⊙消火設備	新設一式	新設一式					
・厨房機器設備							
⊙ガス設備	新設一式						
・さく井設備							
・浄化槽設備							
・昇降機設備							
・その他工事							

５．指定部分　※なし　・あり　（工　期：令和　年　月　日）　（対象部分：　　）

６．概成工期　※なし　・あり　（工事工期より　　日前）

６．設備概要　（⊙印のついたものは、主要方式を示す）

方式		設備概要
空気調和方式等	・空気調和	・全空気方式　・ファンコイルユニット，ダクト併用方式　⊙パッケージ方式
	・温風暖房	・全空気方式　・ファンコンベクター，ダクト併用方式
	・直接暖房	・温水暖房　・
自動制御方式	・電気式	・電子式　・デジタル式　・空気式　・中央監視制御
給水方式	⊙水道直結方式	・高置タンク方式　・タンクレスブースター方式　・
排水方式	建物内の汚水及び雑排水（・分流式　⊙合流式）	
	建物内の汚水及び雑排水（・分流式　⊙合流式）	
	放流先　汚水　⊙下水道直放流　・浄化槽）	
	雑排水　⊙下水道直放流　・浄化槽　・側溝　・別途桝）	
給湯方式	⊙局所式　・中央式	
消火設備方式	⊙屋内消火栓（・湿式　・乾式）⊙連結送水管　・屋外消火栓	
	（・スプリンクラー　・湿式　・乾式）・不活性ガス消火　・泡消化	
	・粉末消火　・連結散水　・フード等用開放自動消火　⊙消火器	
ガス設備方式	・都市ガス　種別（　）　kJ／m３（Ｎ）（供給圧力　Ｐａ）　⊙液化石油ガス	

Ⅱ．特記仕様書

１．一般事項

（１）特記仕様書及び図面に記載されていない事項は，すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編　令和７年版）」（以下「標準仕様書」という。），同部設備・環境課監修の「公共建築設備工事標準図（機械設備工事編　令和７年版）」（以下「標準図」という。）による。

（２）電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合，電気設備工事及び建築工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。なお，電気設備工事の工事仕様書は（　／　）図，建築工事の工事仕様書は（　／　）図による。

２．特記事項

（１）項目番号に⊙印のついたものを適用する。

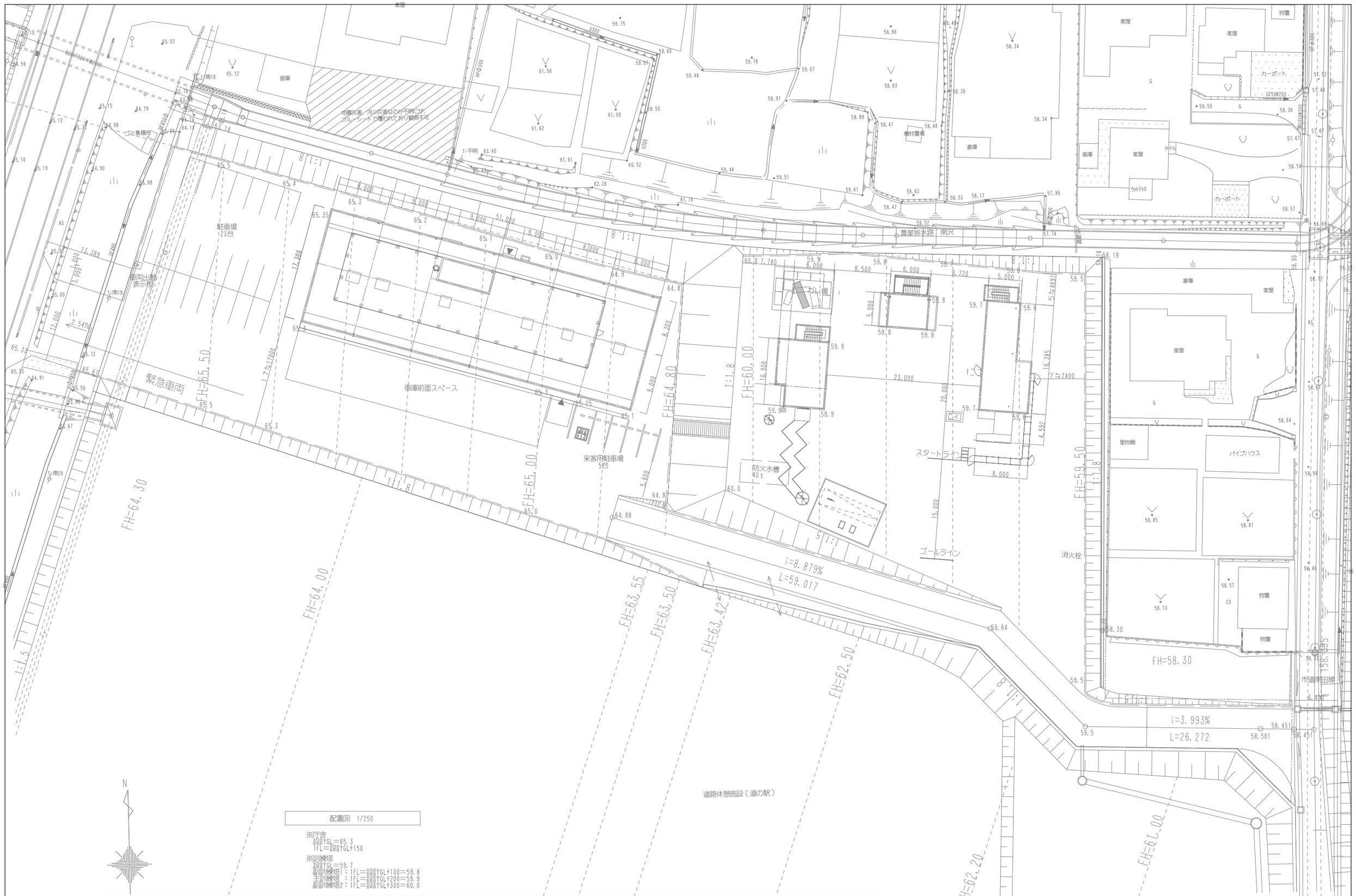
（２）特記事項は，⊙印のついたものを適用する。⊙印の付かない場合は，※印の付いたものを適用する。

⊙印と◎印の付いた場合は，共に適用するものとする。

章	項目	特記事項
一般共通事項	① 適用基準等	⊙ 建設工事執行規則（昭和３９年３月宮城県規則第９号） ⊙ 宮城県建設工事元請・下請関係適正化要綱（最新版） ⊙ 営繕工事写真撮影要領（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　令和５年版） 及び工事写真撮影ガイドブック＜機械設備工事編＞　（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　令和５年版）
	② 機材等	※　本工事に使用する機材等は，設計図書に規定するもの，またはこれらと同等のものとする。ただし，これらと同等のものとする場合は，監督職員の承諾を受けるものとする。 ※　本工事に使用する材料の選定及び施工に当たっては，「県有施設のシックハウスマニュアル」に留意し，揮発性有機化合物の放散による健康への影響に配慮する。 ※　使用する材料のホルムアルデヒド仕様は，日本産業規格及び日本農林規格のＦ☆☆☆☆規格品，壁装材料協会規格適合品または同等品，化学物質等製品安全データシート等にホルマリン不使用が明示されたものとする。 本工事着手前に機器製作図を提出し，監督職員の承諾を受ける。 また，設備機材は，設計図書に定める品質及び性能を有することの証明資料又は外部機関等が発行する資料等の写しを監督職員に提出して，承諾を受ける。なお，標準仕様書に規定される製作図，試験成績表等を含む。
	④ 保険	本工事着手前に工事目的物及び工事材料等を，本工事完了後引渡し期日まで，火災保険及びその他の保険に付し，写しを監督職員に提出のこと。
	⑤ 雇用	本工事は，公共職業安定所の紹介する者の雇い入れに努めること。
	⑥ 施工計画書および施工図等	工事の着手に先立ち，工事の総合的な計画を まとめた総合施工計画書を作成し，監督職員に提出する。 工事の施工に先立ち，工種別施工要領書および施工図等を作成し，監督職員の承諾を受ける。 また，県が実施する「公共事業環境マネジメントシステム」の対象工事においては，環境配慮計画（実施）書を作成し，監督職員に提出する。
	⑦ 工事実績情報の登録	請負額が５００万円以上の場合，工事実績情報に登録する。 受注時，登録内容の変更時及び完成時にあらかじめ監督職員の確認を受け，契約締結後、配置技術者の変更後、変更契約締結後工事完成後の10日以内に登録手続きを行い、工事カルテの受領書を監督職員に提出のこと。
	⑧ 手続	工事の着手，施工，完成にあたり，関係官公署その他の関係機関への必要な届出手続等を遅滞なく行う。 なお，当該手続きに係わる費用は，受注者の負担とする。
	⑨ 事故報告	施工中に事故が発生した場合には，直ちに監督職員に通報するとともに，別に指示する「事故報告書」を指示する期日までに監督職員に提出する。
	⑩ 電気保安技術者	※　配置する　・　配置しない
	⑪ 技能士の適用	本工事に下記の当該職種別技能士（・１級・２級）を適用させる。（資格証の写しを提出する） ・　配管（配管工事）　・　建築板金（ダクト製作及び取付け）　・　熱絶縁施工（保温工事） ・　冷凍空気調和機器施工（チリングユニット，パッケージ形空気調和機の据付及び調整）
	⑫ 足場等	・　別契約の関係請負者が定置したものは無償で使用できる。　・　本工事で設置（　　図参照） 枠組足場を設ける場合は，「手すり先行工法等に関するガイドライン（厚生労働省令和５年１２月改定）」によるものとし、二段手すり及び桁木の機能を有するものでなければならない。
	⑬ 監督職員事務所	※　設けない　・　設ける（　　号・・・建築工事仕様書）
	⑭ 工事用電力，水，その他	本工事に必要な工事用電力，水及び諸手続などの費用はすべて引渡しまで受注者の負担とする。
	⑮ 工事用仮設物	構内に作ることが　※　できる　・　できない
	⑯ 残土処理	・　構内搬出　※　構内指示の場所に敷き均し　・　構内指示の場所にたい積
	⑰ 発生材の処理	（１）建設リサイクル法の規定に基づく通知義務等の該当　・なし　・あり（　　） （２）フロンガス回収破壊法の規定に基づく措置の該当　・なし　・あり（　　） （３）引渡しを要するもの　※なし　・あり（　　） （４）廃棄物は，「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」等の関係法令を遵守し，場外搬出の上，適切に処分すること。 （ア）特別管理産業廃棄物 ※なし　・あり　（　　） （イ）特定建設資材廃棄物の再資源化等を行う施設 ・コンクリート　（　　） ・コンクリート及び鉄から成る建設資材（　　） ・木　材　（　　） ・アスファルトコンクリート　（　　） （ウ）その他発生材の処分を行う施設 ・コンクリートガラ等の安定型の産業廃棄物（　　） ・木くず等の管理型の産業廃棄物　（　　） ※アスベストについては，労働安全衛生法（石綿障害予防規則）・廃棄物処理法等に則り，事前調査を実施し，調査結果を整理のうえ，監督職員へ報告すること なお、事前調査については、工作物石綿事前調査者、一般/特定建築物石綿含有建材調査者、令和5年9月までに日本アスベスト調査診断協会に登録された者のいずれかを有する者とする
	⑱ 総合試運転調整等	※　本工事において下記の項目の総合試運転調整等を行い、報告書を提出する。　・　別途 総合試運転調整等の項目 ⊙ 風量調整　⊙ 水量調整　⊙ 室内外空気の温湿度測定 ・ 室内気流及びじんあいの測定　・ 騒音の測定　⊙ 初期運転状態の記録 ⊙ 実施水枝の水質測定　・ し尿浄化槽放流水質の測定 ⊙ 機器の絶縁抵抗の測定　⊙ 水圧調整 測定箇所は、監督職員の指示による。
	⑲ 容量等の表示	（１）機器類の能力，容量等は指示された数値以上とする。 （２）電動機出力，燃料消費量及び圧力損失は，原則として表示された数値以下とする。
	⑳ 耐震措置	機器，配管，ダクト等は耐震を考慮し堅固に据え付け，取付け又は支持を行う。 耐震措置の計算及び施工方法は，次に掲げる事項以外すべて建築設備耐震設計・施工指針（国土交通省国土技術政策総合研究所・独立法人建築研究所監修２０１４年版）による。 投用機標水平震度（Ｋｓ） 設置場所：特定の施設（重要機器：２．０（２．０）；一般機器：１．５（２．０））；一般の施設（重要機器：１．５（１．５）；一般機器：１．０（１．５）） 上層階，屋上及び塔屋：２．０（２．０）；１．５（２．０）；１．５（２．０）；１．０（１．５） 中間階：１．５（１．５）；１．０（１．５）；１．０（１．５）；０．６（１．０） 一階及び地下階：１．０（１．０）；０．６（１．０）；０．６（１．０）；０．４（０．６） 重要水槽（飲料用）：上層階、屋上及び塔屋：２．０；１．５；１．５；１．０ 一階及び地下階、中間階：１．５；１．０；１．０；０．６ 注（１）設置場所の区分は標準仕様書による。　注（２）（　）内の数値は防震支持の機器の場合に適用する。 （３）本工事の施設は（・　一般の施設　⊙　特定の施設）とする。 （４）地域係数は１．０とする。 （５）１００ｋｇ以下の軽量な機器（標準仕様書の適用を受けるものは除く）においても耐震を考慮し、据付又は取付を行うものとするが、前記指針の方法によらなくてもよい。 （６）昇降機のつり合おもりブロックの脱落防止は、十分な強度を有する方法で固定し、水平和直方向の地震力に対して、つり合おもりが枠から脱落しないように構造とすること。 特記されていない弁等のサイズは、機器付属品を除き接続配管のサイズと同じとする。
	㉑ 弁等のサイズ	
	㉒ 電線類	本工事では環境配慮の観点から、原則としてＥＭケーブルを使用するものとする。なお、電気設備工事編標準仕様書第６編通信・情報設備工事による。
	23. 溶接部の非破壊検査	対象配管系統　・冷温水　・冷却水　・消火（水用）　・油　・ガス 検査の種類　・浸透探傷検査（ＰＴ）又は磁粉探傷検査（ＭＴ）　・放射線浸透検査（ＲＴ）
	24. はつり	既存のコンクリート部の床、壁の配管貫通部等の穴明けは原則としてダイヤモンドカッターによる。
	㉕ 支持及び固定	（１）標準仕様書以外の天吊り機器の支持は、標準仕様書第３編２．１．１３（ｂ）に準ずる。 （２）横走り主ダクト・主管の振れ止めは端部も行うこと。
	㉖ 支持金物・固定金具	（１）ポンプ・屋外機器のアンカーボルトのナット及び屋外の配管・ダクトに使用する支持金物はステンレス製（ＳＵＳ３０４）とし、ポンプ・屋外機器のアンカーボルトにはナットキャップ（樹脂製）を取り付ける。 （２）振動を伴う機器の支持金物のナットはダブルナットとする。 （３）冷水及び冷温水管の吊バント等の支持部は、合成樹脂製の支持受けを使用する。
	㉗ 埋戻し土	図面に特記のない場合は下記によるほか標準仕様書第２編による。ただし、各工事種目で別に指定されたものは除く。 ・　根切り土の中の良質土（ただしヒューム管以外の管の周囲には砂の類）　・　山砂の類
	㉘ 地中埋設標及び埋設表示用テープ	地中埋設標及び埋設用テープは、下記により屋外埋設部分に布設する。なお、地中埋設標の設置場所は図示によるほか、屋外埋設管の分岐及び曲がり部に設置する。 （１）給水管　⊙ 地中埋設標　⊙ 埋設用表示テープ （２）ガス管　・ 地中埋設標　・ 埋設用表示テープ （３）油　管　・ 地中埋設標　・ 埋設用表示テープ （４）消火管　・ 地中埋設標　・ 埋設用表示テープ
	㉙ 保温	・　主機械室は下記の室とし、他は各機械室とする。 主機械室： ・　ダクトの保温の外装は下記による。内装は（⊙　ロックウール　⊙　グラスウール） 屋内露出：倉庫・書庫　・アルミガラスクロス　・ 各階機械室　・アルミガラスクロス　・ 主機械室　・アルミガラスクロス　・ 居室・廊下など　・カラー亜鉛鉄板　・ 屋内隠ぺい，ＰＳ内　・アルミガラスクロス 屋外露出，多湿箇所（　　）　・ステンレス鋼板 ・　配管の保温の外装は下記による。内装は（・　ロックウール　・　グラスウール　⊙　ポリスチレンフォーム） 屋内露出：倉庫・書庫　・アルミガラスクロス　・ 各階機械室　・アルミガラスクロス　・ 主機械室　・アルミガラスクロス　・ 居室・廊下など　・アルミガラスクロス　・ 屋内隠ぺい，ＰＳ内　⊙　アルミガラスクロス 屋外露出，多湿箇所（　　）　⊙　ステンレス鋼板　・着色アスファルトプライマー ・　アスファルトプライマー　・
	㉚ 塗装	（１）下記部位に使用する，外面めっき電線管の露出配管には塗装を施す。 ※　屋外露出　※　居室 （２）保温を行わない居室・便所・給湯室及び屋外の露出配管（鋼管）には塗装を行う。
	㉛ 防食処理	土中埋設の鋼管（ステンレス鋼管及び外面被覆鋼管は除く）及び金属製継手類（砲金製弁・継手を含む）にはペトロラタム系防食テープ及びプラスチックテープによる防食処理を行う。（埋設配管は原則として、防食処理不要の管材とする。）
	㉜ 山留め	切取り面にその筈所の土質に見合った勾配を保って掘削できる場合を除き、掘削の深さが１．５ｍを超える場合には、山留めを行うものとする。
	33. 舗装工事	国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の建築工事標準仕様書２２章（舗装工事）による。
	㉞ 他工事との取り合い	図面に特記なき場合は、表「工事区分表」による。
	㉟ 予備品等	ヒューズ（温度ヒューズも含む）及び表示灯は予備品として，２０％納入する（種別ごと最低１個）。
	㊱ 施工条件	別途の施工条件明示書による。
	㊲ 三相誘導電動機	省エネ法の特定機器の対象となる機器はJIS Ｃ 4034-30:2011のIE3（プレミアム効率）に相当する機器を導入すること。
空気調和設備	① 設計温湿度	外気：夏期　30.6℃（9時）65.5%（9時）；32.4℃（12時）60.2%（12時）；32.6℃（14時）57.8%（14時）；31.8℃（16時）61.0%（16時）；冬季　－２．０℃　６９．２% 屋内（調整目標値）：一般系統：夏期（DB）２６℃　湿度（RH）４５%；冬季（DB）２２℃　湿度（RH）４０%；コンピュータ室系統：夏期（DB）２４℃　湿度（RH）４５%；冬季（DB）２２℃　湿度（RH）４０% 取付箇所は図示による。
	2. ばい煙濃度計	
	3. 煙道	※　煙道径３００mm以下は鋼板厚３．２mm，３００mmを超えるものは４．５mmとする。　・　図示による。 （煙道径が４００mmを超えるものには、掃除口に蝶番を取り付ける。）
	④ ダクトの区分	低圧とする（高圧１及び高圧２の部位は図示による。）
	5. 長方形ダクトの工法	・　アングルフランジ工法　・　コーナーボルト工法　（　・　共板　・　スライド）
	6. 風量測定口	取付け場所は図示による。取付面は監督職員の指示による。
	7. チャンバ	（１）内貼りを施すチャンバの表示寸法は外法を示す。 （２）空気調和機に取付けるサブライチャンバ及びレタンチャンバで消音内貼りしたチャンバには、点検口を設ける。なお点検口の大きさは図示による。 （３）外壁に面するガラリに直接取り付けるチャンバ及びホッパーは雨水の滞留のないように施工する。
	8. 防煙ダンパ	（１）復帰方式　※　遠隔式（電気式（定格入力ＤＣ２４Ｖ，０．７Ａ以下）） （２）復帰動作　※　順送り
	⑨ 配管材料	（１）冷温水管　※　配管用炭素鋼鋼管（白）　・ （２）冷却水管　※　配管用炭素鋼鋼管（白）　・ （３）蒸気管（給気管）　※　配管用炭素鋼鋼管（黒）　・ （還水管）　※　圧力配管用炭素鋼鋼管（Ｓｃｈ４０） （４）油管，油用通気管（一般）　※　配管用炭素鋼鋼管（黒）　・ （土中）　※　ポリエチレン被覆鋼管 （５）膨張管，空気抜き管，膨張タンクとりボイラ等への給水管 ※　配管用炭素鋼鋼管（白）　・ （６）空調用排水管　※　配管用炭素鋼鋼管（白）　⊙　結露防止層付硬質塩化ビニル管 （７）冷媒管　※　断熱材被覆銅管　・　銅管
	10. 弁類	※　ＪＩＳ又はＪＶ５Ｋ　・　ＪＩＳ又はＪＶ１０Ｋ ステンレス鋼管に取り付ける弁類は、ステンレス製とする。
	11. 鋼管用伸縮管継手	※　ベローズ形　・　スリーブ形
	12. 温度計	※　標準仕様書，標準図による他，図示した箇所に取り付ける。（配管用はＬ形，ダクト用は円形） ・　空気調和機，温風暖房機まわりの給気ダクト，冷気ダクト及び外気ダクト ・　冷温水ヘッダー（往）及び冷温水ヘッダーの各還り管 ・　パッケージ形空気調和機の冷却水及び温水の出入口
	13. 瞬間流量計	※　着脱可能形（※　全数　・　図示による） 着脱可能形の場合、その指示部（・　４０Ａ用　個　・　１００Ａ用　個　・　２５０Ａ用　個）を付属する。 ・　固定形（止水コック付）　・　測定用タッピング（３２mmビット管流量計用）
	14. オイルタンク	（１）オイルタンク本体は図示による。 （２）遠隔油用指示計　※　取付ける　・　取付けない （３）計量尺は、青銅製、黄銅製又はアルミ製とし、１００リットル実測目盛刻印とする。計量口は設けること。
	15. 積算油量計	図示の箇所に取付ける（熱源機器等）。
	16. 注油口及び指示ﾎﾞｯｸｽ	標準図（機材　６　）による。 ・　単独形　・　共用形（・　ローリーアース付）
	17. 消音内貼り	（１）施工箇所は図示による。 （２）内貼りチャンバ類の寸法表示は、外形寸法とする。 （３）吹出口に接続するチャンバの消音内貼りは別図による。
	18. 保温	（１）建物内の空気調和の保温は空気抜き弁までとし（空気抜き弁も含む），仕様は冷温水管の項による。 （２）屋外露出配管の保温は、給水設備の項による。 （３）外気取り入れダクト及びチャンバーボックスの保温　※　要（全熱交換器の給気ダクトを含む）　・　不要 （４）排気ダクトの外壁開放部より１ｍ程度保温する。（チャンバーボックスを含む） （５）冷媒管（断熱材被覆銅管）の保温外装 屋内露出部　⊙　保温化粧ケース（樹脂製）　・　外装なし　・ 屋外　・　保温化粧ケース（樹脂製）　⊙　冷媒管ラック （６）高圧蒸気管及びヘッダーの保温厚は　mmとする。
	19. 電気工事の範囲	（１）地震感知器の配管配線　※　別途　・　本工事 （２）防煙ダンパと連動制御装置の配管配線及び連動制御盤から煙感知器迄の配線配管は ※　別途　・　本工事
	20. 塗装	（１）屋内露出配ダクトの塗装（居室を除く）は　※　行わない　・　行う （２）屋内露出冷却水配管の塗装（居室は除く）は　※　行わない　・　行う
換気設備	① 準拠事項	［　空気調和　・　冷房　・　暖房設備　］の当該事項に準ずる。 ⊙ ５　⊙ ６　⊙ ７　・ ８　・ ９　⊙ １７　⊙ １８　⊙ １９　⊙ ２０ ※　別途　・　本工事　・　既設
	2. 開放形湯沸器排気ﾌｰﾄﾞ	
	③ 厨房用排気ダクト	※　亜鉛鋼板　・　ステンレス鋼板（ＳＵＳ３０４）（板厚は高圧ダクトによる）
	4. 厨房用排気ダクト工法	※　アングルフランジ工法　・　コーナーボルト工法（共板フランジ又はスライドオンフランジ）
	5. 厨房用排気フード	（１）フード周囲の天幕（フード面から天井面まで）　※　取り付ける　・　取り付けない （２）フードコック　※　取り付ける　・　取り付けない （３）材質（天幕とも）　※　ステンレス鋼板（ＳＵＳ４３０又はＳＵＳ３０４）
	6. 多湿箇所の排気ﾀﾞｸﾄ	次の系統のダクトのシールは、標準図（施工４５，４６）のＮシール＋Ａシール＋Ｂシールとし、水抜き管を設ける。 （　　）
	⑦ 保温	空調和設備の当該事項による他、全熱交換ユニットの給気及び排気ダクトの保温を行う。
排煙設備	1. ダクト	・　亜鉛鋼板製　・　鋼板製（１．６mm以上）
	2. 排煙口の形式	・　可動羽根（ルーバー共）　・　可動パネル
	3. 排煙口開放装置	・　ワイヤー式　・　電気式（連動操作機能　・　要　・　不要）
	4. 排煙風量測定方式	建築設備定期検査業務指導書（（財）日本建築設備・昇降機センター）の排煙風量の検査方式に準ずる。
自動制御設備	1. 中央監視制御	中央監視制御装置の構成機能は別紙による。
	2. 計装工事の配線	（１）屋外・屋内露出の配線は，図面に特記のない限り金属管配線とする。 （２）天井内隠ぺいの配線は，図示に特記がない限りケーブル配線とする。
衛生器具設備	① 大便器洗浄弁	・　洗浄タンク方式　・　洗浄弁方式（不凍結節水弁付）
	② 便器洗浄用タンク	※　手洗なし　・　手洗付
	③ 小便器自動洗浄	個別感知方式とする。（・　小便器一体型　・　小便器分離型）
	④ 器具付属水栓	固定こまボス（節水こまボス）とする。
	⑤ 自動水栓	※　電源供給方式（※　ＡＣ１００Ｖ）　・　乾電池　・自己給電
	⑥ 温水洗浄便座加熱方式	・　瞬間式　・　貯湯式
	7. 大便器耐火カバー	設ける（ピット内を除く）
給水設備	① 量水器	（１）親メーター　※　揖用　・　買取り　（隔測メーター　・　有　・　無） （２）子メーター　※　買取り　（隔測メーター　・　有　・　無）
	② 量水器桝	（１）親メーター用　※　水道事業者の指定品　・　標準図（機材５７） （２）子メーター用　※　標準図（機材５７）　・　水道事業者の指定品
	③ 配管材料	（１）一般用 ⊙ ステンレス鋼管（ＳＵＳ３０４） ・　塩ビライニング鋼管（・ＶＡ　・ＶＢ） ・　ポリ粉体鋼管（・ＰＡ　・ＰＢ） ・ （２）土間配管用（厨房，浴室等のシンダー内含む） ・　ステンレス鋼管（ＳＵＳ３１６） ・　塩ビライニング鋼管（ＶＤ） ・　ポリ粉体鋼管（ＰＤ） ・ （３）屋外土中用 ・　ステンレス鋼管（ＳＵＳ３１６） ・　塩ビライニング鋼管（ＶＤ） ・　ポリ粉体鋼管（ＰＤ） ・　水道用硬質ポリ塩化ビニル管（ＶＰ） ・　〃　（ＨＩＶＰ） ⊙ ポリエチレン管 ・　水道用ゴム輪形硬質ポリ塩化ビニル管 ・
	④ 不凍水栓柱	化粧ケーシング（⊙　アルミ合金製　・　合成樹脂製）
	⑤ 弁類	（１）水道直結部分　※　ＪＩＳ又はＪＶ１０Ｋ　・　水道事業所の規定による　Ｋ （２）その他の部分　※　ＪＩＳ又はＪＶ５Ｋ　・　ＪＩＳ又はＪＶ１０Ｋ ステンレス鋼管に取り付ける弁類は、ステンレス製とする。
	⑥ 給水栓	（１）屋内（　※　一般水栓　・　耐寒水栓　）　（２）屋外（　※　耐寒水栓　・　一般水栓　） 湯沸室，台所，厨房用水栓は泡沫式とする。　耐寒水栓はＪＷＷＡの認証品とする。
	⑦ 埋設深さ	（１）一般敷地内（　０．４５　ｍ以上）　（２）敷地内車両通路（　０．８　ｍ以上） （３）公道部分（　※　水道事業者及び道路管理者規定による　）
	⑧ 保温	（１）量水器桝内の保温を行う。 （２）屋外露出配管（弁フランジを含む）は，標準仕様書第２編（表２．３．６　ｅ２・（ハ））とし 厚さは呼び径２５mm以下は５０mm，呼び径３２mm以上は４０mmとする。
	⑨ 埋設弁開閉用ハンドル	本工事に　※　含む（水道事業者管理用以外の弁操作用）　・　含まない
	⑩ 水道加入金等	水道加入金　⊙　要（⊙　本工事　・　別途　）　・　不要 ⊙　その他（　水道手数料　）
	⑪ ステンレス管の接合方法	（１）呼び径６０Ｓ以下　ＳＡＳ３２２（一般配管用ステンレス鋼管の管継手性能基準）を満足した継手による接合 （２）呼び径７５Ｓ以上　・　溶接接合　・　ハウジング形管継手による接合　・　フランジ接合
	⑫ その他	給水管の最小口径は２０mmとする。ただし，器具接続部分を除く。
排水設備	① 配管材料	（１）屋内汚水管 ・　排水用塩ビライニング鋼管 ⊙ 耐火二層管（ＶＰ）（ＦＤＶＤ） ・ （２）屋内雑排水管 ・　配管用炭素鋼鋼管（白） ・　排水用塩ビライニング鋼管 ⊙ 耐火二層管（ＶＰ）（ＦＤＶＤ） ・ （３）屋外土中汚水，雑排水管 ⊙ 硬質ポリ塩化ビニル管（ＶＰ） ・　硬質ポリ塩化ビニル管（ＶＵ） ・　排水用リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管（ＲＥＰ－ＶＵ） ・ （４）土間配管用 ・　排水用塩ビライニング鋼管 ・ （５）通気管 ・　配管用炭素鋼鋼管（白） ⊙ 硬質ポリ塩化ビニル管（ＶＰ） ・ （６）ポンプアップ排水管 ・　ポリ粉体鋼管（ＰＤ） ・ 台所流し等の床上露出部分の排水管は、硬質ポリ塩化ビニル管でもよい。
	② 排水桝	・　桝リストは図面番号（　　） （１）材料　・ＲＣ　⊙ 硬質塩化ビニル　⊙ ポリプロピレン　・ＳＣ （２）ふた　⊙鉄筋製（・ＭＨＡ　・ＭＨＢ　⊙ Ｔ２５Ａ　） ⊙鋼製 （３）規格　⊙ 日本下水道協会（ＪＳＷＡＳ）　⊙ プラスチック・マスマンホール協会（ＰＭＭＳ） ・　市町村別基準（・　有　・　無）
	3. グリース阻集器	・ＦＲＰ製（　Ｌ）・ＳＵＳ製（　Ｌ）　詳細は図示。
	4. 満水試験継手	図示の箇所に取付け，満水試験を行うこと。
	⑤ 試験	⊙ 衛生器具などの取付完了後，排水試験又は通水試験を行う。 ・　衛生器具などの取付完了後，煙試験を行う。
	⑥ 放流負担金等	⊙ 不要　・　要（　・　別途工事　・　本工事　）⊙ その他　（下水道手数料）
	⑦ 基礎	※　再生クラッシャーラン
給湯設備	① 配管材料	・　ステンレス鋼管（ＳＵＳ３０４）　・　耐熱性ライニング鋼管　・　銅管　・　被覆銅管 ・　保温付被覆銅管　<配管及び補給水タンクよりボイラー等への補給水管を含む。>
	② 弁類	給水設備の当該事項による。
	3. 湯沸器の排気筒	厚さ０．５mm以上のステンレス鋼板製とする。
	4. 保温	湯沸器の給排気筒（二重管）のいんぺい部保温を行う。標準仕様書第２編３．１．５表２．３．５の（ｈ・（イ）・Ｘ）
	⑤ ステンレス管の接合方法	（１）呼び径６０Ｓ以下（ＳＡＳ３２２（一般配管用ステンレス鋼管の管継手性能基準）を満足した継手による接合 （２）呼び径７５Ｓ以上　・　溶接接合　・　ハウジング形管継手による接合　・　フランジ接合
消火設備	① 配管材料	（１）一　般 ⊙ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・　圧力配管用炭素鋼鋼管（Ｓｃｈ４０） （２）地中埋設部 ⊙ 外面被覆鋼管（ＳＧＰ－ＶＳ） ・　ポリエチレン被覆鋼管（ＳＧＰ－ＰＳ） ⊙ 外面被覆鋼管（ＳＴＰＧ－３７０ＶＳ） ・　ポリエチレン被覆鋼管（ＳＴＰＧ－３７０ＰＳ） （３）二酸化炭素用 ・　圧力配管用炭素鋼鋼管（継目無管）（Ｓｃｈ８０）
	② 屋内消火栓種別	⊙ 易操作性１号消火栓（訓練用）　・　２号消火栓　・　広範囲型２号消火栓
	③ 消火栓開閉弁	・　ＪＩＳ１０Ｋ　⊙ ＪＩＳ２０Ｋ
	4. 保温	（１）屋外露出管については給水管に準ずる。 （２）充水タンクの保温　・　施工しない　・　施工する （３）消火配管の保温　屋内消火栓　⊙　施工しない　・　施工する スプリンクラー　⊙　施工しない　・　施工する
	⑤ 消火器類	（１）消火器　種別　・　数量　（　ＡＢＣ１０号　１０台　） （２）消火器収納箱　仕様　・　材質・数量（　鋼板製　６台　）
厨房機器設備	1. 厨房機器類	（１）図示による（材質などは標準仕様書による）。ただし，寸法は参考とする。 （２）厨房機器仕様協議，標準図施工７４による。
ガス設備	① 配管材料	（１）一般 ※　配管用炭素鋼鋼管（白） ・　ガス事業者の規定による ・ ・ （２）地中埋設部 ※　ポリエチレン被覆鋼管 ・　ガス事業者の規定による ・　ガス用ポリエチレン管 ・
	2. 都市ガス	（１）ガスメーター 親メーターはガス事業者の設置，子メーターは本工事 （２）引込み負担金　・　不要　・　要（　・　別途工事　・　本工事　）
	③ 液化石油ガス	（１）ガスボンベ　※　借用　・　買い取り　（・１０ｋｇ　・２０ｋｇ　⊙５０ｋｇ　６　本） （２）ガスメーター　親メーターはガス事業者の設置，子メーターは本工事とする。 （３）集合装置　⊙　標準図（施工７２）による（　　本組） （４）配例防止等　⊙　標準図（施工７３）［・（ａ）　・（ｂ）］⊙　ボルト，チェーン等はＳＵＳ製とする。 ・　容器固定具をＧＬ＋３００に追加設置する。
	④ ガス漏れ警報器	図示の場所に取付ける　（　・　分離形　・　一体形　）　⊙　別途電気工事 外部出力端子　（　・　あり　・　なし　）
	5. 埋設深さ	（１）一般敷地内（　　ｍ以上）　（２）敷地内車両通路（　　ｍ以上） （３）公道（ガス供給事業者及び道路管理者規定による）
	⑥ その他	配管工事は，原則としてガス供給事業者の責任施工とする。　供給事業者名（　　）
昇降機設備	1. 方式　用途	方式（・ロープ式　・油圧式　・　　）用途（・一般乗用　・車いす用　・荷物用　・　）
	2. 積載量（kg）　定員（人）	停止箇所（　　箇所停止）
	3. 速度（m/分）　停止箇所	速度（　　m/分）　停止箇所（　　箇所停止）
	4. 管制運転	・　地震　・　火災　・　停電　・　冠水　・　自家発
	5. 工場検査予定	※　あり　・　なし
	6. 無償保守期間	・　あり（　　ヶ月）　※　なし

表１「完成書類」　本工事終了後下記の書類を提出すること。

名称	完成書類	部数	名称	完成書類	部数
1 完成調書	営繕工事完成引渡要領（令和７年４月１日版）	1部	6 管理の手引き ①工事概要書 ②機器完成図	A４版：チューブ式ファイル	1部
2 完成図（縮小）	白焼縮小製本 Ａ３版二つ折り うち１部は設備課保管	2部	③機器別取扱説明書 ④保守に関する案内書 ⑤緊急連絡先一覧表		
3 完成図・施工図（電子データ）	JWW又はDXF形式CADデータ及びPDF形式	CD 2枚	7 工事写真 ①施工写真	A４版：チューブ式ファイル（着手前，施工状況，完成の各写真）	1部
4 機器完成図 ①機器別完成図 ②機材材質証明書 ③機材検査成績書 ④工場試験成績書 ⑤工場立会検査成績書 ⑥現場据付試験成績書 ⑦総合試運転成績書	A４版：製本	1部	②完成写真	A４版：ペーパーファイル 完成盤に添付	
5 取扱説明書 ①保守に関する案内書 ②機器別取扱説明書 ⑤緊急連



配置図 1/250

※庁舎
設計GL＝65.3
1FL＝設計GL+150

※訓練塔
設計GL＝59.7
亀川訓練塔1：1FL＝設計GL+100＝59.8
主訓練塔　：1FL＝設計GL+200＝59.9
富士川訓練塔2：1FL＝設計GL+300＝60.0

JOB NO

白石消防署庁舎建替工事

配置図 M- 03

DATE　SCAL (A 1) 1／250 (A 3) 1／500　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号 永野ますみ

空調機

機器番号	機器名称		設置場所	種別	高効率	寒冷地対応	臭気低減型	型式	台数	冷房能力 kW	暖房能力 kW	送風量 m3/h	機外制圧 Pa	ガス消費量 冷房/暖房 kW	電気特性(50Hz) 電源 φ-V	圧縮機 kW	消費電力 冷房 定格 kW	暖房 定格 kW	暖房低温 最大 kW	送風機出力 室外 kW	室内 kW	種別	付属品 フィルター	リモコン	化粧パネル	吸込パーフパネル	人感センサー	ドレンアップメカ	吹出口アダプター	ライン吹出ユニット	吸込パネル用キャンバス	室内防振	室外防振	防雪フード	ブラケット架台	風向板	分岐管	スライドブロック	漏洩検知+警報機	備考 日立グローバルライフソリューション
EHP-1	空冷式ﾊﾟｯｹｰｼﾞ ﾏﾙﾁｴｱｺﾝ	庁舎棟	RF 室外機置場	マルチ屋外機	○	−	−	冷暖切替型	1	56.0	63.0	−	−	−	3-200	8.35+4.83	15.4	14.7	−	0.24×2+0.17×2	−	AC/GC	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	SP	○	−	−	○	−	−	RAS-GP560TG
EHP-1-1	空冷式ﾊﾟｯｹｰｼﾞ ﾏﾙﾁｴｱｺﾝ	庁舎棟	1F 災害対策室	マルチ室内機	−	−	−	天カセ 4方向	2	8.0	9.0	−	−	−	1-200	−	0.09	0.08	−	−	0.057	AC/GC	LF	WD	○	−	○	○	−	−	−	SH	−	−	−	−	−	−	−	RCI-GP80KA
EHP-1-2	空冷式ﾊﾟｯｹｰｼﾞ ﾏﾙﾁｴｱｺﾝ	庁舎棟	2F 事務室	マルチ室内機	−	−	−	天カセ 4方向	3	9.0	10.0	−	−	−	1-200	−	0.09	0.08	−	−	0.057	AC/GC	LF	WD	○	−	○	○	−	−	−	SH	−	−	−	−	−	−	−	RCI-GP90KA
EHP-2	空冷式ﾊﾟｯｹｰｼﾞ ﾏﾙﾁｴｱｺﾝ	庁舎棟	RF 室外機置場	マルチ屋外機	○	−	−	冷暖切替型	1	45.0	50.0	−	−	−	3-200	5.16×2	11.0	10.3	−	0.46×2	−	AC	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	SP	○	−	−	○	−	−	RAS-GP450TG
EHP-2-1	空冷式ﾊﾟｯｹｰｼﾞ ﾏﾙﾁｴｱｺﾝ	庁舎棟	1F 出動準備室	マルチ室内機	−	−	−	天カセ 4方向	2	7.1	8.0	−	−	−	1-200	−	0.063	0.060	−	−	0.057	AC	LF	WD	○	−	○	○	−	−	−	SH	−	−	−	−	−	−	−	RCI-GP71KA
EHP-2-2	空冷式ﾊﾟｯｹｰｼﾞ ﾏﾙﾁｴｱｺﾝ	庁舎棟	2F 待機室	マルチ室内機	−	−	−	天カセ 4方向	2	7.1	8.0	−	−	−	1-200	−	0.063	0.060	−	−	0.057	AC	LF	WD	○	−	○	○	−	−	−	SH	−	−	−	−	−	−	−	RCI-GP71KA
EHP-2-3	空冷式ﾊﾟｯｹｰｼﾞ ﾏﾙﾁｴｱｺﾝ	庁舎棟	1F 救急洗浄室	マルチ室内機	−	−	−	天カセ 1方向	1	3.6	4.0	−	−	−	1-200	−	0.04	0.04	−	−	0.05	AC	LF	WD	○	−	○	○	−	−	−	SH	−	−	−	−	−	−	○	RCIS-GP36KA
ACP-1	空冷式ﾊﾟｯｹｰｼﾞ ｴｱｺﾝ	庁舎棟	RF 室外機置場	屋外機	○	−	−	冷暖切替型	1	7.1	8.0	−	−	−	3-200	1.35	1.76	1.77	2.48	0.05	−	AC/GC	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	SP	○	−	−	−	−	−	RCI-GP80RGH9
ACP-1-1	空冷式ﾊﾟｯｹｰｼﾞ ｴｱｺﾝ	庁舎棟	2F 署長室	室内機	−	−	−	天カセ 4方向	1	7.1	8.0	−	−	−	3-200	−	−	−	−	−	0.057	AC/GC	LF	WD	○	−	○	○	−	−	−	SH	−	−	−	−	−	−	−	
ACP-2	空冷式ﾊﾟｯｹｰｼﾞ ｴｱｺﾝ	庁舎棟	RF 室外機置場	屋外機	○	−	−	冷暖切替型	1	7.1	8.0	−	−	−	3-200	1.35	1.76	1.77	2.48	0.05	−	AC	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	SP	○	−	−	−	−	−	RCI-GP80RGH9
ACP-2-1	空冷式ﾊﾟｯｹｰｼﾞ ｴｱｺﾝ	庁舎棟	2F トレーニングルーム	室内機	−	−	−	天カセ 4方向	1	7.1	8.0	−	−	−	3-200	−	−	−	−	−	0.057	AC	LF	WD	○	−	○	○	−	−	−	SH	−	−	−	−	−	−	−	
ACR-1	ルームエアコン	庁舎棟	2F 屋根3	屋外機	○	−	−	冷暖切替型	18	2.2	2.5	−	−	−	−	0.60	400W	430W	−	−	−		−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	GP	○	−	−	−	○	−	RAS-XJ2226S
		庁舎棟	2F 仮眠室１～１７、更衣室	室内機	−	−	−	壁掛	18	2.2	2.5	−	−	−	1-100	−	115～900W	110～1490W	−	−	−	AC	LF	WS	○	−	○	○	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	
ACR-2	ルームエアコン	庁舎棟	RF 室外機置場	屋外機	○	−	−	冷暖切替型	3	2.2	2.5	−	−	−	−	0.60	400W	430W	−	−	−		−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	GP	○	−	−	−	−	−	RAS-XJ2226S
		庁舎棟	2F 仮眠室１８・１９、女子トイレ洗面・脱衣	室内機	−	−	−	壁掛	3	2.2	2.5	−	−	−	1-100	−	115～900W	110～1490W	−	−	−	AC	LF	WS	○	−	○	○	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	
ACR-3	ルームエアコン	庁舎棟	2F 屋根3	屋外機	○	−	−	冷暖切替型	2	2.5	2.8	−	−	−	−	0.65	490W	490W	−	−	−		−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	GP	○	−	−	−	○	−	RAS-XJ2226S
		庁舎棟	2F 男子洗面・脱衣、会議スペース	室内機	−	−	−	壁掛	2	2.5	2.8	−	−	−	1-100	−	115～920W	110～1490W	−	−	−	AC	LF	WS	○	−	○	○	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	
ACR-4	ルームエアコン	訓練棟	1F 屋外	屋外機	○	−	−	冷暖切替型	1	4.0	5.0	−	−	−	−	0.65	880W	920W	−	−	−		−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	GP	○	○	−	−	−	−	RAS-XJ4026D
		訓練棟	2F 訓練準備室	室内機	−	−	−	壁掛	1	4.0	5.0	−	−	−	1-200	−	155～1800W	135～3900W	−	−	−	AC	LF	WS	○	−	○	○	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	
	集中リモコン	庁舎棟	2F 事務室	液晶・タッチパネル式					1						1-100～200																									PSC-A32MN2

注記

1) 上記機器能力はＪＩＳ条件値（JIS B 8627）の定格条件による。
2) 電気容量は参考値とする。
3) 空調機の防雪フードはステンレス製(吹出・吸込)とする。
4) パッケージエアコンの能力及び消費電力は、JIS B 8616 に規定された定格条件による。
5) ルームエアコンの能力及び消費電力は、JIS C 9612 に規定された定格条件による。
6) 空調機は高効率対応（2015年省エネ基準クリア）とする。
7) 救急洗浄室は新冷媒漏洩対策室とし、換気扇連動にて対処すること。

・リモコン　WD：ワイヤード　WL:ワイヤレス
・加湿器　VW：自然気化式　PW：蒸気スプレー式　DW：蒸発皿式
・フィルター　LF：メーカー標準　MF1：NBS65%以上　MF2：NBS90%以上　HF：HEPAフィルター
・防振装置　SP：スプリング防振架台　GP：ゴムパット　HG：防振ハンガー　SH：スプリングハンガー

パネルヒーター

記号	種類	形式	材質 SS	材質 SUS	最大発熱量 W	温水 温度 ℃ 入口	温水 温度 ℃ 出口	温水 流量 L/min	ガス LNG 13A	ガス LPG	ガス 消費量 Nm3/h	付属品 RS	TS	TSV	BV	HG	BK	IK			電気(50HZ) Φ-V	kW	起動	台数	設置場所	備考
EPH − 1	自然対流式	壁付パネルタイプ	−	●	1,000	−	−	−	−	−	−	●	●	−	−	●	●	●			1-200	1.0	直入	1	庁舎棟 1F だれでもトイレ	凍結防止用

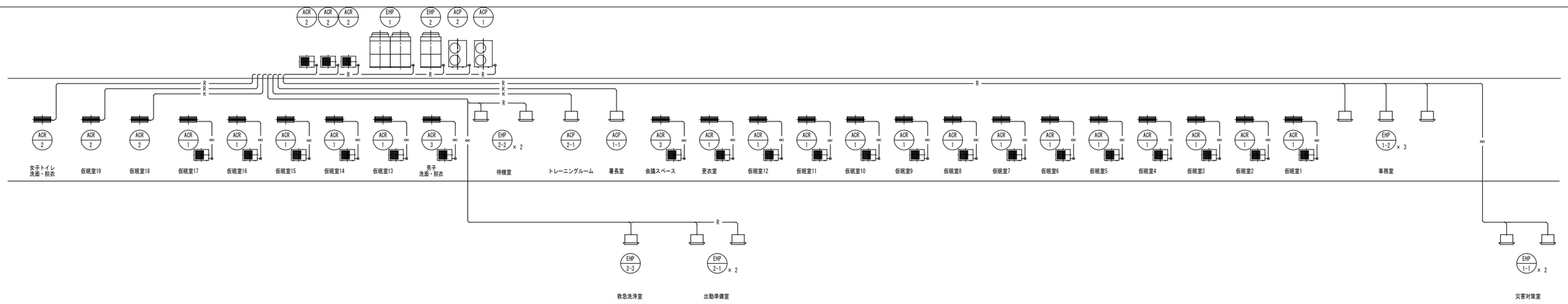
注記

※ 上記機器消費電力は参考値とする。

＜材質＞
SS：鋼板製
SUS：ステンレス製

＜付属品＞ RS：リモコンスイッチ　TS：サーモスタット　TSV：サーモスタットバルブ　BV：バルブセット　HG：保護ガード　BK：取付金具　IK：いたずら防止カバー

系統図



JOB NO

白石消防署庁舎建替工事　空気調和設備 機器表（1）　M-04

DATE R8.05.29　SCAL (A 1) N／S (A 3) N／S　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号 永野ますみ

熱交換形換気扇

記号	種類	設置場所		形式	サイズ #orΦ	風量 m3/h	静圧 Pa	マイコンタイプ	24時間換気	モーター D	モーター C	モーター 標準	ｴﾝﾀﾙﾋﾟ効率 暖房時 %	ｴﾝﾀﾙﾋﾟ効率 冷房時 %	加湿暖房性能 加湿量 kg/h	加湿暖房性能 全熱能力 kW	加湿暖房性能 顕熱能力 kW	除湿冷房性能 加湿量 kg/h	除湿冷房性能 全熱能力 kW	除湿冷房性能 顕熱能力 kW	付属品 フィルター F	フィルター NBS 65%	フィルター NBS 90%	F	RS	W	P	G	C2	BK	WK	OCU	グリル個数						防振装置 SP	GM	M	BH		電気（50HZ） Φ-V	W	起動	種別	台数	備考 パナソニックHVAC＆CCシステムズ株式会社
HEU － 1	熱交換形換気扇	庁舎棟	1F	災害対策室	天井埋込形	φ 200	600	100	●	●	●	－	69.0	62.0	－	－	－	－	－	－	●	－	－	●	●	－	●	●	●	－	－	－	4									●		1-100	367	直入	AC	2	FY-M650ZD11
HEU － 2	熱交換形換気扇	庁舎棟	1F	出勤準備室	天井埋込形	φ 200	550	100	●	●	●	－	69.0	62.0	－	－	－	－	－	－	●	－	－	●	●	－	●	●	●	－	－	－	4									●		1-100	367	直入	AC	2	FY-M650ZD11
HEU － 3	熱交換形換気扇	庁舎棟	2F	事務室	天井埋込形	φ 200	550	100	●	●	●	－	69.0	62.0	－	－	－	－	－	－	●	－	－	●	●	－	●	●	●	－	－	－	4									●		1-100	107	直入	AC	2	FY-M650ZD11
HEU － 4	熱交換形換気扇	庁舎棟	2F	署長室	天井埋込形	φ 150	200	100	●	●	●	－	69.0	63.0	－	－	－	－	－	－	●	－	－	●	●	－	●	●	●	－	－	－	2									●		1-100	115	直入	AC	1	FY-250ZD11
HEU － 5	熱交換形換気扇	庁舎棟	2F	会議スペース	天井埋込形	φ 150	150	100	●	●	●	－	69.0	63.0	－	－	－	－	－	－	●	－	－	●	●	－	●	●	●	－	－	－	2									●		1-100	66	直入	AC	1	FY-150ZD11
HEU － 6	熱交換形換気扇	庁舎棟	2F	トレーニングルーム	天井埋込形	φ 150	300	100	●	●	●	－	69.0	63.0	－	－	－	－	－	－	●	－	－	●	●	－	●	●	●	－	－	－	2									●		1-100	137	直入	AC	1	FY-350ZD11
HEU － 7	熱交換形換気扇	庁舎棟	2F	待機室	天井埋込形	φ 200	450	100	●	●	●	－	69.0	62.0	－	－	－	－	－	－	●	－	－	●	●	－	－	●	●	－	－	－	2									●		1-100	206	直入	AC	1	FY-500ZD11
HEU － 8	熱交換形換気扇	庁舎棟	1F	救急洗浄室	天井埋込形	φ 150	200	100	●	●	●	－	69.0	63.0	－	－	－	－	－	－	●	－	－	●	●	－	●	●	●	－	－	●	2									●		1-100	115	直入	AC	1	FY-250ZD11

注記
※ 電源種別は、AC(商用)とする。
※ 上記機器消費電力は参考値とする。
※ 上記機器定格全熱交換効率(冷房・暖房)は、JIS B 8628に基づく値を示す。
※ 公共建築工事仕様とする。

＜付属品＞ F ：標準フィルター　RS：リモコンスイッチ　W ：加湿器（自然蒸発式）　P ：インテリアパネル　G ：給排気グリル(消音型)　C2：CO2センサー　BK：取付金具　C2：CO2センサー　WK：耐外風形ウェザーカバー　OCU：外部制御ユニット

＜防振架台＞ SP：スプリング　GM：ゴム防振　M ：ゴムパット　BH：防振ハンガ

送排風機

記号	種類	設置場所		形式	サイズ #orΦ	風量 m3/h	静圧 Pa	24時間	モーター DC	モーター AC	材質 SS	材質 SUS	材質 NC	材質 PV	付属品 WK	HG	DS	G	CS	S	F	SS	OF	発停 SS	発停 TM	防振装置 SP	GM	BH	GW	連動 電気工事	電気（50HZ） Φ-V	W	起動	種別	台数	備考 パナソニックHVAC＆CCシステムズ株式会社
FS － 1	送風機	庁舎棟	1F 車庫	ストレートシロッコファン （消音形）	# 1 1/2×2	5,400	200	－	－	●	●	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	●	－		FE-2	3-200	2,200	直入	AC	2	FY-28SCM3
FE － 1	排風機	庁舎棟	1F 車庫	ストレートシロッコファン （消音形）	# 1 1/2×2	5,400	200	－	－	●	●	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	●	－			3-200	2,200	直入	AC	2	FY-28SCM3
FE － 2	排風機	庁舎棟	1F 女子トイレ	ストレートシロッコファン （消音形）	# 1 1/4	250	200	－	－	●	●	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	●	－			1-100	96	直入	AC	1	FY-20NCS3
FE － 3	排風機	庁舎棟	2F 職員男子トイレ	ストレートシロッコファン （消音形）	# 1 1/2	450	200	－	－	●	●	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	●	－			1-100	209	直入	AC	1	FY-23NCL3
FE － 4	排風機	副訓練棟2	1F 住宅火災対応訓練室	ストレートシロッコファン （消音形）	# 1 1/2	300	200	－	－	●	●	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	●	－			1-100	209	直入	AC	1	FY-23NCL3
FE － 5	排風機	副訓練棟2	2F 住宅火災対応訓練室・迷路訓練室	ストレートシロッコファン （消音形）	# 1 1/2	400	200	－	－	●	●	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	●	－			1-100	209	直入	AC	1	FY-23NCL3
FC － 1	換気扇	庁舎棟	1F 収納庫	天井扇	φ 150	250	100	－	－	●	●	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	●	－	－			1-100	42	直入	AC	1	FY-32FPK7
FC － 2	換気扇	庁舎棟	1F 男子トイレ	天井扇	φ 150	250	100	－	－	●	●	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	●	－	－			1-100	42	直入	AC	1	FY-32FPK7
FC － 3	換気扇	庁舎棟	1F だれでもトイレ	天井扇	φ 150	150	100	－	－	●	●	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	●	－	－			1-100	34	直入	AC	1	FY-27FP7
FC － 4	換気扇	庁舎棟	1F エントランスエリア	天井扇	φ 150	300	100	－	－	●	●	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	●	－	－			1-100	52	直入	AC	1	FY-32FPG7
FC － 5	換気扇	庁舎棟	1F 資機材倉庫	天井扇	φ 150	225	100	－	－	●	●	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	●	－	－			1-100	42	直入	AC	2	FY-32FPK7
FC － 6	換気扇	庁舎棟	1F 通路	天井扇	φ 150	150	100	－	－	●	●	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	●	－	－			1-100	34	直入	AC	1	FY-27FP7
FC － 7	換気扇	庁舎棟	1F 職員女子トイレ	天井扇	φ 100	50	100	－	－	●	●	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	●	－	－			1-100	20	直入	AC	1	FY-24FPK7
FC － 8	換気扇	庁舎棟	1F 職員男子トイレ	天井扇	φ 150	100	100	－	－	●	●	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	●	－	－			1-100	34	直入	AC	1	FY-27FP7
FC － 9	換気扇	庁舎棟	1F 救急資機材倉庫	天井扇	φ 150	200	100	－	－	●	●	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	●	－	－			1-100	42	直入	AC	1	FY-32FPK7
FC － 10	換気扇	庁舎棟	1F リネン庫、医療廃棄物保管庫、洗濯室	天井扇	φ 150	100	100	－	－	●	●	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	●	－	－			1-100	20	直入	AC	3	FY-24FPK7
FC － 11	換気扇	庁舎棟	1F 防火衣乾燥室	天井扇	φ 150	100	100	－	－	●	●	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	●	－	－			1-100	20	直入	AC	1	FY-24FPK7
FC － 12	換気扇	庁舎棟	2F 男子トイレ	天井扇	φ 150	150	100	－	－	●	●	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	●	－	－			1-100	34	直入	AC	1	FY-27FP7
FC － 13	換気扇	庁舎棟	2F 女子トイレ	天井扇	φ 150	100	100	－	－	●	●	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	●	－	－			1-100	20	直入	AC	1	FY-24FPK7
FC － 14	換気扇	庁舎棟	2F パントリー	天井扇	φ 150	100	100	－	－	●	●	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	●	－	－			1-100	20	直入	AC	1	FY-24FPK7
FC － 15	換気扇	庁舎棟	2F 男子洗面脱衣(シャワー室)	天井扇	φ 150	100	100	－	－	●	●	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	●	－	－			1-100	20	直入	AC	3	FY-24FPK7
FC － 16	換気扇	庁舎棟	2F 書庫	天井扇	φ 150	400	100	－	－	●	●	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	●	－	－			1-100	82	直入	AC	1	FY-38FP7
FC － 17	換気扇	庁舎棟	2F 女子トイレ洗面脱衣(トイレ)	天井扇	φ 150	100	100	－	－	●	●	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	●	－	－			1-100	20	直入	AC	1	FY-24FPK7
FC － 18	換気扇	庁舎棟	2F 女子トイレ洗面脱衣(シャワー)、	天井扇	φ 100	50	100	－	－	●	●	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	●	－	－			1-100	20	直入	AC	1	FY-24FPK7
FC － 19	換気扇	庁舎棟	2F 女子仮眠前室	天井扇	φ 100	50	100	－	－	●	●	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	●	－	－			1-100	20	直入	AC	1	FY-24FPK7
FC － 20	換気扇	庁舎棟	2F 更衣室、仮眠室1～19	パイプファン	φ 150	50	10	●	－	●	●	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－			1-100	7	直入	AC	20	FY-12PFR9D
FC － 21	換気扇	庁舎棟	2F 倉庫	天井扇	φ 100	50	100	－	－	●	●	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	●	－	－			1-100	20	直入	AC	1	FY-24FPK7
FC － 22	換気扇	主訓練棟	1F 訓練準備室、ロープ訓練	天井扇	φ 150	150	100	－	－	●	●	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	●	－	－			1-100	34	直入	AC	2	FY-27FP7
FC － 23	換気扇	副訓練棟1	1F タイヤ資機材倉庫、救助訓練用資機材倉庫	天井扇	φ 150	400	100	－	－	●	●	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	●	－	－			1-100	82	直入	AC	2	FY-38FP7
BK － 1	浴室乾燥機	庁舎棟	1F 防火衣乾燥室	壁取付型	φ －	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－			1-200	2,425	直入	AC	2	FY-24UWL5
OG － 1	給気口	庁舎棟	2F 倉庫、更衣室、仮眠室1～19	丸型 自然給気口	φ 150	－	－	－	－	－	－	－	－	●	－	－	－	－	－	●	－	－	－	－	－	－	－	－	－			－	－	－	－	21	VB-GXC150P
OG － 2	給気口	庁舎棟	1F 各所 2F 各所	薄型給排気グリル （消音形）	φ 200	－	－	－	－	－	－	－	－	●	－	－	－	－	－	●	－	－	－	－	－	－	－	－	－			－	－	－	－	16	FY-BGS08
OG － 3	給気口	訓練棟	1F 各所	薄型給排気グリル （消音形）	φ 200	－	－	－	－	－	－	－	－	●	－	－	－	－	－	●	－	－	－	－	－	－	－	－	－			－	－	－	－	6	FY-BGS08

注記
※ 公共建築工事仕様とする。
※ 上記機器消費電力は参考値とする。
※ 有圧扇のウェザーカバーは寒冷地タイプとする。
※ 換気ファンの消費電力は JIS C 9603に規定されて消費電力によ
※ 換気ファンの電動機出力は JIS B 8330で規定された電動機出力による。

＜材質＞ SS：鋼板製　SUS：ステンレス製　NC：ナイロンコーテイング　PV：樹脂製

＜付属品＞ WK：ウェザーカバー(SUS)　HG：保護ガード　DS：電動シャッター　G：副吸込口　CS：コントロールスイッチ　S：スイッチ　F：標準フィルター　SS：サーモスイッチ

＜発停＞ SS：サーモ　TM：タイマー

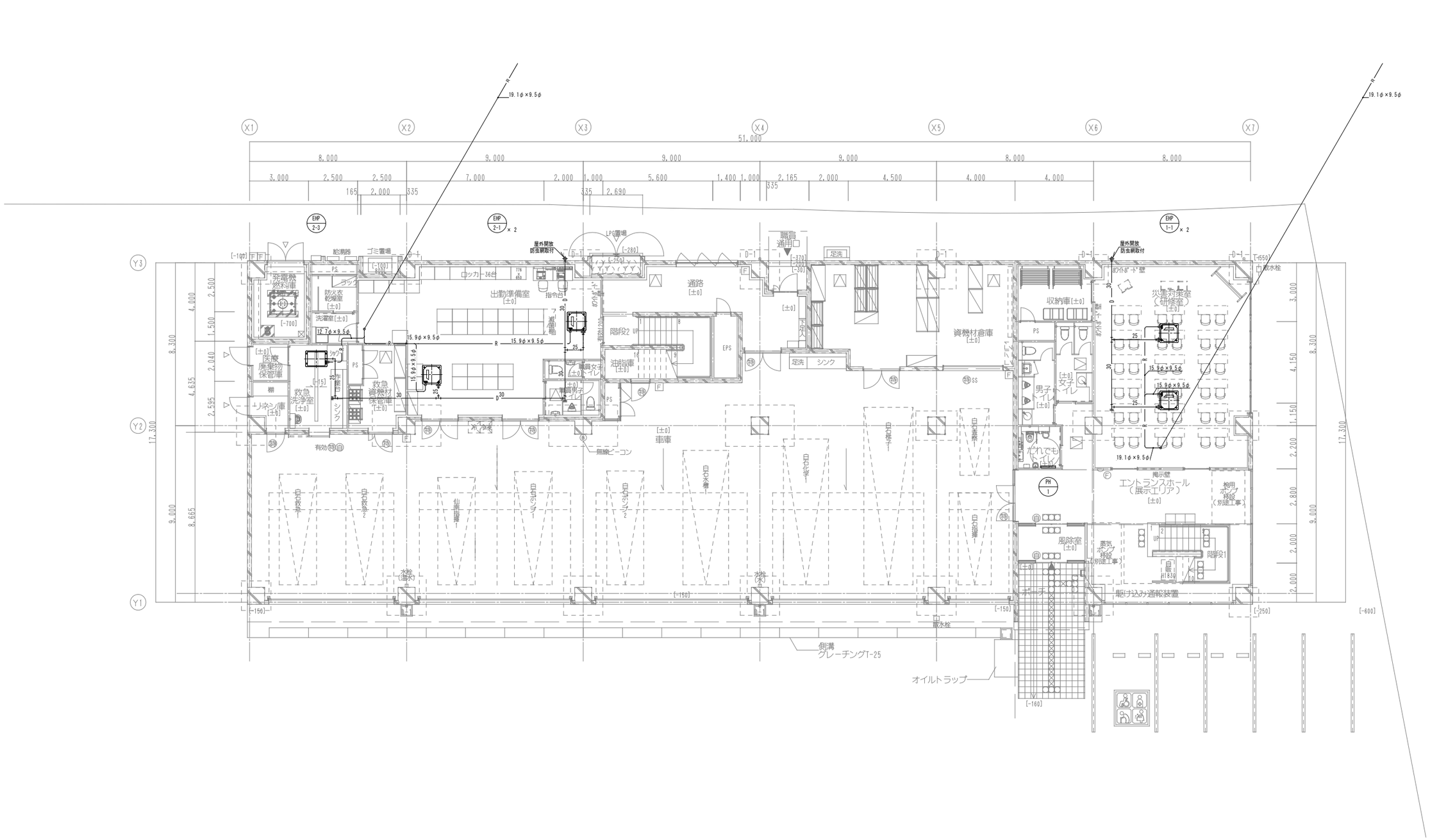
＜防振架台＞ SP：スプリング　GM：ゴム防振　M ：ゴムパット　BS：かご型防振架台　BH：防振ハンガ　GW：ゴムワッシャー

JOB NO

白石消防署庁舎建替工事　空気調和設備 機器表（2）　M-05

DATE R8.05.29　SCAL (A 1) N／S (A 3) N／S　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号 永野ますみ



1階平面図　1/100

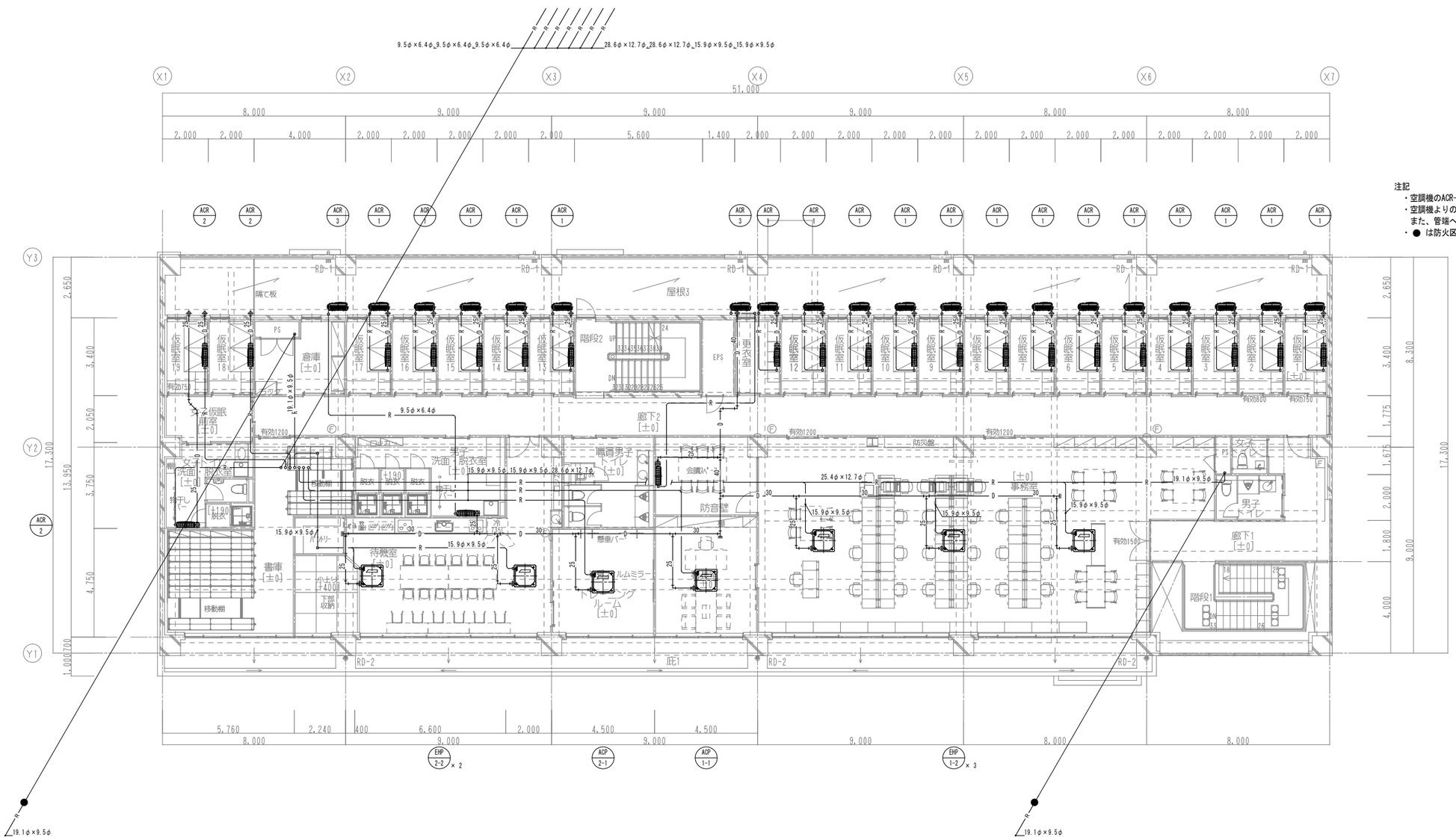
注記
- 空調機の屋外機と室内機の渡り配線は本工事とする。
- EHP及びACPの空調機の渡り配線はEM-CEE2□-2Cとし冷媒共巻きとする。
- ACRの空調機の渡り配線はEM-EEF2.0□-3Cとし冷媒共巻きとする。
- 集中リモコン・リモコンは電気工事へ支給とするが、動作環境及び調整は本工事とする。

JOB NO

白石消防署庁舎建替工事　【庁舎棟】空気調和設備　1階平面図　M-06

DATE R8.05.29　SCALE (A 1) N／S　(A 3) N／S　DRAWN　CHECK

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士　第 357230 号　永野ますみ



注記
・空調機のACR-1～ACR-3の冷媒ガス管のサイズは6.4/9.5とする。
・空調機よりのドレン管の放流先は屋根３に開放とする。
　また、管端へ防虫網を取付すること。
・● は防火区画貫通処理を示す。

2階平面図　1/100

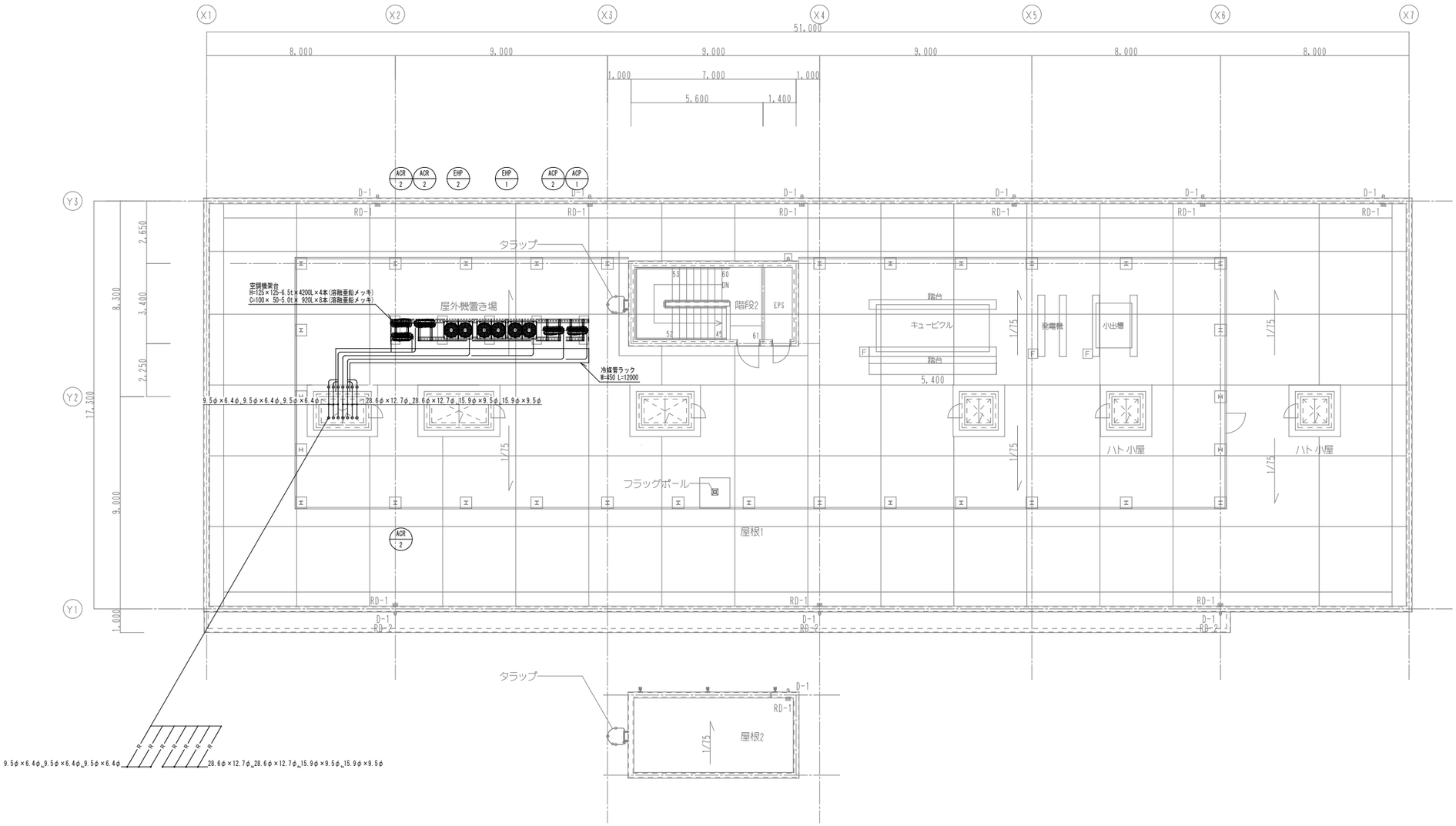
注記
・空調機の屋外機と室内機の渡り配線は本工事とする。
・EHP及びACPの空調機の渡り配線はEM-CEE2□-2Cとし冷媒共巻きとする。
・ACRの空調機の渡り配線はEM-EEF2.0□-3Cとし冷媒共巻きとする。
・集中リモコン・リモコンは電気工事へ支給とするが、動作環境及び調整は本工事とする。

JOBNO

白石消防署庁舎建替工事　【庁舎棟】空気調和設備 2階平面図　M-07

DATE	SCAL	DRAWN	CHEK
R8.05.29	(A 1) 1／100 (A 3) 1／200		

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号　永野ますみ



階段2屋根伏図 1/100

R階平面図 1/100

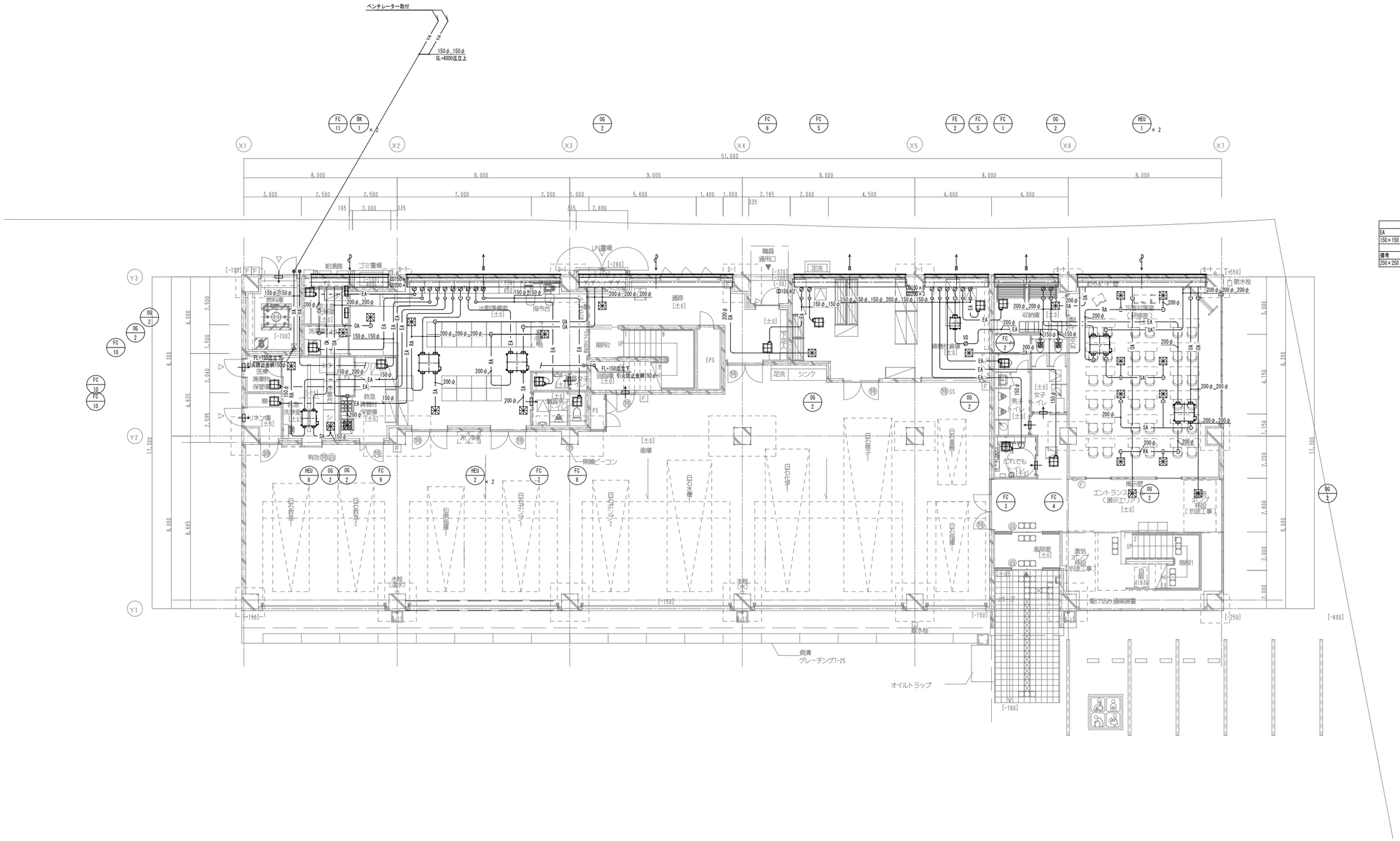
注記
- 空調機の屋外機と室内機の渡り配線は本工事とする。
- EHP及びACPの空調機の渡り配線はEM-CEE2□-2Cとし冷媒共巻きとする。
- ACRの空調機の渡り配線はEM-EEF2.0-3Cとし冷媒共巻きとする。
- 集中リモコン・リモコンは電気工事へ支給とするが、動作環境及び調整は本工事とする。

JOBNO

白石消防署庁舎建替工事　【庁舎棟】空気調和設備 R階平面図　M-08

DATE	SCAL	DRAWN	CHEK
R8.05.29	(A 1) 1／100 (A 3) 1／200		

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号 永野ますみ



女子トイレ		
EA	HS	
150×150		
	Q=100.0m³/h	2
備考		
250×250×250　内貼り　GW25t		

1階平面図　1/100

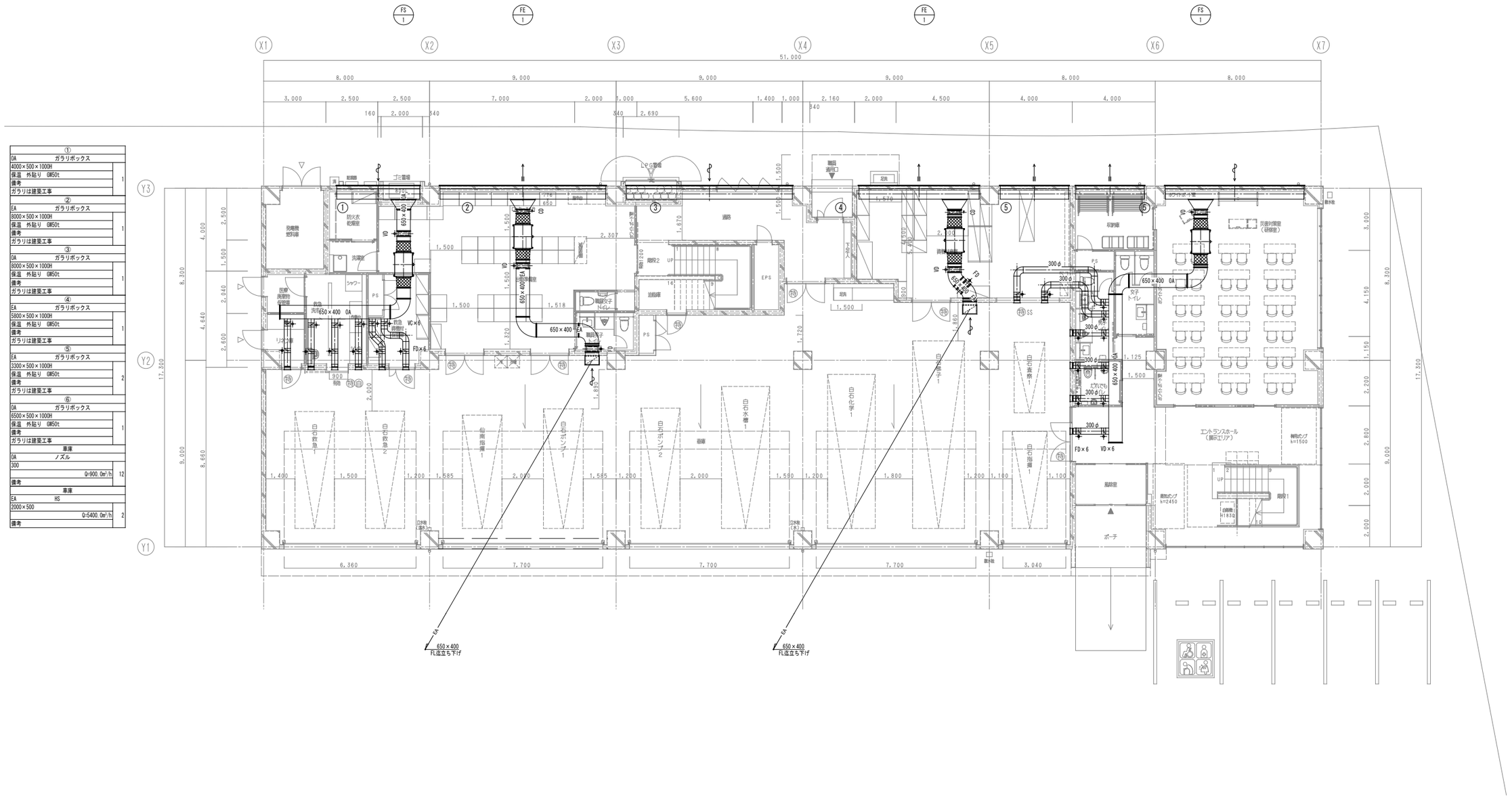
注記
・ベントキャップはSUS製丸型防風板付(指定色焼付塗装)とする。

JOBNO

白石消防署庁舎建替工事　【庁舎様】換気設備 1階平面図　M-09

DATE R8.05.29　SCAL (A 1) 1／100 (A 3) 1／200　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号　永野ますみ



①		
OA	ガラリボックス	
4000×500×1000H		
保温　外貼り　GM50t		1
備考		
ガラリは建築工事		
②		
EA	ガラリボックス	
8000×500×1000H		
保温　外貼り　GM50t		1
備考		
ガラリは建築工事		
③		
OA	ガラリボックス	
8000×500×1000H		
保温　外貼り　GM50t		1
備考		
ガラリは建築工事		
④		
EA	ガラリボックス	
5800×500×1000H		
保温　外貼り　GM50t		1
備考		
ガラリは建築工事		
⑤		
EA	ガラリボックス	
3300×500×1000H		
保温　外貼り　GM50t		2
備考		
ガラリは建築工事		
⑥		
OA	ガラリボックス	
6500×500×1000H		
保温　外貼り　GM50t		1
備考		
ガラリは建築工事		
車庫		
OA	ノズル	
300		
	Q=900.0m³/h	12
備考		
車庫		
EA	HS	
2000×500		
	Q=5400.0m³/h	2
備考		

1階平面図　S=1/200

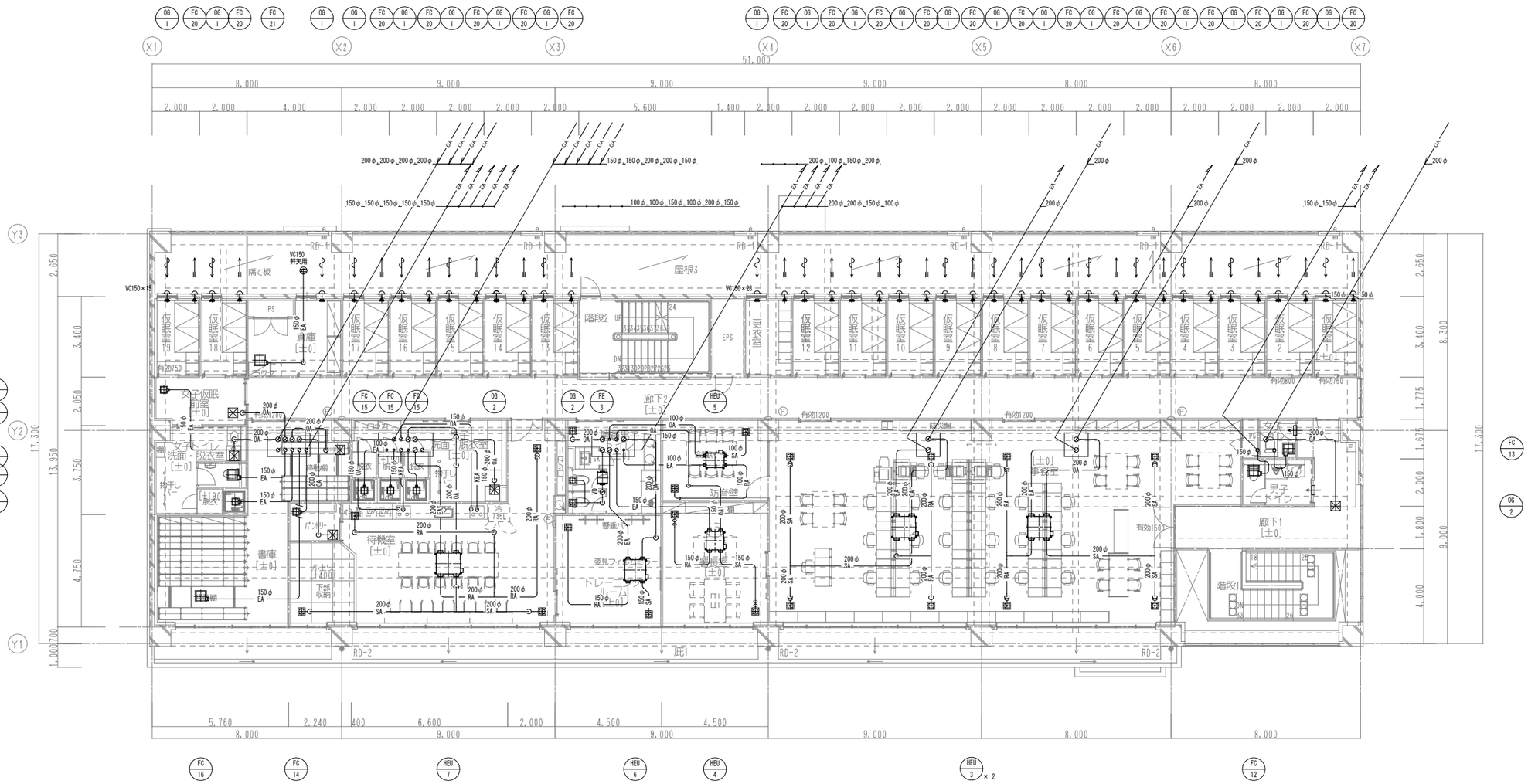
注記
・ベントキャップはSUS製丸型防風板付(指定色焼付塗装)とする。

JOB NO

白石消防署庁舎建替工事　【庁舎棟】換気設備 中2階平面図　M-10

DATE R8.05.29　SCAL (A 1) 1／100 (A 3) 1／200　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号 永野ますみ



2階平面図 1/100

注記
・ベントキャップはSUS製丸型防風板付(指定色焼付塗装)とする。

JOBNO

白石消防署庁舎建替工事

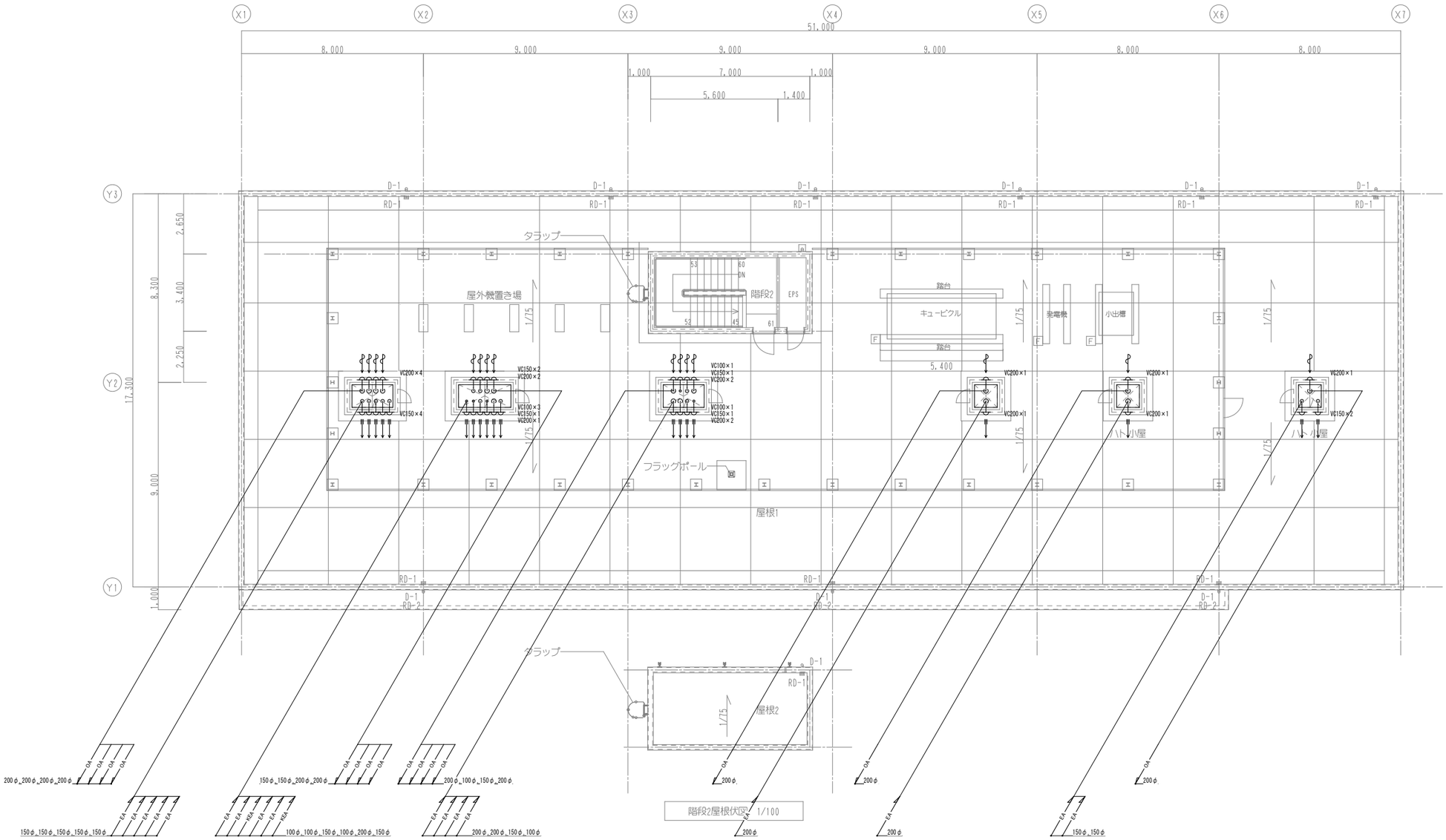
【庁舎棟】換気設備 2階平面図

M-11

DATE R8.05.29 SCAL (A 1) 1／100 (A 3) 1／200 DRAWN CHEK

株式会社 構 建築設計事務所

一級建築士 第 357230 号 永野ますみ



階段2屋根伏図 1/100

R階平面図 1/100

注記
・ベントキャップはSUS製丸型防風板付(指定色焼付塗装)とする。

JOBNO	白石消防署庁舎建替工事	【庁舎棟】換気設備 R階平面図	M- 12
	DATE	SCAL (A 1) 1/ 100 (A 3) 1/ 200	DRAWN / CHEK
株式会社 構 建築設計事務所	一級建築士 第 357230 号 永野ますみ		

ポンプ　　コンクリート基礎は建築工事

記号	種類	系統	形式	運転方法	材質 FC	材質 NC	材質 SB	材質 SUS	口径	吐出量 L/min	全揚程 m	モーター 高効率	モーター 防滴	モーター 全閉	モーター 油封式	モーター 乾式	モーター 極数	付属品 CP	SC	PT	FS	F	FK	TC	ST	CV	AL	防振架台 SP	GM	M	電気(50HZ) Φ-V	kW	起動	台数	設置場所	備考
DP － 1	汚水	汚水	水中ポンプ	自動交互型			●		φ65 ×	150	7.0			●		●	2	●			●		●	●		●						3-200	0.4×2	直入	1組	訓練棟　屋外　D-6桝内	

注記
- 電気容量は参考とする。
- DP-1の付属ケーブルの配線、配管は本工事とする。
- 三相誘導電動機：省エネ法の特定機器の対象となる機器は JIS C 4034-30:2011のIE3（プレミアム効率）に相当する機器を導入すること。

＜材質＞ FC：鋳鉄製　NC：ナイロンコーテイング　SB：セミボルテックス製　SUS：ステンレス製

＜付属品＞ CP：制御盤(屋外自立型)　SC：サクションカバー　PT：圧力タンク　FS：フロートスイッチ　F：フート弁(SUS製)　FK：付属ケーブル(10m)　GL：ガイドレール　TC：着脱装置　ST：呼水槽(50L)　CV：チャッキバルブ　AL：アキュームレーター

＜防振架台＞ SP：スプリング　GM：ゴム防振　M：ゴムパット

湯沸器

記号	種類	型式	系統	用途	貯湯量 L(約)	タンク材質 SS	タンク材質 SUS	加熱能力 号	燃料 13A	燃料 LPG	消費量 kW	潜熱回収型	連結型	付属品 MR	SR	BR	PV	RV	MI	FOT	FET	FFT	KB	BCH	NTM	NT	WT	電気(50HZ) Φ-V	W	起動	台数	設置場所	備考 参考型番　リンナイ
WHG － 1	ガス	屋外壁掛型	庁舎棟　1F　救急洗浄室系統	給湯専用	－	－	－	24	－	●	51.0	－	－	●	－	－	－	－	－	－	－	－	●	－	－	－	－	1-100	84	電源ｺｰﾄﾞ	1	庁舎棟　屋外	RUXC-A2400W
WHG － 2	ガス	屋外壁掛型	庁舎棟　1F　車庫系統	給湯専用	－	－	－	16	－	●	34.1	－	－	●	－	－	－	－	－	－	－	－	●	－	－	－	－	1-100	84	電源ｺｰﾄﾞ	1	庁舎棟　屋外	RUXC-A1610W
WHG － 3	ガス	屋外壁掛型	庁舎棟　2F　女子洗面・脱衣系統	給湯専用	－	－	－	24	－	●	51.0	－	－	●	－	－	－	－	－	－	－	－	●	－	－	－	－	1-100	84	電源ｺｰﾄﾞ	1	庁舎棟　2F　屋根3	RUXC-A2400W
WHG － 4	ガス	屋外壁掛型	庁舎棟　2F　待機室系統	給湯専用	－	－	－	24	－	●	51.0	－	－	●	－	－	－	－	－	－	－	－	●	－	－	－	－	1-100	84	電源ｺｰﾄﾞ	1	庁舎棟　2F　屋根3	RUXC-A2400W
WHG － 5	ガス	屋外壁掛型	庁舎棟　2F　男子洗面・脱衣室系統	給湯専用	－	－	－	32	－	●	68.0	－	－	●	－	－	－	－	－	－	－	－	●	－	－	－	－	1-100	84	電源ｺｰﾄﾞ	1	庁舎棟　2F　屋根3	RUXC-A3200W

注記
- 電気容量は参考値とする。
- ガス給湯器の能力、消費電力及び燃料消費量は JIS S 2109 に規定された定格条件による。

＜付属品＞ MR：メインリモコン　SR：サブリモコン　BR：本体リモコン　PV：減圧弁　MI：ミニトラップ　FOT：給気トップ　FET：排気トップ　FFT：給排気トップ　KB：配管カバー　BCH：ブローキャッチャー　NTM：熱湯栓口付混合水栓　NT：熱湯栓　WT：ウィークリータイマー

屋内消火栓箱

記号	型式	仕様 1号	仕様 1号易操作	仕様 2号	仕様 2号広範囲	仕様 屋外	仕様 総合形	材質 鋼板製	材質 SUS	取付 埋込	取付 露出	寸法(参考) W	D	H	付属品 ﾎｰｽ	ﾎｰｽ架	ﾊﾞﾙﾌﾞ	ﾉｽﾞﾙ	表示機	発信機	ﾍﾞﾙ	減圧弁	架台 寸法	溶融亜鉛メッキ	錆止め	台数	設置場所	備考
HB － 1B	屋内消火栓箱		●				●	●			●	750	200	1,200	●	●	●	●	ｽﾍﾞｰｽ	ｽﾍﾞｰｽ	ｽﾍﾞｰｽ	●				1	副訓練棟1　1F　住宅火災対応訓練室	訓練用とする。
HB － 12B	放水口格納箱					●		●			●	400	230	500			●									1	主訓練棟　3F	

注記
- 仕様方法説明付きとする。
- 発信機(表示灯付き)は平型とする。

ガソリントラップ

記号	形式	系統	材質	槽数	実容量 L/min	許容流入流量	阻集グリース量	嵩上げ SUS	蓋 T-20	流入口径	流出口径	台数	設置場所
OT － 1	地中埋設型　パイプ導入式	庁舎棟　洗車系統	SUS	3	160	－ L	－ Kg	500	SUS	100	100	1	庁舎棟　屋外
OT － 2	地中埋設型　パイプ導入式	訓練棟　簡易給油所	SUS	4	380	－ L	－ Kg	500	SUS	150	150	1	訓練棟　屋外

注記
- ガソリントラップは嵩上げ部材500H付属とする。

器　具　表

名称	参考型番		摘　　要	電気容量 Φ-V	電気容量 W	階 合計	1階 洗濯室	1階 救急洗浄室	1階 職員女子トイレ	1階 職員男子トイレ	1階 女子トイレ	1階 男子トイレ	1階 だれでもトイレ	1階 車庫	2階 女子洗面・脱衣室	2階 男子洗面・脱衣室	2階 待機室	2階 職員男子トイレ	2階 女子トイレ	2階 男子トイレ	訓練棟 女子トイレ	訓練棟 男子トイレ	訓練棟 模擬トイレ	屋外 庁舎棟	屋外 訓練棟	備考
洋風大便器	CFS498BCK TCF5831AU	TOTO	パブリックコンパクト便器、フラッシュタンク式、掃除口付き、床排水、紙巻器(YH701)、 ウォシュレットＰＳ　ＰＳ２Ａ、擬音装置付き、自動洗浄機能付き、貯湯式、エコリモコン、他付属品1式	1-100	311	11			1	1	2	1				1			1	1	1			1	1		
コンパクト・バリアフリートイレバック	UADAK11R1A1ASD1BB TCF5841AUPR	TOTO	壁掛、手洗器、洗面器(電気温水器付き)、水石けん付き、背もたれ(ｿﾌﾄ)、オストメイト(電気温水器付き)、 ウォシュレットアプリコットＰ　ＡＰ２ＡＫ、便ふた無、擬音装置付き、自動洗浄機能付き、温風乾燥付、他付属品１式	1-100 1-100 1-100	600 505 1,260	1							1														
掃除流し	SK22A	TOTO	横水栓（13A）、床排水金具、アングル形止水栓、バックハンガー、リムカバー、鎖付きゴム栓、他付属品１式			2				1										1							
汚物流し	UAS23B	TOTO	壁掛、フチなし、トルネード洗浄、タンク式、側板（UTR141）、他付属品１式	1-100	30	1		1																			
壁掛自動小便器	UFS900JS	TOTO	低リップ型、個別感知、他付属品１式	1-100	5	7				1		2						2		1			1				
壁掛ハイパック洗面器	LSA125CN	TOTO	自動水栓（単水栓）、止水栓、排水金具、取付金具、他付属品１式	1-100	5	3													1		1	1					
洗面器	L530	TOTO	電気温水器3L（REAH03B1RS26SK）、壁排水金具、止水栓、他付属品１式	1-100	600	4					1	1						2									
洗面器	L530	TOTO	自動水栓（TLE28SD1A）、壁排水金具、止水栓、他付属品１式	1-100	5	1														1							
洗面器	L530	TOTO	自動混合水栓（TLE28SD2A）、壁排水金具、止水栓、他付属品１式	1-100	5	2									1		1										
手洗器	LSE870APFRN	TOTO	自動水栓、トラップカバー付	1-100	5	2			1	1																	
洗濯機パン	PWSP90JH2W	TOTO	900サイズ、縦引きトラップ含む			1	1																				
洗濯機パン	PWSP74JH2W	TOTO	740サイズ、縦引きトラップ含む			2									1	1											
洗濯機用横水栓	TW11GR	TOTO	緊急止水、単水栓			3	1								1	1											
混合水栓	TKS-05314J	TOTO	シングルレバー混合水栓、吐水切替、止水栓、他付属品１式			1		1																			
自動水栓	SF-NAH451SY	LIXIL	タッチレス水栓、止水栓、他付属品１式			1		1																			
バス水栓	TBV03452J	TOTO	サーモスタット付混合水栓、止水栓、シャワーヘッド、ホルダ、付属品１式			1		1																			
水栓	TLN32TEFR	TOTO	台付シングル混合水栓、止水栓、付属品１式			3										3											
横水栓	T200BS013	TOTO	レバー式、吐水口回転式、止水栓、付属品１式			4							4														
耐食鏡	YM3580FC	TOTO	角形面取り：幅350×高さ800、取付金具、付属品１式			12			1	1	2	1			1			2	1	1	1	1					
一般鏡	YM6090A	TOTO	角形；600×900、取付金具、付属品１式			1						1															
クリーンドライ（ハンドドライヤー）	TYC420W	TOTO	高速両面タイプ、取付金具、付属品１式	1-100	1015	1						1															
洋風大便器	CFS37A	TOTO	床置床排水便器、普通便座(TCF290)、他付属品１式			1																1					
散水栓	D-EN3-1313080CP	竹村	伸縮式不凍水栓、SUS製埋込BOX(キー付き)、カラン付、浸透ますカバー、他付属品１式			3																		2	1		

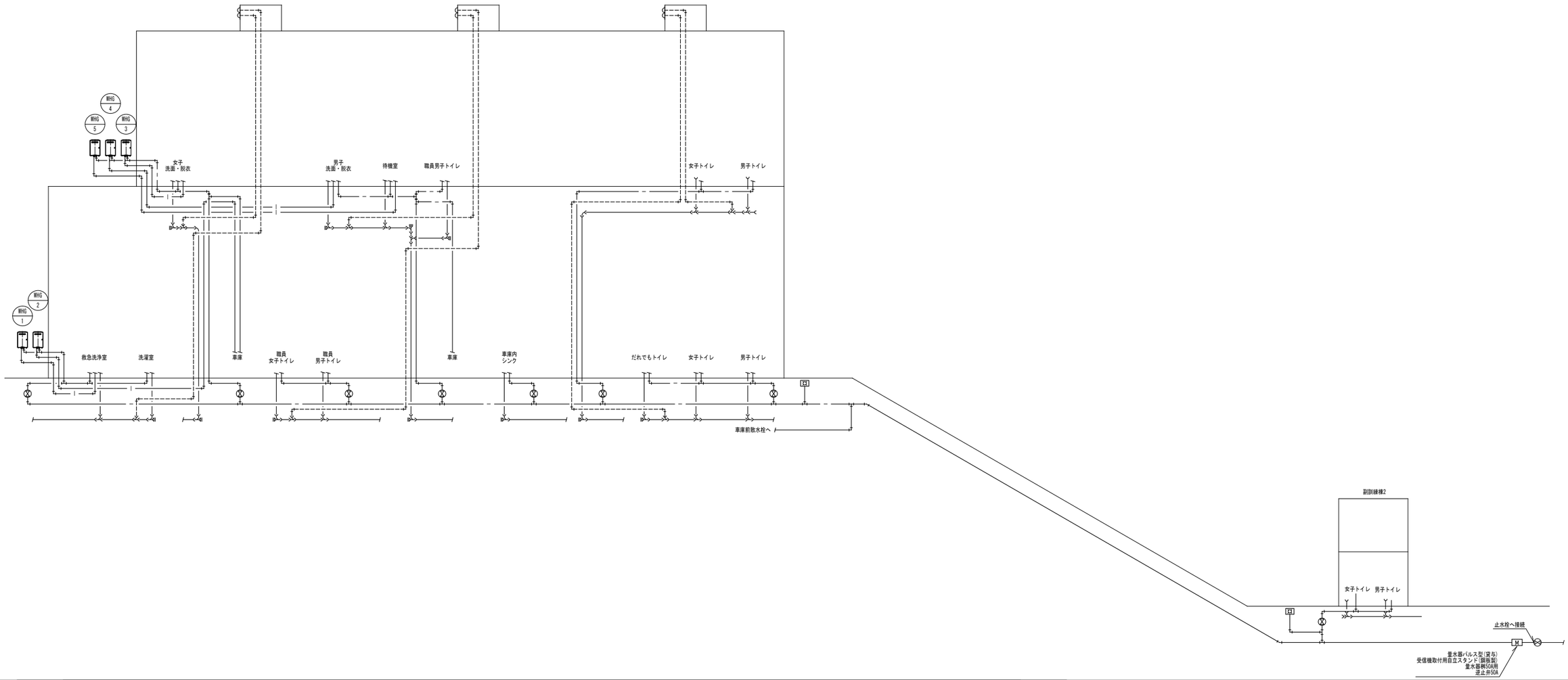
注記
- 電気温水器の定格過熱能力は及び定格消費電力は JIS C 9219 の定格条件及び試験方法よる。

JIS NO

白石消防署庁舎建替工事　　給排水衛生設備　機器表・器具表　M- 13

DATE　SCAL (A 1) 1／100 (A 3) 1／200　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号　永野ますみ



JOBNO

白石消防署庁舎建替工事

給排水衛生設備　系統図

M- 14

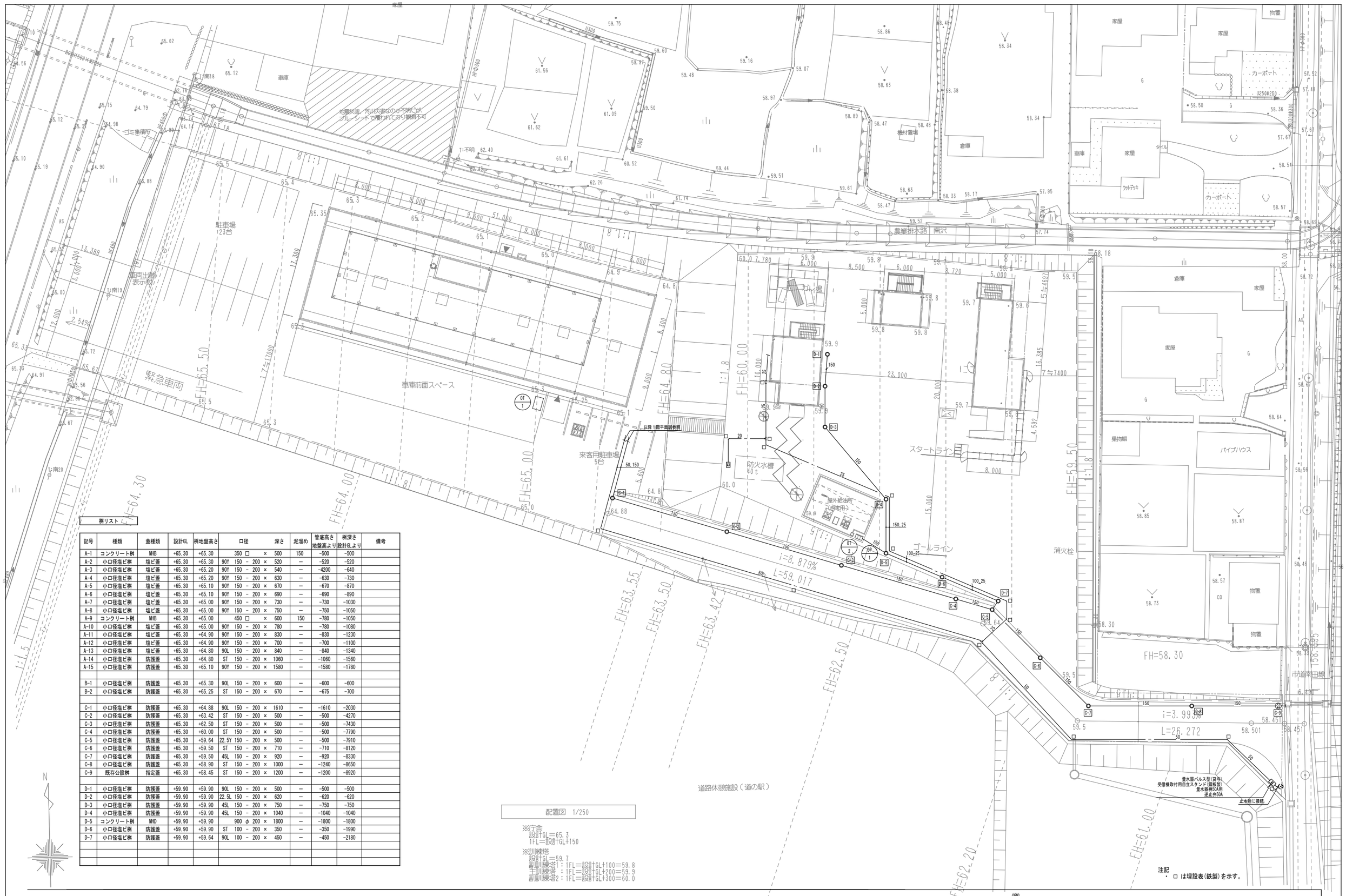
SCAL (A 1) N／S (A 3) N／S

DRAWN

CHEK

株式会社 構 建築設計事務所

一級建築士　第 357230 号　永野ますみ



配置図 1/250

※庁舎
設計GL＝65.3
FL＝設計GL+150

※訓練塔
設計GL＝59.7
最上訓練塔1：FL＝設計GL+100＝59.8
主訓練塔：FL＝設計GL+200＝59.9
副訓練塔2：FL＝設計GL+300＝60.0

桝リスト

記号	種類	蓋種類	設計GL	桝地盤高さ	口径	深さ	泥溜め	管底高さ 地盤高より	桝深さ 設計GLより	備考
A-1	コンクリート桝	MHB	+65.30	+65.30	350 □ ×	500	150	-500	-500	
A-2	小口径塩ビ桝	塩ビ蓋	+65.30	+65.30	90Y 150 - 200 ×	520	—	-520	-520	
A-3	小口径塩ビ桝	塩ビ蓋	+65.30	+65.20	90Y 150 - 200 ×	540	—	-4200	-640	
A-4	小口径塩ビ桝	塩ビ蓋	+65.30	+65.20	90Y 150 - 200 ×	630	—	-630	-730	
A-5	小口径塩ビ桝	塩ビ蓋	+65.30	+65.10	90Y 150 - 200 ×	670	—	-670	-870	
A-6	小口径塩ビ桝	塩ビ蓋	+65.30	+65.10	90Y 150 - 200 ×	690	—	-690	-890	
A-7	小口径塩ビ桝	塩ビ蓋	+65.30	+65.00	90Y 150 - 200 ×	730	—	-730	-1030	
A-8	小口径塩ビ桝	塩ビ蓋	+65.30	+65.00	90Y 150 - 200 ×	750	—	-750	-1050	
A-9	コンクリート桝	MHB	+65.30	+65.00	450 □ ×	600	150	-780	-1050	
A-10	小口径塩ビ桝	塩ビ蓋	+65.30	+65.00	90Y 150 - 200 ×	780	—	-780	-1080	
A-11	小口径塩ビ桝	塩ビ蓋	+65.30	+64.90	90Y 150 - 200 ×	830	—	-830	-1230	
A-12	小口径塩ビ桝	塩ビ蓋	+65.30	+64.90	90Y 150 - 200 ×	700	—	-700	-1100	
A-13	小口径塩ビ桝	塩ビ蓋	+65.30	+64.80	90L 150 - 200 ×	840	—	-840	-1340	
A-14	小口径塩ビ桝	防護蓋	+65.30	+64.80	ST 150 - 200 ×	1060	—	-1060	-1560	
A-15	小口径塩ビ桝	防護蓋	+65.30	+65.10	90Y 150 - 200 ×	1580	—	-1580	-1780	
B-1	小口径塩ビ桝	防護蓋	+65.30	+65.30	90L 150 - 200 ×	600	—	-600	-600	
B-2	小口径塩ビ桝	防護蓋	+65.30	+65.25	ST 150 - 200 ×	670	—	-675	-700	
C-1	小口径塩ビ桝	防護蓋	+65.30	+64.88	90L 150 - 200 ×	1610	—	-1610	-2030	
C-2	小口径塩ビ桝	防護蓋	+65.30	+63.42	ST 150 - 200 ×	500	—	-500	-4270	
C-3	小口径塩ビ桝	防護蓋	+65.30	+62.50	ST 150 - 200 ×	500	—	-500	-7430	
C-4	小口径塩ビ桝	防護蓋	+65.30	+60.00	ST 150 - 200 ×	500	—	-500	-7790	
C-5	小口径塩ビ桝	防護蓋	+65.30	+59.64	22.5Y 150 - 200 ×	500	—	-500	-7910	
C-6	小口径塩ビ桝	防護蓋	+65.30	+59.50	ST 150 - 200 ×	710	—	-710	-8120	
C-7	小口径塩ビ桝	防護蓋	+65.30	+59.50	45L 150 - 200 ×	920	—	-920	-8330	
C-8	小口径塩ビ桝	防護蓋	+65.30	+58.90	ST 150 - 200 ×	1000	—	-1240	-8650	
C-9	既存公設桝	指定蓋	+65.30	+58.45	ST 150 - 200 ×	1200	—	-1200	-8920	
D-1	小口径塩ビ桝	防護蓋	+59.90	+59.90	90L 150 - 200 ×	500	—	-500	-500	
D-2	小口径塩ビ桝	防護蓋	+59.90	+59.90	22.5L 150 - 200 ×	620	—	-620	-620	
D-3	小口径塩ビ桝	防護蓋	+59.90	+59.90	45L 150 - 200 ×	750	—	-750	-750	
D-4	小口径塩ビ桝	防護蓋	+59.90	+59.90	45L 150 - 200 ×	1040	—	-1040	-1040	
D-5	コンクリート桝	MHD	+59.90	+59.90	900 φ 200 ×	1800	—	-1800	-1800	
D-6	小口径塩ビ桝	防護蓋	+59.90	+59.90	ST 100 - 200 ×	350	—	-350	-1990	
D-7	小口径塩ビ桝	防護蓋	+59.90	+59.64	90L 100 - 200 ×	450	—	-450	-2180	

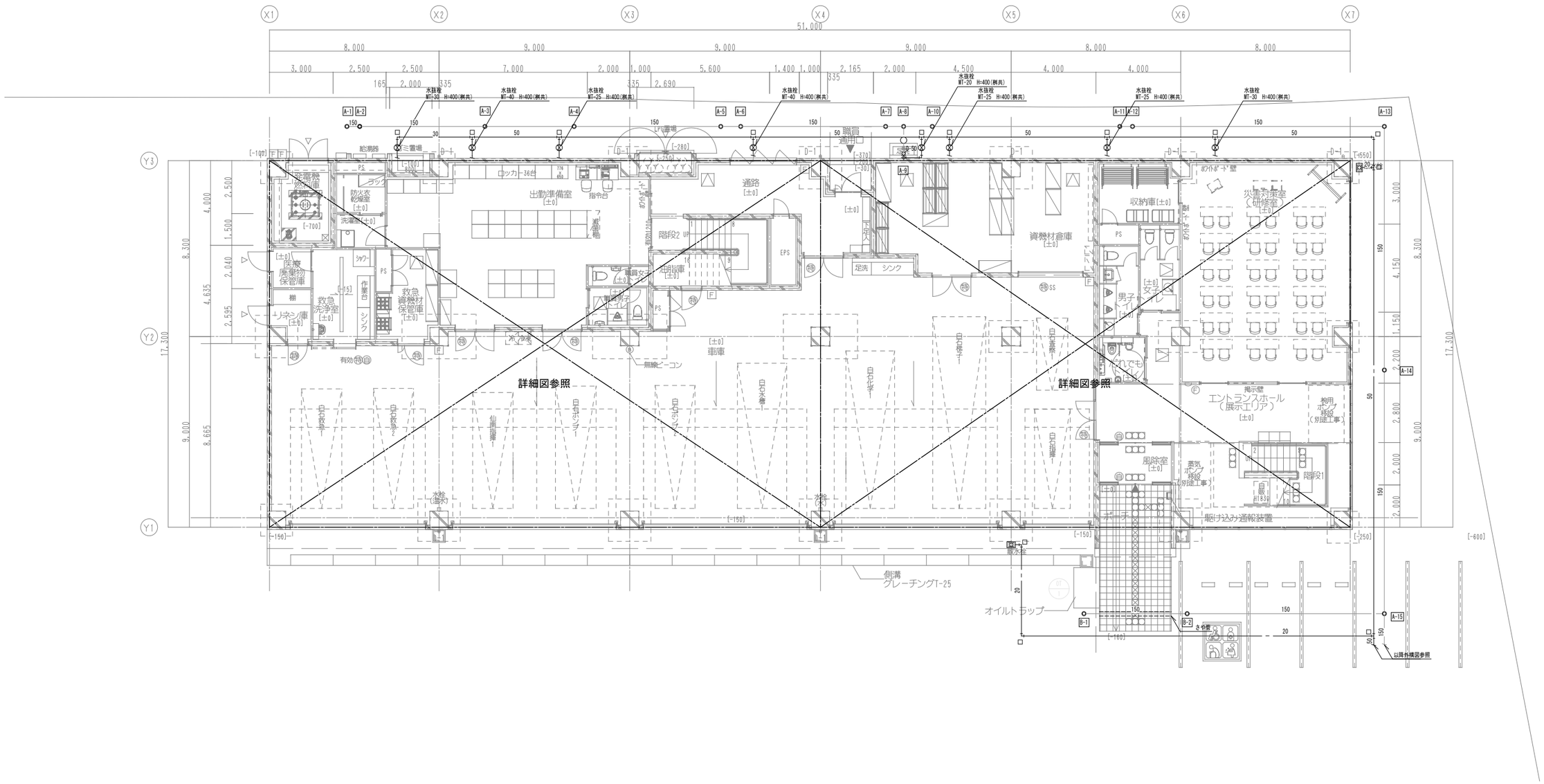
注記
・□ は埋設表(鉄製)を示す。

JOBNO

白石消防署庁舎建替工事　給排水衛生設備　外構図　M- 15

DATE　SCAL (A 1) 1／250 (A 3) 1／500　DRAWN　CHEK

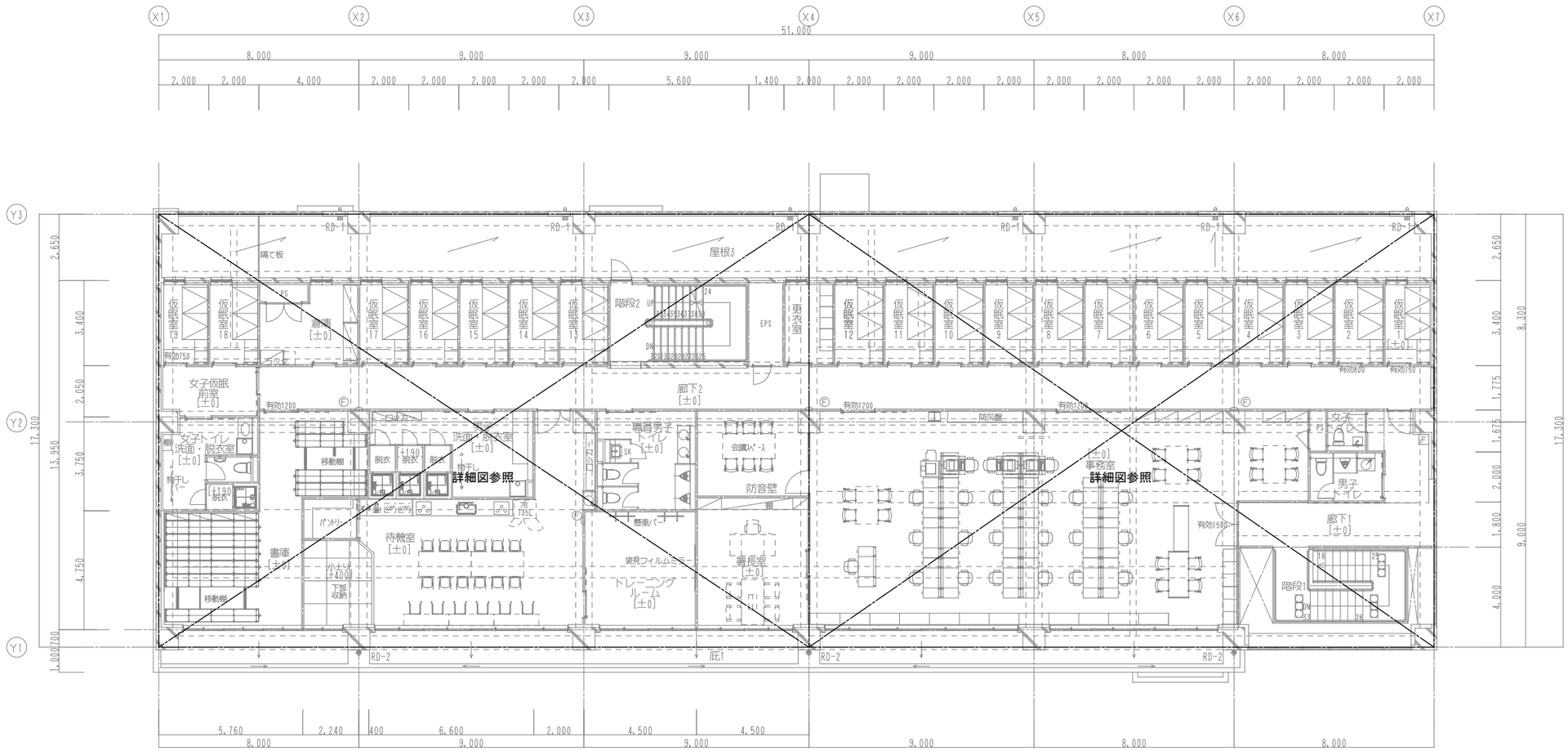
株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号 永野ますみ



1階平面図　1/100

注記
・□ は埋設表(鉄製)を示す。

JOBNO	白石消防署庁舎建替工事	【庁舎棟】給排水衛生設備　1階平面図	M- 16
株式会社 構 建築設計事務所	DATE	SCALE (A 1) 1／100 (A 3) 1／200	DRAWN / CHECK
	一級建築士　第 357230 号　永野ますみ		



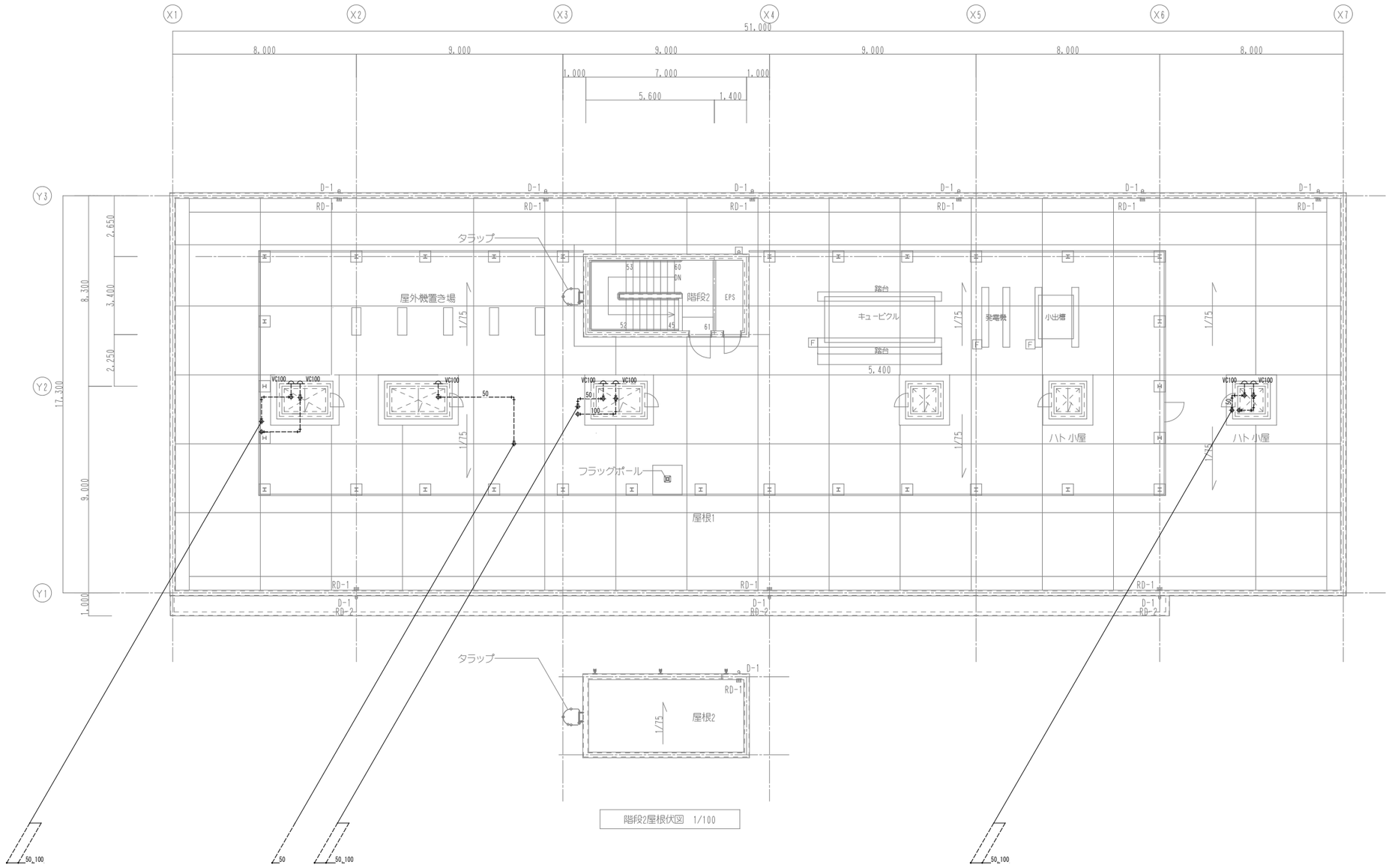
2階平面図　1/100

JEMO

白石消防署庁舎建替工事　【庁舎様】給排水衛生設備　2階平面図　M- 17

DATE　SCAL (A 1) 1／100 (A 3) 1／200　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士　第 357230 号　永野ますみ



階段2屋根伏図 1/100

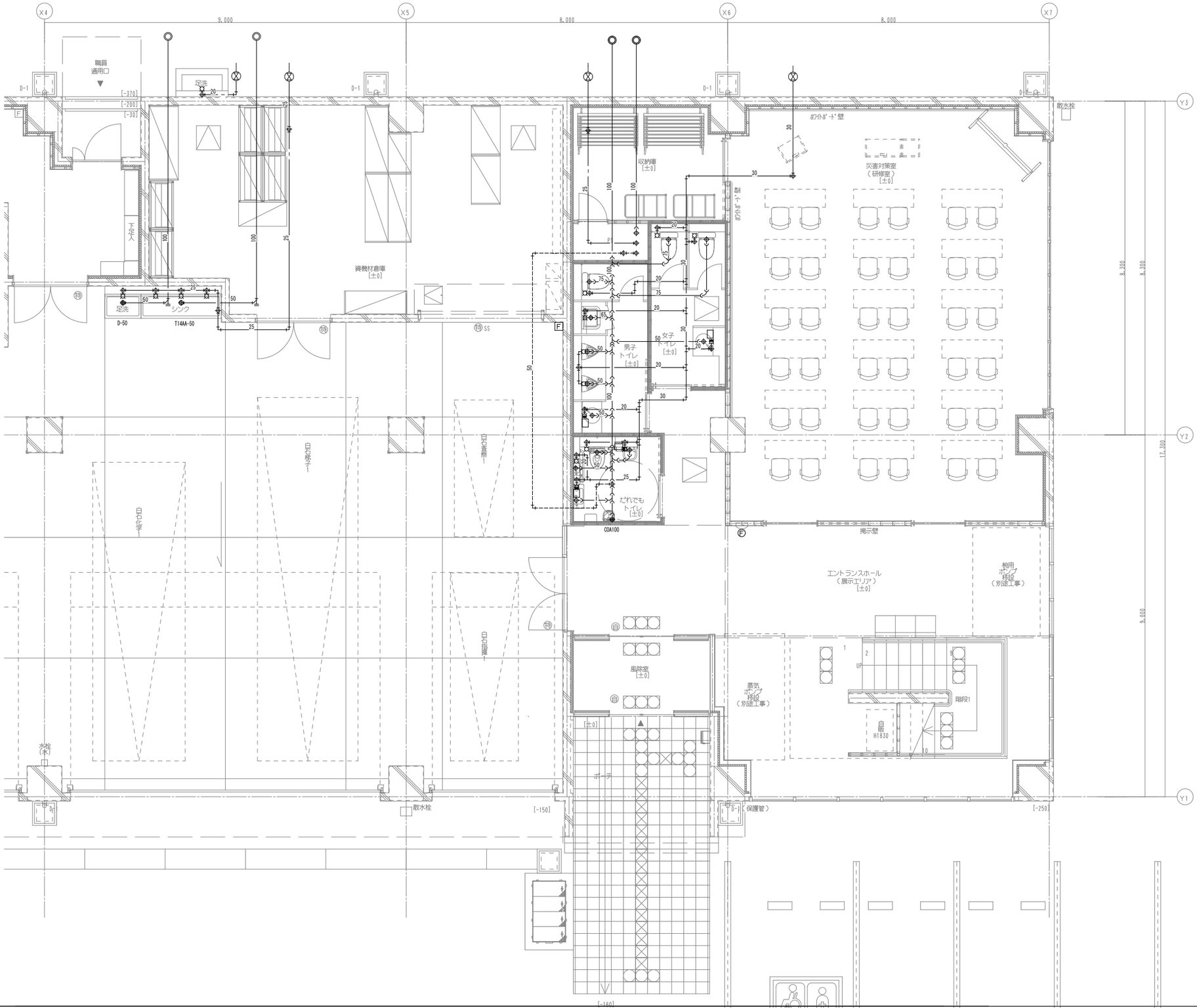
R階平面図 1/100

JOBNO

白石消防署庁舎建替工事　【庁舎棟】給排水衛生設備　R階平面図　M- 18

DATE　SCAL (A 1) 1/ 100 (A 3) 1/ 200　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号 永野ますみ



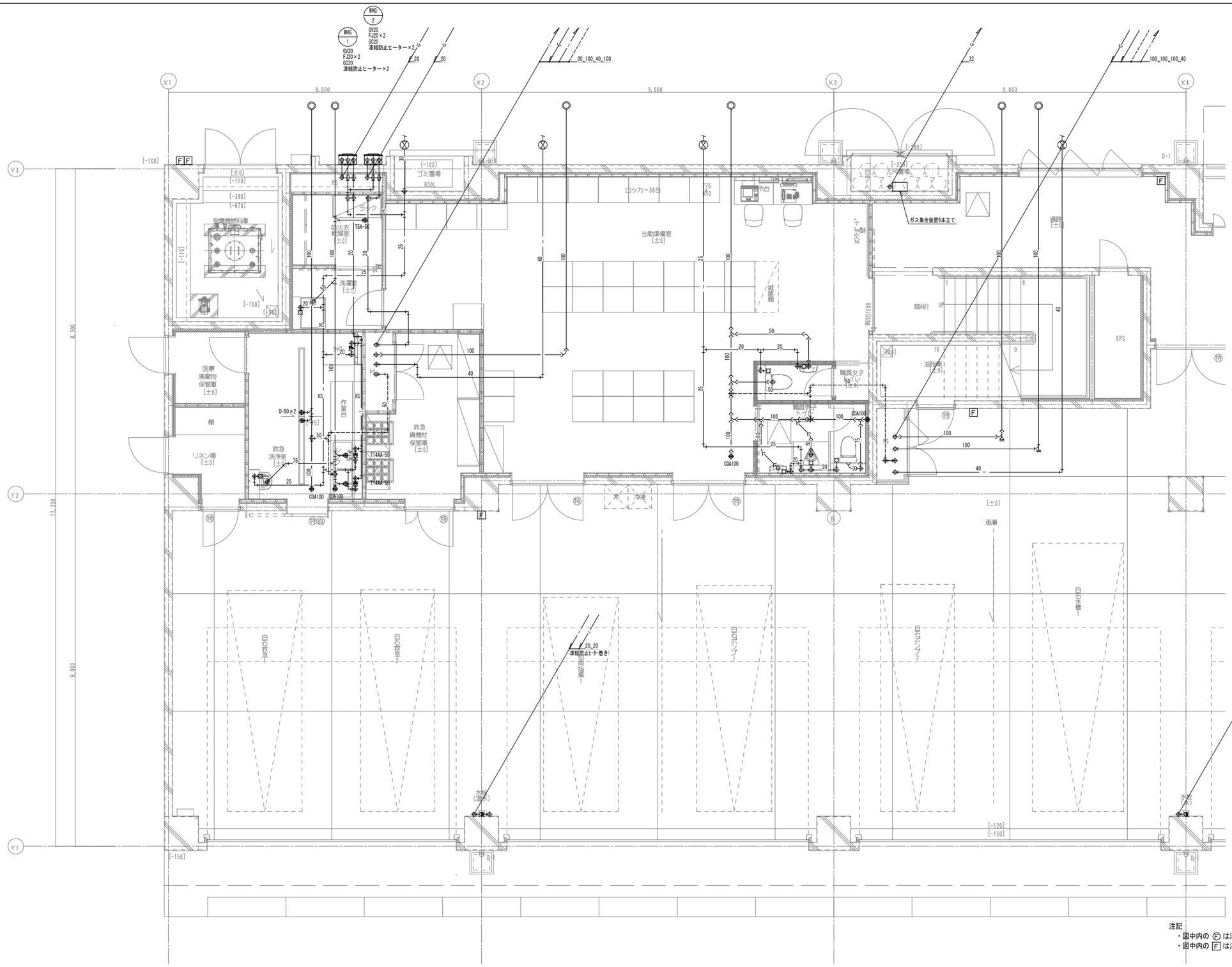
注記
・図中内の Ⓕ は消火器(ABC10型)を示す。ボックスは建築工事
・図中内の F は消火器(ABC10型・ボックス共)を示す。

JOB NO

白石消防署庁舎建替工事　【庁舎棟】給排水衛生設備　1階平面詳細図(1)　M- 19

DATE　SCAL (A 1) 1/50 (A 3) 1/100　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号 永野ますみ



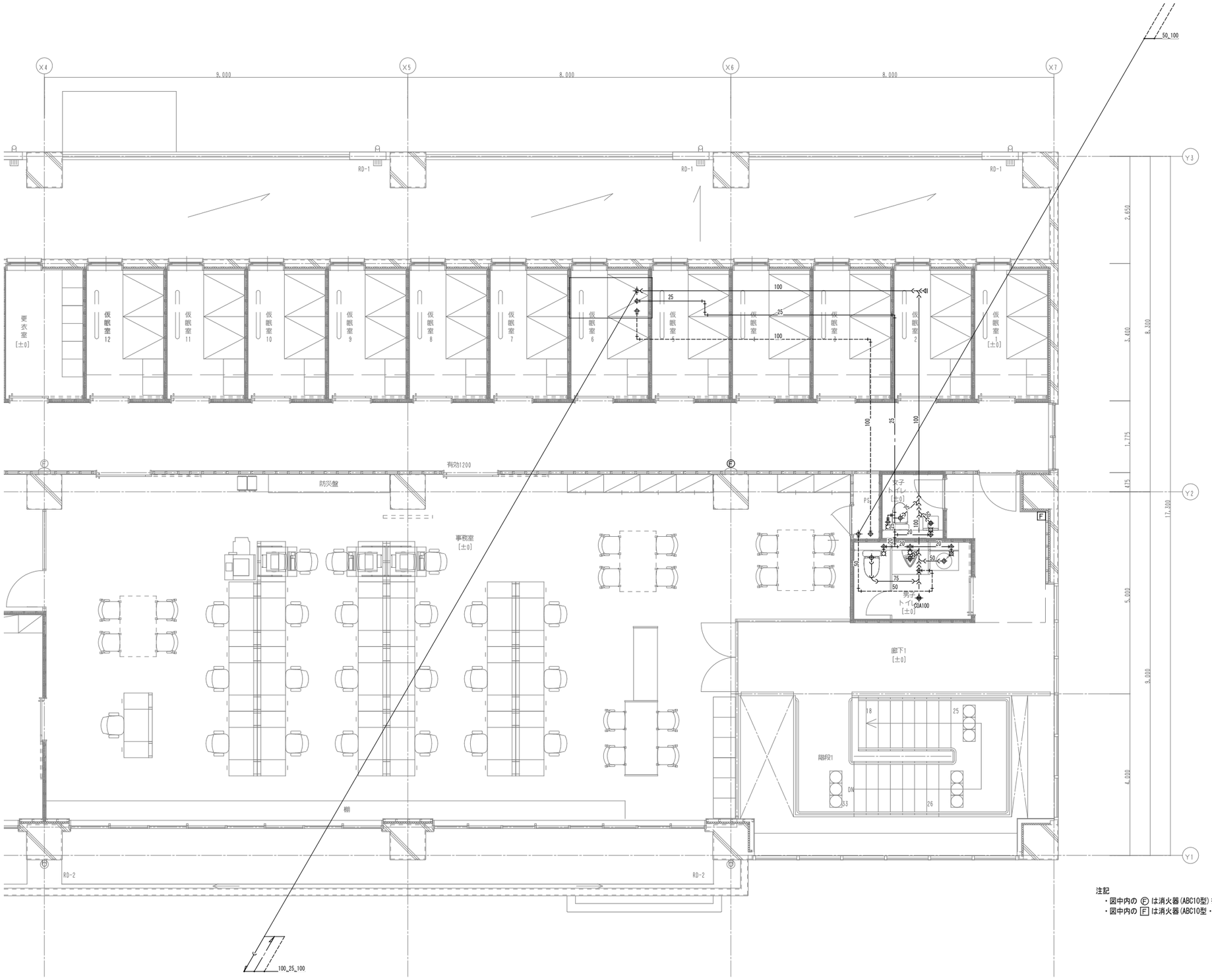
注記
・図中内の Ⓕ は消火器(ABC10型)を示す。ボックスは建築工事
・図中内の F は消火器(ABC10型・ボックス共)を示す。

JOBNO

白石消防署庁舎建替工事　【庁舎棟】給排水衛生設備　1階平面詳細図(2)　M- 20

DATE　SCAL (A 1) 1/ 50 (A 3) 1/ 100　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士　第 357230 号　永野ますみ



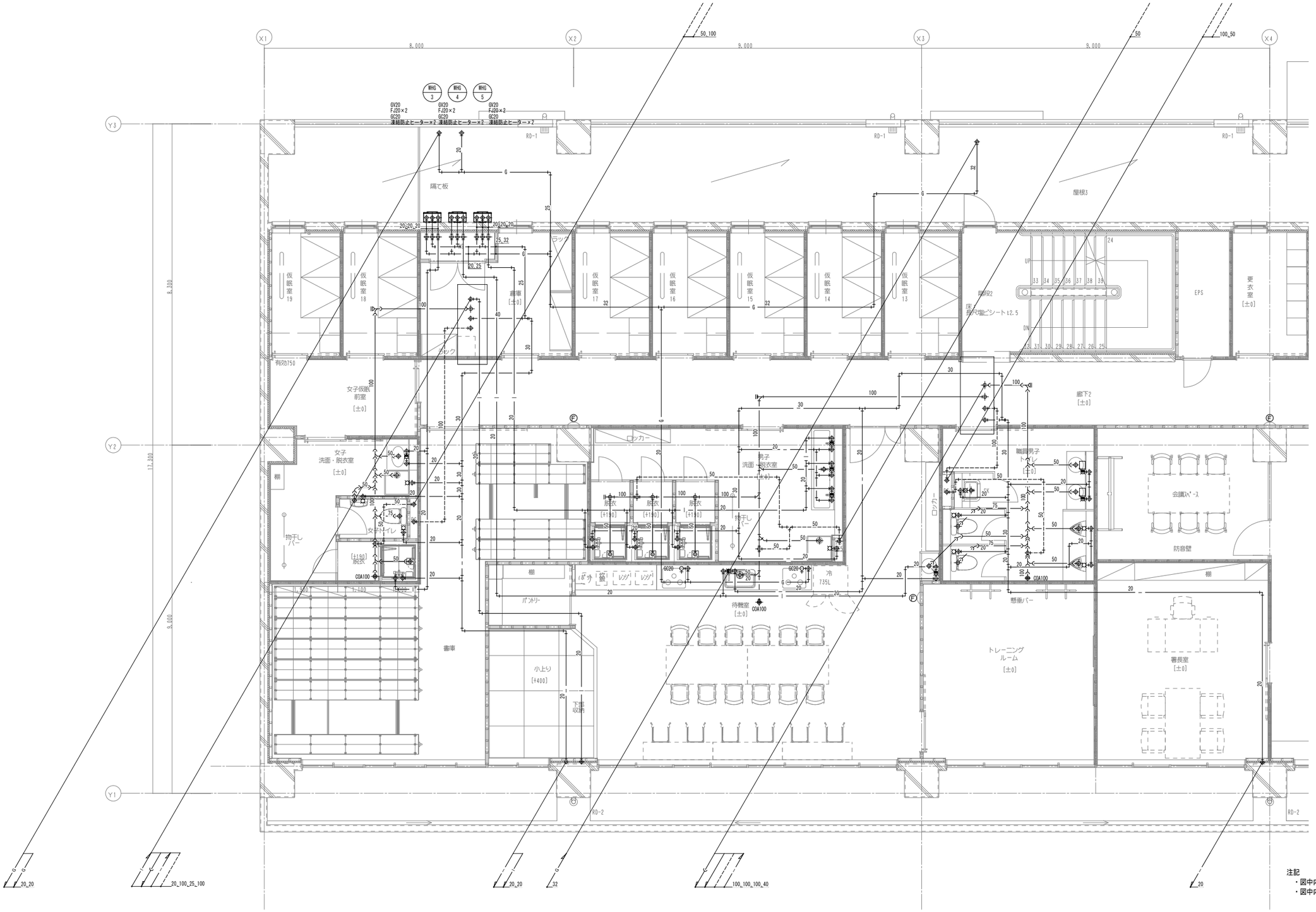
注記
・図中内の Ⓕ は消火器(ABC10型)を示す。ボックスは建築工事
・図中内の F は消火器(ABC10型・ボックス共)を示す。

JOBNO

白石消防署庁舎建替工事　【庁舎棟】給排水衛生設備　2階平面詳細図(1)　M- 21

DATE　SCALE (A 1) 1／50 (A 3) 1／100　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号 永野ますみ



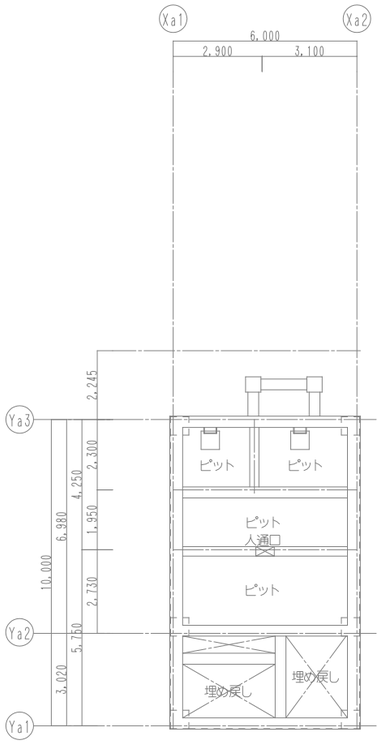
注記
・図中内の Ⓕ は消火器(ABC10型)を示す。ボックスは建築工事
・図中内の F は消火器(ABC10型・ボックス共)を示す。

JOBNO

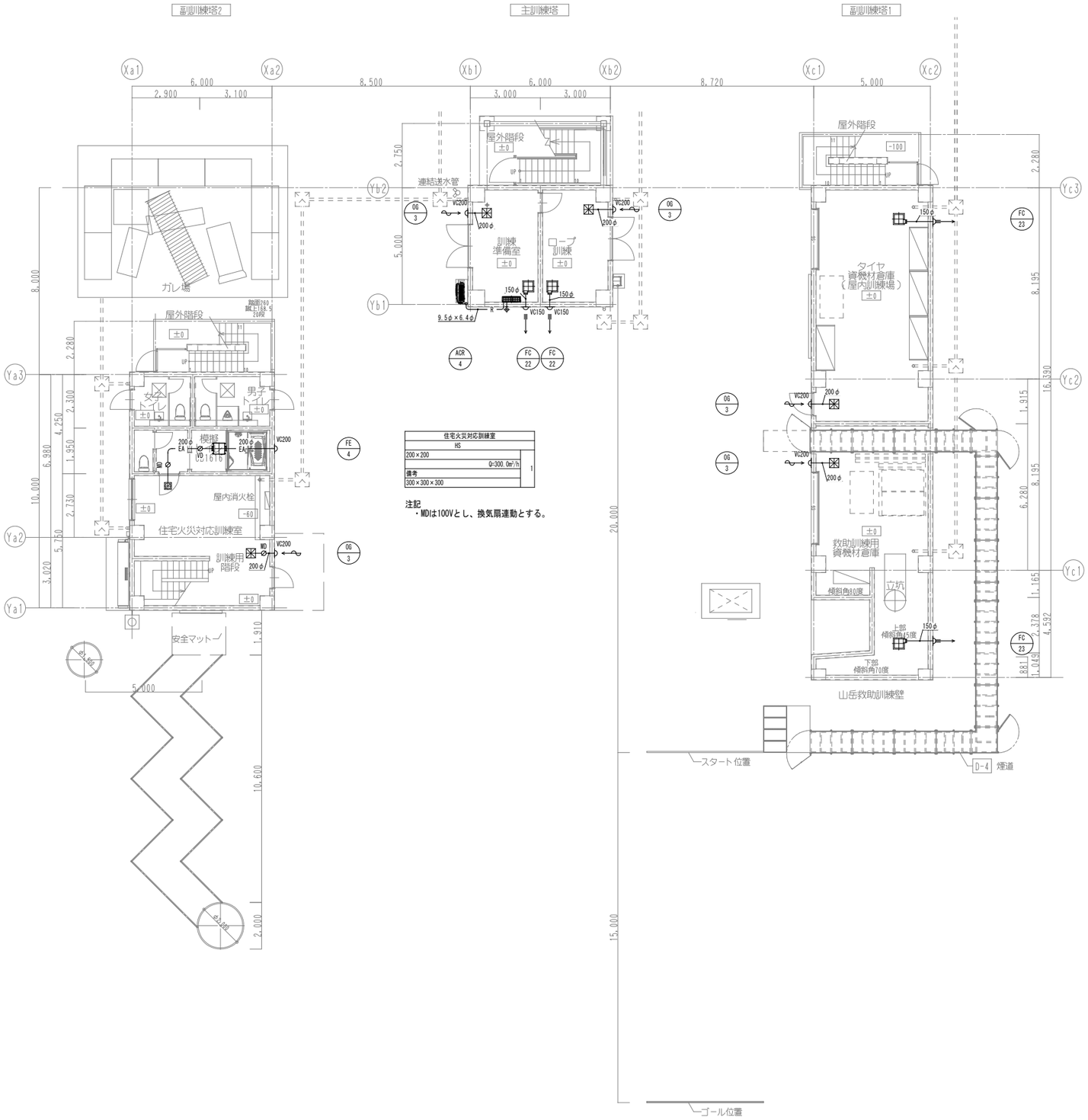
白石消防署庁舎建替工事　【庁舎棟】給排水衛生設備　2階平面詳細図(2)　M- 22

DATE　SCAL (A 1) 1／50 (A 3) 1／100　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号 永野ますみ



ピット階平面図　1/100



1階平面図　1/100

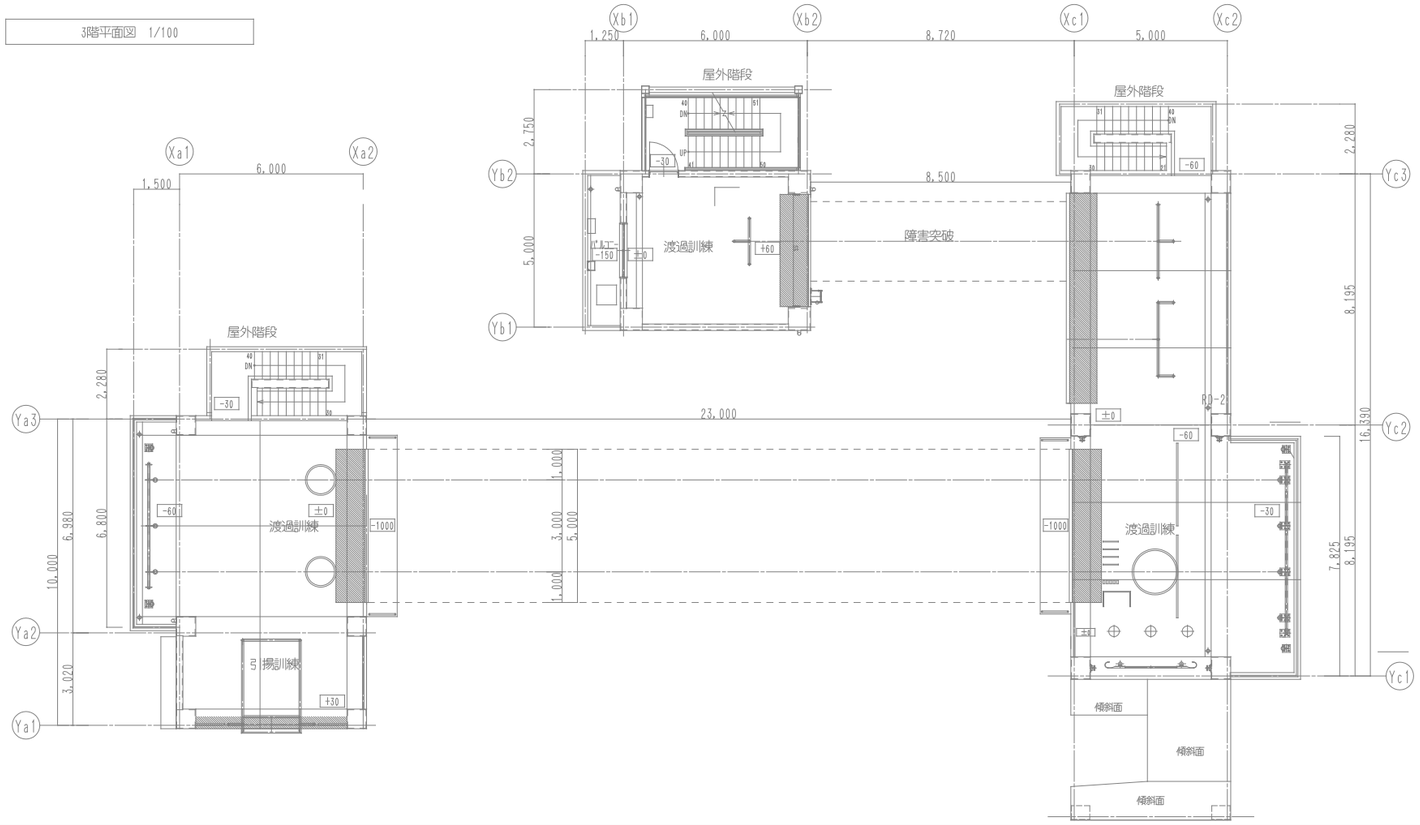
JOBNO

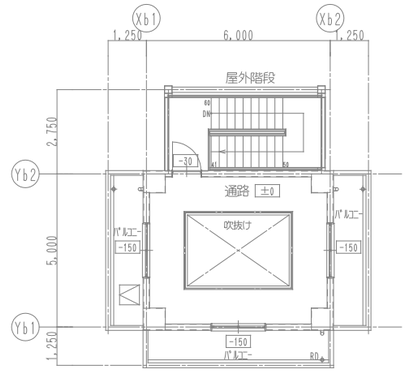
白石消防署庁舎建替工事　【訓練塔】空調調和・換気設備 1階平面図　M- 23

DATE　SCALE (A 1) 1／100 (A 3) 1／200　DRAWN　CHECK

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号 永野ますみ

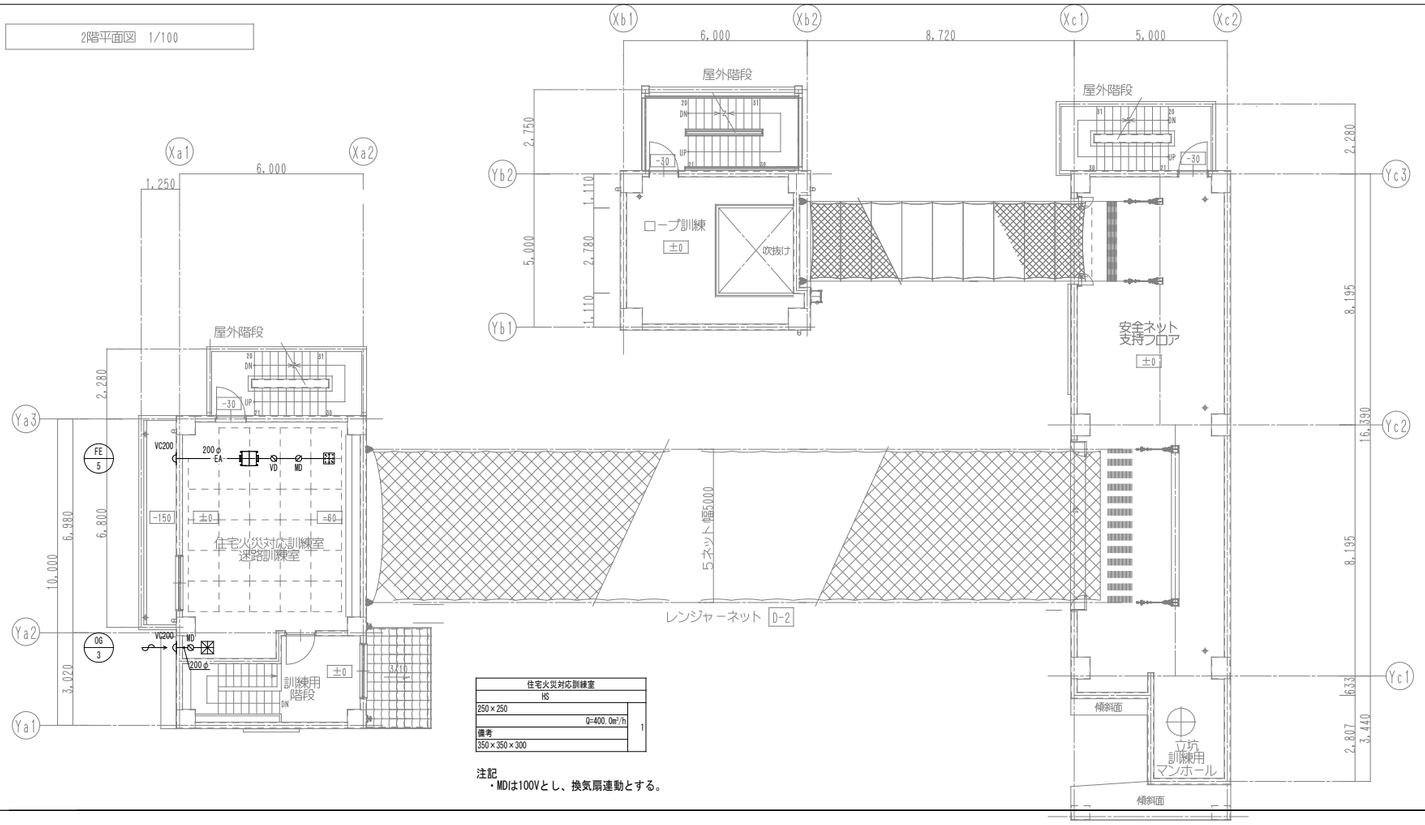
3階平面図 1/100





主訓練塔 4階平面図 1/100

2階平面図 1/100



住宅火災対応訓練室	
HS	
250×250	1
Q=400.0m³/h	
備考	
350×350×300	

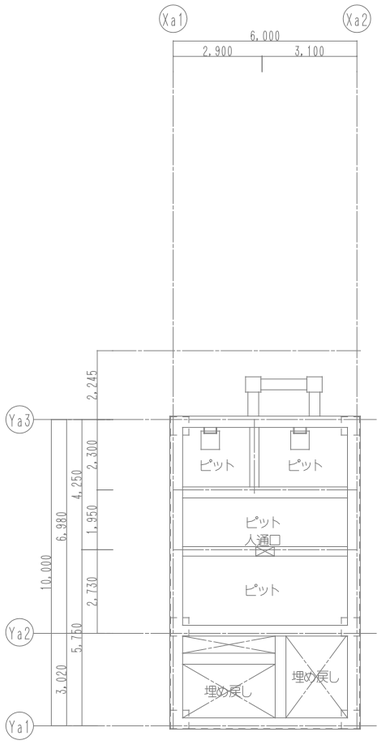
注記
・MDは100Vとし、換気扇連動とする。

JOB NO

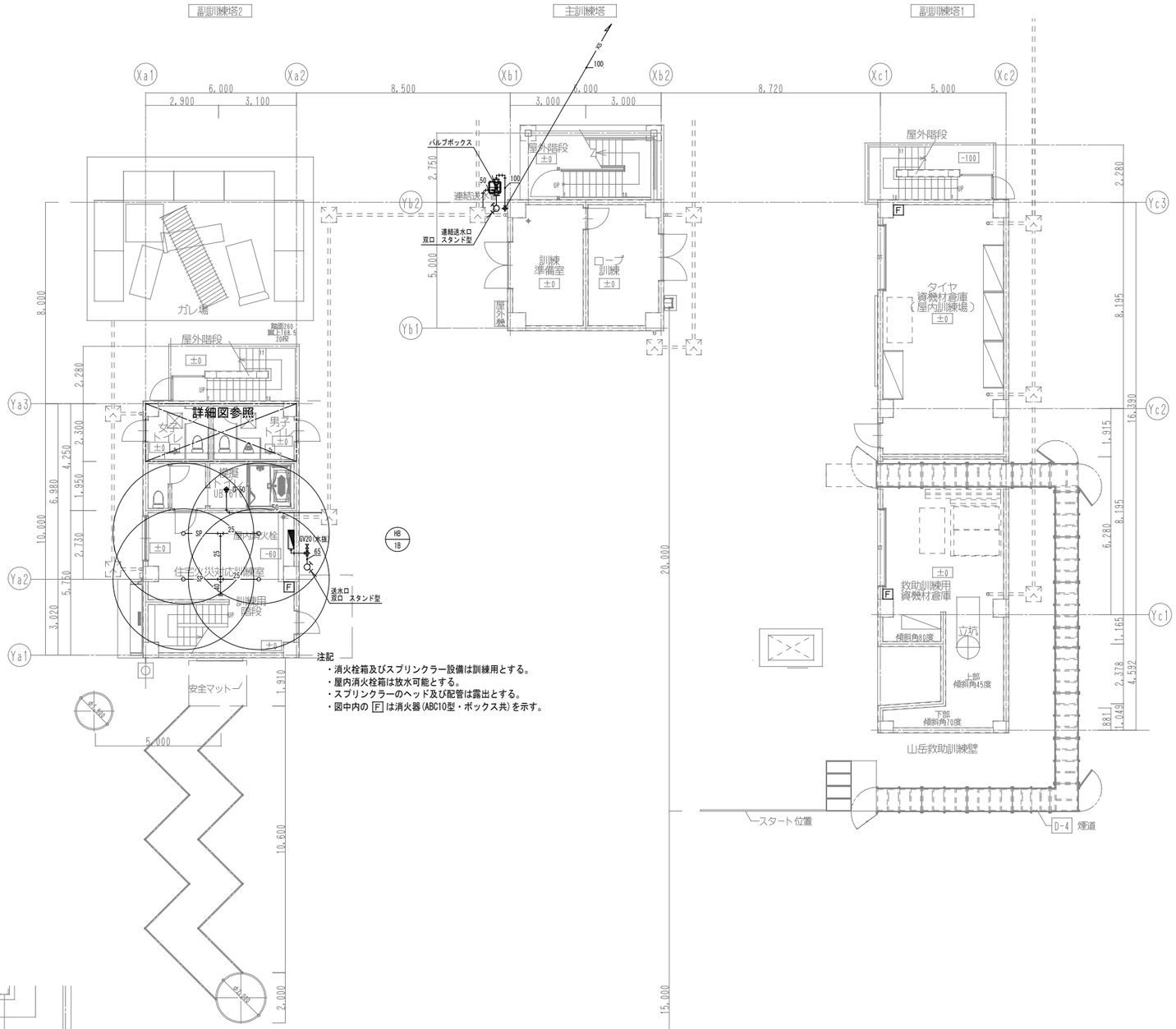
白石消防署庁舎建替工事 【訓練塔】空気調和・換気設備 2～4階平面図 M- 24

DATE SCAL (A 1) 1/100 (A 3) 1/200 DRAWN CHEK

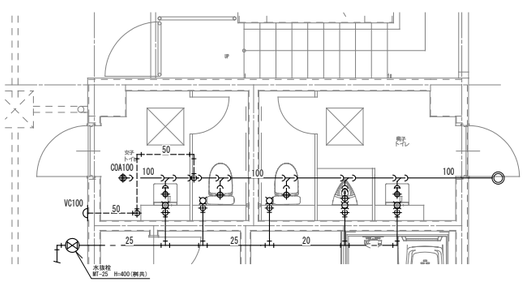
株式会社 構 建築設計事務所 一級建築士 第 357230 号 永野ますみ



ピット階平面図　1/100



1階平面図　1/100



トイレ詳細図　1/50

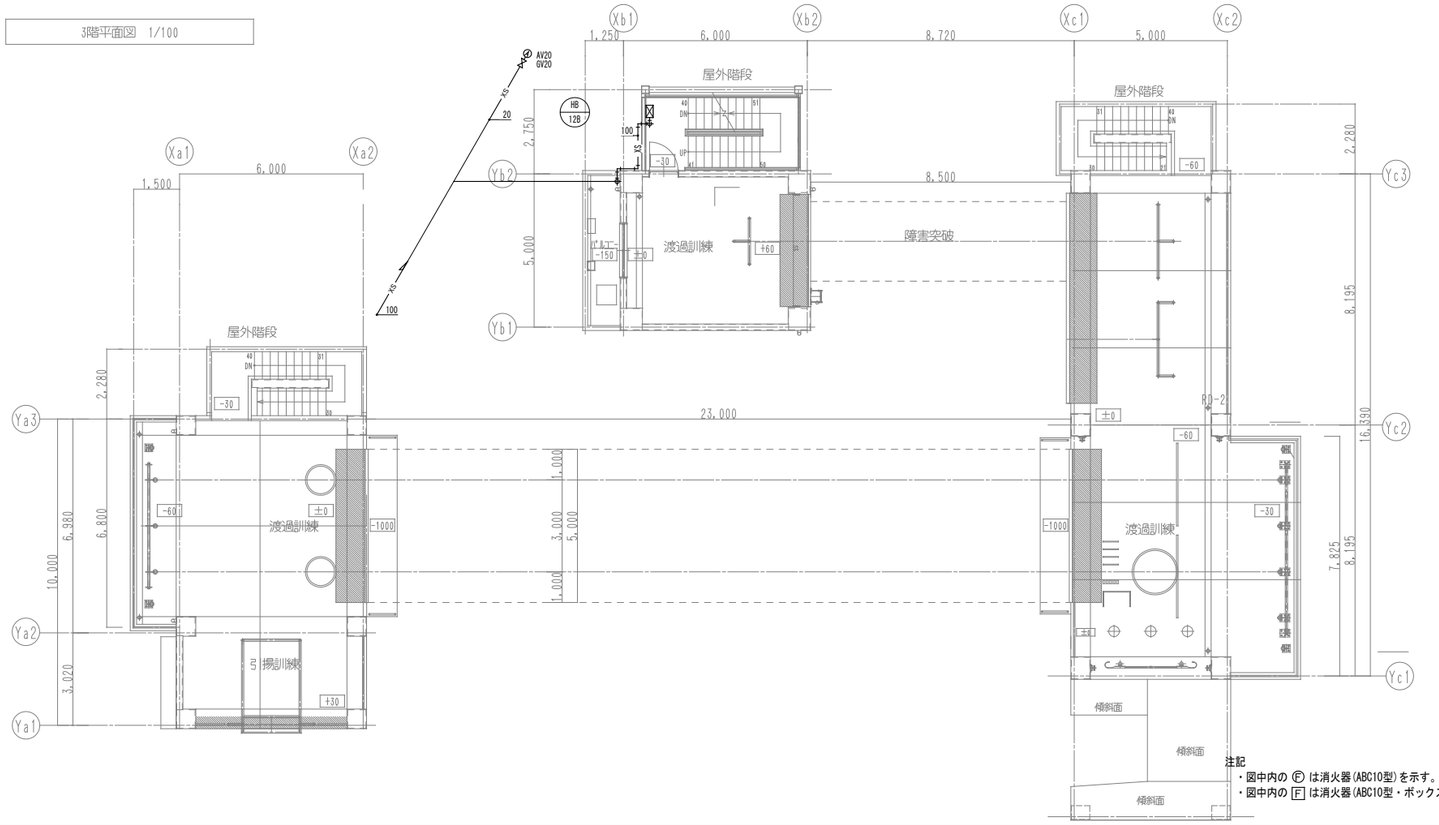
JOBNO

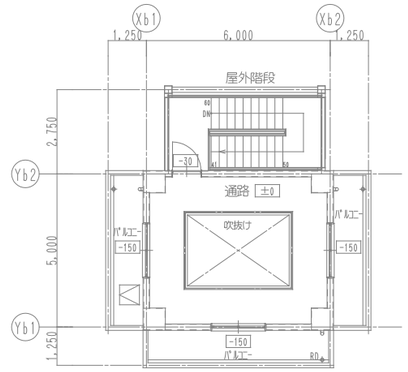
白石消防署庁舎建替工事　【訓練塔】給排水衛生設備 1階平面図　M- 25

DATE　SCAL (A 1) 1／50,100 (A 3) 1／100,200　DRAWN　CHEK

株式会社 構 建築設計事務所　一級建築士 第 357230 号 永野ますみ

3階平面図 1/100

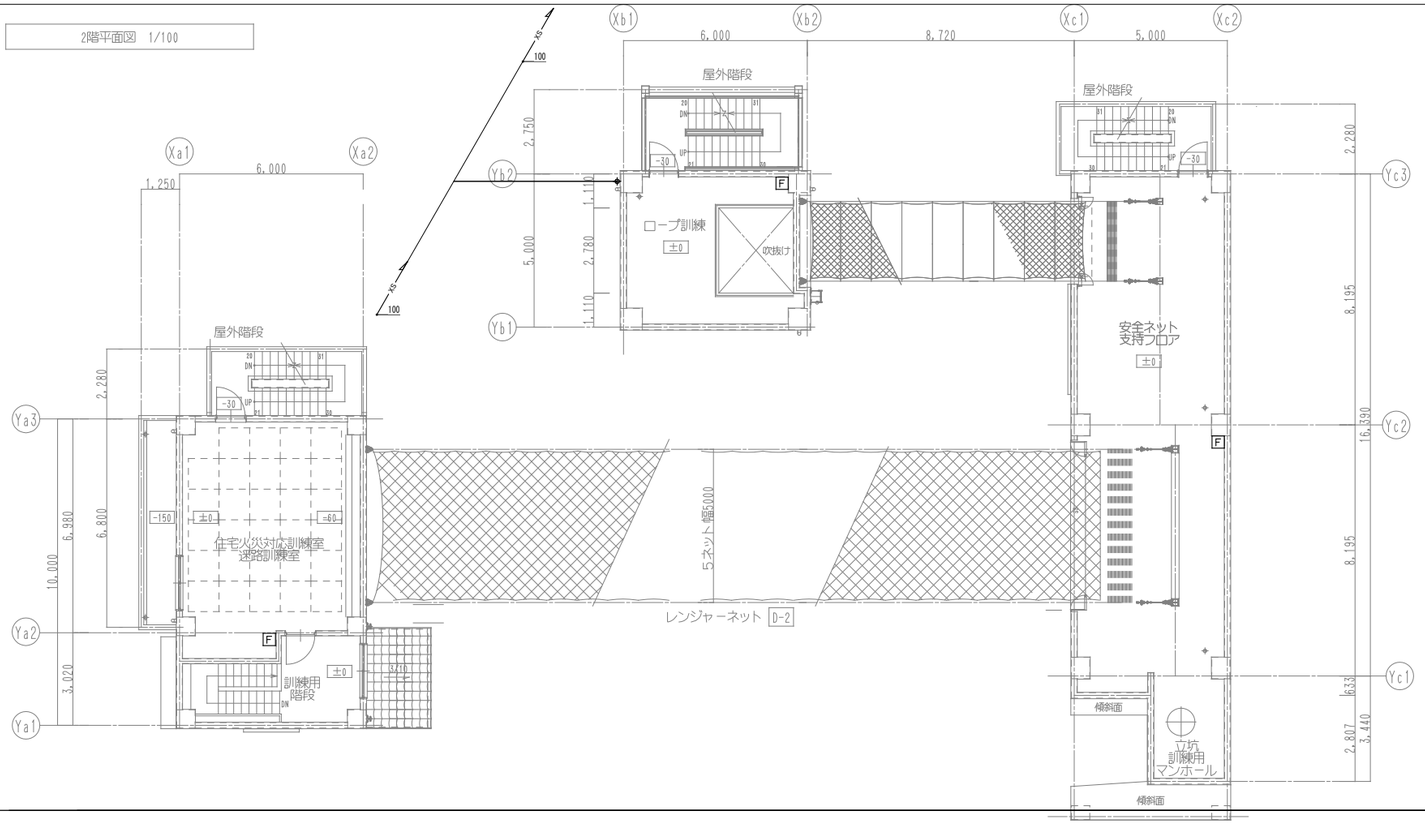




主訓練塔 4階平面図 1/100

注記
・図中内の Ⓕ は消火器(ABC10型)を示す。ボックスは建築工事
・図中内の F は消火器(ABC10型・ボックス共)を示す。

2階平面図 1/100



注記
・図中内の Ⓕ は消火器(ABC10型)を示す。ボックスは建築工事
・図中内の F は消火器(ABC10型・ボックス共)を示す。

JOB NO

白石消防署庁舎建替工事 【訓練塔】給排水衛生設備 2～4階平面図 M- 26

DATE SCAL (A 1) 1／100 (A 3) 1／200 DRAWN CHEK

株式会社 構 建築設計事務所 一級建築士 第 357230 号 永野ますみ